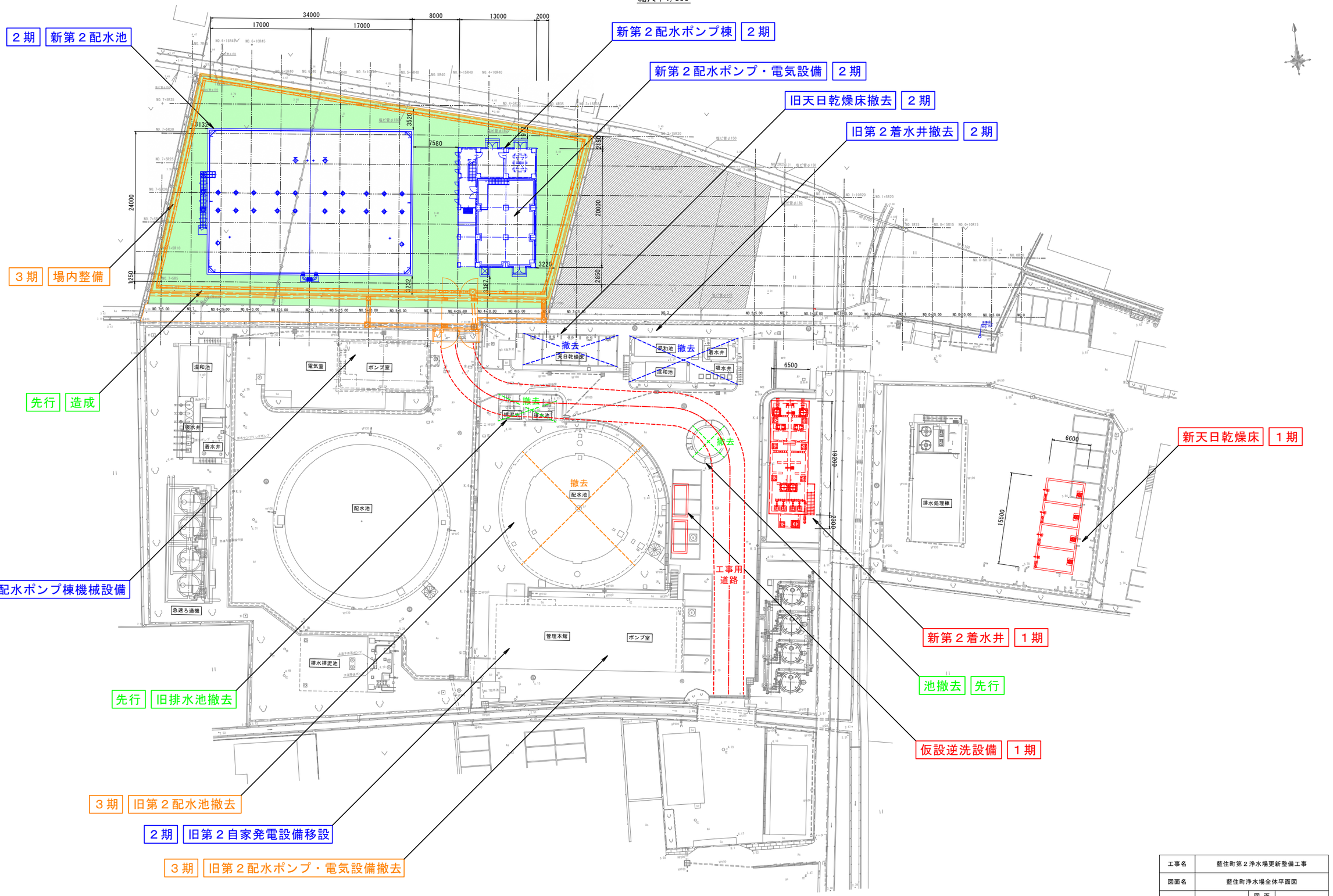
藍住町浄水場全体平面図

縮尺：1/300



工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	藍住町浄水場全体平面図		
縮　尺	1/300	図面番号	0-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

第２浄水場

今回対象設備

今回対象設備

取水井

- NO.3 取水井（第１浄水場）
- NO.12 取水井
- NO.9 取水井
- NO.8 取水井
- NO.7 取水井
- NO.6 取水井

取水ポンプ　計画最大取水量2,010m3/日
取水ポンプ　計画最大取水量2,370m3/日 ×5

第１浄水場へ

着水井

- NO.2 着水井　V＝16.2m3
- NO.2 混和池　V＝10.4m3
- NO.2 原水ポンプ槽　V＝87.2m3

NO.2原水ポンプより※３
濁度　PH
前塩※A1
NO.1原水SP
急速撹拌機　水位計
計画浄水量6,300m3/日（緊急時9,100m3/日）
NO.7～8 原水ポンプ
連通管※1
連通管※2
※3
前塩※A2
NO.2原水SP
急速撹拌機　水位計
NO.9～10 原水ポンプ
連通管※1
連通管※2

混和池

- NO.1 混和池　V＝10.4m3
- NO.1 原水ポンプ槽　V＝87.2m3

排水池

- NO.1 排水池　V＝98.4m3
- NO.1 上澄槽
- NO.2 上澄槽
- NO.2 排水池　V＝98.4m3

第１浄水場ろ過機排水管
排水ろ過ユニット
放流
排水処理施設へ

今回対象設備

天日乾燥床

A＝16.80m2×4床

放流

急速ろ過機

NO.7～10 急速ろ過機
φ3.50m、A＝9.62m2×4基

オリフィス式流量計 ×4
原水弁 ×4
排水弁 ×4
マンガン砂
砂利
逆洗弁 ×4
捨水弁 ×4
浄水弁 ×4

今回対象設備

配水池

- 後塩※B1
- NO.1 配水池　V＝2,038m3
- 後塩※B2
- NO.2 配水池　V＝2,038m3

配水ポンプ

連絡弁
第１浄水場配水管
配水
NO.1逆洗ポンプ
NO.2逆洗ポンプ
吐出弁
NO.11配水ポンプ
NO.10配水ポンプ
NO.9配水ポンプ
NO.8配水ポンプ
NO.1～2浄水SP
流入弁
NO.1～2 希釈水ポンプ

第２配水ポンプ室・電気室棟

濁度　残塩　色水　温度
場内給水

排水処理棟

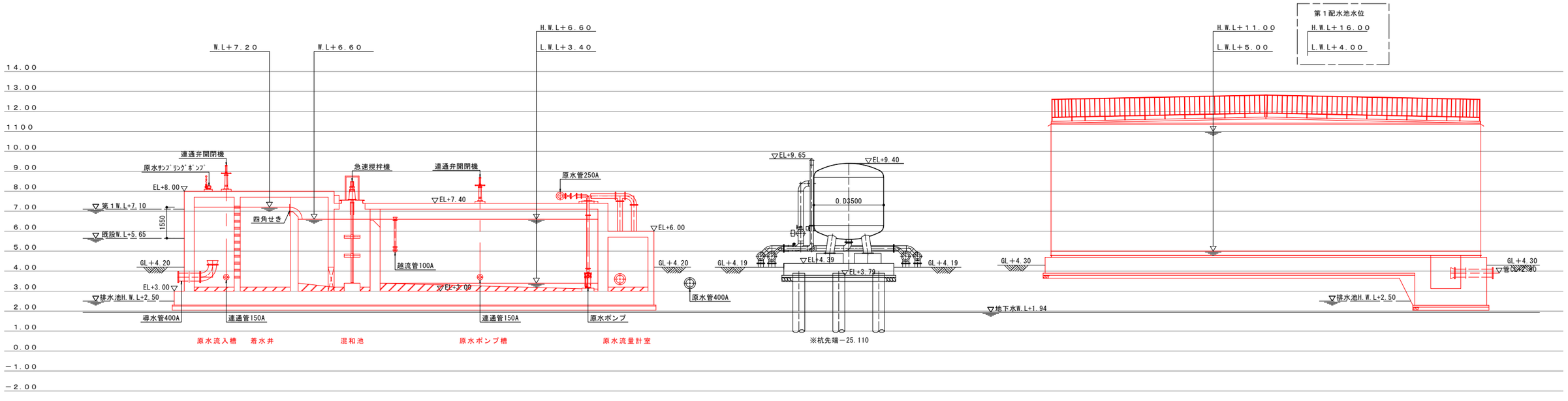
第２浄水場着水井へ　※A
第２浄水場配水池へ　※B
前塩
後塩
第２前次亜　第２後次亜　第１後次亜
小出槽３００Ｌ
次亜塩貯槽 3 m ×2
第２後次亜　第１前次亜　第１後次亜
第１浄水場着水井へ
第１浄水場配水池へ
第１浄水場次亜希釈水ポンプ

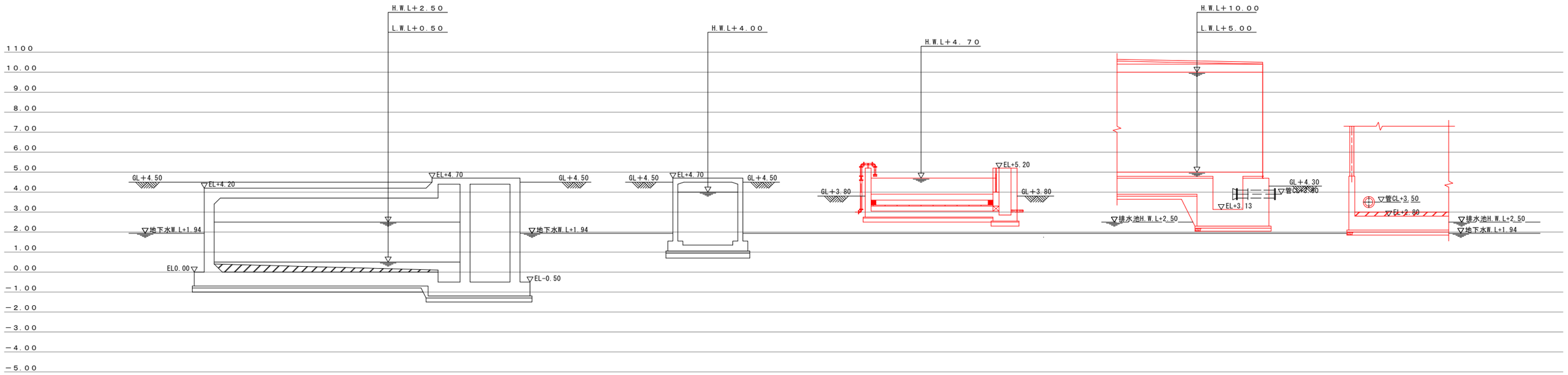
第２浄水場ポンプ

ポンプ名称	形　式	台　数
原水ポンプ	Φ100mm×2.11m3/min×16m×11ｋｗ	4（1）
配水ポンプ	Φ200mm×4.3m3/min×55m×60ｋｗ	4（1）
逆洗ポンプ	Φ150×φ125mm×5.77m3/min×12m×18.5ｋｗ	2（1）
原水SP	Φ20mm×25Lm3/min×10m×0.2ｋｗ（自吸式）	2（1）
浄水SP	Φ25mm×50L/min×10m×0.25ｋｗ（押込式）	2（1）
次亜希釈水ポンプ	Φ32mm×0.1m3/min×30m×1.1ｋｗ×2	1

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場フローシート		
縮　尺	NON	図面番号	0-2
藍住町上下水道課			

第２浄水場



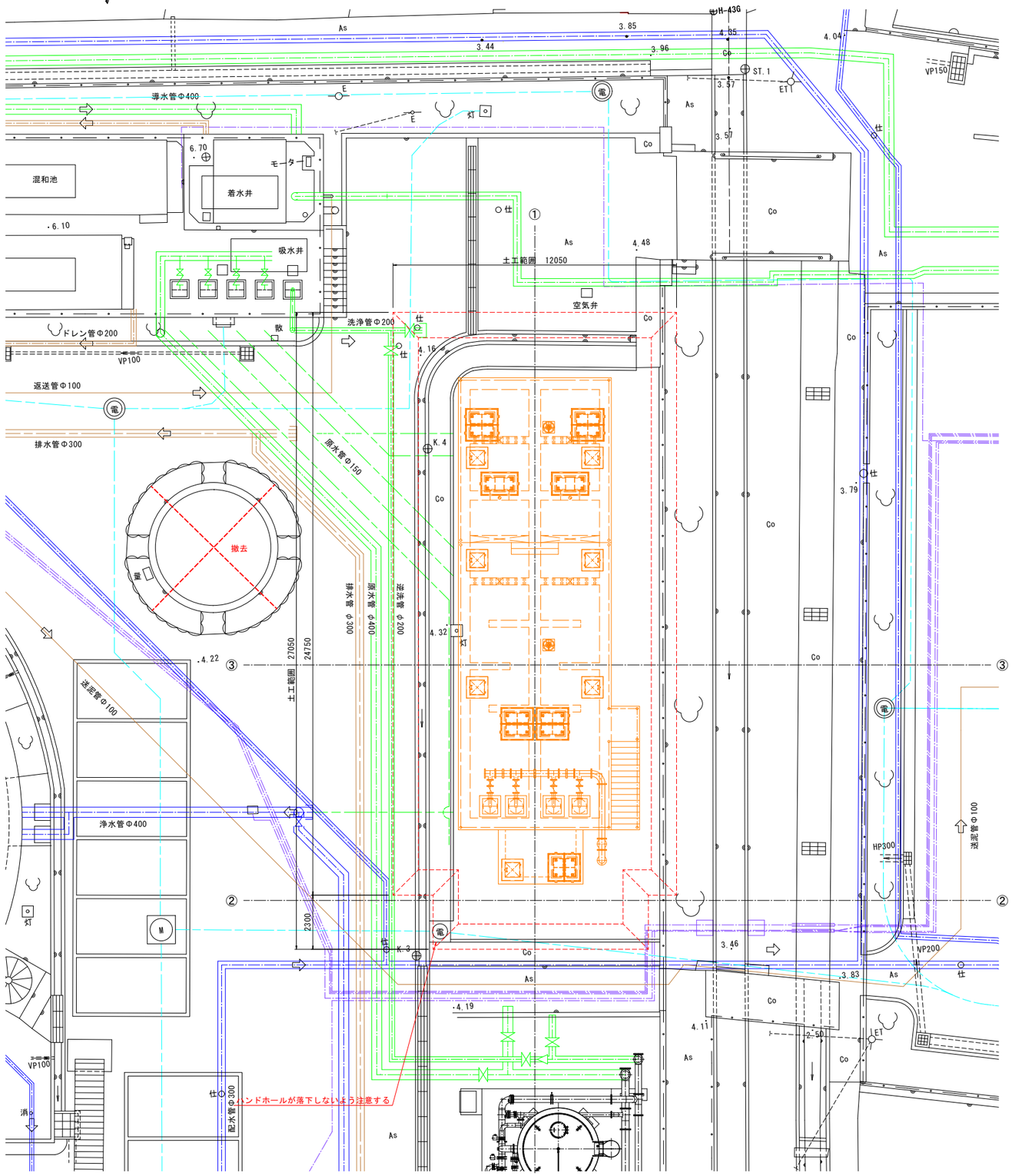


赤字：今回対象設備

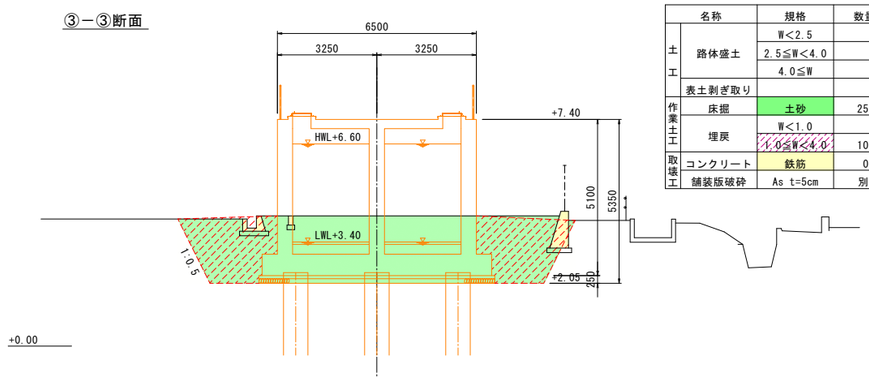
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場水位高低図		
縮　尺	NON	図面番号	0-3
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新第2着水井計画平面図

縮尺：1/100

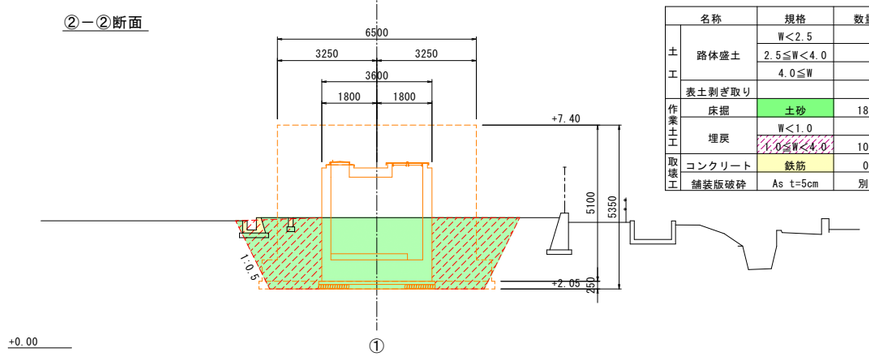


③－③断面



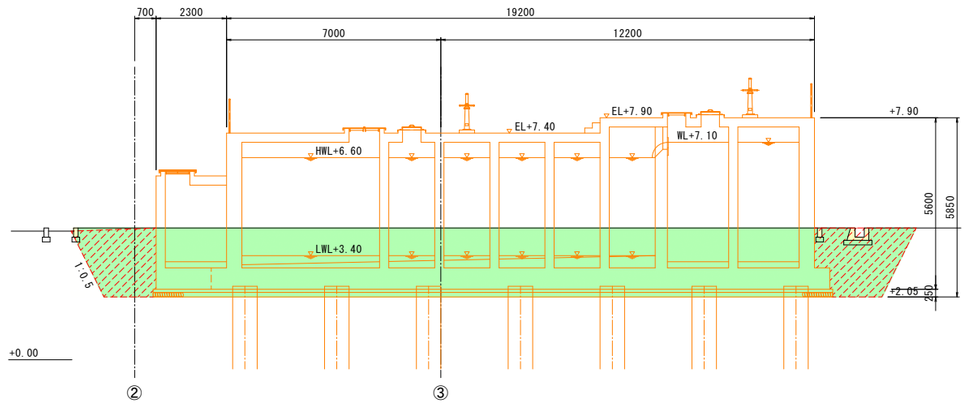
	名称	規格	数量
土工	路体盛土	W<2.5	
		2.5≦W<4.0	
		4.0≦W	
	表土剥ぎ取り		
作業土工	床掘	土砂	25.3
	埋戻	W<1.0	
		1.0≦W<4.0	10.7
取壊工	コンクリート	鉄筋	0.8
	舗装版破砕	As t=5cm	別途

②－②断面



	名称	規格	数量
土工	路体盛土	W<2.5	
		2.5≦W<4.0	
		4.0≦W	
	表土剥ぎ取り		
作業土工	床掘	土砂	18.6
	埋戻	W<1.0	
		1.0≦W<4.0	10.4
取壊工	コンクリート	鉄筋	0.2
	舗装版破砕	As t=5cm	別途

①－①断面



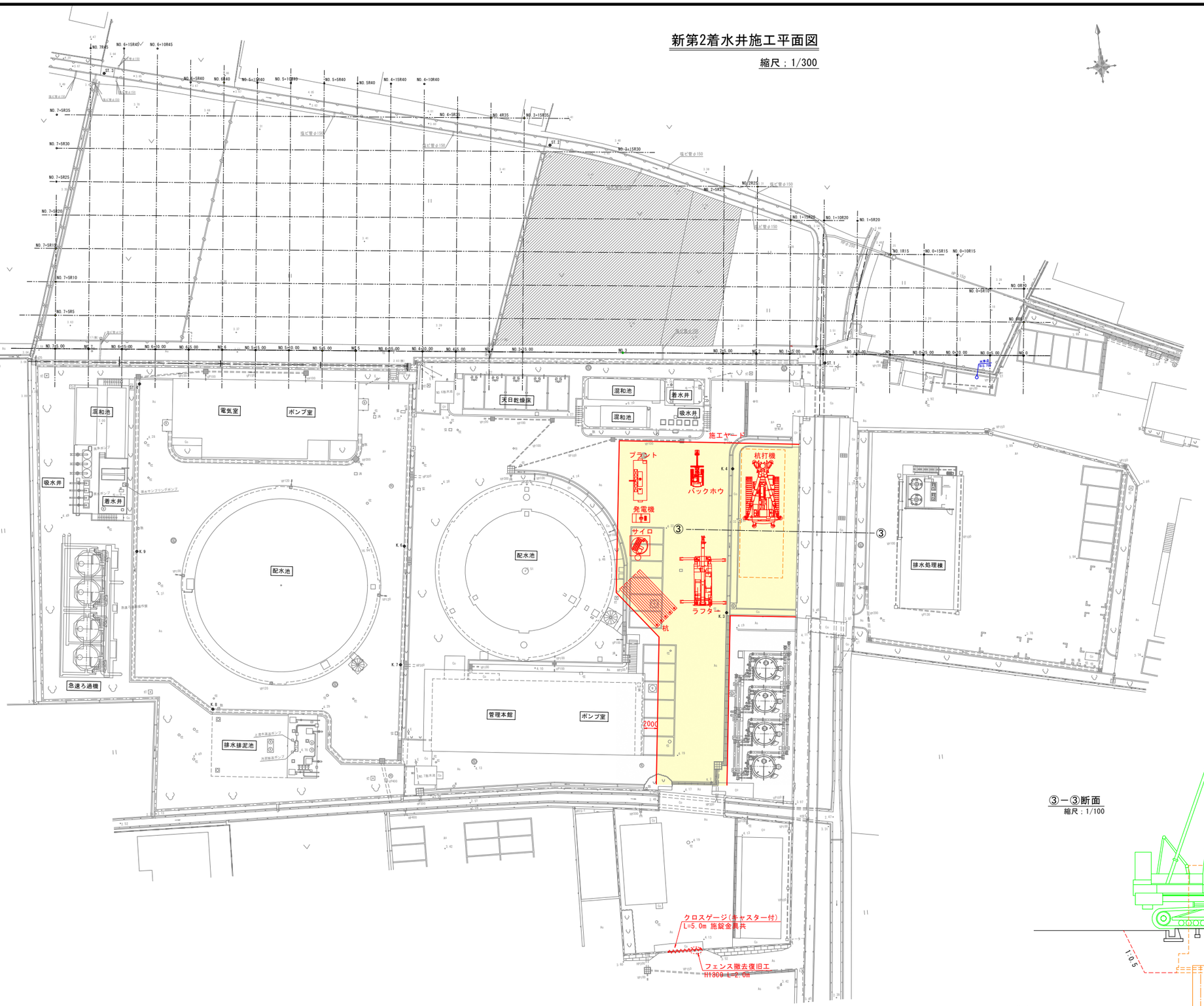
：土工
：地盤改良工
：仮設工
：計画施設

必要に応じて大型土のうを使用して坂路を設置すること

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井計画平面図		
縮　尺	1/100	図面番号	1-1-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

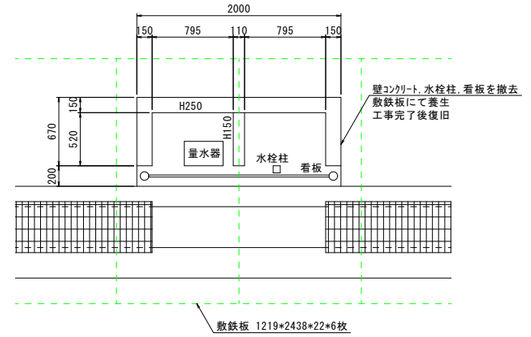
新第2着水井施工平面図

縮尺：1/300



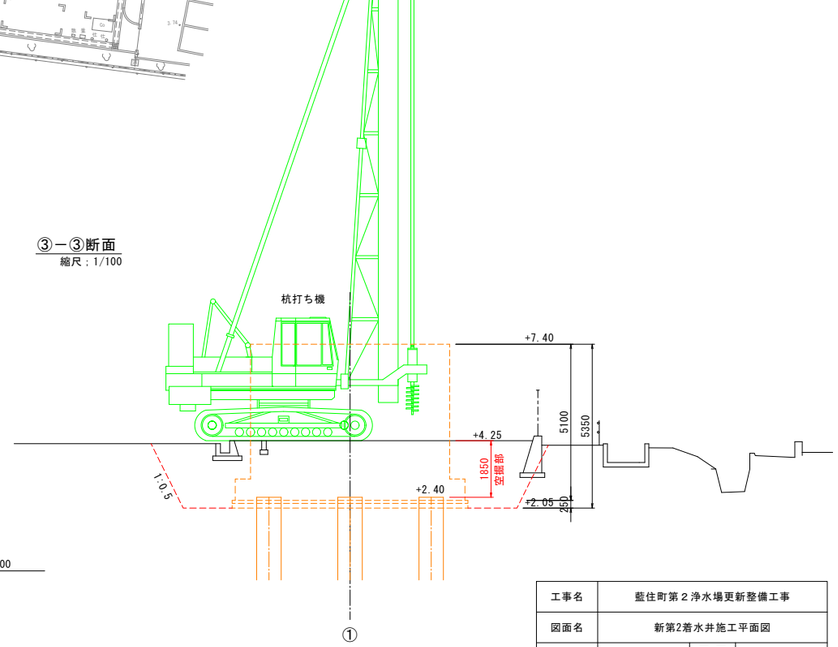
駐車場南側散水栓ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去復旧詳細図

S=1/30



③－③断面

縮尺：1/100

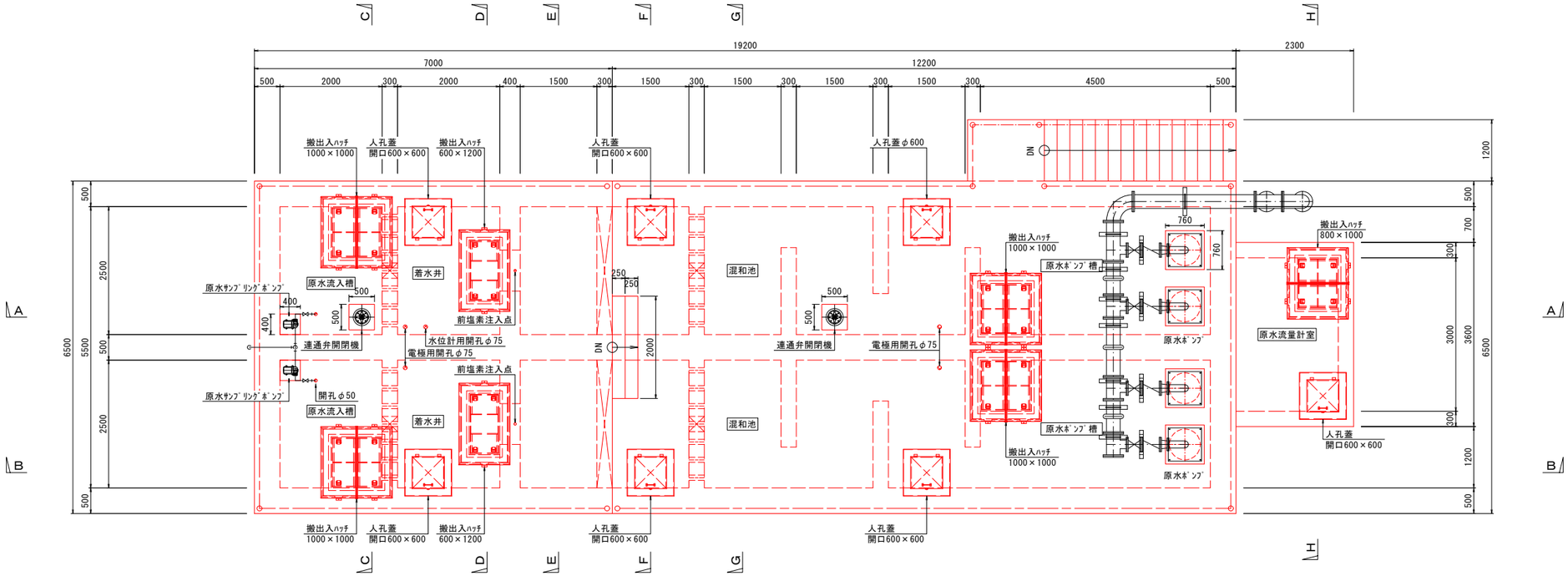


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井施工平面図		
縮　尺	1/300	図面番号	1-1-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

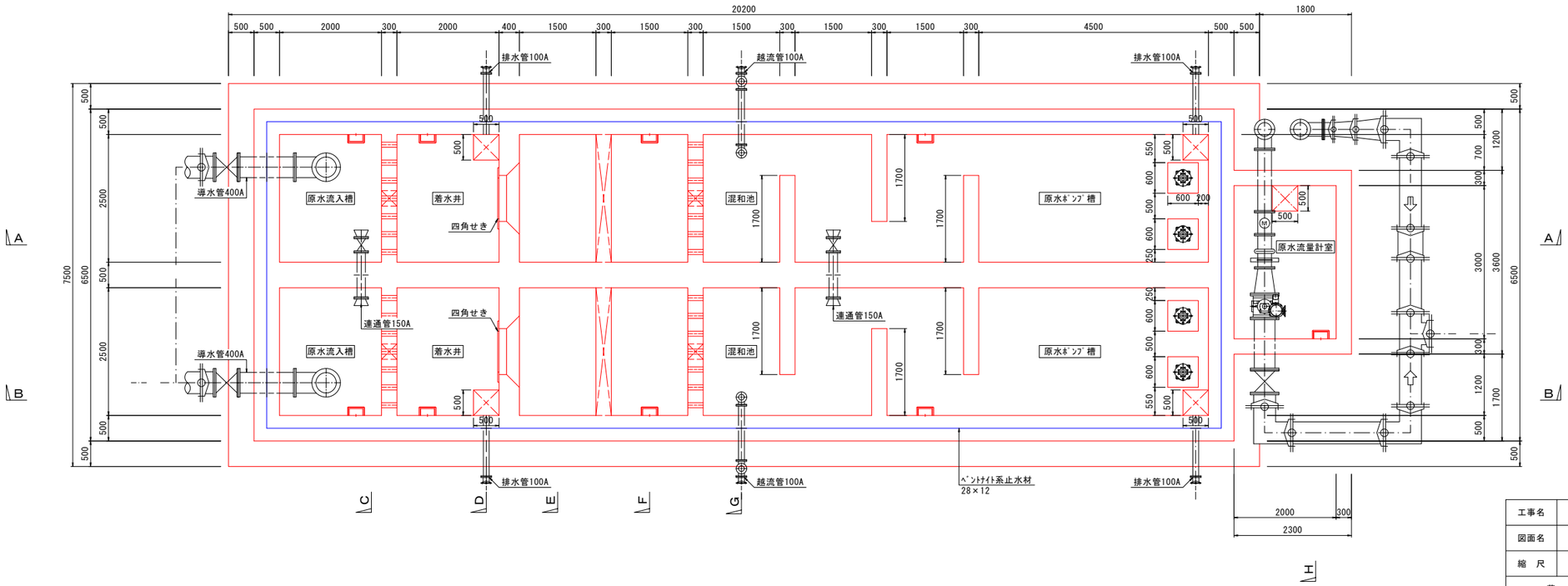
新第2着水井構造図1

縮尺：1/50

上部平面図



下部平面図

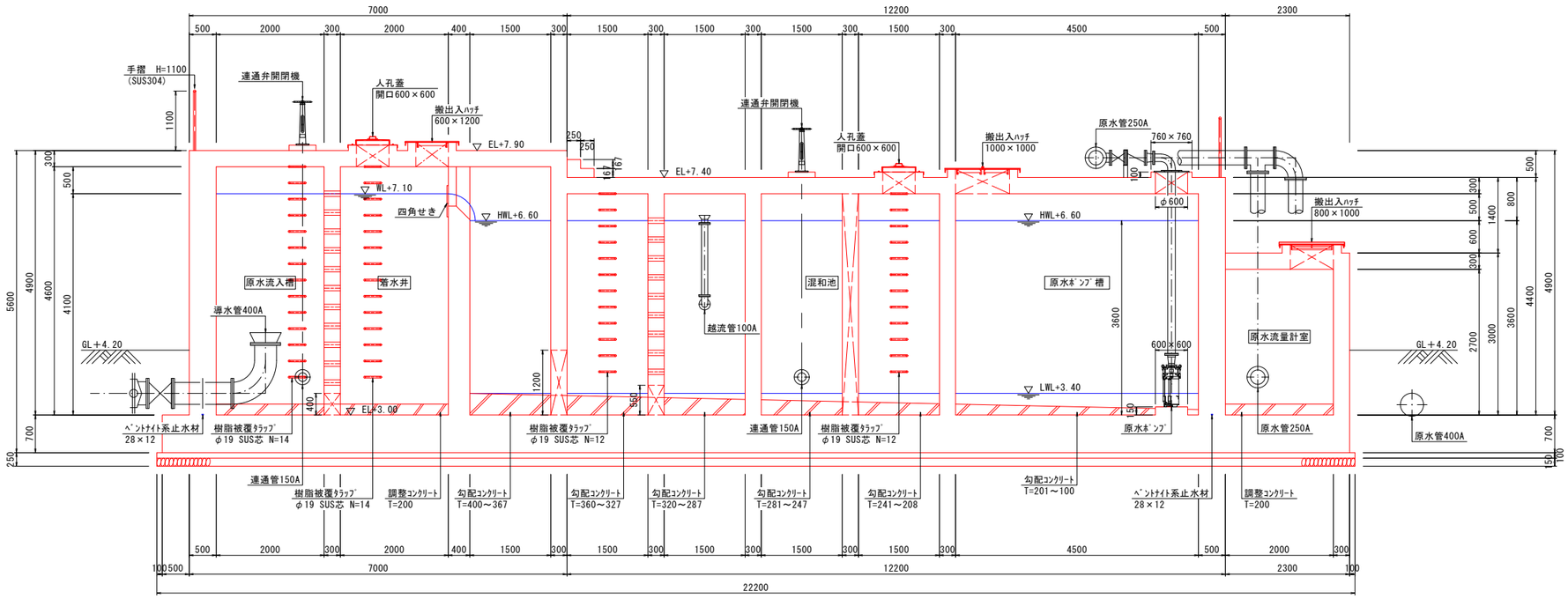


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井構造図1		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-3
藍　住　町　上　下　水　道　課			

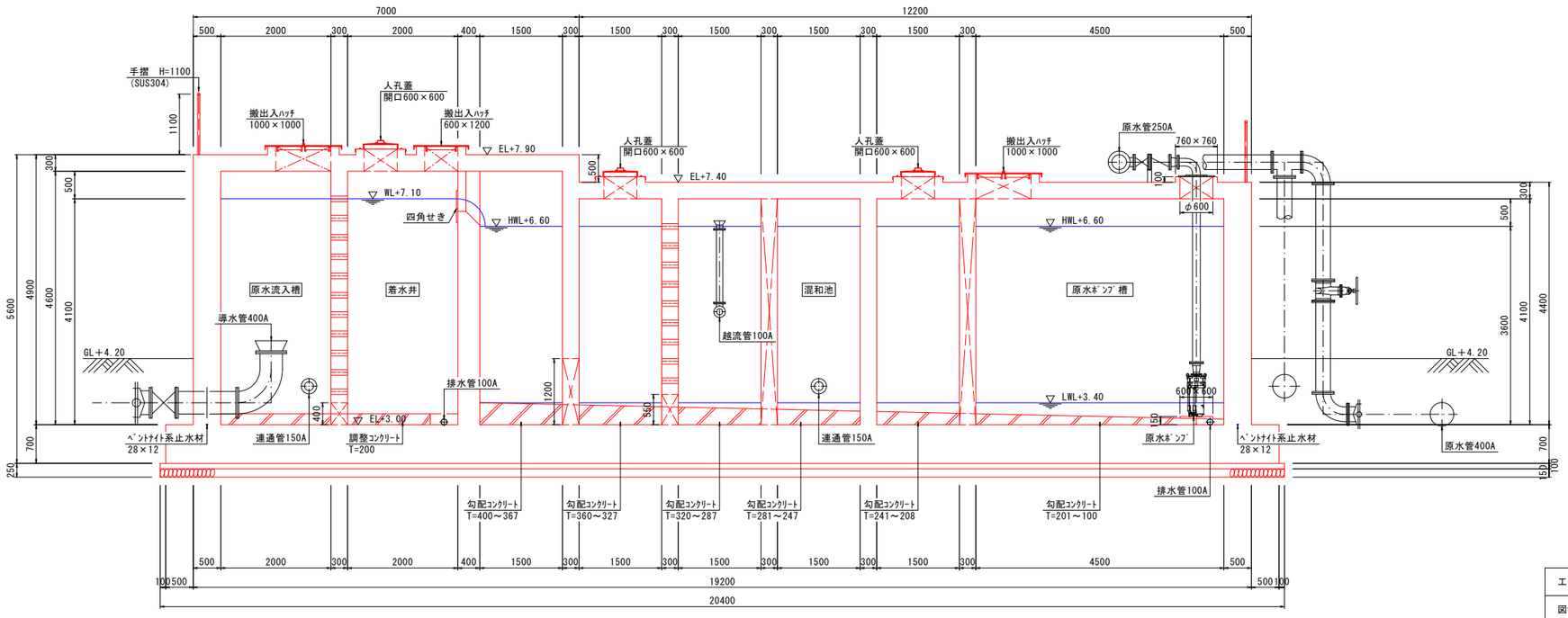
新第2着水井構造図2

縮尺：1/50

Ａ－Ａ断面図



Ｂ－Ｂ断面図

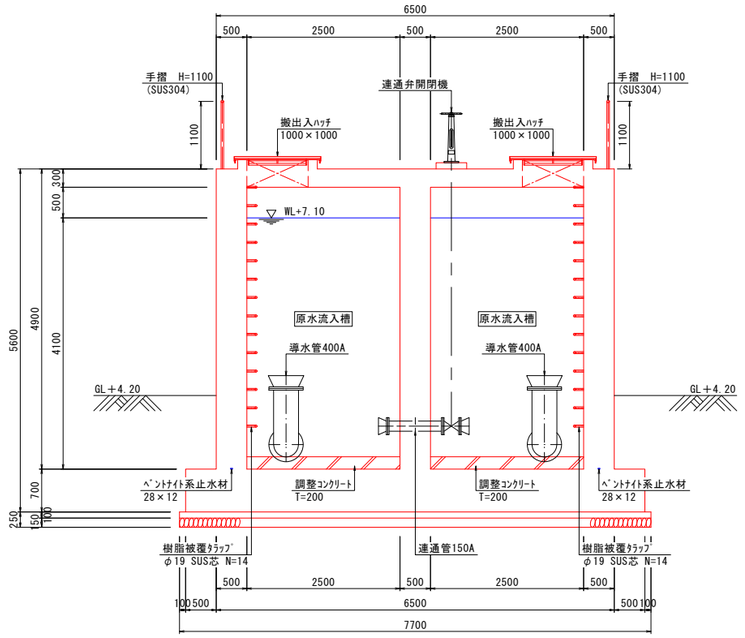


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井構造図2		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-4
藍　住　町　上　下　水　道　課			

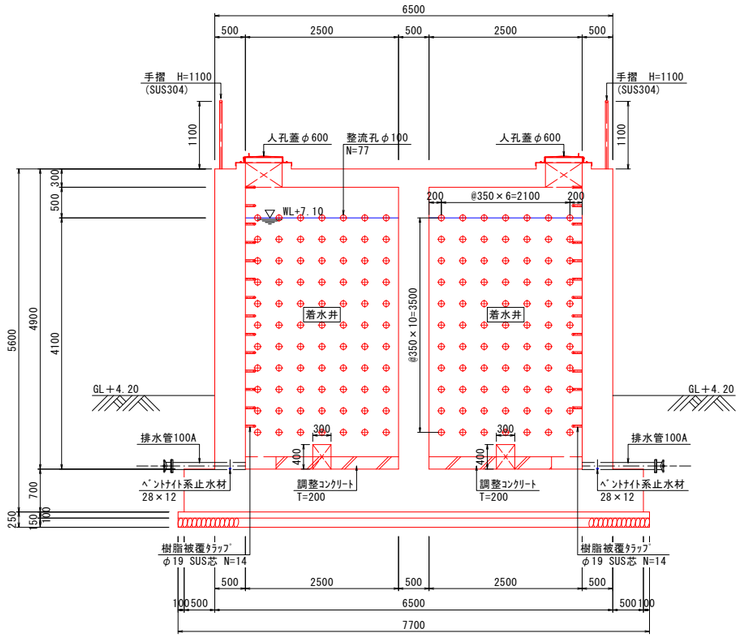
新第2着水井構造図3

縮尺：1/50

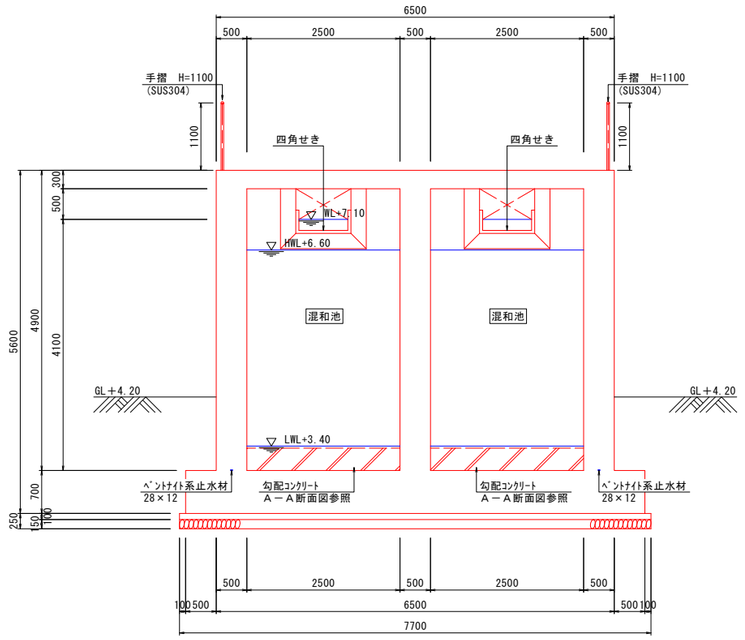
Ｃ－Ｃ断面図



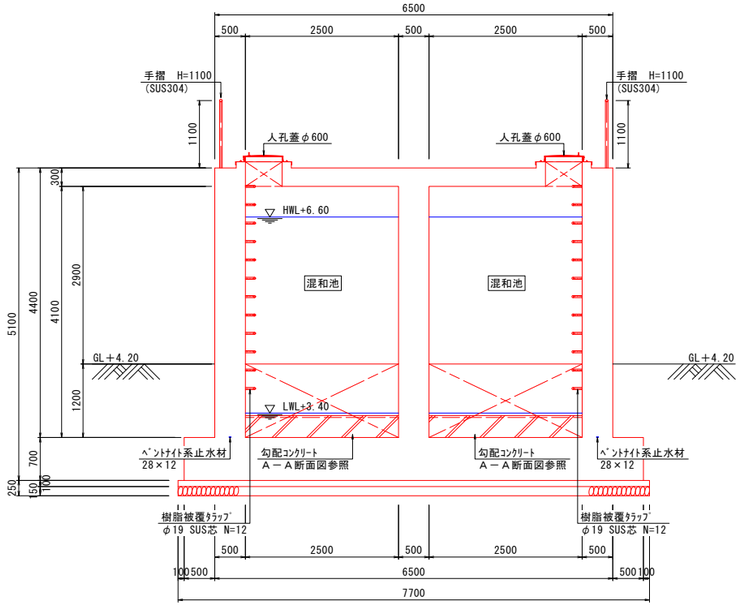
Ｄ－Ｄ断面図



Ｅ－Ｅ断面図



Ｆ－Ｆ断面図

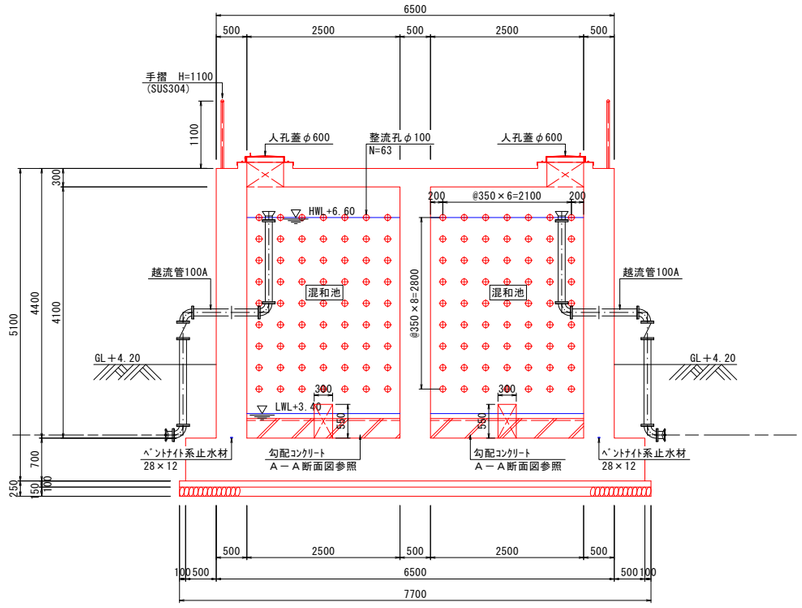


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井構造図3		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-5
藍　住　町　上　下　水　道　課			

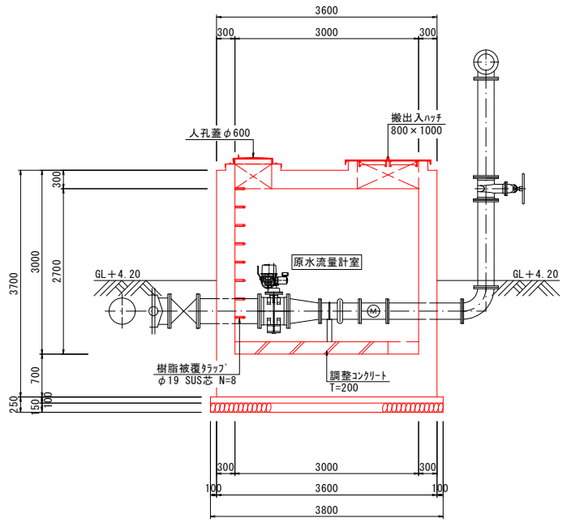
新第2着水井構造図4

縮尺：1/50

Ｇ－Ｇ断面図



Ｈ－Ｈ断面図

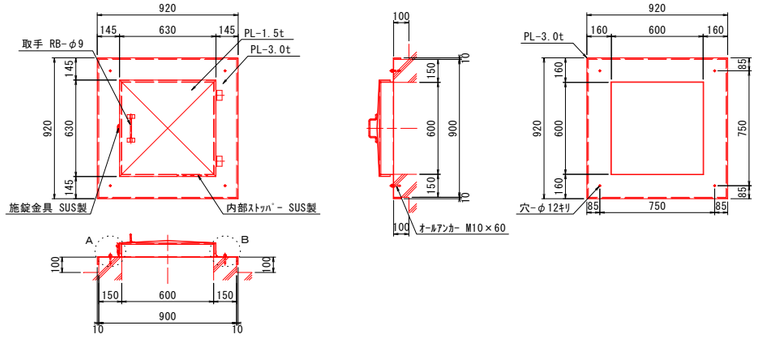


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井構造図4		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-6
藍　住　町　上　下　水　道　課			

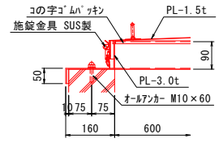
新第2着水井付帯設備詳細図1

人孔蓋詳細図　縮尺；1/20

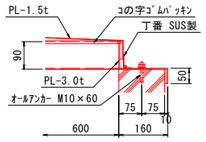
（箇所数：7）



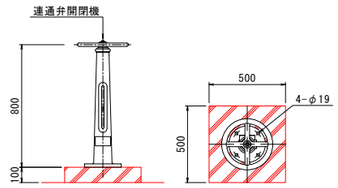
A部詳細図　縮尺；1/10



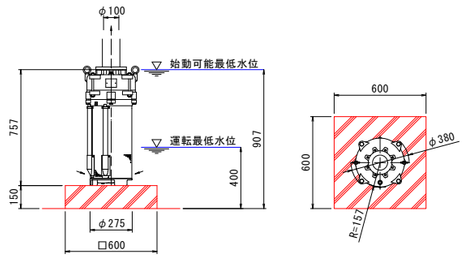
B部詳細図　縮尺；1/10



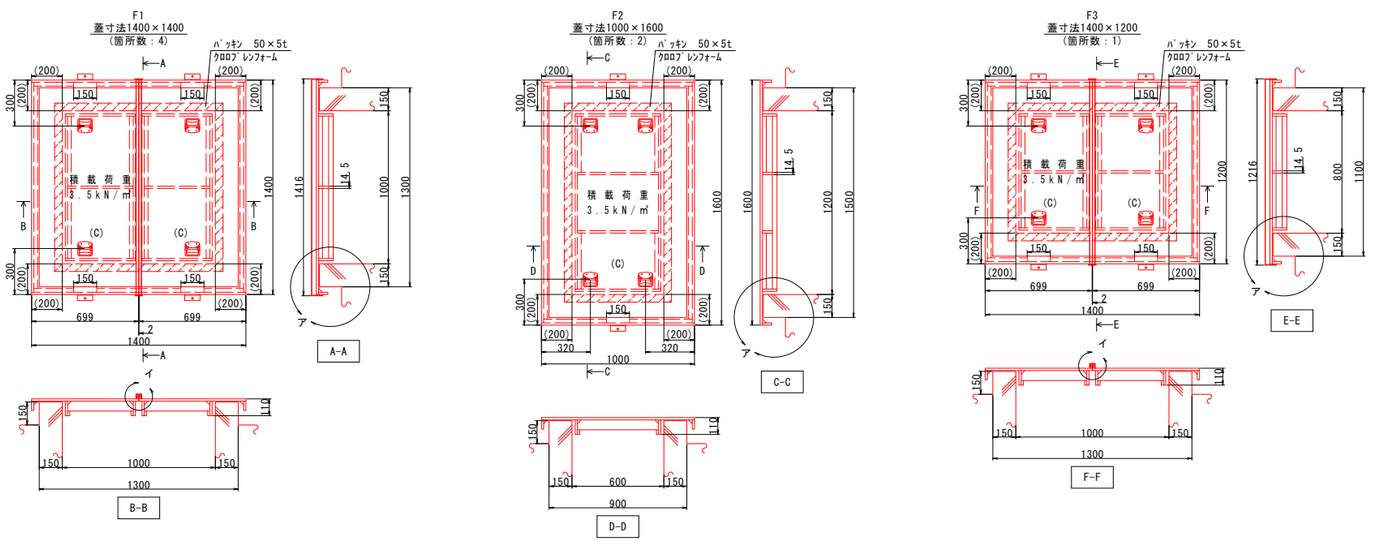
連通弁開閉機詳細図　縮尺；1/20



原水ポンプ詳細図　縮尺；1/20

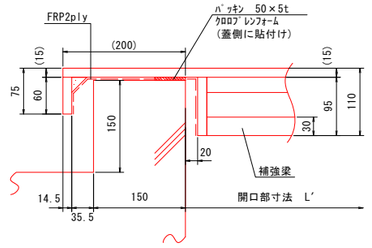


搬出入ハッチ詳細図　縮尺；1/20



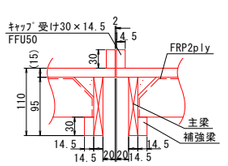
ア部詳細図　縮尺；1/5

F1・F2・F3



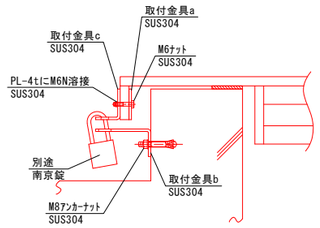
イ部詳細図　縮尺；1/5

F1・F3



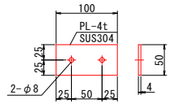
飛散防止（南京錠取付）詳細図　縮尺；1/5

F1・F2・F3



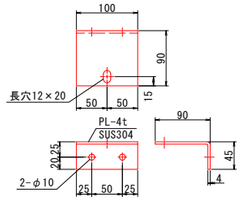
取付金具a　縮尺；1/5

製作数：F1…16，F2…4，F3…4



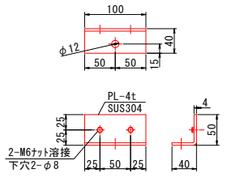
取付金具b　縮尺；1/5

製作数：F1…16，F2…4，F3…4



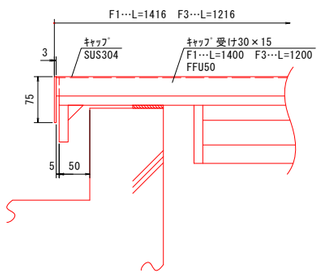
取付金具c　縮尺；1/5

製作数：F1…16，F2…4，F3…4



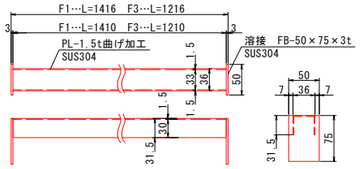
雨仕舞キャップ詳細図　縮尺；1/5

F1・F3

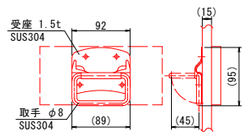


キャップ詳細図　縮尺；1/5

製作数：F1…4，F3…1



回転取手詳細図　縮尺；1/5



荷重表示スプレー 詳細図

黒文字

積載荷重
3.5kN/㎡

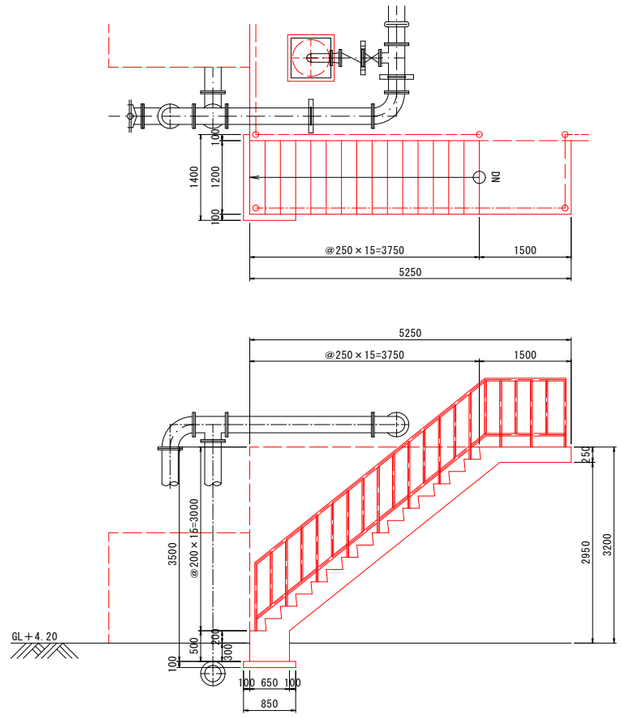
特記仕様（雨仕舞）

1．材質：ｶﾞﾗｽ長繊維強化硬質ｳﾚﾀﾝ樹脂発泡体（FFU）とする。
2．素材の厚み：使用する素材の厚みは14.5mmとする。
3．設計条件：設計荷重3.5kN/㎡または中央部1.0kN/枚のいずれか大きい荷重とする。
　　許容たわみ量　L/200以下
4．組立：ｴﾎﾟｷｼ系接着剤（ｴｽﾀﾞｲﾝ3120）とSUS製のｽｸﾘｭｰ釘及び木ねじを併用して組み立てる。
5．塗装：面板上面　－－－全面に砂付ｽﾍﾞﾘ止め加工後、ｱｸﾘﾙｳﾚﾀﾝ塗装を施す。
　　面板側面　－－－全面にｱｸﾘﾙｳﾚﾀﾝ塗装を施す。
　　色調は、ﾌﾞﾙｰ（L69-50T）とする。
　　【日本塗料工業会発行の塗料用標準色見本帳による】
6．荷重表示「積載荷重3.5kN/㎡」と黒ｽﾌﾟﾚｰで表示のこと。
7．寸法許容差は、ﾒｰｶｰ基準に準じます。

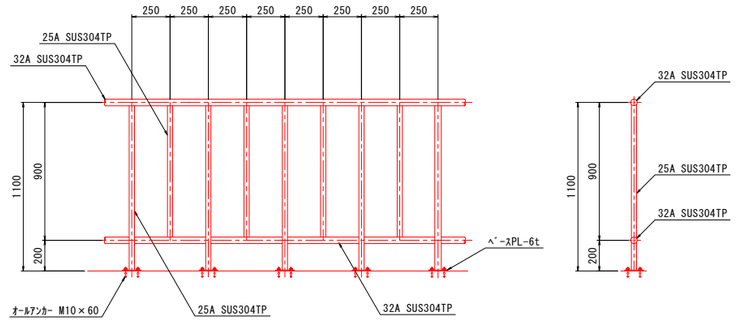
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井付帯設備詳細図1		
縮　尺	図示	図面番号	1-1-7
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新第2着水井付帯設備詳細図2

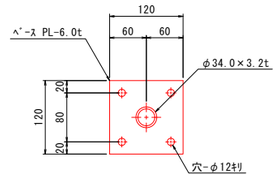
階段詳細図　縮尺：1/50



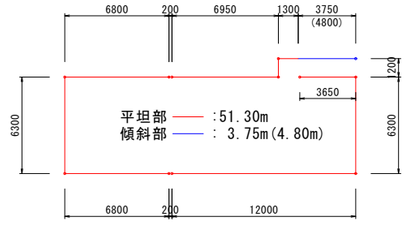
手摺詳細図　縮尺 1/20



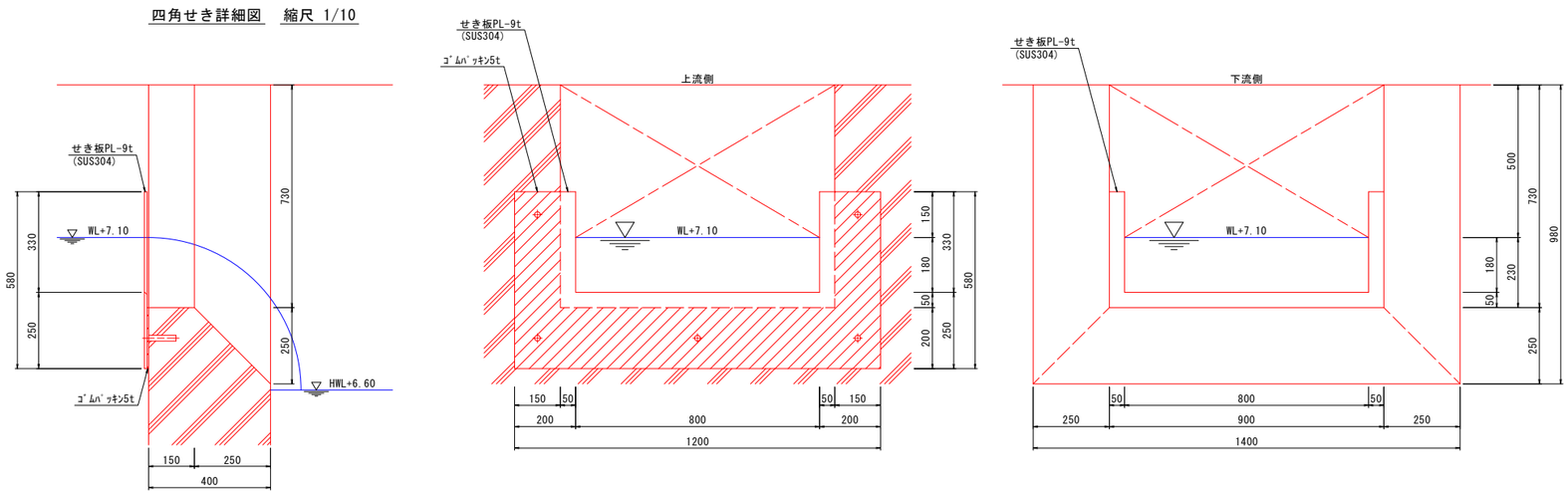
ﾍﾞｰｽPL詳細図　縮尺 1/5



手摺平面図　縮尺 1/200



四角せき詳細図　縮尺 1/10



仕上表

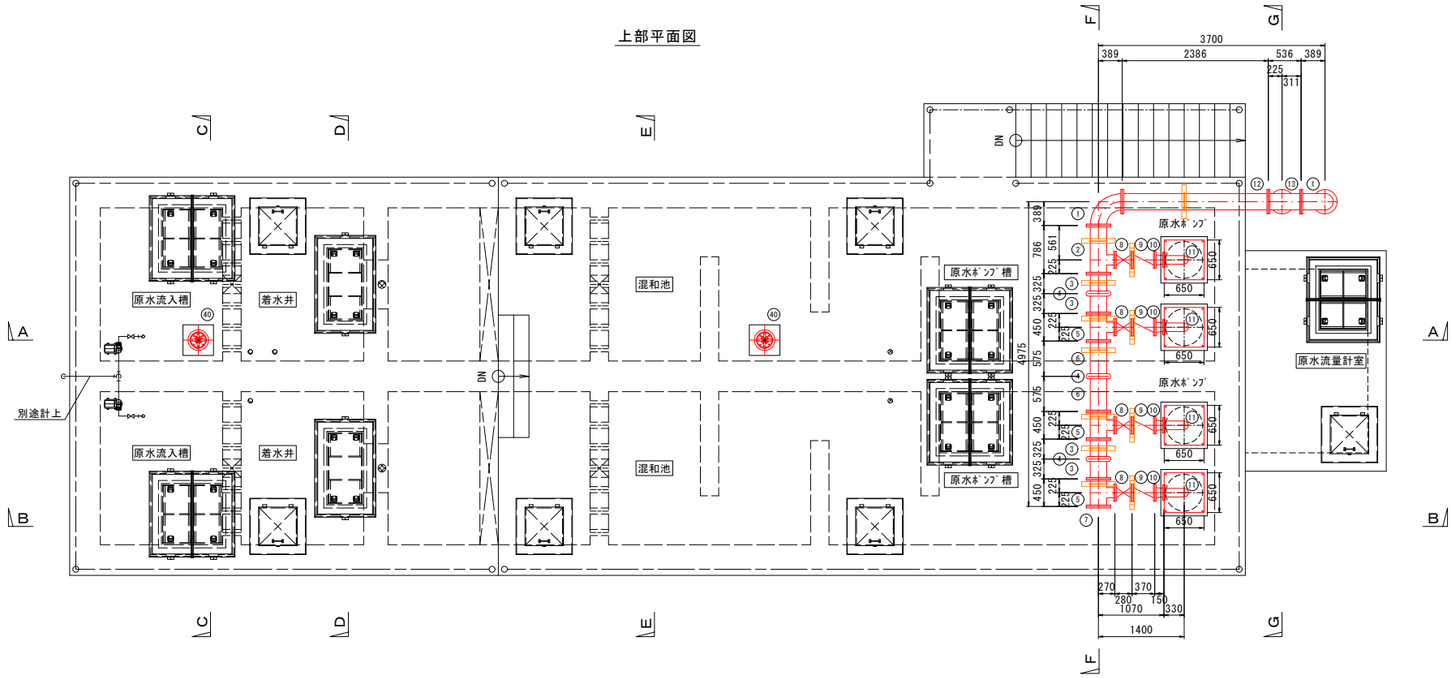
1	外部仕上	外面	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 防水型複層仕上（弾性ﾀｲﾙ）
		ｺﾝｸﾘｰﾄ床面	金ｺﾃ仕上
2	内部仕上	原水流量計室（床）	金ｺﾃ仕上
		原水流量計室（壁・天井）	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放仕上
		ｺﾝｸﾘｰﾄ床面，調整ｺﾝｸﾘｰﾄ床	金ｺﾃ仕上
		水槽内面	ｴﾎﾟｷｼ樹脂防水仕上（JWWA.K.143）
3	その他	手摺	SUS304製 H=1100,L=54.65m(56.10m)
		ﾀﾗｯﾌﾟ	SUS芯φ19 樹脂被覆 巾300 原水流入槽N=14×2,着水井N=14×2,混和池N=12×4, 原水流量計室N=8 計 112
		外階段	上面 防水ﾓﾙﾀﾙ仕上 t=30 ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ貼
		整流孔	VPφ100 着水井N=154,混和池N=126,計 280
		せき板	SUS304製 B=1200,H=580,b=800 t=9
		各槽及び渠	金ｺﾃ仕上

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井付帯設備詳細図2		
縮　尺	図示	図面番号	1-1-8
藍　住　町　上　下　水　道　課			

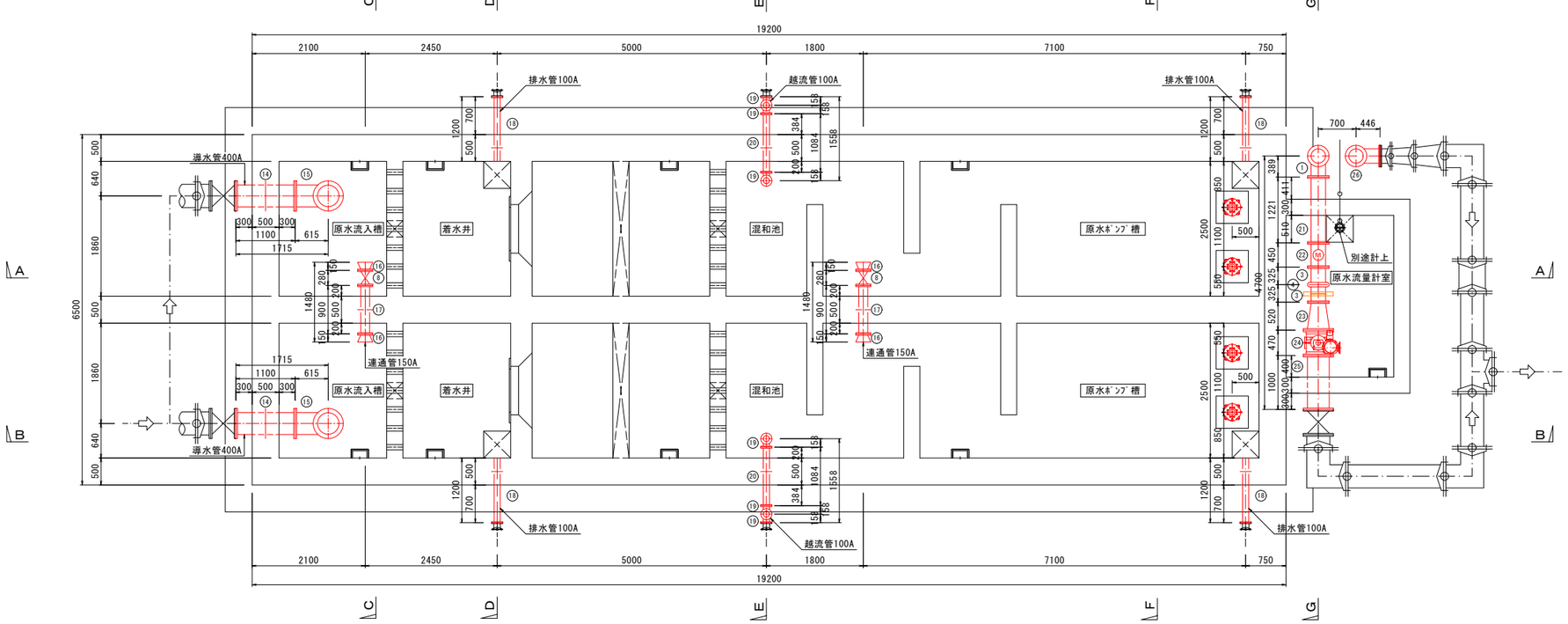
新第2着水井付帯配管詳細図1

縮尺：1/50

上部平面図



下部平面図

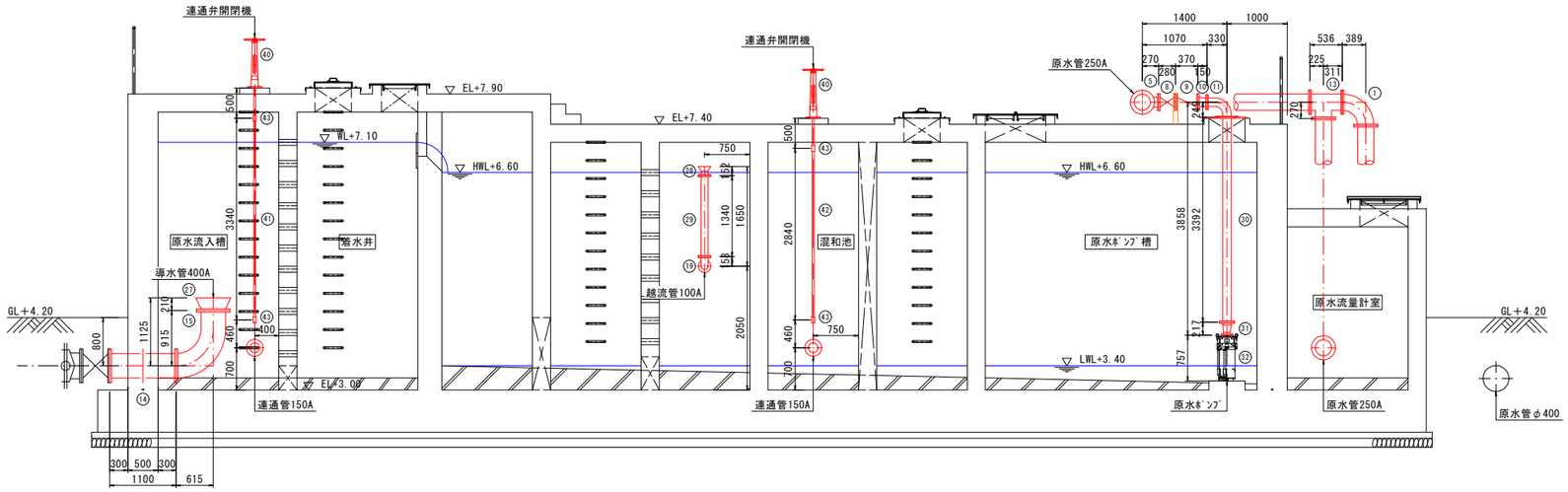


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井付帯配管詳細図1		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-9
藍　住　町　上　下　水　道　課			

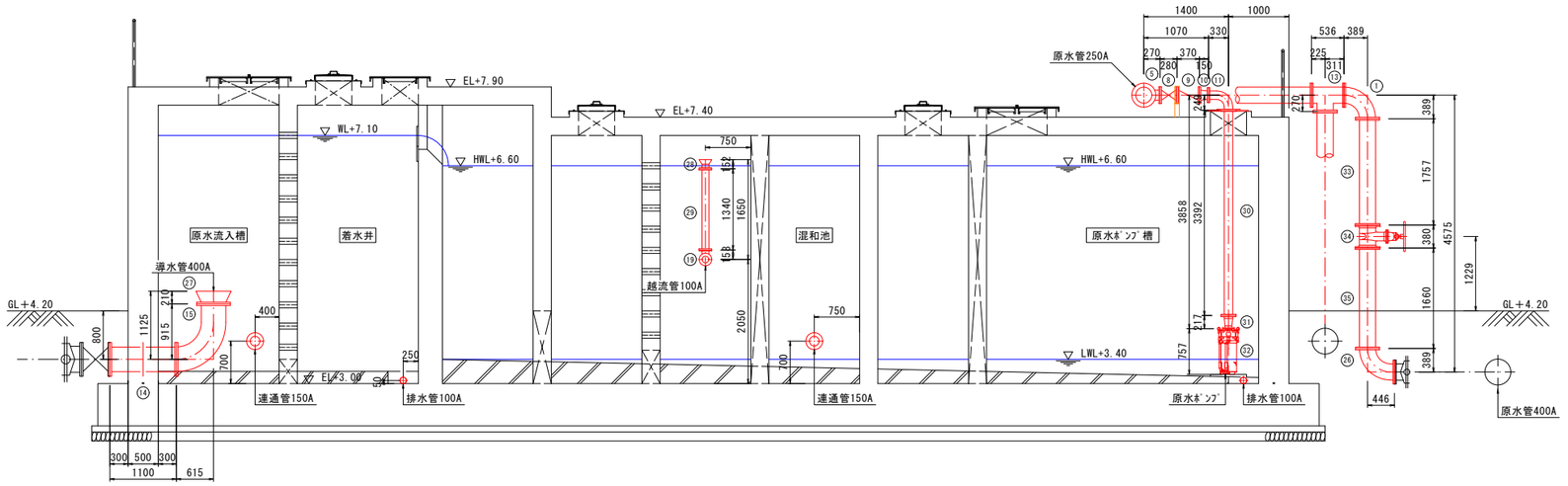
新第2着水井付帯配管詳細図2

縮尺：1/50

Ａ－Ａ断面図



Ｂ－Ｂ断面図

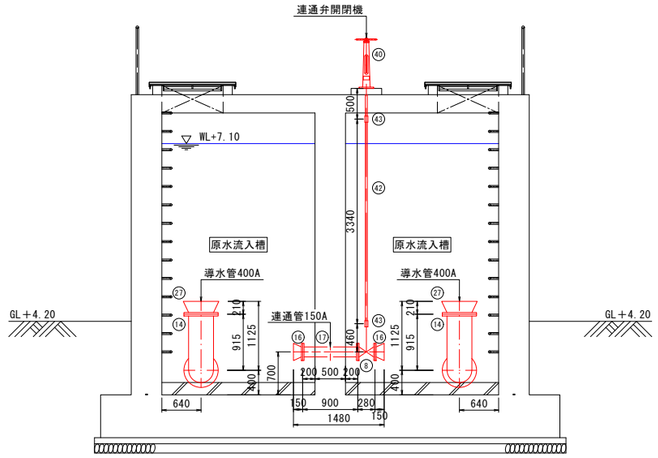


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井付帯配管詳細図2		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-10
藍　住　町　上　下　水　道　課			

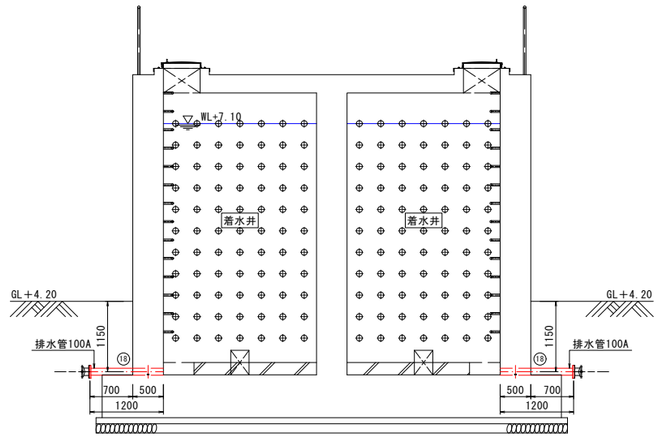
新第2着水井付帯配管詳細図3

縮尺：1/50

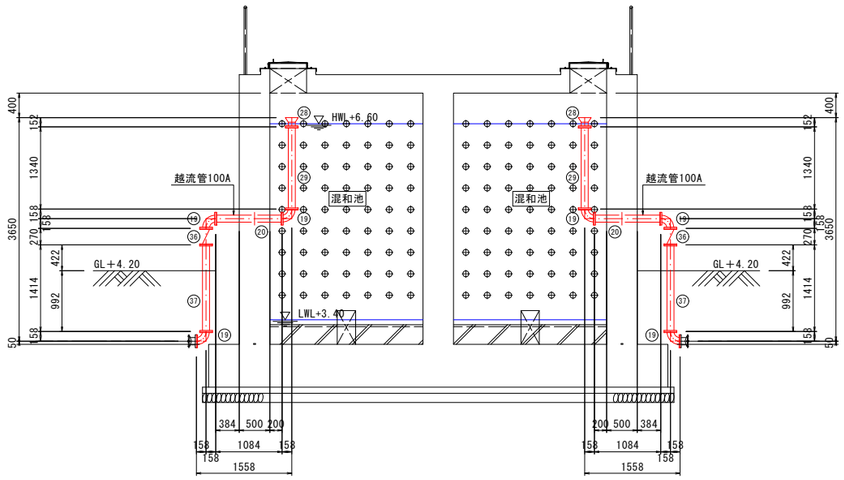
Ｃ－Ｃ断面図



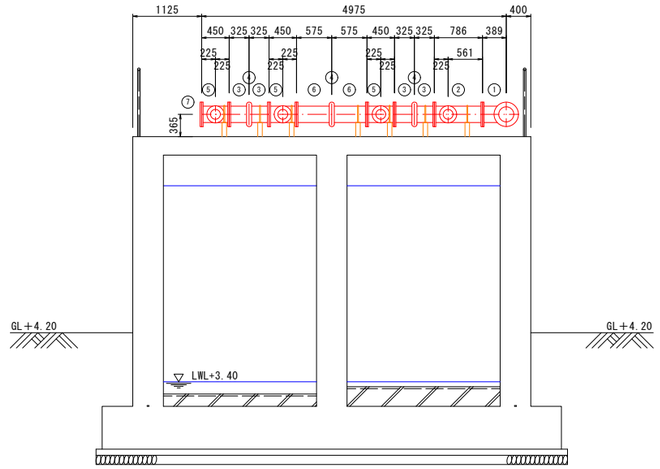
Ｄ－Ｄ断面図



Ｅ－Ｅ断面図



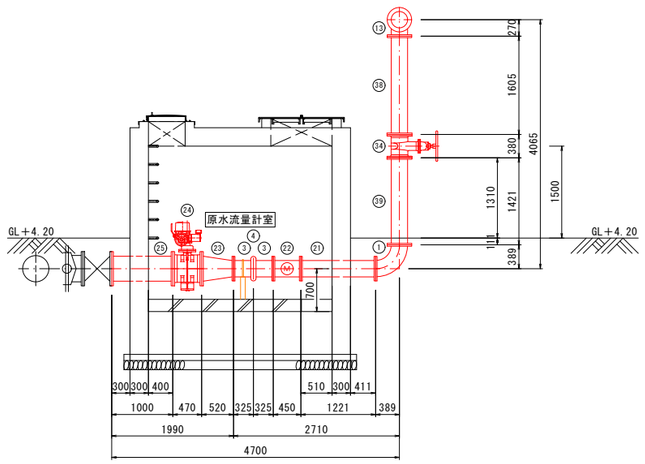
Ｆ－Ｆ断面図



工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井付帯配管詳細図3		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-11
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新第2着水井付帯配管詳細図4

Ⅰ－Ⅰ断面図　縮尺 1/50

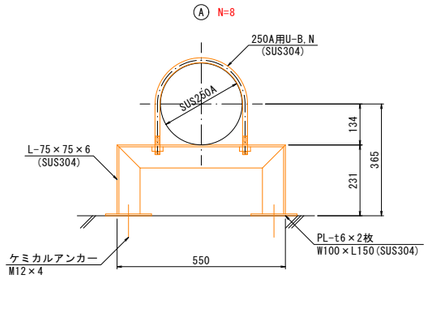


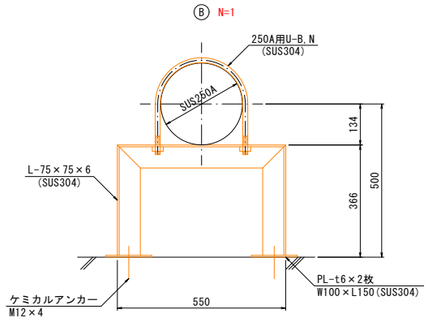
	資　材　名	数量	備考
①	SUS2F曲管　250A×L389×90°　×L389	3	10KF
②	SUS3FT字管　250A×L786×150A×L270	1	10KF
③	SUS1F1R短管　250A×L325	6	10KF
④	SUSリングジョイント　250A	4	
⑤	SUS3FT字管　250A×L450×150A×L270	3	10KF
⑥	SUS1F1R短管　250A×L575	2	10KF
⑦	SUSフランジ盖　250A	1	10KF
⑧	SUS製仕切弁　150A	6	10KF
⑨	SUS製逆止弁　150A	4	10KF
⑩	SUS2F片落管　150A×125A×L150	4	10KF
⑪	SUS2F吐出し曲管　125A×L330×90°　×L249　台板付	4	10KF
⑫	SUS2F短管　250A×L2375	1	10KF
⑬	SUS3FT字管　250A×L536×250A×L270	1	10KF
⑭	SUS2Fバドル付短管　400A×L1100	2	10KF
⑮	SUS2F曲管　400A×L615×90°　×L915	2	10KF
⑯	SUS1Fラッパ口　150A×L150	4	10KF
⑰	SUS2Fバドル付短管　150A×L900	2	10KF
⑱	SUS2Fバドル付短管　100A×L1200	4	10KF
⑲	SUS2F曲管　100A×L158×90°　×L158	6	10KF
⑳	SUS2Fバドル付短管　100A×L1084	2	10KF

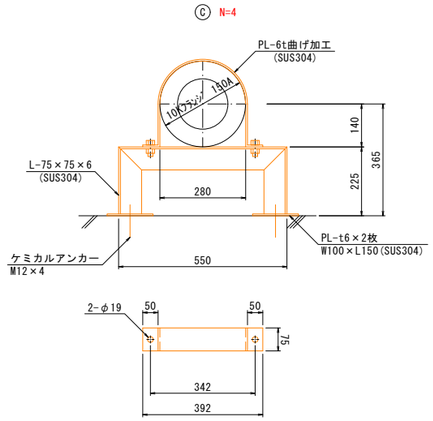
原水ポンプ
水中ポンプ
100BMS611A（相当品）
2.11m3/min×H15m×11kW×4台（1台予備）

	資　材　名	数量	備考
㉑	SUS2F短管　250A×L1221	1	10KF
㉒	電磁流量計　250A(別途計上)	1	10KF
㉓	SUS2F片落管　400A×250A×L520	1	10KF
㉔	電動バタフライ弁　400A	1	10KF
㉕	SUS2F短管　400A×L1000	1	10KF
㉖	SUS2F曲管　250A×L389×90°　×L446	1	10KF
㉗	SUS1Fラッパ口　400A×L210	2	10KF
㉘	SUS1Fラッパ口　100A×L152	2	10KF
㉙	SUS2F短管　100A×L1340	2	10KF
㉚	SUS2F短管　125A×L3392	4	10KF
㉛	SUS2F片落管　125A×100A×L217	4	10KF
㉜	原水ポンプ　100A	4	10KF
㉝	SUS2F短管　250A×L1757	1	10KF
㉞	SUS製仕切弁　250A	2	10KF
㉟	SUS2F短管　250A×L1660	1	10KF
㊱	SUS製逆止弁　100A	2	10KF
㊲	SUS2F短管　100A×L1414	2	10KF
㊳	SUS2F短管　250A×L1605	1	10KF
㊴	SUS2F短管　250A×L1421	1	10KF
㊵	手動式開閉機	2	
㊶	SUS継足ロッド　φ32×L3340　中間軸受付	1	
㊷	SUS継足ロッド　φ32×L2840	1	
㊸	中間ジョイント	4	
	管支持金具Ａ　250A用	8	
	管支持金具Ｂ　250A用	1	
	管支持金具Ｃ　10Kフランジ 150A用	4	

支持金具詳細図　縮尺 1/10



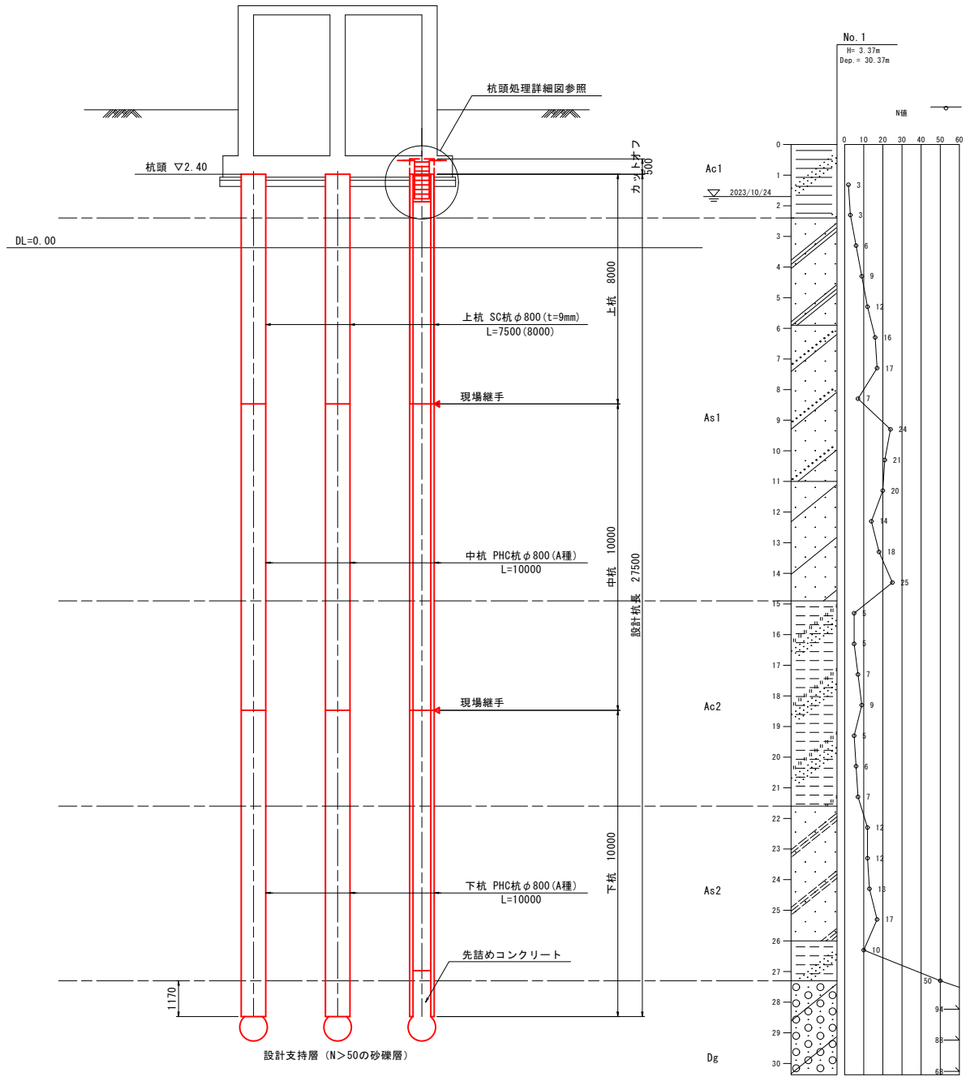




工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井付帯配管詳細図4		
縮　尺	図示	図面番号	1-1-12
藍　住　町　上　下　水　道　課			

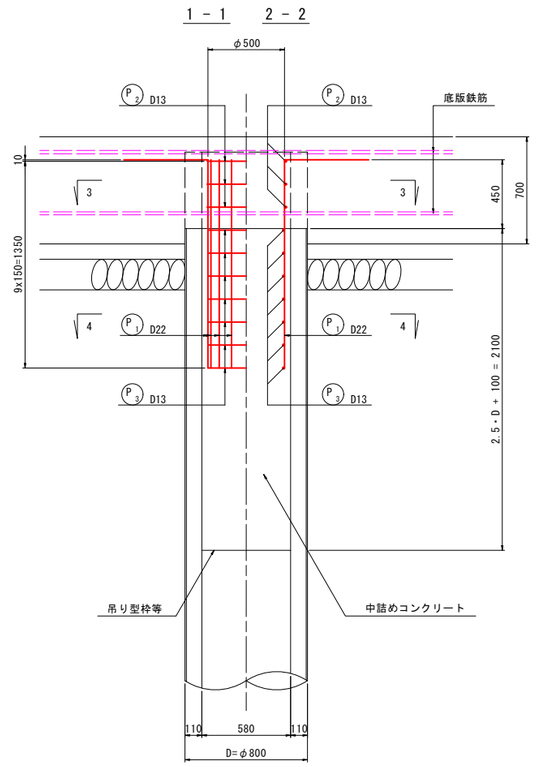
新第2着水井杭基礎詳細図

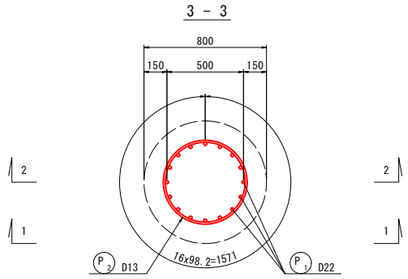
断面図　縮尺；1/100

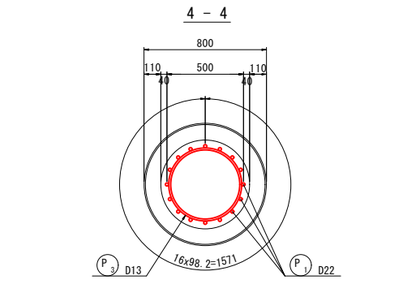


※ 施工法はプレボーリング工法とし、杭先端処理方法は認定工法によること。

杭頭処理詳細図　縮尺；1/20



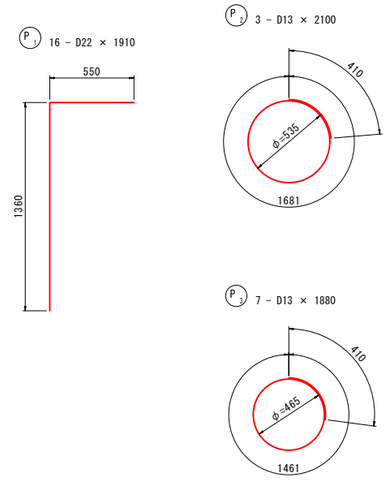




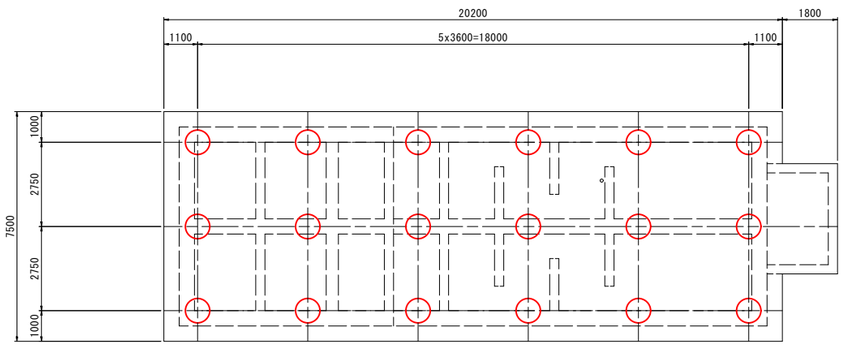
鉄筋表

（1ヶ所当り）

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	形状	備考
P 1	D22	1910	16	3.04	5.81	93	⌐	
2	D13	2100	3	0.995	2.09	6	○	
3	D13	1880	7	0.995	1.87	13	○	
						112 kg		
				(SD345)	D13	19 kg		
					D22	93 kg		
					鉄筋総重量	112 kg		



基礎杭配置図



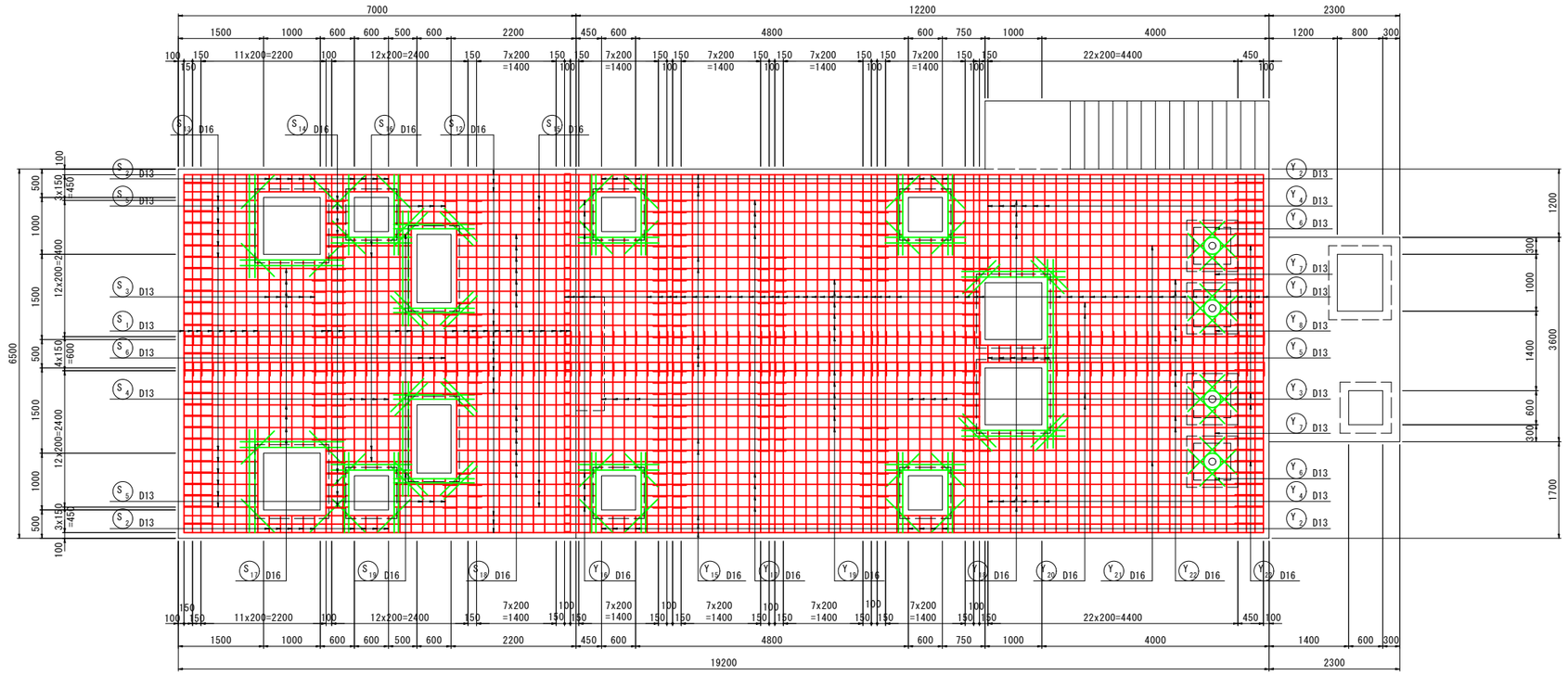
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井杭基礎詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	1-1-13
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新第2着水井配筋図1

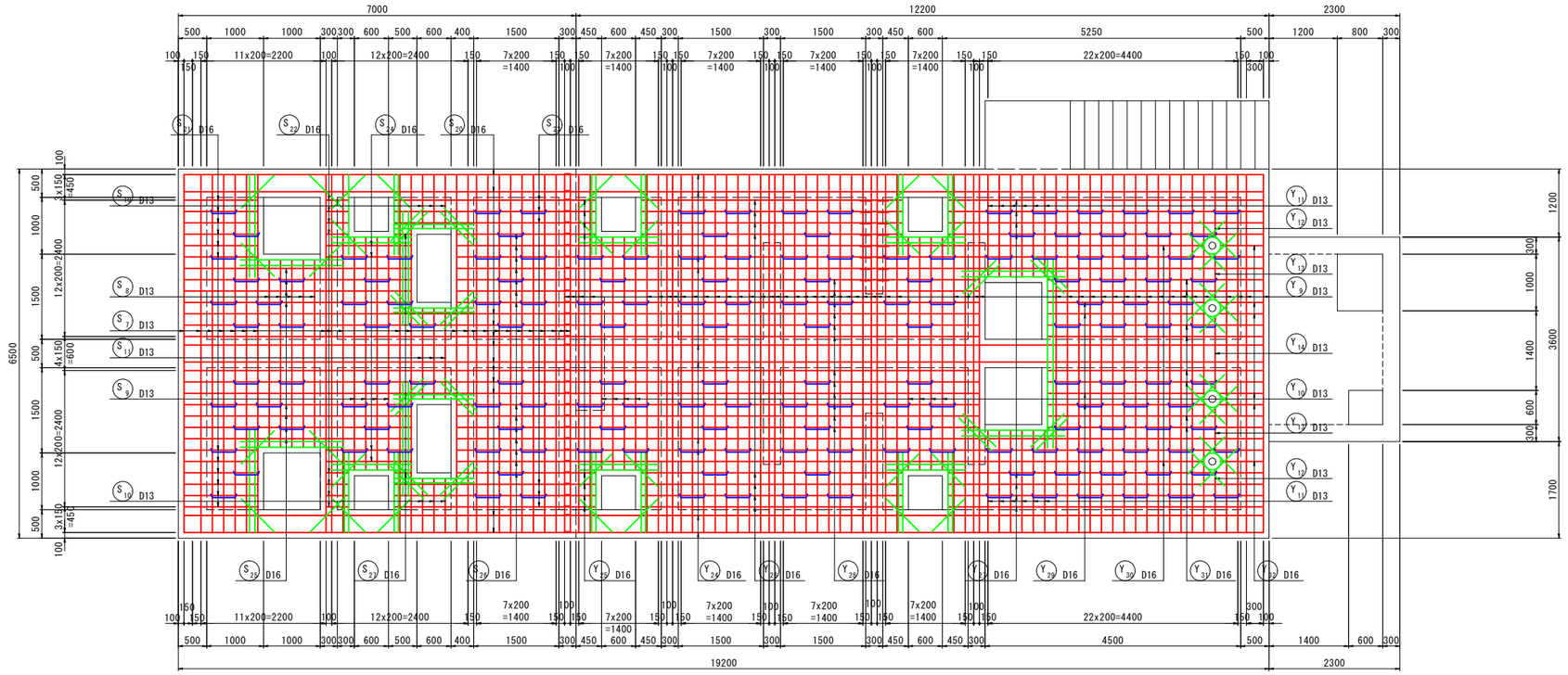
縮尺：1/50

着水井・混和池頂版

上 面

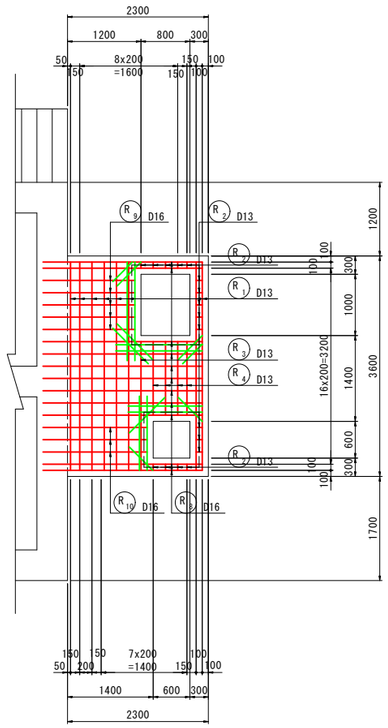


下 面

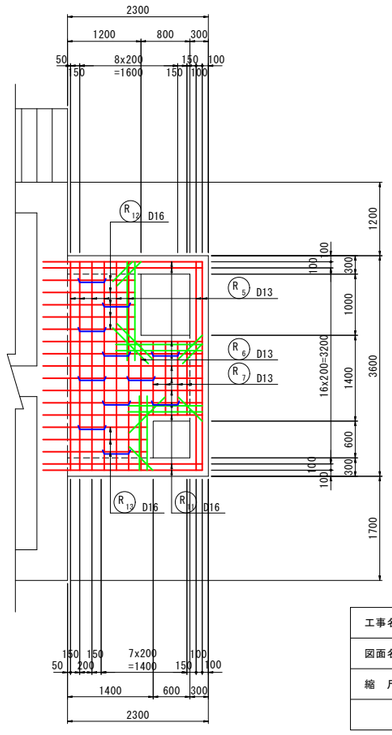


原水流量計室頂版

上 面



下 面



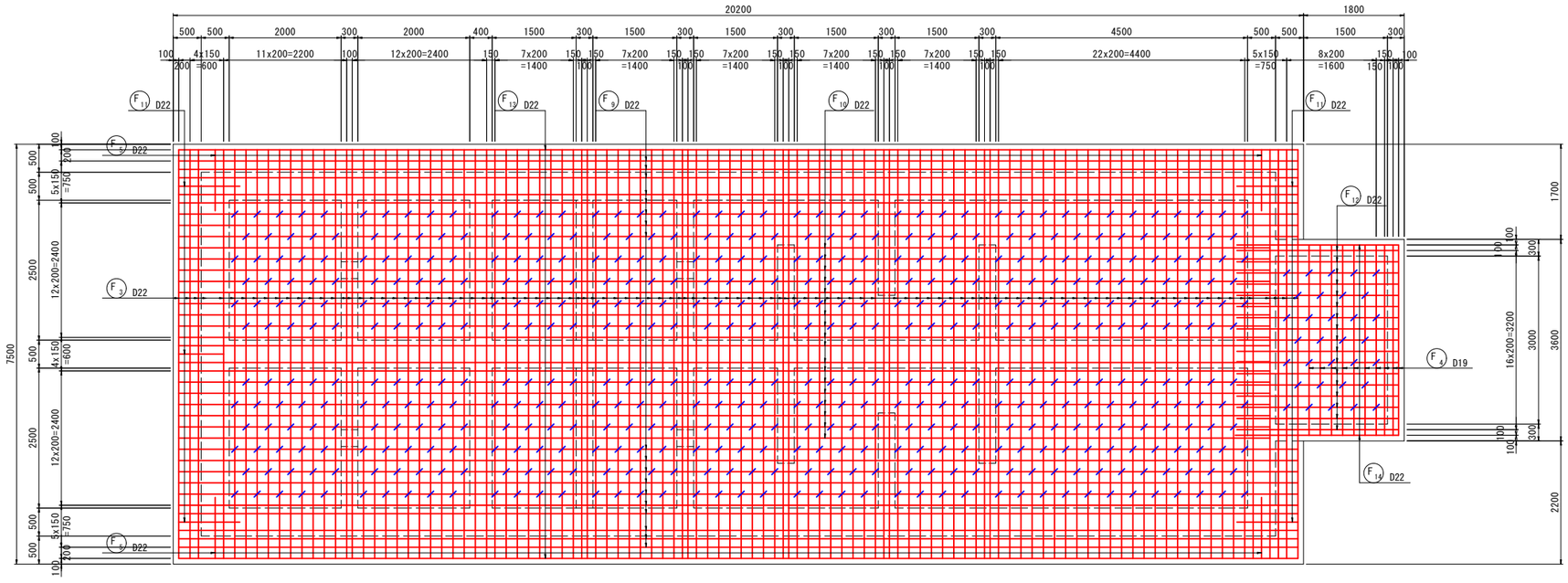
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井配筋図1		
縮 尺	1/50	図面番号	1-1-14
藍 住 町 上 下 水 道 課			

新第2着水井配筋図2

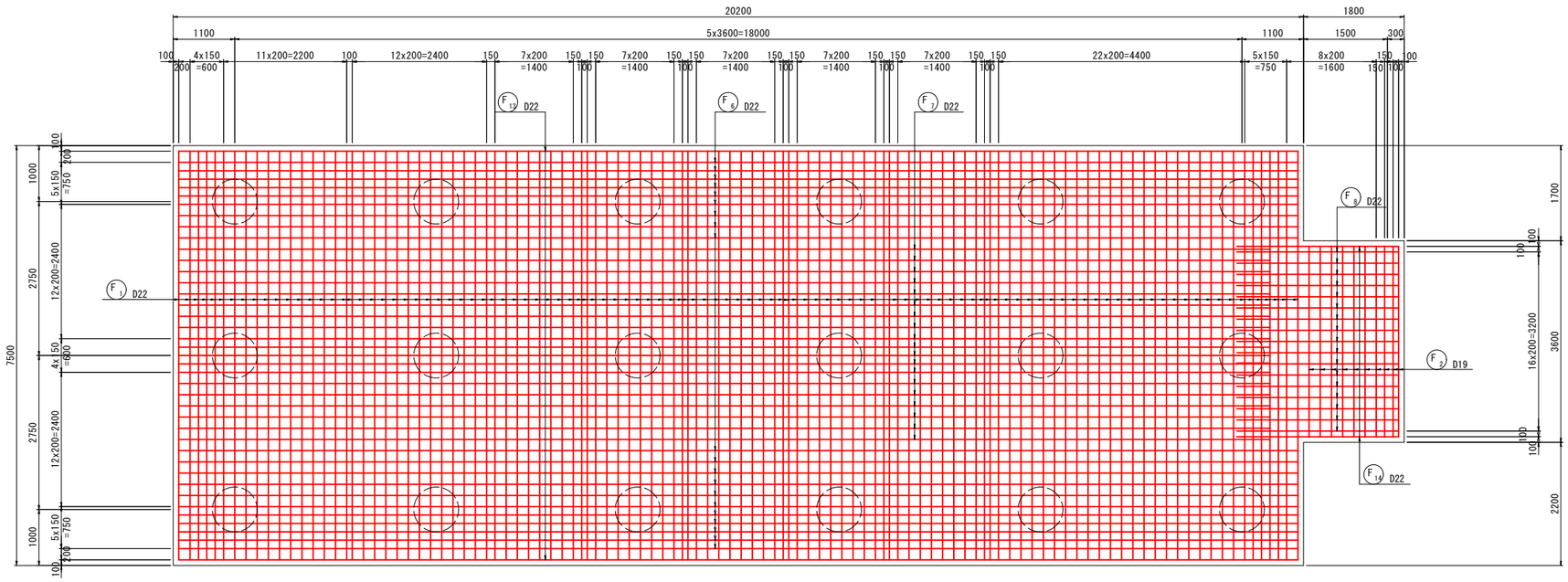
縮尺：1/50

底 版

上 面



下 面



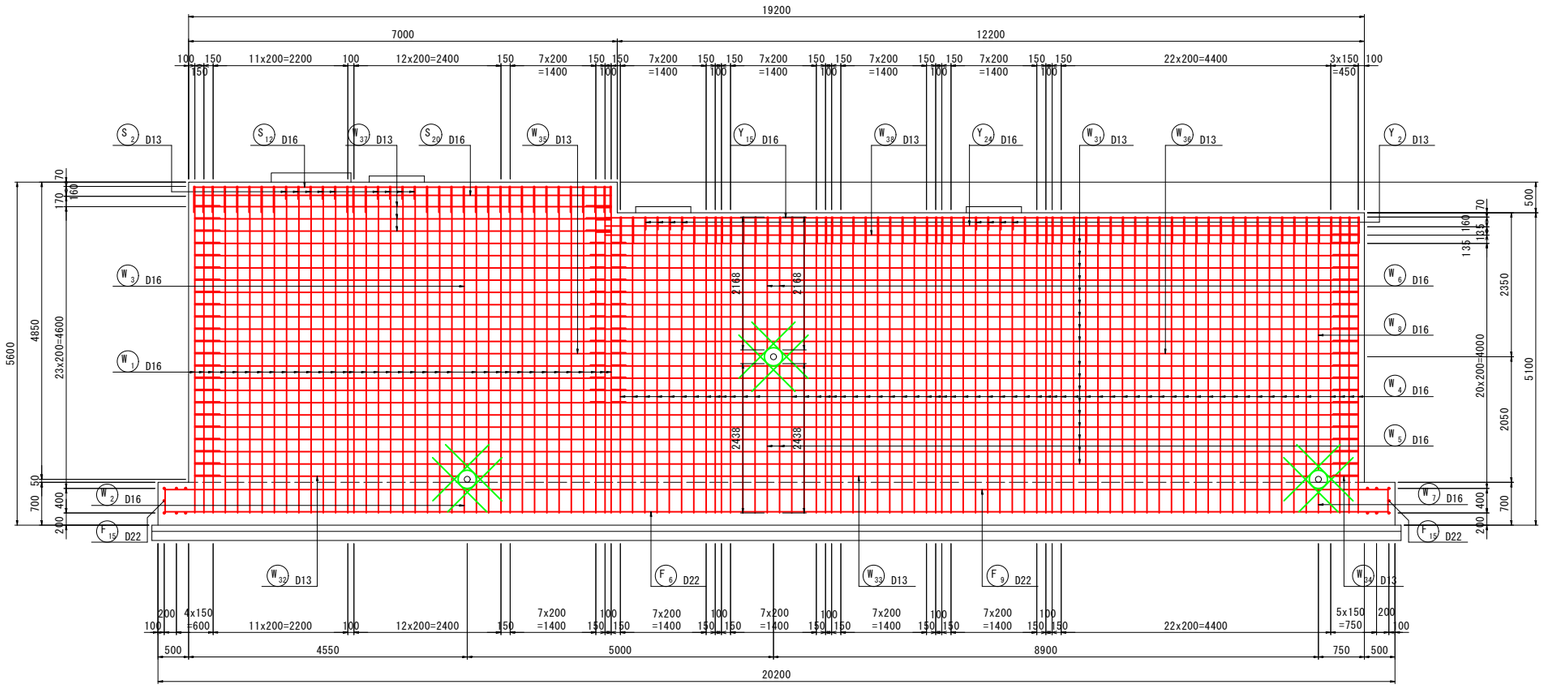
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井配筋図2		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-15
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新第2着水井配筋図3

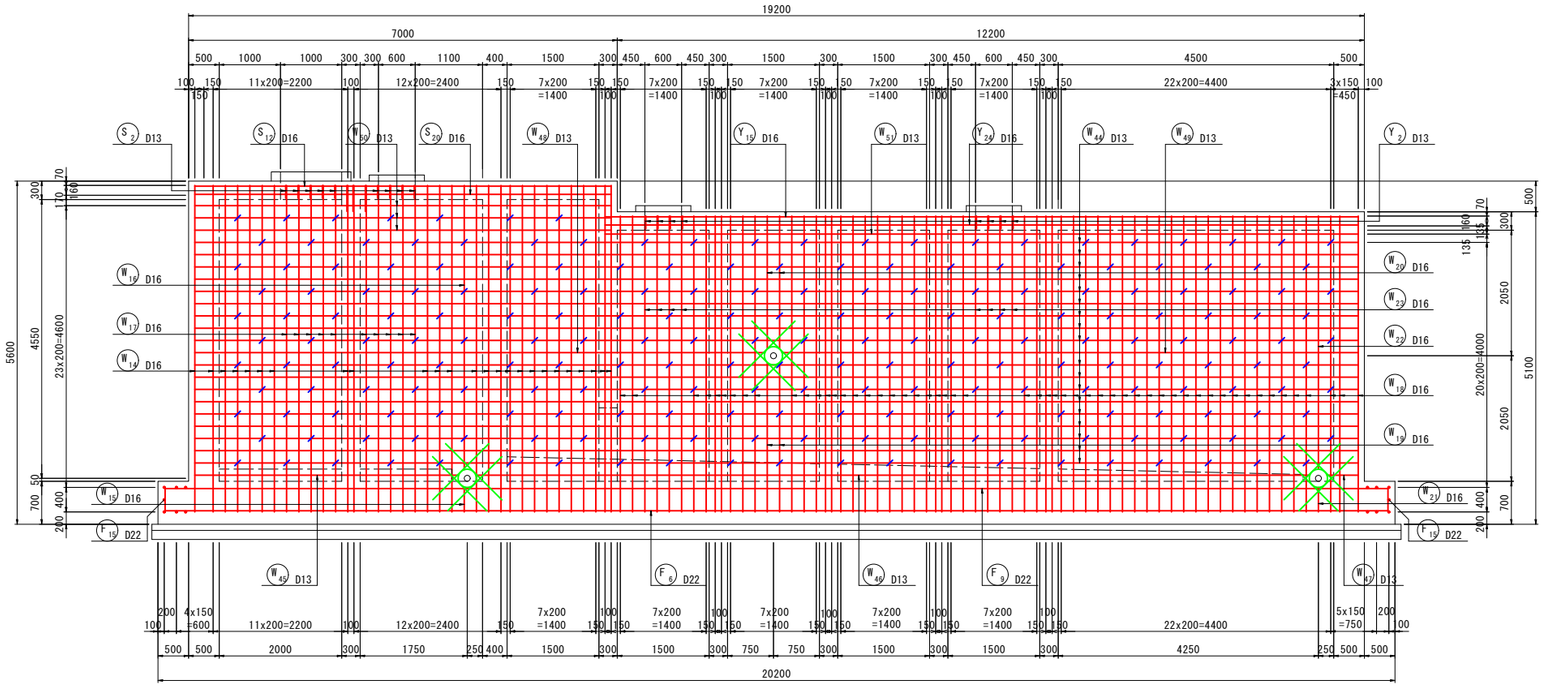
縮尺：1/50

側壁1 － 1

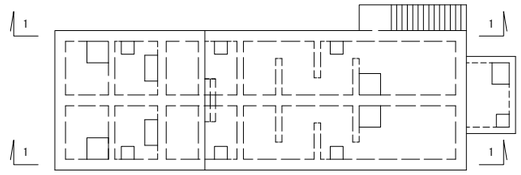
外 側



内 側



位置図



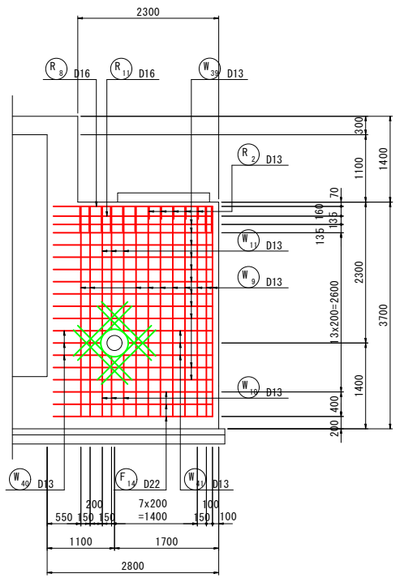
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井配筋図3		
縮 尺	1/50	図面番号	1-1-16
藍 住 町 上 下 水 道 課			

新第2着水井配筋図4

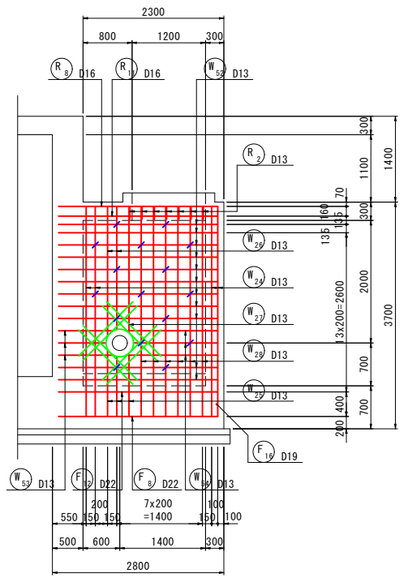
縮尺：1/50

側壁2 － 2

外 側

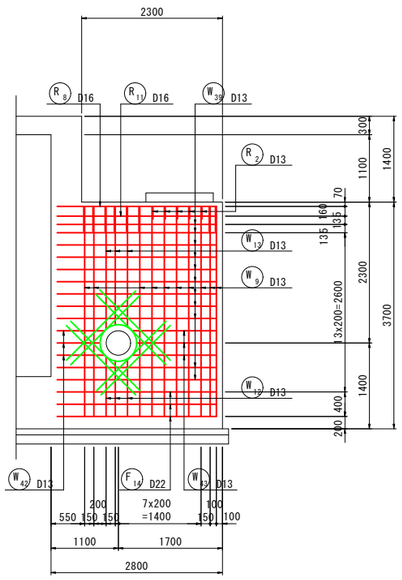


内 側

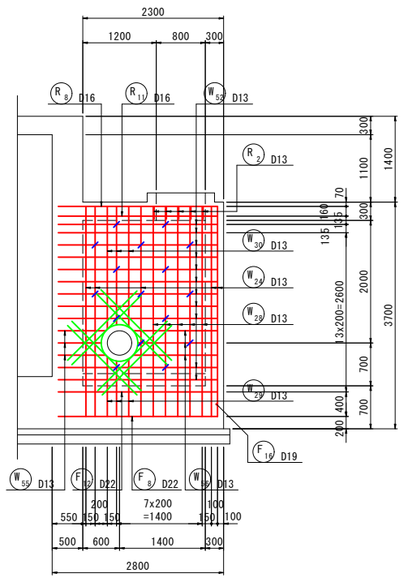


側壁3 － 3

外 側

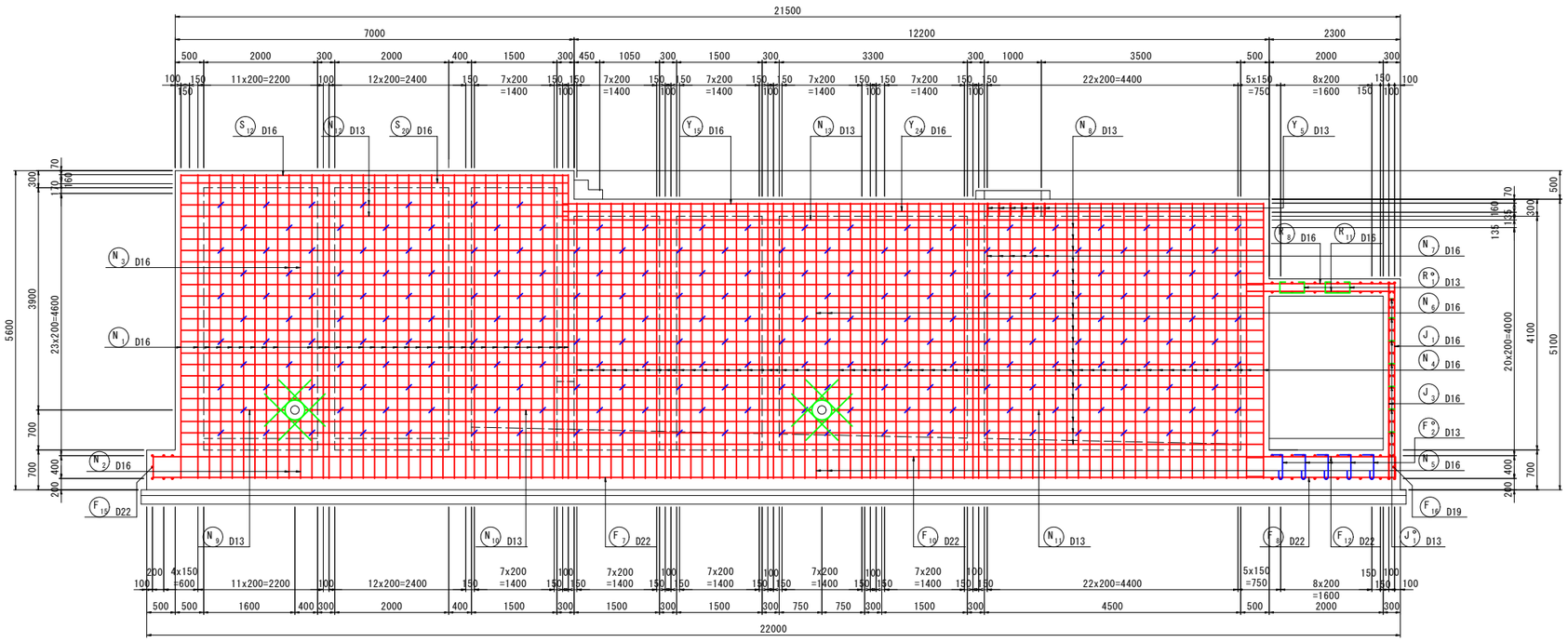


内 側

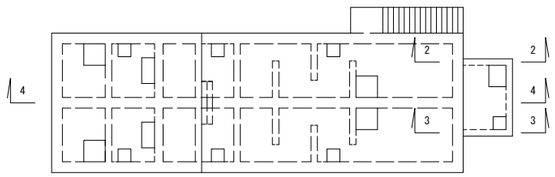


中壁4 － 4

両 面



位置図



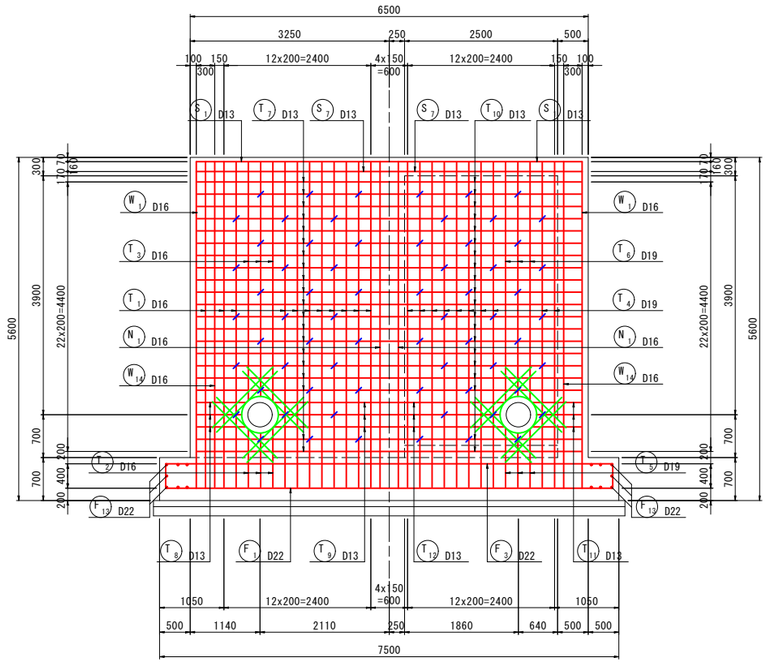
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井配筋図4		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-17
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新第2着水井配筋図5

縮尺：1/50

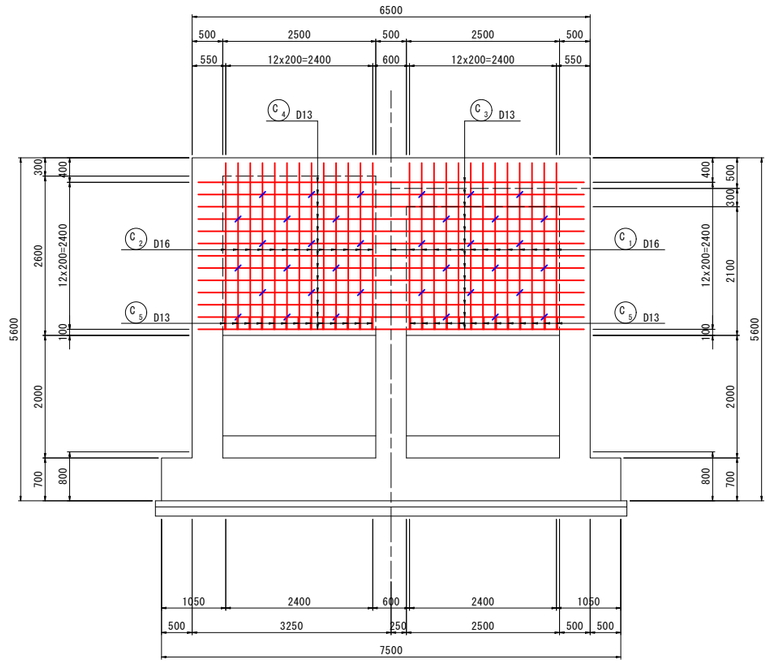
妻壁5 － 5

外 側　　内 側



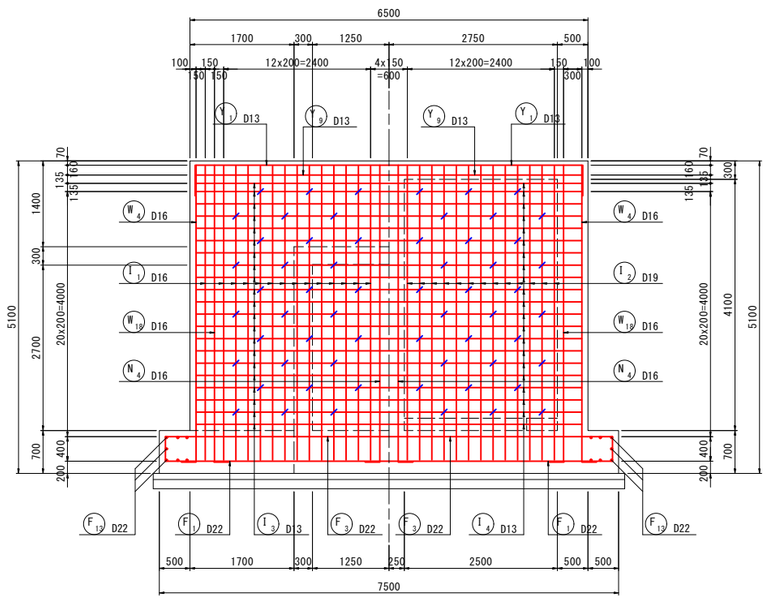
側壁6 － 6

着水井側　　混和池側



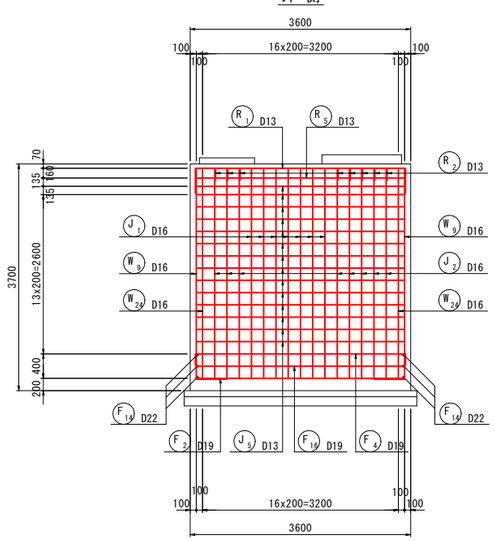
妻壁7 － 7

外 側　　内 側

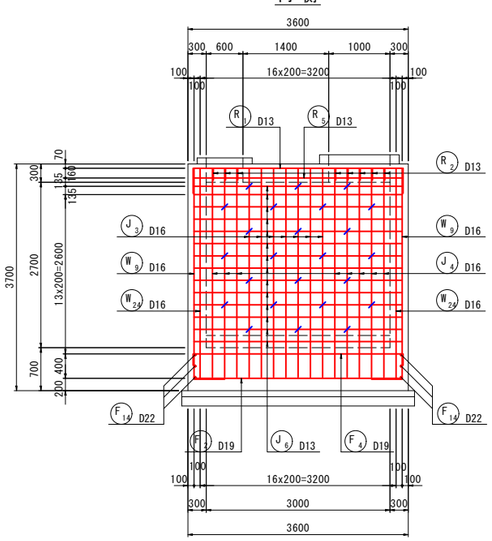


妻壁8 － 8

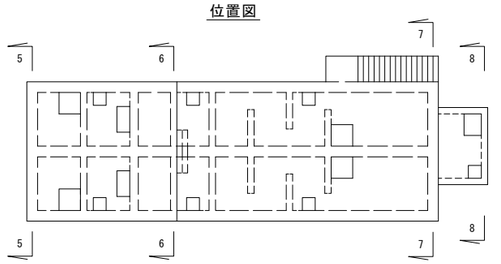
外 側



内 側



位置図



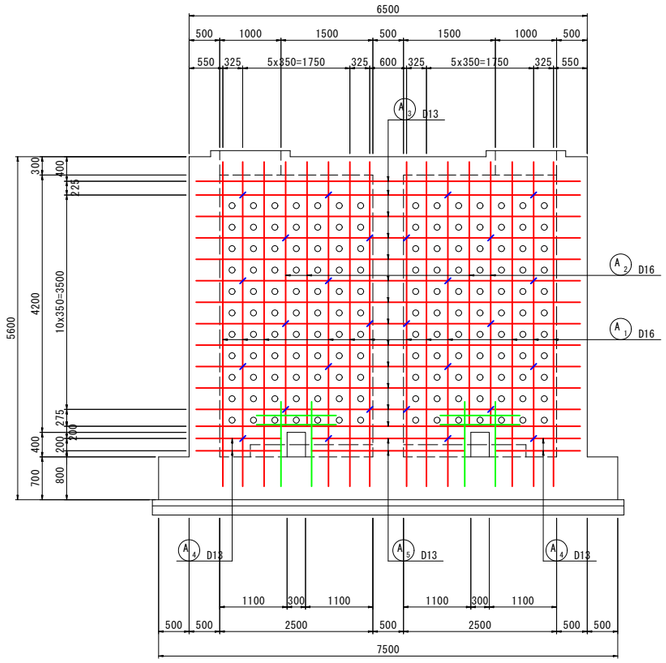
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井配筋図5		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-18
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新第2着水井配筋図6

縮尺：1/50

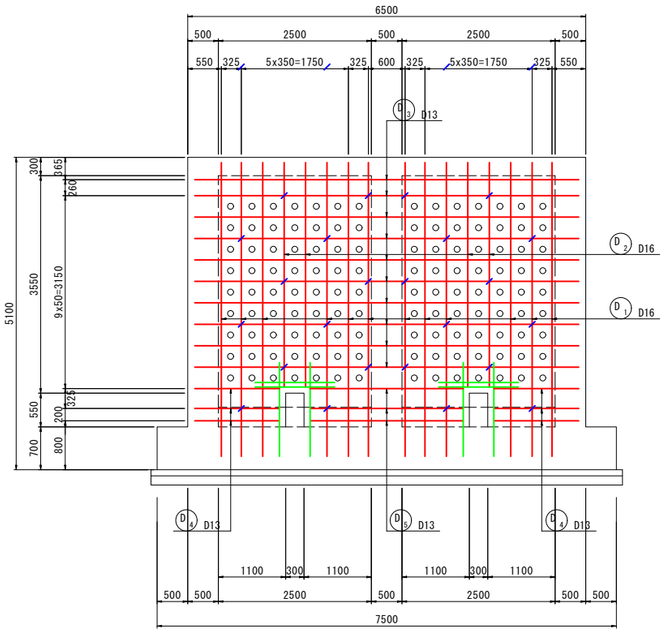
整流壁9 － 9

両 面



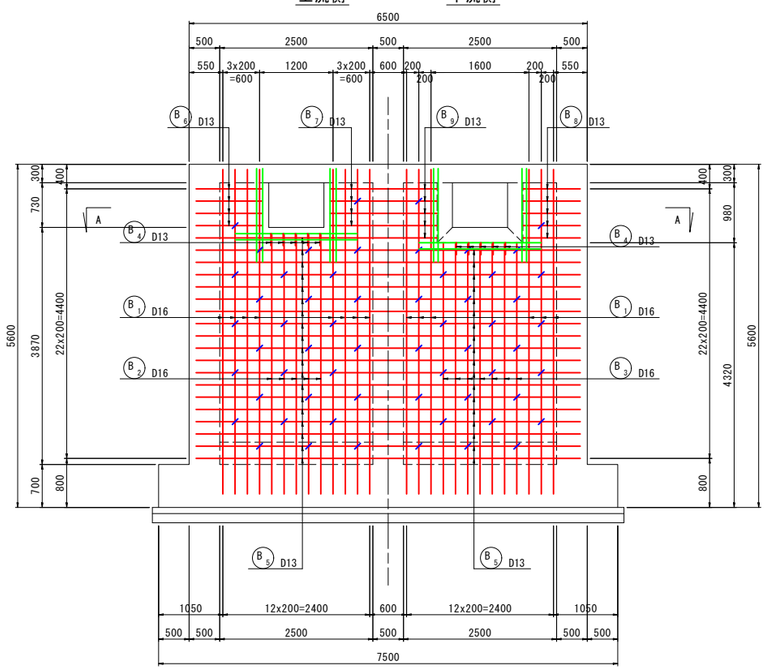
整流壁11 － 11

両 面

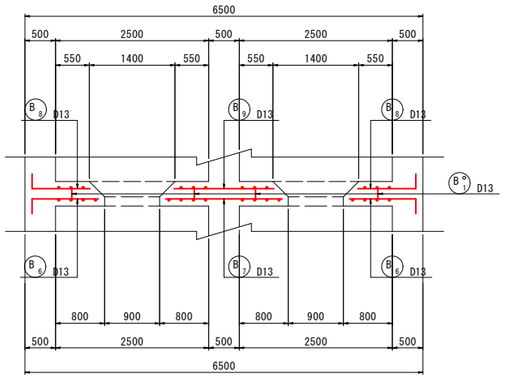


越流壁10 － 10

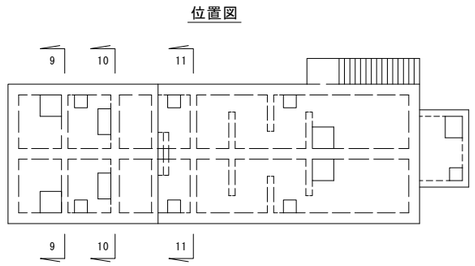
上流側　　下流側



A － A



位置図

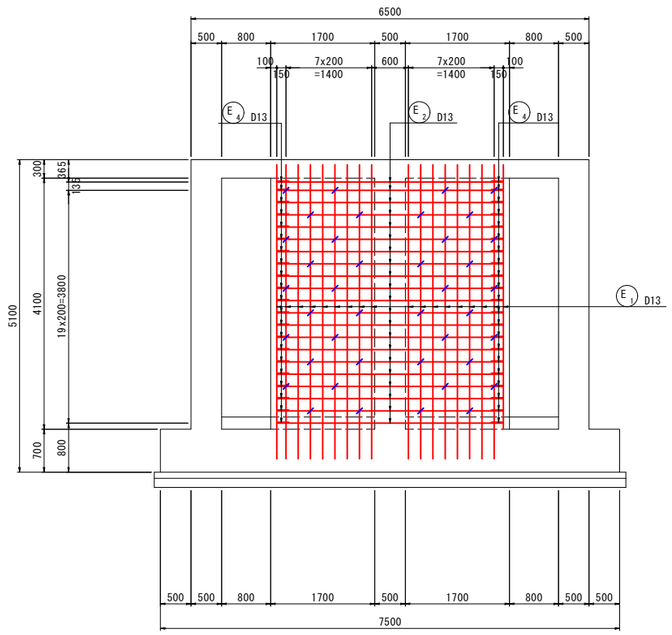


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井配筋図6		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-19
藍　住　町　上　下　水　道　課			

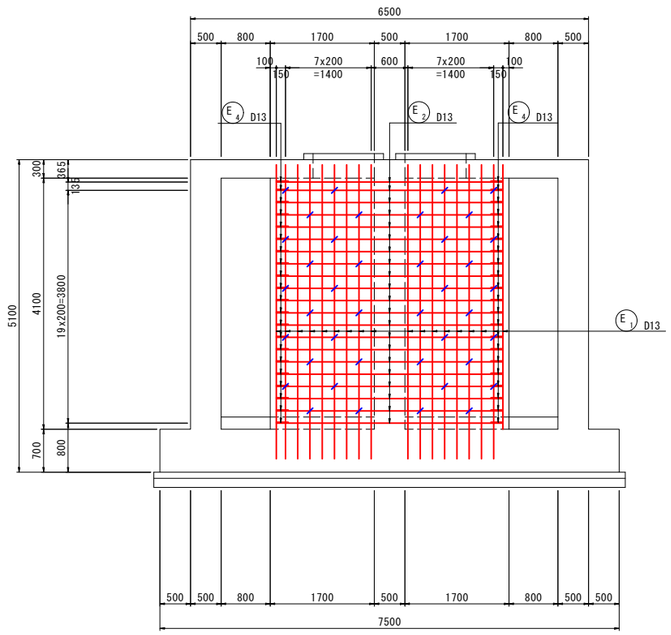
新第2着水井配筋図7

縮尺：1/50

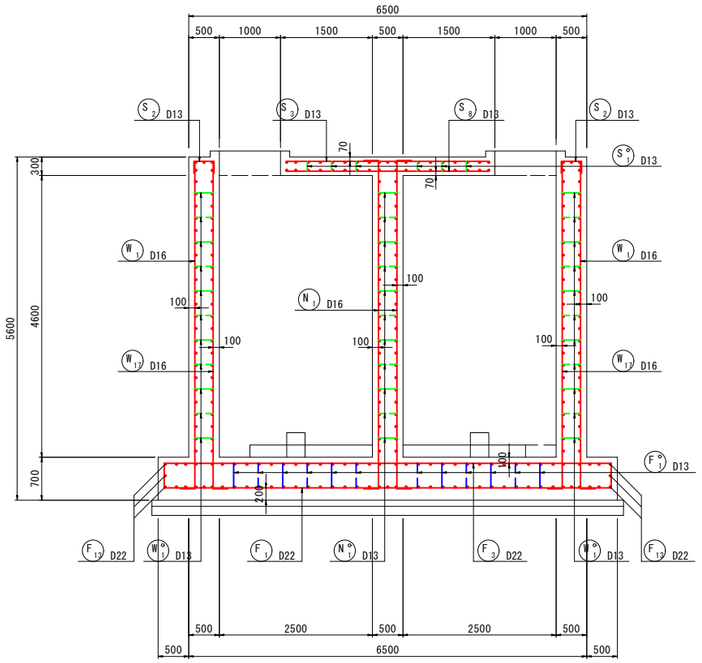
迂流壁12 － 12



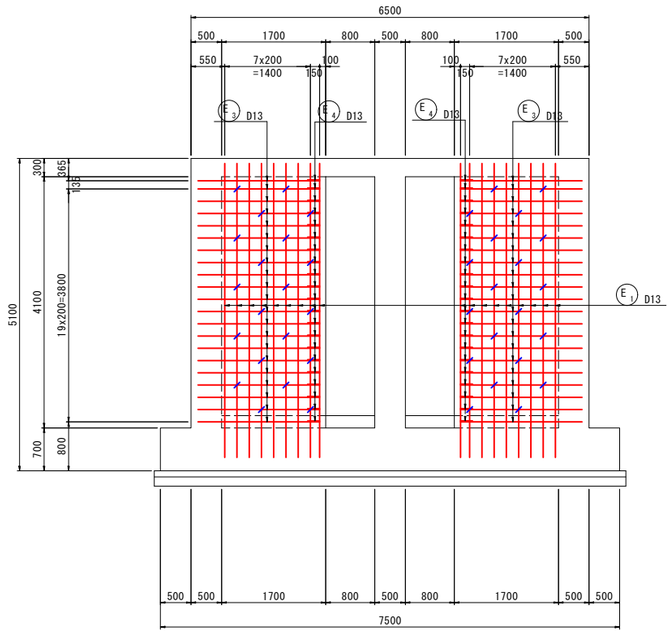
迂流壁14 － 14



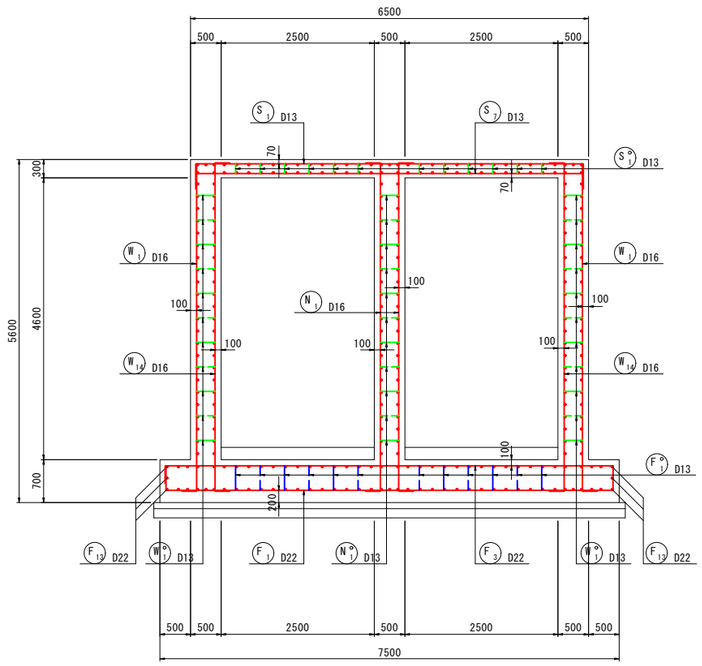
16 － 16



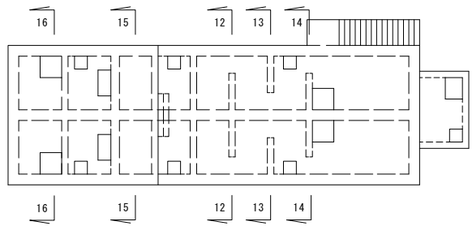
迂流壁13 － 13



15 － 15



位置図

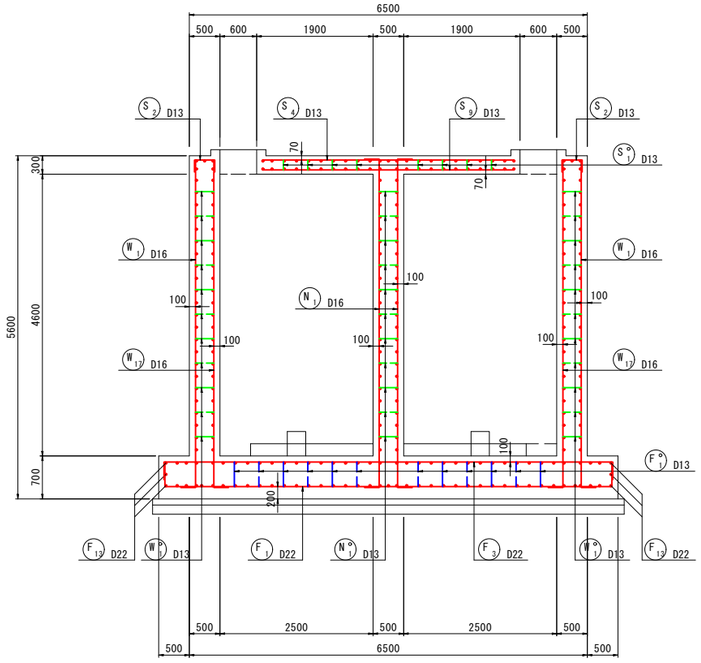


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井配筋図7		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-20
藍　住　町　上　下　水　道　課			

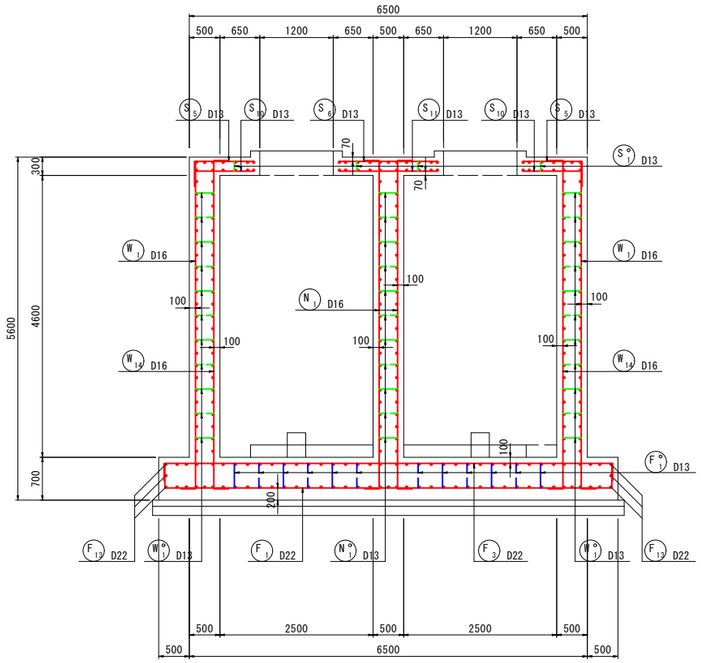
新第2着水井配筋図8

縮尺：1/50

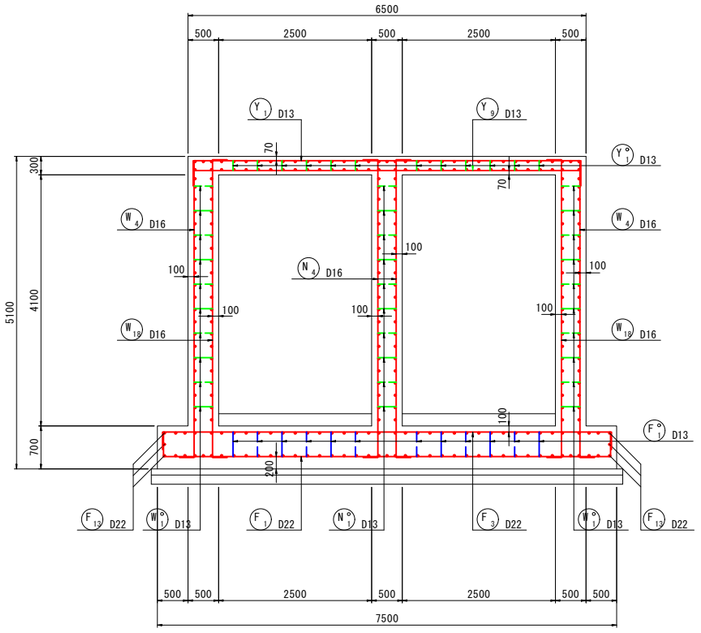
17 － 17



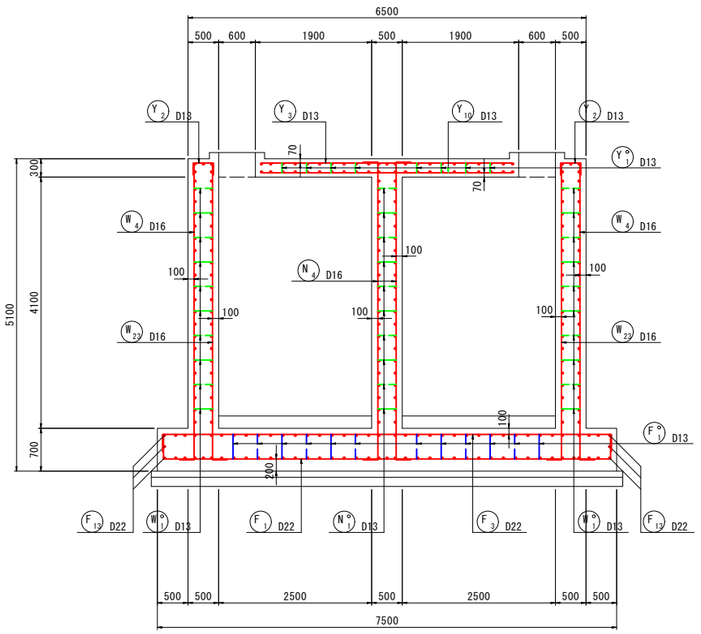
18 － 18



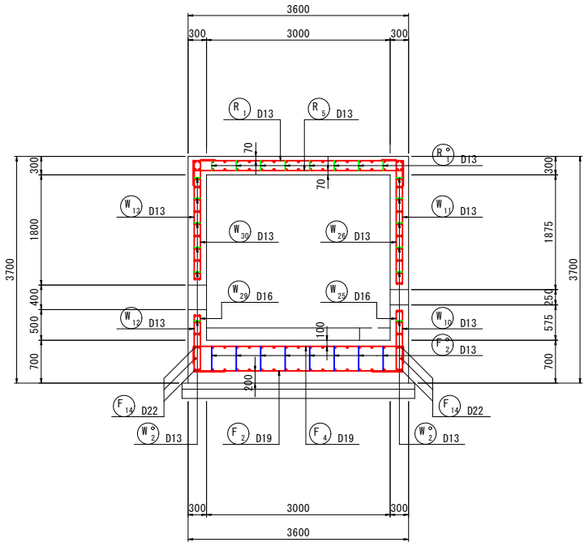
19 － 19



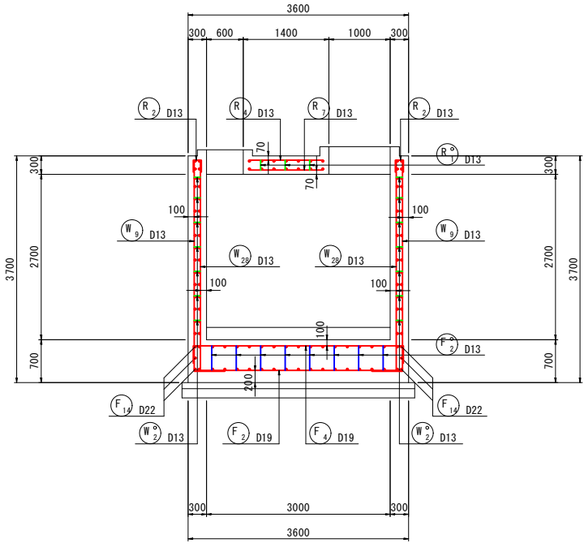
20 － 20



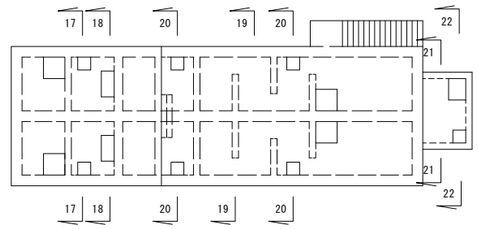
21 － 21



22 － 22



位置図

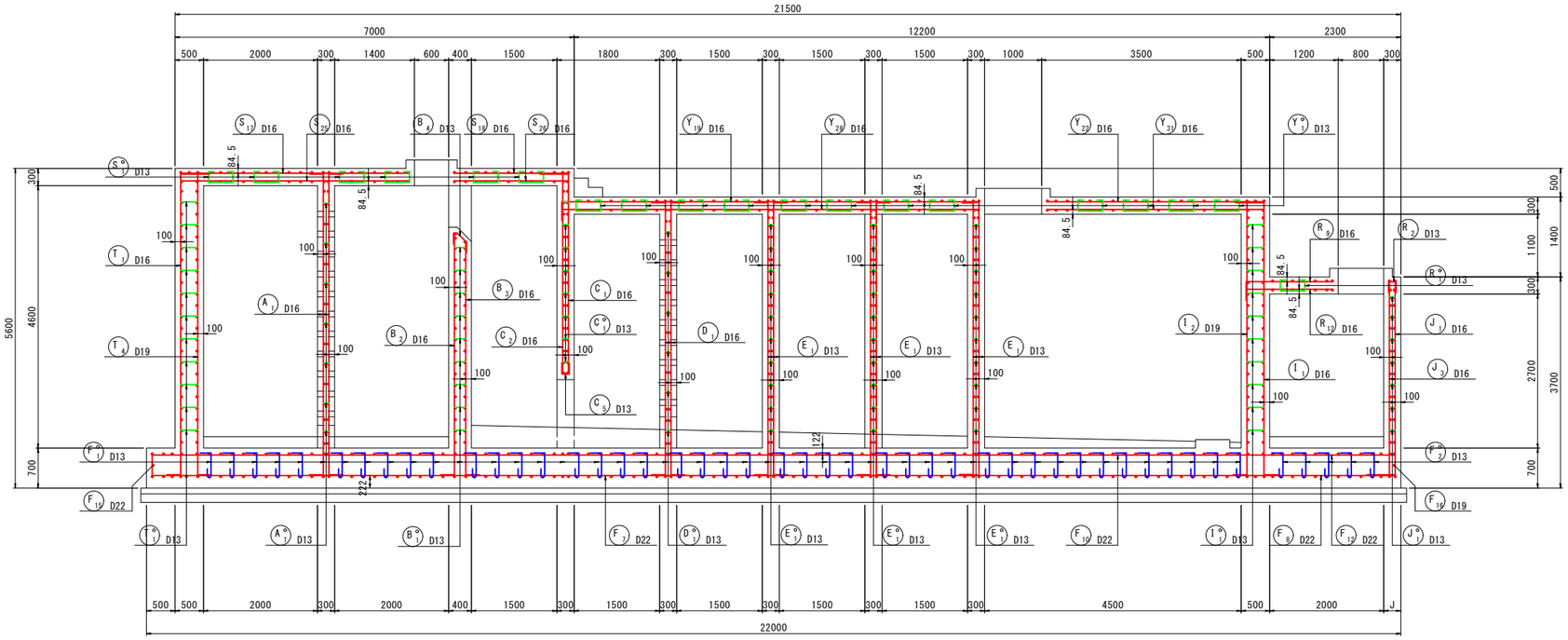


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井配筋図8		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-21
藍　住　町　上　下　水　道　課			

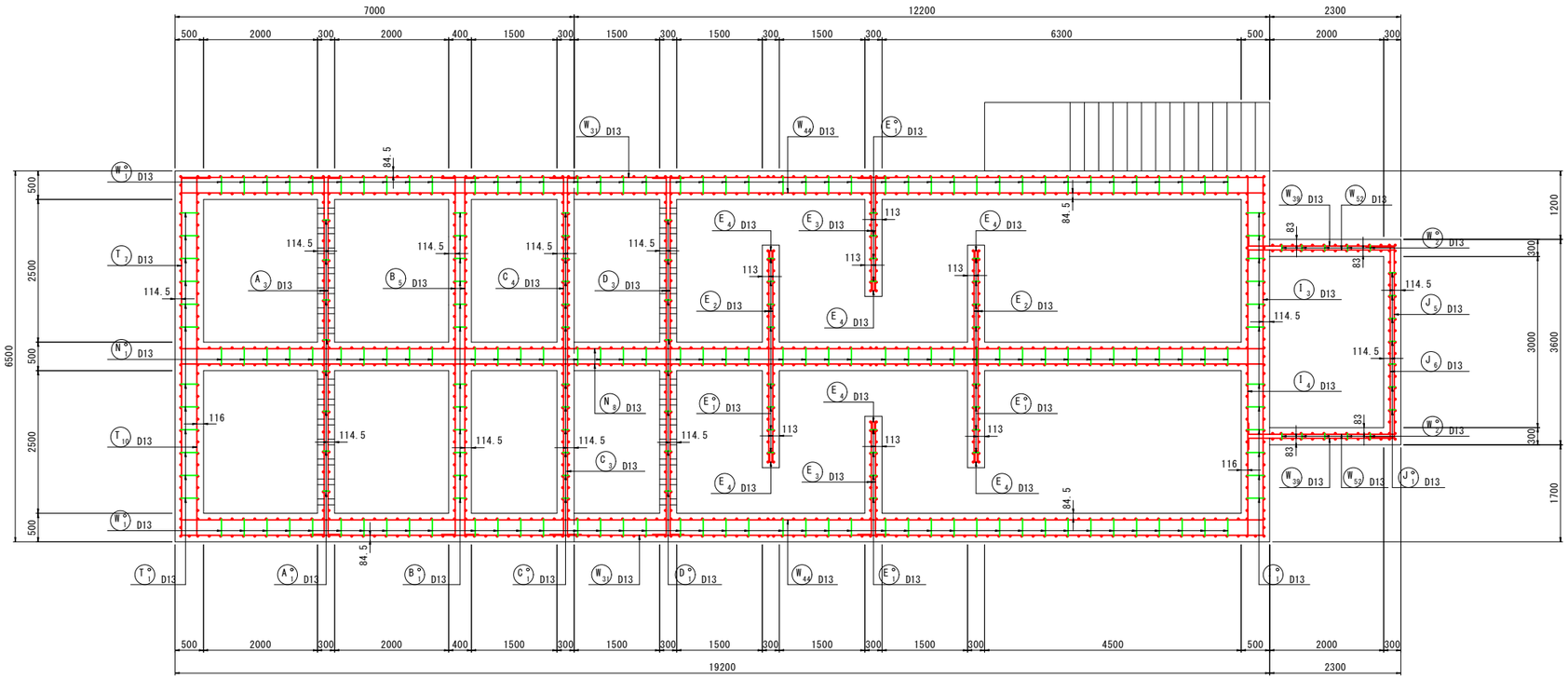
新第2着水井配筋図9

縮尺：1/50

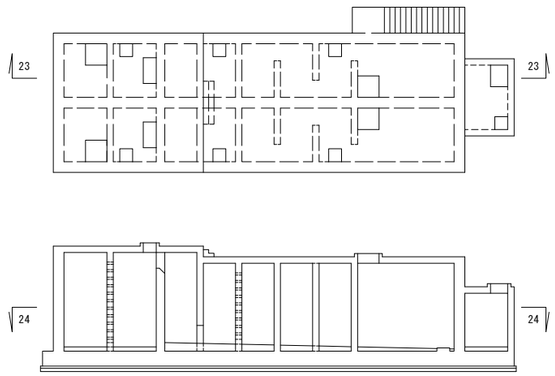
23 － 23



24 － 24



位置図



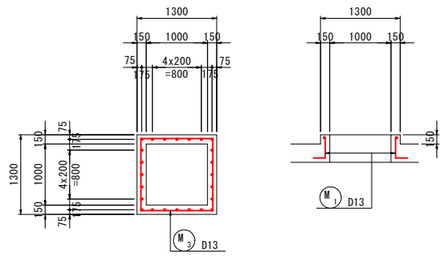
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井配筋図9		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-22
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新第2着水井配筋図10

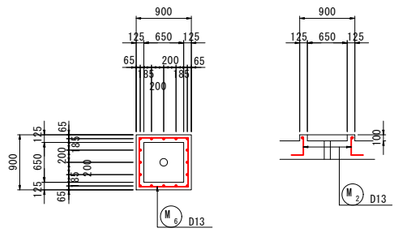
縮尺：1/50

頂版開口立上り部

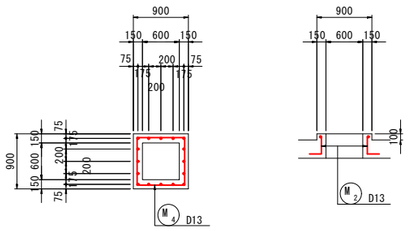
□1000x1000 (H=150)
(N=4)



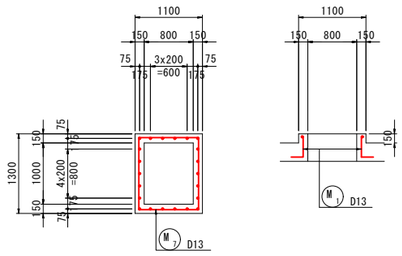
□650x650 (H=100)
(N=4)



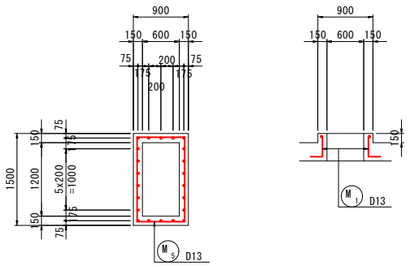
□600x600 (H=100)
(N=7)



□800x1000 (H=150)
(N=1)



□600x1200 (H=150)
(N=2)



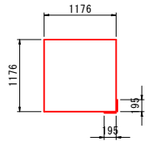
M1 162 - D13 × 530



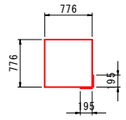
M2 176 - D13 × 480



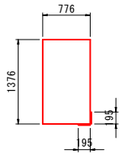
M3 4 - D13 × 5100



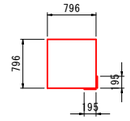
M4 7 - D13 × 3500



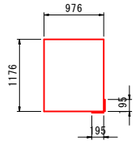
M5 2 - D13 × 4700



M6 4 - D13 × 3580

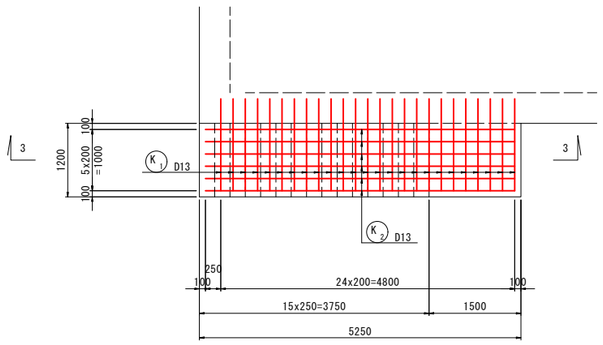


M7 1 - D13 × 4700

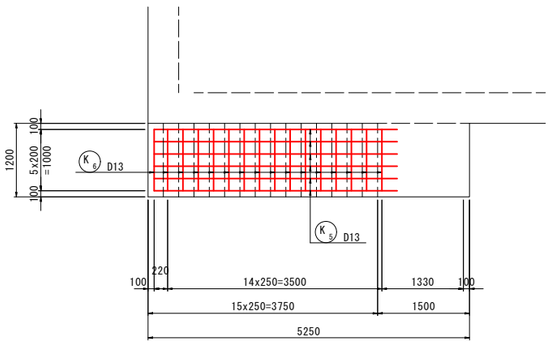


階段工

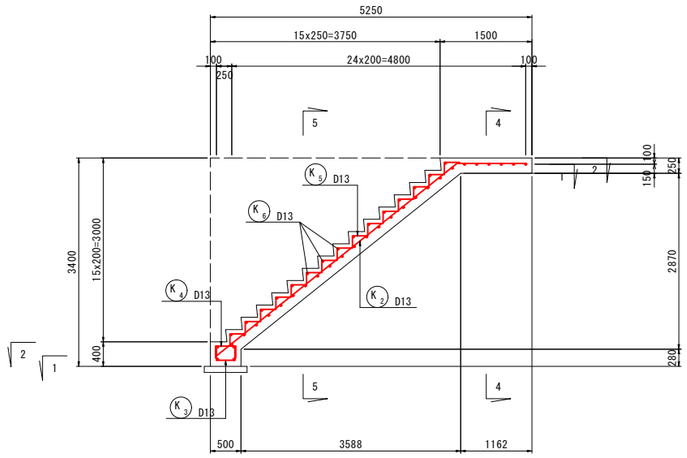
1 - 1



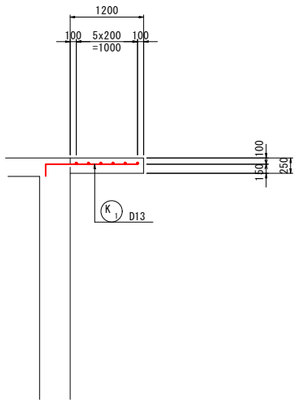
2 - 2



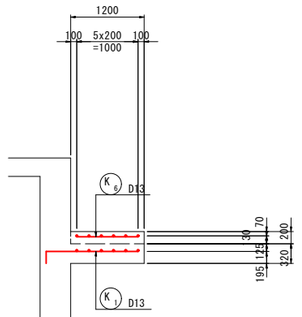
3 - 3



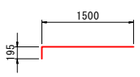
4 - 4



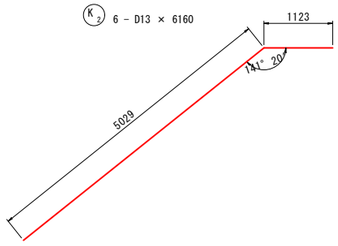
5 - 5



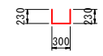
K1 25 - D13 × 1700



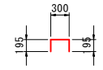
K2 6 - D13 × 6160



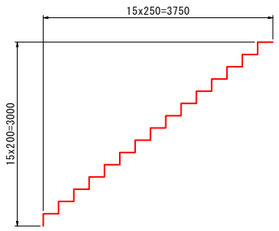
K3 6 - D13 × 760



K4 6 - D13 × 690



K5 6 - D13 × 6750



K6 19 - D13 × 1000



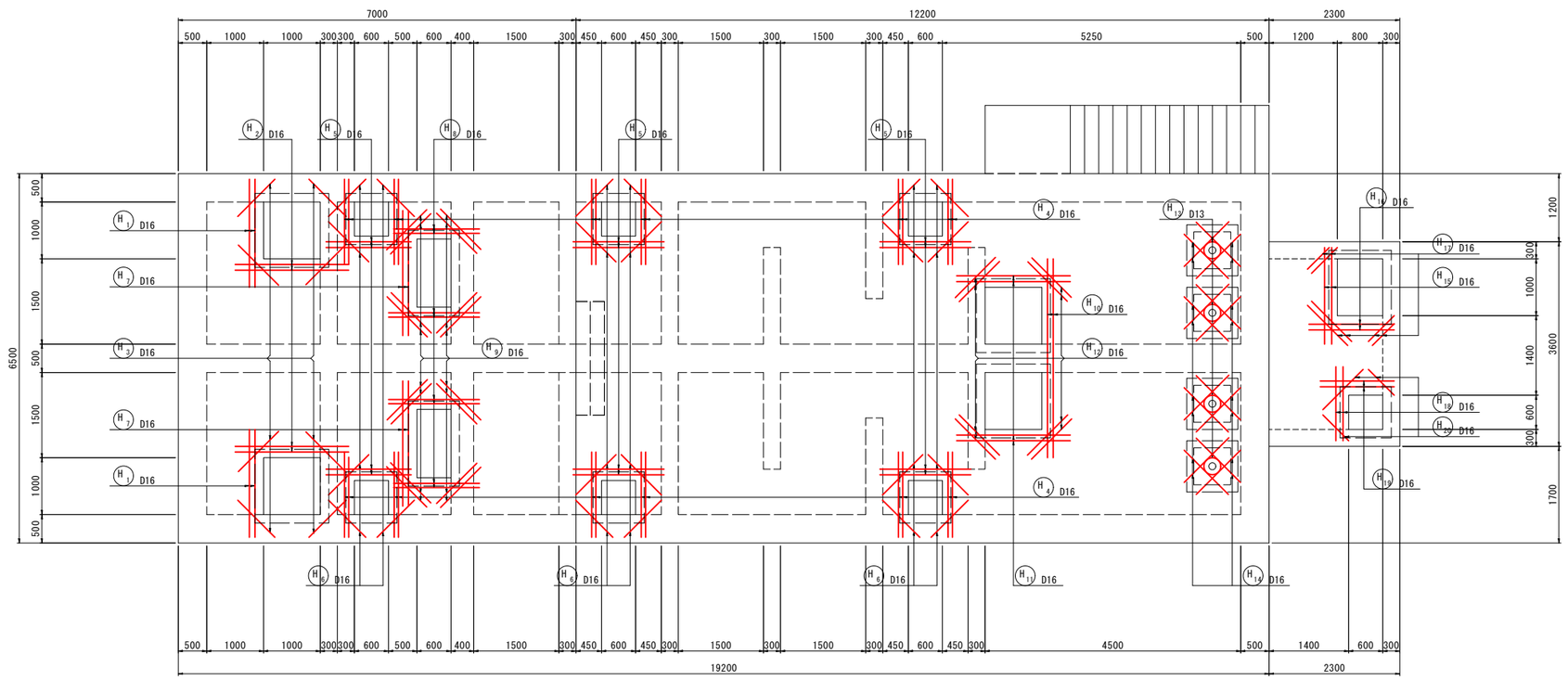
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井配筋図10		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-23
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新第2着水井配筋図11

縮尺：1/50

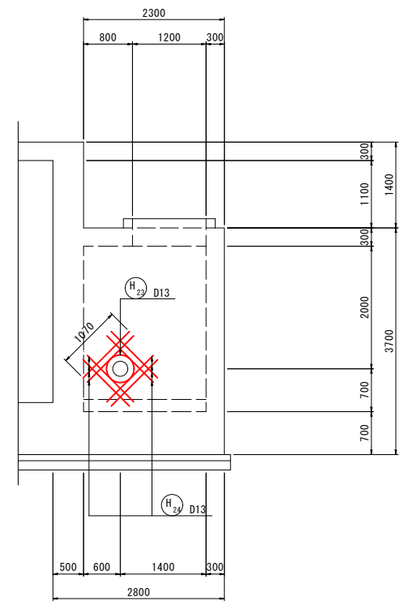
開口・開孔部補強鉄筋

頂版（両面）

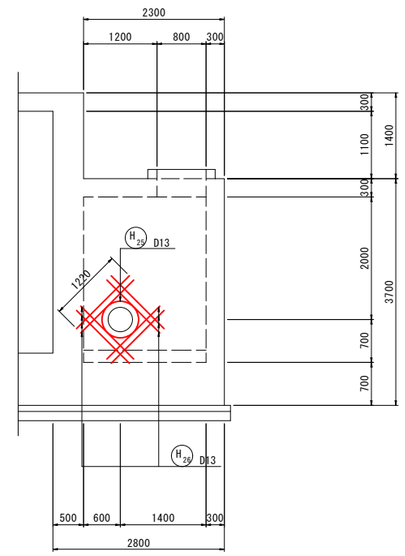


原水流量計室側壁（両面）

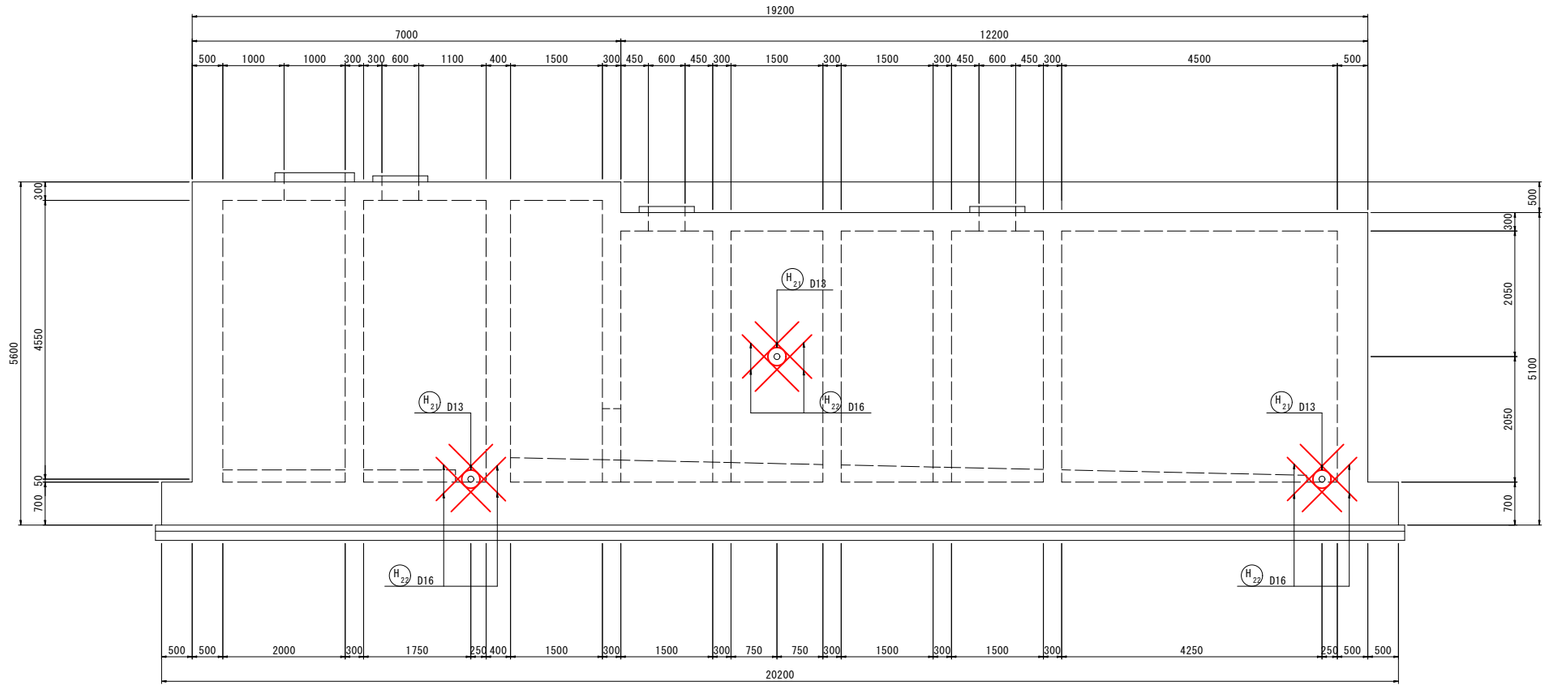
7 － 7



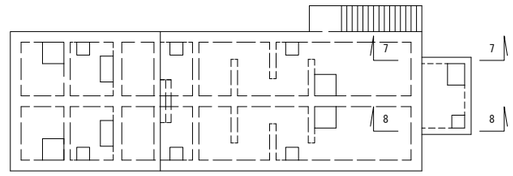
8 － 8



側壁1 － 1（2ヶ所：両面）



位置図



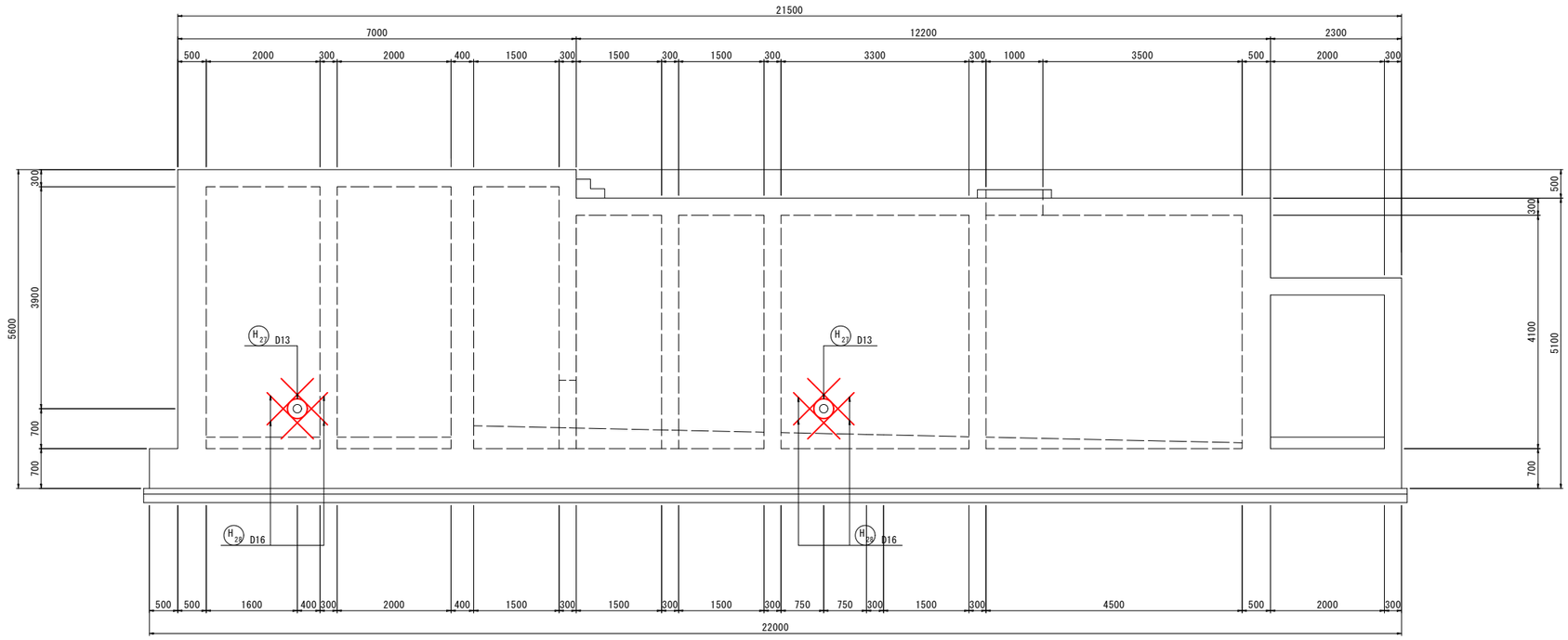
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井配筋図11		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-24
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新第2着水井配筋図12

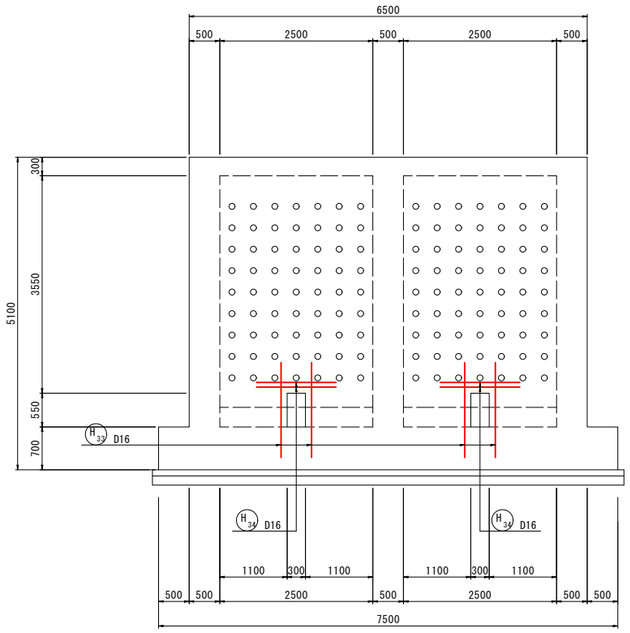
縮尺：1/50

開口・開孔部補強鉄筋

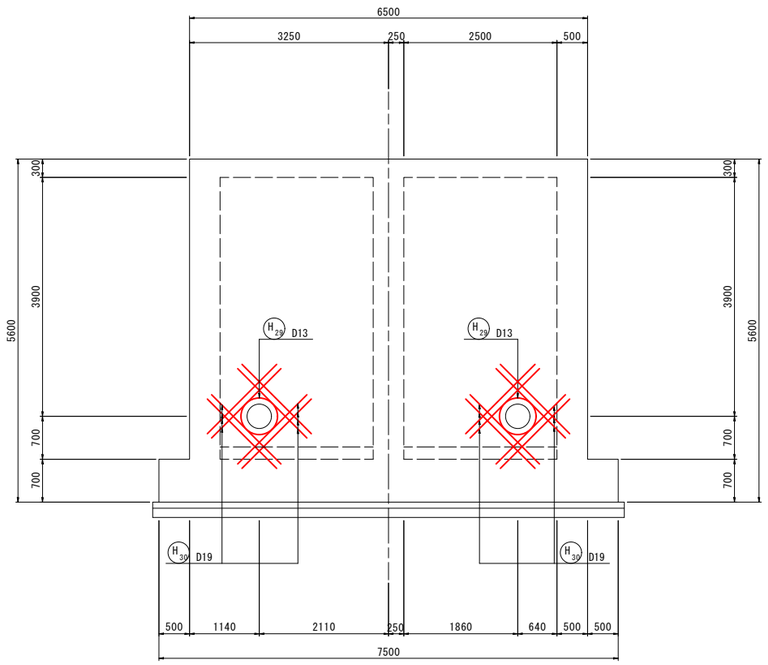
中壁2 － 2(両面)



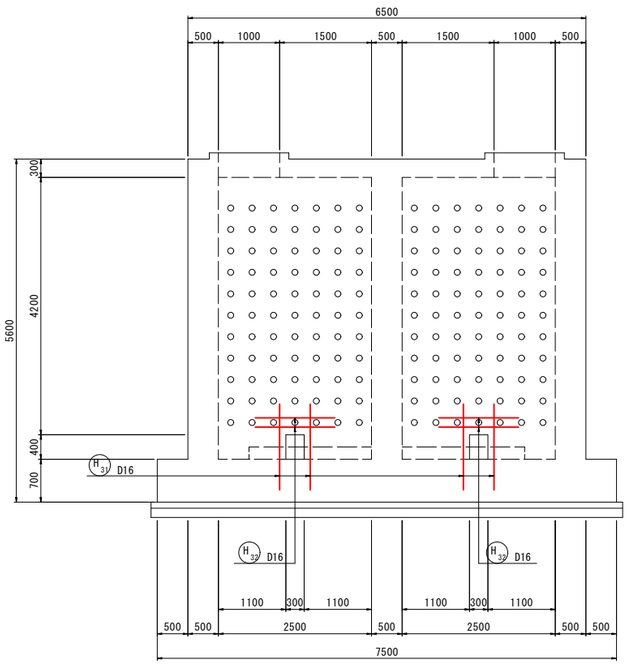
整流壁11 － 11(両面)



妻壁3 － 3(両面)

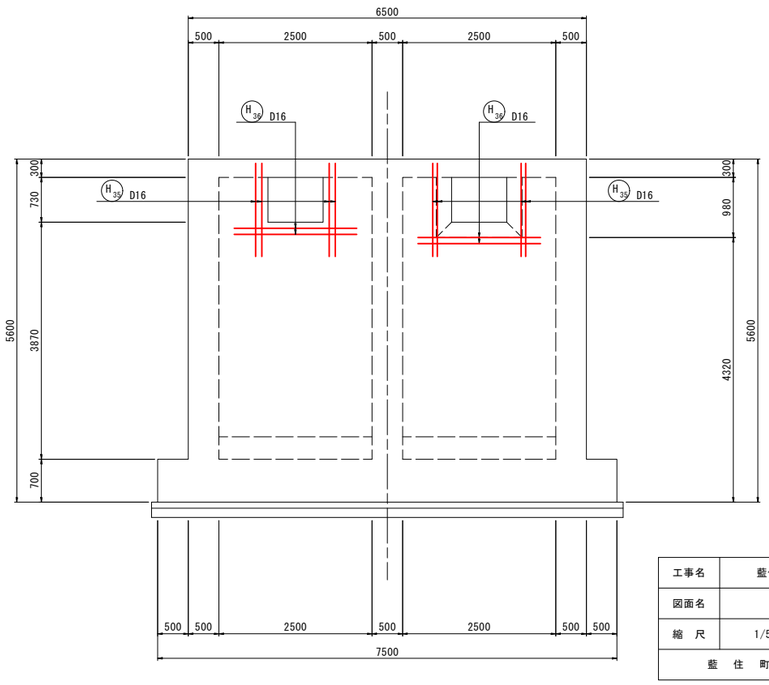


整流壁9 － 9(両面)



越流壁10 － 10

両 面　　両 面

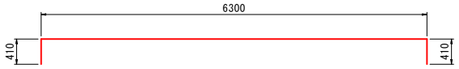


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井配筋図12		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-25
藍　住　町　上　下　水　道　課			

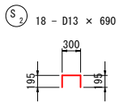
新第2着水井配筋図13

縮尺：1/50

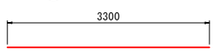
S1 25 - D13 × 7120



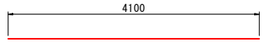
S2 18 - D13 × 690



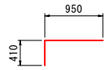
S3 5 - D13 × 3300



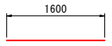
S4 4 - D13 × 4100



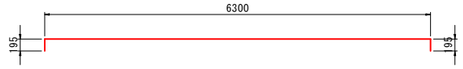
S5 6 - D13 × 1360



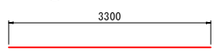
S6 3 - D13 × 1600



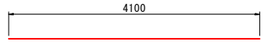
S7 24 - D13 × 6690



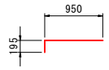
S8 5 - D13 × 3300



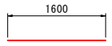
S9 4 - D13 × 4100



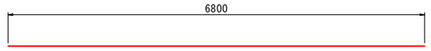
S10 6 - D13 × 1150



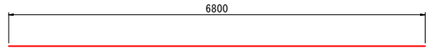
S11 3 - D13 × 1600



S12 15 - D16 × 6800



S20 12 - D16 × 6800



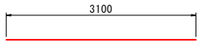
S13 12 - D16 × 1300



S14 8 - D16 × 400



S15 6 - D16 × 3100



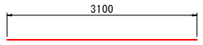
S21 12 - D16 × 1300



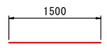
S22 8 - D16 × 400



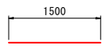
S23 6 - D16 × 3100



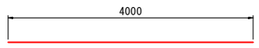
S16 4 - D16 × 1500



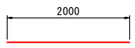
S24 4 - D16 × 1500



S17 8 - D16 × 4000



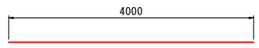
S18 14 - D16 × 2000



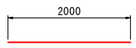
S19 2 - D16 × 300



S25 8 - D16 × 4000



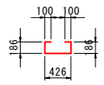
S26 14 - D16 × 2000



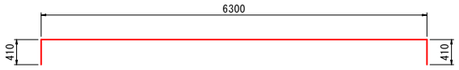
S27 2 - D16 × 300



S°1 50 - D13 × 1000



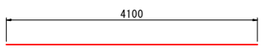
Y1 55 - D13 × 7120



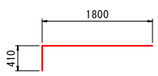
Y2 16 - D13 × 690



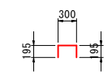
Y3 8 - D13 × 4100



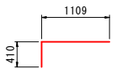
Y4 12 - D13 × 2210



Y5 6 - D13 × 690



Y6 2 - D13 × 1520



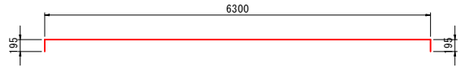
Y7 2 - D13 × 820



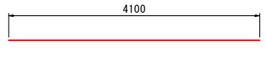
Y8 1 - D13 × 1320



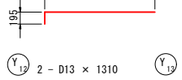
Y9 54 - D13 × 6690



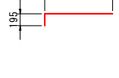
Y10 8 - D13 × 4100



Y11 12 - D13 × 2000



Y12 2 - D13 × 1310



Y13 2 - D13 × 820

Y14 1 - D13 × 1320

Y15 13 - D16 × 8000

Y15' 13 - D16 × 4800

Y16 8 - D16 × 550

Y17 8 - D16 × 4600

Y18 8 - D16 × 5550

Y19 12 - D16 × 7300

Y20 4 - D16 × 2790

Y21 2 - D16 × 11250

Y22 8 - D16 × 3800

Y23 6 - D16 × 780 (平均長)

	L(mm)	N(本)
1	750	2
2	788	4
計	(775)	6

Y24 10 - D16 × 8000

Y24' 10 - D16 × 4800

Y25 8 - D16 × 550

Y26 8 - D16 × 4600

Y27 8 - D16 × 5550

Y28 12 - D16 × 7300

Y29 4 - D16 × 2790

Y30 2 - D16 × 11250

Y31 8 - D16 × 3800

Y32 6 - D16 × 780 (平均長)

	L(mm)	N(本)
1	750	2
2	788	4
計	(775)	6

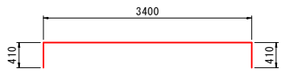
Y°1 116 - D13 × 1000

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事
図面名	新第2着水井配筋図13
縮　尺	1/50
図面番号	1-1-26
藍　住　町　上　下　水　道　課	

新第2着水井配筋図14

縮尺：1/50

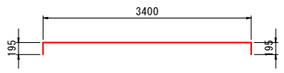
R1 8 - D13 × 4220



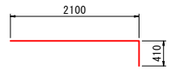
R2 17 - D13 × 490



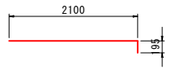
R5 8 - D13 × 3790



R3 1 - D13 × 2510



R6 1 - D13 × 2300



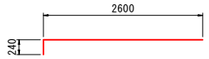
R4 4 - D13 × 1200



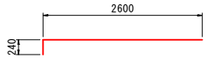
R7 4 - D13 × 1200



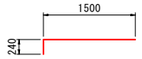
R8 11 - D16 × 2840



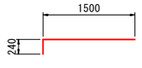
R11 11 - D16 × 2840



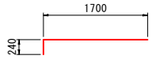
R9 5 - D16 × 1740



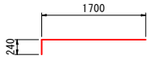
R12 5 - D16 × 1740



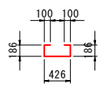
R10 3 - D16 × 1940



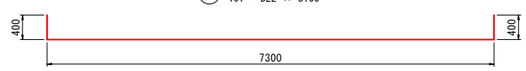
R13 3 - D16 × 1940



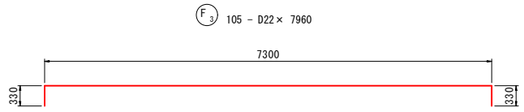
R1 11 - D13 × 1000



F1 107 - D22 × 8100



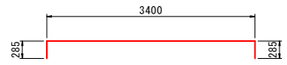
F3 105 - D22× 7960



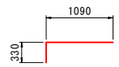
F2 10 - D19 × 4200



F4 10 - D19 × 3970



F5 4 - D22 × 1420



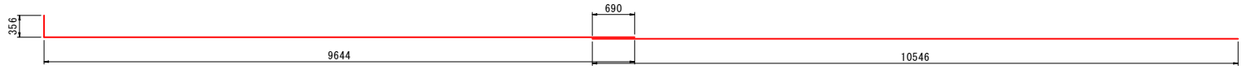
F6-1 20 - D22 × 12000

F6-2 20 - D22 × 9410

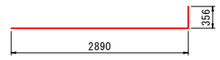


F7-1 19 - D22 × 10000

F7-2 19 - D22× 10550

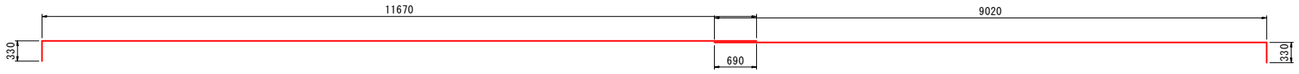


F8 17 - D22 × 3250



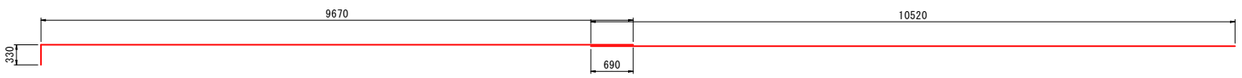
F9-1 18 - D22× 12000

F9-2 18 - D22 × 9350

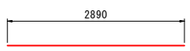


F10-1 18 - D22 × 10000

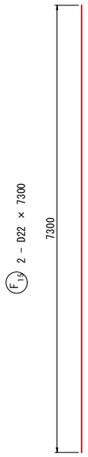
F10-2 18 - D22 × 10520



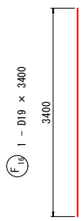
F14 6 - D22 × 2890



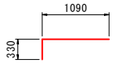
F15 2 - D22 × 7300



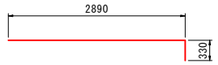
F16 1 - D19 × 3400



F11 4 - D22 × 1420

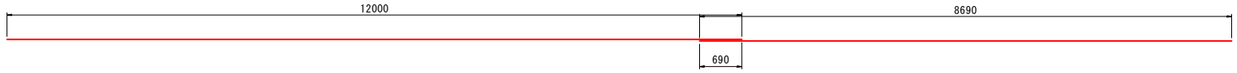


F12 17 - D22 × 3220

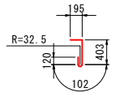


F13-1 6 - D22 × 12000

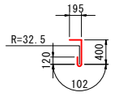
F13-2 6 - D22 × 8690



F1 498 - D13 × 820



F3 32 - D13 × 820



工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井配筋図14		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-27
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新第2着水井配筋図15

縮尺：1/50

W1 72 - D16 × 5830
5330
500

W2 2 - D16 × 910
409
500

W3 2 - D16 × 4640
4639
500

W4 126 - D16 × 5330
4830
500

W5 4 - D16 × 2940
2438
500

W6 4 - D16 × 2170
2168
500

W7 2 - D16 × 900
400
500

W8 2 - D16 × 4130
4130
500

W9 20 - D13 × 3840
3430
410

W10 3 - D13 × 1450 (平均長)
L
410

W11 3 - D13 × 2070 (平均長)
L

	L(mm)	N(本)
1	2011	1
2	2062	1
3	2127	1
計	(2067)	3

	L(mm)	N(本)
1	981	1
2	1032	1
3	1067	1
計	(1037)	3

W12 3 - D13 × 1350 (平均長)
L
410

W13 3 - D13 × 1970 (平均長)
L

	L(mm)	N(本)
1	904	1
2	940	1
3	976	1
計	(940)	3

	L(mm)	N(本)
1	1934	1
2	1970	1
3	2006	1
計	(1970)	3

W14 50 - D16 × 5810
5330
240

W15 2 - D16 × 650
409
240

W16 2 - D16 × 4880
4639
240

W17 20 - D16 × 5570
5330
240

W18 108 - D16 × 5310
4830
240

W19 4 - D16 × 2680
2438
240

W20 4 - D16 × 2410
2168
240

W21 2 - D16 × 640
400
240

W22 2 - D16 × 4870
4130
240

W23 16 - D16 × 5070
4830
240

W24 9 - D13 × 3820
3430
195
95

W25 3 - D13 × 1240 (平均長)
L
195
95

W26 2 - D13 × 2270 (平均長)
L
195
95

	L(mm)	N(本)
1	2011	1
2	2127	1
計	(2069)	2

	L(mm)	N(本)
1	981	1
2	1032	1
3	1067	1
計	(1037)	3

W27 1 - D13 × 2070
2062

W28 11 - D13 × 3630
3430
95

W29 3 - D13 × 1140 (平均長)
L
95

W30 3 - D13 × 2170 (平均長)
L
195
95

	L(mm)	N(本)
1	1934	1
2	1970	1
3	2006	1
計	(1970)	3

	L(mm)	N(本)
1	904	1
2	940	1
3	976	1
計	(940)	3

W31 36 - D13 × 12000
12000
410

W32 2 - D13 × 4310
4309

W33 2 - D13 × 10000
10000

W34 2 - D13 × 4030
4027
410

W35 2 - D13 × 510
509

W36 2 - D13 × 9310
9309

W37 2 - D13 × 9410
9409

W38 6 - D13 × 6800
6800

W39 2 - D13 × 9000
9000

W40 2 - D13 × 3710
3710
410

W41 22 - D13 × 2600
2600

W42 3 - D13 × 860 (平均長)
L

	L(mm)	N(本)
1	775	1
2	897	2
計	(856)	3

W43 3 - D13 × 1460 (平均長)
L

	L(mm)	N(本)
1	1375	1
2	1497	2
計	(1456)	3

W44 3 - D13 × 760 (平均長)
L

	L(mm)	N(本)
1	700	1
2	776	2
計	(751)	3

W45 3 - D13 × 1360 (平均長)
L

	L(mm)	N(本)
1	1300	1
2	1376	2
計	(1351)	3

W46 36 - D13 × 12000
12000
410

W47 36 - D13 × 7410
7410

W48 2 - D13 × 4310
4309

W49 2 - D13 × 10000
10000

W50 2 - D13 × 4030
4027
410

W51 2 - D13 × 510
509

W52 2 - D13 × 9310
9309

W53 2 - D13 × 9410
9409

W54 6 - D13 × 6800
6800

W55 2 - D13 × 9000
9000

W56 2 - D13 × 3710
3710
410

W57 22 - D13 × 2600
2600

W58 3 - D13 × 860 (平均長)
L

	L(mm)	N(本)
1	775	1
2	897	2
計	(856)	3

W59 3 - D13 × 1460 (平均長)
L

	L(mm)	N(本)
1	1375	1
2	1497	2
計	(1456)	3

W60 3 - D13 × 760 (平均長)
L

	L(mm)	N(本)
1	700	1
2	776	2
計	(751)	3

W61 3 - D13 × 1360 (平均長)
L

	L(mm)	N(本)
1	1300	1
2	1376	2
計	(1351)	3

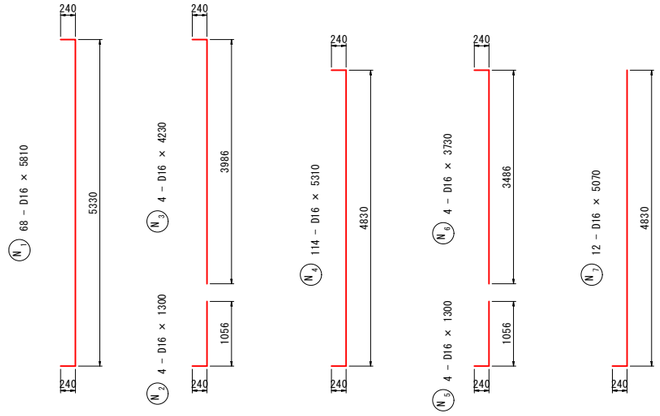
W°1 434 - D13 × 530
329
100
100

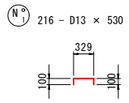
W°2 32 - D13 × 330
126
100
100

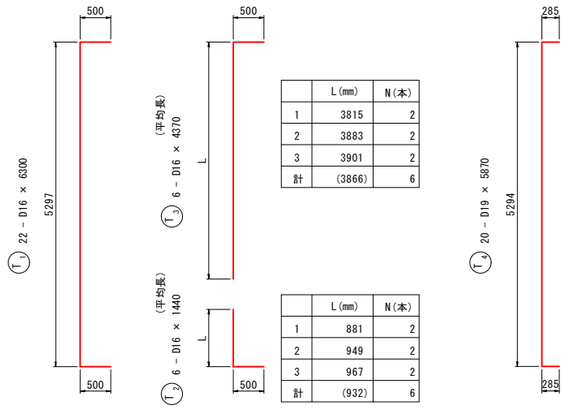
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井配筋図15		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-28
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新第2着水井配筋図16

縮尺：1/50





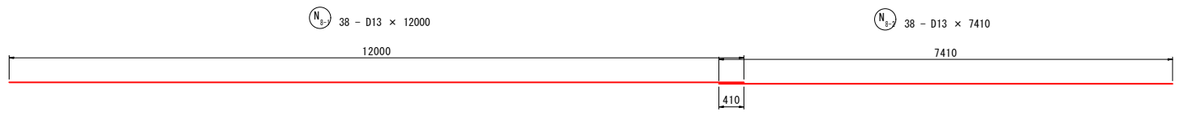


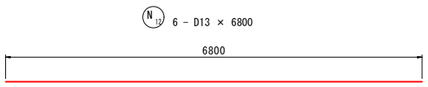
	L(mm)	N(本)
1	3815	2
2	3883	2
3	3901	2
計	(3866)	6

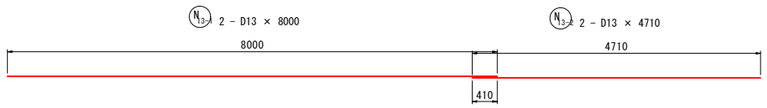
	L(mm)	N(本)
1	881	2
2	949	2
3	967	2
計	(932)	6

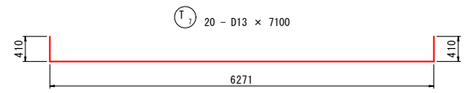
	L(mm)	N(本)
1	3815	2
2	3883	2
3	3901	2
計	(3866)	6

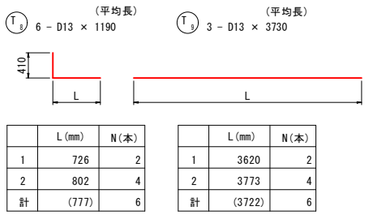
	L(mm)	N(本)
1	880	2
2	947	2
3	965	2
計	(931)	6





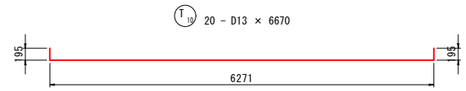


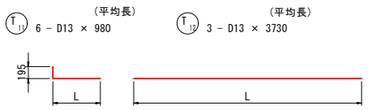




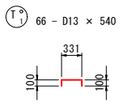
	L(mm)	N(本)
1	726	2
2	802	4
計	(777)	6

	L(mm)	N(本)
1	3620	2
2	3773	4
計	(3722)	6





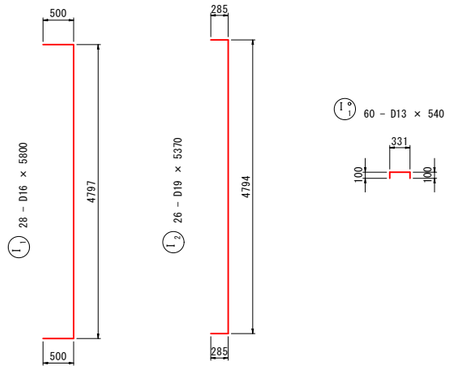
	L(mm)	N(本)
1	726	2
2	802	4
計	(777)	6

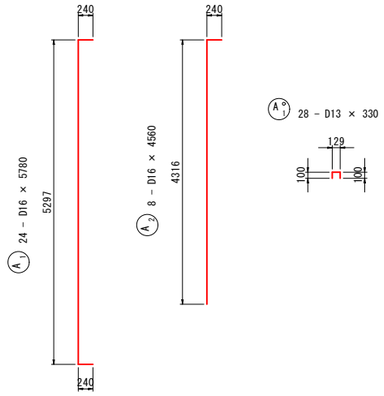


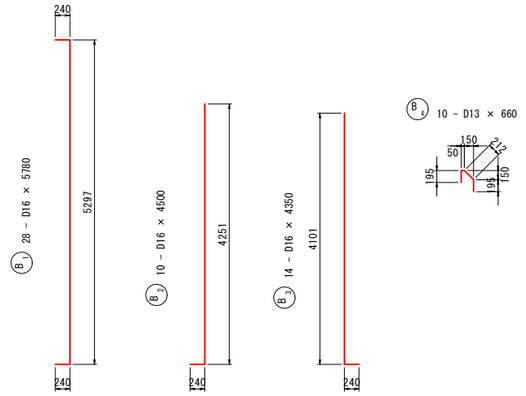
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井配筋図16		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-29
藍　住　町　上　下　水　道　課			

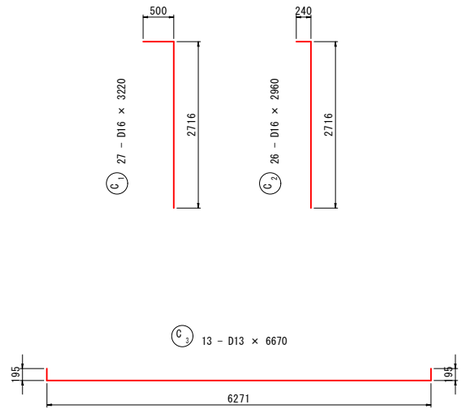
新第2着水井配筋図17

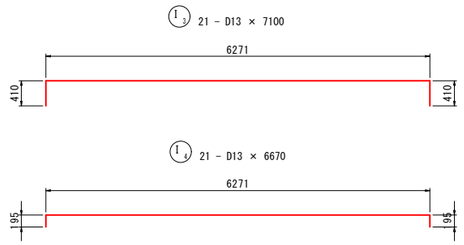
縮尺：1/50

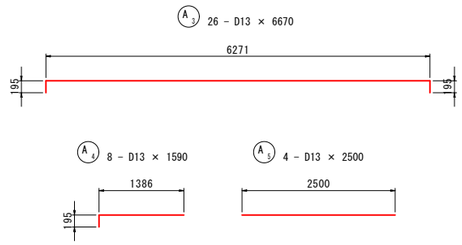


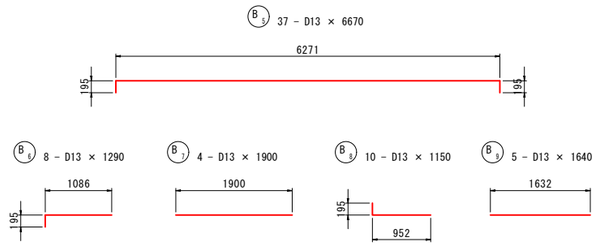


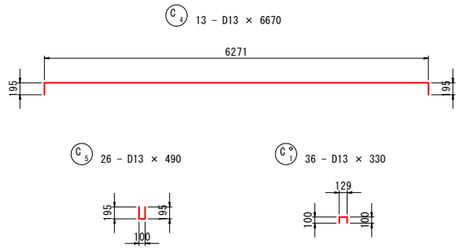


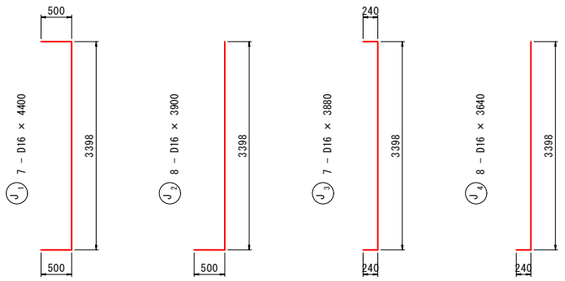


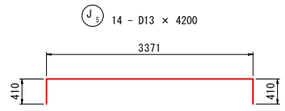


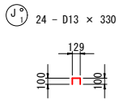


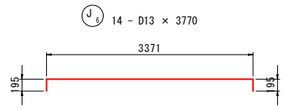


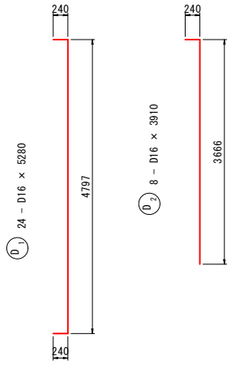


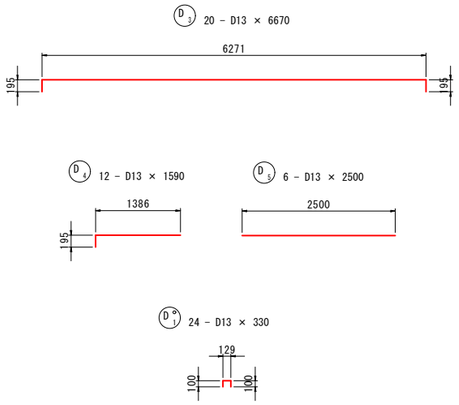


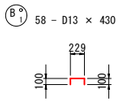


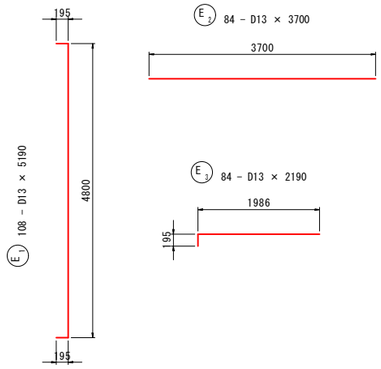


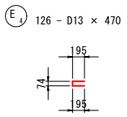


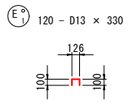










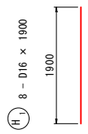


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井配筋図17		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-30
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新第2着水井配筋図18

縮尺：1/50

H1 8 - D16 × 1900



H2 8 - D16 × 2000



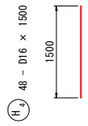
（平均長）

H3 16 - D16 × 970



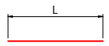
	L(mm)	N(本)
1	924	8
2	1000	8
計	(962)	16

H4 48 - D16 × 1500



（平均長）

H5 24 - D16 × 1570



	L(mm)	N(本)
1	1500	8
2	1600	16
計	(1567)	24

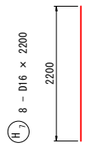
（平均長）

H6 44 - D16 × 960

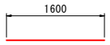


	L(mm)	N(本)
1	924	24
2	1000	20
計	(959)	44

H7 8 - D16 × 2200



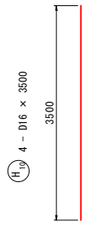
H8 16 - D16 × 1600



H9 32 - D16 × 1000



H10 4 - D16 × 3500



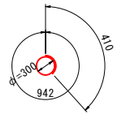
H11 8 - D16 × 2000



H12 16 - D16 × 1000



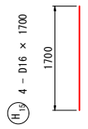
H13 8 - D13 × 1360



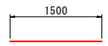
H14 32 - D16 × 1120



H15 4 - D16 × 1700



H16 4 - D16 × 1500



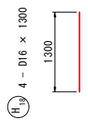
（平均長）

H17 12 - D16 × 730

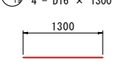


	L(mm)	N(本)
1	541	4
2	641	4
3	1000	4
計	(727)	12

H18 4 - D16 × 1300



H19 4 - D16 × 1300



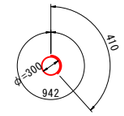
（平均長）

H20 6 - D16 × 770



	L(mm)	N(本)
1	641	4
2	1000	2
計	(761)	6

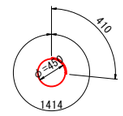
H21 12 - D13 × 1360



H22 48 - D16 × 1120



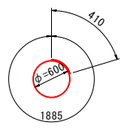
H23 2 - D13 × 1830



H24 16 - D13 × 1070



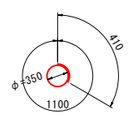
H25 2 - D13 × 2300



H26 16 - D13 × 1220



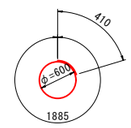
H27 4 - D13 × 1510



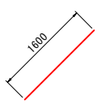
H28 16 - D16 × 1150



H29 4 - D13 × 2300



H30 32 - D19 × 1600



H31 8 - D16 × 1400



H32 8 - D16 × 1300



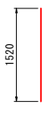
H33 8 - D16 × 1550



H34 8 - D16 × 1300



H35 16 - D16 × 1520



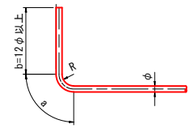
H36 8 - D16 × 2000



鉄筋加工諸元表

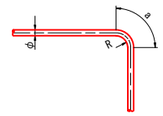
但し、a, bは鉄筋中心の長さ

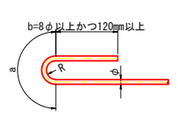
一般鉄筋



	径	R=2.5φ	a	b
直角フック	D13	32.5	61	156
	D16	40	75	192
	D19	47.5	90	228
	D22	55	104	264
	D25	62.5	118	300
	D29	72.5	137	348
	D32	80	151	384

組立筋・スターラップ





	径	R=2φ	a
直角フック	D13	26	51
	D16	32	63
	D19	38	75
	D22	44	86
	D25	50	98
	D29	58	114
	D32	64	126

	径	R=2φ	a	b
半円フック	D13	26	102	120
	D16	32	126	128
	D19	38	149	152
	D22	44	173	176
	D25	50	196	200
	D29	58	228	232
	D32	64	251	256

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井配筋図18		
縮　尺	1/50	図面番号	1-1-31
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新第2着水井配筋図19

鉄 筋 表

記 号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	形状	備考
S 1	D13	7120	25	0.995	7.08	177		
2	D13	690	18	0.995	0.69	12		
3	D13	3300	5	0.995	3.28	16		
4	D13	4100	4	0.995	4.08	16		
5	D13	1360	6	0.995	1.35	8		
6	D13	1600	3	0.995	1.59	5		
7	D13	6690	24	0.995	6.66	160		
8	D13	3300	5	0.995	3.28	16		
9	D13	4100	4	0.995	4.08	16		
10	D13	1150	6	0.995	1.14	7		
11	D13	1600	3	0.995	1.59	5		
12	D16	6800	15	1.56	10.61	159		
13	D16	1300	12	1.56	2.03	24		
14	D16	400	8	1.56	0.62	5		
15	D16	3100	6	1.56	4.84	29		
16	D16	1500	4	1.56	2.34	9		
17	D16	4000	8	1.56	6.24	50		
18	D16	2000	14	1.56	3.12	44		
19	D16	300	2	1.56	0.47	1		
20	D16	6800	12	1.56	10.61	127		
21	D16	1300	12	1.56	2.03	24		
22	D16	400	8	1.56	0.62	5		
23	D16	3100	6	1.56	4.84	29		
24	D16	1500	4	1.56	2.34	9		
25	D16	4000	8	1.56	6.24	50		
26	D16	2000	14	1.56	3.12	44		
27	D16	300	2	1.56	0.47	1		
S ° 1	D13	1000	50	0.995	1.00	50		
小 計						1098 kg		
Y 1	D13	7120	55	0.995	7.08	389		
2	D13	690	16	0.995	0.69	11		
3	D13	4100	8	0.995	4.08	33		
4	D13	2210	12	0.995	2.20	26		
5	D13	690	6	0.995	0.69	4		
6	D13	1520	2	0.995	1.51	3		
7	D13	820	2	0.995	0.82	2		
8	D13	1320	1	0.995	1.31	1		
9	D13	6690	54	0.995	6.66	360		
10	D13	4100	8	0.995	4.08	33		
11	D13	2000	12	0.995	1.99	24		
12	D13	1310	2	0.995	1.30	3		
13	D13	820	2	0.995	0.82	2		
14	D13	1320	1	0.995	1.31	1		
15 - 1	D16	8000	13	1.56	12.48	162		
15 - 2	D16	4800	13	1.56	7.49	97		
16	D16	550	8	1.56	0.86	7		
17	D16	4600	8	1.56	7.18	57		
18	D16	5550	8	1.56	8.66	69		
19	D16	7300	12	1.56	11.39	137		
20	D16	2790	4	1.56	4.35	17		
21	D16	11250	2	1.56	17.55	35		
22	D16	3800	8	1.56	5.93	47		
23	D16	780	6	1.56	1.22	7		平均長
24 - 1	D16	8000	10	1.56	12.48	125		
24 - 2	D16	4800	10	1.56	7.49	75		
25	D16	550	8	1.56	0.86	7		
26	D16	4600	8	1.56	7.18	57		
27	D16	5550	8	1.56	8.66	69		
28	D16	7300	12	1.56	11.39	137		
29	D16	2790	4	1.56	4.35	17		
30	D16	11250	2	1.56	17.55	35		
31	D16	3800	8	1.56	5.93	47		
32	D16	780	6	1.56	1.22	7		平均長
Y ° 1	D13	1000	116	0.995	1.00	116		
小 計						2219 kg		

記 号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	形状	備考
R 1	D13	4220	8	0.995	4.20	34		
2	D13	490	17	0.995	0.49	8		
3	D13	2510	1	0.995	2.50	3		
4	D13	1200	4	0.995	1.19	5		
5	D13	3790	8	0.995	3.77	30		
6	D13	2300	1	0.995	2.29	2		
7	D13	1200	4	0.995	1.19	5		
8	D16	2840	11	1.56	4.43	49		
9	D16	1740	5	1.56	2.71	14		
10	D16	1940	3	1.56	3.03	9		
11	D16	2840	11	1.56	4.43	49		
12	D16	1740	5	1.56	2.71	14		
13	D16	1940	3	1.56	3.03	9		
R ° 1	D13	1000	11	0.995	1.00	11		
小 計						242 kg		
F 1	D22	8100	107	3.04	24.62	2634		
2	D19	4200	10	2.25	9.45	95		
3	D22	7960	105	3.04	24.20	2541		
4	D19	3970	10	2.25	8.93	89		
5	D22	1420	4	3.04	4.32	17		
6 - 1	D22	12000	20	3.04	36.48	730		
6 - 2	D22	9410	20	3.04	28.61	572		
7 - 1	D22	10000	19	3.04	30.40	578		
7 - 2	D22	10550	19	3.04	32.07	609		
8	D22	3250	17	3.04	9.88	168		
9 - 1	D22	12000	18	3.04	36.48	657		
9 - 2	D22	9350	18	3.04	28.42	512		
10 - 1	D22	10000	18	3.04	30.40	547		
10 - 2	D22	10520	18	3.04	31.98	576		
11	D22	1420	4	3.04	4.32	17		
12	D22	3220	17	3.04	9.79	166		
13 - 1	D22	12000	6	3.04	36.48	219		
13 - 2	D22	8690	6	3.04	26.42	159		
14	D22	2890	6	3.04	8.79	53		
15	D22	7300	2	3.04	22.19	44		
16	D19	3400	1	2.25	7.65	8		
F ° 1	D13	820	498	0.995	0.82	408		
2	D13	820	32	0.995	0.82	26		
小 計						11425 kg		
W 1	D16	5830	72	1.56	9.09	654		
2	D16	910	2	1.56	1.42	3		
3	D16	4640	2	1.56	7.24	14		
4	D16	5330	126	1.56	8.31	1047		
5	D16	2940	4	1.56	4.59	18		
6	D16	2170	4	1.56	3.39	14		
7	D16	900	2	1.56	1.40	3		
8	D16	4130	2	1.56	6.44	13		
9	D16	3840	20	1.56	5.99	120		
10	D16	1450	3	1.56	2.26	7		
11	D16	2070	3	1.56	3.23	10		
12	D16	1350	3	1.56	2.11	6		
13	D16	1970	3	1.56	3.07	9		
14	D16	5810	50	1.56	9.06	453		
15	D16	650	2	1.56	1.01	2		
16	D16	4880	2	1.56	7.61	15		
17	D16	5570	20	1.56	8.69	174		
18	D16	5310	108	1.56	8.28	894		
19	D16	2680	4	1.56	4.18	17		
20	D16	2410	4	1.56	3.76	15		
21	D16	640	2	1.56	1.00	2		
22	D16	4370	2	1.56	6.82	14		
23	D16	5070	16	1.56	7.91	127		
24	D16	3820	9	1.56	5.96	54		
25	D16	1240	3	1.56	1.93	6		

記 号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	形状	備考
W 26	D16	2270	2	1.56	3.54	7		
27	D16	2070	1	1.56	3.23	3		
28	D16	3630	11	1.56	5.66	62		
29	D16	1140	3	1.56	1.78	5		
30	D16	2170	3	1.56	3.39	10		
31 - 1	D13	12000	36	0.995	11.94	430		
31 - 2	D13	7410	36	0.995	7.37	265		
32	D13	4310	2	0.995	4.29	9		
33 - 1	D13	10000	2	0.995	9.95	20		
33 - 2	D13	4030	2	0.995	4.01	8		
34	D13	510	2	0.995	0.51	1		
35	D13	9310	2	0.995	9.26	19		
36	D13	9410	2	0.995	9.36	19		
37	D13	6800	6	0.995	6.77	41		
38 - 1	D13	9000	2	0.995	8.96	18		
38 - 2	D13	3710	2	0.995	3.69	7		
39	D13	2600	22	0.995	2.59	57		
40	D13	860	3	0.995	0.86	3		平均長
41	D13	1460	3	0.995	1.45	4		平均長
42	D13	730	3	0.995	0.73	2		平均長
43	D13	1360	3	0.995	1.35	4		平均長
44 - 1	D13	12000	36	0.995	11.94	430		
44 - 2	D13	7410	36	0.995	7.37	265		
45	D13	4310	2	0.995	4.29	9		
46 - 1	D13	10000	2	0.995	9.95	20		
46 - 2	D13	4030	2	0.995	4.01	8		
47	D13	510	2	0.995	0.51	1		
48	D13	9310	2	0.995	9.26	19		
49	D13	9410	2	0.995	9.36	19		
50	D13	6800	6	0.995	6.77	41		
51 - 1	D13	9000	2	0.995	8.96	18		
51 - 2	D13	3710	2	0.995	3.69	7		
52	D13	2600	22	0.995	2.59	57		
53	D13	860	3	0.995	0.86	3		平均長
54	D13	1460	3	0.995	1.45	4		平均長
55	D13	760	3	0.995	0.76	2		平均長
56	D13	1360	3	0.995	1.35	4		平均長
W ° 1	D13	530	434	0.995	0.53	230		
2	D13	330	32	0.995	0.33	11		
小 計						5833 kg		
N 1	D16	5810	68	1.56	9.06	616		
2	D16	1300	4	1.56	2.03	8		
3	D16	4230	4	1.56	6.60	26		
4	D16	5310	114	1.56	8.28	944		
5	D16	1300	4	1.56	2.03	8		
6	D16	3730	4	1.56	5.82	23		
7	D16	5070	12	1.56	7.91	95		
8 - 1	D13	12000	38	0.995	11.94	454		
8 - 2	D13	7410	38	0.995	7.37	280		
9	D13	1830	2	0.995	1.82	4		
10	D13	8900	2	0.995	8.86	18		
11	D13	7580	2	0.995	7.54	15		
12	D13	6800	6	0.995	6.77	41		
13 - 1	D13	8000	2	0.995	7.96	16		
13 - 2	D13	4710	2	0.995	4.69	9		
N ° 1	D13	530	216	0.995	0.53	114		
小 計						2671 kg		

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井配筋図19		
縮 尺	NON	図面番号	1-1-32
藍 住 町 上 下 水 道 課			

新第2着水井配筋図20

鉄 筋 表

記 号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	形状	備考
T 1	D16	6300	22	1.56	9.83	216		
2	D16	1440	6	1.56	2.25	14		平均長
3	D16	4370	6	1.56	6.82	41		平均長
4	D19	5870	20	2.25	13.21	264		
5	D19	1220	6	2.25	2.75	17		平均長
6	D19	4160	6	2.25	9.36	56		平均長
7	D13	7100	20	0.995	7.06	141		
8	D13	1190	6	0.995	1.18	7		平均長
9	D13	3730	3	0.995	3.71	11		平均長
10	D13	6670	20	0.995	6.64	133		
11	D13	980	6	0.995	0.98	6		平均長
12	D13	3730	3	0.995	3.71	11		平均長
T ° 1	D13	540	66	0.995	0.54	36		
小 計						953 kg		
I 1	D16	5800	28	1.56	9.05	253		
2	D19	5370	26	2.25	12.08	314		
3	D13	7100	21	0.995	7.06	148		
4	D13	6670	21	0.995	6.64	139		
I ° 1	D13	540	60	0.995	0.54	32		
小 計						886 kg		
A 1	D16	5780	24	1.56	9.02	216		
2	D16	4560	8	1.56	7.11	57		
3	D13	6670	26	0.995	6.64	173		
4	D13	1590	8	0.995	1.58	13		
5	D13	2500	4	0.995	2.49	10		
A ° 1	D13	330	28	0.995	0.33	9		
小 計						478 kg		
B 1	D16	5780	28	1.56	9.02	253		
2	D16	4500	10	1.56	7.02	70		
3	D16	4350	14	1.56	6.79	95		
4	D13	660	10	0.995	0.66	7		
5	D13	6670	37	0.995	6.64	246		
6	D13	1290	8	0.995	1.28	10		
7	D13	1900	4	0.995	1.89	8		
8	D13	1150	10	0.995	1.14	11		
9	D13	1640	5	0.995	1.63	8		
B ° 1	D13	430	58	0.995	0.43	25		
小 計						733 kg		
C 1	D16	3220	27	1.56	5.02	136		
2	D16	2960	26	1.56	4.62	120		
3	D13	6670	13	0.995	6.64	86		
4	D13	6670	13	0.995	6.64	86		
5	D13	490	26	0.995	0.49	13		
C ° 1	D13	330	36	0.995	0.33	12		
小 計						453 kg		
J 1	D16	4400	7	1.56	6.86	48		
2	D16	3900	8	1.56	6.08	49		
3	D16	3880	7	1.56	6.05	42		
4	D16	3640	8	1.56	5.68	45		
5	D13	4200	14	0.995	4.18	59		
6	D13	3770	14	0.995	3.75	53		
J ° 1	D13	330	24	0.995	0.33	8		
小 計						304 kg		

記 号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	形状	備考
D 1	D16	5280	24	1.56	8.24	198		
2	D16	3910	8	1.56	6.10	49		
3	D13	6670	20	0.995	6.64	133		
4	D13	1590	12	0.995	1.58	19		
5	D13	2500	6	0.995	2.49	15		
D ° 1	D13	330	24	0.995	0.33	8		
小 計						422 kg		
E 1	D13	5170	108	0.995	5.14	555		
2	D13	3700	84	0.995	3.68	309		
3	D13	2190	84	0.995	2.18	183		
4	D13	470	126	0.995	0.47	59		
E ° 1	D13	330	120	0.995	0.33	40		
小 計						1146 kg		
M 1	D13	530	162	0.995	0.53	86		
2	D13	480	176	0.995	0.48	84		
3	D13	5100	4	0.995	5.07	20		
4	D13	3500	7	0.995	3.48	24		
5	D13	4700	2	0.995	4.68	9		
6	D13	3580	4	0.995	3.56	14		
7	D13	4700	1	0.995	4.68	5		
小 計						242 kg		
H 1	D16	1900	8	1.56	2.96	24		
2	D16	2000	8	1.56	3.12	25		
3	D16	970	16	1.56	1.51	24		平均長
4	D16	1500	48	1.56	2.34	112		
5	D16	1570	24	1.56	2.45	59		平均長
6	D16	960	44	1.56	1.50	66		平均長
7	D16	2200	8	1.56	3.43	27		
8	D16	1600	16	1.56	2.50	40		
9	D16	1000	32	1.56	1.56	50		
10	D16	3500	4	1.56	5.46	22		
11	D16	2000	8	1.56	3.12	25		
12	D16	1000	16	1.56	1.56	25		
13	D13	1360	8	0.995	1.35	11		
14	D16	1120	32	1.56	1.75	56		
15	D16	1700	4	1.56	2.65	11		
16	D16	1500	4	1.56	2.34	9		
17	D16	730	12	1.56	1.14	14		平均長
18	D16	1300	4	1.56	2.03	8		
19	D16	1300	4	1.56	2.03	8		
20	D16	770	6	1.56	1.20	7		平均長
21	D13	1360	12	0.995	1.35	16		
22	D16	1120	48	1.56	1.75	84		
23	D13	1830	2	0.995	1.82	4		
24	D16	1070	16	1.56	1.67	27		
25	D13	2300	2	0.995	2.29	5		
26	D16	1220	16	1.56	1.90	30		
27	D13	1510	4	0.995	1.50	6		
28	D16	1150	16	1.56	1.79	29		
29	D13	2300	4	0.995	2.29	9		
30	D19	1600	32	1.56	3.60	115		
31	D16	1400	8	2.25	2.18	17		
32	D16	1300	8	1.56	2.03	16		
33	D16	1550	8	1.56	2.42	19		
34	D16	1300	8	1.56	2.03	16		
35	D16	1520	16	1.56	2.37	38		
36	D16	2000	8	1.56	3.12	25		
小 計						1079 kg		

記 号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	形状	備考
K 1	D13	1700	25	0.995	1.69	42		
2	D13	6160	6	0.995	6.13	37		
3	D13	760	6	0.995	0.76	5		
4	D13	690	6	0.995	0.69	4		
5	D13	6750	6	0.995	6.72	40		
6	D13	1000	19	0.995	1.00	19		
小 計						147 kg		

(SD345)	D13	8296 kg
	D16	10278 kg
	D19	958 kg
	D22	10799 kg
鉄筋総重量		30331 kg

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2着水井配筋図20		
縮 尺	NON	図面番号	1-1-33
藍 住 町 上 下 水 道 課			

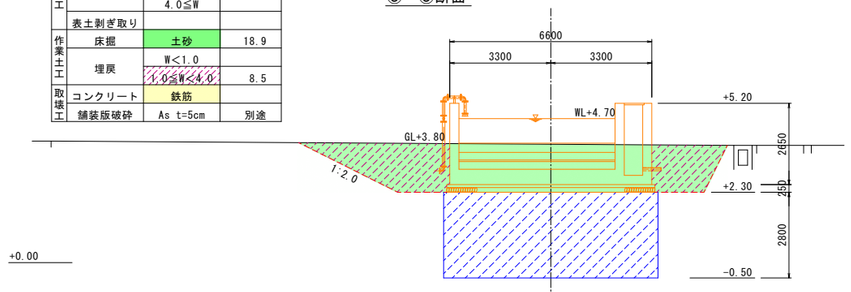
新天日乾燥床計画平面図

縮尺：1/100



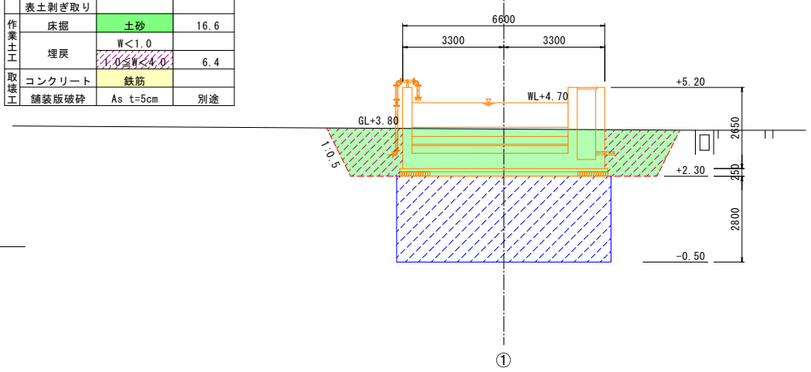
	名称	規格	数量
土工	路体盛土	W<2.5	
		2.5≦W<4.0	
		4.0≦W	
	表土剥ぎ取り		
作業土工	床掘	土砂	18.9
	埋戻	W<1.0	
		1.0≦W<4.0	8.5
取壊工	コンクリート	鉄筋	
	舗装版破砕	As t=5cm	別途

③－③断面

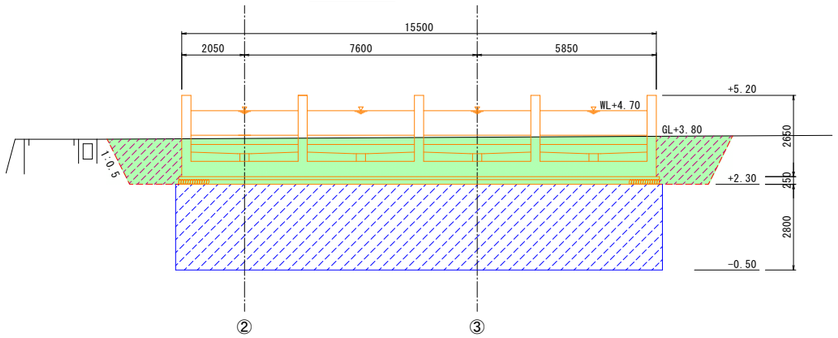


	名称	規格	数量
土工	路体盛土	W<2.5	
		2.5≦W<4.0	
		4.0≦W	
	表土剥ぎ取り		
作業土工	床掘	土砂	16.6
	埋戻	W<1.0	
		1.0≦W<4.0	6.4
取壊工	コンクリート	鉄筋	
	舗装版破砕	As t=5cm	別途

②－②断面



①－①断面

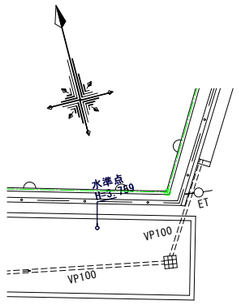


：土工
：地盤改良工
：仮設工
：計画施設

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新天日乾燥床計画平面図		
縮　尺	1/100	図面番号	1-2-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

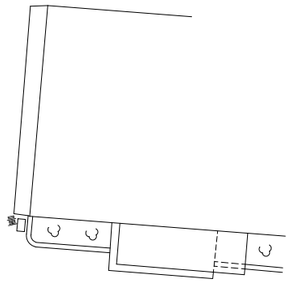
新天日乾燥床地盤改良図

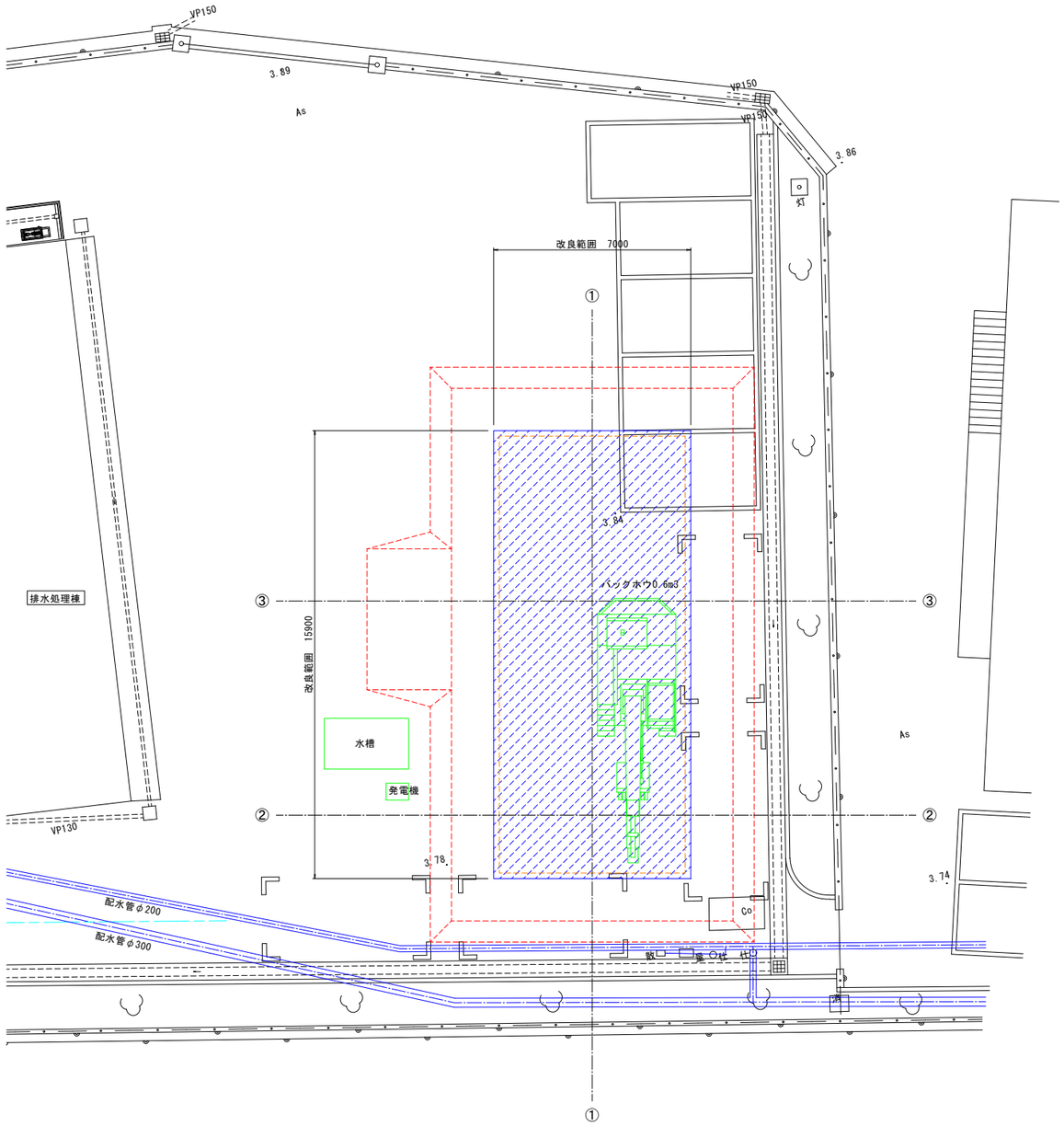
縮尺：1/100



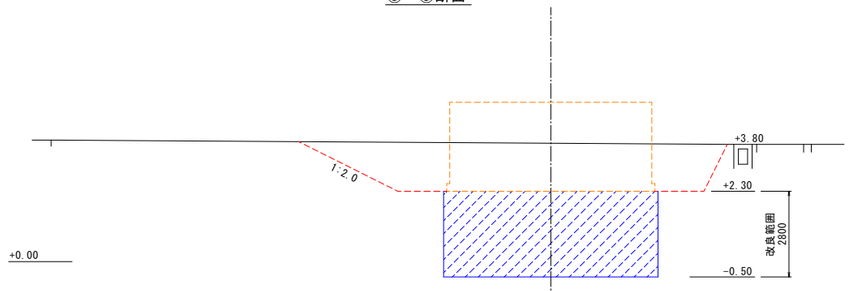
地盤改良工法（エルニード工法を想定）

項目	仕様
（造成部仕様）	
許容支持力度　qa	50.0 kN/m2
設計基準強度　Fc	0.150 N/mm2 (1.5 kg/cm2)
室内配合強度　Xt	0.170 N/mm2 (1.7 kg/cm2)
（スラリー配合量）	
固化材(比重3.04)	247 kg/m3 (造成土1m3当り)
W / 固化材比	60.0 %
注入率　P	23.0 %
（造成部1m3当りの配合量(推定)）	
調整含水比	60.0 %
土	0.678 m3
	1.153 t
固化材	0.168 t
調整水	w1　0.100 m3
	w2　0.166 m3
（その他）	
配合量の決定は室内配合試験結果による	
N値20程度の支持層に1.3mの根入れを想定している	

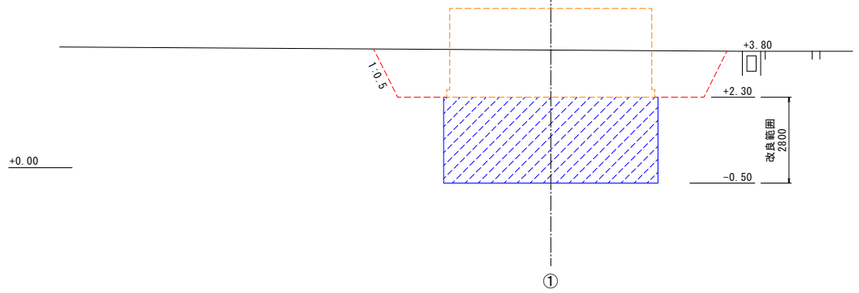




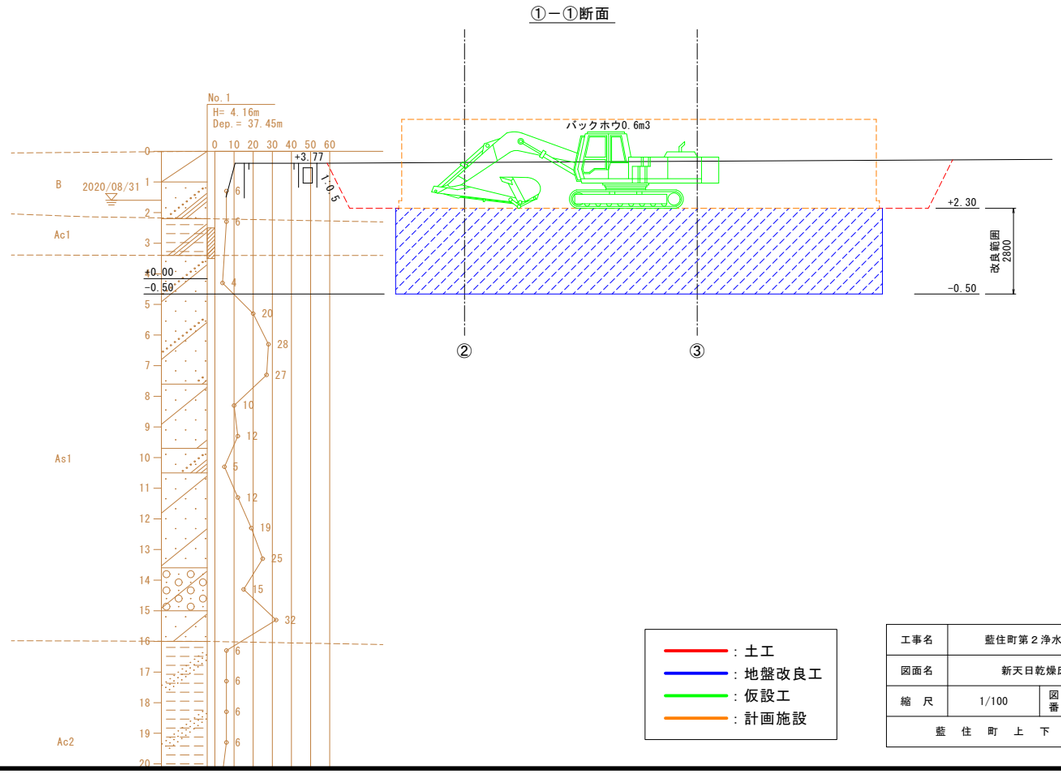
③－③断面



②－②断面



①－①断面



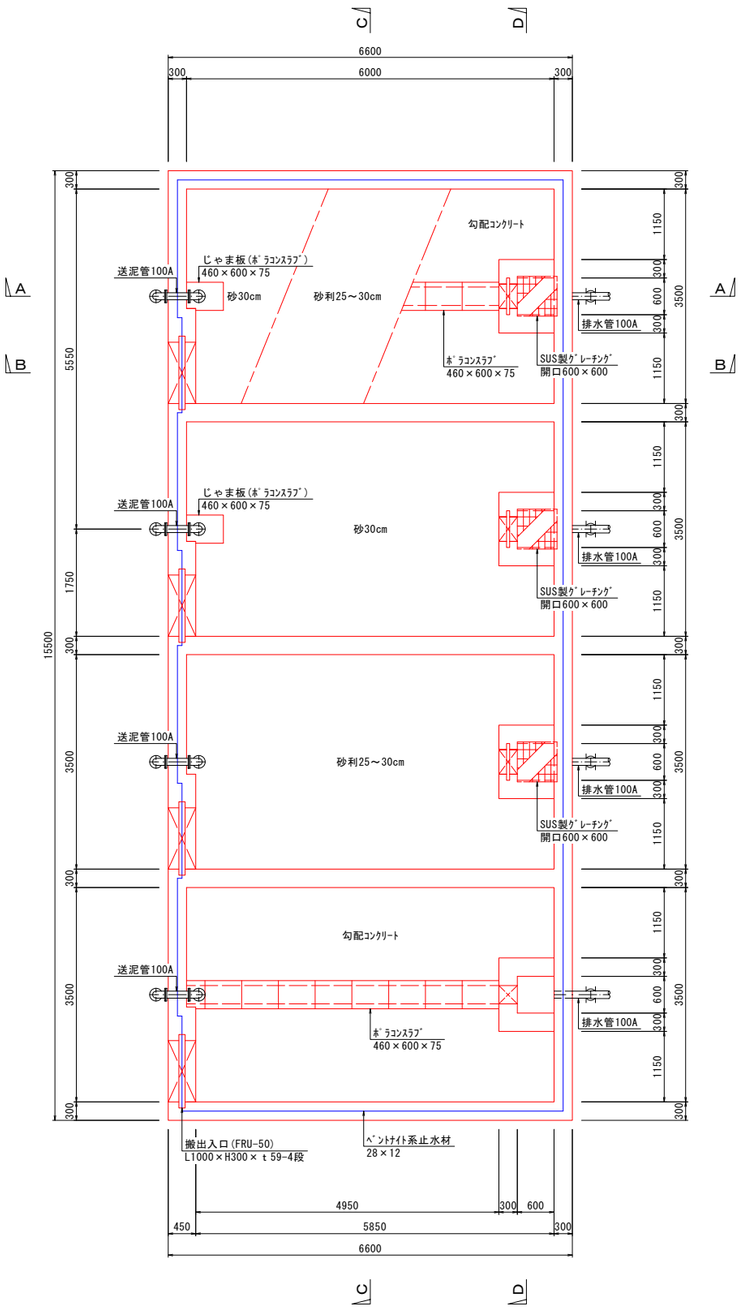
：土工
：地盤改良工
：仮設工
：計画施設

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新天日乾燥床地盤改良図		
縮　尺	1/100	図面番号	1-2-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

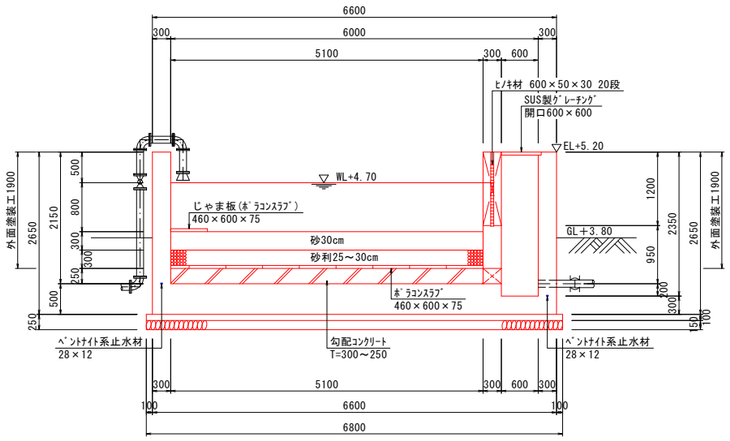
新天日乾燥床構造図

縮尺：1/50

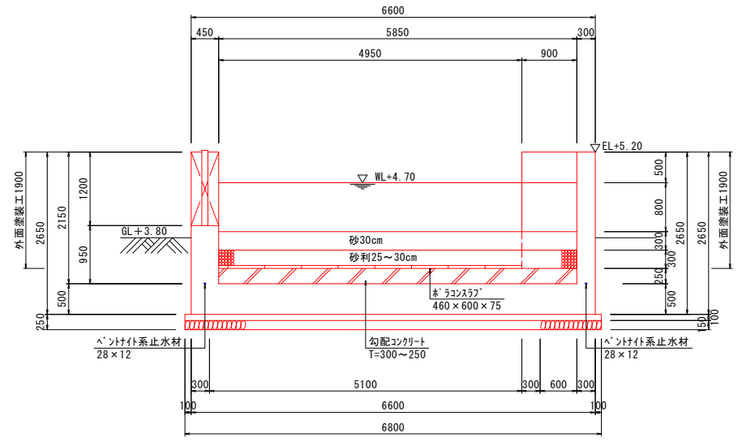
上・下部平面図



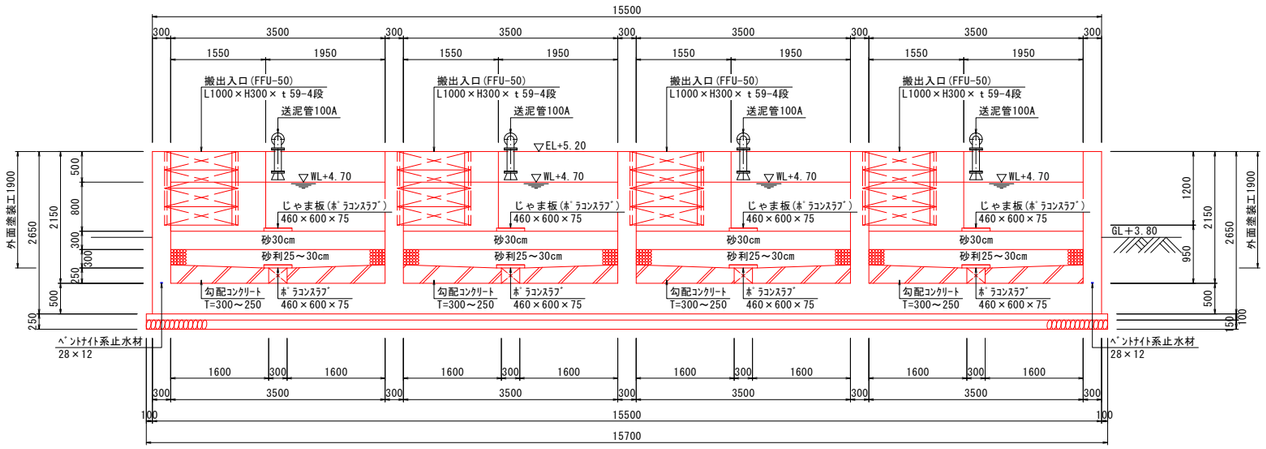
Ａ－Ａ断面図



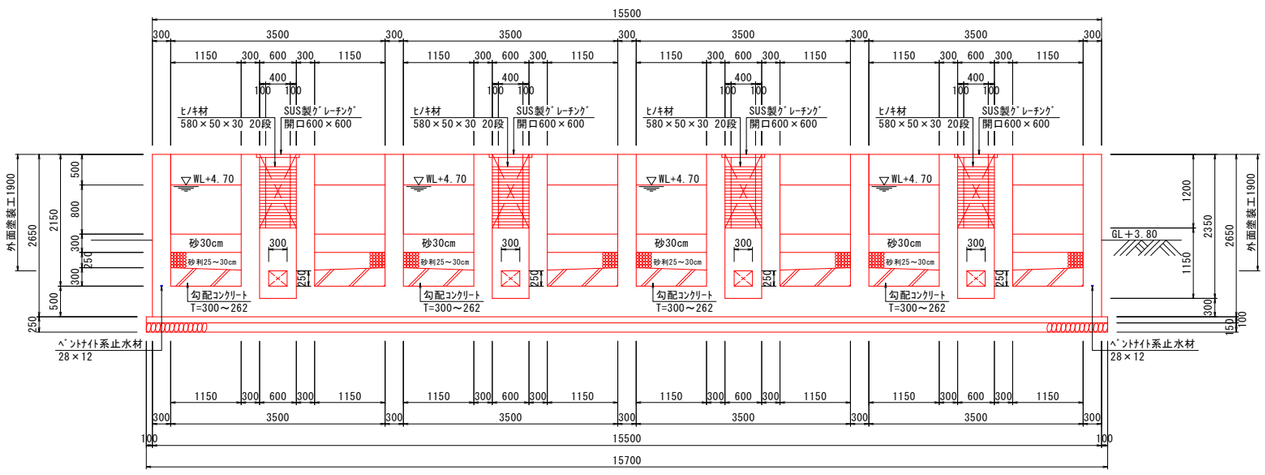
Ｂ－Ｂ断面図



Ｃ－Ｃ断面図



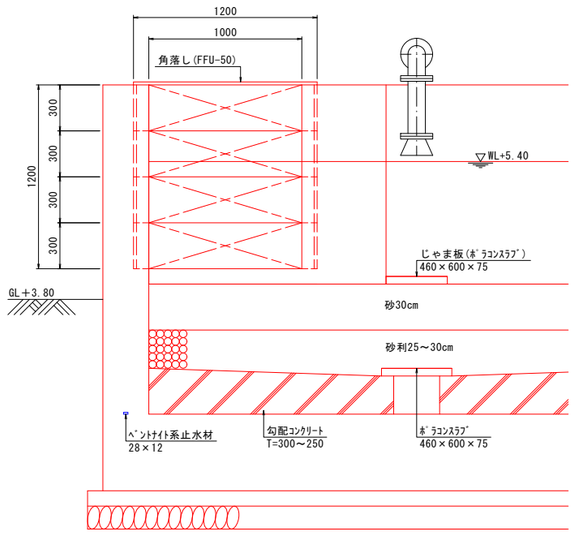
Ｄ－Ｄ断面図



工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新天日乾燥床構造図		
縮　尺	1/50	図面番号	1-2-3
藍　住　町　上　下　水　道　課			

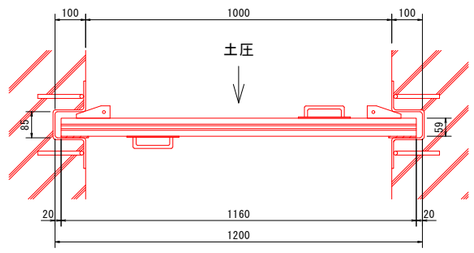
新天日乾燥床付帯設備詳細図1

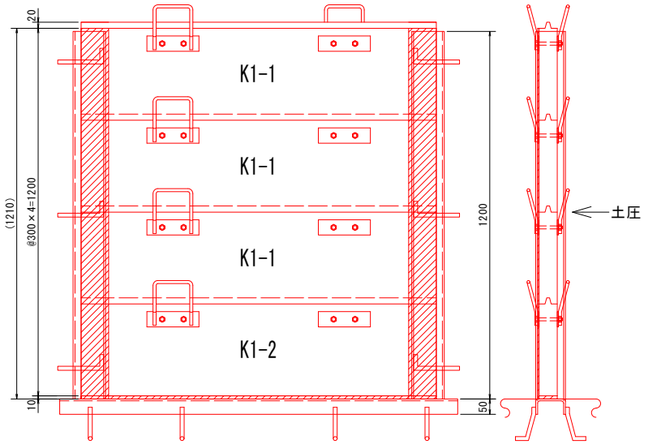
搬入出入口詳細図　縮尺；1/20



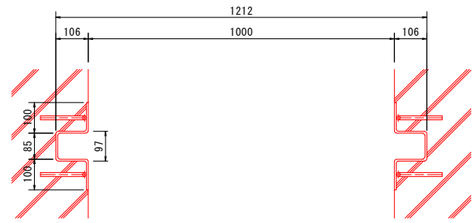
角落し全体図　縮尺；1/10

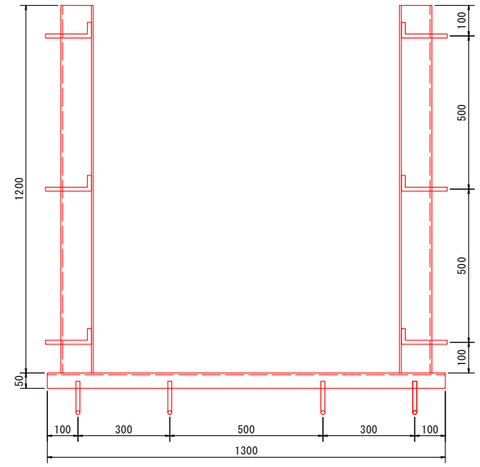
K1 角落し(4箇所)呼称60
W1160×H1200×59t



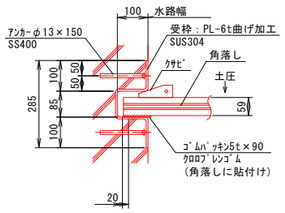


角落し受枠詳細図　縮尺；1/10

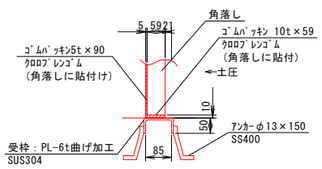




角落し支持部詳細図　縮尺；1/10

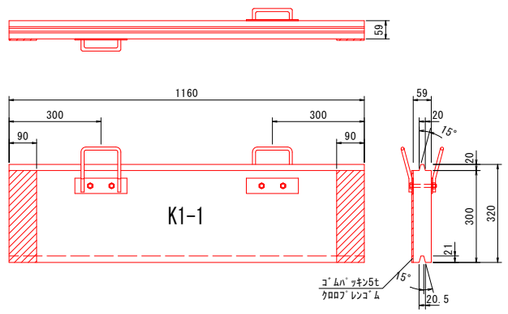


角落し下部詳細図　縮尺；1/10



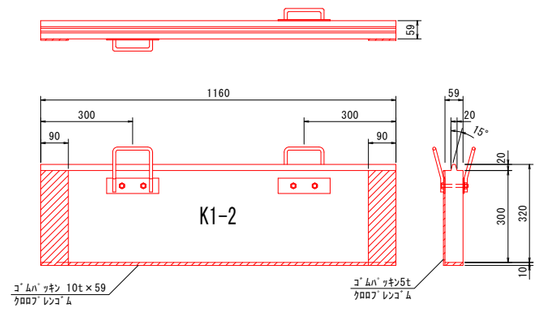
角落し詳細図　縮尺；1/10

K1-1　12枚
参考重量：15kg

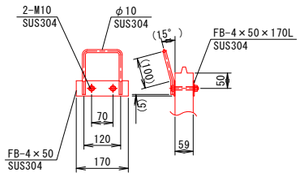


角落し詳細図　縮尺；1/10

K1-2　4枚
参考重量：15kg

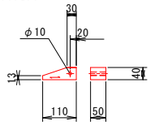


取手詳細図　縮尺；1/10



FFU製ｸｻﾋﾞ詳細図　縮尺；1/10

材質：FFU74



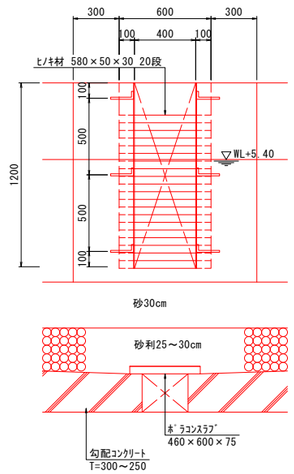
特記仕様(角落し)

1．(　　)寸法は参考値とする。
2．材質：ｶﾞﾗｽ長繊維強化硬質ｳﾚﾀﾝ樹脂発泡体(FFU74)とする。
3．角落しの比重：0.74
4．合成木材を貼合せ接着する場合は、ｴﾎﾟｷｼ系接着剤(ｴｽﾀﾞｲﾝﾎﾞ3120)を使用する。
5．参考重量は、金具(引き上げ用取手)の重量を含まず。
6．塗装：ｱｸﾘﾙｳﾚﾀﾝ塗装。茶色(L09-30F)
〔日本塗料工業会発行の塗料用標準色見本帳による〕
7．材料の比重、寸法許容差はﾒｰｶｰ規格に準じます。
8．角落しは完全止水致しかねます。

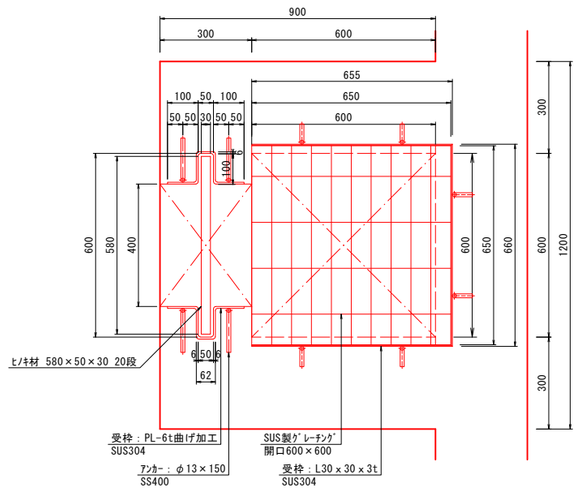
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新天日乾燥床付帯設備詳細図1		
縮　尺	図示	図面番号	1-2-4
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新天日乾燥床付帯設備詳細図2

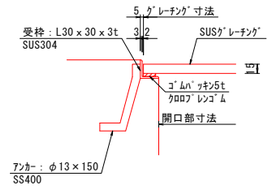
上澄水取出し装置詳細図　縮尺：1/20



受枠詳細図　縮尺：1/10



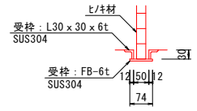
ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ受枠詳細図　縮尺：1/5



仕上表

1	外部仕上	外面	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 防水型複層仕上(弾性ﾀｲﾙ) GL-0.50まで
		ｺﾝｸﾘｰﾄ床面	金ｺﾃ仕上
2	内部仕上	水槽内面(壁・床)	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放仕上
		ﾋﾟｯﾄ内面(壁・床)	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放仕上

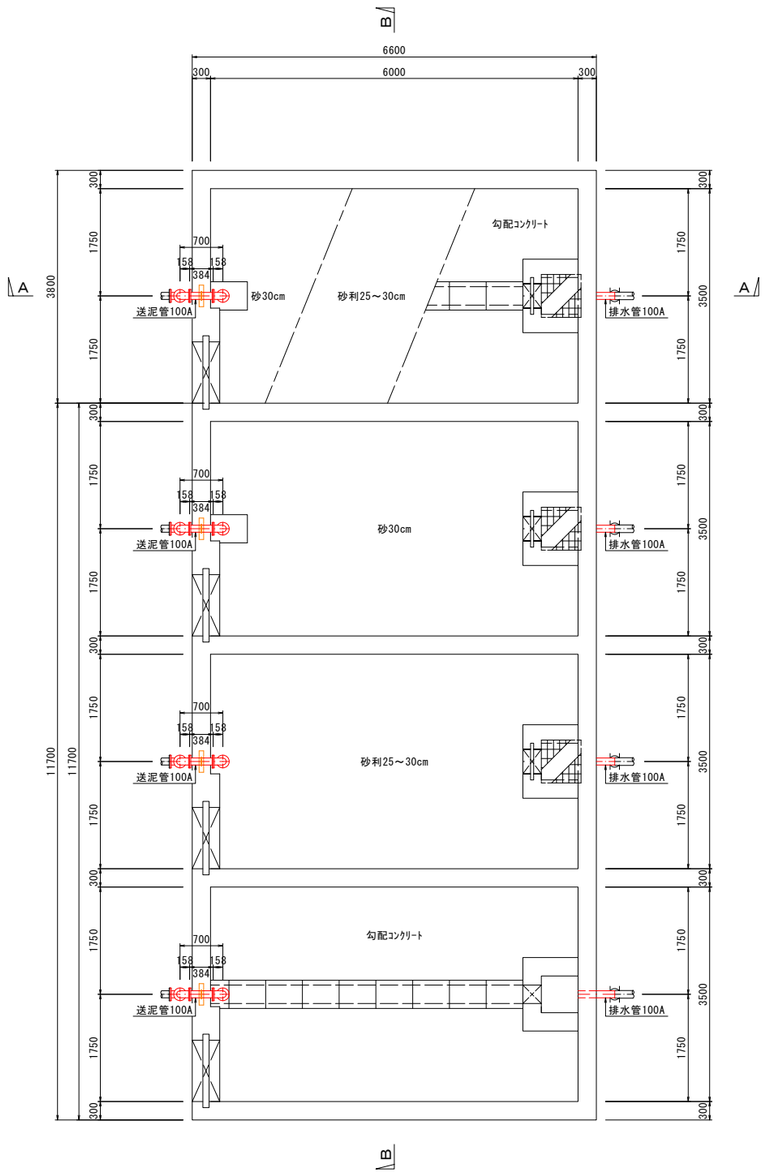
受枠下部詳細図　縮尺：1/10



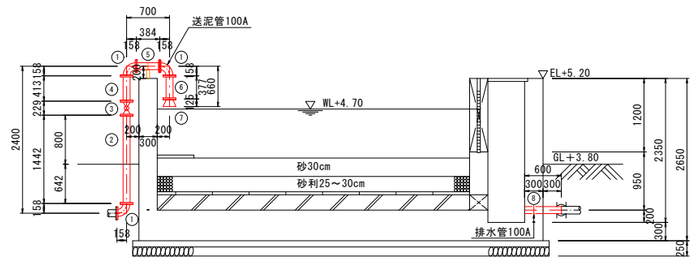
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新天日乾燥床付帯設備詳細図2		
縮　尺	図示	図面番号	1-2-5
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新天日乾燥床付帯配管詳細図

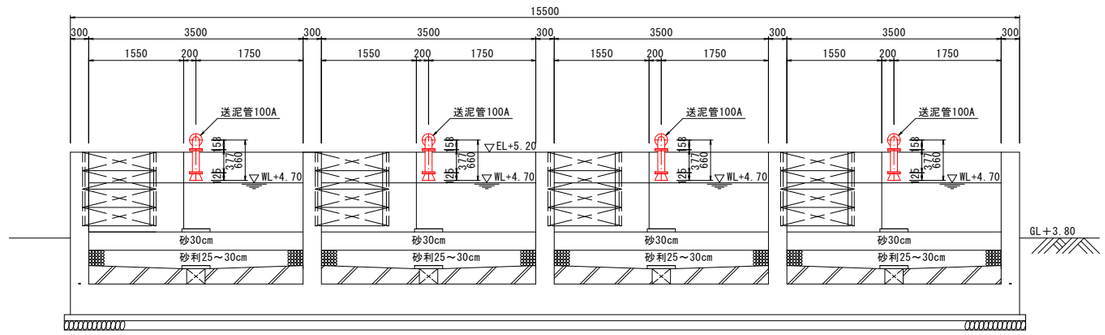
上・下部平面図　縮尺：1/50



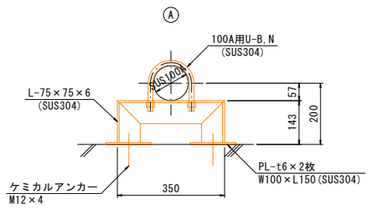
Ａ－Ａ断面図　縮尺：1/50



Ｂ－Ｂ断面図　縮尺：1/50



支持金具詳細図　縮尺：1/10



	資　材　名	数量	備考
①	SUS2F曲管　100A×L158×90°×L158	12	10KF
②	SUS2F短管　100A×L1442	4	10KF
③	SUS製ボール弁　100A	4	10KF
④	SUS2F短管　100A×L413	4	10KF
⑤	SUS2F短管　100A×L384	4	10KF
⑥	SUS2F短管　100A×L377	4	10KF
⑦	SUS1Fラッパ口　100A×L125	4	10KF
⑧	SUSパドル付短管　100A×L600	4	
	管支持金具Ａ　100A用	4	

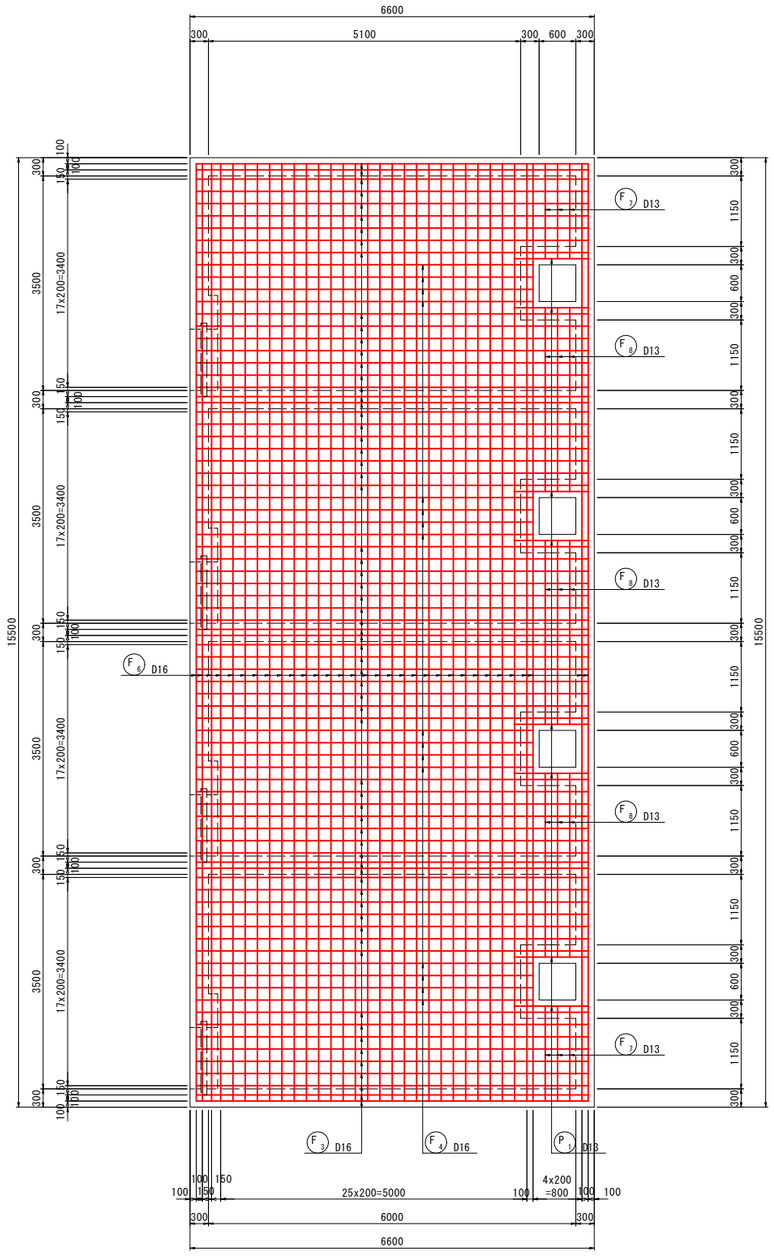
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新天日乾燥床付帯配管詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	1-2-6
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新天日乾燥床配筋図1

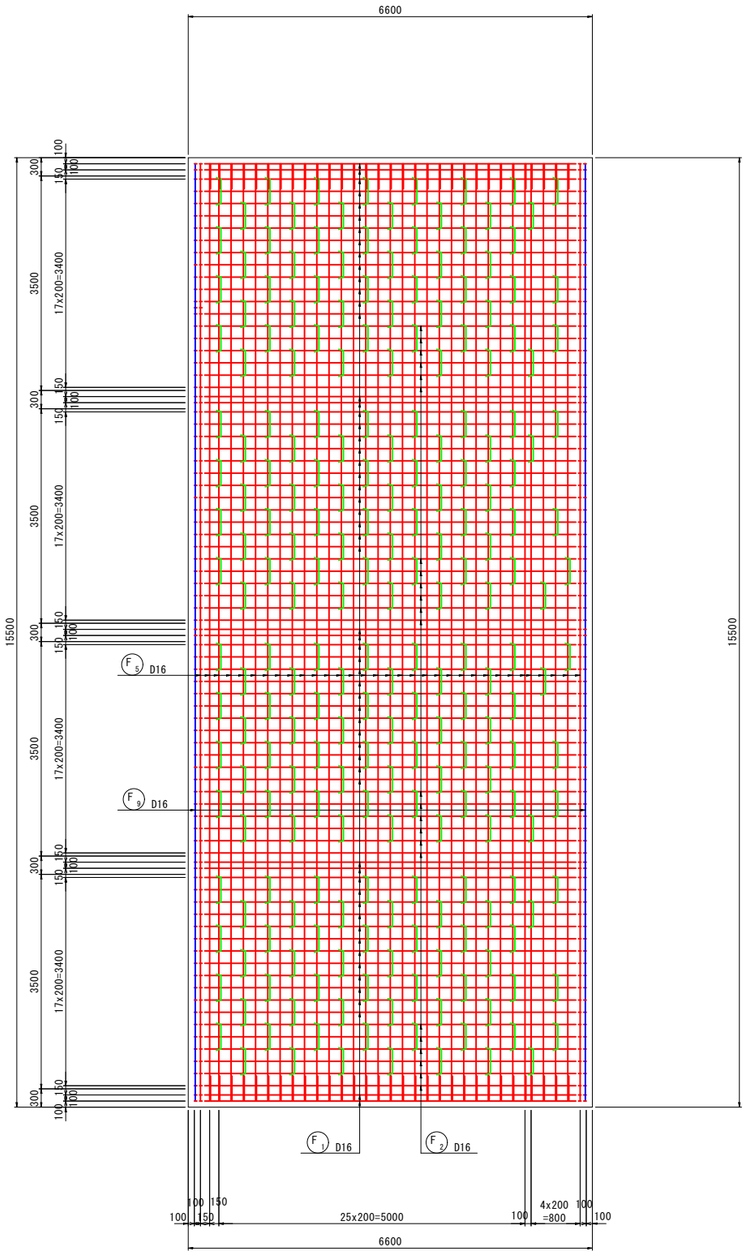
縮尺：1/50

底 版

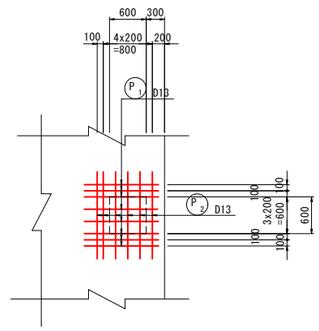
上 面



下 面



ピット上面



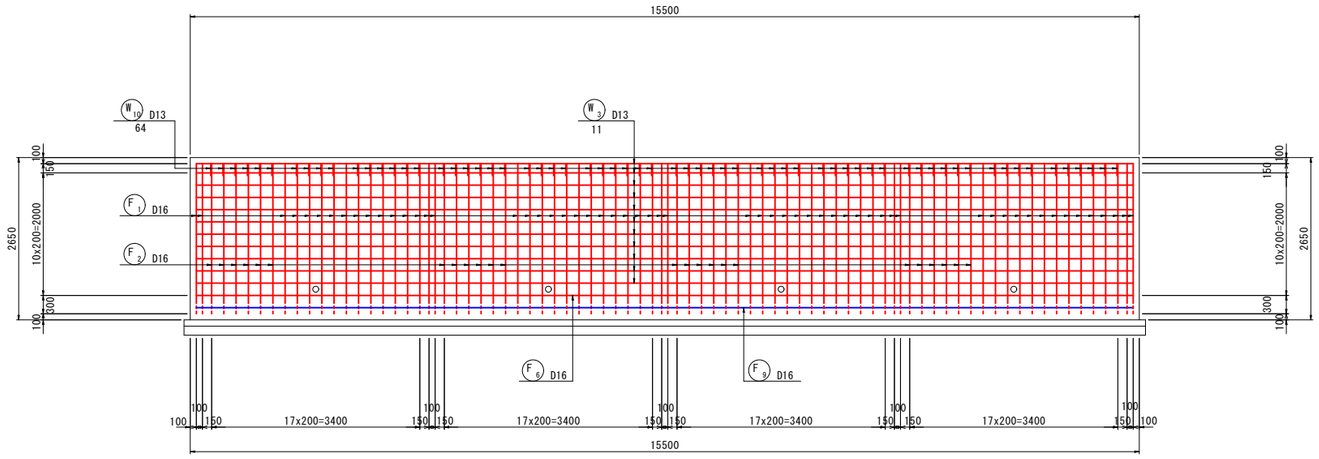
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新天日乾燥床配筋図1		
縮 尺	1/50	図面番号	1-2-7
藍 住 町 上 下 水 道 課			

新天日乾燥床配筋図2

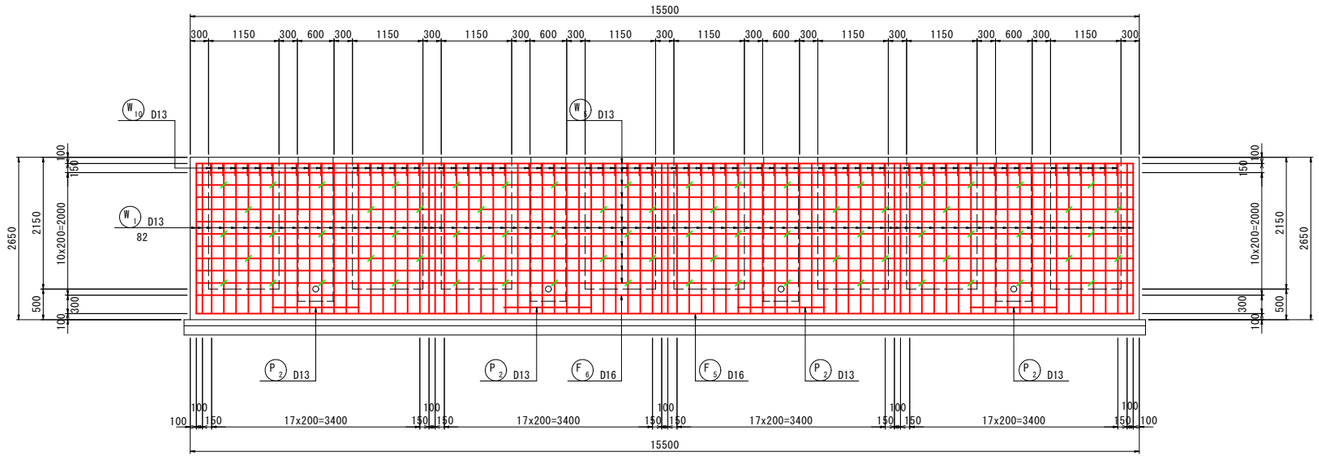
縮尺：1/50

側壁1 － 1

外 側

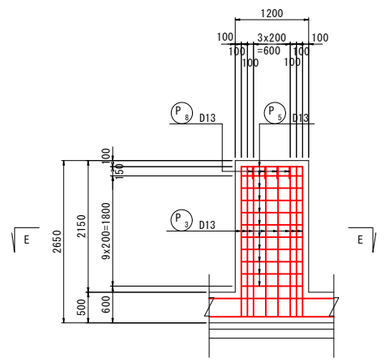


内 側

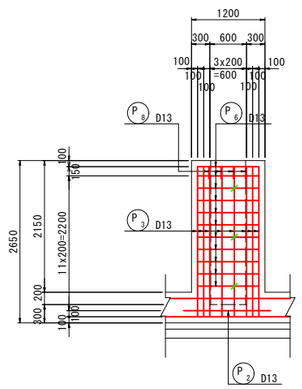


ピット部(4ヶ所)

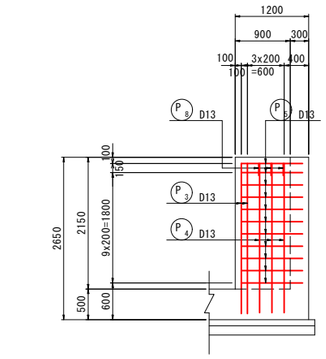
A － A



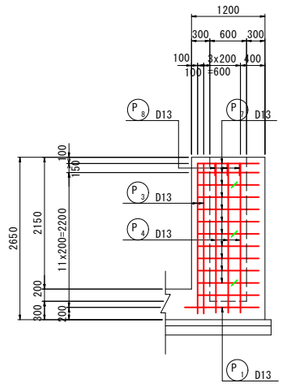
B － B



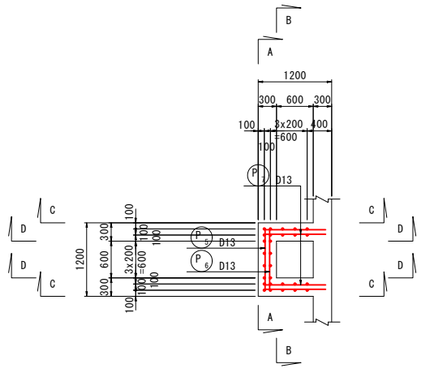
C － C



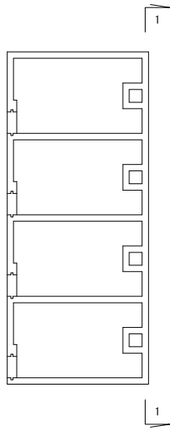
D － D



E － E



位置図



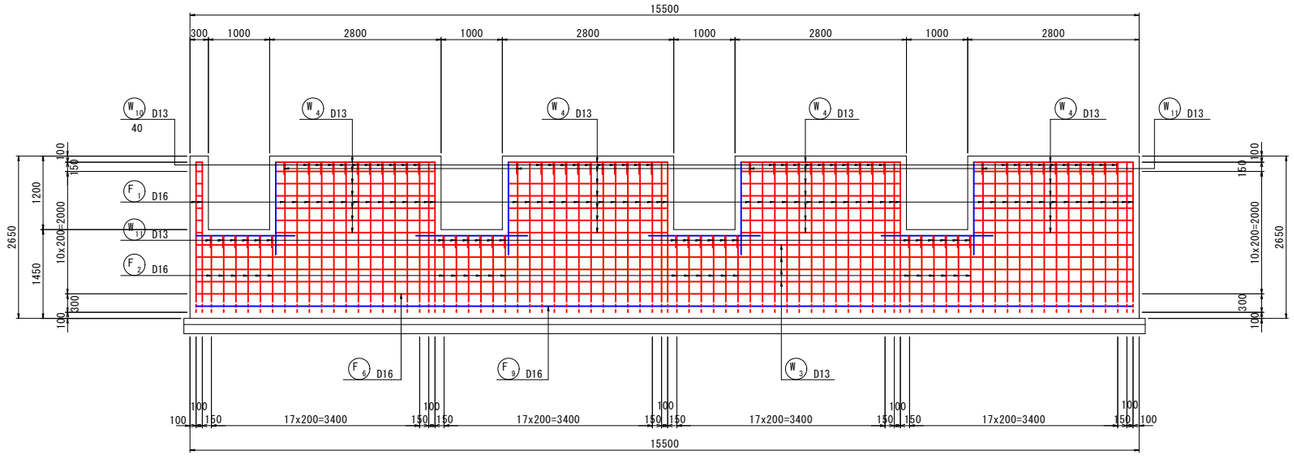
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新天日乾燥床配筋図2		
縮 尺	1/50	図面番号	1-2-8
藍 住 町 上 下 水 道 課			

新天日乾燥床配筋図3

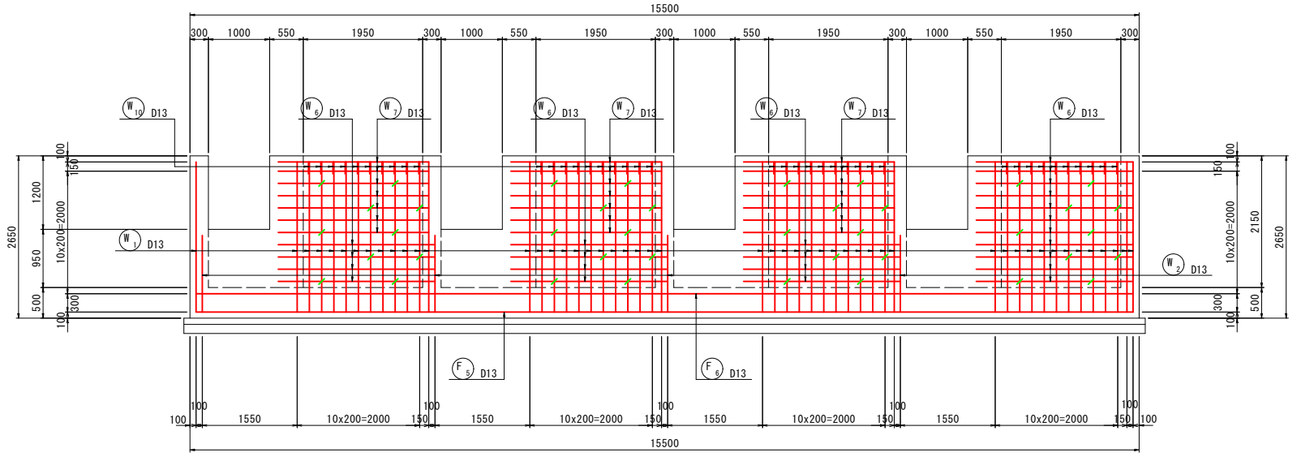
縮尺：1/50

側壁2 － 2

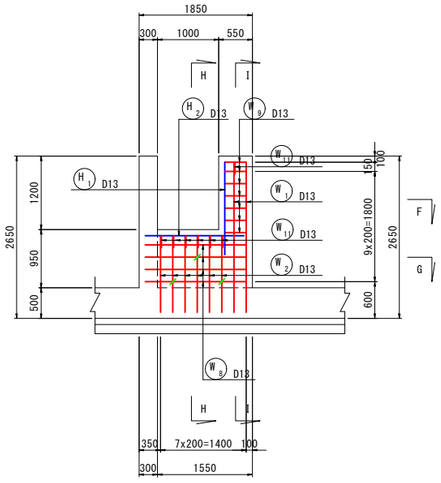
外 側



内 側

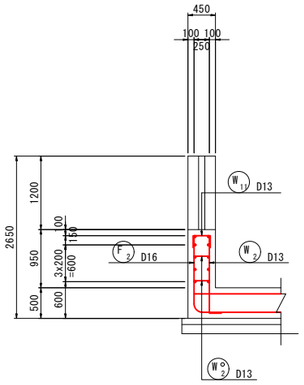


正面図

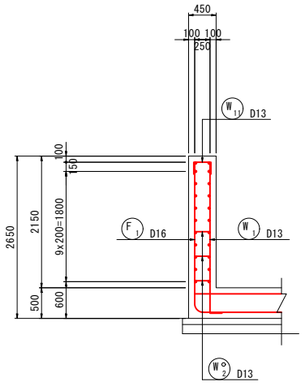


角落し部(4ヶ所)

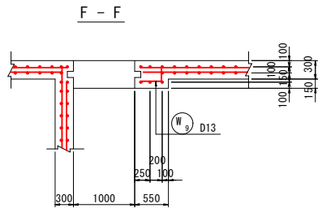
H － H



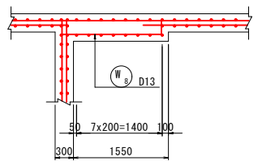
I － I



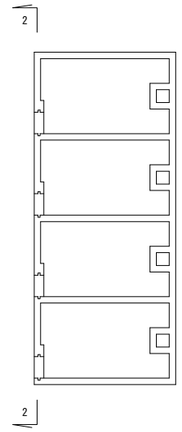
F － F



G － G



位置図



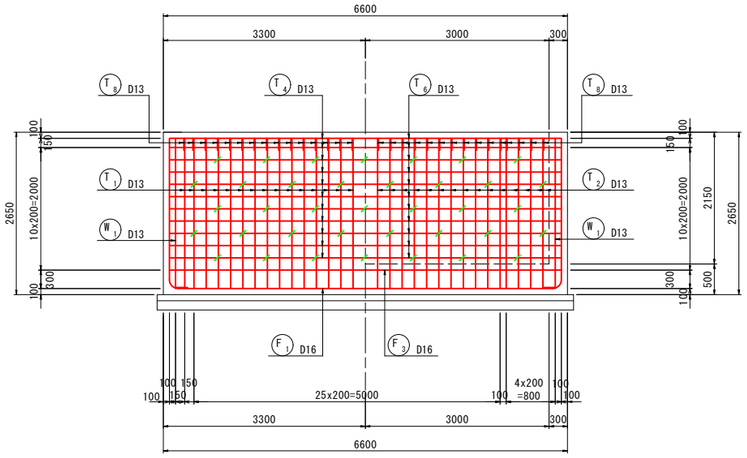
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新天日乾燥床配筋図3		
縮 尺	1/50	図 面 番 号	1-2-9
藍 住 町 上 下 水 道 課			

新天日乾燥床配筋図4

縮尺：1/50

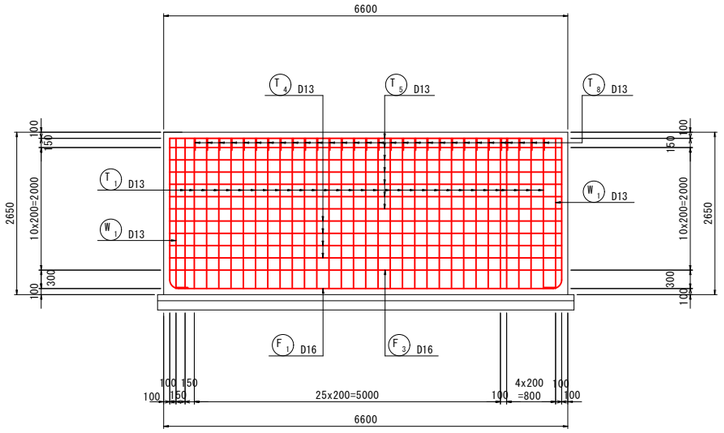
側壁3 － 3

外 側　　内 側



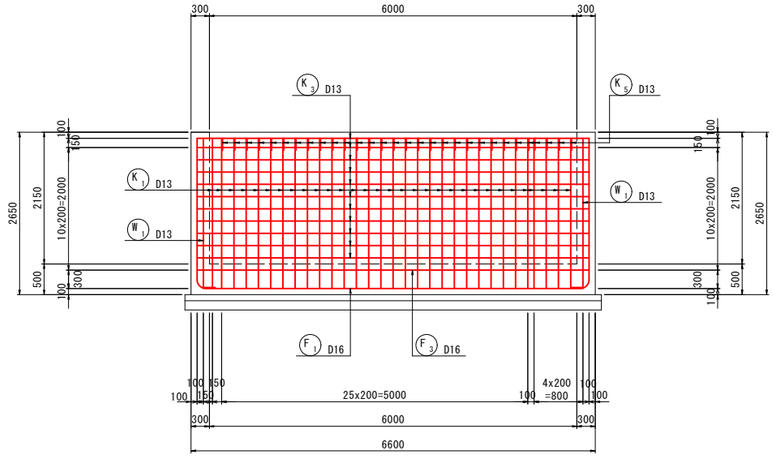
側壁4 － 4

外 側

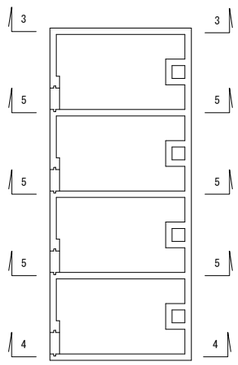


隔壁5 － 5

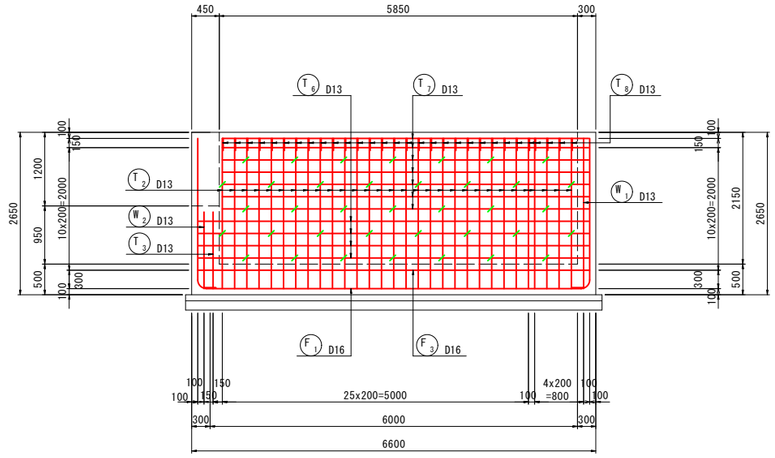
外 側



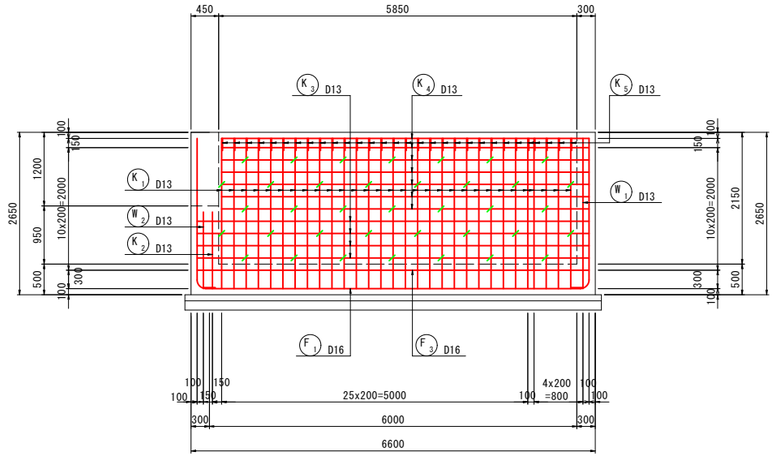
位置図



内 側



内側（角落し側）

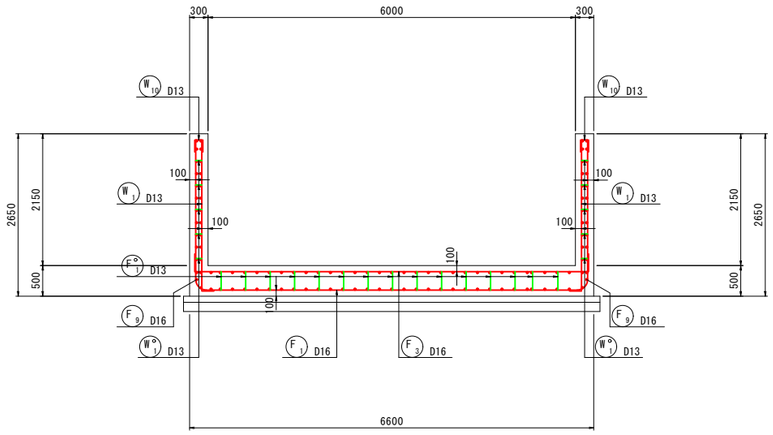


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新天日乾燥床配筋図4		
縮　尺	1/50	図面番号	1-2-10
藍　住　町　上　下　水　道　課			

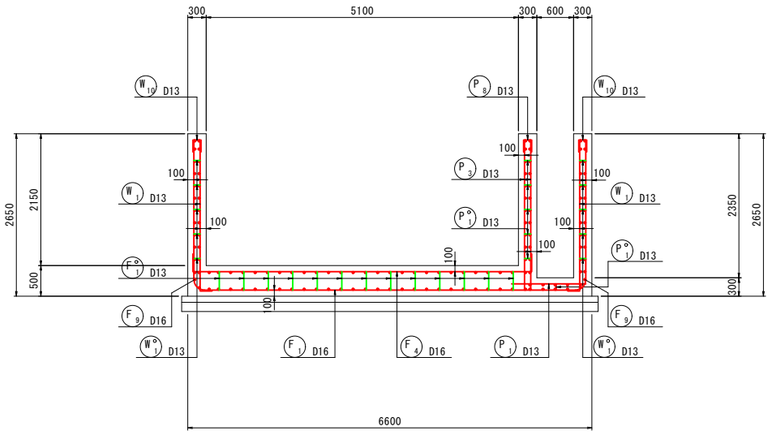
新天日乾燥床配筋図5

縮尺：1/50

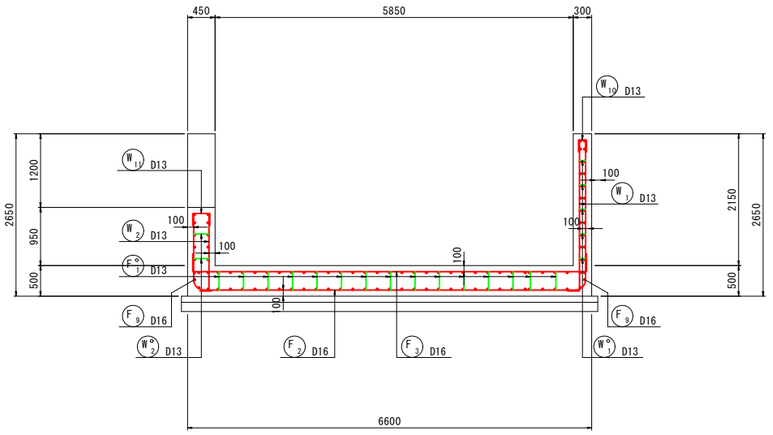
6 － 6



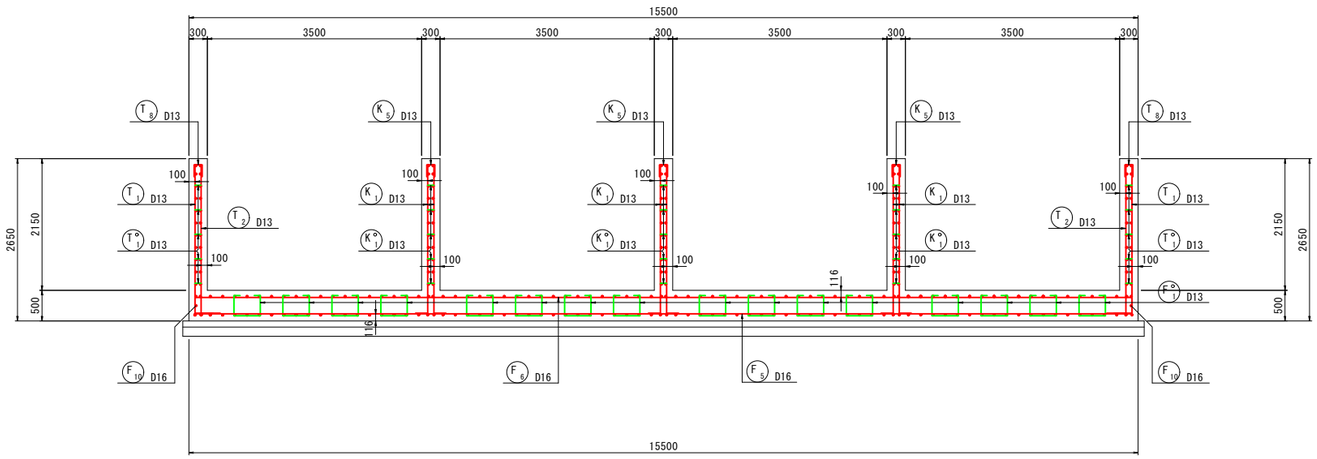
7 － 7



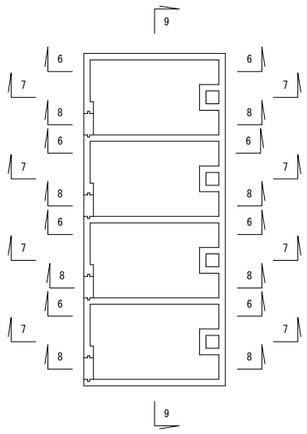
8 － 8



9 － 9



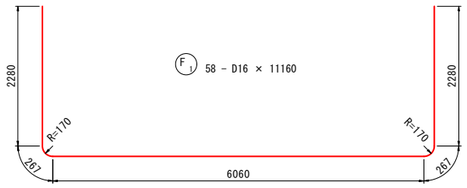
位置図

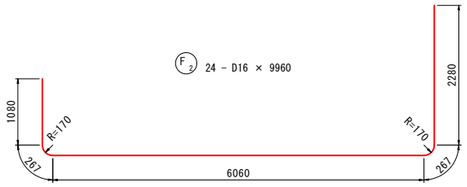


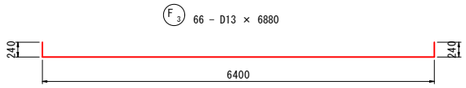
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新天日乾燥床配筋図5		
縮　尺	1/50	図面番号	1-2-11
藍　住　町　上　下　水　道　課			

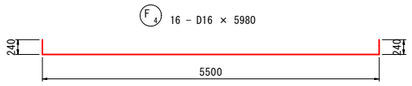
新天日乾燥床配筋図6

縮尺：1/50

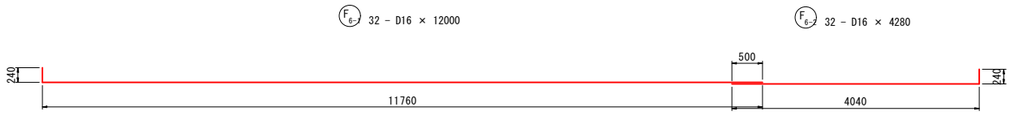


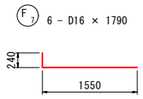


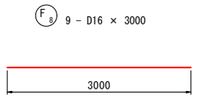


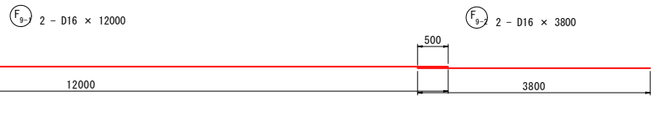


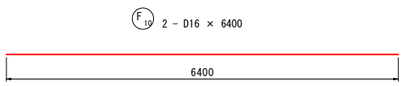


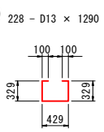


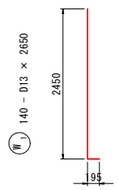


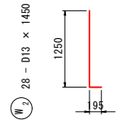


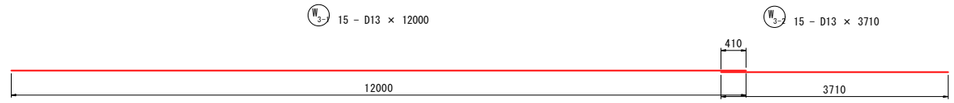


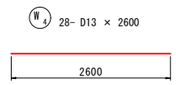


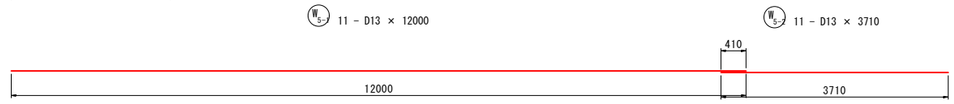


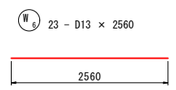


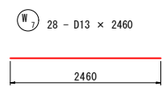


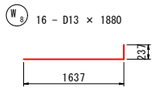


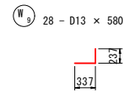


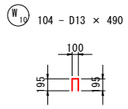


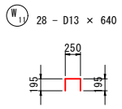


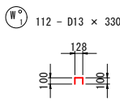


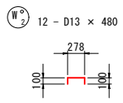


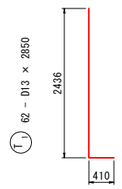


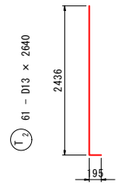


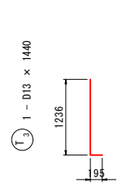


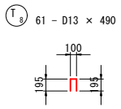


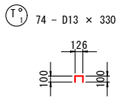


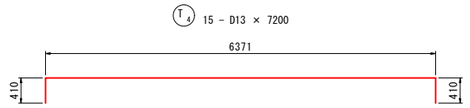


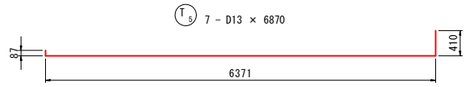


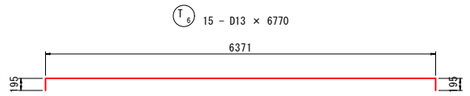


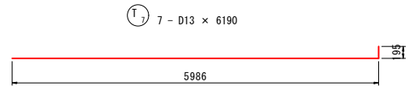








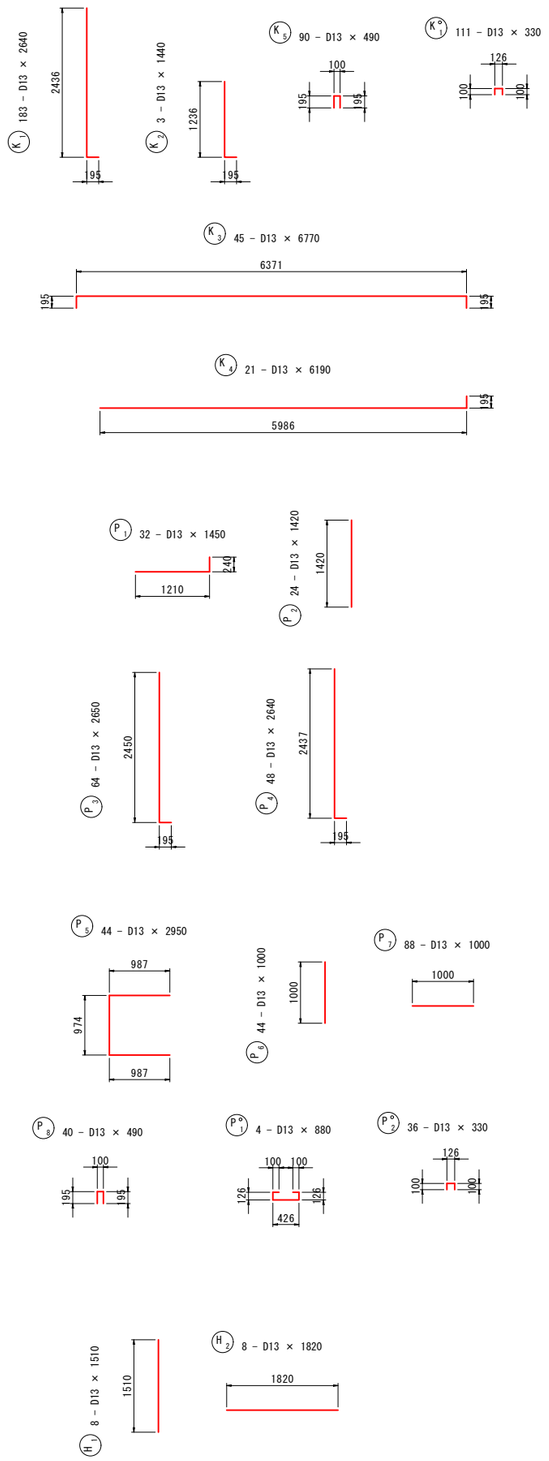




工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新天日乾燥床配筋図6		
縮　尺	1/50	図面番号	1-2-12
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新天日乾燥床配筋図7

縮尺：1/50



鉄 筋 表

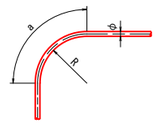
記 号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	形状	備考
F 1	D16	11160	58	1.56	17.41	1010		
2	D16	9960	24	1.56	15.54	373		
3	D16	6880	66	1.56	10.73	708		
4	D16	5980	16	1.56	9.33	149		
5-1	D16	12000	33	1.56	18.72	618		
5-2	D16	3800	33	1.56	5.93	196		
6-1	D16	12000	32	1.56	18.72	599		
6-2	D16	4280	32	1.56	6.68	214		
7	D16	1790	6	1.56	2.79	17		
8	D16	3000	9	1.56	4.68	42		
9-1	D16	12000	2	1.56	18.72	37		
9-2	D16	3800	2	1.56	5.93	12		
10	D16	6400	2	1.56	9.98	20		
F °1	D13	1290	228	0.995	1.28	292		
小 計						4287 kg		
W 1	D13	2650	140	0.995	2.64	370		
2	D13	1450	28	0.995	1.44	40		
3-1	D13	12000	15	0.995	11.94	179		
3-2	D13	3710	15	0.995	3.69	55		
4	D13	2600	28	0.995	2.59	73		
5-1	D13	12000	11	0.995	11.94	131		
5-2	D13	3710	11	0.995	3.69	41		
6	D13	2560	23	0.995	2.55	59		
7	D13	2460	28	0.995	2.45	69		
8	D13	1880	16	0.995	1.87	30		
9	D13	580	28	0.995	0.58	16		
10	D13	490	104	0.995	0.49	51		
11	D13	640	28	0.995	0.64	18		
W °1	D13	330	112	0.995	0.33	37		
2	D13	480	12	0.995	0.48	6		
小 計						1175 kg		
T 1	D13	2850	62	0.995	2.84	176		
2	D13	2640	61	0.995	2.63	160		
3	D13	1440	1	0.995	1.43	1		
4	D13	7200	15	0.995	7.16	107		
5	D13	6870	7	0.995	6.84	48		
6	D13	6770	15	0.995	6.74	101		
7	D13	6190	7	0.995	6.16	43		
8	D13	490	61	0.995	0.49	30		
T °1	D13	330	74	0.995	0.33	24		
小 計						690 kg		

記 号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	形状	備考
K 1	D13	2640	183	0.995	2.63	481		
2	D13	1440	3	0.995	1.43	4		
3	D13	6770	45	0.995	6.74	303		
4	D13	6190	21	0.995	6.16	129		
5	D13	490	93	0.995	0.49	46		
K °1	D13	330	111	0.995	0.33	37		
小 計						1000 kg		
P 1	D13	1450	32	0.995	1.44	46		
2	D13	1420	24	0.995	1.41	34		
3	D13	2650	64	0.995	2.64	169		
4	D13	2640	48	0.995	2.63	126		
5	D13	2950	44	0.995	2.94	129		
6	D13	1000	44	0.995	1.00	44		
7	D13	1000	88	0.995	1.00	88		
8	D13	490	40	0.995	0.49	20		
P °1	D13	880	4	0.995	0.88	4		
2	D13	330	36	0.995	0.33	12		
小 計						672 kg		
H 1	D13	1510	8	0.995	1.50	12		
2	D13	1820	8	0.995	1.81	14		
小 計						26 kg		
(SD345)	D13					3855 kg		
	D16					3995 kg		
鉄筋総重量						7850 kg		

鉄筋加工諸元表

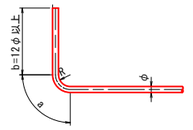
但し,a,bは鉄筋中心の長さ

ラーメン隅角部



	径	R=10φ	a
ラーメン隅角部	D13	133.5	220
	D16	162	267
	D19	190.5	314
	D22	229	377
	D25	257.5	424
	D29	295.5	487
	D32	324	534

直角フック



	径	R=2.5φ	a	b
直角フック	D13	32.5	61	156
	D16	40	75	192
	D19	47.5	90	228
	D22	55	104	264
	D25	62.5	118	300
	D29	72.5	137	348
	D32	80	151	384

組立筋・スターラップ

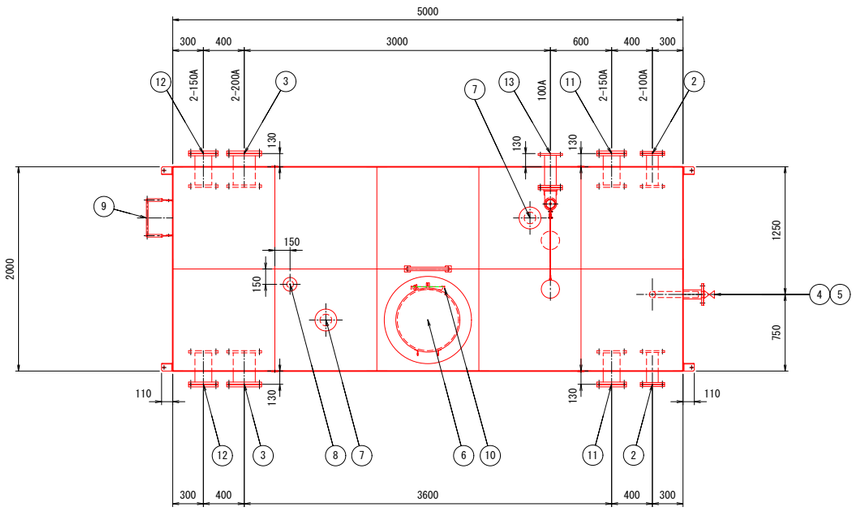
組立筋・スターラップ		
径	R=2φ	a
D13	26	51
D16	32	63
D19	38	75
D22	44	86
D25	50	98
D29	58	114
D32	64	126

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新天日乾燥床配筋図7		
縮 尺	1/50	図面番号	1-2-13
藍 住 町 上 下 水 道 課			

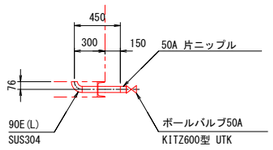
仮設逆洗水槽構造図1

縮尺：1/30

参考図

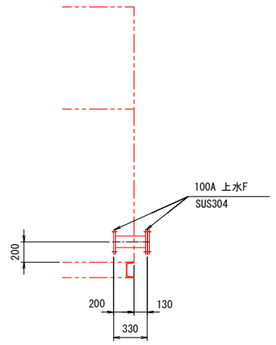


本体平面図



⑤ 50A 排水口詳細図

製作数：1



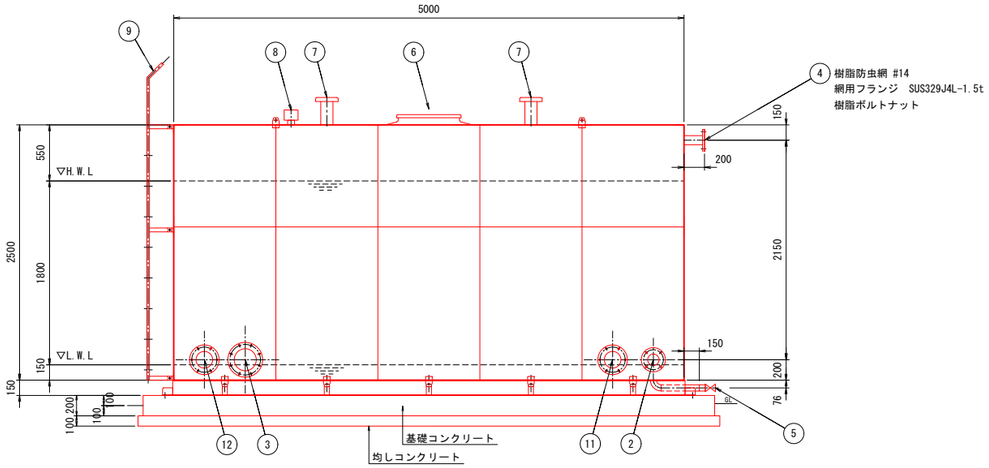
② 100A 詳細図

製作数：2

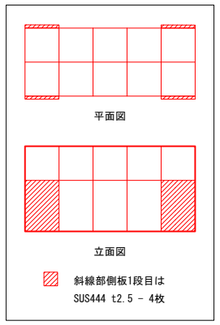
ステンレス鋼板製リースタンク仕様

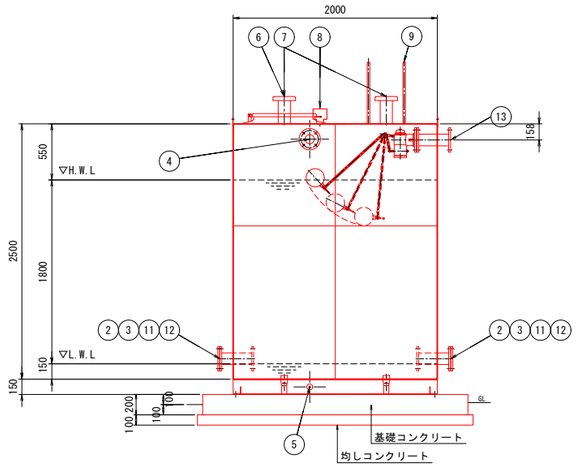
容　量	18m³　1池式				
寸　法	2000 X 5000 X 2500 H				
材　料	天 井 板　t1.5			SUS329J4L	
	側板2段目　t1.5			SUS329J4L	
	側板1段目　t2.0(一部t2.5)			SUS444	
	底　板　t2.0			SUS444	
重　量	1500kg				
受　台	A主部材 ⊏-150×75×6.5×10			SS400	
	B副部材 ⊏-75×40×5×7			SS400	
仕　上	SS部は溶融亜鉛メッキ				

品番	名　称	材　質	寸　法	個数	備　考
13	流入管	SUS304	100A	1	上水F, SUS304
12	配管D	SUS304	150A	2	上水F, SUS304 ※BF付き(塩ビ製)
11	配管C	SUS304	150A	2	上水F, SUS304 ※BF付き(塩ビ製)
10	内梯子	SUS329J4L SUS444	330X300	1	L30X30X3
9	外梯子	SS	350X300	1	
8	電極口	SUS316	50A	1	ソケット
7	通気口	SUS329J4L	100A	2	防虫網付
6	人　孔	SUS329J4L	φ600	1	旋錠式
5	排水口	SUS304	50A	1	
4	越流口	SUS329J4L	80A	1	上水F, SUS316 防虫網付
3	配管B	SUS304	200A	2	上水F, SUS304 ※BF付き(塩ビ製)
2	配管A	SUS304	100A	2	上水F, SUS304 ※BF付き(塩ビ製)
1	本　体	SUS329J4L SUS444			



本体立面図





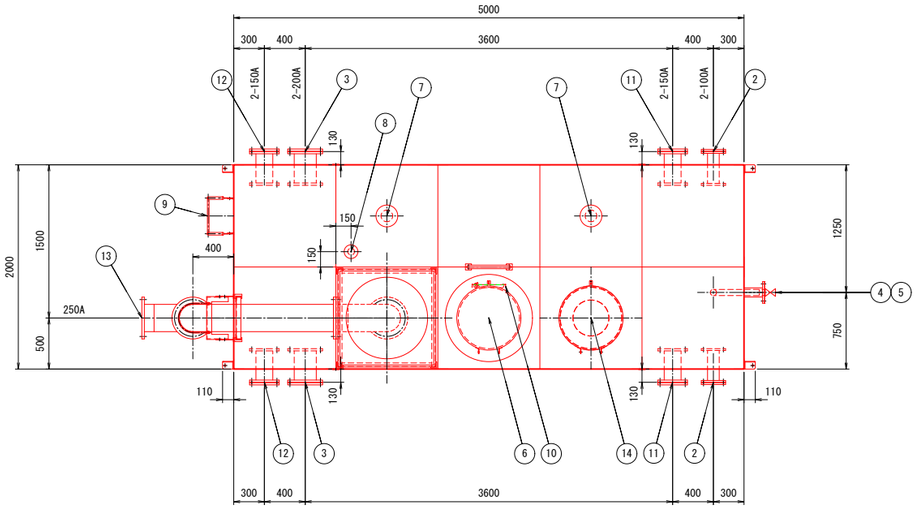
本体側面図

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	仮設逆洗水槽構造図1		
縮　尺	1/30	図面番号	1-3-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

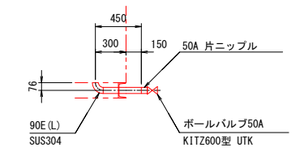
仮設逆洗水槽構造図2

縮尺：1/30

参考図

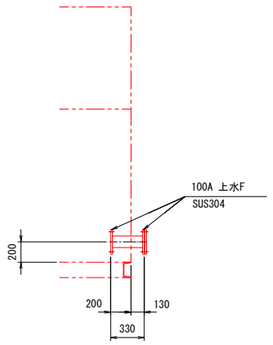


本体平面図



⑤ 50A 排水口詳細図

製作数：1

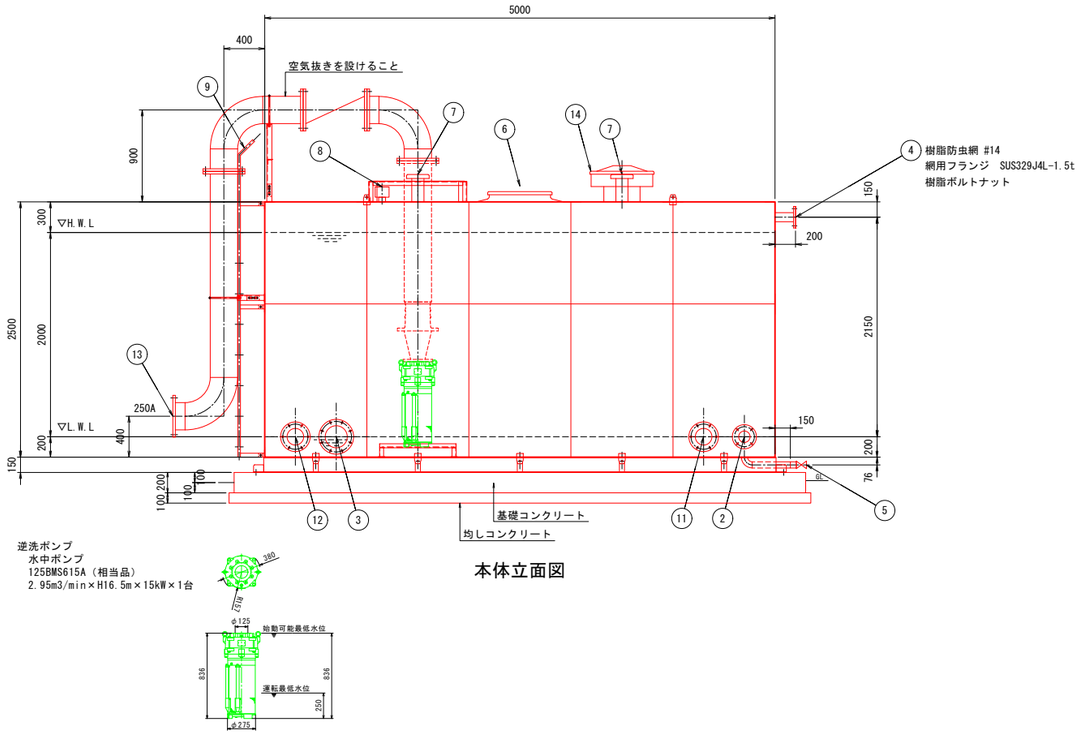


② 100A 詳細図

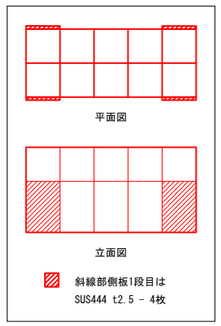
製作数：2

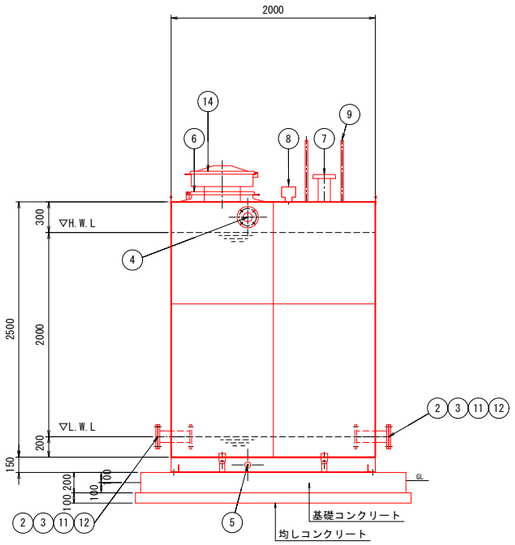
ステンレス鋼板製リースタンク仕様						
容　量	20m³　1池式					
寸　法	2000 X 5000 X 2500 H					
材　料	天 井 板　t1.5				SUS329J4L	
	側板2段目　t1.5				SUS329J4L	
	側板1段目　t2.0(一部t2.5)				SUS444	
	底　板　t2.0				SUS444	
重　量	1500kg					
受　台	A主部材 C-150×75×6.5×10				SS400	
	B副部材 C-75×40×5×7				SS400	
仕　上	SS部は溶融亜鉛メッキ					

品番	名　称	材　質	寸　法	個数	備　考
14	通気塔	SUS329J4L	φ350	1	防虫網付
13	流出管	SUS329J4L SUS304	250A	1	上水F, SUS304 ※チェッキ付き(SUS製)
12	配管D	SUS304	150A	2	上水F, SUS304 ※BF付き(塩ビ製)
11	配管C	SUS304	150A	2	上水F, SUS304 ※BF付き(塩ビ製)
10	内梯子	SUS329J4L SUS444	330X300	1	L30X30X3
9	外梯子	SS	350X300	1	
8	電極口	SUS316	50A	1	ソケット
7	通気口	SUS329J4L	100A	2	防虫網付
6	人　孔	SUS329J4L	φ600	1	旋錠式
5	排水口	SUS304	50A	1	
4	越流口	SUS329J4L	80A	1	上水F, SUS316 防虫網付
3	配管B	SUS304	200A	2	上水F, SUS304 ※BF付き(塩ビ製)
2	配管A	SUS304	100A	2	上水F, SUS304 ※BF付き(塩ビ製)
1	本　体	SUS329J4L SUS444			



本体立面図





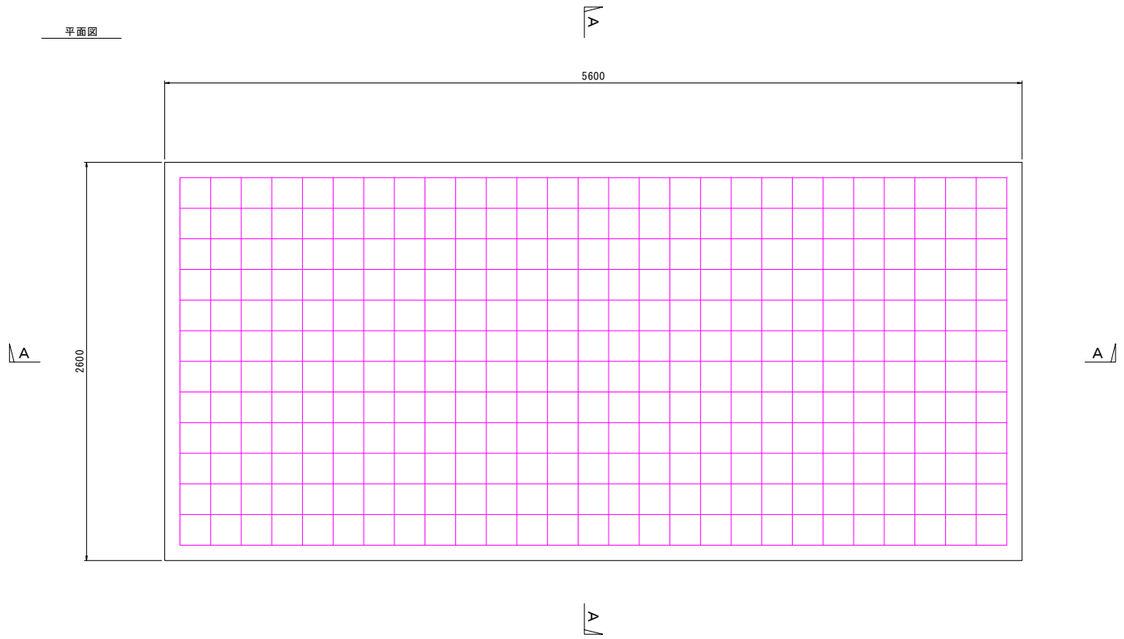
本体側面図

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	仮設逆洗水槽構造図2		
縮　尺	1/30	図面番号	1-3-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

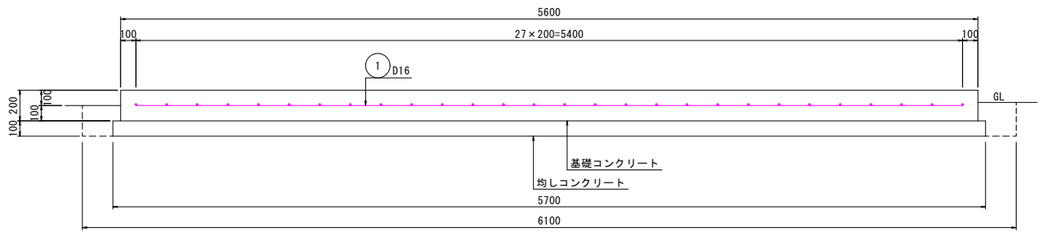
仮設逆洗水槽基礎構造図

縮尺：1/20

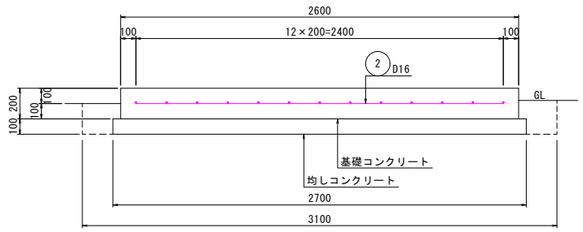
平面図



A－A



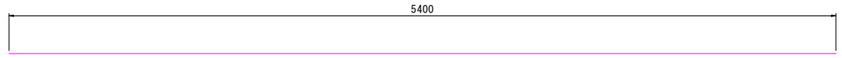
B－B



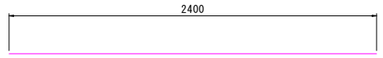
鉄筋質量表

種　別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg)	質　量 (kg)	摘　要
1	D16	5400	13	1.56	8.424	109.512	
2	D16	2400	28	1.56	3.744	104.832	
合　計						214.344	

① D16×5400 n=13



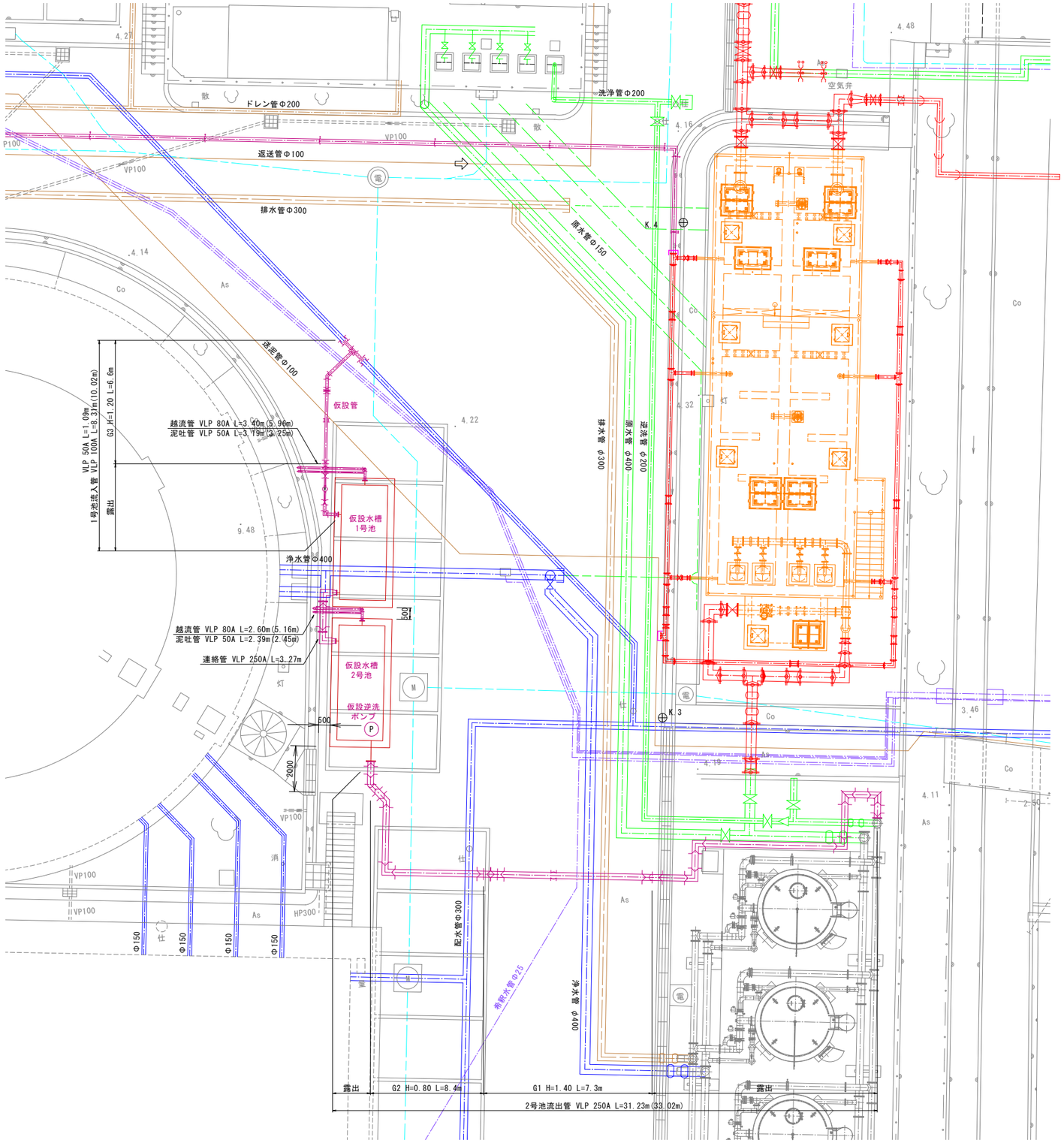
② D16×2400 n=28



工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	仮設逆洗水槽基礎構造図		
縮　尺	1/20	図面番号	1-3-3
藍　住　町　上　下　水　道　課			

仮設逆洗水槽廻り配管平面図

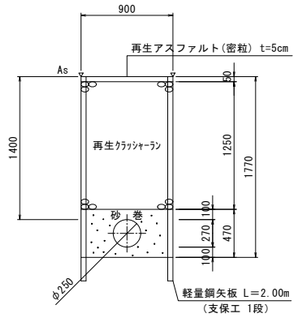
縮尺：1/100



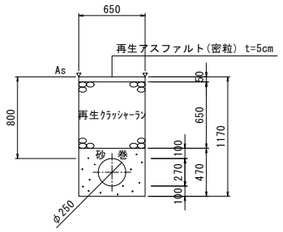
標準掘削断面図

縮尺：1/30

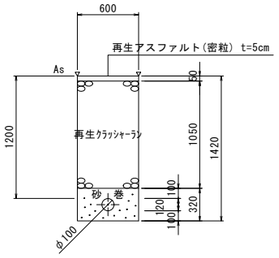
G1



G2



G3



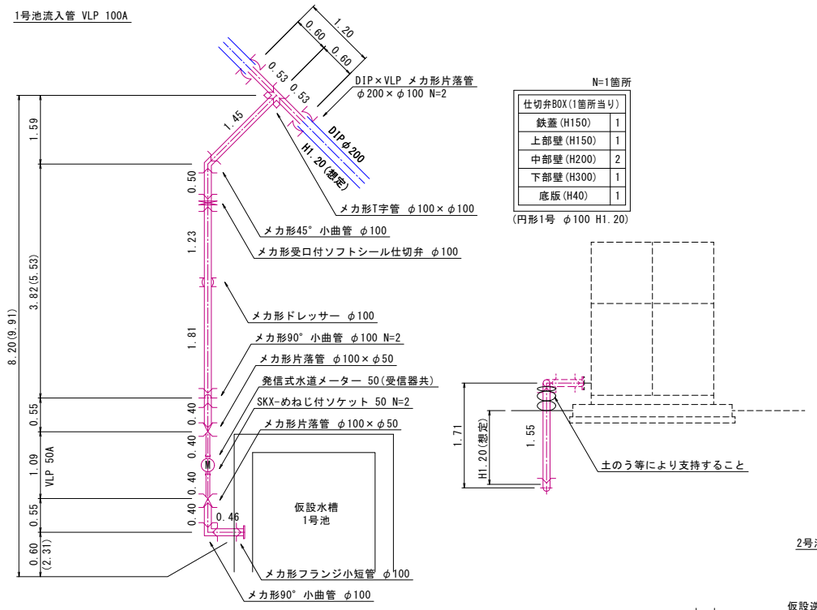
：計画施設・計画管路
：既設管路（導水）
：既設管路（浄水・配水）
：既設管路（排水）
：既設管路（薬注）
：電気配線
：仮設水槽廻り配管

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	仮設逆洗水槽廻り配管平面図		
縮　尺	1/100	図面番号	1-3-4
藍　住　町　上　下　水　道　課			

仮設逆洗水槽廻り配管詳細図

縮尺：1/50

1号池流入管 VLP 100A



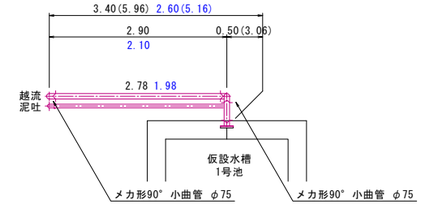
N=1箇所

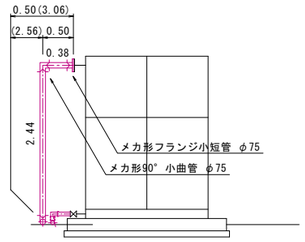
仕切弁BOX(1箇所当り)	
鉄蓋(H150)	1
上部壁(H150)	1
中部壁(H200)	2
下部壁(H300)	1
底版(H40)	1

(円形1号 φ100 H1.20)

1号池越流管 VLP 80A

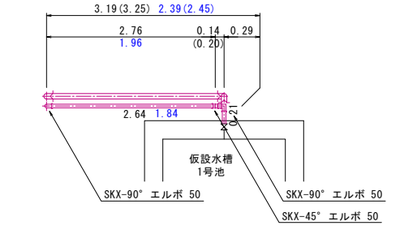
青字：2号池寸法

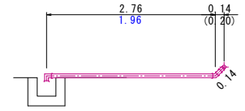




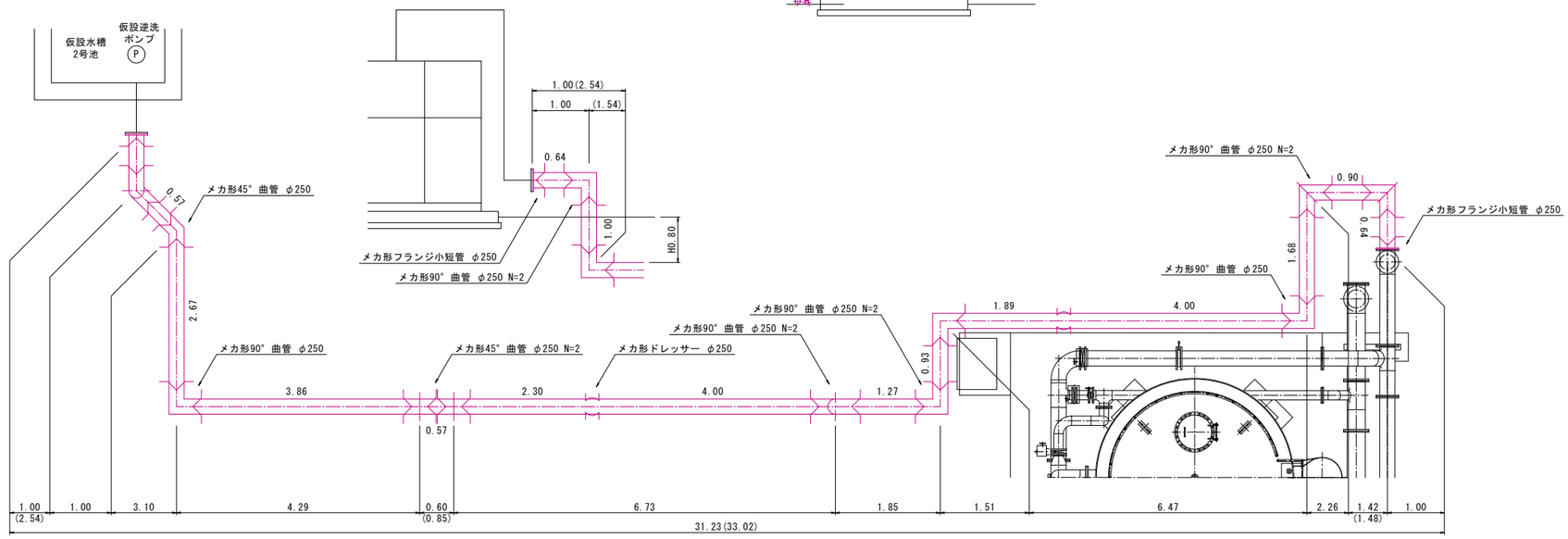
1号池泥吐管 VLP 50A

青字：2号池寸法

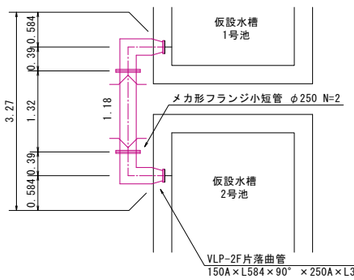


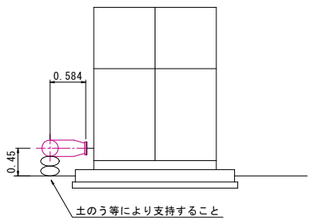


2号池流出管 VLP 250A



連絡管 VLP 150～250A





工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	仮設逆洗水槽廻り配管詳細図		
縮　尺	1/50	図面番号	1-3-5
藍　住　町　上　下　水　道　課			

場内配管全体平面図

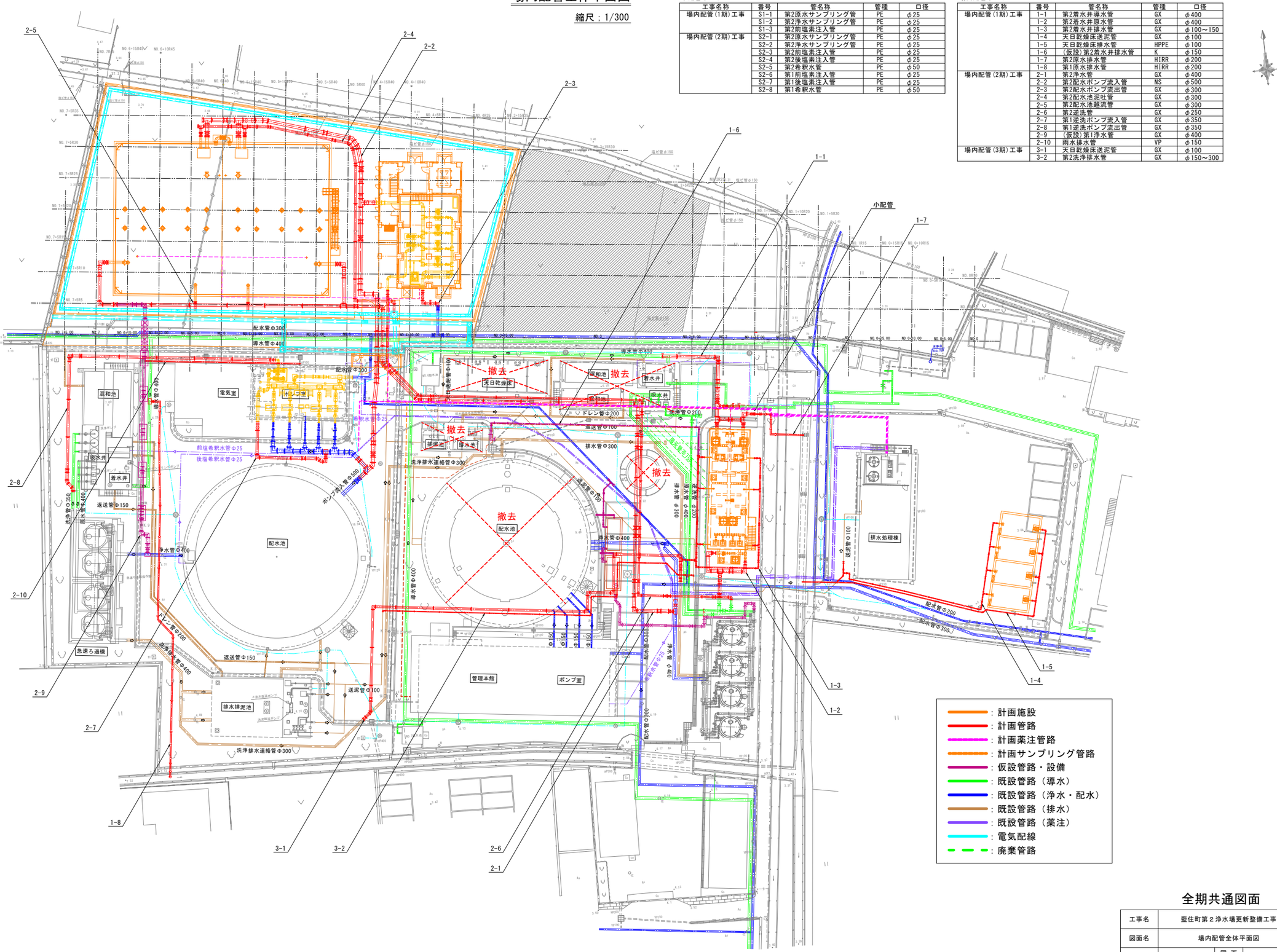
縮尺：1/300

小配管リスト

工事名称	番号	管名称	管種	口径
場内配管(1期)工事	S1-1	第2原水サンプリング管	PE	φ25
	S1-2	第2浄水サンプリング管	PE	φ25
	S1-3	第2前塩素注入管	PE	φ25
場内配管(2期)工事	S2-1	第2原水サンプリング管	PE	φ25
	S2-2	第2浄水サンプリング管	PE	φ25
	S2-3	第2前塩素注入管	PE	φ25
	S2-4	第2後塩素注入管	PE	φ25
	S2-5	第2希釈水管	PE	φ50
	S2-6	第1前塩素注入管	PE	φ25
	S2-7	第1後塩素注入管	PE	φ25
	S2-8	第1希釈水管	PE	φ50

場内配管リスト

工事名称	番号	管名称	管種	口径
場内配管(1期)工事	1-1	第2着水井導水管	GX	φ400
	1-2	第2着水井原水管	GX	φ400
	1-3	第2着水井排水管	GX	φ100～150
	1-4	天日乾燥床送泥管	GX	φ100
	1-5	天日乾燥床排水管	HPPE	φ100
	1-6	(仮設)第2着水井排水管	K	φ150
	1-7	第2原水排水管	HIRR	φ200
	1-8	第1原水排水管	HIRR	φ200
場内配管(2期)工事	2-1	第2浄水管	GX	φ400
	2-2	第2配水ポンプ流入管	NS	φ500
	2-3	第2配水ポンプ流出管	GX	φ300
	2-4	第2配水池泥吐管	GX	φ300
	2-5	第2配水池越流管	GX	φ300
	2-6	第2逆洗管	GX	φ250
	2-7	第1逆洗ポンプ流入管	GX	φ350
	2-8	第1逆洗ポンプ流出管	GX	φ350
	2-9	(仮設)第1浄水管	GX	φ400
	2-10	雨水排水管	VP	φ150
場内配管(3期)工事	3-1	天日乾燥床送泥管	GX	φ100
	3-2	第2洗浄排水管	GX	φ150～300



全期共通図面

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	場内配管全体平面図		
縮　尺	1/300	図面番号	1-4-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

(1期工事)配管平面図1

縮尺：1/150

撤去
天日乾燥床
天日送泥管Φ100
撤去
混和池
撤去
着水井
吸水井
混和池
ドレン管Φ200
洗浄管Φ200
返送管Φ100
撤去
排泥池
排水池
排水管Φ300
連絡管Φ300
原水管Φ150
撤去
送泥管Φ100
排水管 φ300
原水管 φ400
逆洗管 φ200
撤去
配水池
浄水管Φ400
導水管Φ400
(1-1)第２着水井導水管 GXφ400 L=26.56(26.57)m, φ300 L=2.70m
10 As φ400 H=0.89 L=20.4m
塩ビ管φ150 13 Gs φ400 H=0.99 L=8.9m
NO.4+10.00
NO.4
NO.3+15.00
NO.3
NO.2+5.00
NO.2
NO.1+15.00
NO.1+10.00
NO.1+5.00
NO.1
NO.0+15.00
NO.0+10.00
NO.0+5.00
NO.0
NO.0P5
水準点
H=3.759
ST.1
排水処理棟
送泥管Φ100
(1-4)天日乾燥床送泥管 GXφ100 L=43.63m
32 As φ100 H=0.74 L=43.6m
配水管Φ200
配水管Φ300
33 As φ100 H=0.70 L=53.8m
(1-5)天日乾燥床排水管 HPPEφ100 L=53.80m
Φ150
Φ150
Φ150
Φ150
管理本館
ポンプ室
希釈水管Φ25
配水管Φ300
配水管Φ300
落水管 φ400
14 Gs φ400 H=0.80 L=15.8m
(1-2)第２着水井原水管 GXφ400 L=15.79(15.81)m
29 As φ150 H=1.09 L=40.9m
(1-6)(仮設)第２着水井排水管 Kφ300 L=2.08m, φ150 L=38.94m
30 Gs φ150 H=1.09 L=51.3m
(1-3)第２着水井排水管 GXφ150 L=44.75m, φ100 L=6.45m

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(1期工事)配管平面図1		
縮　尺	1/150	図面番号	1-4-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

配水管Φ300
導水管Φ400
配水管Φ300
導水管Φ400
撤去
天日乾燥床
天日送泥管Φ100
混和池
撤去
着水井
混和池
吸水井
電気室
ポンプ室
ドレン管Φ200
洗浄管Φ200
希釈水管Φ25
撤去
排泥池
排水池
返送管Φ100
排水管Φ300
原水管Φ150
洗浄排水連絡管Φ300
撤去
ポンプ流入管Φ500
送泥管Φ100
撤去
配水池
排水管 φ300
原水管 φ400
逆洗管 φ200
浄水管Φ400
導水管Φ400
送泥管Φ100
前塩希釈水管Φ25
後塩希釈水管Φ25
浄水管Φ400
ドレン管Φ200
洗浄排水管Φ400
返送管Φ150
送泥管Φ100
排水排泥池
洗浄排水連絡管Φ300
配水池
導水管Φ400
Φ150
Φ150
Φ150
Φ150
管理本館
ポンプ室
配水管Φ300
配水管Φ300
希釈水管Φ25
排水管 φ400
送泥管Φ100

(1期工事)配管平面図2

縮尺；1/150

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(1期工事)配管平面図2		
縮尺	1/150	図面番号	1-4-3
藍住町上下水道課			

（1期工事）配管詳細図1

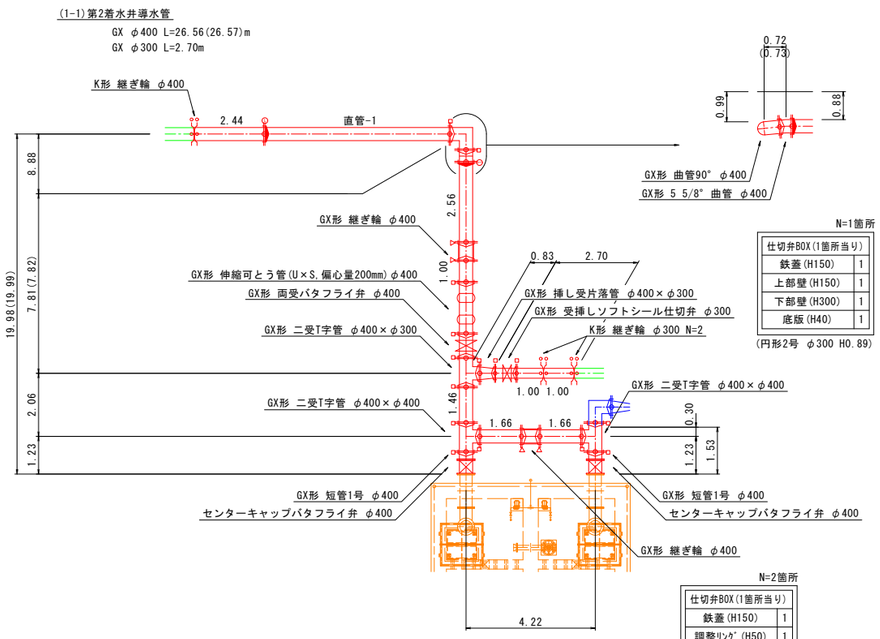
縮尺：1/100

凡例

- ：GX形用異形管用接合材
- ：GX形用G-link
- ：GX・NS形継ぎ輪用特殊押輪 NS形バタフライ弁用接合材
- ：GX・NS形用ライナー
- ：K形用特殊押輪

(1-1)第2着水井導水管

GX φ400 L=26.56(26.57)m
GX φ300 L=2.70m



N=1箇所

仕切弁BOX(1箇所当り)	
鉄蓋(H150)	1
上部壁(H150)	1
下部壁(H300)	1
底版(H40)	1

(円形2号 φ300 H0.89)

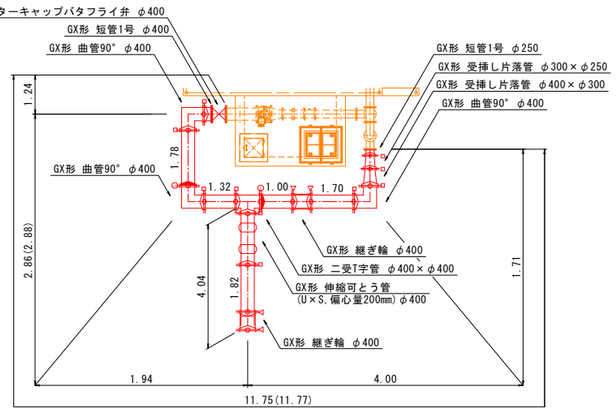
N=2箇所

仕切弁BOX(1箇所当り)	
鉄蓋(H150)	1
調整ﾘﾝｸﾞ(H50)	1
上下部壁(H150)	1
底版(H40)	1

(円形2号 φ400 H0.89)

(1-2)第2着水井原水管

GX φ400 L=15.79(15.81)m



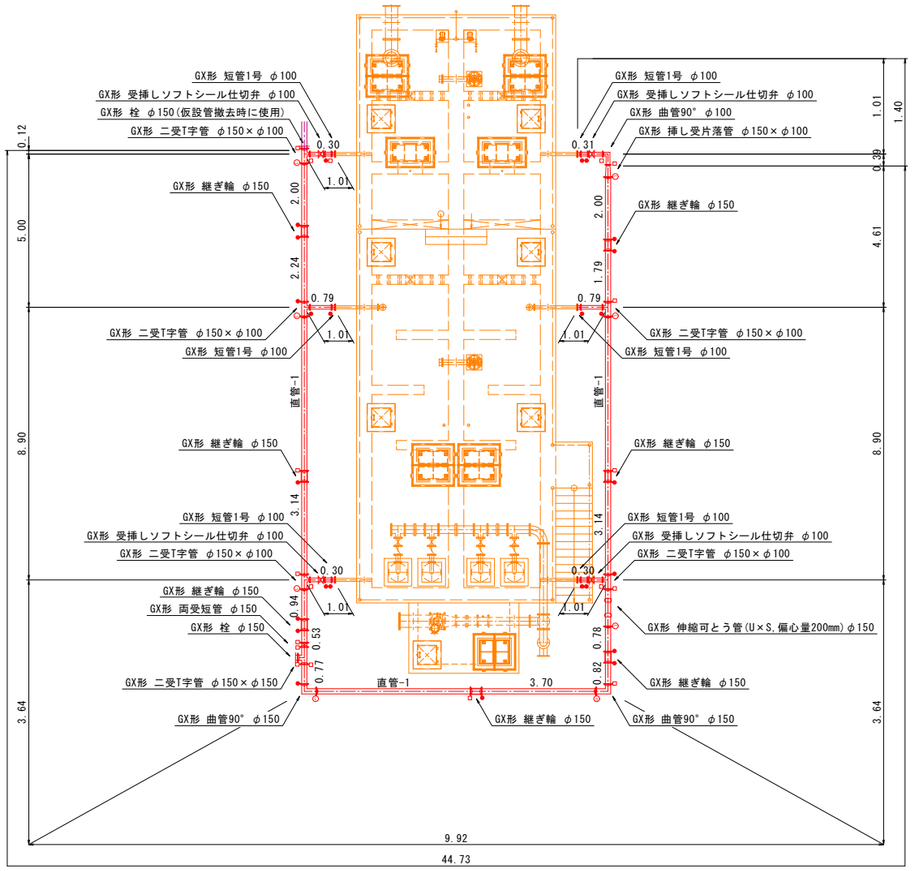
N=1箇所

仕切弁BOX(1箇所当り)	
鉄蓋(H150)	1
上下部壁(H150)	1
底版(H40)	1

(円形2号 φ400 H0.45)

(1-3)第2着水井排水管

GX φ150 L=44.73m
GX φ100 L=6.45m



N=4箇所

仕切弁BOX(1箇所当り)	
鉄蓋(H150)	1
上部壁(H150)	1
中部壁(H100)	1
中部壁(H200)	1
下部壁(H300)	1
底版(H40)	1

(円形1号 φ100 H1.09)

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（1期工事）配管詳細図1		
縮　尺	1/100	図面番号	1-4-4
藍　住　町　上　下　水　道　課			

（1期工事）配管詳細図2

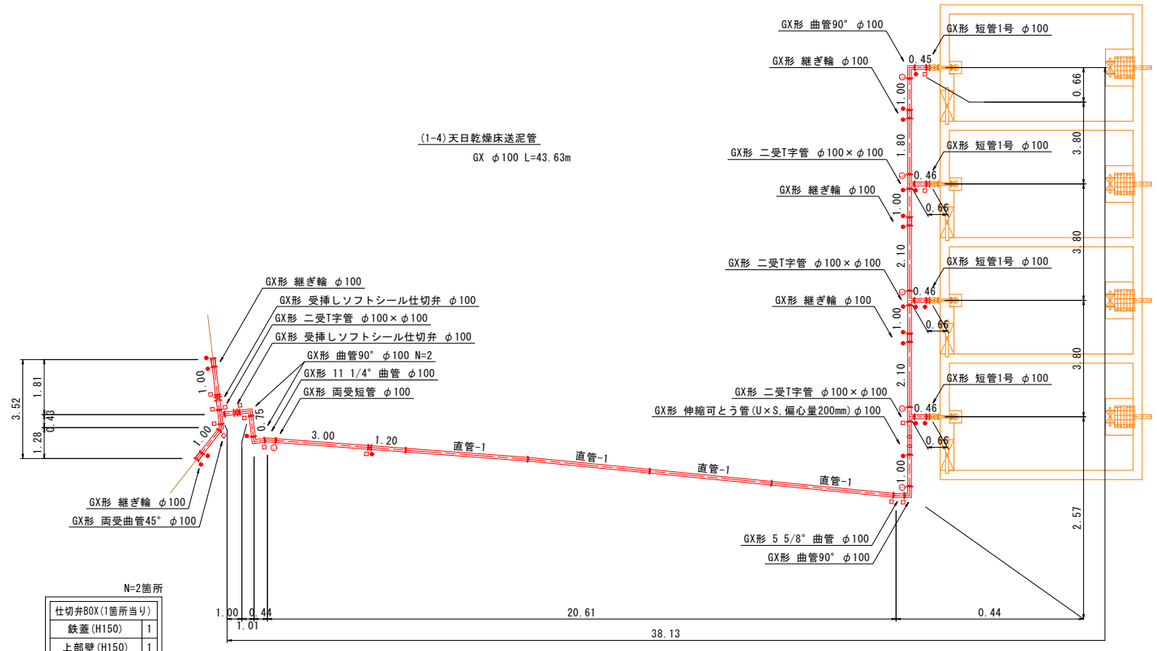
縮尺：1/100

凡例

- ：GX形用異形管用接合材
- ：GX形用G-link
- ：GX・NS形継ぎ輪用特殊押輪 NS形バタフライ弁用接合材
- ：GX・NS形用ライナー
- ：K形用特殊押輪

(1-4)天日乾燥床送泥管

GX φ100 L=43.63m



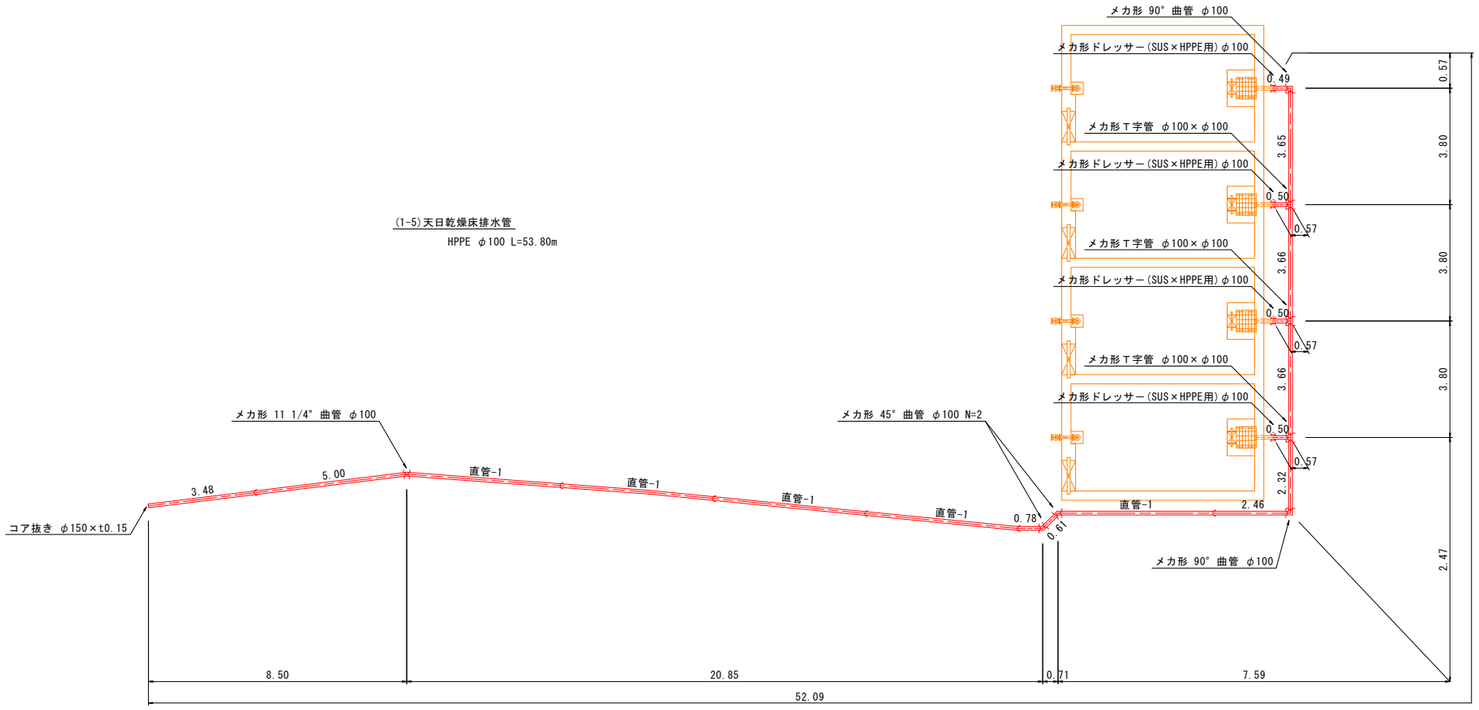
N=2箇所

仕切弁BOX(1箇所当り)	
鉄蓋(H150)	1
上部壁(H150)	1
下部壁(H300)	1
底版(H40)	1

(円形1号 φ100 H0.74)

(1-5)天日乾燥床排水管

HPPE φ100 L=53.80m



工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（1期工事）配管詳細図2		
縮　尺	1/100	図面番号	1-4-5
藍　住　町　上　下　水　道　課			

（1期工事）配管詳細図3

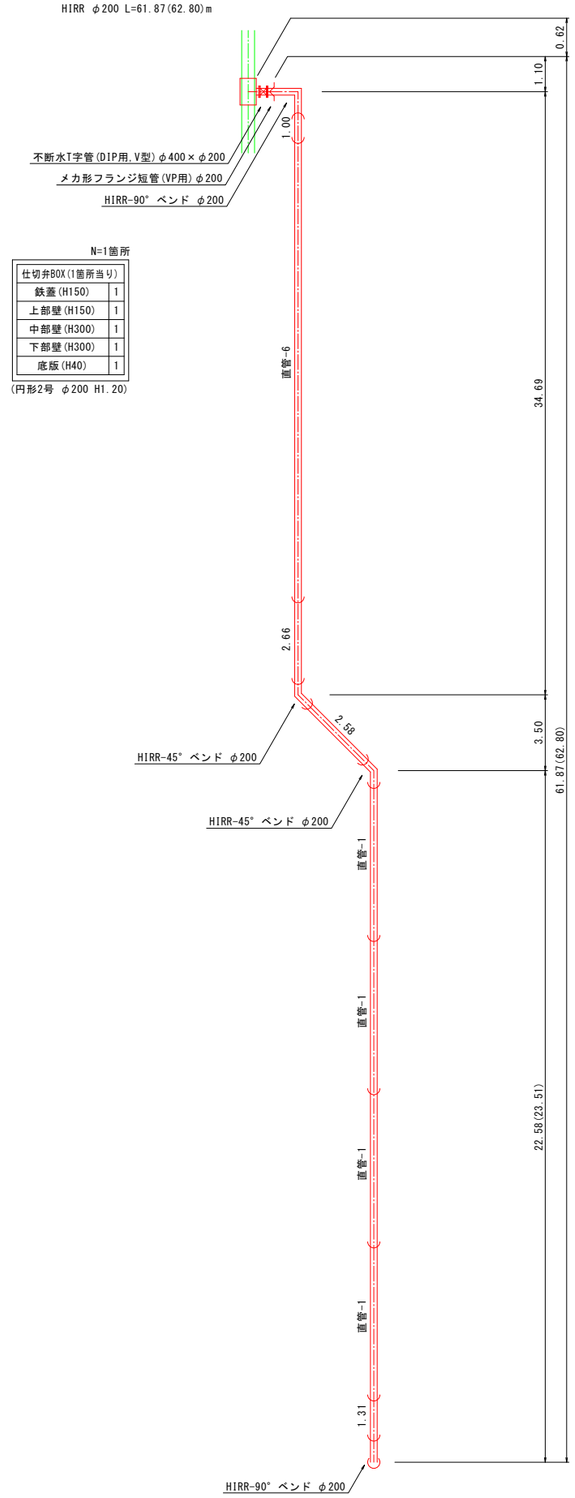
縮尺：1/100

凡例

- ：GX形用異形管用接合材
- ：GX形用G-link
- ：GX・NS形継ぎ輪用特殊押輪 NS形バタフライ弁用接合材
- ：GX・NS形用ライナー
- ：K形用特殊押輪

(1-8)第1原水排水管

GX φ200 L=0.62m
HIRR φ200 L=61.87(62.80)m



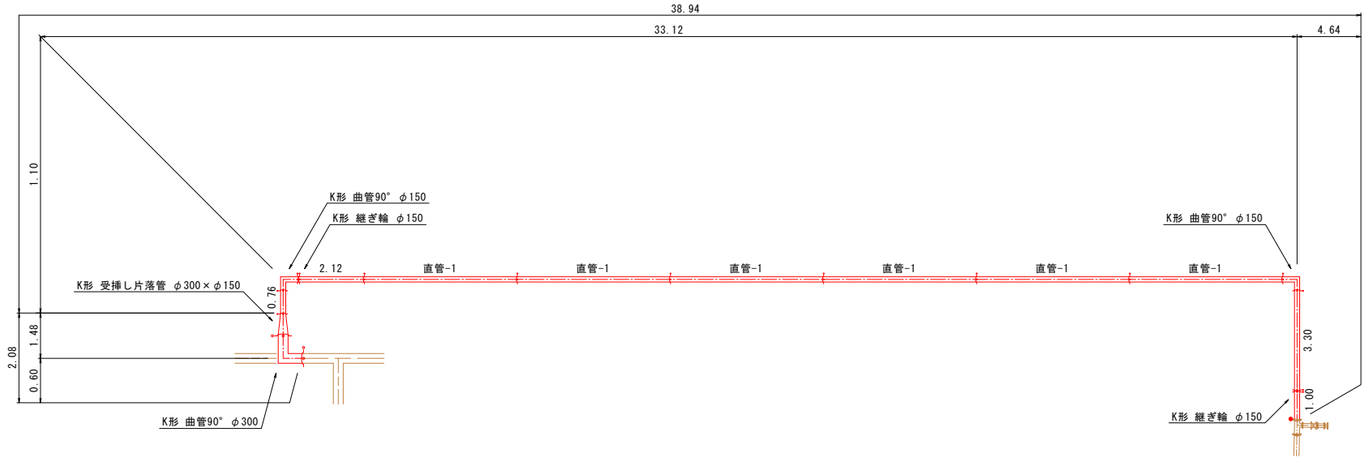
N=1箇所

仕切弁BOX(1箇所当り)	
鉄蓋(H150)	1
上部壁(H150)	1
中部壁(H300)	1
下部壁(H300)	1
底版(H40)	1

(円形2号 φ200 H1.20)

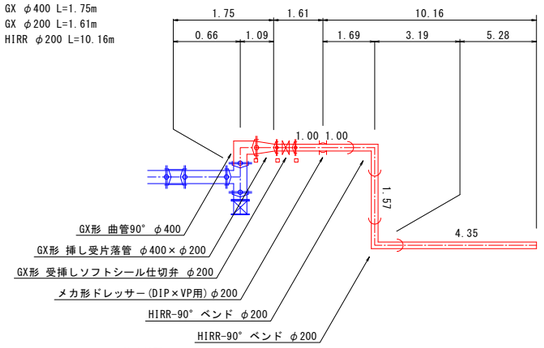
(1-6)(仮設)第2着水井排水管

K φ300 L=2.08m
K φ150 L=38.94m



(1-7)第2原水排水管

GX φ400 L=1.75m
GX φ200 L=1.61m
HIRR φ200 L=10.16m



N=1箇所

仕切弁BOX(1箇所当り)	
鉄蓋(H150)	1
上部壁(H150)	1
下部壁(H300)	1
底版(H40)	1

(円形2号 φ200 H0.94)

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（1期工事）配管詳細図3		
縮　尺	1/100	図面番号	1-4-6
藍　住　町　上　下　水　道　課			

(1期工事)小配管平面図

縮尺：1/150

(S1-1)第２原水サンプリング管 PEφ25 L=94.60m , HIVPφ20 L=13.80m

S1 Gs φ25 L=16.4m

S4 As φ25 L=41.2m

(S1-3)第２前塩素注入管 PEφ25 L=7.10m , HIVPφ25 L=12.60m

S4 As φ25 L=6.7m

配水管Φ300

導水管Φ400

配水管Φ300

電気室

ポンプ室

前塩希釈水管Φ25

後塩希釈水管Φ25

希釈水管Φ25

撤去

天日乾燥床

天日送泥管Φ100

撤去

混和池

撤去

着水井

混和池

吸水井

ドレン管Φ200

洗浄管Φ200

返送管Φ100

排水管Φ300

撤去

排泥池

排水池

洗浄排水連絡管Φ300

原水管Φ150

撤去

排水管 φ300

逆洗管 φ200

原水管 φ400

送泥管Φ100

ポンプ流入管Φ500

撤去

配水池

導水管Φ400

浄水管Φ400

排水処理棟

送泥管Φ100

S6 Gs φ25×2 L=36.5m

(S1-2)第２浄水サンプリング管 PEφ25 L=36.5m

土工事 別途計上

Φ150

Φ150

Φ150

Φ150

配水管Φ300

浄水管 φ400

希釈水管Φ25

返送管Φ150

送泥管Φ100

管理本館

ポンプ室

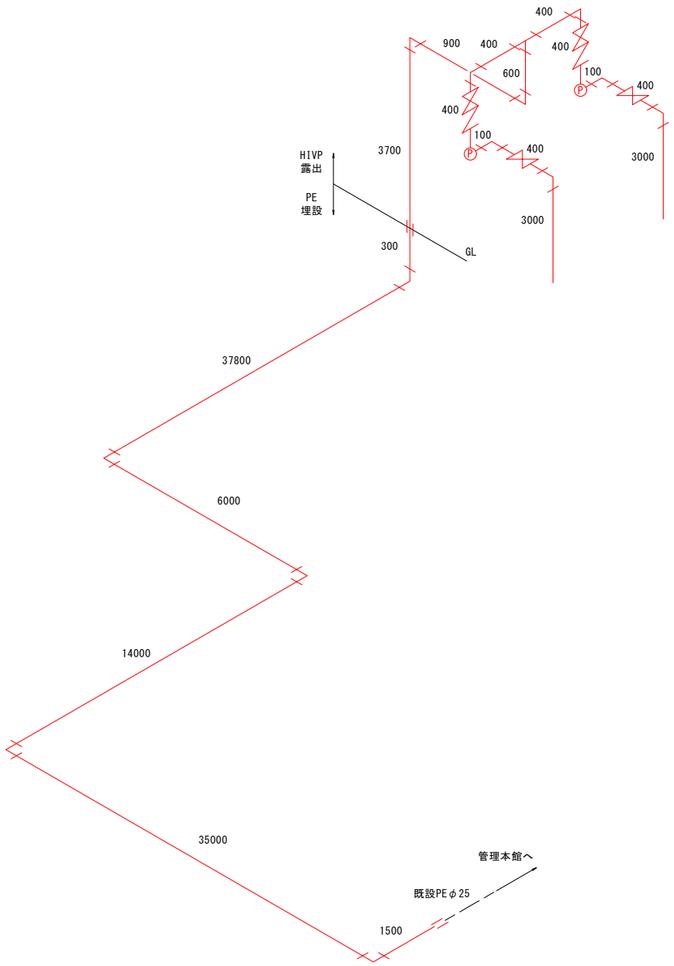
排水排泥池

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(1期工事)小配管平面図		
縮　尺	1/150	図面番号	1-4-7
藍　住　町　上　下　水　道　課			

（1期工事）小配管詳細図

縮尺：NON

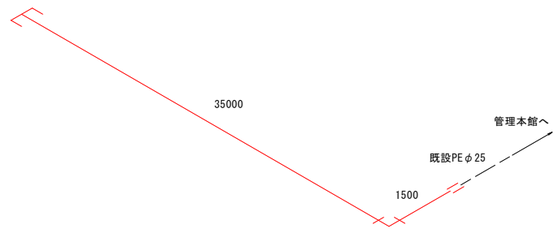
S1-1
第2原水サンプリング管



数量表

名称	仕様	数量	備考
原水サンプリングポンプ	浅井戸用	2台	φ20×22L/分×12mH×0.25kw
HIVP直管	屋外 φ20	13.80m	(3000+400+100+400+400)×2
			+600+900+3700=13800
PE直管	埋設 φ25	94.60m	300+37800+6000+14000
			+35000+1500=94600
SKXソケット	P25×V20	1個	
SKXソケット	P25	1個	
SKXエルボ	P25	5個	
仕切弁	φ20	4個	
逆止弁	φ20	2個	

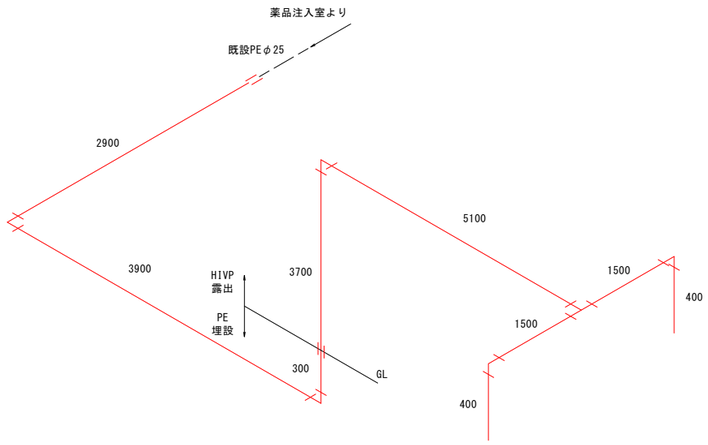
S1-2
第2浄水サンプリング管



数量表

名称	仕様	数量	備考
PE直管	埋設 φ25	36.50m	35000+1500=36500
SKXソケット	P25	1個	
SKXエルボ	P25	1個	
SKXキャップ	P25	1個	

S1-3
第2塩素注入管



数量表

名称	仕様	数量	備考
HIVP直管	屋外 φ25	12.60m	(400+1500)×2+5100+3700=12600
PE直管	埋設 φ25	7.10m	300+3900+2900=7100
SKXソケット	P25×V25	1個	
SKXソケット	P25	1個	
SKXエルボ	P25	2個	

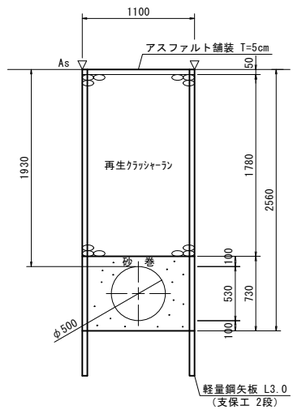
※VPは継手を率計上

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（1期工事）小配管詳細図		
縮　尺	NON	図面番号	1-4-8
藍　住　町　上　下　水　道　課			

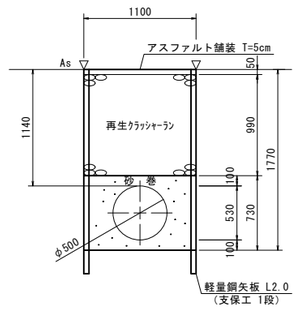
標準掘削断面図1

縮尺；1/30

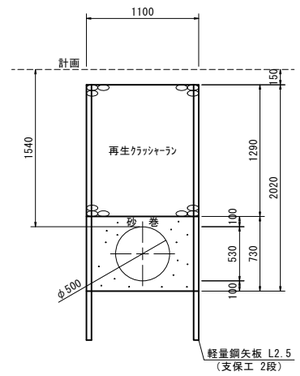
1



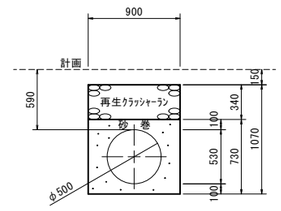
2



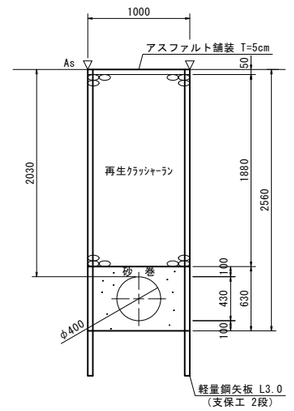
3



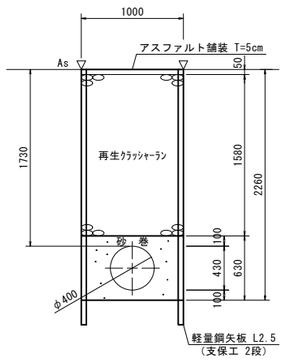
4



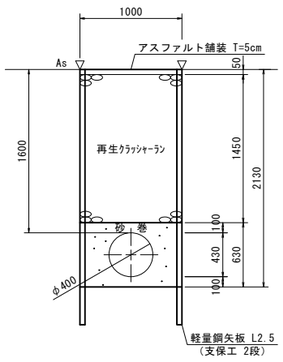
5



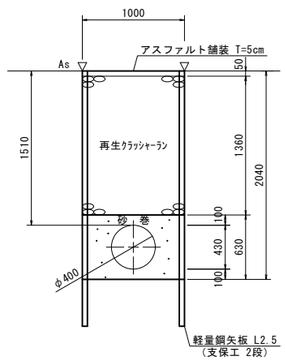
6



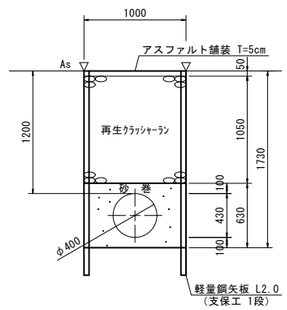
7



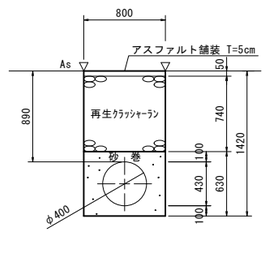
8



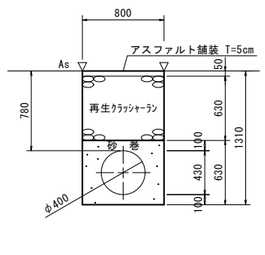
9



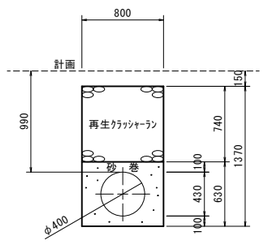
10



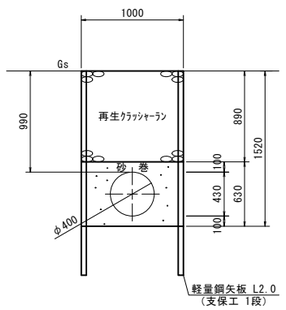
11



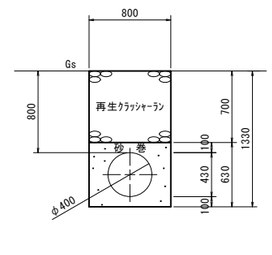
12



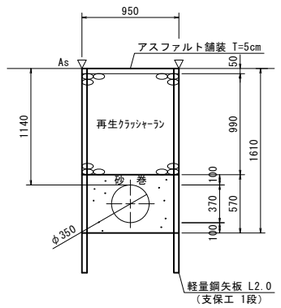
13



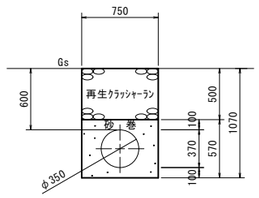
14



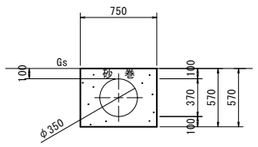
15



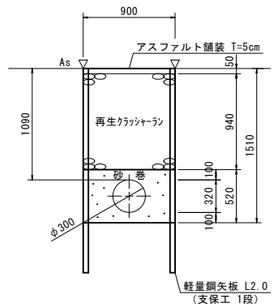
16



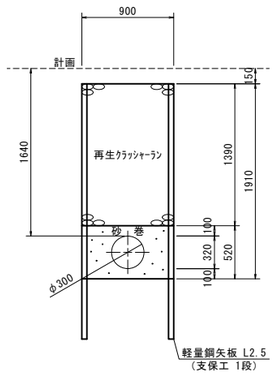
17



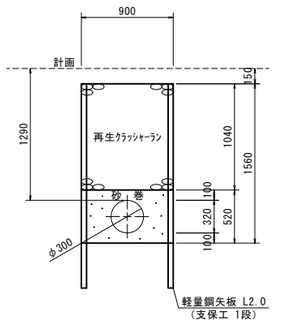
18



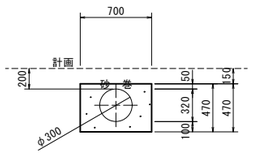
19



20



21



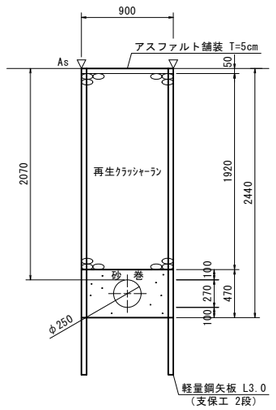
全期共通図面

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	標準掘削断面図1		
縮　尺	1/30	図 面 番 号	1-4-9
藍　住　町　上　下　水　道　課			

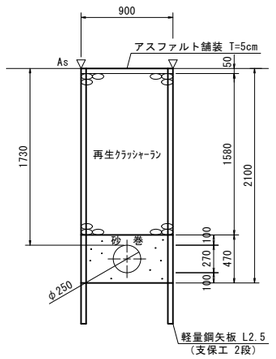
標準掘削断面図2

縮尺：1/30

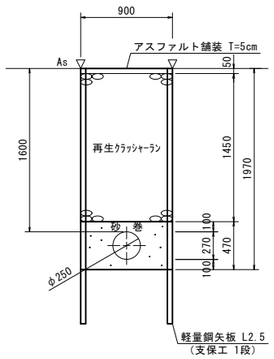
22



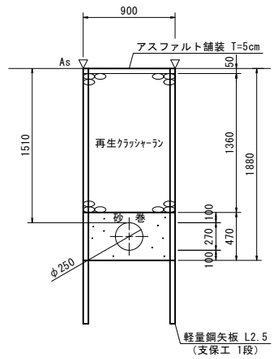
23



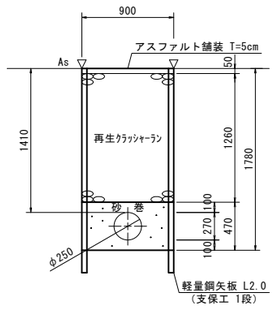
24



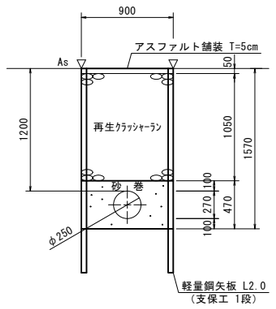
25



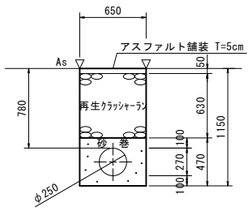
26



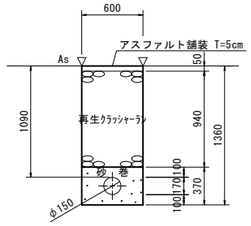
27



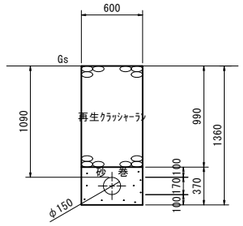
28



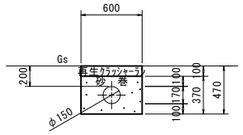
29



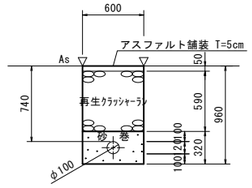
30



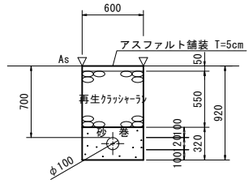
31



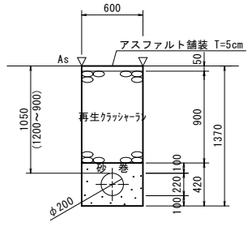
32



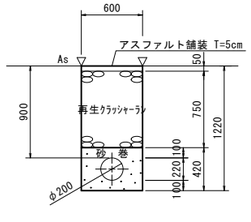
33



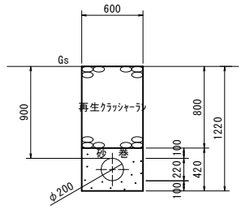
34



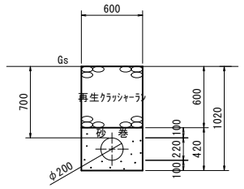
35



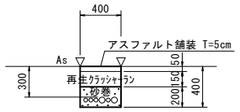
36



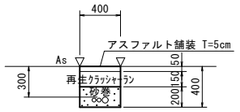
37



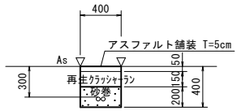
S1



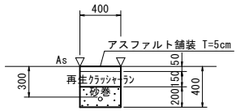
S2



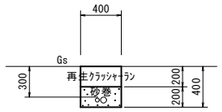
S3



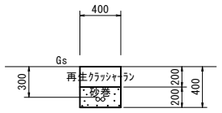
S4



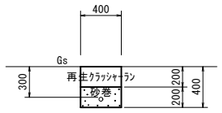
S5



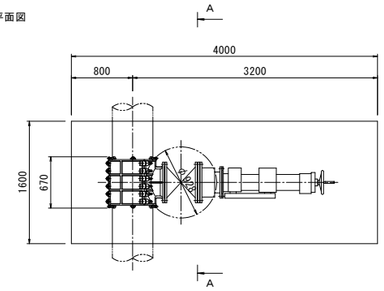
S6



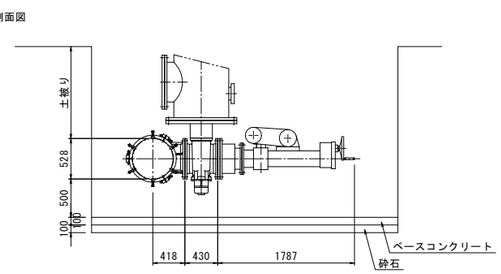
S7



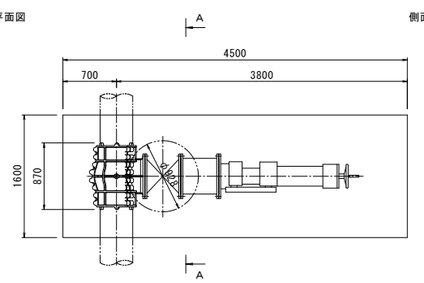
平面図



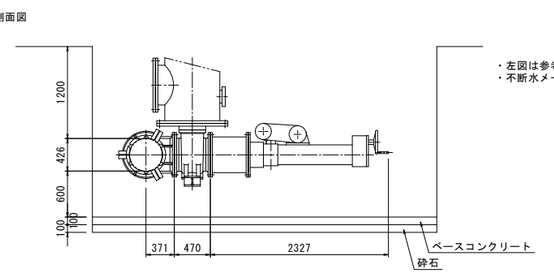
側面図



平面図



側面図



参考土工図

縮尺：1/40

・左図は参考図であり、数量計上していない。
・不断水メーカーにより異なることから、工事前に適宜変更・調整すること。

全期共通図面

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	標準掘削断面図2		
縮　尺	1/30	図面番号	1-4-10
藍　住　町　上　下　水　道　課			

第２浄水場

２Ｆ中央監視室

１Ｆ電気室

第１浄水場

２Ｆ電気室

１Ｆ自家発電気室

現　場

場　外

１Ｆ自家発電気室

凡　例

記　号	名　称
――――	情報伝送パス
――――	ディジタル信号
- - - -	計装信号
―・―・―	TM信号
SQC	シーケンスコントローラ
R-I/O	リモートI/O
TP	タッチパネル
EMC	マルチモータコントローラ

注記）

1．□ 部は既設を示す

2．☒ 部は撤去を示す

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	システム構成図（既設）		
縮　尺	NON	図面番号	1-5-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

第２浄水場

２Ｆ中央監視室

FA-PC
Webクライアントパソコン
フレッツ光ネクスト
ONU
ルータ
ISP
メール通報（機能停止）
情報LAN
音声通報装置
(LCD-1)
(LCD-2)
(CHC-1)
LCD
LCD
ｶﾗｰﾊｰﾄﾞｺﾋﾟｰ
LCD監視制御装置(1)/(2)
(ITV-1)
制御装置
カメラ
(SQC-1)
浄水制御コントローラ盤
SQC
(S1-DB-1)
水質計器分電盤
警報仮設盤
情報伝送LAN（光ケーブル）

凡　例

記　号	名　　称
——	情報伝送パス
——	ディジタル信号
- - - -	計装信号
——	TM信号
SQC	シーケンスコントローラ
R-I/O	リモートI/O
TP	タッチパネル
EMC	マルチモータコントローラ

注記）

1．□ 部は既設を示す
2．▨ 部は仮設機能増設を示す
3．□ 部は仮設を示す

１Ｆ電気室

テレメータ盤
(TMD)
引込盤 (S2-HC-1)
受電盤 (S2-HC-2)
変圧器盤 (S2-HC-3)
変圧器二次自家発引込盤 (S2-LC-1)
低圧含電盤 (S2-LC-2)
照明電源盤 (S2-LC-3)
(TB-1/2)
R-I/O
中継端子盤
第2浄水場テレメータ盤
(S2-TM-1)
(SQC-2)
浄水制御コントローラ盤2
無停電電源装置
C/C
EMC
コントロールセンタ(1) (S2-CC-1)
コントロールセンタ(2) (S2-CC-2)
コントロールセンタ(3) (S2-CC-3)
コントロールセンタ(4) (S2-CC-4)
RY
補助継電器盤(1) (S2-CRB-1)
補助継電器盤(2) (S2-CRB-2)
No.9配水ポンプ用VVVF盤 (MP-9)
No.11配水ポンプ用VVVF盤 (MP-11)
No.6配水ポンプ用VVVF盤 (LCB-6)
No.10配水ポンプ用VVVF盤 (LCB-10)
自動始動発電機盤 (G2)
始動用直流電源盤
ﾊﾞｯﾃｨﾝｸﾞ発電装置
洗浄ポンプ仮設盤 (S2-LB-111)
原水ポンプ仮設盤 (S2-LB-112)
No.6取水ポンプ現場盤 (LBS-6)
No.7取水ポンプ現場盤 (LBS-7)
配水ポンプ現場盤 (S2-LB-1)
センサー
次亜注入設備制御盤 (機械手配盤)
砂ろ過操作盤 (機械手配盤)
現　場
場外制御弁盤 (TMT)
No.8 TM盤
No.9 TM盤
計装TM盤(予備) (TM1-KP-1)
No.8取水ポンプ盤 (RSP8)
No.9取水ポンプ盤 (RSP9)
No.12取水ポンプ盤 (P12)
１Ｆ自家発電気室
場　外

第１浄水場

２Ｆ電気室

引込盤 (S1-HC-1)
受電盤 (S1-HC-2)
自家発切換盤 (S1-HC-3)
変圧器盤 (S1-HC-4)
低圧分岐盤 (S1-LC-1)
照明分岐盤 (S1-LC-2)
C/C
EMC
低圧動力制御盤(1) (S1-LBZ-1)
低圧動力制御盤(2) (S1-LBZ-2)
低圧動力制御盤(3) (S1-LBZ-3)
低圧動力制御盤(4) (S1-LBZ-4)
TP
SQC
R-I/O(1)
R-I/O(2)
低圧動力制御盤(5) (S1-LBZ-5)
RY
低圧動力制御盤(6) (S1-LBZ-6)
ICB
低圧動力制御盤(7) (S1-LBZ-7)
建築動力 (PW-1/2)
建築照明 (PL-1)
No.1配水ポンプ用VVVF盤 (S1-LCB-1)
No.3配水ポンプ用VVVF盤 (S1-LCB-3)
No.4配水ポンプ用VVVF盤 (S1-LCB-4)
自動始動発電機盤 (S1-GC-1)
始動用直流電源盤 (S1-GC-2)
ﾊﾞｯﾃｨﾝｸﾞ発電装置
無停電電源装置
第1浄水場テレメータ盤 (S1-TM-1)
洗浄ポンプ現場盤 (S1-LB-2)
取水ポンプ現場盤 (S1-LB-3/4)
現場盤 (S1-LB)
センサー
浄水場機側盤
(他社製)
急速ろ過池
現　場
１Ｆ自家発電気室
計装TM盤(予備) (TM2-KP-1)
No.2 TM盤
No.5 TM盤
No.2取水ポンプ盤 (RSP2)
No.5取水ポンプ盤 (RSP5)
No.10取水ポンプ盤 (P10)
No.11取水ポンプ盤 (P11)
場　外

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	システム構成図（仮設（1期））		
縮　尺	NON	図面番号	1-5-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

第２浄水場

２Ｆ中央監視室

(TA-PC)
Webクライアント(PC)
フレッツ光 ネクスト
ONU
ISP
ドコモ通報 (機能停止)
ルータ
情報LAN
(S1-DB-1) 水質計器 分電盤
(LCD-11)
(LCD-12)
(MC-11) ｶﾗｰﾎﾟｲﾝﾄﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｰ
LCD
LCD
LCD監視制御装置(11)/(12)
(ITV-1)
制御装置
カメラ

凡 例

記 号	名 称
——	情報伝送バス
——	ディジタル信号
- - - -	計装信号
—·—·—	TM信号
SQC	シーケンスコントローラ
RO	リモートI/O
TP	タッチパネル
EMC	マルチモータコントローラ

注記）
1．□ 部は、既設を示す
2．□ 部は、新設を示す

情報伝送LAN（光ケーブル）

新電気室

SQC 浄水制御 コントローラ盤1 (S2-SQC-1)
SQC 浄水制御 コントローラ盤2 (S2-SQC-2)
無停電 電源装置
引込盤 (S2-HC-1)
受電盤 (S2-HC-2)
変圧器盤 (S2-HC-3)
変圧器二次 自家発引込盤 (S2-LC-1)
自家発 引込盤 (S2-LC-2)
低圧 き電盤 (S2-LC-3)
照明 電源盤 (S2-LC-4)
コンデンサ盤 (S2-LC-5)
No.8配水ポンプ 3kV/CUBE盤 (S2-LB-9)
No.9配水ポンプ 3kV/CUBE盤 (S2-LB-10)
No.10配水ポンプ 3kV/CUBE盤 (S2-LB-11)
No.11配水ポンプ 3kV/CUBE盤 (S2-LB-12)
C/C コントロール センタ(1) (S2-CC-1)
C/C コントロール センタ(2) (S2-CC-2)
C/C コントロール センタ(3) (S2-CC-3)
C/C コントロール センタ(4) (S2-CC-4)
RY 補助 継電器盤(1) (S2-CRB-1)
RY 補助 継電器盤(2) (S2-CRB-2)
RY 補助 継電器盤(3) (S2-CRB-3)
計装盤 (S2-IB-1)
第2浄水場 テレメータ盤 TM盤 ×2台 ※移設 (S2-TM-1)
発電機盤 (GZ)
始動用 直流電源盤 (DC)
ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ発電装置
配水ポンプ 現場盤 (S2-LB-11)
送水ポンプ 現場盤 (S2-LB-12)
送水ポンプ 現場盤 (S2-LB-13)
サンプ リングポンプ 現場盤 (S2-LB-14)
排水ポンプ 現場盤 (S2-LB-15)
No.6 取水ポンプ 現場盤 (LBS-6)
No.7 取水ポンプ 現場盤 (LBS-7)
センサー
次亜注入 設備 制御盤 (機械手配盤)
ﾀﾘﾗ連絡 操作盤 (機械手配盤)
No.8 TM盤 (TM-1)
No.8 取水ポンプ 盤 (RSP8)
No.9 取水ポンプ 盤 (RSP9)
計装TM盤 (予備) (W1-KP-1)
No.12 取水ポンプ 盤 (P12)

現 場
場 外
１Ｆ自家発電気室

２Ｆ電気室

第１浄水場

引込盤 (S1-HC-1)
受電盤 (S1-HC-2)
自家発 切換盤 (S1-HC-3)
変圧器盤 (S1-HC-4)
低圧 分岐盤 (S1-LC-1)
照明 分岐盤 (S1-LC-2)
C/C コントロール センタ(1) (S1-CC-1)
C/C コントロール センタ(2) (S1-CC-2)
C/C コントロール センタ(3) (S1-CC-3)
C/C コントロール センタ(4) (S1-CC-4)
RY IO 補助 継電器盤(1) (S1-CRB-1)
RY IO 補助 継電器盤(2) (S1-CRB-2)
RY IO 補助 継電器盤(3) (S1-CRB-3)
SQC IO 浄水制御 コントローラ盤3 (S1-SQC-1)
IO 計装盤 (S1-IB-1)
建築動力 (PW-1/2)
建築照明 (PL-1)
No.1配水ポンプ 3kV/CUBE盤 (S1-LCB-1)
No.2配水ポンプ 3kV/CUBE盤 (S1-LCB-2)
No.3配水ポンプ 3kV/CUBE盤 (S1-LCB-3)
No.4配水ポンプ 3kV/CUBE盤 (S1-LCB-4)
無停電 電源装置
第1浄水場 テレメータ盤 (S1-TM-1)
送水ポンプ 現場盤 (S1-LB-12)
取水ポンプ 現場盤 (S1-LB-3/4)
現場盤 (S1-LB)
センサー
浄水場 機側盤 (他社製) 急速ろ過池
自動始動 発電機盤 (S1-GC-1)
始動用 直流電源盤 (S1-GC-2)
ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ発電装置
計装TM盤 (予備) (W2-KP-1)
No.2 TM盤
No.2 取水ポンプ 盤 (RSP2)
No.5 TM盤
No.5 取水ポンプ 盤 (RSP5)
No.10 取水ポンプ 盤 (P10)
No.11 取水ポンプ 盤 (P11)

現 場
場 外
１Ｆ自家発電気室

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	システム構成図（今回（2期））		
縮 尺	NON	図面番号	1-5-3
藍住町上下水道課			

名称	No.3,4 取水井水位	No.2,5 取水井水位	No.2,5 取水流量	No.10,11 取水井水位	No.10,11 取水流量	着水井濁度	着水流量	着水流量積算	原水池水位	配水池濁度	配水池残留塩素	配水池ｐＨ	配水池色度	配水池濁度	配水池水位	上澄水井開度	配水ポンプ回転数	配水ポンプ制御	任意運転回転数設定 緊急時配水ポンプ	配水ポンプ吐出弁 開度	配水流量	配水流量積算	配水圧力	桜つづみ公園前 末端圧力	No.6 取水井水位	No.6,7,12 取水井水位	No.6,7,12 取水流量	No.8,9 取水井水位	No.8,9 取水流量	着水井濁度	着水井ｐＨ	着水流量	原水池水位	配水池濁度	配水池色度	配水池水位	配水流量	配水ポンプ制御	任意運転回転数設定 緊急時配水ポンプ	配水圧力	勝瑞駅前末端圧力	末端配水圧力	第2浄水場 次亜注入量制御	第2浄水場 No.1,2 前次亜注入量	第１浄水場 次亜注入量制御	第１浄水場 No.1,2 前次亜注入量	No.1,2 次亜貯留槽液位
既設	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	1	4	1	1	1	1	2	1	2	3	2	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2
今回																																													
全体	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	1	4	1	1	1	1	2	1	2	3	2	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2
LCD	○	○	○	○	○	○	○	->-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	->-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

低圧動力制御盤 (31-LBZ-7)

中継端子盤 (TB-1/2)

コントローラ盤 浄水制御 (SOC-1)

コントローラ盤2 浄水制御 (SOC-2)

次亜注入設備制御盤 (場内(別途機械設備))

テレメータ盤(場内) TMR

第一浄水場

第二浄水場

No.1 取水井 15kW
No.3 取水井 15kW
No.2 取水井 18.5kW
No.5 取水井 18.5kW
No.10 取水井 18.5kW
No.11 取水井 18.5kW
No.6 取水井 15kW
No.7 取水井 15kW
No.8 取水井 18.5kW
No.9 取水井 18.5kW
No.12 取水井 18.5kW

着水井 混和槽 原水池
No.1～4 原水ポンプ 15kW×4台
No.1～3 送浄ポンプ 18.5kW×2台
No.1～No.4 急速ろ過機
第１配水池
No.1～No.4 配水ポンプ 55kW×4台
同左吐出弁 0.6m×4台

No.7～No.10 急速ろ過機
No.2～No.11 配水ポンプ 60kW×4台
同左吐出弁 0.6m×4台

排水池 汚水池 汚水池 排水池
上澄水基送ポンプ 5.5kW
汚泥移送ポンプ 1.5kW
汚泥移送ポンプ 1.5kW
上澄水基送ポンプ 5.5kW

排水池 濃水池 汚水池
上澄水基送ポンプ 1.1kW×2台
返送ポンプ 0.75kW×2台
天日返送ポンプ 1.1kW×2台

天日乾燥施設
多段式天日乾燥装置 11.3kW

No.2 着水井 No.3 混和槽 No.2 原水池
No.7～10 原水ポンプ 15kW×4台
洗浄ポンプ 15kW×1台

薬品注入・排水処理棟
次亜塩貯留槽
小出し槽３００L

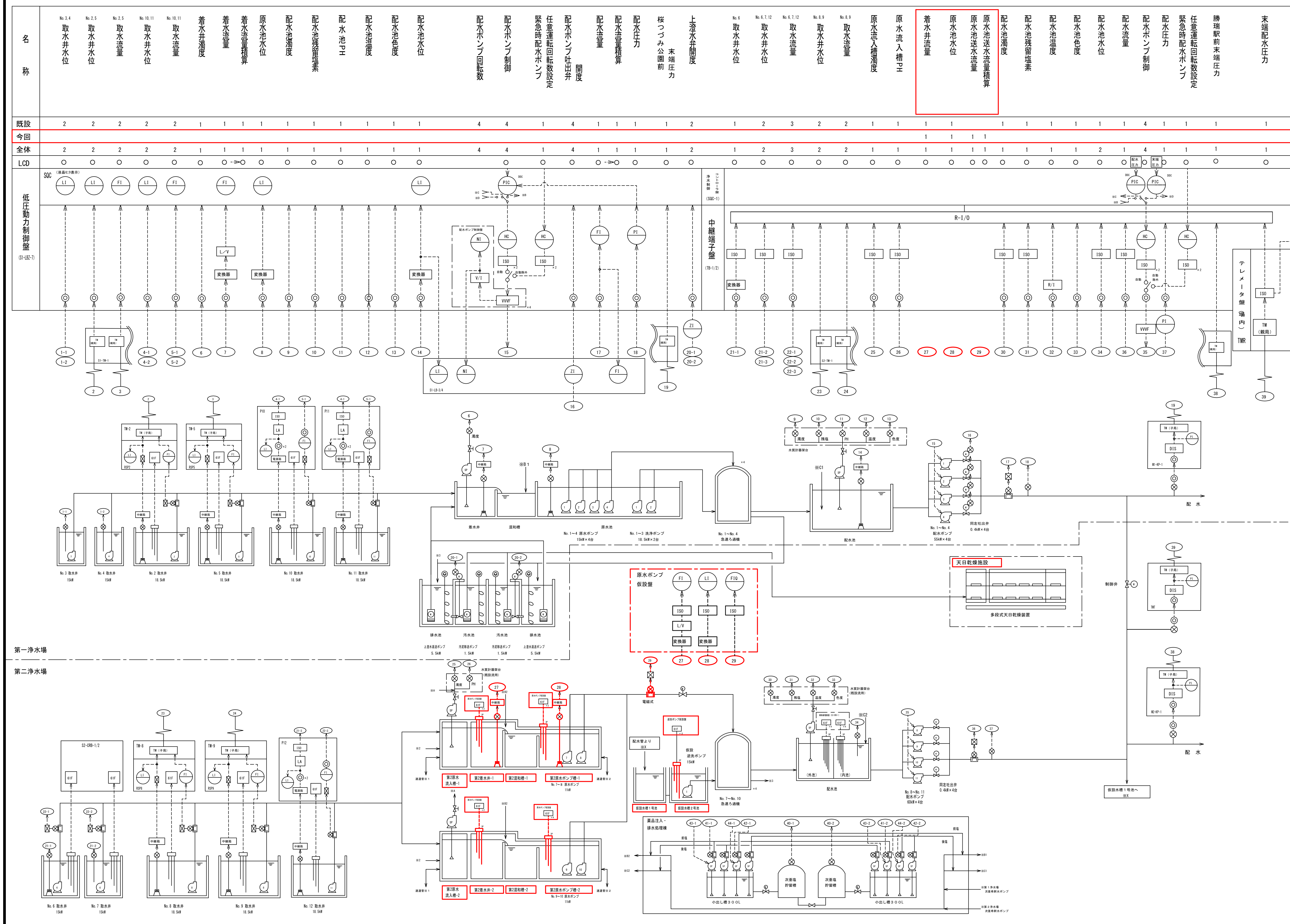
配水
制御弁
仮設水槽１号池へ

凡例

記号	名称
L	水位
F	流量
N	回転数
P	圧力
T	変換器
A	警報設定器
L/V	水位→流量変換器
V/I	スローパルス変換器
ISO	アイソレータ
◎	アレスタ
HC	アナログバックアップ
ASR	自動速度制御器
61F	フロートレススイッチ
⊠	変換器

注記）
1．□ 部は今回を示す（１期）
2．▨ 部は機能増設を示す
3．□ 部は既設を示す

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	計装フローシート（既設）		
縮尺	NON	図面番号	1-5-4
藍住町上下水道課			



凡 例

記 号	名 称
L	水 位
F	流 量
N	回 転 数
P	圧 力
T	変換器
A	警報設定器
L/V	水位ー流量変換器
V/I	スローパルス変換器
ISO	アイソレータ
◎	アレスタ
HC	アナログバックアップ
ASR	自動速度制御器
61F	フロートレススイッチ
⊠	変換器

注記）
1. ［赤枠］部は今回を示す（１期）
2. ［赤斜線付き枠］部は機能増設を示す
3. ［枠］部は既設を示す

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	計装フローシート（仮設（1期））		
縮 尺	NON	図面番号	1-5-5
藍 住 町 上 下 水 道 課			

名称	No.3,4 取水井水位	No.2,5 取水井水位	No.2,5 取水流量	No.10,11 取水井水位	No.10,11 取水流量	着水井濁度	着水流量	着水流量積算	原水池水位	配水池濁度	配水池残留塩素	配水池温度	配水池色度	配水池水位	上澄水井開度	配水ポンプ回転数	配水ポンプ制御	配水ポンプ吐出弁 開度	任意運転回転数設定 緊急時配水ポンプ	配水流量	配水圧力	配水流量積算	桜つづみ公園前 末端圧力	No.6 取水井水位	No.7,12 取水井水位	No.6,7,12 取水流量	No.8,9 取水井水位	No.8,9 取水流量	原水流入槽濁度	原水流入槽PH	着水井流量	原水池水位	原水池送水流量積算	第2配水池 ―1水位	浄水濁度	浄水残留塩素	浄水温度	浄水色度	配水ポンプ回転数	配水ポンプ制御	配水ポンプ吐出弁 開度	任意運転回転数設定 緊急時配水ポンプ	配水流量	配水流量積算	配水圧力	末端配水圧力	勝瑞駅前末端圧力	第2浄水場 次亜注入量制御	第2浄水場 No.1,2 前次亜注入量	第1浄水場 次亜注入量制御	第1浄水場 No.1,2 前次亜注入量	No.1,2 次亜貯留槽液位
既設	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1	1	4	1	1	1	1	2	1	2	3	2	2	1	1	1	1	1																		
今回																																	1	1	1					4	1	1	4	1	1	1								
全体	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1	1	4	1	1	1	1	2	1	2	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1	1	4	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2
LCD	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

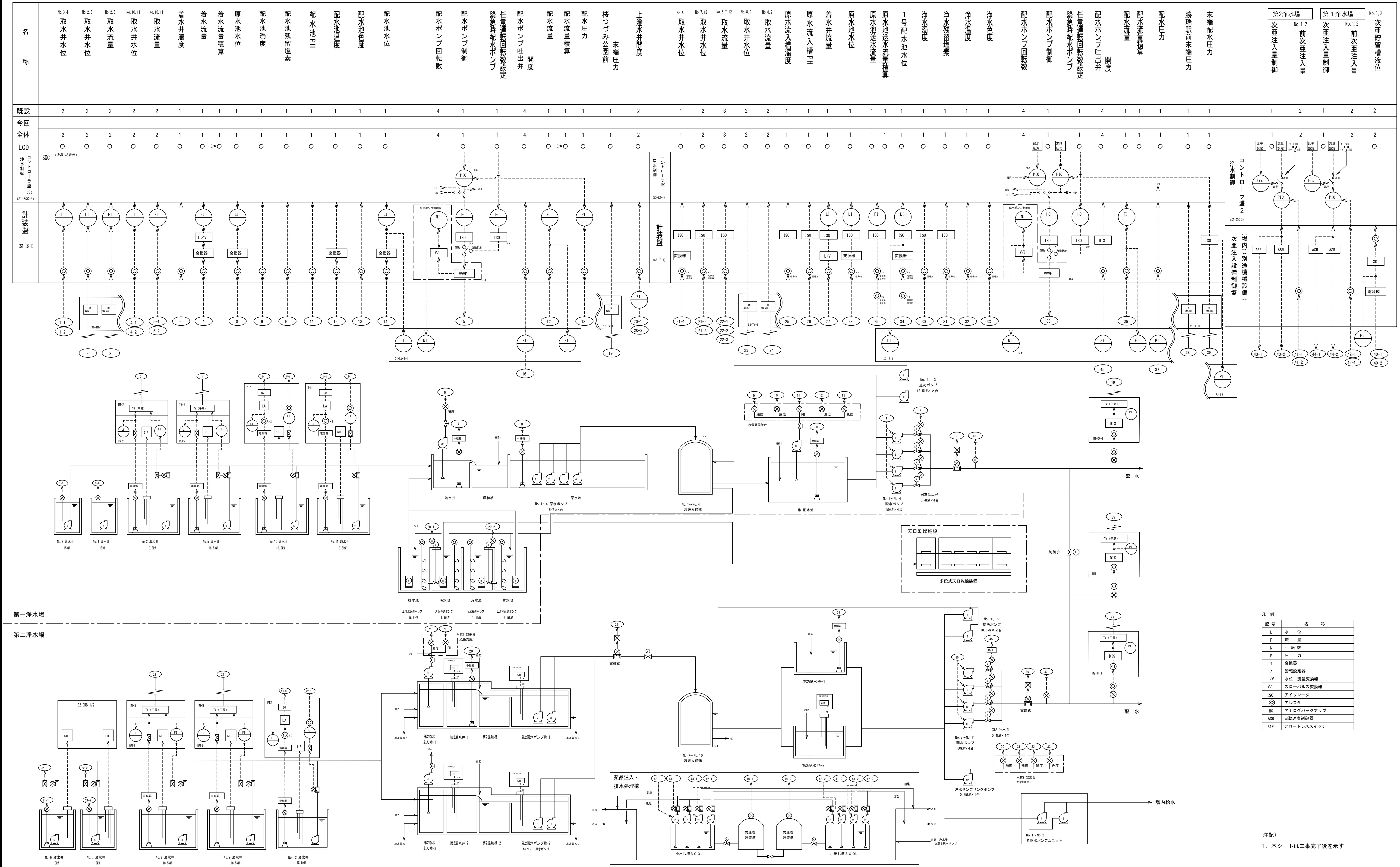
凡例

記号	名称
L	水位
F	流量
N	回転数
P	圧力
T	変換器
A	警報設定器
L/V	水位－流量変換器
V/I	スローパルス変換器
ISO	アイソレータ
◎	アレスタ
HC	アナログバックアップ
ASR	自動速度制御器
61F	フロートレススイッチ
⊠	変換器

注記）

1. □ 部は今回を示す（１期）
2. ▨ 部は機能増設を示す
3. □ 部は既設を示す

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	計装フローシート（今回（2期））		
縮尺	NON	図面番号	1-5-6
藍住町上下水道課			

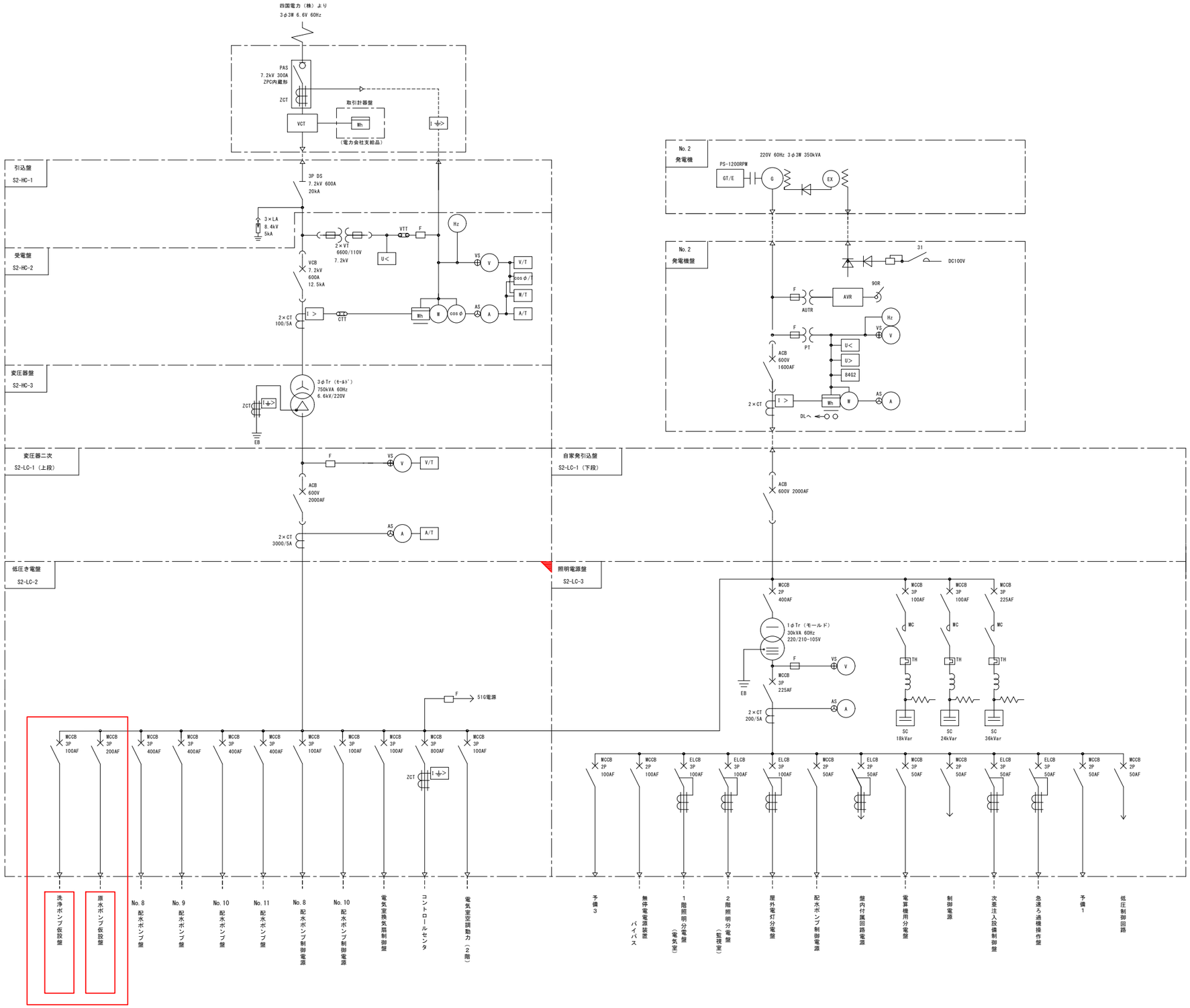


凡例

記号	名称
L	水位
F	流量
N	回転数
P	圧力
T	変換器
A	警報設定器
L/V	水位－流量変換器
V/I	スローパルス変換器
ISO	アイソレータ
◎	アレスタ
HC	アナログバックアップ
ASR	自動速度制御器
61F	フロートレススイッチ

注記）
1. 本シートは工事完了後を示す

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	計装フローシート（更新後）		
縮尺	NON	図面番号	1-5-7
藍住町上下水道課			



注記）

1. □ 部は既設を示す
2. ▨ 部は撤去を示す
3. ◪ 部は機能増設を示す

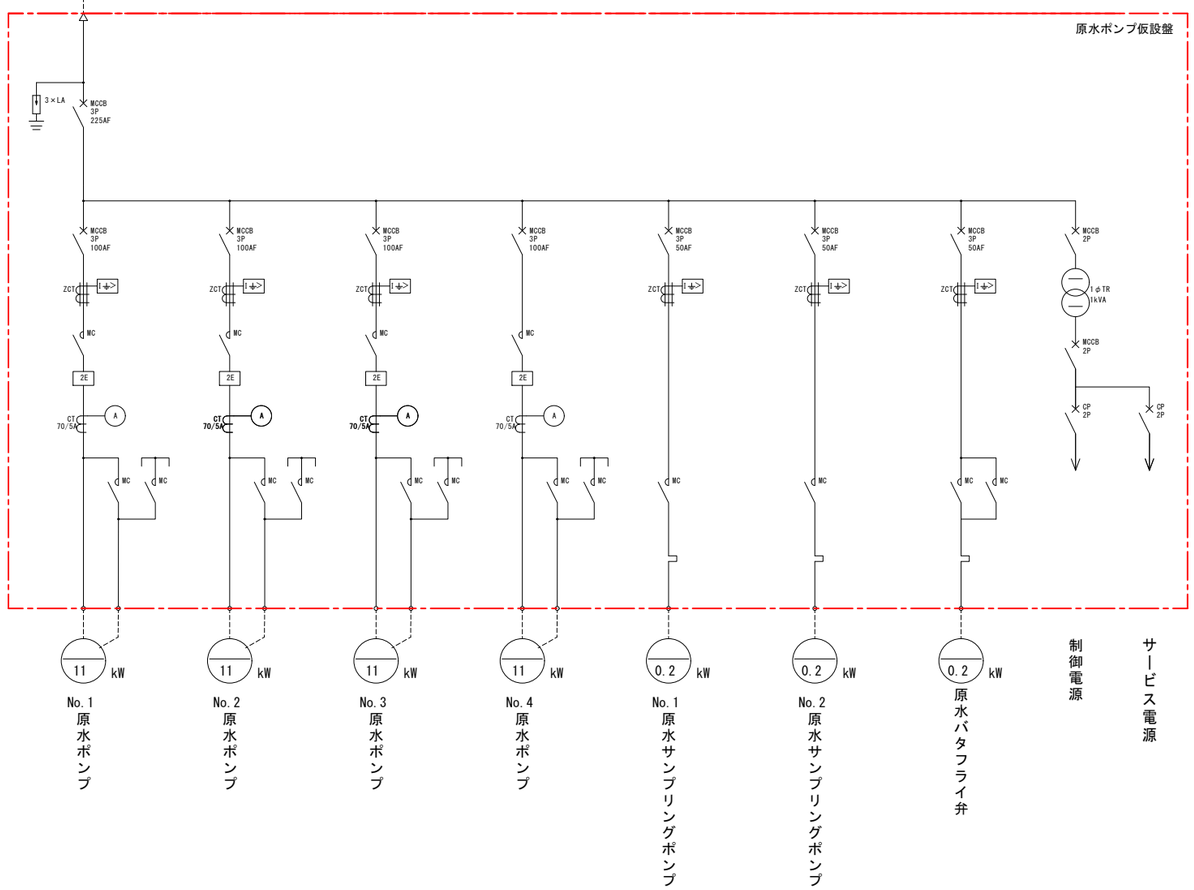
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場受変電設備 機能増設（仮設（1期））		
縮　尺	NON	図面番号	1-5-8
藍　住　町　上　下　水　道　課			

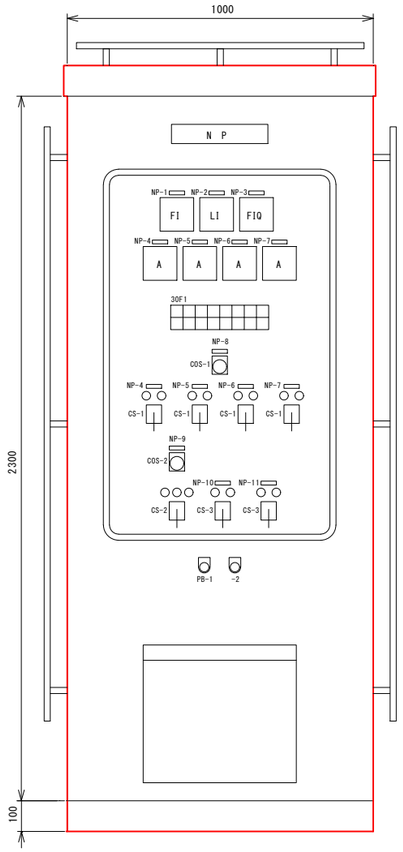
記号	名　称
NP-1	着水井流量
NP-2	原水池水位
NP-3	原水池送水流量、積算
NP-4	No.1原水ポンプ
NP-5	No.2原水ポンプ
NP-6	No.3原水ポンプ
NP-7	No.4原水ポンプ
NP-8	原水ポンプ
NP-9	原水バタフライ弁
NP-10	No.1原水サンプリングポンプ
NP-11	No.2原水サンプリングポンプ
COS-1	切換スイッチ（現場－中央）
COS-2	切換スイッチ（単独－連動）
CS-1	操作スイッチ（停止－運転）
CS-2	操作スイッチ（閉－停止ハ引-開）
CS-3	操作スイッチ（停止－自動）
PB-1	押釦スイッチ（故障復帰）
PB-2	押釦スイッチ（ランプテスト）

30F1

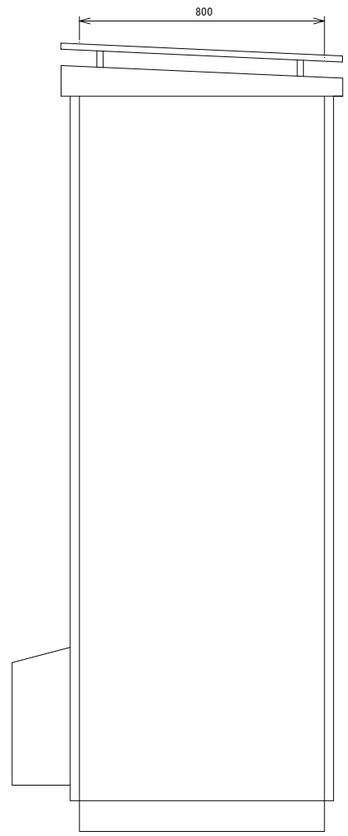
No.1 原水ポンプ 過負荷	No.2 原水ポンプ 過負荷	No.3 原水ポンプ 過負荷	No.4 原水ポンプ 過負荷	原水池 水位高	浄水池（内池） 水位高	浄水池（外池） 水位高	制御電源 MCCB断
No.1 原水ポンプ 地絡	No.2 原水ポンプ 地絡	No.3 原水ポンプ 地絡	No.4 原水ポンプ 地絡	原水池 水位低	浄水池（内池） 水位低	浄水池（外池） 水位低	

第２浄水場
低圧き電盤
（S2-LC-2）





正面図



側面図

原水ポンプ仮設盤
（S2-LB-111）

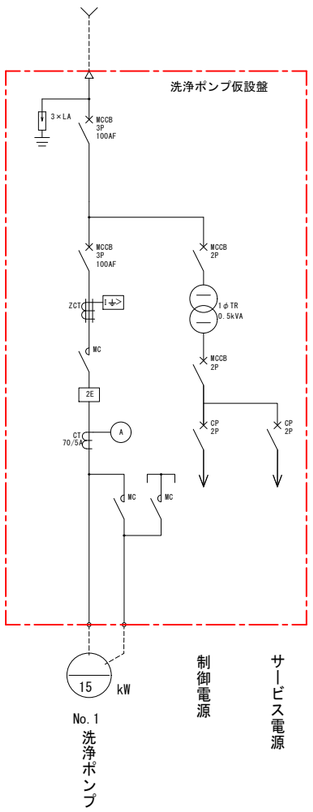
注記）
1．□部は今回を示す（仮設（１期））

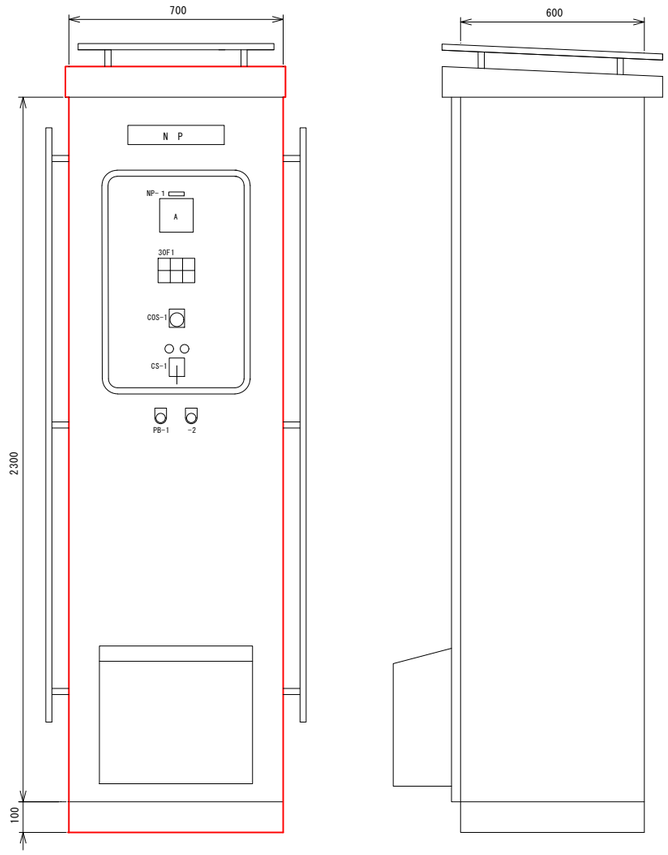
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場原水ポンプ仮設盤 単線結線図・盤外形図（仮設（1期））		
縮　尺	1/10	図面番号	1-5-9
藍　住　町　上　下　水　道　課			

記号	名　称
NP-1	洗浄ポンプ電流
COS-1	切換スイッチ（現場－中央）
CS-1	操作スイッチ（運転－停止）
PB-1	押釦スイッチ（故障復帰）
PB-2	押釦スイッチ（ランプテスト）

30F1

洗浄ポンプ 過負荷	洗浄ポンプ 操作可	No.2排水槽 水位高
洗浄ポンプ 地絡		配水池 水位高

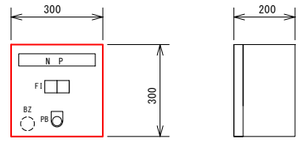




洗浄ポンプ仮設盤
(S2-LB-112)

FI

洗浄ポンプ 仮設盤故障	原水ポンプ 仮設盤故障



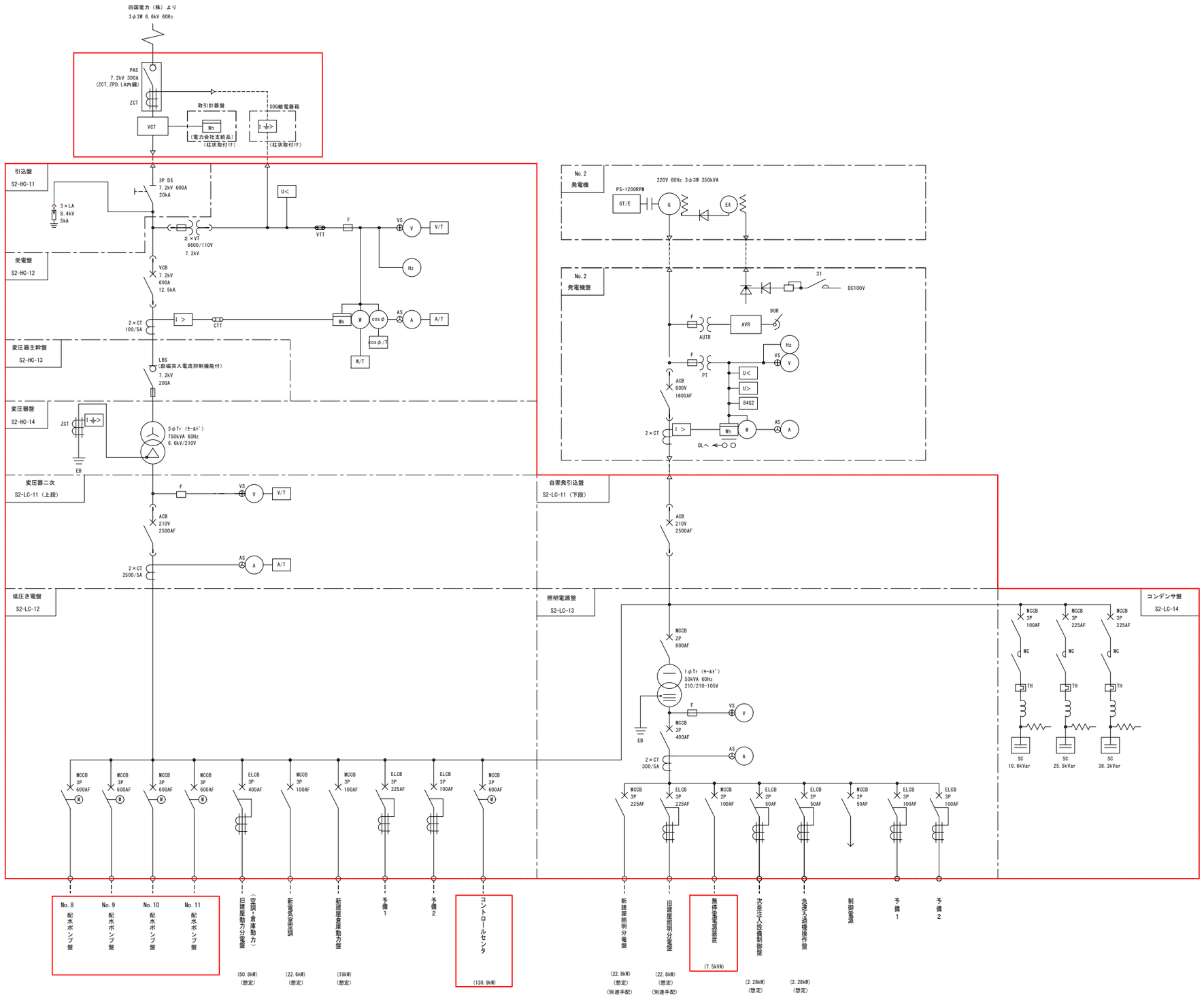
警報仮設盤
(S2-LB-113)

凡　例

記　号	名　　称
PB	警報停止

注記）
1．□部は今回を示す（仮設（１期））

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場仮設洗浄ポンプ仮設盤 単線結線図・盤外形図（仮設（1期））		
縮　尺	1/10	図面番号	1-5-10
藍　住　町　上　下　水　道　課			

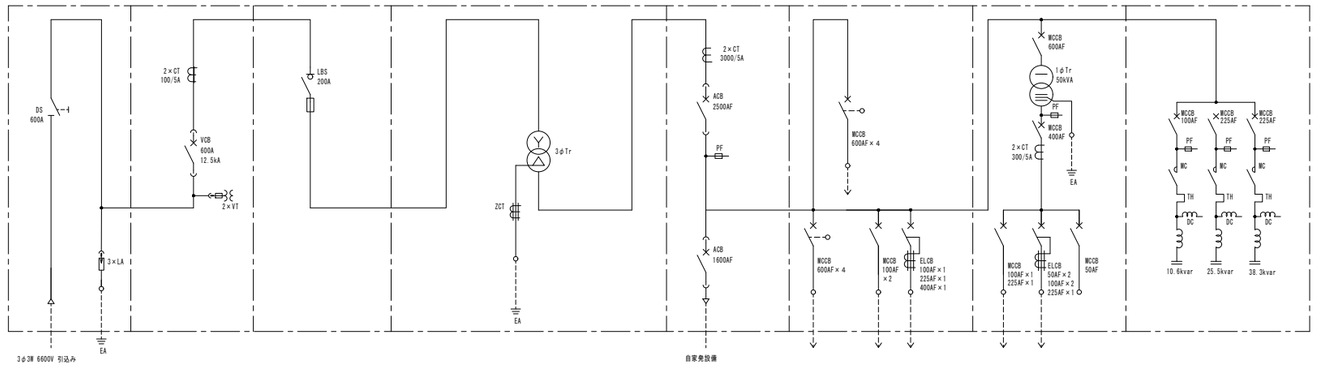


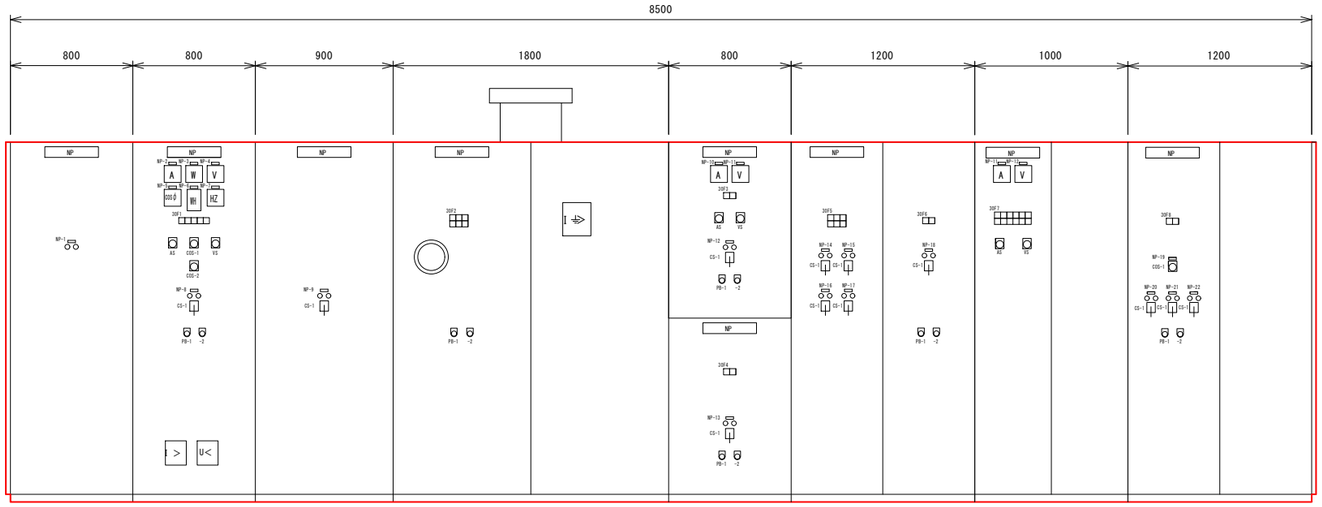
注記）

1. ［　］部は今回を示す

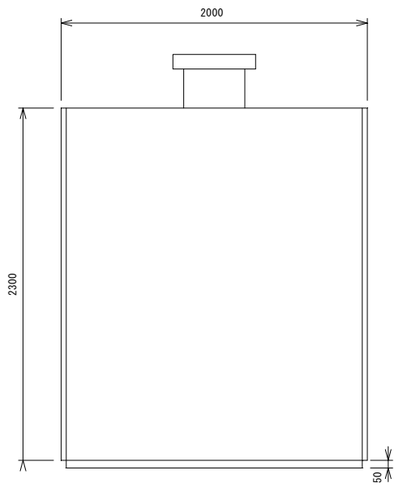
2. ［　］部は既設を示す

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場受変電設備 単線結線図（今回（2期））		
縮　尺	NON	図面番号	1-5-11
藍　住　町　上　下　水　道　課			





正面図



側面図

30F1

受電 過電流	受電 地絡	受電 不足電圧	制御電源 断	

30F2

変圧器 温度上昇	変圧器 ファン故障	受電 不足電圧	
変圧器一次 LBS断	変圧器二次 地絡	受電 不足電圧	

30F3

変圧器二次 ACB断	

30F4

自家発引込 ACB断	

30F5

コントロール センタ MCCB断	

30F6

No.8 配水ポンプ MCCB断	No.10 配水ポンプ MCCB断	No.11 配水ポンプ MCCB断	No.12 配水ポンプ MCCB断	
非常電動力 分電盤 ELCB断	新電気室 空調 MCCB断	新建屋倉庫 分電盤 MCCB断	予備1 ELCB断	予備2 ELCB断

30F7

変圧器一次 MCCB断	変圧器二次 MCCB断	無停電 電源装置 MCCB断	新建屋 照明分電盤 MCCB断	旧建屋 照明分電盤 MCCB断	
次亜塩注入 設備制御盤 ELCB断	急速ろ過器 操作盤 ELCB断	制御電源 MCCB断	予備1 ELCB断	予備2 ELCB断	

30F8

コンデンサ 故障	

凡　例

記　号	名　称
NP-1	受電断路器
-2	受電電流
-3	受電電力
-4	受電電圧
-5	受電力率
-6	受電電力量
-7	受電周波数
-8	受電遮断器
-9	変圧器一次開閉器
-10	変圧器二次電流
-11	変圧器二次電圧
-12	変圧器二次遮断器
-13	自家発引込遮断器
-14	No.8配水ポンプ遮断器
-15	No.9配水ポンプ遮断器
-16	No.10配水ポンプ遮断器
-17	No.11配水ポンプ遮断器
-18	コントロールセンタ送り遮断器
-19	コンデンサ
-20	No.1 コンデンサ
-21	No.2 コンデンサ
-22	No.3 コンデンサ
COS-1	切替スイッチ（現場―中央）
-2	切替スイッチ（手動―自動）
CS-1	操作スイッチ（切―入）
PB-1	押釦スイッチ（ランプテスト）
-2	押釦スイッチ（故障復帰）

引込盤
(S2-HC-11)

受電盤
(S2-HC-12)

変圧器一次盤
(S2-HC-13)

変圧器盤
(S2-HC-14)

変圧器二次盤
(S2-LC-11（上段）)
自家発引込盤
(S2-LC-11（下段）)

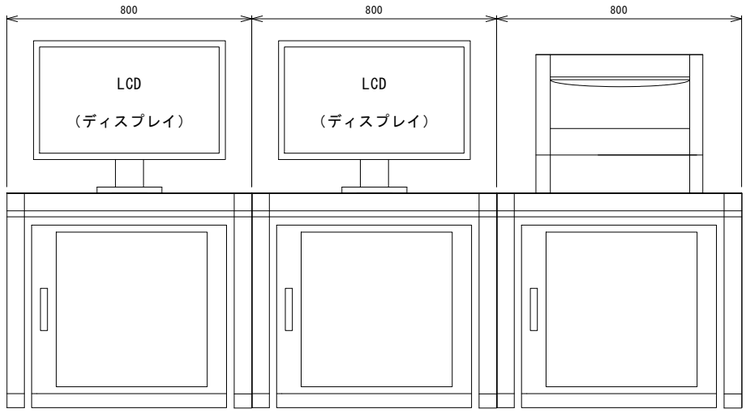
低圧き電盤
(S2-LC-12)

照明電源盤
(S2-LC-13)

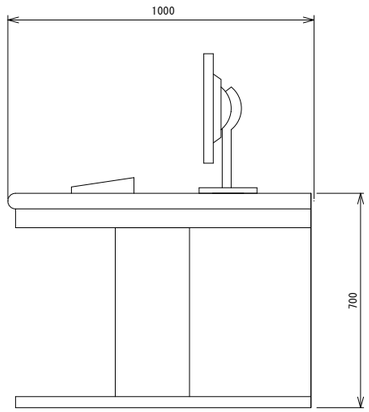
コンデンサ盤
(S2-LC-14)

注記）
1. □ 部は今回を示す

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場受変電設備 外形図（今回（2期））		
縮　尺	1/20	図面番号	1-5-12
藍　住　町　上　下　水　道　課			



正面図

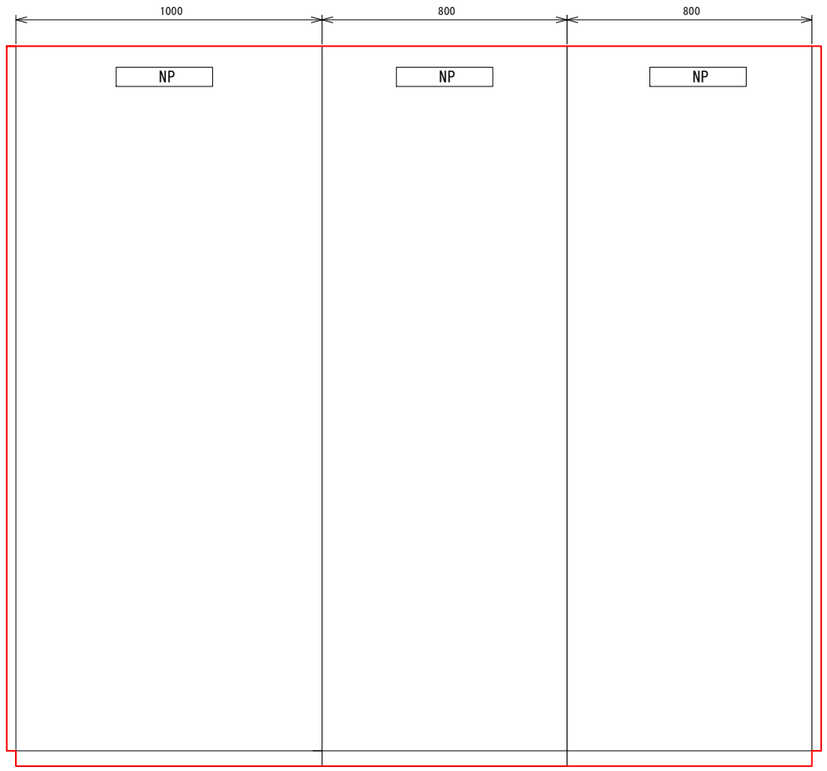


側面図

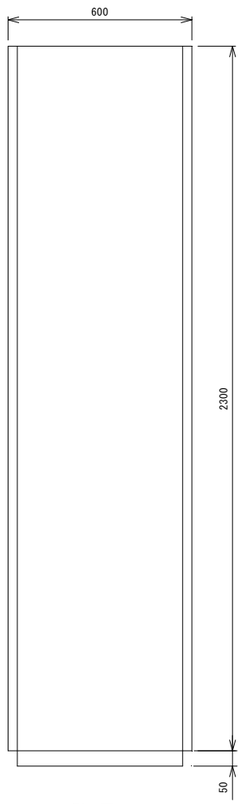
LCD監視制御装置1
(LCD-11)

LCD監視制御装置2
(LCD-12)

カラ-ハードコピー
(HC-11)



正面図



側面図

浄水制御コントローラ盤1
(S2-SQC-1)

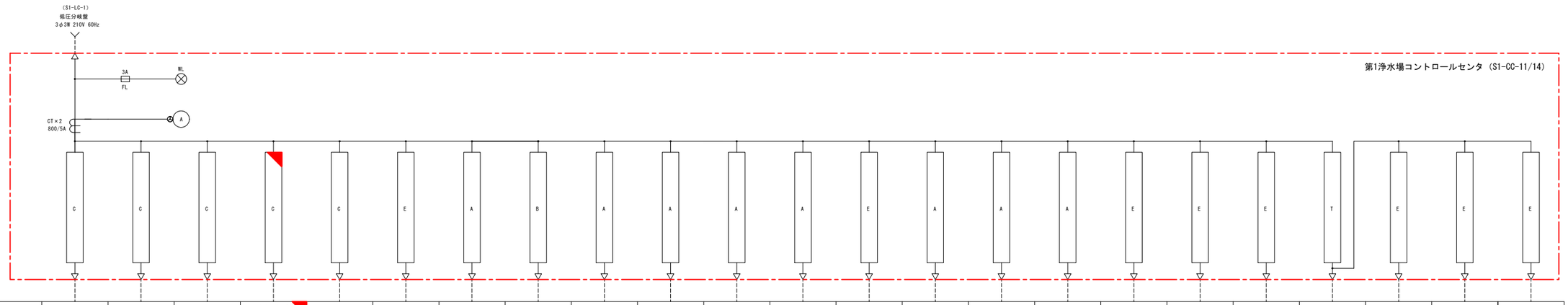
浄水制御コントローラ盤1
(S2-SQC-2)

第２浄水場テレメータ親局盤
(S2-TM-1)

注記）

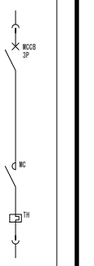
１．　部は今回を示す

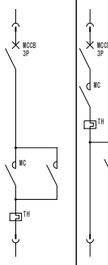
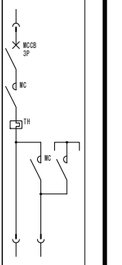
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場中央監視設備 外形図（今回（2期））		
縮　尺	1/10	図面番号	1-5-13
藍　住　町　上　下　水　道　課			

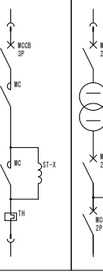
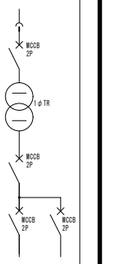


負荷名称		No.3 取水ポンプ	No.4 取水ポンプ	No.1～4 原水ポンプ	No.1/3洗浄ポンプ → No.1/2逆洗ポンプ	No.1～4 配水ポンプ吐出弁	自動給水装置	No.1,2 上澄水返送ポンプ	No.1,2 上澄水弁	No.1,2 汚泥移送ポンプ	No.1,2 床排水ポンプ	原水サンプリング ポンプ	浄水サンプリング ポンプ	汚泥脱水機盤	自家発換気ファン	自家発給気ファン	オイルクーラファン	テーブヒータ	予備1	予備2	制御TR 一次電源	制御TR 二次電源	制御電源	急速ろ過機操作盤
負荷容量（kW）		11	22	15	18.5	0.4	1.1	5.5	1.5	1.5	1.5	0.4	0.25	18.775	2.2	3.7	0.75	0.3			3kVA			
MCCB（AF）		100	225	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	50	50	50
台数	既設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	今回	1	1	4	2（-3）	4	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	全体	1	1	4	2	4	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
コンデンサ（μF）																								
電流計		○	○	○	○			○		○	○	○	○		○	○	○							
運転時間計				○	○			○		○	○													
保護継電器		I-t-> Th	I-t-> Th	I-t-> Th	I-t-> Th	I-t-> Th	I-t->	I-t-> Th	I-t-> Th	I-t-> Th	I-t-> Th	I-t-> Th	I-t-> Th	I-t->	I-t-> Th	I-t-> Th	I-t-> Th	I-t->	I-t->	I-t->					
備　考																								

凡例

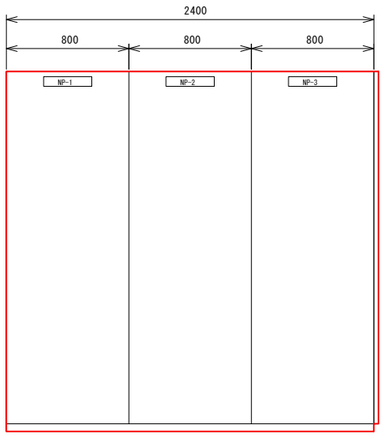
名称	電源送り	非可逆
記号	E	A
結線図		

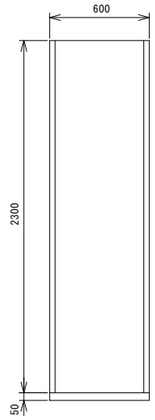
名称	可　逆	Y－△始動
記号	B	C
結線図		

名称	リアクトル始動	制御電源
記号	D	T
結線図		

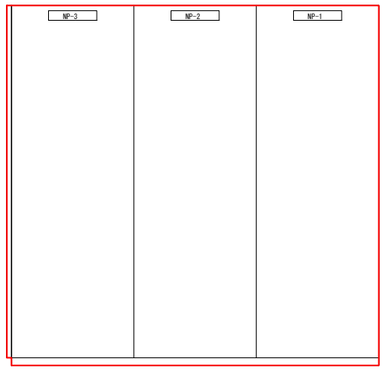


正面図

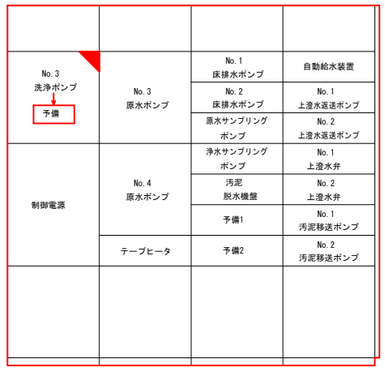


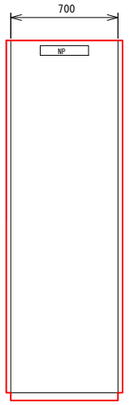


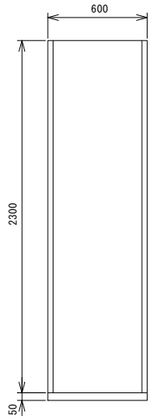
側面図



裏面図







側面図

注記）

1．□ 部は今回を示す

2．▨ 部は機能増設を示す

3．No.1～3洗浄ポンプについては
更新・切替後に機械工事施工時に
No.1,2逆洗ポンプ、予備に機能増設
を行なう。

4．No.3,4取水ポンプに対するSWを設ける。

第1浄水場コントロールセンタ
(S1-CC-11/14)

凡　例

記号	名　　称
NP-1	第１浄水場補助継電器盤（1）
NP-2	第１浄水場補助継電器盤（2）
NP-3	第１浄水場補助継電器盤（3）

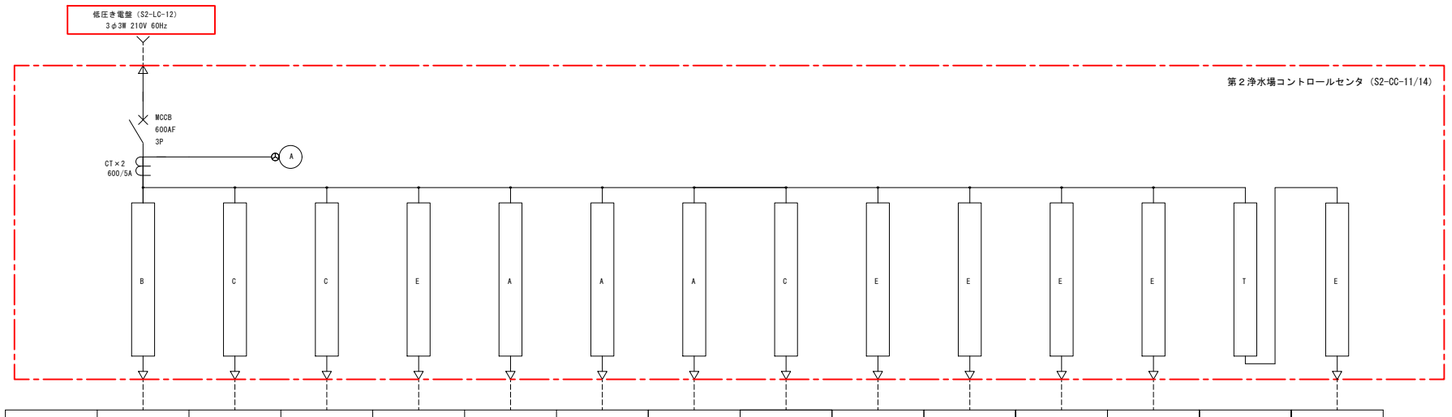
第1浄水場補助継電器盤
(S1-CRB-11/13)

浄水制御コントローラ盤3
(S1-SQC-1)

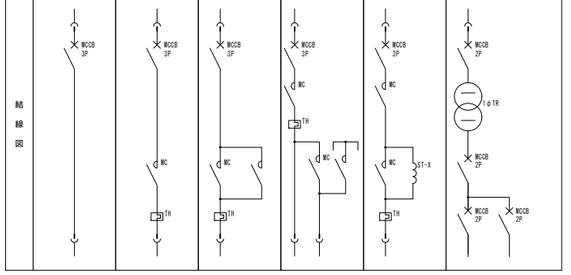
凡　例

記号	名　　称
NP	浄水制御コントローラ盤3

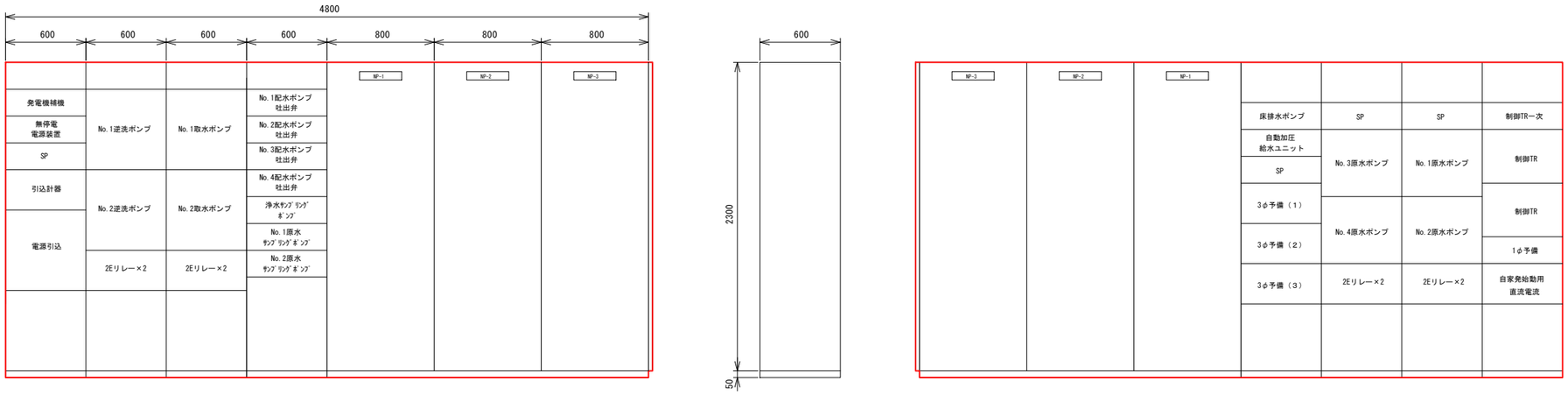
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第1浄水場コントロールセンタ 単線結線図・外形図（今回（2期））		
縮　尺	1/20	図面番号	1-5-14
藍　住　町　上　下　水　道　課			



凡例

名称	電源送り	非可逆	可　逆	Y－Δ始動	リアクトル始動	制御電源
記号	E	A	B	C	D	T
結線図						

負荷名称		配水ポンプ 吐出弁	逆洗ポンプ	原水ポンプ	自動加圧 給水ユニット	浄水ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ ﾎﾟﾝﾌﾟ	原水ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ ﾎﾟﾝﾌﾟ	床排水ポンプ	取水ポンプ	自家発始動用 直流電流	発電機補機 （発電機盤）	無停電 電源装置	３φ予備	制御TR 一次電源	１φ予備
負荷容量（kW）		0.4	18.5	11	2.2	0.2	0.2	1.5	15	(7.9)	(7.9)	16.7kVA		3kVA	
MCCB（AF）		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
台数	既設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	今回	4	2	4	1	1	2	1	2	1	1	1	3	1	1
	全体	4	2	4	1	1	2	1	2	1	1	1	3	1	1
コンデンサ（μF）															
電流計			○	○	○	○	○	○	○						
運転時間計			○	○				○	○						
保護継電器		I-t>	2E I-t>	2E I-t>	I-t>	I-t>	I-t>	I-t>	2E I-t>	I-t>			I-t>		
備　考					次亜希釈水ポンプ (1.1kWポンプ×2台分)										



正面図　　側面図　　裏面図

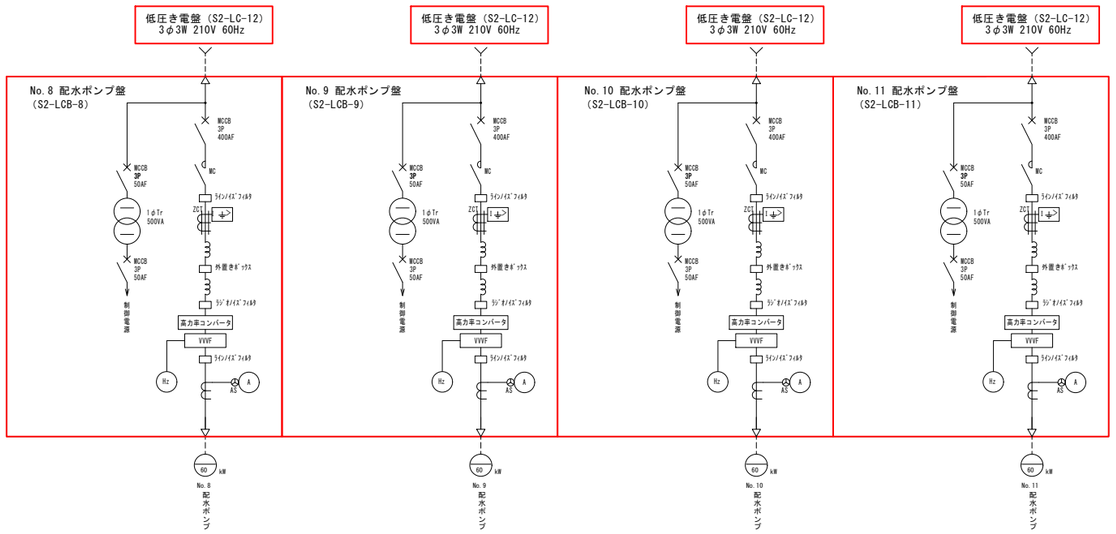
第2浄水場コントロールセンタ
(S2-CC-11/14)

第2浄水場補助継電器盤
(S2-CRB-11/13)

注記）

1．　　部は今回を示す

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場コントロールセンタ 単線結線図・外形図（今回（2期））		
縮　尺	1/20	図面番号	1-5-15
藍　住　町　上　下　水　道　課			

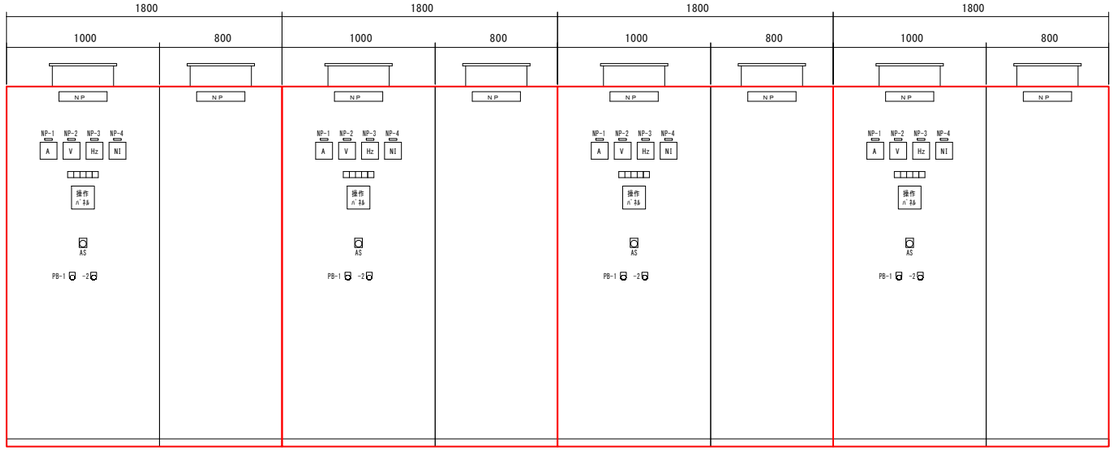


30F1

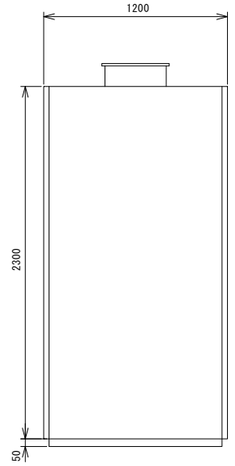
過負荷	地絡	VVVF 故障	PWM コンバータ 故障	冷却ファン 故障

凡 例

記 号	名 称
NP-1	出力電流
-2	出力電圧
-3	周波数
-4	回転数
PB-1	押釦スイッチ（ランプテスト）
-2	押釦スイッチ（故障復帰）



正面図



側面図

No.8 配水ポンプ盤（VVVF）
（S2-LCB-8）

No.9 配水ポンプ盤（VVVF）
（S2-LCB-9）

No.10 配水ポンプ盤（VVVF）
（S2-LCB-10）

No.11 配水ポンプ盤（VVVF）
（S2-LCB-11）

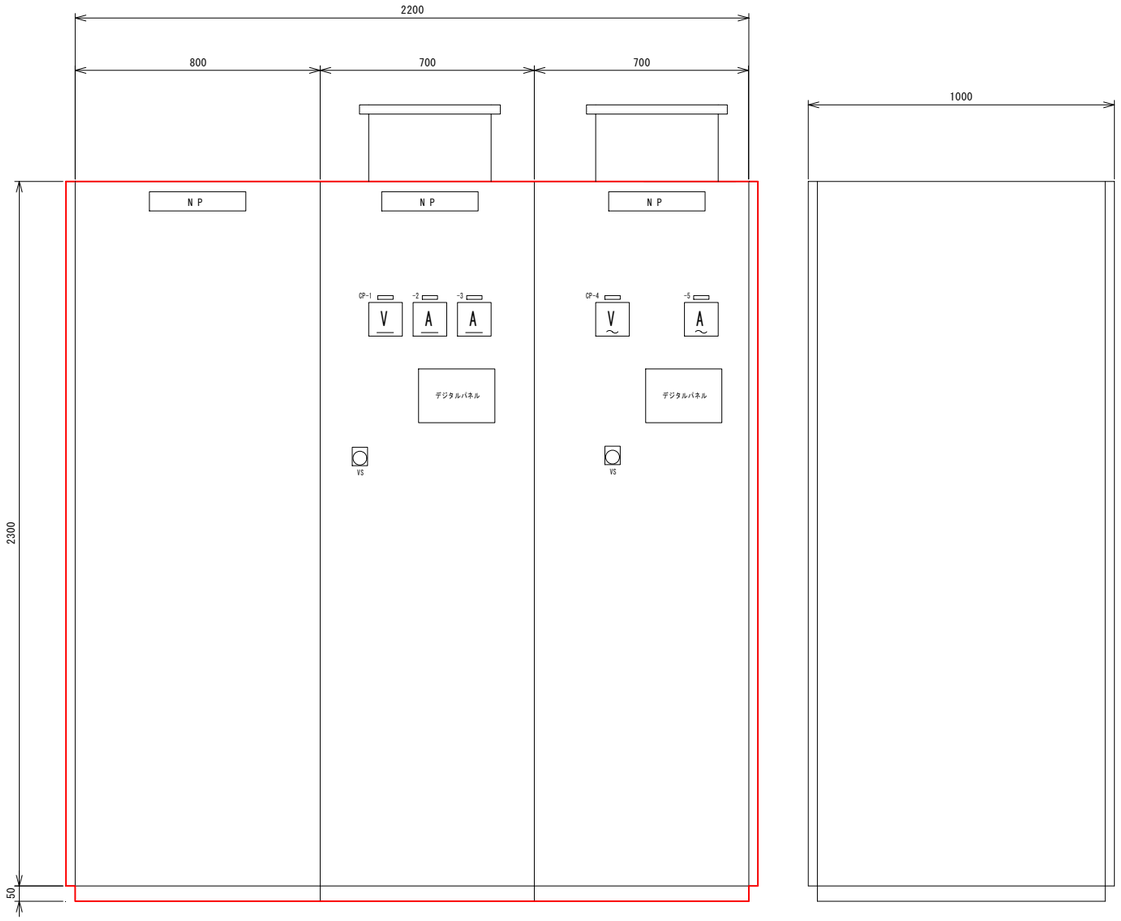
注記）

1．□部は今回を示す

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場配水ポンプ盤 単線結線図・外形図（今回（2期））		
縮 尺	1/20	図面番号	1-5-16
藍 住 町 上 下 水 道 課			

凡 例

記号	名称
T	変圧器
MCCB	配線用遮断器
CT	変流器
F	低圧ヒューズ
A	直流電流計
V	直流電圧計
A	電流計
AS	電流計切換スイッチ
V	電圧計
VS	電圧計切換スイッチ
	整流器
	インバータ
SID	シリコンドロッパ

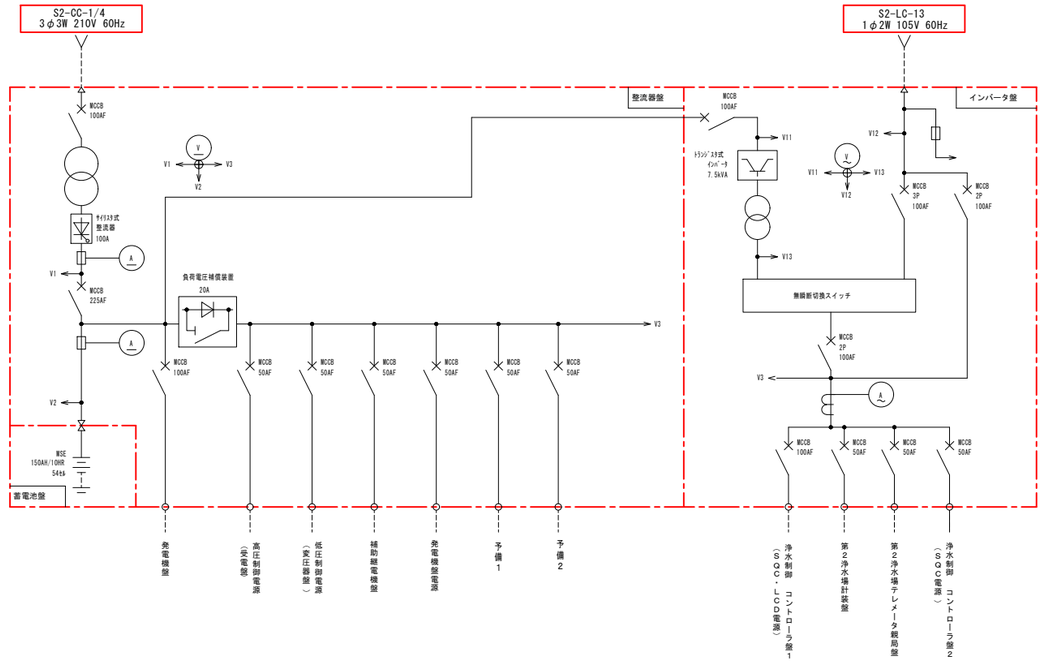


正面図　　側面図

蓄電池盤
(S2-BA-1)

整流器盤
(S2-DC-1)

インバータ盤
(S2-CVCF-1)

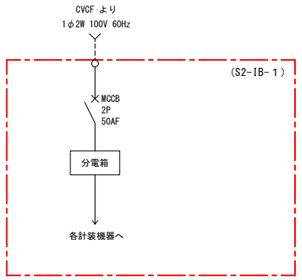


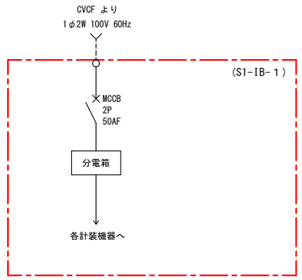
凡 例

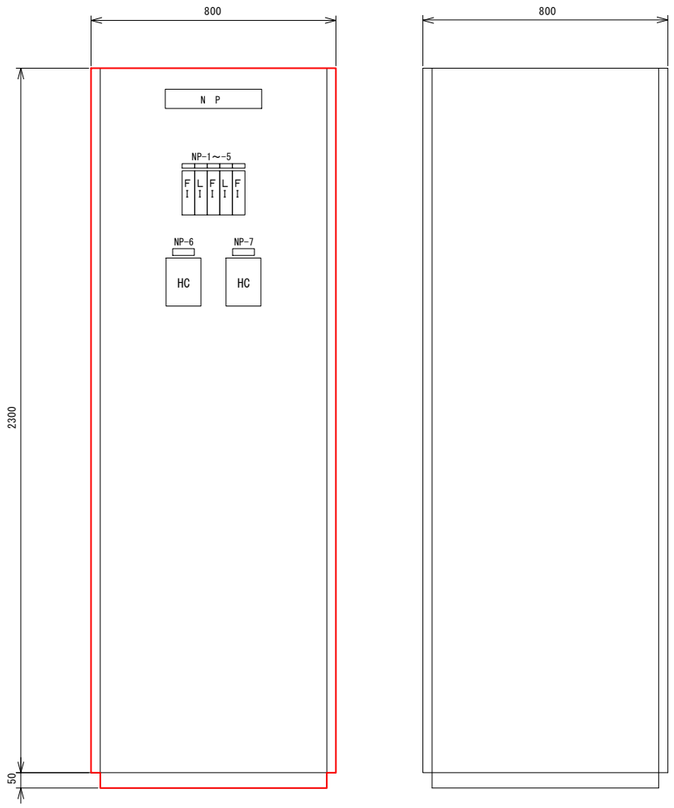
記 号	名 称
CP-1	直流電圧
-2	整流器電流
-3	蓄電池電流
-4	交流電圧
-5	交流電流

注記）
1．□ 部は、今回を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場無停電電源装置 単線結線図・外形図（今回（2期））		
縮 尺	1/10	図面番号	1-5-17
藍 住 町 上 下 水 道 課			



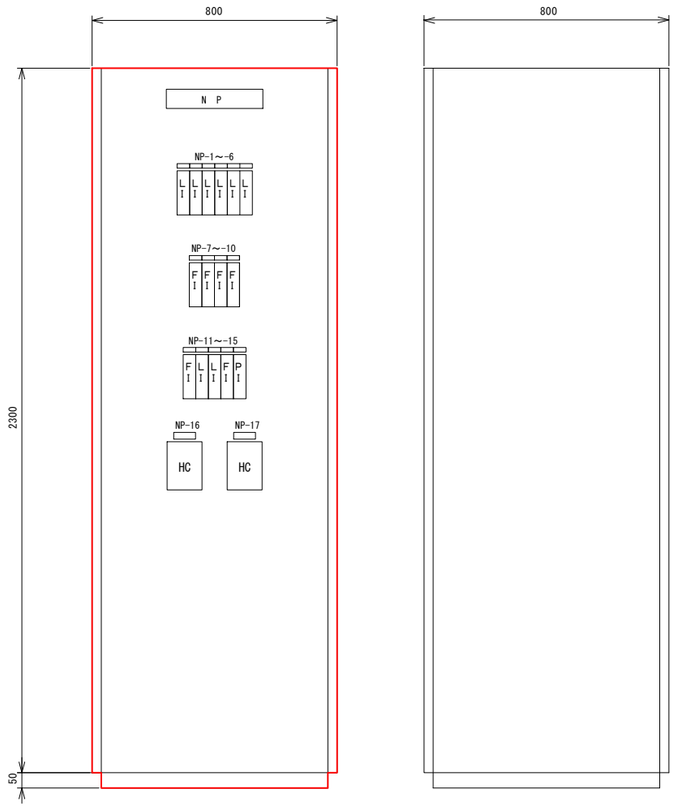




凡 例 (S2-IB-1)

記号	名 称
NP-1	着水流量
NP-2	原水池水位
NP-3	原水池送水流量
NP-4	1号配水池水位
NP-5	配水流量
NP-6	配水圧力設定
NP-7	末端圧力設定
HC	アナログバックアップ
FI	流量指示計
LI	水位指示計

第2浄水場計装盤
(S2-IB-1)



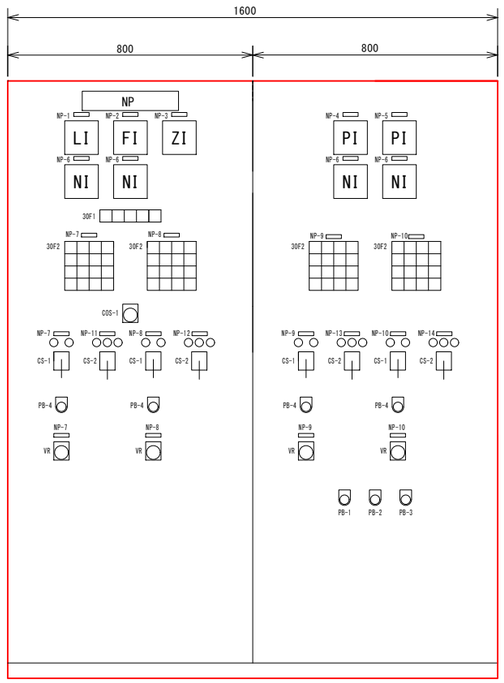
凡 例 (S1-IB-1)

記号	名 称
NP-1	No.2取水井水位
NP-2	No.3取水井水位
NP-3	No.4取水井水位
NP-4	No.5取水井水位
NP-5	No.10取水井水位
NP-6	No.11取水井水位
NP-7	No.2取水流量
NP-8	No.5取水流量
NP-9	No.10取水流量
NP-10	No.11取水流量
NP-11	着水流量
NP-12	原水池水位
NP-13	配水池水位
NP-14	配水流量
NP-15	配水圧力
NP-16	配水圧力設定
NP-17	回転数設定

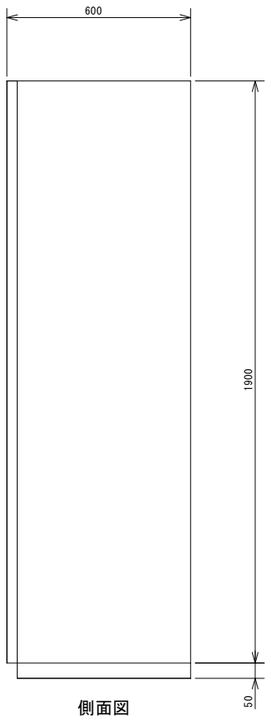
第1浄水場計装盤
(S1-IB-1)

注記)
1. □ 部は、今回を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場計装盤 単線結線図・外形図（今回（2期））		
縮 尺	1/10	図面番号	1-5-18
藍 住 町 上 下 水 道 課			



正面図



側面図

30F2

起動準備完了	起動中	排気中	満水
運転	送水	停止中	
空調	起動渋滞１	起動準備	電動機盤故障
吐出弁故障			非常停止

30F1

第2配水池-1 水位高 (HH2以上)	第2配水池-1 規定水位 (HH1以下)	第2配水池-2 水位高 (HH2以上)	第2配水池-2 規定水位 (HH1以下)	予備

凡　例

記　号	名　　称		
NP-1	第2配水池-1水位	COS-1	切替スイッチ（単独-連動-中央）
-2	配水流量		
-3	配水ポンプ回転数	CS-1	操作スイッチ（運転-停止）
-4	配水圧力	CS-2	操作スイッチ（閉-停止は引-開）
-5	末端圧力		
-6	No.口配水ポンプ吐出弁開度	PB-1	押釦スイッチ（警報停止）
-7	NO.8配水ポンプ	PB-2	押釦スイッチ（故障復帰）
-8	NO.9配水ポンプ	PB-3	押釦スイッチ（ランプテスト）
-9	NO.10配水ポンプ	PB-4	押釦スイッチ（非常停止）
-10	NO.11配水ポンプ		
-11	NO.8配水ポンプ吐出弁	VR	速度調整器（0～100%）
-12	NO.9配水ポンプ吐出弁		
-13	NO.10配水ポンプ吐出弁	備考	※口は、No.8から11まで変化する。
-14	NO.11配水ポンプ吐出弁		

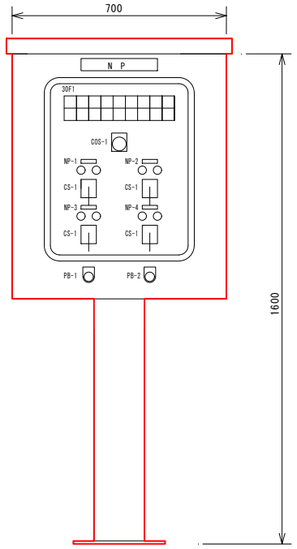
配水ポンプ現場操作盤

(S2-LB-11)

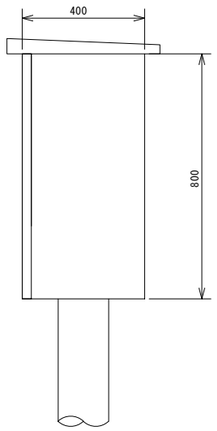
注記）

1．□部は、今回を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場配水ポンプ現場操作盤 外形図（今回（2期））		
縮　尺	1/10	図面番号	1-5-19
藍　住　町　上　下　水　道　課			



正面図



側面図

凡　例

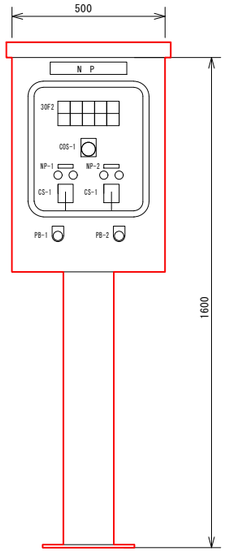
記　号	名　　称
NP-1	No.7 原水ポンプ
NP-2	No.8 原水ポンプ
NP-3	No.9 原水ポンプ
NP-4	No.10 原水ポンプ
COS-1	切換スイッチ（現場－中央）
CS-1	操作スイッチ（停止－運転）
PB-1	ランプテスト
PB-2	故障復帰

30F1

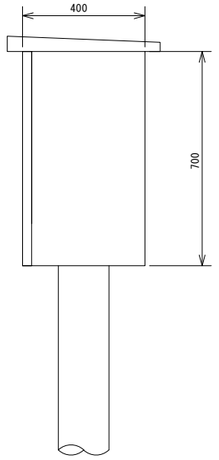
No.7 原水ﾎﾟﾝﾌﾟ 過負荷	No.8 原水ﾎﾟﾝﾌﾟ 過負荷	No.9 原水ﾎﾟﾝﾌﾟ 過負荷	No.10 原水ﾎﾟﾝﾌﾟ 過負荷	第2原水池-1 規定水位 (H以上)	第2原水池-2 規定水位 (H以上)	第2配水池-1 水位高 (HH2以上)	第2配水池-2 水位高 (HH2以上)	予備
No.7 原水ﾎﾟﾝﾌﾟ 地絡	No.8 原水ﾎﾟﾝﾌﾟ 地絡	No.9 原水ﾎﾟﾝﾌﾟ 地絡	No.10 原水ﾎﾟﾝﾌﾟ 地絡	第2原水池-1 水位LL	第2原水池-2 水位LL	第2配水池-1 規定水位 (HH1以下)	第2配水池-2 規定水位 (HH1以下)	予備

No.7/10 原水ポンプ現場盤

(S2-LB-12)



正面図



側面図

凡　例

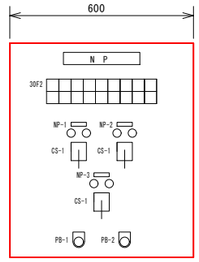
記　号	名　　称
NP-1	No.1逆洗ポンプ
NP-2	No.2逆洗ポンプ
COS-1	切換スイッチ（現場－中央）
CS-1	操作スイッチ（停止－運転）
PB-1	ランプテスト
PB-2	故障復帰

30F2

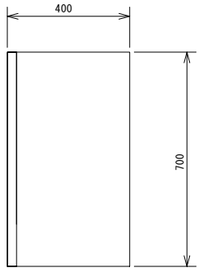
No.1 逆洗ポンプ 過負荷	No.2 逆洗ポンプ 過負荷	No.2排水槽 水位高 (HH以上)	第2配水池-1 水位低 (LL以下)	予備
No.1 逆洗ポンプ 地絡	No.2 逆洗ポンプ 地絡	No.2排水槽 規定水位 (H以下)	第2配水池-2 水位低 (LL以下)	予備

逆洗ポンプ現場盤

(S2-LB-13)



正面図



側面図

凡　例

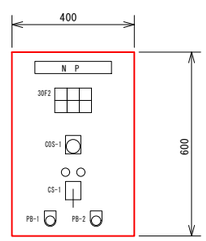
記　号	名　　称
NP-1	No.1原水サンプリングポンプ
NP-2	No.2原水サンプリングポンプ
NP-3	No.1浄水サンプリングポンプ
CS-1	操作スイッチ（停止－運転）
PB-1	ランプテスト
PB-2	故障復帰

30F3

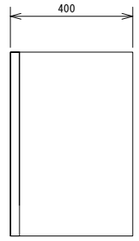
No.1原水 サンプリングポンプ 過負荷	No.2原水 サンプリングポンプ 過負荷	No.1浄水 サンプリングポンプ 過負荷	No.2浄水 サンプリングポンプ 過負荷	第2原水流入槽-1 規定水位 (H以上)	第2原水流入槽-2 規定水位 (H以上)	第2配水池-1 規定水位 (H以上)	第2配水池-2 規定水位 (H以上)	予備
No.1原水 サンプリングポンプ 地絡	No.2原水 サンプリングポンプ 地絡	No.1浄水 サンプリングポンプ 地絡	No.2浄水 サンプリングポンプ 地絡	第2原水流入槽-1 水位低 (LL以下)	第2原水流入槽-2 水位低 (LL以下)	第2配水池-1 水位低 (LL以下)	第2配水池-2 水位低 (LL以下)	予備

サンプリングポンプ現場盤

(S2-LB-14)



正面図



側面図

凡　例

記　号	名　　称
COS-1	切換スイッチ（手動－自動）
CS-1	操作スイッチ（停止－運転）
PB-1	ランプテスト
PB-2	故障復帰

30F4

床排水ポンプ 過負荷	床排水ピット 規定水位 (L以上)	予備
床排水ポンプ 地絡	床排水ピット 水位低 (LL以下)	予備

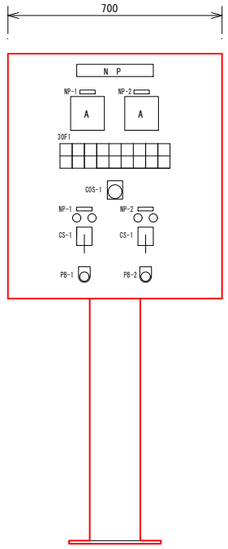
床排水ポンプ現場操作盤

(S2-LB-15)

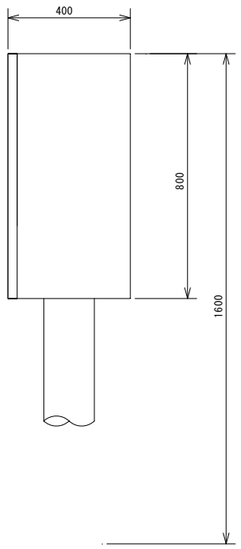
注記）

1．□部は今回を示す

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場現場操作盤 外形図 （今回（2期））		
縮　尺	1/10	図面番号	1-5-20
藍　住　町　上　下　水　道　課			



正面図



側面図

凡　例

記　号	名　　称
NP-1	No. 1 逆洗ポンプ
-2	No. 2 逆洗ポンプ
COS-1	切換スイッチ（現場－中央）
CS-1	操作スイッチ（停止－運転）
PB-1	ランプテスト
	故障復帰

No. 1/2 逆洗ポンプ現場盤

（S1-LB-12）

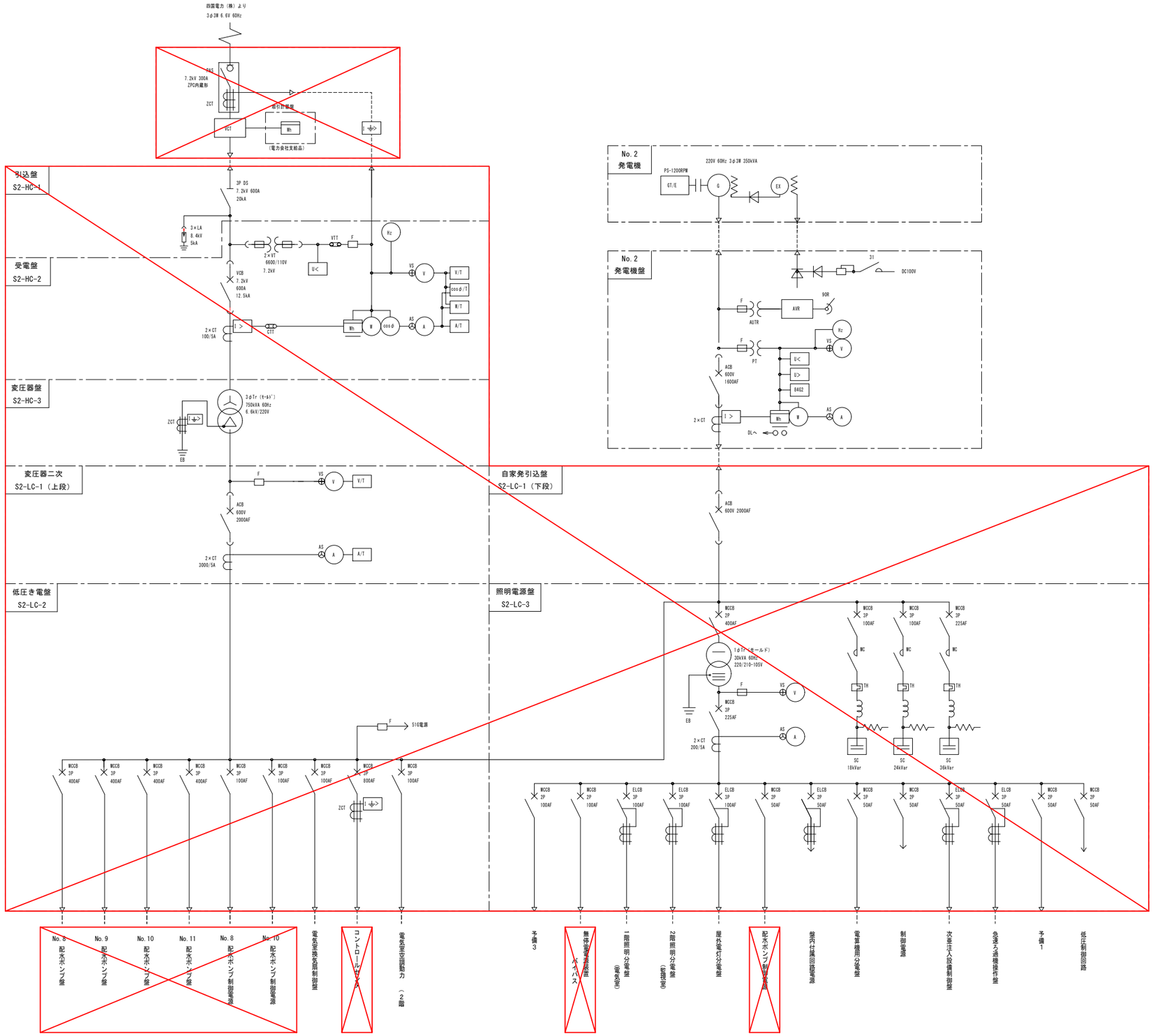
30F1

No. 1 逆洗ポンプ 過負荷	No. 1 逆洗ポンプ 操作可	No. 2 逆洗ポンプ 過負荷	No. 2 逆洗ポンプ 操作可	No. 1 排水槽 水位高	1号配水池 水位低
No. 1 逆洗ポンプ 地絡	予備	No. 2 逆洗ポンプ 地絡	予備	予備	2号配水池 水位低

注記）

1．　部は今回を示す

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第1浄水場現場操作盤 外形図 （今回（2期））		
縮　尺	1/10	図 面 番 号	1-5-21
藍　住　町　上　下　水　道　課			

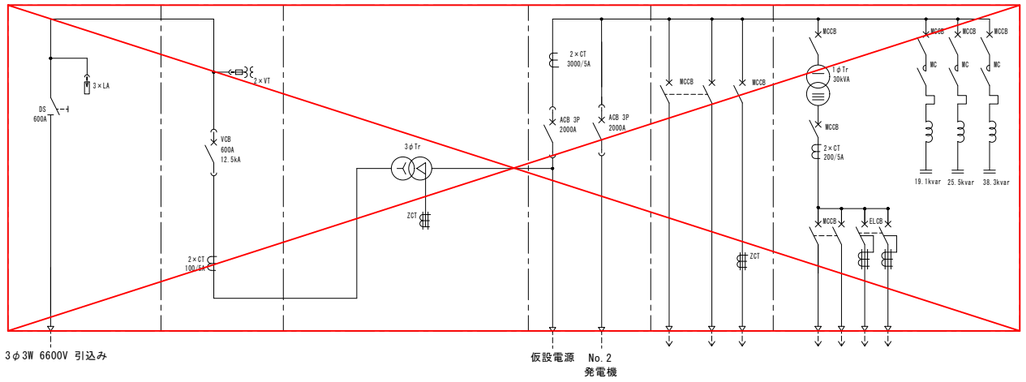


注記）

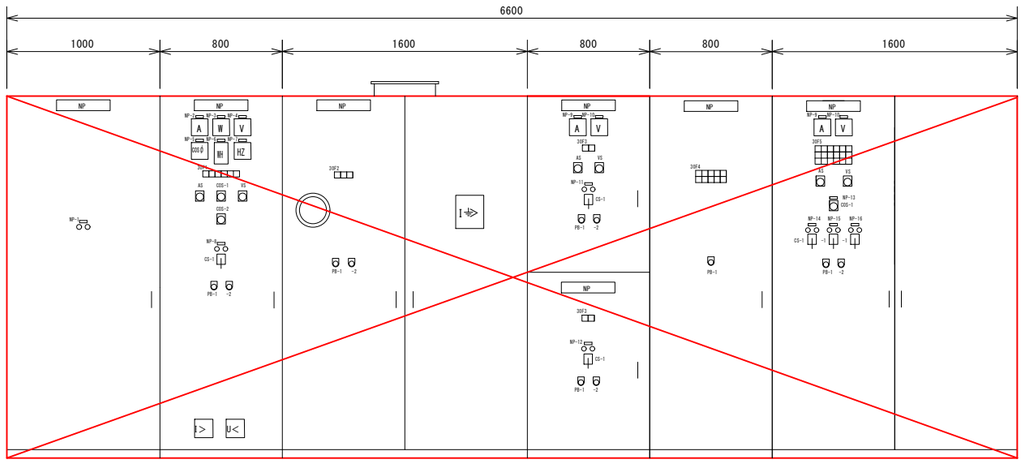
1. □ 部は既設を示す
2. ▨ 部は撤去を示す

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場受変電設備 単線結線図（撤去（3期））		
縮　尺	NON	図面番号	1-5-22
藍　住　町　上　下　水　道　課			

ブロックスケルトン



配電盤外形図



引込盤 (S2-HC-1)

受電盤 (S2-HC-2)

変圧器盤 (S2-HC-3)

変圧器二次盤 (S2-LC-1:上)

自家発引込盤 (S2-LC-1:下)

低圧き電盤 (S2-LC-2)

照明電源盤 (S2-LC-3)

30F1

受電過電流	受電地絡	受電不足電圧	制御電源断	SOG制御装置異常	

30F2

変圧器温度上昇	変圧器二次地絡	変圧器ファン故障

30F3

過電流	

30F4

No.8配水ﾎﾟﾝﾌﾟ過電流	No.9配水ﾎﾟﾝﾌﾟ過電流	No.10配水ﾎﾟﾝﾌﾟ過電流	No.11配水ﾎﾟﾝﾌﾟ過電流	電気室空調電源 動力2階 室外機過電流
ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ過電流	ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀ地絡	No.8配水ﾎﾟﾝﾌﾟ制御電源過電流	No.10配水ﾎﾟﾝﾌﾟ制御電源過電流	換気扇盤電源過電流

30F5

変圧器一次過電流	変圧器二次主幹過電流	無停電電源装置バイパス過電流	盤内付属回路電源過電流		ｺﾝﾃﾞﾝｻ故障
照明（屋外）地絡過電流	照明（2階）地絡過電流	照明（1階）地絡過電流	ｺﾞﾐ置場用電源過電流	予備3過電流	
配水ﾎﾟﾝﾌﾟ制御電源過電流	ろ過器制御電源過電流	制御電源過電流	予備1過電流		

凡例

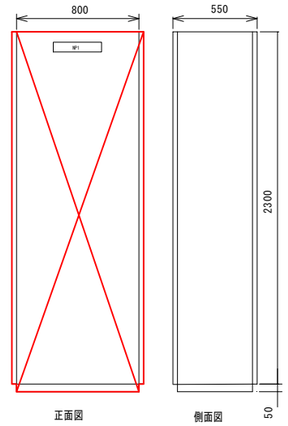
記号	名称
NP-1	受電断路器
-2	受電電流
-3	受電電力
-4	受電電圧
-5	受電力率
-6	受電電力量
-7	受電周波数
-8	受電遮断機
-9	変圧器二次電流
-10	変圧器二次電圧
-11	変圧器二次ACB
-12	自家発引込ACB
-13	コンデンサ
-14	No.1 コンデンサ
-15	No.2 コンデンサ
-16	No.3 コンデンサ
COS-1	切替スイッチ（現場―中央）
COS-2	切替スイッチ（手動―自動）
CS-1	操作スイッチ（切―入）
PB-1	押釦スイッチ（ランプテスト）
-2	押釦スイッチ（故障復帰）

注記）

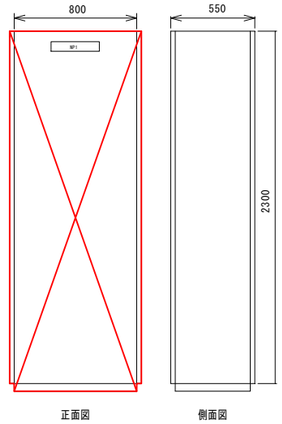
1．□ 部は既設を示す

2．☒ 部は撤去を示す

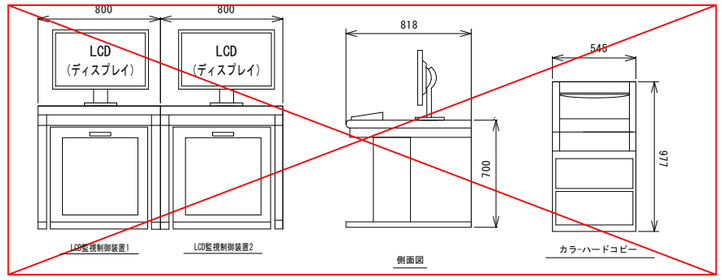
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場受変電設備 外形図（撤去（3期））		
縮尺	1/20	図面番号	1-5-23
藍住町上下水道課			

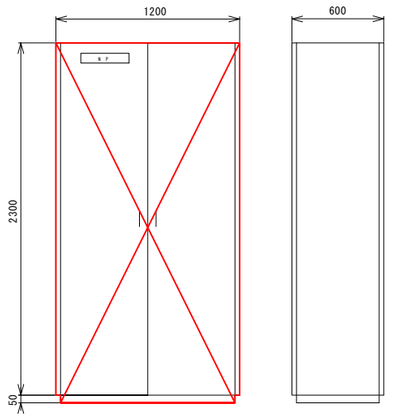


浄水制御コントローラ盤1
(SQC-1)

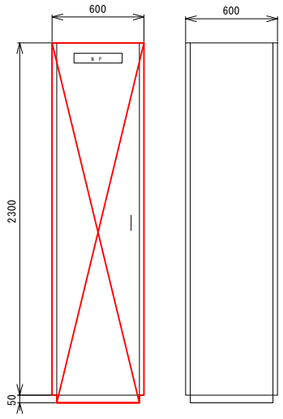


浄水制御コントローラ盤2
(SQC-1)

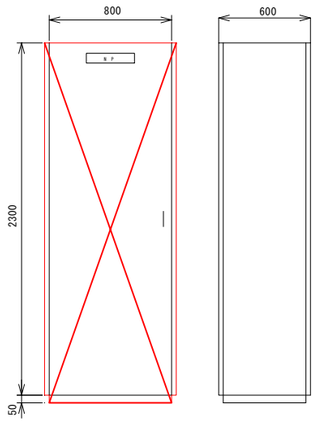




中継端子盤（1）/（2）
(TB-1/2)



テレメータ盤
(TMR)



第2浄水場テレメータ盤（親局）
(S2-TM-1)

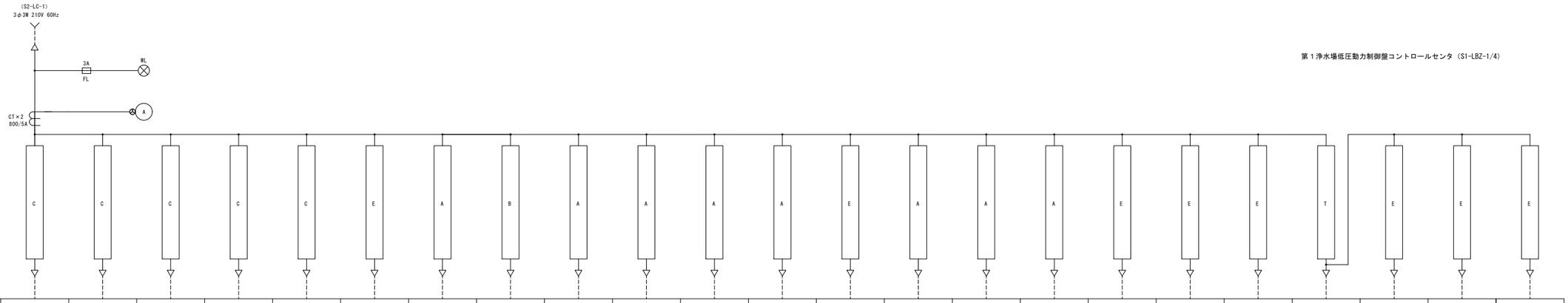
注記）

1．□ 部は既設を示す

2．☒ 部は撤去を示す

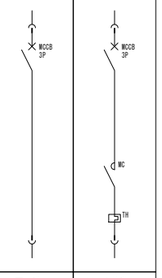
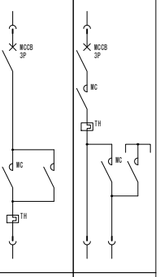
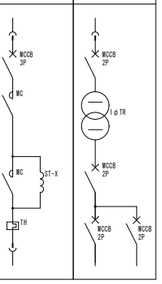
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場中央監視設備 外形図（撤去（3期））		
縮　尺	1/20	図面番号	1-5-24
藍　住　町　上　下　水　道　課			

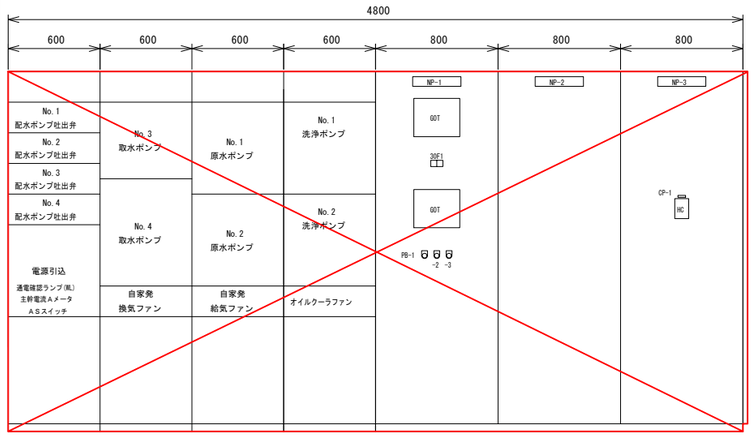
第１浄水場低圧動力制御盤コントロールセンタ（S1-LBZ-1/4）



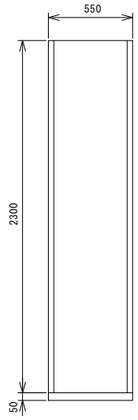
負荷名称		No.3 取水ポンプ	No.4 取水ポンプ	No.1～4 原水ポンプ	No.1/3洗浄ポンプ	No.1～4 配水ポンプ吐出弁	自動給水装置	No.1,2 上澄水返送ポンプ	No.1,2 上澄水弁	No.1,2 汚泥移送ポンプ	No.1,2 床排水ポンプ	原水サンプリング ポンプ	浄水サンプリング ポンプ	汚泥脱水機盤	自家発換気ファン	自家発給気ファン	オイルクーラファン	テーブヒータ	予備1	予備2	制御TR 一次電源	制御TR 二次電源	制御電源	急速ろ過機操作盤
負荷容量（kW）		11	22	15	18.5	0.4	1.1	5.5	1.5	1.5	1.5	0.4	0.25	18.775	2.2	3.7	0.75	0.3			3kVA			
MCCB（AF）		100	225	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	50	50	50
台数	既設	1	1	4	3	4	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	今回	-1	-1	-4	-3	-4	-1	-2	-2	-2	-2	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1
	全体	1	1	4	2	4	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
コンデンサ（μF）																								
電流計		○	○	○	○			○		○	○	○	○		○	○	○							
運転時間計				○	○			○		○	○													
保護細電器		I-t> Th	I-t> Th	I-t> Th	I-t> Th	I-t> Th	I-t>	I-t> Th	I-t> Th	I-t> Th	I-t> Th	I-t> Th	I-t> Th	I-t>	I-t> Th	I-t> Th	I-t> Th	I-t>	I-t>	I-t>				
備　考																								

凡例

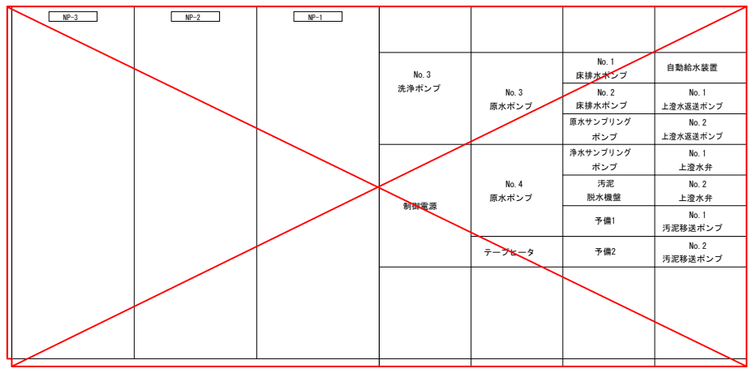
名称	電源送り	非可逆	可　逆	Y－△始動	リアクトル始動	制御電源
記号	E	A	B	C	D	T
結線図						



正面図



側面図



裏面図

凡　例

記号	名　　称
NP-1	低圧動力制御盤（5）
NP-2	低圧動力制御盤（6）
NP-3	低圧動力制御盤（7）
CP-1	配水圧力制御
PB-1	押釦スイッチ（警報停止）
PB-2	押釦スイッチ（故障復帰）
PB-3	押釦スイッチ（ランプテスト）

30F1

コントローラ故障	故障一括

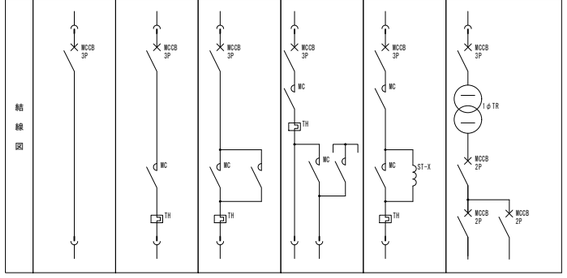
第1浄水場低圧動力制御盤コントロールセンタ
(S1-LBZ-1/4)

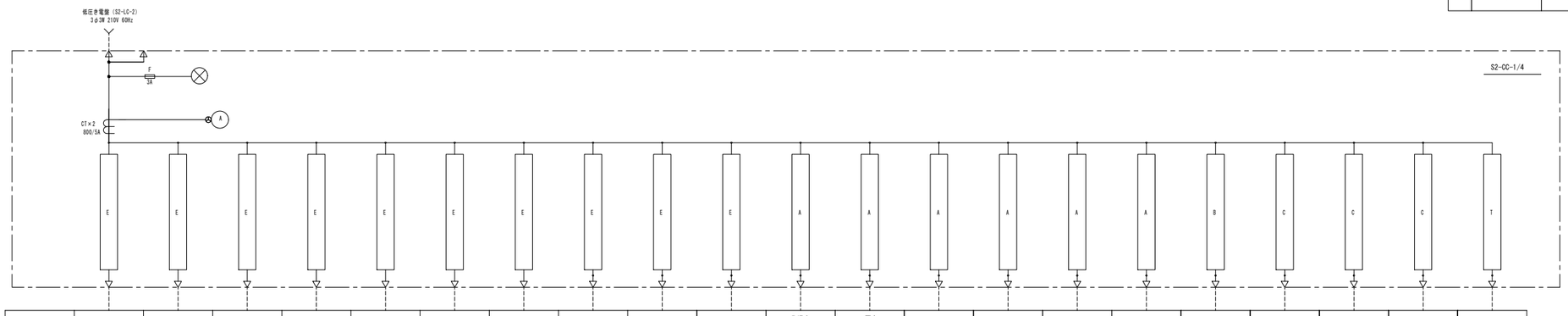
第1浄水場動力制御盤補助継電器盤
(S2-CC-1/4)

注記）
1．□ 部は既設を示す
2．☒ 部は撤去を示す

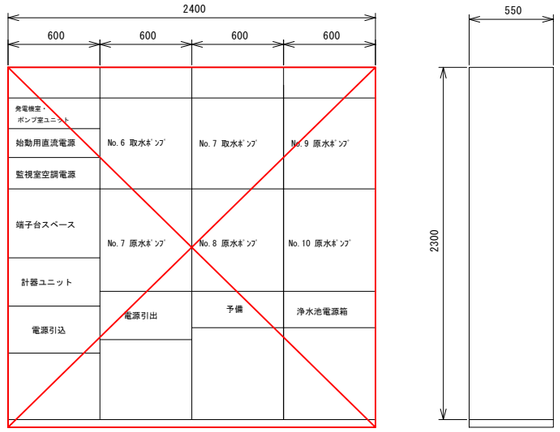
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第1浄水場低圧動力制御盤 単線結線図・外形図（撤去（3期））		
縮　尺	1/20	図面番号	1-5-25
藍　住　町　上　下　水　道　課			

凡例

名称	電源送り	非可逆	可　逆	Y－Δ始動	リアクトル始動	制御電源
記号	E	A	B	C	D	T
結線図						



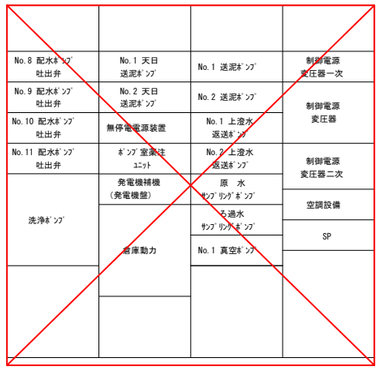
負荷名称		ポンプ室薬注ユニット	発電機室・ﾎﾟﾝﾌﾟ室ユニット	予備	空調設備	監視室空調電源	倉庫動力	始動用直流電源	発電機補機	無停電電源装置	浄水池電源箱	ろ過水サンプリングポンプ	原水サンプリングポンプ	No.1/2天日送泥ポンプ	No.1/2送泥ポンプ	No.1/2上澄水返送ポンプ	真空ポンプ	No.8/11 配水ポンプ吐出弁	No.6/7取水ポンプ	No.7/10原水ポンプ	洗浄ポンプ	制御TR一次電源
負荷容量（kW）												0.2	0.2	3.7	0.75	3.7	0.75	0.2	15	15	15	3kA
MCCB（AF）		100	100	100	100	100	225	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	225	100
台数	既設	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	4	2	4	1	1
	今回	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-2	-2	-2	-1	-4	-2	-4	-1	-1
	全体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
制御		EMC-B	EMC-B	EMC-B	EMC-B	EMC-B	EMC-B	EMC-B	EMC-B	EMC-B	EMC-B	EMC-B	EMC-B	EMC-B	EMC-B	EMC-B	EMC-B	EMC-B	EMC-B	EMC-B	EMC-B	EMC-B
備　考																						



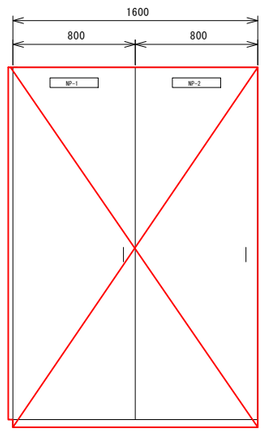
正面図

側面図

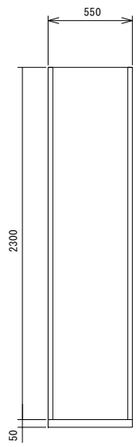
コントロールセンタ
(S2-CC-1/4)



裏面図

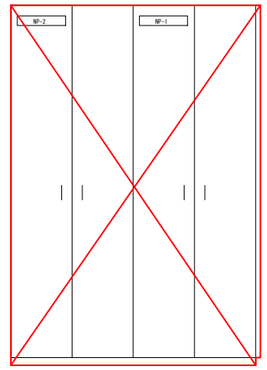


正面図



側面図

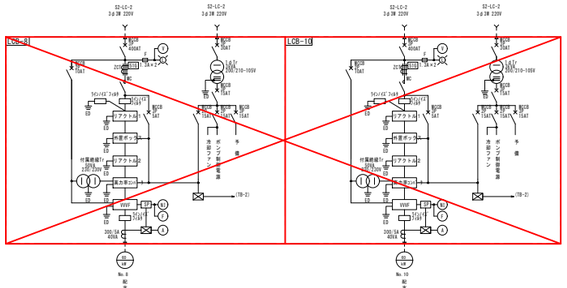
補助継電器盤(1)/(2)
(S2-CRB-1/2)



裏面図

注記）
1．□ 部は既設を示す
2．☒ 部は撤去を示す

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場コントロールセンタ 単線結線図・外形図（撤去（3期））		
縮　尺	1/20	図面番号	1-5-26
藍　住　町　上　下　水　道　課			

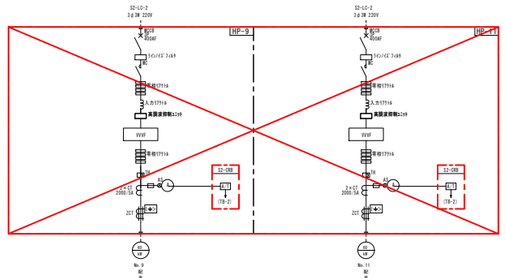


凡例

	名称
NP-1	電圧
-2	電流
-3	回転数
-4	周波数
PB-1	表示復帰
-2	ランプテスト

3OF1

過負荷	地絡	VVVF故障	PWMコンバータ故障	冷却ファン故障

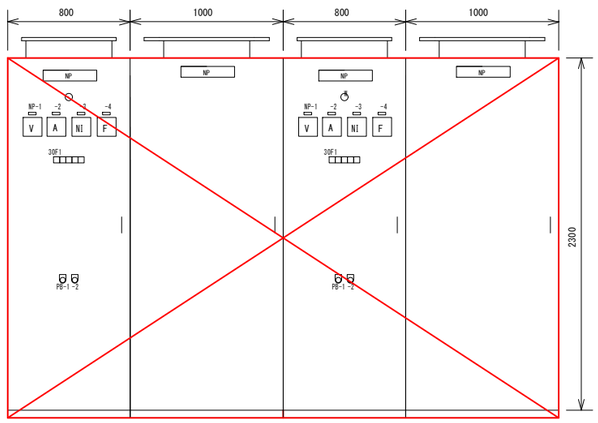


凡例

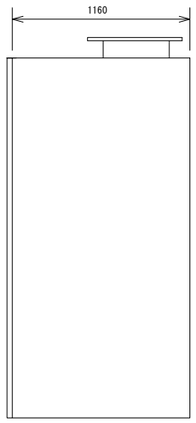
	名称
NP-1	No. 9 配水ポンプ電流
-2	No. 11 配水ポンプ電流
PB-1	表示復帰
-2	ランプテスト

3OF1

過電流	地絡	インバータ故障	高調波抑制装置故障



正面図



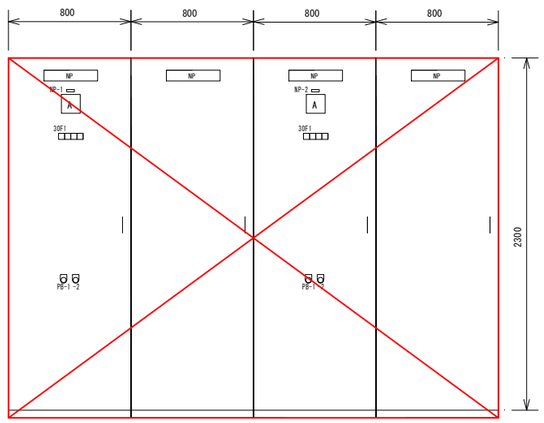
側面図

No. 8 配水ポンプ
インバータ盤
(LCB-8)

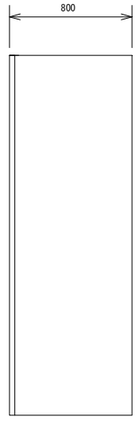
No. 8 配水ポンプ
コンバータ盤

No. 10 配水ポンプ
インバータ盤
(LCB-10)

No. 10 配水ポンプ
コンバータ盤



正面図



側面図

No. 9 配水ポンプ
インバータ制御盤
(HP-9)

No. 11 配水ポンプ
インバータ制御盤
(HP-11)

注記）

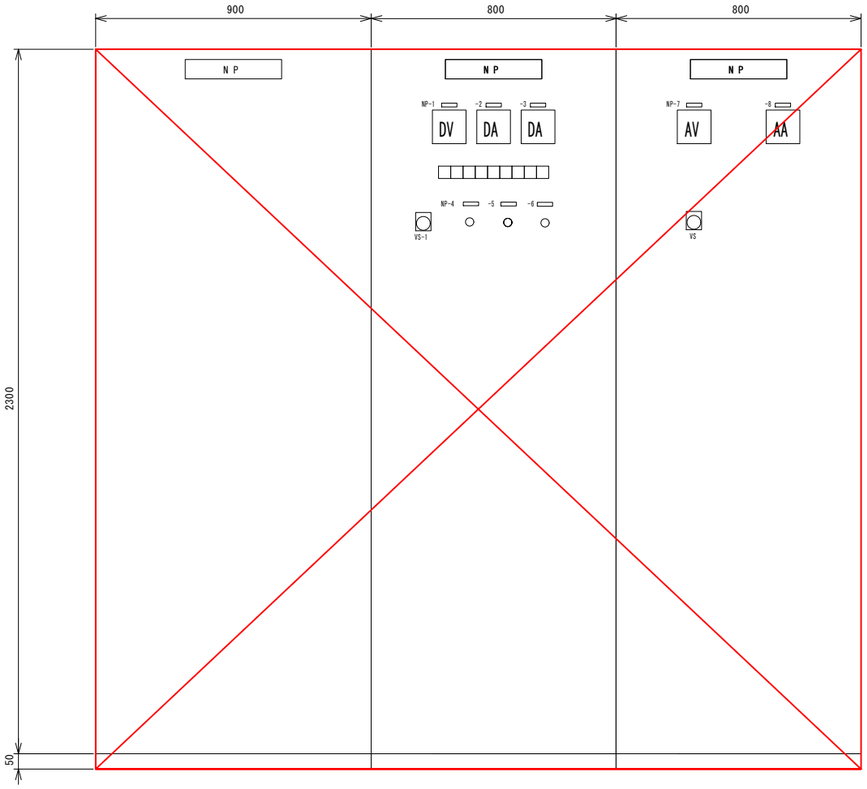
1. □ 部は既設を示す

2. ☒ 部は撤去を示す

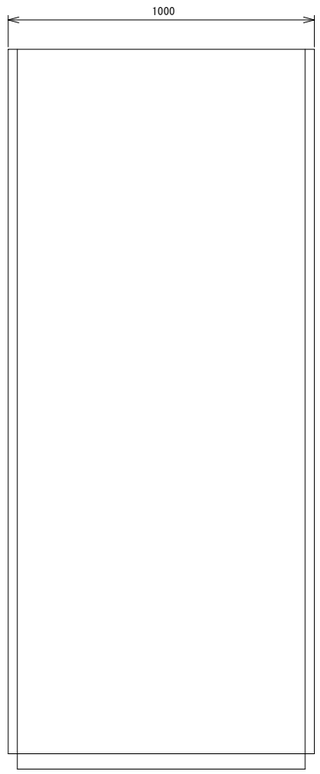
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場配水ポンプ盤 単線結線図･外形図（撤去（3期））		
縮　尺	1/20	図面番号	1-5-27
藍　住　町　上　下　水　道　課			

凡　例

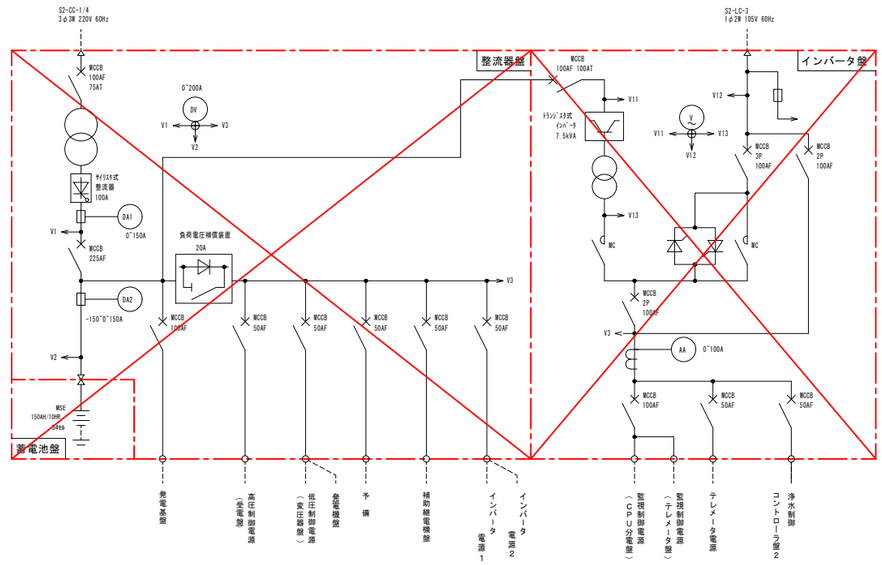
記　号	名　　称
NP-1	直流電圧
NP-2	直流電流
NP-3	蓄電池電流
NP-4	ランプテスト
NP-5	警報停止
NP-6	表示復帰
NP-7	交流電圧
NP-8	交流電流
VS-1	切替スイッチ（−蓄電池−負荷）
VS-2	切替スイッチ（−蓄電池−負荷）
備考	



正面図



側面図



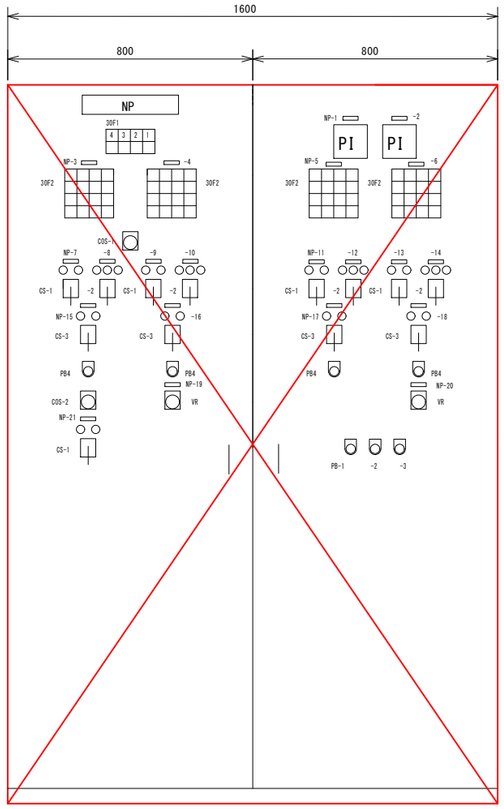
<u>蓄電池盤</u>	<u>整流器盤</u>	<u>インバータ盤</u>	
（BAT）	（DC）	（CVCF）	

注記）

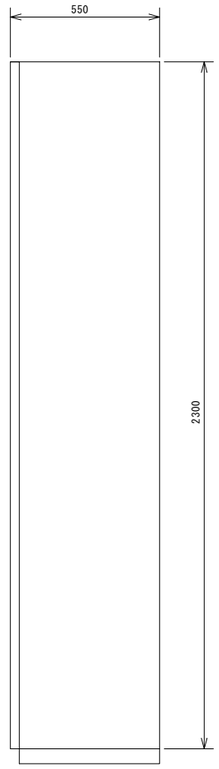
1．□ 部は既設を示す

2．☒ 部は撤去を示す

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場無停電電源装置 単線結線図・外形図（撤去（3期））		
縮　尺	1/10	図面番号	1-5-28
藍　住　町　上　下　水　道　課			



正面図



側面図

配水ポンプ現場盤

(S2-LB-1)

凡　例

記　号	名　　称				
NP-1	配水圧力	NP-12	No.9 吐出弁	COS-1	単独-連動-中央
-2	末端圧力	-13	No.8 配水ポンプ	COS-2	単独-連動
-3	No.11 配水ポンプ	-14	No.8 吐出弁		
-4	No.10 配水ポンプ	-15	No.11 吸気弁	CS-1	停止-運転
-5	No.9 配水ポンプ	-16	No.10 吸気弁	CS-2	閉-停止は引-開
-6	No.8 配水ポンプ	-17	No.9 吸気弁	CS-3	閉-開
-7	No.11 配水ポンプ	-18	No.8 吸気弁		
-8	No.11 吐出弁	-19	No.10 配水ポンプ/速度調整	PB-1	警報停止
-9	No.10 配水ポンプ	-20	No.8 配水ポンプ/速度調整	PB-2	故障復帰
-10	No.10 吐出弁	-21	No.1 真空ポンプ	PB-3	ランプテスト
-11	No.9 配水ポンプ	VR	0～100%	PB-4	非常停止

30F1

浄水池水位（内池）異常低下	補水槽水位異常低下	No.1 真空ポンプ故障	
浄水池水位（内池）異常低下			

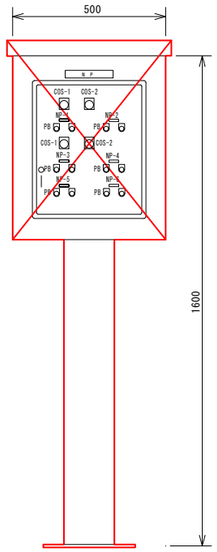
30F2

起動準備完了	起動中	排気中	満水
運転	送水	停止中	
空調	起動出港1	起動準備	電動機盤故障
吐出弁故障			非常停止

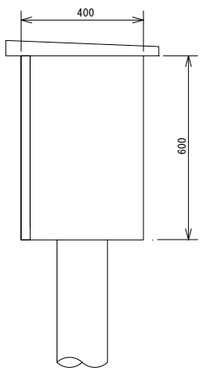
注記）

1. □ 部は既設を示す
2. ▨ 部は撤去を示す

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場配水ポンプ現場操作盤外形図（撤去（3期））		
縮　尺	1/10	図面番号	1-5-29
藍　住　町　上　下　水　道　課			



正面図

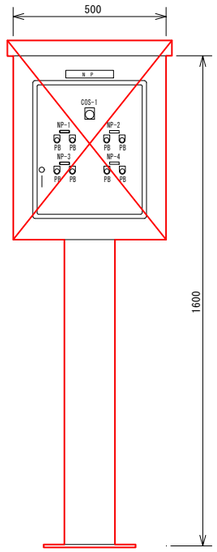


側面図

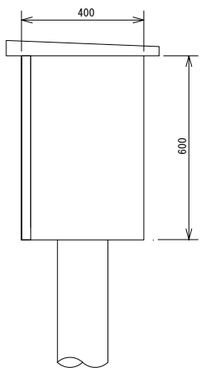
凡　例

記　号	名　　称
NP-1	No. 1 上澄水返送ポンプ
-2	No. 2 上澄水返送ポンプ
-3	No. 1 送泥ポンプ
-4	No. 2 送泥ポンプ
-5	No. 1 天日送泥ポンプ
-6	No. 2 天日送泥ポンプ
COS-1	切換スイッチ（現場－中央）
-2	切換スイッチ（手動－自動）
PB	押釦スイッチ（停止-起動）
備考	

排水地汚泥池現場盤



正面図

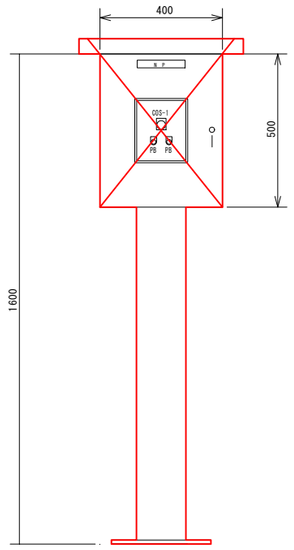


側面図

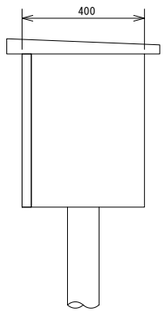
凡　例

記　号	名　　称
NP-1	No. 7 原水ポンプ
-2	No. 8 原水ポンプ
-3	No. 9 原水ポンプ
-4	No. 10 原水ポンプ
COS-1	切換スイッチ（現場－中央）
PB	押釦スイッチ（停止-起動）

原水ポンプ現場盤



正面図

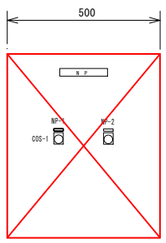


側面図

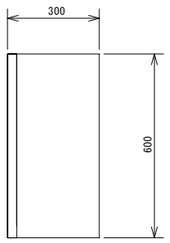
凡　例

記　号	名　　称
COS-1	切換スイッチ（現場－中央）
PB	操作スイッチ（停止-起動）

洗浄ポンプ現場盤



正面図



側面図

凡　例

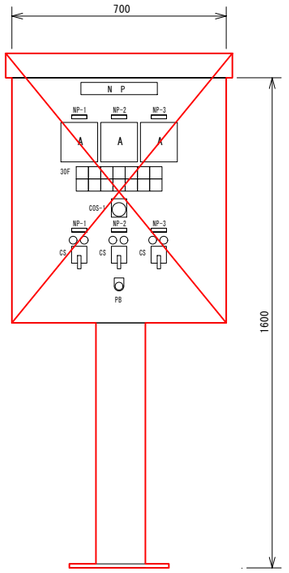
記　号	名　　称
NP-1	No. 2 原水サンプリングポンプ
-2	No. 2ろ過水サンプリングポンプ
COS-1	切換スイッチ（切－入）

水質架台分電箱

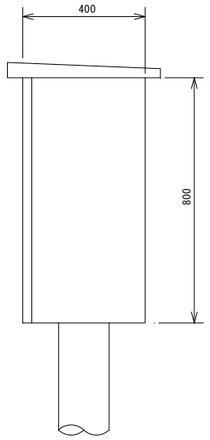
注記）

1. ▭ 部は既設を示す
2. ▭ 部は撤去を示す

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第2浄水場現場操作盤 外形図（撤去（3期））		
縮　尺	1/10	図面番号	1-5-30
藍　住　町　上　下　水　道　課			



正面図



側面図

30F

No.1 過負荷	No.1 操作可	No.2 過負荷	No.2 操作可	No.3 過負荷	No.3 操作可	No.1 排水槽 水位高
No.1 地絡		No.2 地絡		No.3 地絡		雨水池 水位低

凡　例

記　号	名　　称
NP-1	No.1
-2	No.2
-3	No.3
COS-1	ろ過器盤（現場ー中央）
CS	停止-運転
PB	ランプテスト

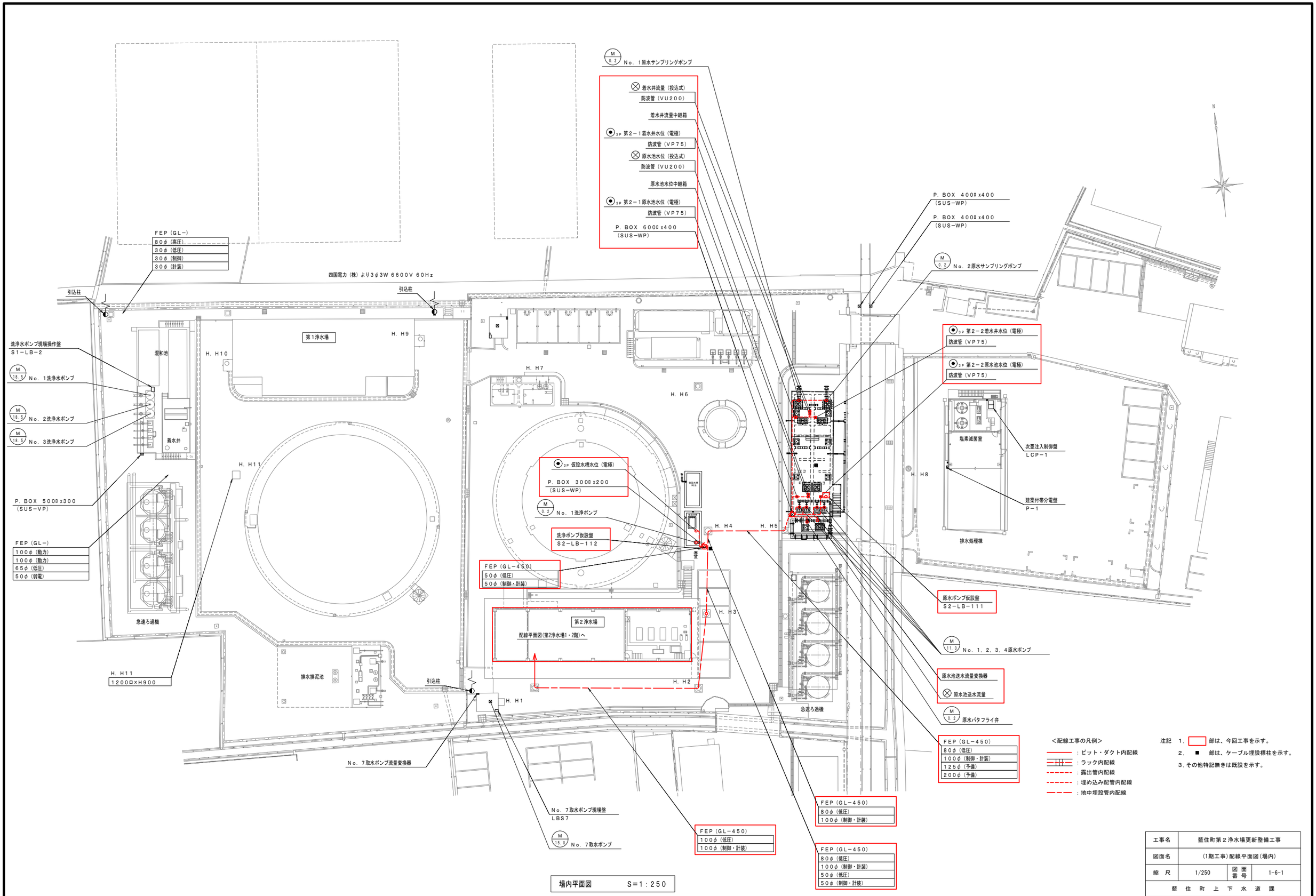
洗浄ポンプ

（S1-LB-2）

注記）

1. □ 部は既設を示す
2. ☒ 部は撤去を示す

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第1浄水場現場操作盤 外形図（撤去（3期））		
縮　尺	1/10	図面番号	1-5-31
藍　住　町　上　下　水　道　課			



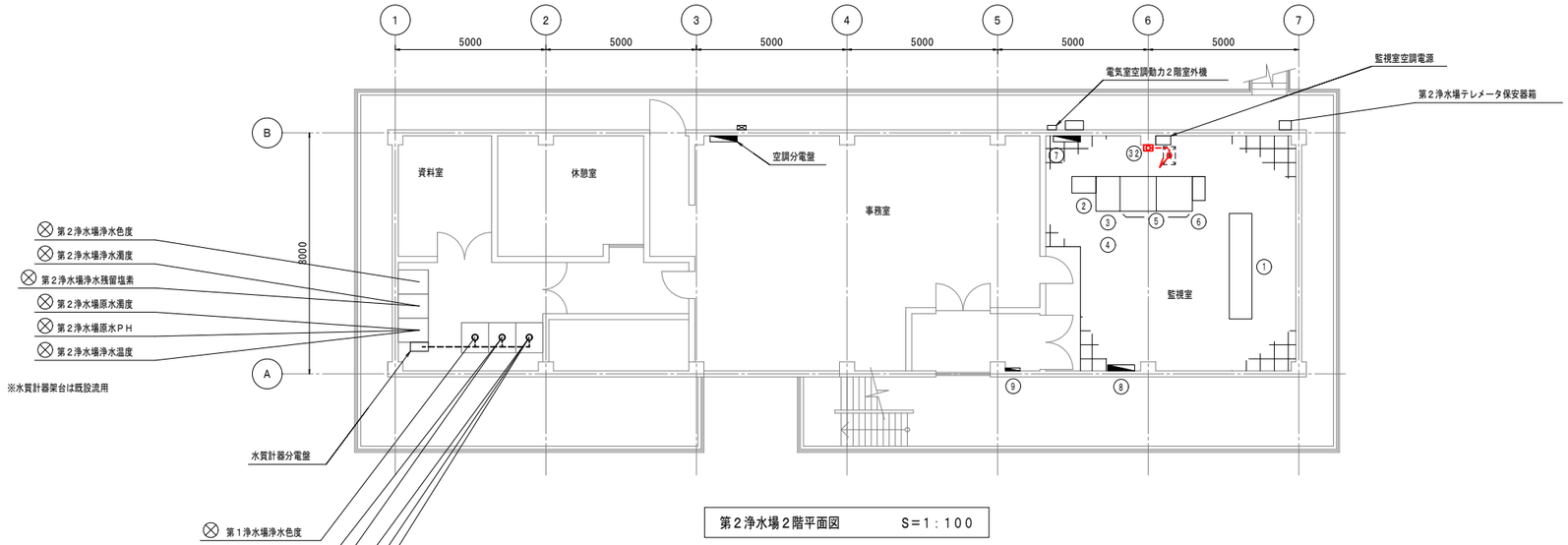
場内平面図　　S＝1：250

＜配線工事の凡例＞

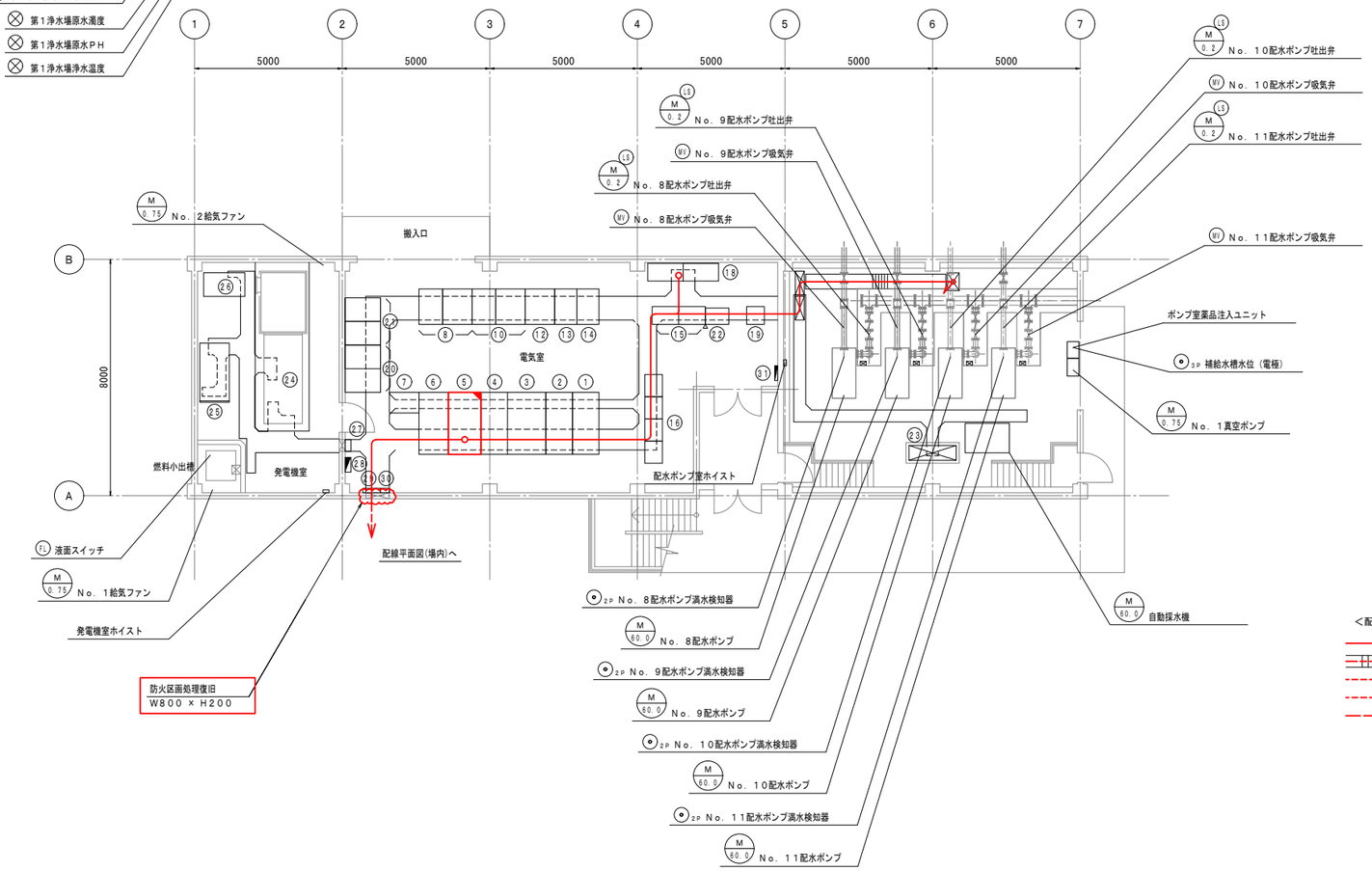
- ：ピット・ダクト内配線
- ：ラック内配線
- ：露出管内配線
- ：埋め込み配管内配線
- ：地中埋設管内配線

注記　1．□部は、今回工事を示す。
2．■　部は、ケーブル埋設標柱を示す。
3．その他特記無きは既設を示す。

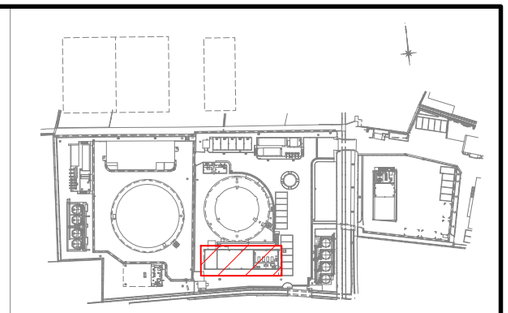
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（1期工事）配線平面図（場内）		
縮　尺	1/250	図面番号	1-6-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			



第２浄水場２階平面図　　S＝1：100



第２浄水場１階平面図　　S＝1：100



第２浄水場２階監視室

番号	盤記号	盤　名　称	備　考
①		事務電算機	既　設
②	SQC-1	浄水制御コントローラ盤	〃
③	ITV1	ＩＴＶ監視装置	〃
④		ＩＴＶモニタ	〃
⑤	LCD-1/2	ＬＣＤ監視装置（１）／（２）	〃
⑥	PRT	プリンタ	〃
⑦		事務電算機用分電盤	〃
⑧		監視盤用分電盤	〃
⑨		２Ｆ照明分電盤	〃

第２浄水場１階発電機室・電気室・配水ポンプ室

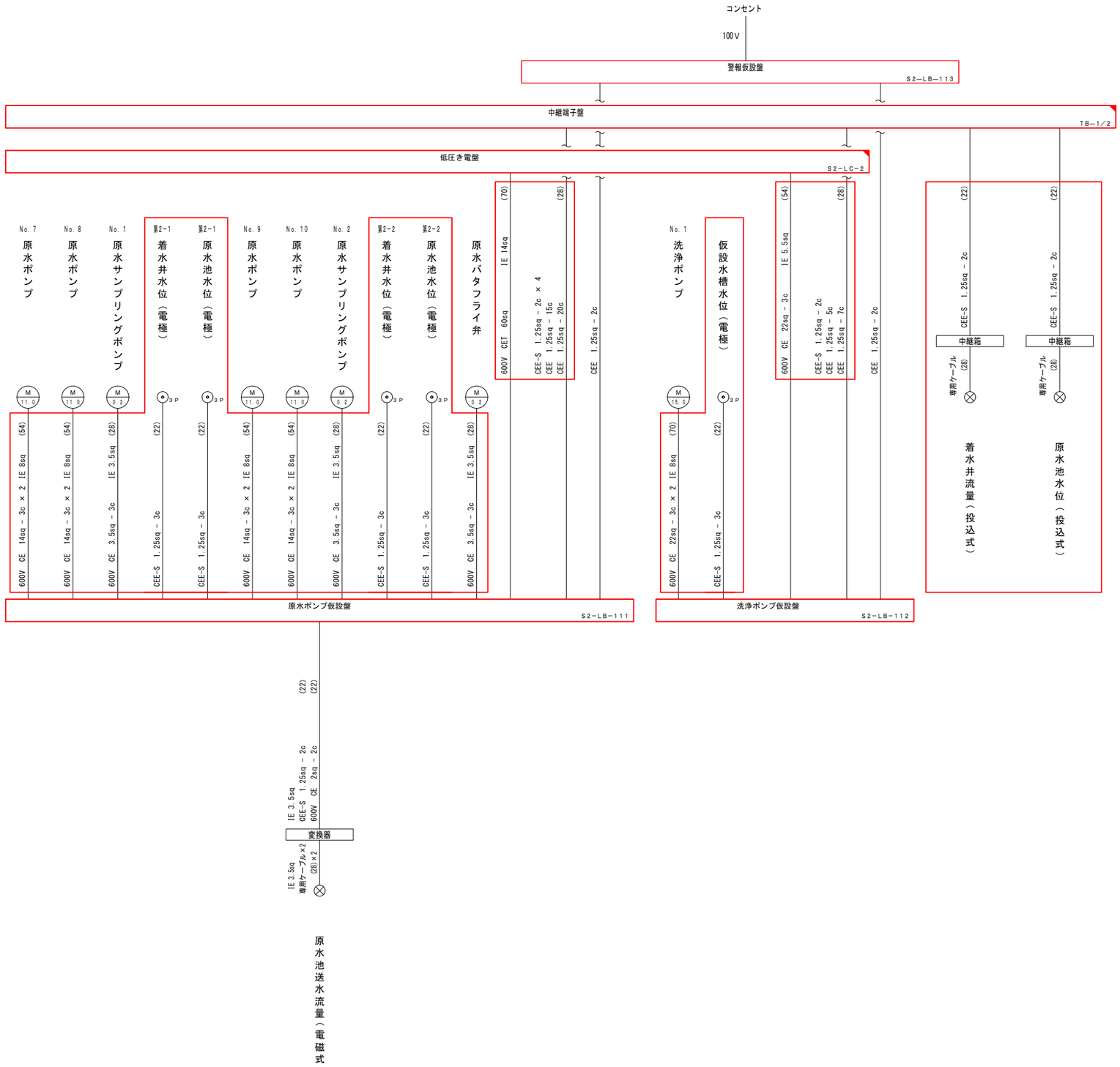
番号	盤記号	盤　名　称	備　考
①	S2-HC-1	引込盤	既　設
②	S2-HC-2	受電盤	〃
③	S2-HC-3	変圧器盤	〃
④	S2-LC-1	変圧器二次盤／自家発引込盤	〃
⑤	S2-LC-2	低圧き電盤	機能増設
⑥	S2-LC-3	照明電源盤	既　設
⑦	SQC-2	浄水制御コントローラ盤２	〃
⑧	LCB-10	Ｎｏ．１０配水ポンプインバータ／コンバータ盤	〃
⑨			〃
⑩	LCB-8	Ｎｏ．８配水ポンプインバータ／コンバータ盤	〃
⑪			〃
⑫	BB-1	蓄電池盤	〃
⑬	UPS-1	整流器盤	〃
⑭	UPS-2	インバータ盤	〃
⑮	S2-CRB-1/2	補助継電器盤（１）～（２）	〃
⑯	S2-CC-1/4	コントロールセンタ（１）～（４）	〃
⑰			
⑱	TB-1/2	中継端子盤（１）～（２）	〃
⑲	TMR	テレメータ盤	〃
⑳	HP-9	Ｎｏ．９配水ポンプインバータ制御盤	〃
㉑	HP-11	Ｎｏ．１１配水ポンプインバータ制御盤	〃
㉒	S2-TM-1	第２浄水場テレメータ盤（親局）	〃
㉓	S2-LB-1	配水ポンプ現場盤	〃
㉔	SG	発電機	〃
㉕	G2	発電機盤	〃
㉖	DC	蓄電池盤	〃
㉗		換気扇制御盤	〃
㉘		屋外電灯分電盤	〃
㉙		接地端子箱	〃
㉚		ＩＮＶ接地箱	〃
㉛		１Ｆ照明分電盤	〃
㉜	S2-LB-113	警報仮設盤	今　回

＜配線工事の凡例＞

- ：ピット・ダクト内配線
- ：ラック内配線
- ：露出管内配線
- ：埋め込み配管内配線
- ：地中埋設管内配線

注記　１．　部は、今回工事を示す。
　　２．　部は、機能増設を示す。
　　３．その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	配線平面図（第2浄水場1・2階）		
縮　尺	1/100	図面番号	1-6-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			



注記　1，□ 部は、今回工事を示す。

2，▱ 部は、機能増設を示す。

3，特記なき電線管は厚鋼電線管を示す。

4，その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（1期工事）配線系統図		
縮　尺	NON	図面番号	1-6-3
藍　住　町　上　下　水　道　課			

N

M 0.2 No．1原水サンプリングポンプ

着水井流量（投込式）
防波管（VU200）
着水井流量中継箱
3P 第2－1着水井水位（電極）
防波管（VP75）
原水池水位（投込式）
防波管（VU200）
原水池水位中継箱
3P 第2－1原水池水位（電極）
防波管（VP75）
P．BOX 600□x400
（SUS－WP）

P．BOX 400□x400
（SUS－WP）
P．BOX 400□x400
（SUS－WP）

M 0.2 No．2原水サンプリングポンプ

3P 第2－2着水井水位（電極）
防波管（VP75）
3P 第2－2原水池水位（電極）
防波管（VP75）

FEP（GL－）
80φ（高圧）
30φ（低圧）
30φ（制御）
30φ（計装）

四国電力（株）より3φ3W 6600V 60Hz

引込柱
引込柱

洗浄水ポンプ現場操作盤
S1－LB－2

M 18.5 No．1洗浄水ポンプ
M 18.5 No．2洗浄水ポンプ
M 18.5 No．3洗浄水ポンプ

第1浄水場
混和池
着水井
H．H10
H．H9
H．H7
H．H6
H．H11
H．H8
H．H4
H．H5
H．H3
H．H2
H．H1

塩素滅菌室
次亜注入制御盤
LCP－1
建築付帯分電盤
P－1
排水処理棟

3P 仮設水槽水位（電極）
P．BOX 300□x200
（SUS－WP）
M 0.2 No．1洗浄ポンプ
洗浄ポンプ仮設盤
S2－LB－112

FEP（GL－450）
100φ（低圧・制御・計装）

P．BOX 500□x300
（SUS－VP）

FEP（GL－）
100φ（動力）
100φ（動力）
65φ（低圧）
50φ（弱電）

急速ろ過機

原水ポンプ仮設盤
S2－LB－111

M 11.0 No．1，2，3，4原水ポンプ

原水池送水流量変換器
原水池送水流量
M 0.2 原水バタフライ弁

急速ろ過機

第2浄水場
配線平面図（第2浄水場1・2階）（撤去）へ

H．H11
1200□×H900

排水排泥池

引込柱

No．7取水ポンプ流量変換器

No．7取水ポンプ現場盤
LBS7
M 15.0 No．7取水ポンプ

FEP（GL－450）
100φ（低圧）
100φ（制御・計装）
100φ（予備）
100φ（予備）

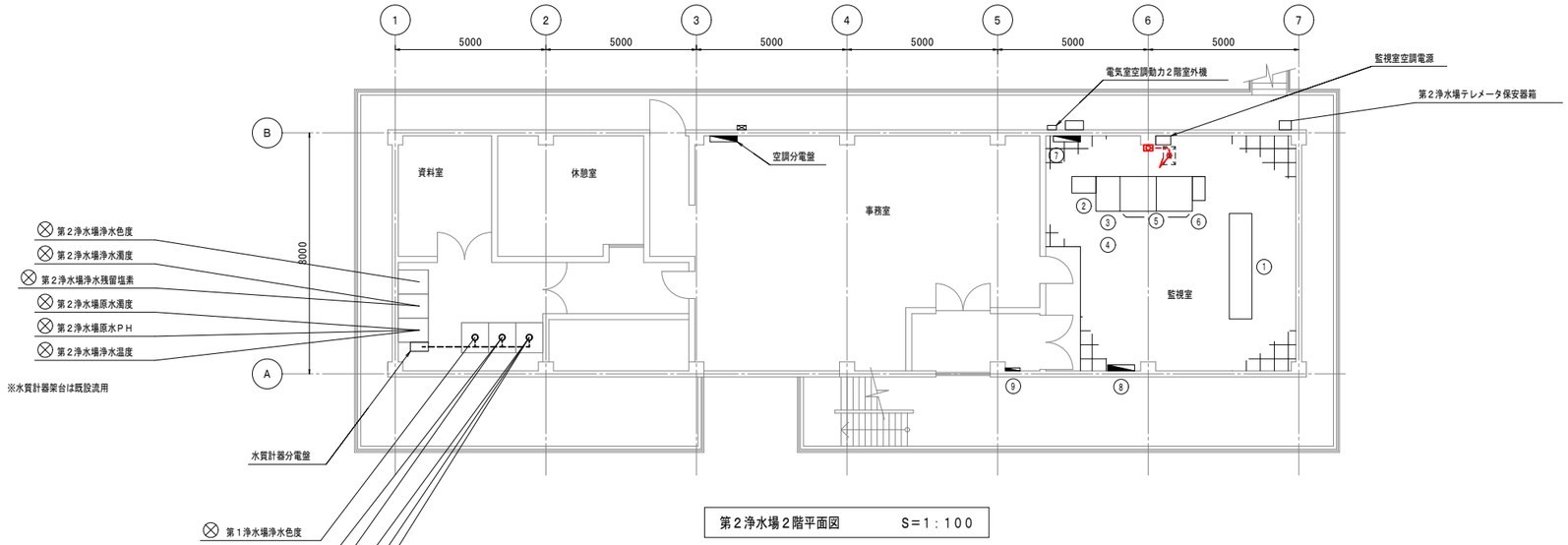
FEP（GL－450）
100φ（低圧）
100φ（制御・計装）

＜配線工事の凡例＞
：ピット・ダクト内配線
：ラック内配線
：露出管内配線
：埋め込み配管内配線
：地中埋設管内配線

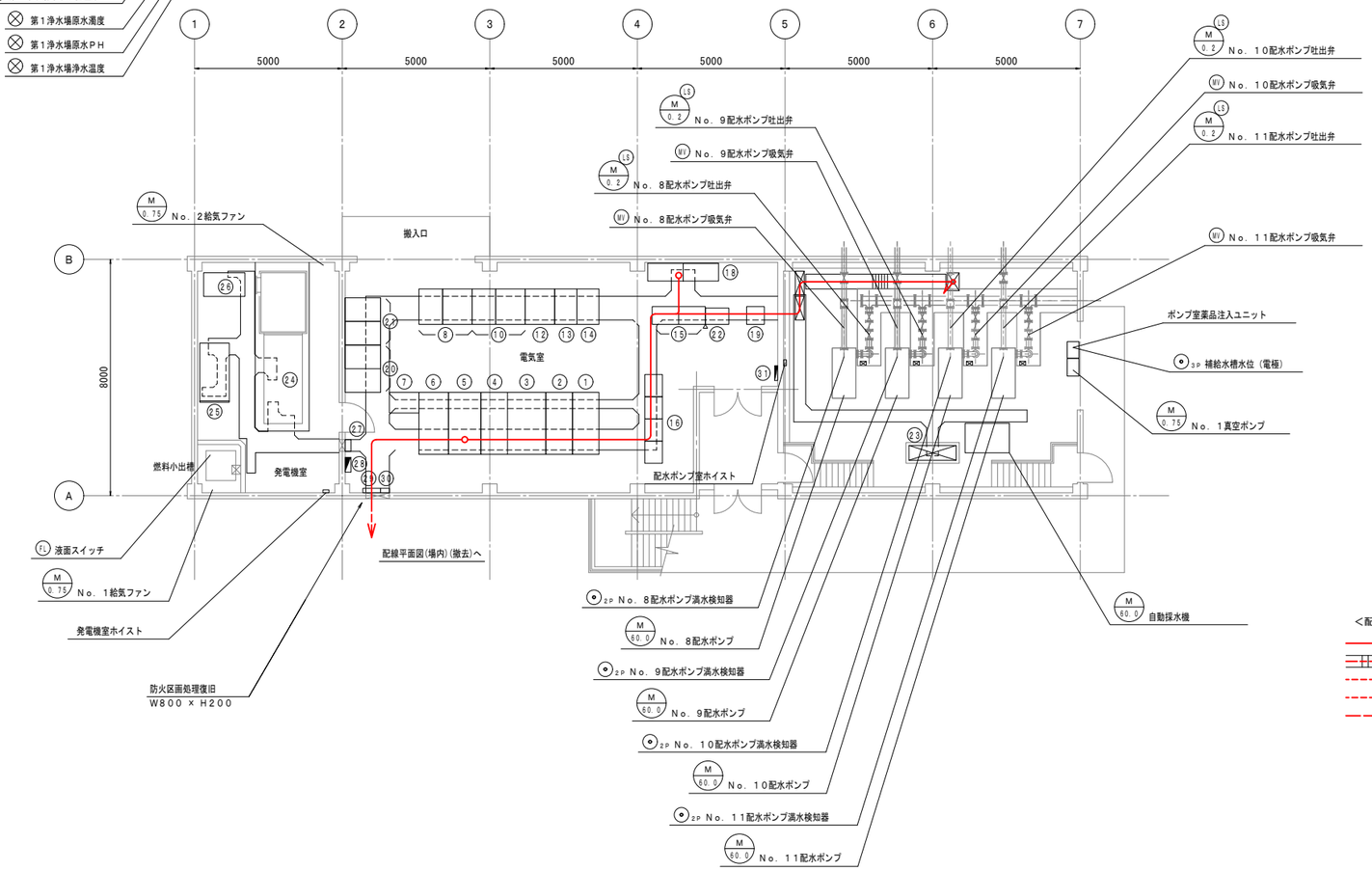
注記　1．☒部は、撤去工事を示す。
2．その他特記無きは既設を示す。

場内平面図　　S＝1：250

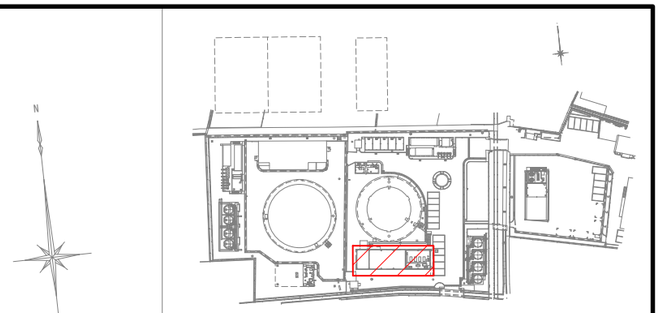
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（1期工事）配線平面図（場内）（撤去）		
縮　尺	1/250	図面番号	1-6-4
藍　住　町　上　下　水　道　課			



第２浄水場２階平面図　　S＝1：100



第２浄水場１階平面図　　S＝1：100



第２浄水場２階監視室

番号	盤記号	盤　名　称	備　考
①		事務電算機	既　設
②	SQC-1	浄水制御コントローラ盤	〃
③	ITV1	ＩＴＶ監視装置	〃
④		ＩＴＶモニタ	〃
⑤	LCD-1/2	ＬＣＤ監視装置（１）／（２）	〃
⑥	PRT	プリンタ	〃
⑦		事務電算機用分電盤	〃
⑧		監視盤用分電盤	〃
⑨		２Ｆ照明分電盤	〃

第２浄水場１階発電機室・電気室・配水ポンプ室

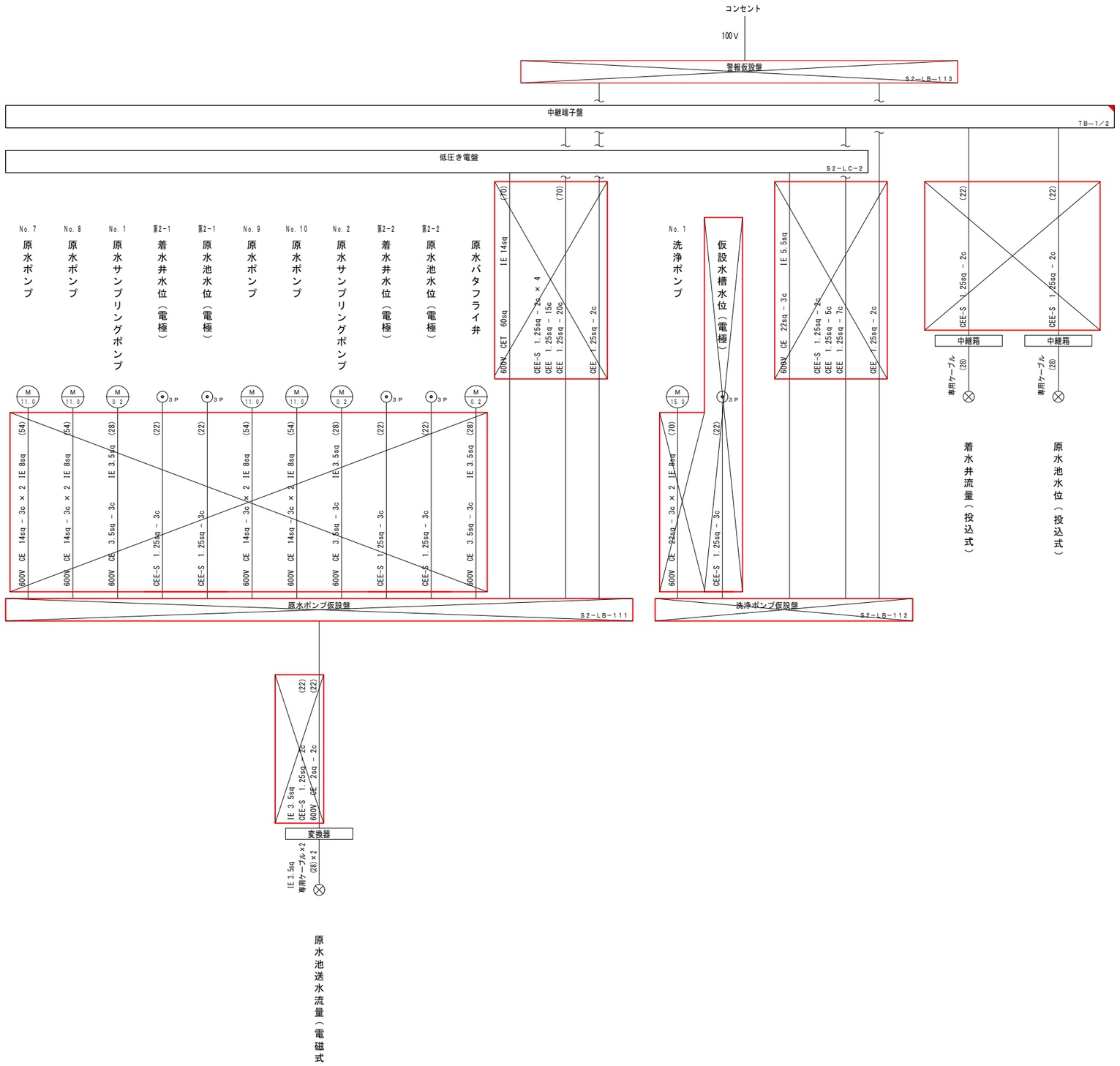
番号	盤記号	盤　名　称	備　考
①	S2-HC-1	引込盤	既　設
②	S2-HC-2	受電盤	〃
③	S2-HC-3	変圧器盤	〃
④	S2-LC-1	変圧器二次盤／自家発引込盤	〃
⑤	S2-LC-2	低圧き電盤	〃
⑥	S2-LC-3	照明電源盤	〃
⑦	SQC-2	浄水制御コントローラ盤２	〃
⑧	LCB-10	Ｎｏ．１０配水ポンプインバータ／コンバータ盤	〃
⑨			〃
⑩	LCB-8	Ｎｏ．８配水ポンプインバータ／コンバータ盤	〃
⑪			〃
⑫	BB-1	蓄電池盤	〃
⑬	UPS-1	整流器盤	〃
⑭	UPS-2	インバータ盤	〃
⑮	S2-CRB-1/2	補助継電器盤（１）～（２）	〃
⑯	S2-CC-1/4	コントロールセンタ（１）～（４）	〃
⑰			
⑱	TB-1/2	中継端子盤（１）～（２）	既　設
⑲	TMR	テレメータ盤	〃
⑳	HP-9	Ｎｏ．９配水ポンプインバータ制御盤	〃
㉑	HP-11	Ｎｏ．１１配水ポンプインバータ制御盤	〃
㉒	S2-TM-1	第２浄水場テレメータ盤（親局）	〃
㉓	S2-LB-1	配水ポンプ現場盤	〃
㉔	SG	発電機	〃
㉕	G2	発電機盤	〃
㉖	DC	蓄電池盤	〃
㉗		換気扇制御盤	〃
㉘		屋外電灯分電盤	〃
㉙		接地端子箱	〃
㉚		ＩＮＶ接地箱	〃
㉛		１Ｆ照明分電盤	〃
㉜	S2-LB-113	警報板設盤	撤　去

＜配線工事の凡例＞

- ：ピット・ダクト内配線
- ：ラック内配線
- ：露出管内配線
- ：埋め込み配管内配線
- ：地中埋設管内配線

注記　１．⊠部は、撤去工事を示す。
　　２．その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(1期工事)配線平面図(第2浄水場1・2階)(撤去)		
縮　尺	1/100	図面番号	1-6-5
藍　住　町　上　下　水　道　課			

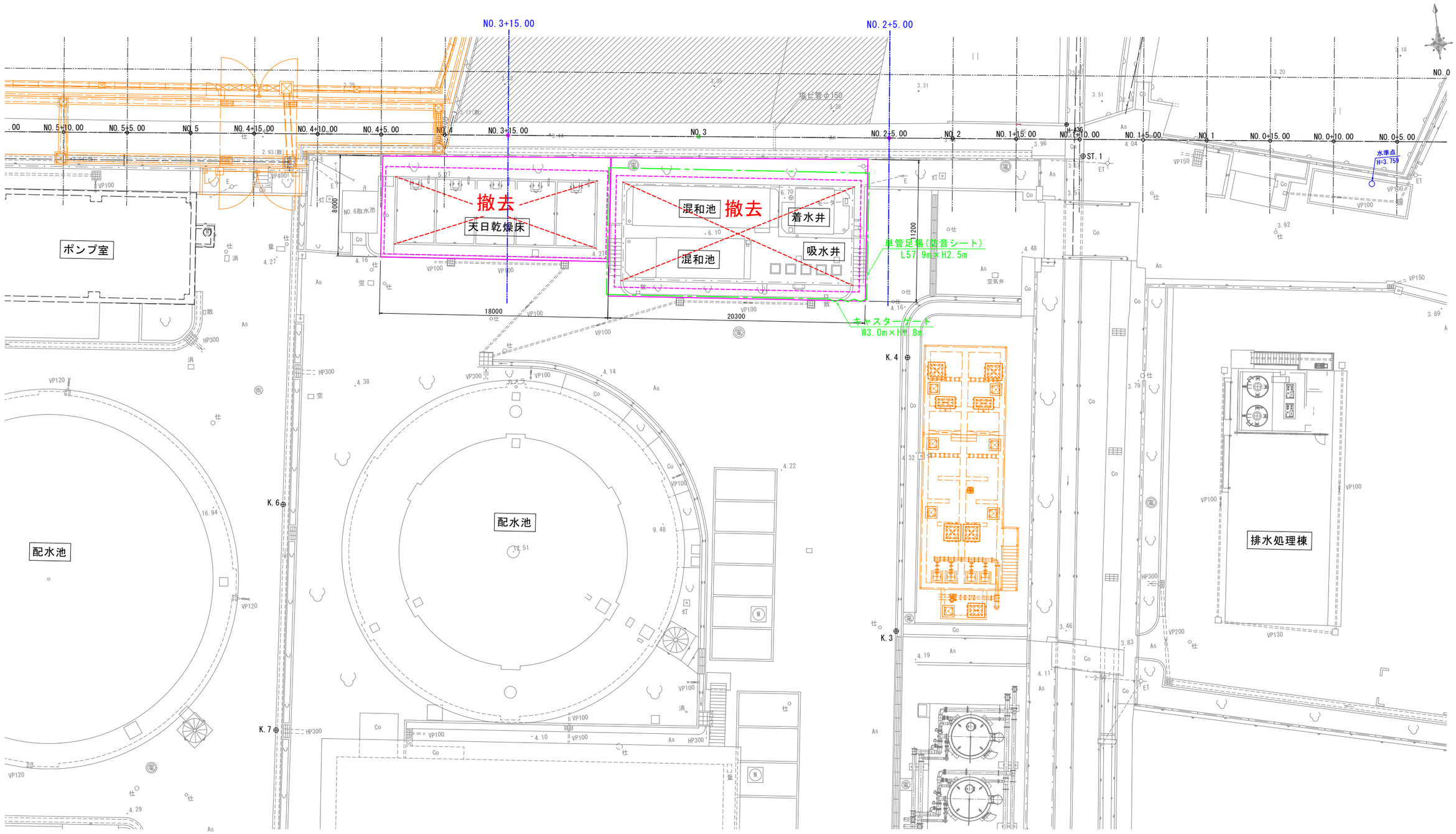


注記　1．▨部は、撤去工事を示す。
2．特記なき電線管は厚鋼電線管を示す。
3．その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（1期工事）配線系統図（撤去）		
縮　尺	NON	図面番号	1−6−6
藍　住　町　上　下　水　道　課			

旧第2着水井撤去平面図

縮尺：1/150



：撤去施設
：掘削範囲
：仮設工
：計画施設

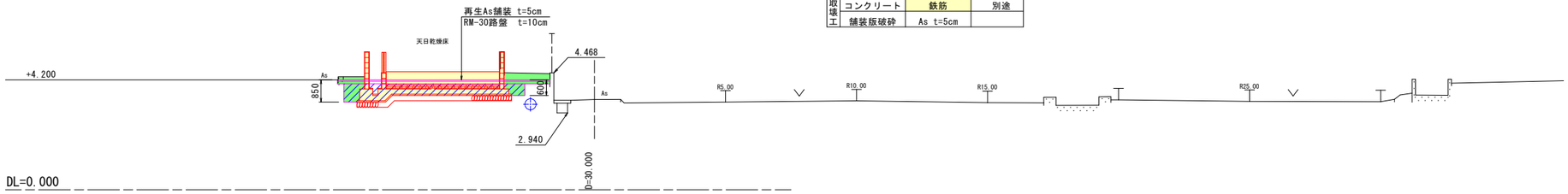
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	旧第2着水井撤去平面図		
縮　尺	1/150	図面番号	2-1-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

旧第2着水井撤去横断面図

縮尺；1/100

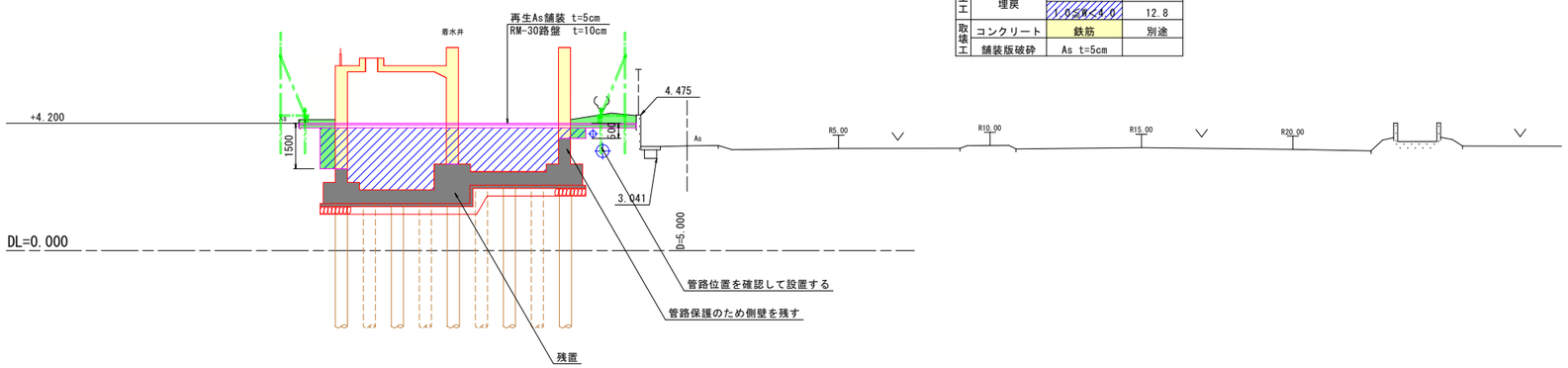
NO.3+15.00
GH=3.451
FH=4.300

	名称	規格	数量
土工	路体盛土	W<2.5	
		2.5≦W<4.0	
		4.0≦W	
	表土剥ぎ取り		
作業土工	床掘	土砂	1.7
	埋戻	W<1.0	
		1.0≦W<3.0	3.5
取壊工	コンクリート	鉄筋	別途
	舗装版破砕	As t=5cm	



NO.2+5.00（投影）
GH=3.454
FH=3.800

	名称	規格	数量
土工	路体盛土	W<2.5	
		2.5≦W<4.0	
		4.0≦W	
	表土剥ぎ取り		
作業土工	床掘	土砂	2.0
	埋戻	W<1.0	
		1.0≦W<3.0	12.8
取壊工	コンクリート	鉄筋	別途
	舗装版破砕	As t=5cm	

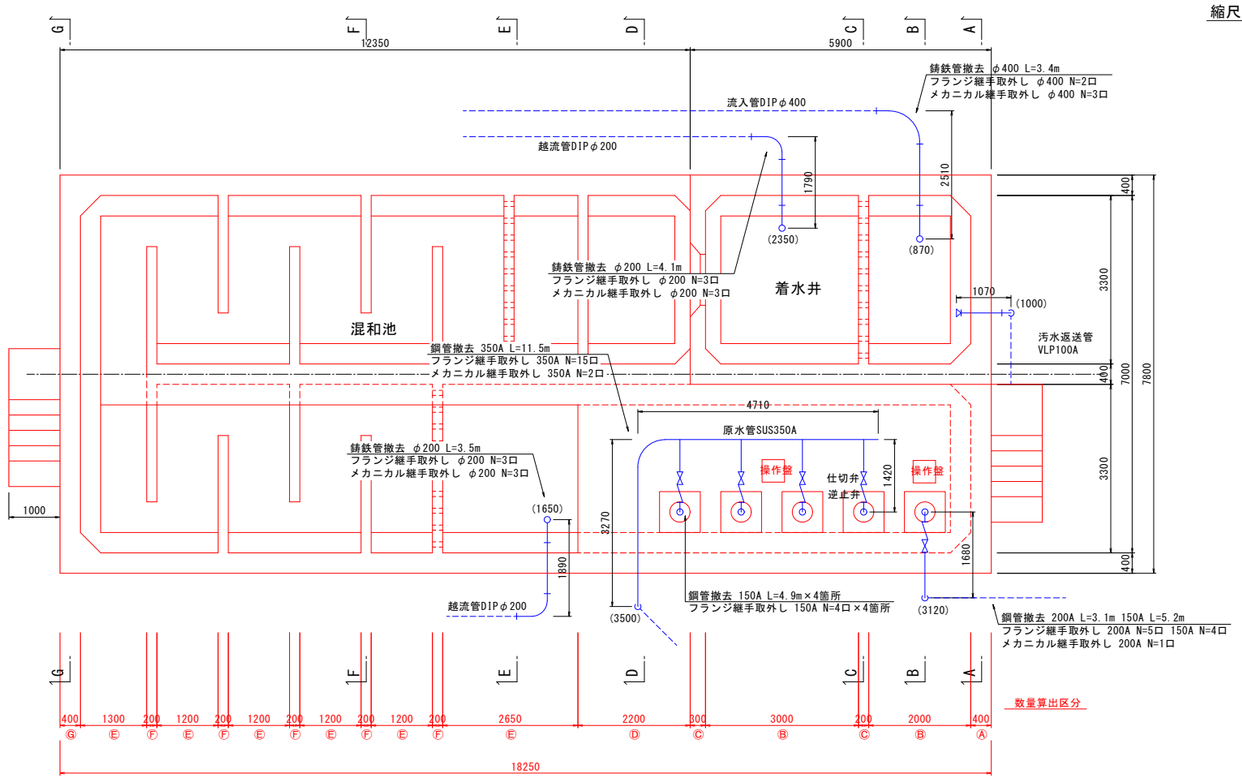


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	旧第2着水井撤去横断面図		
縮　尺	1/100	図面番号	2-1-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

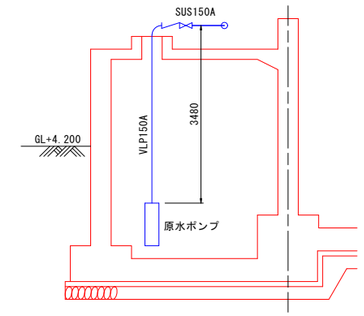
旧第2着水井撤去構造図

縮尺：1/60

平面図



原水ポンプ配管図

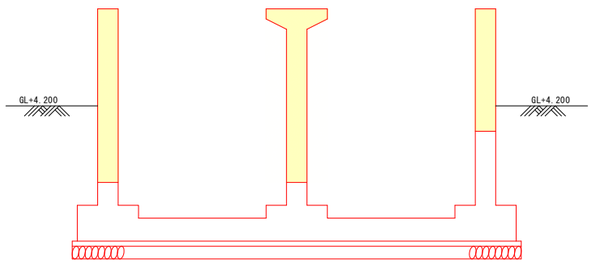


着水井周り撤去数量

名称	摘要	数量
（設備類）		
原水ポンプ	150kg	5台
ポンプ制御盤	300kg	2面
仕切弁	φ150　60kg	5基
逆止弁	φ150　70kg	5基
（配管類）		
鋳鉄管撤去工	φ400	3.4m
鋳鉄管撤去工	φ200	7.6m
鋼管撤去工	350A	11.5m
鋼管撤去工	200A	3.1m
鋼管撤去工	150A	24.8m
フランジ継手取外し工	φ400	2口
フランジ継手取外し工	φ350	15口
フランジ継手取外し工	φ200	11口
フランジ継手取外し工	φ150	20口
メカニカル継手取外し工	φ400	3口
メカニカル継手取外し工	φ350	2口
メカニカル継手取外し工	φ200	7口

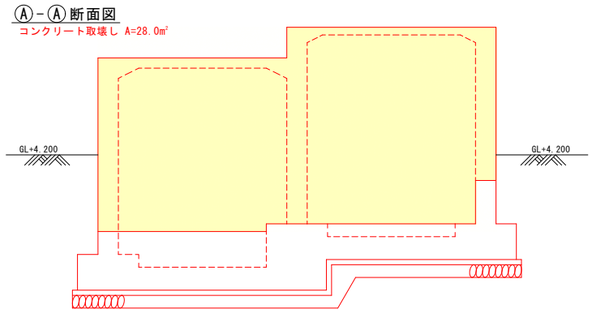
Ⓔ-Ⓔ断面図

コンクリート取壊し A=3.9㎡



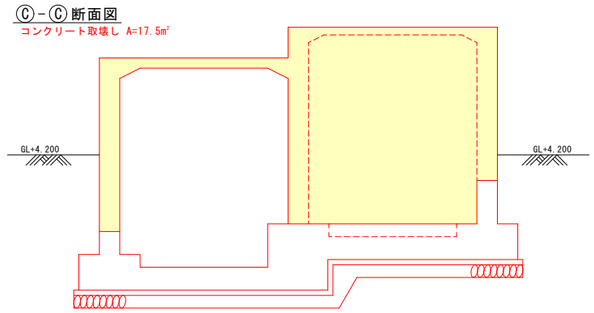
Ⓐ-Ⓐ断面図

コンクリート取壊し A=28.0㎡



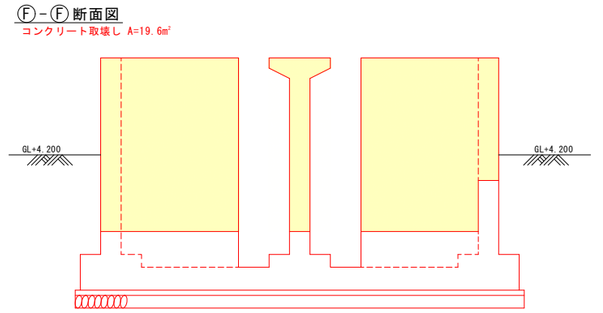
Ⓒ-Ⓒ断面図

コンクリート取壊し A=17.5㎡



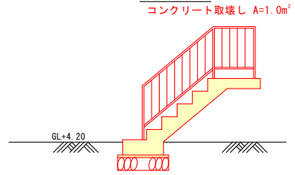
Ⓕ-Ⓕ断面図

コンクリート取壊し A=19.6㎡



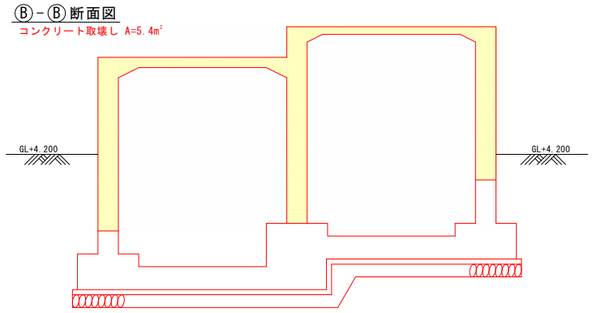
階段詳細図

コンクリート取壊し A=1.0㎡



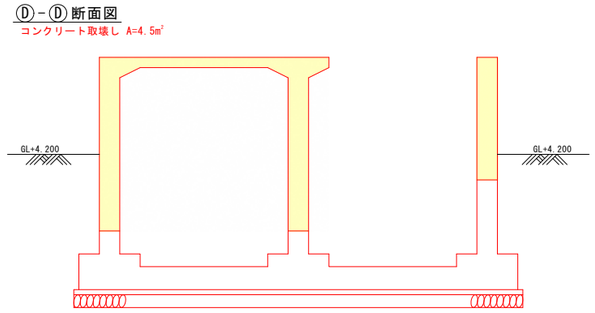
Ⓑ-Ⓑ断面図

コンクリート取壊し A=5.4㎡



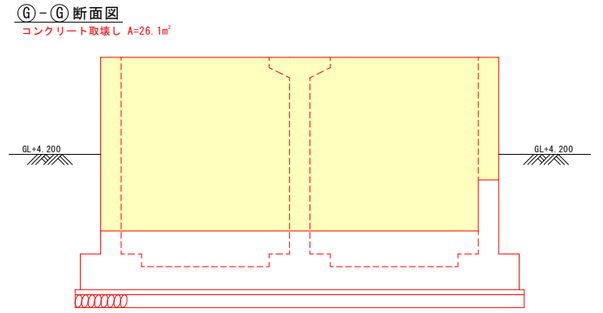
Ⓓ-Ⓓ断面図

コンクリート取壊し A=4.5㎡



Ⓖ-Ⓖ断面図

コンクリート取壊し A=26.1㎡

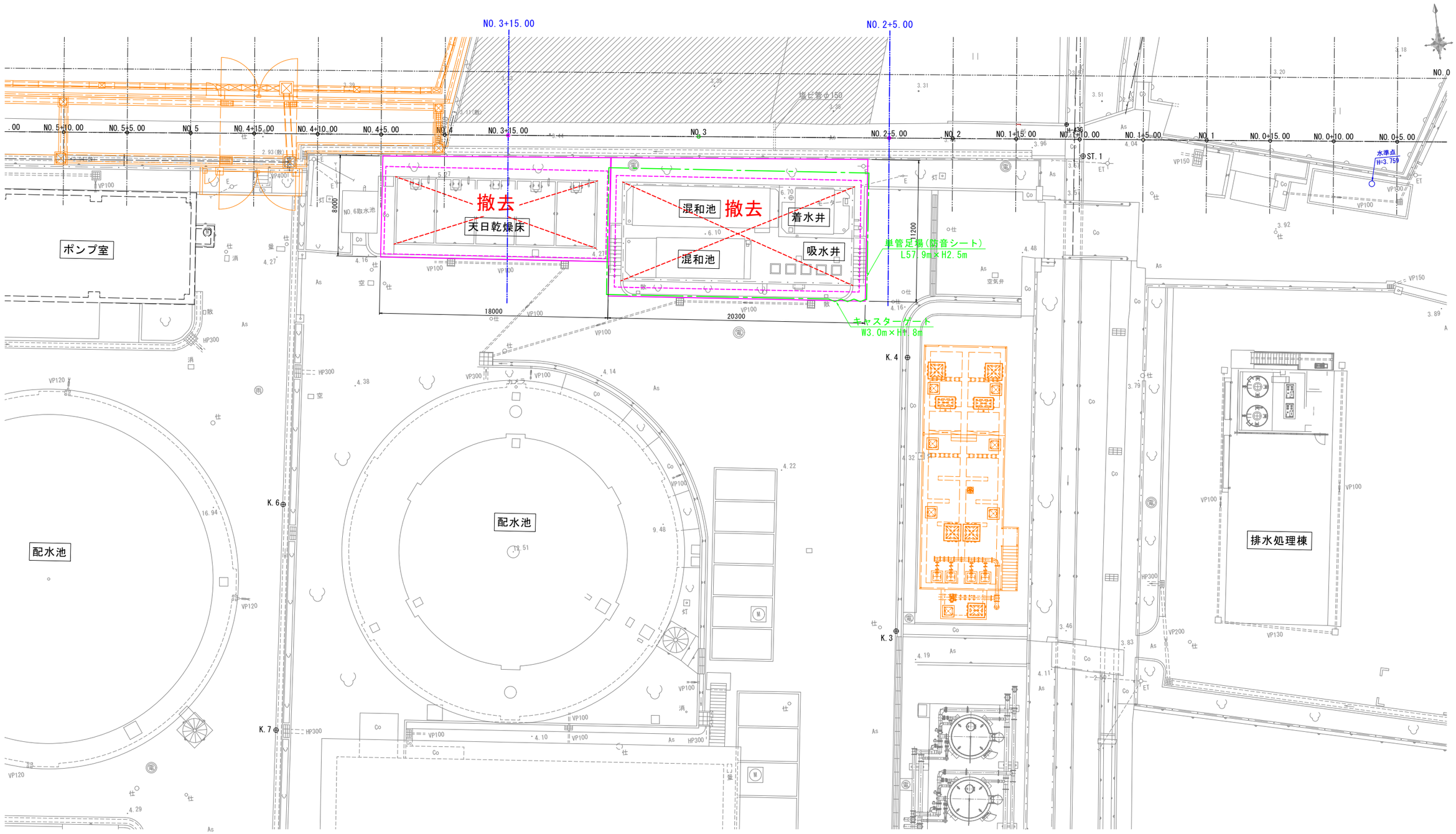


：撤去施設
：撤去管路

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	旧第2着水井撤去構造図		
縮　尺	1/60	図面番号	2-1-3
藍　住　町　上　下　水　道　課			

旧天日乾燥床撤去平面図

縮尺：1/150



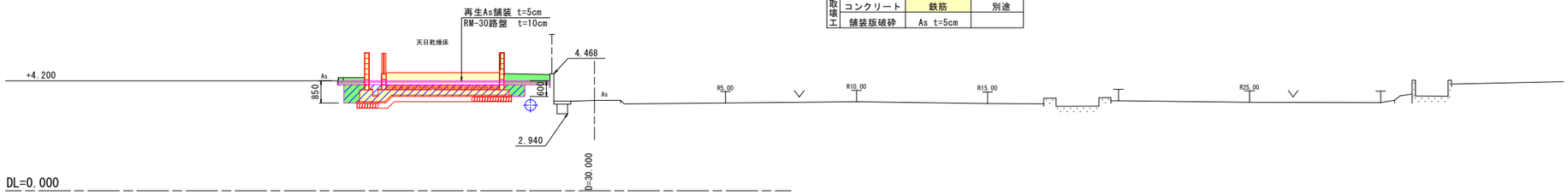
：撤去施設
：掘削範囲
：仮設工
：計画施設

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	旧天日乾燥床撤去平面図		
縮　尺	1/150	図面番号	2-2-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

旧天日乾燥床撤去横断面図

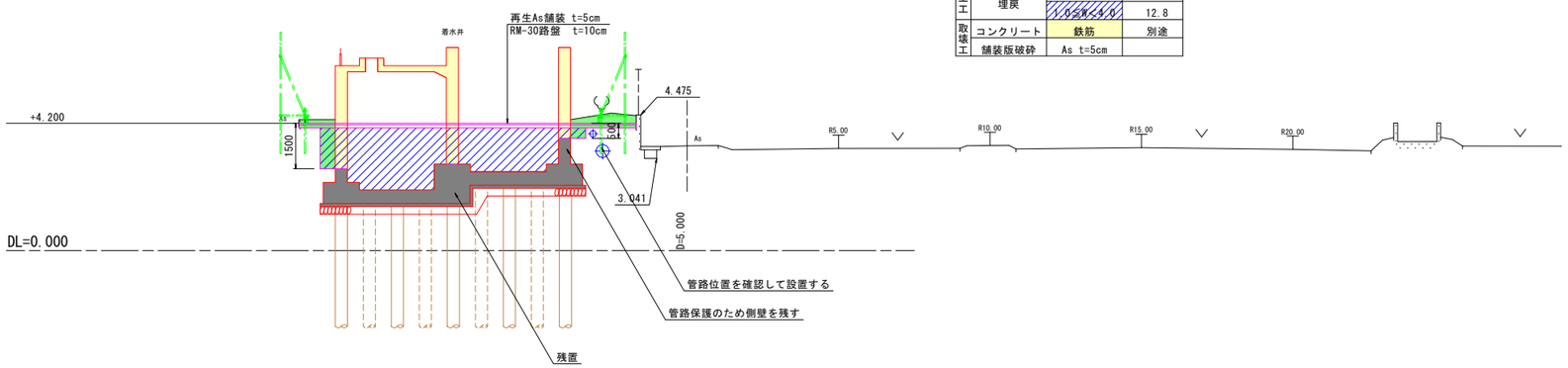
縮尺：1/100

NO.3+15.00
GH=3.451
FH=4.300



	名称	規格	数量
土工	路体盛土	W<2.5	
		2.5≦W<4.0	
		4.0≦W	
	表土剥ぎ取り		
作業土工	床掘	土砂	1.7
	埋戻	W<1.0	
		1.0≦W<3.0	3.5
取壊工	コンクリート	鉄筋	別途
	舗装版破砕	As t=5cm	

NO.2+5.00（投影）
GH=3.454
FH=3.800



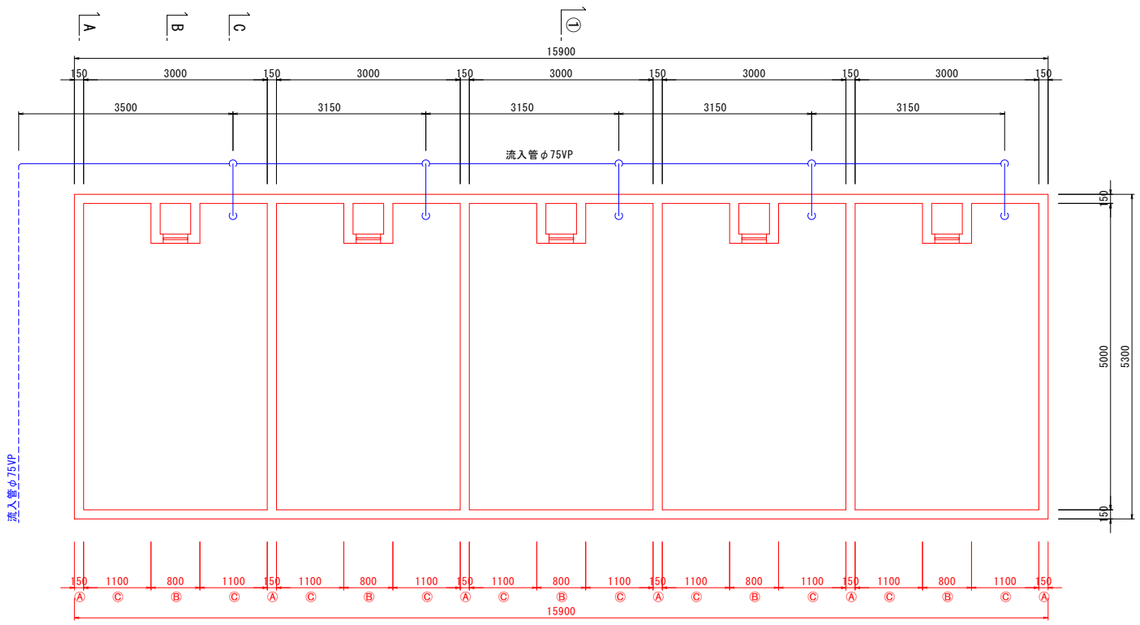
	名称	規格	数量
土工	路体盛土	W<2.5	
		2.5≦W<4.0	
		4.0≦W	
	表土剥ぎ取り		
作業土工	床掘	土砂	2.0
	埋戻	W<1.0	
		1.0≦W<3.0	12.8
取壊工	コンクリート	鉄筋	別途
	舗装版破砕	As t=5cm	

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	旧天日乾燥床撤去横断面図		
縮　尺	1/100	図面番号	2-2-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

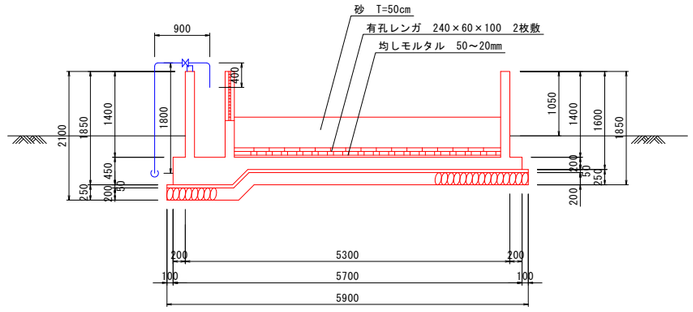
旧天日乾燥床撤去構造図

縮尺；1/50

平面図



①-① 断面図

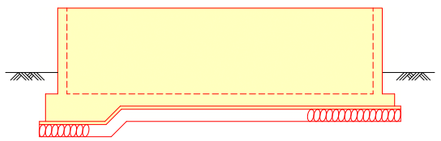


天日乾燥床周り撤去数量

名称	摘要	数量
（配管類）		
ビニル管撤去工	φ75	31.6m
ビニル管切断工	φ75 @2.0m	16口

Ⓐ-Ⓐ 断面図

コンクリート取壊し A=9.1㎡



Ⓑ-Ⓑ 断面図

コンクリート取壊し A=3.0㎡
砂撤去 A=2.2㎡



Ⓒ-Ⓒ 断面図

コンクリート取壊し A=2.9㎡
砂撤去 A=2.5㎡



：撤去施設
：撤去管路

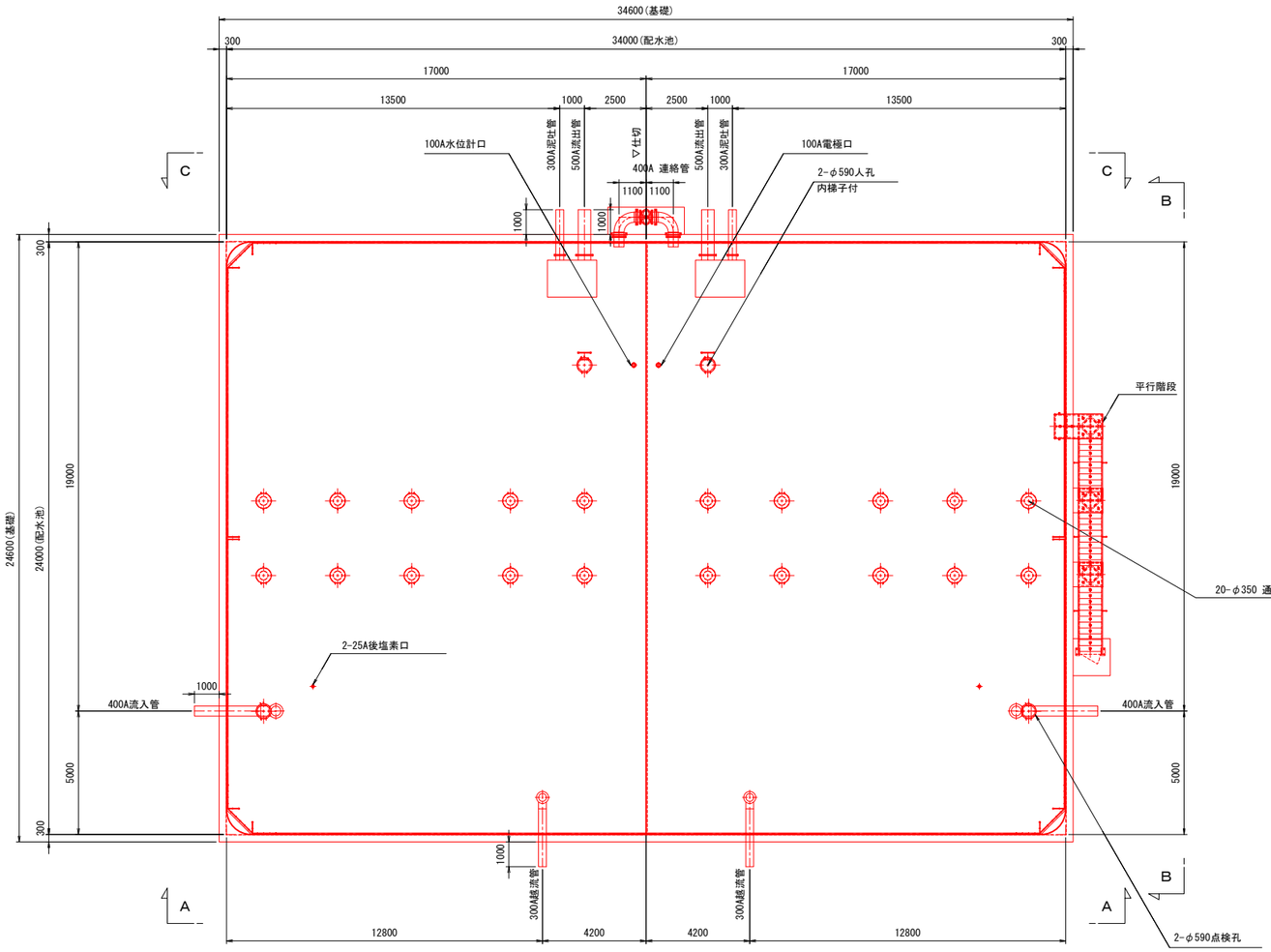
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	旧天日乾燥床撤去構造図		
縮　尺	1/50	図面番号	2-2-3
藍　住　町　上　下　水　道　課			

参考図

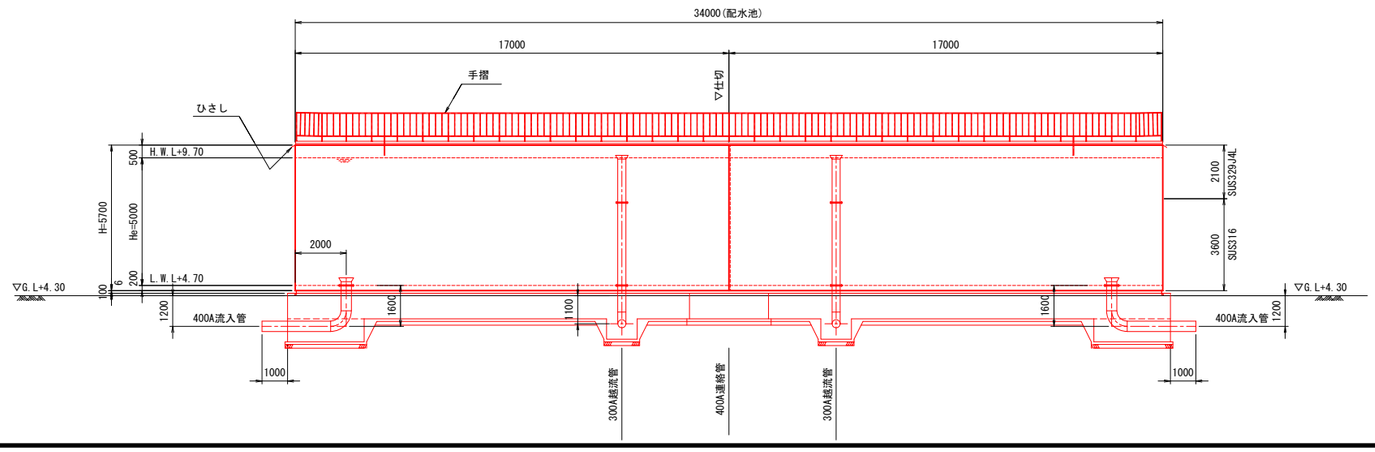
配水池 一般構造図1

縮尺：1/120

本体平面図



A－A矢視
本体立面図



ステンレス鋼板製配水池仕様

容　量	4000m3　2池式	
寸　法	24000 × 34000 × 5700 H	
材　質	天 井 板	SUS329J4L
	側板・仕切板（気層部）	SUS329J4L
	側板・仕切板（液層部）	SUS316
	底　板	SUS316
受　台	C-150×75×6	SUS316
設計水平震度	動的解析	
積　雪	0.35mH × 2.0kN/m/m2 = 0.70kN/m2	
特　記	本体溶接構造	
	天井板・側板・仕切板は，成型ステンレス鋼板	

名　称	材　質	寸　法	個数	備　考
流入管	SUS304	400A	2	上水F，SUS304，　メカ挿し加工
流出管	SUS304	500A	2	上水F，SUS304，　NS形挿し口加工
越流管	SUS316 SUS329J4L	300A	2	上水F，SUS316，　メカ挿し加工
泥吐管	SUS304	300A	2	上水F，SUS304，　メカ挿し加工
連絡管	SUS304	400A	1	上水F，SUS304
後塩素口	SUS316 SUS329J4L	25A	2	10KF，SUS316

名　称	材　質	寸　法	個数	備　考
人　孔	SUS329J4L	φ590	2	旋錠式
通気塔	SUS329J4L	φ350	20	防虫網付
内梯子	SUS304 SUS329J4L	400×300	2	
平行階段	SUS304	W1000	1	
手　摺	SUS304	1100H	1	
ひさし	SUS329J4L	W150	1	
水位計口	SUS329J4L	100A	1	5KF SUS304 防波筒付
電極口	SUS329J4L	100A	1	5KF SUS304 防波筒付
点検孔	SUS329J4L	φ590	2	旋錠式

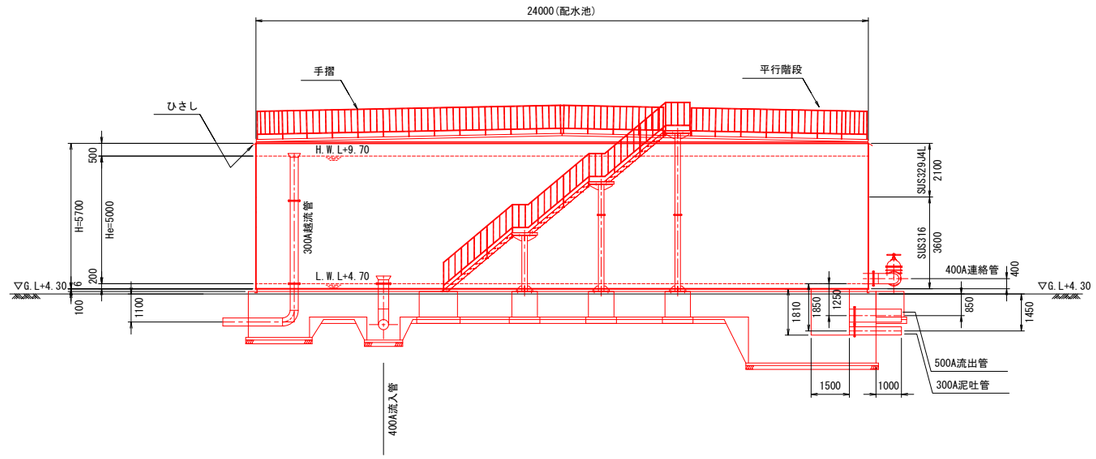
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	一般構造図1		
縮　尺	1/120	図面番号	2-3-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

参考図

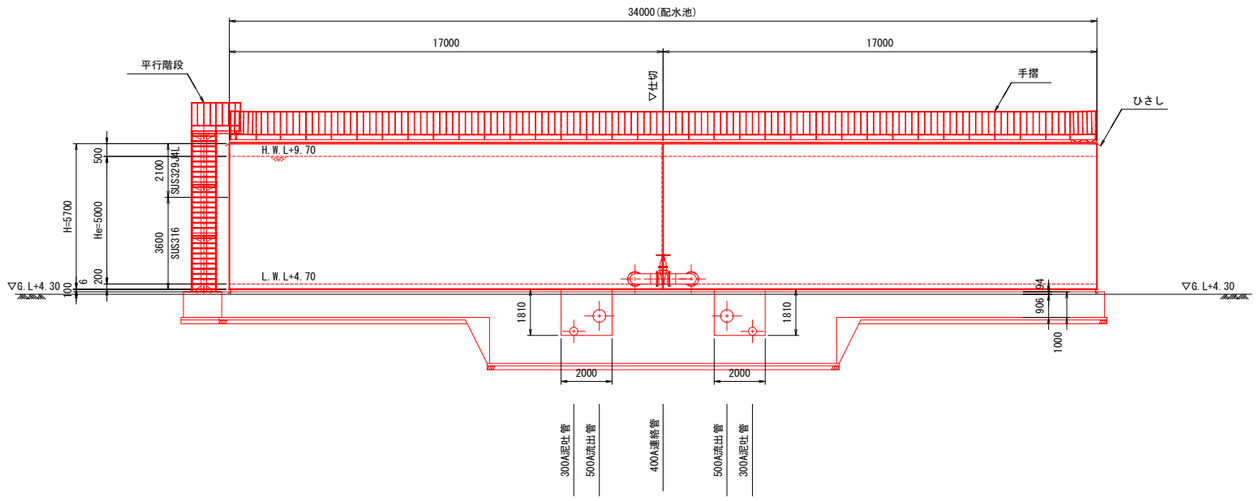
配水池　一般構造図2

縮尺：1/120

B－B矢視
本体側面図



C－C矢視
本体立面図



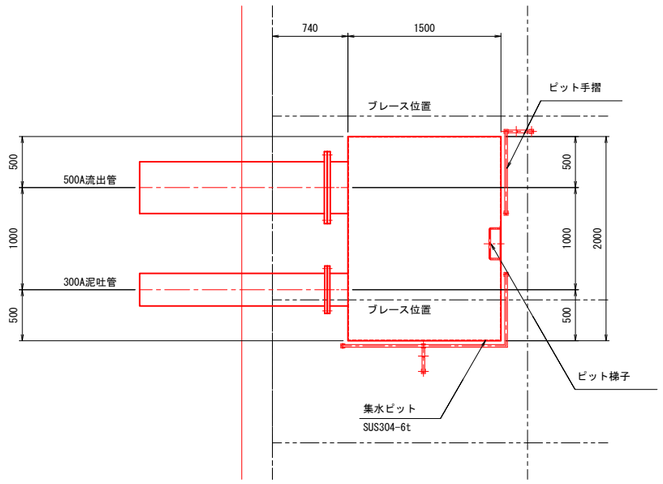
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	一般構造図2		
縮　尺	1/120	図面番号	2-3-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

参考図

配水池 配管詳細図1

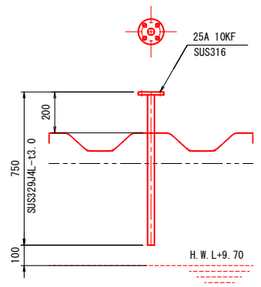
ピット平面図 S=1:30

N=本図ノ物 1箇所
対称ノ物 1箇所



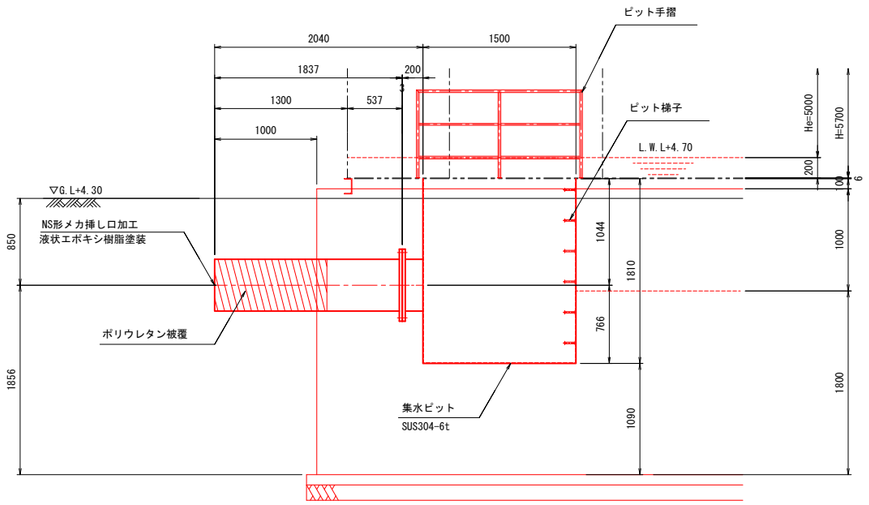
25A後塩素口詳細図 S=1:15

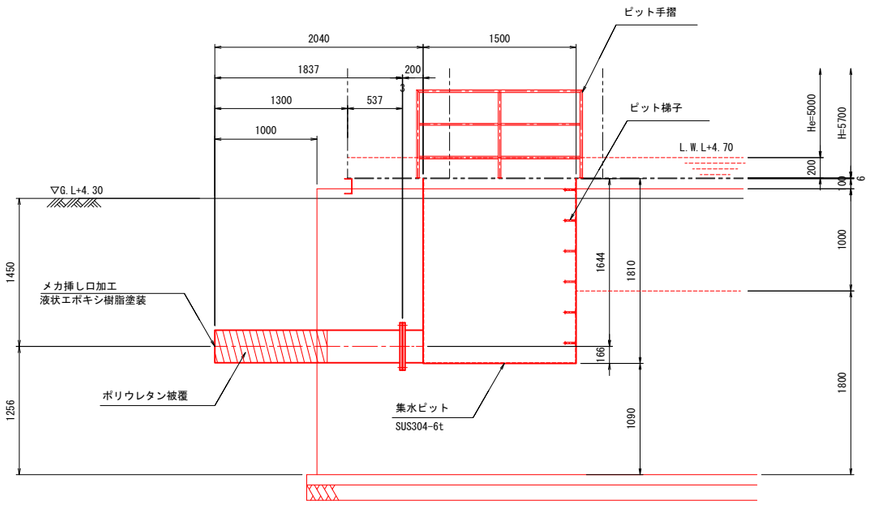
N=2箇所



500A流出管詳細図 S=1:30

N=2箇所





※記入なきフランジは、上水F SUS304とする。
※記入なき配管は、SUS304TP Sch10s とする。

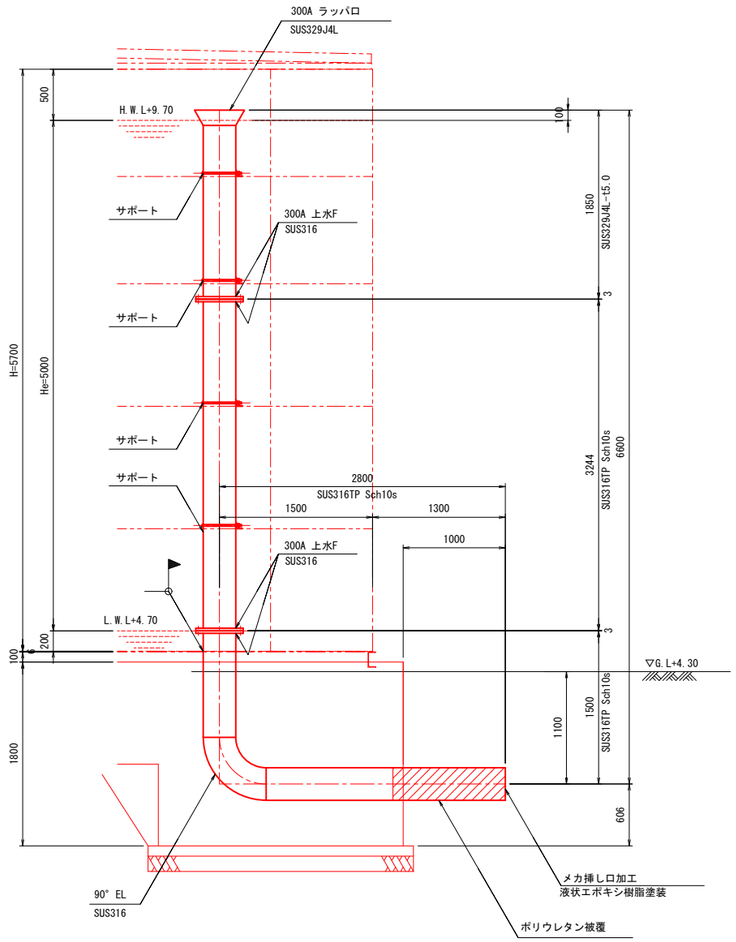
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	配管詳細図1		
縮 尺	図示	図面番号	2-3-3
藍 住 町 上 下 水 道 課			

参考図

配水池 配管詳細図2

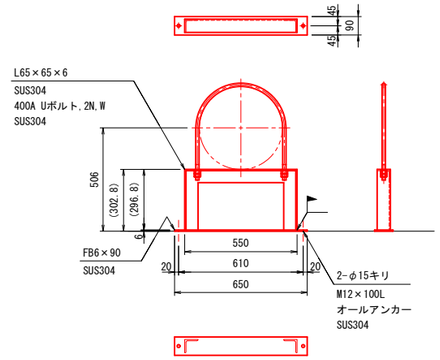
300A越流管詳細図 S=1:30

N=2箇所



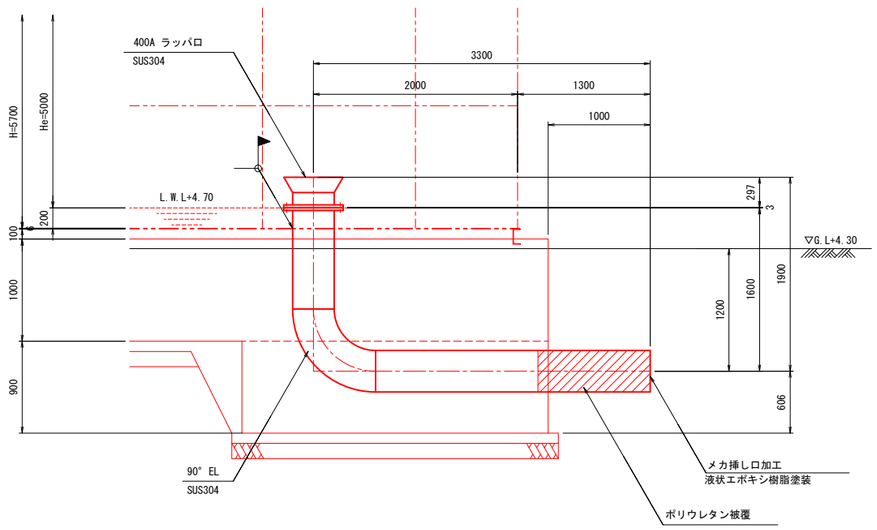
400A連絡管 配管支持架台詳細図 S=1:15

N=2箇所



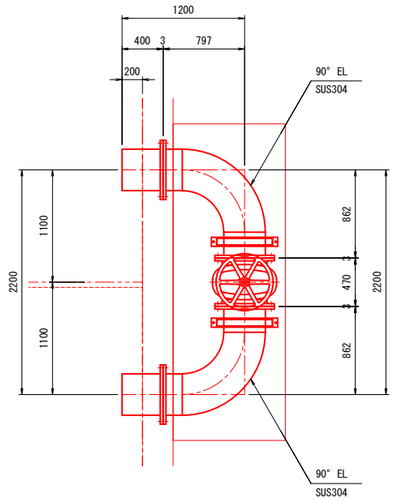
400A流入管詳細図 S=1:30

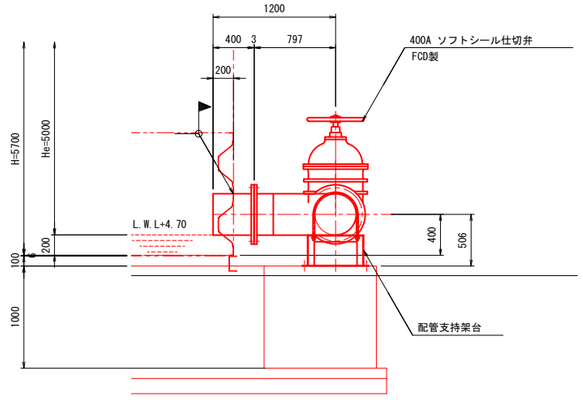
N=2箇所



400A連絡管詳細図 S=1:30

N=1箇所





※記入なきフランジは、上水F SUS304とする。
※記入なき配管は、SUS304TP Sch10s とする。

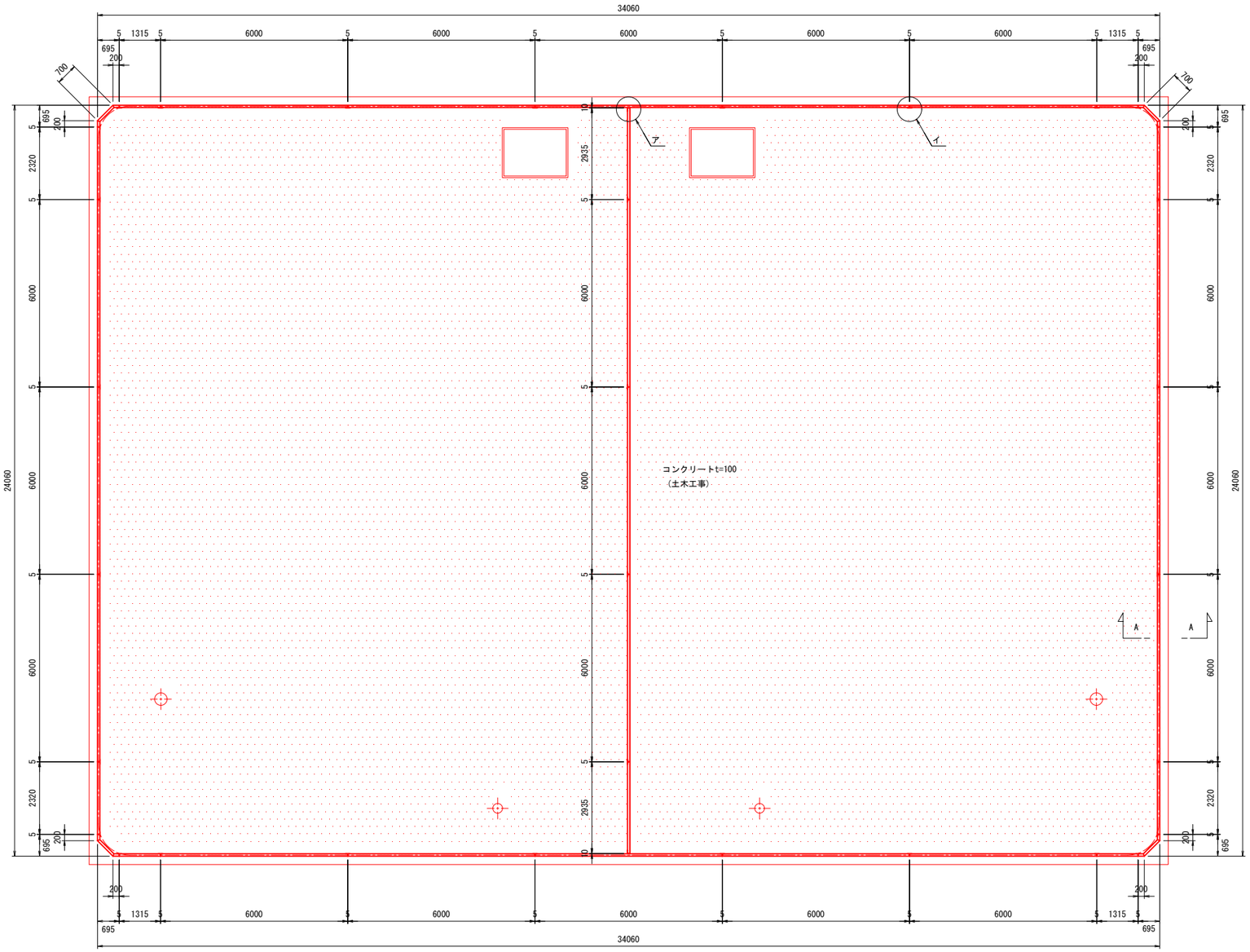
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	配管詳細図2		
縮 尺	図示	図面番号	2-3-4
藍 住 町 上 下 水 道 課			

参考図

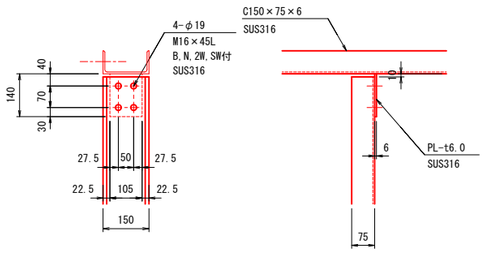
配水池 受台詳細図

受台平面図 S=1:80

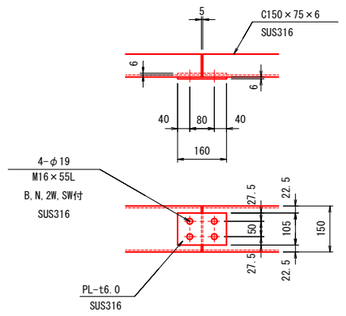
C-150×75×6 SUS316



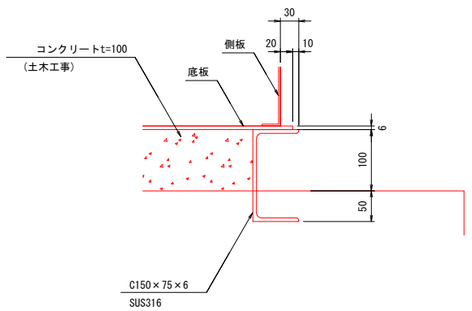
ア詳細図 S=1:10



イ詳細図 S=1:10



A－A断面詳細図 S=1:5

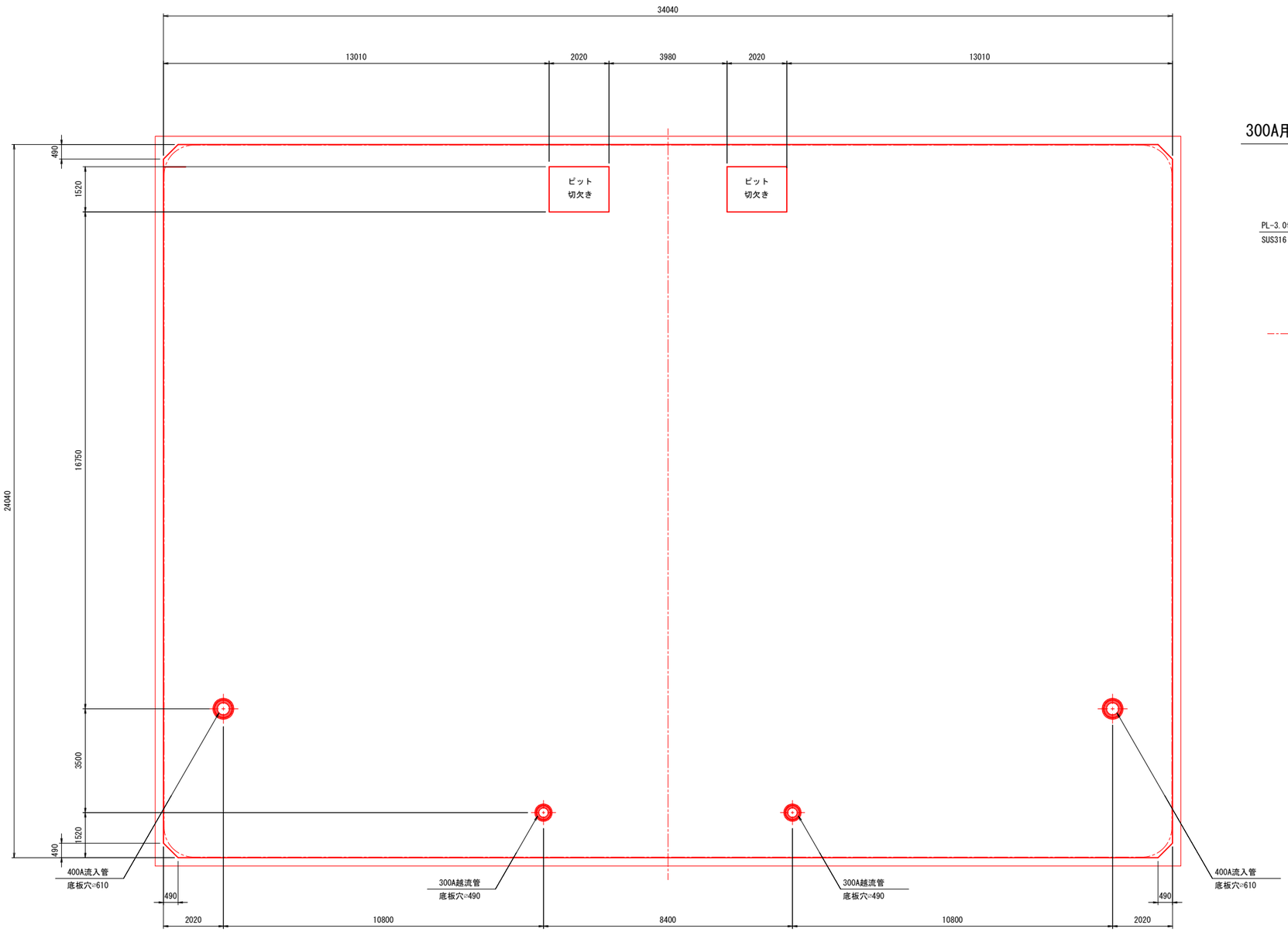


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	受台詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	2-3-5
藍　住　町　上　下　水　道　課			

参考図

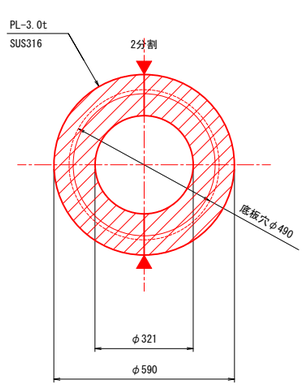
配水池 底板詳細図

底板平面図 S=1:80



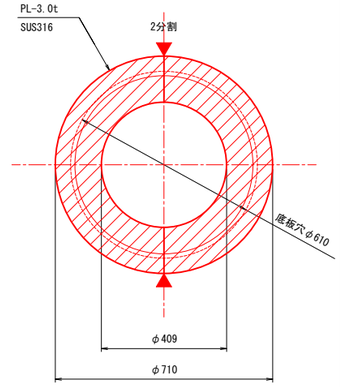
300A用開口補強板 S=1:10

N=2箇所



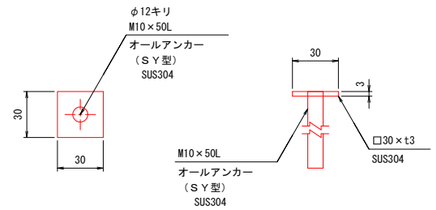
400A用開口補強板 S=1:10

N=2箇所



固定用ピース S=1:2

（現場にて、底板に溶接）



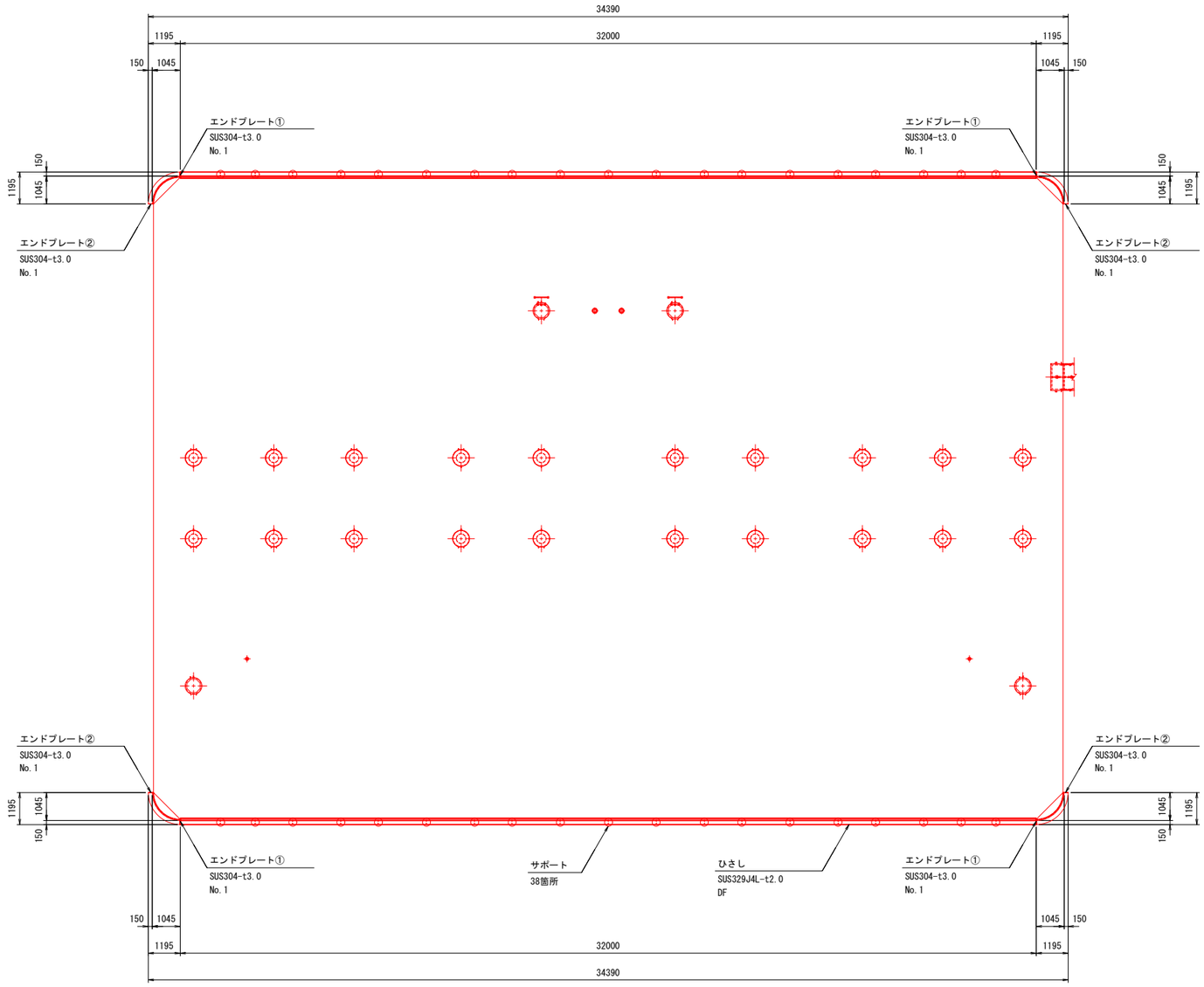
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	底板詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	2-3-6
藍　住　町　上　下　水　道　課			

参考図

配水池 ひさし詳細図1

縮尺；1/100

ひさし平面図

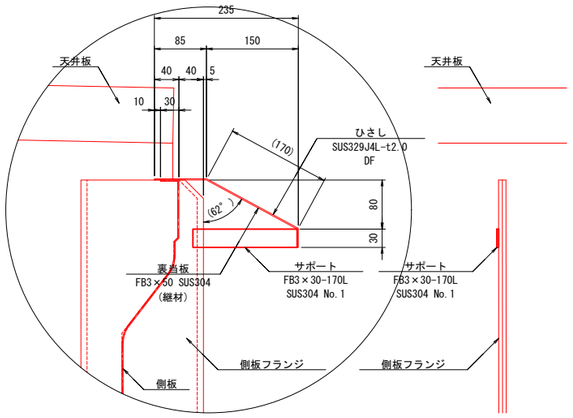


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	ひさし詳細図1		
縮　尺	1/100	図面番号	2-3-7
藍　住　町　上　下　水　道　課			

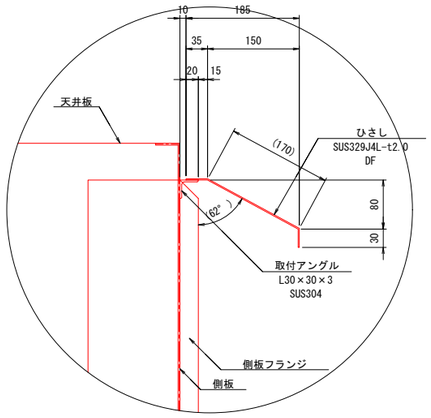
参考図

配水池 ひさし詳細図2

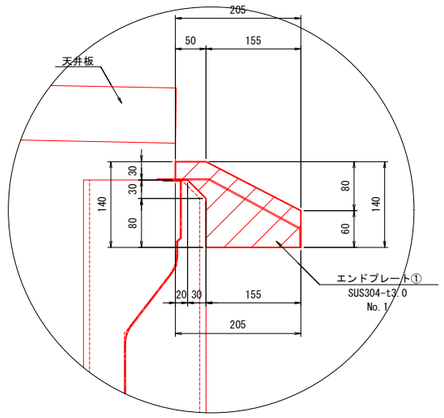
軒先部ひさし断面詳細図 S=1:5



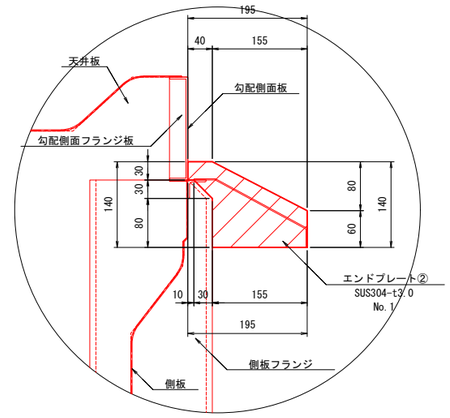
R部ひさし断面詳細図 S=1:5



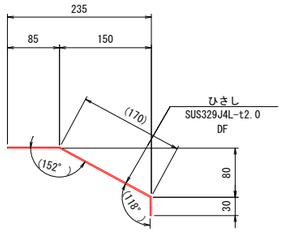
エンドプレート①詳細図 S=1:5



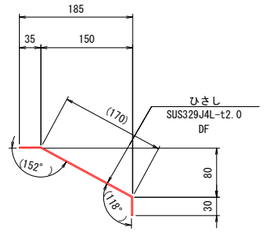
エンドプレート②詳細図 S=1:5



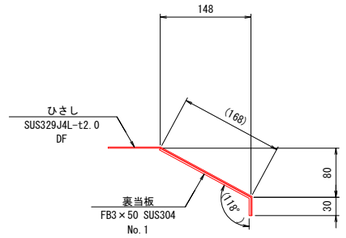
軒先部ひさし加工詳細図 S=1:5



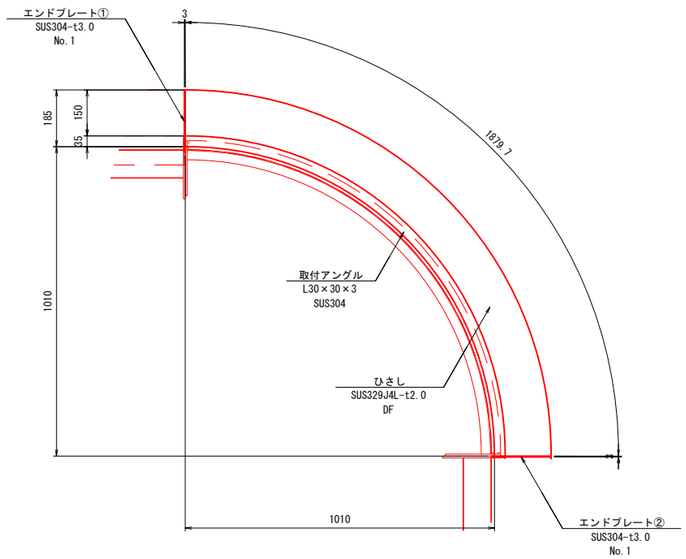
R部ひさし加工詳細図 S=1:5



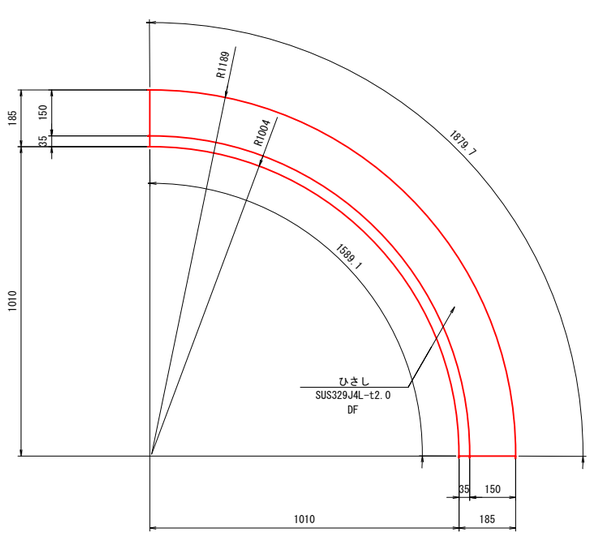
軒先部ひさし裏当板詳細図 S=1:5



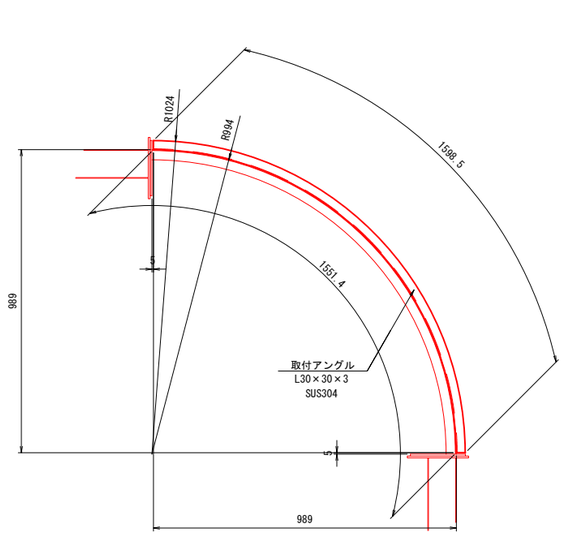
R部ひさし平面図 S=1:10



R部ひさし平面詳細図 S=1:10



取付アングル平面図 S=1:10



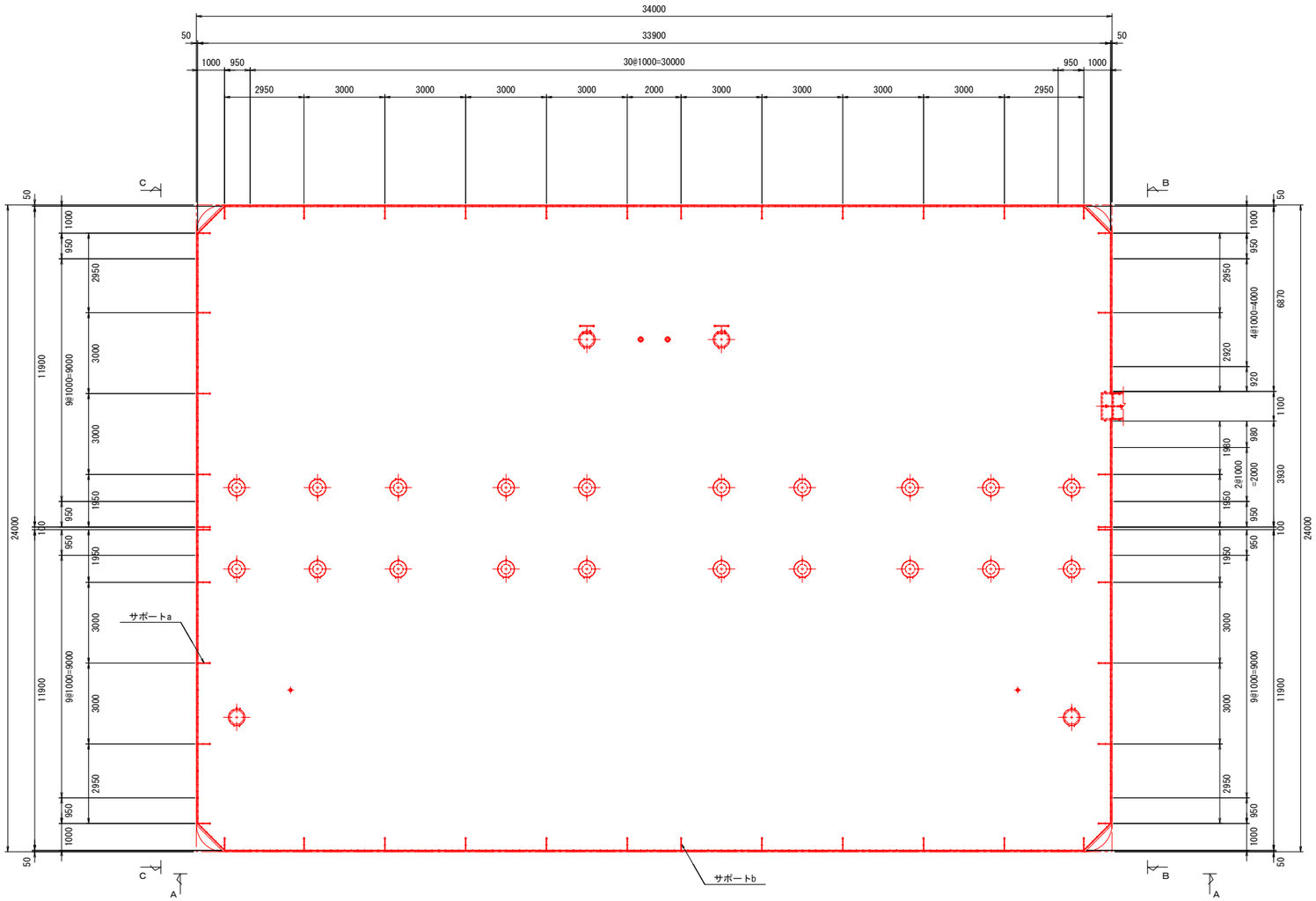
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	ひさし詳細図2		
縮　尺	図示	図面番号	2-3-8
藍　住　町　上　下　水　道　課			

参考図

配水池　手摺詳細図1

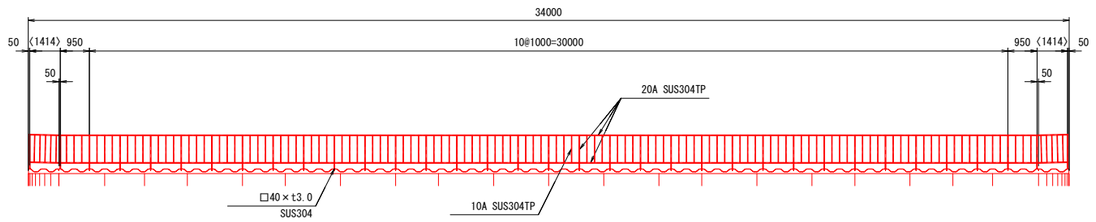
縮尺：1/100

手摺平面図



A－A矢視図

※直線部の10A SUS304TPは250ピッチを基本とする。



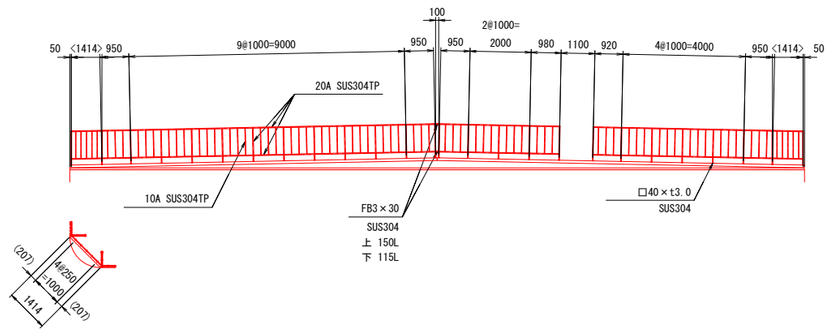
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	手摺詳細図1		
縮　尺	1/100	図面番号	2-3-9
藍　住　町　上　下　水　道　課			

参考図

配水池 手摺詳細図2

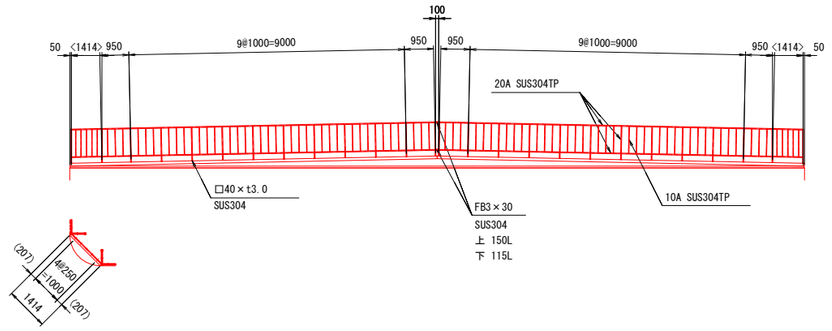
B－B矢視図 S=1:100

※< >内の数値は斜長を示す。
※直線部の10A SUS304TPは250ピッチを基本とする。



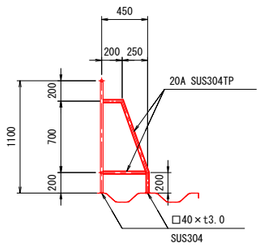
C－C矢視図 S=1:100

※< >内の数値は斜長を示す。
※直線部の10A SUS304TPは250ピッチを基本とする。



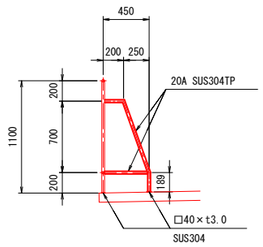
サポートa詳細図 S=1:30

N=20箇所



サポートb詳細図 S=1:30

N=24箇所

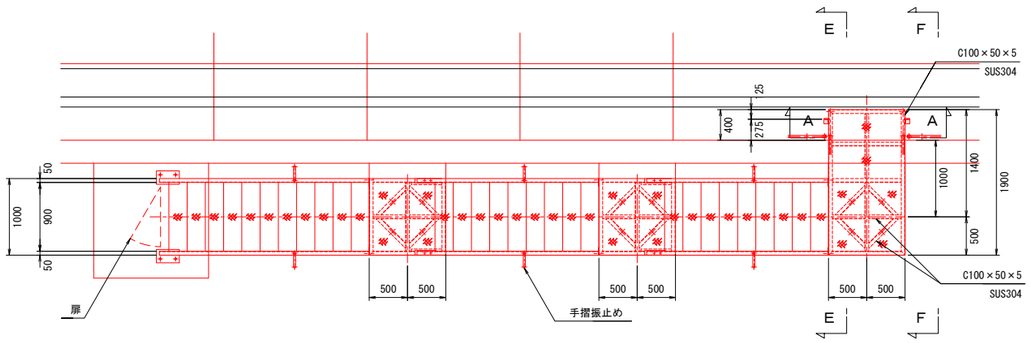


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	手摺詳細図2		
縮 尺	図示	図面番号	2-3-10
藍 住 町 上 下 水 道 課			

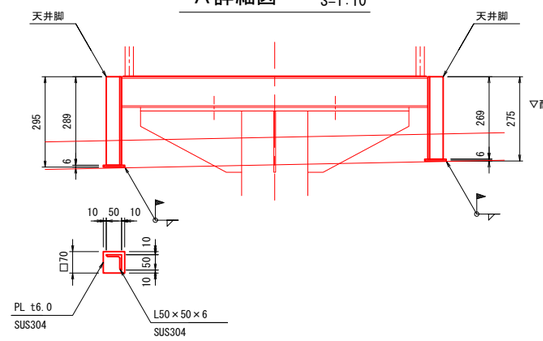
参考図

配水池 平行階段詳細図1

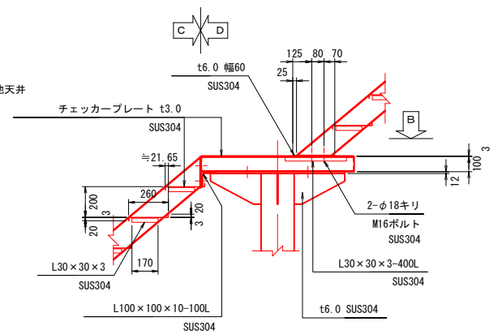
平 面 図 S=1:40



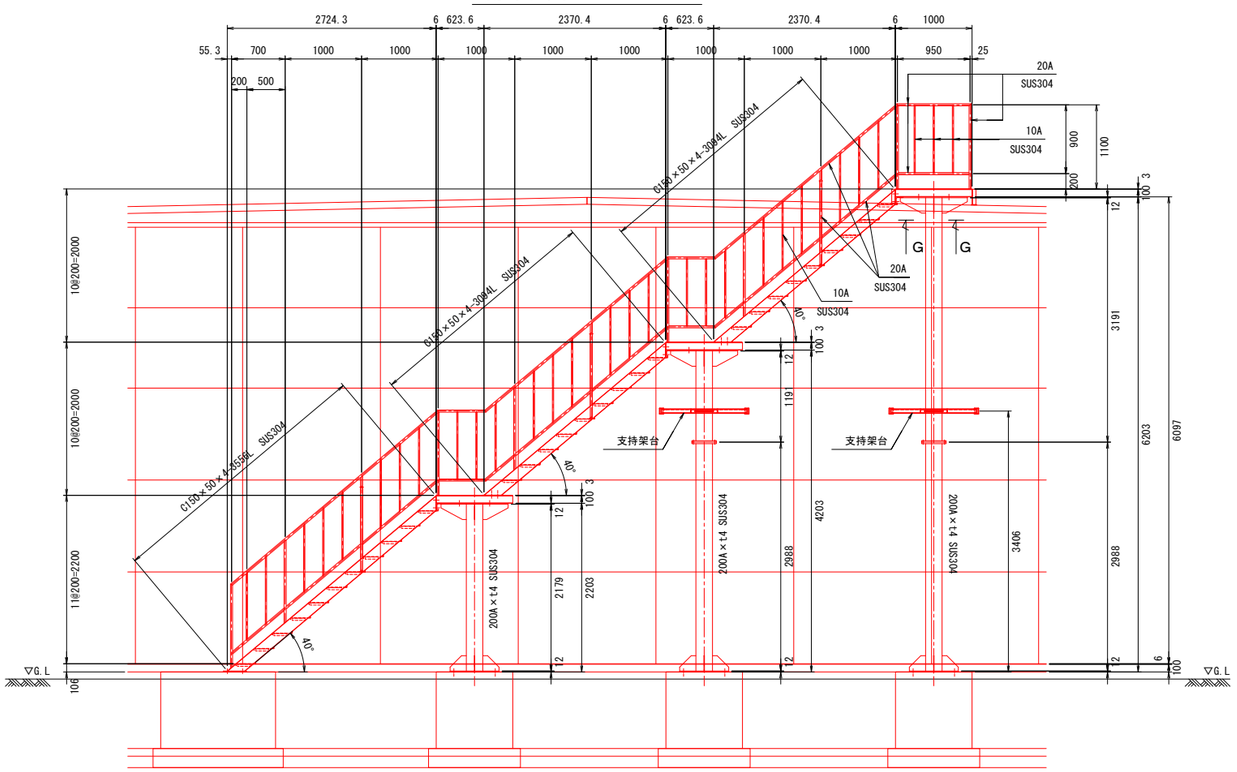
A詳細図 S=1:10



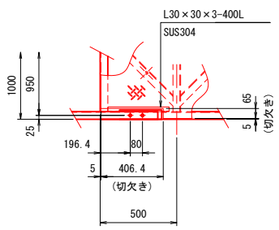
中間踊場詳細図 S=1:20



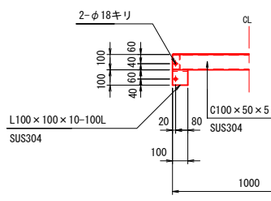
側 面 図 S=1:40



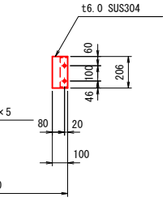
B矢視図 S=1:20



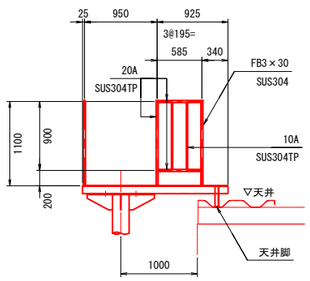
C矢視図 S=1:20



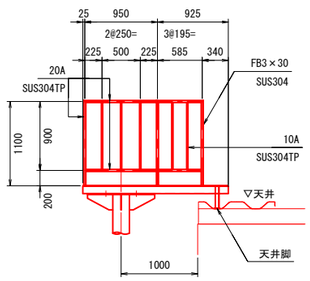
D矢視図 S=1:20



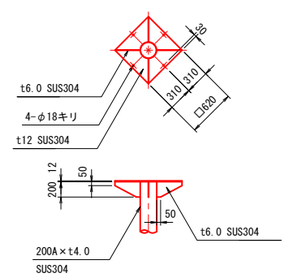
E−E矢視図 S=1:40



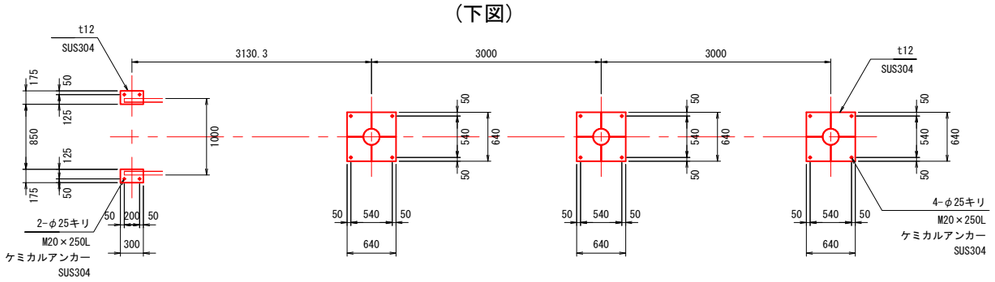
F−F矢視図 S=1:40



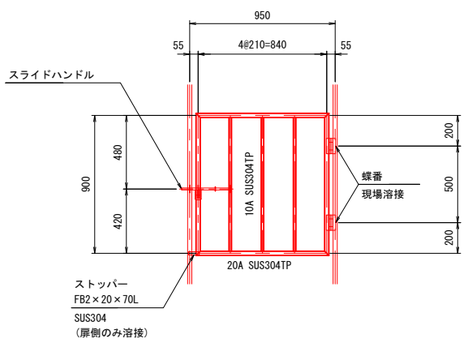
G−G矢視図 S=1:40



平 面 図 S=1:40 （下図）

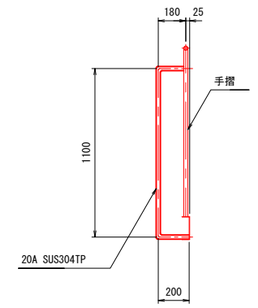


扉詳細図 S=1:20



手摺振れ止め詳細図 S=1:20

N=6ヶ所

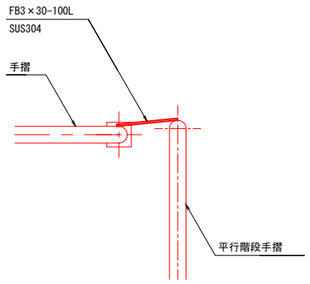


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	平行階段詳細図1		
縮 尺	図示	図面番号	2-3-11
藍 住 町 上 下 水 道 課			

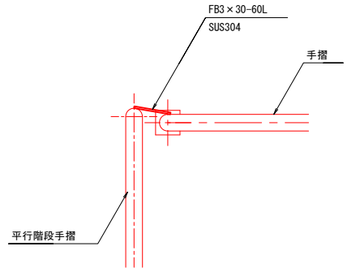
参考図

配水池 平行階段詳細図2

H詳細図 S=1:5

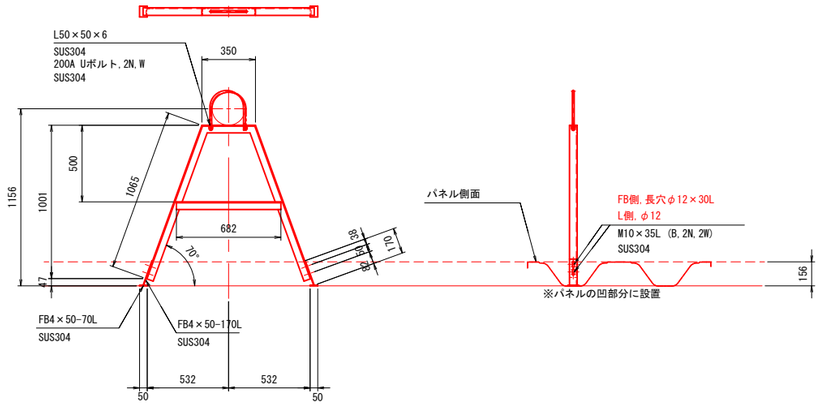


I詳細図 S=1:5



200A支柱支持架台詳細図 S=1:20

N=2箇所



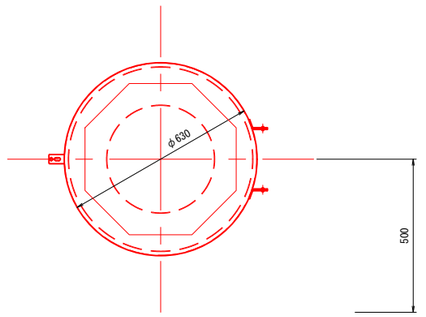
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	平行階段詳細図2		
縮　尺	図示	図面番号	2-3-12
藍　住　町　上　下　水　道　課			

参考図

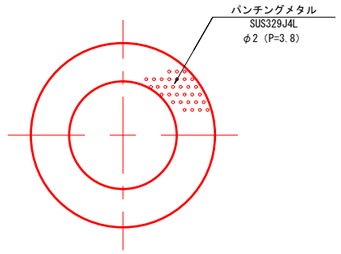
配水池　付属品詳細図1

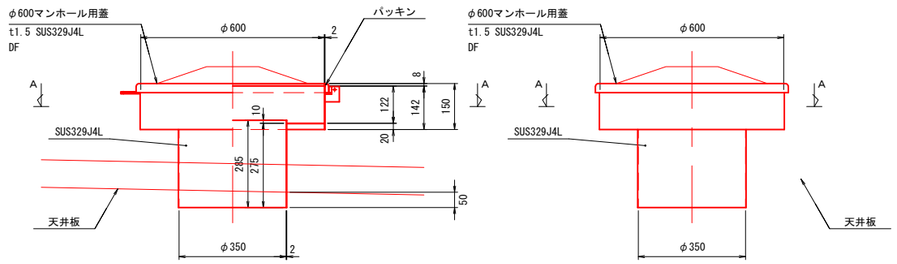
φ350通気塔詳細図　S=1:10

N=20箇所

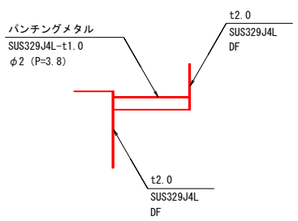


Ａ－Ａ断面図　S=1:10



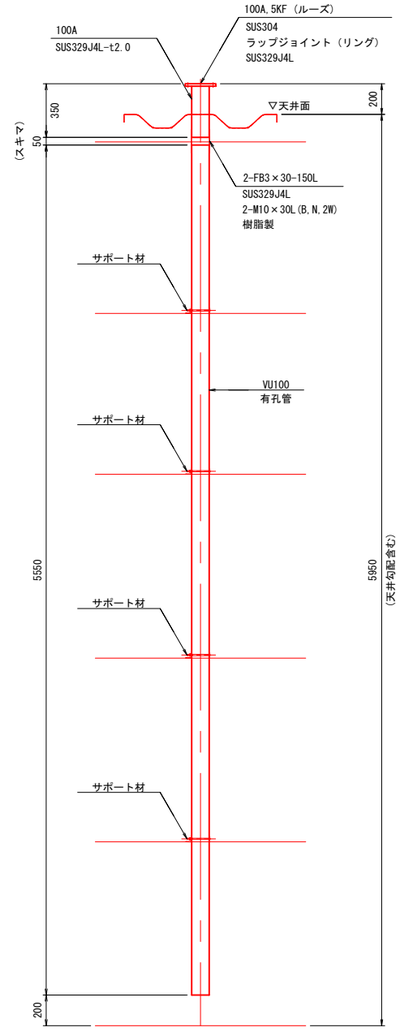


通気塔断面図　S=1:5



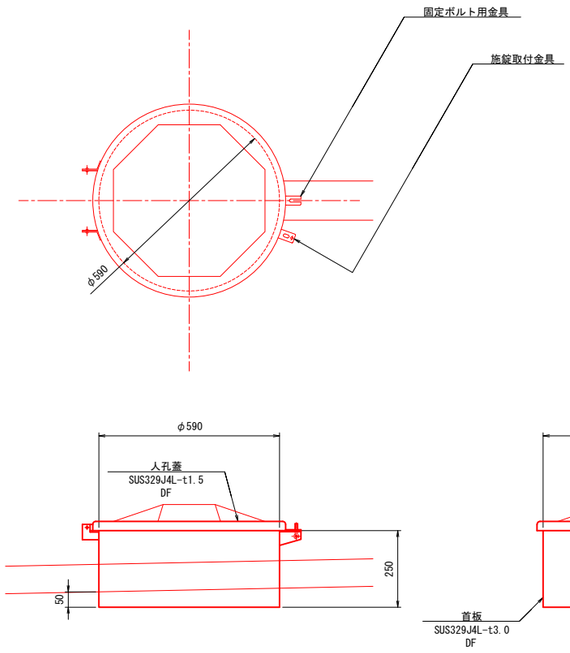
100A 電極口詳細図
100A 水位計口詳細図　S=1:20

N=各1箇所



点検口詳細図　S=1:10

N=2箇所



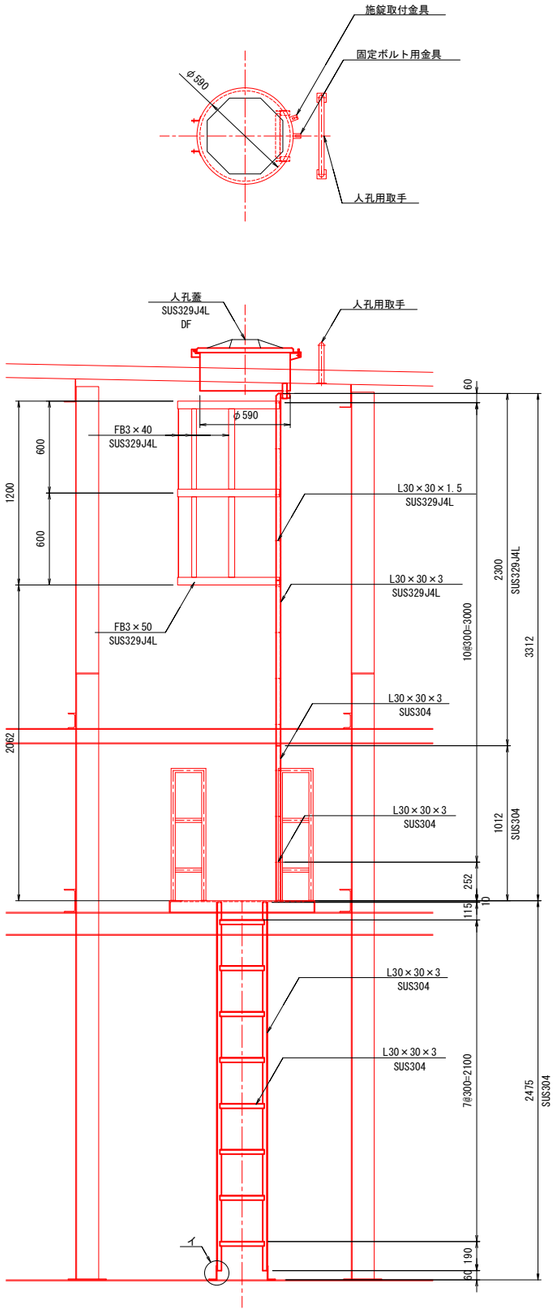
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	付属品詳細図1		
縮　尺	図示	図面番号	2-3-13
藍　住　町　上　下　水　道　課			

参考図

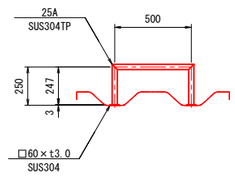
配水池 付属品詳細図2

人孔・内梯子詳細図 S=1:20

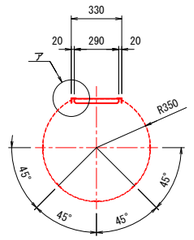
N=2箇所



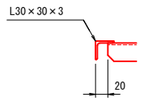
取手詳細図 S=1:20



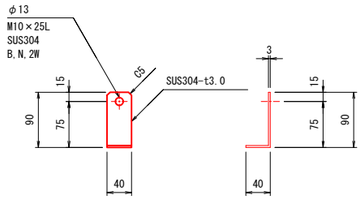
内梯子断面詳細図 S=1:20



ア詳細図 S=1:5

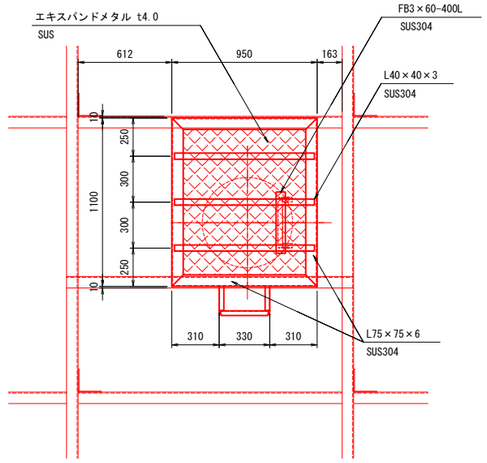


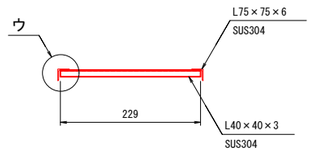
イ詳細図 S=1:5



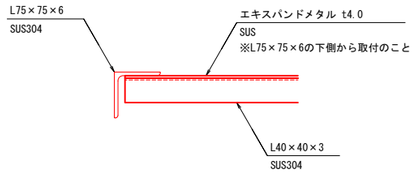
踊場詳細図 S=1:20

N=本図の物 1
対称の物 1

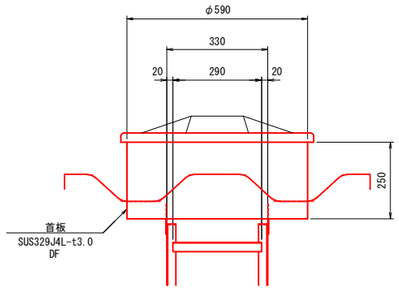


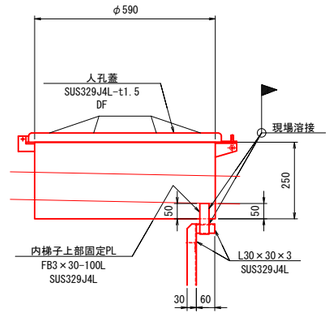


ウ詳細図 S=1:5



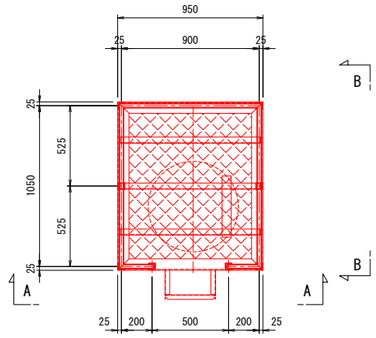
最上部詳細図 S=1:10



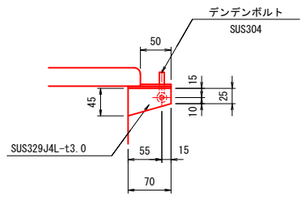


踊場手摺詳細図 S=1:20

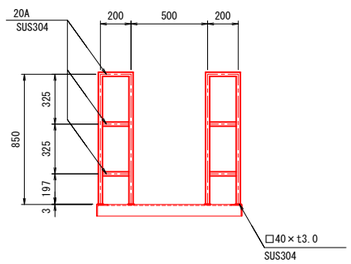
N=本図の物 1
対称の物 1



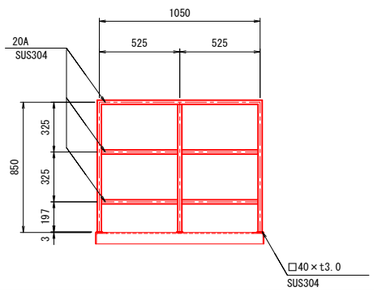
固定ボルト用金具詳細図 S=1:5



A-A矢視図 S=1:20



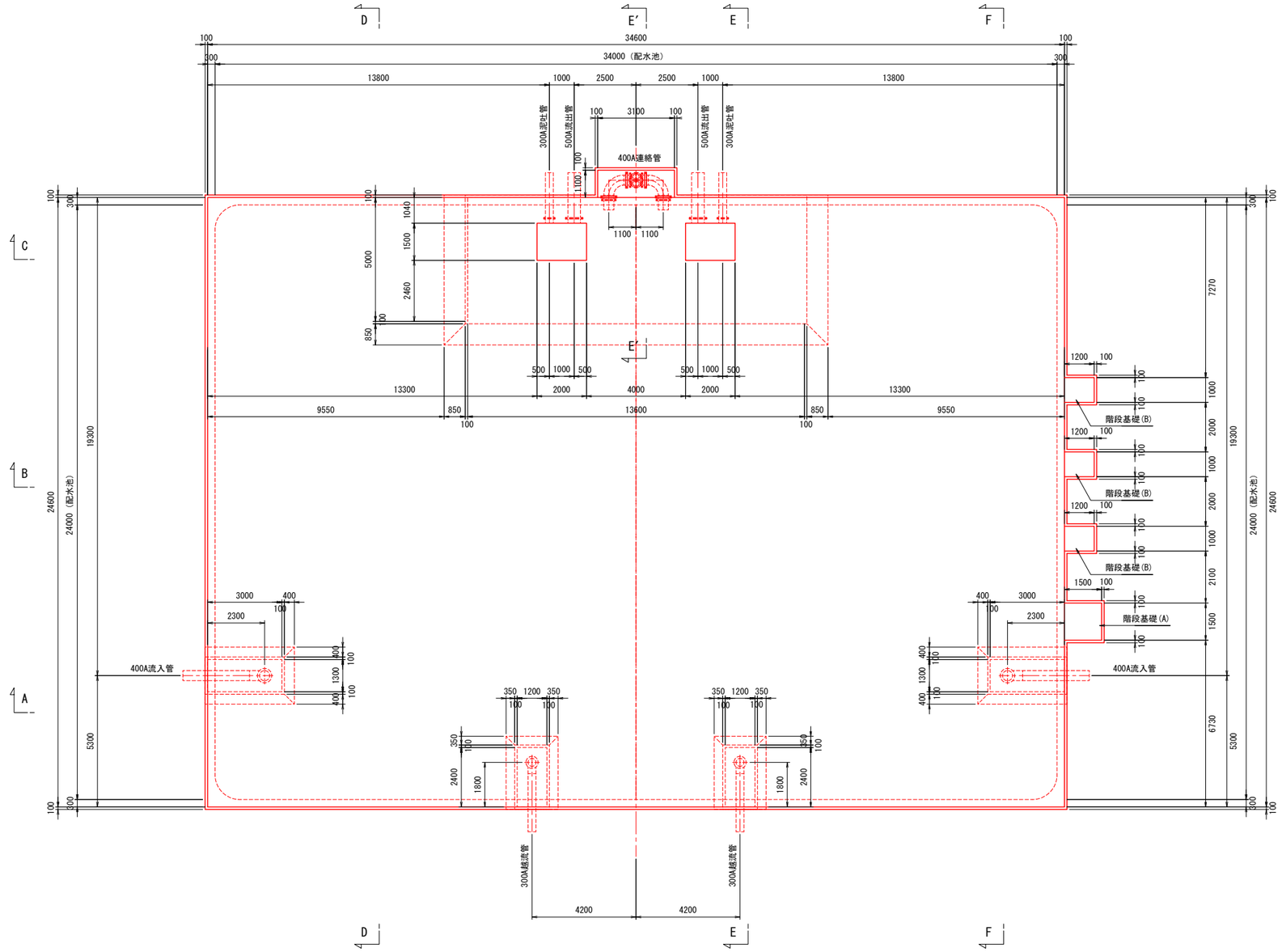
B-B矢視図 S=1:20



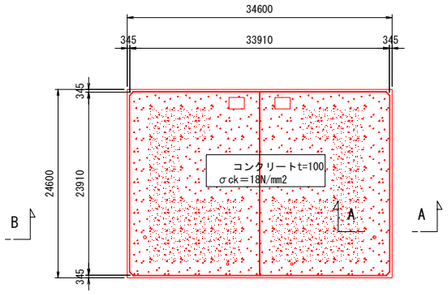
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	付属品詳細図2		
縮　尺	図示	図面番号	2-3-14
藍　住　町　上　下　水　道　課			

配水池　基礎構造図1

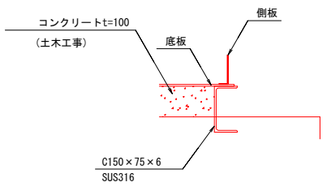
基礎版平面図　S=1:100



敷きコンクリート平面図　S=1:400



A－A断面詳細図　S=1:10

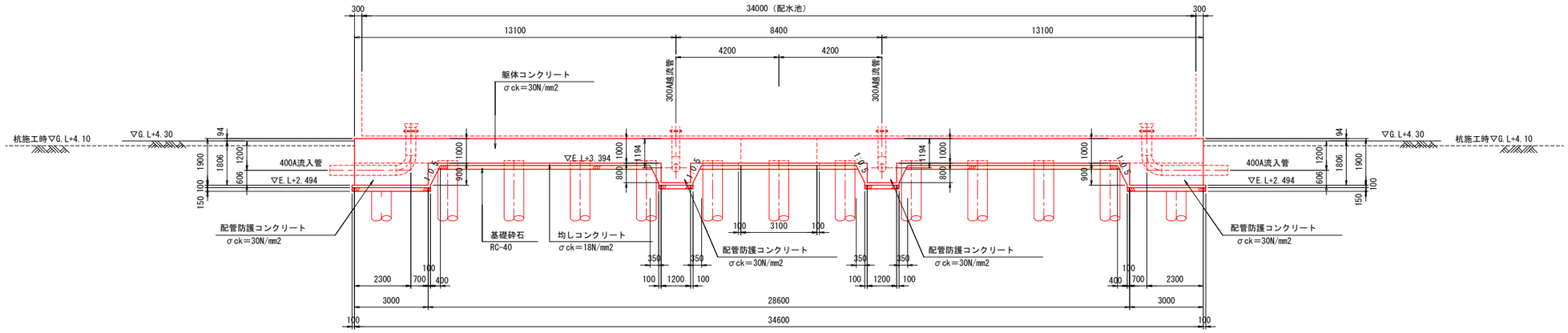


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	基礎構造図1		
縮　尺	図示	図面番号	2-3-15
藍　住　町　上　下　水　道　課			

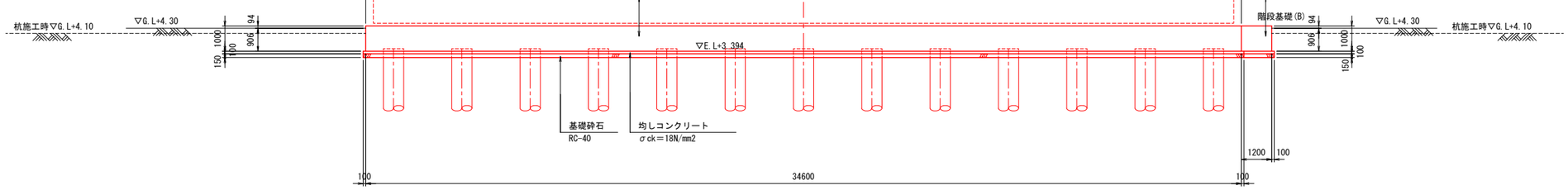
配水池 基礎構造図2

縮尺：1/100

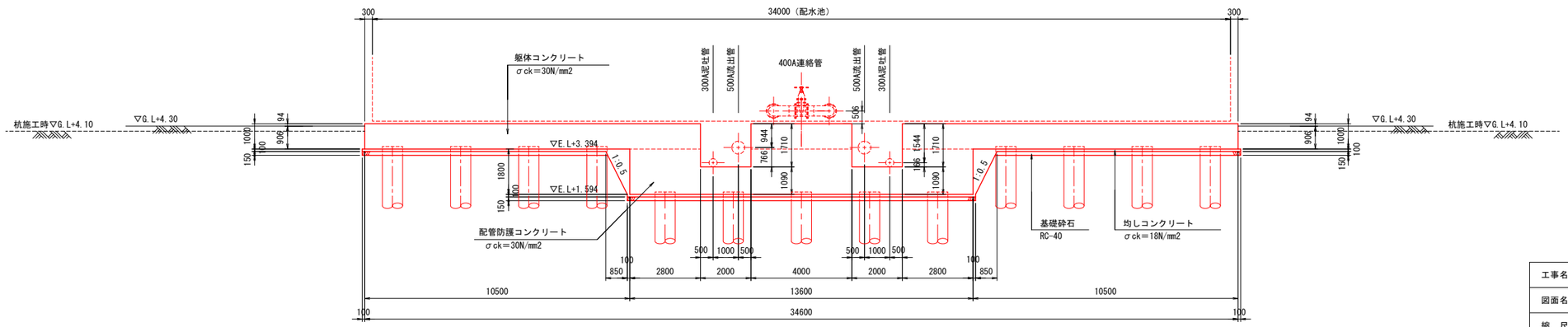
A－A断面図



B－B断面図



C－C断面図

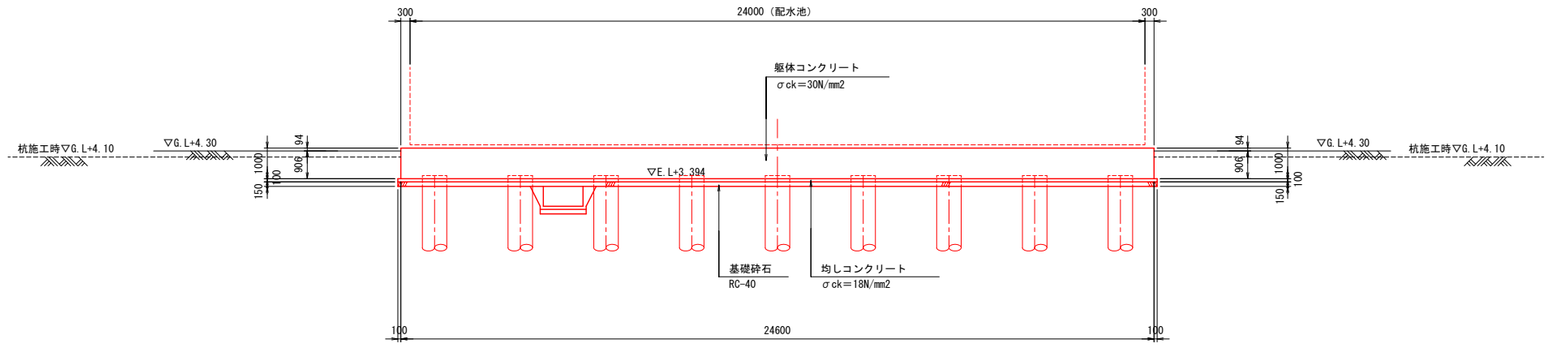


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	基礎構造図2		
縮　尺	1/100	図面番号	2-3-16
藍　住　町　上　下　水　道　課			

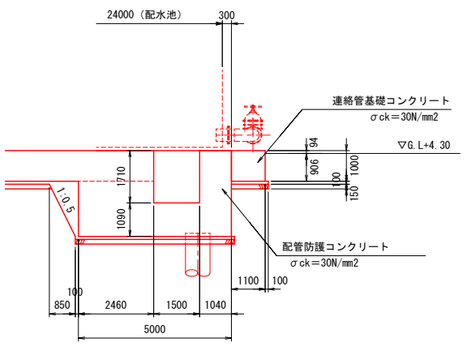
配水池 基礎構造図3

縮尺：1/100

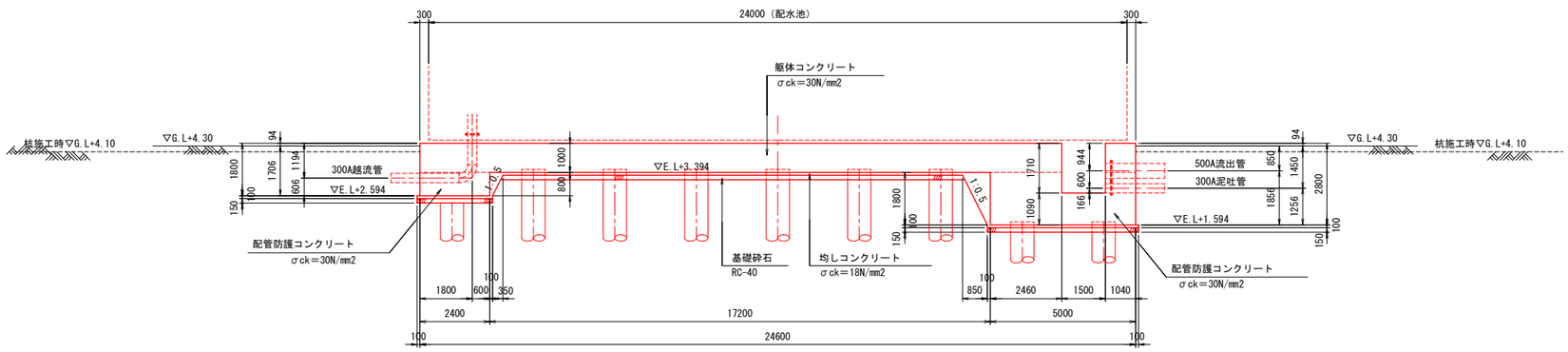
D－D断面図



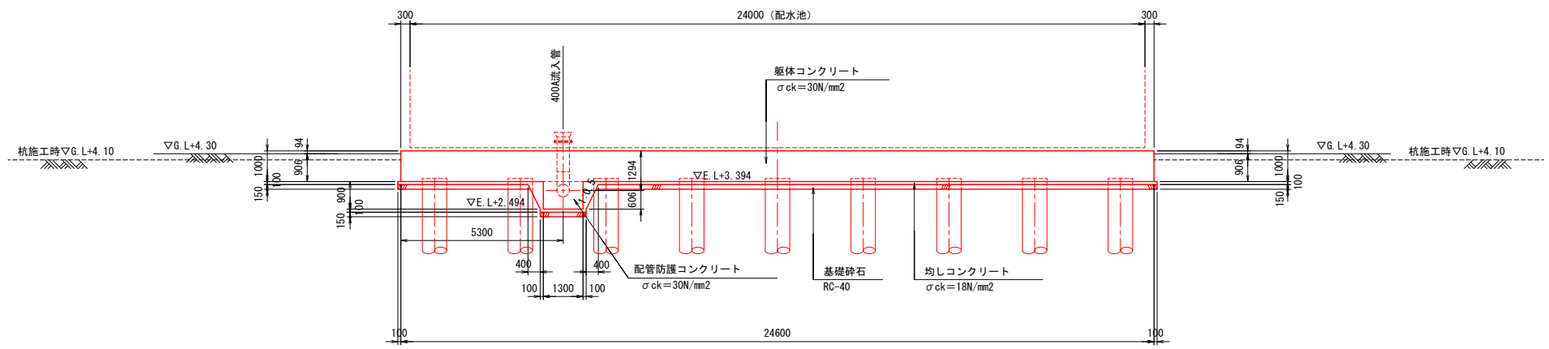
E′－E′断面図



E－E断面図



F－F断面図

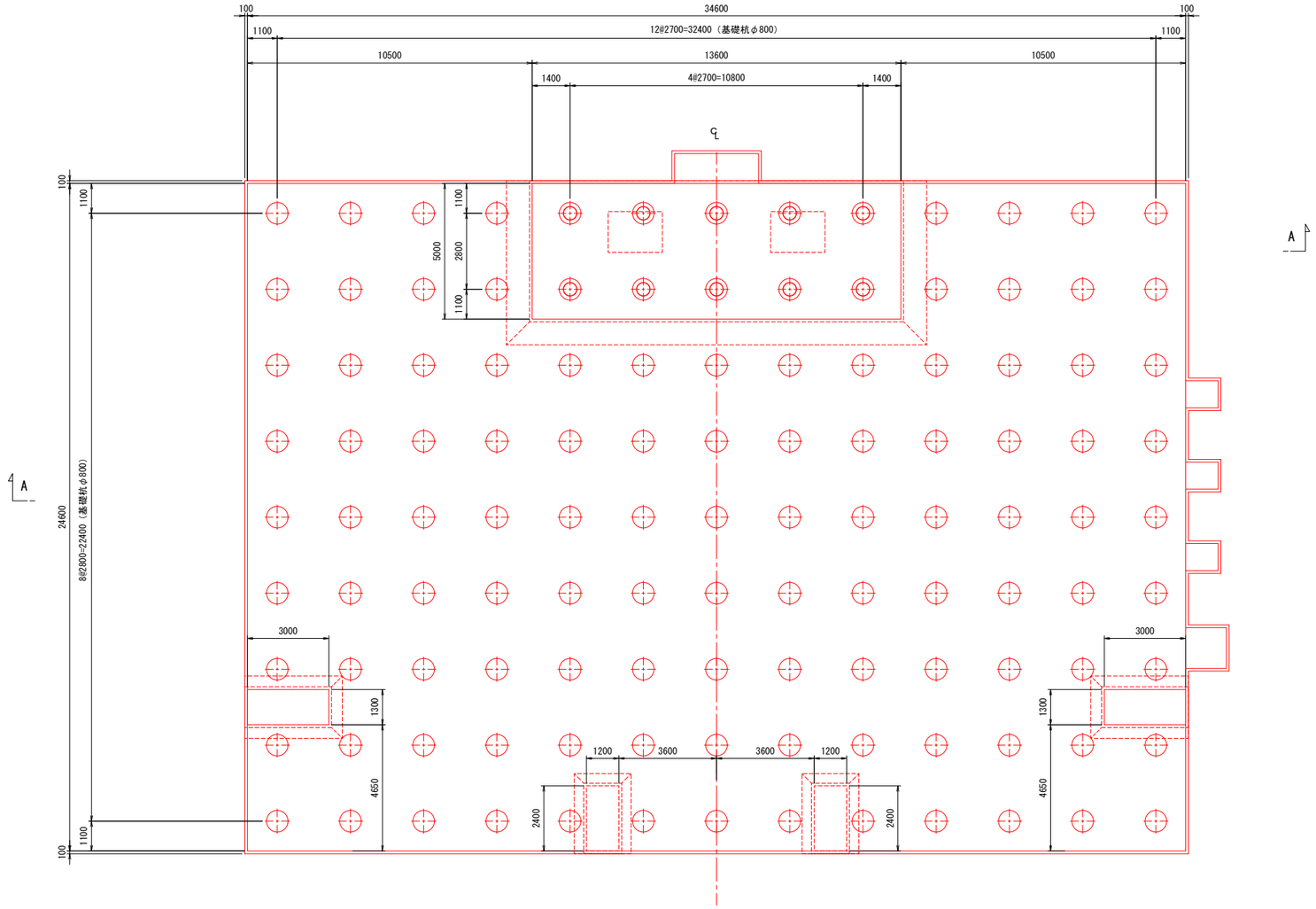


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	基礎構造図3		
縮　尺	1/100	図面番号	2-3-17
藍　住　町　上　下　水　道　課			

配水池　基礎杭構造図1

縮尺：1/100

基礎杭配置平面図



【基礎杭細目】

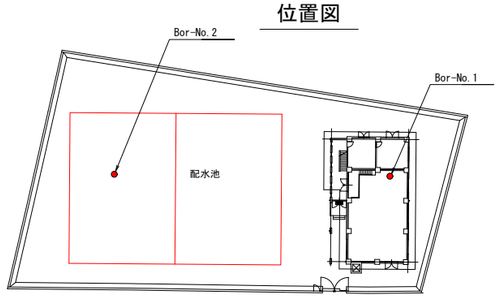
杭　種		材　質	(mm) 杭径	(m) 杭長	杭本数
⊕	SC杭　（上杭）	SKK490 ts=9	φ800	8.0	107
	PHC杭（中杭）	PHC杭　A種	φ800	11.0	
	PHC杭（下杭）	PHC杭　A種	φ800	11.0	
◎	SC杭　（上杭）	SKK490 ts=9	φ800	8.0	10
	PHC杭（中杭）	PHC杭　A種	φ800	11.0	
	PHC杭（下杭）	PHC杭　A種	φ800	10.0	
工　法		プレボーリング杭工法			

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	基礎杭構造図1		
縮　尺	1/100	図面番号	2-3-18
藍　住　町　上　下　水　道　課			

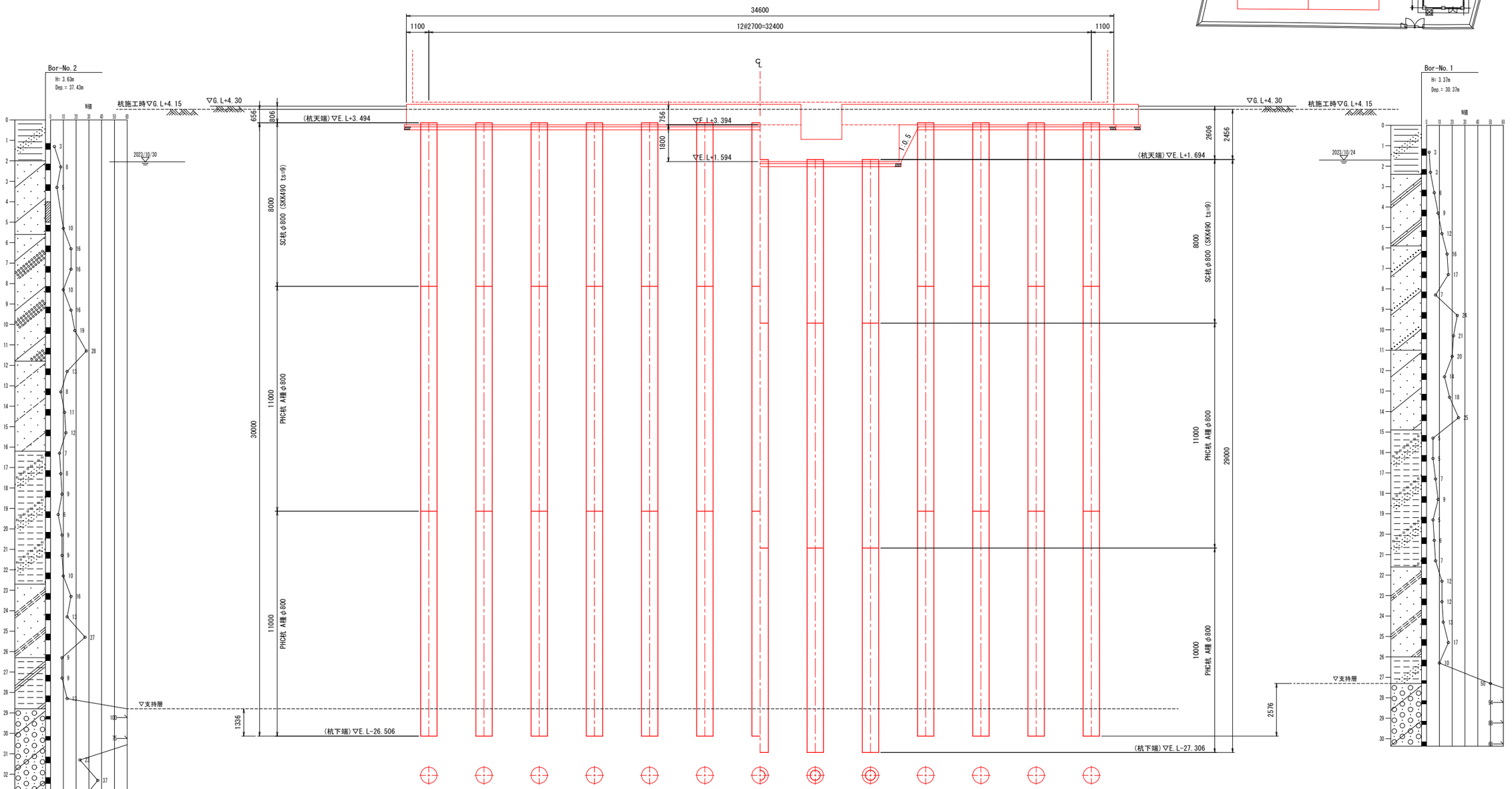
配水池 基礎杭構造図2

縮尺；1/100

位置図



A－A断面図



工事名	監住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	基礎杭構造図2		
縮　尺	1/100	図面番号	2-3-19
監　住　町　上　下　水　道　課			

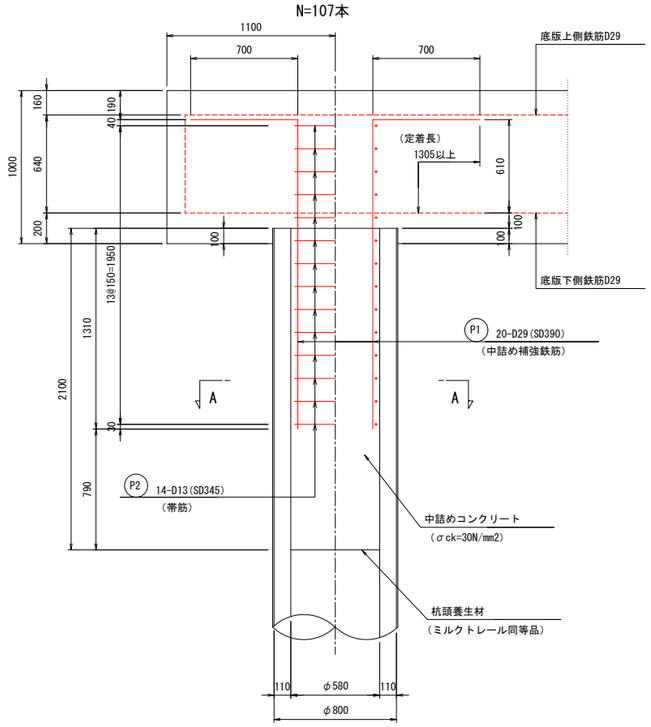
配水池 杭頭詳細図

断 面 図　S=1:20

ΣN=117本　※鉄筋本数は杭１本当りを示す。

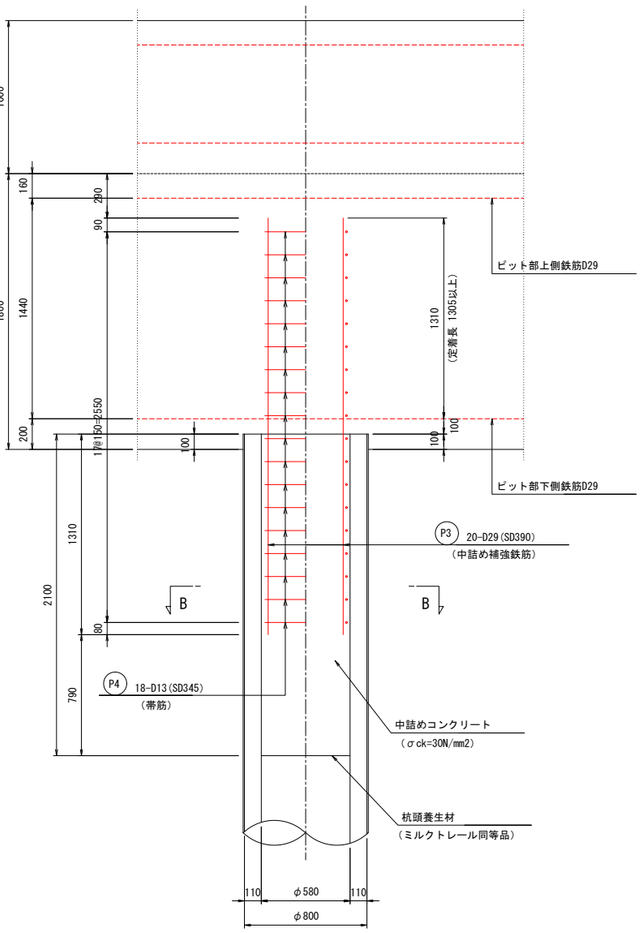
タイプA

N=107本

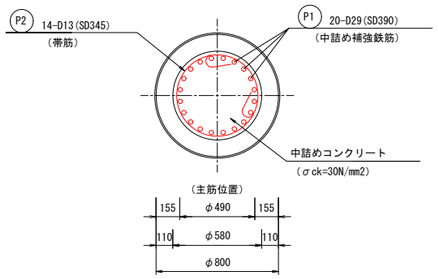


タイプB

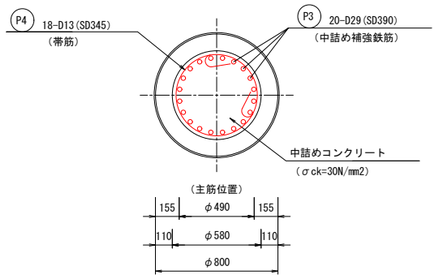
N=10本



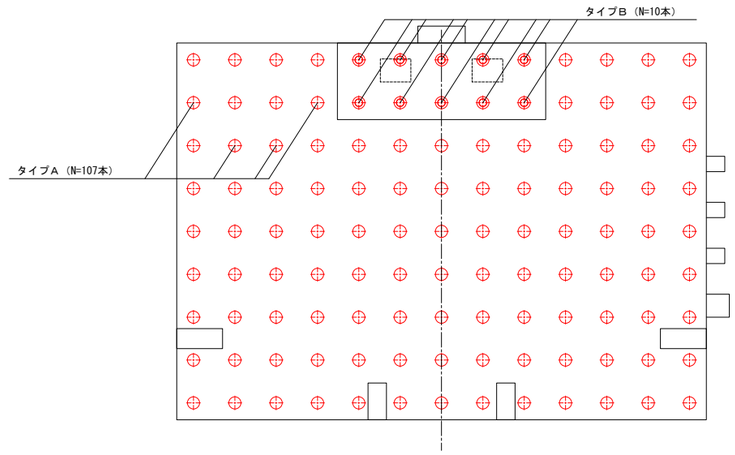
A-A



B-B

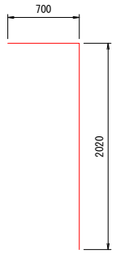


配 置 図　S=1:20

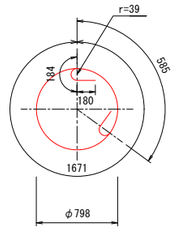


鉄筋加工図　S=1:30

P1　D29×2, 720L　2140本



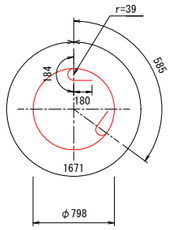
P2　D13×2, 750L　1498本



P3　D29×2, 720L　200本



P4　D13×2, 750L　180本



鉄 筋 重 量 表

異径鉄筋：SD390, SD345

記号	(mm) 径	(kg/m) 単位質量	(本) 本数	(kg) 一本当り質量	(mm) 長さ	(kg) 質量	備考
杭頭補強筋							
P 1	D29	5.040	2140	13.709	2,720	29,337	
P 2	D13	0.995	1498	2.736	2,750	4,099	帯筋
P 3	D29	5.040	200	13.709	2,720	2,742	
P 4	D13	0.995	180	2.736	2,750	492	帯筋

合計

D29　32,079 kg (SD390)

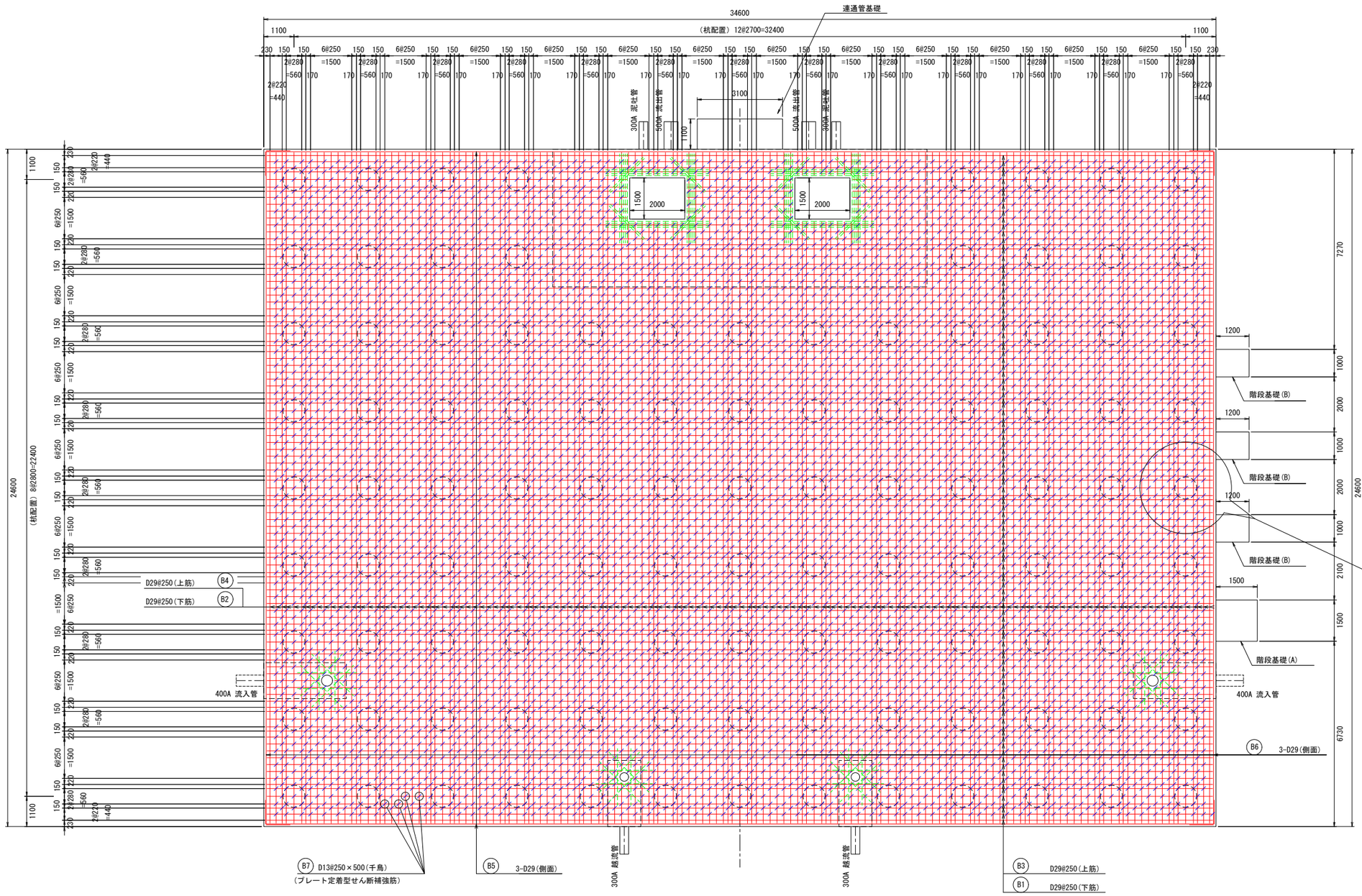
D13　4,591 kg (SD345)

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	杭頭詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	2-3-20
藍 住 町 上 下 水 道 課			

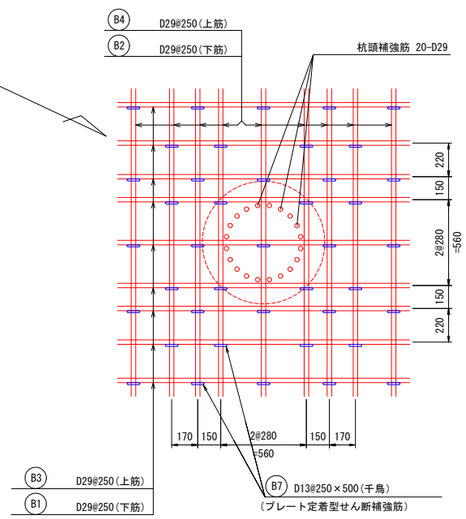
配水池 基礎版配筋図1

注）平均ピッチが@250以下になるよう
に配筋すること

平面配筋図 S=1:80



杭頭部配置詳細図 S=1:20



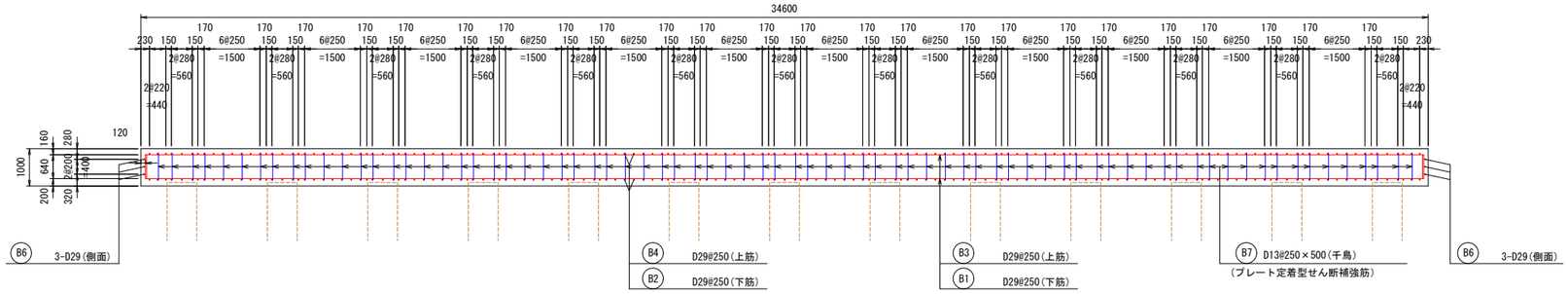
※ B8 組立筋 D13を1㎡あたり1本配置する
面積 851.2㎡ = 852本

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	基礎版配筋図1		
縮 尺	図示	図面番号	2-3-21
藍 住 町 上 下 水 道 課			

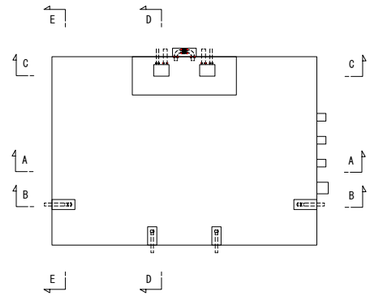
配水池 基礎版配筋図2

縮尺：1/80

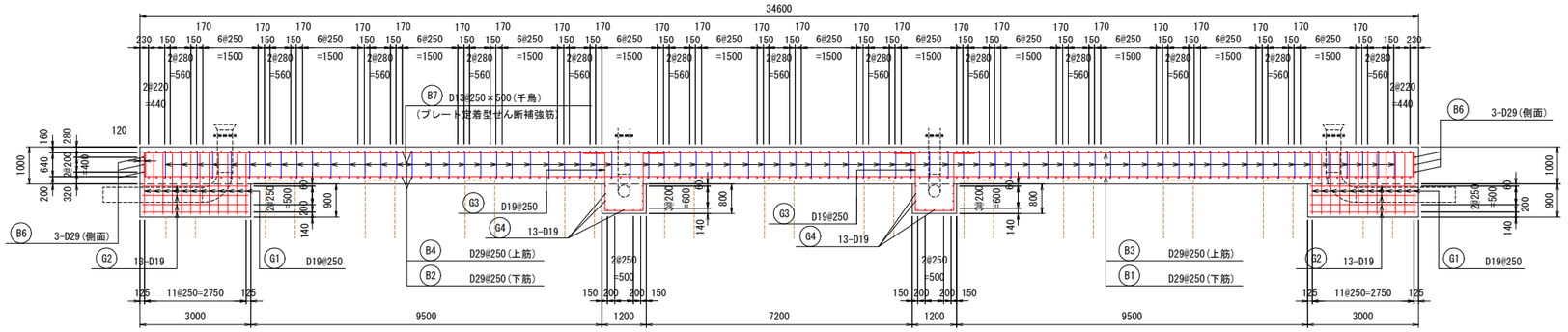
A－A断面図



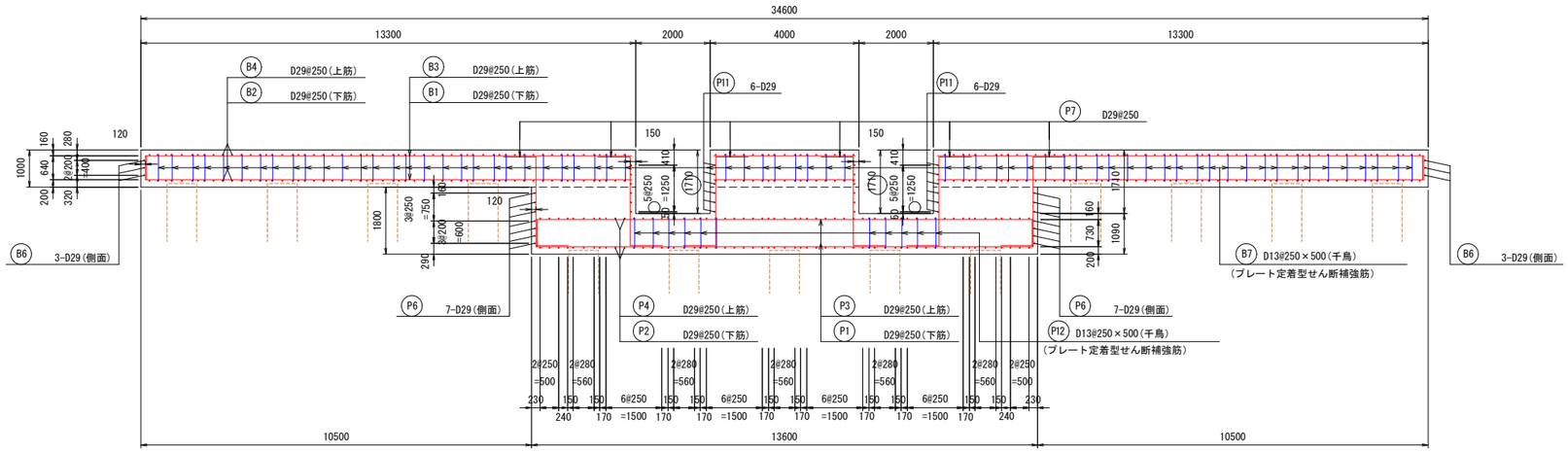
KEY PLAN



B－B断面図



C－C断面図

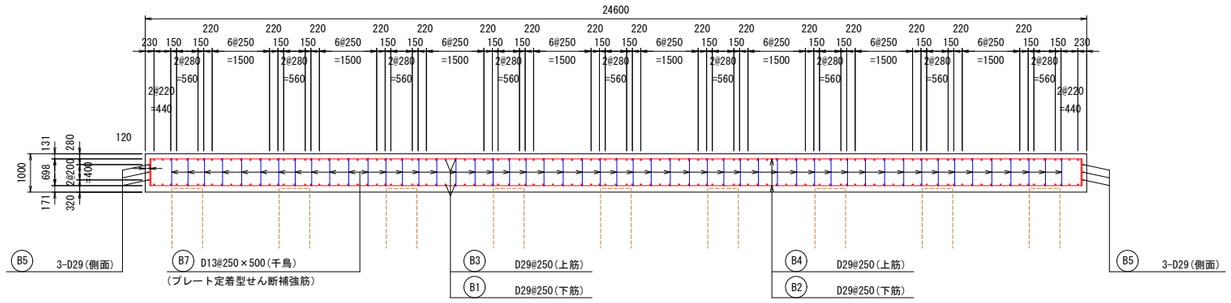


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	基礎版配筋図2		
縮　尺	1/80	図面番号	2-3-22
藍　住　町　上　下　水　道　課			

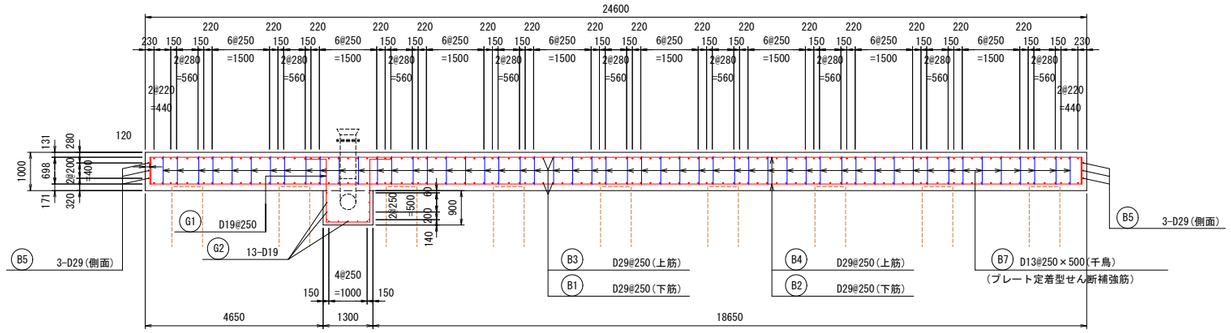
配水池 基礎版配筋図3

縮尺：1/80

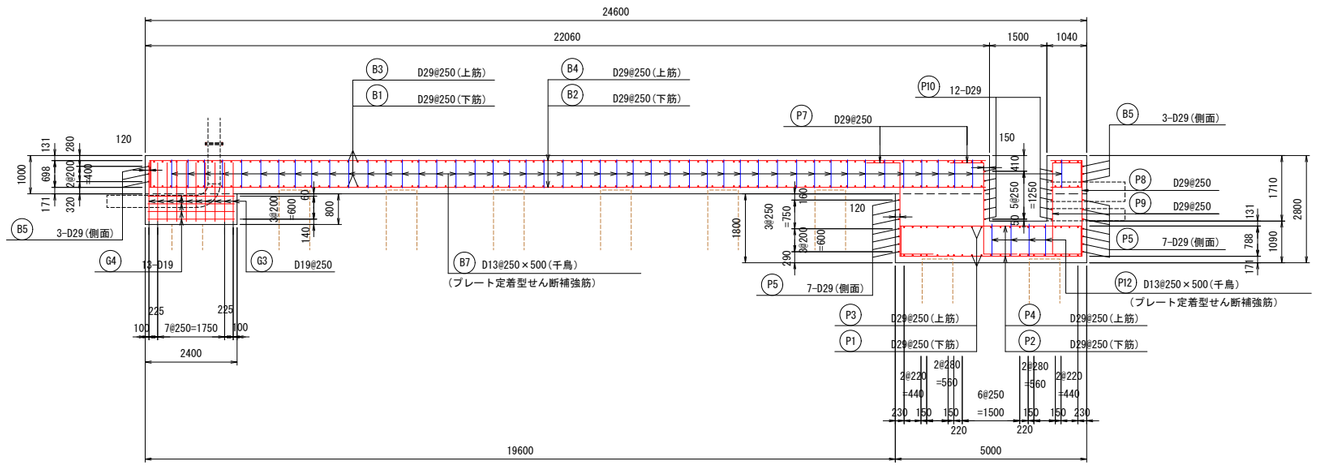
D－D断面図



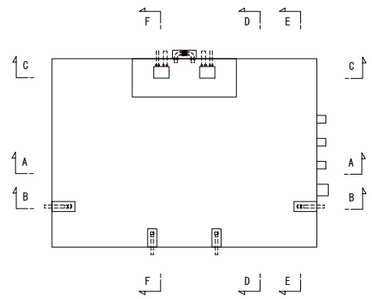
E－E断面図



F－F断面図

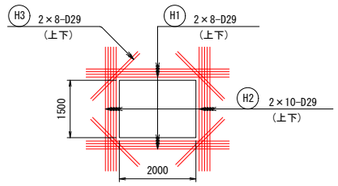


KEY PLAN

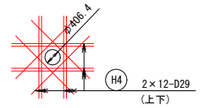


開口補強筋図

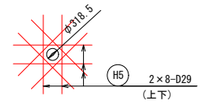
ピット部(N=2箇所)



配管400A(N=2箇所)



配管300A(N=2箇所)



注）補強鉄筋が直筋で配置出来ない部位については、
適宜曲げ加工すること。

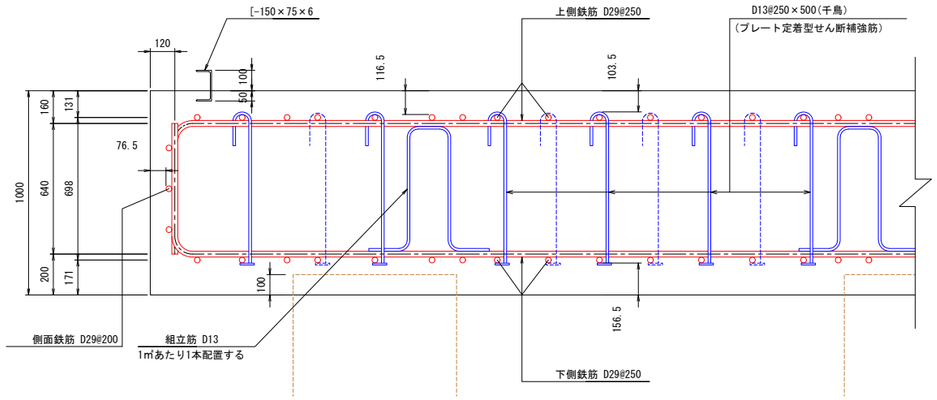
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	基礎版配筋図3		
縮　尺	1/80	図面番号	2-3-23
藍　住　町　上　下　水　道　課			

配水池 基礎版配筋図4

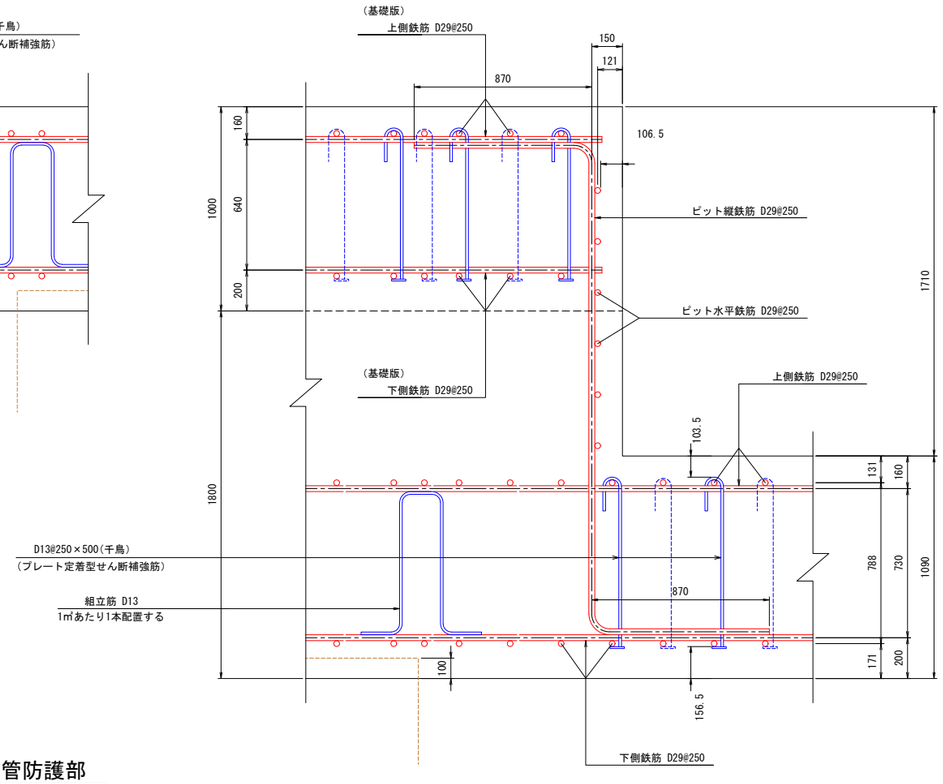
縮尺：1/15

断面配筋詳細図

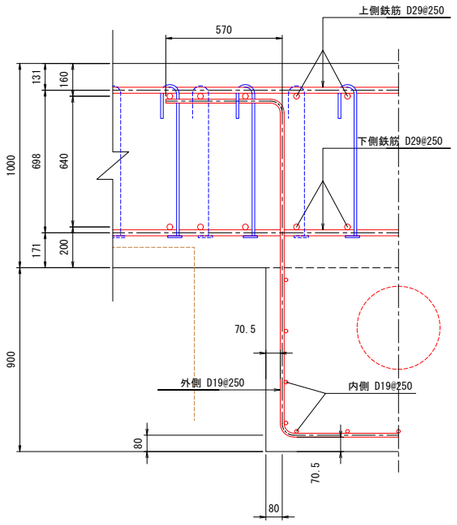
基礎版



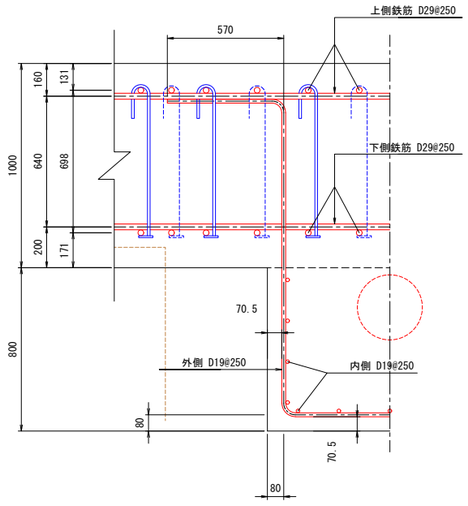
ピット部



配管防護部（流入管）



配管防護部（越流管）

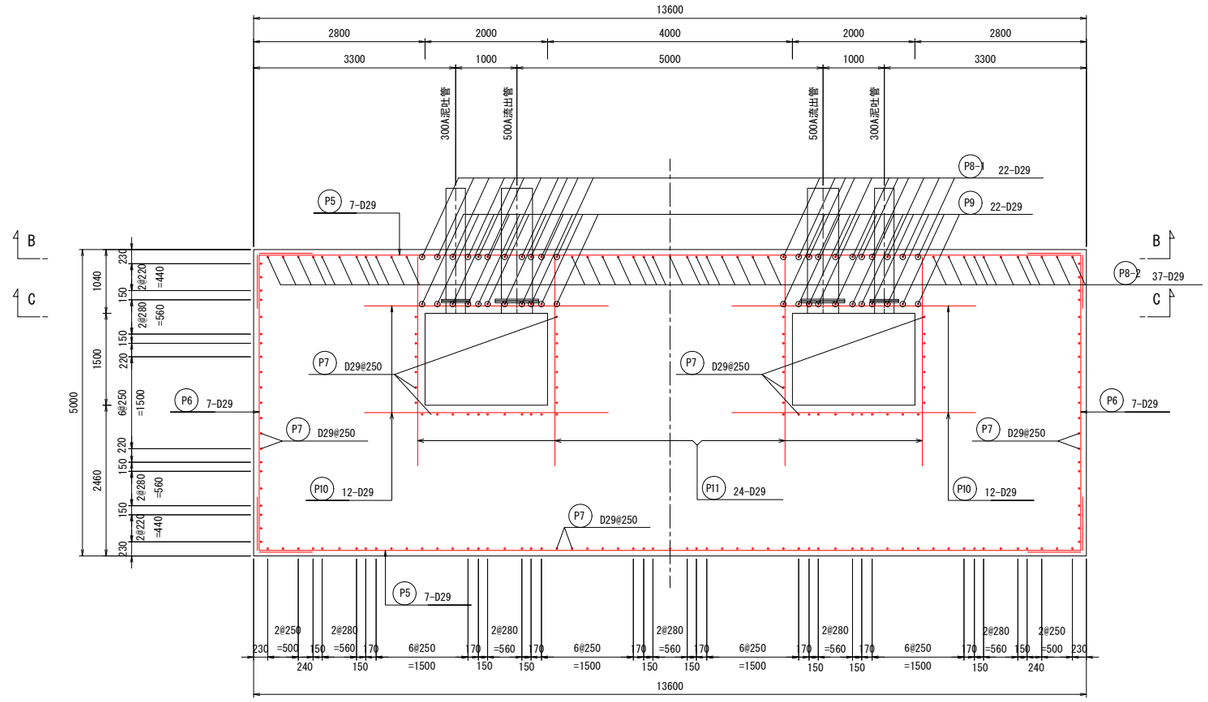


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	基礎版配筋図4		
縮　尺	1/15	図面番号	2-3-24
藍　住　町　上　下　水　道　課			

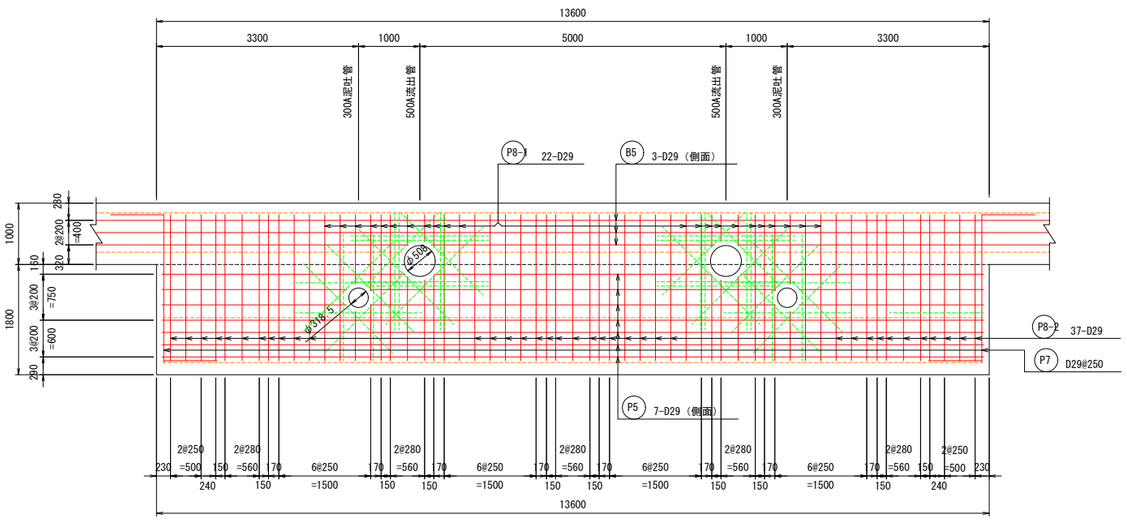
配水池 基礎版配筋図5

縮尺：1/50

A－A断面図

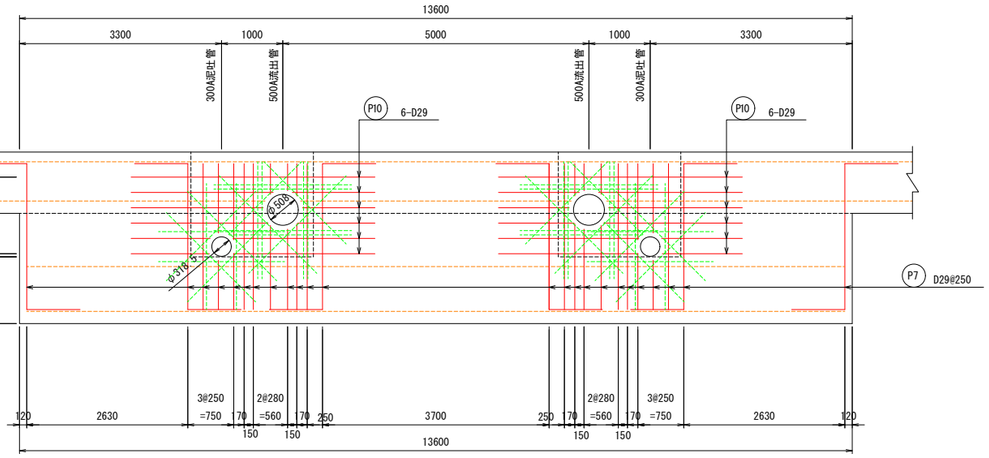


ピット部配筋図

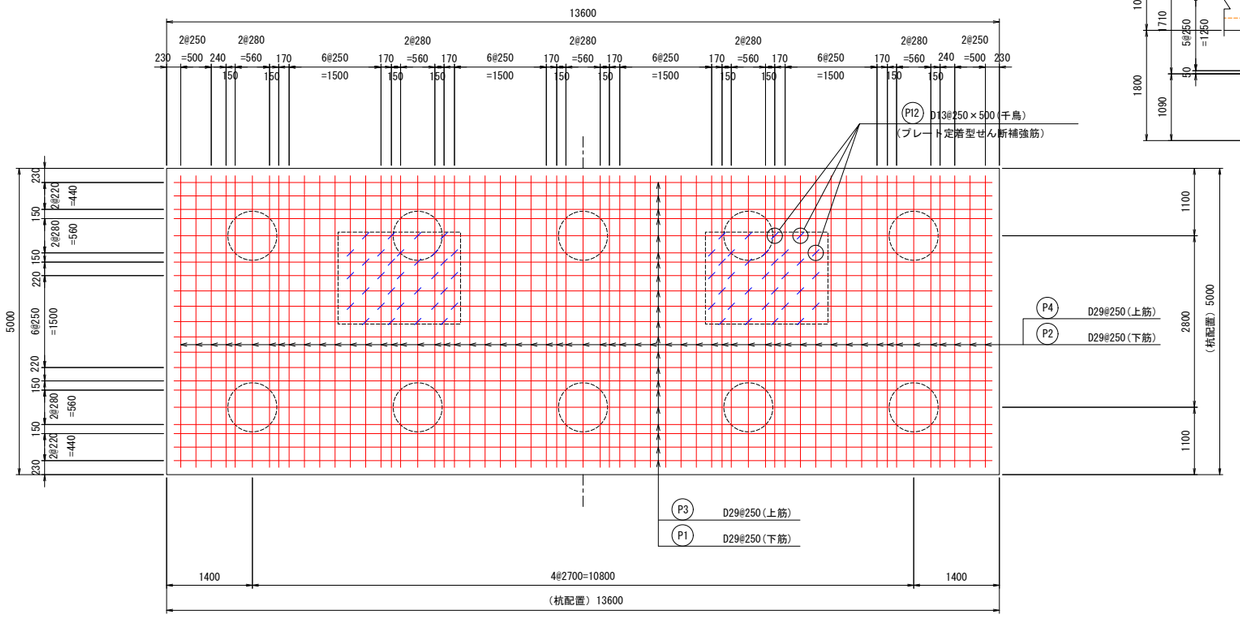


B－B側面図

C－C側面図

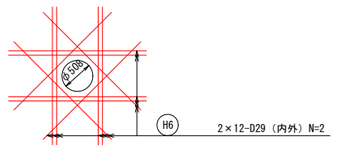


平面配筋図

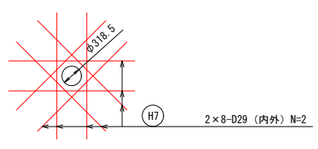


開口補強筋図

配管500A（N=2箇所）



配管300A（N=2箇所）



注）補強鉄筋が直筋で配置出来ない部位については、
適宜曲げ加工すること。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	基礎版配筋図5		
縮　尺	1/50	図面番号	2-3-25
藍　住　町　上　下　水　道　課			

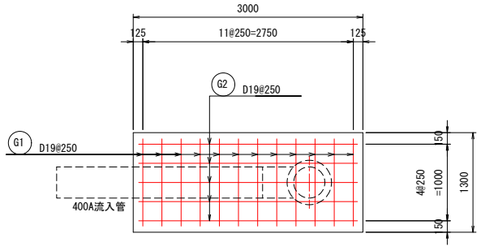
配水池 基礎版配筋図6

縮尺：1/40

流入管防護部配筋図

（N=2箇所）

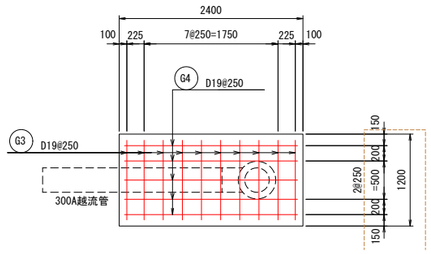
平面配筋図



越流管防護部配筋図

（N=2箇所）

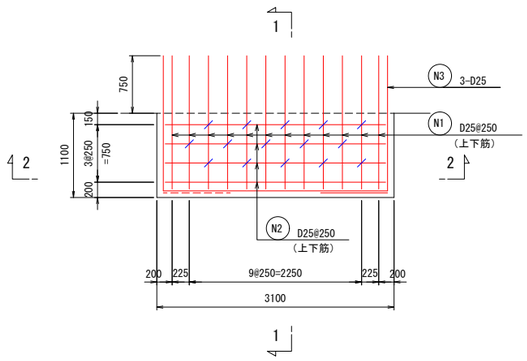
平面配筋図



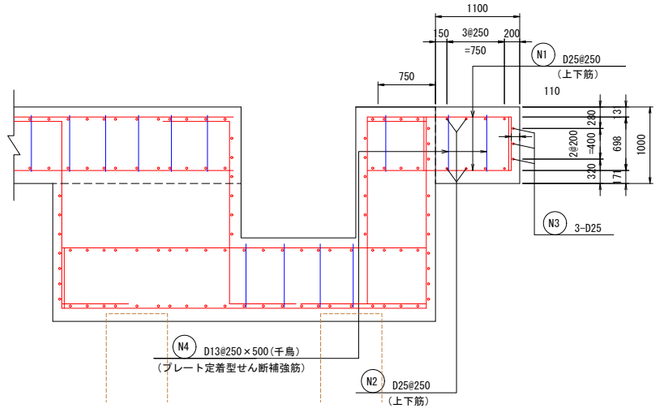
連絡管架台基礎配筋図

（N=1箇所）

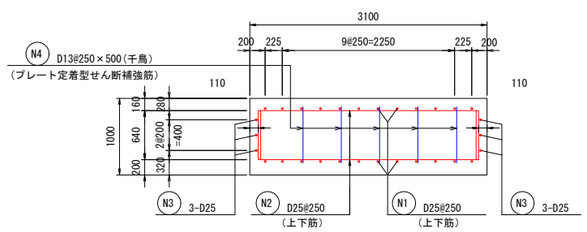
平面配筋図



1-1断面図



2-2断面図



※ N5 組立筋 D13を1㎡あたり1本配置する

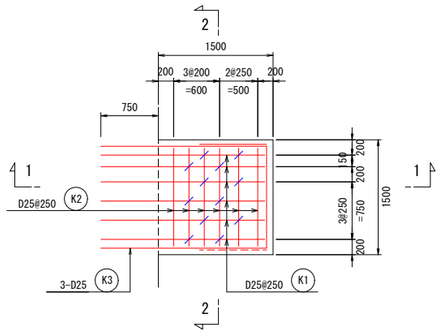
面積 3.4㎡ ＝ 4本

階段基礎部配筋図

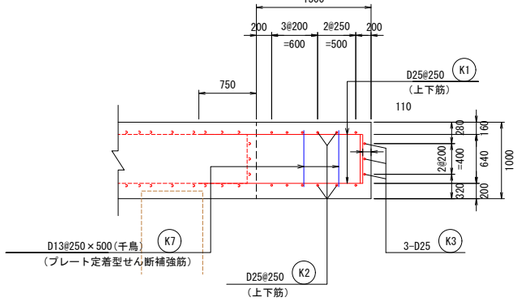
階段基礎（A）

（N=1箇所）

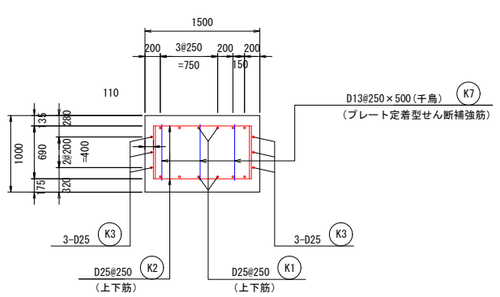
平面配筋図



1-1断面図



2-2断面図

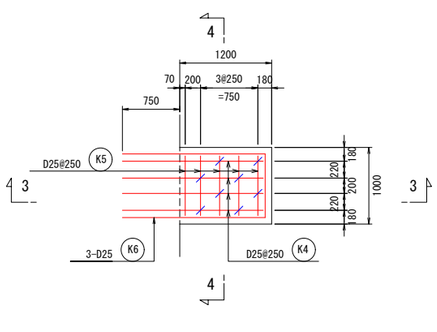


階段基礎（B）

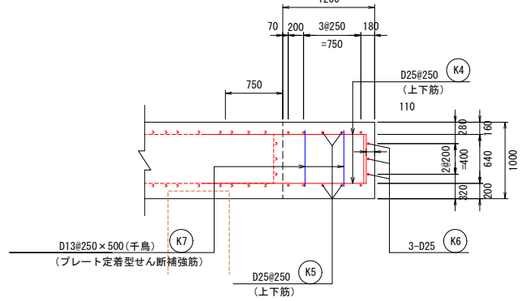
（N=3箇所）

注記：施工業者は上部階段のアンカーが
鉄筋に干渉しないか十分に確認すること。

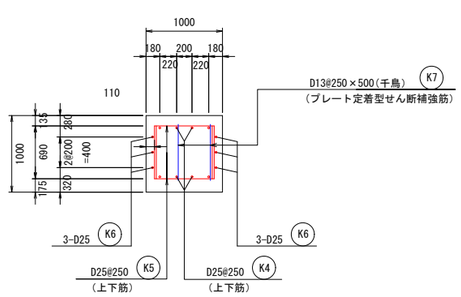
平面配筋図



3-3断面図



4-4断面図



※ K8 組立筋 D13を1㎡あたり1本配置する

階段基礎(1) ＝ 2本

階段基礎(2) ＝ 1×3箇所　3本

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	基礎版配筋図6		
縮　尺	1/40	図面番号	2-3-26
藍　住　町　上　下　水　道　課			

鉄筋加工図

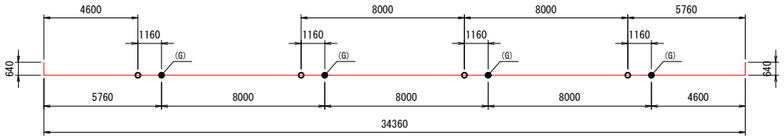
※隣合う継手は25d以上ずらすこと

配水池 基礎版配筋図7

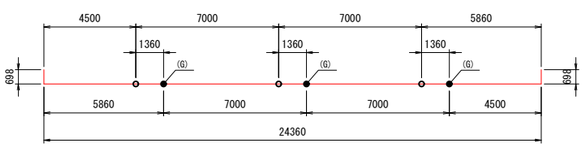
※加工図中 (G) は、ガス圧接継手を示す。

基礎版部 S=1:150

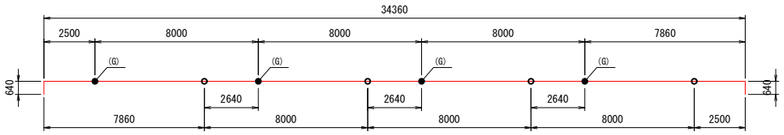
B1 D29×35, 640L 105本 注）鉄筋は相互に配置すること



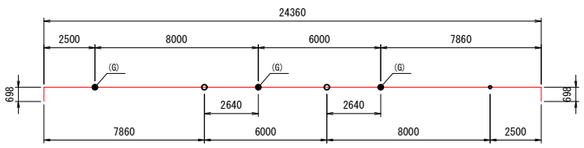
B2 D29×25, 760L 153本 注）鉄筋は相互に配置すること



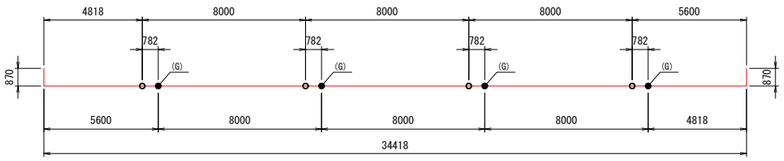
B3 D29×35, 640L 105本 注）鉄筋は相互に配置すること



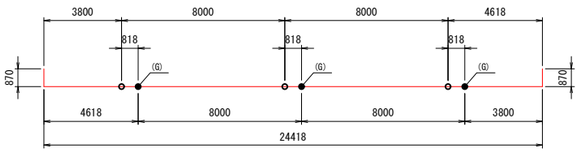
B4 D29×25, 760L 153本 注）鉄筋は相互に配置すること



B5 D29×36, 160L 6本 注）鉄筋は相互に配置すること

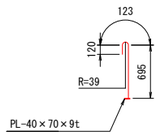


B6 D29×26, 160L 6本 注）鉄筋は相互に配置すること



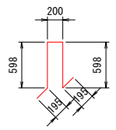
B7 D13× 940L 7699本 S=1:40

（プレート定着型せん断補強鉄筋）



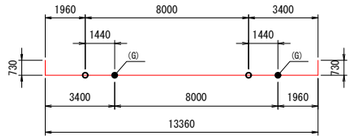
B8 D13×1, 790L 852本 S=1:40

（組立筋 1本/m2）

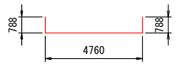


ピット部 S=1:150

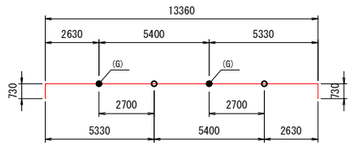
P1 D29×14, 820L 21本 注）鉄筋は相互に配置すること



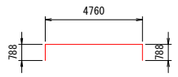
P2 D29×6, 340L 59本



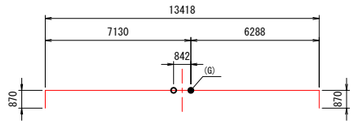
P3 D29×14, 820L 21本 注）鉄筋は相互に配置すること



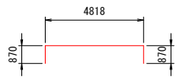
P4 D29×6, 340L 59本



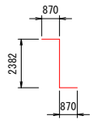
P5 D29×15, 160L 14本 注）鉄筋は相互に配置すること



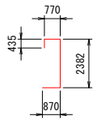
P6 D29×6, 560L 14本



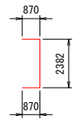
P7 D29×4, 130L 151本



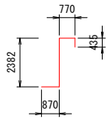
P8-1 D29×4, 460L 22本



P8-2 D29×4, 130L 37本



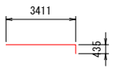
P9 D29×4, 460L 22本



P10 D29×3, 990L 24本

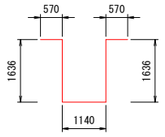


P11 D29×3, 850L 24本

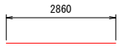


配管防護部 S=1:80

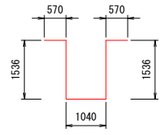
G1 D19×5, 560L 24本



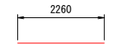
G2 D19×2, 860L 26本



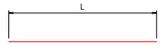
G3 D19×5, 260L 20本



G4 D19×2, 260L 26本



開口部補強筋 S=1:80



H1 D29×3, 740L 32本 （ピット）

H2 D29×3, 240L 40本 （ピット）

H3 D29×1, 740L 32本 （ピット）

H4 D29×2, 150L 48本 （400A）

H5 D29×2, 060L 32本 （300A）

H6 D29×2, 250L 48本 （500A）

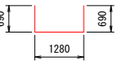
H7 D29×2, 060L 32本 （300A）

階段基礎部 S=1:80

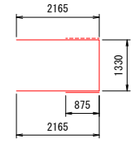
K1 D25×2, 780L 12本



K2 D25×2, 660L 12本



K3 D25×6, 540L 3本



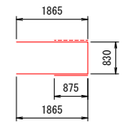
K4 D25×2, 480L 24本



K5 D25×2, 160L 30本

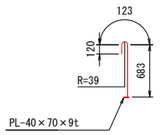


K6 D25×5, 440L 9本



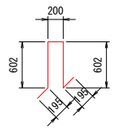
K7 D13× 930L 36本 S=1:40

（プレート定着型せん断補強鉄筋）



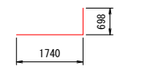
K8 D13×1, 800L 5本 S=1:40

（組立筋 1本/m2）

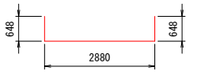


連絡管架台基礎部 S=1:80

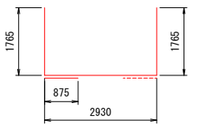
N1 D25×2, 440L 24本



N2 D25×4, 180L 8本

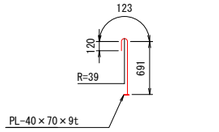


N3 D25×7, 340L 3本



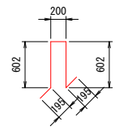
N4 D13× 940L 15本 S=1:40

（プレート定着型せん断補強鉄筋）



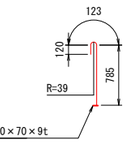
N5 D13×1, 800L 4本 S=1:40

（組立筋 1本/m2）



B7 D13× 940L 7699本 S=1:40

（プレート定着型せん断補強鉄筋）

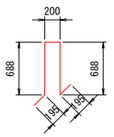


P12 D13×1, 030L 62本 S=1:40

（プレート定着型せん断補強鉄筋）

P13 D13×1, 970L 68本 S=1:40

（組立筋 1本/m2）



工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	基礎版配筋図7		
縮 尺	図示	図面番号	2-3-27
藍 住 町 上 下 水 道 課			

配水池 基礎版配筋図8

鉄 筋 重 量 表

異径鉄筋：SD345　　定着長 30d　　継手長 35d

記号	(mm) 径	(kg/m) 単位質量	(本) 本数	(kg) 一本当り質量	(mm) 長さ	(kg) 質量	備考
基礎版部							
B 1	D29	5.040	105	179.626	35,640	18,861	ガス圧接(4箇所/本)
B 2	D29	5.040	153	129.830	25,760	19,864	ガス圧接(3箇所/本)
B 3	D29	5.040	105	179.626	35,640	18,861	ガス圧接(4箇所/本)
B 4	D29	5.040	153	129.830	25,760	19,864	ガス圧接(3箇所/本)
B 5	D29	5.040	6	182.246	36,160	1,093	ガス圧接(4箇所/本)
B 6	D29	5.040	6	131.846	26,160	791	ガス圧接(3箇所/本)
B 7	D13	0.995	7,699	0.935	940	7,199	せん断補強筋
B 8	D13	0.995	852	1.781	1,790	1,517	組立筋
(控除)							
B 1	D29	5.040	-14	11.088	2,200	-155	
B 2	D29	5.040	-20	8.568	1,700	-171	
B 3	D29	5.040	-14	11.088	2,200	-155	
B 4	D29	5.040	-20	8.568	1,700	-171	
ピット部							
P 1	D29	5.040	21	74.693	14,820	1,569	ガス圧接(2箇所/本)
P 2	D29	5.040	59	31.954	6,340	1,885	
P 3	D29	5.040	21	74.693	14,820	1,569	ガス圧接(2箇所/本)
P 4	D29	5.040	59	31.954	6,340	1,885	
P 5	D29	5.040	14	76.406	15,160	1,070	ガス圧接(1箇所/本)
P 6	D29	5.040	14	33.062	6,560	463	
P 7	D29	5.040	151	20.815	4,130	3,143	
P 8-1	D29	5.040	22	22.478	4,460	495	
P 8-2	D29	5.040	37	20.815	4,130	770	
P 9	D29	5.040	22	22.478	4,460	495	
P 10	D29	5.040	24	20.110	3,990	483	
P 11	D29	5.040	24	19.404	3,850	466	
P 12	D13	0.995	62	1.025	1,030	64	せん断補強筋
P 13	D13	0.995	68	1.960	1,970	133	組立筋
配管防護部							
G 1	D19	2.250	24	12.510	5,560	300	
G 2	D19	2.250	26	6.435	2,860	167	
G 3	D19	2.250	20	11.835	5,260	237	
G 4	D19	2.250	26	5.085	2,260	132	
開口部補強筋							
H 1	D29	5.040	32	18.850	3,740	603	
H 2	D29	5.040	40	16.330	3,240	653	
H 3	D29	5.040	32	8.770	1,740	281	
H 4	D29	5.040	48	10.836	2,150	520	
H 5	D29	5.040	32	10.382	2,060	332	
H 6	D29	5.040	48	11.340	2,250	544	
H 7	D29	5.040	32	10.382	2,060	332	

異径鉄筋：SD345　　定着長 30d　　継手長 35d

記号	(mm) 径	(kg/m) 単位質量	(本) 本数	(kg) 一本当り質量	(mm) 長さ	(kg) 質量	備考
階段基礎部							
K 1	D25	3.980	12	11.064	2,780	133	
K 2	D25	3.980	12	10.587	2,660	127	
K 3	D25	3.980	3	26.029	6,540	78	
K 4	D25	3.980	24	9.870	2,480	237	
K 5	D25	3.980	30	8.597	2,160	258	
K 6	D25	3.980	9	21.651	5,440	195	
K 7	D13	0.995	36	0.925	930	33	せん断補強筋
K 8	D13	0.995	5	1.791	1,800	9	組立筋
連通管基礎部							
N 1	D25	3.980	24	9.711	2,440	233	
N 2	D25	3.980	8	16.636	4,180	133	
N 3	D25	3.980	3	29.213	7,340	88	
N 4	D13	0.995	15	0.935	940	14	せん断補強筋
N 5	D13	0.995	4	1.791	1,800	7	組立筋

D 29	96,240	kg	(SD345)
D25	1,482	kg	(SD345)
D19	836	kg	(SD345)
D 13	8,976	kg	(SD345)
合計	107,534	kg	

ガス圧接工　　(D29)　　1,898　箇所

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	基礎版配筋図8		
縮　尺	NON	図面番号	2-3-28
藍　住　町　上　下　水　道　課			

土工平面図 S=1:150

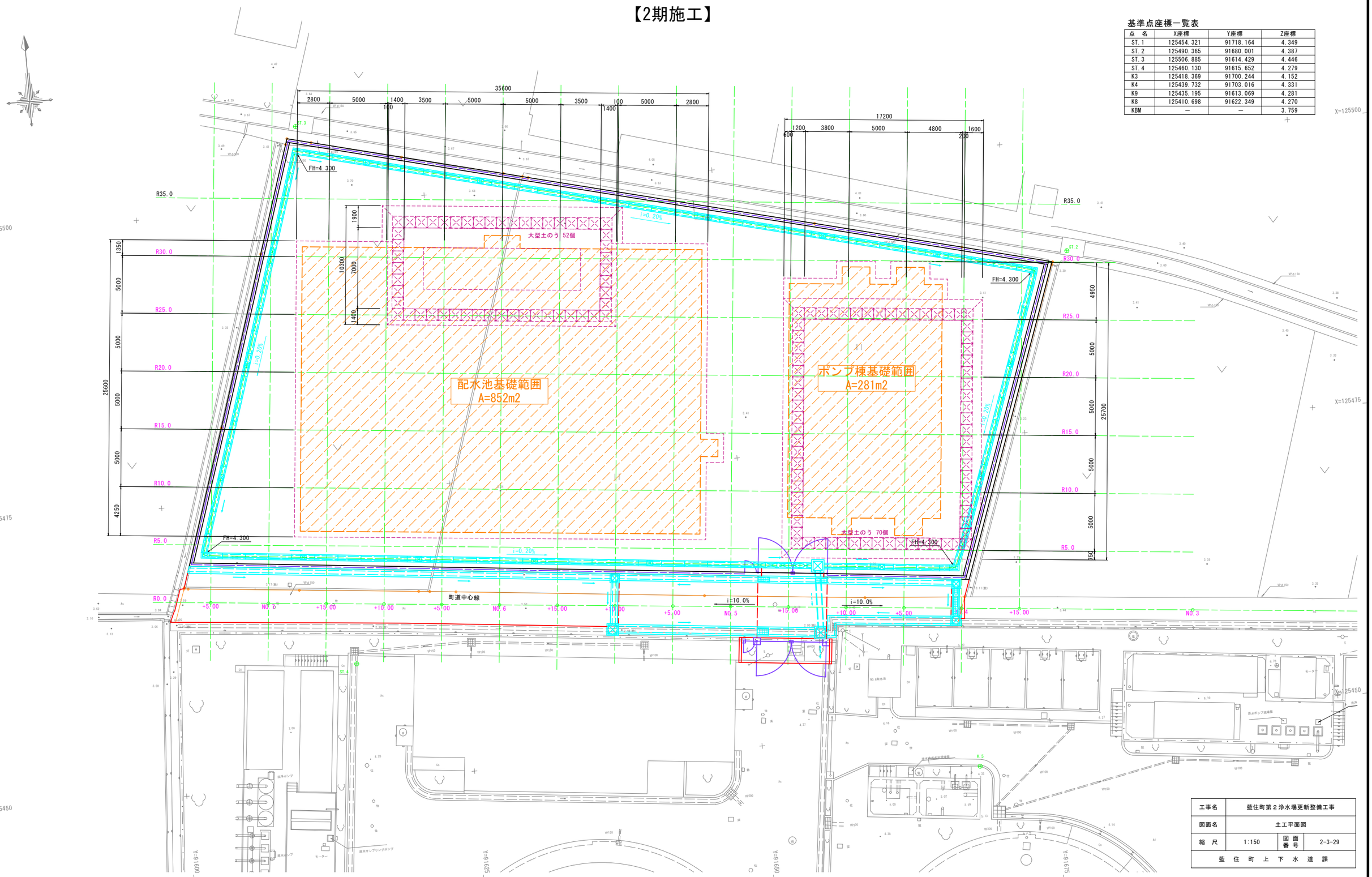
【2期施工】

測量中心線　主要点座標一覧表

主要点名称		測点	追加距離	X座標	Y座標	線形要素
BP		NO.0+ 0.000	0.000	125452.819	91747.879	R=∞
EP		NO.7+11.576	151.576	125467.112	91596.979	

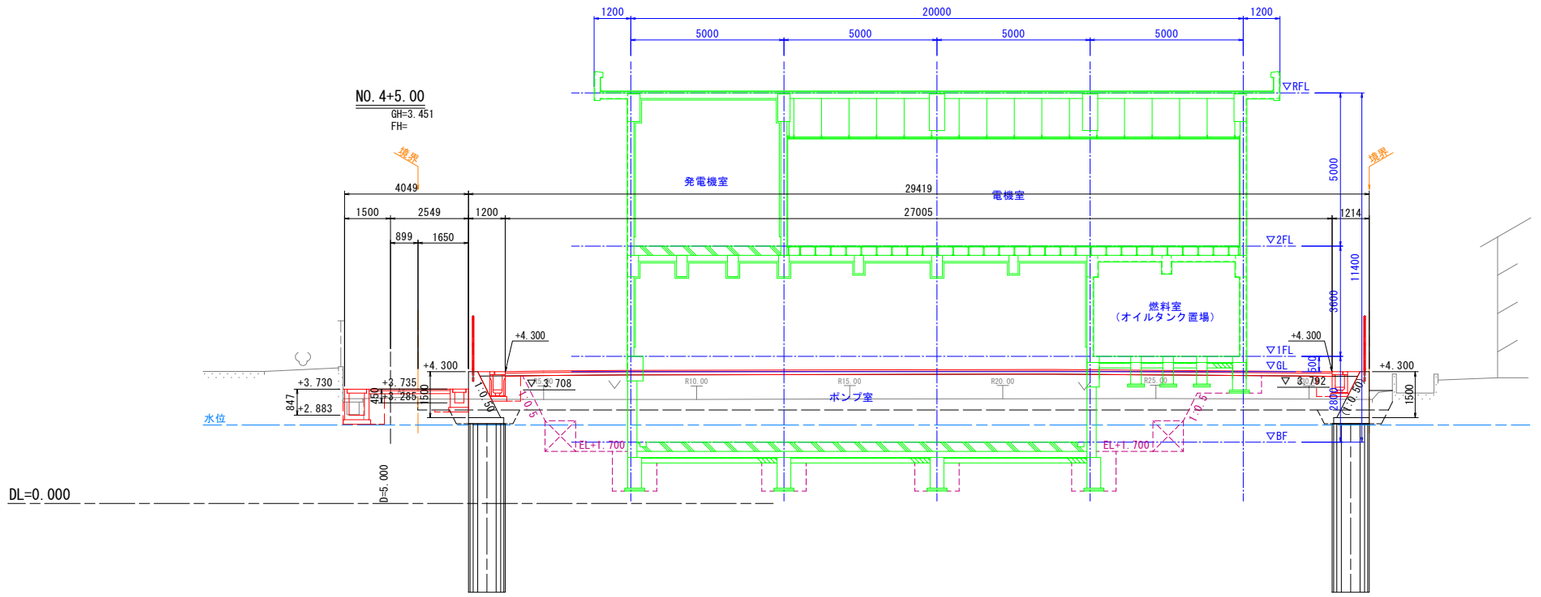
基準点座標一覧表

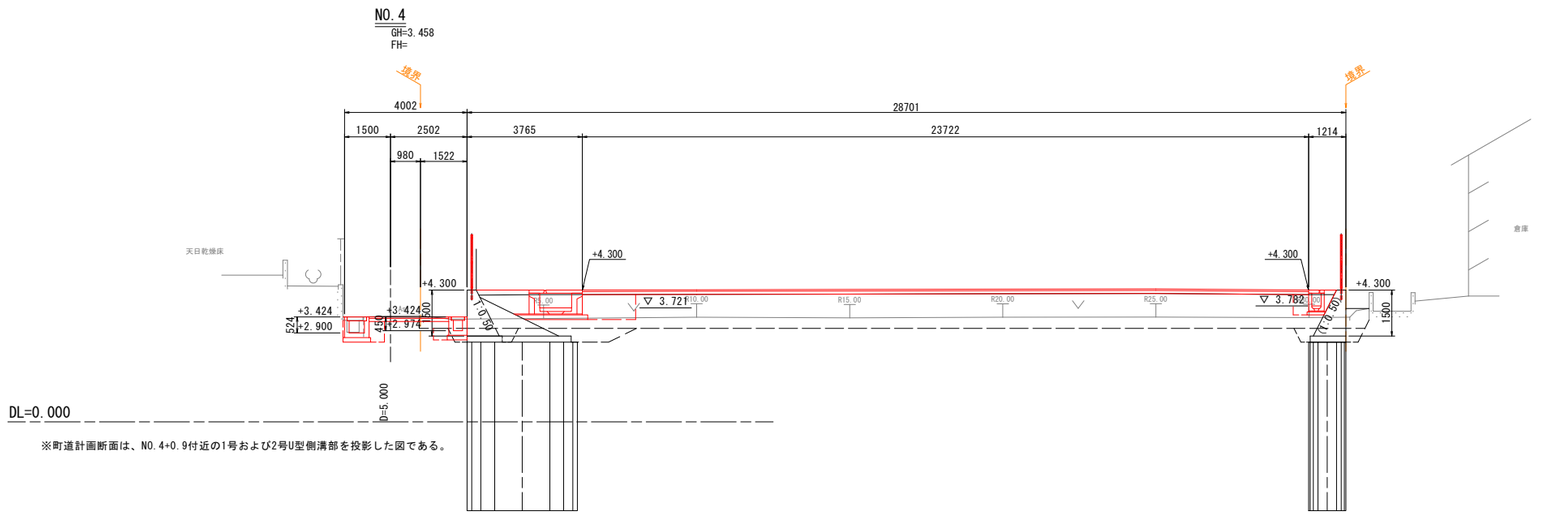
点　名	X座標	Y座標	Z座標
ST.1	125454.321	91718.164	4.349
ST.2	125490.365	91680.001	4.387
ST.3	125506.885	91614.429	4.446
ST.4	125460.130	91615.652	4.279
K3	125418.369	91700.244	4.152
K4	125439.732	91703.016	4.331
K9	125435.195	91613.069	4.281
K8	125410.698	91622.349	4.270
KBM	—	—	3.759



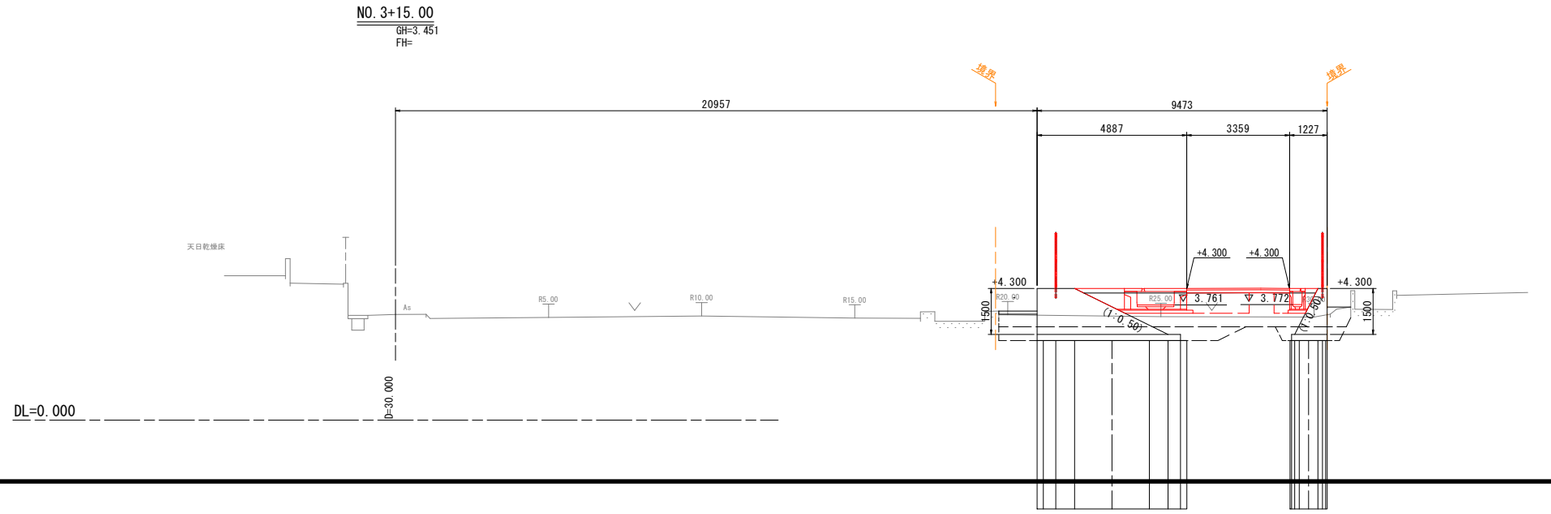
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	土工平面図		
縮　尺	1:150	図面番号	2-3-29
藍　住　町　上　下　水　道　課			

横断面図1　S=1:100





※町道計画断面は、NO.4+0.9付近の1号および2号U型側溝部を投影した図である。



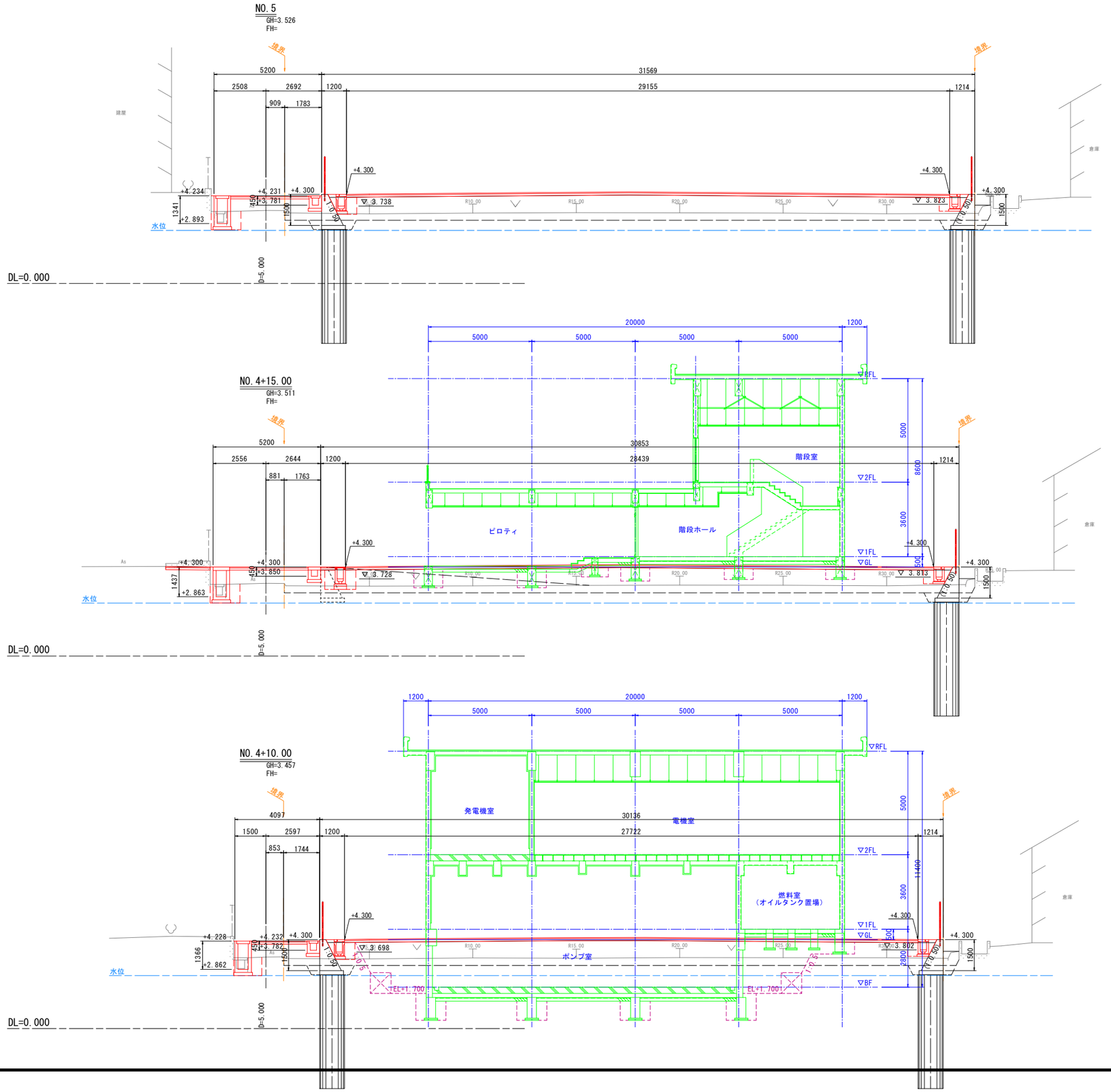
施設

	名称	規格	数量
作業土工	床掘	土砂	64.8
	埋戻	W＜1.0	
		W≧4.0	18.6

NO.3+15～NO.4+5

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	横断面図1		
縮　尺	1/100	図面番号	2-3-30
藍　住　町　上　下　水　道　課			

横断面図2　S=1:100



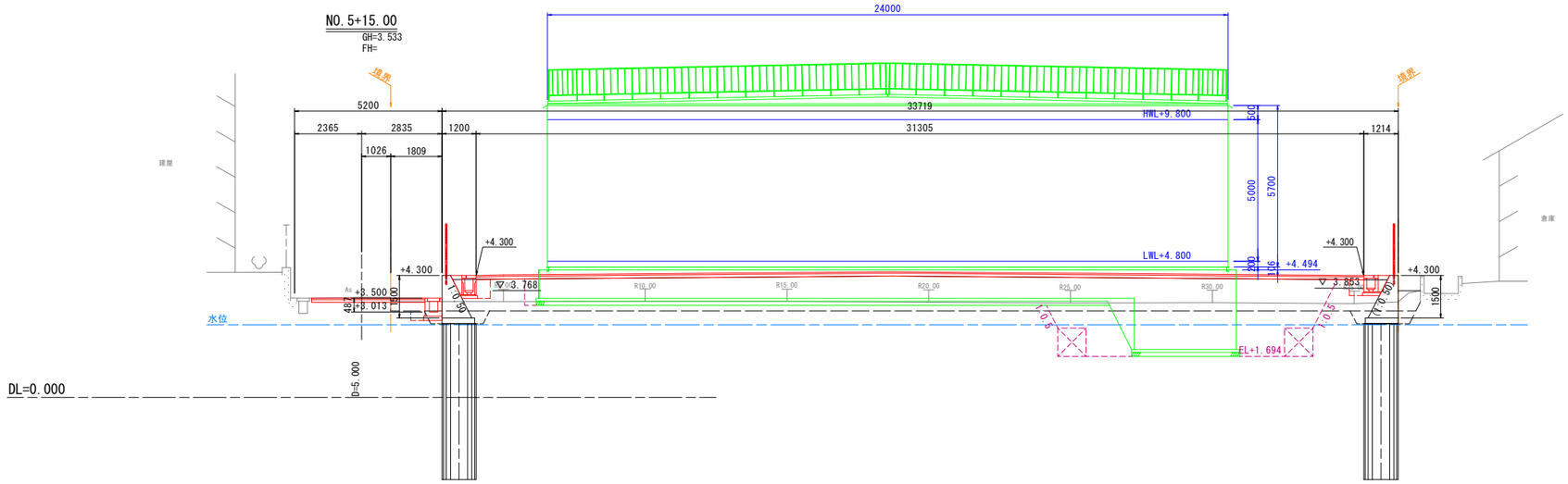
施設

	名称	規格	数量
作業土工	床掘	土砂	65.2
	埋戻	W＜1.0	
		W≧4.0	18.6

NO.4+10～NO.5

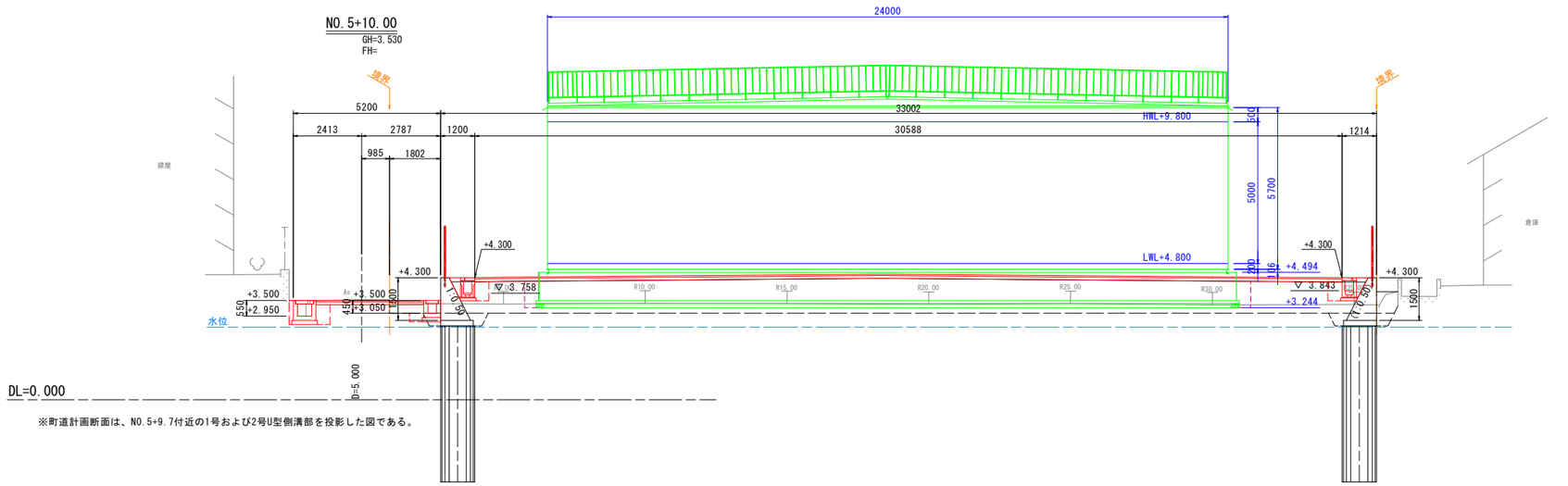
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	横断面図2		
縮　尺	1/100	図面番号	2-3-31
藍　住　町　上　下　水　道　課			

横断面図3　S=1:100



施設

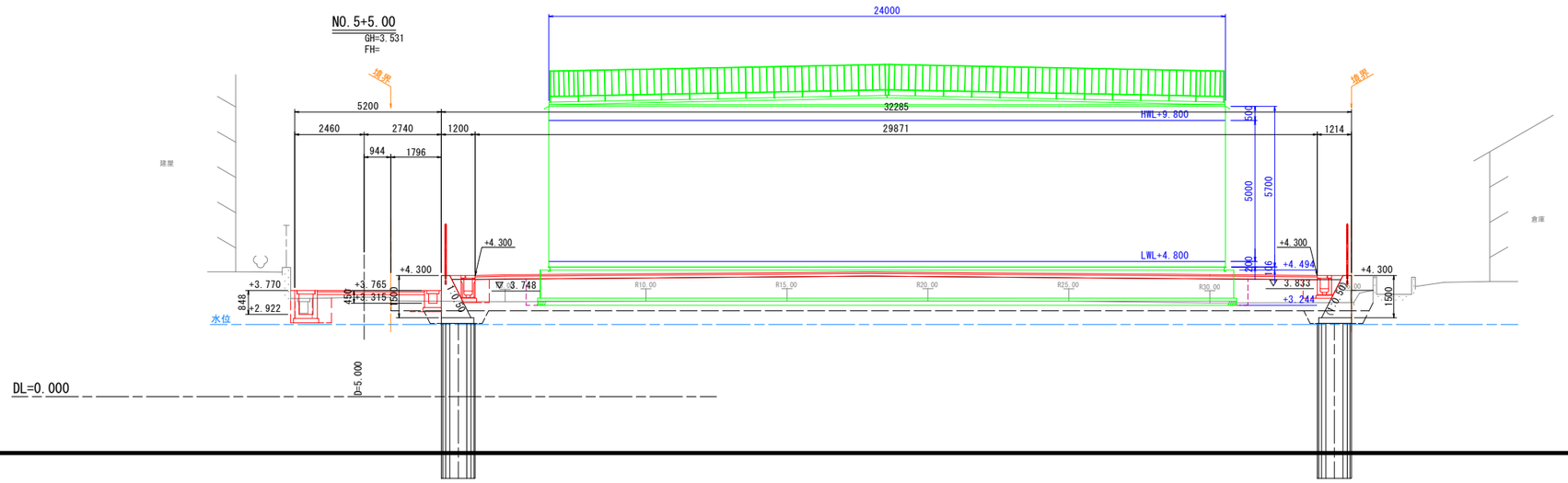
	名称	規格	数量
作業土工	床掘	土砂	44.4
	埋戻	W＜1.0	
		W≧4.0	12.8



※町道計画断面は、NO.5+9.7付近の1号および2号U型側溝部を投影した図である。

施設

	名称	規格	数量
作業土工	床掘	土砂	25.2
	埋戻	W＜1.0	
		W≧4.0	0.9



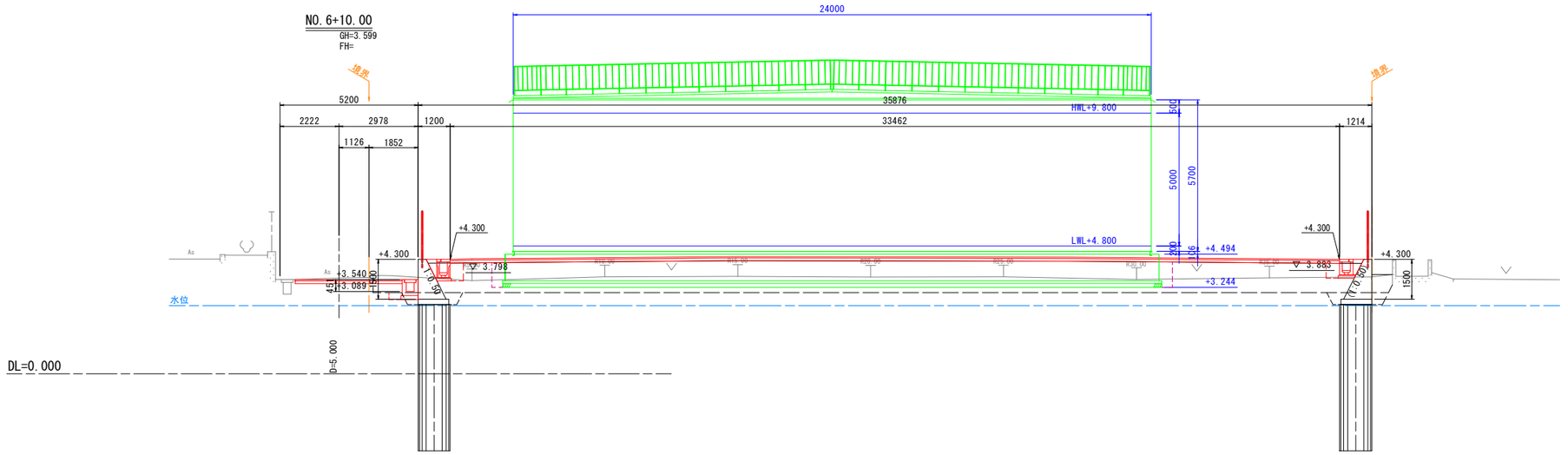
施設

	名称	規格	数量
作業土工	床掘	土砂	25.1
	埋戻	W＜1.0	
		W≧4.0	0.9

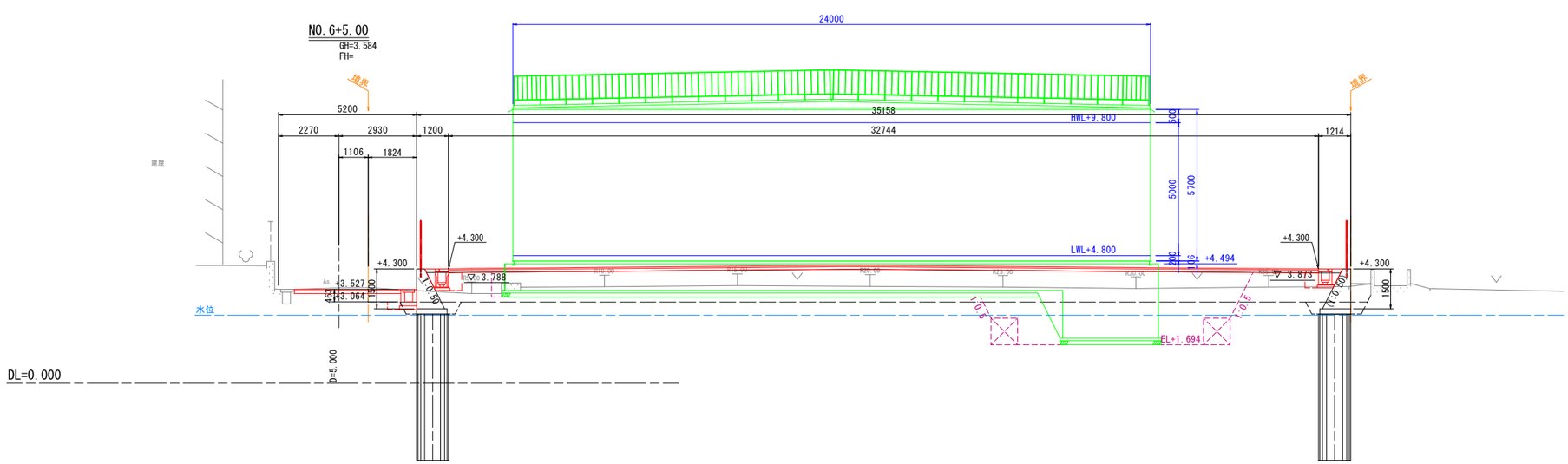
NO.5+5～NO.5+15

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	横断面図3		
縮　尺	1/100	図面番号	2-3-32
藍　住　町　上　下　水　道　課			

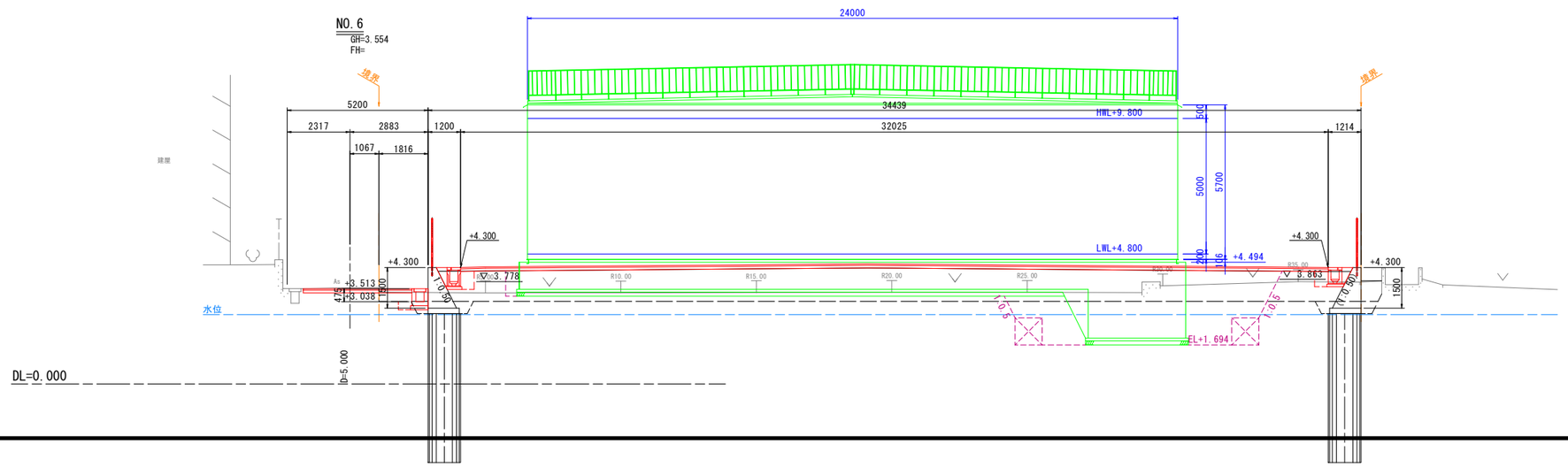
横断面図4　S=1:100



施設			
	名称	規格	数量
作業土工	床掘	土砂	25.1
	埋戻	W＜1.0	
		W≧4.0	0.9



施設			
	名称	規格	数量
作業土工	床掘	土砂	44.6
	埋戻	W＜1.0	
		W≧4.0	12.8

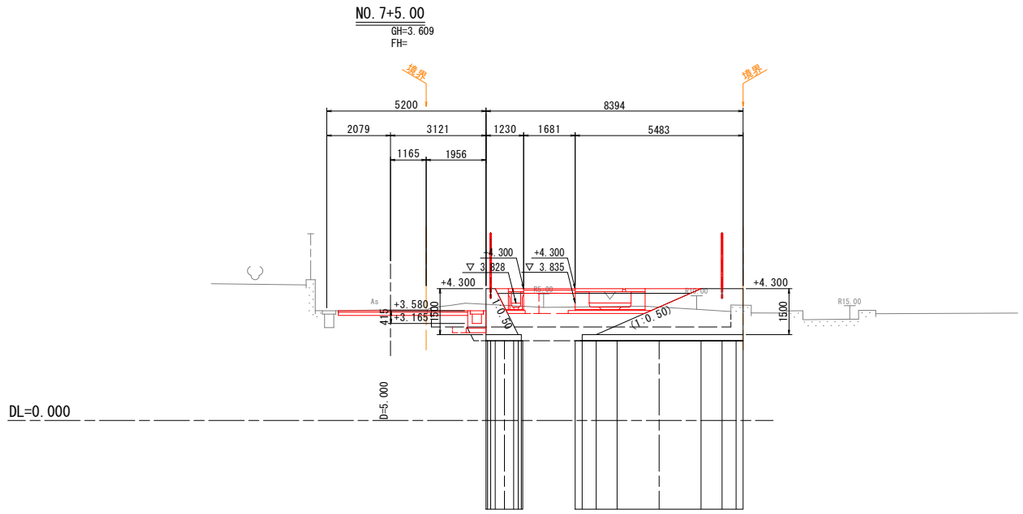


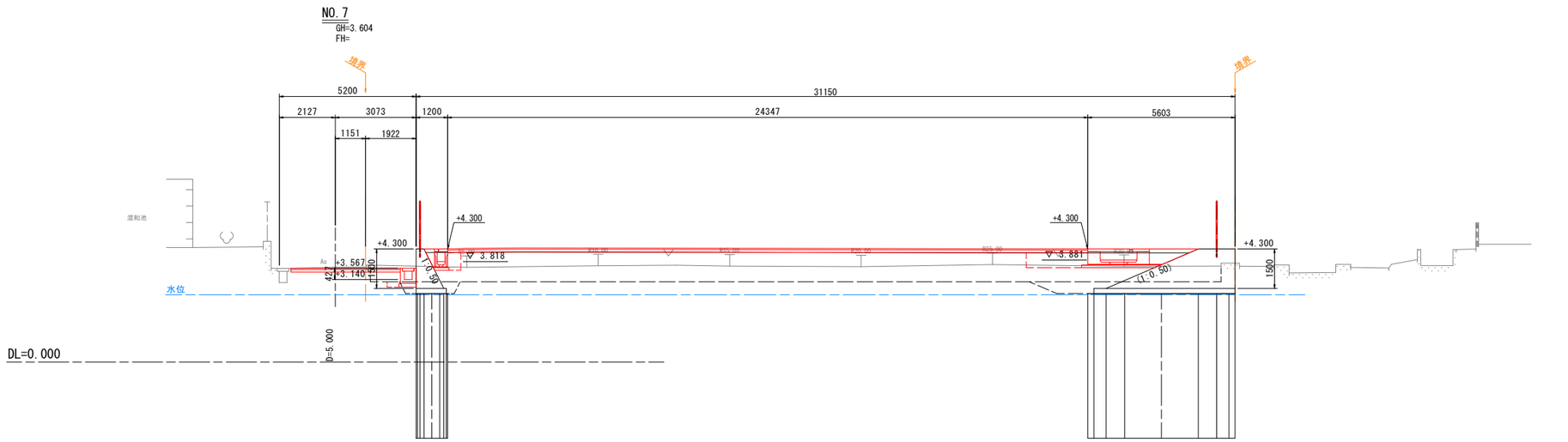
施設			
	名称	規格	数量
作業土工	床掘	土砂	44.5
	埋戻	W＜1.0	
		W≧4.0	12.8

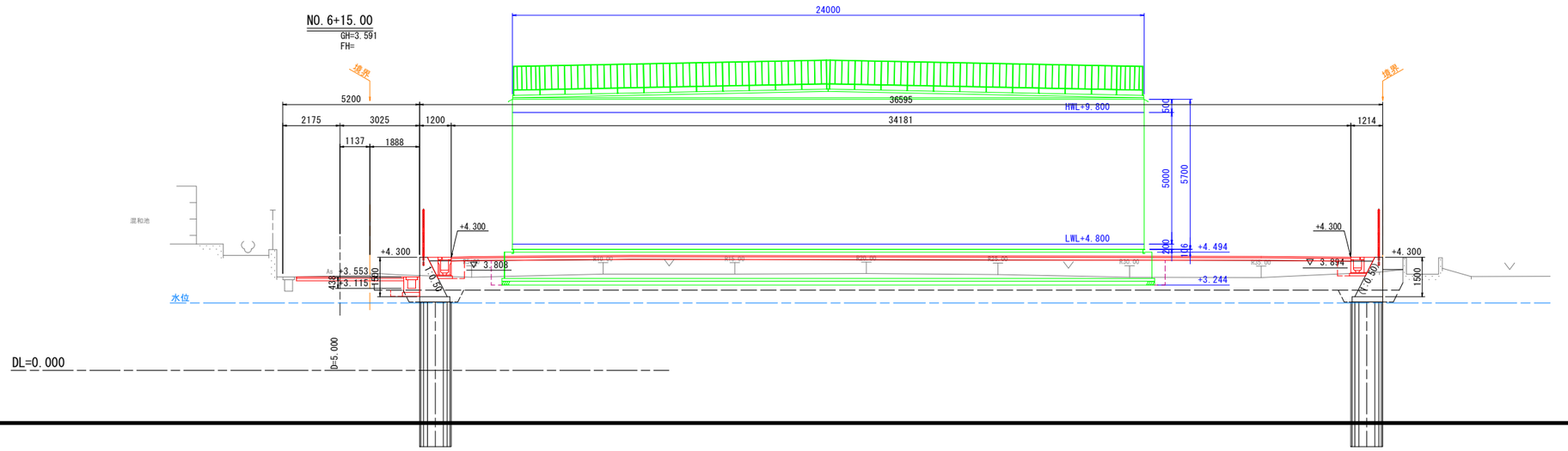
NO.6～NO.6+10

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	横断面図4		
縮　尺	1/100	図面番号	2-3-33
藍　住　町　上　下　水　道　課			

横断面図5　S=1:100







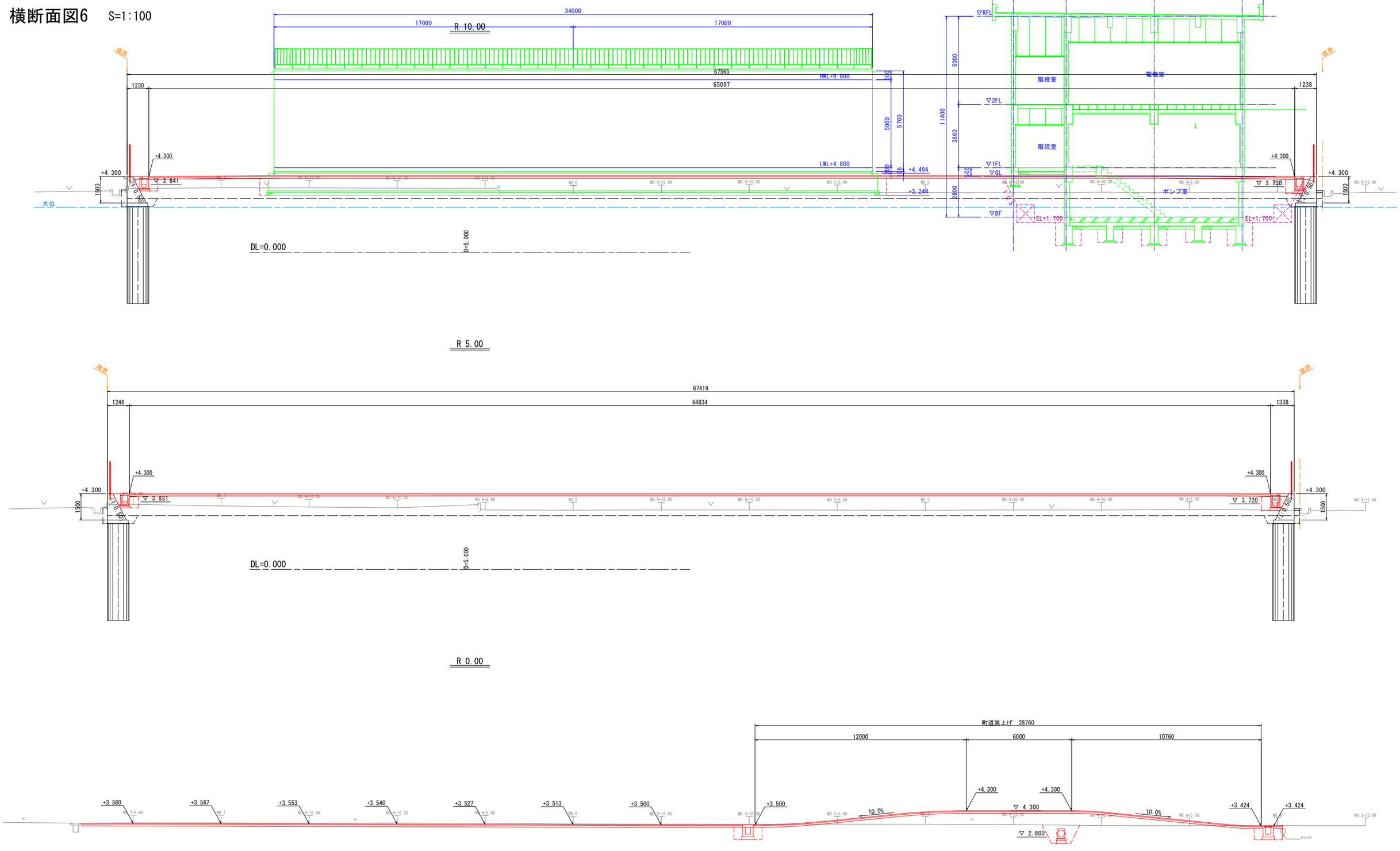
施設

	名称	規格	数量
作業土工	床掘	土砂	24.5
	埋戻	W＜1.0	
		W≧4.0	0.9

NO.6+15～NO.7+5

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	横断面図5		
縮　尺	1/100	図面番号	2-3-34
藍　住　町　上　下　水　道　課			

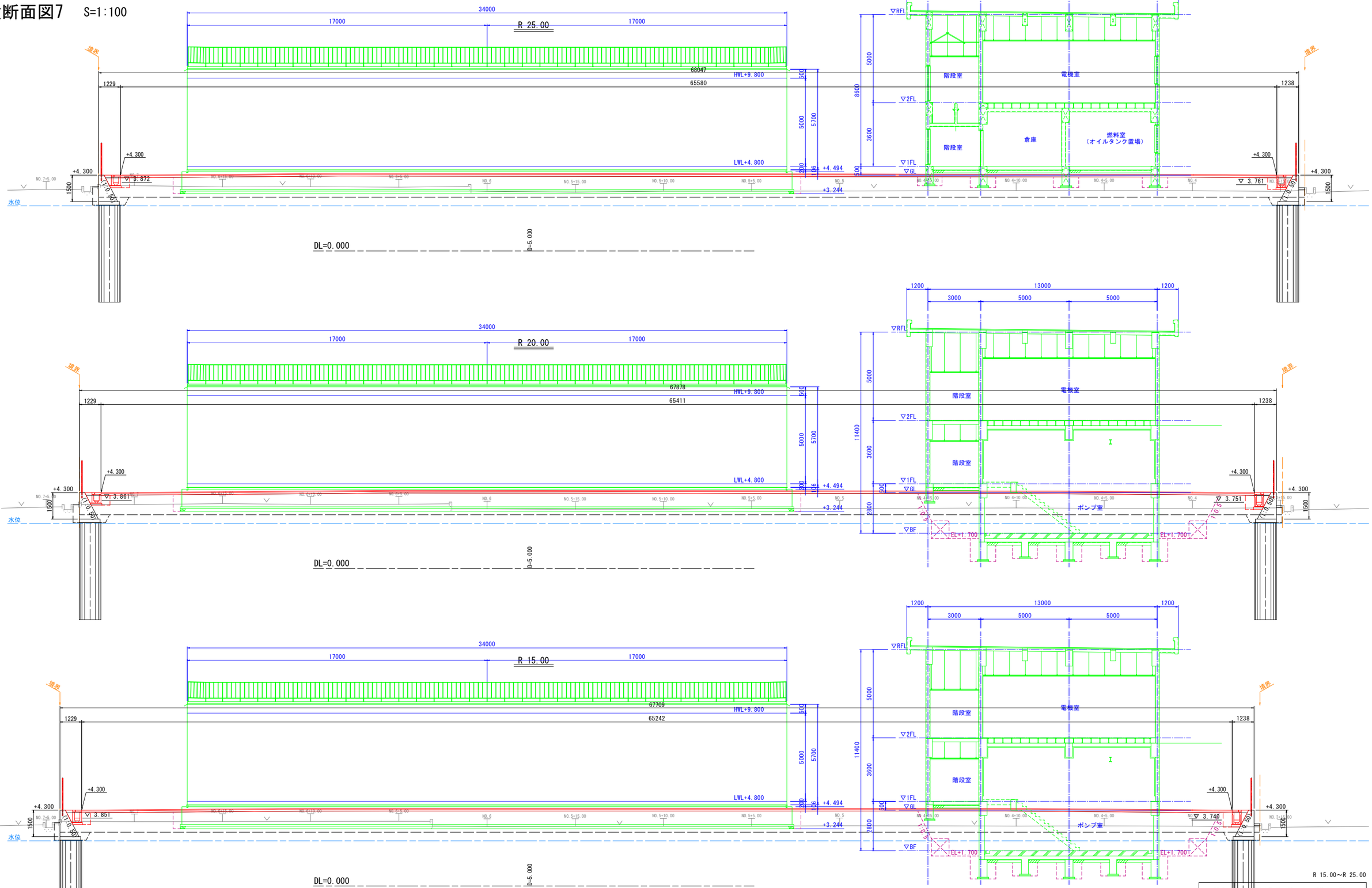
横断面図6　S=1:100



R 0.00～R 10.00

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	横断面図6		
縮　尺	1/100	図面番号	2-3-35
藍　住　町　上　下　水　道　課			

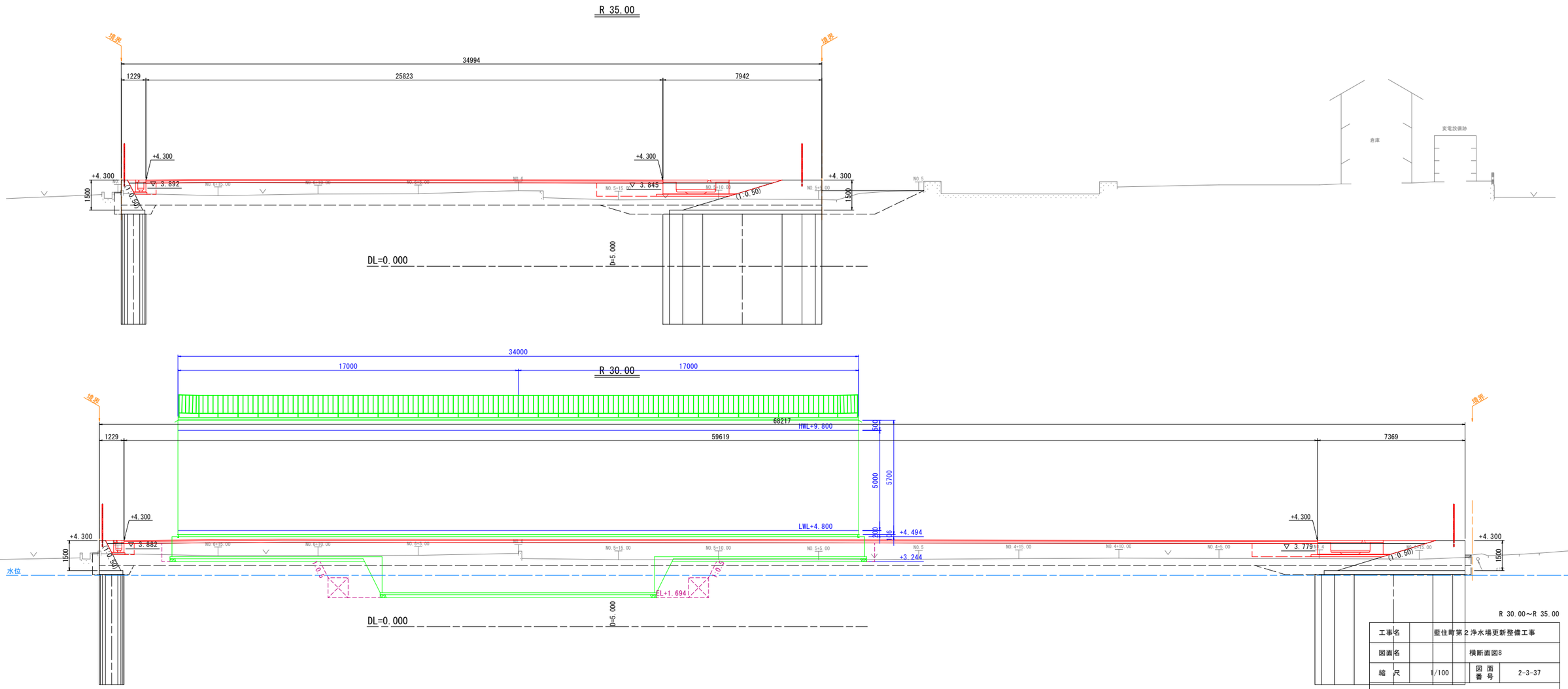
横断面図7　S=1:100



R 15.00～R 25.00

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事
図面名	横断面図7
縮　尺	1/100
図面番号	2-3-36
藍　住　町　上　下　水　道　課	

横断面図8　S=1:100



R 30.00～R 35.00

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	横断面図8		
縮　尺	1/100	図面番号	2-3-37
藍　住　町　上　下　水　道　課			

Ⅰ. 工事概要

1. 工事名称　　藍住町第２浄水場整備工事

2. 工事場所　　徳島県板野郡藍住町奥野矢上前

3. 建物概要

建物名称	藍住町第２浄水場
構造・規模	鉄筋コンクリート造　　地上２階・地下１階
敷地面積	2，323.59（m2）
延床面積	466.18（m2）
消防法施行令別表第1の区分	１５項

4. 工事種目

種　目	工　事　概　要
建築一式工事	第２浄水場整備工事
電気一式工事	第２浄水場整備工事
機械一式工事	第２浄水場整備工事

5. その他　　本工事は，資材価格高騰に対する特例措置について（令和4.12.9建設第686号）に基づく特例措置の対象工事である。

Ⅱ. 営繕工事共通仕様書

項　目	特　記　事　項
① 適用基準	図面及び特記仕様に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の下記による。 ・ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）　令和4年版（以下「標仕」という。） ・ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）　令和4年版 ・ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）　令和4年版 ・ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　令和4年版（以下「改標仕」という。） ・ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）　令和4年版 ・ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）　令和4年版 ・ 木造建築工事標準仕様書　令和4年版 ・ 建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）・同解説　令和2年版 ・ 建築工事標準詳細図　令和4年版（以下「標準図」という。） ・ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）　令和4年版 ・ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）　令和4年版 ・ 敷地調査共通仕様書　令和4年版 また，次の図書（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）を参考とする。 ① 建築工事監理指針（令和4年版）（以下「監理指針」という。） ② 建築改修工事監理指針（令和4年版） ③ 電気設備工事監理指針（令和4年版） ④ 機械設備工事監理指針（令和4年版）
② 優先順位	設計図書の優先順位は，次の順とする。 ① 質問回答書（②から⑤に対するもの） ② 補足説明書 ③ 特記仕様書（営繕工事共通仕様書を含む） ④ 図面 ⑤ 公共建築工事標準仕様書等
③ 工事実績データの登録	(1) 受注者は，請負代金額が500万円以上の工事については受注・変更・しゅん工・訂正時に，工事実績情報サービス（コリンズ）に基づき，工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員に提出して内容の確認を受けた上，次の期限までに登録機関に登録しなければならない。 （a）受注時は，契約後，土曜日，日曜日，祝日等を除き10日以内とする。 （b）登録内容の変更時は，変更があった日から土曜日，日曜日，祝日等を除き10日以内とする。 （c）しゅん工時は，工事しゅん工承認後，土曜日，日曜日，祝日等を除き10日以内とする。 （d）訂正時は，適宜とする。 なお，変更登録は工期，技術者に変更が生じた場合に行うものとし，請負代金額のみの変更の場合は，原則として登録を必要としない。 (2) 受注者は，実績登録完了後，登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には，速やかに監督員に提示しなければならない。 なお，変更時としゅん工時の間が10日間に満たない場合は，変更時の提示を省略できる。
④ 工程表	受注者は，契約書に基づく工程表を契約締結後10日（土曜日，日曜日，祝日等を除く。）以内に提出すること。
⑤ 工事の着手	受注者は，設計図書に定めのある場合，又は特別の事情により発注者の承諾があった場合を除き，工事開始日以降30日以内に工事に着手しなければならない。 なお，工事開始日とは，契約書に明示した着工の日（特記仕様書において着工の日を別に定めた場合にあっては，その日）をいう。
⑥ 施工計画書等	◎施工に先立ち，実施工程表，工事の総合計画をまとめた総合施工計画書及び工種別施工計画書並びに施工図等を作成し，監督員に提出し，監督員の承諾を受けること。 ◎上記の施工計画書には，「地下埋設物等の近接作業に関する事項」を設けること。 ◎施工図，現寸図，見本等を，工事の施工に先立ち作成し，監督員の承諾を受けること。
⑦ 下請負人の選定	◎受注者は，本工事の一部を下請に付する場合は，工事の施工に十分な能力と経験を有した者を選定するとともに，徳島県内に主たる営業所をするものの中から優先して選定するように努めなければならない。なお，請負対象額（設計金額）が１億円以上の工事については，徳島県内に主たる営業所を有するものの以外と下請契約する場合に，県内業者を選定しない理由を記した理由書を事前に監督員に提出しなければならない。 ◎受注者は，本工事の全部若しくは一部について，指名停止期間中の有資格業者と下請契約を締結してはならない。（なお，有資格業者とは，建設工事の請負契約に係る一般競争入札及び指名競争入札参加資格審査要綱（昭和58年1月18日徳島県告示第50号）第5条の規定により参加資格の認定を受けた者をいう。）
⑧ 施工体制台帳及び施工体系図	(1)施工体制台帳の作成 受注者は，下請契約（以下の(3)及び(4)の場合を含む。）を締結した場合は，施工体制台帳及び再下請負通知書（以下「施工体制台帳」という。）を自らの責任において作成・保存するとともに，施工体制台帳を工事現場に備え置かなければならない。 (2)施工体系図の作成及び掲示 受注者は，下請契約（以下の(3)及び(4)の場合を含む。）を締結した場合は，各下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し，公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関す (3)警備業者の記載 受注者は，交通誘導警備員を配置するときは，警備業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。 (4)運搬業者の記載 受注者は，土砂等を運搬する大型自動車を配置するときは，運搬業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。 (5)施工体制台帳及び施工体系図の提出 受注者は，施工体制台帳の写し及び施工体系図の写しを，下請契約を締結したときは下請契約日から，内容に変更が生じたときは変更が生じた日から，いずれも土曜日，日曜日，祝日等を除き10日以内に監督員に提出し，確認を受けなければならない。 ただし，提出日について，監督員が承諾したときはこの限りではない。 (6)再下請負通知書を提出する旨の書面の掲示 受注者は，再下請負通知書を提出する旨の書面を，工事現場の公衆が見やすい場所に掲示しなければならない。

項　目	特　記　事　項
⑨ 電気保安技術者等	◎電気保安技術者は次の者とし，必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料により，監督員の承諾を受けること。 ・事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は，その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。 ・一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は，第1種又は第2種電気工事士の資格を有する者とする。 ◎工事用電力設備の保安責任者を関係法令に従って有資格者を定め，監督員に報告すること。
⑩ 施工中の安全確保	◎工事関係図書及び監督員から指示された事項等については，施工に携わる下請負人にも十分周知徹底すること。 ◎工事現場における現場代理人，監理技術者，主任技術者の確認のため名札を着用すること。名札には現場代理人，監理技術者，主任技術者の別，氏名，会社名，工事名を記載し，顔写真を添付すること。 ◎工事現場の安全衛生管理については，労働安全衛生法等関係法令等に従って行うこと。 ◎工事の施工に伴う災害及び公害の防止は，建築基準法，労働安全衛生法，騒音規制法，振動規制法，大気汚染防止法，建設工事公衆災害防止対策要綱（令和元年9月2日付け国土交通省告示第496号），建設副産物適正処理推進要綱（平成5年1月12日 建設省建経発第3号）その他関係法令に従い適切に処理すること。 ◎受注者は，工事の施工箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物について工事（仮囲い等仮設材設置を含む）着手までに調査を行い，「支障物件確認書」を監督員に提出し，監督員の確認を受けてから工事着手すること。 ◎地下埋設物への影響が予想される場所では，施工に先立ち，原則として試掘を行い，当該埋設物の種類，位置（平面・深さ），規格，構造等を確認しなければならない。 ◎受注者は，工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し，支障を及ぼさないような措置を施さなければならない。万一，損傷を与えた場合は，ただちに監督員に報告するとともに，施設の運営に支障がないよう，受注者の負担でその都度補修又は補償すること。 ◎受注者は，重量が100kg以上のものを貨物自動車に積む作業（ロープ掛けの作業及びシート掛けの作業を含む。）又は貨物自動車から卸す作業（ロープ解きの作業及びシート外しの作業を含む。）を行うときは，当該作業を指揮する者を定め，監督員に報告しなければならない。 ◎受注者は，機械等を貨物自動車に積み込む作業又は貨物自動車から卸す作業を行う場合は，当該作業を指揮する者を定め，指揮者の合図により行わなければならない。また，作業状況について，写真等の資料を整備及び保管し，監督員の請求があったときは，直ちに提示しなければならない。 ◎受注者は，輸送経路等において上空施設への接触事故を防止するため，重機回送時の高さ，移動式クレーンのブームの格納，ダンプトラックの架台の下ろし等について，走行前に複数の作業員により確認しなければならない。 ◎受注者は，トラック（クレーン装置付）を使用する場合は，上空施設への接触事故防止装置（ブームの格納忘れを防止（警報）する装置，ブームの高さを制限する装置等）付きの車両を原則使用しなければならない。なお，使用できない場合は事前に監督員と協議を行うこと。 ◎休日，夜間に作業を行う時は，事前に「休日・夜間作業届」を監督員に提出すること。 ◎受注者は，工事期間中安全巡視を行い，工事区域及びその周辺の監視あるいは連絡を行い，安全を確保するとともに工事現場における盗難防止の観点から，資機材の保管状況等についても併せて確認すること。また，監督員から「資機材保管計画書」（自由様式）の提出を求められた場合には，速やかに提出すること。 ◎受注者は，高さが2m以上の箇所で作業を行う場合は，墜落防止に留意し，作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い，その記録を保管すること。 ◎仮囲いを設置する場合は，設置後に「現場安全再確認シート」を活用して点検を行い，その記録を保管すること。 ◎上下作業や直下階の施設を利用しながらの直上階（天井）のスラブはつり工事は，原則禁止とする。やむを得ず行う場合は，飛来落下の危険を生じるおそれがあるため，適切な防護措置を講じ安全確保を図り，施工手順について監督員の承諾を得たうえで，指定された時間に行うこと。 ◎受注者は，足場を設置する場合は組立，解体時において，作業前に施工手順を確認し，倒壊や資材落下に対する措置を講じなければならない。特に，飛来落下の恐れのある巾木やメッシュシート等の資機材については，足場の上に仮置きせず，設置又は荷下ろしするまでは，番線等により固定を行うこと。また，強風，大雨，大雪等の悪天候のため，作業の実施について危険が予想されるときは，作業を中止すること。
⑪ 交通安全管理	◎輸送災害の防止 受注者は，工事用車両による土砂，工事用資材，機械等の輸送を伴う場合は，関係機関と打合せを行い，交通安全に関する担当者，輸送経路，輸送期間，輸送方法，輸送担当業者，交通誘導員の配置，標識，安全施設等の設置場所その他安全輸送上の事項について計画を立て，災害の防止を図らなければならない。特に，輸送経路にある既設構造物に対して損害を与えるおそれがある場合は，当該物件およびその位置と必要な措置について工事着手前に監督員に報告しなければならない。 ◎過積載による違法運行の防止 受注者は，過積載による違法運行の防止に関し，特に次の事項について留意し，下請負業者を指導すること。 ・積載重量制限を超えた土砂等の積込みは行わないこと ・さし枠装備車，不表示車は使用しないこと ・過積載車両，さし枠装備車，不表示車から土砂等の引き渡しを受けないこと ・建設発生土の処理及び骨材の購入に当たっては，下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害さないこと ・過積載による違法通行により，逮捕または起訴された建設業者は，指名停止措置を請ずる場合がある
⑫ 発生材の処理等	◎発生材の処理等は，次により適正に行う。 (1)工事による発生材のうち，文化財保護法に基づく物及び有価材と判断される物については，報告及び引き渡しを要する。 (2)上記以外の発生材は，建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律，資材の有効な利用の促進に関する法律，廃棄物の処理及び清掃に関する法律，建設副産物適正処理推進要綱その他関係法令等に従い処理すること。受注者は，工事で発生する産業廃棄物を保管する場合，または自ら運搬する場合等においては，廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の規定を遵守すること。図書に表示のないものについては，監督員に報告し指示を仰ぐこと。 (3)産業廃棄物の種類ごとの処分場については，各専門特記仕様書の1章一般共通事項「産業廃棄物の処理」又は「発生材の処理等」による。 (4)建設発生土の処理については，各専門特記仕様書の1章一般共通事項「建設発生土の処理」による。 (5)解体前に，照明器具，変圧器及び進相コンデンサのPCBの有無を調査し，有れば，監督員の指示に従うこと。 (6)空調機等の整備や撤去処分を行う場合は，フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律をはじめとする関係法令に基づき，作業や手続きを行う。家電リサイクル法に該当する機器については，家電リサイクル法により処理すること。 (7)受注者は，建設副産物が搬出される工事にあたっては，建設発生土は建設発生土搬出調書（様式3），産業廃棄物は産業廃棄物管理票（マニフェスト）により，適正に処理されているか確認するとともに，監督員に建設発生土搬出調書を提出しなければならない。なお，監督員等の指示があった場合は直ちに産業廃棄物管理票の写しを提示しなければならない。

項　目	特　記　事　項
⑬ 材料・製品等	◎アスベスト (1)解体前に大気汚染防止法に基づくアスベスト等の特定建築材料に該当するものが使用されていないか調査し，あれば監督員の指示に従うこと。既存の分析調査結果がある場合は，受注者がその結果を書類等により確認すること。なお，工事内容に変更がある場合においても同様とする。 既存の分析調査結果の見方（　含む　・　なし　）。 (2)事前調査を公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）1.5.1及び大気汚染防止法により行うこと。 ・調査結果を石綿事前調査結果報告システムにより，労働基準監督署及び自治体に報告すること。監督員へも結果を提出するとともに，その写しを工事の現場に備え置くこと。 ・調査結果は3年間保存すること。 ・調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示すること。 ・分析によりアスベスト含有調査を行う場合は，JIS A 1481-1によること。 ◎資源の有効な利用の促進に関する法律（以下「資源有効利用促進法」という。）及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」という。）に基づく対応は，以下のとおりとする。 (1)受注者は，資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（H3.10.25建設省令第19号）第8条で規定される工事又は建設リサイクル法施行令第2条で規定される工事（以下「一定規模以上の工事」という。）において，コンクリート（二次製品を含む。），土砂，砕石，加熱アスファルト混合物又は木材を工事現場に搬入する場合には，（一財）日本建設情報総合センターの建設副産物情報交換システム（以下「COBRIS」という。）により再生資源利用計画書を作成し，監督員に提出すること。 (2)受注者は，資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業を行う者の指定副産物に係るの促進に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（H3.10.25建設省令第20号）第7条で規定される工事又は一定規模以上の工事において，建設発生土，コンクリート塊，アスファルト・コンクリート塊，建設発生木材，建設汚泥又は建設混合廃棄物を工事現場から搬出する場合には，COBRISにより再生資源利用促進計画書を作成し，監督員に提出すること。 (3)受注者は，上記計画書を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）すること。 (4)受注者は，上記計画書に変更が生じた場合は，速やかに計画を変更し，その変更の内容を監督員に報告すること。 (5)受注者は，工事完了後速やかにCOBRISにより再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成し，監督員に提出すること。 (6)受注者は，上記計画書及び実施書を工事完成後5年間保存すること。 (7)受注者は，COBRISの入力において，資源の伐給元及び搬出する副産物の搬出先について，その施設名，施設の種類及び住所を必ず入力すること。ただし，バージン材を使用する生コンクリート及び購入土を除くものとする。 ◎建設リサイクル法通知済証の掲示 受注者は，建設リサイクル法に基づく対象建設工事（特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって，その規模が建設リサイクル法施行令で定める基準以上のもの）においては，工事現場の公衆の見やすい場所に工事着手日までに「建設リサイクル法通知済証」を掲示し，工事しゅん工検査が終了するまで存置しておかなければならない。 また，「建設リサイクル法通知済証」掲示後の全景写真は電子納品の対象書類とし，「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づき提出すること。なお，「建設リサイクル法通知済証」は契約締結後から工事着手日までの期間に発注者から交給することとする。 ◎本工事に使用する建築材料，設備機材等（以下「建材等」という）は，設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとする。 ◎受注者は，建材等の発注の際には，発注前に，品質及び性能に関して記載された工種別施工計画書及びその証明となる資料を監督員へ提出しなければならない。ただし，設計図書に定めるJIS又はJASの材料で，JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は，この限りでない。 なお，各専門特記仕様書中，「評価名簿による」と記載されているものは，一般社団法人公共建築協会発行の「建築材料等評価名簿（最新版）」及び「設備機材等評価名簿（最新版）」記載品を指すものとする。 ◎県産木材の原則使用 (1)　受注者は，工事目的物及び指定仮設で木材を使用する場合並びにコンクリート打設用型枠を使用する場合，原則として県産木材を使用しなければならない。ただし，特段の理由がある場合にはこの限りでない。 (2)　「県産木材」とは，「徳島県内の森林で育成した木材」のことであり，「徳島県内の森林で育成した木材」とは次のことである。 (a) 徳島県木材認証制度により，県内産であることが「産地認証」された木材 (b) (a)以外において，徳島県内の森林で育成したことが確認された木材 (3)　受注者は，請負代金額が500万円以上の工事について，県産木材以外の木材を使用する場合は，県産木材を使用できない理由を施工計画書に記載するとと共に，確認資料を事前に監督員に提出し，承諾を得なければならない。 (4)　受注者は，県産木材を使用する前に，徳島県木材認証機構から発行される「産地認証証明書」の写しにより県産木材であることを示す書類を監督員へ提出しなければならない。 (5)　県内の森林から直接調達するなど，前項により難い場合は木材調達先の産地及び相手の氏名等を記入した書類を監督員へ提出しなければならない。 ◎製材等（製材，集成材，合板，単板積層材），フローリング，再生木質ボード（パーティクルボード，繊維板，木質系セメント板）については，合法性に係る確認（「産地認証」及び「品質認証」を含む。）が行われたものを使用する。ただし，機能上，需給上など正当な理由により確保が困難であり，使用できない場合には監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする。 また，それらの木質又は紙の原料となる原木についての合法性に係る確認は，林野庁作成の「木材・木材製品の合法性，持続可能性の証明のためのガイドライン（平成18年2月15日）」に準拠して行うものとし，監督員に合法証明書を提出するものとする。ただし，平成18年4月1日より前に伐採業者が加工・流通業者等と契約を締結している原木に係る合法性の確認については，平成18年4月1日の時点で原料・製品等を保管している者が証明書に平成18年4月1日より前に契約を締結していることを記載した場合には，上記ガイドラインに定める合法な木材であることの証明は不要とする。 ◎標仕等に記載されていない特別な材料の仕様・工法は，監督員の承諾を受けて，当該製品の仕様及び指定工法による。 ◎県内産資材の原則使用 (1)　受注者は，木材以外の建設資材を使用する工事を施工する場合，原則として県内産資材を使用しなければならない。ただし，特段の理由がある場合はこの限りでない。 なお，WTO対象工事については，県内産資材を優先して使用するよう努めるものとする。 (2)　受注者は，木材以外の建設資材について，県内産資材であることの別を施工計画書に記載するものとする。また，請負代金額が500万円以上の工事について，県内産資材以外の資材を使用する場合は，県内産資材を使用できない理由を施工計画書に記載するとと共に，確認資料を事前に監督員に提出し，承諾を得なければならない。 県内産資材（次のいずれかに該当するもの） （1）　材料の主な部分を県内産出の原材料を使用している製品 （2）　徳島県内の工場で加工，製造された製品 注1 部材，部品が県外製品であっても，県内の工場で加工，製造した製品（二次製品）であれば県内産資材として取り扱う。 注2 県内企業が県外に立地した工場（自社工場）で加工，製造した製品も県内産資材として取り扱う。 注3 公共建築工事標準仕様書その他関連する示方書等の基準を満たす資材，製品であること。

項　目	特　記　事　項
⑭ 化学物質を発散する建築材料等	◎本工事に使用する建築材料は，設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし，次の（1）から（5）を満たすものとする。 (1)合板，木質系フローリング，構造用パネル，集成材，単板積層材，MDF，パーティクルボード，その他の木質建材，ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は，ホルムアルデヒドを発散しないか，発散が極めて少ないものとする。 (2)保温材，緩衝材，断熱材は，ホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか，発散が極めて少ないものとする。 (3)接着剤は，フタル酸ジーブブチル及びフタル酸ジー2－エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑剤を使用し，ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，トルエン，キシレン，エチルベンゼンを発散しないか，発散が極めて少ないものとする。 (4)塗料（塗り床を含む）は，ホルムアルデヒド，トルエン，キシレン，エチルベンゼンを発散しないか，発散が極めて少ないものとする。 (5)（1），（3）及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具，書架，実験台，その他の什器等は，ホルムアルデヒドを発散しないか，発散が極めて少ないものとする。
⑮ 施工	◎設計図書に疑義が生じたり，現場の納まり又は取合い等の関係で設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは，標仕記載の「疑義に対する協議等」による。 ◎工事現場に監督員は常駐できないので，疑問な点，その他打合せ決定を要する事項は，監督員の出向いた時，又は営繕課へ問い合わせ，工事に遺漏のないようにすること。 ◎品質管理は，適切な時期に品質計画に基づき，確認，試験又は検査を行うこと。結果が管理値を外れるなど疑義が生じた場合は，品質計画にしたがって適切な処理を施すこと。また，その原因を検討し，再発防止のための必要な処置をとること。 ◎施工にあたっては，設計図書に従って忠実に施工すること。不都合な工法等を発見した場合は，工事が進行済みであっても根本的な手直しを命ずるので，注意して施工すること。手直し工事は，受注者の責任において実施し，それに要する費用は受注者の負担とする。 ◎本工事の施工及び管理にあたり法規上必要となる有資格者については，工事着手前に資格者名簿及びその証明書類等を監督員に提出すること。 ◎設計図書（各施工計画書を含む）に定められた工程が完了した時，報告書を提出し，監督員の検査等を受け，承諾を受けて次の工程に進むこと。
⑯ 建設機械等	◎試験等によらなければ確認できない工事（製品）については，試験等計画書（施工計画書に記載）を提出し，監督員の承諾を受け試験を行い，その結果を報告し承認を得ること。 ◎排出ガス対策型建設機械 本工事に使用する土工機械は，「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3.10.8 建設省経機発第249号 最終改正 平成14.4.1国総施第225号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械とする。ただし，排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は，平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」，又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業，あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明により評価された排出ガス浄化装置を装着することで排出ガス対策型建設機械と同等とみなすが，これにより難い場合は，監督員と協議するものとする。建設機械に装着された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合，現場代理人は施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等が分かる写真を監督員に提出するものとする。 ◎低騒音・低振動型建設機械 本工事で使用する建設機械は，「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程（国土交通省告示 平成13年4月9日改正）」に基づき指定された建設機械を使用するものとする。現場代理人は，施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等，同規程に基づき指定された建設機械であることが分かる写真を監督員に提出するものとする。ただし，同規程に記載されていない機種，規格の建設機械により施工する場合はこの限りでない。なお，同規程に基づき指定された建設機械を現場に供給するのが著しく困難な場合は，監督員と協議する。ただし，騒音規制法，徳島県公害防止条例等の関係法令を遵守するものとする。 ◎特定自主検査 本工事で使用する建設機械（労働安全衛生法により特定自主検査が義務づけられている建設機械）は，1年以内毎に1回特定自主検査を実施済みの機械を使用し，その検査証明書（検査記録表）の写しを使用工種の施工計画書に添付し提出すること。 ◎不正軽油の使用禁止 受注者は，ディーゼルエンジン仕様の車両及び建設機械等を使用する場合は，地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等を燃料として使用してはならない。 また，受注者は，県の機税更新庁行う使用燃料の採取調査に協力しなければならない。
⑰ 遠隔臨場の試行	◎受注者は，当初請負対象金額（設計金額）が税込7千万円未満の場合において，遠隔臨場の実施を希望する場合は，「営繕工事の遠隔臨場に関する試行要領」に基づき遠隔臨場を実施することができる。 ◎受注者は，当初請負対象金額（設計金額）が税込7千万円以上の場合において，「営繕工事の遠隔臨場に関する試行要領」に基づき遠隔臨場を試行しなければならない。
⑱ 工事看板等	◎工事現場には，工事看板を監督員の指示に従って見やすい場所に設けること。 ◎受注者は，本工事において使用する工事看板・バリケード等については，県産木材を用いた木製品を優先して使用するよう努めなければならない。県産木材を購入した場合，受注者は，工事完了後「任意仮設における県内産木材購入実績報告書」を監督員へ任意で提出すること。 ◎受注者は，監督員から渡される「技能労働者への適切な賃金水準の確保等に関するポスター（A3）」を現場関係者が見やすい場所に掲げるとともに，掲示状況を工事写真として提出しなければならない。ただし，次のいずれかに該当する工事は対象外とする。 (1)区画線工事，舗装工事，標識設置工事，照明灯工事 (2)当初請負金額が200万円未満の工事
⑲ 仮設トイレ	◎受注者は仮設トイレを設置する場合，次のとおりとしなければならない。 ただし，特段の理由がある場合はこの限りではない。 ・当初請負対象金額（設計金額）5千万円未満の工事 原則として「洋式トイレ」を設置しなければならない。また，現場従事者に女性が含まれる場合は，原則として「女性専用トイレ（快適トイレ）」を設置しなければならない。 ・当初請負対象金額（設計金額）5千万円以上の工事 原則として「快適トイレ」を設置しなければならない。また，現場従事者に女性が含まれる場合は，原則として「女性専用トイレ（快適トイレ）」を設置しなければならない。 受注者は，仮設トイレを設置した場合，「仮設トイレ設置報告書」を監督員に提出しなければならない。 なお，洋式トイレとは，和式トイレの便座部分を洋式化したトイレのこと。 快適トイレとは，洋式トイレのうち，防臭対策・施錠の強化などが実施された，女性が利用しやすい仮設トイレのこと。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	特記仕様書1		
縮　尺	NON	図面番号	2-4-1-T1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

項　目	特　記　事　項
⑳ 設計変更箇所確認	◎設計事務所による工事監理がある場合，受注者は，工事監理業務受注者が作成する設計変更箇所一覧表の内容について，監督員，工事監理業務受注者とともに定期的に確認すること。 また，工事しゅん工前には全ての設計変更箇所及び内容を監督員，工事監理業務受注者とともに，書面により確認すること。
㉑ 工事検査及び技術検査	◎次表により中間検査の対象工事となった場合は，原則として次表の実施回数以上の中間検査を実施するものとする。ただし，工事検査員が認める場合は，一般入札工事に限り，これによらないことができる。 （注）低入札工事とは，低入札価格調査工事の調査基準価格を下回って落札した工事をいう。 一般入札工事とは，低入札工事以外の工事をいう。
	◎中間検査の実施時期は，当該工事の工程を考慮し施工上の重要な時点で行うものとし，契約締結後速やかに監督員と協議すること。
	◎中間検査が部分払検査と同時期になる場合は，中間検査を省略することができる。
	◎基礎杭工事を含む工事については，請負対象額にかかわらず，基礎杭工事完了後，中間検査を実施する。
	◎外壁改修工事等において，足場が撤去されしゅん工検査時に検査員による出来形等の現場確認ができなくなるおそれがある場合は，当初請負対象額に関係なく，中間検査の実施について監督員と協議すること。
㉒ 完成図等	◎電子納品：対象
	◎受注者は，原則として「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づいて調査，設計，工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品（以下「電子納品」という。）すること。
	◎提出書類 ・竣工図（製本3部，電子データ2部）（サイズ：監督員から別途指示がある場合を除き，原図版とする ） ・工事写真（写真帳１部（着手前及び完成写真），電子データ2部） ・使用材料一覧表（4部（うち3部は竣工図表紙裏面に貼付），電子データ2部） ・保全に関する資料
	◎しゅん工図は関係図面（データ貸与）を修正して作成すること。 しゅん工図データは，関係図面（データ貸与）を修正して作成し，PDF形式，SFC形式及びオリジナル形式をCD-R等に保存する。
	◎工事写真の電子データは完成写真，着手前，資機材，施工状況の順に整理する。 完成写真については，工事目的物の状態が，資機材，施工状況等については，不可視部分の出来形が写真で的確に確認できること。
	◎工事写真の撮影は，国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領」によること。
㉓ デジタル工事写真の小黒板情報電子化	◎受注者は，デジタル工事写真の小黒板情報電子化の実施を希望する場合は，監督員の承諾を得たうえで，デジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事（以下，「対象工事」という）とすることができる。
	◎対象工事は，徳島県CALS/ECホームページ掲載の「デジタル工事写真の小黒板情報電子化の運用について（県土整備部）」に記載された全ての内容を適用することとする。
㉔ 火災保険	◎火災保険 本工事の着手に際し，火災保険等（火災保険，建設工事保険その他の保険（これに準ずるものを含む。））を請負額に応じて付保する。（標準請負契約約款 第55条） (1)対象物 工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）について付保する。 (2)付保除外工事 次に掲げる単独工事については，付保を除外できる。 ・杭及び基礎工事 ・コンクリート躯体工事 ・屋外付帯工事 ・その他実状を判断のうえ必要がないと認めた場合（外壁補修工事等） (3)付保する時期及び金額 鉄筋コンクリート造の場合は躯体工事完了時に，木造及び鉄骨造の場合は基礎工事完了時に，請負金額相当額を付保する。また，模様替え工事等については，工事着手時に請負金額相当額を付保する。 (4)保険終期 工事完成期日に14日を加えた期日とする。なお，工期延伸した場合には保険の期間も延長する。 (5)その他 ・付保する時期以降に出来高払を行う場合は，受注者は保険契約の証券の写しを出来高払の書類に添付する。 ・建設工事保険に付保した場合は，火災保険に付保したものとみなす。
㉕ 公共事業労務費調査	◎当初請負対象金額（設計金額）が税込1,000万円以上の工事において，公共事業労務費調査の対象工事となった場合は，受注者は，調査票等に必要事項を正確に記入し調査団体に提出する等，必要な協力を行わなければならない。また，本工事の工期経過後においても，同様とする。 調査票等を提出した事業者を調査団体が事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合，受注者は，その実施に協力しなければならない。また，本工事の工期経過後においても，同様とする。 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう，受注者は，労働基準法等に従って就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。 受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には受注者は，当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請人を含む）が前述と同様の義務を負う旨を定めなければならない。
㉖ 暴力団からの不当要求又は工事妨害の排除	(1)受注者は，工事の施工に関し，暴力団等からの不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合（（2）に規定する場合は，下請負人から報告があったとき）には，その旨を直ちに発注者に報告するとともに，併せて所轄の警察署に届け出なければならない。 (2)受注者は，本工事の一部を下請に付する場合，下請工事の施工に関して下請負人が暴力団等からの不当介入を受けたときは，受注者にその旨を報告することを義務付けしなければならない。 (3)受注者は，発注者及び所轄の警察署と協力して不当介入の排除対策を講じなければならない。 (4)受注者は，排除対策を講じたにもかかわらず，工期に遅れが生じるおそれがある場合には，発注者と工程に関する協議を行い，その結果，工期内に工事が完成しないと認められる場合は，「徳島県公共工事標準請負約款」（以下「約款」という。）第22条の規定により，発注者に工期延長の請求を行わなければならない。 (5)受注者は，暴力団等から不当介入による被害を受けた場合は，その旨を直ちに報告し，被害届を速やかに所轄の警察署に提出しなければならない。 (6)受注者は，前項被害により，工期に遅れが生じるおそれがある場合は，発注者と工程に関する協議を行い，その結果，工期に遅れが生じると認められた場合は，約款第22条の規定により，発注者に工期延長の請求を行わなければならない。

Ⅲ. 建築工事特記仕様書

1章　一般共通事項

項　目	特　記　事　項
① 施工条件	◎施工条件は次による。 （右の留意事項に該当する場合に記入）
② 重要備品等	◎工事に影響のある範囲内の重要備品等　（ ~~有~~ ・ 無 ） 備品等名称： 保管場所　： 注意事項　：
③ 施工調査	◎調査期間 本工事の着手時に，給排水，ガス管，地下埋設物等の調査を行う。調査期間は1週間とする。 切り回し時期については，打合せによる決定する。
④ 交通誘導警備員	◎交通誘導警備員 交通誘導警備員については，警備業法に基づく警備員とし，図示する場所に○○日間配置すること。 ・本工事は，警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が （ 義務付けられている ・ 義務付けられていない ）。 ・警備員は，延○人（昼○人，夜○人：うち検定合格警備員○人）を見込んでいる。 ・警備業法を遵守するとともに，受注者は交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。 ・配置された検定合格警備員は，業務に従事している間は合格証明書を携帯し，かつ，監督員等の請求があるときは，これを提示すること。 ・受注者は，発注者が行う交通誘導警備員勤務実績調査の実施に協力しなければならない。 また，対象工事の一部について下請負契約を締結する場合は，当該下請負工事の受注者（当該下請負工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）も同様の義務を負う旨を定めなければならない。 ・受注者は，「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し，勤務実績が確認できる資料（勤務伝票の写し）とともに，1月毎に監督員へ1部提出しなければならない。
⑤ 産業廃棄物の処理	◎産業廃棄物の種類ごとに次の処分場を指定する。 （注）表中「優良」欄に丸印の入っている業者は，「徳島県優良産業廃棄物処理業者の認定業者」であることを示す。

種　類	処分許可業者の会社名（処分区分）	優良	所　在　地 処　分　地	運搬距離(km)	処分費(税抜，円)	単位
汚泥	(株)明和ﾘｻｰｸ		三好市山城町大和川697-1 三好市山城町寺野字アゲクラ911	79.6		t

上記以外の許可業者の処分場で処分しても差し支えないが，増額変更の対象とはしない。
また，この場合，処分単価の見積書を求め，減額変更を行うことがある。
なお，上記の処分場が徳島県優良産業廃棄物処理業者（以下，「優良産廃処分業者」という。）に認定されているとき，処分場を変更する場合は原則として優良産廃処分業者に変更すること。
ただし，諸般の事情により優良産廃処分業者以外の処分場で処分を行う場合は，理由書を監督員に提出すること。
また，コンクリート・アスファルト類の搬出先については，中間処理施設のみとする。
木材については，50kmの範囲内にある木材再資源化施設への搬出を原則とする。

⑥ 建設発生土の処理	◎建設発生土の処理については，「○章　土工事」に記載している。なお，場外搬出が指定されている場合において，指定された処分場以外で処分する場合は監督員の承諾を得ること。なお，増額変更の対象とはしない。
⑦ 他工事との取り合い	◎他工事との取り合い区分

	建築工事	電気工事	管 工 事	空調工事	そ の 他
梁，壁，床スリーブ入れ		○	○	○	
同上穴埋補修		○	○	○	
スリーブ開口補強(鉄筋)	○				
同上(リンプレン等)	○				
床，天井点検口	○				
設備機器天井開口墨出		○	○	○	
同上切込み及び開口補強	○				
電気器具取付ボックス及び壁，床貫通部分のモルタル埋め			○		
緩穏(広まで)	○				
盤，使器等の箱入れ		○	○	○	
同上補強	○				
給排気ガラリ取り付け	○				
空調機器類の基礎工事	○				

⑧ 室内空気中の化学物質の濃度測定	◎建物の用途により以下の物質の室内濃度を測定すること。 学　　校：ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・スチレン ・エチルベンゼン 学校以外：ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン 採取器具は受注者にて用意すること。

測　定　対　象　室	測定箇所数
電気室	1

測定は，次のいずれかにより行う。
・住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づく評価方法基準（平成13年　国土交通省告示第1347号）第56-3 (3) 「ロ　測定の方法」において定められた方法
・パッシブ型採取機器を用いる方法
パッシブ型採取機器を用いる場合は，次の要領により行う。
(1)30分間換気
測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具，押入等の収納部分の扉を含む）を開放し，30分間換気する。
(2)5時間閉鎖
（1）の後，測定対象室の全ての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし，造り付け家具，押入等の収納部分は開放したままとする。
(3)測定
イ（2）の状態のままで測定する。
ロ 測定時間は，原則として24時間とする。ただし，工程等の都合により24時間測定が行えない場合は，8時間測定とする。
なお，8時間測定の場合は午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう，10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。
ハ 測定回数は1回とし，複数回の測定は不要とする。
※（1），（2），（3）において，　換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。
ただし，　局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。
(4) 分析
測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取器を分析機関に送付し，濃度を分析する。
(5) 測定結果の提出
測定後，測定結果を監督員に提出すること。

◎測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は，現場監督員と対応方法について協議すること。

項　目	特　記　事　項
⑨ 技能士の適用	◎技能士の適用については，　次の技能検定作業（以下，「作業」という。）のうち各工事毎に適用する作業を指定するものとする。 技能士は，　職業能力開発促進法による一級技能士又は二級技能士の資格を有する者とし，資格を証明する資料を監督員に提出すること。 技能士は，適用する工事作業中，1名以上の者が自ら作業をするとともに，他の技能者に対して，施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。技能士は，氏名，検定職種，技能士番号等無が指定した内容を記載した名札等により，資格を明示するものとする。 なお，指定のない作業についてもその活用を図るよう努めることとする。

○印 ･･･ 適用作業

工事種目	技能検定職種	技　能　検　定　作　業
仮設	とび	⊙ とび作業
鉄筋	鉄筋施工	⊙ 鉄筋組立て作業
コンクリート	コンクリート圧送施工	⊙ コンクリート圧送工事作業
型枠	型枠施工	⊙ 型枠工事作業
鉄骨	鉄工	・ 構造物鉄工作業
防水	防水施工	・ アスファルト防水工事作業 ⊙ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ⊙ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ工法防水工事作業 ・ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ常温粘着工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業
タイル	タイル張り	・ タイル張り作業
木	建築大工	・ 大工工事作業
屋根及びとい	建築板金	・ 内外装板金作業
	かわらぶき	・ かわらぶき作業
金属	建築板金	・ 内外装板金作業
左官	左官	・ 左官作業
建具	建具製作	・ 木製建具手加工作業 ・ 木製建具機械加工作業
	サッシ施工	⊙ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	⊙ ガラス工事作業
塗装	塗装	・ 建築塗装作業
内装	内装仕上げ施工	・ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ工事作業 ⊙ 鋼製下地工事作業 ・ ボード仕上げ工事作業 ・ カーテン工事作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業
	表装	・ 表具作業 ・ 壁装作業
配管	配管	・ 建築配管作業
植栽	造園	・ 造園工事作業
機械設備	冷凍空気調和機器施工	・ 冷凍空気調和機器施工作業

2章　仮設工事

① 敷地の状況確認	◎着工に先立ち，敷地境界，既存構造物，敷地の高低差，地下埋設物の確認，近隣建築物及び工作物の現状確認，排水経路及び配水管の流末処理の確認並びに敷地周辺の状況を確認し，監督員に報告すること。
② ベンチマーク	◎設計GLの設定は，BM（ ST.2 ）を±0とし，NGLは0M± （ 0 ）mmとする。ただし，監督員の指示により決定する。
③ 足場等	◎仮設機材及び経年仮設機材の使用については，次の規格又は認定基準（以下「規格等」という。）に適合するものを使用すること。 ①労働安全衛生法に基づく構造規格 ②（一社）仮設工業会の認定基準 また，厚生労働省の「経年仮設機材の管理指針」に基づく（一社）仮設工業会の「適用工場制度」による登録工場及び指定工場等の活用に努めるとともに，前記規格等に定めるもの以外の使用に当たってはあらかじめ強度等を確認した書類を監督員に提出し，承認を得ること。
	◎労働安全衛生法第88条に基づき，労働安全衛生規則別表第7に掲げる機械等（組立から解体までの期間が60日未満を除く）の設置や移転，変更を行う場合は，30日前までに所轄労働基準監督署長に届け出をおこなうこと。 届け出をおこなった場合は，監督員に報告すること。 届け出不要の場合は，その旨監督員に報告すること。
	◎労働安全衛生法第88条に基づく届け出の要否に関わらず，足場を設置する場合は，使用開始前に当該課　指定の足場チェックリストを用いて点検した後，監督員の確認を受けること。
	◎外部足場（種類：枠組足場　　，仕様：　2枚布，D=120cm，シート仕様：ﾀｲﾌﾍﾞｽﾄ　　） ・壁つなぎ間隔（水平方向：5.5m以下，鉛直方向：5.0　m以下） ・足場を設置する場合は，原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」（標仕2.2.4）の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2)　手すり据置方式　　により行うこと。 ただし監督員の承諾を得た場合は，（3）手すり先行専用足場方式により行うことができる。
	◎内部足場（種類：枠組み棚足場　，仕様：　2枚布，D=90cm） ・壁つなぎ間隔（水平方向：　m以下，鉛直方向：　m以下） ◎内部間段足場（種類：単管棚足場） ◎内部足場（種類：脚立足場）
	◎仮囲い（仕様：成形鋼板　，H=3.0　m，L=図示m）（図示）
	◎ゲート（ 有 ・ ~~無~~ 仕様：ﾊﾟﾈﾙｹﾞｰﾄ　W6.3×H4.5　　）
	◎足場等の設置業者は，関連工事等の関係者に無償で使用させること。また安全管理も実施すること。
	◎足場等を無償使用する業者は，設置業者の指示に従うこと。
	◎受注者は，つり足場（ゴンドラのつり足場を除く。），張出し足場又は高さが5メートル以上の構造の足場の組立て，解体又は変更の作業において，材料，器具，工具等を上げ，又はおろすときは，つり綱，つり袋を労働者に使用させなければならない。また，作業主任者を選任し，その氏名，職務を掲示すること。
	◎その他
④ 監督員事務所	◎監督員事務所は（ 設ける（面積　　10m2程度）　・~~設けない~~ ）
	◎監督員事務所を設置する場合，備品は次のものを設置すること。 （1）机，椅子，書棚，製図版，筒時計，温度計，湿度計 （2）ゴム長靴，雨がっぱ，保護帽，懐中電灯，安全帯 （3）請負加入電話の子機 （4）衣類ロッカー，冷暖房機器，消火器，温湯器，掃除具 （5）ファクシミリ他
⑤ 工事用用水，電力等	◎既存電力利用（ ~~可能である~~ ・ 出来ない ），電力料金（ 有償 ・ 無償 ） ただし，施設管理者と協議すること。
	◎既存用水利用（ ~~出来る~~ ・ 出来ない ），用水料金（ 有償 ・ 無償 ） ただし，施設管理者と協議すること。
6. イメージアップ工事	◎仮囲い化粧（図示） その他（　　）
7. 仮設道路整備復旧等	◎工事に当たっては，図示のとおり仮設道路を設ける。 なお，同道路の必要がなくなった時点で，早期に（ 図示のとおり状態に ・ 現状に復旧 ）すること。
	◎道路占有料　　円
8. 工事事務用駐車場 資材置場 現場事務所用地等	◎同用地は，（ 図示の場所に ・ 用意していないので業者にて ）設けること。 ただし，施設管理者と協議すること。
	◎借地借家料　　円

項　目	特　記　事　項
3章　土工事	
① 根切り	◎周辺の状況，土質，地下水の状態等に適した工法を採用し，工事中の異常沈下，法面の滑動，その他による災害が発生しないよう，災害防止上必要な処置をすること。
	◎敷地内に埋設が予想される設備配管類等について十分調査し，支障がないようにすること。
	◎根切り底は，地盤をかく乱しないよう，手作業（深さ30cm程度）とするか，バケットに特殊アタッチメントを取りつけた機械堀りとする。なお，かく乱した場合は，自然地盤と同等以上の強度となるように適切な処置を定め，監督職員の承諾を受ける。
② 排水	◎工事に支障を及ぼす雨水，わき水等は，適正な排水溝，集水ます等を設置し，支障がないようにすること。
③ 埋め戻し及び盛土	◎使用土は（ ~~土砂~~ ・ 良質土 ・ ~~土砂ーロ良質土~~ ）とし，機器により締め固める。
	◎本工事は，次に掲げる工事からの建設発生土を使用するものとする。 なお，品質等により使用が困難な場合は，監督員と協議すること。 利用目的：盛土（埋め戻し） 工 事 名：ROO営繕　OO工事建築（記入例） 場　　所：OO市OO町OO番地（記入例）
	◎本工事は，次に掲げる場所に仮置している建設発生土を使用すること。 利用目的：盛土（埋め戻し） 場　　所：OO市OO町OO番地（記入例）
	◎建設発生土を搬入する場合には，土壌検査結果を添付するものとし，「徳島県生活環境保全条例」の土壌基準に適合しないものについては，搬入することができない。 ただし，次の場合は検査結果の添付の必要はない。 (1) 公共工事開利用の場合で，監督員相互で同意がとれた場合 (2) 購入土（切込砕石，砂，真砂土等）である場合
	◎余盛りは，土質に応じ監督員と協議の上，余盛り高さを決定すること。
	◎六価クロム溶出試験を（ 行う ・ 行わない ）。 行った場合，土壌環境基準以下であることを確認するとともに，試験結果（計量証明書）を監督員に提出するものとする。 六価クロム溶出試験は，「セメント及びセメント系固化材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置」について（平成12年3月31日 建設発258号）の「六価クロム溶出試験実施要領（案）」により実施する。 土質条件，施工条件等により試験方法，検体数に変更が生じた場合，試験の結果，六価クロムの溶出量が土壌環境基準を超えた場合等は，監督員と協議するものとする。
④ 地均し	◎建物の周囲，幅2m程度を，水はけよく地均しを行う。
	◎地均しは，均しを行う地表面の不陸を修正し，草木の除去及び清掃をして，一様にかき均した後，仕上げ面を一様になじみ超こしをして，良質土をまきかけ，歩行に耐える程度に締め固める。
⑤ 建設発生土の処理	~~◎場内敷きならし土すき。~~
	◎場外搬出適正処分とする。 民間の残土処分場等へ搬出する場合は「徳島県生活環境保全条例」によることとし，建設発生土の発生場所ごとに，かつ4，000m3までごとに1回採取して，土壌検査を行うこととする。その他，「特定事業の許可に係る土壌検査及び水質検査の実施における留意点」による。 ただし，建設発生土の公共工事間の利用を行う場合で，担当者相互の同意が取れた場合には，分析の必要はない。
	◎土壌検査を行った結果，条例の基準に適合しない場合には，監督員と協議すること。
6. 建設発生汚泥の処理	~~◎現場内再生利用とする。~~
	◎場外搬出の場合の処理は次のとおりとする。 ・他の工事現場等の指定（記入例） 工 事 名：OO工事建築 場　　所：OO市OO町OO番地 運搬距離：OOkmを見込んでいる。 運搬経路：OO市市道OO号線～OO町県道OO号線 なお，受入側との協議等で搬出が困難な場合は，監督員と協議することとする。 ・再資源化施設の指定（記入例） 会 社 名：OO会社 所 在 地：OO市OO町OO番地 処分単価：1m3当たりOO円（税抜き） 運搬距離：OOkmを見込んでいる。 運搬経路：OO市市道OO号線～OO町県道OO号線 ・中間処理施設の指定（記入例） 会 社 名：OO会社 所 在 地：OO市OO町OO番地 処分単価：1m3当たりOO円（税抜き） 運搬距離：OOkmを見込んでいる。 運搬経路：OO市市道OO号線～OO町県道OO号線
	◎発生汚泥を再生利用する場合には，「建設汚泥の再生利用に関するガイドライン」に準拠し，その内容等を明記した施工計画書を監督員に提出し，承認を受けた後に施工すること。また，施工計画書の承認を受け2る際には，関係部局との協議に協力すること。
	◎舗装版切断に伴い発生する排水は汚泥に該当するため，関係法令等に基づき適正に処理すること。
7. 山留め	◎山留めは，適切な資料に基づき構造計算を行い，安全に設置すること。また，設置期間中，周辺地域及び山留めの状況を点検するとともに，安全管理に必要な計測を行うこと。
	◎法面施工の場合（ 素堀り ・ 多段式 ）
	◎山留めの存置　存置範囲　図示による。
	◎鋼材等抜き跡は地盤の変形を防止する適切な措置を講ずること。

工事名	監住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	特記仕様書2		
縮　尺	NON	図面番号	2-4-1-T2
監　住　町　上　下　水　道　課			

項　目	特　記　事　項
4章　地業工事	
① 砂利・砂・割り石及び捨コンクリート地業等	◎材料は、市場品とする。 ◎砂利及び砂地業 ・砂利は、（~~切込砂利~~ ・ 切込砕石 ・ ~~再生クラッシャラン~~）とする。 ・締固めは、ランマー3回突き、振動コンパクター2回締め又は振動ローラー締めとする。締固めによる凹凸は目つぶし砂利で上均しをする。 ・厚さが300mmを越える場合は、300mmごとに締固めを行う。 ◎締め固め機械の選定に当たっては、地質の状況を検討し監督員の承諾を得ること。 ◎捨コンクリートは、無筋コンクリート（スランプ15cm、設計基準強度18N/mm2）とし、厚さは　60　mmとする。 ◎床下防湿層は、ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上、重ね合せ及び基礎梁際ののみ込みは250mm、断熱材のある場合ののみ込みは400mm以上とする。 ◎防湿層の位置は、土間スラブ又は土間コンクリートの直下とする。ただし、断熱材がある場合は、断熱材の直下とする。
2.　地盤改良	◎六価クロム溶出試験を（ 行う ・ 行わない ）。 行った場合、土壌環境基準以下であることを確認すると共に、試験結果（計量証明書）を監督員に提出するものとする。 六価クロム溶出試験は、「セメント及びセメント系固化材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置」（平成12年3月31日 建設発258号）の「六価クロム溶出試験実施要領（案）」により実施する。土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合、試験の結果、六価クロムの溶出量が土壌環境基準を超えた場合等は、監督員と協議するものとする。
5章　鉄筋工事	
① 材料	規格番号 / 規格名称 / 種類の記号 / 径(mm) JIS G 3112 / 鉄筋コンクリート用棒鋼 / SD295A・SD345 / D10・13・16・19・25 － / 建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋 / － / JIS G 3551 / 溶接金網及び鉄筋格子 / 網目の形状：　寸法：　径： /
② 材料試験	◎材料試験は行わない。 ただし、規格証明書を提出し、監督員の承諾を得ること。
③ 鉄筋の継手及び定着	◎鉄筋の継手は（ 重ね継手 ・ ガス圧接継手 ・ ~~機械式継手 ・ 溶接継手~~）とする。 原則として、D35以上の異形鉄筋については、重ね継手を用いない。 ◎鉄筋の継手の位置は図示による。 ◎結束線の端部は内側に折り曲げる。 ◎柱、梁の主筋は、（・ガス圧接継手、 ・~~機械式継手~~）とする。 ◎耐力壁の鉄筋を重ね継手とする場合、重ね継手の長さは（40）mmとする。 ◎先組み工法の柱、梁の主筋の継手は同一箇所としてもよい。 ◎スラブのスペーサーは鋼製を原則とし、他の箇所についても材種等について監督員の承諾を得ること。 また、鋼製のスペーサーは、型枠に接する部分に防錆処理を行ったものとする。 ただし、地階を有しない階土間を除く。 ◎鉄筋の90°未満の折曲げの内法直径は図示による。 ◎鉄筋の定着方法及び長さは図示による。
④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	◎柱、梁の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、標仕表5.3.6の数値に10mmを加えた数値を標準とする。 ◎目地がある場合のかぶりは、目地底からの寸法とする。 ◎杭基礎の場合のかぶりの厚さは、杭天端からとする。 ◎各部の配筋は、図示による。図示されていない場合は、標仕参考図［1節－基礎及び基礎梁の配筋］～［7節－梁貫通孔その他配筋］による。
⑤ 帯筋	◎形の種別は構造図による。
⑥ 梁貫通孔補強	◎補強形式　鉄筋コンクリート構造配筋基準図による。 ◎梁貫通補強に建設技術評価規定に基づく評価品を使用する場合は、それぞれの部分についてメーカーの構造計算書を提出し、監督員の承諾を得ること。
⑦ ガス圧接	◎圧接技能資格者は、JIS Z 3881（ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準）に従う工事に相応した試験に基づく能力を有する者とする。 ◎検査は、外観検査及び（ ・~~引張試験~~ ・ 超音波探傷試験）による。 ◎切取り部分の継手は次のとおりとする。 ・柱、梁の主筋（D19以上）：圧接 ・上記以外　：（ 圧接 ・ 重ね継手） 重ね継手とする場合は監督員の承諾を受けること。また鉄筋相互間の間隔に留意すること。
8.　機械式継手	◎機械式継手の種類（　　）、工法（　　）
	◎品質の確認方法（　　）
	◎鉄筋相互のあき（　　）
	◎不合格となった継手部への措置（　　）
9.　溶接継手	◎溶接継手の種類（　　）、工法（　　）
	◎品質の確認方法（　　）
	◎鉄筋相互のあき（　　）
	◎不合格となった継手部への措置
⑩ 配筋検査	◎主要な配筋は、コンクリート打込みに先立ち、種類、径、数量、かぶり、間隔、位置等について、監督職員の検査を受ける。

項　目	特　記　事　項
6章　コンクリート工事	
① 一般事項	◎コンクリートの種別 ・Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート） ・Ⅱ類（JIS A 5308への適合したコンクリート） ◎設計基準強度 コンクリートの種類 / 設計基準強度 Fc(N/mm2) / 調合管理強度 Fm(N/mm2) / スランプ (cm) / 強度試験の有無 / 種別 / 気乾単位容積重量 (t/m3) / 適用箇所 ◎構造体コンクリートの調合管理強度は、設計基準強度（Fc）に構造体強度補正値（S）を加えた値とする。 なお、構造体強度補正値（S）は標仕 表6.3.2によりセメントの種類及びコンクリートの打込みから材齢28日までの予想平均気温に応じて定める。 ◎コンクリートの強度試験 コンクリートの強度試験については、次のとおり取扱うものとする。 ・第4週強度確認 原則、第3者機関にて、主任技術者又は現場代理人立会いの上、行うこと。 ただし、第3者機関以外で行う場合は、立ち会い者を定め、監督員の承認を受け、行うこととする。 なお、試験機関を選定した際には、すみやかに監督員に報告すること。
② コンクリートの仕上がり	◎コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容値は、標仕 表6.2.3による。 ◎合板せき板を用いる打放し上げの種別は（~~ホ~~・ B ・ C ）種とする。 ◎コンクリートの仕上がりの平たんさは標仕 表6.2.5による。
③ 普通コンクリート	◎セメントの種類は、（ 普通ポルトランドセメント ・ ~~混合セメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種~~）とする。 ・高炉セメントB種適用箇所（　　） ・フライアッシュセメントB種適用箇所（　　） ◎骨材は、標仕6.3.1 (2) による。 ◎細骨材として フェロニッケルスラグ使用（ ~~できる~~ ・ できない ）。 ◎細骨材に含まれる塩化物量は、NaCl換算で0.04%以下とする。 ◎コンクリート中の塩化物量は、0.3kg/m3以下とし、試験方法は標仕6.4による。 ◎試練りは（ ~~行う~~ ・ 行わない ）。 ◎所要空気量は4.5%±1.5%とする。 ◎受注者は、コンクリートの使用にあたってアルカリ骨材反応を抑制するため、次の3つの対策の中のいずれか1つについて確認をとらなければならない。 (1) コンクリート中のアルカリ総量の抑制 アルカリ量が表示されたポルトランドセメント等を使用し、コンクリート1m3に含まれるアルカリ総量をNa2O（エヌエーツーオー）換算で3.0kg以下にする。 (2) 抑制効果のある混合セメント等の使用 JIS R 5211高炉セメントに適合する高炉セメント［B種またはC種］あるいはJIS R 5213フライアッシュセメントに適合するフライアッシュセメント［B種またはC種］もしくは混和材をポルトランドセメントに混入した結合材でアルカリ骨材反応抑制効果の確認されたものを使用する。 (3) 安全と認められる骨材の使用 骨材のアルカリシリカ反応性試験（化学法またはモルタルバー法）の結果で無害と確認された骨材を使用する。 試験方法は、JIS A 1145骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（化学法）またはJIS A 5308（レディミクストコンクリート）の付属書7「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（化学法）」、JIS A 1146骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（モルタルバー法）またはJIS A 5308（レディミクストコンクリート）の付属書8「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（モルタルバー法）」による。 ◎混和材料を使用する場合の種類は標仕6.3.1 (4) によることとし、監督員の承諾を受けること。
④ 打継ぎの位置 ひび割れ誘発目地 打継ぎ目地	◎打継ぎの位置 梁及びスラブ（・スパンの中央又は端から1/4付近　・~~図示による~~） 柱及び壁（・スラブ、梁又は基礎の上端　・~~図示による~~） ◎コンクリートの打継ぎ目地の寸法は、標仕9.7.3〔目地寸法〕(1)（ア）による。 ◎ひび割れ誘発目地の位置（・図示による　・　　）
④ レディミクストコンクリート工場の指定	◎工事開始に先立ち、工場を選定し、監督職員の承諾を受ける。
⑤ 型枠	◎型枠は、（~~発泡木製型枠~~ ・ 合板 ・~~金属製 ・ 樹脂系 ・ 打込み型枠 ・ ブロック~~）とする。 型枠の種別 / 仕上げ種別 / 塗装の有無 / 材質 / 厚さ / 適用箇所 発泡木製型枠 / － / なし / / / 標仕6.8.2 (2)（ア） / A 種 / あり / / / 標仕6.8.2 (2)（イ） / B 種 / なし / / 12 / 標仕6.8.2 (2)（イ） / C 種 / なし / / / 標仕6.8.2 (2)（イ） / 普通型枠 / なし / / 12 / 基礎・地中梁 ◎スリーブの材種（　　） ◎打ち放し仕上げの打ち増し厚さは（ 20 ）mmとし、打ち増しの範囲は図示による。 ◎打ち放し仕上げのコーンは原則、Pコンとする。また脱型後の穴埋めは、樹脂モルタルにより打ち放し面より2mm程度、引込める。
5.　寒中コンクリート	◎適用（ する ・ しない ）。 ◎適用期間：
	◎強度管理の材齢は、（　）日とする。
	◎初期養生を行う期間は、コンクリートの圧縮強度が5N/mm2に達するまでとする。
6.　無筋コンクリート	◎無筋コンクリートは、次の場合に適用する。 ・捨コンクリート ・補強筋を必要としないコンクリート
	◎設計基準強度（　　）N/mm2 、スランプ（　　）cm
	◎適用箇所：
7.　マスコンクリート	◎最小断面寸法が壁状部材で80cm以上、マット状部材及び柱状部材で100cm以上のものに適用する。 ◎セメントは、（ 中庸熱ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 普通ポルトランドセメントに標仕6.13.2 (2)（ア）の混和剤を混合したもの ）とする。 ◎適用箇所：
	◎スランプは、　　cmとする。

項　目	特　記　事　項
9章　防水工事	
① 一般事項	◎防水下地の乾燥については、高周波水分計による下地水分の測定を行い、使用材料のメーカーの工法と確認し、工事を進めること。
② 合成高分子系ルーフィングシート防水	◎合成高分子系ルーフィングシートは、JIS A 6008の規格品とする。 種別 / 種　類 / 厚　さ / 施工箇所 / 備　考 S-F1 / / mm / / S-F2 / / mm / / S-W1 / / mm / / S-W2 / / 1.5　mm / 搬入ﾄﾞｯｷ / SI-F1 / / mm / / SI-F2 / / mm / / SI-W1 / / mm / / SI-W2 / / 1.5　mm / 屋根 / 断熱材：硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ　t 50 S-C1 / / mm / / ◎仕上げ塗料の種類（　　）、使用量（　　） ◎機械式固定工法の場合は、引抜き試験の結果に基づき、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。 ◎建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速Vo=（ 36 ）m/s　地表面粗度区分（ ~~Ⅰ・Ⅱ~~ ・ Ⅲ ・ ~~Ⅳ~~） ◎固定金具　材質（ ﾒｰｶｰ仕様による　　） 形状寸法（ ﾒｰｶｰ仕様による　　）
③ 塗膜防水	◎塗膜を形成する材料は、JIS A 6021の規格品とする。 種　別 / 施　工　箇　所 / 備　考 X-1 / / X-2 / 庇・ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ・機械基礎 / Y-1 / / Y-2 / / ◎仕上げ塗料の種類（ 製造所の仕様による ）、使用量（ 製造所の仕様による ）
④ シーリング	◎シーリング材は、JIS A 5758の規格品とする。 シーリング材の種類 / 施工箇所 / 目地寸法 幅 / 目地寸法 深さ / 接着性試験（引張、簡易） / 備　考 記号 / 主成分及び硬化機構による区分 SM-2 / 変性ｼﾘｺｰﾝ / 建具廻り / 15 / 10 / 簡易 / PU-2 / ｳﾚﾀﾝ / 打継目地 / 20 / 15 / 簡易 / ただし、接着性試験は、同じ材料の組合せで実施した試験成績書がある場合は、監督員の承諾を受けて試験を省略することができる。 ◎シーリング面への仕上塗材仕上げ等を（ 行う ・ ~~行わない~~）。
⑧ 防水保証	◎防水工事完了後は、メーカー、元請業者、下請業者の3者連名による。 （ ~~5~~ ・ 10 ）年間の防水工事性能保証書を提出すること。
11章　タイル工事	
① 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	◎伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置は、図示の箇所及び標仕により、割付図を作成し監督員の承認を得ること。 ◎下地のひび割れ誘発目地の位置及び他部材との取合い部には、伸縮調整目地を設ける。 ◎入隅部、建具枠回り等との取合い部に伸縮調整目地を設ける。
② セメントモルタルによるタイル張り	施工箇所 / 形状/寸法 (mm) / 吸水率による区分 Ⅰ類 / Ⅱ類 / 圧縮強度による区分 / すり 施ゆう / 役物 賀ゆう / 役物 外 / 色 無 / 色 標準 / 色 特注 / 再生材の適用 / 耐凍害性 有 / 耐凍害性 無 / 耐滑り性 / 備考 床 / 150角 / ○ / / / / / ○ / / ○ / ○ / / / ○ / ○ / ◎壁タイル張り工法（　　） ◎標準的な曲がりの役物は一体成形とする。 ◎タイルの製造所：　評価名簿による。 ◎見本焼きを（ ~~行う~~ ・ 行わない ）。 ◎試験張りを（ ~~行う~~ ・ 行わない ）。 ◎既製調合モルタルの製造所：　評価名簿による。 ◎張木材の混入量は、実績等の資料を提出したうえで、監督員の承認を得ること。
3.　有機系接着剤によるタイル張り	施工箇所 / 形状/寸法 (mm) / 吸水率による区分 Ⅰ類 / Ⅱ類 / 圧縮強度による区分 / すり 施ゆう / 役物 賀ゆう / 役物 外 / 色 無 / 色 標準 / 色 特注 / 再生材の適用 / 耐凍害性 有 / 耐凍害性 無 / 耐滑り性 / 備考 ◎タイルの製造所：　評価名簿による。 ◎見本焼きを（ 行う ・ 行わない ）。 ◎試験張りを（ 行う ・ 行わない ）。 ◎標準的な曲がりの役物は一体成形とする。 ◎目地詰めを（ 行う　・　行わない ）。
4.　陶磁器質タイル型枠先付け	型枠先付種別 / タイルの種類 / せき板の種別 / 施工箇所 / 役物の使用場所 施工場所 / 形状/寸法 (mm) / 吸水率による区分 Ⅰ類 / Ⅱ類 / 圧縮強度による区分 / すり 施ゆう / 役物 賀ゆう / 役物 外 / 色 無 / 色 標準 / 色 特注 / 再生材の適用 / 備考 ◎タイルの製造所：　評価名簿による。 ◎見本焼きを（ 行う ・ 行わない ）。 ◎試験張りを（ 行う ・ 行わない ）。
5.　有機質接着剤	◎ユリア樹脂等（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆の接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。
⑥ 試験	◎引張接着試験を（ ~~行う~~ ・ 行わない ）。

項　目	特　記　事　項
13章　屋根及びとい工事	
① とい	◎とい受金物　材種（ SUS ）　形状（　　）　取付間隔（ 1200 ） ◎材種（ カラーＶＰ　　）　径（100φ ） ◎防露の施工箇所は図示により、図示のもの以外は標仕表13.5.3による。ロックウール又はグラスウール保温筒のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆のロックウール又はグラスウール保温筒を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。 ◎銅管製といの防露巻きは、図示による。それ以外の場合は、標仕表13.5.4により行う。 ◎硬質塩化ビニル雨どいの1本の長さは、10m以内とし、伸縮に対応する工法を選択すること。 ◎ルーフドレンの種別（ 陸屋根用縦型、ﾊﾞﾙｺﾆｰ用　横型　）
	◎ルーフドレンの製造所：　評価名簿による。 ◎ルーフドレン及びといは、取付け完了後、清掃し、通水試験を行う。 ◎さび止め止めは図面により、図示のもの以外は標仕13.5.3 (1)（ア）(d) 又は13.5.3 (2)（イ）による。
14章　金属工事	
① 一般事項	◎製品の取付に当たっては、受材の有無並びにアンカーの長さ、径及び本数等について、十分耐力のある工法を選択し、監督員の承諾を得ること。 ◎あと施工アンカーの引抜き耐力の確認試験を（ ~~行う~~ ・ 行わない ）。 確認強度は、（　　）kNとする。
2.　表面処理	◎アルミニウム及びアルミニウム合金（成形板、笠木、建具以外） 表面処理の種別 / 被膜又は複合被膜の種類・着色方法・色合等 / 表面処理の試験方法 / 施　工　箇　所 ◎亜鉛めっき（手すり、タラップ以外） 種別 / 表面処理方法 / 記号又は等級 / 施工箇所 ◎亜鉛めっきの試験は（ 行う ・ 行わない ）。 試験方法（　　）
③ 溶接、ろう付け等	◎溶接及びろう付けによる接合後は、各表面仕上げの種類の皮膜処理を行うこと。ただし、亜鉛めっき面については、標仕14.2.2による。 ◎鉄の溶接は、7章「鉄骨工事」に準ずる。
④ 軽量鉄骨天井下地	◎野縁などの種類：屋内19形、屋外25形とし、標仕 表14.4.1による。 ◎耐震性を考慮した補強及び屋外の軒天、ピロティー天井等における耐風圧性を考慮した補強は、図示による。 ◎建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速　Vo=（ 36 ）m/s 地表面粗度区分（ ~~Ⅰ・Ⅱ~~ ・ Ⅲ ・ ~~Ⅳ~~） 積雪区分　　建設省告示第1455号 別表（ 35 ）
5.　軽量鉄骨壁下地	◎屋外の野縁受け、つりボルト及びインサート、野縁の間隔は図示による。 ◎ダクト等によって、つりボルトの間隔が900mmを超える場合の、補強方法は図示による。 ◎天井のふところが3m以上の箇所の補強方法は図示による。 ◎天井下地材における耐震性を考慮した補強方法は図示による。 ◎屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強は図示による。 ◎スタッド、ランナ等の種類は、標準仕様書14.5.3（表14.5.1）による。 ◎出入口及びこれに準ずる開口部の補強は（・標仕14.5.4 (5)　・　　）による。 ◎ダクト類の開口部の補強にあたり、取付け強度を必要とする場合は、監督職員との協議による。
6.　金属成形板張り	種　別 / モールディング（既製品） / スパンドレル 材　質 / / 製　法 / / 板　幅 / / 寸　法 / / 厚　さ / / 形　状 / 図示による。 / 図示による。 表面処理 / / 伸縮継手 / / 取付下地 / / 製 造 所 / /
7.　アルミニウム製笠木	◎押出形材：　規　　格　JIS H 4100によるA6063Sとする。 部材の種類　（ 250形 ・ 300形 ・ 350形 ）とする。 本体の表面処理　（　　）種 付属部品の表面処理は、笠木本体製造所の仕様による。 ◎曲 げ 材：　規　　格　JIS H 4000によるA1100Pとする。 厚さ（　　）mm　　形状　図示
	◎地域指定　（ 一般 ・ 多雪 ） ◎建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した固定金具の間隔、固定方法等を施工計画書として提出する。 ◎建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速　　Vo=（　　）m/s 地表面粗度区分　（ Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ）
8.　エクスパンション ジョイント金物	◎材　質（　　） クリアランス（　　） 耐火性能（　　）
⑨ 天井点検口	材種 / 寸法 / 形式 / 外枠 / 内枠 ｱﾙ製 / 600×600 / 一般形 / / / ◎製造所：　評価名簿による。
10.　床点検口	材種 / 寸法 / 形式 / 備考 ◎製造所：　評価名簿による。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事
図面名	特記仕様書3
縮　尺	NON / 図面番号 / 2-4-1-T3
藍　住　町　上　下　水　道　課	

15章　左官工事

① 一般事項

◎下地調整に用いる吸水調整材の使用方法は、製造所の仕様による。

◎コンクリート等面の下地及び各塗り層は、清掃のうえ適度の水湿しを行って、次の層の塗り方にかかる。

② モルタル塗り

◎モルタルは（現場調合材料　・既調合材料）。
現場調合材料の場合は標仕15.3.2 (1) (ア)，既調合材料の場合はJIS A 6916による。

◎下地、塗り面等の浮いている部分は、直ちに補修する。

使用箇所	仕上の種類	目地の材質	防水の有無	備　考

◎防水剤の製造所：　評価名簿による。

◎目地の位置及び寸法は、図示による。

◎防水モルタルに用いる防水剤の使用方法は、製造所の仕様による。

◎総塗り厚が25mm以上となる場合は、はく落防止工法とすること。

③ 床コンクリート直均し仕上げ

◎施工箇所（　　）

4. セルフレベリング材塗り

◎セルフレベリング材の種類（ せっこう系 ・ セメント系 ）
塗り厚さ（　　）mm
施工箇所は、（ 仕上表による ・ 図示による ）。

◎シーラーその他の材料は、セルフレベリング材製造所の指定する製品とする。

⑤ 仕上げ塗材仕上げ

◎仕上塗材は、JIS A 6909（建築用仕上塗材）による。なお、下塗材、増塗材、主材及び上塗材は、同一製造所の製品とする。

種　類	呼び名	上塗材	仕上げの形状	耐候性	工　法	防火認定	下地仕上	下地調整
薄付仕上塗材	外装薄塗材E		砂壁状		吹付			
厚付仕上塗材	複層塗材E	アクリル系	ゆず肌状		吹付			

◎建物内部に使用するユリア樹脂等（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤）を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量は、（ F☆☆☆☆ ・ F☆☆☆ ）とする。

◎外壁のコンクリート下地等のひび割れの処理方法は、監督員と協議する。

◎所要量等の確認は、（標仕 表15.6.4. 単位面積当たりの使用量）による。

6. マスチック塗材塗り

◎種別（ A種 ，　B種（仕上材塗り：EP-G（　A種　・　B種　）

7. せっこうプラスター塗り

◎プラスターは、JIS A 6904（せっこうプラスター）による。なお、せっこうプラスターは、製造後4か月以上経過したものは使用しない。

8. ロックウール吹付

◎ロックウールは、JIS A 9504により建築基準法に基づき不燃材料の指定又は認定を受けたものとする。ロックウールのホルムアルデヒド放散量は、（ F☆☆☆☆ ・ F☆☆☆ ）とする。

◎接着剤のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

◎吹付厚さ　（　）mm

◎吹付完了後、施工者の施工管理担当者は、厚さ及びかさ比重の検査を行い、合格後、防火材料の認定マークを1面2か所以上貼り付けること。

16章　建具工事

① 一般事項

◎外部に面する建具は、建築基準法施行令及び「屋根ふき材、外装材及び屋外に面する帳壁の基準（昭和46年 建設省告示第109号）」に基づき、安全性を確認すること。

◎防火戸の指定は建具表による。

◎建具見本の製作及び特殊な建具の仮組は、建具表による。

◎防犯建物部品の適用は、建具表による。

② アルミニウム製建具

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込寸法	使用箇所	表面処理
B種	S-5	A-3	W-4	70	階段室・ホール	B-1

◎結露水の処理方法は図示による。

◎防虫網の材質（ ステンレス製（SUS316） ・~~ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 合成樹脂製~~ ）

◎防鳥網の材質は、ステンレス（SUS304）線材、線径1.5mm、ピッチ15mmとする。

◎製造所：　評価名簿による。

◎建具には製造業者名を表示すること。

3. 樹脂製建具

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込寸法	使用箇所	表面処理

◎ガラスの種類　（　　）

◎防虫網の材質（ ステンレス製（SUS316） ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 合成樹脂製 ）

◎防鳥網の材質は、ステンレス（SUS304）線材、線径1.5mm、ピッチ15mmとする。

◎外部に面する建具の日射熱取得性の等級（　　）。

④ 鋼製建具

耐風圧性	気密性	水密性	遮音性	断熱性	面内変形追随性	使用箇所	表面処理

◎防火戸の指定及び鋼板の厚さは、建具表による。

◎簡易気密型ドアセットの機密性、水密性は建具表による。

◎鋼板は、JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）による表面処理亜鉛めっき鋼板とし、めっき付着量は（Z12又はF12 ）以上とする。
なお、あらかじめりん酸塩処理又はクロメートフリー処理による化成皮膜処理を行ったものを用いる。

◎製造所：　評価名簿による。

◎標準型鋼製建具は、標仕16.4.6により寸法及び金物を標準化したものとする。

⑤ 鋼製軽量建具

気密性	遮音性	断熱性	面内変形追従性	使用箇所	備　考

◎簡易気密型ドアセットの気密性、水密性は建具表による。

◎製造所：　評価名簿による。

◎標準型鋼製軽量建具は、標仕16.5.6により寸法及び金物を標準化したものとする。

6. ステンレス製建具

表面の仕上げ	曲げ加工の方法
鋼板等：　　くつずり：	普通曲げ ・ 角出し曲げ

◎製造所：　評価名簿による。

◎簡易気密型ドアセットの気密性、水密性は建具表による。

7. 木製建具

◎建具材の含水率の種別は、（ A ・ B ）種とする。

◎見込み寸法は、（　　）mmとする。

◎フラッシュ戸の表面材の種類（ 普通合板 ・ 天然木化粧合板 ・ 特殊加工化粧合板 ・ MDF ）。
MDFを使用する場合の品質（　　）。

◎フラッシュ戸の表面材の品質について、ホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆のフラッシュ戸を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。
その他は、標仕16.7.2 (2) による。

◎表面板の厚さは、（　　）mmとする。

◎かまち戸のかまち及び鏡板の材種は、（　　）とする。

◎ふすまの上張りは、（ 鳥の子 ・ 新鳥の子 ・ ビニル紙 ）とする。

◎ふすまの縁の仕上げは、（ 塗り縁 ・ 生地縁（素地） ・ 生地縁（ウレタンクリアー塗装） ）とする。

◎枠及びくつずりの材料（　　）とする。

◎建物内部の木製建具に使用するホルムアルデヒド水溶液を用いた造作用、壁紙施工用及び建具用でん粉系接着剤のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆のでん粉系接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

⑧ 建具用金物

◎金物の種類及び見え掛り部の材質は、標仕 表16.8.1による。

◎金属製建具に使用する丁番は標仕表16.8.2による。

◎既製又はこれに準ずる建具の建具金物は、建具製造所の仕様による。

◎樹脂製建具に使用する丁番は標仕表16.8.3による。

◎握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置は図示による。

◎木製建具に使用する丁番は標仕表16.8.4による。

◎木製建具に使用する戸車及びレールは標仕16.8.5による。

◎マスターキーは、製作する（ 3 組）。その他の鍵の製作本数は（　組）

9. 自動ドア開閉装置

設置場所	
駆動方式	
センサー	
ドア開閉装置の種類	
ドアの開閉方式	
防錆の適用	

◎製造所：　評価名簿による。

10. 自閉式上吊り引戸装置

設置場所	
適用戸の総質量(kg)	
手動開き力(N)	
手動閉じ力(N)	
閉じ速度の調整	
制動区間	
開閉繰り返し	
耐衝撃性	

◎製造所：　評価名簿による。

11. 重量シャッター

設置場所		
強度		耐風圧強度
シャッターの種類	・ 管理用シャッター　・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター　・ 防煙シャッター	
開閉機能	・ 上部電動式（手動併用）　・ 上部手動式	
安全装置		
シャッターケース仕様		

◎製造所：　評価名簿による。

12. 軽量シャッター

設置場所		
強　度		耐風圧強度
開閉装置	・ 上部電動式（手動併用）　・ 手動式	
安全装置		
スラット仕様		
シャッターケース仕様		
ガイドレール仕様		
中柱の補強		
座　板		

◎製造所：　評価名簿による。

13. オーバーヘッドドア

◎耐風圧性能は、JIS A 4715により、その区分は（　　）とする。

使　用　箇　所	
セクション材料	・ スチールタイプ　・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ
開閉機能	・ バランス式　・ チェーン式　・ 電動式
収納形式による種類	・ スタンダード形　・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形　・ バーチカル形
ガイドレールの材質・厚さ	・ 溶融亜鉛めっき鋼板　・ ステンレス鋼板
安全装置	

◎製造所：　評価名簿による。

⑭ ガラス

◎板ガラス

種　類	品　種	厚　さ	備　考

◎外部の網入り硝子等の下辺小口及び縦小口下端の防錆処理を行うこと。

◎ガラス留め材の種類

建具の種類	材　種	ガラス溝の大きさ
鋼　製		建具製造所の仕様による。
アルミニウム製		
ステンレス製		
木　製		
樹　脂　製		

◎防火設備のガラスとめ材は、防火設備認定品とする。

◎ガラスブロック積み

表面形状	呼び寸法	厚さ	力骨の材質・寸法・形状	目地幅の寸法	伸縮調整目地の位置

◎目地部の力骨の補強方法は、ガラスブロック製造所の仕様による。

◎壁用金属枠及び補強材を（ 設ける ・ 設けない ）。
形状は、図示による。

◎化粧目地モルタルの色（　　）

◎シーリング材は、標仕 表9.7.1による。

◎金属製化粧カバーの材質は、（　　）製とし、寸法、形状は、図示による。

◎工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。

15. ガラス用フィルム

名　称	種　類	張り面
ガラス飛散防止フィルム	第2種	

◎品質はJIS A 5759による。

18章　塗装工事

① 一般事項

◎防火材料又は建築基準法に基づく指定又は認定を受けたものとする。

◎塗料はホルマリン不検出のもの及び有機溶剤の含有量が少ないものとする。

◎ユリア樹脂等（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤）を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の塗料を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

2. 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)

区　分	種　別		素地ごしらえ	さび止め塗料		さび止め工程の種別	備　考
	屋外	屋内		屋外	屋内		

3. クリヤーラッカー塗り(CL)

区　分	種　別	素地ごしらえ	備　考
木部			

4. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)

区　分	種　別	素地ごしらえ	備　考

⑤ 耐候性塗料 (DP)

区　分	工程種別	素地ごしらえ	錆止め塗料塗りの種別	上塗りの等級	備　考
亜鉛メッキ面	A種	B種	A種	1級	

⑥ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)

区　分	工程種別	素地ごしらえ	錆止め塗料塗りの種類	備　考
ボード面	B種	B種		

7. 合成樹脂エマルションペイント塗料 (EP)

区　分	種　別		素地ごしらえ	備　考
	屋外	屋内		

8. ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)

区　分	種　別	素地ごしらえ	備　考
木部			

9. ステイン塗り

区　分	素地ごしらえ	備　考
木部		

10. 木材保護塗料塗り (WP)

区　分	種　別	素地ごしらえ	備　考
木部			

19章　内装工事

① ビニル床シート張、ビニル床タイル張及びゴム床タイル張

材質	種類の記号	色柄	厚さ	幅　木			接着剤	施工箇所	備　考
				材質	厚さ	高さ			
ビニル床シート	FS	マーブル	2.0	塩ビ	1.5以上	100	エポキシ	ホール・階段	

◎帯電防止床タイル：種類（　　），厚さ（ 4.5 ），性能（　　）

◎耐動荷重性床シート：種類（　　），厚さ（　　）

◎ビニル幅木：材質（ 軟質 ・~~硬質~~ ），高さ（~~60・75~~・ 100 ），厚さ（ 1.5 ）

2. カーペット敷き

種　類	種　別	品質	帯電性	厚　さ	工　法	防火性能	下　敷	品質検査

③ 合成樹脂塗床

材　質	仕上げの種類	備　考
弾性ウレタン樹脂	平滑仕上げ	

◎ユリア樹脂等（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤）を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の塗料を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

◎以下の物質を含有しない材料を選定し、監督員の承諾を得ること。
・室内空気中化学物質の室内濃度指針値について（H31.1.17厚生発0117第1号）における13物質
・学校環境衛生基準（平成21年文部科学省告示第60号）第1の1の（8）アへカの6物質

4. フローリング張り

◎ホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆のフローリング及び接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

品名	種別	樹種	厚さ	寸法	横様	工法	釘・接着剤の種類	表面仕上・塗装	備考

5. 畳敷き

◎種別（ A ・ B ・ C ・ D ）種

◎D種の場合、畳床は（ ・KT-I　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N）とする。

◎畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする。

◎衝撃緩和型畳の場合、畳表は（ C1 ・ C2 ）とする。

◎畳はJIS A 5902、衝撃緩和型畳はJIS A 5917に基づき表示をする。

⑥ せっこうボードその他ボード及び合板張り

材種・規格品	施工箇所	工法	厚さ(mm)	不燃材等の区分	小ねじ・釘・接着剤の種類	下地の種類	備　考
せっこうボード JIS A 6901の規格品	壁	突き付け	12.5	不燃		RC下地	
	天井						
化粧せっこうボード トラバーチン模様 JIS A 6901の規格品							
化粧せっこうボード 杉板目プリント JIS A 6901の規格品							
吸音用穴あきせっこうボード JIS A 6301の規格品							
強化せっこうボード JIS A 6901の規格品							

6. せっこうボードその他ボード及び合板張り

◎パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆のパーティクルボード及びMDFを使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

材種・規格品	施工箇所	工法	厚さ(mm)	不燃材等の区分	小ねじ・釘・接着剤の種類	下地の種類	備　考
ロックウール 化粧吸音板 JIS A 6301の規格品							
ロックウール吸音材 JIS A 6301の規格品							
グラスウール吸音材 JIS A 6301の規格品	壁						
	天井						
ロックウール保温材 JIS A 9504の規格品							
木毛セメント板 JIS A 5404の規格品							
けい酸カルシウム板 JIS A 5430の規格品	壁						
	天井	目透シ	6.0	不燃		LGS	
火山性ガラス質複層板（VSボード） JIS A 5440の規格品							
普通合板 農林省告示第233号							
天然木化粧合板 農林省告示第233号							
特殊加工化粧板 農林省告示第233号							
難燃合板 農林省告示第1869号							
その他							

◎合板、パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の合板、パーティクルボード及びMDFを使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

7. 壁紙張り

施工箇所	種類	防火性能の級別	素地ごしらえ	不燃材料等の区分	備　考

◎ホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の壁紙を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	特記仕様書4		
縮　尺	NON	図面番号	2-4-1-T4
藍　住　町　上　下　水　道　課			

項　目	特　記　事　項
⑧ 断熱・防露	

材　種	種　類	厚　さ	工　法	補 修 材	備　考

◎ロックウール，グラスウール，ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量は，F☆☆☆☆とする。
ただし，正当な理由により確保が困難である場合等，ホルムアルデヒドの放散量が，F☆☆☆☆の断熱材を使用できない場合には，監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする。

◎断熱材現場発泡工法

種　類	厚　さ	施 工 箇 所	備　考
硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ	30	図示による	

◎製造所：　評価名簿による。

⑨ 接着剤

◎壁紙施工用でん粉系接着剤，ユリア樹脂等（ユリア樹脂，メラミン樹脂，フェノール樹脂，レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量は，F☆☆☆とする。
ただし，正当な理由により確保が困難である場合等，ホルムアルデヒドの放散量が，F☆☆☆の接着剤を使用できない場合には，監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする。

20章　ユニット及びその他の工事

① 手すり及びタラップ

材種	表面処理	直径	取付箇所	備考
SUS304	ｺﾞﾑﾃｰﾌﾟ	22φ	天井裏	ﾀﾗｯﾌﾟ
ﾌﾗｯﾄ			手摺・搬入ﾋﾟｯﾄ	手摺

◎手すりの支柱は，コンクリートあるいはモルタルの中に入る部分であっても錆止め処置を行うこと。

② 階段滑り止め

◎材種（　SUS　），形状（　　），幅（　40　）

◎取付け方法は（　埋込み工法　・~~接着工法~~　）とする。

21章　排水工事

① 排水管

◎排水管材料

材種	管の種類	呼び径	備考

② 側塊，排水桝等

◎側塊の形状：図示

◎排水マスの種類：図示

◎グレーチング

材質	用途	適用荷重	ﾒｯｷﾋﾟｰﾋﾞｯﾁ	亜鉛めっき付着量	上面形状	備考

・製造所：　評価名簿による。

◎鋳鉄製マンホールふた

名称	種類	適用荷重	備考

・製造所：　評価名簿による。

◎砂の粒度試験は，（　行う　・　行わない　）

③ 街きょ，縁石，側溝

◎地業材料：　　厚さ

◎砂利地業の厚さは，（　　）mmとする。

◎コンクリート設計基準度等：　　N/mm2，スランプ＝　cm

◎街きょ，縁石及び側溝

名称	形状	寸法	備考

④ その他

◎地業材料の種類：　　厚さ：

◎コンクリート：設計基準強度（　　N/mm2），スランプ（　　）

◎埋め戻し材料：（ A ・ B ・ C ・ D ）種とする。

◎排水工事の仕様は，図示以外は，建築工事標準詳細図による。

22章　舗装工事

1. 路床

◎盛土材料（　　）

◎凍上抑制層材料（　　），凍上抑制層厚さ（　　）

◎透水性舗装フィルター材料（　　）透水性舗装フィルター厚さ（　　）

◎路床安定処理材は（　　）とし，厚さ（　　），CBR（　　）

◎六価クロム溶出試験を（ 行う ・ 行わない ）。
行った場合，土壌環境基準以下であることを確認すると共に，試験結果（計量証明書）を監督員に提出するものとする。
六価クロム溶出試験は，「セメント及びセメント系固化材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置」（平成12.3.31 建設第258号）の「六価クロム溶出試験実施要領（案）」により実施する。
土質条件，施工条件等により試験方法，検体数に変更が生じた場合，試験の結果，六価クロムの溶出量が土壌環境基準を超えた場合等は，監督員と協議するものとする。

◎路床土の支持力比（CBR）試験は（ 行う（乱した土，乱さない土） ・ 行わない ）。

◎路床締固め度試験は（ 行う ・ 行わない ）。

◎砂の粒度試験は（ 行う ・ 行わない ）。

◎現場ＣＢＲ試験を（行う　・　行わない）。

2. 路盤

◎路盤材料（　　），車道部の厚さは（　　）mm

◎締固め試験は（ 行う ・ 行わない ）。

◎路盤の厚さは，設計厚さを下回らないこととする。

3. アスファルト舗装

舗装の種類	部　位	舗装の厚さ(mm)
アスファルト		

◎再生加熱アスファルト混合物を（ 使用する ・ しない ）。

種　別	種　類	備　考
加熱アスファルト混合物		
再生加熱アスファルト混合物		

◎シールコートは（ 行う ・ 行わない ）。

◎アスファルト混合物の抽出試験は（ 行う ・ 行わない ）。

◎切取り試験を（行う　・　行わない）。

◎表層の厚さは，設計厚さを下回らないこととする。

◎地域は（ 一般地域 ・ 寒冷地域 ）とする。

◎舗装の平担性は，通行の支障となる水たまりを生じない程度とする。

4. コンクリート舗装

◎設計基準強度（　　N/mm2），スランプ（　　），粗骨材の最大寸法（　　）

◎表面の仕上げ（　　）

舗装の種類	部　位	舗装の厚さ(mm)

◎目地材は注入の場合（ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ ）による。

◎目地

部　位	目地の種類	目地の間隔

◎溶接金網は使用（ する ・ しない ）。

◎コンクリート版の厚さは，型枠据付後，水糸又はレベルにより測定する。

◎舗装の平坦性は，通行の支障となる水たまりを生じない程度とする。

◎表層の厚さは，設計厚さを下回らないこととする。

5. カラー舗装

舗装の種類	工法	部位	舗装の厚さ(mm)	結合材の種類

◎再生加熱アスファルト混合物を（ 使用する ・ しない ）。

種　別	種　類	備　考
加熱アスファルト混合物		
再生加熱アスファルト混合物		

◎シールコートは（ 行う ・ 行わない ）。

◎添加する材料　　・着色骨材（　　）　・自然石（　　）

◎アスファルト混合物の抽出試験は（ 行う ・ 行わない ）。

◎舗装の平担性は，通行の支障となる水たまりを生じない程度とする。

◎表層の厚さは，設計厚さを下回らないこととする。

6. 透水性アスファルト舗装

◎厚さ（　　）

◎切取り試験を（行う　・　行わない）。

◎開粒度アスファルト混合物の抽出試験は（ 行う ・ 行わない ）。

◎舗装の平坦性は，著しい不陸がないものとする。

7. ブロック系舗装

区　分	部位	クッション材		目地材	種類	寸法	形状	表面加工	備考
		種類	厚さ						
ｺﾝｸﾘｰﾄ平板舗装									
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装									
舗石舗装									

◎舗装の平たん性は，歩行に支障となる段差がないものとする。

8. 砂利敷き

◎砂利敷きの種別は（ A種 ・ B種 ）とする。

9. 区画線

◎路面標示位置，間隔は図示による。

◎材料：種類（　　），色（　　），塗布幅（　　），塗布厚さ（　　）

10. 視覚障がい者誘導ブロック

施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ	色彩

◎ブロックパターンはJIS T 9251による。
◎設置位置：図示

11. 排水の処理

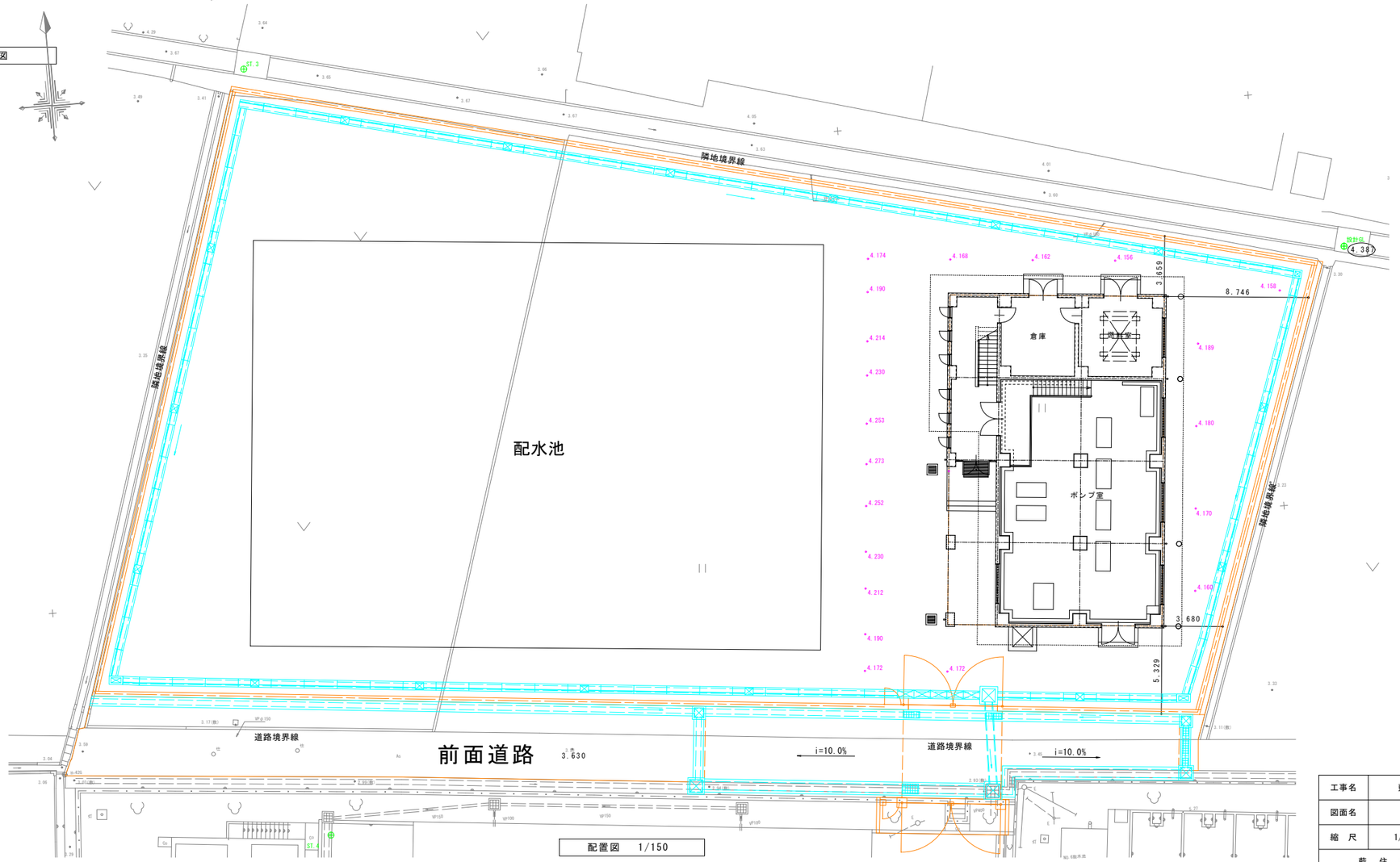
◎舗装版切断に伴い発生する排水は汚泥に該当するため，関係法令等に基づき適正に処理すること。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	特記仕様書5		
縮　尺	NON	図面番号	2-4-1-T5
藍　住　町　上　下　水　道　課			



工事場所

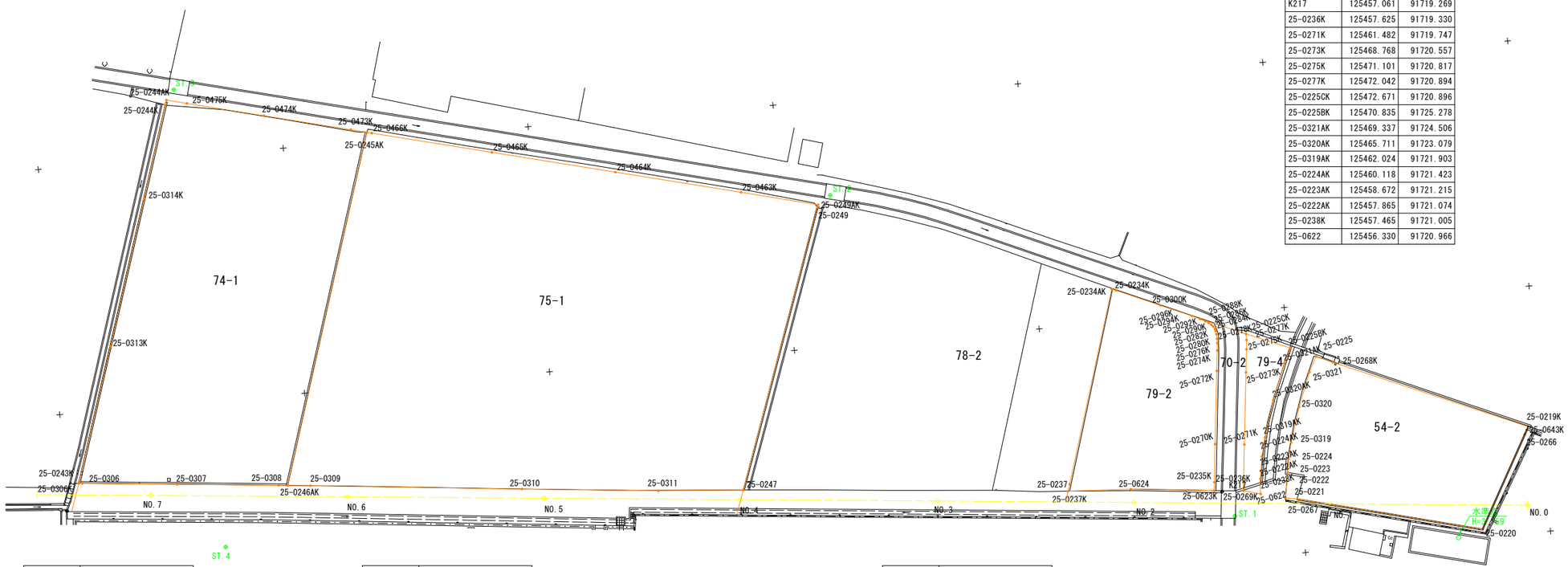
付近見取図



配置図　1/150

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	配置図・案内図		
縮　尺	1/150	図面番号	2-4-2-A1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

用地境界及び線形図 S=1:250



地　番	79-4	
点名称	X座標	Y座標
25-0269K	125456.818	91719.243
K217	125457.061	91719.269
25-0236K	125457.625	91719.330
25-0271K	125461.482	91719.747
25-0273K	125468.768	91720.557
25-0275K	125471.101	91720.817
25-0277K	125472.042	91720.894
25-0225CK	125472.671	91720.896
25-0225BK	125470.835	91725.278
25-0321AK	125469.337	91724.506
25-0320AK	125465.711	91723.079
25-0319AK	125462.024	91721.903
25-0224AK	125460.118	91721.423
25-0223AK	125458.672	91721.215
25-0222AK	125457.865	91721.074
25-0238K	125457.465	91721.005
25-0622	125456.330	91720.966

地　番	54-2	
点名称	X座標	Y座標
25-0221	125455.700	91723.449
25-0222	125457.399	91723.744
25-0223	125458.247	91723.892
25-0224	125459.593	91724.085
25-0319	125461.280	91724.510
25-0320	125464.802	91725.634
25-0321	125468.218	91726.978
25-0225	125469.773	91727.779
25-0268K	125469.022	91729.453
25-0219K	125460.775	91748.661
25-0643K	125460.473	91748.496
25-0266	125460.012	91748.243
25-0220	125450.776	91743.122
25-0267	125455.489	91724.642

地　番	74-1	
点名称	X座標	Y座標
25-0306K	125467.878	91601.324
25-0243K	125468.005	91601.368
25-0313K	125481.468	91605.756
25-0314K	125496.164	91610.471
25-0244K	125505.415	91613.437
25-0244AK	125505.904	91613.594
25-0475K	125505.386	91615.650
25-0474K	125503.454	91623.331
25-0473K	125501.273	91632.000
25-0245AK	125500.863	91633.622
25-0246AK	125465.813	91622.494
25-0308	125465.909	91621.546
25-0307	125466.907	91611.259
25-0306	125467.843	91601.680

地　番	75-1	
点名称	X座標	Y座標
25-0246AK	125465.813	91622.494
25-0245AK	125500.863	91633.622
25-0466K	125500.740	91634.106
25-0465K	125497.725	91646.108
25-0464K	125494.625	91658.451
25-0463K	125491.475	91670.985
25-0249AK	125489.527	91678.687
25-0249	125489.300	91678.606
25-0247	125461.318	91668.584
25-0311	125461.992	91659.980
25-0310	125463.380	91646.157
25-0309	125465.583	91624.757

地　番	79-2	
点名称	X座標	Y座標
25-0237K	125458.316	91701.480
25-0237	125459.011	91701.705
25-0234AK	125478.404	91707.693
25-0234K	125478.220	91708.112
25-0300K	125476.297	91712.501
25-0296K	125474.959	91715.588
25-0294K	125474.587	91716.374
25-0292K	125474.308	91716.890
25-0290K	125474.089	91717.223
25-0288K	125473.898	91717.461
25-0286K	125473.707	91717.636
25-0284K	125473.437	91717.793
25-0282K	125473.228	91717.852
25-0280K	125472.892	91717.906
25-0278K	125472.431	91717.926
25-0276K	125471.981	91717.910
25-0274K	125471.243	91717.840
25-0272K	125469.174	91717.609
25-0270K	125461.769	91716.790
25-0235K	125457.936	91716.382
25-0623K	125457.078	91716.296
25-0624	125457.958	91707.858

測量中心線　主要点座標一覧表

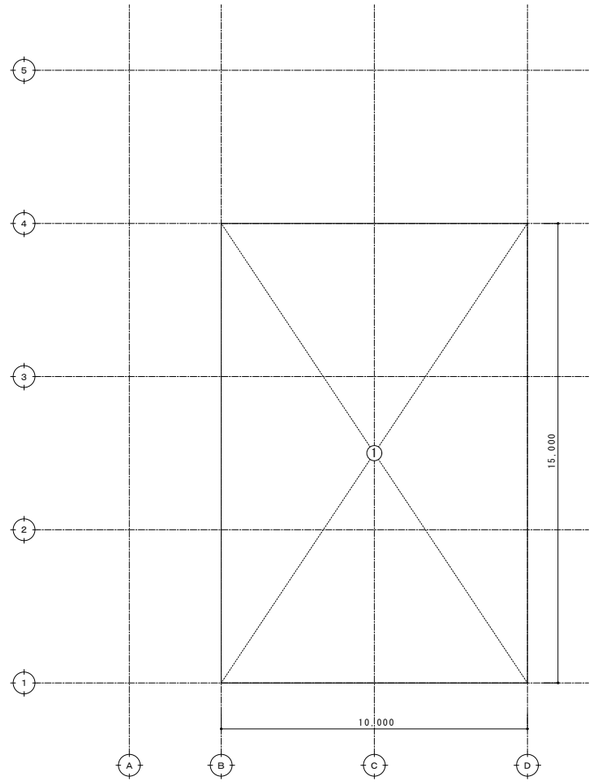
主要点名称		測点	単距離	X座標	Y座標	接線角
BP		NO.0+ 0.000	0.000	125452.819	91747.879	275° 24′ 38.63″
		NO.0+10.000	10.000	125453.762	91737.924	275° 24′ 38.63″
		NO.1+ 0.000	10.000	125454.705	91727.968	275° 24′ 38.63″
		NO.1+10.000	10.000	125455.648	91718.013	275° 24′ 38.63″
		NO.2+ 0.000	10.000	125456.591	91708.057	275° 24′ 38.63″
		NO.2+10.000	10.000	125457.534	91698.102	275° 24′ 38.63″
		NO.3+ 0.000	10.000	125458.477	91688.147	275° 24′ 38.63″
		NO.3+10.000	10.000	125459.420	91678.191	275° 24′ 38.63″
	+	NO.4+ 0.000	10.000	125460.363	91668.236	275° 24′ 38.63″
		NO.4+10.000	10.000	125461.305	91658.280	275° 24′ 38.63″
		NO.5+ 0.000	10.000	125462.248	91648.325	275° 24′ 38.63″
		NO.5+10.000	10.000	125463.191	91638.369	275° 24′ 38.63″
		NO.6+ 0.000	10.000	125464.134	91628.414	275° 24′ 38.63″
		NO.6+10.000	10.000	125465.077	91618.458	275° 24′ 38.63″
		NO.7+ 0.000	10.000	125466.020	91608.503	275° 24′ 38.63″
		NO.7+10.000	10.000	125466.963	91598.548	275° 24′ 38.63″
EP		NO.7+11.576	1.576	125467.112	91596.979	275° 24′ 38.63″

基準点座標一覧表

点　名	X座標	Y座標	Z座標
ST.1	125454.321	91718.164	4.349
ST.2	125490.365	91680.001	4.387
ST.3	125506.885	91614.429	4.446
ST.4	125460.130	91615.652	4.279
K3	125418.369	91700.244	4.152
K4	125439.732	91703.016	4.331
K9	125435.195	91613.069	4.281
K8	125410.698	91622.349	4.270
KBM	—	—	3.759

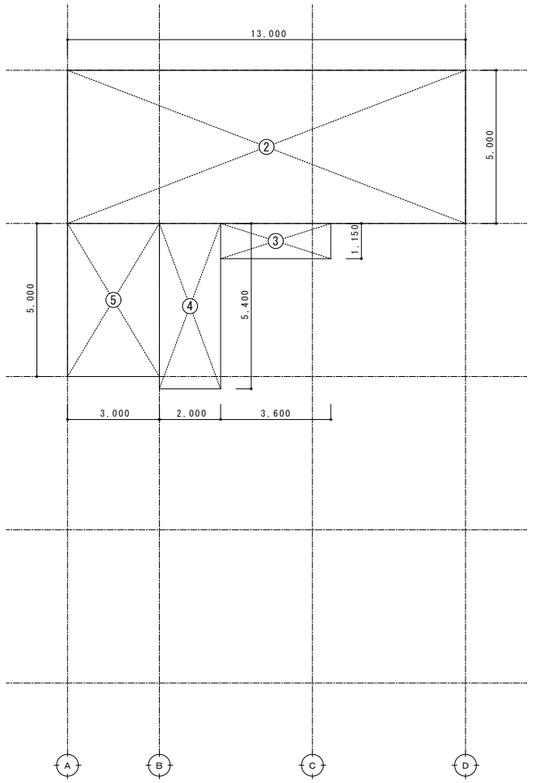
当図は「令和3年度 藍住町浄水場造成工事設計業務」成果図より引用

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	用地境界及び線形図		
縮　尺	1/250	図面番号	2-4-2-A2
藍　住　町　上　下　水　道　課			



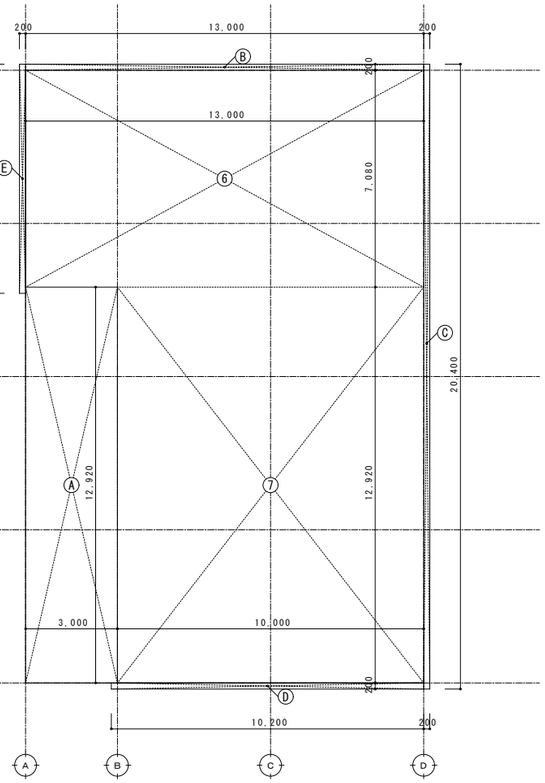
１階（下部）求積図

1階(下部)床面積		
符号	計　算　式	小　　計(m2)
①	10.0×15.0	150.00
	合　計	150.00



１階求積図

1階床面積		
符号	計　算　式	小　　計(m2)
②	13.0×5.0	65.00
③	3.6×1.15	4.14
④	2.0×5.4	10.80
⑤	3.0×5.0	15.00
	合　計	94.94



２階求積図

2階床面積		
符号	計　算　式	小　　計(m2)
⑥	13.0×7.08	92.04
⑦	10.0×12.92	129.2
	合　計	221.24

庇等面積		
符号	計　算　式	小　　計(m2)
Ⓐ	3.0×12.92	38.76
Ⓑ	13.0×0.2	2.6
Ⓒ	20.4×0.2	4.08
Ⓓ	10.2×0.2	2.04
Ⓔ	7.48×0.2	1.496
	合　計	48.976

消防法による無窓階ﾁｪｯｸﾘｽﾄ

階数	床面積A (m2)	必要開口面積 A×1/30(m2)	建具記号	建具形状	建具寸法(W×H)	ｶﾞﾗｽ仕様	有効開口部面積(m2)	ヶ所数	有効開口部面積小計(m2)	判定
1階	244.94	8.16	AW/1	片開き+FIX窓　段窓	0.6×（1.0+0.8）	フロートガラス5.0	1.08	6	6.48	
			有効開口部面積合計						6.48	無窓
2階	221.24	7.37	AW/1	片開き+FIX窓　段窓	0.6×（1.0+0.8）	フロートガラス5.0	1.08	1	1.08	
			AW/2	FIX窓　段窓	0.6×（1.0+0.8）	フロートガラス5.0	1.08	1	1.08	
			有効開口部面積合計						2.16	無窓

延床面積	小　　計(m2)
1階(下部)床面積	150.00
1階床面積	94.94
2階床面積	221.24
合　計	466.18

建築面積	小　　計(m2)
2階床面積	221.24
庇等面積	48.976
合　計	270.216

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	面積表		
縮　尺	1/100	図面番号	2-4-2-A3
藍　住　町　上　下　水　道　課			

建築概要

建築物	藍住町第2浄水場
敷地面積	
構造・規模	鉄筋コンクリート構造地上2階地下1階
建築面積	270.216㎡
延べ面積	466.065㎡
軒高さ	9.25m
最高の高さ	9.8m

地域・地区等

法令・条例	項目	該当事項	法令・条例	項目
都市計画法	都市計画区域	都市計画区域内　区域区分非設定区域	その他の法令・条例	騒音規制、各種保全地域
建築基準法43　条	敷地等と道路との関係			宅地規制、公園法、その他
建築基準法48　条	用途地域	指定なし		
建築基準法52･53　条	容積・建ぺい率(全施設)	容積率-200%　建ぺい率-60%		
建築基準法56･56の2　条	建築物の高さ　斜線・日陰			
	絶対高さ	制限なし		
建築基準法61･62　条	防火地域等	防火・準防火地域指定なし 法22条区域指定なし		

その他確認事項

項目	適用
防火対象物	⊙防火対象物　第15項　・協議済
管廊・別棟との接続	・消防署と別棟扱い(　)の協議済
ボンベハウス等の構造	
条例等による制限の附加の有無	無

建築基準法(令)

審査項目		法令条例 法	令	チェック	判定
耐火・構造等・簡易耐火	地域・規模による構造制限	61		防火地域-階数(　)　延べ面積(　)　構造(　) [階数3・面積100㎡以上耐火、左記以外準耐火又は耐火] 準防火地域-階数(　)　延べ面積(　)　構造(　) [地上4以上1500㎡をこえるもの耐火、地上3又は500㎡をこえるもの準耐火]	
	屋根葺材	22		・施行令109条の5区域　構造(　)　屋根材(　) ・区域外　[耐火・準耐火以外の屋根は告第1361号]	
居室の採光・換気等	居室の採光及び換気	28			—
	換気設備の技術的基準		20の2~3	火を使用する居室の有無　・有―室名(　)　換気方法(　) ⊙無	—
	換気設備		129の2の5	給気口高さ(　m)/天井高さ(　m)≦1/2 排気口高さ(　m)≦給気口高さ(　m)	—
	窓その他開口部を有しない居室	35	116の2	無窓居室　・有　室名(　) ⊙無	—
	無窓居室の主要構造部	35の3		構造(　)[耐火構造又は不燃材料]	—
階段・廊下	2以上の直通階段	35	121 1~4	居室の床面積　避難直上階(0)/400　≦1　○1ヶ所 その他の階(0)/200　≦1　・2ヶ所	○
	避難階段の設置及構造		122 123	地上(2)階、地下(　)階・避難階段[5階以上、地下2階以下] ・特別避難階段[15階以上、地下3階以下]　○該当せず	○
	直通階段・歩行距離		120 125	無窓居室　―歩行距離(　m)≦30　・10mを加えている その他の居室―歩行距離(　m)≦50　[廊下・階段　準不燃]	—
	階段・踊場の幅　け上げ・ふみ面寸法	36	23	直上階居室計(　)>200㎡　―　1.2m≦(　)20/24≦(　) 上記外　―　0.75≦(1.225、0.925)22/21≦(16.36/25、19.33/25)	○
	踊場の位置及び直階段のふみ幅		24	階高(4.1)m・4mまで ・4m以上に付き踊場設ける(1)ヶ所、ふみ幅(　m)≦1.2m	○
	階段及び踊場の手すり		25	階段の幅・高さ(　)　一般手すり　⊙設置 中間手すり　・設置(幅・高さ　3m・1mをこえる)⊙不要	○
	階段に代わる傾斜路		26	勾配(　/　)≦1/8　表面仕上材　(　)	—
	廊下幅	35	119	その階の居室床面積(　0　㎡)、廊下幅(　m) [A>200㎡は、両側居室1.8m以上、片側居室1.2m]	—
	屋外階段		23 121の2	直通階段の幅(　cm)≧90cm、その他の階段(　cm)≧60cm 直通階段の構造(　)　[木造以外]	—
	屋上広場・バルコニー等の手摺		126	高さ(1.1m)≧1.1m	○
防火区画・防火戸	防火区画	36	112	[別表の計算書による。すべて1500㎡以内]	○
	防火区画・竪穴区画		112-11~15.18	その他の部分と防火区画	—
	防火区画に接する部分の構造等		112-16 17 19	90cm以内の壁面等の構造(　)　[準耐火構造・告第1369号] 防火戸面積(　≦3㎡)	—
	防火区画を貫通するダンパーの構造等		112-20 21	(　図による)	—
	防火戸その他の防火設備		109	延焼のおそれのある部分　・有　その他部分の構造(　) ・無	—
排煙	排煙設備の設置	35	126の2	居室の床面積　100㎡(全て居室)・こえない　・こえる こえる場合の措置法(・防煙壁を設置　) 居室の排煙面積1/50　・以上　・以下も有り 以下の場合の措置法(　)	—
	排煙設備の構造		126の3	排煙口までの距離(　m)≦30m 操作位置(高さ)、壁付1.5m≧(　m)、天井吊下げ(　m) FL+1.8m 排煙口面積(別表計算書による)　・全て自然排煙　・1部機械排煙	—
非常照明	非常照明の設備	35	126の4	階数(3)　延面積(466.065㎡) ・設置　[3以上500㎡をこえる、又は延べ1000㎡をこえる] ⊙不要(居室無し)	○
非常用進入口	非常用進入口の設置		126の6	・設置(　2　≧3)　⊙不要 代用進入口の間隔(m≦　10m)	○
	非常用進入口の構造		125の7	代用進入口の巾　高さ　又は　大きさ (　≧0.75m、　≧1.2m、　≧直径1.0m)	—
内装制限	制限を受ける特殊建築物	35の2	128の3の2	・該当する　・階数が3以上、延べ500㎡をこえる ・階数が2以上、延べ1000㎡又は階数が1で延べ3000 ㎡をこえる ・耐火構造以外でこんろ、ボイラー等火を使用する部屋がある	—
				⊙該当しない	○
	特殊建築物の内容		129	上記に該当する場合 居室の壁、天井の仕上材(　)	—
				廊下・階段・通路の壁・天井の仕上材(　)	—
その他	避雷設備		129の14	・設置(9.8m≦20m)　○不要	○

消防法(令)

審査項目		法令条例 法	令	チェック	判定
消火設備	消火器具	17	10	延べ面積(466.065㎡) ⊙設置[延べ300㎡をこえる又は地階・無窓階・3階以上で床面積50㎡以上] ・不要	○
	屋内消火栓設備		11	延べ面積(466.065㎡) ・設置[延べ3000㎡をこえる又は地階・無窓階・4階以上で床面積600㎡以上] ⊙不要	○
	水噴霧消火設備等		13~18	発電機室・電気室・ボイラー室等の面積(　㎡) ⊙設置[200㎡以上]　・緩和申請する　・不要	○
	屋外消火栓設備		19	地上階の1階又は1+2階の床面積(466.065㎡)　構造(耐火) ・設置[耐火構造で9000㎡以上]　○不要	○
警報設備	自動火災報知機		21	延べ面積(466.065㎡)地階・無窓階・3階以上の床面積　(2F:221.24 1F:244.825㎡) ・設置[延べ1000㎡以上又は床面積300㎡以上]○・不要	○
	非常警報設備		24	地階階数(0) ・設置[地階階数3以上　但し自火報設備無し] ⊙不要[地階階数2以下　又は自火報設備有]	○
避雷設備	誘導灯・誘導標識		26	[避難口・通路誘導灯] 地階　・有　・無　　無窓階　・有　・無 ⊙設置　・不要	○
その他	消防用水		27	1)敷地面積(　㎡)　2)床面積(466.065㎡)　3)構造(耐火) ・設置[1)が2万㎡以上かつ2)が耐火構造で1.5万㎡以上]　・不要	○
	連結散水設備		28の2	1)地階の床面積合計(0㎡) ・設置[1)の面積700㎡以上]○不要	○
	無窓階		規則5-2	避難上消火活動上有効な開口部　[別表の計算書による] ・各階共床面積の1/30以上有り ⊙床面積の1/30未満の階有り(1F、2F階)	○
	緩和適用条項		32	・屋内消火栓設備　・水噴霧消火栓設備等 ・屋外消火栓設備　・消防用水 ・自動火災報知設備 ・連結散水設備	—
危険物	危険物の制限等	10		軽油・重油・潤滑油等の使用量及び保管場所　自家発電機室	
				・少量危険物 ・一般取扱所　室名(　) ・貯蔵所	
				危険物の量(　) 構造及び仕上(　)	

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	法規チェックリスト		
縮　尺	NON	図面番号	2-4-2-A4
藍　住　町　上　下　水　道　課			

凡　　例

▽ｎＦＬ	基準線　（ｎ：階数）	M	ﾓﾙﾀﾙ	FS	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り　ｔ2.0（溶接工法）	化粧FK6	化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板　t6　不燃　NM-8424	⊠	天井点検口(600x600)
▽ＧＬ	設計基準地盤面	S	鉄骨下地	FS(抗菌)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り　ｔ2.0　抗菌仕様　（溶接工法）	DR t9・DR t12	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板t9・t12(ﾘﾌﾞ付)　不燃　NM-8599	⊠	床下点検口(600x600)
		LGS	軽量鉄骨下地	KT	ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ　ｔ2.0	壁紙	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ　AAﾗﾝｸ　不燃　NM-9839程度	消	消火器10型・埋込みﾎﾞｯｸｽ
	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造　壁（1/200,1/100）	W	木下地	VB	ﾋﾞﾆﾙ巾木　H=100			⊕	竪樋
	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造　壁　（1/10～1/50）	B	石膏ボード下地	GW50	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　24ｋｇ/m3　ｔ50	SOP	合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り		
	押出成形ｾﾒﾝﾄ板	AL	ｱﾙﾐﾆｳﾑ	GW25	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　24ｋｇ/m3　ｔ25	EP	つや無合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り		
	軽量鉄骨壁下地	SUS	ｽﾃﾝﾚｽ	GB-S t12.5	ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ　t12.5　不燃　NM-9639	EP-G	つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り		
				GB-R t12.5	せっこうﾎﾞｰﾄﾞ　t12.5　不燃　NM-8619	UC	ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り		
RC	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	S金ｺﾃ	ｼﾝﾀﾞｰｺﾝｸﾘｰﾄ金ごて仕上	GB-F t21	強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ　t21　不燃　NM-8615	CL	ｸﾘｱﾗｯｶｰ塗り		
ALC	軽量気泡ｺﾝｸﾘｰﾄ板t100	RC金ｺﾃ	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ごて仕上	GB-R t9.5	せっこうﾎﾞｰﾄﾞ　t9.5　準不燃　QM-0524	DP	耐候性塗料塗り		
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸC種t100	M金ｺﾃ	ﾓﾙﾀﾙ金ごて仕上	GB-NC t9.5	不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ　t9.5　不燃　MM-0441	VP	塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り		
ECP60	押出成形ｾﾒﾝﾄ板t60	M刷毛引き	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き仕上	FK6・FK8・FK12	無石綿けい酸ｶﾙｼｳﾑ板　t6・t8・t12	不燃　NM-8578			
				ガラスクロス張り	ガラスクロス　不燃　NM-8606				

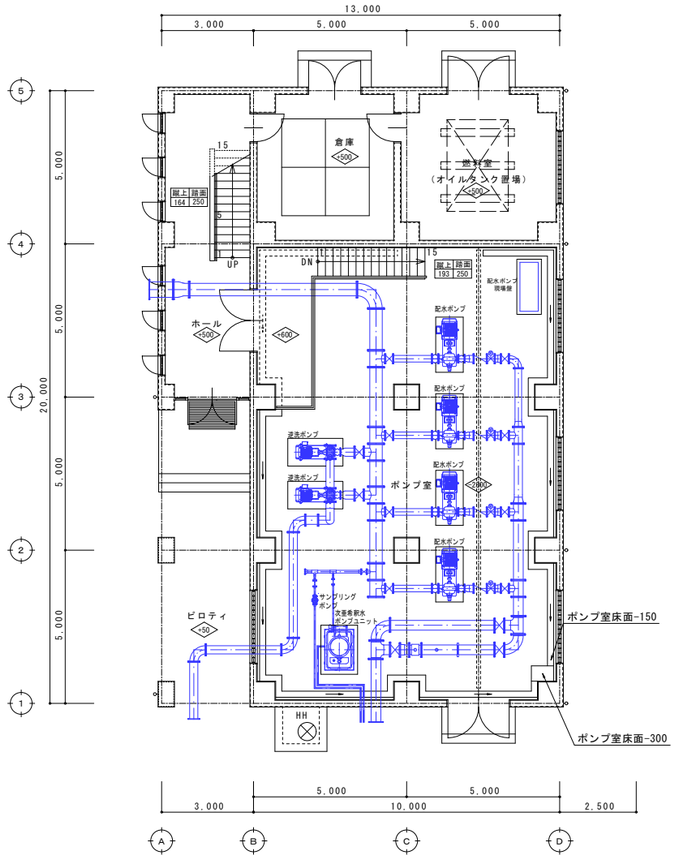
外部仕上表

	仕　様		仕　様		仕　様
屋根	ＲＣ金コテ押エ、合成高分子系ルーフィングシート防水断熱工法（ＳＩ-Ｍ２工法）	ピロティ	床　：コンクリートコテ押エ 壁　：コンクリート打放し（Ｂ）、下地処理の上複層塗材Ｅ吹付 天井：ＦＫ6目透シ、ＥＰ－Ｇ塗り		
外壁	ＲＣ打放し（Ｂ）、下地処理の上複層塗材Ｅ吹付	搬入デッキ	床　：コンクリートコテ押エ、合成高分子系ルーフィングシート防水工法（Ｓ-Ｍ２工法） 手摺：コンクリート打放し（Ｂ）、下地処理の上複層塗材Ｅ吹付+アルミ製手摺（既製品）		
巾木	ＲＣ打放し（Ｂ）	樋	カラーＶＰ100φ		
軒裏	ＲＣ打放し（Ｂ）、下地処理の上外装薄塗材Ｅ吹付	庇	ＲＣ金コテ押エ、塗膜防水（Ｘ-２工法）		

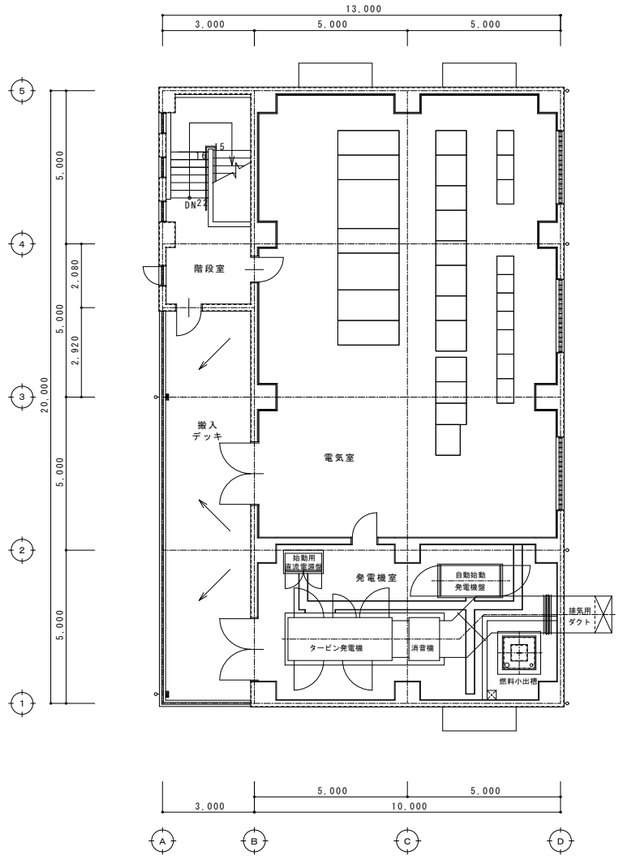
内部仕上表

階	室　名	床		床高	巾木		壁			廻縁	天　井			天井高	備　考
		下地	仕　上		下地	仕　上	下地	仕　上	塗装		下地	仕　上	塗装		
1階	ポンプ室	ＲＣ金コテ	Ｓ金コテ	ＦＬ－２３００	ＲＣ（Ｃ）	－	ＲＣ（Ｃ）	ガラスクロス張り　ｔ＝25	－	－	ＲＣ（Ｃ）	ガラスクロス張り　ｔ＝25	－	ＣＨ＝５９００	室名札
	倉庫	ＲＣ金コテ	－	ＦＬ＋５００	ＲＣ（Ｂ）	－	ＲＣ（Ｂ）	－	－	－	ＲＣ（Ｂ）	－	－	ＣＨ＝３０８０	室名札
	燃料室 （オイルタンク置場）	ＲＣ金コテ	－	ＦＬ＋５００	ＲＣ（Ｂ）	－	ＲＣ（Ｂ）	－	－	－	ＲＣ（Ｂ）	－	－	ＣＨ＝３０８０	室名札
2階	電気室	ＯＡ ｔ＝300	帯電防止ビニル床タイルｔ＝4.5	ＦＬ±0	Ｂ	ＶＢ張り	ＲＣ（Ｃ）	ＧＢ－Ｒ　ｔ＝12.5（ＧＬ工法）	ＥＰ－Ｇ	塩ビ製	ＬＧＳ	ＧＢ－ＮＣ　ｔ＝9.5張り	－	ＣＨ＝３５００	室名札
	発電機室	Ｓ金コテ ｔ＝300	ウレタン樹脂系防塵塗料	ＦＬ±0	ＲＣ（Ｃ）	－	ＲＣ（Ｃ）	ガラスクロス張り　ｔ＝25	－	－	ＲＣ（Ｃ）	ガラスクロス張り　ｔ＝25	－	ＣＨ＝４８００	室名札
共通	ホール・階段室	Ｍ金コテ	ＦＳ張り	ＦＬ±0	ＲＣ（Ｂ）	ＶＢ張り	ＲＣ（Ｂ）	－	複層塗材Ｅ吹付	塩ビ製	ＬＧＳ	ＧＢ－ＮＣ　ｔ＝9.5張り	－	ＣＨ＝２７００ ＣＨ＝２４００	階数表示板

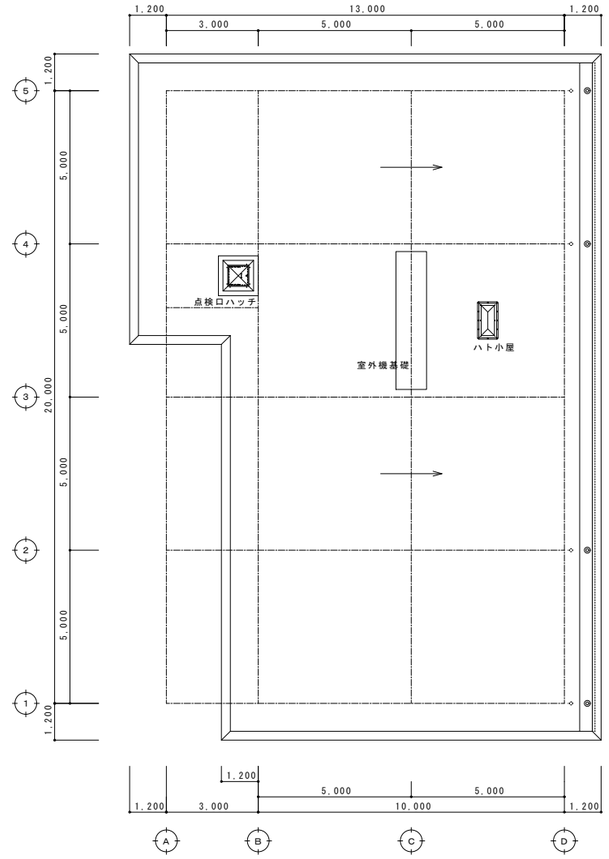
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	仕上表		
縮　尺	NON	図面番号	2-4-2-A5
藍　住　町　上　下　水　道　課			



1階平面図

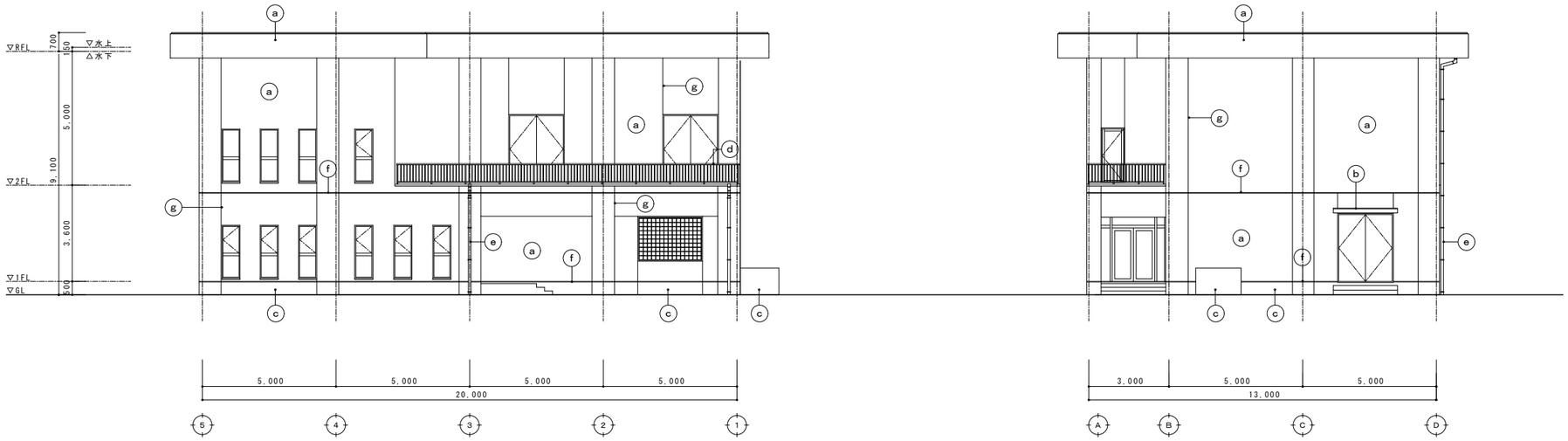


2階平面図



屋根伏図

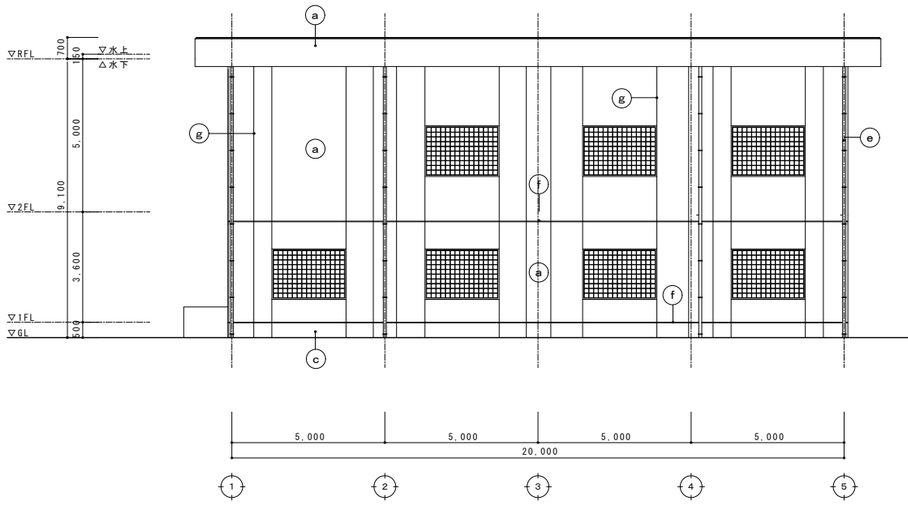
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	平面図・屋根伏図		
縮　尺	1/100	図面番号	2-4-2-A6
藍　住　町　上　下　水　道　課			



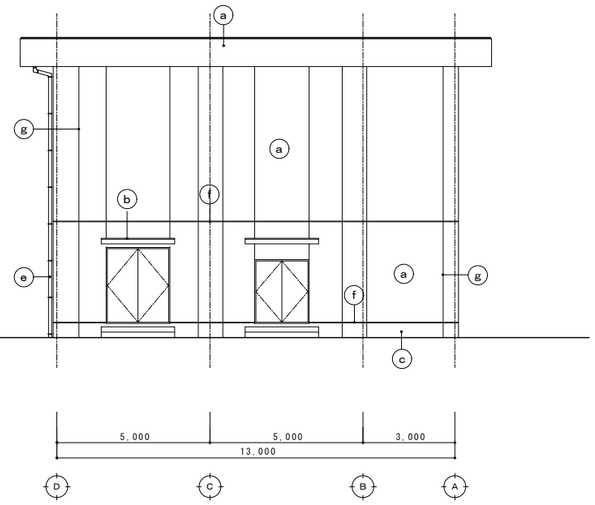
西立面図

南立面図

a	ＲＣ打放し（Ｂ）、下地処理の上複層塗材Ｅ吹付
b	ＲＣ金コテ押エ、塗膜防水（X-2工法）
c	ＲＣ打放し（Ｂ）
d	アルミ製手摺（既製品）
e	カラーＶＰ100Φ
f	打ち継ぎ目地　20*15　シーリング共
g	化粧目地　15*10

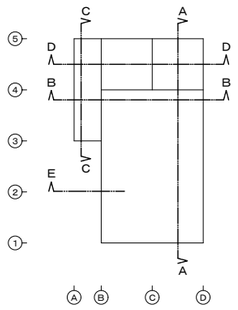


東立面図

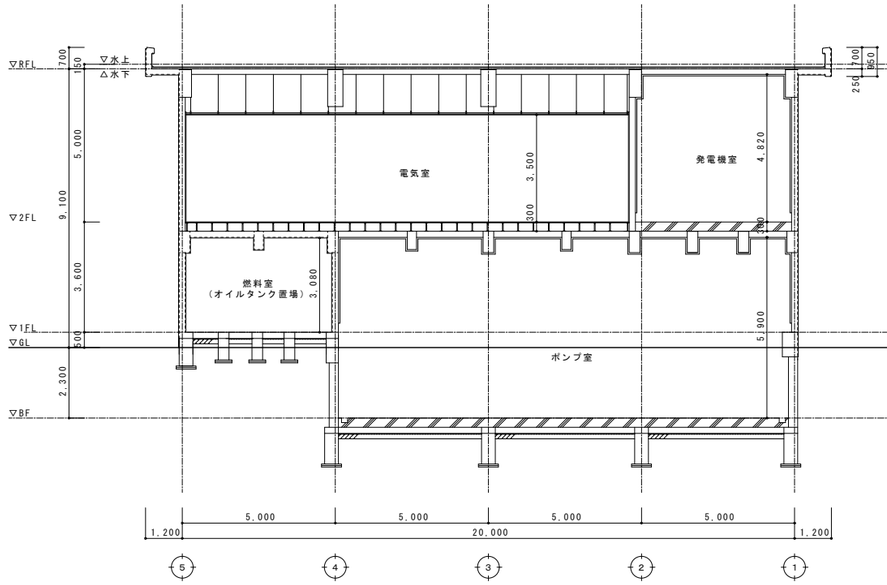


北立面図

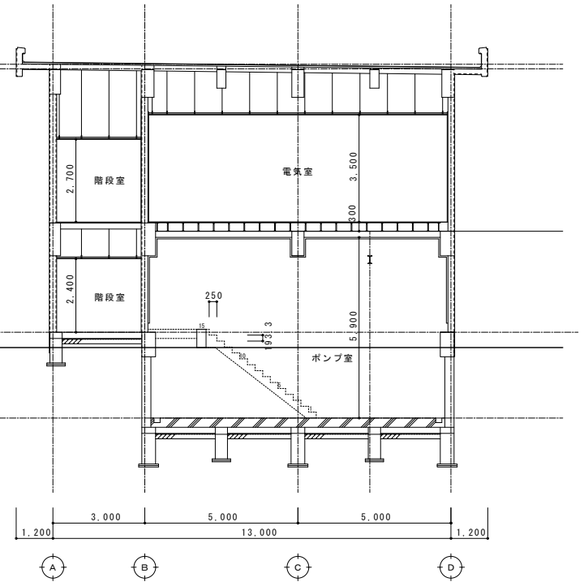
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	立面図		
縮　尺	1/100	図面番号	2-4-2-A7
藍　住　町　上　下　水　道　課			



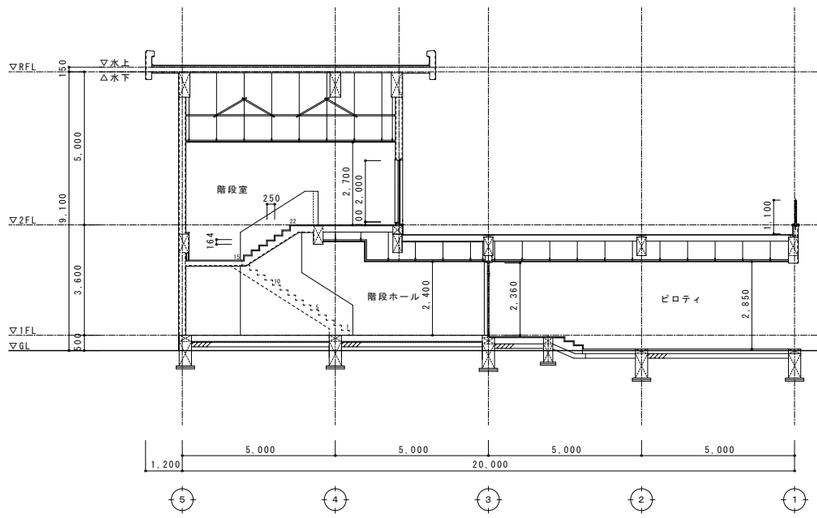
Key Plan



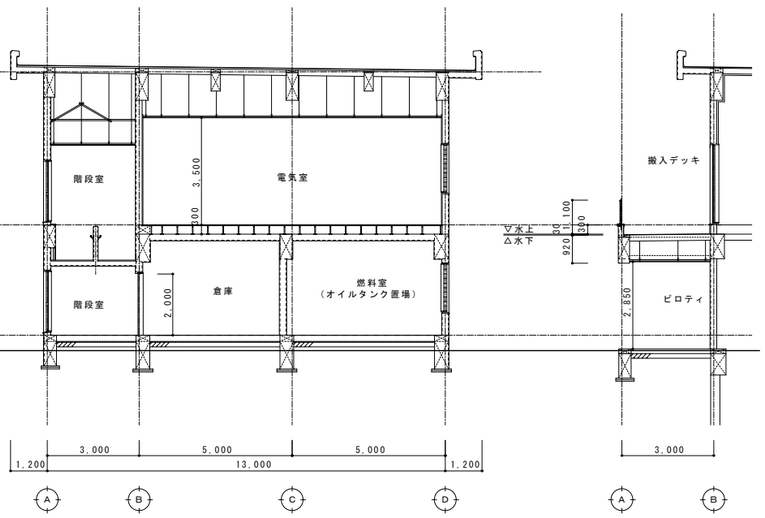
A 断面図



B 断面図



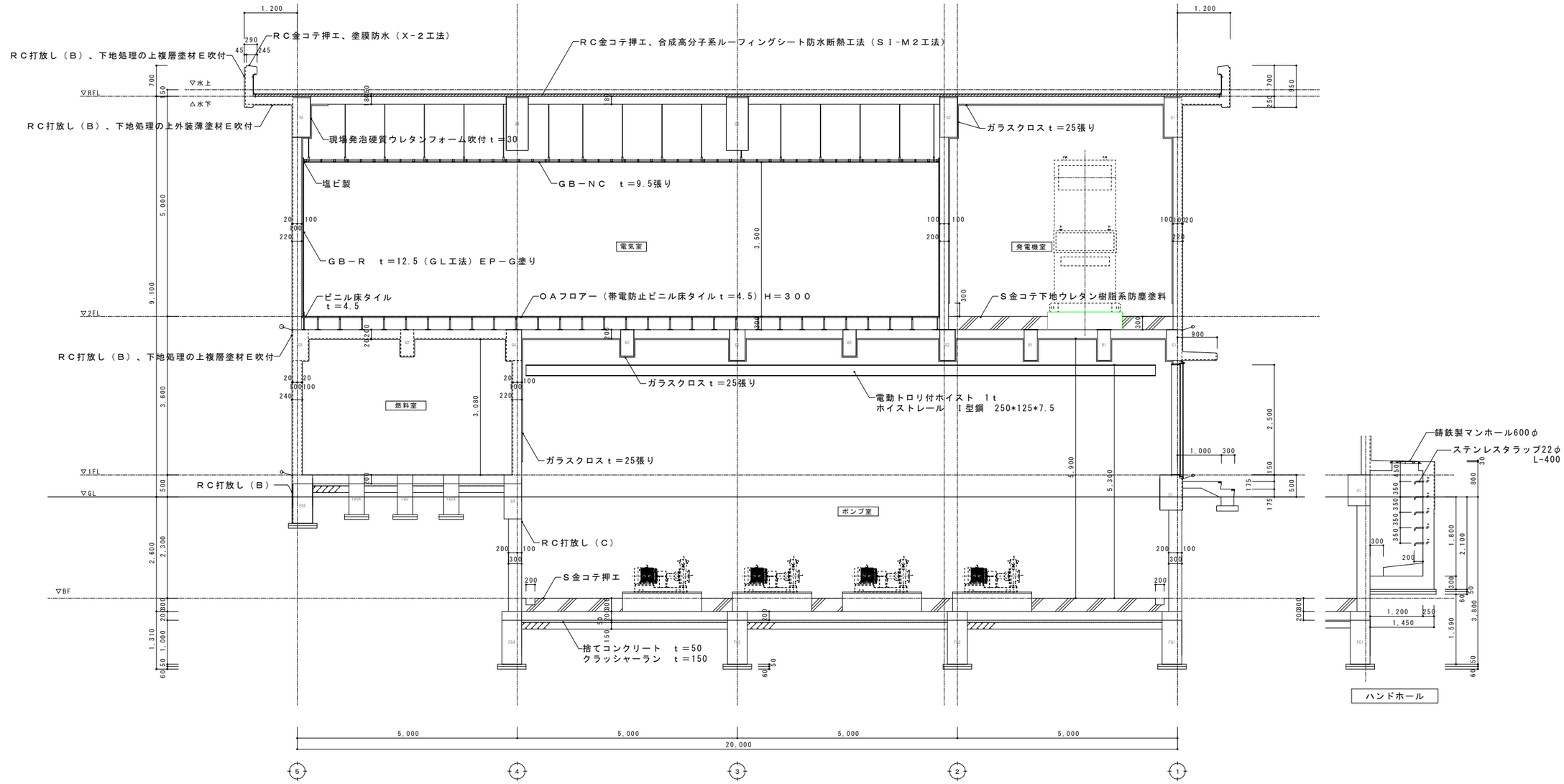
C 断面図



D 断面図

E 断面図

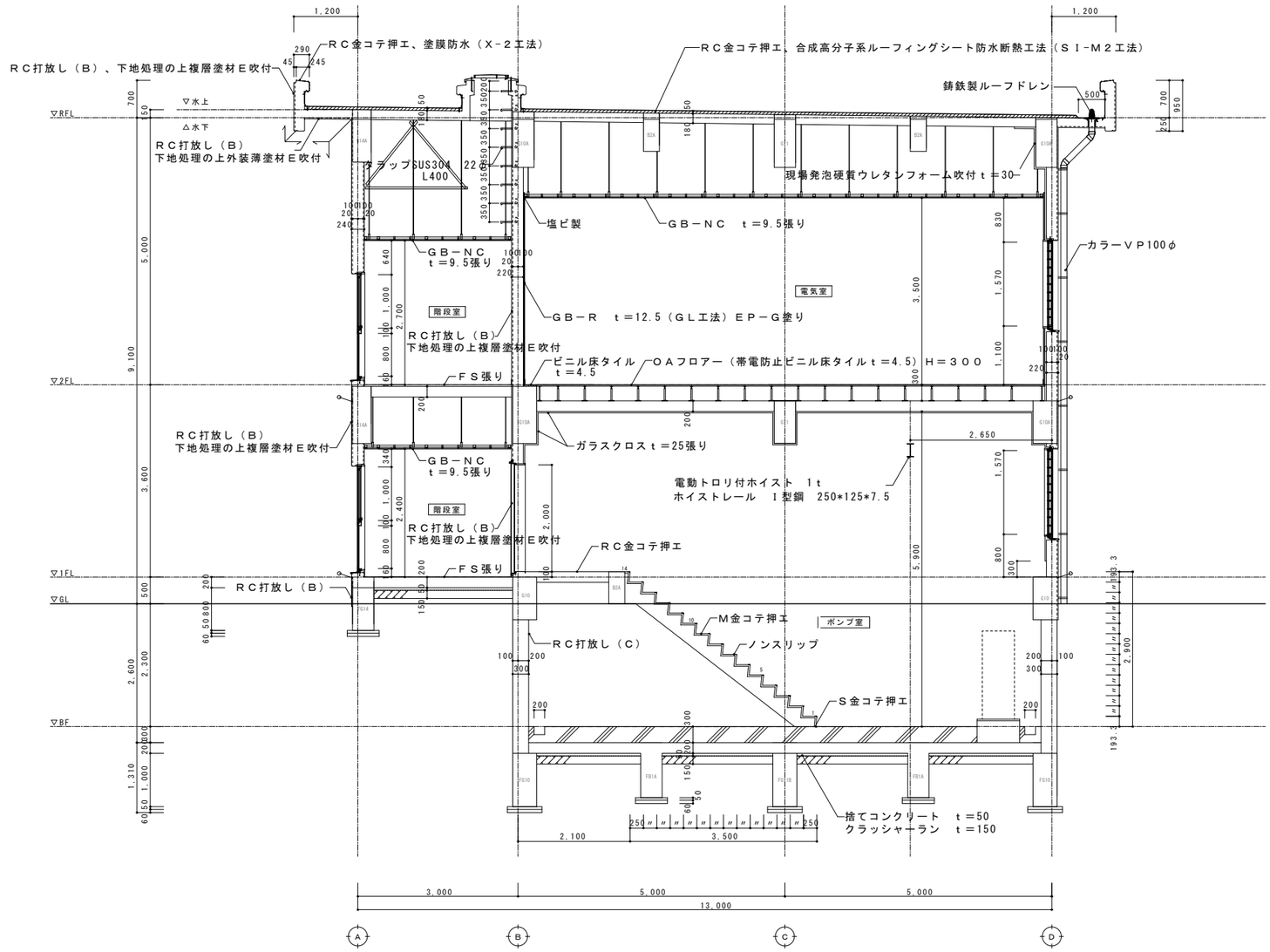
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	断面図		
縮　尺	1/100	図面番号	2-4-2-A8
藍　住　町　上　下　水　道　課			



矩形図(1)　1/50

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	矩計図1		
縮　尺	1/50	図面番号	2-4-2-A9
藍　住　町　上　下　水　道　課			

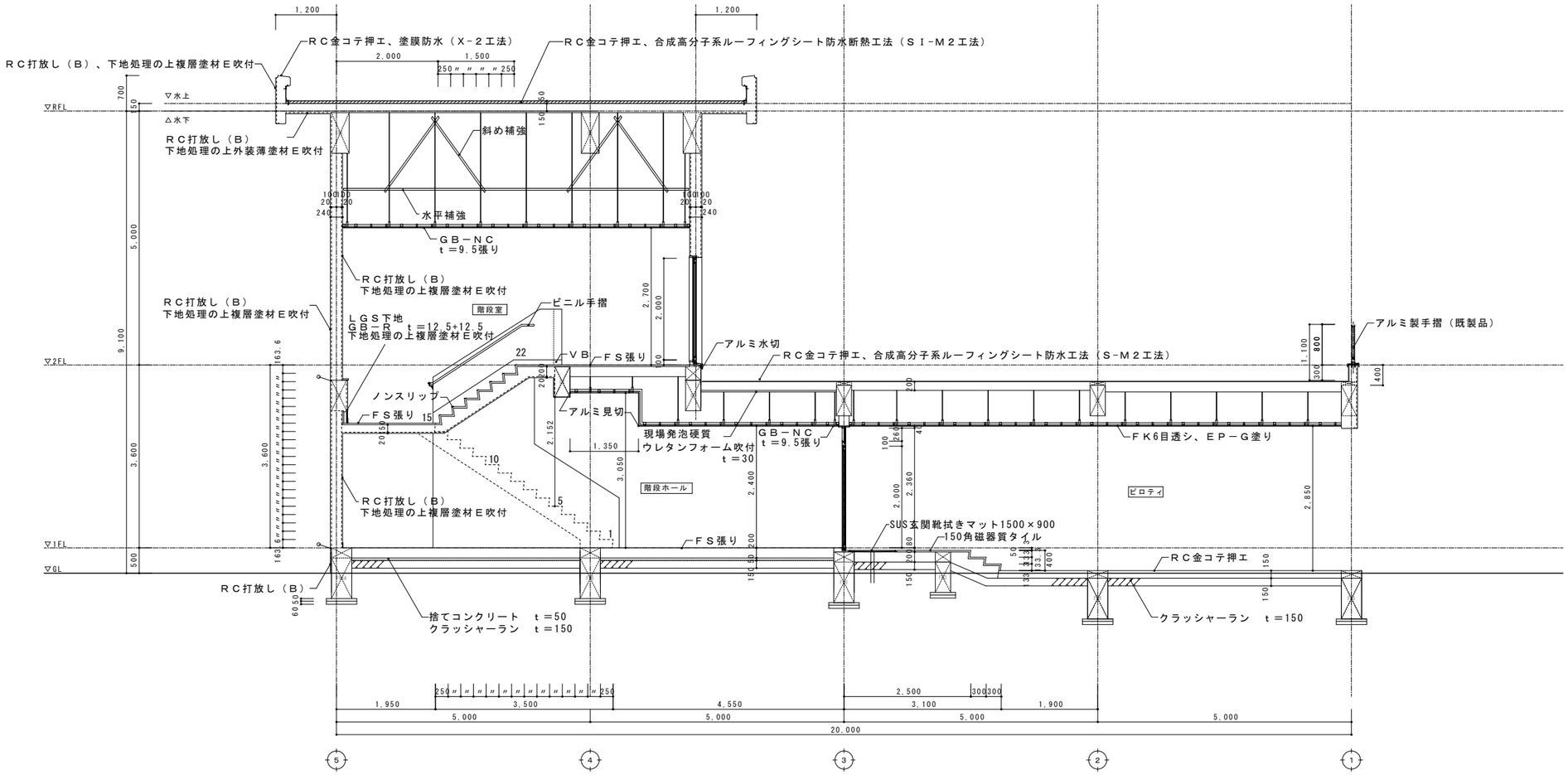
凡例：⊖――シーリング20*15



矩形図(2)　1/50

凡例：⊖——シーリング20*15

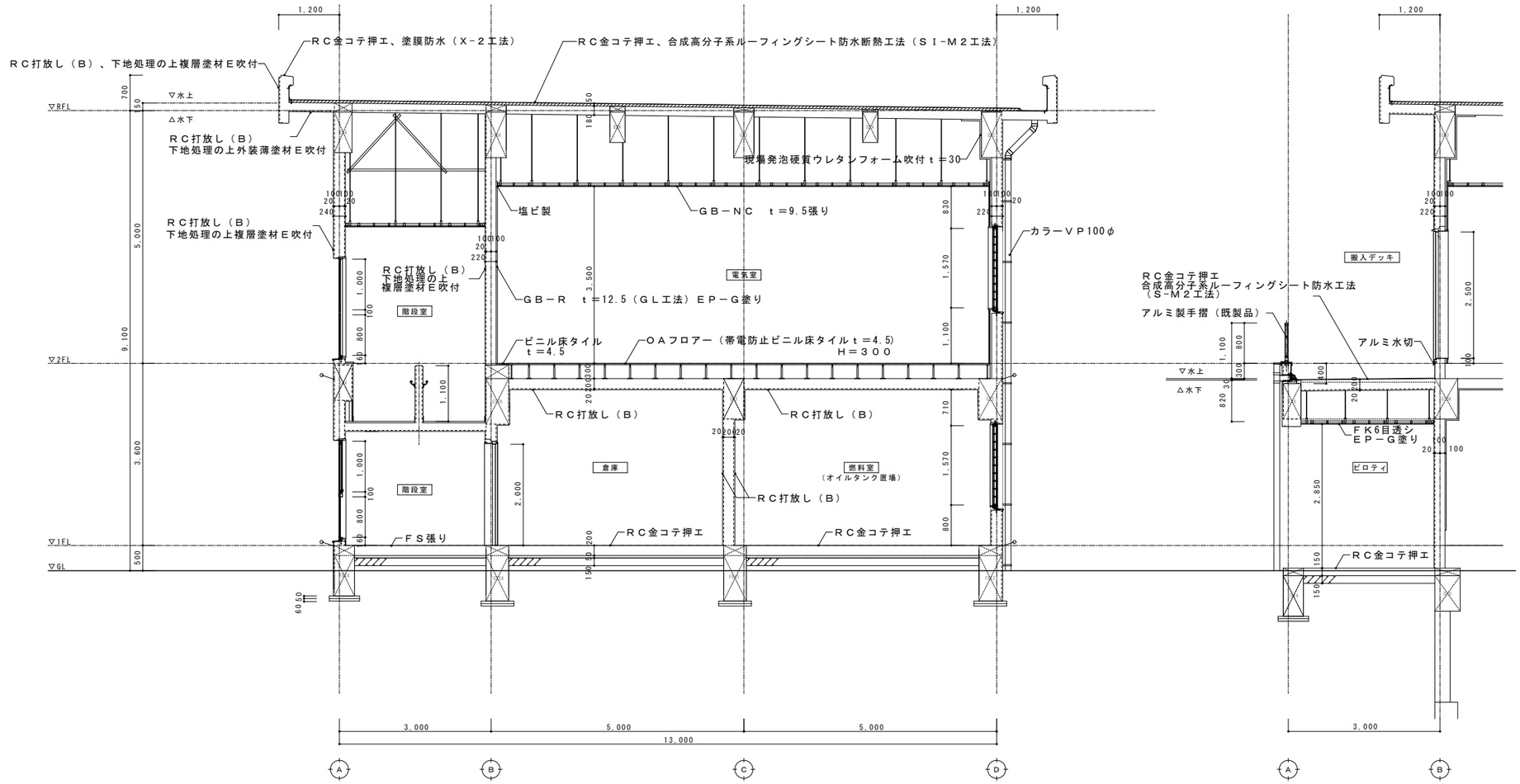
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	矩形図2		
縮　尺	1/50	図面番号	2-4-2-A10
藍　住　町　上　下　水　道　課			



矩形図(3)　1/50

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	矩形図3		
縮　尺	1/50	図面番号	2-4-2-A11
藍　住　町　上　下　水　道　課			

凡例：⊖――シーリング20*15

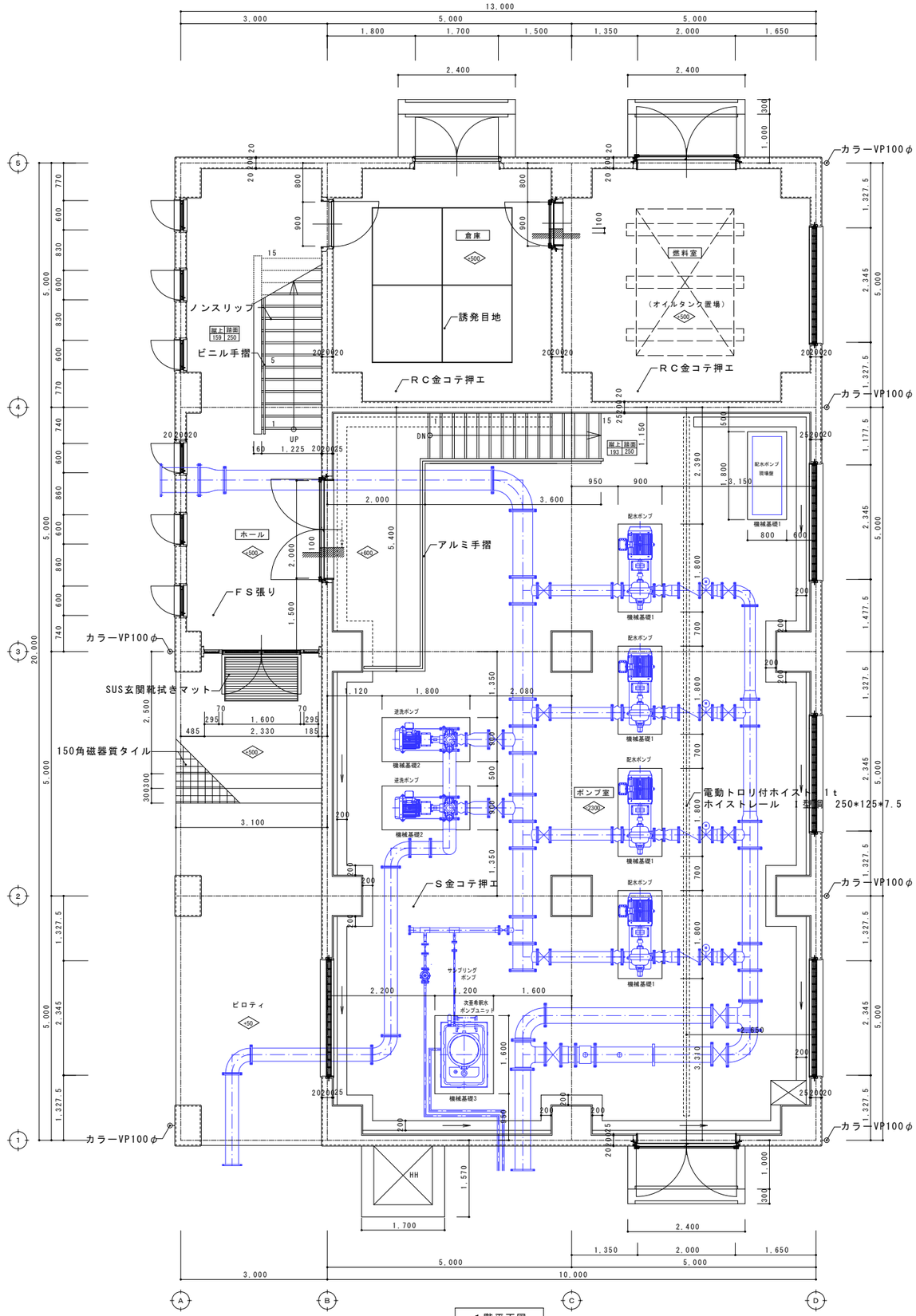


矩形図(4)　1/50

矩形図(5)　1/50

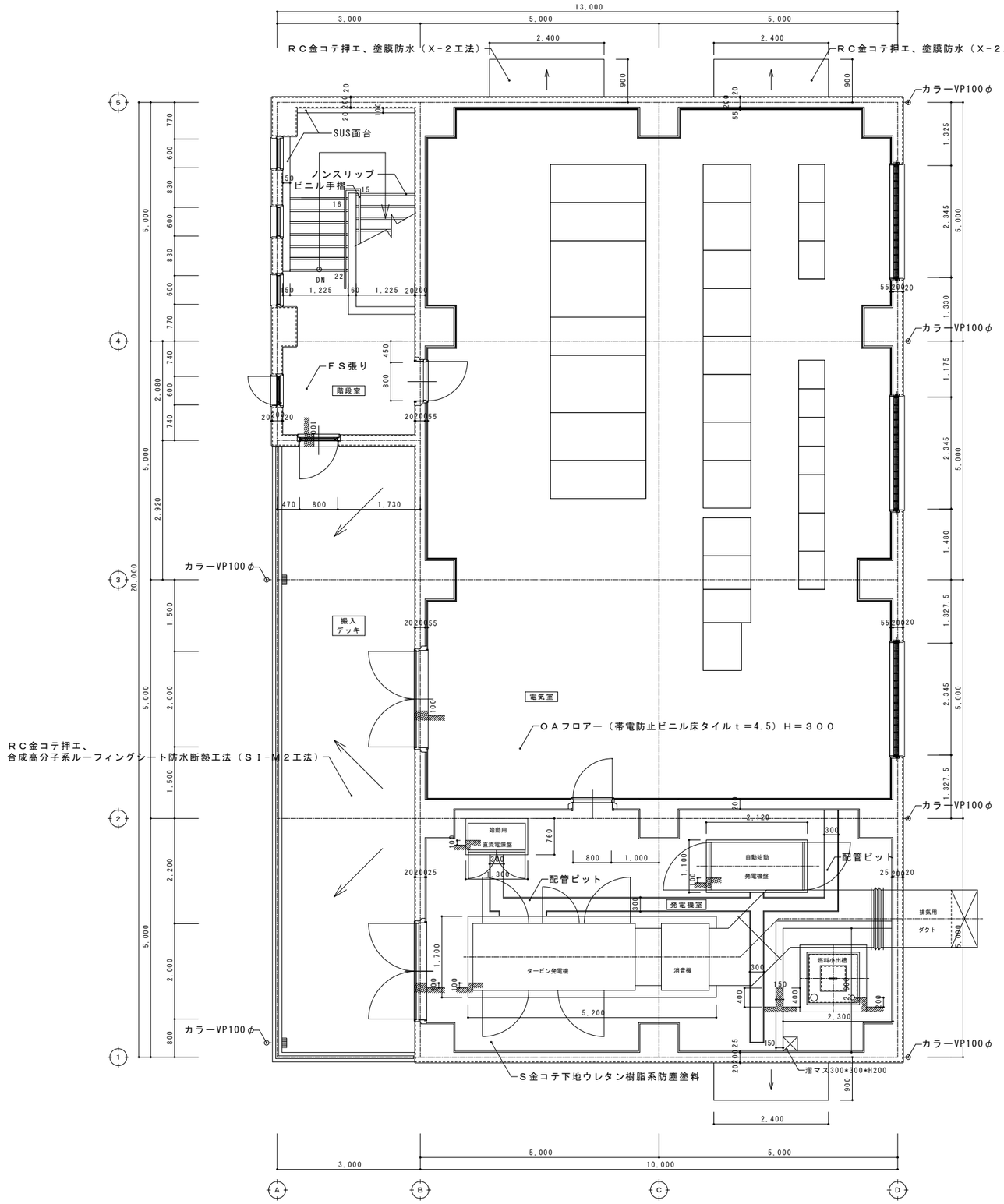
凡例：⊖――シーリング20*15

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	矩形図4		
縮　尺	1/50	図面番号	2-4-2-A12
藍　住　町　上　下　水　道　課			



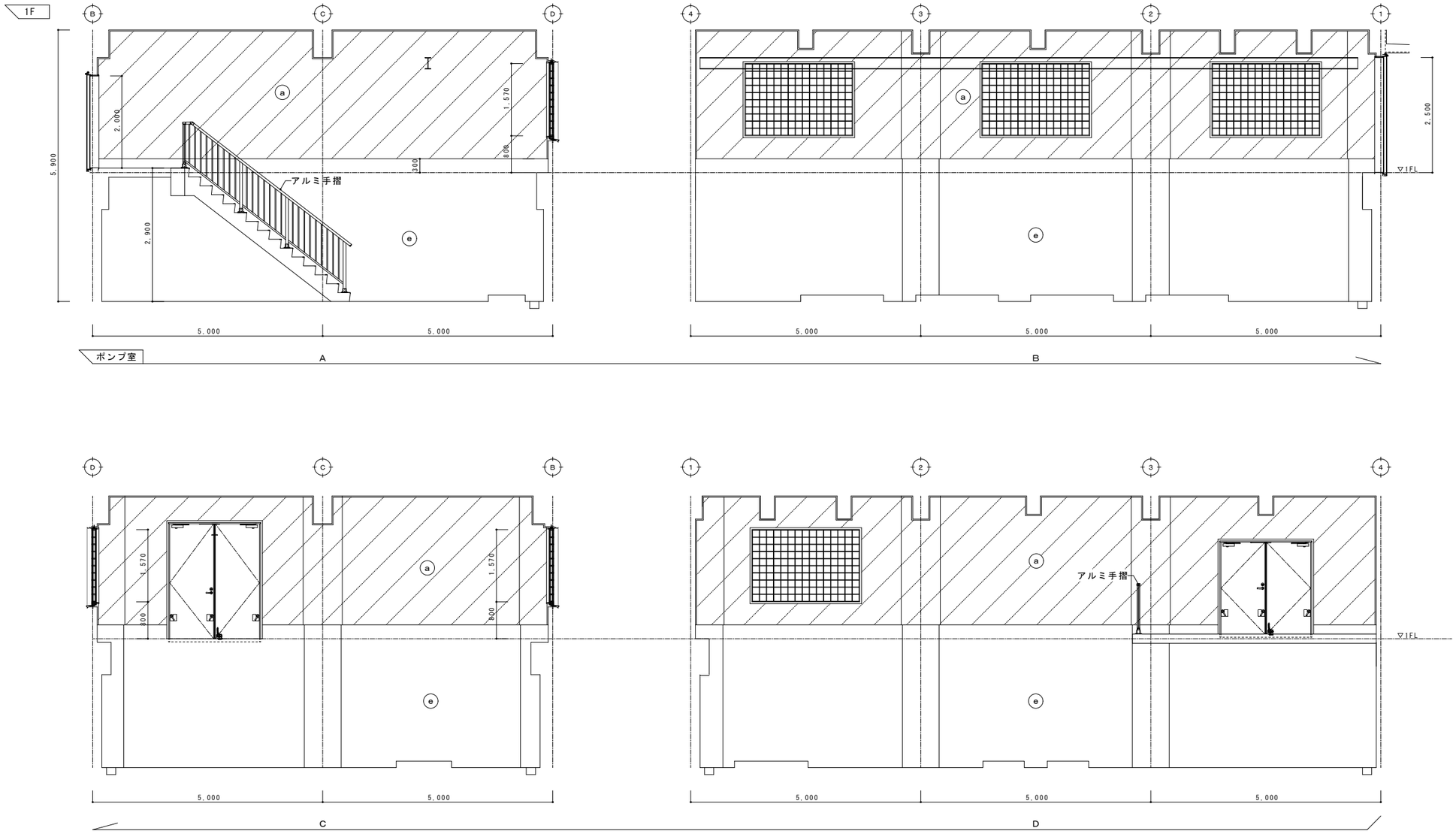
1階平面図

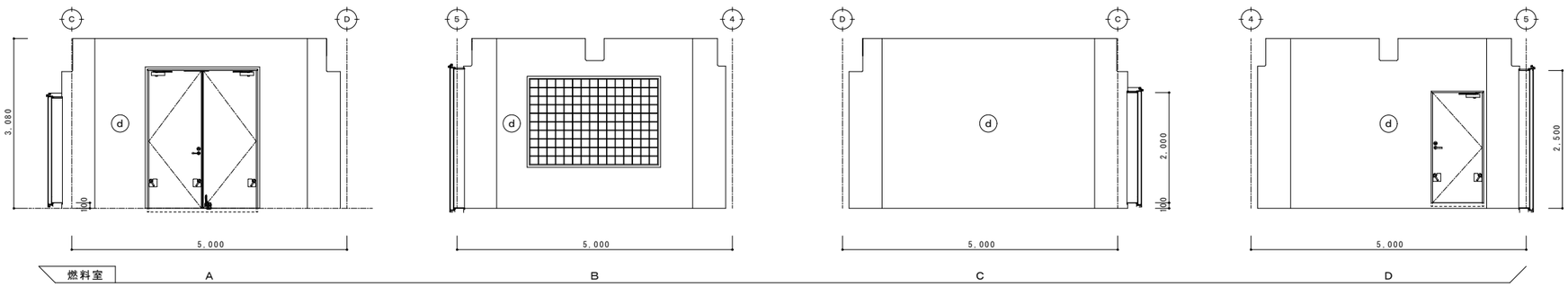
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	1階平面詳細図		
縮　尺	1/50	図面番号	2-4-2-A13
藍　住　町　上　下　水　道　課			



２階平面図

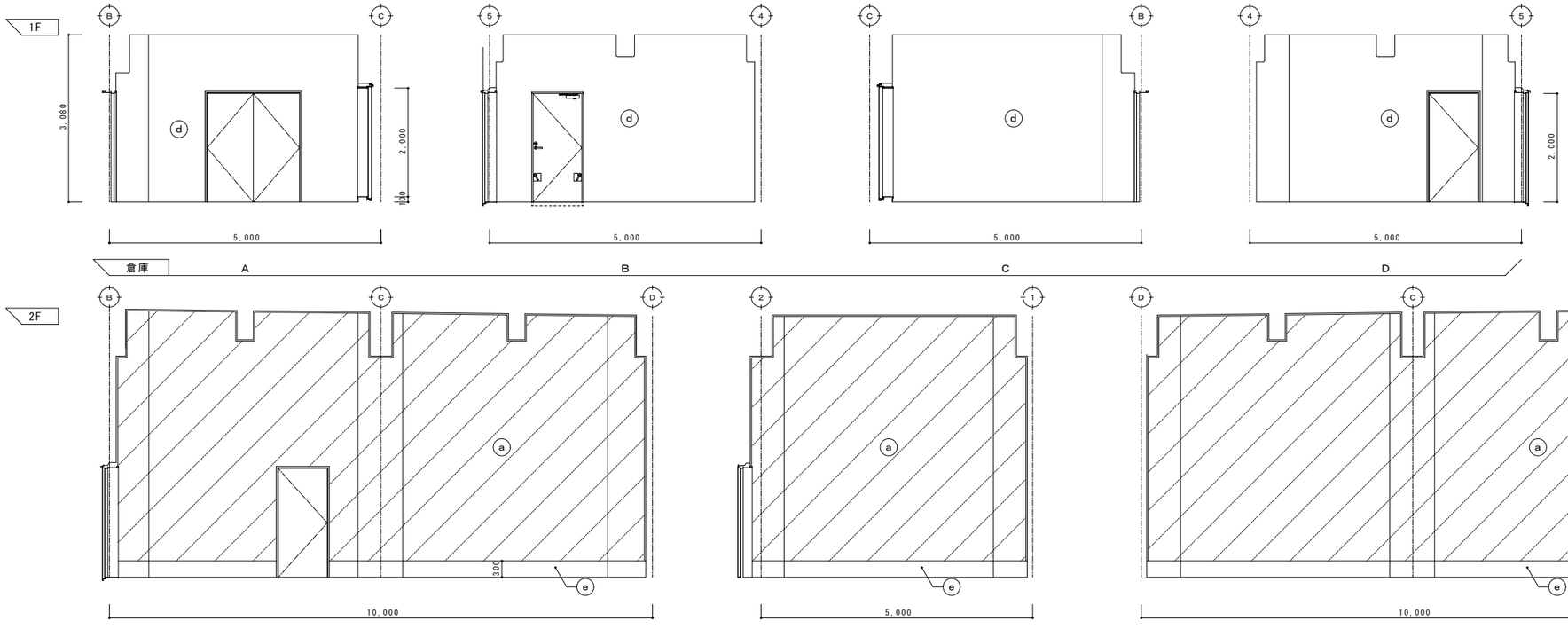
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	2階平面詳細図		
縮　尺	1/50	図面番号	2-4-2-A14
藍　住　町　上　下　水　道　課			





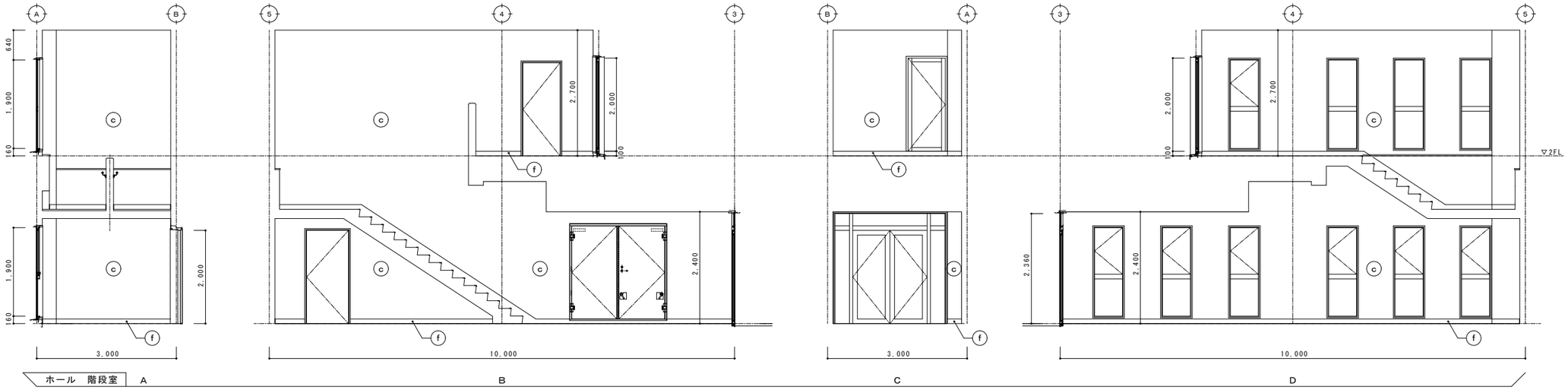
	凡例
ⓐ	ガラスクロス張り　ｔ＝25
ⓑ	ＧＢ－Ｒ　ｔ＝12.5（ＧＬ工法）ＥＰ－Ｇ
ⓒ	ＲＣ打放し（Ｂ）、複層塗材Ｅ吹付
ⓓ	ＲＣ打放し（Ｂ）
ⓔ	ＲＣ打放し（Ｃ）
ⓕ	ＶＢ張り
ⓖ	アルミ製手摺（既製品）

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	展開図1		
縮　尺	1/50	図面番号	2-4-2-A15
藍　住　町　上　下　水　道　課			



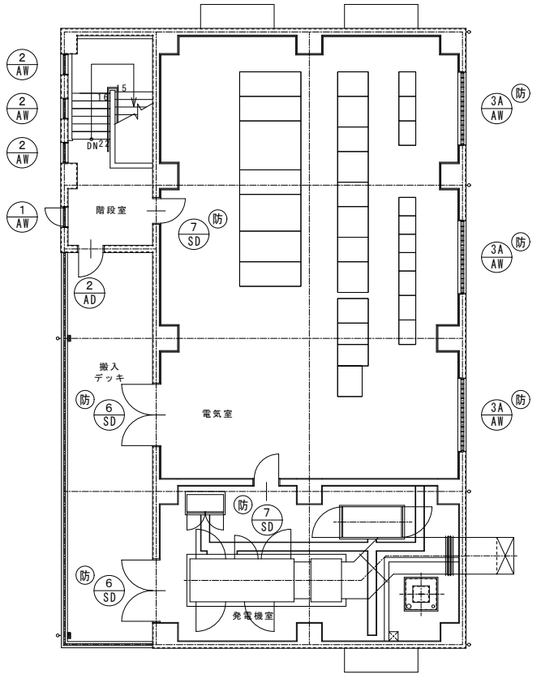
	凡例
ⓐ	ガラスクロス張り　t＝25
ⓑ	ＧＢ－Ｒ　t＝12.5（ＧＬ工法）ＥＰ－Ｇ
ⓒ	ＲＣ打放し（Ｂ）、複層塗材Ｅ吹付
ⓓ	ＲＣ打放し（Ｂ）
ⓔ	ＲＣ打放し（Ｃ）
ⓕ	ＶＢ張り
ⓖ	アルミ製手摺（既製品）

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	展開図2		
縮　尺	1/50	図面番号	2-4-2-A16
藍　住　町　上　下　水　道　課			



	凡例
ⓐ	ガラスクロス張り　ｔ＝25
ⓑ	ＧＢ－Ｒ　ｔ＝12.5（ＧＬ工法）ＥＰ－Ｇ
ⓒ	ＲＣ打放し（Ｂ）、複層塗材Ｅ吹付
ⓓ	ＲＣ打放し（Ｂ）
ⓔ	ＲＣ打放し（Ｃ）
ⓕ	ＶＢ張り
ⓖ	アルミ製手摺（既製品）

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	展開図3		
縮　尺	1/50	図面番号	2-4-2-A17
藍　住　町　上　下　水　道　課			

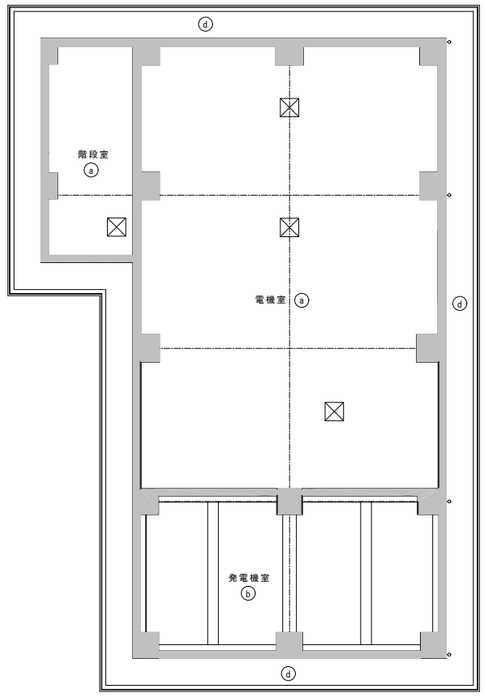


２階建具配置図

１階建具配置図

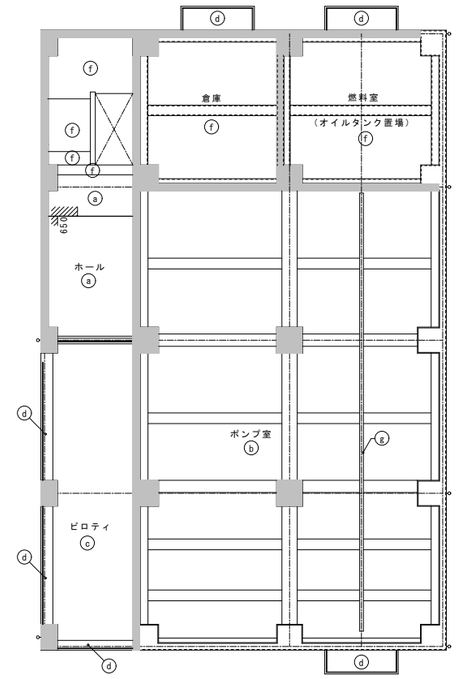
凡例

防 ：防火設備を示す



２階天井伏図

記号	仕　上　表
ⓐ	ＧＢ－ＮＣ　ｔ＝9.5張り
ⓑ	ガラスクロスｔ＝25張り
ⓒ	ＦＫ6目透シ、ＥＰ－Ｇ塗り
ⓓ	ＲＣ打放し（Ｂ）、下地処理の上外装薄塗材Ｅ吹付
ⓕ	ＲＣ打放し（Ｂ）
ⓖ	ホイストレール
☒	アルミ天井点検口600角



１階天井伏図

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	天井伏図・建具配置図		
縮　尺	1/100	図面番号	2-4-2-A18
藍　住　町　上　下　水　道　課			

共通事項

表示略号

略号	建具	略号	ガラス	平面図表示建具金物記号
AD	アルミ製戸	P	フロート板ガラス	ドアクローザー（ストップ付）
AW	アルミ製窓	F	型板ガラス	
AG	アルミ製ガらり	NF	網入型板ガラス	
S	鋼製三方枠	WF	線入型板ガラス	ドアクローザー（ストップなし）
SD	鋼製戸	NP	網入磨板ガラス	
SW	鋼製窓	WP	線入磨板ガラス	
SG	鋼製がらり	HAP	熱線吸収フロート板ガラス	ドアクローザー（ディレードアクション機能付）
SS	重量シャッター	T（ ）	強化ガラス（材料板ガラス）	
LD	鋼製軽量戸	IG（ ）	複層ガラス（材料板ガラス）	
LS	軽量シャッター	HR（ ）	熱線反射ガラス（材料板ガラス）	
SSD	ステンレス製戸	DS（ ）	倍強度ガラス（材料板ガラス）	
SSW	ステンレス製窓	L（ ）	合わせガラス（材料板ガラス）	平面図表示建具符号
SSG	ステンレス製がらり	HANF	熱線吸収網入型板ガラス	整理番号 / 建具略号
OHD	オーバーヘッドドア	GB	ガラスブロック	
ACW	アルミ製カーテンウォール			
PD	樹脂製戸			
PW	樹脂製窓			
H	ふすま			
P	紙障子			
WD	木製戸			
WW	木製窓	（O－OO－OO）、（O－OO）内の数字は建築工事標準詳細図の詳細番号を示す。		

扉見込み寸法（mm）の目安

SD及びSSD
- 40（H＝2,400以下、かつ扉一枚の幅＝1,050以下）（４－４７、４８－１の防火戸：H＝2,100の場合、扉１枚の幅＝1,300以下）
- 50（H＝2,400超2,700以下、又は扉一枚の幅＝1,050超1,400以下）
  （４－４７、４８－１の防火戸：H＝2,400の場合、扉１枚の幅＝2,300以下、H＝2,600の場合、扉１枚の幅＝2,100以下）
- 60（H＝2,700超2,900以下、かつ扉一枚の幅＝1,050超1,400以下）（４－４７、４８－１の防火戸：H＝3,000の場合、扉１枚の幅＝3,600以下）

LD　36（製造所によっては40）
H　20（戸ふすまは30）
P　24

WD
- 30（H＝1,000未満、扉一枚の幅＝950以下）
- 36（H＝2,000未満、扉一枚の幅＝950以下）
- 40（H＝2,400未満、扉一枚の幅＝950以下）

形状

（１）ＳＤのうち、点検扉は特記以外は片面フラッシュ戸とする。
（２）車椅子使用者用便房の片引戸の枠は、（・６－２７－１　・６－２７－２　・図示）による。
（３）標準型建具、排煙窓の適用は「備考」欄による。
（４）特殊な性能（簡易気密、防音、断熱、耐震）の建具の適用は「備考」欄による。
（５）水切りの幅は、「備考」欄による。

仕上げ

（１）Ｓ、ＳＤ、ＬＤ及びＳＧの仕上げは特記以外はＤＰとする。ただし建物内部は、（・ＥＰ－Ｇ　※ＳＯＰ）とする。
（２）ＳＳの仕上げは特記以外はＳＯＰとする。
（３）ＬＤの召合わせ及び縦小口包み板は、（※ 鋼板　・ステンレス鋼板 ）とする。
（４）ＳＤ及びＬＤのドアガラリは、鋼板t=1.2（防火戸の場合　t=1.6　ダンパー付き）にＳＯＰ塗りとする。
　ただし建物内部は、（・ＥＰ－Ｇ　※ＳＯＰ）とする。
（５）ふすまの上張りの種類は、「備考」欄による。
（６）ドアガラリの有効開口率は、約35%とする。

建具金物

（１）ドアクローザーの適用は建具配置図（平面図）による。なお、ドアクローザーの取付は室内側を原則とする。
（２）壁当たりとなる開き戸は壁面からの逃げ寸法を100mm程度とし、ドアクローザーの有無にかかわらず戸当たりを設ける。
（３）クレセント及び排煙窓の操作レバーの位置は床面から1,500mm以下とする。
（４）扉の把手は原則レバーハンドルとし、握り玉の適用は「建具金物」欄による。
（５）扉の握り玉、把手類の取付位置は床面から1,000mmとし、押板類は1,100mmとする。
（６）自動ドアのセンサーは、「備考」欄による。
（７）防犯建物部品は「備考」欄による。
（８）下表以外の建具金物は、「備考」欄による。ただし、既製建具は製造所の指定するものとする。

外部	一般扉	丁番、シリンダー箱錠（片面サムターン）
	自由開き扉	フロアヒンジ（片自由、ストップ付き）　シリンダー本締り錠（片面サムターン） 押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo. 2B仕上）（L≒450）程度
	自動ドア（ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ）	引戸用本締り錠（片面サムターン）
内部	一般室	ピボットヒンジ、シリンダー箱錠（片面サムターン）
	湯沸室	ピボットヒンジ、錠なし
	便所、洗面所	ピボットヒンジ、錠なし 押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo. 2B仕上）（L≒450）程度
	鋼製軽量自閉装置付引戸	自閉・制御装置（ストップ付）　ステンレス製振れ止め軸 表示装置・非常開装置・大型サムターン付引き戸錠（ロッド式） 押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo. 2B仕上）（L≒450）程度
	随時閉鎖式防火戸	ヒンジクローザー（ピボット型、ストップなし）、ケースハンドル錠
	点検扉	軸吊りヒンジ、点検口錠
	自由開き扉	押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo. 2B仕上）（L≒450）程度
	窓	クレセント

防火戸

（１）ヒューズ装置、熱感知器、煙感知器との連動は「備考」欄による。
（２）防火戸の種類は下表により、適用は「防火戸の種類」欄による。

種類		性能
特	特定防火設備（遮炎１時間）	耐火建築物及び準耐火建築物（以下「耐火建築物等」という）の各階において、特定の床面積以内ごとに設ける防火設備
		11階以上の各階において内装に不燃又は準不燃材料を用いた場合に、特定の床面積ごとに設ける防火設備
		耐火建築物等において用途が異なる部分の相互間に設ける防火設備
防	防火設備（遮炎２０分）	耐火建築物等の外壁に設ける防火設備
		防火地域及び準防火地域以外の建築物の外壁に設ける防火設備
		11階以上の各階において内装に難燃材料を用いた場合に、特定の床面積積ごとに設ける防火設備
		準耐火建築物に形成された竪穴の周囲に設ける防火設備
		木造建築物等において用途が異なる部分の相互間に設ける防火設備

自動ドア開閉装置

（１）自動ドアの開閉装置は、防錆性能、凍結防止装置の適用と共に「備考」欄による。
（２）センサーの種類は、「備考」欄による。

防火・防煙シャッター

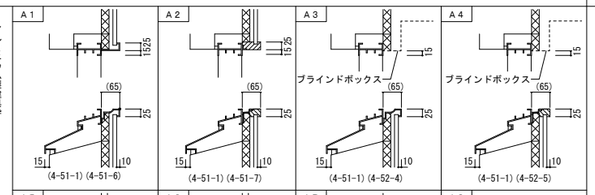
・（４－４９－１）　・図示
適用は「備考」欄により、危険防止機構の種別は建具金物欄よる。

電動シャッター・電動オーバーヘッドドア

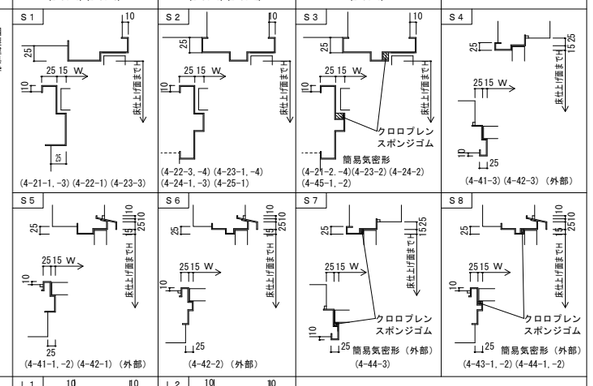
適用は備考欄により二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置、障害物感知装置等は建具金物欄による。

建具枠・くつずり詳細図

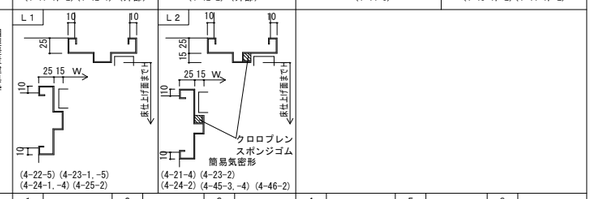
アルミニウム製建具枠



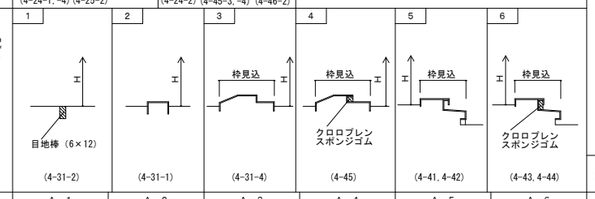
鋼製建具枠



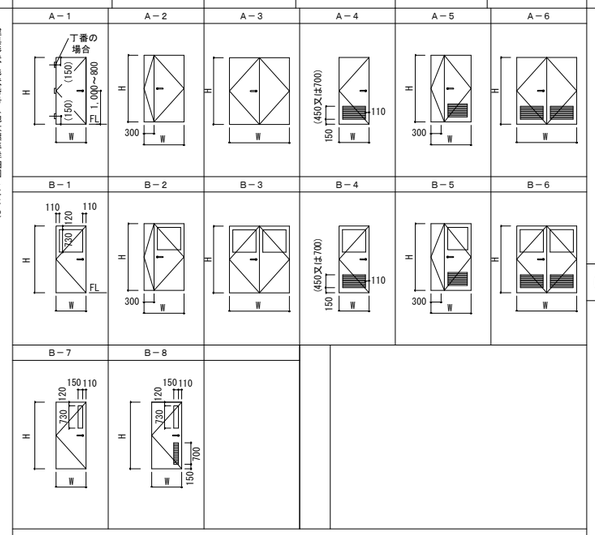
鋼製軽量建具枠



くつずり



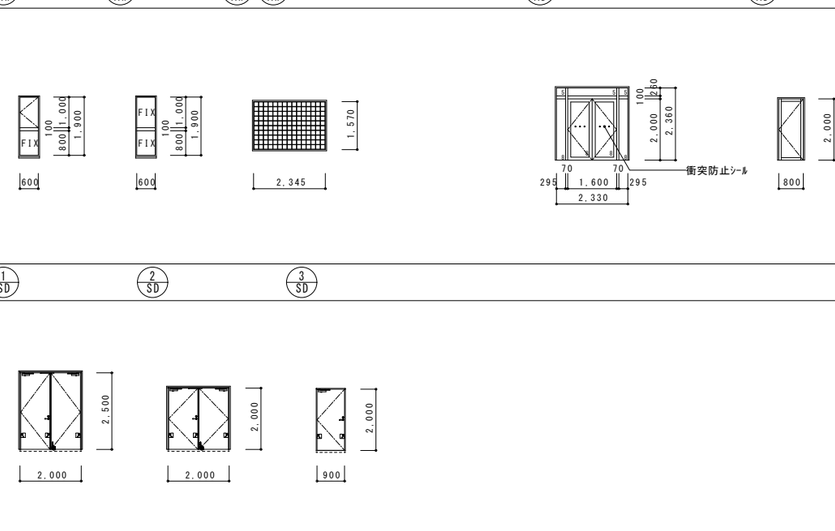
建具形状 形状番号（他は標準詳細図4-○○）



※記号、種類は共通事項、建具枠・くつずり詳細図、又は標準詳細図（4-01）による

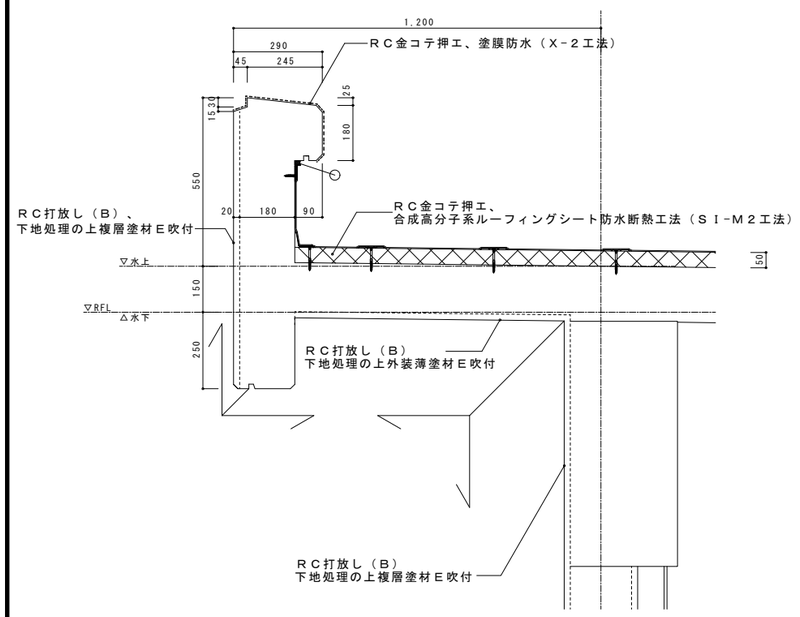
建具符号

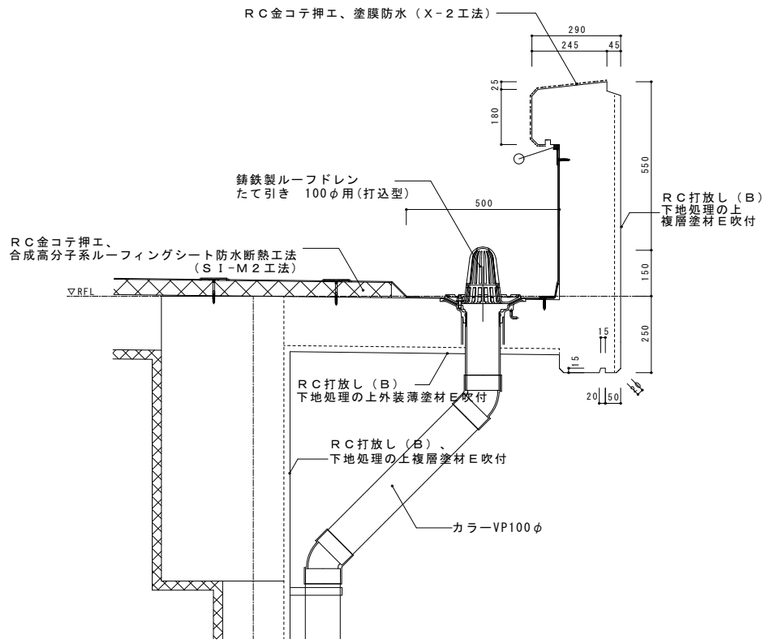
建具符号	建具形状 記号	建具形状 建具分類	数量	寸法（mm）（ ）内はらんまを示す 幅（W）	寸法（mm）（ ）内はらんまを示す 高さ（H）	建具枠 枠見込（mm）	建具枠 枠廻り記号 枠ーくつずり	ガラス 種類	ガラス 厚さ（mm）	ガラリ高さ h（mm）	建具金物	備考 標準型建具の場合は標準型建具と特記する
1 AW	図示	片開き+FIX窓　段窓	7	６００	１９００	７０	Ａ５	P	5.0	－	建具製作所の仕様による	
2 AW	図示	FIX窓　段窓	3	６００	１９００	７０	Ａ５	P	5.0	－	建具製作所の仕様による	
3 AW	図示	ガラスブロック窓	5	２３４５	１５７０	１００	Ａ５	GB 145×145	100	－	建具製作所の仕様による	
3A AW	図示	ガラスブロック窓	3	２３４５	１５７０	１００	Ａ５	GB 145×145	100	－	建具製作所の仕様による	防火設備
1 AD	図示	両軸ﾗﾝﾏFIX窓 両開きかまち戸	1	２３３０	２３６０	７０	図　示	T(P) T(P)	5.0 8.0	－	建具製作所の仕様による	
2 AD	図示	片開きかまち戸	1	８００	２０００	７０	Ａ５	T(P)	8.0	－	建具製作所の仕様による	
1 SD	図示	両開きフラッシュ戸	2	２０００	２５００	２９０ ２９５	図　示	－	－	－	建具製作所の仕様による	止水ドア（文化ｼｬｯﾀｰ　ｱｸｱｰﾄﾞ程度
2 SD	図示	両開きフラッシュ戸	1	２０００	２０００	２９５	図　示	－	－	－	建具製作所の仕様による	止水ドア（文化ｼｬｯﾀｰ　ｱｸｱｰﾄﾞ程度
3 SD	図示	片開きフラッシュ戸	1	９００	２０００	２９０	図　示	－	－	－	建具製作所の仕様による	止水ドア（文化ｼｬｯﾀｰ　ｱｸｱｰﾄﾞ程度
4 SD	Ａ－３	両開きフラッシュ戸	1	１７００	２０００	２６０	Ｓ５－５	－	－	－	建具製作所の仕様による	
5 SD	Ａ－１	片開きフラッシュ戸	1	９００	２０００	２６０	Ｓ１－２	－	－	－	建具製作所の仕様による	
6 SD	Ａ－３	両開きフラッシュ戸	2	２０００	２５００	２６５ ２９５	Ｓ５－５	－	－	－	建具製作所の仕様による	防火設備
7 SD	Ａ－１	片開きフラッシュ戸	2	８００	２０００	２７０ ２９５	Ｓ１－２	－	－	－	建具製作所の仕様による	防火設備



工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事
図面名	建具表
縮尺	1/100
図面番号	2-4-2-A19
藍住町上下水道課	

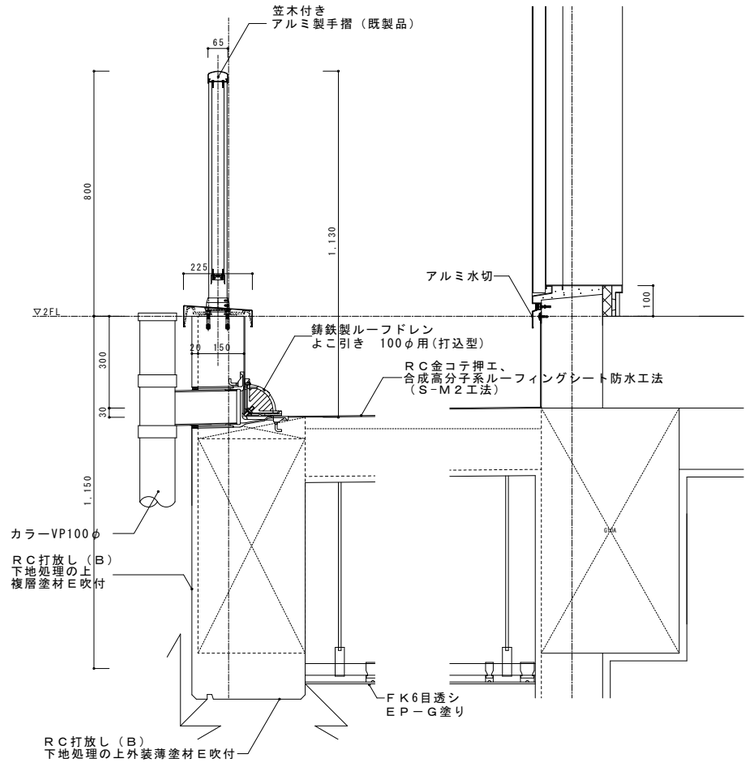
屋根　パラペット詳細図　1/10



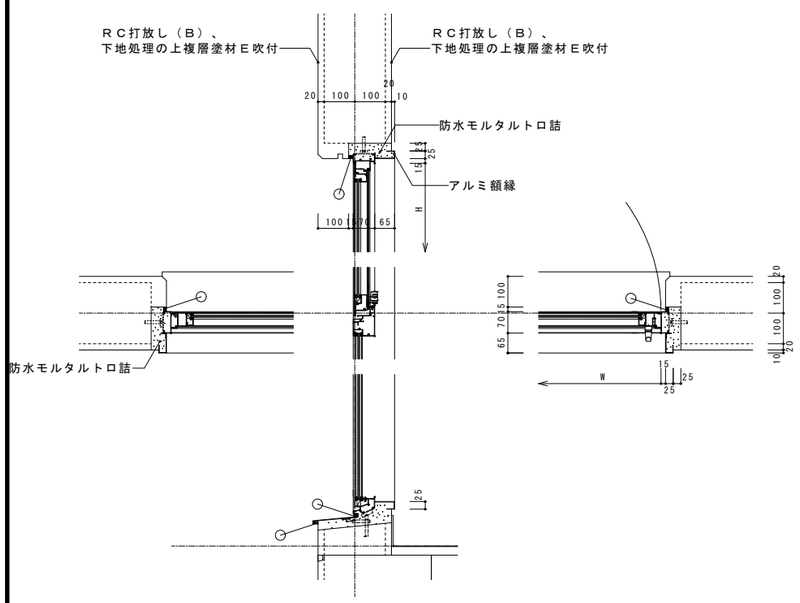


凡例：⊖──シーリング15*10

搬入デッキ　詳細図　1/10

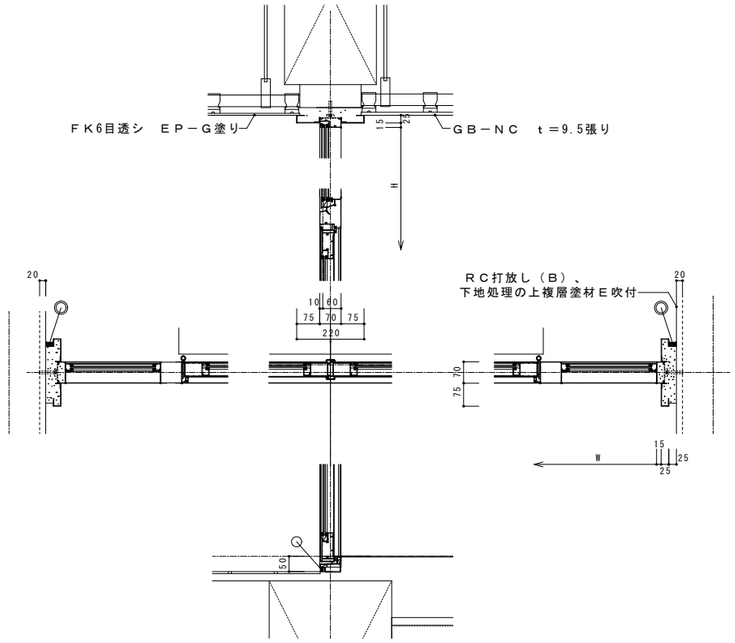


アルミ製建具　詳細図　1/10



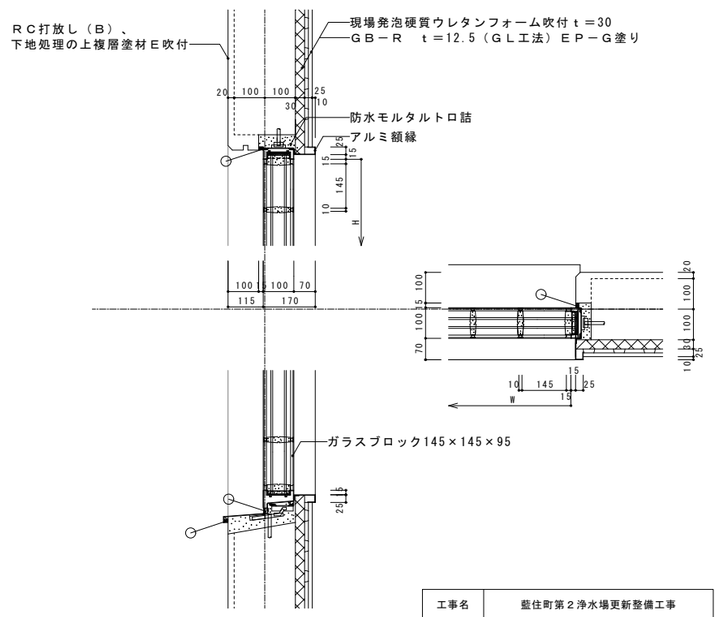
凡例：⊖──シーリング15*10

アルミ製建具（玄関扉）　詳細図　1/10



凡例：⊖──シーリング25*15
⊖──シーリング15*10

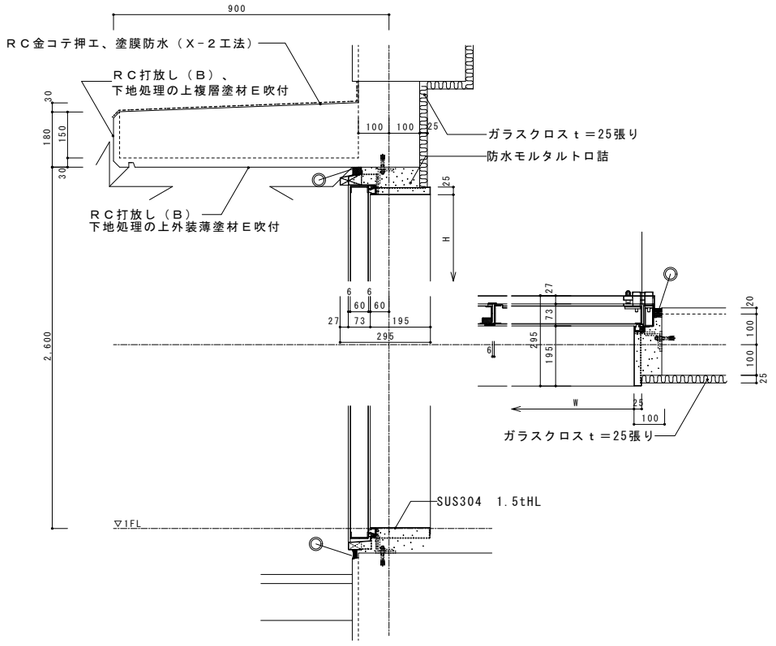
アルミ製建具（ガラスブロック窓）　詳細図　1/10



凡例：⊖──シーリング15*10

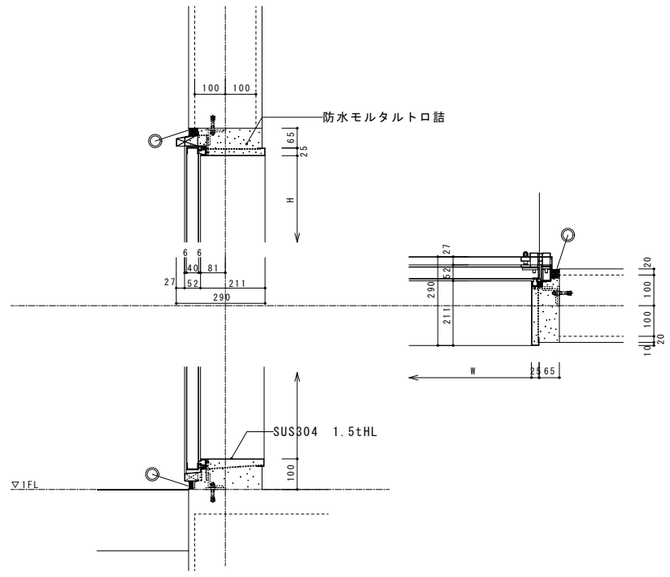
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	各部詳細図（１）		
縮　尺	図示	図面番号	2-4-2-A20
藍　住　町　上　下　水　道　課			

鋼製建具（両開き止水ドア）　詳細図　1/10



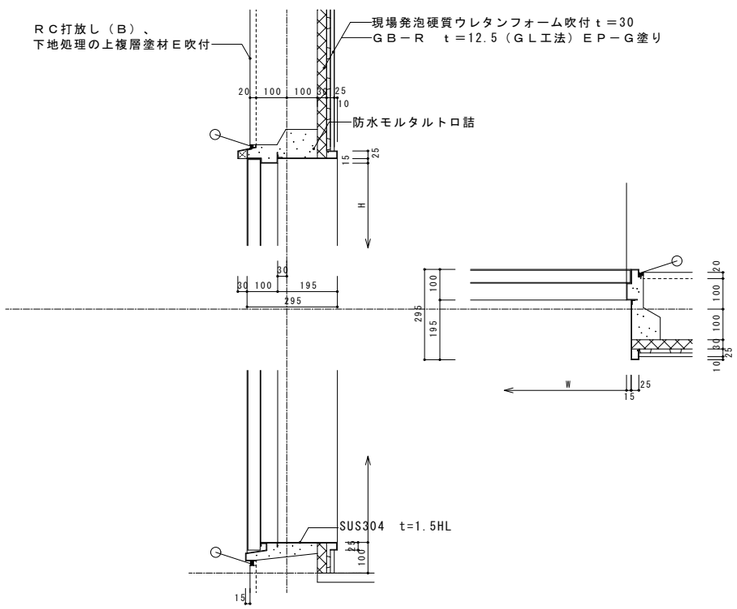
凡例：◎——シーリング25*15

鋼製建具（片開き止水ドア）　詳細図　1/10



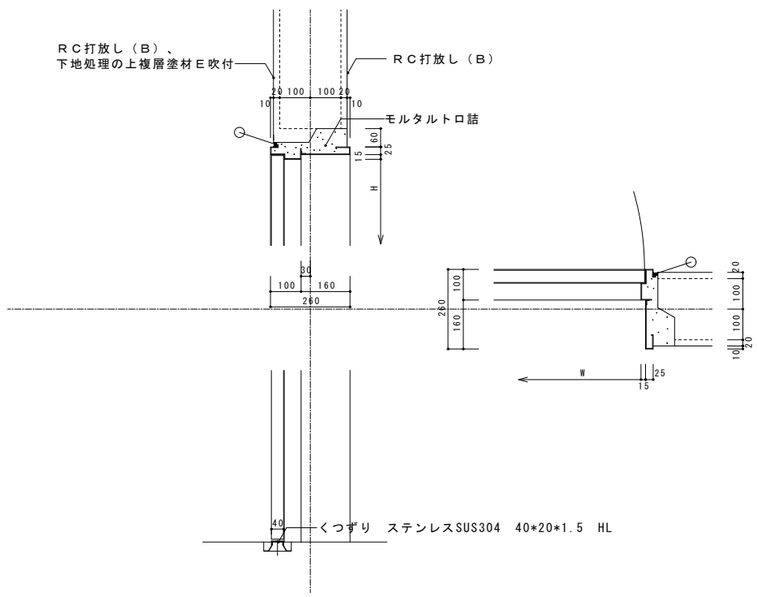
凡例：◎——シーリング25*15
　　：◎——シーリング15*10

鋼製建具(外部)　詳細図　1/10



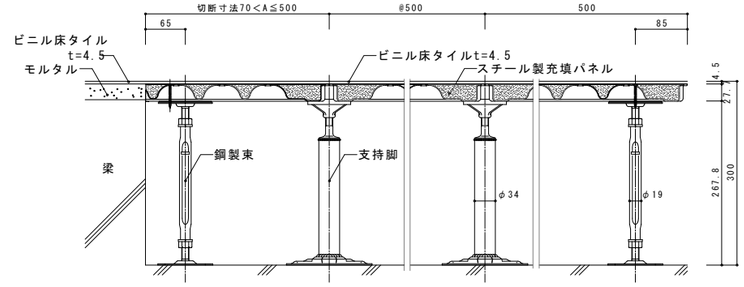
凡例：◎——シーリング15*10

鋼製建具(内部)　詳細図　1/10



凡例：◎——シーリング15*10

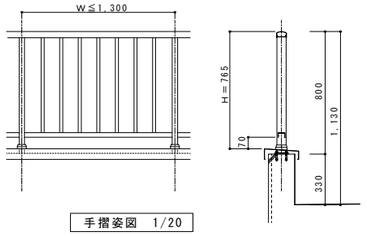
ＯＡフロア　詳細図　1/5



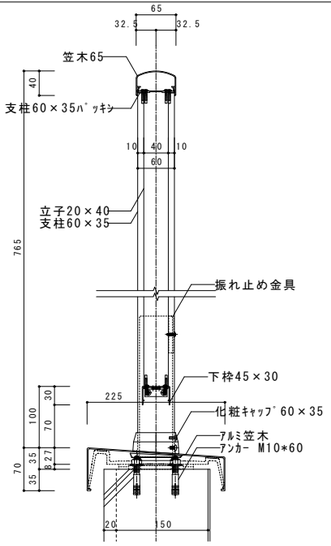
スチール製OAフロア　耐荷重500N仕様

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	各部詳細図2		
縮　尺	図示	図面番号	2-4-2-A21
藍　住　町　上　下　水　道　課			

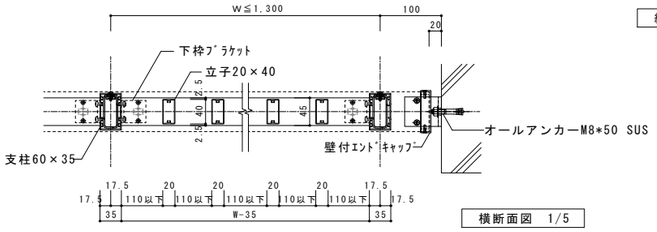
笠木付アルミ手摺（外部）　詳細図　1/5　1/20



手摺姿図　1/20

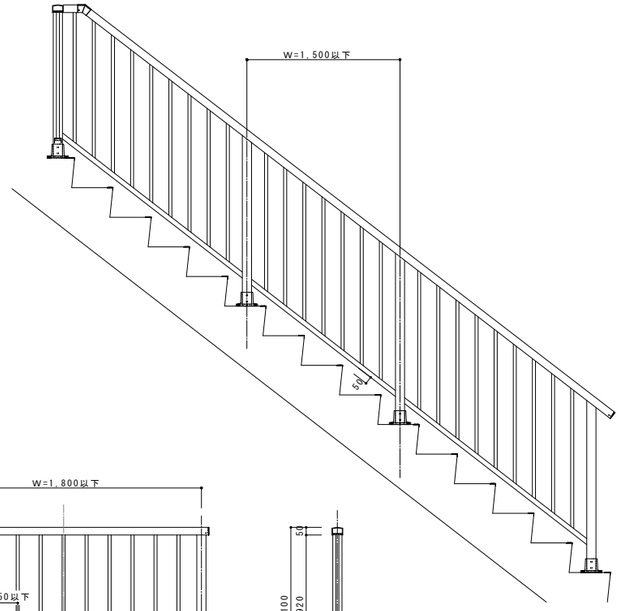


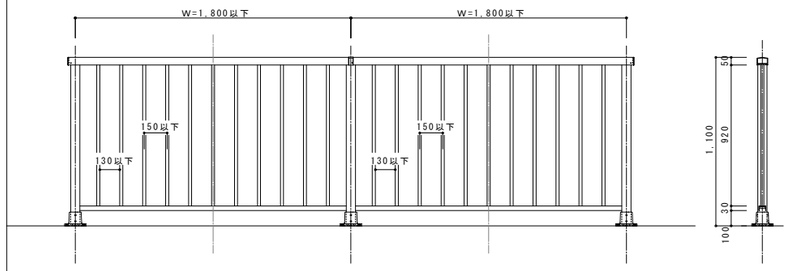
縦断面図　1/5



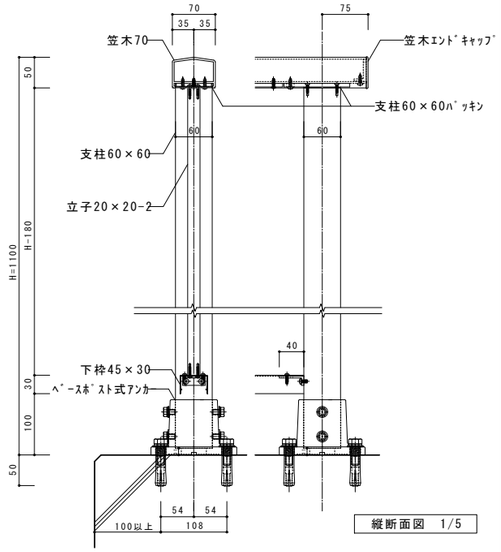
横断面図　1/5

アルミ手摺（内部）　詳細図　1/5　1/20

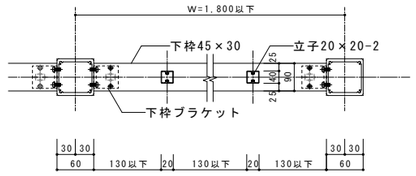




手摺姿図　1/20

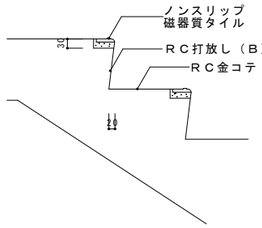


縦断面図　1/5

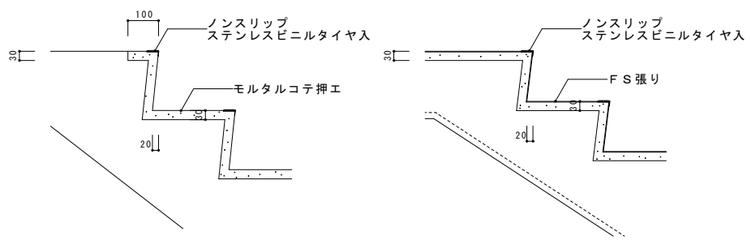


横断面図　1/5

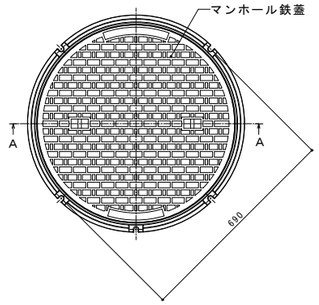
外部階段　詳細図　1/10

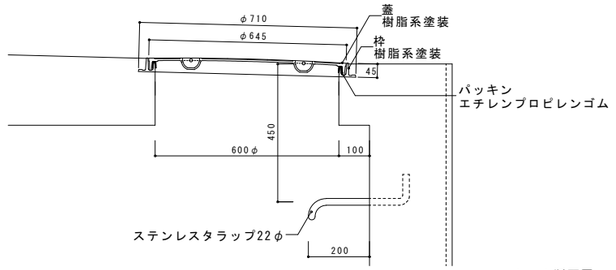


内部階段　詳細図　1/10



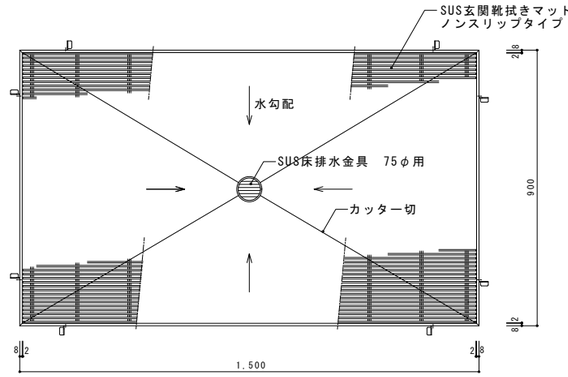
マンホール（ハンドホール）　詳細図　1/10

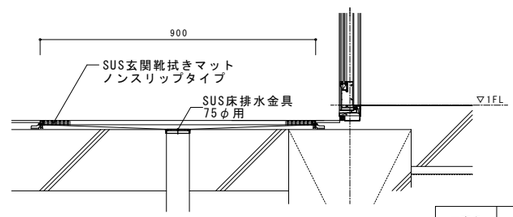




A－A断面図

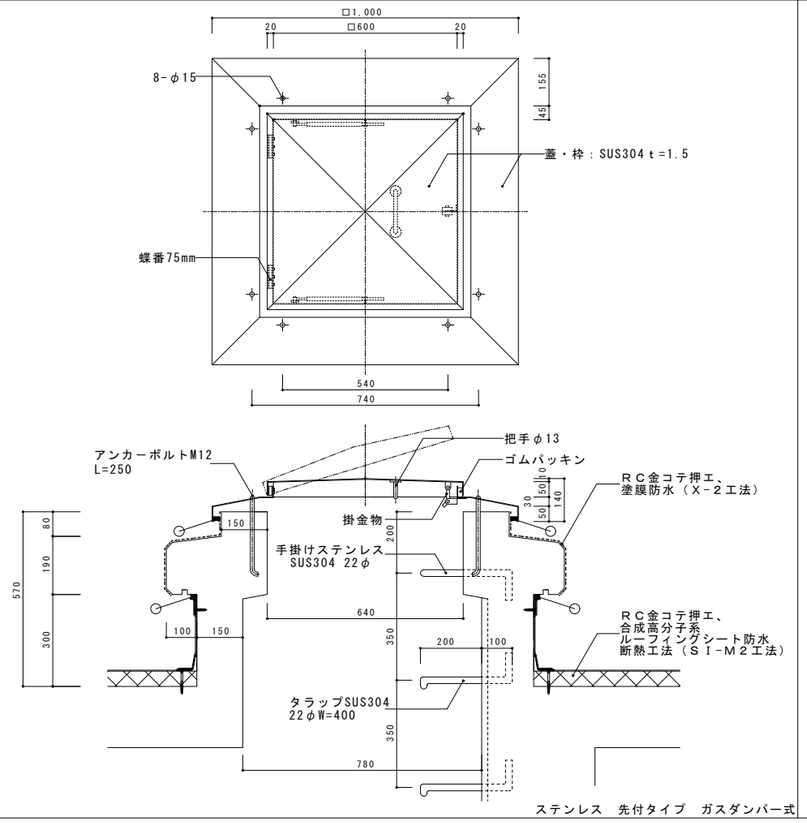
SUS玄関靴拭きマット　詳細図　1/10



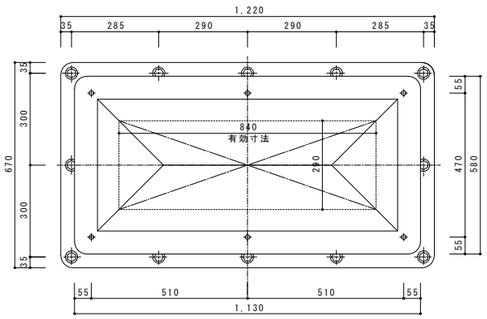


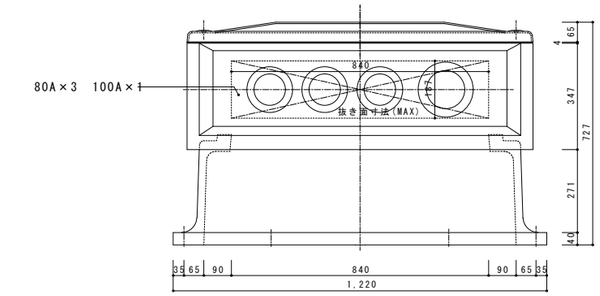
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	各部詳細図3		
縮　尺	図示	図面番号	2-4-2-A22
藍　住　町　上　下　水　道　課			

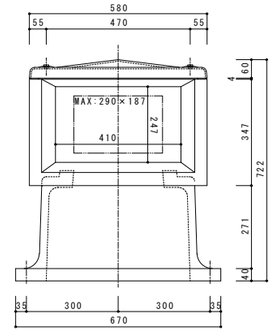
屋上点検口　詳細図　1/10

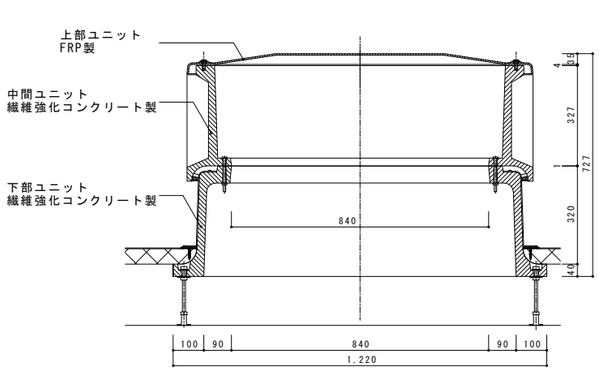


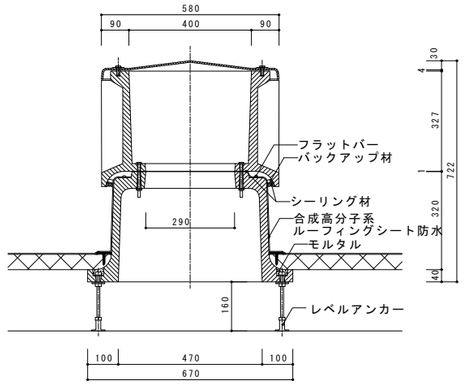
配管取出口　詳細図　1/10



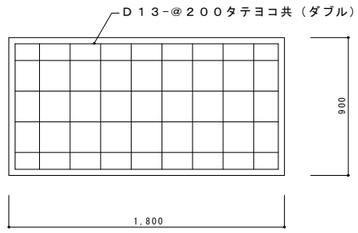


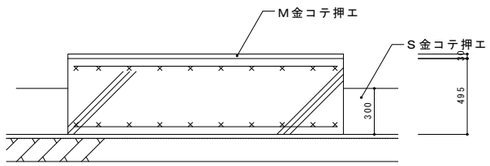






ポンプ・発電機基礎　詳細図　1/20

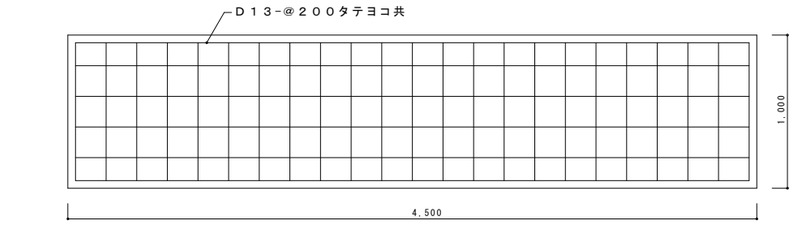


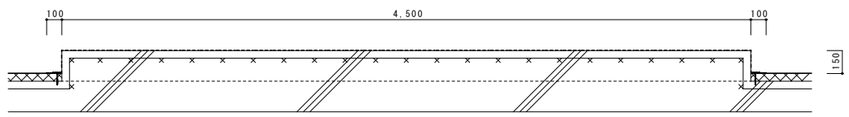


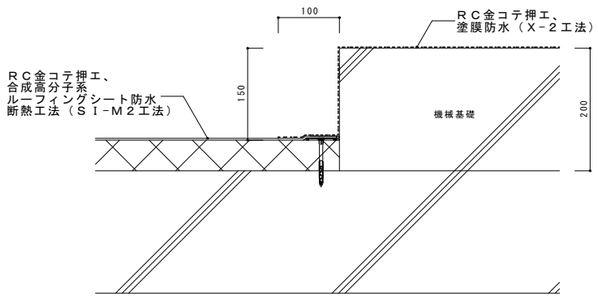
	Ｗ寸法	Ｄ寸法	Ｈ寸法	配　筋
機械基礎1	1800	900	495	D13-@200ﾀﾃ・ﾖｺ共ﾀﾞﾌﾞﾙ
機械基礎2	1800	900	410	D13-@200ﾀﾃ・ﾖｺ共ﾀﾞﾌﾞﾙ
機械基礎3	1600	1200	410	D13-@200ﾀﾃ・ﾖｺ共ﾀﾞﾌﾞﾙ

機械基礎1　詳細図　1/20

室外機基礎　詳細図　1/5　1/20



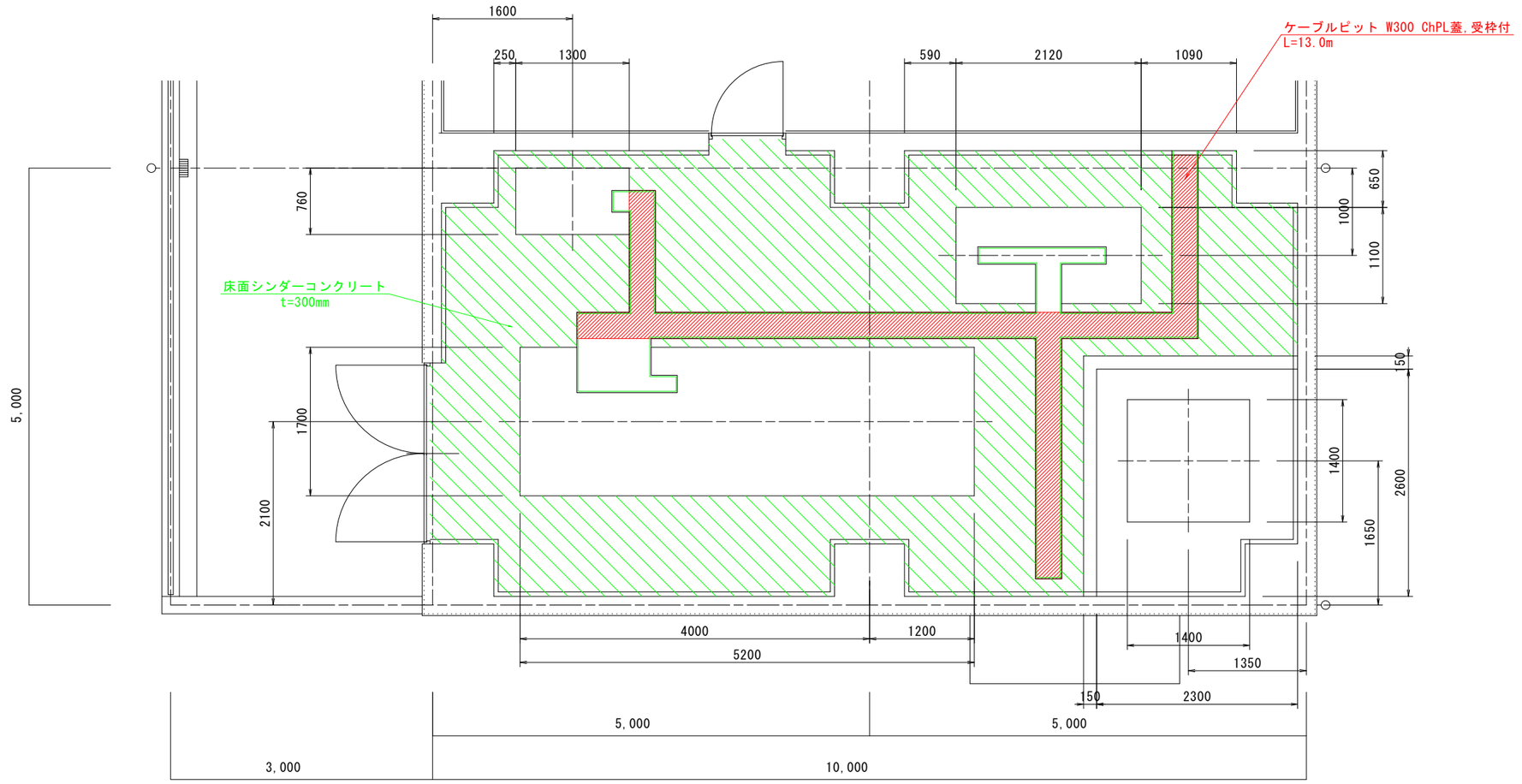




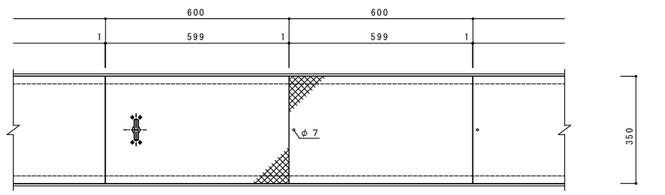
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事
図面名	各部詳細図4
縮　尺	図示　図面番号　2-4-2-A23
藍　住　町　上　下　水　道　課	

発電機室シンダーコンクリート打設図

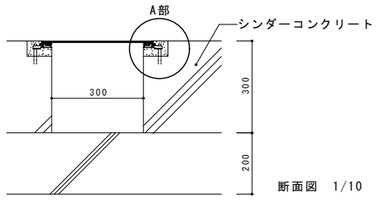
縮尺：1/30



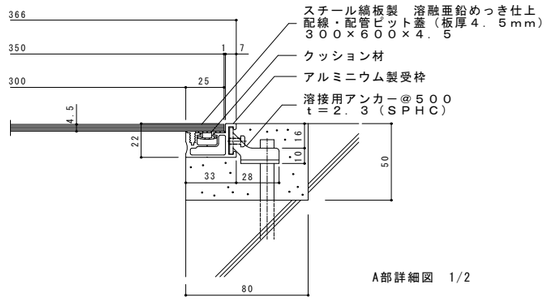
配管ピット　詳細図　1/10　1/2



平面図　1/10



断面図　1/10

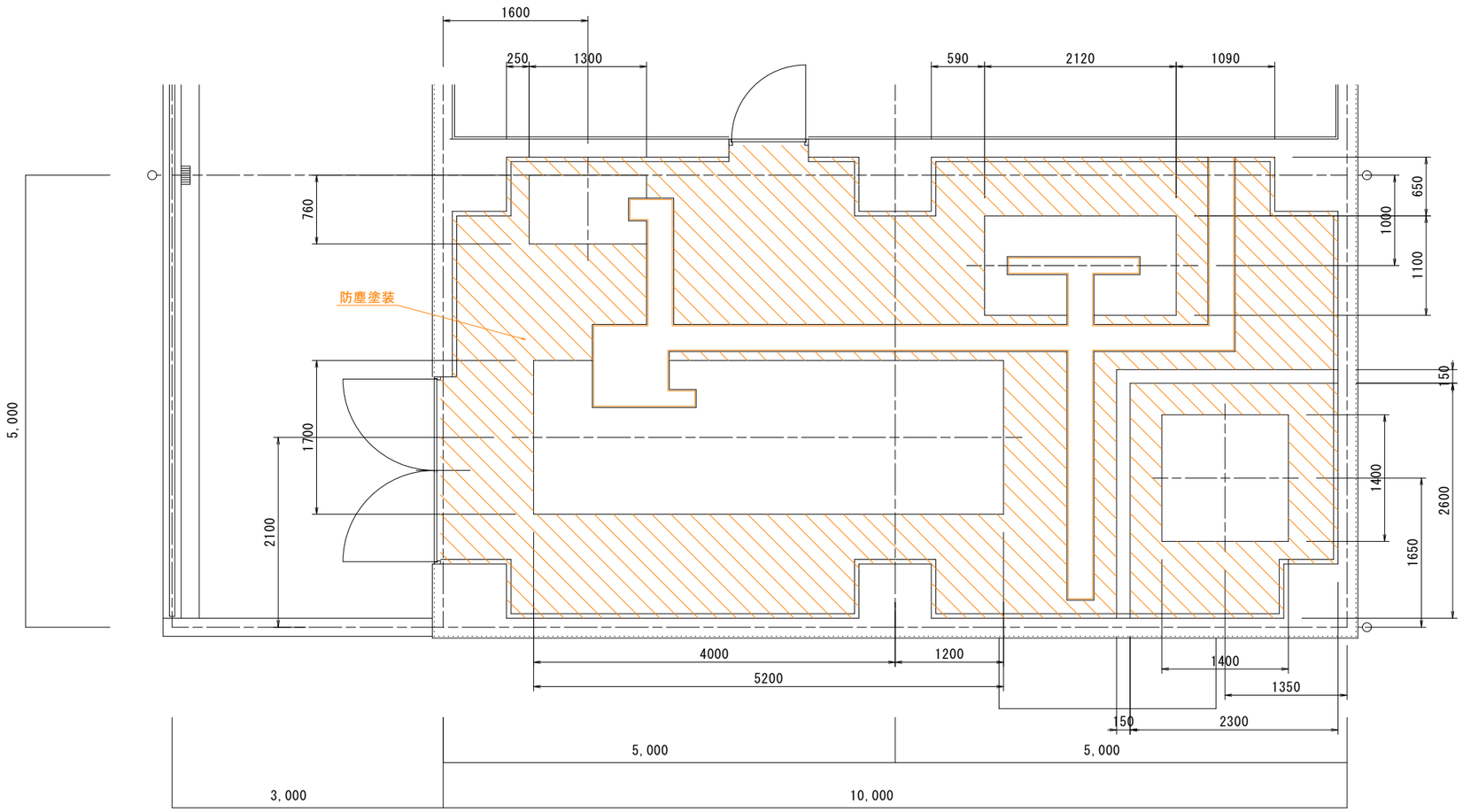


A部詳細図　1/2

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	発電機室シンダーコンクリート打設図		
縮　尺	1/30	図面番号	2-4-2-A24
藍　住　町　上　下　水　道　課			

発電機室防塵塗装図

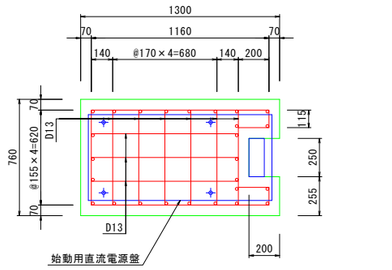
縮尺；1/30

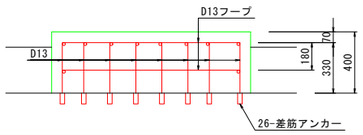


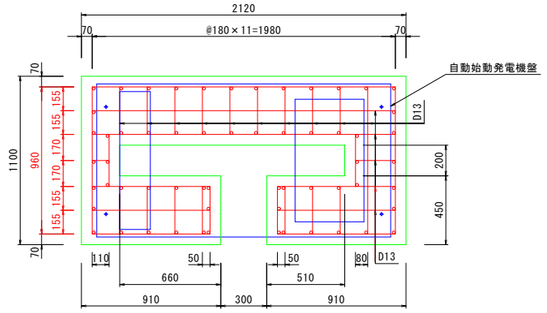
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	発電機室防塵塗装図		
縮　尺	1/30	図面番号	2-4-2-A25
藍　住　町　上　下　水　道　課			

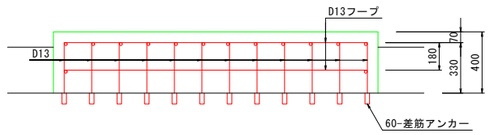
発電機室基礎配筋図

縮尺：1/20



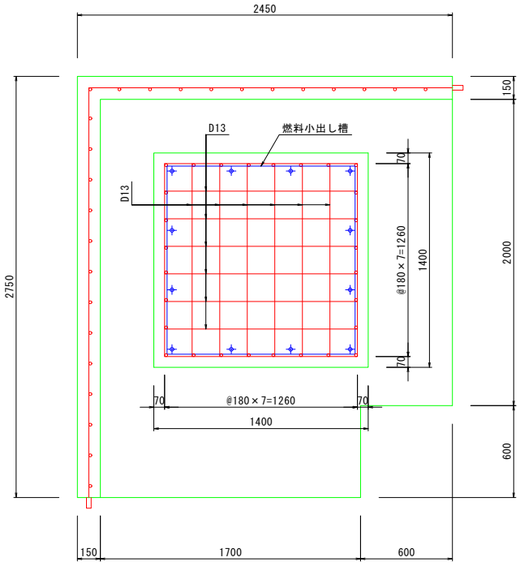


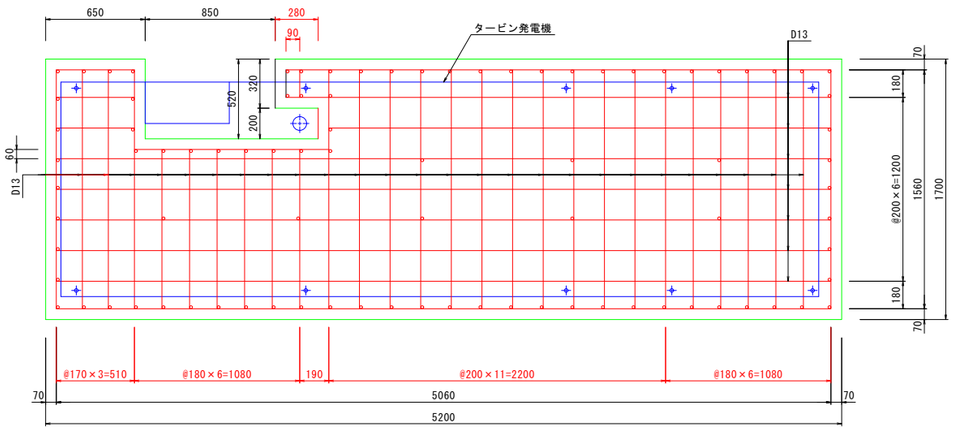


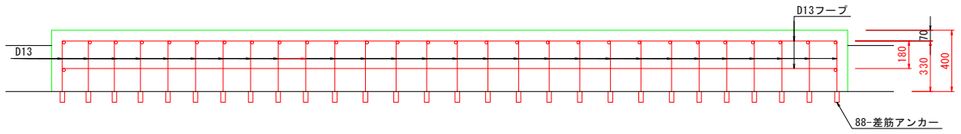


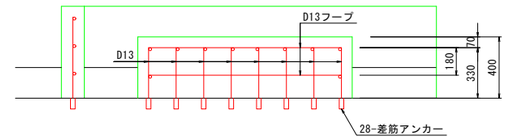












工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	発電機室基礎配筋図		
縮　尺	1/20	図面番号	2-4-2-A26
藍　住　町　上　下　水　道　課			

雨水桝リスト

ﾍﾞﾝﾁNo	桝仕様					地盤高	管底高	H深さ	備考
	ﾍﾞﾝﾁ種別	ﾍﾞﾝﾁ蓋	ﾍﾞﾝﾁ耐荷重	規格	ﾍﾞﾝﾁ寸法	(mm)	(mm)	(mm)	
A1	塩ビ桝	塩ビ	T-2		○300	+4,340	+3,990	350	
A2	塩ビ桝	塩ビ	T-2		○300	+4,340	+3,965	375	
B1	塩ビ桝	塩ビ	T-2		○300	+4,310	+3,960	350	
B2	塩ビ桝	塩ビ	T-2		○300	+4,310	+3,935	375	
C1	RC桝	ｸﾞ	T-25	細目	□450	+4,420	+3,870	550	
C2	RC桝	ｸﾞ	T-25	細目	□450	+4,340	+3,825	515	

凡例

A番号～C番号は排水桝Noを示す。

表記なき場合は、排水勾配　1/200とする

表記なき場合は、VP150φとする

RC桝：□350「9-14-5」・□450「9-14-6」

・□600「9-14-6」

地業材料：再生クラッシャラン

+数値　：完成敷地高さを示す。

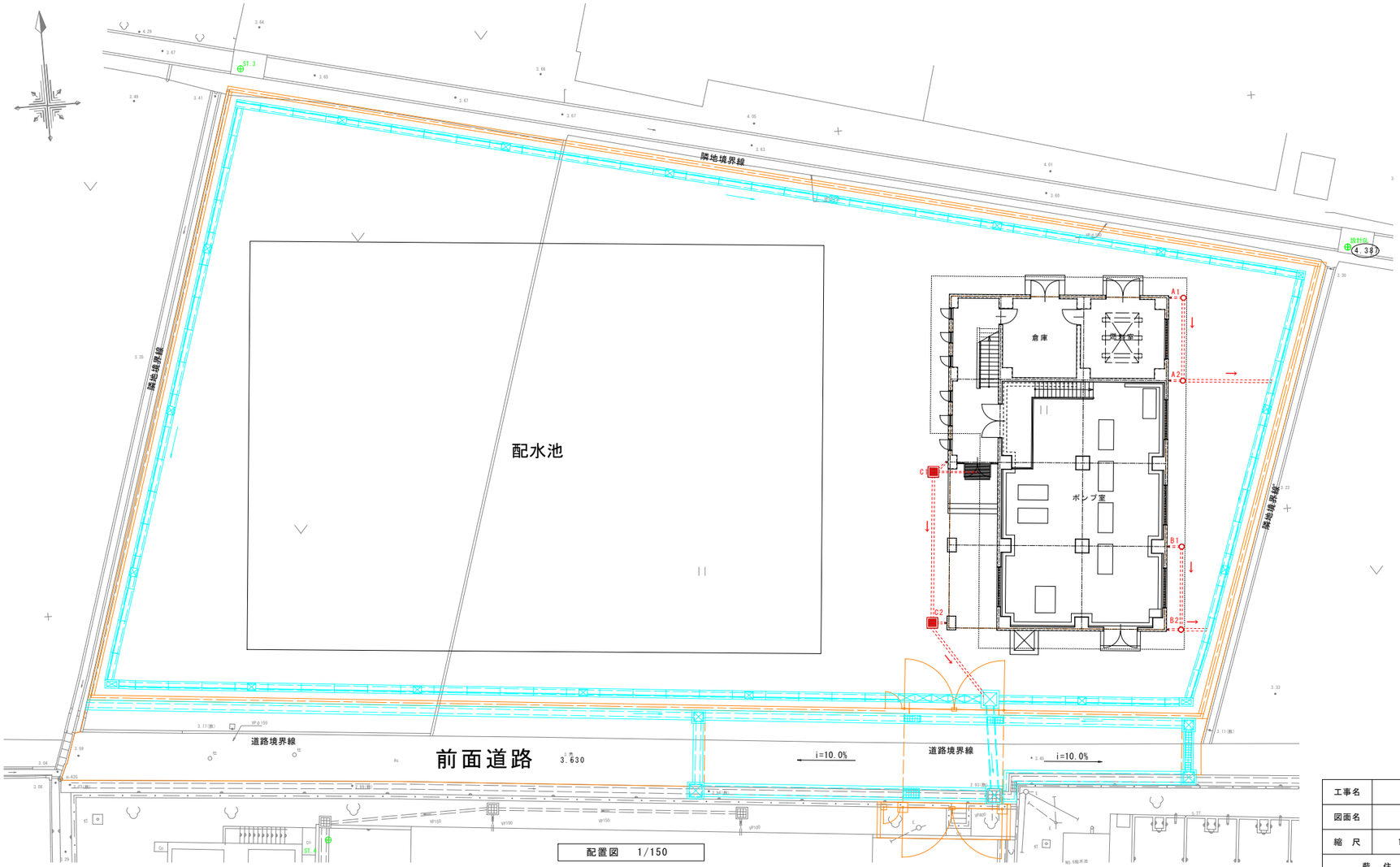
グ：グレーチング蓋

細目：細目ノンスリップタイプ

排水配管を示す

排水桝を示す。

排水勾配を示す。



配置図　1/150

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	雨水計画図		
縮　尺	1/150	図面番号	2-4-2-A27
藍　住　町　上　下　水　道　課			

III. 機械設備工事特記仕様書

1章　一般共通事項

1. 官公署その他への届出手続等

(1) 本工事に必要な工事用電力，水などの費用及び官公署への諸手続などの費用は本工事に含む。
官公署その他への届出手続等は（標仕<1> 1.1.3）により行う。なお，監理指針<1>1.1.3を参考とする。
・自家用電気工作物の保安規程（ ・ 本工事に関し定める ・ 既存施設の保安規程を適用（改修・増築等）））
・既存施設の保安規程を適用する場合の工事，維持，運用に関する保安業務（ ・ 本工事 ・ 別途））
(2) 官公署その他への届出手続等を行うにあたり，届出内容について，あらかじめ監督員に報告する。
(3) 官公署その他関係機関の検査に必要な資機材及び労務等は本工事で提供する。

2. 技能士

技能士の適用については，次の技能検定作業（以下「作業」という。）のうち，各工事毎に適用する作業を指定するものとする。

技能士は，職業能力開発促進法による一級又は二級技能士の資格を有する者とし，資格を証明する資料を監督員に提出すること。技能士は適用する工事作業中，1名以上の者が自ら作業するとともに，他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。

技能士は，氏名，検定職種，技能士番号等，県が指定した内容を記載した名札等により，資格を明示するものとする。なお，指定のない作業についてもその活用を図るよう努めることとする。

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設	とび	・ とび作業
鉄筋	鉄筋施工	・ 鉄筋組立て作業
コンクリート	コンクリート圧送施工	・ コンクリート圧送工事作業
型枠	型枠施工	・ 型枠工事作業
鉄骨	鉄工	・ 構造物鉄工作業
防水	防水施工	・ アスファルト防水工事作業　・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業　・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業　・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業　・ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業
タイル	タイル張り	・ タイル張り作業
木	建築大工	・ 大工工事作業
屋根及びとい	建築板金	・ 内外装板金作業
	かわらぶき	・ かわらぶき作業
金属	建築板金	・ 内外装板金作業
左官	左官	・ 左官作業
建具	建具製作	・ 木製建具手加工作業　・ 木製建具機械加工作業　・ アルミ製室内建具製作作業
	サッシ施工	・ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ ガラス工事作業
塗装	塗装	・ 建築塗装作業
内装	内装仕上げ施工	・ プラスチック系床仕上げ工事作業　・ カーペット系床仕上げ工事作業 ・ 鋼製下地工事作業　・ ボード仕上げ工事作業
	表装	・ 表具作業　・ 壁装作業
配管	配管	⊙ 建築配管作業
植栽	造園	・ 造園工事作業
機械設備	冷凍空気調和機器施工	・ 冷凍空気調和機器施工作業

（注） 表中〇印の入った作業に係る技能士を本工事で活用する。

3. 施工条件

施工条件は次による。

※施設特性を把握し，施工時における注意事項を簡潔にまとめ記載すること。

・工程表は，全体工程表をフォローする月間工程表，更にこれをフォローする週間工程表を定期的に作成の上，監督員・施設管理者へ提出し，承認を得ること。

・施設内での行事（イベント・議会定例会等）により施工時期が制限される場合があるので，施設管理者との調整・情報共有をし，工程の遅延防止に配慮すること。

・施工時間は，原則8:30～17:30までとする。ただし，夜間又は休日作業となる工程についてはこの限りでない。

・施設内では，別図に示す作業員動線図に基づき移動し，工事区域外への立入りには十分注意すること。

・現場着手前に改修範囲について入念な現地調査を行うと共に，施設管理者へのヒアリングを行い，その結果を施工計画・仮設計画・施工図等の作成に十分活用すること。

4. 発生材の処理等

発生材の処理等は，標仕<1>1.3.9「発生材の処理等」により行う。
(1) 産業廃棄物の処理
産業廃棄物の種類毎に次の処分場を指定する。

種類	処分許可業者の会社名（処分区分）	優良	所在地 処分地	運搬距離（km）	処分費（税抜，円）	単位
ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)						t
ｺﾝｸﾘｰﾄ(有筋)						t
ｱｽﾌｧﾙﾄ						t
金属(処分)						t
ｶﾞﾗｽ						t
木材						t
廃ﾌﾟﾗ						m3

（注） 表中「優良」欄に丸印の入っている業者は，「徳島県優良産業廃棄物処理業者の認定業者（以下「優良産廃処分業者」という。）」であることを示す。
・コンクリート・アスファルト類の搬出先については，中間処理施設のみとする。木材については，50kmの範囲内にある木材再資源化施設への搬出を原則とする。
・上記以外の許可業者の処分場で処分しても差し支えないが，増額変更の対象とはしない。また，この場合，処分単価の見積書を求め，減額変更を行うことがある。なお，上記の処分場が優良産処分業者に認定されているとき，処分場を変更する場合は，原則として優良産廃処分業者に変更すること。ただし，諸般の事情により優良産廃処分業者以外の処分場で処分を行う場合は，理由書を監督員に提出すること。

(2) 建設発生土の処理
・ 構外に搬出し適切に処理　※土壌検査を本工事で（ ・ 行う（1箇所） ・ 行わない ）　・ 構内敷きならし
・ 構内の指示場所（図示）に集積
なお，民間の残土処分場等へ搬出する場合は「徳島県生活環境保全条例」によること。
［最終処分場の指定］※残土搬入前に下記処分場へ問合せ，受入れの可否について確認すること。
・処分場名：　・所在地：
・処分単価（税抜）：　円/t　・運搬距離：　kmを見込んでいる。

5. 養生等

(1) 本工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は，既成にならい補修する。
(2) 工事により影響の及ぼす範囲内にある重要物品は次のとおりである。受注者は，注意事項に従い適切な措置を施すこと。

備品等名称	
保管場所	
注意事項	

6. 機材の品質等

(1) 本工事に使用する材料・機材等は，設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等のものとする。ただし，同等のものを使用する場合は，あらかじめ監督員の承諾を受ける。
(2) 下表に示す材料・機材等の製造業者等は次の①から⑤の事項を満たすものとし，証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたものを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③法令等で定める許可，認可，認定又は免許を取得していること。
④製造又は施工の実績があり，その信頼性があること。
⑤販売，保守等の営業体制を整えていること。

品目	機材名・注記
ボイラー	鋼製簡易ボイラー（簡易貫流ボイラー含む），鋳鉄製ボイラー（鋳鉄製簡易ボイラー含む） 鋼製小型ボイラー（小型貫流ボイラー含む），鋼製ボイラー
温水発生機	真空式温水発生機（鋼製・鋳鉄製），無圧式温水発生機（鋼製・鋳鉄製）
冷凍機	チリングユニット（空気熱源ヒートポンプユニット含む），吸収冷温水機 吸収冷温水ユニット，遠心冷凍機
冷却塔	冷却塔
空気調和機	ユニット形空気調和機，ファンコイルユニット（カセット形含む） コンパクト形空気調和機，パッケージ形空気調和機，マルチパッケージ形空気調和機 ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機
空気清浄装置	エアフィルター（パネル形，折込み形，袋形），自動巻取形エアフィルター，電気集塵器
全熱交換器	全熱交換器（回転形・静止形），全熱交換ユニット
送風機類	遠心送風機（多翼形送風機），斜流送風機，軸流送風機，消音ボックス付送風機
ポンプ類	横形遠心ポンプ，水中モーターポンプ，立形遠心ポンプ
ダクト付属品	吹出口・吸込口，風量ユニット（定風量・変風量）
自動制御	自動制御システム
衛生器具ユニット	衛生器具ユニット
タンク	FRP製パネルタンク，ステンレス鋼板製パネルタンク(溶接組立形，ボルト組立形)
消火装置	密閉形隔膜式膨張タンク(給湯用) スプリンクラー消火システム，不活性ガス消火システム，泡消火システム ハロゲン化物消火システム
厨房機器	厨房システム
鋳鉄製ふた	マンホールふた，弁桝ふた

(3) 機器類は，図示する形状又は配管などの取出し位置等により，特定製造者の特定の製品を指定若しくは限定しない。
(4) 機材の検査に伴う試験については，標仕 <1>1.4.6により行う。製造者において試験方法を定めている項目については，試験要領書を提出する。

7. 施工調査

(1) 工事の着手に先立ち，実施工程表及び施工計画書等作成のための必要な調査・打合せを行うこと。
(2) 工事の施工に先立ち，工事関連部分の事前調査（支障物件の調査・確認を含む）及び工事関係者（施設管理者・電気主任技術者・関係官公庁等）との事前打合せを実施し，その結果を監督員に報告する。

8. 総合試運調整

(1) 総合試運転調整の項目は次によるものとし，試運転調整完了後に記録表・測定表等の報告書を監督員に提出すること。
（監理指針 参考資料 資料2 試運転調整法 2.1，2.2を参考にする。）
・ 風量調整　・ 水量調整　・ 室内外空気の温湿度の測定　・ 室内気流及びじんあいの測定
・ 飲料水の水質の測定　・ 雑用水の水質の測定　・ 低圧屋内配線，弱電流電線の絶縁抵抗測定

2章　共通工事・関連工事

1. 耐震施工

（参考図書：建築築設備耐震設計・施工指針（2014年版））

(1) 設備機器の固定は，施設の分類並びに機器の種別，重要度及び設置階に応じて，次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し，移動，転倒，破損等が生じないようにする。
なお，施工に先立ち，耐震計算書を監督員に提出し，承諾を受けるものとする。
・設計用水平地震力
機器の重量（kN）に，地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお，設計用標準水平震度は，特記なき場合は下表による。
・設計用鉛直地震力
設計水平地震力の1/2とし，水平地震力と同時に働くものとする。
・施設の分類，地域係数
・施設の分類（ ⊙ 特定の施設　・ 一般の施設 ）　・地域係数（ ⊙ 1.0　・ 0.9 ）
・重要機器
・ 給水機器（　）　・ 排水機器（　）　・ 換気機器　・ 空調機器　・ 熱源機器
・ 防災設備　・ 監視制御装置　・ 危険物貯蔵装置　・ 火を使用する設備　・

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階，屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中層階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

（注） ・上層階の定義は次のとおりとする。
2～6階の場合は最上階，7～9階の場合は上層2階，10～12階建の場合は上層3階，13階以上の場合は上層4階
・水槽類にはオイルタンク等を含む。
(2) 質量100kg以下の軽量な機器（標仕の適用を受けるものは除く）の取付については，機器製造者の指定する方法で確実に取付けを行うものとし，特に計算を行わなくともよい。
(3) 横引き配管等の耐震支持は，施設の分類に応じたものとする。

2. あと施工アンカー

あと施工アンカーボルトの選定については，次による。
(1) 機器類の固定には，金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーを使用し，重要機器及び次の機器については，施工後確認試験を行う。
（ ・　・　・　）
・試験方法　引張試験機による引張試験とし，確認強度まであと施工アンカーを引張るものとする。
・試験箇所数　1ロットに対し3本とし，ロットから無作為に抜き取る。
(2) 配管・ダクトの吊り及び支持材の固定には，その自重に十分耐えうるアンカーを使用する。なお，耐震支持に使用する躯体取付用のアンカーは金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーとする。
(3) 屋外に使用するものはステンレス製又はJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定するHDZT49以上の溶融亜鉛めっきを施したものとする。

3. 非破壊検査

(1) はつり，穴開け及びあと施工アンカー等の施工に当たり，埋設物の事前調査を行い，監督員に報告すること。
(2) 施工場所を鉄筋探査機により探査し，鉄筋，配管類の位置に墨出しを行う。なお，探査の結果，放射線透過検査を必要とする場合については，監督員と協議の上，適切に対応するものとする。

4. コンクリート工事

対象物：※躯体
・ 強度試験（ ・ 第三者機関　・ JIS工場 ）　・ 構造体強度補正値(S)による補正　・ 調合表提出
・ アルカリ骨材反応抑制対策確認　・ 鉄筋材料の規格品証明書提出
（注） 強度試験の立会について，試験を第三者機関で行う場合は，現場代理人又は主任(監理)技術者が，JIS工場の場合は，立会者を定め，監督員の承認を受け，行うものとする。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	機械設備工事特記仕様書1		
縮尺	NON	図面番号	2-4-3-M1
藍住町上下水道課			

7. 仮設工事

(1) 工事用電力，用水については，原則として次による。ただし，施設管理者と協議すること。
・既存電力利用（ ⊙ できる　・ できない ），電力料金（ ⊙ 有償　・ 無償 ）
・既存用水利用（ ⊙ できる　・ できない ），用水料金（ ⊙ 有償　・ 無償 ）
(2) 工事車両用の駐車場，資材置場及び現場事務所用地については，次による。ただし，施設管理者と協議すること。
・同用地は，（ ・ 図示の場所に　・ 用意していないので業者にて ）設けること。
・同用地に対する借地借家料を（　　）円見込んでいる。
(3) 交通誘導警備員の配置
交通誘導警備員については，警備業法に基づく警備員とし，図示する場所に　　日間配置すること。
・警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が（ ・ 義務付けられている　・ 義務付けられていない ）。
・警備員は，延べ（　）人（昼（　）人，夜（　）人：うち検定合格警備員（　）人）を見込んでいる。
・警備業法を遵守するとともに，受注者は，交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。
・配置された検定合格警備員は，業務に従事している間は合格証明書を携帯し，かつ，監督員等の請求があるときは，これを提示すること。
・受注者は，「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し，勤務実績が確認できる資料（勤務伝票の写し）とともに，1月毎に監督員へ1部提出しなければならない。
(4) 足場その他
足場及び作業構台の類を（ ・ 本工事で設置する　・ 関連工事が定置するものを無償で使用できる ）。
・外部足場（種類：　，仕様：　枚布，D=　cm，シート仕様：　）
※足場を設置する場合は，原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」（建築標仕<2>2.2.4）の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式により行うこと。ただし，監督員の承諾を得た場合は，(3)手すり先行専用足場方式により行うことができる。
・内部足場（種類：　，仕様：　枚布，D=　cm）

9. 配管工事

(1) 配管材料については，次表による。

用途		名称	番号	備考
冷水・温水・冷温水		配管用炭素鋼鋼管(白)	JIS G 3452	SGP
		水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 140	SGP-HVA(管端防食継手)
		配管用ステンレス鋼管	JIS G 3459	SUS304
		一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448	SUS304
冷却水		水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 116	SGP-VA（管端防食継手）
膨張・空気抜・補給水		配管用炭素鋼鋼管(白)	JIS G 3452	SGP
		水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 140	SGP-HVA(管端防食継手)
蒸気（往）		配管用炭素鋼鋼管(黒)	JIS G 3452	SGP
蒸気（還）		圧力配管用炭素鋼鋼管(黒 Sch 40)	JIS G 3454	STPG370
油・油用通気		配管用炭素鋼鋼管(黒)	JIS G 3452	SGP
冷　媒	◯	冷媒用断熱材被覆銅管	JCDA 0009	ポリエチレン保温材（難燃性）
空調用排水	◯	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741 又は6742	VP(30φ以下はJIS K 6742を使用してもよい)
		排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	WSP 042	DVLP
		耐火二層管(内管VP)		
（屋内）	◯	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管		

（注）表中の○印のある配管材料を本工事に適用する。
(2) ステンレス鋼管の接合方法は，呼び径60Su以下の継手はSAS322による拡管式とする。
(3) 冷媒管に使用する断熱材被覆銅管の断熱厚さは，液管は10mm以上，ガス管を20mm以上とする．
(4) 建築物導入部の変位吸収方法は，次による。
・給水配管，ガス配管
標準図（施工4，施工5：建築物導入部の変位吸収配管要領 ・(a)　・(b)　・(c) ）による。
※屋外埋設用配管にポリエチレン管を使用し，建物導入部において異種管と接合する場合，点検口枠（標準図［機材6］のTC-1）を設け，変位吸収余長をとる。
・油配管
標準図（施工4，施工5：建築物導入部の変位吸収配管要領 ・(a)　・(b)　・(c) ）による。
(5) 配管溶接部の非破壊検査は次による。
・ 要（ ・ 放射線透過検査　・ 浸透探査検査または磁粉探傷検査 ）　・不要
※検査要の場合の抜取率は（ ・標準仕様書による　・　% ）とする。

(6) 図面に記載なき防振継手は，（ ・ 合成ゴム製　・ ベローズ形 ）とする。
(7) 図面に記載なき伸縮管継手は，（ ・ ベローズ形　・ スリーブ形 ）とする。
(8) 弁類で，ステンレス鋼管に取り付けるものは，呼径50以下は青銅製，呼径65以上はステンレス製とする。
(9) 配管の吊り及び支持は，「標仕」及び「標準図」に従い行う。（標仕<2>2.6.1，<2>2.6.3）
(10) 床下土中埋設配管についても吊り又は支持を行い，管の保護のため山砂の類にて管の周囲を埋め戻した後，掘削土の良質土で埋め戻す。
(11) 地中配管は次による。（標仕<2>2.7.1，監理指針<2>2.7.1，標準図［機材2］）
・排水管　　標仕の当該事項に従い根切り底には再生クラッシャーランを造り方にならい敷き込み，突き固めた後，管をなじみ良く布設する。埋め戻しは，山砂の類で管の周囲を埋め戻し十分充てんした後，掘削土の良質土で所定の埋め戻しを行う。
・排水管以外　　管の保護のため山砂の類にて管の周囲を埋め戻した後，掘削土の良質土で埋め戻し，埋設表示（表示テープ及び埋設標）を行う。
(12) 水圧試験，満水試験，気密試験等は，配管途中若しくは隠ぺい，埋め戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。（標仕<2>2.9.1）

10. 保温・塗装工事

(1) 保温工事
・空調対象室部分（天井内を含む）に設置する全熱交換器の外気取入用ダクト及び排気用ダクトの保温は25mm厚とする。
・厨房用排気ダクトの断熱（隠ぺい部）　・ I・(イ)・IX（又はH・(イ)・IX）　・ 行わない
・冷媒管の保温外装は次による。
屋内露出　⊙ 合成樹脂製カバー（A1・(ロ)・I）　・ 保温化粧ケース（ ・ 耐候性樹脂製　・　）
屋外露出　・ ステンレス鋼板（E2・(ロ)・I）　⊙保温化粧ケース（ ・ ステンレス鋼板製　・ 高耐食性溶融亜鉛めっき鋼板製　・ 耐候性樹脂製　・　）
・膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は，標仕<2>3.1.4の温水管の項による。
・建物内エア抜き管の保温（エア抜き弁以降の配管は除く）は，標仕<2>3.1.4の温水管の項による。
・空気調和機，ファンコイルユニットの排水管の保温は，標仕<2>3.1.5の排水管の項による。
・給水管の床下，暗渠内及び屋外露出部分は，ポリスチレンフォーム保温材とする。
・消火管の屋外露出部分は，ポリスチレンフォーム保温材とする。
・給水用配管でポンプ廻りの防振継手，フレキシブルジョイント及び弁は保温を行わない。
(2) 塗装工事
・次に指定する部分の露出する配管，ダクト，支持金物，架台等のうち亜鉛めっき面及び合成樹脂面の塗装は行わない。
（ ・ ダクトスペース，パイプシャフト内　・　）
・次の部分の露出する電線管，支持金物，架台等は塗装を行う。（ ・ 一般居室，廊下等　・　）
・屋内，屋外及びピット内の支持金物等のうち，ステンレス製又は溶融亜鉛めっき製のものは，原則塗装不要とする。
・硬質塩化ビニル管にカラーパイプを使用する場合は，監督員との協議により塗装を省略することが出来る．

11. その他共通事項

(1) 支持金物等
・屋外及びピット内の支持金物等はステンレス製又は鋼材にJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定するHDZT49以上の溶融亜鉛めっきを施したものとする。
(2) 用途等の表示
・機器には名称及び記号を，配管及びダクトには，識別表示・用途・流れ方向を記入する。（標仕 <1>1.7.4）
なお，屋外及び水気のある場所（弁桝内等を含む）での機器の名称・配管識別表示等については，塗装書き又は耐候性を有するカッティングシートとし，バルブの状態表示を示す表示札等については，合成樹脂製又はアクリル製で文字等がシルク印刷又はエッチング加工されたものとする。
(3) 制御配線，計装配線等
・使用する電線及びケーブルは，標仕<4>1.5.1 表4.1.11による他，製造者の標準仕様による。なお，EM電線，EMケーブルを選択するよう努める。

3章　空調和設備・換気設備

1. 設計用温湿度条件

		外気条件		室内（調整目標値）			
				一般系統			
		温度（DB）	湿度（WB）	温度（DB）	湿度（WB）	温度（DB）	湿度（WB）
夏季	9:00	℃	%	28.0℃	50%	℃	%
	12:00	℃	%				
	14:00	℃	%				
	16:00	℃	%				
冬季		℃	%	19.0℃	40%	℃	%

2. 配管勾配

ドレン管の横走り管の勾配は，原則として1/100とする。

3. 弁類

(1) 図面に記載なき弁類は，JIS-5Kとする。
(2) ファンコイルユニットと冷温水管の接続部（往，還）には，ボール弁を取付ける。また，ファンコイルユニットには，（ ・ 流量調整弁　・ 定流量弁 ）を設ける。

4. 計器その他

(1) 温度計
・標準図による他，図示した箇所及び次の箇所に取付ける。
空気調和機，全熱交換器廻りの還気ダクト，外気ダクト及び給気ダクト
・機器付属以外の温度計は（ ・ バイメタル式温度計　・ ガード付きL形温度計 ）とする。
(2) 瞬間流量計
・形状はピトー管方式（止水コック付）（固定式）とする。
・次の箇所，若しくは図示の箇所に取り付ける。
（ ・ 冷凍機類の冷水出口　・ 冷凍機類の冷却水出口　・ ボイラー又は熱交換器の温水出口
・ 冷温水ヘッダーの各送り管　・ ユニット形空気調和機の冷温水入口 ）
(3) 圧力計
標準図によるほか図示した箇所に取付ける。

5. ダクト・制気口・ダンパー

(1) ダクト
・ダクトの区分（ ・ 低圧ダクト　・ 高圧1ダクト（範囲は図示）　・ 高圧2ダクト（範囲は図示））
・長辺の長さ1,500mm以下の長方形低圧ダクトの工法
（ ・ コーナーボルト工法（ ・ 共板フランジ工法　・ スライドオンフランジ工法 ）　・ アングルフランジ工法
上記以外の長方形ダクト及び厨房排気ダクトは，アングルフランジ工法とする。
・厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」を適用する。
・ダクトの防火区画貫通部は標準図［施工42］ダクトの防火区画貫通部施工要領による。
(2) 吹出口・吸込口
・ボックス　（ ・ 亜鉛鉄板製　・ グラスウール製 ）とする。
(3) ダンパー
・防煙ダンパーの復帰方式　（ ・ 遠隔復帰式（定格入力DC24V）　・ 手元式 ）
(4) チャンバー等
・線状吹出口には（長さ＋100mm）×幅300mm×高さ300mmの接続チャンバーを設ける。
・シーリングディフューザーの接続は，標準図［施工47］吹出口及び吸込口ボックスの例 による。施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。
・外壁に面するガラリにチャンバー等を設ける場合は，雨水等の滞留のないように施工する。
・吹出口接続チャンバーには消音内貼りをすること。
・内貼りを施すチャンバーの表示寸法は，外形寸法とする。
・吹出口接続チャンバー以外の内貼りしたチャンバーには点検口を取付ける。点検口の大きさは，図面に記載なき場合，原則として400mm×600mmとする。
(5) ウェザーカバー
・材質（ ⊙ ステンレス製　・　）　・塗装（ ⊙ 指定色塗装　・ 耐重塩害仕様 ）
・付属品（ ⊙ 網　・ 防火ダンパー（図示による）　⊙ 別図による ）
(6) ベントキャップ
・材質（ ⊙ ステンレス製　・　）　・形状（ ・ 深形　⊙ 丸形防風板覆い付 ）
・塗装（ ⊙ 指定色塗装　・ 耐重塩害仕様指定色塗装 ）
・付属品（ ⊙ 水切り　・ ガラリ　⊙ 網　・ 防火ダンパー（図示による）　⊙ 別図による ）
(7) グリス除去装置
・ グリスエクストラクター　・ グリスフィルター
(8) 定風量・変風量ユニット
・ メカニカル形　・ 風速センサー形

6. 冷温水管等の空気抜き

(1) 空気溜まりを生ずると思われる配管箇所には，必要に応じて操作の容易な位置にエア抜弁装置（ ・ 手動　・ 自動 ）を設ける。
(2) 自動エア抜弁装置は，標準図［施工38］蒸気及び冷温水管の配管要領-(g)自動エア抜弁装置 による。
(3) 機械室の手動式空気抜き配管で，図面記載のない場合の保温範囲は原則として分岐部より2mとする。

7. 冷却塔

標準型，低騒音型，超低騒音型の規定は，日本冷却塔工業会の騒音基準値による。

8. 水質基準

空調用流体の水質基準については，日本冷凍空調工業会（冷凍空調機器水質ガイドライン）による。

9. パッケージ形空気調和機（マルチ形，ルームエアコン，ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機を含む）

(1) 冷媒管口径，電気配線サイズは製造者の標準仕様とする。
(2) 屋内機，屋外機間の電気配線（アース共）は冷媒管と共巻きとする。
(3) 冷媒はオゾン層破壊係数ゼロのものとする。
(4) 補助電気ヒーター又は加湿器を組込む場合は，送風機とインターロックする。
(5) 屋外機の防振措置は，図示による。

4章　排煙設備

1. ダクト・排煙口

(1) ダクトの材質
・ 亜鉛鉄板製　・ 鋼板製（厚1.6mm）
(2) 排煙口の種類
・ パネル形（ ・ 天井取付　・ 壁取付 ）　・ スリット形（ ・ 天井取付　・ 壁取付 ）
・ ダンパー形（ ・ 天井内取付 ）
(3) 排煙口開放及び復帰方式
・ 手動及び電気式（ 遠隔操作　・ 要　・ 不要 ）　・ 手動式
(4) 配線
排煙口から手動開放装置への配線は，標仕<4>1.5.1 表4.1.11による耐熱・耐火ケーブルとする。
(5) 排煙風量測定
建築設備定期検査業務基準書2016年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準じる。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	機械設備工事特記仕様書2		
縮　尺	NON	図面番号	2-4-3-M2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

空調・換気機器表

記号	機器名	仕様	台数	電気容量	設置場所
ACP 1	パッケージエアコン	天井吊形　Ｐ２８０型　１０馬力相当　冷媒Ｒ３２	３台	３φ２００Ｖ	２階電気室
	（空冷ヒートポンプ式）	冷房能力２５．０ｋＷ・暖房能力２８．０ｋＷ		(冷房)9.00kW	
		ワイヤードリモコン・ドレンポンプ・防振架台・その他附属品１式共		(暖房)8.79kW	
		コンクリート基礎（建築工事）			
		参考品番：ＲＣＳＡ２８０１３ＭＵＢ相当品（東芝）			
EF 1	壁付換気扇	有圧換気扇　低騒音形ステンレスタイプ　排気専用	２台	３φ２００Ｖ	２階電気室
		風量６０００m3／ｈｘ７０Ｐａｘ６Ｐ・羽根径５００φ		２９８Ｗ	
		不燃枠・電動シャッター付ウェザーカバー（ＳＵＳ製・防虫網付）			
		温度スイッチ（露出形）ｘ１個・その他附属品１式共			
		参考品番：ＥＧ－５０ＥＴＸＣ2相当品（三菱電機）			
EF 2	壁付換気扇	有圧換気扇　低騒音形ステンレスタイプ　排気専用	１台	３φ２００Ｖ	１階ポンプ室
		風量４５００m3／ｈｘ１１０Ｐａｘ６Ｐ・羽根径５００φ		２９８Ｗ	
		不燃枠・電動シャッター付ウェザーカバー（ＳＵＳ製・防虫網付）			
		温度スイッチ（露出形）・その他附属品１式共			
		参考品番：ＥＧ－５０ＥＴＸＣ2相当品（三菱電機）			
EF 3	壁付換気扇	有圧換気扇　低騒音形ステンレスタイプ　排気専用	１台	３φ２００Ｖ	２階発電機室
		風量１０００m3／ｈｘ３０Ｐａｘ４Ｐ・羽根径２５０φ		４２Ｗ	
		不燃枠・電動シャッター付ウェザーカバー（ＳＵＳ製・防虫網付）			
		温度スイッチ（露出形）・その他附属品１式共			
		参考品番：ＥＦ－２５ＡＴＸＣ2相当品（三菱電機）			
OF 1	壁付換気扇	有圧換気扇　低騒音形ステンレスタイプ　給気専用	２台	３φ２００Ｖ	２階電気室
		風量６０００m3／ｈｘ５０Ｐａｘ６Ｐ・羽根径５００φ		３３５Ｗ	
		不燃枠・電動シャッター付ウェザーカバー（ＳＵＳ製・防虫網付）			
		温度スイッチ（露出形）ｘ１個・その他附属品１式共			
		参考品番：ＥＧ－５０ＥＴＸＣ2－Ｑ相当品（三菱電機）			
OF 2	壁付換気扇	有圧換気扇　低騒音形ステンレスタイプ　給気専用	１台	３φ２００Ｖ	１階ポンプ室
		風量４５００m3／ｈｘ９０Ｐａｘ６Ｐ・羽根径５００φ		３３５Ｗ	
		不燃枠・電動シャッター付ウェザーカバー（ＳＵＳ製・防虫網付）			
		温度スイッチ（露出形）ｘ１個・その他附属品１式共			
		参考品番：ＥＧ－５０ＥＴＸＣ2－Ｑ相当品（三菱電機）			

（注記）

１．機器能力については、ＪＩＳ条件に基づく能力とする。
２．表記電気容量は参考値とする。
３．防露保温仕様は、屋外露出部は樹脂製化粧ケース施工とする。
４．パッケージ形空気調和機及びハウジングエアコンの屋外機への電源送りは
　別途電気工事とし、屋外機・屋内機間の渡り配線工事＜電源線・操作線＞は
　本工事（渡り配線は冷媒管に共巻き）とする。
５．露出する支持金物は全てステンレス製とする。
６．フードは水切タイプとし、全て指定色焼付塗装とする。

冷媒配管リスト表

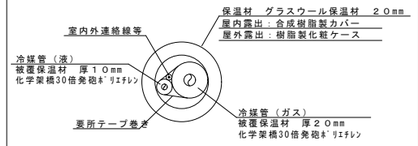
記号	液管	ガス管	室内外渡り配線
Ⓐ	９．５φ	１５．９φ	ＥＭ－ＣＥＥＳ2ｍｍ^u2－３Ｃ
◯			
◯			

（注記）

１．冷媒配管サイズ及び渡り配線・操作回路配線は
　機器メーカー仕様により決定のこと。
２．１次側電源配線及び配管は電気工事とする。
　尚、リモコンスイッチ取付、配線は空調工事とする。

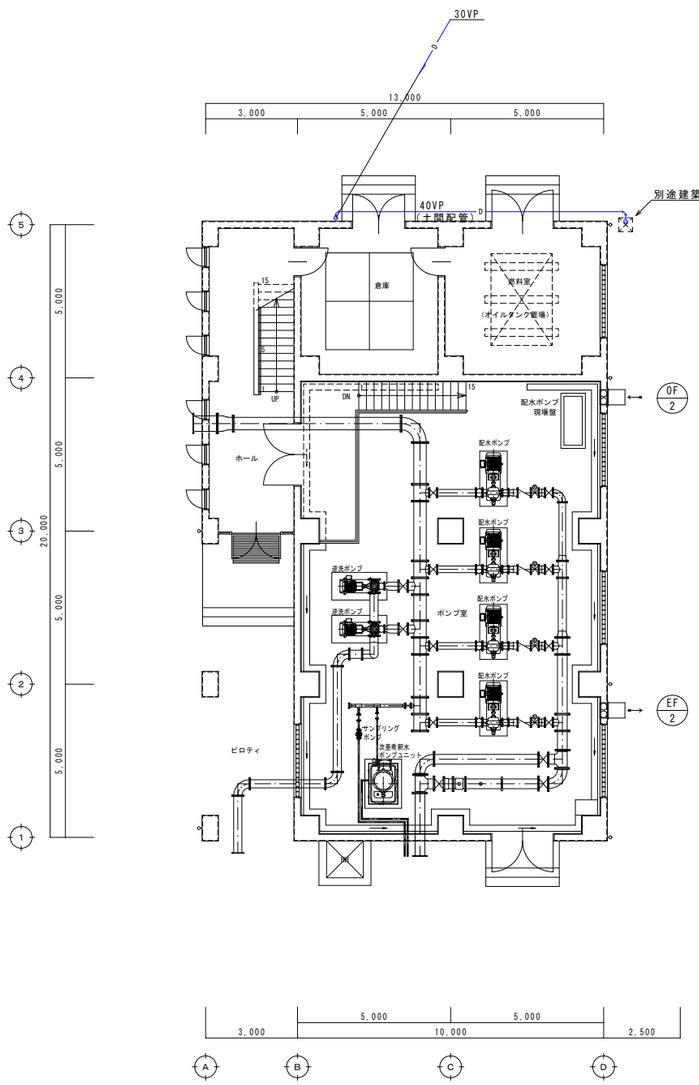
エアコン制御配線要領

リモコンケーブル　―・―//―・―　ＥＭ－ＣＥＥＳ１．２５ｍｍ^u2－２Ｃ
リモコンスイッチ本体（取付共）及び配線は空調工事
リモコンスイッチ取付位置は現場合わせとする。

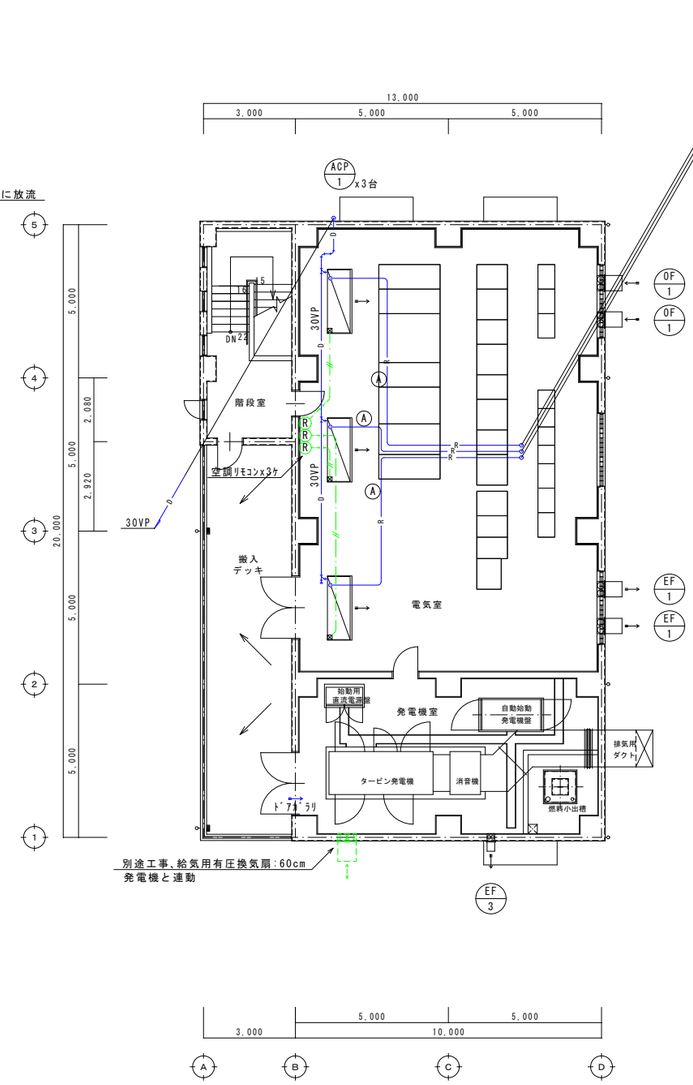


冷媒管　被覆　要領図

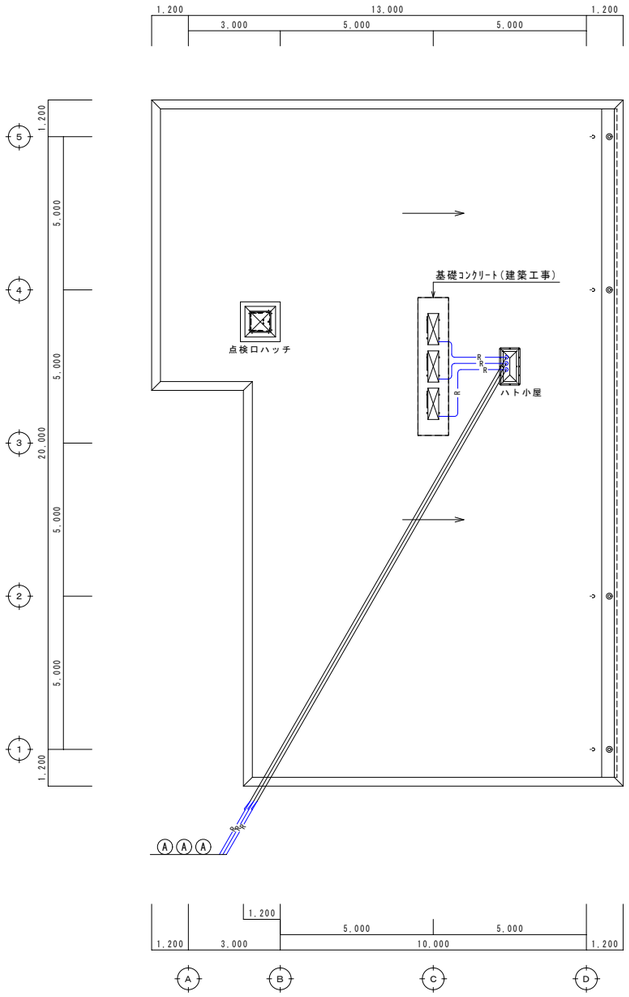
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	空調・換気機器表		
縮尺	NON	図面番号	2-4-3-M3
藍　住　町　上　下　水　道　課			



1階平面図



2階平面図



屋根伏図

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	空調・換気設備図		
縮　尺	1/100	図面番号	2-4-3-M4
藍　住　町　上　下　水　道　課			

III. 電気設備工事特記仕様書

１章　一般共通事項

1. 官公署その他への届出手続等

(1) 本工事に必要な工事用電力，水などの費用及び官公署への諸手続などの費用は本工事に含む。
官公署その他への届出手続等は（標仕<1> 1.1.3）により行う。なお，監理指針<1>1.1.3を参考とする。
・自家用電気工作物の保安規程（ ・ 本工事に関し定める　　・ 既存施設の保安規程を適用（改修・増築等））
・既存施設の保安規程を適用する場合の工事，維持，運用に関する保安業務（ ・ 本工事　　・ 別途 ）
・本受電後引渡しまでの基本料金（ ・ 本工事　　・ 別途 ）
(2) 官公署その他への届出手続等を行うにあたり，届出内容について，あらかじめ監督員に報告する。
(3) 官公署その他関係機関の検査に必要な資機材及び労務等は本工事で提供する。

2. 技能士

技能士の適用については，次の技能検定作業（以下「作業」という。）のうち，各工事毎に適用する作業を指定するものとする。
技能士は，職業能力開発促進法による一級又は二級技能士の資格を有する者とし，資格を証明する資料を監督員に提出すること。技能士は適用する工事作業中，1名以上の者が自ら作業するとともに，他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。
技能士は，氏名，検定職種，技能士番号等，県が指定した内容を記載した名札等により，資格を明示するものとする。なお，指定のない作業についてもその活用を図るよう努めることとする。

工事種目	技能検定職種	技　能　検　定　作　業
仮設	とび	・ とび作業
鉄筋	鉄筋施工	・ 鉄筋組立て作業
コンクリート	コンクリート圧送施工	・ コンクリート圧送工事作業
型枠	型枠施工	・ 型枠工事作業
鉄骨	鉄工	・ 構造物鉄工作業
防水	防水施工	・ アスファルト防水工事作業　・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業　・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業　・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業　・ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業
タイル	タイル張り	・ タイル張り作業
木	建築大工	・ 大工工事作業
屋根及びとい	建築板金	・ 内外装板金作業
	かわらぶき	・ かわらぶき作業
金属	建築板金	・ 内外装板金作業
左官	左官	・ 左官作業
建具	建具製作	・ 木製建具手加工作業　・ 木製建具機械加工作業　・ アルミ製室内建具製作作業
	サッシ施工	・ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ ガラス工事作業
塗装	塗装	・ 建築塗装作業
内装	内装仕上げ施工	・ プラスチック系床仕上げ工事作業　・ カーペット系床仕上げ工事作業 ・ 鋼製下地工事作業　・ ボード仕上げ工事作業
	表装	・ 表具作業　・ 壁装作業
配管	配管	・ 建築配管作業
植栽	造園	・ 造園工事作業
機械設備	冷凍空気調和機器施工	・ 冷凍空気調和機器施工作業

（注）表中○印の入った作業に係る技能士を本工事で活用する。

3. 他工事との工事区分

図面に記載されていない他工事との工事区分は別表「工事区分表」による。

4. 施工条件

施工条件は次による。

※施設特性を把握し，施工時における注意事項を簡潔にまとめ記載すること。
【記載例】
・別途発注の関連工事と施工上の調整を入念に実施し，現場納まり上のトラブルや工程の遅延防止等に努めること。
・工程表は，全体工程表をフォローする月間工程表，更にこれをフォローする週間工程表を定期的に作成の上，監督員・施設管理者へ提出し，承認を得ること。
・工事対象施設は，来庁者が多く，また，日常業務が継続している状態であることから，施設運営に影響を及ぼす資機材の搬入・搬出，騒音・停電・断水等を伴う工程は，原則夜間又は休日の作業となることを予め見込んでおくこと。
・施設内での行事（イベント・議会定例会等）により施工時期が制限される場合があるので，施設管理者との調整・情報共有をし，工程の遅延防止に配慮すること。
・施工時間は，原則8:30～18:00までとする。ただし，夜間又は休日作業となる工程についてはこの限りでない。
・資機材の搬入・搬出経路については別図のとおりとする。なお，図示以外の経路を必要とする場合は，施設管理者に協議し承諾を得ること。
・施設内では，別図に示す作業員動線図に基づき移動し，工事区域外への立入りには十分注意すること。
・本工事は，完成した部位毎に部分供用を開始する予定である。部分供用開始前には，発注者・受注者・施設管理者の3者立会いの下，現場及び書面の確認（簡易）を行うので，受注者は，日頃の書面整理に努めておくこと。
・現場着手前に改修範囲について入念な現地調査を行うと共に，施設管理者へのヒアリングを行い，その結果を施工計画・仮設計画・施工図等の作成に十分活用すること。

5. 発生材の処理等

発生材の処理等は，標仕<1>1.3.9「発生材の処理等」により行う。
(1) 産業廃棄物の処理
産業廃棄物の種類毎に次の処分場を指定する。

種　類	処分許可業者の会社名（処分区分）	優良	所在地 処分地	運搬距離（km）	処分費（税抜，円）	単位

（注） 表中「優良」欄に丸印の入っている業者は，「徳島県優良産業廃棄物処理業者の認定業者（以下「優良産廃廃処分業者」という。）」であることを示す。

・コンクリート・アスファルト類の搬出先については，中間処理施設のみとする。木材については，50kmの範囲内にある木材再資源化施設への搬出を原則とする。
・上記以外の許可業者の処分場で処分しても差し支えないが，増額変更の対象とはしない。また，この場合，処分単価の見積書を求め，減額変更を行うことがある。なお，上記の処分場が優良産処分業者に認定されているとき，処分場を変更する場合は，原則として優良産廃処分業者に変更すること。ただし，諸般の事情により優良産廃処分業者以外の処分場で処分を行う場合は，理由書を監督員に提出すること。
(2) 建設発生土の処理
・ 構外に搬出し適切に処理　※土壌検査を本工事で（ ・ 行う（ 箇所）　・ 行わない ）　　・ 構内敷きならし
・ 構内の指示場所（図示）に集積
なお，民間の残土処分場等へ搬出する場合は「徳島県生活環境保全条例」によること。
[最終処分場の指定] ※残土搬入前に下記処分場へ問合せ，受入れの可否について確認すること。
・処分場名：　　・所在地：
・処分単価（税抜）：　　円　　・運搬距離：　　kmを見込んでいる。

6. 養生等

(1) 本工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は，既成にならい補修する。
(2) 工事により影響の及ぼす範囲内にある重要物品は次のとおりである。受注者は，注意事項に従い適切な措置を施すこと。

備品等名称	
保管場所	
注意事項	

7. 機材の品質等

(1) 本工事に使用する材料・機材等は，設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等のものとする。ただし，同等のものを使用する場合は，あらかじめ監督員の承諾を受ける。
(2) 下表に示す材料・機材等の製造業者等は次の①から⑤の事項を満たすものとし，証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたものを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③法令等で定める許可，認可，認定又は免許を取得していること。
④製造又は施工の実績があり，その信頼性があること。
⑤販売，保守等の営業体制を整えていること。

品　目	機　材　名　・　注　記
LED照明器具	一般屋内用に限る
盤類	分電盤（OA盤・実験盤を含む），制御盤，キュービクル式配電盤 高圧スイッチギヤ（CW形，PW形）
高圧機器	高圧交流遮断器，高圧進相コンデンサ，高圧限流ヒューズ，高圧負荷開閉器 高圧変圧器（特定機器），高圧避雷器
蓄電池	ベント形据置鉛蓄電池，制御弁式据置鉛蓄電池，据置ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池 シール形ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池
交流無停電電源装置	常時インバータ給電方式（定格出力300kVA以下のもの），ラインインタラクティブ方式
	常時商用給電方式，常時インバータ給電方式（簡易型）
太陽光発電装置	パワーコンディショナ及び系統連系保護装置 ※系統連系保護機能を有するパワーコンディショナを含み， 太陽電池アレイ及び接続箱を除く。
監視カメラ装置	
中央監視制御装置	簡易形監視制御装置，監視制御装置

(3) 機器類は，図示する形状又は配管などの取出し位置等により，特定製造者の特定の製品を指定若しくは限定しない。
(4) 機材の検査に伴う試験については，標仕 <1>1.4.5により行う。また，製造者において試験方法を定めている項目については，試験要領書を提出する。

8. 施工調査

(1) 工事の着手に先立ち，実施工程表及び施工計画書等作成のための必要な調査・打合せを行うこと。
(2) 工事の施工に先立ち，工事関連部分の事前調査（支障物件の調査・確認を含む）及び工事関係者（施設管理者・電気主任技術者・関係官公庁等）との事前打合せを実施し，その結果を監督員に報告する。

２章　共通工事・関連工事

1. 耐震施工　（参考図書：建築築設備耐震設計・施工指針（2014年版））

(1) 設備機器の固定は，施設の分類並びに機器の種別，重要度及び設置階に応じて，次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し，移動，転倒，破損等が生じないようにする。
なお，施工に先立ち，耐震計算書を監督員に提出し，承諾を受けるものとする。
・設計用水平地震力
機器の重量（kN）に，地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお，設計用標準水平震度は，特記なき場合は下表による。
・設計用鉛直地震力
設計水平地震力の1/2とし，水平地震力と同時に働くものとする。
・施設の分類，地域係数
・施設の分類（ ・ 特定の施設　　・ 一般の施設 ）　・地域係数（ ・ 1.0　　・ 0.9 ）
・重要機器
・ 配電盤　　・ 防災用発電装置　　・ 直流電源装置　　・ 交流無停電電源装置　　・ 交換機
・ 火災報知受信機　　・ 中央監視制御装置　　・ 構内情報通信網装置　　・

設計用標準水平震度		特定の施設		一般の施設	
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階，屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中層階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

（注） ・上層階の定義は次のとおりとする。
2～6階の場合は最上階，7～9階の場合は上層2階，10～12階建の場合は上層3階，13階以上の場合は上層4階
・水槽類にはオイルタンク等を含む。
(2) 質量100kg以下の軽量な機器（標仕の適用を受けるものは除く）の取付については，機器製造者の指定する方法で確実に取付けを行うものとし，特に計算を行わなくともよい。
(3) 横引き配管等の耐震支持は，施設の分類に応じたものとする。

2. あと施工アンカー

あと施工アンカーボルトの選定については，次による。
(1) 機器類の固定には，金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーを使用し，重要機器及び次の機器については，施工後確認試験を行う。
（ ・　　・　　・　　）
・試験方法　　引張試験機による引張試験とし，確認強度まであと施工アンカーを引張るものとする。
・試験箇所数　1ロットに対し3本とし，ロットから無作為に抜き取る。
(2) 配管の吊り及び支持材の固定には，その自重に十分耐えうるアンカーを使用する。なお，耐震支持に使用する躯体取付用のアンカーは金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーとする。
(3) 屋外に使用するものはステンレス製又はJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定するHDZT49以上の溶融亜鉛めっきを施したものとする。

3. 非破壊検査

(1) はつり，穴開け及びあと施工アンカー等の施工に当たり，埋設物の事前調査を行い，監督員に報告すること。
(2) 施工場所を鉄筋探査機により探査し，鉄筋，配管類の位置に墨出しを行う。なお，探査の結果，放射線透過検査を必要とする場合については，監督員と協議の上，適切に対応するものとする。

4. 風圧力及び積雪荷重の適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には，次の条件を用いる。
・風圧力　風速Vo＝（ ・ 36 ・ 38 ）m/s　　・積雪荷重　平成12年建設省告示1455号における区域　別表（三十五）

5. 各種荷重計算

・ 避雷針支持管　　・ テレビアンテナマスト　　・ 風力発電装置　　・ 太陽電池アレイ　　・

6. 強度計算

・ ブロックマンホール及びハンドホール　　・ 自家発電装置配管類支持材　　・ ケーブルラック支持材
・ 垂直ケーブルの最終端支持材　　・ 照明用ポール　　・

7. コンクリート工事

対象物：※コンクリート工事の対象となる基礎等を明示すること。
・ 強度試験（ ・ 第三者機関　・ JIS工場 ）　　・ 構造体強度補正値(S)による補正　　・ 調合表提出
・ アルカリ骨材反応抑制対策確認　　・ 鉄筋材料の規格品証明書提出
（注） 強度試験の立会について，試験を第三者機関で行う場合は，現場代理人又は主任(監理)技術者が，JIS工場の場合は，立会者を定め，監督員の承認を受け，行うものとする。

8. 仮設工事

(1) 工事用電力，用水については，原則として次による。ただし，施設管理者と協議すること。
・既存電力利用（ ・ できる　・ できない ），電力料金（ ・ 有償　・ 無償 ）
・既存用水利用（ ・ できる　・ できない ），用水料金（ ・ 有償　・ 無償 ）
(2) 工事車両用の駐車場，資材置場及び現場事務所用地については，次による。ただし，施設管理者と協議すること。
・同用地は，（ ・ 図示の場所に　　・ 用意していないので業者にて ）設けること。
・同用地に対する借地借家料を（　　）円見込んでいる。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	電気設備工事特記仕様書1		
縮　尺	NON	図面番号	2-4-4-E1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

(3) 交通誘導警備員の配置
交通誘導警備員については，警備業法に基づく警備員とし，図示する場所に　　日間配置すること。
・警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が（ ・ 義務付けられている　 ・ 義務付けられていない ）。
・警備員は，延べ（　 ）人（昼（　 ）人，夜（　 ）人：うち検定合格警備員（　 ）人）を見込んでいる。
・警備業法を遵守するとともに，受注者は，交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。
・配置された検定合格警備員は，業務に従事している間は合格証明書を携帯し，かつ，監督員等の請求があるときは，これを提示すること。
・受注者は，「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し，勤務実績が確認できる資料（勤務伝票の写し）とともに，1月毎に監督員へ1部提出しなければならない。
(4) 足場その他
足場及び作業構台の類を（ ・ 本工事で設置する　 ・ 関連工事が定置するものを無償で使用できる ）。
・外部足場（種類：　 ，仕様：　 枚布，D=　 cm，シート仕様：　 ）
※足場を設置する場合は，原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」（建築標仕<2>2.2.4）の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式により行うこと。ただし，監督員の承諾を得た場合は，(3)手すり先行専用足場方式により行うことができる。
・内部足場（種類：　 ，仕様：　 枚布，D=　 cm）

9. 接地工事

接地極の材料は下表による。ただし，これによりがたい場合は，監督員と協議すること。

接地極の種類	記号	接地抵抗値	接地極の材料（寸法mm）
・ 共同接地（A・C・D種）	EA・C・D	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連－2組
・ 共同接地（A・B・C・D種）	EA・B・C・D	Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連－2組
・ A種	EA	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連－2組
・ B種	EB	Ω以下	EB（D=14又はW=40）×2連－2組
・ C種	EC	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連－2組
・ D種	ED	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
・ ELCB用	EELCB	Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
・ 雷保護用	ELA	Ω以下	・ EP－0.6×2 ・ EB(D=14又はW=40)×　連－　組
・ 高圧避雷器用	ELH	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連－2組
・ 交換機陽極用	Et	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連－1組
・ 本配線盤保安装置用	EAt	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連－2組
・ 拡声増幅器用	EDt	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
・ 各種通信機器用	EDa	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
・ 保安器用	ELt	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
・ 測定用補助	EO	－	EB（D=14又はW=30）×1

（備考） EBの長さは，D=14の場合は1,500，W=30の場合は900，W=40の場合は1,200とする。
接地極の埋設位置には，屋外灯のポール等で埋設位置が明確な場合を除いて接地極埋設標を設ける。

10. その他共通事項

(1) 配管工事
・最上階の天井配管は，原則二重天井内のいんぺい施工とし，屋上スラブへの埋め込みは行わない。（最上階が二重天井の場合に限る。）
・長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。（標仕<2>2.2.9，<2>2.12.4）
・屋外の金属製防水形プルボックスは，（ ・ ステンレス製　・ 鋼板製 ）とし，（ ・ メラミン焼付塗装　・ 溶融亜鉛めっき　・ 無塗装 ）とする。
・屋外布設の厚鋼電線管は，めっき付着量が300g/m2のものを使用し，原則塗装不要とする。
(2) 配線工事
・高圧ケーブルの種類（EM-高圧架橋ポリエチレンケーブル）は，JCS 4395「6,600V架橋ポリエチレンケーブル（3層押出型）」によるものとする。
(3) 塗装工事
・次の部分の露出する電線管，支持金物，架台等は塗装を行う。（ ・ 一般居室，廊下等　 ・　　）
・屋内，屋外及びピット内の支持金物等のうち，ステンレス製又は溶融亜鉛めっき製のものは，原則塗装不要とする。
(4) 配線器具
・図面に記載なきフラッシュプレートの材質は，（ ・ 新金属製　 ・ 樹脂製 ）とする。
(5) 支持金物等
・屋外及びピット内の支持金物等はステンレス製又は鋼材にJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定するHDZT49以上の溶融亜鉛めっきを施したものとする。
(6) 用途別表示
・盤内，幹線プルボックス内，ケーブルラック上の要所，マンホール・ハンドホール内，その他の要所には合成樹脂製，ファイバ製等の表示札等を取付け，回路の種別，行先等を表示する．（標仕 <2>2.2.10，<2>2.12.5）
なお，屋外において直接外気に触れる場所（盤内，プルボックス内を除く。）及びマンホール・ハンドホール内の表示札等はエッチングプレート等の耐候性を有するものとする．
・カバープレート及びプルボックス蓋にはシール等で用途別表示を行う。なお，屋外部分の表示はエッチングプレート等の耐候性を有するものとする。
(7) その他
・分電盤，制御盤，端子盤などの2次側以降の配線で，配線経路，電線太さ，電線本数，管径などは監督員との協議により図面表示と多少相違させてよい。
・分電盤からの予備配管として，分電盤の予備回路数（スペースを含む）に応じた配管を天井裏まで立上げる。
・改修又は増設工事等において既設配線との接続が本工事に含まれる場合は，工事着手前及び工事完了後に既設配線の絶縁抵抗を測定する。
・自家用電気工作物の保安規程に基づき，電気主任技術者による工事中の点検並びに工事完成時の検査を実施し，成績書を提出する。

3章　電灯設備

1. LED照明器具

LEDモジュールの光源色は，監督員との協議により，標準図に規定する光源色を変更できる。ただし，非常照明用及び誘導灯用を除く。

2. 非常用照明器具の照度測定

設置した各室の2箇所以上で行うものとし，詳細は監督員との協議による。

3. 照明制御の照度測定

明るさセンサにより照明制御を行う室は，照度を測定し，測定表を監督員に提出する。なお，明るさセンサの設定は，監督員の指示による。
・照度測定時期　　100%点灯時（ ・ 夜間　 ・ 昼間 ）　　調光制御点灯時（ ・ 夜間　 ・ 昼間 ）

4. 照明制御設定器

附属数（ ・ 1個　 ・　 個 ）

5. 事前確認・施工後確認

・改修前の（ ・ 照明回路　 ・　　）について，使用電力量の測定を行う。
・改修後の（ ・ 照明回路　 ・　　）について，使用電力量の測定を行う。

4章　動力設備

1. インバータ装置の規約効率

三相可変速運転用インバータ装置の規約効率は，下表の数値以上とする。

電動機出力（kW）		0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45	55	75
規約効率（%）	200V	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0		94.5		95.0	95.5	95.5					
	400V	87.0	90.5	93.5	94.0	94.5		95.0		95.0	96.0	96.5					

（備考） ・規約効率は，JEM-TR 245「汎用インバータの規約効率の算出方法」により算出した値とする。
・電動機出力0.4kWの規約効率は，JIS C 4212「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧200V・400V，6極，50Hzの電動機を駆動したときの値とする。
・電動機出力0.75kW以上の規約効率は，JIS C 4213「低圧三相かご形誘導電動機－低圧トップランナーモータ」の定格電圧200V・400V，6極，50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

5章　雷保護設備

1. 大地抵抗率の測定

工事着手前に大地抵抗率を測定し，測定表及び接地極省略判定記録書を監督員に提出すること。

6章　受変電設備

1. 受変電設備容量

総設備容量（　　）kVA

2. 変圧器

(1) 規格
・JEM 1500「特定エネルギー消費機器対応の油入変圧器における基準エネルギー消費効率」
・JEM 1501「特定エネルギー消費機器対応のモールド変圧器における基準エネルギー消費効率」
(2) ダイヤル温度計は，最高温度指針付とする。

3. その他

(1) 表示灯及び盤内照明器具はLEDとする。
(2) 400AFのMCCBには補助取手を盤毎に1個設けること。

7章　発電設備（内燃力）

1. 電気方式

・ 高圧（三相3線式 6,600V）　 ・ 低圧（三相3線式 200V）

2. 発電機容量

・発電機出力（　　）kVA　 ・原動機出力（　　）kW以上

3. 使用燃料種別

・ 軽油（備蓄量：　　L）　 ・ 灯油（備蓄量：　　L）　 ・ A重油（備蓄量：　　L）

8章　発電設備（太陽光）

1. 太陽電池アレイ

公称出力（　　）kW以上
架台は，JIS C 8955「太陽電池アレイ用支持物の設計用荷重算出法」による荷重計算書を作成し，監督員へ提出する。

2. 太陽電池の種類

・ 結晶系　 ・ 薄膜　 ・

3. パワーコンディショナの容量

（　　）kW以上

4. 系統連系方式

・ 高圧連系　 ・ 低圧連系　 ・ みなし低圧連系

9章　構内交換設備

1. 保安器用接地

・ 本工事　 ・ 別途工事

2. 電話機への配線

卓上電話機1台につき，下記のものを見込む。
・ ボタン電話機　EM-BTIEE 0.4mm-2P（ ・ 15m　 ・　 m ）
・ 内線電話機　 EM-TIEF 0.65mm-2C（ ・ 15m　 ・　 m ）
・ 多機能電話機　EM-BTIEE 0.4mm-2P（ ・ 15m　 ・　 m ）
・ 2号ワイヤプロテクタ（　 m）

10章　構内配電（通信）線路

1. 施工方法

(1) 図面に記載なき地中管路の埋設深さは，車両道路は0.6m以上，それ以外は0.3m以上とする。
(2) 地中管路に耐候性のない管材を使用する場合は，地上立上り部で耐候性のある管材に接続すること。
(3) 配管引込部の地盤変位対応種別（標準図 電力31,32）　沈下量（ ・ 0.2m以下　 ・ 0.6m以下　 ・ 1.0m以下 ）

2. マンホール・ハンドホール

(1) 蓋の記号表示は鋳型流込みによるものとし，（ ・ 電力　 ・ 電気　 ・ 通信　 ・　 ）を表示する。
(2) ハンドホール内のケーブル支持等は，マンホールに準じて行う。

3. 高圧負荷開閉器

・ 閉鎖形（耐重塩じん用）　 ・ 地絡継電器付（ ・ 方向性　 ・ 無方向性 ）
※別置制御装置までの制御ケーブルを付属すること。

4. 高圧ケーブルの屋外端末処理

・ 一般形　 ・ 耐塩形

5. 埋設標識シート

高圧及び特別高圧の地中線路の他，以下の地中線路に設ける。
・ 低圧幹線（外部からの引込み経路を含む。）　 ・ 外灯配線
・ 外部からの通信引込み経路　 ・ 建物間の通信配線　 ・ 外部通信機器の通信配線

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	電気設備工事特記仕様書2		
縮　尺	NON	図面番号	2-4-4-E2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

11章　その他

1. 機器取付高さ

次表を標準とする。ただし，天井高がFL+3,000以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は，監督員と協議する。

名　　称	測点	取付高(mm)	備　　考
【電力共通】			
積算計器	地上～窓中心	1,800～2,000	
引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200	
【電灯】			
分電盤	床上～中心	1,500	上端1,900以下とする
スイッチ	床上～中心	1,300	
コンセント（一般）	床上～中心	300	
〃　（和室）	床上～中心	150	
〃　（台上）	台上～中心	150	
〃　（土間）	床上～中心	800～1,300	
〃（車椅子用）	床上～中心	900	
ブラケット（一般）	床上～中心	2,100～2,300	
〃　（踊場）	床上～中心	2,000～2,600	
〃　（鏡上）	鏡上端～中心	150	
多機能便所スイッチ	床上～中心	1,100	
【動力】			
壁掛形制御盤	床上～中心	1,500	上端1,900以下とする
手元開閉器	床上～中心	1,500	
制御用スイッチ	床上～中心	1,300	
【構内交換・構内情報通信網】			
端子盤	床上～下端	300	
保安器箱	天井下～上端	200	
壁付アウトレット（一般）	床上～中心	300	
〃　（和室）	床上～中心	150	
【電気時計】			
壁掛形親時計	床上～中心	1,500	上端1,900以下とする
子時計	床上～中心	天井高×0.9	
【拡声】			
壁掛形スピーカ	床上～中心	天井高×0.9	
壁付アッテネータ	床上～中心	1,300	
【情報表示】			
情報表示盤	床上～中心	天井高×0.9	
壁付発信器	床上～中心	1,300	
ベル・ブザー・チャイム	床上～中心	2,300	
受付押しボタン（一般）	床上～中心	1,300	
電源箱	床上～下端	300	
【誘導支援・呼出】			
壁付インターホン（一般）	床上～中心	1,300	
〃　（外部受付）	床上～中心	標準図による	
〃　（モニタ付）	床上～中心	1,400	
〃　（カメラ付）	床上～中心	1,100～1,400	
壁付位置ボックス（一般）	床上～中心	300	
〃　（和室）	床上～中心	150	
呼出ボタン（多機能便所）		900(400)	(400)は床に転倒した場合を考慮した取付高を示す
【テレビ共同受信】			
機器収容箱	天井下～上端	200	
直列ユニット（一般）	床上～中心	300	
〃　（和室）	床上～中心	150	
【火災報知】			
受信機・副受信機	床上～中心	1500	
機器収容箱	床上～中心	800～1,500	
発信器	床上～中心	800～1,500	
警報ベル	天井下～上端	200	
表示灯	天井下～上端	200	
【ガス漏れ検知】			
ガス漏れ中継器	天井下～中心	300	
検知器（都市ガス）	天井下～下端	300	
〃　（LPガス）	床上～下端	300	

2. 配線図記号

(1) EM-EEFケーブルにて，4芯以上の配線を布設する場合，全部又は一部に4芯のものを使用しても差し支えない。
(2) 図面に明記なき配管は次のとおりとする。
　(G16)　(G22)　･･･　厚鋼電線管（JIS C 8305「鋼製電線管」によるもの）を示す。
　(16)　(22)　･･･　PF管（単層管）（JIS C 8411「合成樹脂製可とう電線管」によるもの）を示す。
　(19)　(25)　･･･　ねじなし電線管（JIS C 8305「鋼製電線管」によるもの）を示す。
(3) EM電線及びEMケーブルの表記において，「EM」が省略されている場合は，「EM」付きの表記のものに読み替える。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	電気設備工事特記仕様書3		
縮　尺	NON	図面番号	2-4-4-E3
藍　住　町　上　下　水　道　課			

電灯盤単結図

盤名称 仕様	幹線番号 幹線ｻｲｽﾞ	電気方式 主開閉器	分岐回路 回路番号	電圧	MCCB	ELCB	P	AF	AT	負荷名称	負荷容量	単位	備考
L-1		MCCB3P 50AF 40AT	A	100	－	○	2	50	20	誘導灯　－	7	VA	
○露出　－埋込			B	100	－	○	2	50	20	自火報　－	100	VA	
－自立　○壁掛			非	100	－	○	2	50	20	非常灯　－	14	VA	
○扉有　－扉無			101	100	－	○	2	50	20	電灯　ﾎﾞﾝﾌﾟ室他	708	VA	
○鍵有　－鍵無			102	100	－	○	2	50	20	電灯　電機室他	1,067	VA	
○屋内型　－屋外型			103	100	－	○	2	50	20	電灯　屋外	60	VA	
○鋼板製－SUS製－樹脂製			104	100	－	○	2	50	20	予備　－	500	VA	
○指定色　－標準色			201	100	－	○	2	50	20	ｺﾝｾﾝﾄ　ﾎﾞﾝﾌﾟ室他	600	VA	
備考			202	100	－	○	2	50	20	ｺﾝｾﾝﾄ　倉庫他	800	VA	
ED,ED(ELCB)端子付き			203	100	－	○	2	50	20	ｺﾝｾﾝﾄ　ﾛｰﾗ	200	VA	
			204	100	－	○	2	50	20	ｺﾝｾﾝﾄ　電機室	400	VA	
			205	100	－	○	2	50	20	ｺﾝｾﾝﾄ　電機室	400	VA	
			206	100	－	○	2	50	20	ｺﾝｾﾝﾄ　発電機室	800	VA	
			207	100	－	○	2	50	20	ｺﾝｾﾝﾄ　階段室	800	VA	
			208	100	－	○	2	50	20	予備　－	500	VA	
			容量合計							6,956		VA	

動力盤単結図

盤名称 仕様	幹線番号 幹線ｻｲｽﾞ	電気方式 主開閉器	分岐回路 回路番号	電圧	MCCB	ELCB	P	AF	AT	始動方式	操作制御方式	操作制御ｽｲｯﾁ	連動ｲﾝﾀｰﾛｯｸ	自家発運転時停止	現場制御盤 切替(COS)	現場制御盤 発停	現場制御盤 状態(GRO)	現場制御盤 警報	監視盤(ﾌﾞﾗﾝﾄ工事) 切替(COS)	監視盤(ﾌﾞﾗﾝﾄ工事) 発停	監視盤(ﾌﾞﾗﾝﾄ工事) 状態(GRO)	監視盤(ﾌﾞﾗﾝﾄ工事) 警報	負荷名称	負荷容量	単位	備考
M-1		MCCB3P 100AF 100AT																							
○露出　－埋込																									
－自立　○壁掛			1	200	－	○	3	30	15	L	4-1 A	Ti・Th	－	－	試-自	○	○	○	-	－	－	－	換気扇　2F 電気室	1.50	kW	
○扉有　－扉無			2	200	－	○	3	30	15	L	4-1 A	Ti・Th	－	－	試-自	○	○	○	-	－	－	－	換気扇　2F 発電機室	0.10	kW	
○鍵有　－鍵無			3	200	－	○	3	30	15	L	4-1 A	-	－	－	試-自	○	○	○	-	－	－	－	換気扇　1F ﾎﾞﾝﾌﾟ室	0.80	kW	
○屋内型　－屋外型			4																				予備　ｽﾍﾟｰｽ			
○鋼板製－SUS製－樹脂製																									
○指定色　－標準色																									
備考																									
ED,ED(ELCB)端子付き																									
			容量合計																				2.40		kW	
M-2		MCCB3P 125AF 125AT																							
○露出　－埋込																									
○自立　○壁掛			1	200	－	○	3	60	50	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	空調機　電機室	8.50	kW	
○扉有　－扉無			2	200	－	○	3	60	50	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	空調機　電機室	8.50	kW	
○鍵有　－鍵無			3	200	－	○	3	60	50	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	空調機　電機室	8.50	kW	
－屋内型　○屋外型			4																				予備　ｽﾍﾟｰｽ			
－鋼板製○SUS製－樹脂製																									
○指定色　－標準色																									
備考																									
ED,ED(ELCB)端子付き																									
			容量合計																				25.50		kW	

単位装置の記号

記　号	方　式
L	直入
4-1	試験-自動
A	注記参照
Ti	ﾀｲﾑｽｲｯﾁ
Th	温度ｽｲｯﾁ

注　記

1．制御盤の警報はﾌﾞｻﾞｰとし、停止用ﾀｲﾏｰを設ける。
2．分岐遮断器のﾄﾘｯﾌﾟはZE故障表示と同一とし、電源送りの場合は一括表示とする。
3．操作制御方式の記号に「A」が追記されたものは、ﾌﾞｻﾞｰ及び表示灯を設ける。
4．自動時に他の機器を連動させる場合は、試験運転時には連動させない。
5．全てのMCCB、及びELCBは警報ｽｲｯﾁ(AL)付きとし、一括警報に含むものとする。

照明器具姿図

A　高天井用照明器具　水銀灯３００形器具相当



光束１１０００ｌｍ、消費電力６０．３Ｗ、電圧１００～２４２Ｖ
昼白色、５０００Ｋ、Ｒａ７０、拡散タイプ、直付型
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）、電源内蔵型
本体：アルミ、パネル：ポリカーボネート（透明）、アーム：亜鉛鋼板
約５～１００％連続調光、落下防止ワイヤー付
器具本体（２ｋｇ）

パナソニック相当品番：ＮＹＭ２０２００ＬＲ９

B　ＬＥＤベースライト　４０形



一般タイプ、６９００ｌｍタイプ
消費電力４３．１Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３

公共施設型番：ＬＳＳ９－４－６５

C　ＬＥＤベースライト　４０形



一般タイプ、３２００ｌｍタイプ
消費電力２０．６Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３

公共施設型番：ＬＳＳ９－４－３０

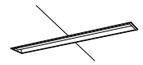
D　ＬＥＤコーナーライト　４０形



一般タイプ、６９００ｌｍタイプ
消費電力４３．１Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３

パナソニック相当品番：ＸＬＸ４６０ＷＥＮＴＬＥ９

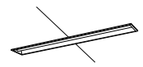
E　ＬＥＤベースライト　４０形



一般タイプ、６９００ｌｍタイプ
消費電力４３．１Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３

公共施設型番：ＬＲＳ６－４－６５

F　ＬＥＤベースライト　４０形



一般タイプ、３２００ｌｍタイプ
消費電力２０．６Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３

公共施設型番：ＬＲＳ６－４－３０

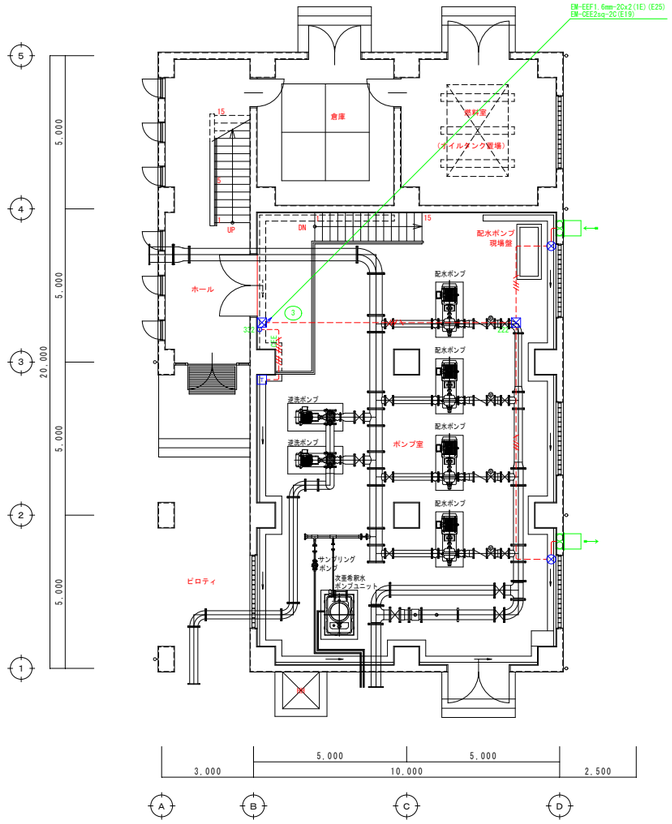
G　ＬＥＤウォールライト　２０形



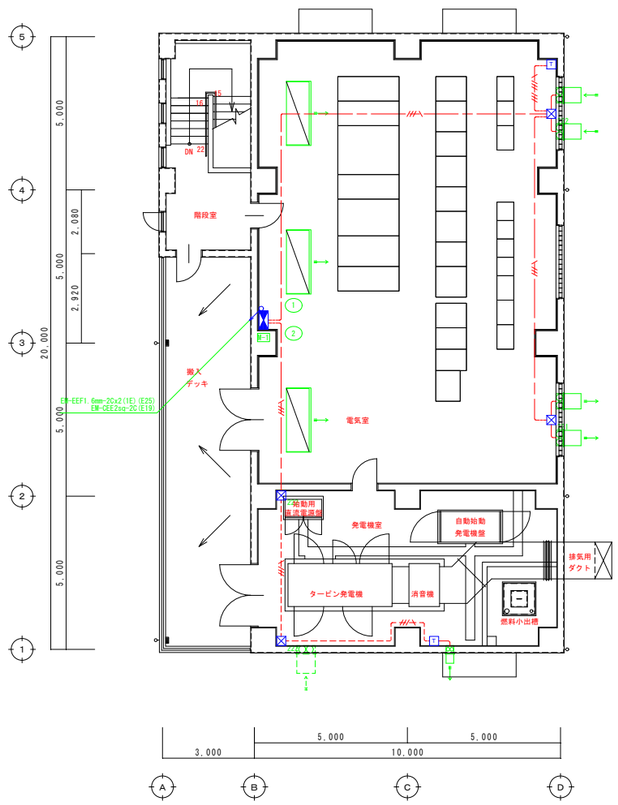
ＬＥＤ内蔵、電源ユニット内蔵
防湿型・防雨型
５０００Ｋ、Ｒａ８３、光源寿命４００００時間（光束維持率８５％）
器具光束１４８０ｌｍ、消費電力１４．９Ｗ、電圧１００～２４２Ｖ
本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白）
天井直付型・壁直付型、保護等級：ＩＰ２３

公共施設型番：ＬＢＦ３ＭＰ／ＲＰ－２－１３

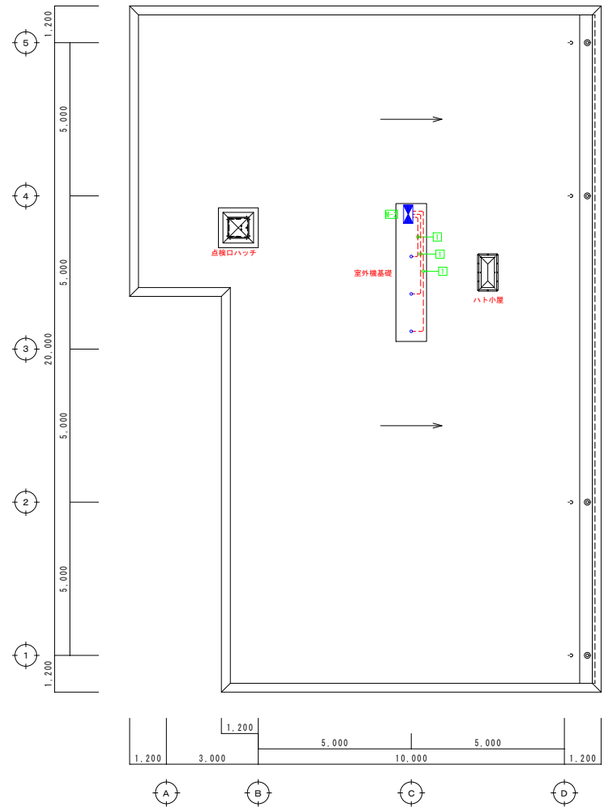
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	盤単線結線図・照明器具姿図		
縮　尺	NON	図面番号	2-4-4-E4
藍　住　町　上　下　水　道　課			



1階平面図



2階平面図



屋根伏図

注 記

1．太線は今回工事対象を示し、細線は工事対象外とする。
2．隠蔽部の配線立上げ・引下げは保護管に収容とする。
3．特記なき配管配線・器具機器は新設とする。
4．室外機への接続は金属製可撓電線管に収容とする。
5．特記なき配管配線は下記とする。

—— — —— 二重天井内配線
———— 隠ぺい配管配線
– – – – – – 露出配管配線（屋内部E管、屋外部G管）

配線記号	配線名称	隠蔽配管	露出配管
——//——	EM-EEF1.6mm-2Cx2	–	E25/G22
——//——	EM-EEF1.6mm-2Cx2+3C(1E)	–	E31/G28
——//—— CEE	EM-CEE2sq-2C	PF16	E19/G16

凡 例

記 号	名 称	仕 様
⋈	動力盤	別図 盤単線結線図 参照
T	ﾀｰﾐﾅﾙｷｬｯﾁ	3φ200V 自動・切・連続
⊗	露出丸ﾎﾞｯｸｽ	
☒	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	100x100x100

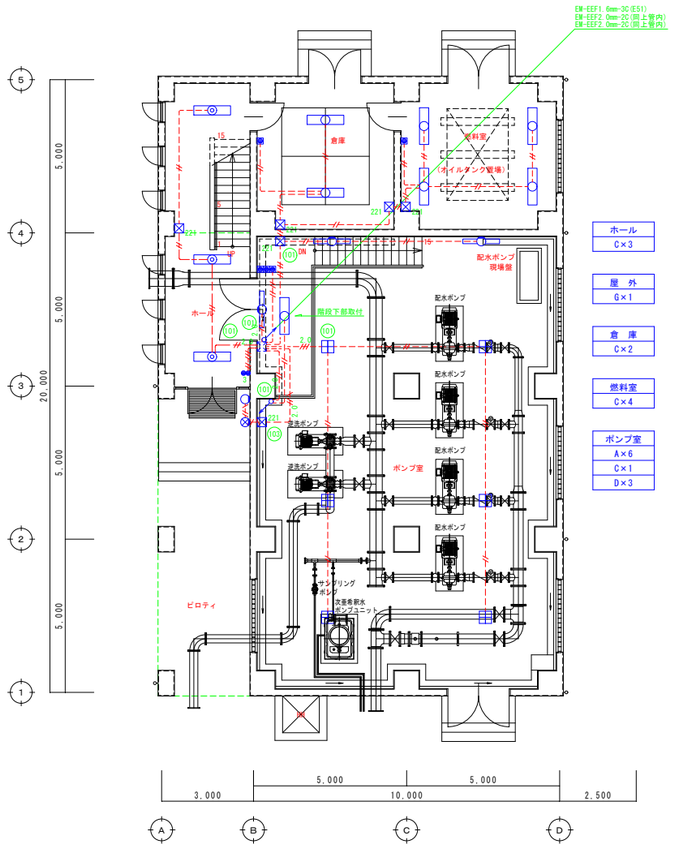
配線配管リスト

配線番号	配線	接地線	屋内配管	屋外配管	可とう管
E	EM-CET14sq	1E2.0mm2	E51	G42	F2MP 50

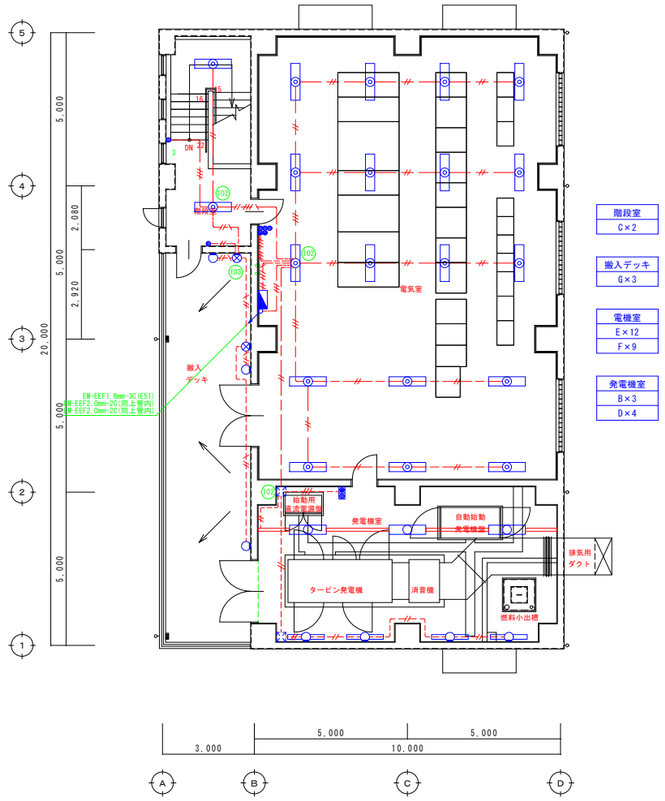
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽﾘｽﾄ

記 号	仕 様
☒ 221	200x200x100
☒ 222	200x200x200
☒ 332	300x300x200

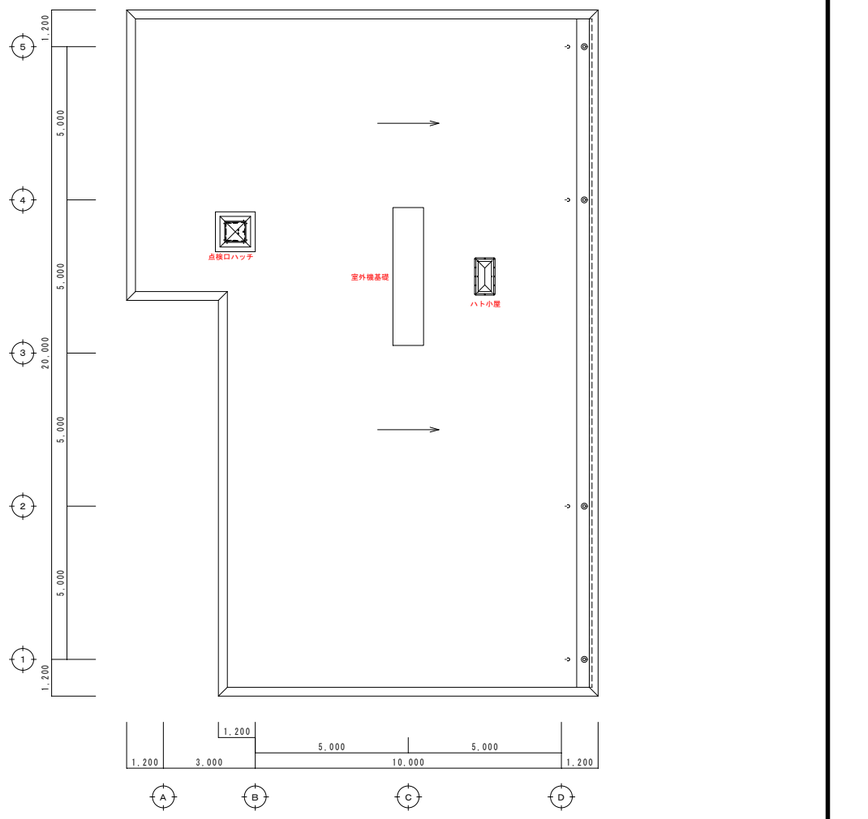
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	動力設備平面図・屋根伏図		
縮 尺	1/100	図面番号	2-4-4-E5
藍 住 町 上 下 水 道 課			



1階平面図



2階平面図



屋根伏図

注 記

1．太線は今回工事対象を示し、細線は工事対象外とする。
2．隠蔽部の配線立上げ・引下げは保護管に収容とする。
3．特記なき配管配線・器具機器は新設とする。
4．特記なき配管配線は下記とする。
― ― ― 二重天井内配線
――――― 隠ぺい配管配線
- - - - - - 露出配管配線（屋内部E管、屋外部G管）

配線記号	配線名称	隠蔽配管	露出配管
―//―	EM-EEF1 6mm-2C	PF16	E19/G16
―///―	EM-EEF1 6mm-3C	PF16	E19/G16
―//―2x2	EM-EEF1 6mm-2Cx2	PF22	E25/G22
―//―2C+3C	EM-EEF1 6mm-2C+3C	PF22	E25/G22
―///―3x2	EM-EEF1 6mm-3Cx2	PF22	E25/G22
―//―(1E)	EM-EEF1 6mm-3C(1E)	PF16	E19/G16
―//―(1E)2	EM-EEF1 6mm-3Cx2(1E)	PF22	E25/G22
―//―2.0	EM-EEF2 0mm-3C(1E)	PF16	E19/G16

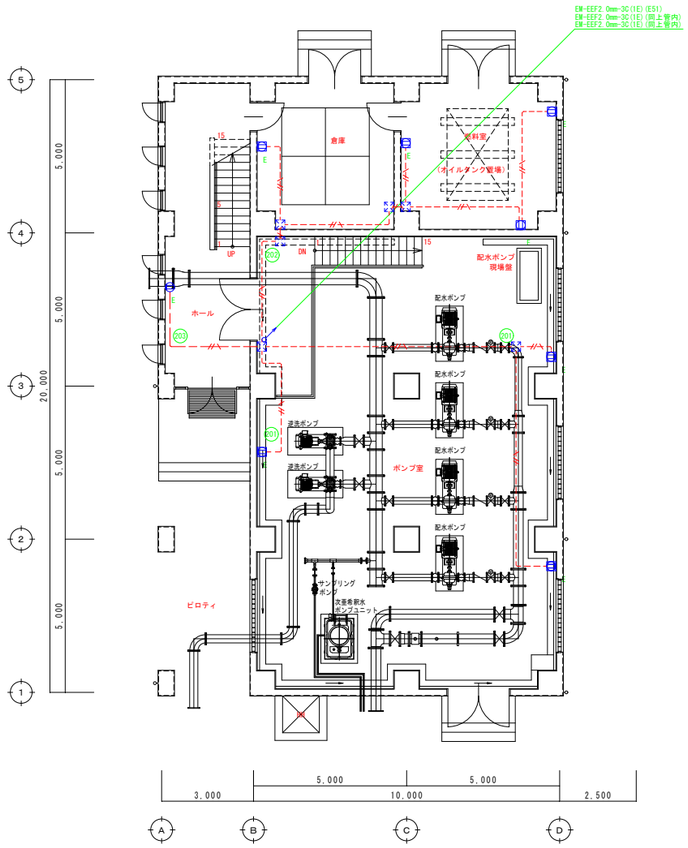
凡 例

記 号	名 称	仕 様
	電灯盤	別図 盤単線結線図 参照
	LEDﾍﾞｰｽﾗｲﾄ天井埋込形	別図 照明器具姿図 参照
	LEDﾍﾞｰｽﾗｲﾄ天井露出形	別図 照明器具姿図 参照
	LEDﾍﾞｰｽﾗｲﾄ壁付露出形	別図 照明器具姿図 参照
	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	別図 照明器具姿図 参照
	LED投光器	別図 照明器具姿図 参照
	埋込ｽｲｯﾁ	1P15Ax1
3	埋込ｽｲｯﾁ	3W15Ax1
	埋込ｽｲｯﾁ	1P15Ax1 露出ﾎﾞｯｸｽ共
	露出丸ﾎﾞｯｸｽ	
	ﾌﾞｽﾎﾞｯｸｽ	ﾌﾞｽﾎﾞｯｸｽﾘｽﾄ 参照
	ﾌﾞｽﾎﾞｯｸｽ	共用
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ	2線式 15A

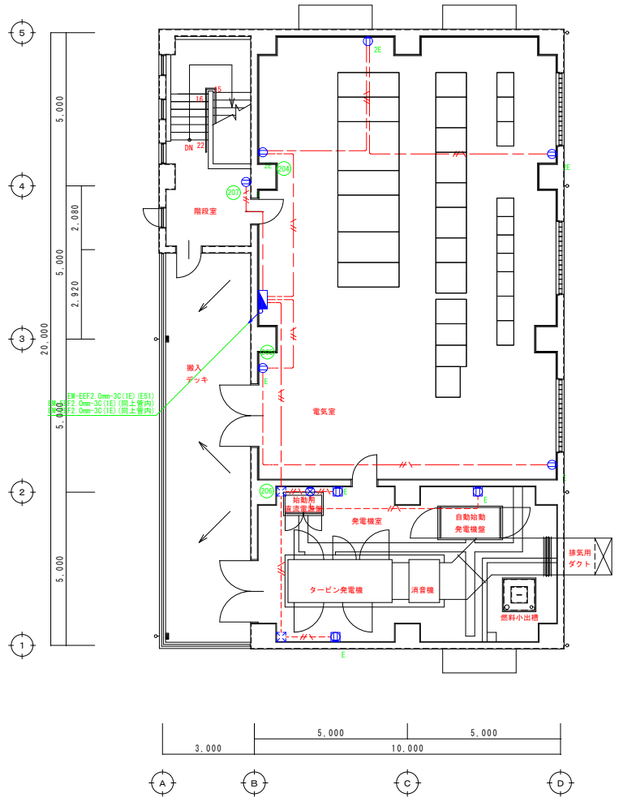
ﾌﾞｽﾎﾞｯｸｽﾘｽﾄ

記 号	仕 様
221	200x200x100

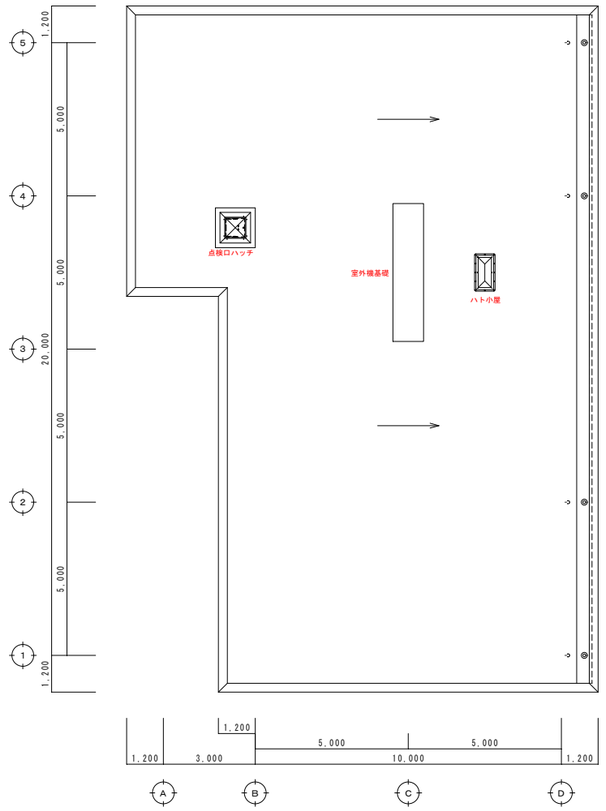
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	電灯設備平面図・屋根伏図		
縮 尺	1/100	図面番号	2-4-4-E6
藍 住 町 上 下 水 道 課			



1階平面図



2階平面図



屋根伏図

注 記

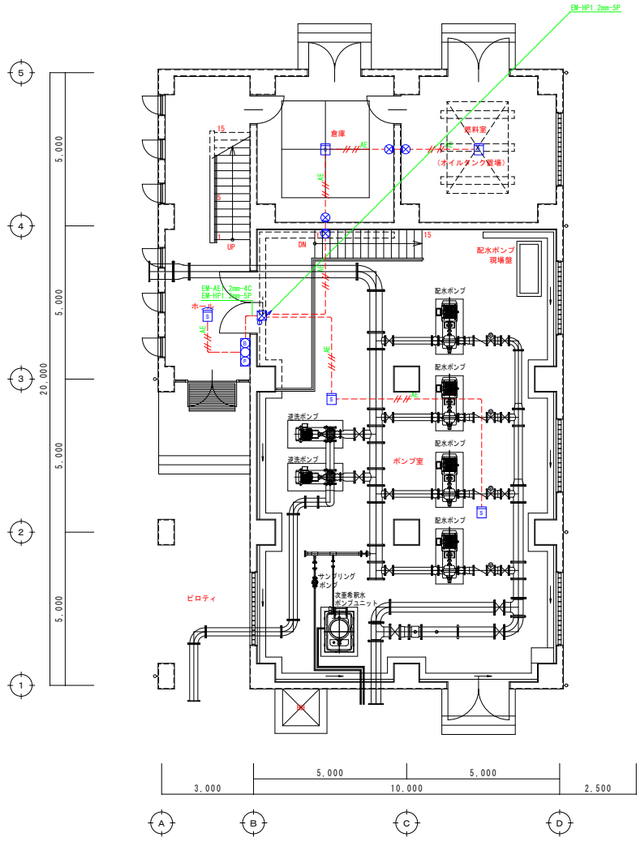
1．太線は今回工事対象を示し、細線は工事対象外とする。
2．隠蔽部の配線立上げ・引下げは保護管に収容とする。
3．特記なき配管配線・器具機器は新設とする。
4．特記なき配管配線は下記とする。
―― ―― 二重天井内配線
―――― 隠ぺい配管配線
- - - - - - 露出配管配線（屋内部E管、屋外部G管）

配線記号	配線名称	隠蔽配管	露出配管
―//―	EM-EEF2.0mm-3C(1E)	PF16	E19/G16

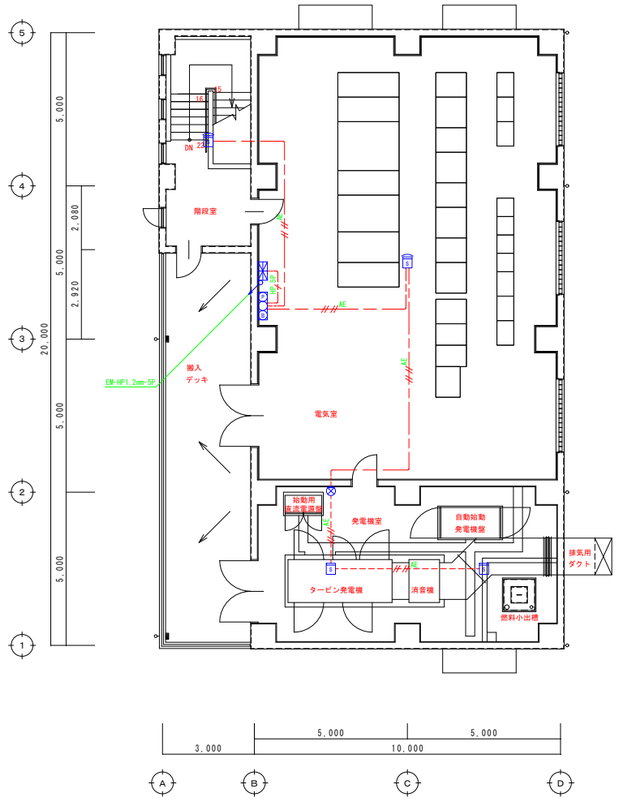
凡 例

記 号	名 称	仕 様
	電灯盤	別図 盤単線結線図 参照
1E	ｺﾝｾﾝﾄ 壁付埋込形	2P15Ax1E
2E	ｺﾝｾﾝﾄ 壁付埋込形	2P15Ax2E
1E	ｺﾝｾﾝﾄ 壁付埋込形	2P15Ax1E 露出ﾎﾞｯｸｽ共
	露出丸ﾎﾞｯｸｽ	
	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	共用

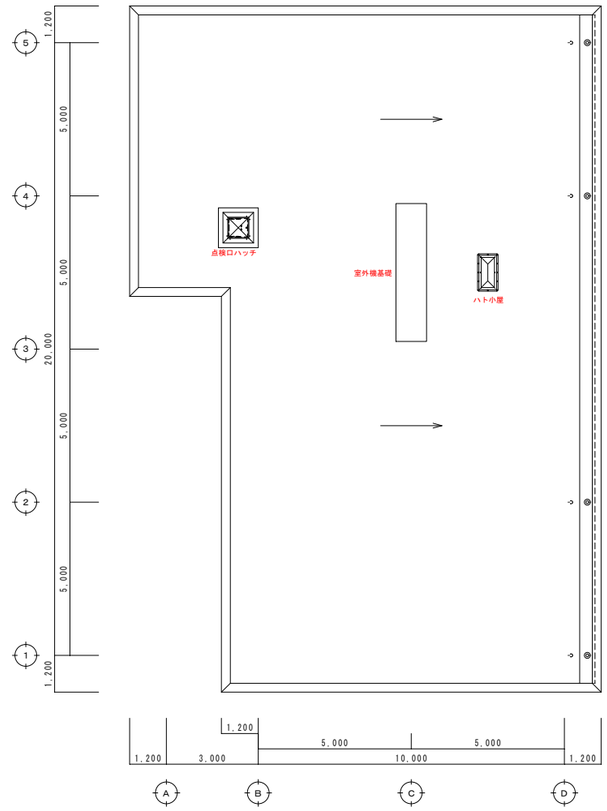
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	コンセント設備平面図・屋根伏図		
縮 尺	1/100	図面番号	2-4-4-E7
藍 住 町 上 下 水 道 課			



1階平面図



2階平面図



屋根伏図

注　記

1．太線は今回工事対象を示し、細線は工事対象外とする。
2．隠蔽部の配線立上げ・引下げは保護管に収容とする。
3．特記なき配管配線・器具機器は新設とする。
4．特記なき配管配線は下配とする。
―― ― ―― 二重天井内配線
- - - - - - 露出配管配線（屋内部E管、屋外部G管）

配線記号	配線名称	隠蔽配管	露出配管
AE	EM-AE1.2mm-4C	PF16	E19/G16
HP 5P	EM-HP1.2mm-4C	PF16	E19/G16

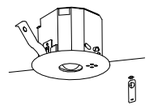
凡　例

記　号	名　　称	仕　　様
	受信機P型1級	5回線
	総合盤	発信機・表示灯・警報ﾍﾞﾙ組込
煙	煙感知器 2種露出形	
煙	煙感知器 2種埋込形	
	露出丸ﾎﾞｯｸｽ	
	ﾌﾞﾙﾎﾞｯｸｽ	ﾌﾞﾙﾎﾞｯｸｽﾘｽﾄ 参照

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	自動火災報知設備平面図・屋根伏図		
縮　尺	1/100	図面番号	2-4-4-E8
藍　住　町　上　下　水　道　課			

防災照明器具姿図

a　ＬＥＤ非常灯専用型リモコン自己点検機能付

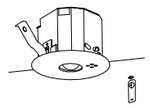


保守率：０．９２　　Ｋ０１４３７８０

器具取付高さ		2.1m	2.5m	2.7m	3.0m	4.0m
単体配置	Ａ１	4.2	4.7	4.8	4.9	3.3
直線配置	Ａ２	9.3	10.6	11.1	11.9	12.9
四角配置	Ａ４	7.4	8.4	8.9	9.6	11.7

公共施設型番：Ｋ１－ＬＲＳ１１－２

b　ＬＥＤ非常灯専用型リモコン自己点検機能付

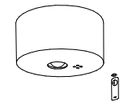


保守率：０．９２　　Ｋ０１４３７７５

器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	3.5m	5.0m	6.0m
単体配置	Ａ１	5.4	5.9	6.3	6.9	7.4	8.7	6.4
直線配置	Ａ２	11.3	12.7	13.5	15.2	17.0	21.0	22.8
四角配置	Ａ４	8.5	9.6	10.2	11.6	13.2	17.2	19.4

公共施設型番：Ｋ１－ＬＲＳ１１－３

c　ＬＥＤ非常灯専用型リモコン自己点検機能付



保守率：０．９２　　Ｋ０１４３７７５

器具取付高さ		2.2m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	4.5m	6.0m
単体配置	Ａ１	5.6	5.9	6.3	6.9	7.9	8.3	6.4
直線配置	Ａ２	11.8	12.7	13.5	15.2	18.6	19.9	22.8
四角配置	Ａ４	8.5	9.6	10.2	11.6	14.6	16.0	19.4

公共施設型番：Ｋ１－ＬＳＳ１１－３

d　ＬＥＤ非常灯専用型リモコン自己点検機能付



保守率：０．９２　　Ｋ０１４３７７７

器具取付高さ		5.0m	6.0m	7.0m	8.0m	9.0m	10.0m
単体配置	Ａ１	6.5	7.4	8.1	8.4	8.5	4.0
直線配置	Ａ２	14.2	16.3	18.1	19.9	21.5	21.2
四角配置	Ａ４	11.2	12.8	14.3	15.7	17.1	18.4

パナソニック相当品番：ＮＮＦＢ９３００７Ｃ

e　ＬＥＤ　Ｃ級　避難口誘導灯片面型



ＬＥＤ誘導灯コンパクトスクエア
Ｃ級　片面型
壁・天井直付型
一般型（２０分間）
ニッケル水素蓄電池
リモコン自己点検機能付
型式認定番号：１ＡＳ１１１－３６１８

公共施設型番：ＳＨ１－ＦＢＦ２０－Ｃ

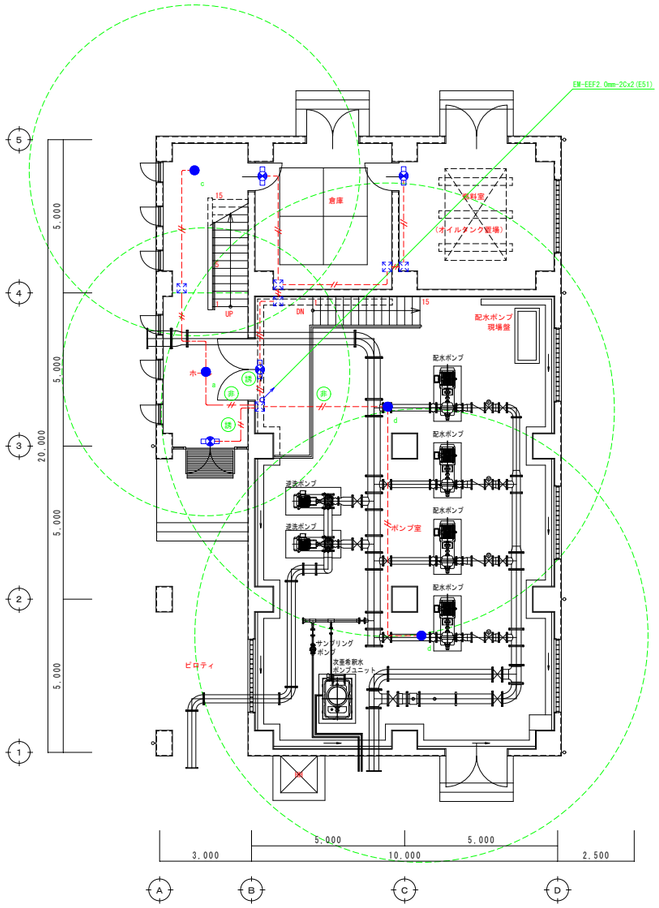
f　ＬＥＤ　Ｃ級　通路誘導灯片面型



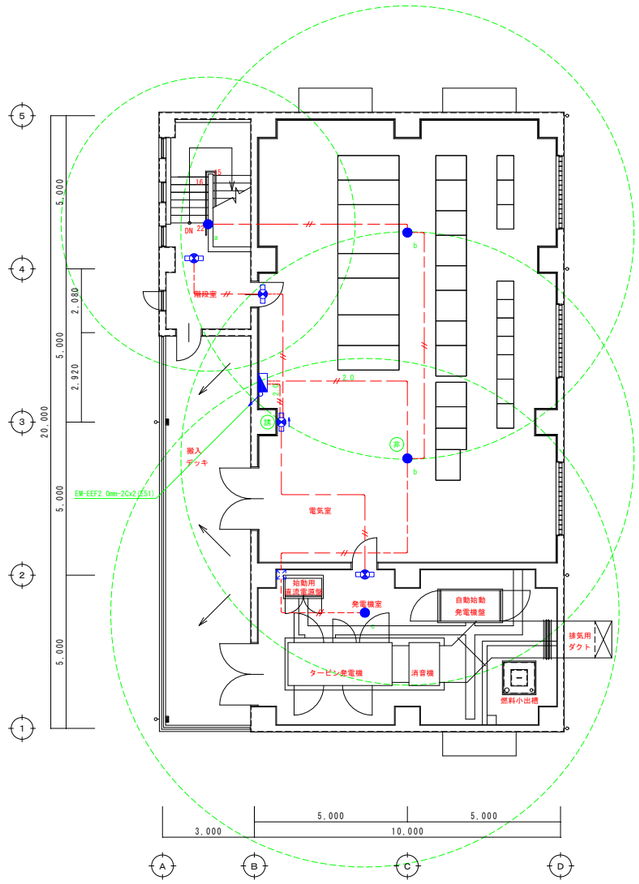
ＬＥＤ誘導灯コンパクトスクエア
Ｃ級　片面型
壁・天井直付型
一般型（２０分間）
ニッケル水素蓄電池
リモコン自己点検機能付
型式認定番号：１ＡＳ１１１－３６１８

公共施設型番：ＳＨ１－ＦＢＦ２２－Ｃ

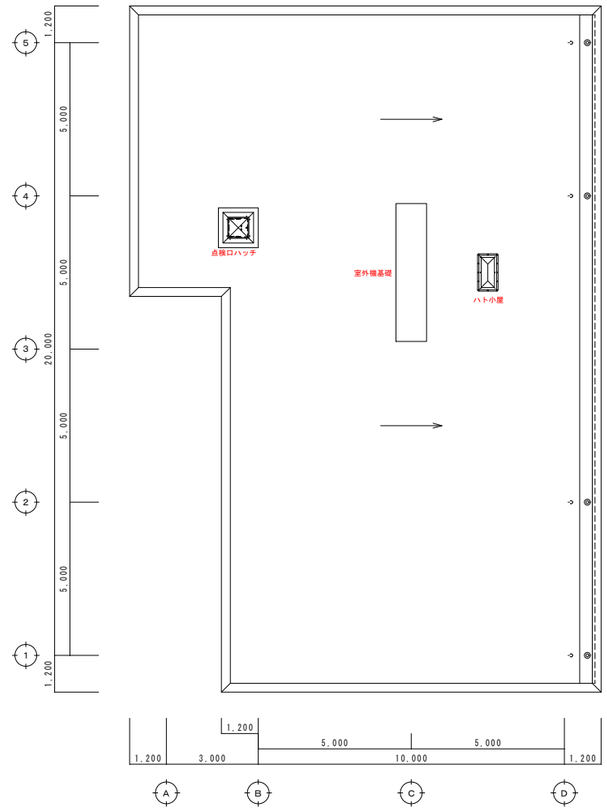
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	防災照明器具姿図		
縮　尺	NON	図面番号	2-4-4-E9
藍　住　町　上　下　水　道　課			



1階平面図



2階平面図



屋根伏図

注 記

1．太線は今回工事対象を示し、細線は工事対象外とする。
2．隠蔽部の配線立上げ・引下げは保護管に収容とする。
3．特記なき配管配線・器具機器は新設とする。
4．天井直付けの非常灯については、露出丸ｶﾞﾗｽ共とする。
5．特記なき配管配線は下記とする。
——— ——— 二重天井内配線
- - - - - - - 露出配管配線（屋内部E管、屋外部G管）

配線記号	配線名称	隠蔽配管	露出配管
——//——	EM-EEF1.6mm-2C	PF16	E19/G16
——//—— 2.0	EM-EEF2.0mm-3C(1E)	PF16	E19/G16

凡 例

記 号	名 称	仕 様
	電灯盤	別図 盤単線結線図 参照
	LED誘導灯	別図 防災照明器具姿図 参照
	LED誘導灯	別図 防災照明器具姿図 参照
	LED非常灯	別図 防災照明器具姿図 参照
	ｸﾞﾛｰﾌﾞﾗｯｸｽ	共用

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	防災照明設備平面図・屋根伏図		
縮 尺	1/100	図面番号	2-4-4-E10
藍 住 町 上 下 水 道 課			

構　造　設　計　特　記　仕　様　書

☒ 印：適用
☒ 印：準用

1．建築物の構造内容

（1）工事名称　　藍住町第２浄水場更新工事
　　建築場所　　徳島県板野郡藍住町奥野矢上前
（2）工事種別　☒ 新築　☐ 増築　☐ 増改築　☐ 改築
（3）構造設計一級建築士の関与　☐ 必要　☒ 必要としない
　☐ 法第２０条第一号（高さ６０ｍ超）
　☐ 法第２０条第二号（　☐ ＲＣ造高さ２０ｍ超　☐ Ｓ造４階建以上　☐ 木造高さ１３ｍ超　☐ ）
（4）構造種別
　☐ 木造（Ｗ）　☐ 補強コンクリートブロック造（ＣＢ）　☐ 鉄骨造（Ｓ）
　☒ 鉄筋コンクリート造（ＲＣ）　☐ 壁式鉄筋コンクリート造（ＷＲＣ）
　☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造（ＳＲＣ）　☐ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（ＷＰＲＣ）
　☐ プレキャスト鉄筋コンクリート造（ＰＲＣ）　☐
（5）階　数　　地下　１階　地上　２階　塔屋　－階
（6）主要用途
（7）屋上付属物　☐ 高架水槽　　kN　☐ キュービクル　　kN　☐ 広告塔　☐ 煙突
（8）特別な荷重及び仕上材
　☐ エレベータ　　人乗（マシンルームレス　ロープ式　油圧式）　☐ エスカレーター　☐ 特定天井
　☐ リフト　　kN　☒ ホイスト　１０ kN　☐ 倉庫積載床用　　kN/m2　☐ 受水槽　　kN　☐ 吊フック　　kN
（9）付帯工事
　☐ 門扉　☐ 擁壁　☐ 駐輪場　☐ 機械式駐車場　☐
（10）増築計画　☐ 有（　　）☒ 無
（11）構造計算ルート　　Ｘ方向ルート　１ －（　）　Ｙ方向ルート　１ －（　）

2．使用建築材料表・使用構造材料一覧表

（1）コンクリート　（レディーミクストコンクリート JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308）

適用箇所	種類	設計基準強度 Fc＝N/mm²	調合管理強度 Fm＝N/mm²	スランプ cm	備考
捨てコンクリート	☒ 普通	18	18	15	
土間コンクリート	☐ 普通	21	21	15	
基礎・基礎梁	☒ 普通	24	24＋S	15	比重 2.3
柱・梁・床・壁	☐ 普通 ☐ 軽量	24	24＋S		比重 2.3
柱・梁・床・壁	☒ 普通 ☐ 軽量	24	24＋S	18	比重 2.3
無筋コンクリート	☒ 普通 ☐ 軽量	18	18	15	比重 2.3
細骨材の種類	☒ 砂 ☒ 山砂 ☐ 人工 ☐				
粗骨材の種類	☒ 砂利 ☒ 砕石 ☐ 人工 ☐				
水の区分	☒ 水道水 ☒ 地下水 ☐ 工業用水 ☐				
混和材料の種類（JIS　）	☒ ＡＥ減水剤 ☐ 高性能ＡＥ減水剤 ☐ ☐				
呼び強度を保証する材齢、養生	☒ 材齢（ ☒ ２８日 ☐ ５６日 ☐ ☐ ）				
	☒ 養生（ ☐ 現場封かん ☒ 現場水中 ☒ 標準 ☐ ）				

☒ 単位水量は185kg/m 以下[3]、単位セメント量は270kg/m 以上とする。[3]

（2）コンクリートブロック　（☐ JIS A 5406）
　☐ Ａ種　☐ Ｂ種　☐ Ｃ種　　厚　☐ １００　☐ １２０　☐ １５０　☐ １９０　使用箇所（　　）

（3）鉄　筋

	種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋（JIS G 3112）	土木（水槽） ☐ SD345	D13以上	梁・柱の主鉄筋	☐ ガス圧接継手
			梁・柱の主鉄筋以外	☐ 重ね継手
	建築 ☒ SD295	D16以下	梁・柱の主鉄筋	☒ 重ね継手
	☒ SD345	D19以上	梁・柱の主鉄筋	☒ ガス圧接継手
			梁・柱の主鉄筋以外	☒ 重ね継手
高強度せん断補強筋	☐ 材種			☐ 溶接継手
	☐ 大臣認定番号　MSRB-			☐ 機械式継手
丸　鋼(JIS G 3112)	☐ SR235			（　　）
溶接金網(JIS G 3551)	☐			各継手の使用詳細については本仕様５．（２）鉄筋の項の鉄筋継手等の■にて表示すること。

（4）鉄　骨

種類	使用箇所	現場溶接	JIS規格・認定番号等
☐ SS400 ☐ SM400 ☐ SN400A,B,C		☐ 有 ☐ 無	JIS G
☐ SS400 ☐ SM400 ☐ SN400A,B,C		☐ 有 ☐ 無	JIS G
☐ STKR400 ☐ STKR490 ☐ SS400		☐ 有 ☐ 無	JIS G
☐ BCR295 ☐ BCP235 ☐ BCP325		☐ 有 ☐ 無	大臣認定品 認定番号 MSTL-
☐ SN490A ☐ SN490B ☐ SN490C		☐ 有 ☐ 無	JIS G
☐ SSC400 ☐ ☐		☐ 有 ☐ 無	JIS G
溶接材料 ☐			JIS Z

（5）ボルト　　○の使用箇所の詳細については別途図示とする。
　☐ 高力ボルト
　　☐ F10T（JIS B1186）　☐ S10T 認定番号（　　）　☐ F8T 認定番号（　　）
　　☐ M16　☐ M20　☐ M22　☐ M24
　☐ 中ボルト（JIS B1180）　☐ 4.8(4T)　☐　☐ M10　☐ M12　☐ M16
　☐ アンカーボルト（構造用アンカーボルト）
　　☐ SS400　M　　L=　mm　形 状（ ☐ 定着板 ☐ L 形 ）　ナット（ ☐ シングル ☐ ダブル）
　　☐ ABR400　M　　L=　mm　ナット（ ☐ シングル ☐ ダブル）（JIS B 1220）
　　☐　M　　L=　mm　ナット（ ☐ シングル ☐ ダブル）
　☐ 頭付スタッドボルト
　　φ=　　L=　mm　使用箇所（ ☐ 柱 ☐ 大梁 ☐ 小梁）
　　φ=　　L=　mm　使用箇所（ ☐ 柱 ☐ 大梁 ☐ 小梁）

（6）屋根、床、壁

材種	型式　厚　その他	使用箇所	仕様・構法
ＡＬＣ版（JIS A 5416）	厚	☐ 壁 ☐ 床版	☐ スライド ☐ ボルト止め ☐ ロッキング ☐
折版	H= 厚	☐ 屋根 ☐	☐
特殊デッキプレート（JIS G 3352）	型式 厚	☐ 床版 ☐	☐
デッキプレート　（JIS G 3352）	型式 厚	☐ 床版 ☐	☐
キーストンプレート（JIS G 3352）	型式 厚	☐ 床版 ☐	☐

3．地　盤

（1）地盤調査資料と調査計画
　☒ 有（ ☒ 敷地内　☐ 近隣）　☐ 無（調査計画　☐ 有　☐ 無）

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	○		静的貫入試験			標準貫入試験	○	
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理探査		
試験杭（支持層の確認）			平板載荷試験			液化判定	○	
スエーデン式サウンディング			現場透水試験			ＰＳ検層		

注）上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。

（2）ボーリング標準貫入値、土質構成　（基礎・杭の位置を明記すること）

図中記入（　Ｓ－０８図　参照）

○ 調査地番
○ 位置図
○ 支持地盤、地層及び深さについてのコメント
○ 孔内水位　ＧＬ－　　＊＊ m
○ 近隣データの調査地番と設計地番とは約　＊＊ mの距離がある
○ 備考

注）地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4．地業工事

（1）直接基礎　☐ ベタ基礎　☐ 布基礎　☒ 独立基礎　試験堀　☐ 有 ☒ 無
　深さ　ＧＬ－　　支持層：　　長期許容支持力度　　kN/m2　載荷試験　☐ 有 ☒ 無
（2）地盤改良　☐ 浅層混合処理工法　☐ 深層混合処理工法　☐ ラップルコンクリート
　深さ　ＧＬ－　　支持層：　　長期許容支持力度　　kN/m2　載荷試験　☐ 有 ☒ 無
　注）「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築センター２００２」を参考とする
（3）杭基礎　　支持層：　駐土混じり砂礫　　※Ｓ－０８杭図参照

杭種	材料	施工法	備考
☐ RC杭 ☐ PRC杭	PRC（ ☐ Ⅰ種 ☐ Ⅱ種 ☐ Ⅲ種）	☐ 打ち込み	
☐ PHC杭 ☐ H鋼杭	PHC（ ☐ A種 ☐ B種 ☐ C種）	☐ 埋込み（セメントミルク工法）	
☐ 鋼管杭 ☐ 摩擦杭	鋼材 ☐ SS400 ☐ SKK400 ☐ STK490	☐	認定第　号
☐ SC杭 ☐	☐ JIS	☐ 回転埋設	年　月　日
☐ 場所打ち コンクリート杭	コンクリート Fc N/mm2	☐ オールケーシング ☐ 拡底杭	
	Fq N/mm2	☐ リバースサーキュレーション	認定
	スランプ cm以下	☐ アースドリル ☐ ミニアース	第　号
	セメント量 kg/m3	☐ ＢＨ ☐ 深礎 ☐ 手堀	年　月　日
	単位水量 kg/m3	☐ 機械堀	
	鉄筋 主筋 SD345		
	HOOP SD		

☐ 施工計画書承認　☐ 杭施工結果報告書
試験杭（ ☐ 有・ ☐ 無 ）（ ☐ 打ち込み・ ☐ 載荷・ ☐ 孔壁測定 ）　本

杭径（mm）	設計支持力（ｋＮ）	杭の先端の深さ（m）	本　数	特記事項

5．鉄筋コンクリート工事　（施工方法等計画書）

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度（Fc）が 36Ｎ／mm2 以下、および鉄筋の材種 SD390 以下に適用する。工事に当たっては、下記による他、公共建築工事標準仕様書・JASS5等 各種仕様書の最新版に準拠のこと。

（1）コンクリート
　☒ コンクリートは JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するJIS認証工場の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、JASS 5 による。
　☒ コンクリートの耐久設計基準強度（Ｎ/mm2）　☐ 一般(18)　☒ 標準(24)　☐ 長期(30)　☐ 超長期(36※)
　（※ かぶり厚さを10mm 増やした場合は、30N/mm2とすることができる）
　☒ セメントは、JIS R 5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
　☒ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
　☒ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
　☒ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（一財）国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上かつ、150m3ごと及びその端数につき1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
　☒ 構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験方法はJASS 5T － 603によることとし、供試体は現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごとをする。
　また、打込み量が１５０ｍ を超える場合は１５０ｍ ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。
　一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。
　なお、1回の試験の供試体の数量は、調合管理強度の管理試験用、型枠取外し時期の決定用、構造体コンクリートの圧縮強度推定用その他必要に応じて、それぞれ３個とする。
　☒ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さはコンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が２５℃未満の場合は１２０分以内、２５℃以上の場合は９０分以内とする。
　☒ コンクリート打込み中及び打込み後５日間は、コンクリートの温度が２度を下らないようにする。
　☒ 乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。
（2）鉄　筋
　☒ 鉄筋は JIS G 3112 の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様に、JASS 5 による。
　☐ 高強度せん断補強筋は、JIS G 3137 に規定されるＤ種１号適合品とする。
　☒ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「構造関係共通図（配筋詳細図）」による。
　☒ 鉄筋継手等

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級				鉄筋の径
	（１）引張力最小部位	（２）（１）以外の部位（注）			
		Ａ級	Ｂ級	ＳＡ級	
☒ 重ね継手	☒ 40d ☒ 35d ☐				☒ Ｄ16 以下
☒ 圧接継手	☒ 告示１４６３号第２項各号	☐			☒ Ｄ19 以上
☐ 溶接継手	☐ 告示１４６３号第３項各号	☐	☐		☐ Ｄ　以下
☐ 機械式継手	☐ 告示１４６３号第４項各号	☐	☐	☐	☐ Ｄ　以下

注）(1)以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって『鉄筋継手使用基準（建築物の構造関係技術基準解説書 2015）』によって検討した部材の条件・仕様によること。

　☒ Ｄ１９未満は、すべて重ね継手とする。
　☒ 継手部分の施工要領は　公社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」（ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事）による。
　継手部の検査方法：・外観検査　☒有 ☐無　・引張試験　☐有 ☒無　・超音波探傷試験　☒有 ☐無
　☒ 柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、　☒H型（タガ型）　☐W型（溶接型）　☐S型（スパイラル型）とする。
　☒ コンクリート及び鉄筋の試験は、監理者の指定する試験・検査機関および代行業者で行うこと。
　代行業者とは、試験・検査に伴う業務を代行するものを言う。
（3）型　枠
　☒ 材料　合板厚 12mm を標準とする。　☒ 施工　JASS 5 による。
　☒ 型枠存置期間　　昭和46年建設省告示第110号（昭和63年改正建設省告示第1655号）
　（平成28年３月17日国土交通省告示第503号）

建物の部位	基礎、はり側、柱、壁			スラブ下、はり下			スラブ下			はり下		
セメントの種類	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントＡ種 シリカセメントＡ種	高炉セメントＢ種 シリカセメントＢ種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントＡ種 シリカセメントＡ種	高炉セメントＢ種 シリカセメントＢ種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントＡ種 シリカセメントＡ種	高炉セメントＢ種 シリカセメントＢ種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントＡ種・Ｂ種 シリカセメントＡ種・Ｂ種	高炉セメントＡ種・Ｂ種
存置期間中の平均気温												
15℃以上	2	3	5	4	6	8	8	17	28	28		
5℃～15℃	3	5	7	6	10	12	12	25	28	28		
5℃未満	5	8	10	10	16	18	15	28	28	28		
コンクリートの圧縮強度	※ 5.0N/mm2			設計基準強度の50％			設計基準強度の 85％			100％		

※ JASS 5 では普通コンクリートの場合、計画供用期間の級が短期および標準の場合は５Ｎ/mm 以上、長期および超長期の場合は、10 N/mm 以上に達したことが確認されるまでとする。

注）１　片持ばり、庇、スパン９．０ｍ以上のはり下は、工事監理者の指示による。
　２　大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
　３　支柱の盛りかえは、必ず梁上階のコンクリート打ち後とする。
　４　盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
　５　支柱の盛りかえは、小ばりが終ってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
　６　上記以外のセメントを使用する場合は、JASS 5 によるものとし、工事監理者の承認による。
　７　直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛りかえを行わないこと。
　８　支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。
　９　梁下支柱の最小存置期間は、圧縮強度が設計基準強度以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまでとする。

6．鉄骨工事　（施工方法等計画書）

（1）鉄骨工事は指示のない限り下記による
　☐ 日本建築学会「ＪＡＳＳ６」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
　☐ 一社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
　☐ 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」
（2）工事監理者の承認を必要とするもの
　☐ 製作工場　☐ 製作要領書　☐ 工作図　☐ 施工計画書
　☐ 認定または登録工場（大臣認定　Ｓ　Ｈ　Ｍ　Ｒ　Ｊ グレード）
　☐ 材料規格証明書※、または試験成績書
　　☐ 鋼材　☐ 高力ボルト　☐ 特殊ボルト　☐ 頭付スタッド
　　※一社）日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート。
　☐ 社内検査表　☐　☐
（3）工事監理者が行う検査項目
　（ ☐ 以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
　☐ 現寸検査　☐ 組立・開先検査　☐ 製品検査　☐ 建方検査　☐
（4）接合部の溶接は下記によること
　☐ 平成12年建設省告示第1464号第二号　イ、ロ
　☐ 公共建築協会「鉄骨設計標準図」
　☐ 日本建築学会「溶接工作規準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
　☐ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針　工事現場施工編」
（5）接合部の検査
　☐ 溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数 工場自主検査	第三者受入検査	工事監理者	備考
☐ 完全溶込み溶接部（突合せ溶接）	外観検査（※1）	１００ ％ 個	３０ ％ 個	※2 ％ 個	※1 平成12年建設省告示第1464号第二号による（目視及び計測）
	超音波探傷検査	１００ ％ 個	AOQL 4 ％ 個	※2 ％ 個	
	マクロ試験・その他	個	個	個	※2 監理者は、現寸時に検査ヶ所を指示する
☐ すみ肉溶接部	外観検査（※1）	１００ ％ 個	３０ ％ 個	※2 ％ 個	
第三者検査機関名					
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注１）現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を１００％行うこと
注２）知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること
　☐ 高力ボルトの検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）
　　軸力導入試験　☒ 要 ☐ 否　高力ボルトすべり係数試験　☐ 要 ☐ 否
　　☐ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、共回り等の異常が無いことを確認する。
　　☐ トルシア形高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。
（6）防錆塗装
　☐ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
　　錆止めのペイントは、　☐ JIS K 5621、　☐ JIS K 5625、　☐ JIS K 5674、　☐　　を使用して、フォースター（Ｆ☆☆☆）２回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
　☐ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、２回塗りとする。
（7）耐火被覆の材料
　☐

7．設備関係

　☒ 建築設備の構造および構造体への緊結部分は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
　☒ 建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防腐のための有効な措置を講じること。
　☐ 建築物に設ける屋上からの突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。
　☐ 煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを５ｃｍ以上とした鉄筋コンクリート造とすること。
　☒ 設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。
　☒ 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
　☐ エレベーター・エスカレーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
　　また、地震時の層間変形に追従できること。
　☒ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること。
　☒ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの１／３以下とし管の間隔を管径の３倍以上かつ５ｃｍ以上を原則とする。
　☒ 上記による他、該当する設備機器について以下の関係法令の規定を満たすこと。
　　・建築基準法施行令（昭和２５年政令第３３８号）第１２９条の２の３第二号
　　・平成１２年 建設省告示第１３８８号
　　・平成２４年 国土交通省告示第１４４７号

8．その他

　☒ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
　☒ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
　☒ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	構造設計特記仕様書		
縮　尺	NON	図面番号	2-4-5-S1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

構造関係共通事項

1．総則

1．1　適用範囲

（1）構造関係共通図（配筋標準図）は，鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄筋の加工，組立等の一般的な標準図を表わす。

（2）構造関係共通図（鉄骨標準図）は，鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造における鉄骨の加工，組立の一般的な標準図を表わす。

（3）構造関係共通図（配筋標準図，鉄骨標準図）以外については，図面及び監督職員の指示による。

1．2　優先順位

（1）設計図書間で配筋方法に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。

1．建築工事特記仕様書（構造関係）

2．図面 ┬ 下記以外の図面
　　└ 構造関係共通図（配筋標準図，鉄骨標準図）

3．国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」

1．3　用語の定義

（1）設計図とは，建築構造図のうち特記仕様書，構造関係共通図以外の図面をいう。

（2）異形鉄筋の径（本文，図，表において「D，d」で示す）は，呼び名に用いた数値とする。

（3）長さ，厚さ等の単位は，特記がなければmmとする。

1．4　記号等

設計図中で使用する記号は，表1～表8，図1を標準とする。

表1　鉄筋の断面表示

区分＼径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
建　築	●	×	⌀	●	○	⊙	⊗	◎

表2　各階伏図における記号

記　号	説　　明	記　号	説　　明
S*	スラブの配筋種別		杭の位置
	スラブ厚さ		試験杭の位置
	階段の配筋種別		打増しの範囲
D0	土間コンクリート		スラブ開口
	コンクリートブロック壁（CB壁）		ポーリング位置
	梁・スラブの上がり下がりの範囲	（±　）	FLからの上がり下がり
EW○○ EKW○○ ERW○○	耐力壁の種別 片持スラブ形階段を受け，かつ耐力壁の種別 土圧を受け，かつ耐力壁の種別	W○○ KW○○	一般壁の種別 片持スラブ形階段を受け，かつ耐力壁の種別

表3　梁貫通孔記号

区分＼径	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400	
建　築	⊖	⊗	┼	⊗	⊕	✳	╫	⊗	⊕	✳	╫	⊗	⊕	✳	╫	

表4　スリーブ材質の凡例

管名	鋼管	溶融亜鉛めっき鋼板	硬質塩化ビニル管（薄肉管）	つば付き鋼管（黒管）
記号（建築用）	SP（白管）	GA	VU	RS

建築用以外のスリーブ材質は各工事による。

表5　高力ボルト径の記号

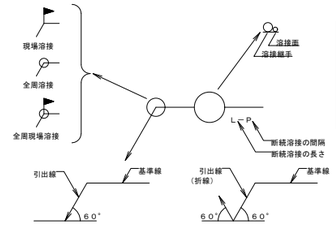
区分＼径	M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト（F10T，S10T）	●	●	●	●	✱
溶融亜鉛めっき高力ボルト（F8T相当）	⁄	|	┼	⁄	✳

表6　普通ボルト径の記号

区分＼径	M12	M16	M20	M22	M24
普通ボルト	○	⊖	⊕	⊘	⊛

表7　溶接方法，溶接継手及び溶接面の分類記号

			記号
溶　接　継　手	完全溶込み溶接	突合わせ継手	B
		T型継手	T
		かど継手	L
	隅肉溶接		F
	部分溶込み溶接		P
	重ねアーク溶接（フレア溶接）		FL
溶　接　面	片面溶接		1
	両面溶接		2



※特記無き限り，完全溶込溶接の溶接方法・溶接面は適切な溶接方法等による。

図1　溶接記号の記載例

表8　溶接の補助記号

区　　分	補助記号
現　場　溶　接	⚑
全　周　溶　接	○
全　周　現　場　溶　接	⚑
断面溶接の長さ及び間隔	L－P

標準仕様書　5章　鉄筋工事　3節　加工及び組立よりの抜粋

5．3．2　加工

（2）次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にフックを付ける。

（ア）柱の四隅にある主筋の重ね継手

（イ）最上階の柱の四隅にある主筋の柱頭の定着

（ウ）梁の出隅及び下端の両隅にある梁主筋の重ね継手（基礎梁を除く。）

（エ）煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む。）

（オ）杭基礎のベース筋

（カ）帯筋，あばら筋及び幅止め筋

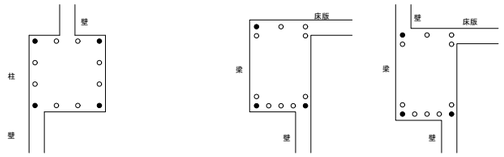


図3.3（5.3.2(2)の解説）　末端部にフックを必要とする出隅部の鉄筋（●印）

（3）鉄筋の折曲げ形状及び寸法は，表5.3.1による。

なお，異形鉄筋の径（この節の本文，図及び表において「d」で示す。）は，呼び名に用いた数値とする。

表5.3.1 鉄筋の折曲げ形状及び寸法

折曲げ角度	折曲げ図	鉄筋の種類	折曲げ内法直径(D)		
		呼び名	D16以下	D19～D38	D19～D38
180°			3d以上	4d以上	5d以上
135°					
90°					
135°及び90°（幅止め筋）					

（注）1．片持スラブ先端，壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には，余長を4d以上とする。

2．90°未満の折曲げの内法直径は特記による。

5．3．4　継手及び定着

（1）鉄筋の継手は，重ね継手，ガス圧接継手，機械式継手又は溶接継手とし，適用は特記による。

原則として，D35以上の異形鉄筋については，重ね継手を用いない。

（2）鉄筋の継手位置は，特記による。

（3）鉄筋の重ね継手は，次による。

なお，径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは，細い鉄筋の径による。

（ア）柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは，特記による。特記がなければ，耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは，40d（軽量コンクリートの場合は50d）又は表5.3.2の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。

（イ）（ア）以外の鉄筋の重ね継手の長さは，表5.3.2による。

表5.3.2 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度（Fc）(N/mm²)	L1（フックなし）	L1h（フックあり）
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24，27	35d	25d
	30，33，36	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24，27	40d	30d
	30，33，36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24，27	45d	35d
	30，33，36	40d	30d

（注）1．　L1　L2重ね継手の長さ及びフックありの重ね継手の長さ

2．　U筋　図5.3.1に示すようにフック部分　を含まない。

3．軽量コンクリートの場合は，表の値に5dを加えたものとする。

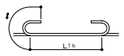
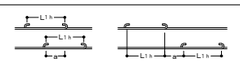
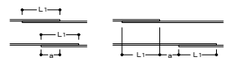
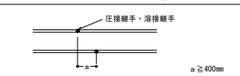
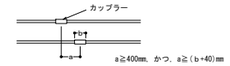


図5.3.1 フックありの重ね継手の長さ

（4）隣り合う継手の位置は，表5.3.3による。ただし，スラブ筋で D16以下の場合及び壁筋の場合は除く。

なお，先組み工法等で，柱及び梁の主筋のうち，隣り合う継手を同一箇所に設ける場合は，特記による。

表5.3.3 隣り合う継手の位置

重ね継手	フックありの場合		a＝0.5　L1h　　a≧0.5　L1h
	フックなしの場合		a＝0.5　L1　　a≧0.5　L1
溶接継手	——		a≧400mm
機械式継手	——		a≧400mm，かつ，a≧(b+40)mm

（5）鉄筋の定着は，次による。

（ア）鉄筋の定着の長さは，特記による。特記がなければ，表5.3.4による。

表5.3.4 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度（Fc）(N/mm²)	直線定着の長さ L1	直線定着の長さ L2	直線定着の長さ L3 小梁	直線定着の長さ L3 スラブ	フックあり定着の長さ L1h	フックあり定着の長さ L2h	フックあり定着の長さ L2h 小梁	フックあり定着の長さ L2h スラブ
SD295	18	45d	40d	20d （片持小梁の場合は25d）	10d かつ 150mm以上 （片持スラブの場合は25d）	35d	30d	10d	—
	21	40d	35d			30d	25d		
	24，27	35d	30d			25d	20d		
	30，33，36	35d	30d			25d	20d		
SD345	18	50d	40d			35d	30d		
	21	45d	35d			30d	25d		
	24，27	40d	35d			30d	25d		
	30，33，36	35d	30d			25d	20d		
SD390	21	50d	40d			35d	30d		
	24，27	45d	40d			35d	30d		
	30，33，36	40d	35d			30d	25d		

（注）1．　L1，L1h：2.から4.まで以外の直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ

2．　L2，L2h：割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ

3．　L3　：小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし，基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。

4．　L3h：小梁の下端筋のフックありの定着の長さ

5．フックありの定着の場合は，図5.3.2に示すようにフック部分　を含まない。また，中間部での折曲げは行わない。

6．軽量コンクリートの場合は，表の値に5dを加えたものとする。

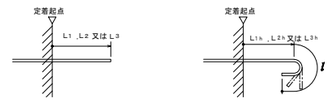


図5.3.2 直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ

（イ）仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さ Lが，表5.3.4のフックありの定着の長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法は，特記による。特記がなければ，図5.3.3により，次の(a)から(c)までを全て満足するものとする。

（a）全長は，表5.3.4の直線定着の長さ以上とする。

（b）余長は8d以上とする。

（c）仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さLa及びLbは，表5.3.5に示す長さとする。ただし，梁主筋の柱内定着においては，柱せいの3/4倍以上とする。

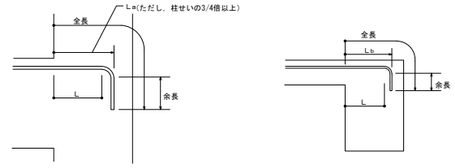


図5.3.3 折曲げ定着の方法

表5.3.5 投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度（Fc）(N/mm²)	La	Lb
SD295	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24，27	15d	15d
	30，33，36	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24，27	20d	15d
	30，33，36	15d	15d
SD390	21	20d	20d
	24，27	20d	20d
	30，33，36	20d	15d

（注）1．La：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁，片持梁及び片持スラブを含む。））

2．Lb：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持小梁及び片持スラブを除く。）

3．軽量コンクリートの場合は，表の値に5dを加えたものとする。

（6）溶接金網及びスパイラル筋の継手及び定着は，次による。

（ア）溶接金網の継手及び定着は，図5.3.4による。

なお，L1　は表5.3.2に，L2　及び　L3は表5.3.4による。

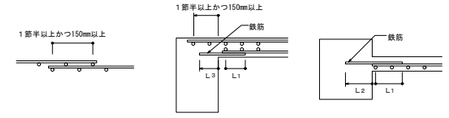


図5.3.4 溶接金網の継手及び定着

（イ）スパイラル筋の継手及び定着は，図5.3.5による。

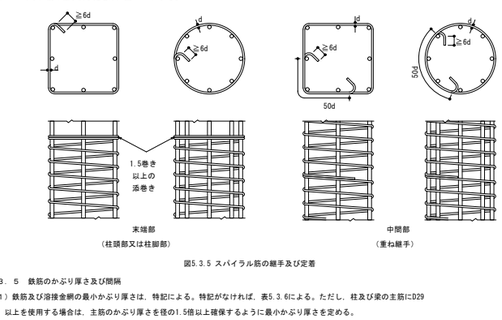


図5.3.5 スパイラル筋の継手及び定着

5．3．5　鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

（1）鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは，特記による。特記がなければ，表5.3.6による。ただし，柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は，主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表5.3.6 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

構造部分の種別				最小かぶり厚さ(mm)
土に接しない部分	スラブ，耐力壁以外の壁		仕上げあり	20
			仕上げなし	30
	柱，梁，耐力壁	屋内	仕上げあり	30
			仕上げなし	30
		屋外	仕上げあり	30
			仕上げなし	40
	擁壁，耐圧スラブ			40
土に接する部分	柱，梁，スラブ，壁			40
	基礎，擁壁，耐圧スラブ			60
煙突等高熱を受ける部分				60

（注）1．この表は，普通コンクリートに適用し，軽量コンクリートには適用しない。また，塩害を受けるおそれのある部分等耐久性上不利な箇所には適用しない。

2．「仕上げあり」とは，モルタル塗り等の仕上げのあるものとし，鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材，塗装等）のものを除く。

3．　スラブ，梁，基礎及び擁壁で，直接土に接する部分のかぶり厚さには，捨コンクリートの厚さを含まない。

4．杭基礎の場合の基礎下端筋のかぶり厚さは，杭天端からとする。

（2）柱，梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは，最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

（3）鉄筋組立後のかぶり厚さは，最小かぶり厚さ以上とする。

（4）鉄筋相互のあきは図5.3.6により，次の値のうち最大のもの以上とする。ただし，機械式継手及び溶接継手の場合は，5節又は6節による。

（ア）粗骨材の最大寸法の1.25倍

（イ）25mm

（ウ）隣り合う鉄筋の径　標準仕様書（5.3.2(3)によるd）の平均の1.5倍

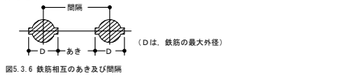


図5.3.6 鉄筋相互のあき及び間隔

（5）鉄骨鉄筋コンクリート造の場合，主筋と平行する鉄骨とのあきは，(4)による。

（6）貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは，最小かぶり厚さ以上とする。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	構造関係共通事項		
縮　尺	NON	図面番号	2-4-5-S2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

配筋標準図

1．1　基礎梁主筋の継手，定着及び余長

（1）　一般事項

（ア）梁筋は，原則として，柱をまたいで引き通すものとし，引き通すことができない場合は，柱内に定着する。ただし，やむを得ず梁内に定着する場合は，図1.4による。

（イ）梁筋を柱内に定着する場合は，3.1(1)(イ)による。

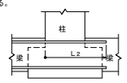


図1.1　梁筋の基礎梁内への定着

（2）　独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手，定着及び余長

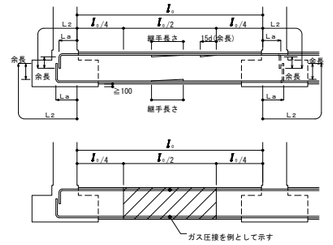


図1.2　主筋の継手，定着及び余長（その１）

1．図示のない事項は，3.1による。
2．━━━ 印は，継手及び余長位置を示す。
3．破線は，柱内定着の場合を示す。
4．L_a の数値は，原則として，柱せいの3/4倍以上とする。

（3）　独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手，定着及び余長

ただし，耐圧スラブが付く場合は，（4）による。

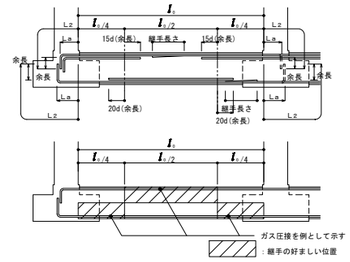


図1.3　主筋の継手，定着及び余長（その２）

1．図示のない事項は，3.1による。
2．━━━ 印は，継手及び余長位置を示す。
3．破線は，柱内定着の場合を示す。
4．L_a の数値は，原則として，柱せいの3/4倍以上とする。

（4）連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手，定着及び余長（耐圧スラブがつく場合を含む）

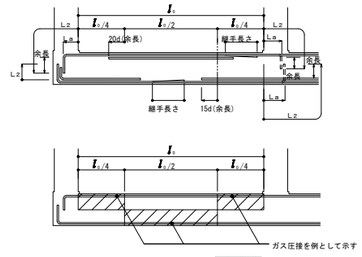


図1.4　主筋の継手，定着及び余長（その３）

1．図示のない事項は，3.1による。
2．━━━ 印は，継手及び余長位置を示す。
3．破線は，柱内定着の場合を示す。
4．L_a の数値は，原則として，柱せいの3/4倍以上とする。

1．2　基礎梁のあばら筋

あばら筋組立の形及びフックの位置は，3.2(1)による。ただし，梁の上下にスラブが付く場合で，かつ，梁せいが1.5m以上の場合は，図1.5によることができる。

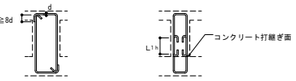
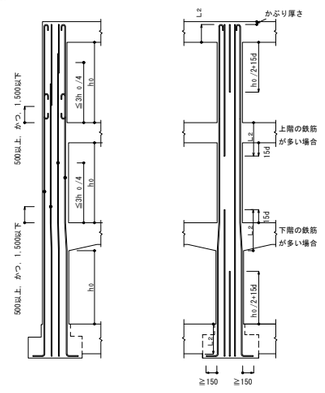


図1.5　あばら筋組立の形及びフックの位置

2．1　柱主筋の継手，定着及び余長

（1）柱主筋の継手及び定着の一般事項



1．柱の四隅にある主筋で，重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には，フックを付ける。
2．隣り合う継手の位置は，標準仕様書（表5.3.3）による。
3．柱頭定着長さ L_2 が確保できない場合は，構造計算等により必要長さの確認を行うものとする。
4．柱頭柱主筋について，梁上端主筋との取合いを考慮し，適切なかぶり厚さを確保する。

図2.1　柱主筋の継手，定着及び余長

（2）柱打増し部

（a）打増し部分に，壁，梁，スラブ筋等がとりつく場合は，壁，梁，スラブ筋等の定着長さには，打増し部分を含まない。

（b）土に接する柱周囲の打増しは図2.2による。

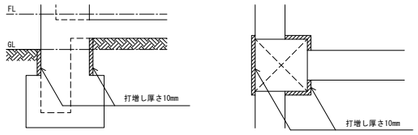
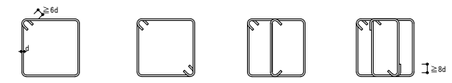


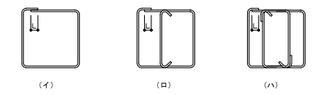
図2.2　柱打増し部

2．2　帯筋組立の形及び割付け

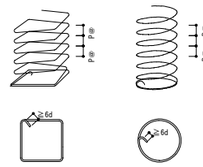
①H形



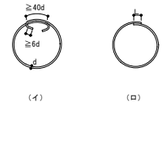
②W-I形



⑤ＳＰ形（スパイラル筋）

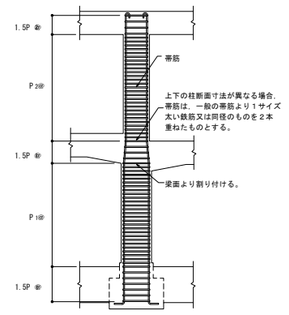


⑥丸形



1.H形を標準とする。
2.フック及び接手の位置は，交互とする。
3.溶接は，鉄筋の組立前に行う。
4.溶接する場合の溶接長さは，両面重ねアーク溶接（フレア溶接）の場合は5d以上，片面重ねアーク溶接（フレア溶接）の場合は10d以上とする。
5.SP形において，柱頭及び柱筋の端部は1.5巻以上の添巻を行う。
6.H形の135°曲げフックが困難な場合は，W-I形とする。

図2.3　帯筋組立の形



1.柱に取り付く梁に段差がある場合，帯筋の間隔を1.5P ㎝または1.5P ㎝とする範囲は，その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。なお，P ㎝，P ㎝は，1 特記された帯筋の間隔を示す。

図2.4　帯筋の割付け

3．1　大梁主筋の継手，定着及び余長

（1）　大梁主筋の継手及び定着の一般事項

（ア）梁主筋は，原則として，柱をまたいで引き通すものとし，引き通すことができない場合は，（イ）により柱内に定着することができる。ただし，やむを得ず梁内に定着する場合は，図3.1による。

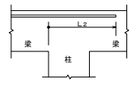


図3.1　梁主筋の梁内定着

（イ）梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
なお，定着の方法は，標準仕様書（5.3.4(5)(イ)）による。
上端筋　　：曲げ降ろす。
下端筋（一般）　：原則として曲げ上げる。
下端筋（ハンチ付）：原則として曲げ上げる。

（ウ）段違い梁は，図3.2による。

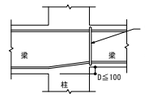
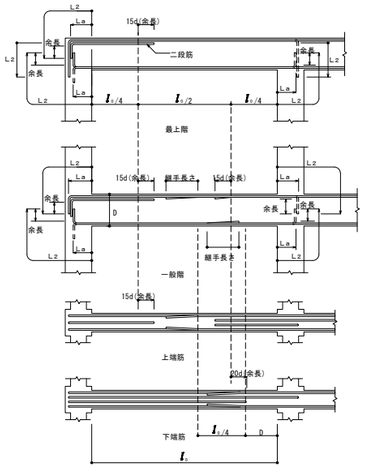


図3.2　段違い梁

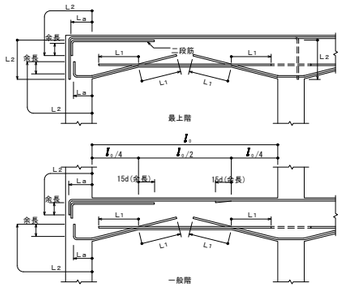
（2）ハンチのない場合の重ね継手，定着及び余長



1．継手中心位置は次による。
上端筋：中央 $I_0/2$ 以内
下端筋：柱面より梁せい（D）以上離し，$I_0/4$ を加えた範囲以内
2．標準仕様書（5.3.2(2)(イ)）で定めた鉄筋には，フックを付ける。
3．━━━ 印は，継手及び余長を示す。
4．破線は，柱内定着の場合を示す。
5．L_aの数値は，原則として，柱せいの3/4倍以上とする。

図3.3　大梁の重ね継手，定着及び余長

（3）ハンチのある場合の重ね継手，定着及び余長



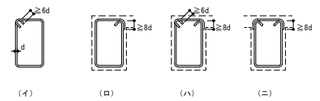
1．標準仕様書（5.3.2(2)(イ)）で定めた鉄筋には，フックを付ける。
2．━━━ 印は，継手及び余長を示す。
3．梁内定着の端部下端筋が接近するときは，＝＝＝＝＝のように引き通すことができる。
4．破線は，柱内定着の場合を示す。
5．L_a の数値は，原則として，柱せいの3/4倍以上とする。

図3.4　ハンチのある大梁の定着及び余長

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	構造関係共通図(配筋標準図)1		
縮　尺	NON	図面番号	2-4-5-S3
藍　住　町　上　下　水　道　課			

３．２　あばら筋（小梁，片持梁，基礎梁含む）の組立て形及び割付け等

（１）あばら筋組立の形及びフックの位置

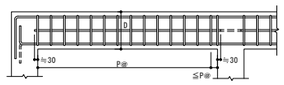


1.（イ）形を標準とする。ただし，L形梁の場合は，（ロ）又は（ハ），T形梁の場合は，（ロ）～（ニ）とすることができる。
2. フックの位置は，（イ）の場合は交互とし，（ロ）の場合は，L形ではスラブの付く側，T形では交互とする。
なお，（ハ）の場合は床版の付く側を90°折曲げとする。

図3.5　あばら筋組立の形

（２）あばら筋の割付け

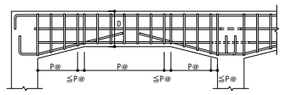
（ア）間隔が一様でハンチのない場合



1. あばら筋は，柱面の位置から割り付ける。
2. 図中Ｐ※は，特記されたあばら筋の間隔を示す。

図3.6　あばら筋の割付け　（その1）

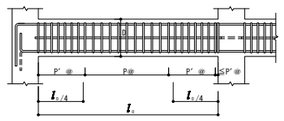
（イ）間隔が一様でハンチがある場合



1. あばら筋は，柱面の位置及びハンチに切り替わる位置から割り付ける。
2. 図中Ｐ※は，特記されたあばら筋の間隔を示す。

図3.7　あばら筋の割付け　（その2）

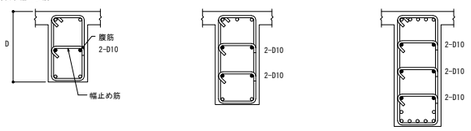
（ウ）梁の端部で間隔の異なる場合



1. あばら筋は，柱面の位置から割り付ける。
2. 図中Ｐ※，Ｐ'※は，特記されたあばら筋の間隔を示す。

図3.8　あばら筋の割付け　（その3）

（３）腹筋及び幅止め筋



600≦D＜900　　900≦D＜1,200　　1,200≦D＜1,500

1. 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは，150mm程度とする。
2. 幅止め筋及び受け用幅止め筋は，D10-1,000ｲ程度とする。

図3.9　腹筋及び幅止め筋

３．４　小梁主筋の継手，定着及び余長

（１）連続小梁の場合

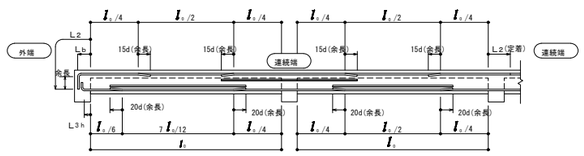


図3.10　小梁主筋の継手，定着及び余長（その1）

（２）単独小梁の場合

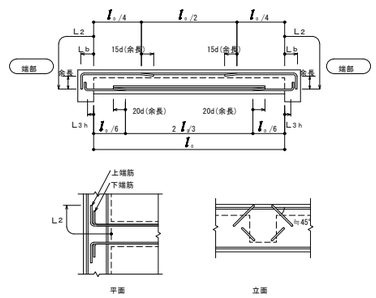
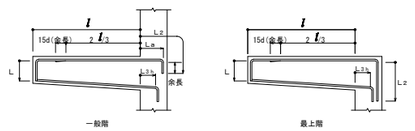


図3.11　小梁主筋の継手，定着及び余長（その2）

1. ━━━ 印は，余長位置を示す。
2. 梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合，斜めにしても良い。
3. 図示のない事項は，1.3及び3.1に準ずる。
4. L3hを確保できない場合は，標準仕様書（5.3.4(5)(ｲ)）によることができる。

３．５　片持梁主筋の継手，定着及び余長

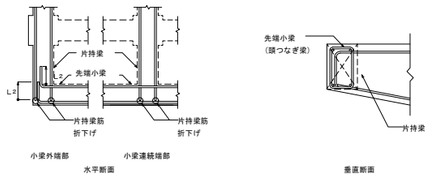
（１）先端に小梁のない場合



1. ━━━ 印は，余長位置を示す。
2. 先端の折曲げの長さは，梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。
3. 図時のない事項は，3.1による。
4. La の数値は，原則として，柱せいの3/4倍以上とする。
5. L3hを確保できない場合は，標準仕様書（5.3.4(5)(ｲ)）によることができる。

図3.12　片持梁主筋の定着及び余長

（２）先端に小梁がある場合



1. 図示のない事項は，（1）による。
2. 先端小梁続端部の主筋は，片持梁内に水平定着する。
3. 先端小梁の連続端は，片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

図3.13　片持梁主筋の定着

４．１　壁の配筋

（１）壁の配筋は表4.1による。

表4.1　壁の配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図　(mm)
W12	D10-200ｲシングル	120
W15A	D10-150ｲシングル	150
W15B	D10-100ｲシングル	
W18A	D10-200ｲダブル	180
W18B	D10-150ｲダブル	
W20A	D10-200ｲダブル	200
W20B	D10-150ｲダブル	

（注）　壁筋の配筋順序は，規定しない。

（２）片持スラブ形階段を受ける壁の配筋は表4.2による。

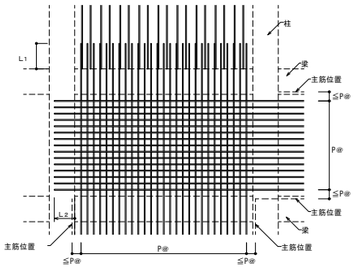
表4.2　片持スラブ形階段を受ける壁の配筋

種別		縦筋及び横筋	断面図　(mm)	階段の配筋種別(表6.1)
KW1	縦筋	D13-200ｲダブル	180	KA1
	横筋	D10-200ｲダブル		KA3
KW2	縦筋	D13-150ｲダブル	200	KA2
	横筋	D10-200ｲダブル		KA4

（注）　縦筋は，横筋の外側に配筋する。

（３）土圧を受ける壁の配筋は，構造図による。

４．２　壁の継手及び定着



1. 図中のＰ※は，特記された壁筋の間隔を示す。
2. 壁配筋の重ね継手はL1とし，鉄筋の継手位置は柱・梁以外とする。
3. 幅止め筋は，縦横ともD10-1,000ｲ程度とする。

図4.1　壁の配筋

４．３　壁の交差部及び端部の配筋

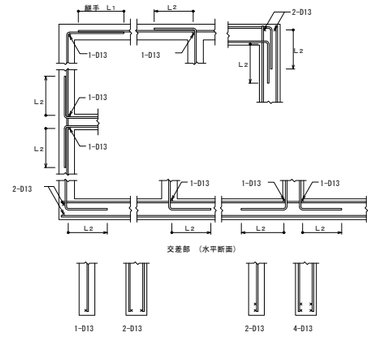


図4.2　壁の交差部及び端部の配筋

４．４　壁の開口部補強

（１）耐震壁を除く壁開口部の補強筋は，A形は表4.3，B形は表4.4とする。

表4.3　壁開口部補強筋（A形）

壁の種別	補強筋	
	縦横	斜め
W12，W15	1-D13	1-D13
W18，W20	2-D13	2-D13

表4.4　壁開口部補強筋（B形）

壁の種別	補強筋	
	縦横	斜め
W12，W15	2-D13	1-D13
W18，W20	4-D13	2-D13

（２）壁開口部補強筋の定着長さは図4.3による。

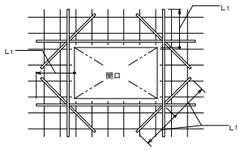


図4.3　壁開口部補強筋の定着長さ

（３）開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は，補強を省略することができる。
（４）コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は，構造図による。

４．５　パラペット

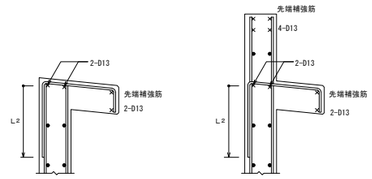


図4.4　パラペットの配筋

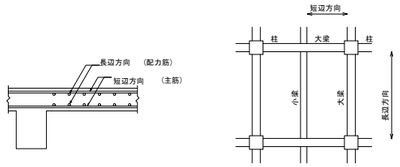
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	構造関係共通図(配筋標準図)2		
縮　尺	NON	図面番号	2-4-5-S4
藍　住　町　上　下　水　道　課			

5．1　スラブの配筋

表5.1　スラブの配筋

配筋種別	短辺方向（主筋）全域	長辺方向（配力筋）全域	配筋種別	短辺方向（主筋）全域	長辺方向（配力筋）全域
S 1	D13-100#	D13-100#	S 8	D10，D13-150#	D10-150#
S 2	同上	D13-150#	S 9	同上	D10-200#
S 3	同上	D10，D13-150#	S10	D10，D13-200#	D10，D13-200#
S 4	D13-150#	D13-150#	S11	同上	D10-200#
S 5	同上	D10，D13-150#	S12	同上	D10-250#
S 6	同上	D10-150#	S13	D10-200#	D10-200#
S 7	D10，D13-150#	D10，D13-150#	S14	同上	D10-250#

（注）　上端筋，下端筋とも同一配筋とする。



1. 配筋の割付けは，中央から行い，端部は定められた間隔以下とする。
2. 鉄筋の重ね継手長さは，L_1とする。
3. 土間コンクリート補強筋の配筋及びコンクリート厚さは，構造図による。

図9.1　スラブの配筋

5．2　スラブ筋の定着及び受け筋

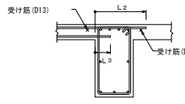
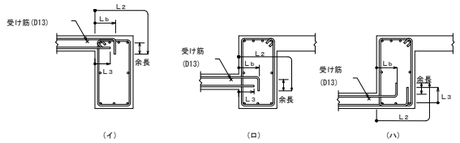
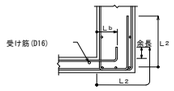


図5.2　スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その1)



一般スラブの場合



耐圧スラブの場合

図5.3　スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その2)

5．3　片持スラブの配筋

表5.2　CS形配筋

配筋種別		主筋	配筋種別		主筋
CS1	上	D13-100#	CS5	上	D10-200#
	下	D13-200#		下	D10-400#
CS2	上	D13-150#	CS6	上	D10，D13-200#
	下	D13-300#		下	―――
CS3	上	D10，D13-150#	CS7	上	D10-200#
	下	D10，D13-300#		下	―――
CS4	上	D10，D13-200#			
	下	D10-200#			

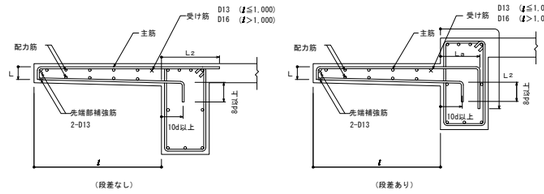


図5.4　片持スラブの配筋（CS1 から CS5）

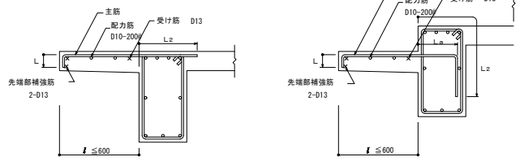


図5.5　片持スラブの配筋（CS6 及び CS7）

1. 先端の折曲げ長さは，スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
2. スラブに段差のない場合は，主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

5．4　片持スラブの先端に壁が付く場合の配筋

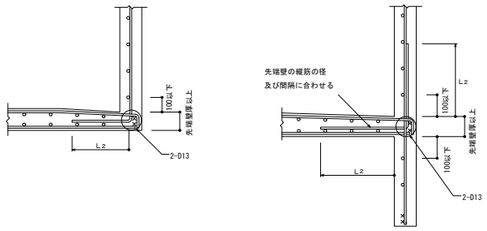
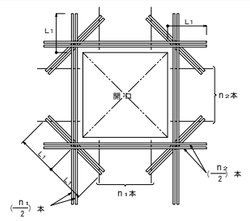


図5.6　先端に壁が付く場合の配筋

5．5　スラブの開口部の補強

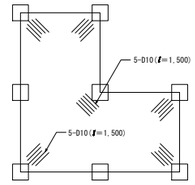


1. スラブ開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し，隅角部に斜め方向に2-D13（ℓ=2L1）シングルを上下筋の内側に配筋する。
2. スラブ開口の最大径が両方向の鉄筋間隔以下で，鉄筋を緩やかに曲げることにより，開口部を避けて配筋できる場合は，補強を省略することができる。
3. スラブ開口の最大径が700mm以下の場合に限る。

図5.7　スラブ開口部の補強配筋

5．6　出隅部及び入隅部の補強

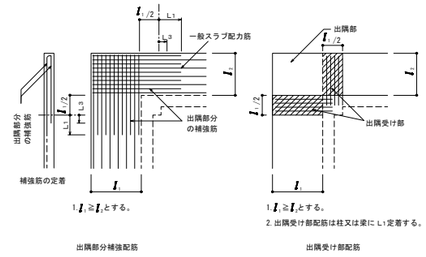
（1）屋根スラブの出隅及び入隅部



1. 補強筋を上下筋の下側に配置する。

図5.8　出隅及び入隅部の補強配筋

（2）片持スラブの出隅部



1. $\ell_1 \geqq \ell_2$とする。

出隅部分補強配筋

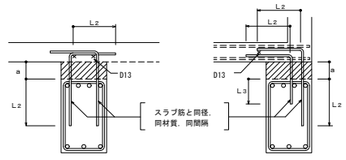
1. $\ell_1 \geqq \ell_2$とする。
2. 出隅受け部配筋は柱又は梁にしい定着する。

出隅受け部配筋

図5.9　片持スラブ出隅部の補強配筋

5．7　スラブの打継ぎの補強等

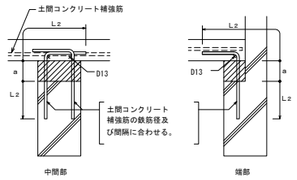
（1）土間スラブの打継ぎ補強（基礎梁とスラブを一体打ちとしないで，打継ぎを設ける場合の補強を示す。）



1. 土間コンクリートとは，土に接するスラブのうち，床荷重を直接地盤へ伝達できるものをいい，それ以外は土間スラブとして，梁及び柱を介して基礎へ荷重を伝達するものとする。
2. aが300mm以下の場合に限る。

図5.10　打継ぎ補強配筋

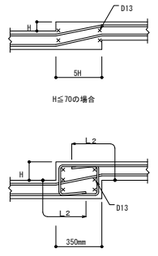
（2）土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋



1. 土間コンクリートとは，土に接するスラブのうち，床荷重を直接地盤へ伝達できるものをいい，それ以外は土間スラブとして，梁及び柱を介して基礎へ荷重を伝達するものとする。
2. aが300mm以下の場合に限る。

図5.11　土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

5．8　段差のあるスラブの補強



1. 150mm以下の段差のあるスラブの場合に限る。

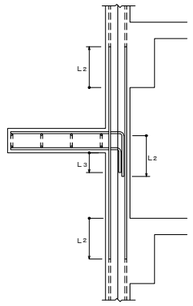
図5.12　段差のあるスラブの補強配筋

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	構造関係共通図(配筋標準図)3		
縮　尺	NON	図面番号	2-4-5-S5
藍　住　町　上　下　水　道　課			

6．1　片持スラブ形階段の配筋

表6.1　片持スラブ形階段の配筋

配筋種別	KA1	KA2
配筋図	D13 D13 D10-300# D10-300# t	2-D13 D13 D10-300# D10-300# t
配筋種別	KA3	KA4
配筋図	D10-300# t t D13 D13	D10-300# t t D13 2-D13



1. 壁配筋は，4.1(2)による。
2. 階段主筋は，壁の中心線を越えてから
   縦に下ろす。
3. スラブ配力筋の継手及び定着長さは，
   標準仕様書（表5.3.4）の　　とする。

図6.1　片持スラブ形階段配筋の定着

6．2　二辺固定スラブ形階段の配筋

表6.2　二辺固定スラブ形配筋

配筋種別	上端筋，下端筋とも（全域）
KB1	D13-200#
KB2	D13-150#
KB3	D13-100#
KB4	D13,D16-150#
KB5	D16-150#
KB6	D16-125#
KB7	D16-100#

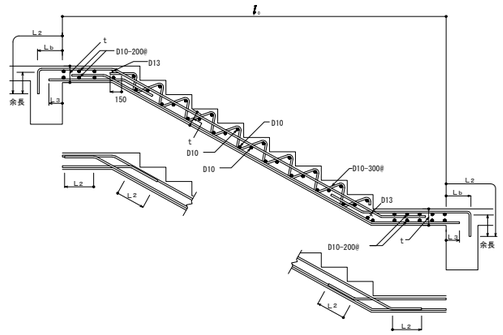
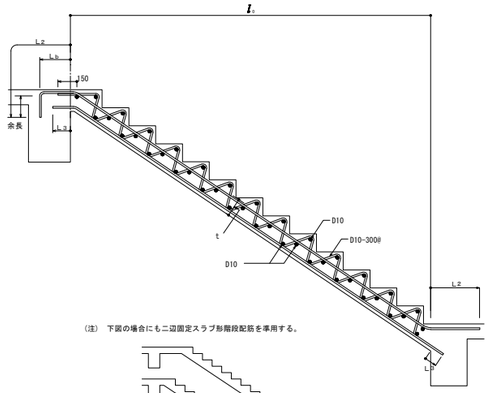


図6.2　二辺固定スラブ形階段配筋（その1）



（注）　下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

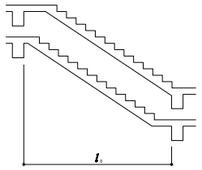


図6.3　二辺固定スラブ形階段配筋（その2）

7．1　梁貫通孔の配筋

（1）梁貫通孔補強筋の名称等は，図7.1による。
（2）孔の径は，梁せいの1/3以下とし，孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
（3）孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とし，梁中央部下端は梁下端より D/3（Dは梁せい）の範囲には設けてはならない。
（4）孔は，柱面から，原則として，1.5D以上離す。ただし，基礎梁及び壁付帯梁は除く。
（5）孔が並列する場合の中心間隔は，孔の径の平均値の3倍以上とする。
（6）縦筋及び上下縦筋は，あばら筋の形に配筋する。
（7）補強筋は，主筋の内側とする。また，鉄筋の定着長さは，図7.2による。
（8）孔の径が梁せいの1/10以下，かつ，150mm未満のものは，鉄筋を縦やかに曲げることにより，開口部を避けて配筋できる場合は，補強を省略することができる。
（9）溶接金網の余長は1格子以上とし，突出しは10mm以上とする。
（10）溶接金網の貫通孔部分には，鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。
　　なお，リング筋は，溶接金網に４箇所以上溶接する。
（11）溶接金網の割付け始点は，横筋であばら筋の下側とし，縦筋では貫通孔の中心とする。
（12）他の開孔を設けない範囲は図7.3による。

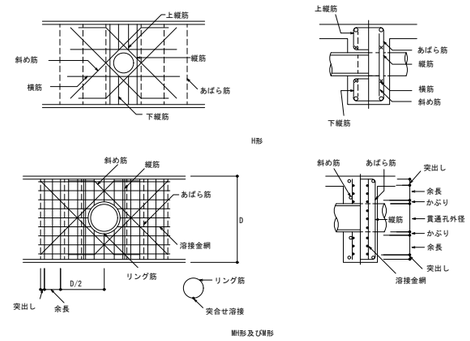


図7.1　梁貫通孔補強筋の名称等

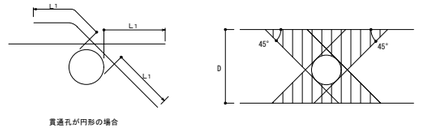


図7.2　補強筋の定着長さ　　図7.3　他の開孔を設けない範囲

7．2　梁貫通孔の補強形式

表7.1　H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H2		2-2-D13			
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16				
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19				
H7	4-2-D22				

（注）　－－－－－ は，一般部分のあばら筋を示す。

表7.2　M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M1	2-2-D13	なし	
M2	4-2-D13		
M3	4-2-D13	2-6φ-100#	
M4	6-2-D13		

（注）　－－－－－ は，一般部分のあばら筋を示す。

表7.3　MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH1	2-2-D13	なし	なし	
MH2		2-2-D13		
MH3	2-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100#	
MH4	4-2-D13			
MH5	4-2-D16			
MH6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100#	
MH7	4-2-D19			

（注）　－－－－－ は，一般部分のあばら筋を示す。

7．3　コンクリートブロック帳壁との取合い

（1）控壁の配筋

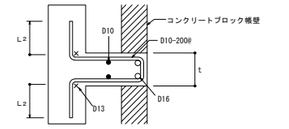


図7.3　控壁の配筋(水平，垂直とも)

（2）　帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強

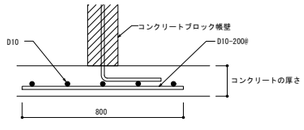


図7.4　壁付き土間コンクリートの補強配筋

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	構造関係共通図(配筋標準図)4		
縮　尺	NON	図面番号	2-4-5-S6
藍　住　町　上　下　水　道　課			

Ver. 20200917

－既製コンクリート杭の杭頭接合技術－

パイルスタッド工法　設計・施工　標準図

（一財）日本建築センターによる建設技術審査証明（２０２０年度版）　ＢＣＪ－審査証明－７

日本スタッドウェルディング株式会社
株式会社大谷工業
岡部株式会社
パイルスタッド工法研究会

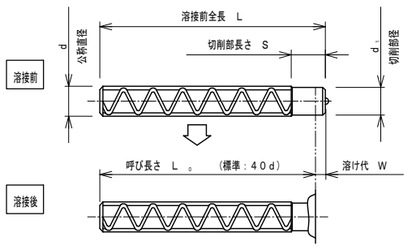
１．パイルスタッド工法概要

パイルスタッド工法は、溶接性に優れた異形棒鋼ＫＳＷ４９０を杭頭端板に直接スタッド溶接することにより、抗体に悪影響を及ぼすことがなく、抗体と基礎スラブとを接合する技術である。

２．使用材料

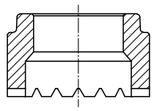
○1　パイルスタッド　（スタッド溶接専用異形棒鋼）

ＫＳＷ４９０（ＪＩＳ　Ｇ　３１１２　ＳＤ３４５）



○2　フェルール

セラミック製の溶接補助材



パイルスタッドおよびフェルールの種類　（括弧内の寸法は、標準の呼び長さ４０ｄの場合）

サイズ	呼び名	各部寸法				適用フェルール　*		
		ｄ１	Ｌ	Ｗ	Ｓ	岡部（株）	（株）大谷工業	日本スタッドウェルディング（株）
Ｄ１３	Ｄ１３×Ｌ０（５２０）	１３．０	Ｌ０＋６（５２６）	２~６	１８	Ａ－１３	Ｄ－１３	１００－１０１－１１４
Ｄ１６	Ｄ１６×Ｌ０（６４０）	１６．０	Ｌ０＋６（６４６）	２~６	２０	Ａ－１６	Ｄ－１６	１００－１０１－０１２
Ｄ１９	Ｄ１９×Ｌ０（７６０）	１９．１	Ｌ０＋７（７６７）	３~７	２８	Ａ－１９	Ｄ－１９	１００－１０１－１５２
Ｄ２２	Ｄ２２×Ｌ０（８８０）	２２．２	Ｌ０＋７（８８７）	３~７	３０	Ａ－２２	Ｄ－２２	１００－１０１－１４０
Ｄ２５	Ｄ２５×Ｌ０（１０００）	２５．４	Ｌ０＋９（１００９）	５~９	３７	Ａ－２５	Ｄ－２５	１００－１０１－０４５

※　スタッドメーカーとフェルールの組合せは限定しない

パイルスタッド（ＫＳＷ４９０）の化学成分および機械的性質

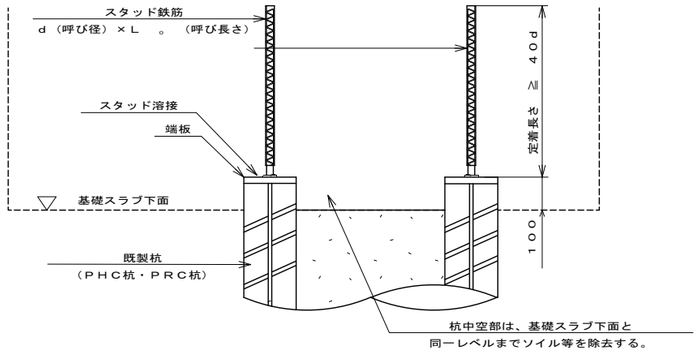
化学成分　（％）						機械的性質		
Ｃ	Ｓｉ	Ｍｎ	Ｐ	Ｓ	Ｃ＋Ｍｎ／６	降伏点（Ｎ／ｍｍ２）	引張強さ（Ｎ／ｍｍ２）	伸び（％）
０．２０以下	０．１５～０．３５	０．３０～０．９０	０．０３５以下	０．０３５以下	０．３５以下	３４５～４４０	４９０以上	２０以上

３．杭頭接合仕様

※杭リストによる

杭仕様			パイルスタッド仕様			備考
杭径	杭種	杭本数	鉄筋径	呼び長さ	本／１杭	

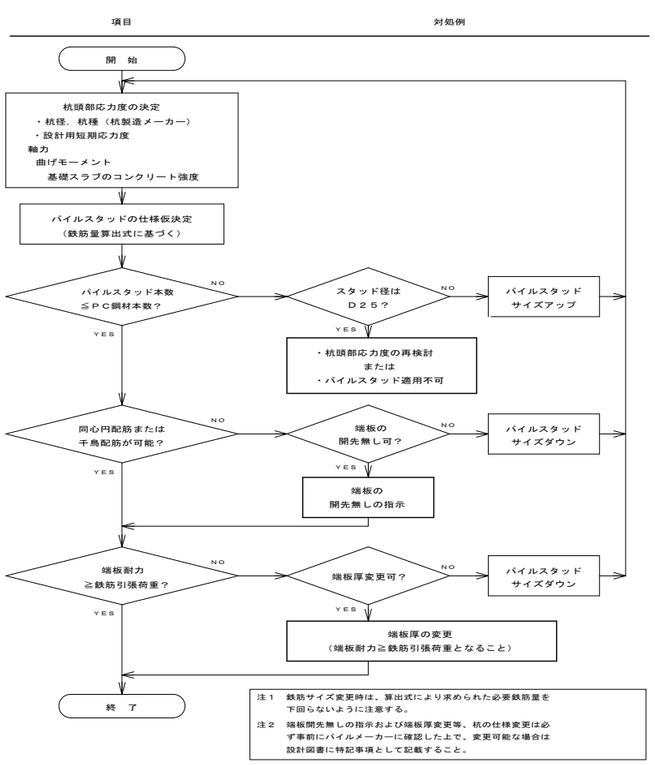
４．杭頭接合構造図



５．設計に関する考え方の一例

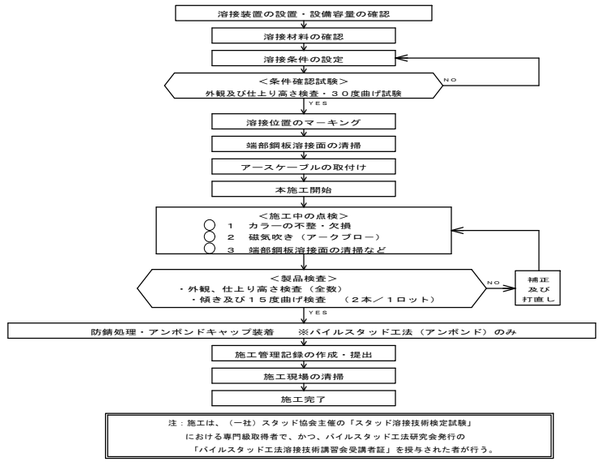
下図設計手順例は、適用にあたっての一つの参考例であり、構造設計者の考え方に基づく適切な設計法により杭頭接合鉄筋量を算出することが望ましい。
詳細は、本工法建設技術審査証明（建築技術）報告書付録による。

設計手順例



６．パイルスタッド工法　標準施工フロー

（詳細は、本工法建設技術審査証明（建築技術）報告書の「施工要領」による）



注：施工は、（一社）スタッド協会主催の「スタッド溶接技術検定試験」における専門級取得者で、かつ、パイルスタッド工法研究会発行の「パイルスタッド工法溶接技術講習会受講者証」を授与された者が行う。

７．製品検査規定

頻度	検査項目	検査方法	判定基準
全数検査	外観検査	目視	カラーが軸部全周に包囲して、アンダーカットの無いこと
	仕上り高さ	ゲージ等による	設計寸法－０mm～＋４mm
抜取検査	傾き検査	ゲージ等による	$\theta \leqq 5^{\circ}$
	曲げ検査	パイプ曲げ等による	溶接部に割れなどの欠陥が生じないこと

８．パイルスタッドの配筋規定

（詳細は、本工法建設技術審査証明（建築技術）報告書付録の「配置計画」による）

１）　フェルール外殻が端板の開先やＰＣ鋼材孔と重ならない位置に溶接する。

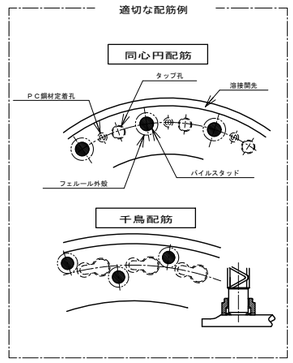
２）　ＰＣ鋼材径と同心円上の位置への配筋を基本とする。（同心円配筋）

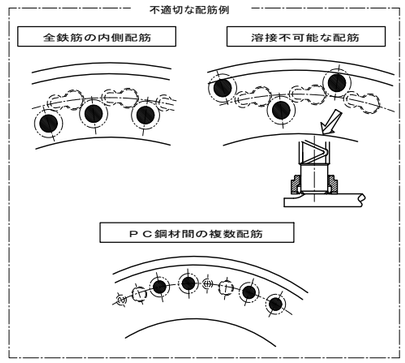
３）　同心円配筋ができない程ＰＣ鋼材間が狭隘な場合、フェルールをＰＣ鋼材孔の同心円上の外側、内側と交互に配筋する。（千鳥配筋）

４）　杭当たりの配筋本数は、６本以上かつＰＣ鋼材本数以下を原則とする。

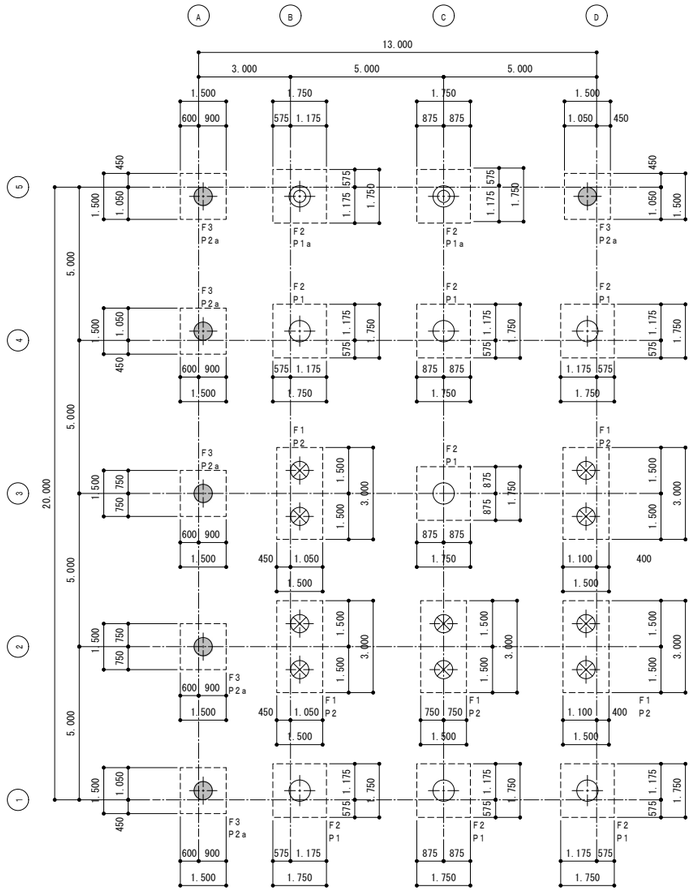
５）　ＰＣ鋼材孔間に２本以上配筋しないことを原則とする。

６）　パイルスタッドのあきは、基礎スラブコンクリート粗骨材最大寸法の１．２５倍以上かつパイルスタッド公称直径の１．５倍以上とする。
また、パイルスタッド中心とＰＣ鋼材中心は２０mm程度離す。



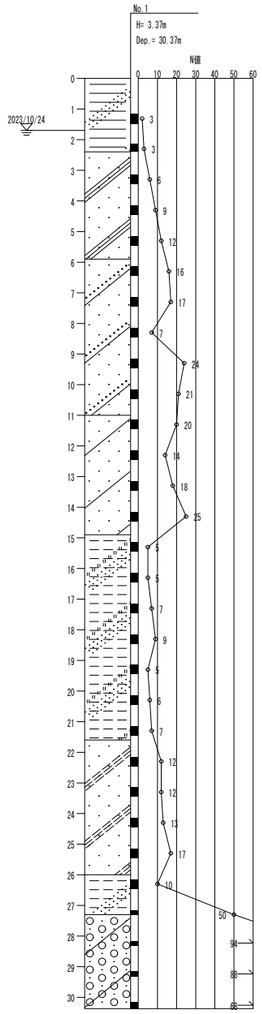


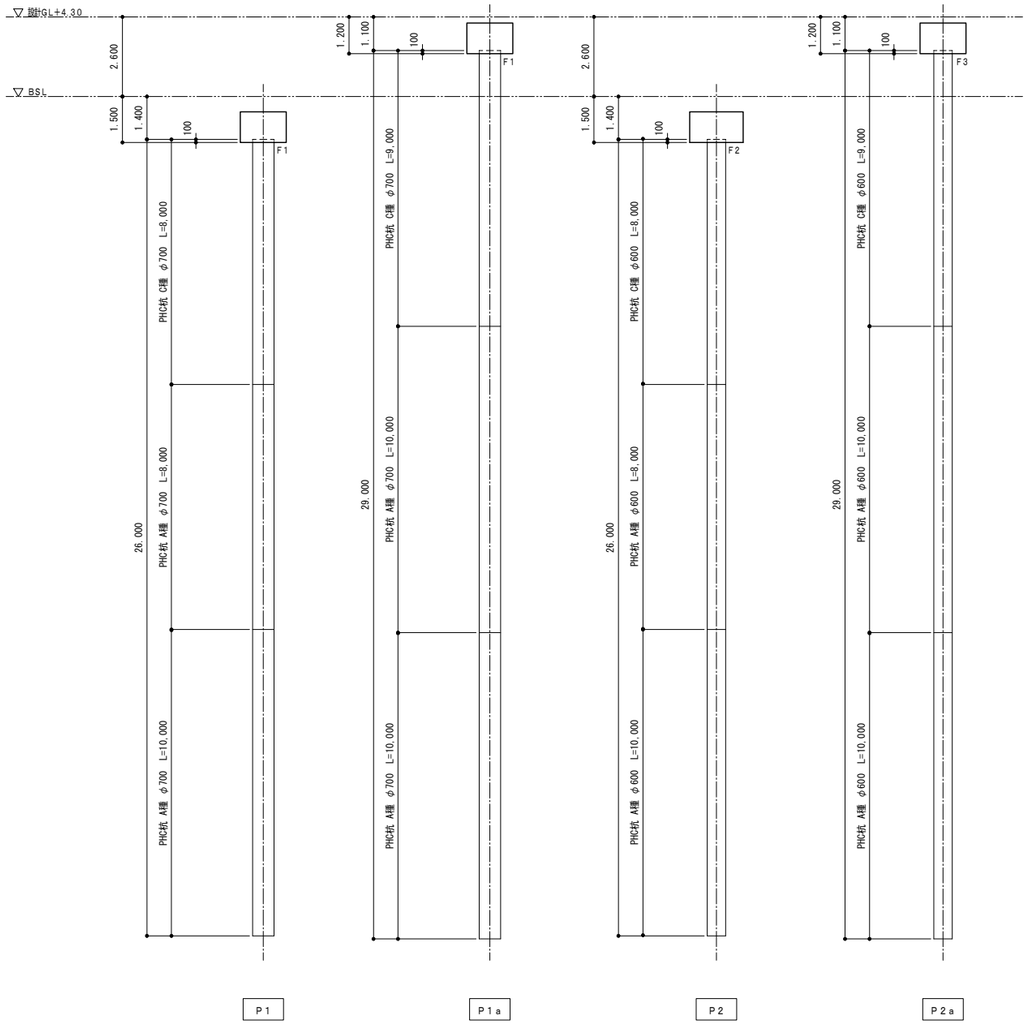
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	パイルスタッド工法設計・施工標準図		
縮　尺	NON	図面番号	2-4-5-S7
藍　住　町　上　下　水　道　課			



杭伏図 S＝1／100

符号凡例
1. P1　杭符号
2. F1　基礎符号





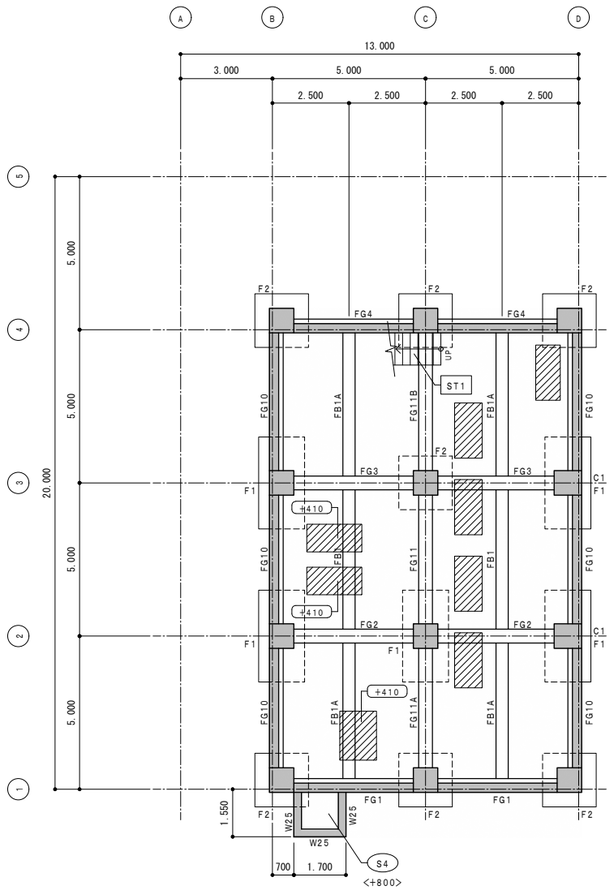
P1　P1a　P2　P2a

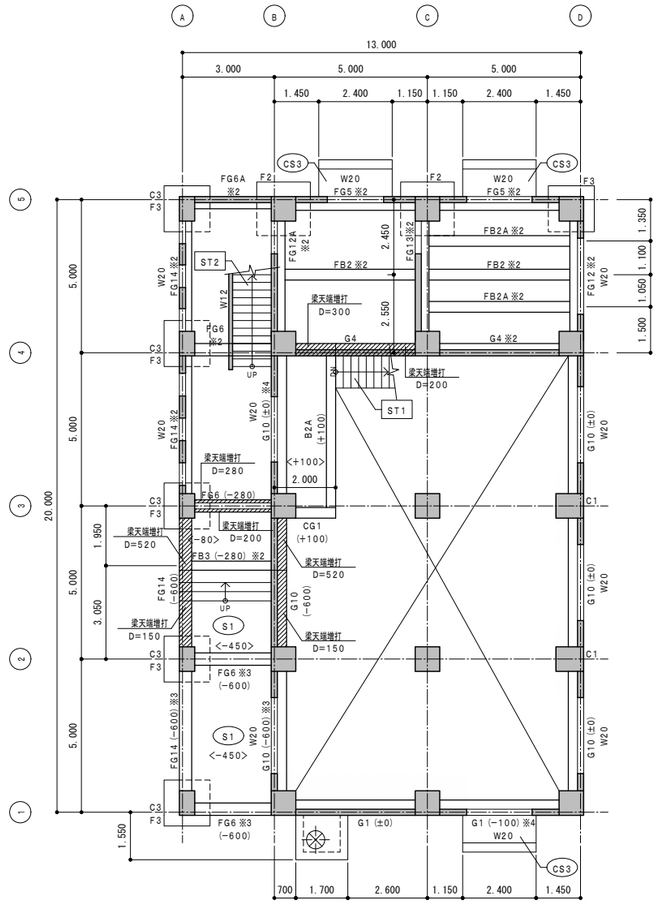
杭断面図 S＝1／100

杭リスト

杭符号		P1				P1a				P2				P2a			
杭種別	上杭	PHC杭 C種				PHC杭 C種				PHC杭 C種				PHC杭 C種			
	中杭	PHC杭 A種				PHC杭 A種				PHC杭 A種				PHC杭 A種			
	下杭	PHC杭 A種				PHC杭 A種				PHC杭 A種				PHC杭 A種			
杭径		φ700				φ700				φ600				φ600			
杭長		上杭	中杭	下杭	合計	上杭	中杭	下杭	合計	上杭	中杭	下杭	合計	上杭	中杭	下杭	合計
	試験杭	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	一般杭	8.0m	8.0m	10.0m	26.0m	9.0m	10.0m	10.0m	29.0m	8.0m	8.0m	10.0m	26.0m	9.0m	10.0m	10.0m	29.0m
杭本数	試験杭	－ セット				－ セット				－ セット				－ セット			
	一般杭	7 セット				2 セット				10 セット				6 セット			
	合計	7 セット				2 セット				10 セット				6 セット			
備考	工法	ﾌﾞﾚｹﾞｰﾘﾝｸﾞ拡大根固め工法（旧法３８条認定工法） 参考工法：ＲＯＤＥＸ工法　ＴＹＰＥ－２ 先端支持力係数　α＝２５０				ﾌﾞﾚｹﾞｰﾘﾝｸﾞ拡大根固め工法（旧法３８条認定工法） 参考工法：ＲＯＤＥＸ工法　ＴＹＰＥ－２ 先端支持力係数　α＝２５０				ﾌﾞﾚｹﾞｰﾘﾝｸﾞ拡大根固め工法（旧法３８条認定工法） 参考工法：ＲＯＤＥＸ工法　ＴＹＰＥ－２ 先端支持力係数　α＝２５０				ﾌﾞﾚｹﾞｰﾘﾝｸﾞ拡大根固め工法（旧法３８条認定工法） 参考工法：ＲＯＤＥＸ工法　ＴＹＰＥ－２ 先端支持力係数　α＝２５０			
	支持力 長期押込	１,４００ｋＮ／本				１,４００ｋＮ／本				１,０００ｋＮ／本				１,０００ｋＮ／本			
	支持力 短期引抜	１８０ｋＮ／本				１８０ｋＮ／本				１６０ｋＮ／本				１６０ｋＮ／本			
	試験杭	－				－				－				－			
	継手	機械式継手				機械式継手				機械式継手				機械式継手			
	杭頭補強	補強方法　パイルスタッド工法または同等工法 補強鉄筋　１２－Ｄ１９				補強方法　パイルスタッド工法または同等工法 補強鉄筋　１２－Ｄ１９				補強方法　パイルスタッド工法または同等工法 補強鉄筋　９－Ｄ１９				補強方法　パイルスタッド工法または同等工法 補強鉄筋　９－Ｄ１９			
	その他	1　杭材のコンクリート強度は、８５Ｎ／ｍｍ２とする。 2　支持層確認のため、試験掘(空掘)又は試験杭(本杭兼用)を１カ所行う。試験位置は係員と協議の上決定のこと。 3　計算上見込まれている杭施工誤差による偏心距離は１００ｍｍとする。																

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	基礎杭構造図		
縮　尺	1/100	図面番号	2-4-5-S8
藍　住　町　上　下　水　道　課			





基礎・地階

（BSL）

特記なき限り下記による

1. X方向大梁をY方向に先行して配筋するものとする
2. 大梁天端高はBSL〔設計GL−2,600〕−200、小梁天端高はBSL−230とし、各々下がった分の天端増打を設ける
3. 柱　C2
4. 壁　EW30
5. スラブ　S3
   BSLと異なるスラブ天端高さを<+000>に示す
6. ST※　階段
7. ▨　コンクリート機器架台
   天端高さをBSL＋495とし、その他は1SLからの高さを　+000　に示す

1 階

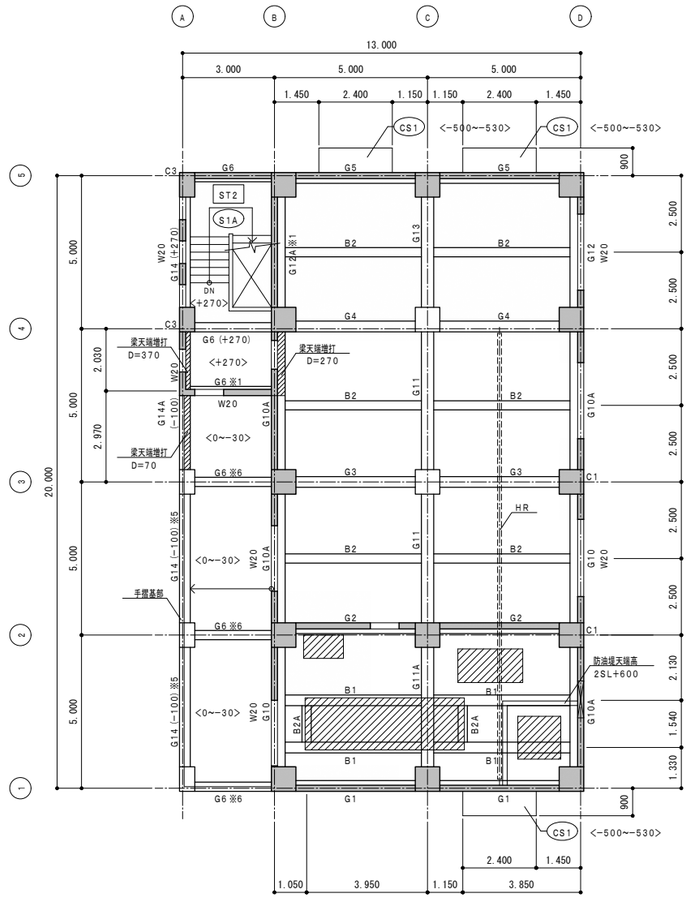
（1SL）

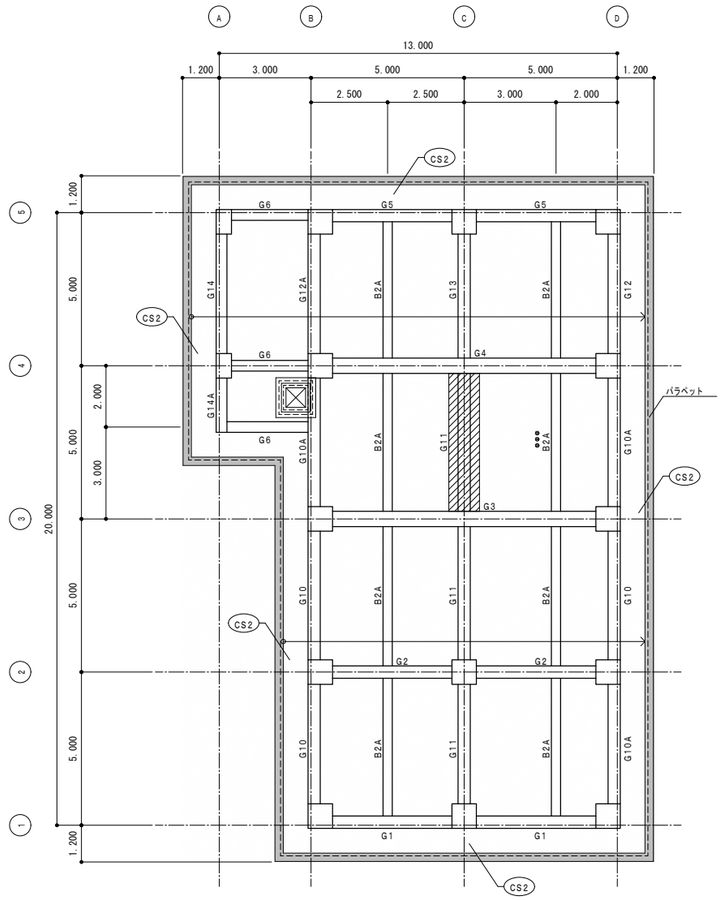
特記なき限り下記による

1. Ⓐ−Ⓑ　X方向大梁をY方向に先行して配筋するものとする
   Ⓑ−Ⓓ　Y方向大梁をX方向に先行して配筋するものとする
2. 梁天端高は1SL〔設計GL＋500〕−200とし、他は1SLからの高さを符号後に（ ）で併記する
3. 梁天端増打 梁符号に※がつく部材の増し打ち高さは次による
   ※2：200、※3：150、※4：100
   ▨　部分的な梁増打範囲を示す
4. 柱　C2
5. 壁　EW20
6. スラブ　S3
   1SLと異なるスラブ天端高さを<+000>に示す
7. ST※　階段

基礎・地階・1階梁伏図 S＝1／100

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	基礎・地階・1階梁伏図		
縮　尺	1/100	図面番号	2-4-5-S9
藍　住　町　上　下　水　道　課			





2 階
（2SL）

特記なき限り下記による

1. Y方向大梁をX方向に先行して配筋するものとする
2. 梁天端高は2SLとし、他は2SLからの高さを符号後に（ ）で併記する
3. 梁天端増打 梁符号に※がつく部材の増し打ち高さは次による
   ※1：270、※5：70、※6：30
   ▨ 部分的な梁増打範囲を示す
4. 柱　C2
5. 壁　EW20
6. スラブ　S3
   2SLと異なるスラブ天端高さを<+○○○>に示す
7. ▨ コンクリート機器架台
   天端高さを2SL+400とする
8. HR　ホイストレール（10kN吊り） I-250×125×7.5×12.5

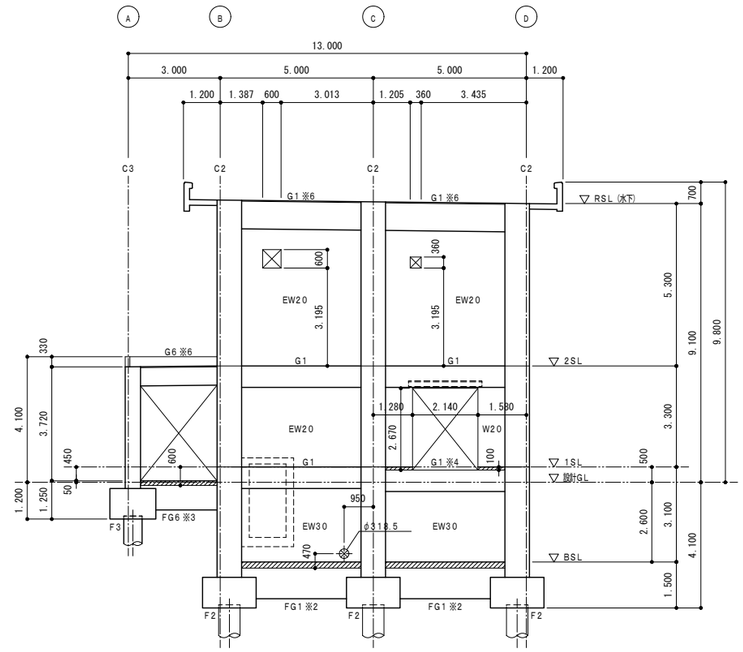
屋 根
（RSL）

特記なき限り下記による

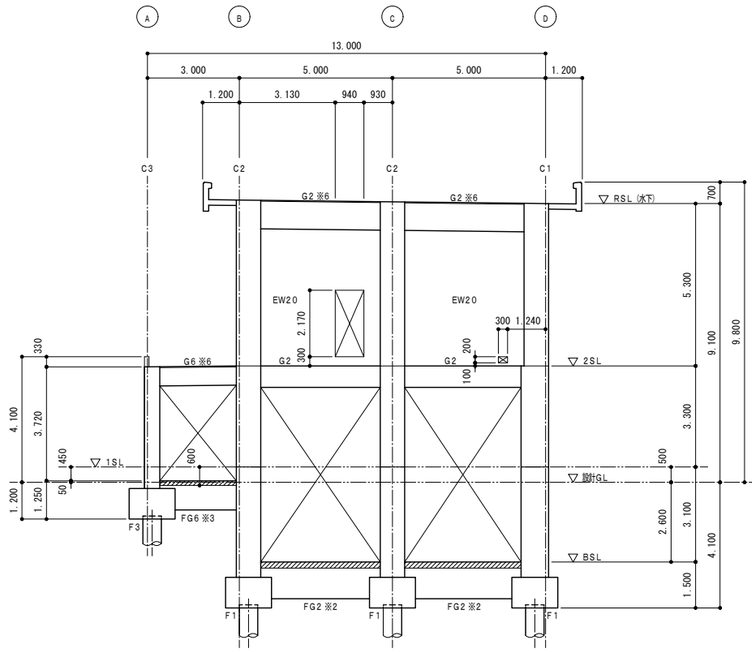
1. X方向大梁をY方向に先行して配筋するものとする
2. 梁天端高は通り芯におけるRSLからの高さを-30とし、下がる分の増打ちをおこなう
3. スラブ　S2
4. 軒の出寸法は意匠寸法を示す
5. ▨ コンクリート機器架台
   天端高さをRSL+200とする

2階・屋根梁伏図 S=1／100

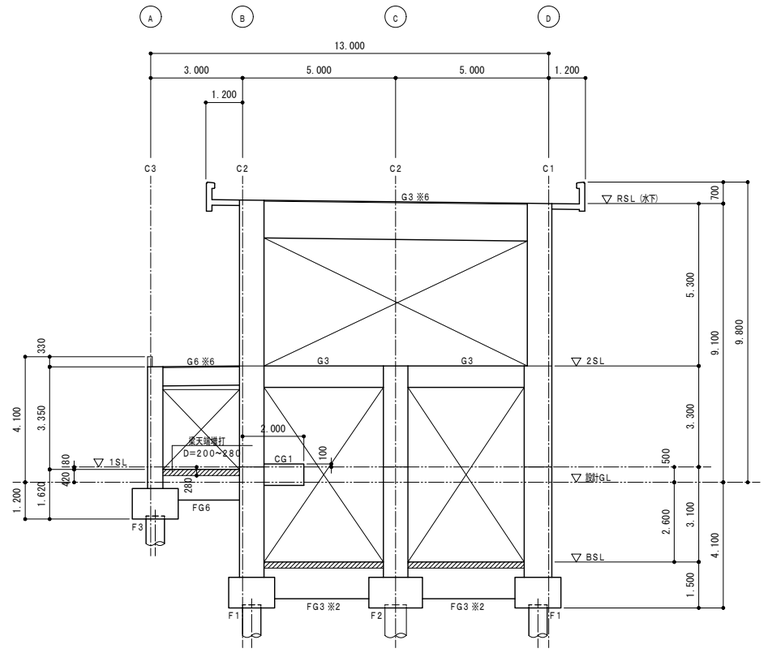
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	2階・屋根梁伏図		
縮　尺	1/100	図面番号	2-4-5-S10
藍　住　町　上　下　水　道　課			



① 通り



② 通り



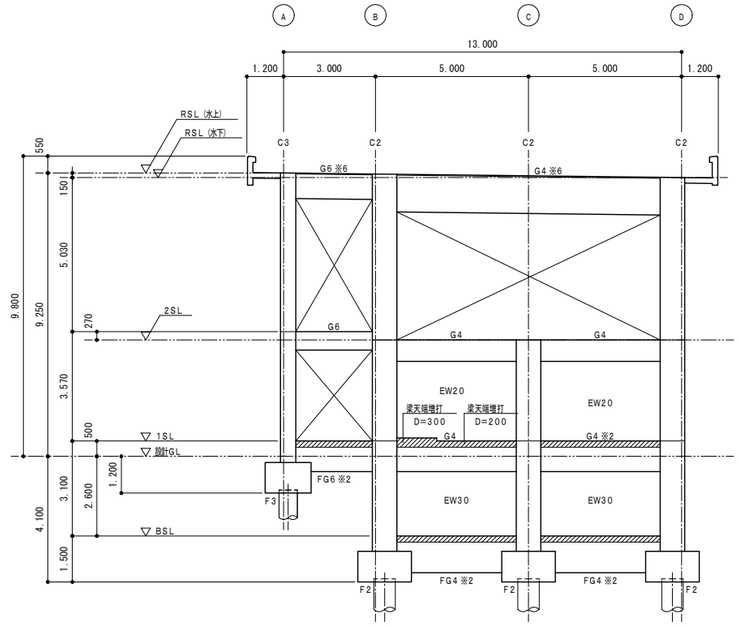
③ 通り

軸組図1 S＝1／100

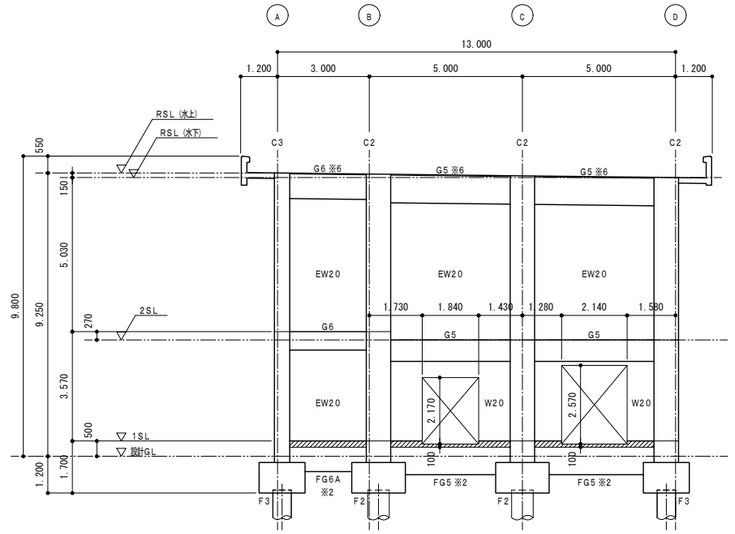
特記なき限り下記による

1. ▨ 梁天端増打範囲を示す
2. 梁天端増打 梁符号に※がつく部材の増し打ち高さは次による
   ※1：270、※2：200、※3：150、※4：100、※5：70、※6：30
3. 開口寸法は、図示寸法を超えない範囲で軽微な変更可能

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	軸組図1　1,2,3通		
縮　尺	1/100	図面番号	2-4-5-S11
藍　住　町　上　下　水　道　課			



④ 通り



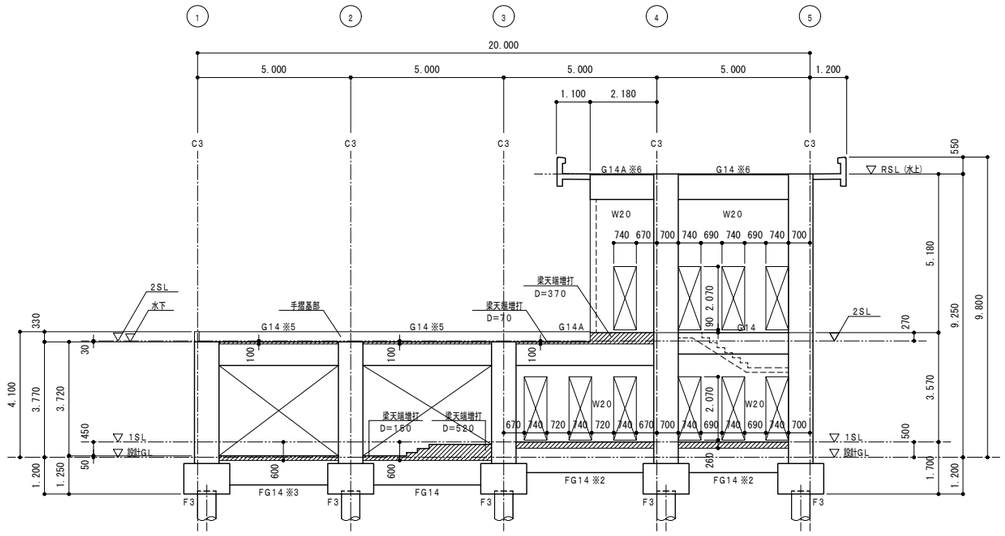
⑤ 通り

軸組図2 S＝1／100

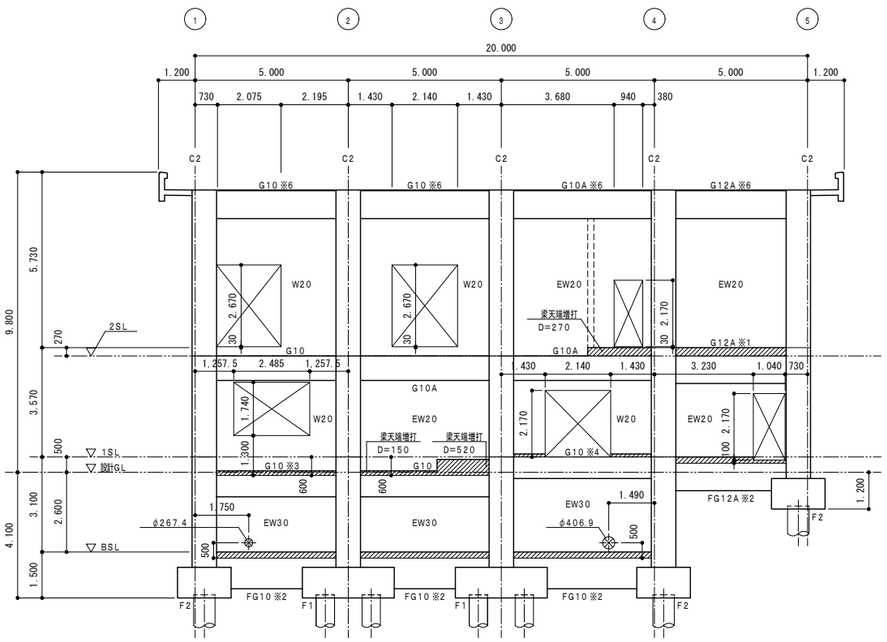
特記なき限り下記による

1. ▨ 梁天端増打範囲を示す
2. 梁天端増打 梁符号に※がつく部材の増し打ち高さは次による
   ※1：270、※2：200、※3：150、※4：100、※5：70、※6：30
3. 開口寸法は、図示寸法を超えない範囲で軽微な変更可能

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	軸組図2 4,5通		
縮 尺	1/100	図面番号	2-4-5-S12
藍 住 町 上 下 水 道 課			



Ⓐ 通り



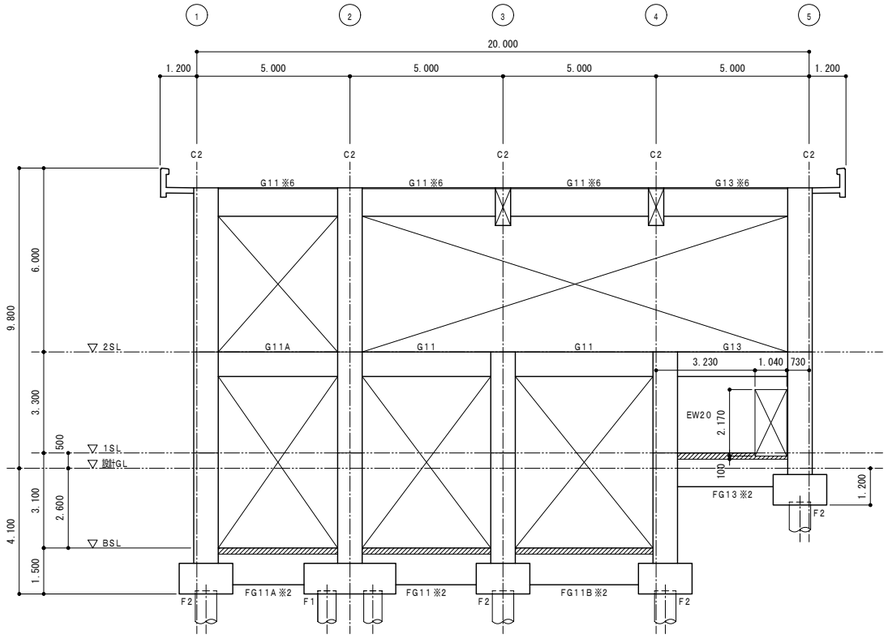
Ⓑ 通り

軸組図3 S＝1／100

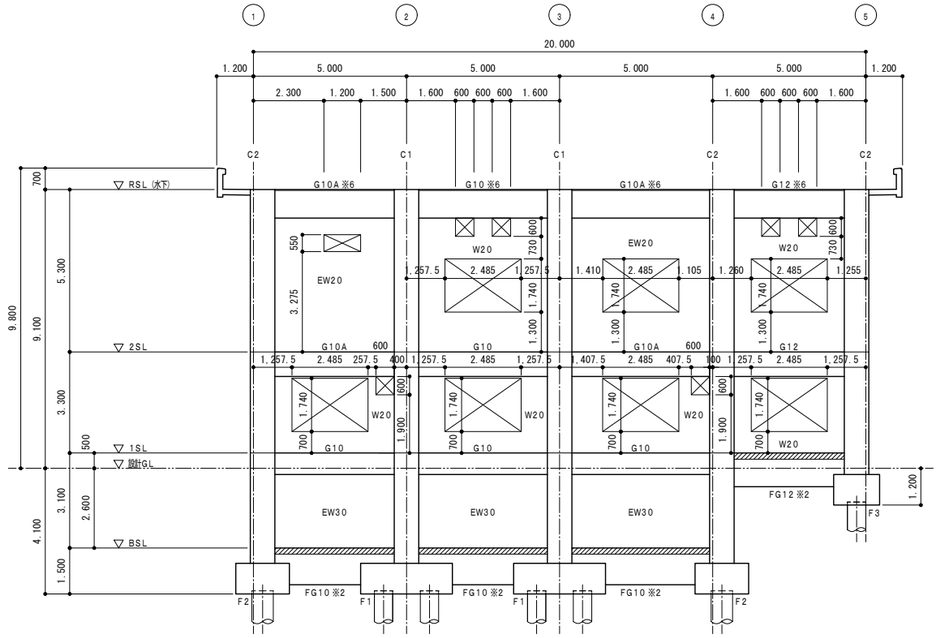
特記なき限り下記による

1. ▨ 梁天端増打範囲を示す
2. 梁天端増打 梁符号に※がつく部材の増し打ち高さは次による
   ※1：270、※2：200、※3：150、※4：100、※5：70、※6：30
3. 開口寸法は、図示寸法を超えない範囲で軽微な変更可能

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	軸組図3　A,B通		
縮　尺	1/100	図面番号	2-4-5-S13
藍　住　町　上　下　水　道　課			



Ⓒ 通り



Ⓓ 通り

軸組図4 S＝1／100

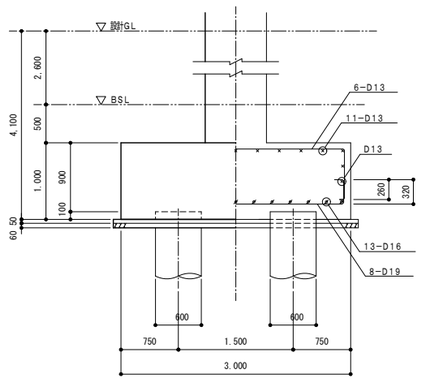
特記なき限り下記による

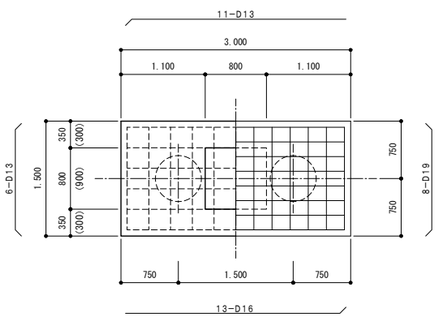
1. ▨ 梁天端増打範囲を示す
2. 梁天端増打 梁符号に※がつく部材の増し打ち高さは次による
   ※1：270、※2：200、※3：150、※4：100、※5：70、※6：30
3. 開口寸法は、図示寸法を超えない範囲で軽微な変更可能

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	軸組図4 C,D通		
縮 尺	1/100	図面番号	2-4-5-S14
藍 住 町 上 下 水 道 課			

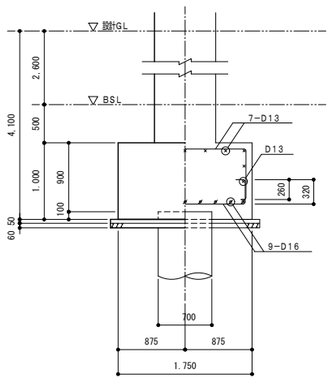
基礎リスト S＝1／40

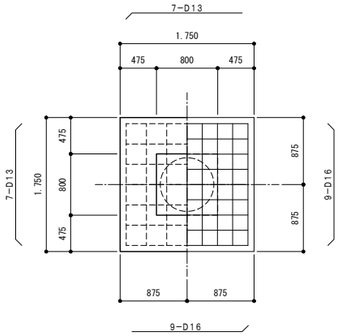
F1



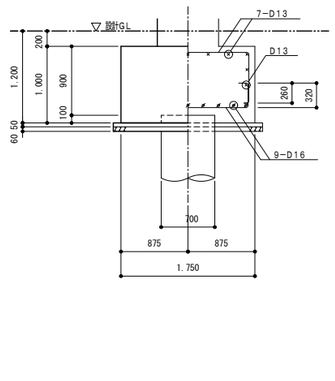


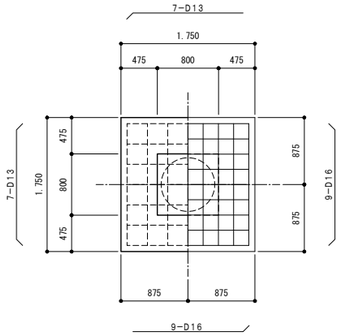
F2



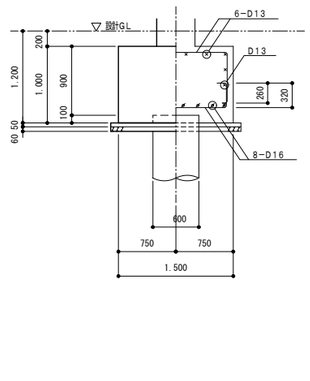


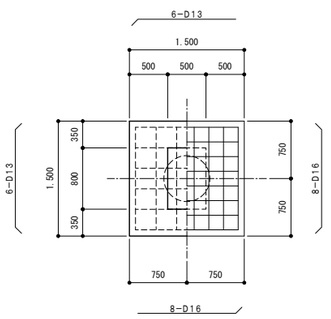
F2
(⑤通り)





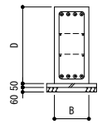
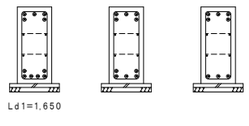
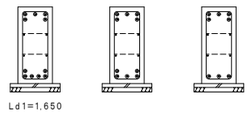
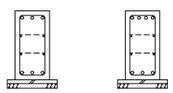
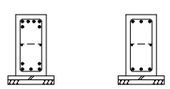
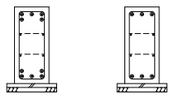
F3

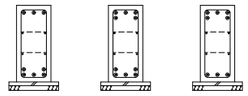
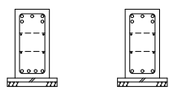




工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	基礎リスト		
縮　尺	1/40	図面番号	2-4-5-S15
藍　住　町　上　下　水　道　課			

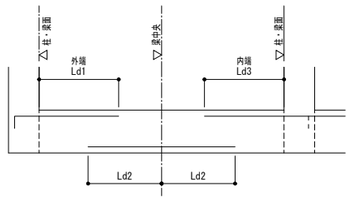
基礎大梁リスト S＝1／40

符　号	FG1	FG2			FG3			FG4	FG5		FG6		FG6A	FG10	FG11	FG11A	
位　置	全断面	外　端	中　央	内　端	外　端	中　央	内　端	全断面	Ⓑ, Ⓒ端	Ⓒ端・中央	外端・中央	内　端	全断面	全断面	全断面	外端・中央	内　端
断　面																	
B × D	450×1,000	450×1,000			450×1,000			450×1,000	450×900		400×800		400×800	450×1,000	450×1,000	450×1,000	
上 端 筋	4−D25	5−D25	5−D25	5−D25	5−D25	5−D25	5−D25	4−D25	3−D22	4−D22	6−D19	3−D19	3−D19	4−D25	3−D25	5−D25	3−D25
下 端 筋	4−D25	6−D25	5−D25	3−D25	6−D25	5−D25	3−D25	4−D25	3−D22	3−D22	5−D19	3−D19	3−D19	4−D25	3−D25	5−D25	3−D25
S　T	□−D13 @200	□−D13 @100	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D13 @100	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D13 @200		□−D13 @200		□−D13 @200	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D13 @200	
腹　筋	4−D10	4−D10			4−D10			4−D10	4−D10		2−D10		2−D10	4−D10	4−D10	4−D10	
巾止め筋	D10 @1,000	D10 @1,000			D10 @1,000			D10 @1,000	D10 @1,000		D10 @1,000		D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	
備　考																	

符　号	FG11B			FG12		FG12A	FG13	FG14
位　置	外　端	中　央	内　端	外端・中央	内　端	全断面	全断面	全断面
断　面								
B × D	450×1,000			450×900		450×900	450×900	400×800
上 端 筋	3−D25	5−D25	5−D25	5−D22	5−D22	5−D22	5−D22	5−D19
下 端 筋	5−D25	5−D25	3−D25	4−D22	3−D22	4−D22	4−D22	5−D19
S　T	□−D13 @200			□−D13 @200		□−D13 @200	□−D13 @200	□−D13 @200
腹　筋	4−D10			4−D10		4−D10	4−D10	2−D10
巾止め筋	D10 @1,000			D10 @1,000		D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000
備　考								

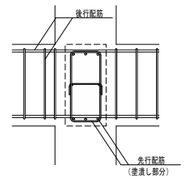
大梁カットオフ筋定着位置 凡例

特記なきカットオフ筋の定着位置は、構造関係共通図（配筋標準図）に準じる。
上記リスト中、Ld1、Ld2、Ld3の記載のある梁は下図の位置、または配筋標準図の余長のうち、長くなる位置まで延長して定着するものとする。

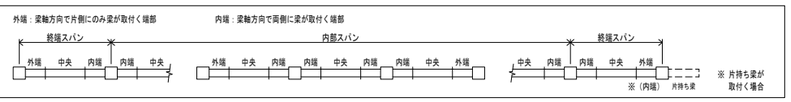


大梁主筋上下関係（先行、後行区分）

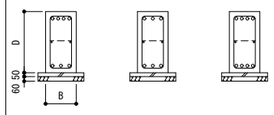
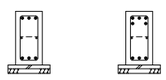
本図は基礎梁および一般階梁に適用する



大梁 外端・内端 凡例



基礎小梁リスト S＝1／40

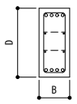
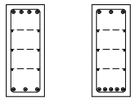
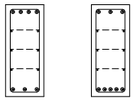
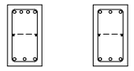
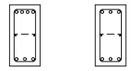
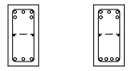
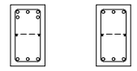
符　号	FB1			FB1A		FB2		FB2A		FB3
位　置	② 端	中　央	③ 端	外端・中央	内　端	外端・中央	内　端	両　端	中　央	全断面
断　面										
B × D	400×800			400×800		350×700		350×700		300×600
上 端 筋	4−D22	3−D22	4−D22	3−D22	4−D22	3−D19	5−D19	3−D19	3−D19	3−D16
下 端 筋	3−D22	3−D22	4−D22	3−D22	3−D22	3−D19	3−D19	3−D19	5−D19	3−D16
S　T	□−D13 @200			□−D13 @200		□−D10 @200		□−D10 @200		□−D10 @200
腹　筋	2−D10			2−D10		2−D10		2−D10		2−D10
巾止め筋	D10 @1,000			D10 @1,000		D10 @1,000		D10 @1,000		D10 @1,000
備　考										

小梁 外端・内端 凡例



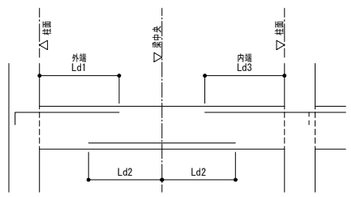
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	基礎梁リスト		
縮　尺	1/40	図面番号	2-4-5-S16
藍　住　町　上　下　水　道　課			

大梁リスト S＝1／40

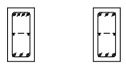
階	符　号	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G10	G10A	G11	G11A	G12	G12A	G13	G14	G14A
RF	位　置	全断面	全断面	両 端　中 央	両 端　中 央	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
	断　面															
	B × D	400×900	400×900	500×1,200	500×1,200	400×900	350×800	400×900	400×900	400×900		400×900	400×900	400×900	350×800	350×800
	上 端 筋	4−D22	4−D22	4−D25　3−D25	4−D25　3−D25	4−D22	4−D19	4−D22	4−D22	3−D22		3−D22	4−D22	3−D22	3−D19	4−D19
	下 端 筋	4−D22	4−D22	3−D25　5−D25	3−D25　5−D25	4−D22	4−D19	3−D22	4−D22	3−D22		3−D22	4−D22	3−D22	3−D19	3−D19
	S　T	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D10 @200	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D13 @200		□−D13 @200	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D10 @200	□−D10 @200
	腹　筋	4−D10	4−D10	6−D10	6−D10	4−D10	2−D10	4−D10	4−D10	4−D10		4−D10	4−D10	4−D10	2−D10	2−D10
	巾止め筋	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000		D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000
	備　考															
2F	位　置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	両 端　中 央	全断面	両 端　中 央	両 端　中 央	外端・中央　内 端	全断面	全断面	全断面	全断面
	断　面							Ld1・Ld3=1,650 		Ld3=1,700 						
	B × D	350×700	350×700	350×700	350×700	350×700	300×600	450×800	450×800	400×800	400×800	450×800	450×900	400×800	350×700	350×700
	上 端 筋	3−D22	3−D22	3−D22	3−D22	3−D22	3−D19	4−D22　3−D22	4−D22	4−D22　3−D22	5−D22　5−D22	5−D22　3−D22	4−D22	4−D22	3−D19	4−D19
	下 端 筋	3−D22	3−D22	3−D22	3−D22	3−D22	3−D19	3−D22　3−D22	4−D22	3−D22　3−D22	3−D22　4−D22	3−D22　3−D22	4−D22	3−D22	3−D19	3−D19
	S　T	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D10 @200	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D13 @200	□−D10 @200	□−D10 @200
	腹　筋	2−D10	2−D10	2−D10	2−D10	2−D10	2−D10	2−D10	2−D10	2−D10	2−D10	2−D10	4−D10	2−D10	2−D10	2−D10
	巾止め筋	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000
	備　考															
1F	位　置	全断面			全断面			全断面								
	断　面															
	B × D	500×700			400×800			500×700								
	上 端 筋	4−D22			4−D22			4−D22								
	下 端 筋	4−D22			3−D22			4−D22								
	S　T	□−D13 @150			□−D13 @200			□−D13 @150								
	腹　筋	2−D22 (定着長35d)			2−D10			2−D22 (定着長35d)								
	巾止め筋	D10 @900			D10 @1,000			D10 @900								
	備　考															

大梁カットオフ筋定着位置 凡例

特記なきカットオフ筋の定着位置は、構造関係共通図（配筋標準図）に準じる。
上記リスト中、Ld1, Ld2, Ld3の記載のある梁は下図の位置、または配筋標準図の余長のうち、長くなる位置まで延長して定着するものとする。

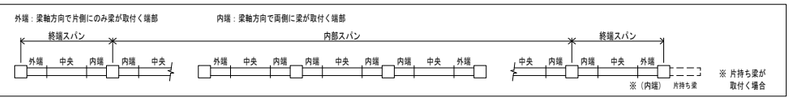


片持梁リスト S＝1／40

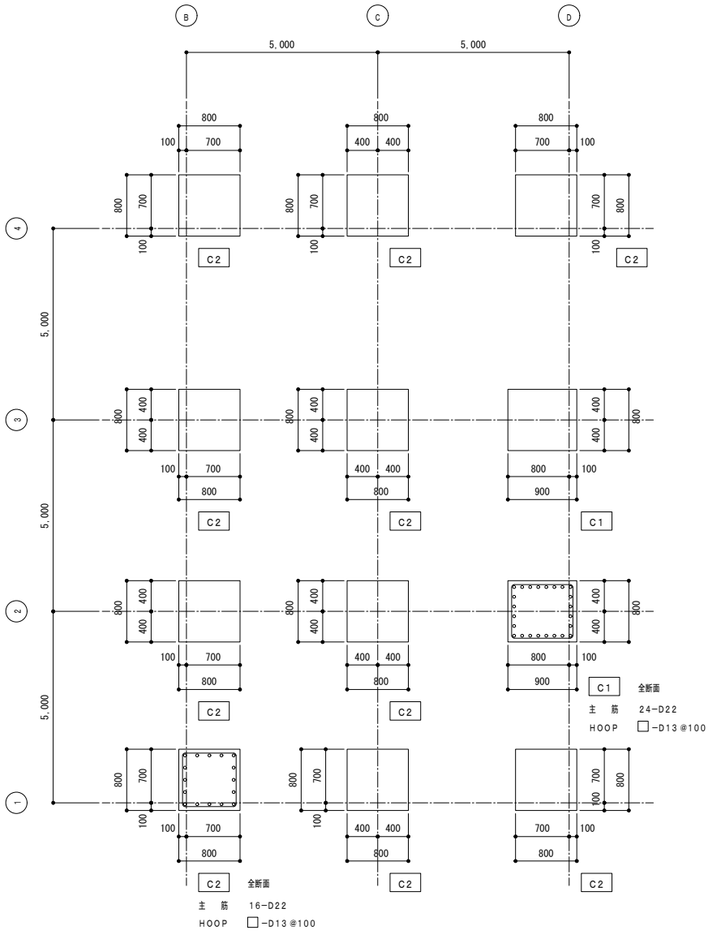
符　号	CG1
位　置	基 端　先 端
断　面	
B × D	350×700
上 端 筋	4−D16　3−D16
下 端 筋	3−D16　3−D16
S　T	□−D10 @200
腹　筋	2−D10
巾止め筋	D10 @1,000

大梁 外端・内端 凡例

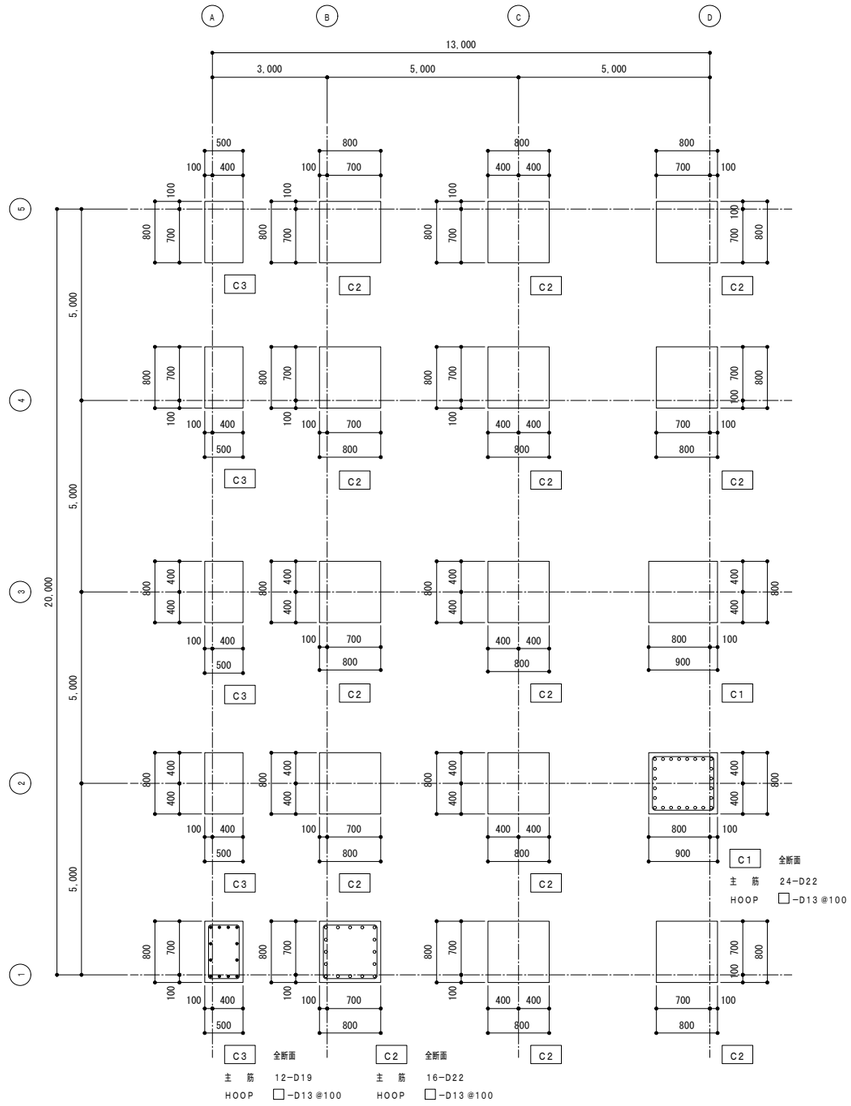
外端：梁軸方向で片側にのみ梁が取付く端部
内端：梁軸方向で両側に梁が取付く端部



工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	大梁リスト		
縮　尺	1/40	図面番号	2-4-5-S17
藍　住　町　上　下　水　道　課			



地階柱リスト



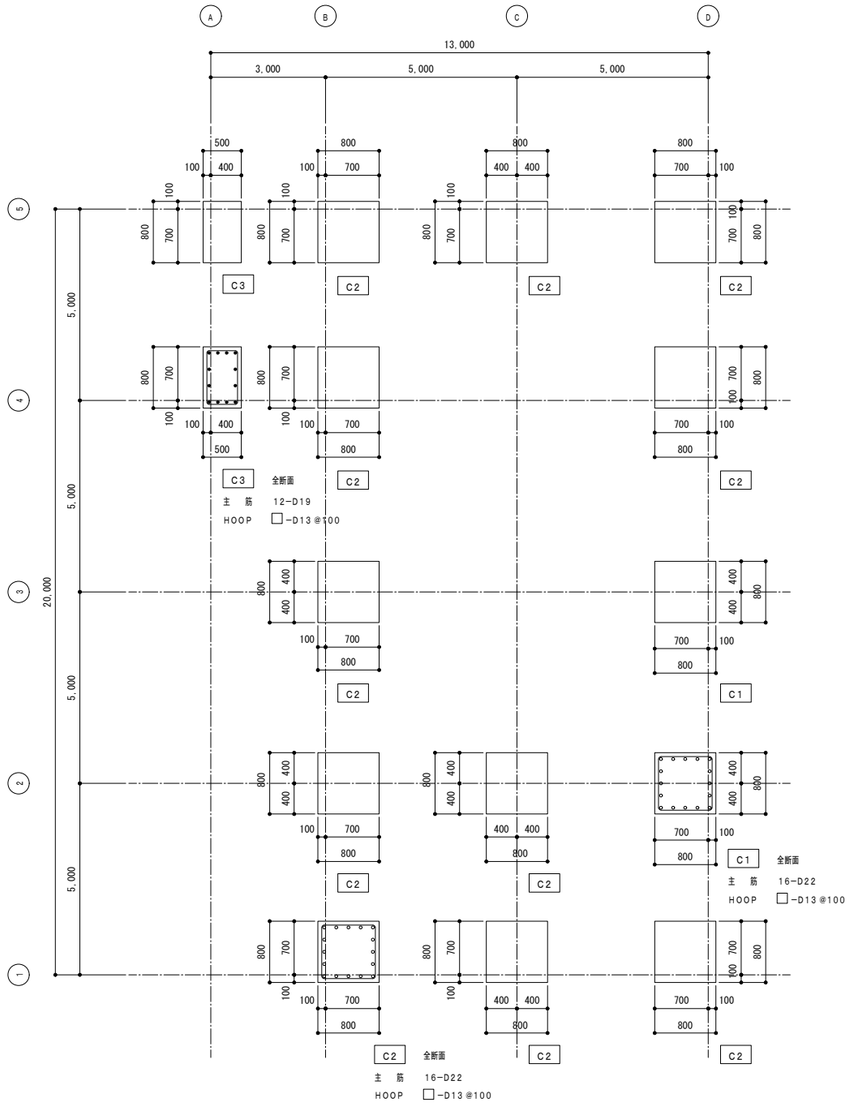
1階柱リスト

地階・1階柱リスト S＝1／40（80）

特記なき限り下記による

1. パネルゾーン　HOOP □-D13@150とする
　ただし、C1パネルゾーン　HOOP □-D13@125とする

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	地階・1階柱リスト		
縮　尺	1/40(80)	図面番号	2-4-5-S18
藍　住　町　上　下　水　道　課			



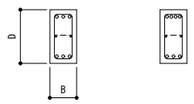
2階柱リスト S＝1／40（80）

特記なき限り下記による

1. パネルゾーン　HOOP □ーD13@150とする

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	2階柱リスト		
縮　尺	1/40(80)	図面番号	2-4-5-S19
藍　住　町　上　下　水　道　課			

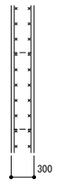
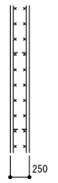
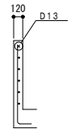
小梁リスト S＝1／40

符　号	B1		B2		B2A
位　置	外端・中央	内　端	外端・中央	内　端	全断面
断　面					
B × D	350×700		300×600		300×600
上 端 筋	3−D22	4−D22	3−D19	5−D19	3−D16
下 端 筋	3−D22	3−D22	3−D19	3−D19	3−D16
S　T	□−D13 @200		□−D10 @200		□−D10 @200
腹　筋	2−D10		2−D10		2−D10
巾止め筋	D10 @1,000		D10 @1,000		D10 @1,000
備　考					

小梁
外端・内端
凡　例



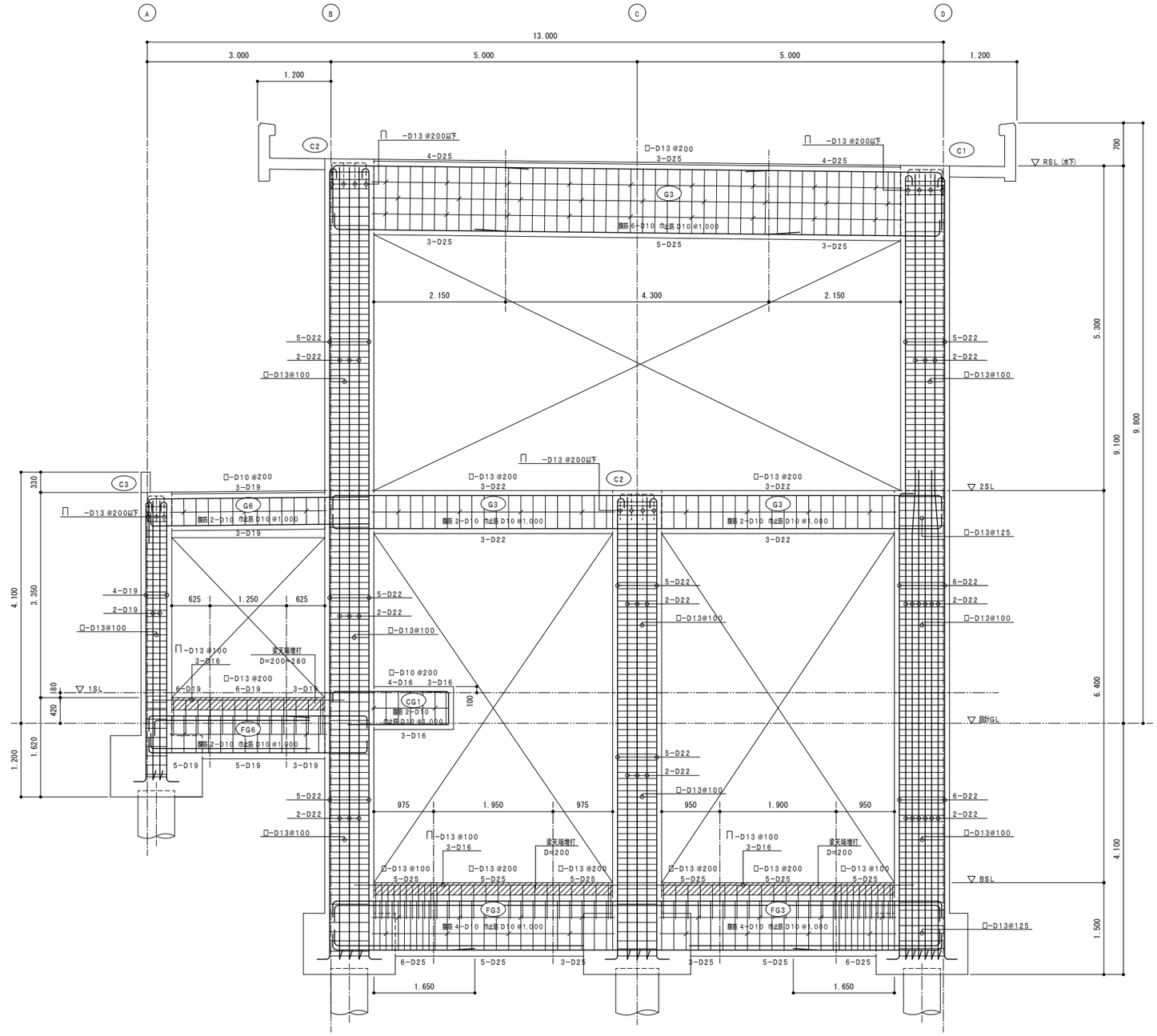
壁リスト S＝1／40

符　号		EW30	W25	EW20・W20	W12
縦断面形状					
主　筋	縦　筋	D13 @200ダブル	D13 @200ダブル	D13 @200ダブル	D10 @150シングル
	横　筋	D13 @200ダブル	D13 @200ダブル	D13 @200ダブル	D10 @150シングル
巾止め筋		D10 @1，000	D10 @1，000	D10 @1，000	−
開口補強筋	縦　筋	2−D13	−	4−D13	−
	横　筋	2−D13	−	4−D13	−
	斜 め 筋	−	−	−	−
備　考					階段手摺

スラブリスト

符　号	版　厚	位　置	短辺方向・片持版主筋		長辺方向・片持版配力筋		備　考
			端　部	中央部	端　部	中央部	
S1	150	上 端 筋	D10・D13 @200	←	D10 @200	←	
		下 端 筋	D10・D13 @200	←	D10 @200	←	
S1A	150	上 端 筋	D10・D13 @200	←	D10 @200	←	
		下 端 筋	D10 @200	←	D10 @200	←	
S2	180	上 端 筋	D10・D13 @200	←	D10・D13 @200	←	
		下 端 筋	D10 @200	←	D10 @200	←	
S3	200	上 端 筋	D13 @200	←	D13 @200	←	
		下 端 筋	D13 @200	←	D13 @200	←	
S4	300	上 端 筋	D13 @200	←	D13 @200	←	
		下 端 筋	D13 @200	←	D13 @200	←	
CS1	150	上 端 筋	D10・D13 @200	←	D10 @250	←	
		下 端 筋	D10 @200	←	D10 @250	←	
CS2	180	上 端 筋	D10・D13 @100	←	D10 @250	←	
		下 端 筋	D10 @200	←	D10 @250	←	
CS3	200	上 端 筋	D13 @100	←	D10 @250	←	
		下 端 筋	D10 @200	←	D10 @250	←	

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	小梁・壁・スラブリスト		
縮　尺	1/40	図面番号	2-4-5-S20
藍　住　町　上　下　水　道　課			



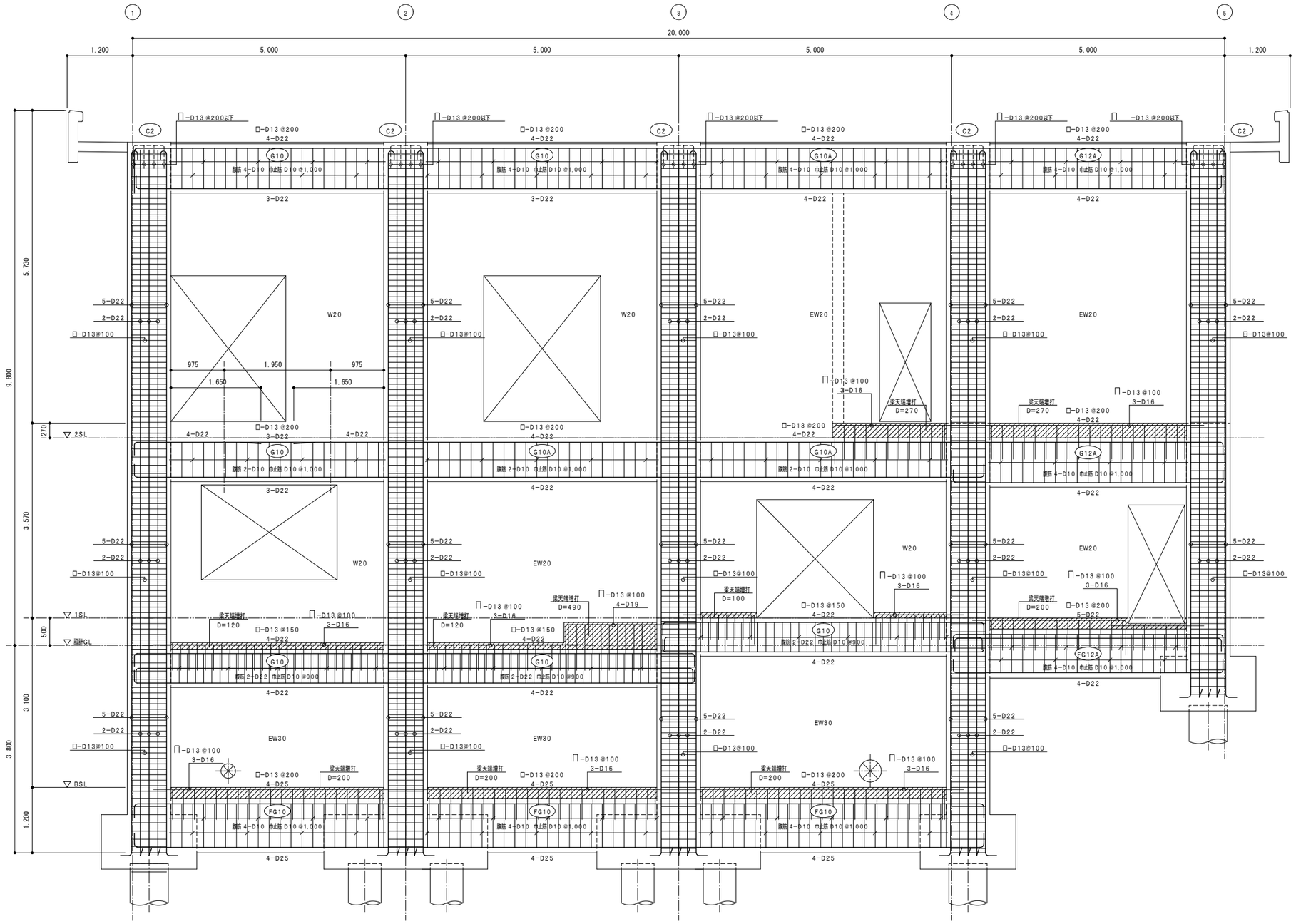
③ 通り

ラーメン配筋詳細図1 S＝1／40

特記なき限り下記による

1. 柱頭は「日本建築学会鉄筋コンクリート造配筋指針」9.3 柱 (1) (a) 形とする
2. パネルゾーン HOOP □−D13@150とする

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	ラーメン配筋詳細図1		
縮 尺	1/40	図面番号	2-4-5-S21
藍 住 町 上 下 水 道 課			



Ⓑ 通り

ラーメン配筋詳細図2 S＝1／40

特記なき限り下記による

1. 柱頭は「日本建築学会鉄筋コンクリート造配筋指針」9.3 柱 (1) (a) 形とする
2. パネルゾーン HOOP □ーD13@150とする

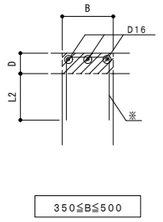
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	ラーメン配筋詳細図2		
縮 尺	1/40	図面番号	2-4-5-S22
藍 住 町 上 下 水 道 課			

各部配筋詳細図 S＝1／30

注） コンクリート増打

梁天端増打補強　70≦D≦300

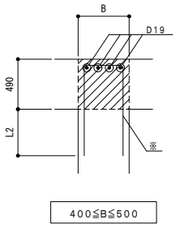
注）1.※はSTと同径、同材質、同間隔
　　2.増打補強主筋の柱への定着長さは20dとする



350≦B≦500

梁天端増打補強

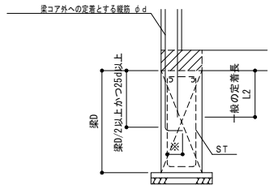
注）1.※はSTと同径、同材質、同間隔
　　2.増打補強主筋の柱への定着長さは20dとする



400≦B≦500

基礎梁側面と同面となる壁（t≦200）の縦筋定着

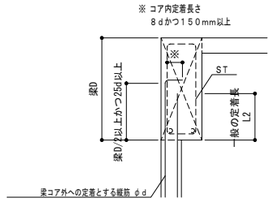
注）t≦200の壁の同面側縦筋は基礎梁コア外
　　への定着とする
　　t＞200の壁への適用は特記による



※ コア内定着長さ
　8dかつ150mm以上

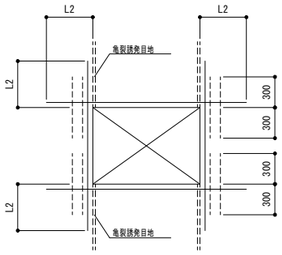
梁側面と同面となる壁（t≦200）の縦筋頂部定着

注）t≦200の壁の同面側縦筋は梁コア外
　　への定着とする



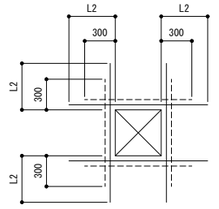
壁開口補強　W20　600＜最大開口辺長

注）1. 亀裂誘発目地を設ける矩形開口部に適用する
　　2. 補強筋 ——— 径、本数は壁リストによる
　　3. ひび割れ分散筋 - - - - 補強筋の縦筋と同径
　　4. 梁、柱との空き寸法が200mm以下の箇所は補強不要
　　とする



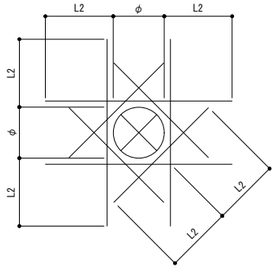
壁開口補強　W20　200＜最大開口辺長≦600

注）1. 補強筋 ——— 2－D13
　　2. ひび割れ分散筋 - - - - 2－D13
　　3. 梁、柱との空き寸法が200mm以下の箇所は補強不要
　　とする



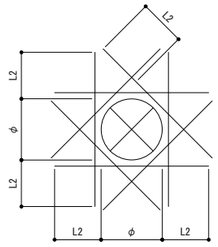
壁（t＝300）円形開口補強

注） 1.補強筋径は壁リストによる
　　2.梁、柱との空き寸法が200mm以下の側は
　　補強筋不要とする

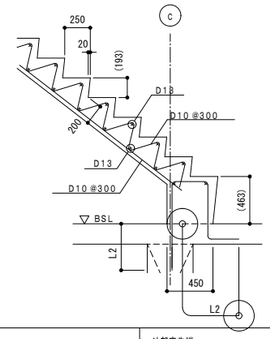


ハンドホール床版円形開口補強　φ600

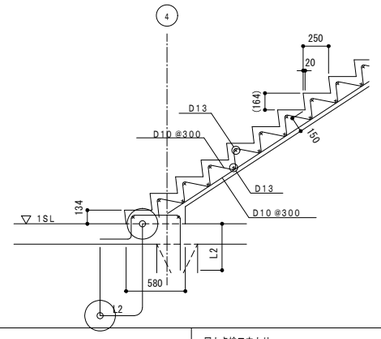
注）補強筋　縦・横筋　2－D10
　　斜筋　2－D10



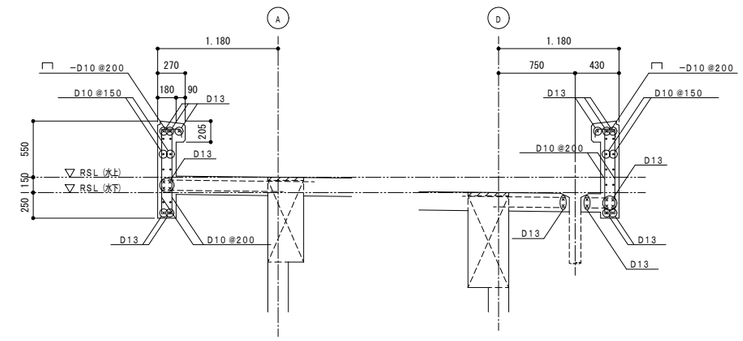
ポンプ室階段（片持式階段）　ST1



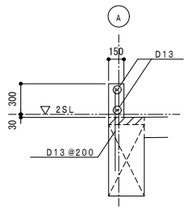
階段室（片持式階段）　ST2



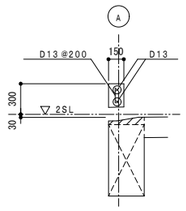
パラペット



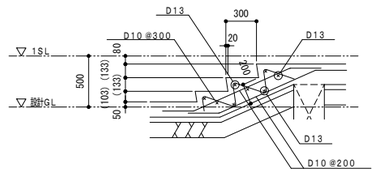
搬入デッキ 手摺基部



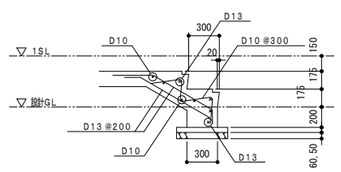
搬入デッキ ルーフドレン部



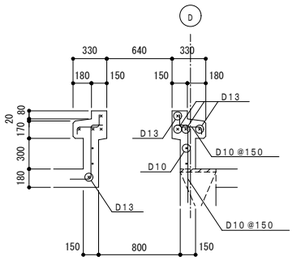
ピロティ階段



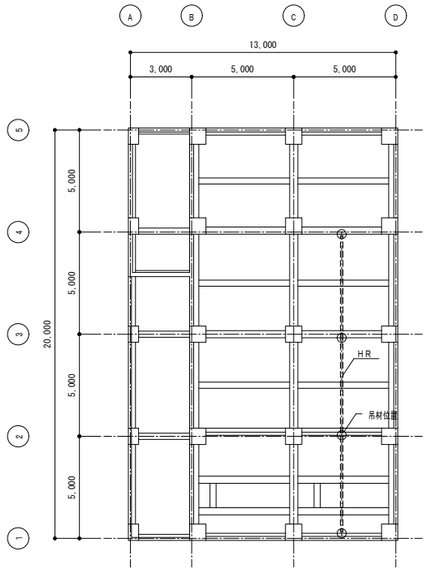
外部床先端



屋上点検口立上り

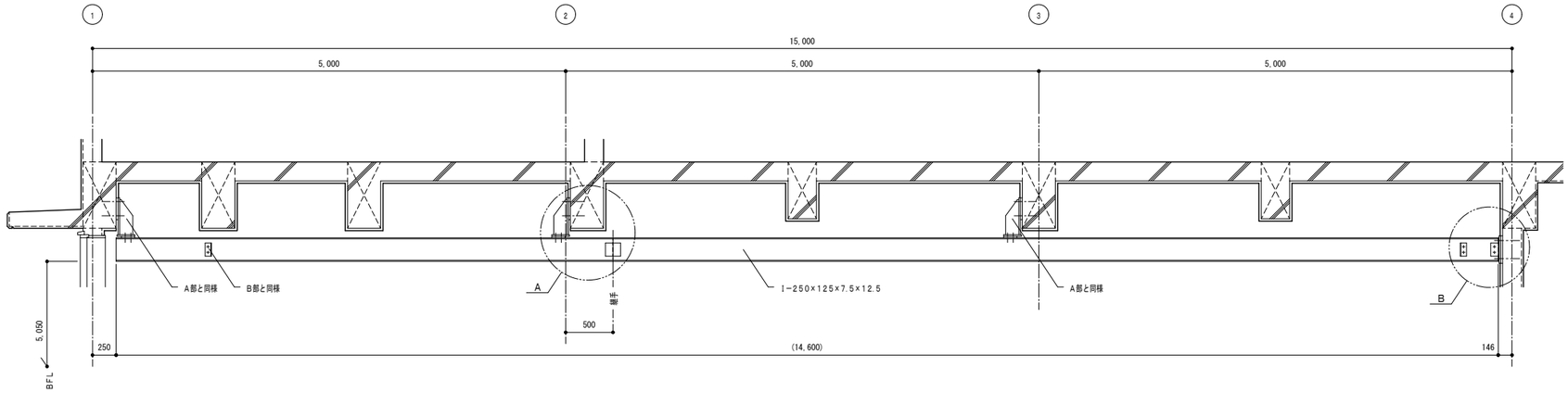


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事
図面名	各部配筋詳細図
縮　尺	1/30
図面番号	2-4-5-S23
藍　住　町　上　下　水　道　課	

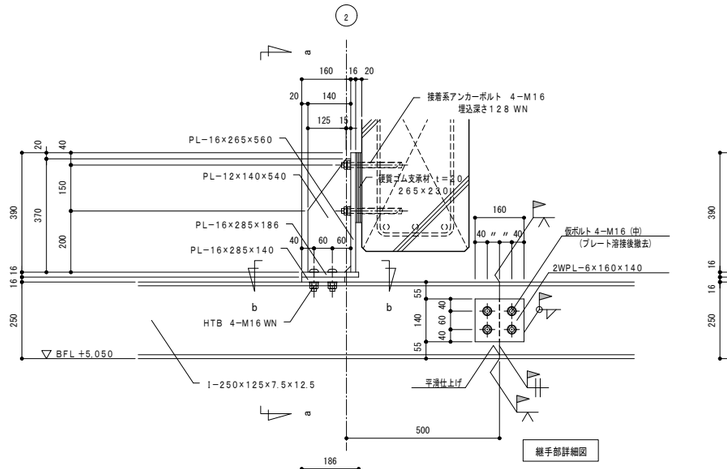


キープラン S＝1／150

注）HR ホイストレール



側 面 図 S＝1／30

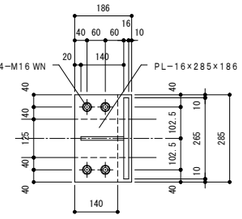


継手部詳細図

a－a 断面図

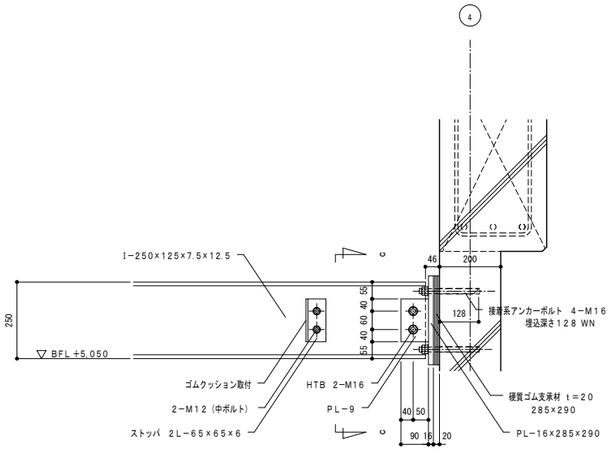
特記なき限り下記による

1. プレート溶接後、仮ボルトを取り除き穴埋溶接とする

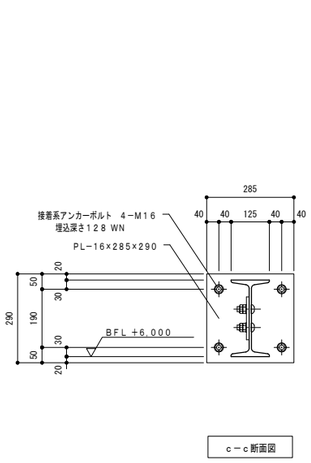


b－b 断面図

A 部



B 部



c－c 断面図

取付部詳細図 S＝1／10

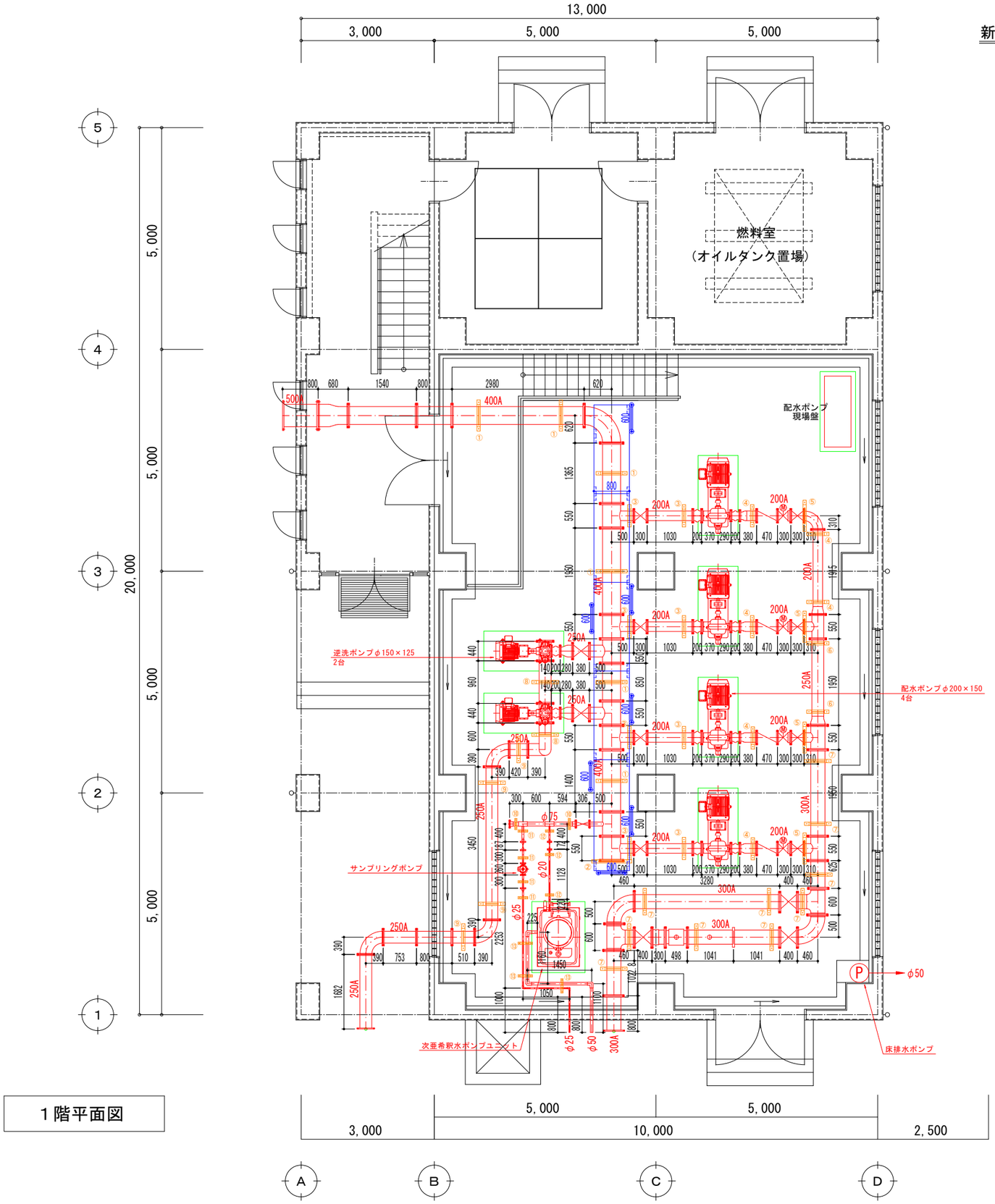
ホイストレール詳細図

注）1.鋼材種別　SS400
2.HTB種別　S10T
3.溶接は隅肉溶接とする
4.仕上　SOP（走行面となる下フランジ上面は無塗装とする）
5.ストッパ位置は現場協議による

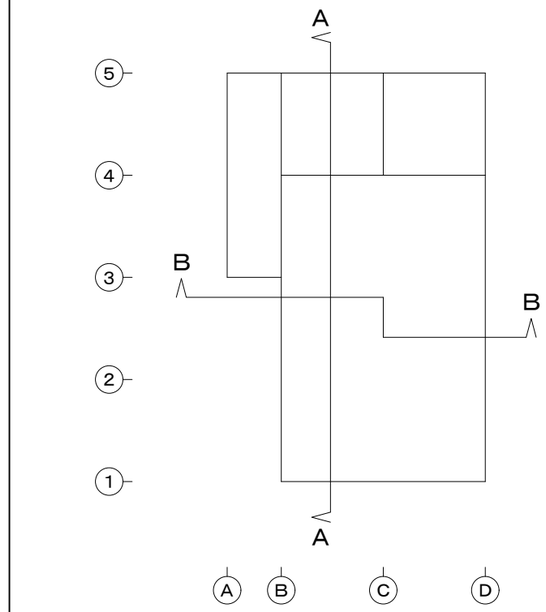
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	ホイストレール詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	2-4-5-S24
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新第2配水ポンプ室平面図

縮尺：1/50



１階平面図



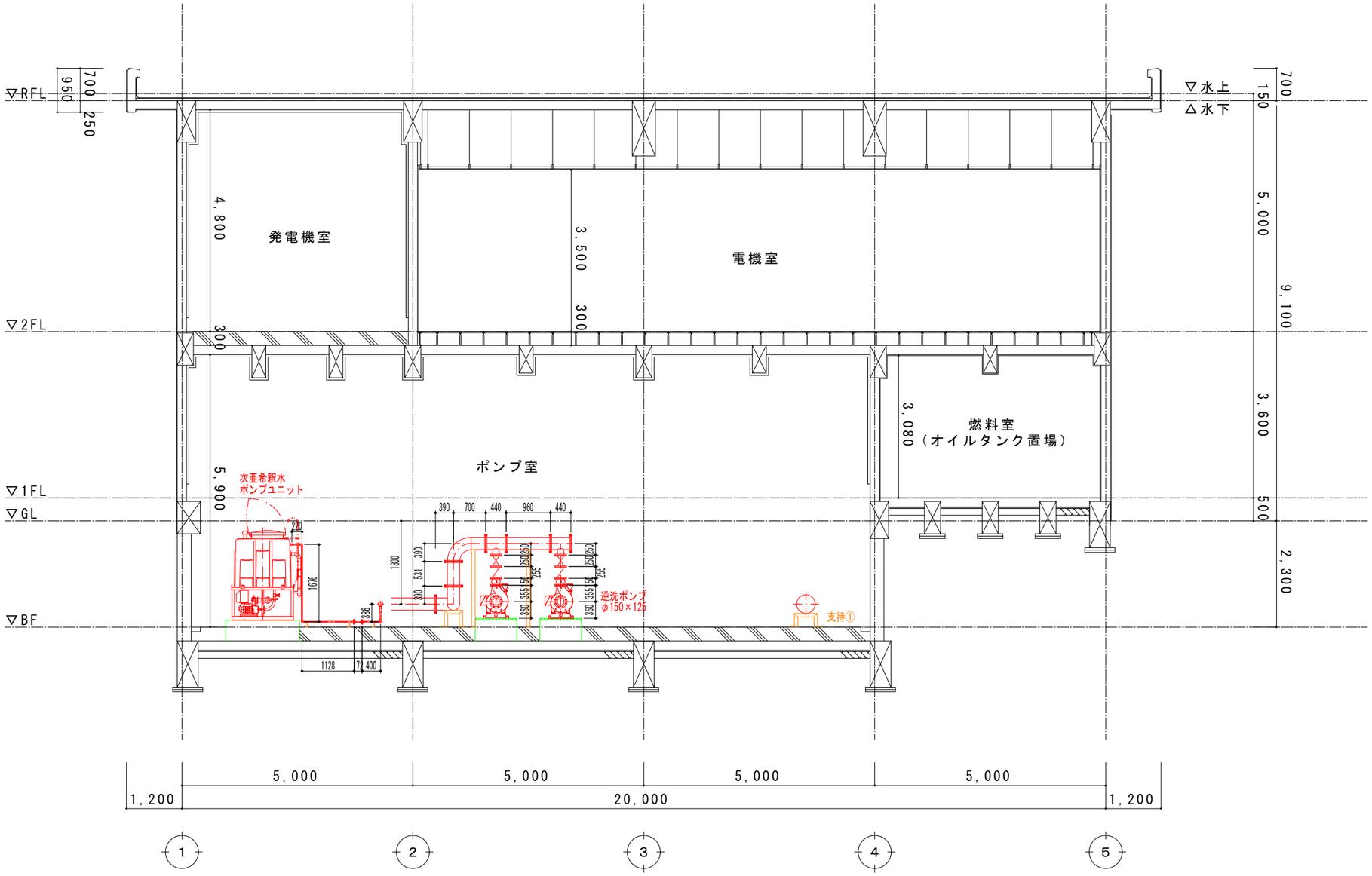
Key Plan

※逆洗ポンプ設置に伴い、急速ろ過機現場操作盤の機能増設を行う。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2配水ポンプ室平面図		
縮　尺	1/50	図面番号	2-5-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新第2配水ポンプ室断面図1

縮尺：1/50

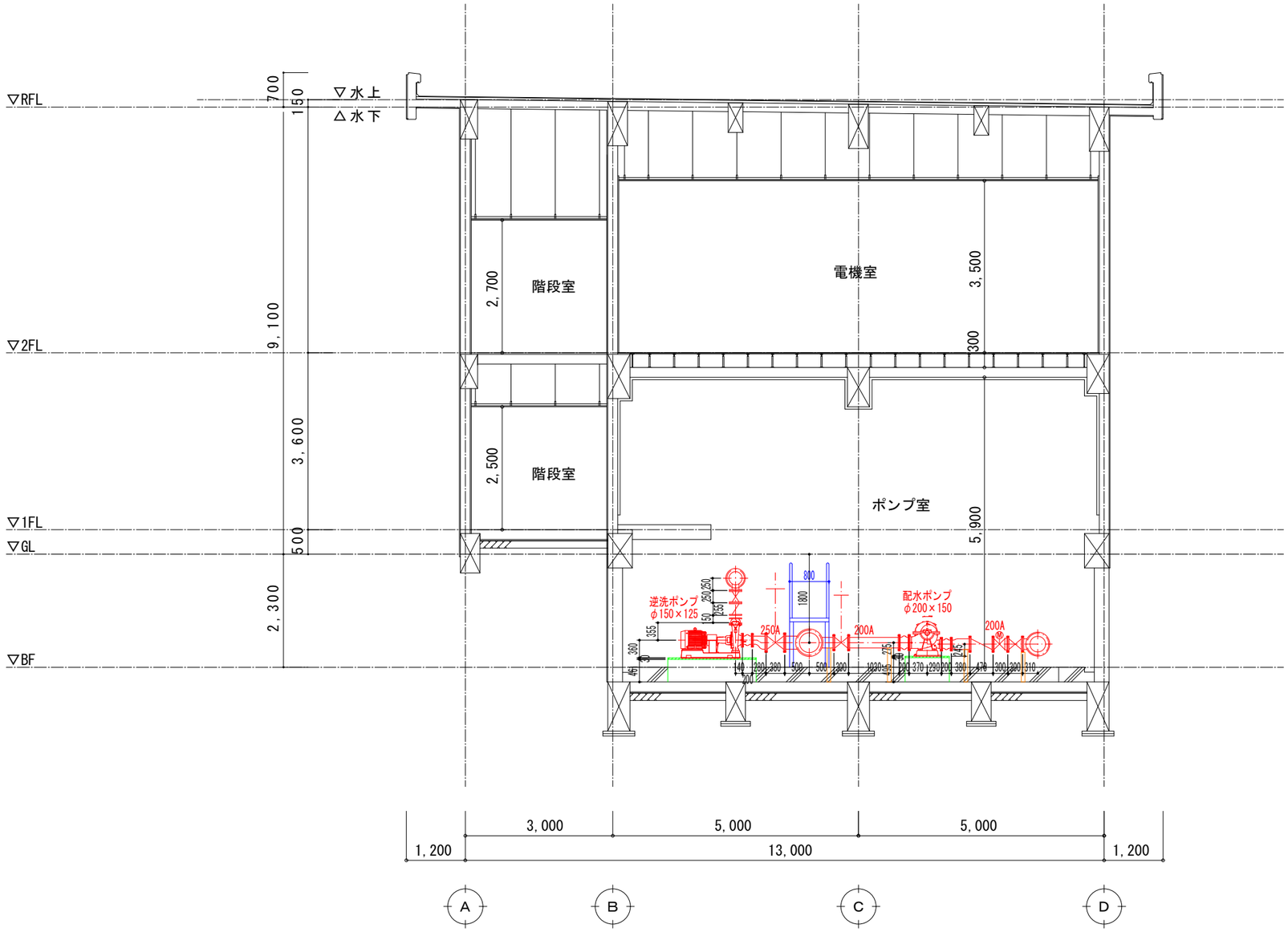


A 断面図

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2配水ポンプ室断面図1		
縮　尺	1/50	図面番号	2-5-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

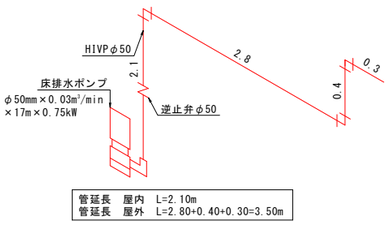
新第2配水ポンプ室断面図2

縮尺：1/50



B断面図

床排水管詳細図　縮尺NON



管延長　屋内　L=2.10m
管延長　屋外　L=2.80+0.40+0.30=3.50m

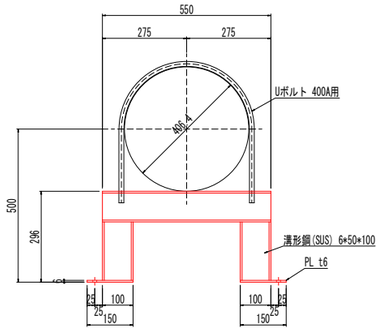
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2配水ポンプ室断面図2		
縮　尺	1/50	図面番号	2-5-3
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新第2配水ポンプ室配管支持金具詳細図

縮尺：1/10

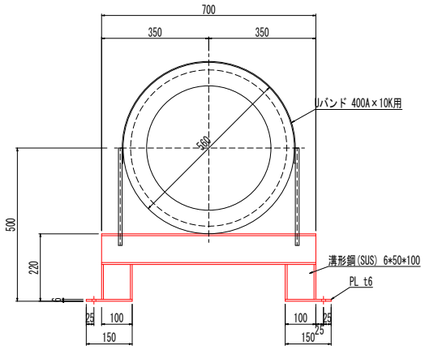
支持金具①
400A用

個数：6個



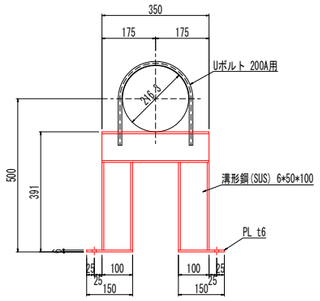
支持金具②
400A用

個数：1個



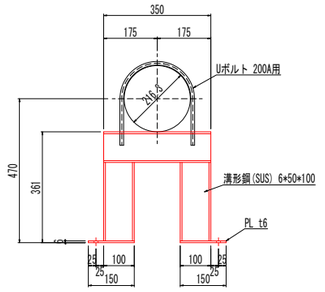
支持金具③
200A用

個数：8個



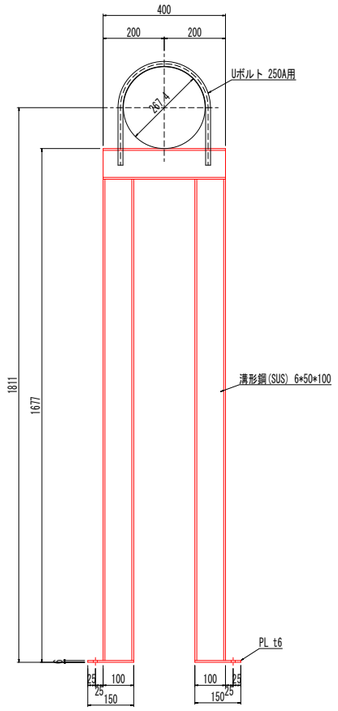
支持金具④
200A用

個数：6個



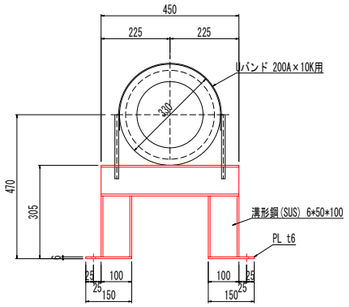
支持金具⑧
250A用

個数：2個



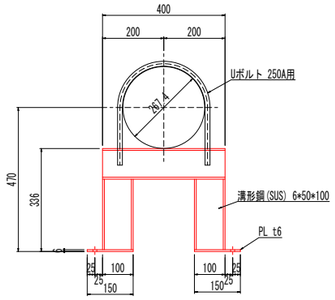
支持金具⑤
200A用

個数：4個



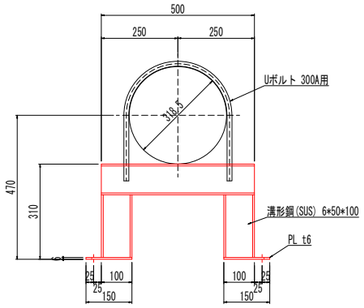
支持金具⑥
250A用

個数：2個



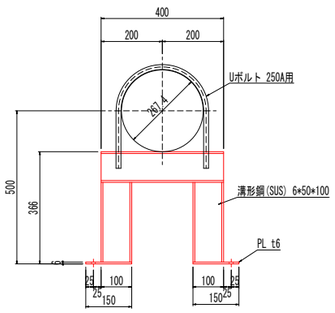
支持金具⑦
300A用

個数：10個



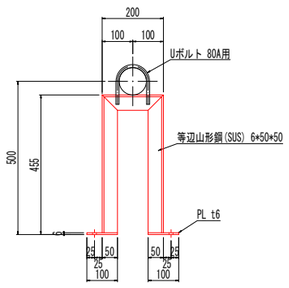
支持金具⑨
250A用

個数：4個



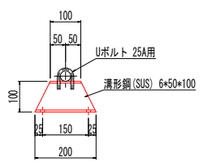
支持金具⑩
φ75用

個数：2個



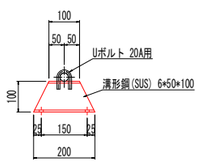
支持金具⑪
φ25用

個数：4個



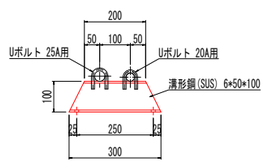
支持金具⑫
φ20用

個数：3個



支持金具⑬
φ25・20用

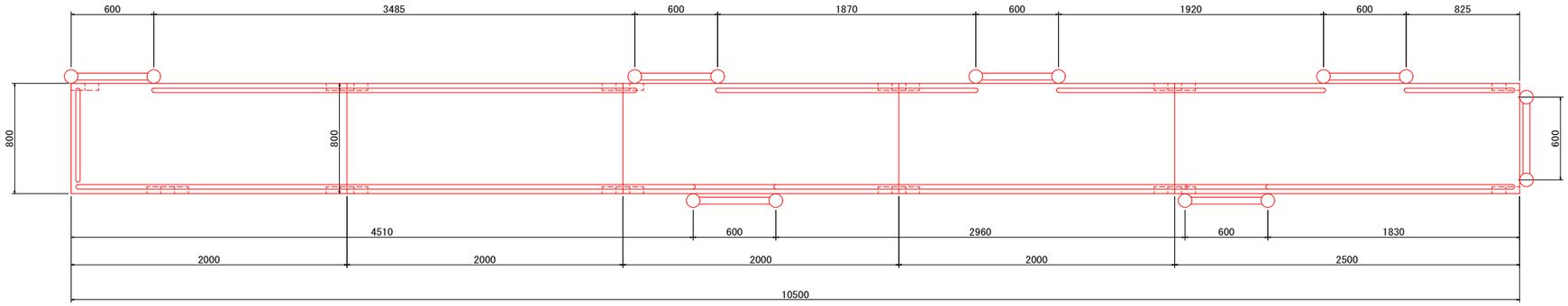
個数：3個

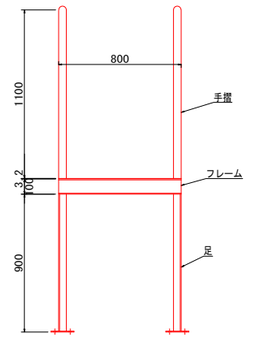


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2配水ポンプ室配管支持金具詳細図		
縮　尺	1/10	図面番号	2-5-4
藍　住　町　上　下　水　道　課			

新第2配水ポンプ室点検歩廊詳細図

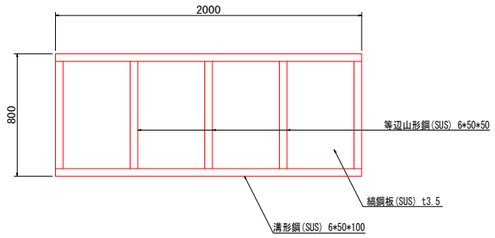
縮尺：1/20





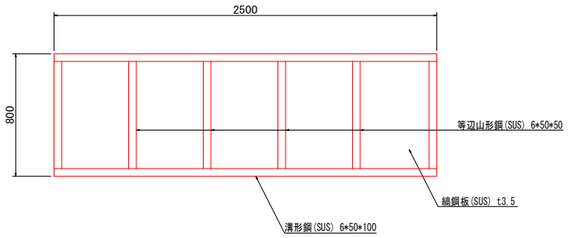
フレーム①

個数：4個



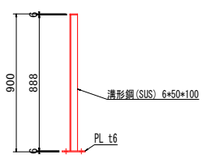
フレーム②

個数：1個



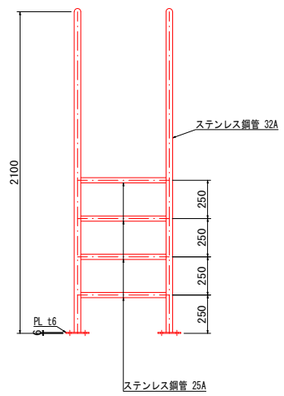
足

個数：12個

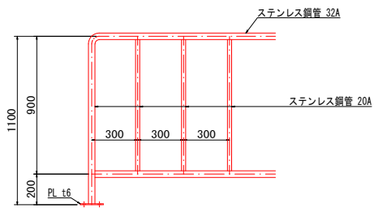


タラップ

個数：8個

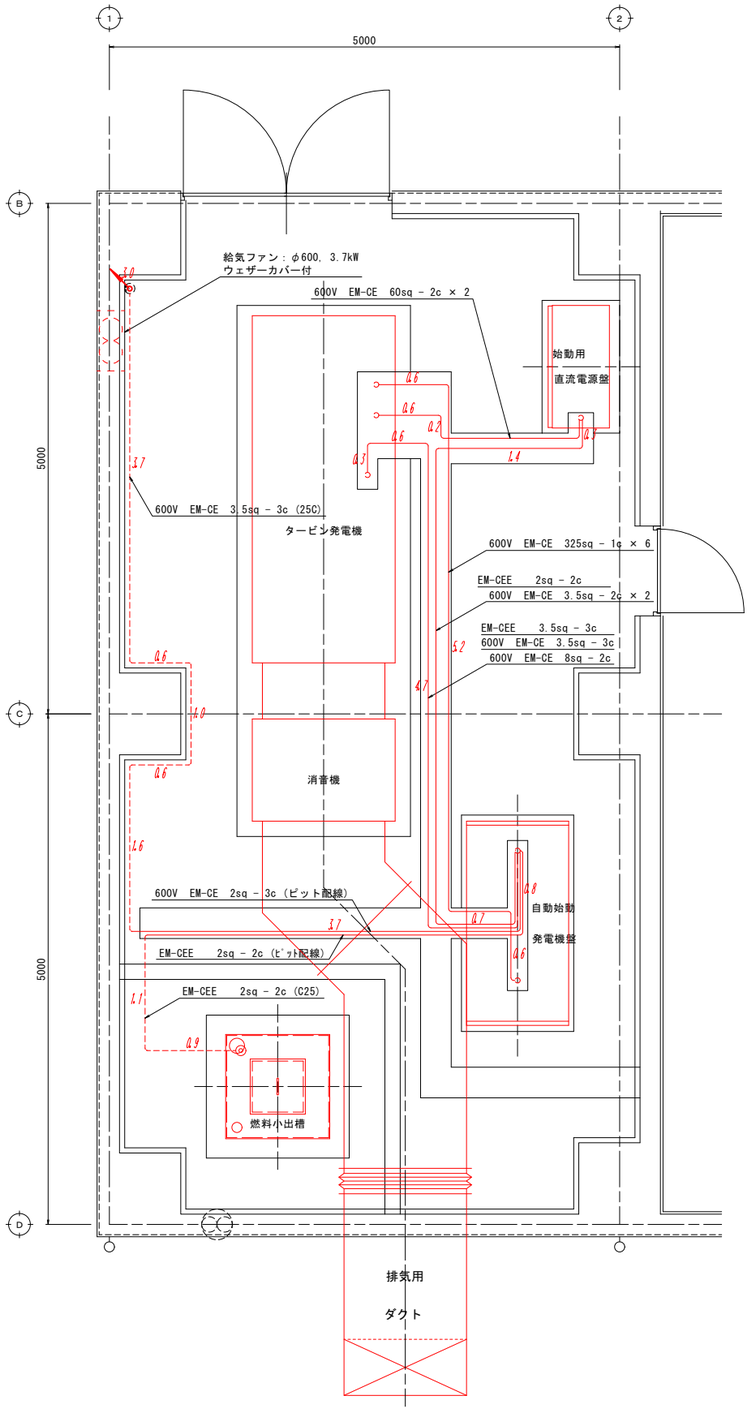


手摺

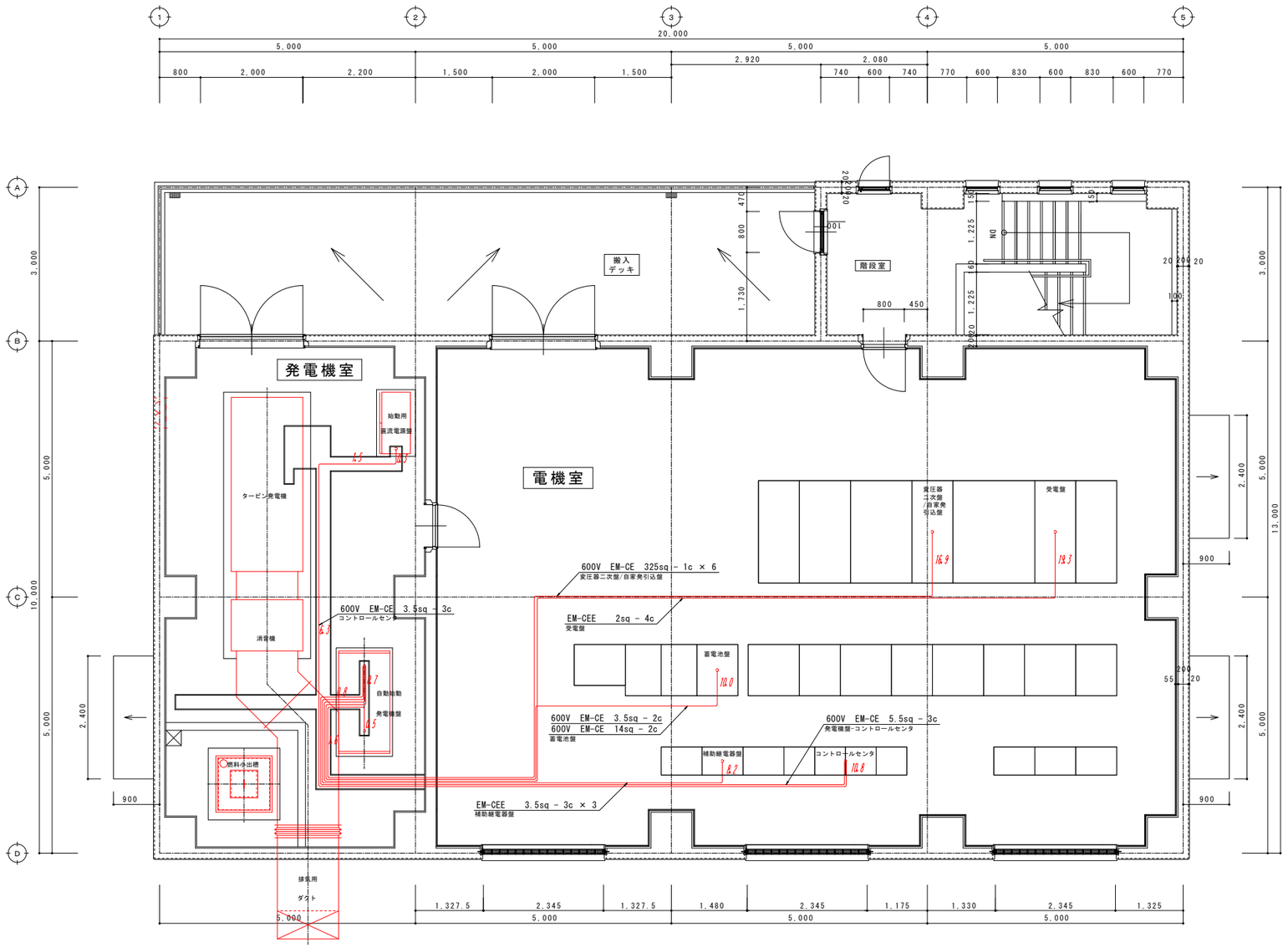


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	新第2配水ポンプ室点検歩廊詳細図		
縮　尺	1/20	図面番号	2-5-5
藍　住　町　上　下　水　道　課			

発電機室平面図（移設）



発電機室平面詳細図　S=1/30



電機室平面詳細図　S=1/50

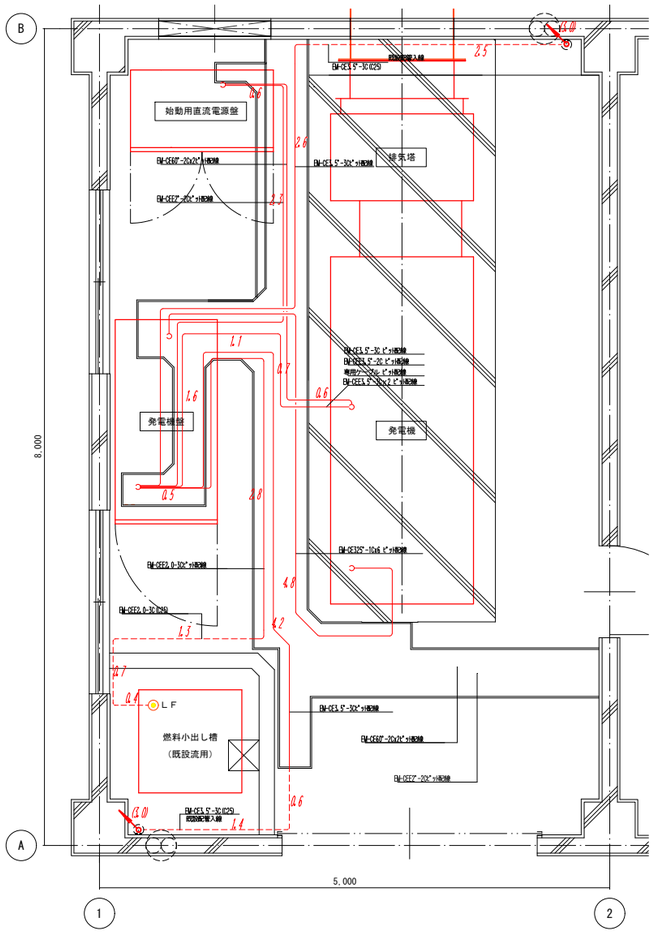
注　記

赤色着色部は撤去・更新箇所を示す

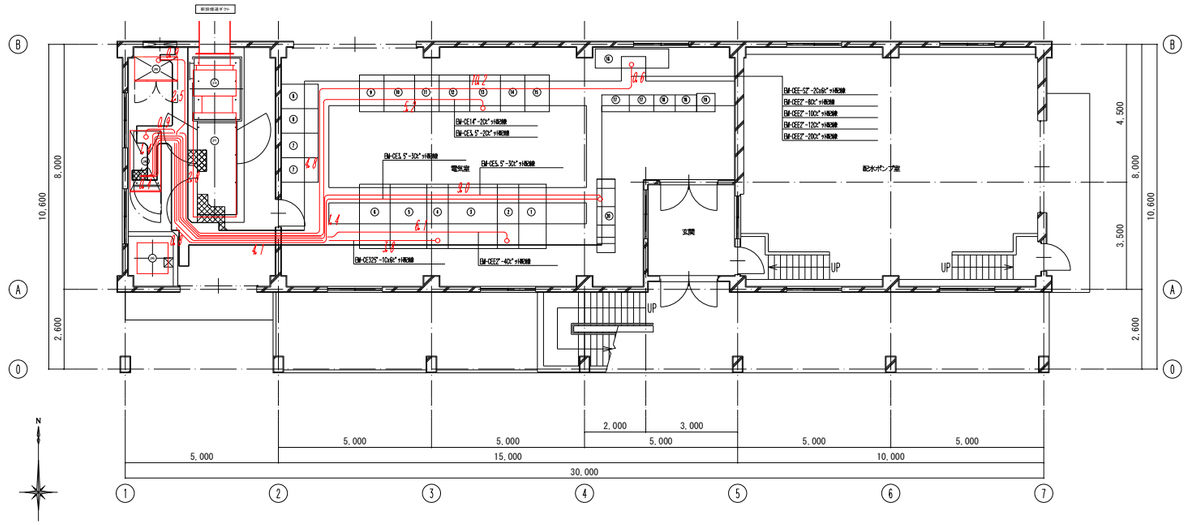
事前調査を十分に行い、施工のこと

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	発電機室平面図（移設）		
縮　尺	図示	図面番号	2-6-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

発電機室平面図（撤去）



発電機室平面詳細図　S=1/30



電機室平面詳細図　S=1/100

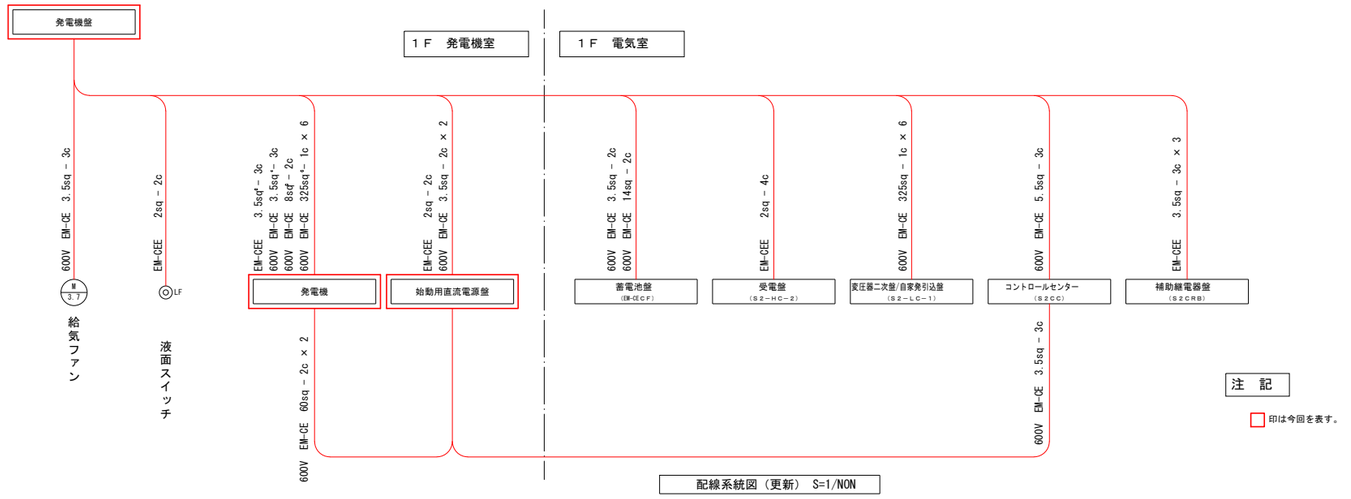
	盤記号	機器名称	備考	
①	S2-HC-1	引込盤	既設のまま	
②	S2-HC-2	受電盤		
③	S2-HC-3	変圧器盤		
④	S2-LC-1	変圧器二次盤/自家発引込盤		
⑤	S2-LC-2	低圧き電盤		
⑥	S2-LC-3	照明電源盤		
⑦		No9 配水ポンプインバータ制御盤盤		
⑧		No11配水ポンプインバータ制御盤盤		
⑨		No10配水ポンプインバータ制御盤盤		
⑩		No10配水ポンプインバータ制御盤盤		
⑪		No8 配水ポンプインバータ制御盤盤		
⑫		No8 配水ポンプインバータ制御盤盤		
⑬	CVCF	蓄電池盤		
⑭	CVCF	整流器盤		
⑮	CVCF	インバータ盤		
⑯	TB1/2	中継端子盤（1）		
⑰	S2CRB	補助継電器盤		
⑱	TB1/2	中継端子盤（1）		
⑲	TMR	テレメータ盤		
⑳	S2CC	コンピュータセンター		参考重量（kg）
㉑	SG	発電機　500kVA、85dB（A）	撤去	静加重5200　動加重 5600
㉒	G2	発電機盤	撤去	900
㉓	DC	始動用直流電源盤	撤去	900
㉔		排気消音機　85dB（A）	撤去	1620
㉕		燃料小出し槽（既設流用）　1000L（A重油）	撤去	約430　但し燃料満油時

注　記
赤色着色部は撤去・更新箇所を示す
事前調査を十分に行い、施工のこと

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	発電機室平面図（撤去）		
縮　尺	図示	図面番号	2-6-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

配線系統図（移設）

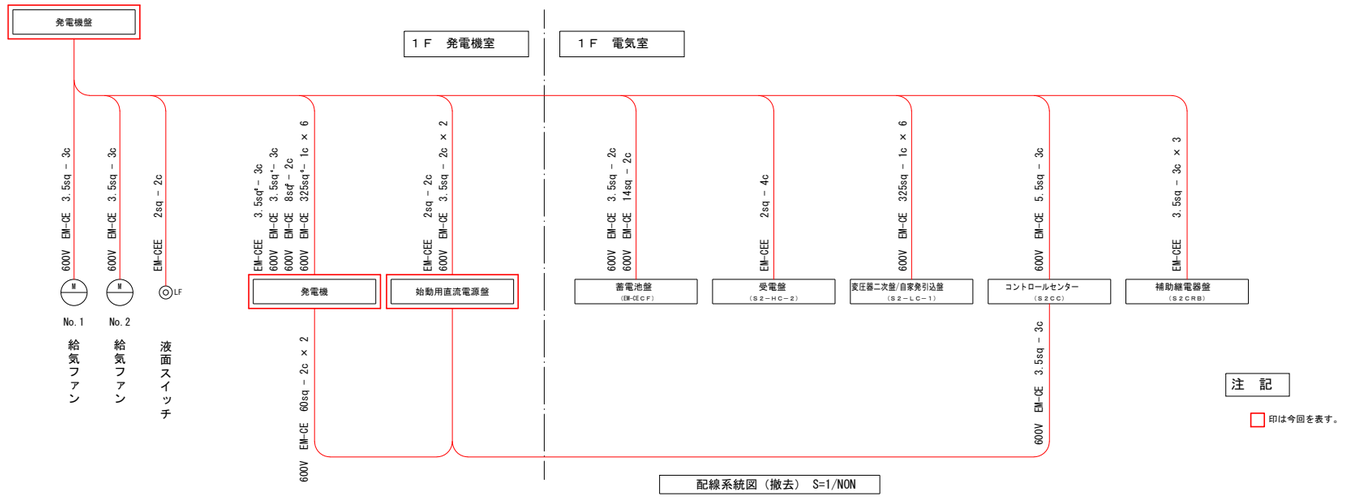
縮尺：NON



工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	配線系統図（移設）		
縮　尺	NON	図面番号	2-6-3
藍　住　町　上　下　水　道　課			

配線系統図（撤去）

縮尺；NON



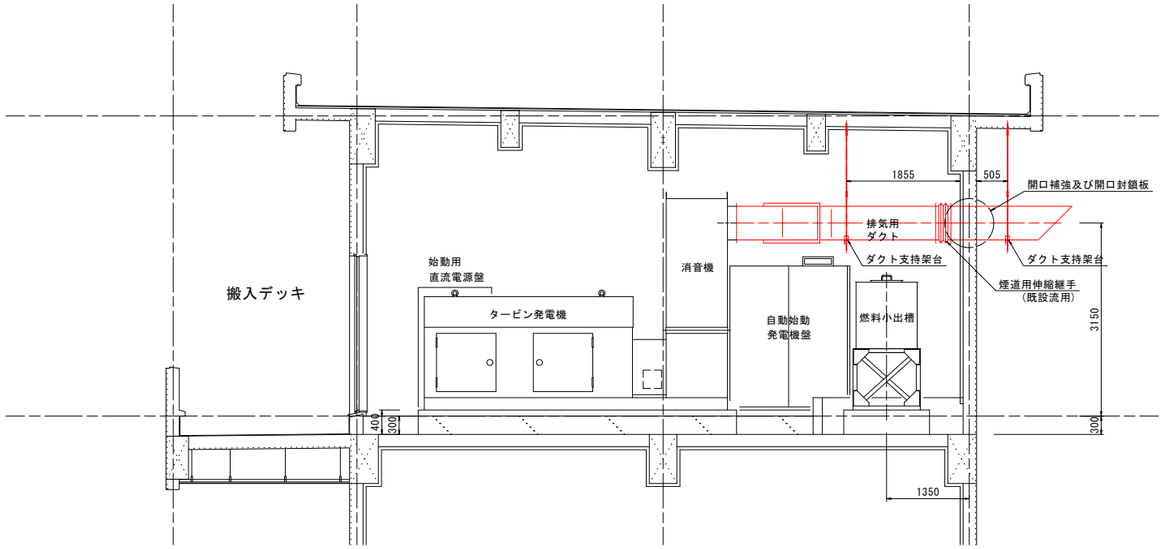
注　記

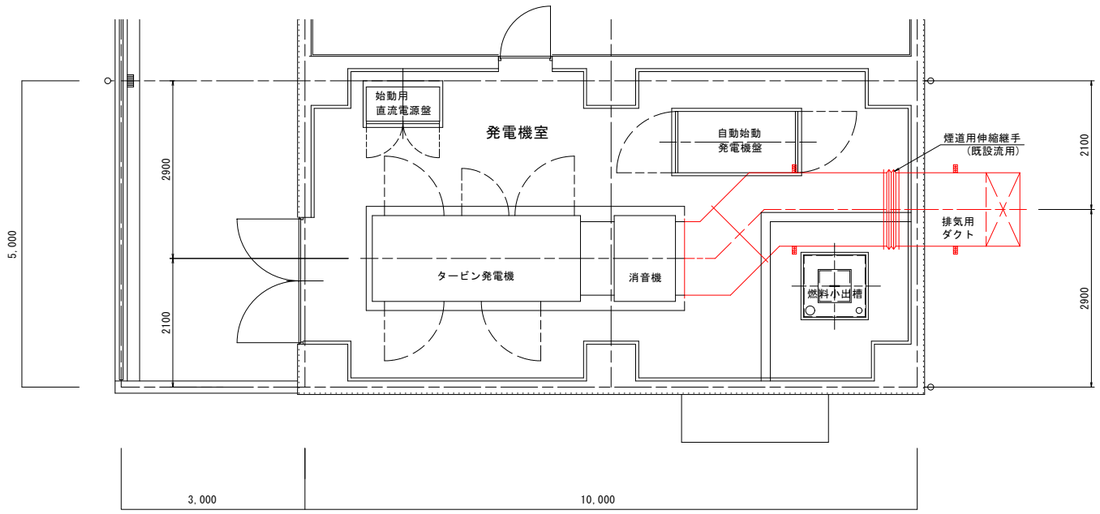
□ 印は今回を表す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	配線系統図（撤去）		
縮　尺	NON	図面番号	2-6-4
藍　住　町　上　下　水　道　課			

発電機煙道（排気）ダクト配置図

縮尺：1/50





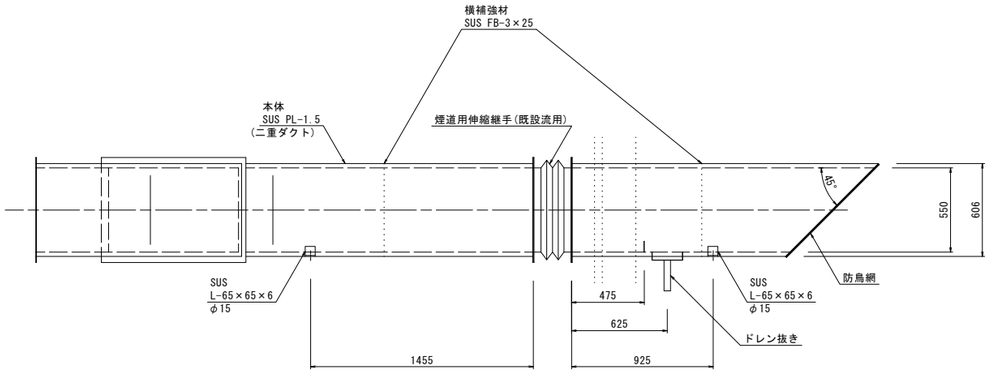
注　記

赤色着色部は撤去・更新箇所を示す

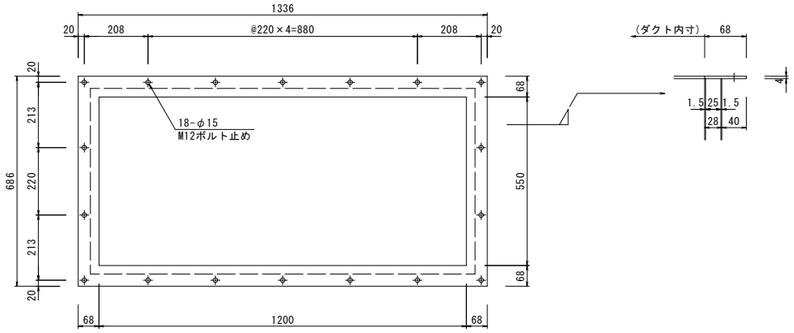
事前調査を十分に行い、施工のこと

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	発電機煙道（排気）ダクト配置図		
縮　尺	1/50	図面番号	2-6-5
藍　住　町　上　下　水　道　課			

発電機煙道（排気）ダクト詳細図1

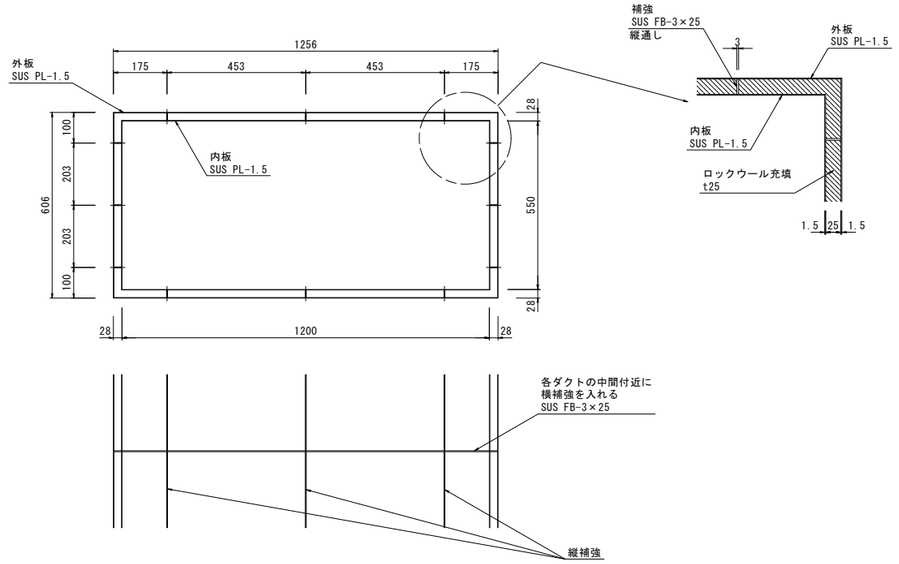


側面図 1/20



ジョイントフランジ部詳細図 1/10

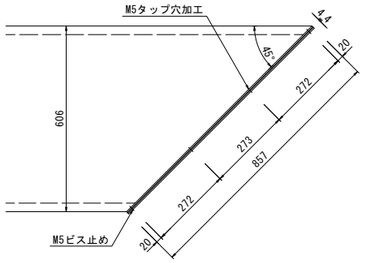
平面図 1/20

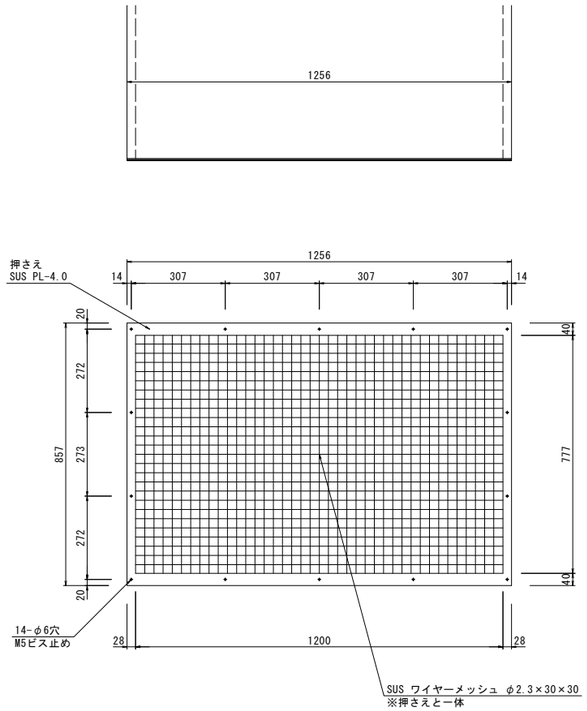


ダクト断面図 1/10

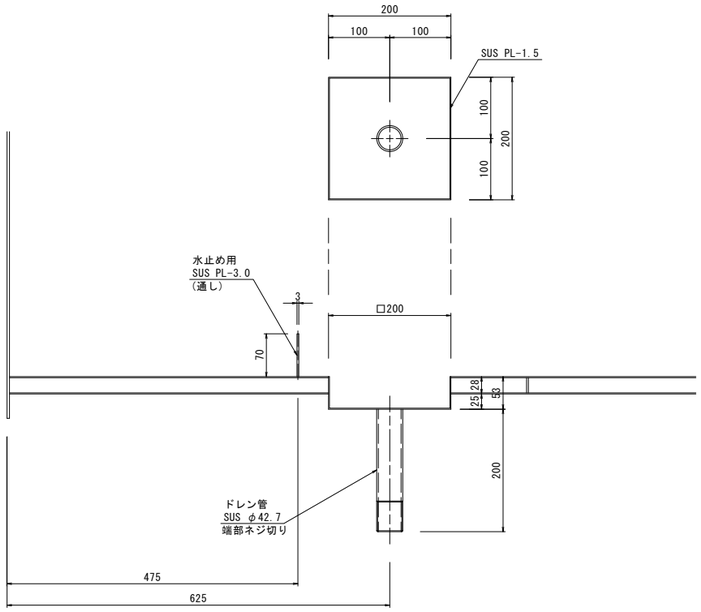
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	発電機煙道（排気）ダクト詳細図1		
縮　尺	図示	図面番号	2-6-6
藍　住　町　上　下　水　道　課			

発電機煙道（排気）ダクト詳細図2

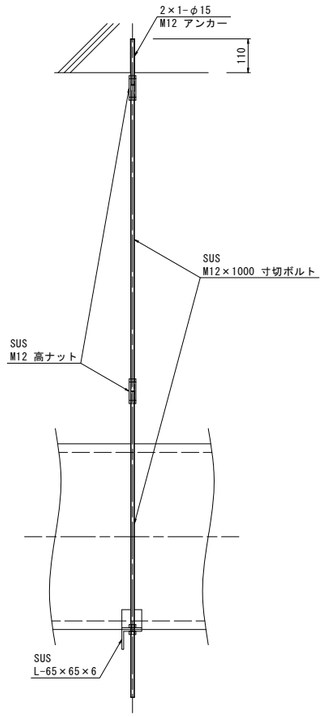


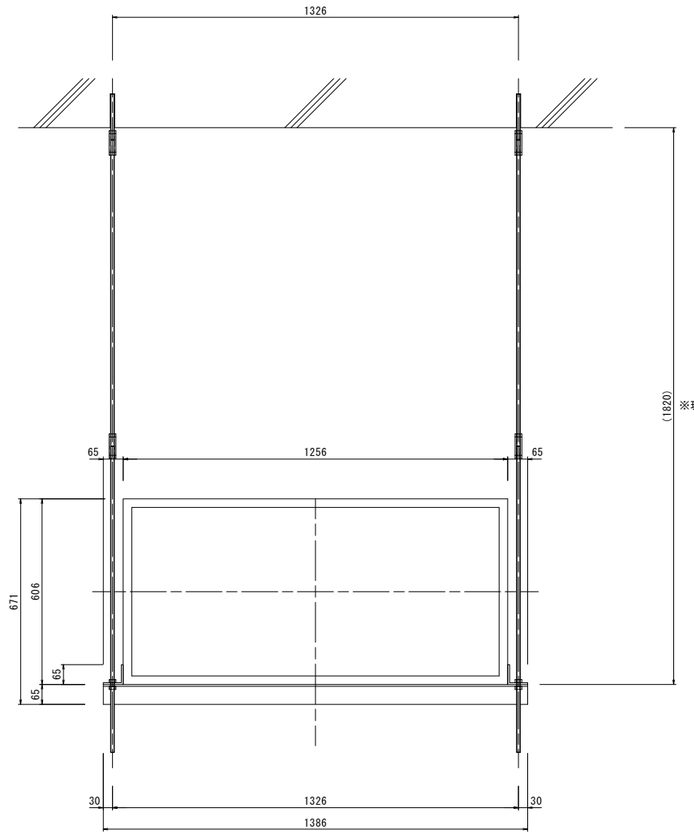


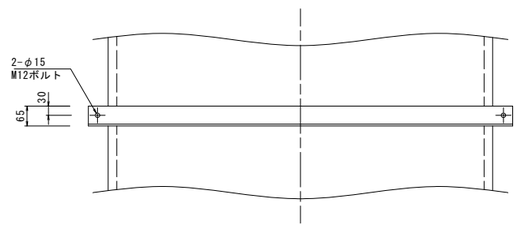
防鳥網部詳細図 1/10



ドレン抜き部詳細図 1/5



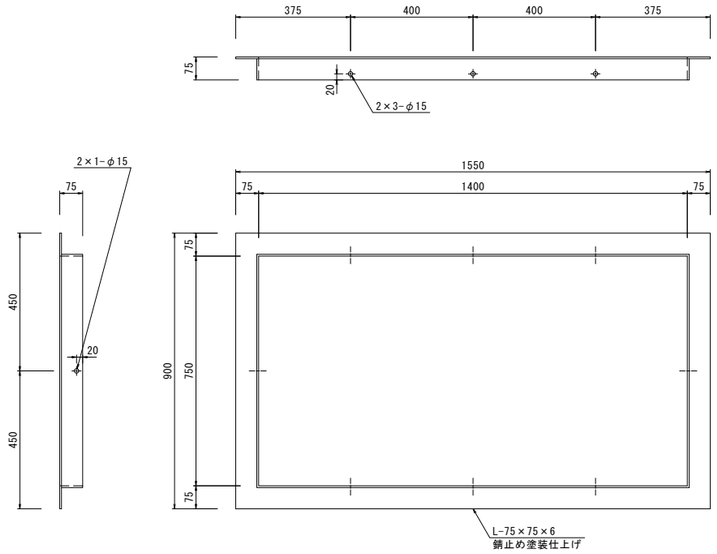




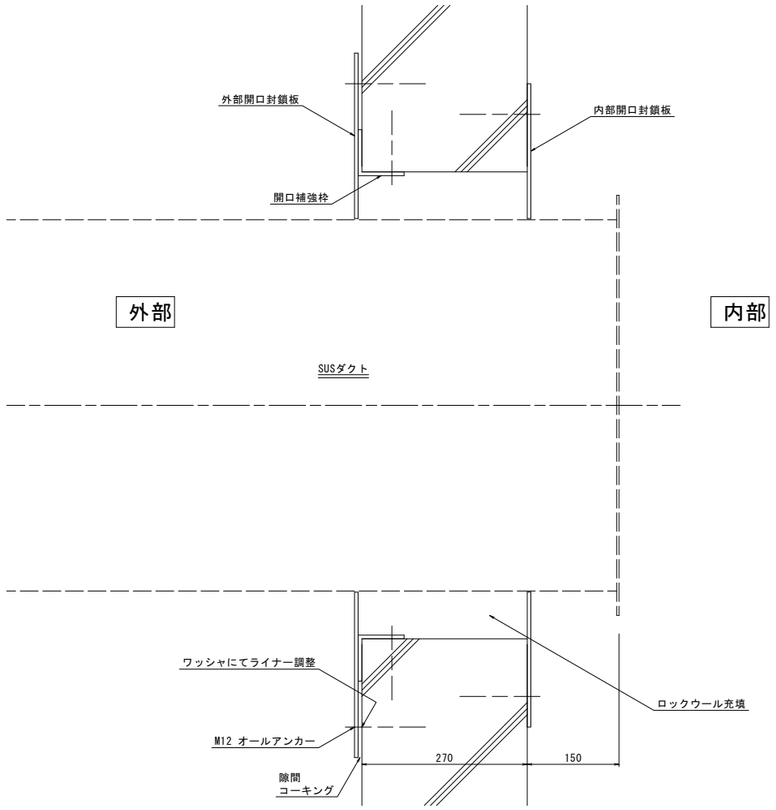
ダクト支持架台詳細図 1/10

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	発電機煙道（排気）ダクト詳細図2		
縮　尺	図示	図面番号	2-6-7
藍　住　町　上　下　水　道　課			

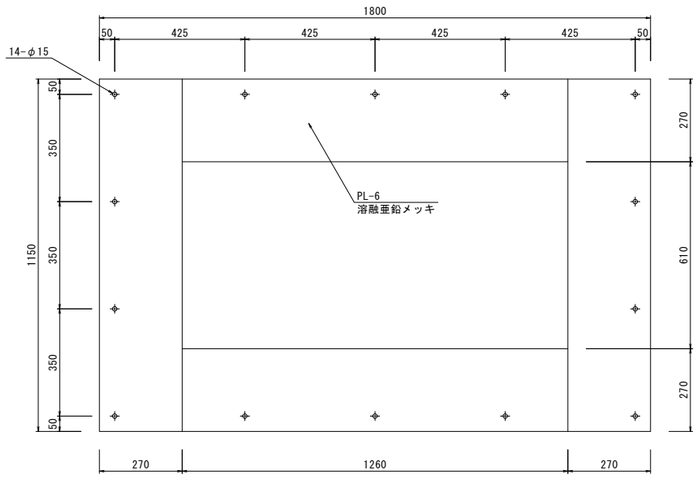
発電機煙道（排気）ダクト詳細図3



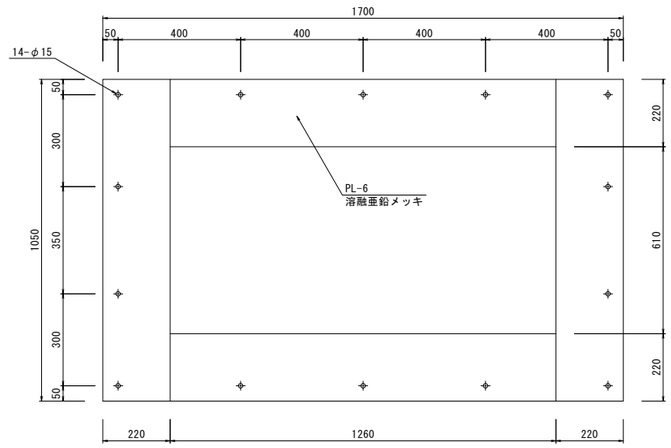
開口補強枠詳細図 1/10



開口部組立図 1/5



外部開口封鎖板詳細図 1/10

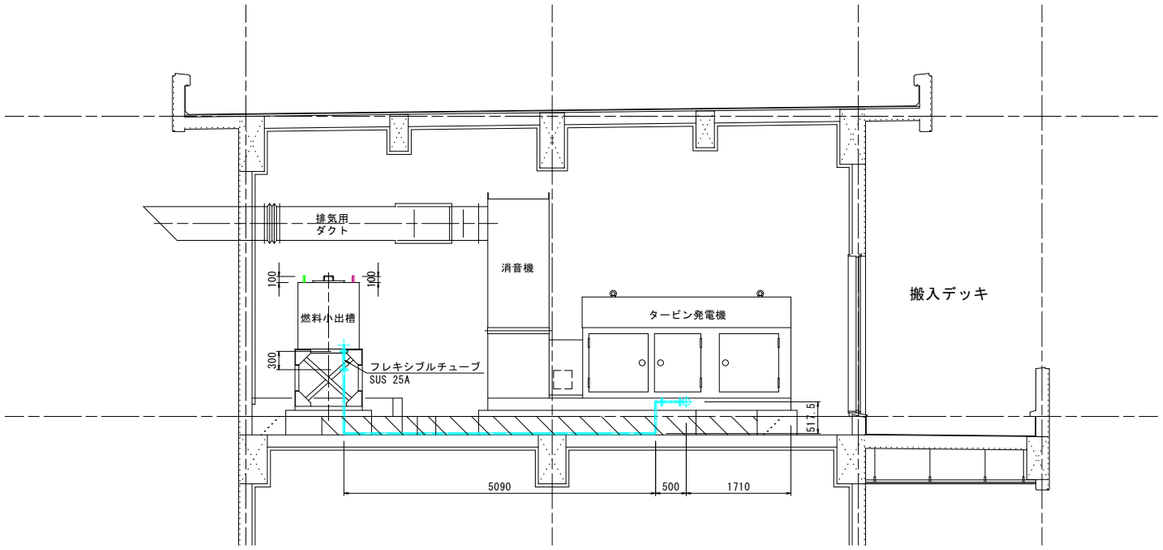


内部開口封鎖板詳細図 1/10

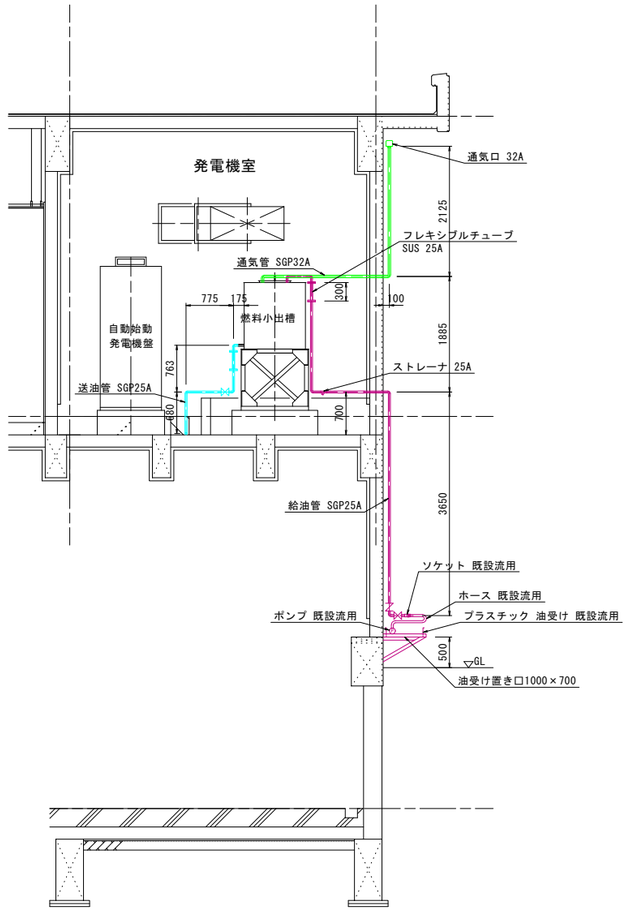
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	発電機煙道（排気）ダクト詳細図3		
縮　尺	図示	図面番号	2-6-8
藍　住　町　上　下　水　道　課			

送給油配管図

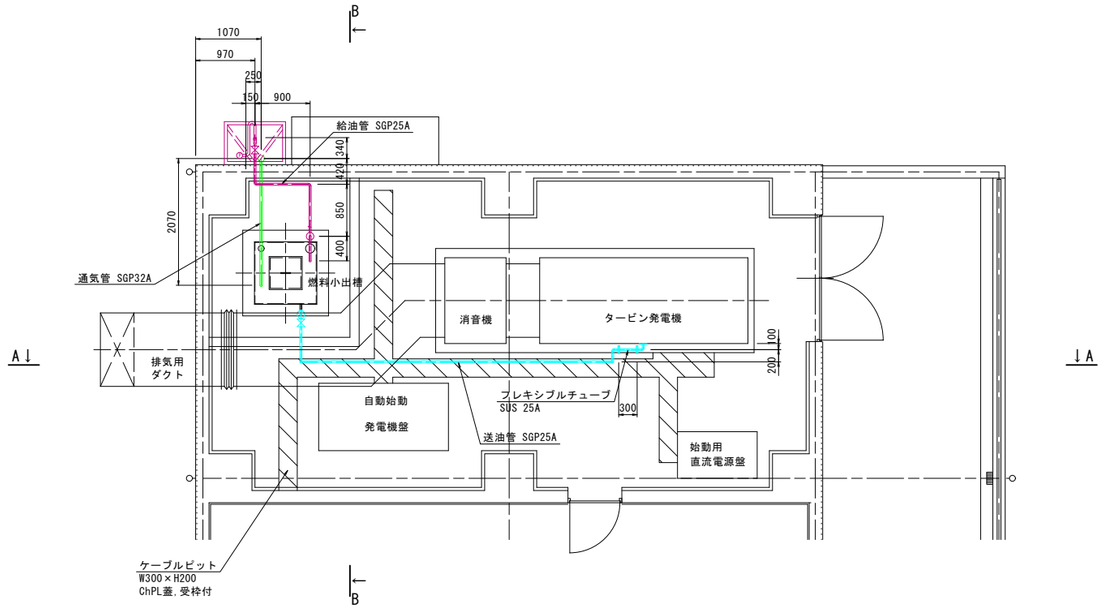
縮尺：1/50



A-A断面



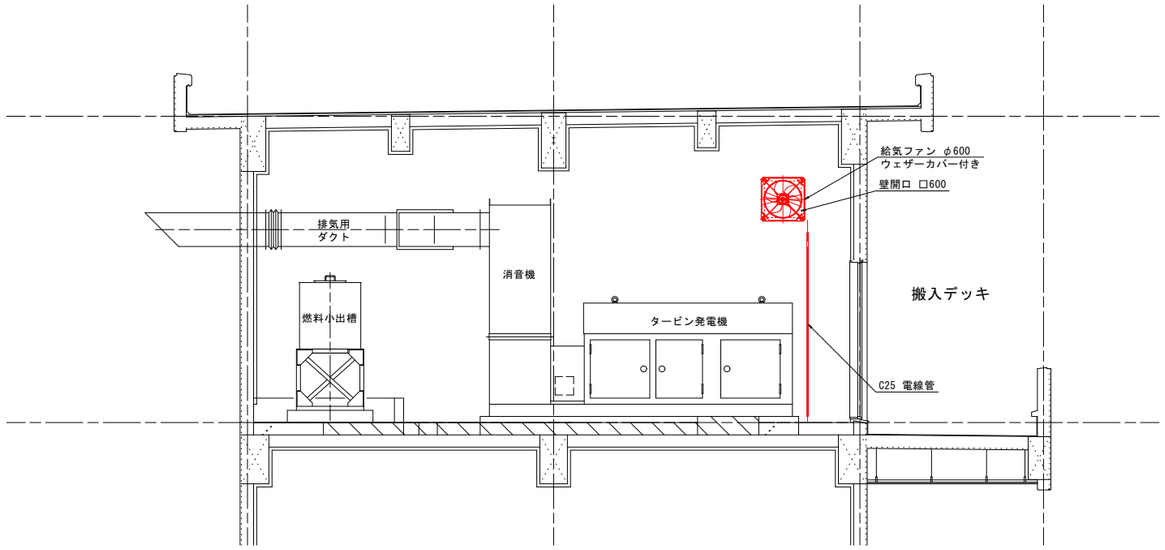
B-B断面

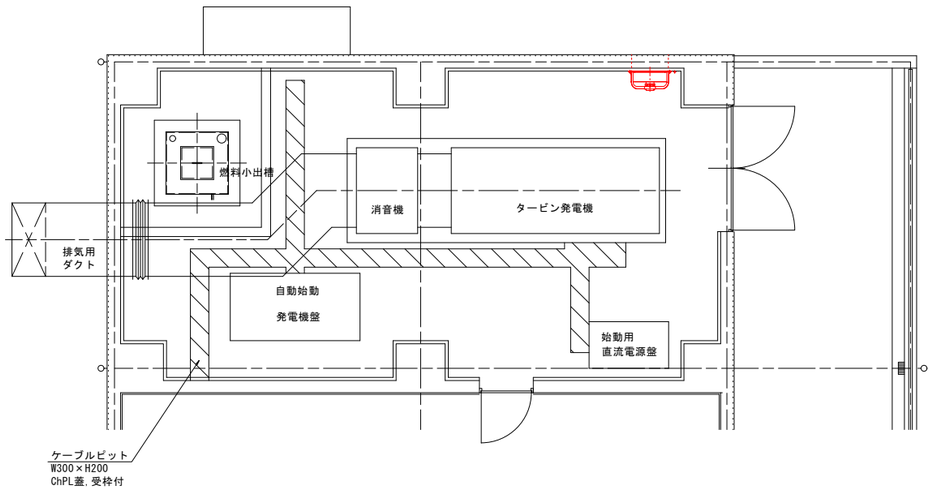


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	送給油配管図		
縮　尺	1/50	図面番号	2-6-9
藍　住　町　上　下　水　道　課			

給気用換気扇配置図

縮尺：1/50





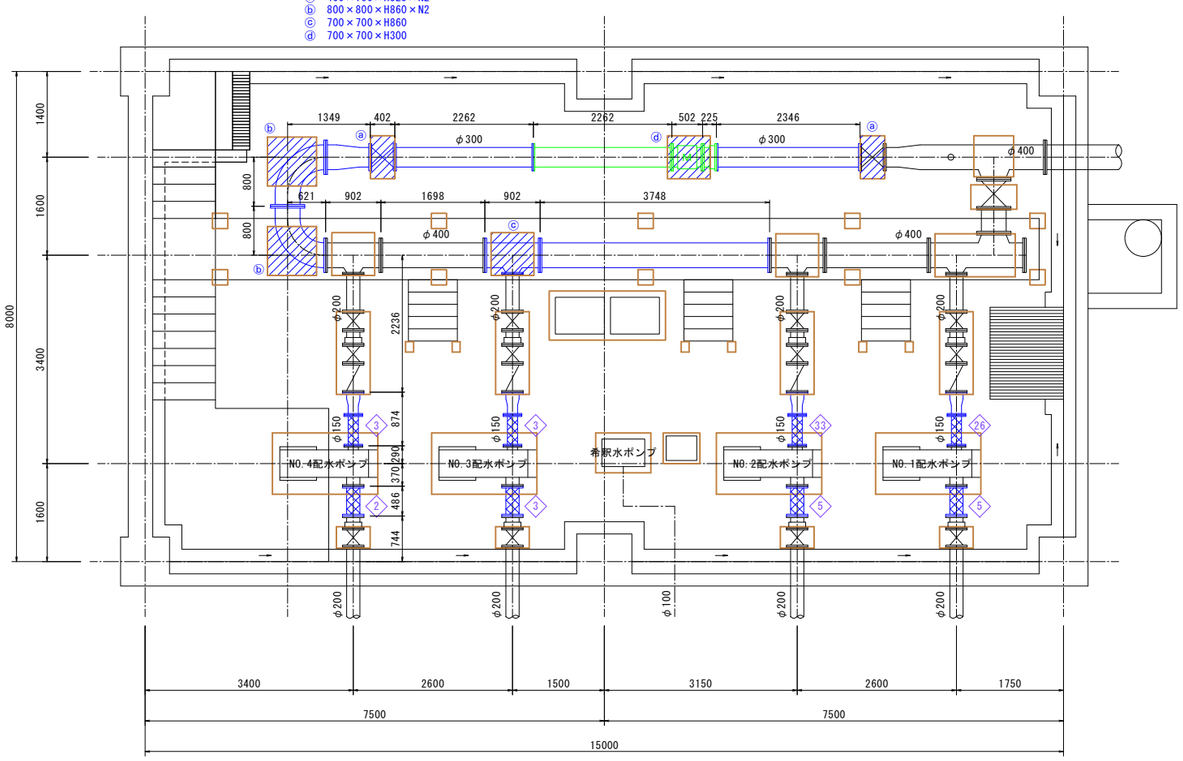
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	給気用換気扇配置図		
縮　尺	1/50	図面番号	2-6-10
藍　住　町　上　下　水　道　課			

第1配水ポンプ室既設管改良図

縮尺：1/50

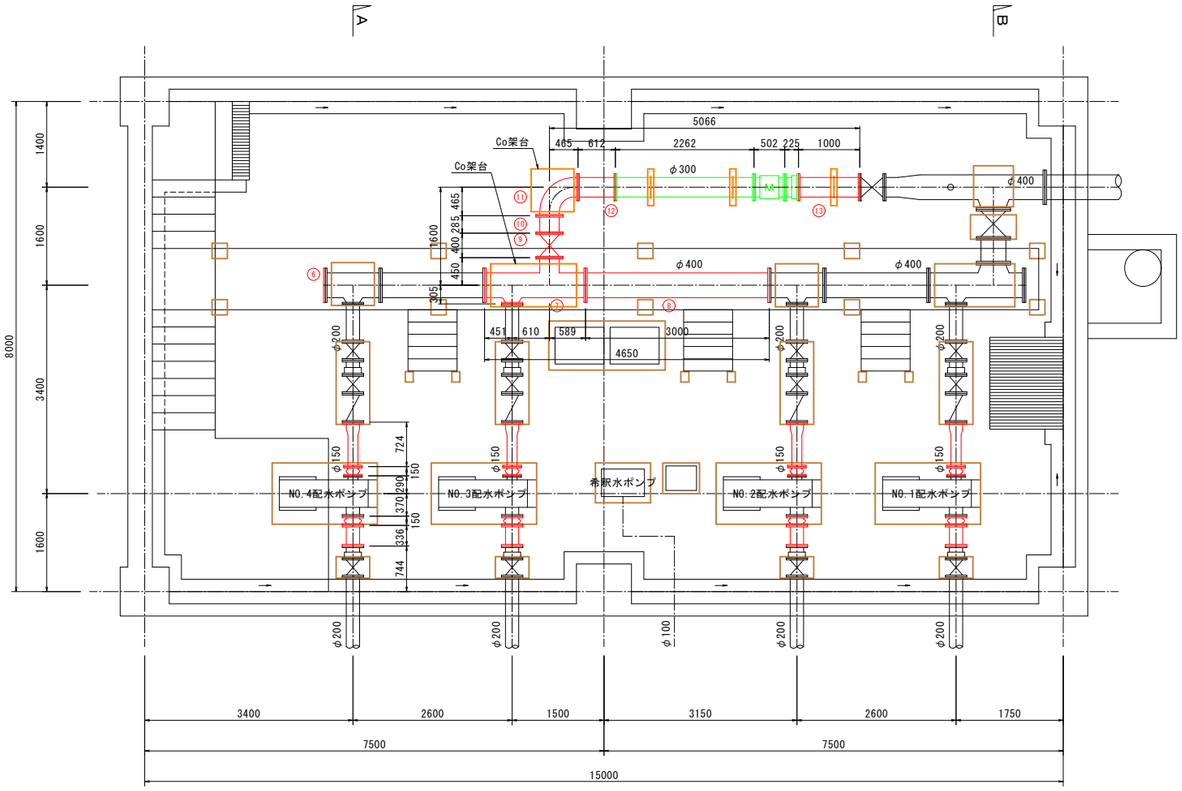
撤去平面図　縮尺1/50

コンクリート架台撤去寸法（室内FLまで）
- ⓐ 400×700×H325×N2
- ⓑ 800×800×H860×N2
- ⓒ 700×700×H860
- ⓓ 700×700×H300



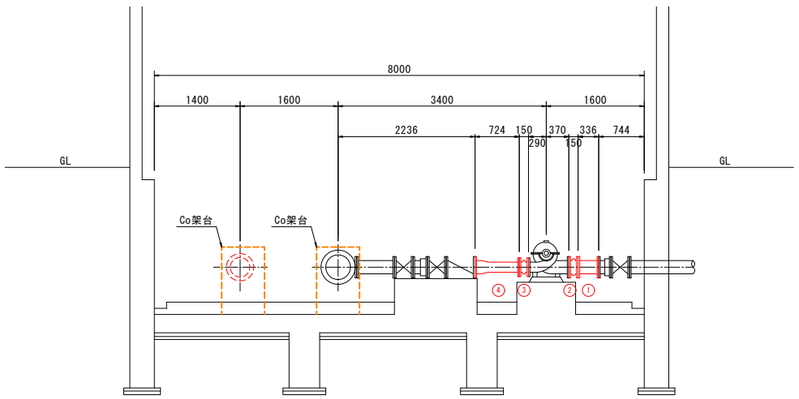
：フレキ管の偏芯を表す
：撤去（再使用なし）
：撤去（再使用あり）
：コンクリート架台

計画平面図　縮尺1/50

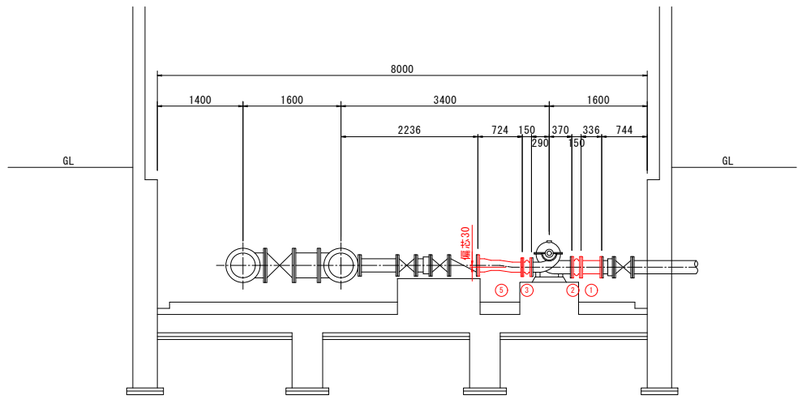


：新設
：既設流用
：新設コンクリート架台，管支持金具

A－A断面図　縮尺1/50



B－B断面図　縮尺1/50



	資材名	数量	備考
①	NCP2F短管　200A×L336	4	10KF
②	ゴム製フレキシブル継手　200A	4	10KF
③	ゴム製フレキシブル継手　150A	4	10KF
④	NCP2F片落短管　200A×150A×L724	2	10KF
⑤	NCP2F片落短管　200A×150A×L724　偏芯30mm	2	10KF
⑥	NCPフランジ蓋　400A	1	10KF
⑦	NCP4F十字管　400A×L1650+300A×L450+200A×L305	1	10KF
⑧	NCP2F短管　400A×L3000	1	10KF
⑨	鋳鉄製仕切弁　内外面粉体塗装　300A	1	10KF
⑩	NCP2F短管　300A×L285	1	10KF
⑪	NCP2F曲管　300A×L465×90°　×L465	1	10KF
⑫	NCP2F短管　300A×L612	1	10KF
⑬	NCP2F短管　300A×L1000	1	10KF
	管支持金具A　300A用	3	

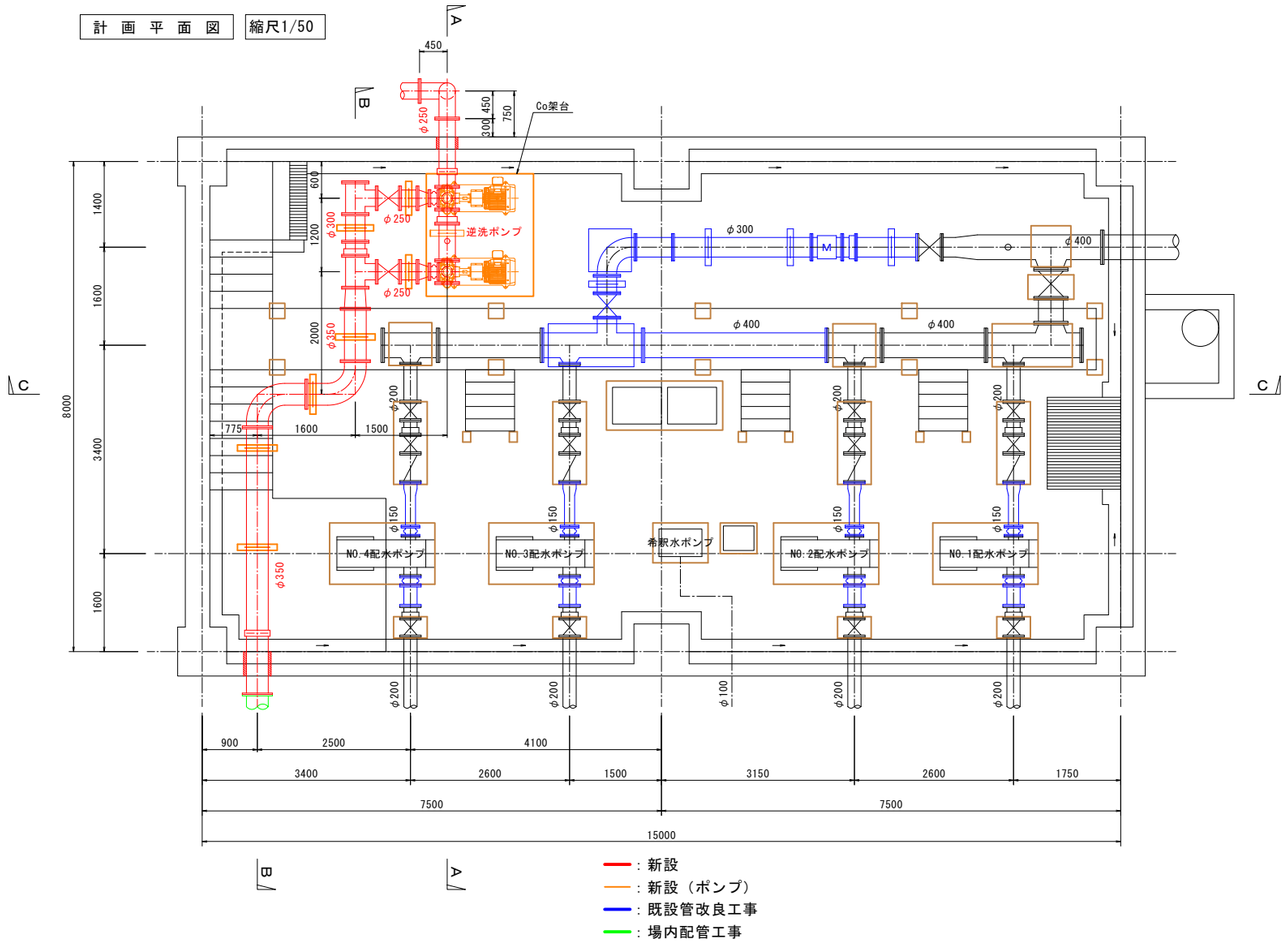
既設管寸法を再確認した上で管材・支持金具寸法を決定すること。
フランジパッキン厚を考慮すること。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第1配水ポンプ室既設管改良図		
縮　尺	1/50	図面番号	2-7-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

第1配水ポンプ室逆洗ポンプ設備図

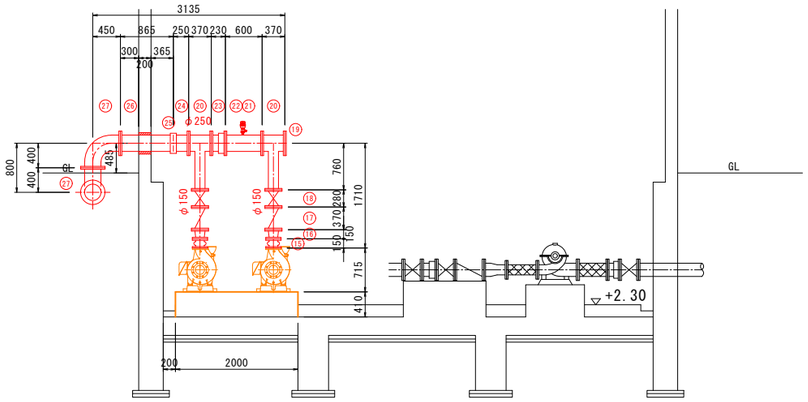
縮尺：1/50

計画平面図　縮尺1/50

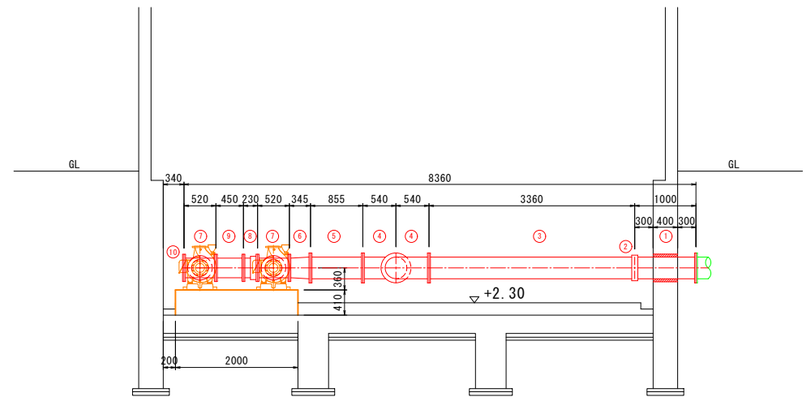


：新設
：新設（ポンプ）
：既設管改良工事
：場内配管工事

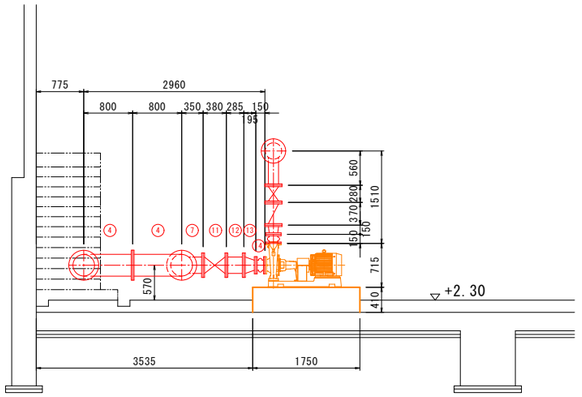
A－A断面図　縮尺1/50



B－B断面図　縮尺1/50



C－C断面図　縮尺1/50



	資材名	数量	備考
①	NCP1F1R短管　350A×L1000	1	10KF
②	NCPリングジョイント　350A	1	
③	NCP1F1R短管　350A×L3360	1	10KF
④	NCP2F曲管　350A×L540×90°×L800	2	10KF
⑤	NCP2F短管　350A×L855	1	10KF
⑥	NCP2F片落管　350A×300A×L345	1	10KF
⑦	NCP3FT字管　300A×L520×250A×L350	2	10KF
⑧	NCP伸縮管　300A×L230	1	10KF
⑨	NCP2F短管　300A×L450	1	10KF
⑩	NCPフランジ蓋　300A	1	10KF
⑪	鋳鉄製仕切弁　内外面粉体塗装　250A	2	10KF
⑫	NCP2F短管　250A×L285	2	10KF
⑬	NCP2F片落管　250A×150A×L195	2	10KF
⑭	ゴム製フレキシブル継手　150A	2	10KF
⑮	ゴム製フレキシブル継手　125A	2	10KF
⑯	NCP2F片落管　150A×125A×L150	2	10KF

	資材名	数量	備考
⑰	鋳鉄製逆止弁　内外面粉体塗装　150A	2	10KF
⑱	鋳鉄製仕切弁　内外面粉体塗装　150A	2	10KF
⑲	NCPフランジ蓋　250A	1	10KF
⑳	NCP3FT字管　250A×L370×150A×L760	2	10KF
㉑	NCP2F短管　250A×L600　25Aノズル付	1	10KF
㉒	小型空気弁　φ25	1	
㉓	NCP伸縮管　250A×L230	1	10KF
㉔	NCP1F1R短管　250A×L250	1	10KF
㉕	NCPリングジョイント　250A	1	
㉖	SUS1F1R短管　250A×L865	1	10KF
㉗	SUS2F曲管　250A×L450×90°×L400	2	10KF
	管支持金具B　350A用	4	
	管支持金具C　300A用	1	
	管支持金具D　250A用	2	
	管支持金具E　250A用	1	

逆洗ポンプ
陸上ポンプ
150×125　FS4J618AE（相当品）
5.77m3/min×H11m×18.5kW×2台（1台予備）

※逆洗ポンプ更新に伴い、急速ろ過機現場操作盤の更新を行う。

既設管寸法を再確認した上で管材・支持金具寸法を決定すること。
フランジパッキン厚を考慮すること。

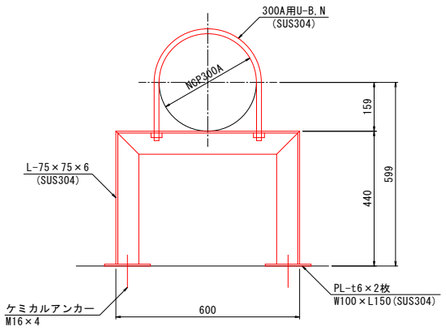
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第1配水ポンプ室逆洗ポンプ設備図		
縮　尺	1/50	図面番号	2-7-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

第1配水ポンプ室管支持金具詳細図

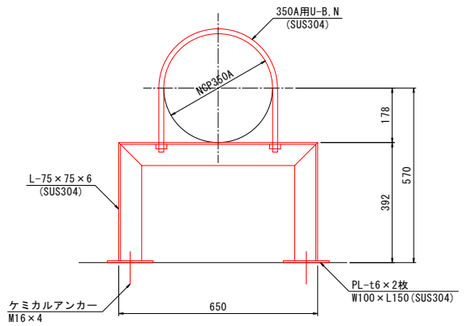
縮尺；1/10

既設管改良　　逆洗ポンプ設備

Ⓐ N=3



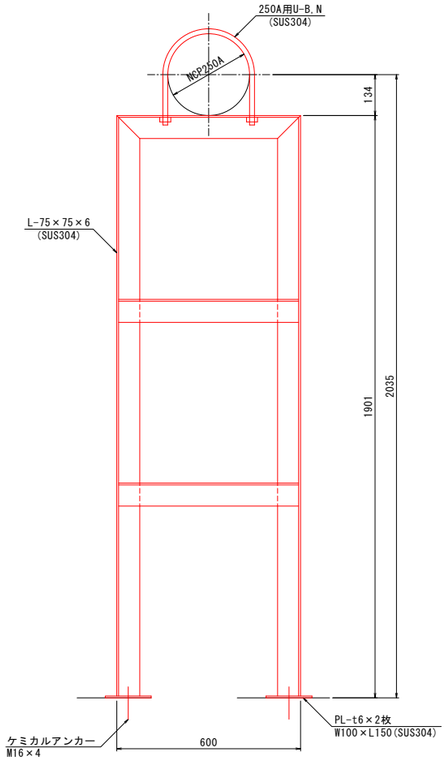
Ⓑ N=4



Ⓒ N=1

Ⓓ N=2

Ⓔ N=1

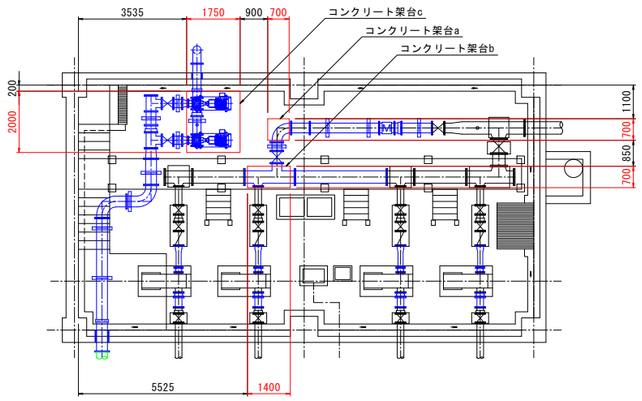


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第1配水ポンプ室管支持金具詳細図		
縮　尺	1/10	図面番号	2-7-3
藍　住　町　上　下　水　道　課			

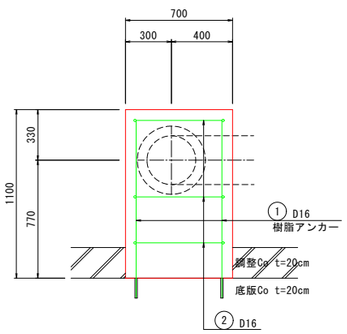
第1配水ポンプ室コンクリート架台詳細図

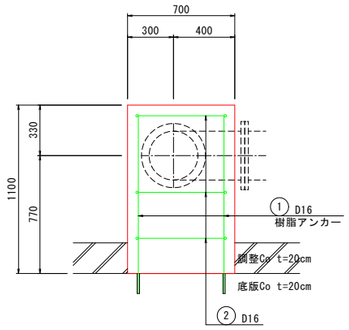
縮尺；1/50

計 画 平 面 図　縮尺1/100

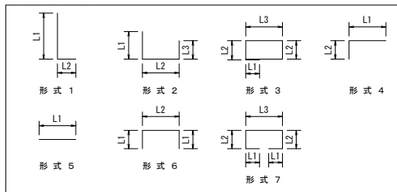


コンクリート架台a





鉄筋加工表

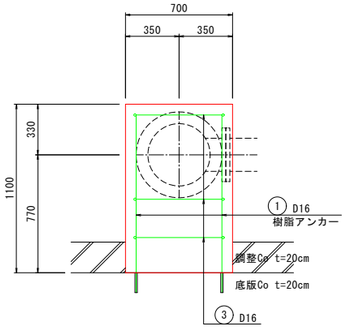


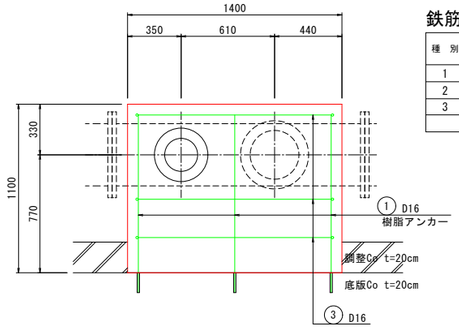
種 別	形 式	径	本数	長さ (mm)	L 1 (mm)	L 2 (mm)	L 3 (mm)
1	5	D16	10	1160	1160		
2	3	D16	3	2390	150	560	560
3	3	D16	3	3790	150	560	1260
樹脂アンカー		D16	10	130			

鉄筋質量表

種 別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
1	D16	1160	10	1.56	1.810	18.100	
2	D16	2390	3	1.56	3.728	11.184	
3	D16	3790	3	1.56	5.912	17.736	
合 計						47.020	

コンクリート架台b

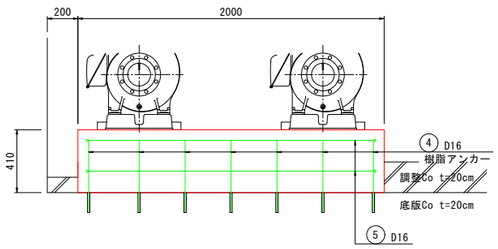


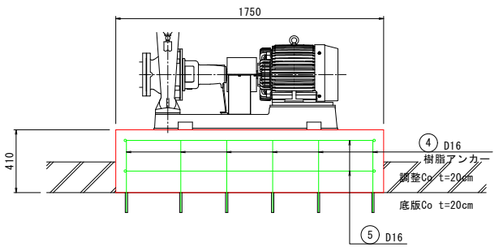


既設管改良

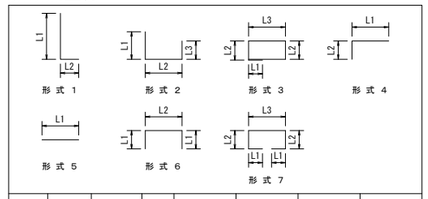
逆洗ポンプ設備

コンクリート架台c





鉄筋加工表



種 別	形 式	径	本数	長さ (mm)	L 1 (mm)	L 2 (mm)	L 3 (mm)
4	5	D16	22	470	470		
5	3	D16	2	7090	150	1610	1860
樹脂アンカー		D16	22	130			

鉄筋質量表

種 別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
4	D16	470	22	1.56	0.733	16.126	
5	D16	7090	2	1.56	11.060	22.120	
合 計						38.246	

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第1配水ポンプ室コンクリート架台詳細図		
縮 尺	1/10	図 面 番 号	2-7-4
藍 住 町 上 下 水 道 課			

場内配管全体平面図

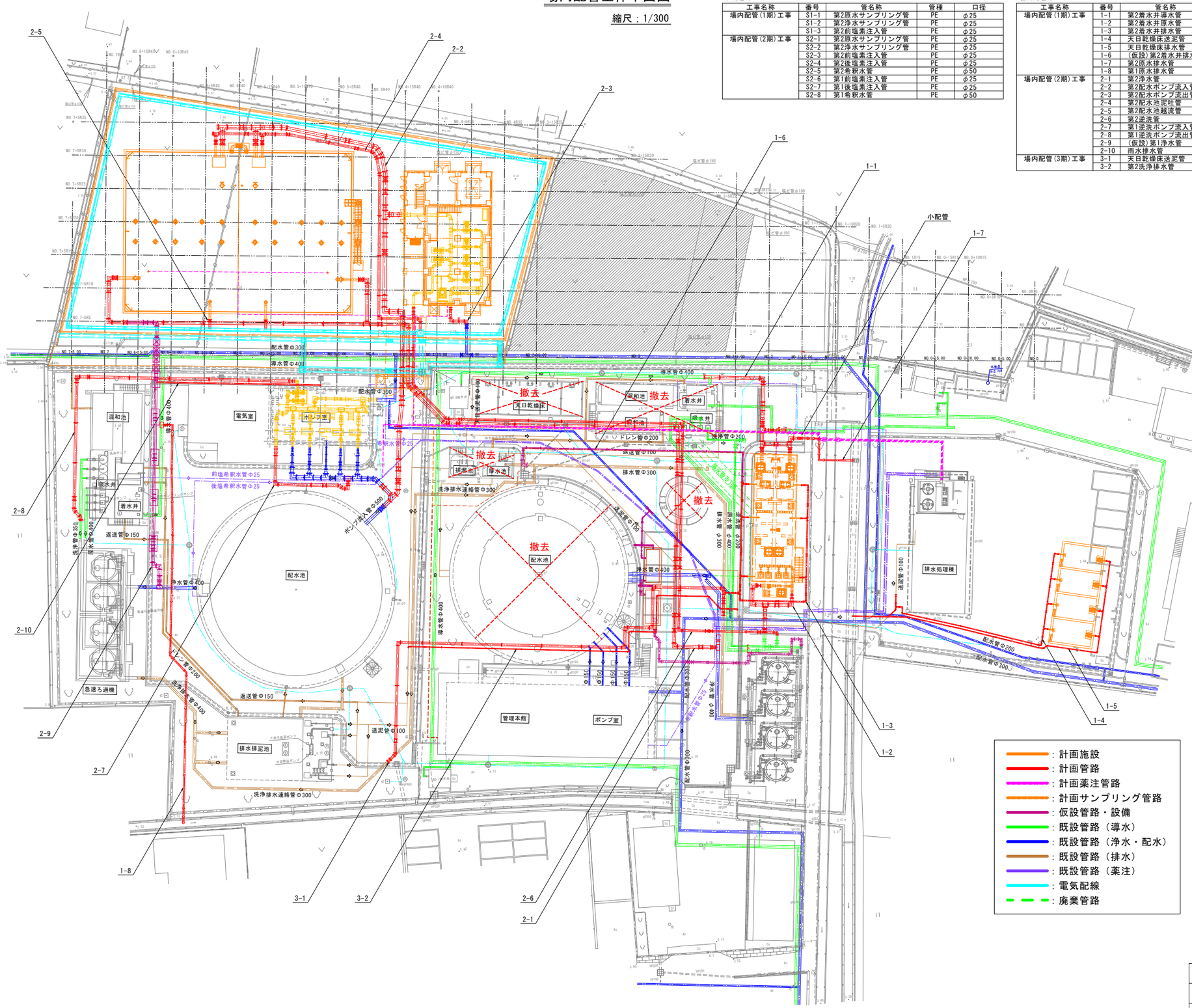
縮尺：1/300

小配管リスト

工事名称	番号	管名称	管種	口径
場内配管(1期)工事	S1-1	第2原水サンプリング管	PE	φ25
	S1-2	第2浄水サンプリング管	PE	φ25
	S1-3	第2前塩素注入管	PE	φ25
場内配管(2期)工事	S2-1	第2原水サンプリング管	PE	φ25
	S2-2	第2浄水サンプリング管	PE	φ25
	S2-3	第2前塩素注入管	PE	φ25
	S2-4	第2後塩素注入管	PE	φ25
	S2-5	第2希釈水管	PE	φ50
	S2-6	第1前塩素注入管	PE	φ25
	S2-7	第1後塩素注入管	PE	φ25
	S2-8	第1希釈水管	PE	φ50

場内配管リスト

工事名称	番号	管名称	管種	口径
場内配管(1期)工事	1-1	第2着水井導水管	GX	φ400
	1-2	第2着水井原水管	GX	φ400
	1-3	第2着水井排水管	GX	φ100～150
	1-4	天日乾燥床送泥管	GX	φ100
	1-5	天日乾燥床排水管	HPPE	φ100
	1-6	(仮設)第2着水井排水管	K	φ150
	1-7	第2原水排水管	HIRR	φ200
	1-8	第1原水排水管	HIRR	φ200
場内配管(2期)工事	2-1	第2浄水管	GX	φ400
	2-2	第2配水ポンプ流入管	NS	φ500
	2-3	第2配水ポンプ流出管	GX	φ300
	2-4	第2配水池泥吐管	GX	φ300
	2-5	第2配水池越流管	GX	φ300
	2-6	第2逆洗管	GX	φ250
	2-7	第1逆洗ポンプ流入管	GX	φ350
	2-8	第1逆洗ポンプ流出管	GX	φ350
	2-9	(仮設)第1浄水管	GX	φ400
	2-10	雨水排水管	VP	φ150
場内配管(3期)工事	3-1	天日乾燥床送泥管	GX	φ100
	3-2	第2洗浄排水管	GX	φ150～300



全期共通図面

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	場内配管全体平面図		
縮　尺	1/300	図面番号	2-8-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

(2期工事)配管平面図1

縮尺：1/150

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(2期工事)配管平面図1		
縮　尺	1/150	図面番号	2-8-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

配水管Φ300
導水管Φ400
導水管Φ400
撤去
天日乾燥床
混和池
撤去
着水井
混和池
吸水井
洗浄管Φ200
ドレン管Φ200
返送管Φ100
撤去
排泥池
排水池
排水管Φ300
原水管Φ150
撤去
電気室
ポンプ室
希釈水管Φ25
前塩希釈水管Φ25
後塩希釈水管Φ25
洗浄排水連絡管Φ300
ポンプ流入管Φ500
送泥管Φ100
撤去
配水池
浄水管Φ400
排水管 φ300
原水管 φ400
逆洗管 φ200
混和池
吸水井
着水井
洗浄ポンプ
原水ポンプ
原水サンプリングポンプ
急速ろ過器操作盤
返送管Φ150
洗浄管Φ350
原水管Φ400
導水管Φ400
浄水管Φ400
ドレン管Φ
塩ビ管φ150
(2-5)第２配水池越流管 GXφ300 L=1.24m
21 場内 φ300 H=0.20 L=1.2m
(2-6)第２逆流管 GXφ250 L=100.71(102.48)m
22 As φ250 H=2.07 L=13.5m
26 As φ250 H=1.51 L=7.4m
27 As φ250 H=1.20 L=33.6m
24 As φ250 H=1.60 L=7.6m
27 As φ250 H=1.20 L=12.8m
23 As φ250 H=1.73 L=10.8m
26 As φ250 H=1.41 L=10.6m
28 As φ250 H=0.78 L=4.3m
12 場内 φ400 H=0.99 L=62.6m
5 As φ400 H=2.03 L=9.3m
8 As φ400 H=1.51 L=8.2m
9 As φ400 H=1.20 L=33.2m
7 As φ400 H=1.60 L=6.9m
9 As φ400 H=1.20 L=12.8m
6 As φ400 H=1.73 L=10.8m
11 As φ400 H=0.78 L=9.0m
(2-1)第２浄水管 GXφ400 L=152.73(154.27)m
NO.7+5R30
NO.7+5R25
NO.7+5R20
NO.7+5R15
NO.7+5R10
NO.7+5R5
NO.7+5.00
NO.7
NO.6+15.00
NO.6+10.00
NO.6+5.00
NO.6
NO.5+15.00
NO.5+10.00
NO.5+5.00
NO.5
NO.4+15.00
NO.4+10.00
NO.4+6.00
NO.4
NO.3+15.00
NO.3
NO.2+5.00
NO.2
NO.1+15.00
NO.4+5R35
NO.4R35
NO.3+15R35
NO.3+15R30
NO.2R25
NO.2+5R25
NO.1+5R25
ST.2

(2期工事)配管平面図2

縮尺：1/150

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(2期工事)配管平面図2		
縮　尺	1/150	図面番号	2-8-3
藍　住　町　上　下　水　道　課			

NO.7+5R30
NO.7+5R25
NO.7+5R20
NO.7+5R15
NO.7+5R10
NO.7+5R5
NO.7+5.00
NO.7
NO.6+15.00
NO.6+10.00
NO.6+5.00
NO.6
NO.5+15.00
NO.5+10.00
NO.5+5.00
NO.5
NO.4+15.00
NO.4+10.00
NO.4+5.00
NO.4
NO.3+15.00
NO.3
NO.2+5.00
NO.2
NO.1+15.00
NO.4+5R35
NO.4R35
NO.3+15R35
NO.3+15R30
NO.2R25
NO.2+5R25
NO.1+15R20

(2-8)第１逆洗ポンプ流出管 GXφ350 L=54.94(55.16)m
17 Gs φ350 H=0.10 L=32.8m
16 Gs φ350 H=0.60 L=22.1m
(2-10)雨水排水管 VPφ150 L=24.70m
31 Gs φ150 H=0.70 L=24.7m
雨水排水管について、継手は適宜調整・調達すること
(2-9)第１浄水管 GXφ400 L=45.44(46.89)m
9 As φ400 H=1.20 L=3.2m
15 As φ350 H=1.14 L=18.4m
(2-7)第１逆洗ポンプ流入管 GXφ350 L=18.25m
(2-6)第２配水管 GXφ300 L=19.7m
(2-4)第２配水管 GXφ300 L=18.5m
(2-3)第２配水管 GXφ300 L=60.6m
(2-2)第２配水管 GXφ300 L=136.0m
4 鉄筋 φ300 H=0.68 L=136.0m
3 鉄筋 φ300 H=1.24 L=18.5m
2 鉄筋 φ300 H=1.20 L=60.6m
As φ300 H=0.95 L=1.7m

配水管Φ300
導水管Φ400
電気室
ポンプ室
混和池
着水井
吸水井
洗浄ポンプ
原水ポンプ
モーター
原水ポンプリングポンプ
急速ろ過装置操作盤
配水池
ポンプ流入管Φ500
前塩希釈水管Φ25
後塩希釈水管Φ25
希釈水管Φ25
洗浄管Φ350
原水管Φ400
返送管Φ150
浄水管Φ400
ドレン管Φ150
排泥管Φ100
天日乾燥床
撤去
排泥池
排水池
洗浄排水連絡管Φ300
ドレン管Φ200
返送管Φ100
排水管Φ300
洗浄管Φ200
原水管Φ150
送泥管Φ100
排水管 φ300
原水管 φ400
逆洗管 φ200
浄水管Φ400
導水管Φ400
塩ビ管φ150

（2期工事）配管詳細図1

縮尺：1/150

(2-1)第2浄水管 GX φ400

GX φ400 L=152.73(154.27)m

N=2箇所

仕切弁BOX(1箇所当り)	
鉄蓋(H150)	1
上下部壁(H300)	1
底版(H40)	1

(円形2号 φ400 H0.99)

GX形 両受バタフライ仕切弁 φ400
GX形 曲管90° φ400
GX形 伸縮可とう管(U×S,偏心量200mm) φ400
GX形 曲管90° φ400
GX形 両受バタフライ仕切弁 φ400
GX形 伸縮可とう管(U×S,偏心量200mm) φ400
GX形 曲管90° φ400 N=2
GX形 継ぎ輪 φ400
GX形 曲管90° φ400
GX形 二受T字管 φ400×φ400
GX形 継ぎ輪 φ400
GX形 両受曲管45° φ400
GX形 曲管22 1/2° φ400
GX形 両受曲管22 1/2° φ400
GX形 曲管11 1/4° φ400 N=2
GX形 曲管45° φ400
直管-1
GX形 曲管90° φ400(ひねり)
GX形 曲管11 1/4° φ400 N=3
GX形 両受曲管22 1/2° φ400 N=2
GX形 両受曲管22 1/2° φ400 N=2
GX形 曲管90° φ400
メカ形キャップ φ400
不断水ストッパー(DIP用) φ400
GX形 継ぎ輪 φ400
GX形 短管1号 φ400
弁体離脱型
センターキャップバタフライ弁 φ400
不断水T字管(DIP用,F型) φ400×φ400

N=1箇所

仕切弁BOX(1箇所当り)	
鉄蓋(H150)	1
上下部壁(H150)	1
底版(H40)	1

(円形2号 φ400 H0.78)

凡例

- GX形用異形管用接合材
- GX形用G-link
- GX・NS形継ぎ輪用特殊押輪 NS形バタフライ弁用接合材
- GX・NS形用ライナー
- K形用特殊押輪

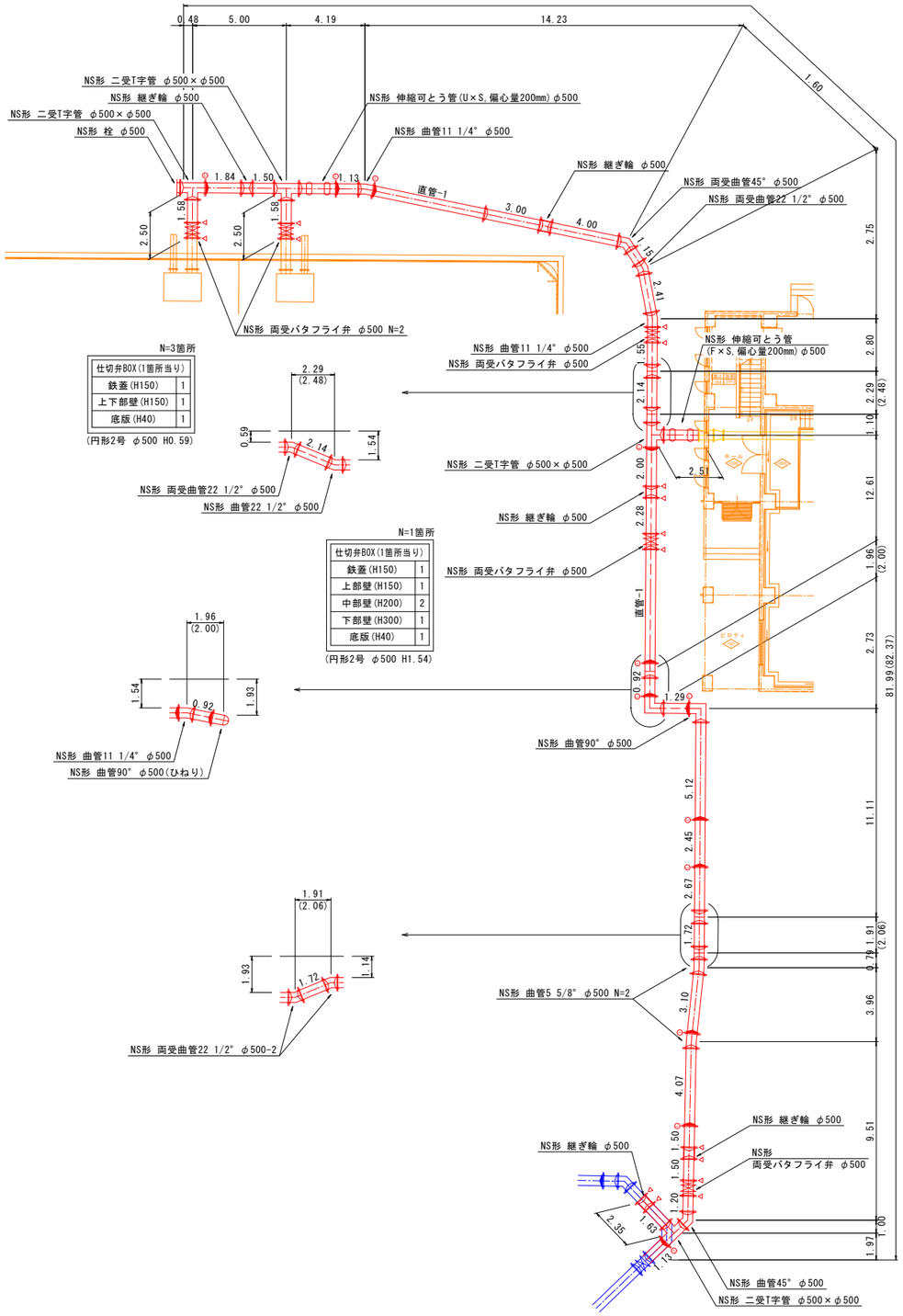
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（2期工事）配管詳細図1		
縮　尺	1/150	図面番号	2-8-4
藍　住　町　上　下　水　道　課			

（2期工事）配管詳細図2

縮尺：1/150

(2-2)第2配水ポンプ流入管

NS φ500 L=91.85(92.23)m



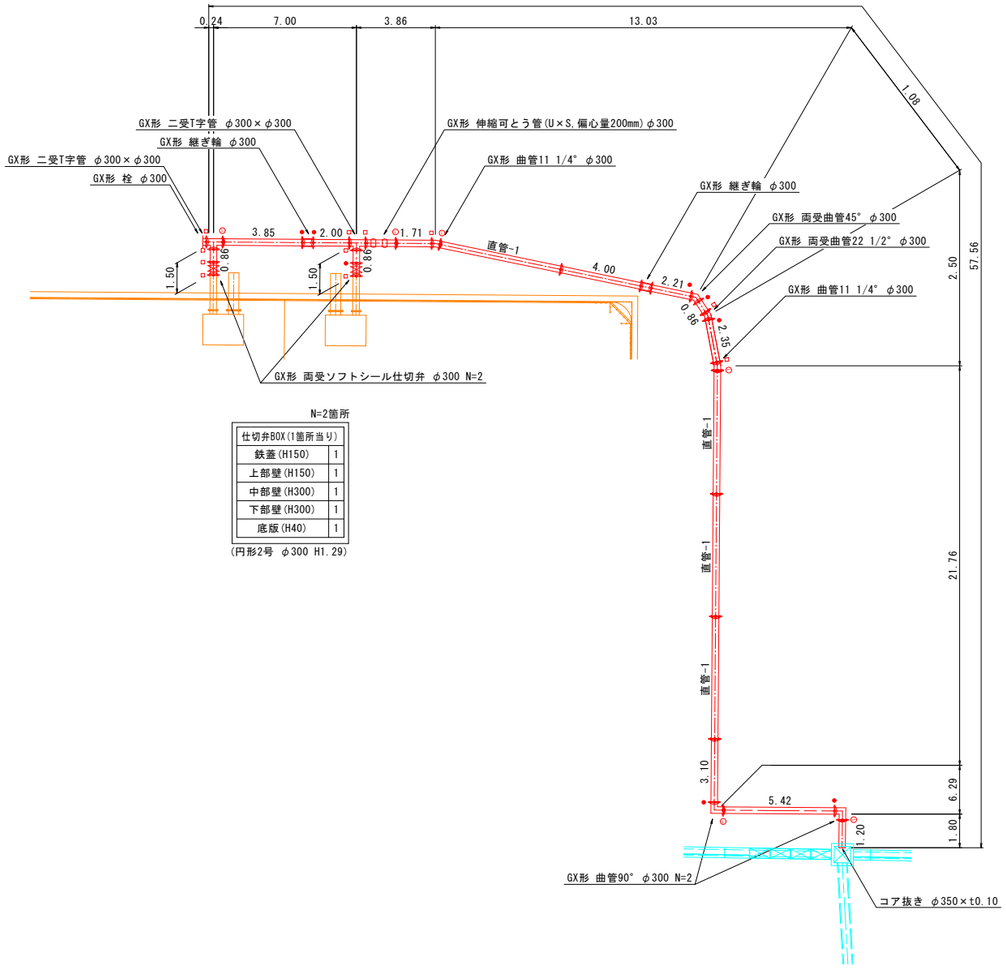
N=1箇所

仕切弁BOX(1箇所当り)	
鉄蓋(H150)	1
上部壁(H150)	1
下部壁(H300)	1
底版(H40)	1

(円形2号 φ500 H1.14)

(2-4)第2配水池泥吐管

GX φ300 L=60.56m



凡例

- GX形用異形管用接合材
- GX形用G-link
- GX・NS形継ぎ輪用特殊押輪 NS形バタフライ弁用接合材
- GX・NS形用ライナー
- K形用特殊押輪

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（2期工事）配管詳細図2		
縮　尺	1/100	図面番号	2-8-5
藍　住　町　上　下　水　道　課			

（2期工事）配管詳細図3

縮尺：1/100

凡例

- ：GX形用異形管用接合材
- ：GX形用G-link
- ：GX・NS形継ぎ輪用特殊押輪 NS形バタフライ弁用接合材
- ：GX・NS形用ライナー
- ：K形用特殊押輪

(2-6)第2逆洗管
GX φ250
L=100.77(102.48)m

GX形 短管1号 φ250
GX形 伸縮可とう管 (U×S,偏心量200mm) φ250
GX形 継ぎ輪 φ250
GX形 曲管45° φ250
GX形 曲管45° φ250 N=2
GX形 曲管22 1/2° φ250
GX形 両受曲管22 1/2° φ250
GX形 曲管11 1/4° φ250 N=2
直管-1
GX形 曲管90° φ250(ひねり)
GX形 曲管11 1/4° φ250 N=3

(2-5)第2配水池越流管
GX φ300 L=2.48m

GX形 両受短管 φ300
コア抜き φ350×t0.10

(2-3)第2配水ポンプ流出管
GX φ300 L=5.05m

乙切管0.95 N=2
SUS 300A×L350(調整用短管)
GX形 伸縮可とう管(F×U,偏心量200mm)φ300
GX形 曲管90° φ300
K形 継ぎ輪 φ300
GX形 曲管90° φ300

GX形 曲管90° φ250(ひねり)
GX形 両受曲管22 1/2° φ250 N=2
GX形 曲管90° φ250(ひねり)
GX形 両受曲管22 1/2° φ250
GX形 両受曲管45° φ250 N=2
GX形 曲管90° φ250 N=2
GX形 継ぎ輪 φ250

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（2期工事）配管詳細図3		
縮　尺	1/100	図面番号	2-8-6
藍　住　町　上　下　水　道　課			

（2期工事）配管詳細図4

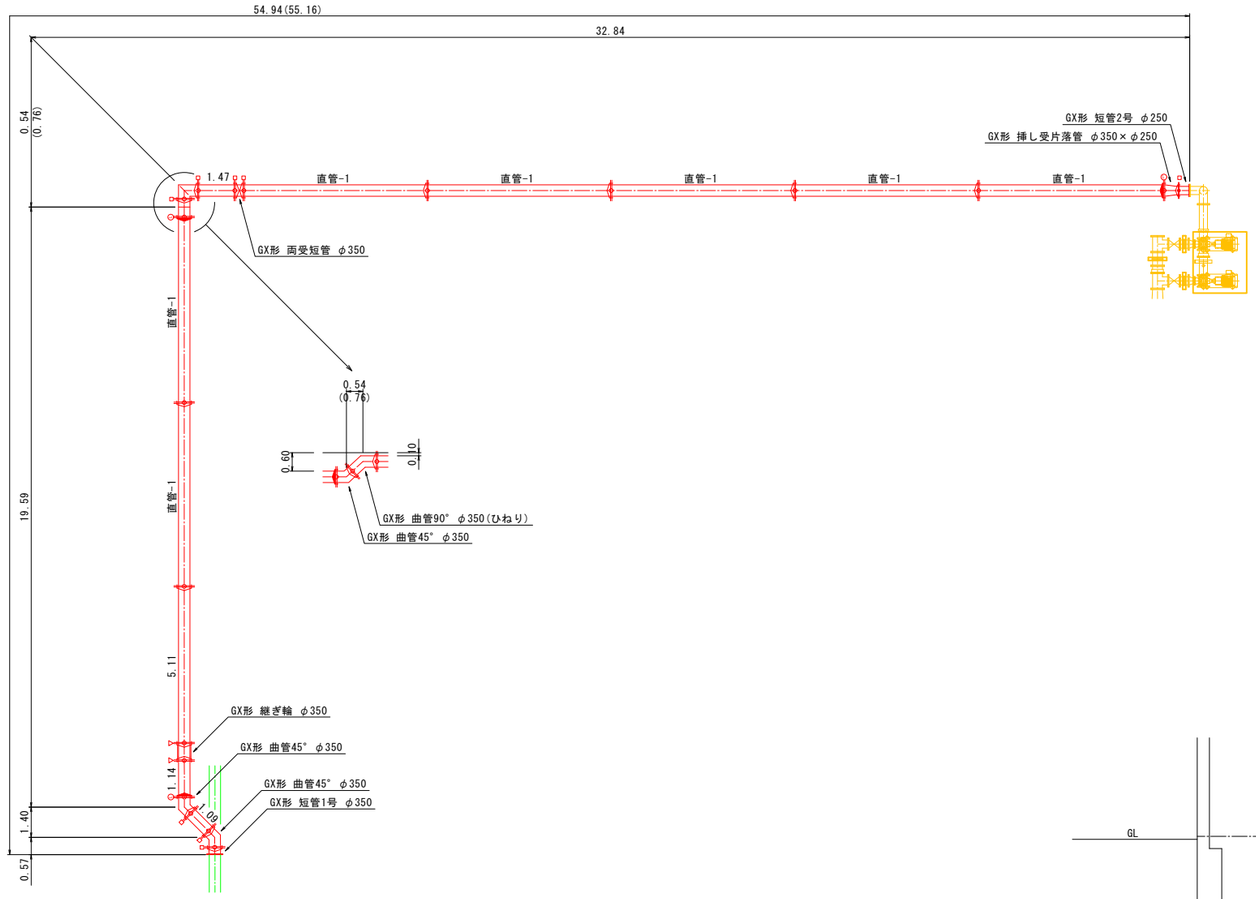
縮尺：1/100

凡例

：GX形用異形管用接合材
：GX形用G-link
：GX・NS形継ぎ輪用特殊押輪
NS形バタフライ弁用接合材
：GX・NS形用ライナー
：K形用特殊押輪

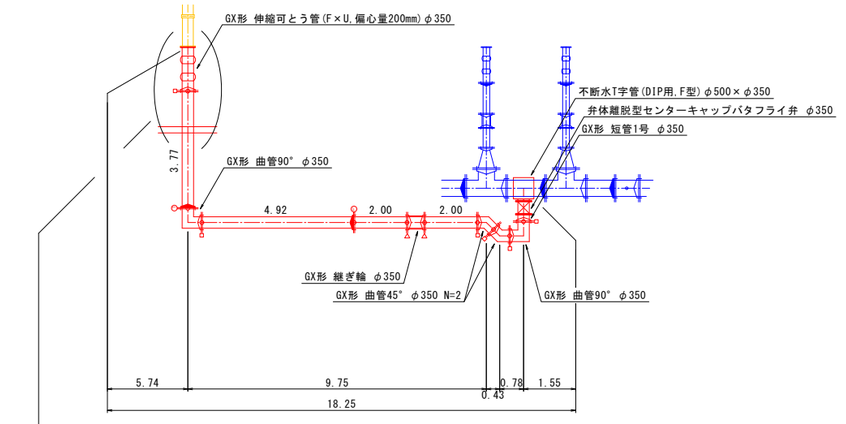
(2-8)第1逆洗ポンプ流出管

GX φ350 L=54.94(55.16)m



(2-7)第1逆洗ポンプ流入管

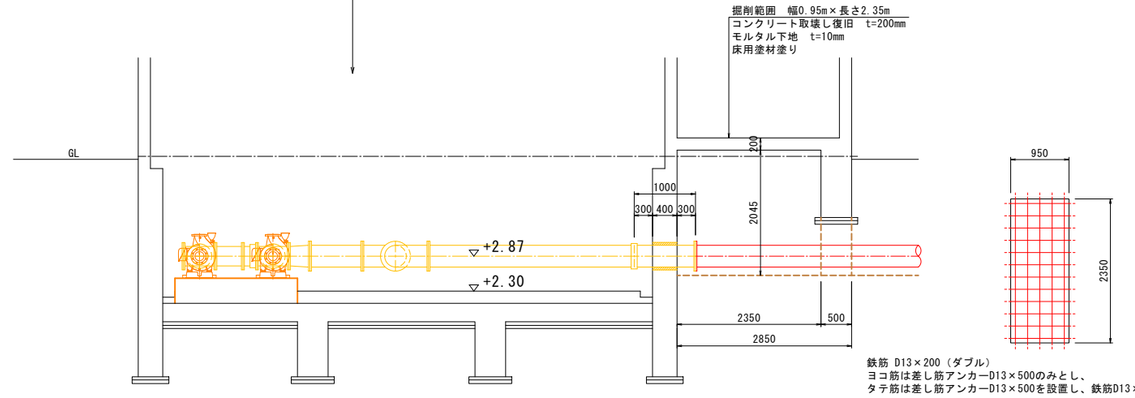
GX φ350 L=18.25m



N=1箇所

仕切弁BOX(1箇所当り)	
鉄蓋(H150)	1
上部壁(H150)	1
中部壁(H100)	1
下部壁(H300)	1
底版(H40)	1

(円形2号 φ350 H1.14)



鉄筋 D13×200（ダブル）
ヨコ筋は差し筋アンカーD13×500のみとし、
タテ筋は差し筋アンカーD13×500を設置し、鉄筋D13×2350と結束する。

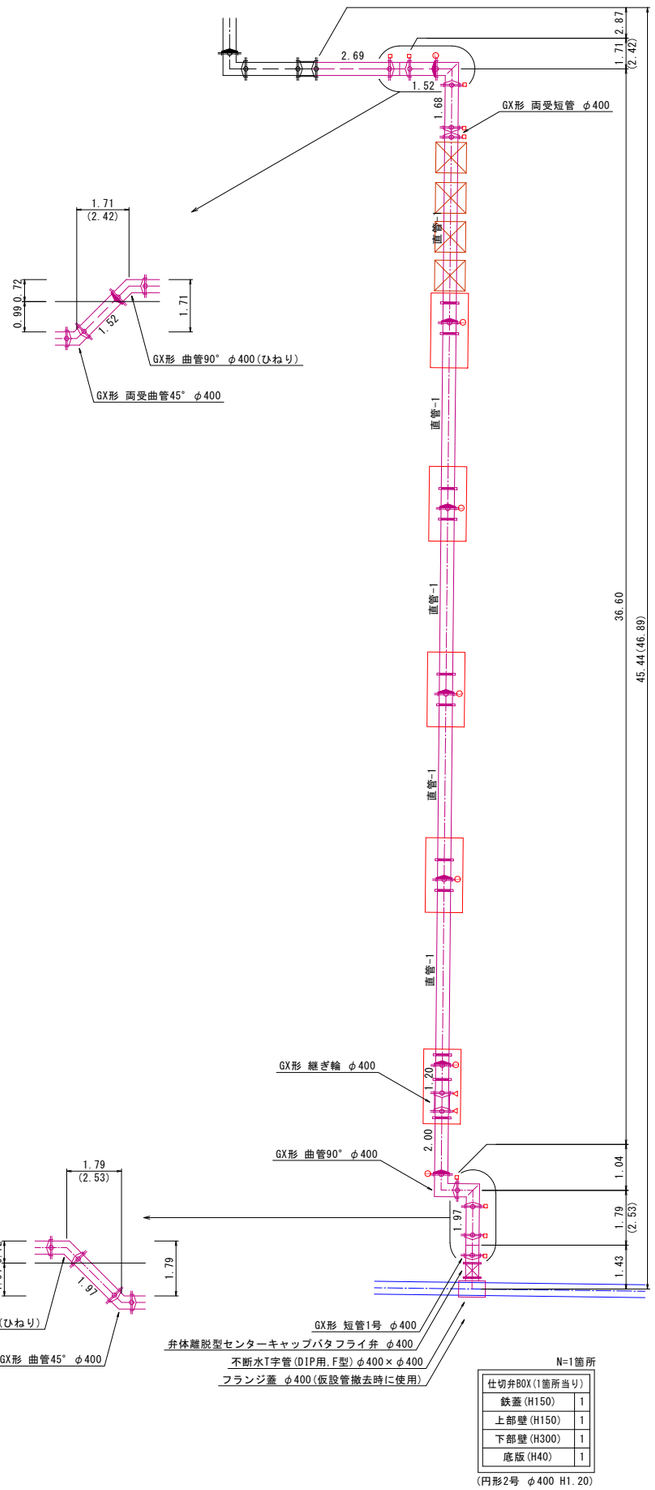
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（2期工事）配管詳細図4		
縮　尺	1/100	図面番号	2-8-7
藍　住　町　上　下　水　道　課			

（2期工事）配管詳細図5

縮尺：1/100

(2-9)(仮設)第1浄水管

GX φ400 L=45.44(46.89)m



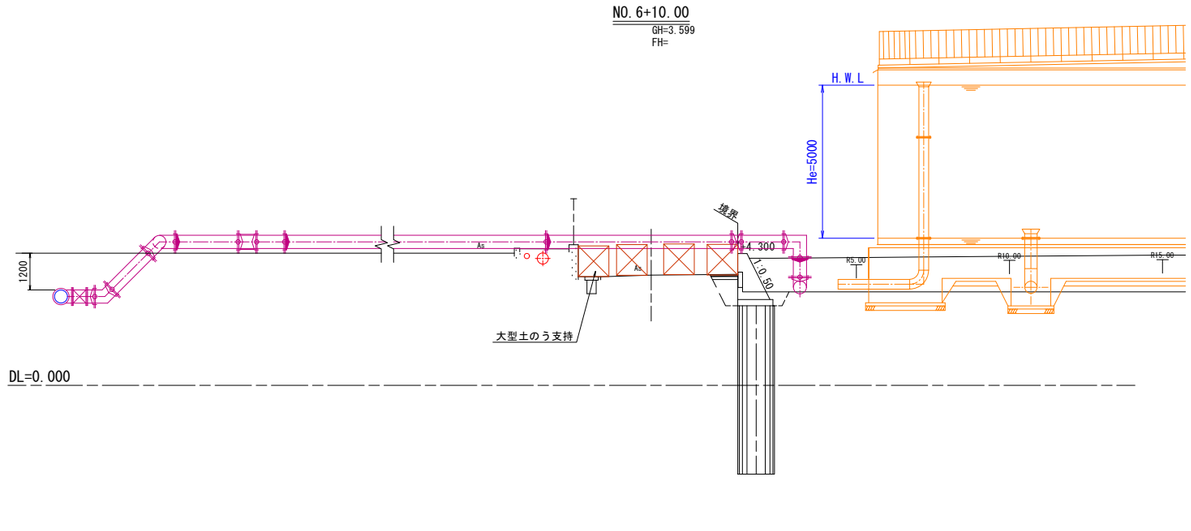
N=1箇所

仕切弁BOX(1箇所当り)	
鉄蓋(H150)	1
上部壁(H150)	1
下部壁(H300)	1
底板(H40)	1

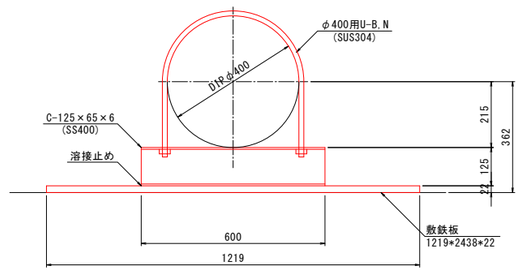
(円形2号 φ400 H1.20)

凡例

- ：GX形用異形管用接合材
- ：GX形用G-link
- ：GX・NS形継ぎ輪用特殊押輪 NS形バタフライ弁用接合材
- ：GX・NS形用ライナー
- ：K形用特殊押輪



支持材 N=5



工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（2期工事）配管詳細図5		
縮　尺	1/100	図面番号	2-8-8
藍　住　町　上　下　水　道　課			

(2期工事)小配管平面図

縮尺：1/150

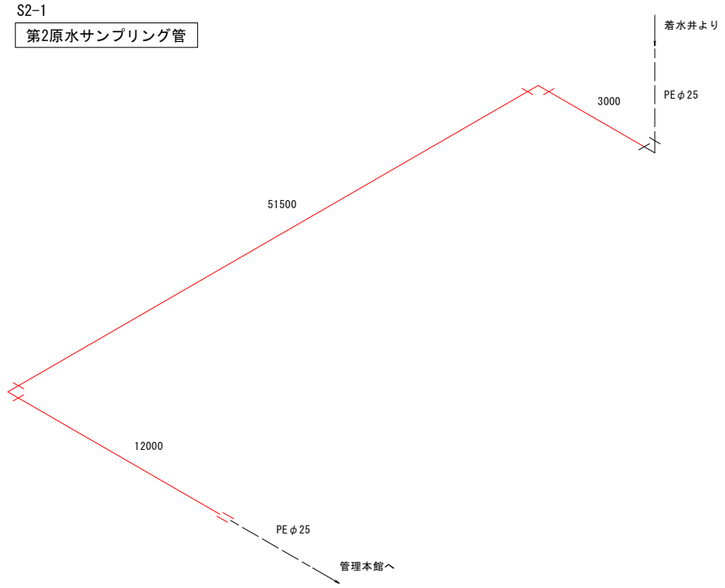
露出
S7 Gs φ25 L=26.3m
(S2-4)第２前塩素注入管 PEφ25 L=132.20m , HIVPφ25 L=43.70m
土工事 別途計上
(S2-5)第２希釈水管 PEφ50 L=112.10m
土工事 別途計上
S4 As φ25 L=3.3m
(S2-3)第２前塩素注入管 PEφ25 L=37.50m
土工事 別途計上
塩ビ管φ150
HPφ250
HPφ150
NO.1+15R20
NO.1+10R20
NO.1+5R20
NO.1R15
NO.0+15R15
NO.0+10R15
NO.6+5.00
NO.6
NO.5+15.00
NO.5+10.00
NO.5+5.00
NO.5
NO.4+15.00
NO.4+10.00
NO.4+5.00
NO.4
NO.3+15.00
NO.3
NO.2+5.00
NO.2
NO.1+15.00
NO.1+10.00
NO.1+5.00
NO.1
NO.0+15.00
NO.0+10.00
ST.1
配水管Φ300
導水管Φ400
配水管Φ300
導水管Φ400
電気室
ポンプ室
撤去
天日乾燥床
天日送泥管Φ100
撤去
混和池
着水井
混和池
吸水井
ドレン管Φ200
洗浄管Φ200
返送管Φ100
排水管Φ300
原水管Φ150
撤去
排泥池
排水池
希釈水管Φ25
前塩希釈水管Φ25
後塩希釈水管Φ25
洗浄排水連絡管Φ300
ポンプ流入管Φ500
送泥管Φ100
撤去
配水池
導水管Φ400
排水管 φ300
逆洗管 φ200
原水管 φ400
浄水管Φ400
排水処理棟
送泥管Φ100
土工事 別途計上
(S2-1)第２原水サンプリング管 PEφ25 L=66.50m
S2 As φ25×2+φ50 L=41.2m
S3 As φ25×2 L=82.2m
S1 As φ25×4+φ50×2 L=87.0m
(S2-8)第１希釈水管 PEφ50 L=93.20m
土工事 別途計上
(S2-6)第１前塩素注入管 PEφ25 L=101.20m
(S2-7)第１後塩素注入管 PEφ25 L=101.20m
Φ150
Φ150
Φ150
Φ150
配水池
返送管Φ150
送泥管Φ100
排水排泥池
上澄水返送ポンプ
管理本館
ポンプ室
浄水管Φ400
希釈水管Φ25
配水管Φ300
浄水管 φ400

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(2期工事)小配管平面図		
縮　尺	1/150	図面番号	2-8-9
藍　住　町　上　下　水　道　課			

（2期工事）小配管詳細図1

縮尺：NON

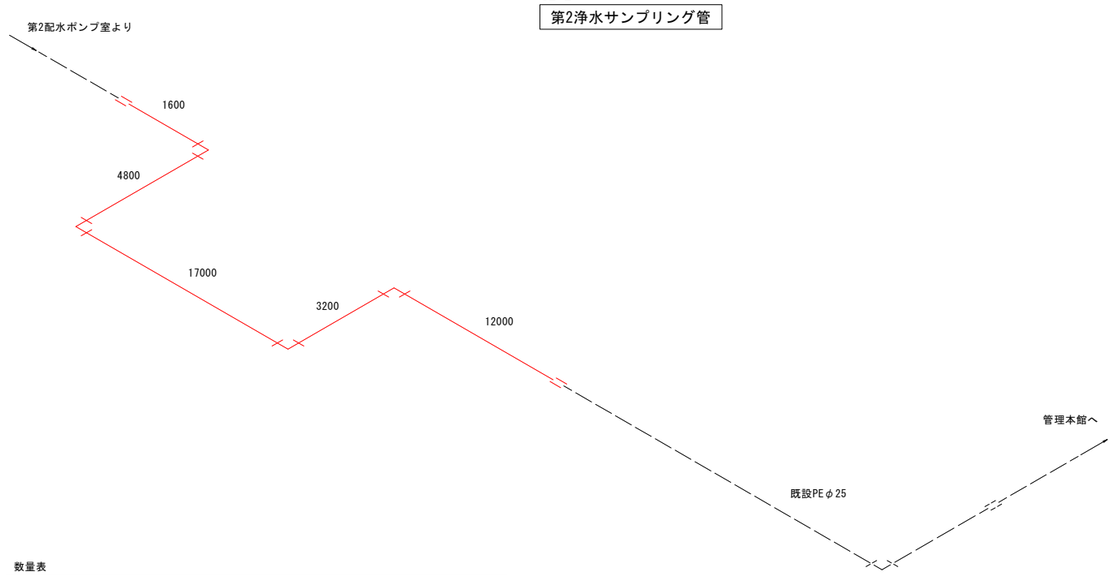
S2-1
第2原水サンプリング管



数量表

名称	仕様	数量	備考
PE直管	埋設　φ25	66.50m	3000+51500+12000=66500
SKXソケット	P25	1個	
SKXエルボ	P25	2個	

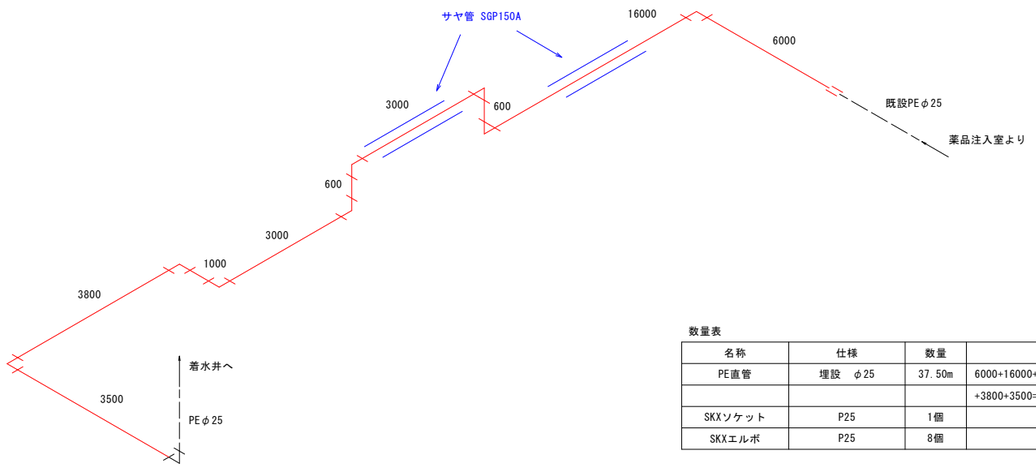
S2-2
第2浄水サンプリング管



数量表

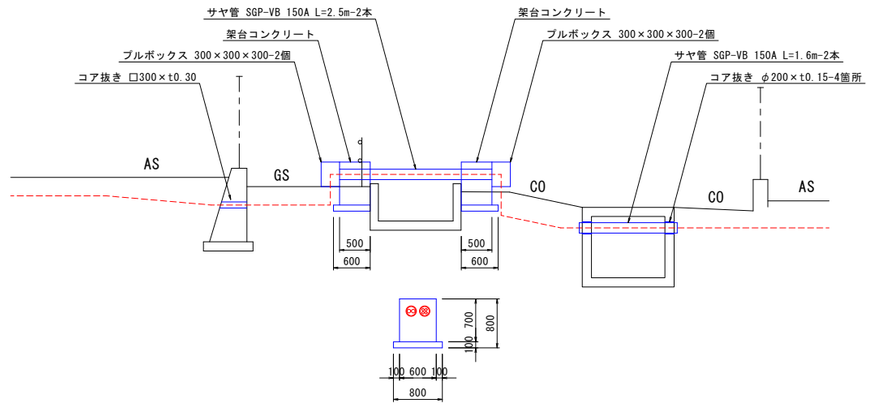
名称	仕様	数量	備考
PE直管	埋設　φ25	38.60m	1600+4800+17000+3200+12000=38600
SKXソケット	P25×V25	1個	
SKXソケット	P25	1個	
SKXエルボ	P25	4個	

S2-3
第2前塩素注入管



数量表

名称	仕様	数量	備考
PE直管	埋設　φ25	37.50m	6000+16000+600+3000+600+3000+1000
			+3800+3500=37500
SKXソケット	P25	1個	
SKXエルボ	P25	8個	



※VPは継手を率計上

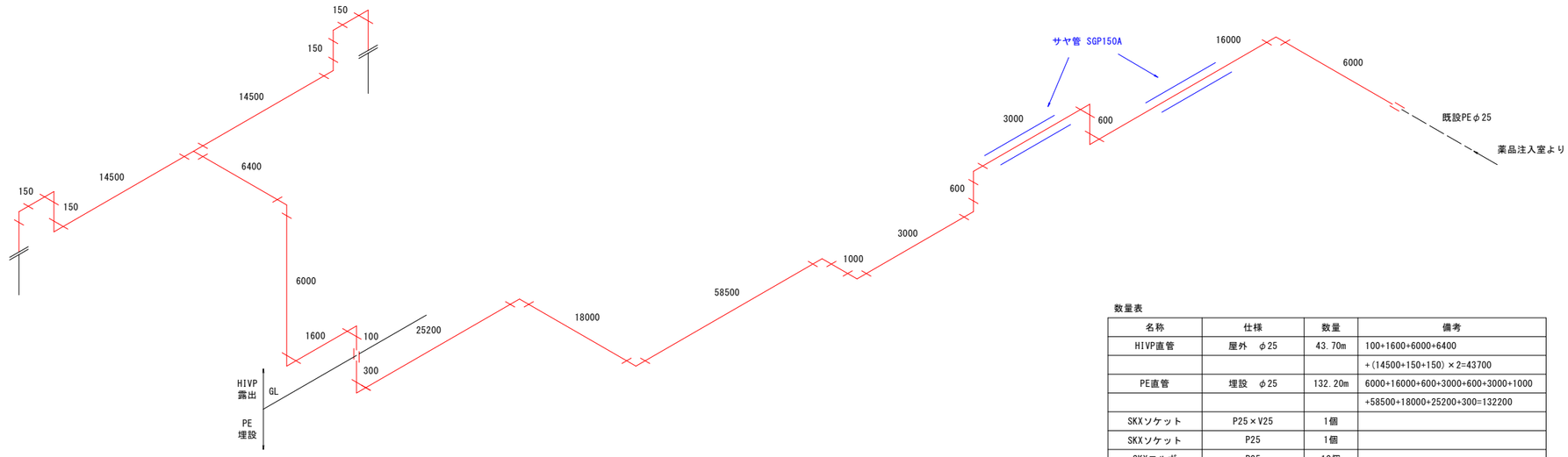
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（2期工事）小配管詳細図1		
縮　尺	NON	図面番号	2-8-10
藍　住　町　上　下　水　道　課			

（2期工事）小配管詳細図2

縮尺：NON

S2-4

第2後塩素注入管

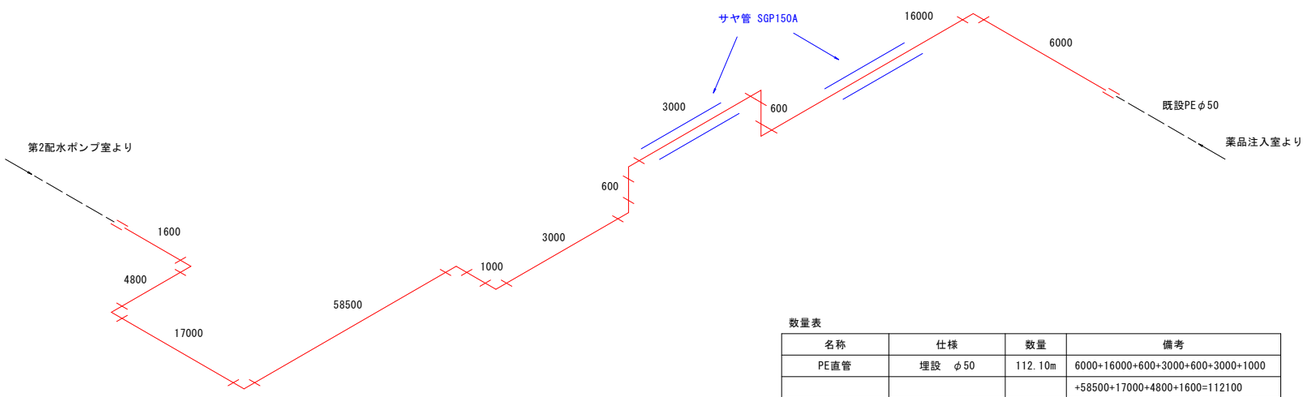


数量表

名称	仕様	数量	備考
HIVP直管	屋外　φ25	43.70m	100+1600+6000+6400
			+(14500+150+150)×2=43700
PE直管	埋設　φ25	132.20m	6000+16000+600+3000+600+3000+1000
			+58500+18000+25200+300=132200
SKXソケット	P25×V25	1個	
SKXソケット	P25	1個	
SKXエルボ	P25	10個	

S2-5

第2希釈水管



数量表

名称	仕様	数量	備考
PE直管	埋設　φ50	112.10m	6000+16000+600+3000+600+3000+1000
			+58500+17000+4800+1600=112100
SKXソケット	P50	1個	
SKXソケット	P50×V50	1個	
SKXエルボ	P50	10個	

※VPは継手を率計上

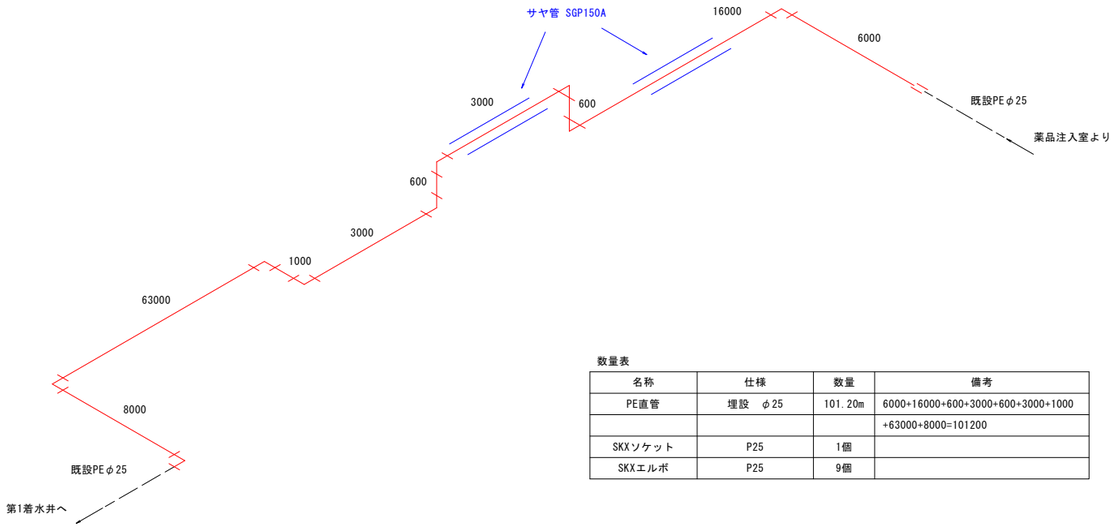
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（2期工事）小配管詳細図2		
縮　尺	NON	図面番号	2-8-11
藍　住　町　上　下　水　道　課			

（2期工事）小配管詳細図3

縮尺：NON

S2-6

第1前塩素注入管

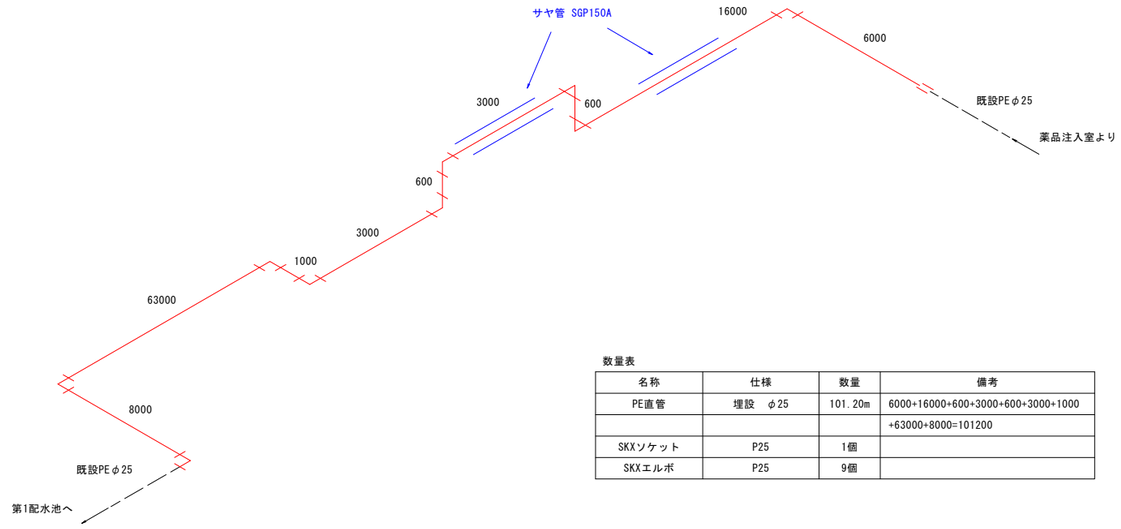


数量表

名称	仕様	数量	備考
PE直管	埋設　φ25	101.20m	6000+16000+600+3000+600+3000+1000
			+63000+8000=101200
SKXソケット	P25	1個	
SKXエルボ	P25	9個	

S2-7

第1後塩素注入管

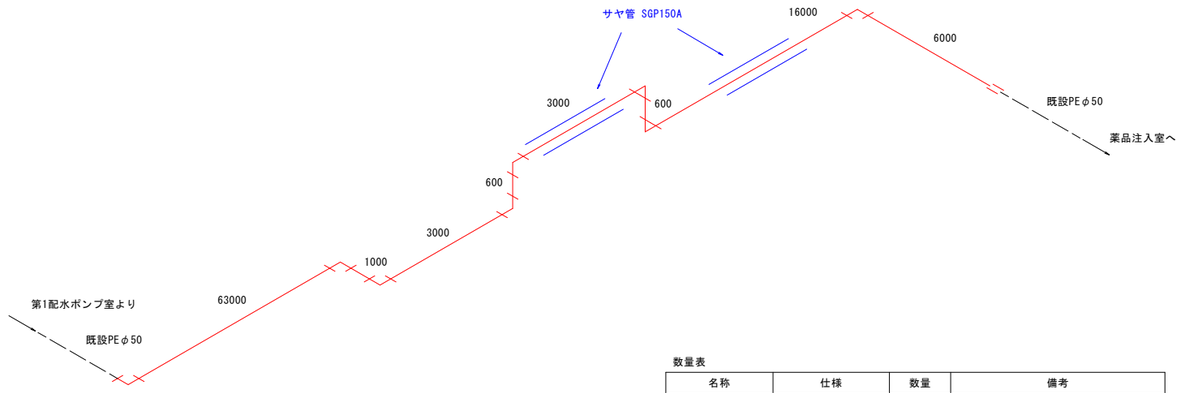


数量表

名称	仕様	数量	備考
PE直管	埋設　φ25	101.20m	6000+16000+600+3000+600+3000+1000
			+63000+8000=101200
SKXソケット	P25	1個	
SKXエルボ	P25	9個	

S2-8

第1希釈水管



数量表

名称	仕様	数量	備考
PE直管	埋設　φ50	93.20m	6000+16000+600+3000+600+3000+1000
			+63000=93200
SKXソケット	P50	1個	
SKXエルボ	P50	8個	

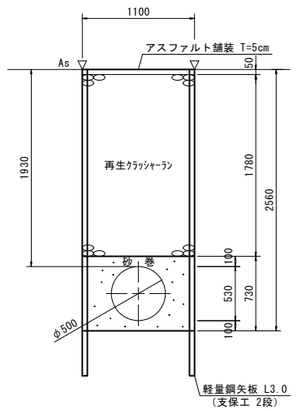
※VPは継手を率計上

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（2期工事）小配管詳細図3		
縮　尺	NON	図面番号	2-8-12
藍　住　町　上　下　水　道　課			

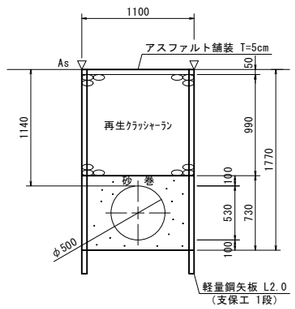
標準掘削断面図1

縮尺；1/30

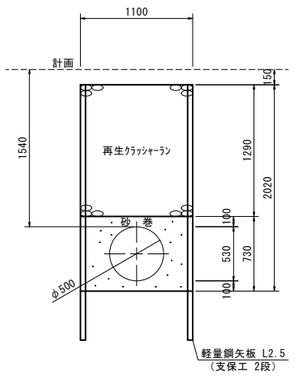
1



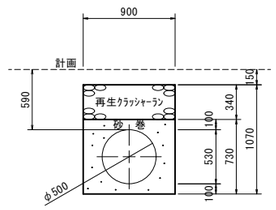
2



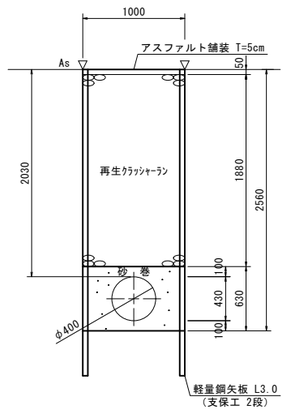
3



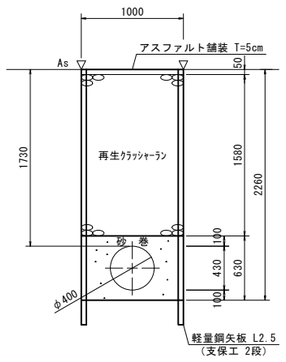
4



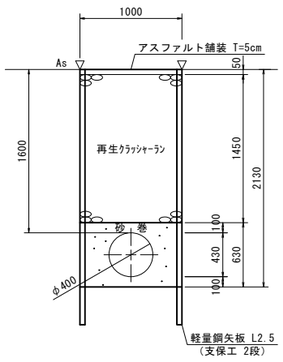
5



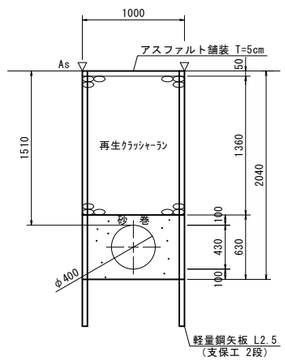
6



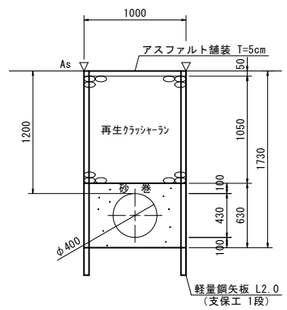
7



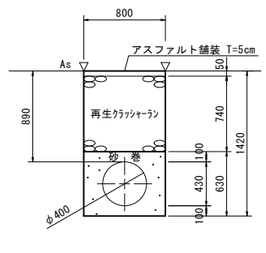
8



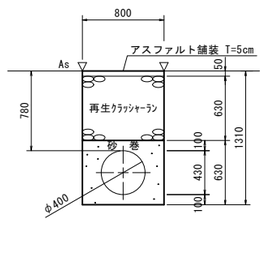
9



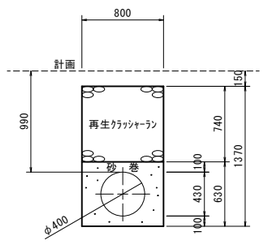
10



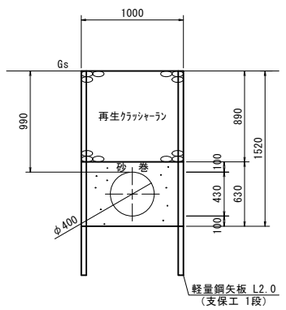
11



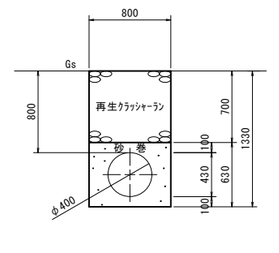
12



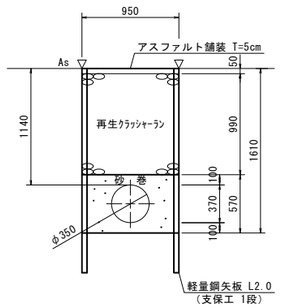
13



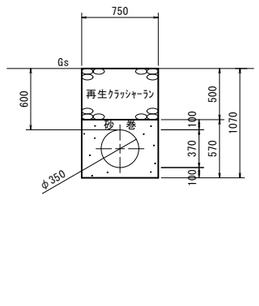
14



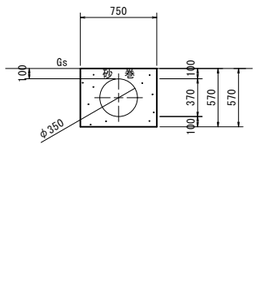
15



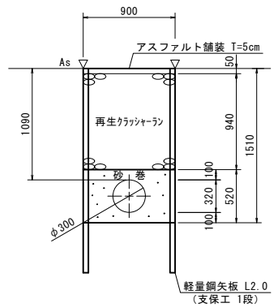
16



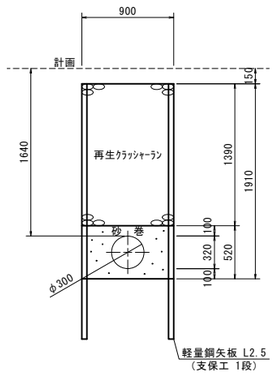
17



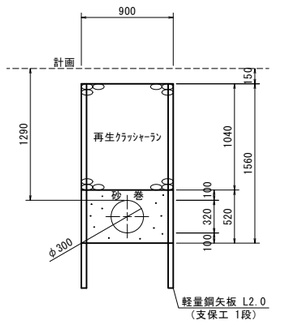
18



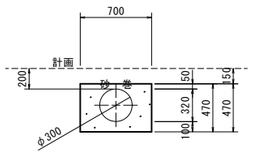
19



20



21



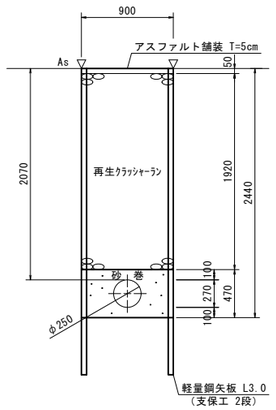
全期共通図面

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	標準掘削断面図1		
縮　尺	1/30	図 面 番 号	2-8-13
藍　住　町　上　下　水　道　課			

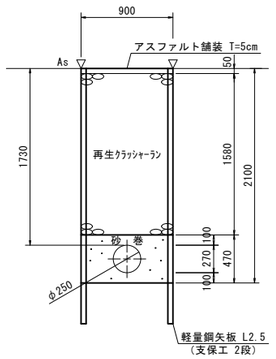
標準掘削断面図2

縮尺：1/30

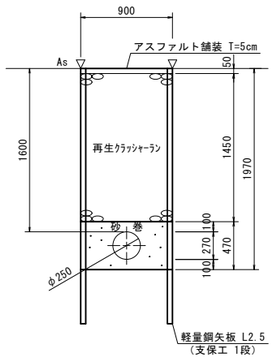
22



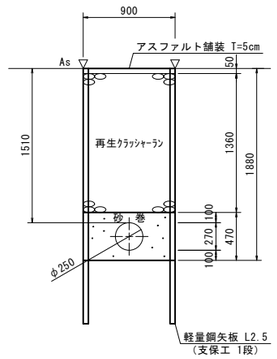
23



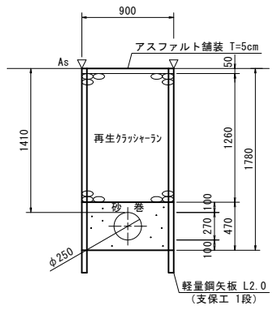
24



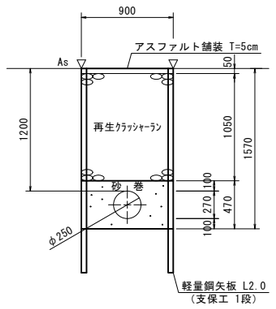
25



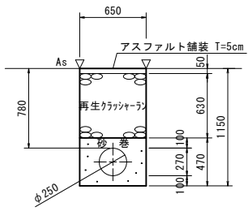
26



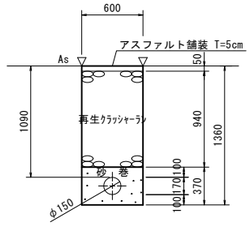
27



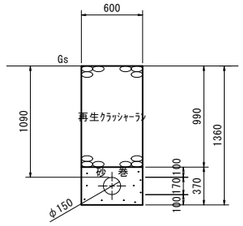
28



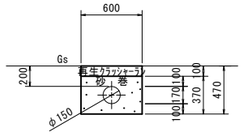
29



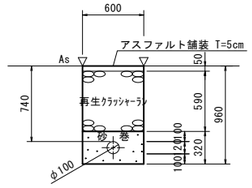
30



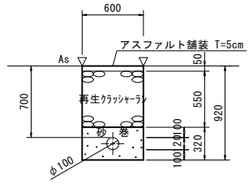
31



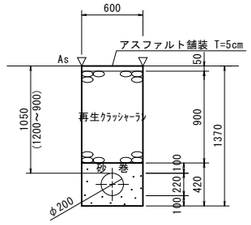
32



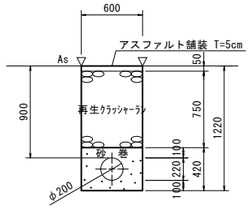
33



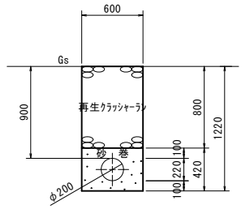
34



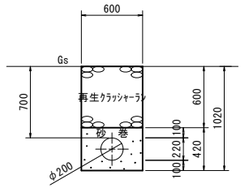
35



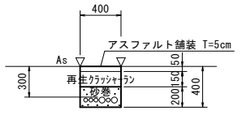
36



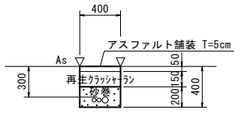
37



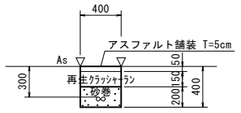
S1



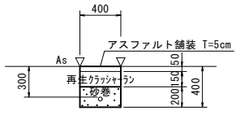
S2



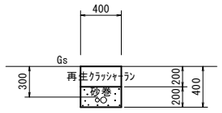
S3



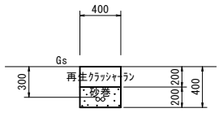
S4



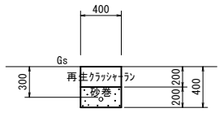
S5



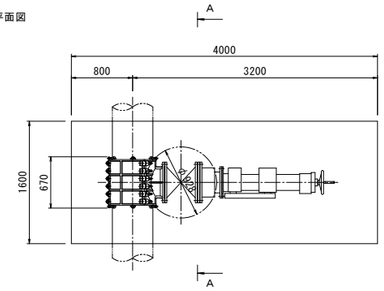
S6



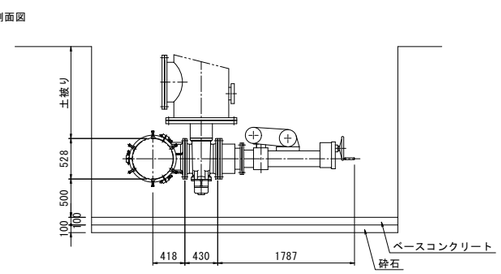
S7



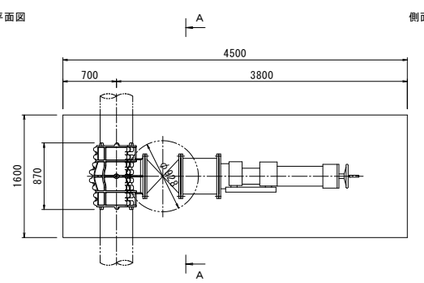
平面図



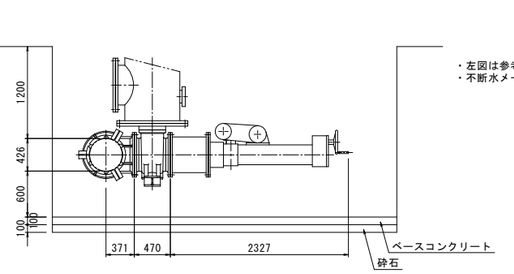
側面図



平面図



側面図



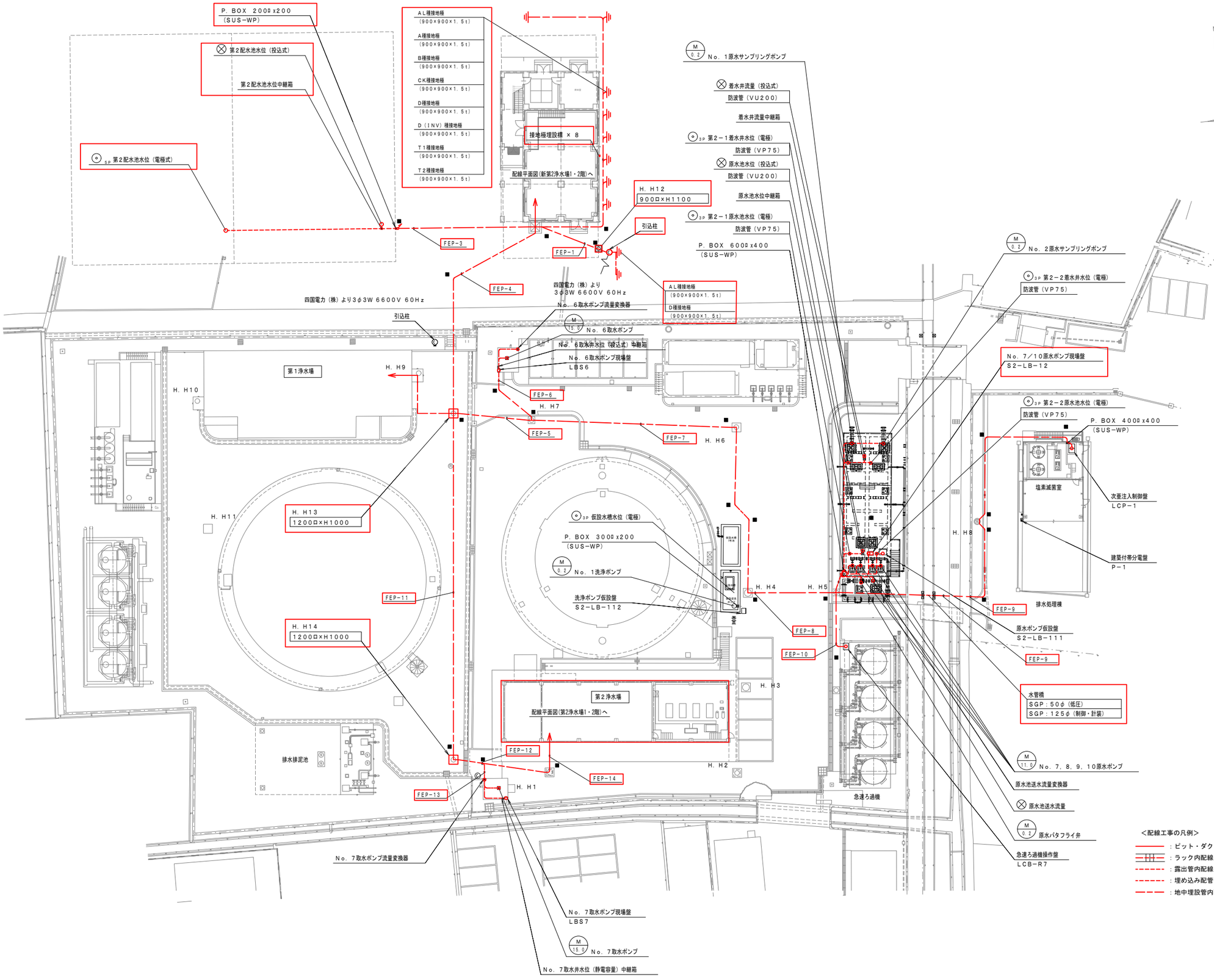
参考土工図

縮尺：1/40

・左図は参考図であり、数量計上していない。
・不断水メーカーにより異なることから、工事前に適宜変更・調整すること。

全期共通図面

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	標準掘削断面図2		
縮　尺	1/30	図面番号	2-8-14
藍　住　町　上　下　水　道　課			



FEP-1
FEP-3
FEP-4
FEP-5
FEP-6
FEP-7
FEP-8
FEP-9
FEP-10
FEP-11
FEP-12
FEP-13
FEP-14

FEP一覧表（GL-450）

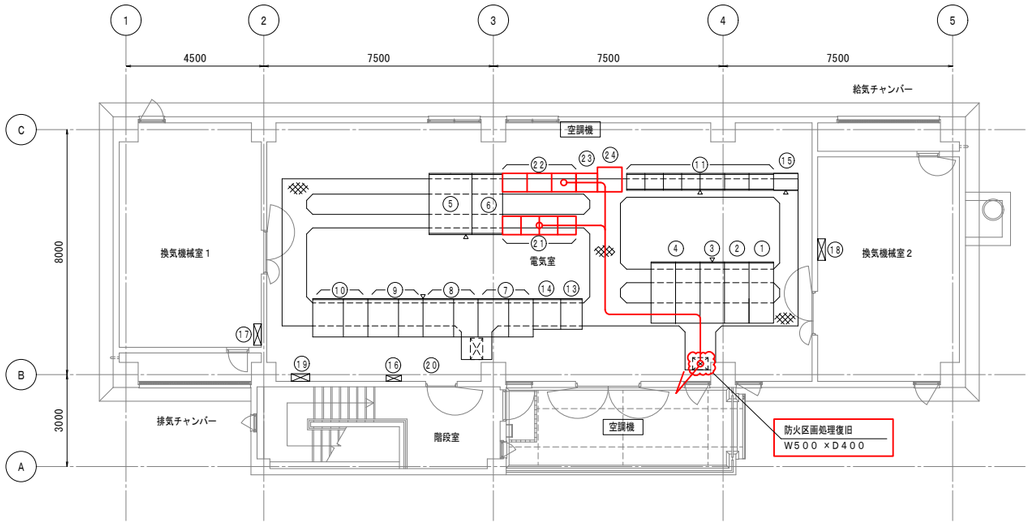
FEP-1	100φ（高圧）	今 回
	30φ（制御）	〃
	100φ（予備）	〃
FEP-3	30φ（制御・計装）	〃
FEP-4	150φ（低圧）	〃
	150φ（低圧）	〃
	200φ（制御・計装）	〃
	200φ（予備）	〃
	200φ（予備）	〃
	200φ（予備）	〃
FEP-5	150φ（低圧）	〃
	200φ（制御・計装）	〃
FEP-6	50φ（低圧）	〃
	50φ（制御・計装）	〃
FEP-7	125φ（低圧）	〃
	200φ（制御・計装）	〃
FEP-8	80φ（低圧）	1期工事
	100φ（制御・計装）	〃
	125φ（低圧）	予備使用
	200φ（制御・計装）	〃
FEP-9	50φ（低圧）	今 回
	125φ（制御・計装）	〃
FEP-10	50φ（低圧）	〃
	125φ（制御・計装）	〃
FEP-11	200φ（低圧）	〃
	100φ（制御・計装）	〃
FEP-12	150φ（低圧）	〃
	80φ（制御・計装）	〃
	50φ（低圧）	〃
	50φ（制御・計装）	〃
FEP-13	50φ（低圧）	〃
	50φ（制御・計装）	〃
FEP-14	150φ（低圧）	〃
	80φ（制御・計装）	〃

＜配線工事の凡例＞

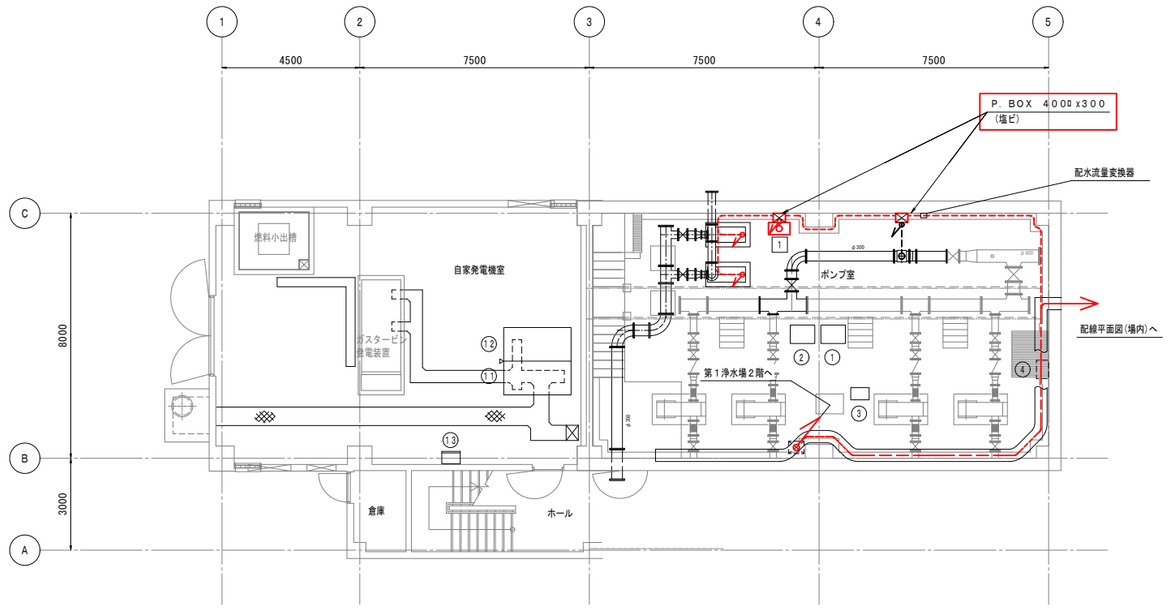
- ：ピット・ダクト内配線
- ：ラック内配線
- ：露出管内配線
- ：埋め込み配管内配線
- ：地中埋設管内配線

注記 1．□部は、今回工事を示す。
2．■ 部は、ケーブル埋設標柱を示す。
3．その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（2期工事）配線平面図（場内）		
縮 尺	1/250	図面番号	2-9-1
藍 住 町 上 下 水 道 課			



第１浄水場２階平面図　　S＝１：１００



第１浄水場１階平面図　　S＝１：１００

第１浄水場２階電気室

番号	盤記号	盤　名　称	備　考
①	S1-HC-1	引込盤	既　設
②	S1-HC-2	受電盤	〃
③	S1-HC-3	自家発切換盤	〃
④	S1-HC-4	変圧器盤	〃
⑤	S1-LC-1	低圧分岐盤	〃
⑥	S1-LC-2	照明分岐盤	〃
⑦	S1-LCB-1	No. 1 配水ポンプインバータ盤	〃
⑧	S1-LCB-2	No. 2 配水ポンプインバータ盤	〃
⑨	S1-LCB-3	No. 3 配水ポンプインバータ盤	〃
⑩	S1-LCB-4	No. 4 配水ポンプインバータ盤	〃
⑪	S1-LBZ-1~7	低圧動力制御盤（１）～（７）	〃
⑫			
⑬	S1-DB-2	ＵＰＳ出力分電盤	〃
⑭		直流電源盤	〃
⑮	S1-TM-1	第１浄水場テレメータ盤（親局）	〃
⑯		接地端子箱	〃
⑰	PM-1	動力操作盤（１）	〃
⑱	PM-2	動力操作盤（２）	〃
⑲	PL-1	電灯分電盤	〃
⑳		インターホン（親機）	〃
㉑	S1-CC-1~4	第１浄水場コントロールセンタ	今　回
㉒	S1-CRB-1~3	第１浄水場補助継電器盤	〃
㉓	S1-SQC-1	浄水制御コントローラ盤３	〃
㉔	S1-IB-1	第１浄水場計装盤	〃

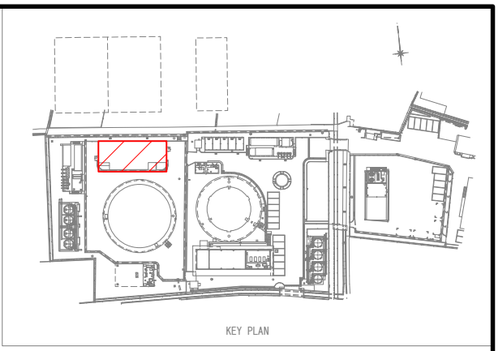
第１浄水場１階ポンプ室

番号	盤記号	盤　名　称	備　考
①	LB-3	Ｎｏ．１２，１３配水ポンプ現場操作盤	既　設
②	LB-4	Ｎｏ．１４，１５配水ポンプ現場操作盤	〃
③	LB-9	浄水サンプリングポンプ現場操作盤	〃
④	LB-10	床排水ポンプ現場操作盤	〃

番号	盤記号	盤　名　称	備　考
1	S1-LB-12	Ｎｏ．１／２逆洗ポンプ現場盤	今　回

第１浄水場１階自家発電気室

番号	盤記号	盤　名　称	備　考
⑪	S1-GC-1	自動始動発電機盤	既　設
⑫	S1-GC-2	始動用直流電源盤	〃
⑬	S1-LB-11	自家発ファン現場操作盤	〃

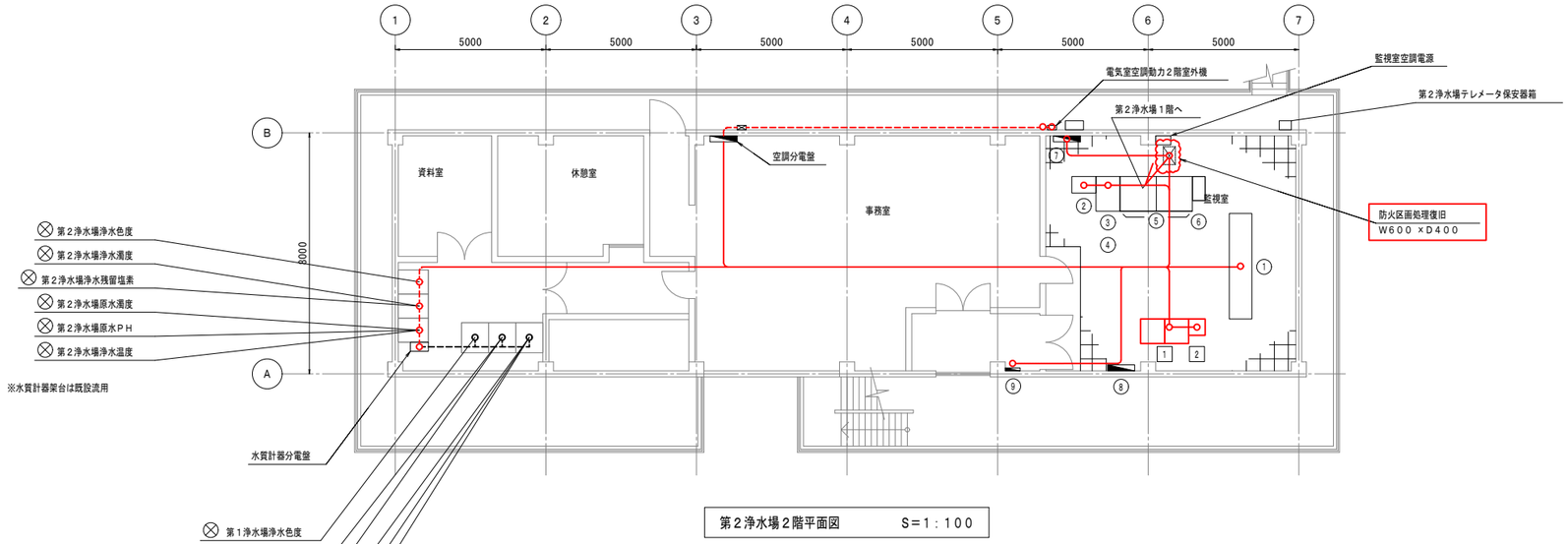


＜配線工事の凡例＞

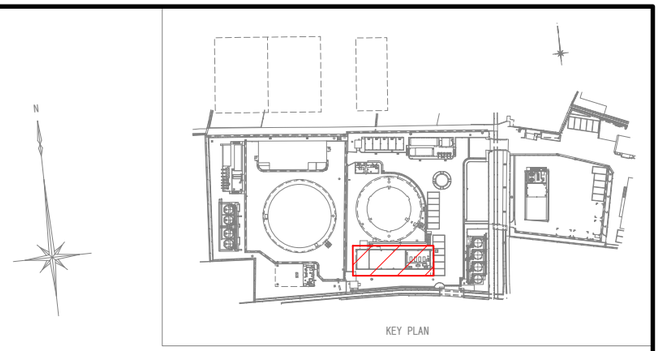
- ：ピット・ダクト内配線
- ：ラック内配線
- ：露出管内配線
- ：埋め込み配管内配線
- ：地中埋設管内配線

注記　１，　部は、今回工事を示す。
　　２，　部は、機能増設を示す。
　　３，その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(2期工事)配線平面図(第1浄水場1・2階)		
縮　尺	1/100	図面番号	2-9-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			



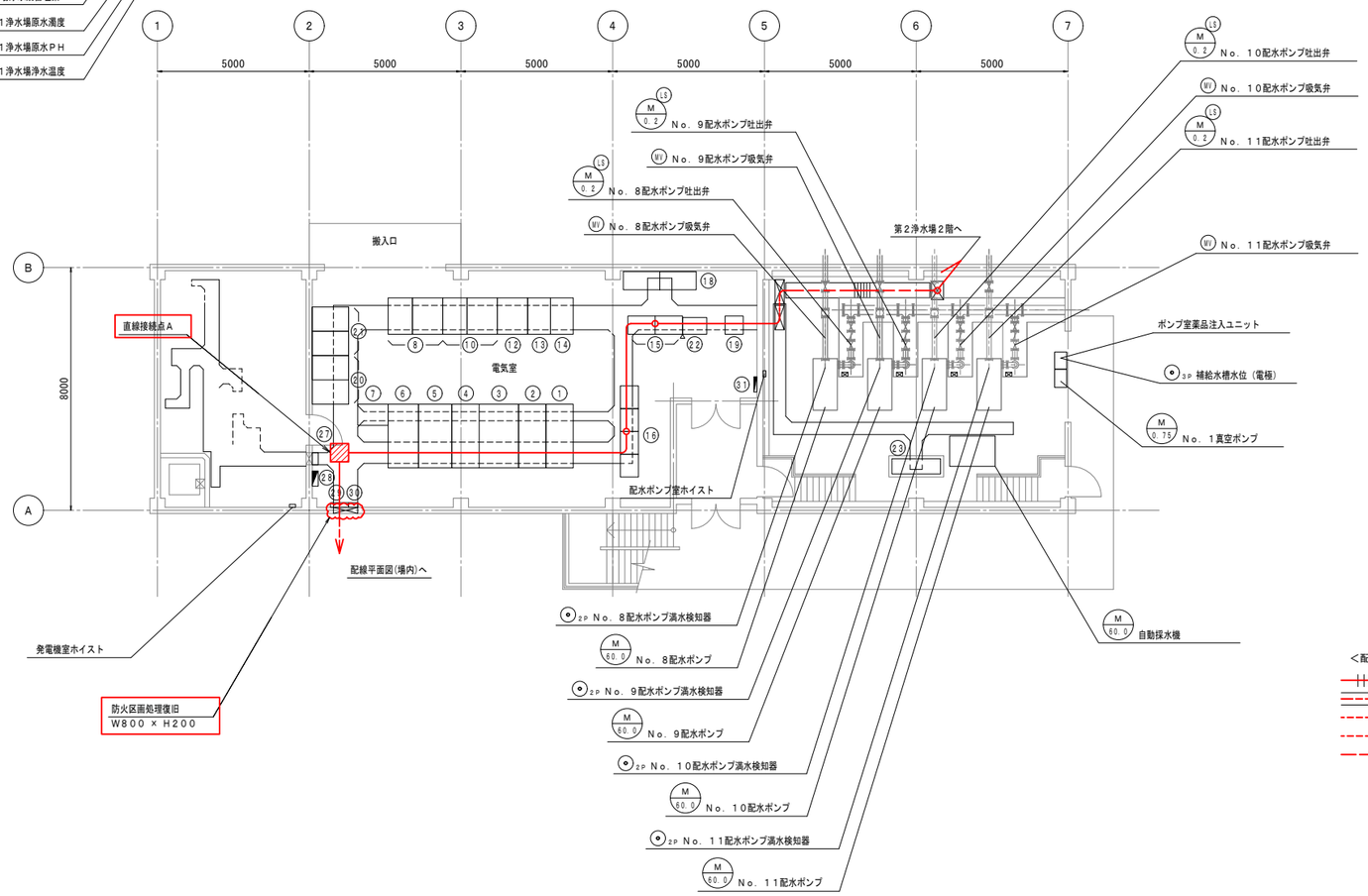
第２浄水場２階平面図　　S＝1：100



第２浄水場２階監視室

番号	盤記号	盤　名　称	備　考
①		事務電算機	既　設
②	SQC−1	浄水制御コントローラ盤	〃
③	ITV1	ＩＴＶ監視装置	〃
④		ＩＴＶモニタ	〃
⑤			
⑥			
⑦		事務電算機用分電盤	既　設
⑧		監視盤用分電盤	〃
⑨		２Ｆ照明分電盤	〃

番号	盤記号	盤　名　称	備　考
1	LCD−11/12	ＬＣＤ−監視装置１／２	今　回
2	HC−11	カラーハードコピー	〃



第２浄水場１階平面図　　S＝1：100

第２浄水場１階発電機室・電気室・配水ポンプ室

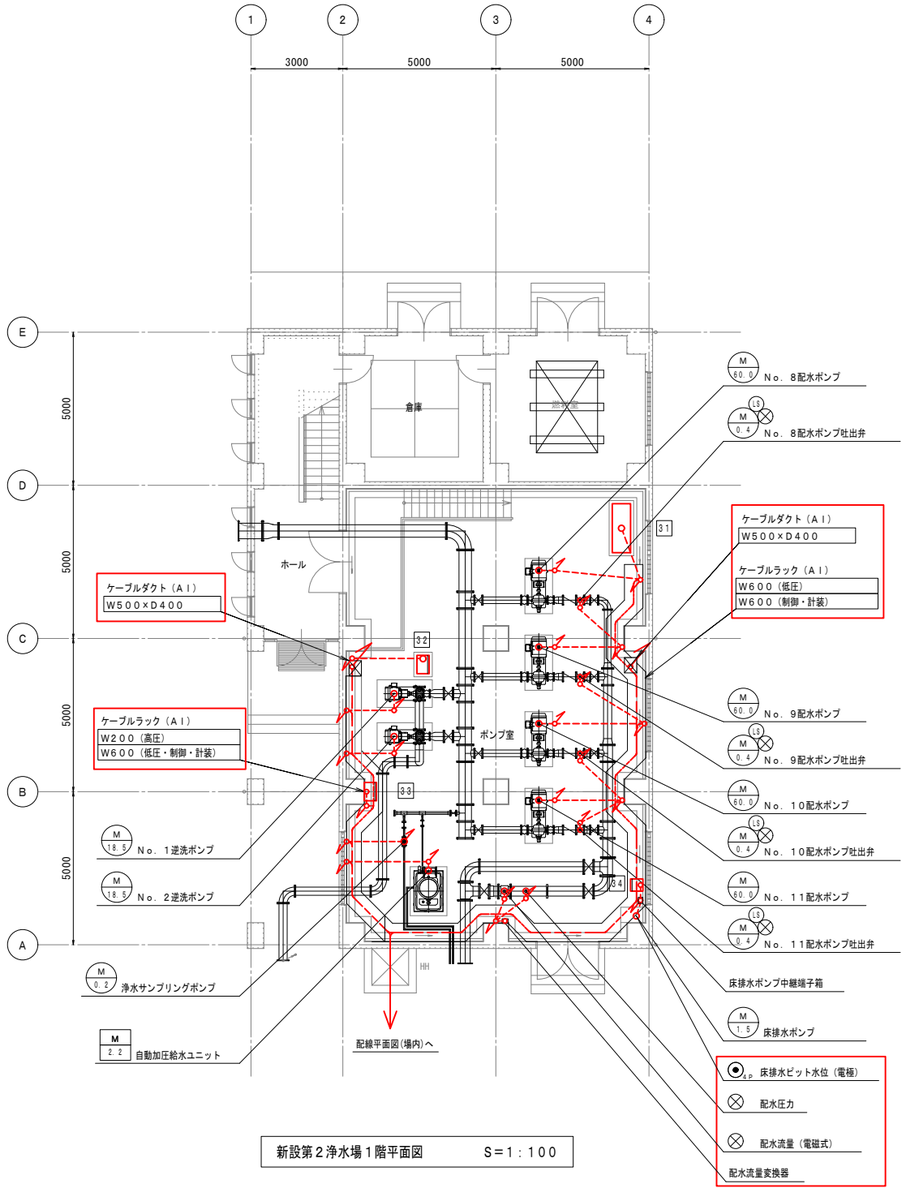
番号	盤記号	盤　名　称	備　考
①	S2−HC−1	引込盤	既　設
②	S2−HC−2	受電盤	〃
③	S2−HC−3	変圧器盤	〃
④	S2−LC−1	変圧器二次盤／自家発引込盤	〃
⑤	S2−LC−2	低圧き電盤	〃
⑥	S2−LC−3	照明電源盤	〃
⑦	SQC−2	浄水制御コントローラ盤２	〃
⑧	LCB−10	Ｎｏ．１０配水ポンプインバータ／コンバータ盤	〃
⑨			〃
⑩	LCB−8	Ｎｏ．８配水ポンプインバータ／コンバータ盤	〃
⑪			〃
⑫	BB−1	蓄電池盤	〃
⑬	UPS−1	整流器盤	〃
⑭	UPS−2	インバータ盤	〃
⑮	S2−CRB−1/2	補助継電器盤（１）～（２）	〃
⑯	S2−CC−1/4	コントロールセンタ（１）～（４）	〃
⑰			
⑱	TB−1/2	中継端子盤（１）～（２）	既　設
⑲	TMR	テレメータ盤	〃
⑳	HP−9	Ｎｏ．９配水ポンプインバータ制御盤	〃
㉑	HP−11	Ｎｏ．１１配水ポンプインバータ制御盤	〃
㉒	S2−TM−1	第２浄水場テレメータ盤（親局）	〃
㉓	S2−LB−1	配水ポンプ現場盤	〃
㉔			
㉕			
㉖			
㉗		換気扇制御盤	〃
㉘		屋外電灯分電盤	〃
㉙		接地端子箱	〃
㉚		ＩＮＶ接地箱	〃
㉛		１Ｆ照明分電盤	〃

＜配線工事の凡例＞

- ：ピット・ダクト内配線
- ：ラック内配線
- ：露出管内配線
- ：埋め込み配管内配線
- ：地中埋設管内配線

注記　１．□部は、今回工事を示す。
　　２．▨部は、機能増設を示す。
　　３．その他特記無きは既設を示す。

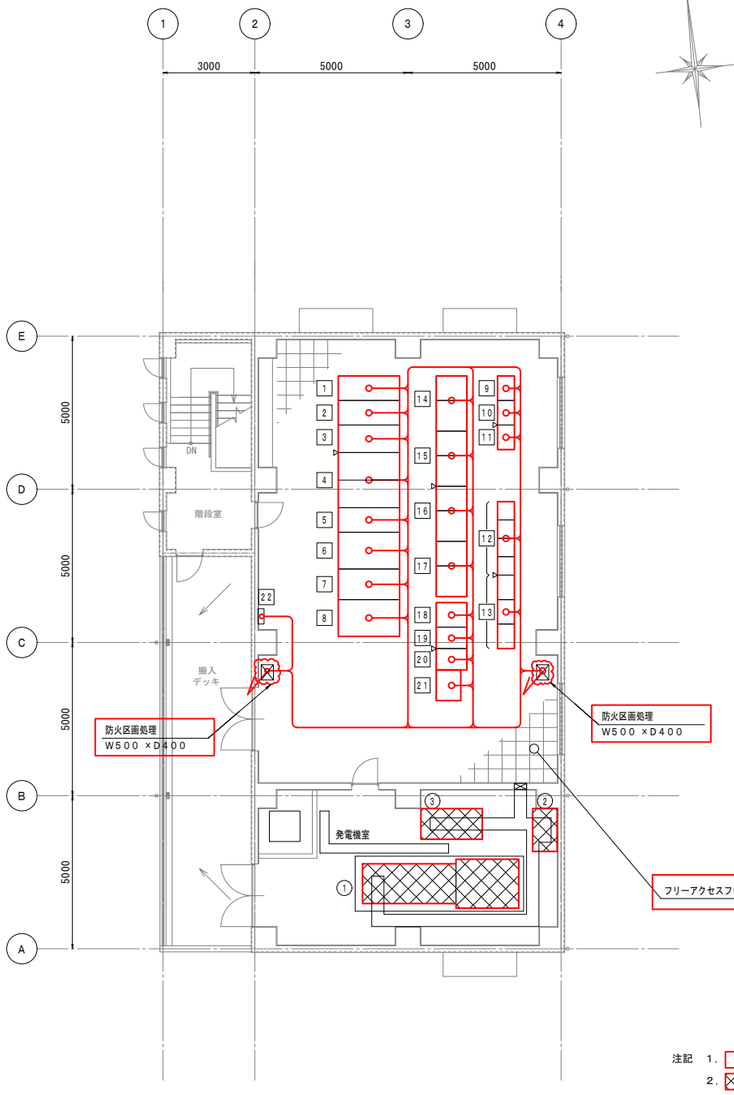
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(2期工事)配線平面図(第2浄水場1・2階)		
縮　尺	1/100	図面番号	2-9-3
藍　住　町　上　下　水　道　課			



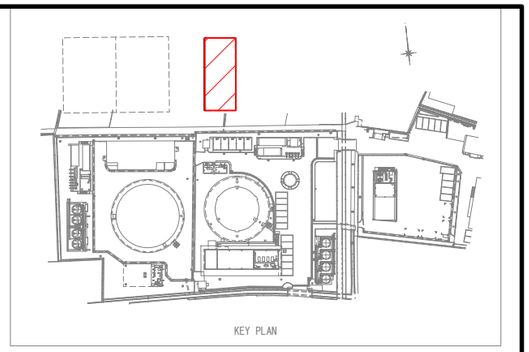
新設第２浄水場１階平面図　　S＝１：１００

新第２浄水場１階ポンプ室

番号	盤記号	盤　名　称	備　考
31	S2-LB-11	配水ポンプ現場盤	今　回
32	S2-LB-13	逆洗ポンプ現場操作盤	〃
33	S2-LB-14	サンプリングポンプ現場盤	〃
34	S2-LB-15	床排水ポンプ現場盤	〃



新設第２浄水場２階平面図　　S＝１：１００



新第２浄水場２階電気室

番号	盤記号	盤　名　称	備　考
1	S2-HC-11	引込盤	今　回
2	S2-HC-12	受電盤	〃
3	S2-HC-13	変圧器一次盤	〃
4	S2-HC-14	変圧器盤	〃
5	S2-LC-11	変圧器二次盤/自家発引込盤	〃
6	S2-LC-12	低圧き電盤	〃
7	S2-LC-13	照明電源盤	〃
8	S2-LC-14	コンデンサ盤	〃
9	S2-SQC-1	浄水制御コントローラ盤１	〃
10	S2-SQC-2	浄水制御コントローラ盤２	〃
11	S2-TM-1	第２浄水場テレメータ親局盤	〃
12	S2-CC-11/14	第２浄水場コントロールセンタ１１／１４	〃
13	S2-CRB-11/13	第２浄水場補助継電器盤１１／１３	〃
14	S2-LCB-8	Ｎｏ．８配水ポンプ盤	〃
15	S2-LCB-9	Ｎｏ．９配水ポンプ盤	〃
16	S2-LCB-10	Ｎｏ．１０配水ポンプ盤	〃
17	S2-LCB-11	Ｎｏ．１１配水ポンプ盤	〃
18	S2-BA-1	蓄電池盤	〃
19	S2-DC-1	整流器盤	〃
20	S2-CVCF-1	インバータ盤	〃
21	S2-IB-1	計装盤	〃
22		接地端子箱	〃

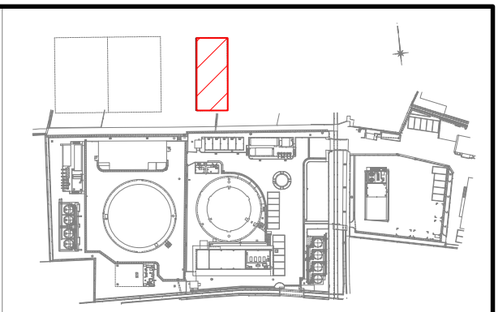
新第２浄水場２階発電機室

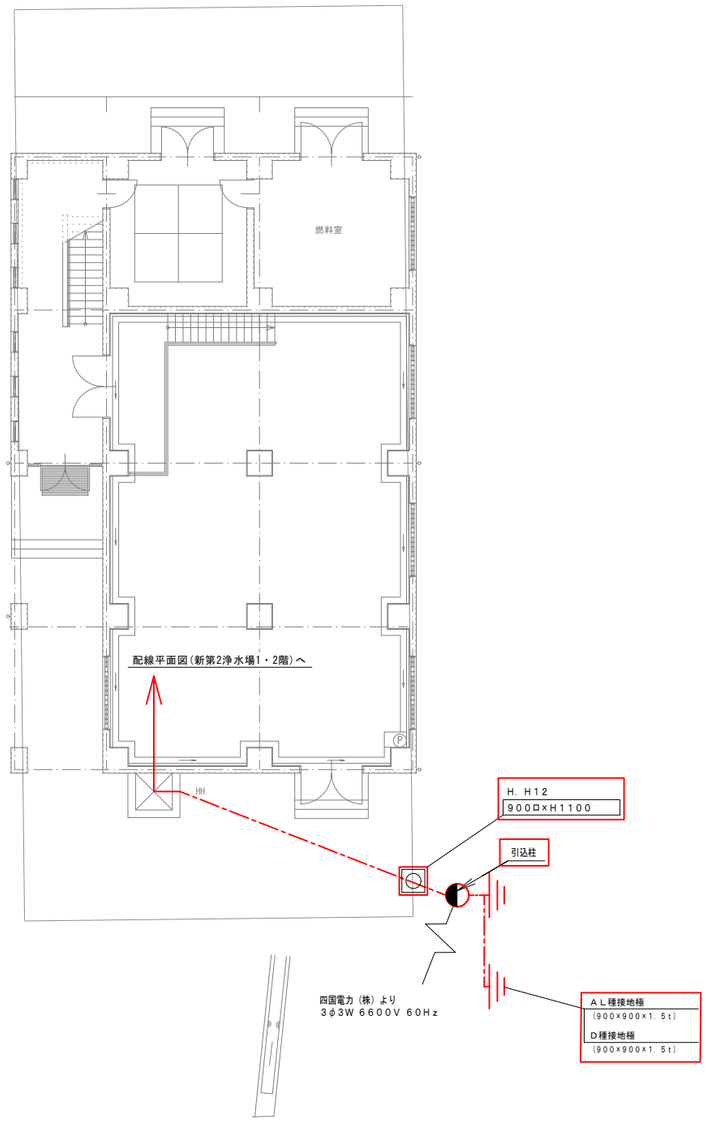
番号	盤記号	盤　名　称	備　考
1	SG	発電機	移　設
2	G2	発電機盤	〃
3	DC	蓄電池盤	〃

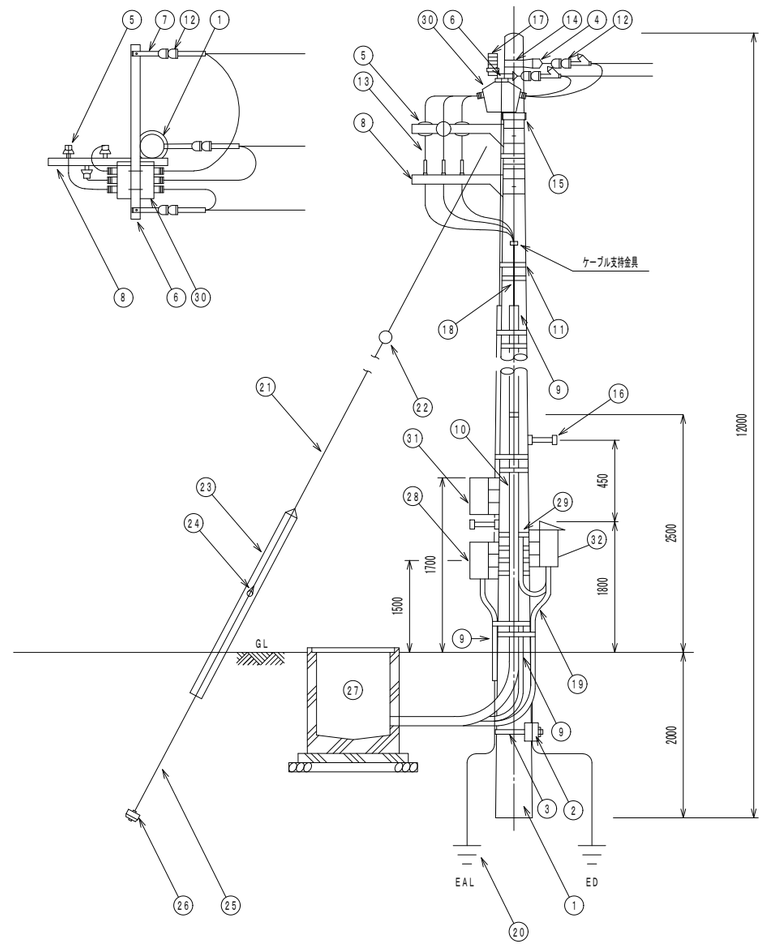
注記　１．　部は、今回工事を示す。
２．　部は、移設工事を示す。
３．電気室の床仕上げ（フリーアクセスフロア（Ｈ＝３００）、幅木）は本工事とする。
４．発電機室のピットは本工事とする。
５．電気室の壁、扉、天井仕上げは、建築にて改修する。
６．発電機室の自家発基礎、防油堤は建築にて改修する。

＜配線工事の凡例＞
：ピット・ダクト内配線
：ラック内配線
：露出管内配線
：埋め込み配管内配線
：地中埋設管内配線

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(2期工事)配線平面図(新第2浄水場1・2階)		
縮　尺	1/100	図面番号	2-9-4
藍　住　町　上　下　水　道　課			





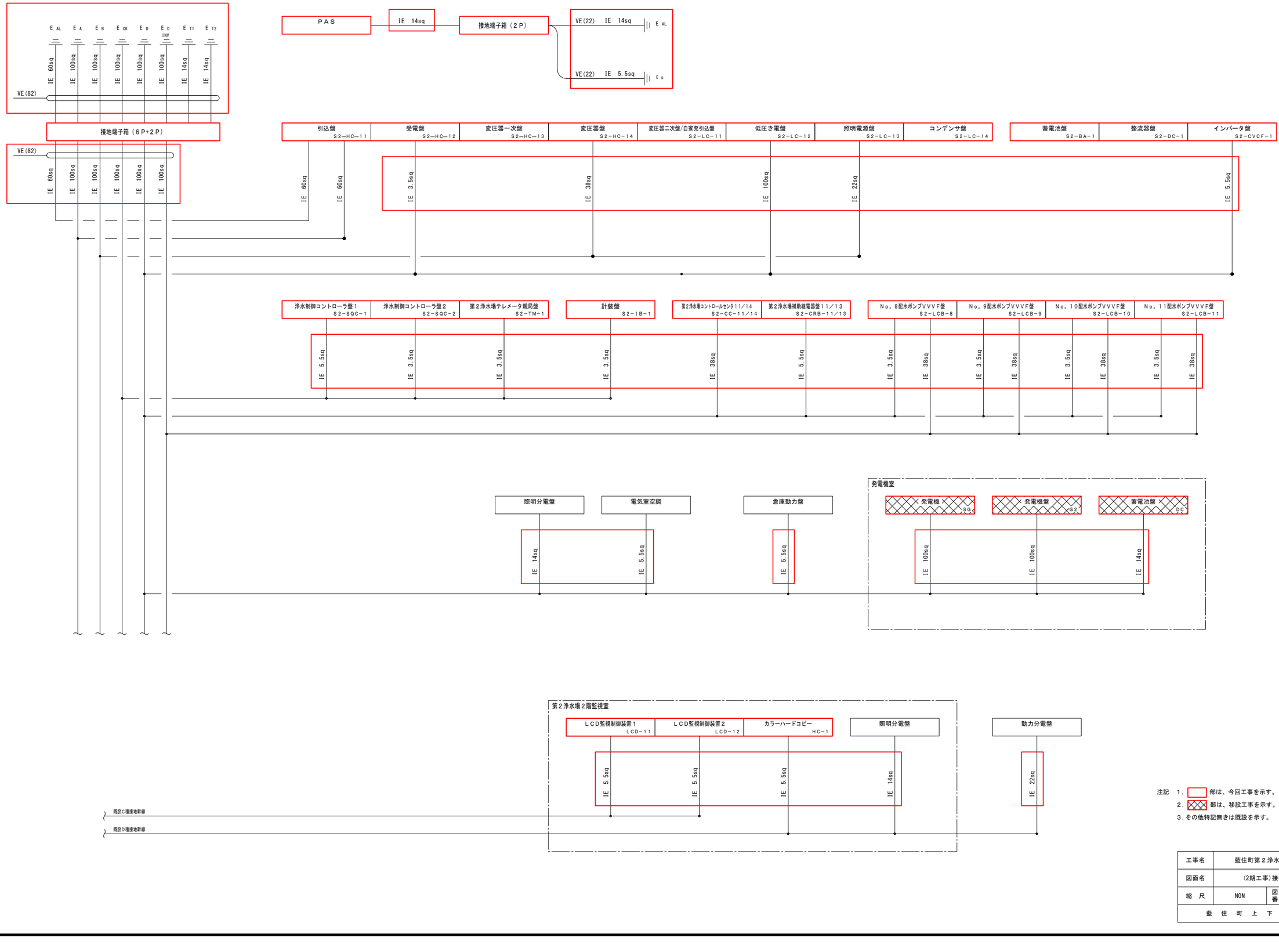


引込装柱図

（S＝NONE）

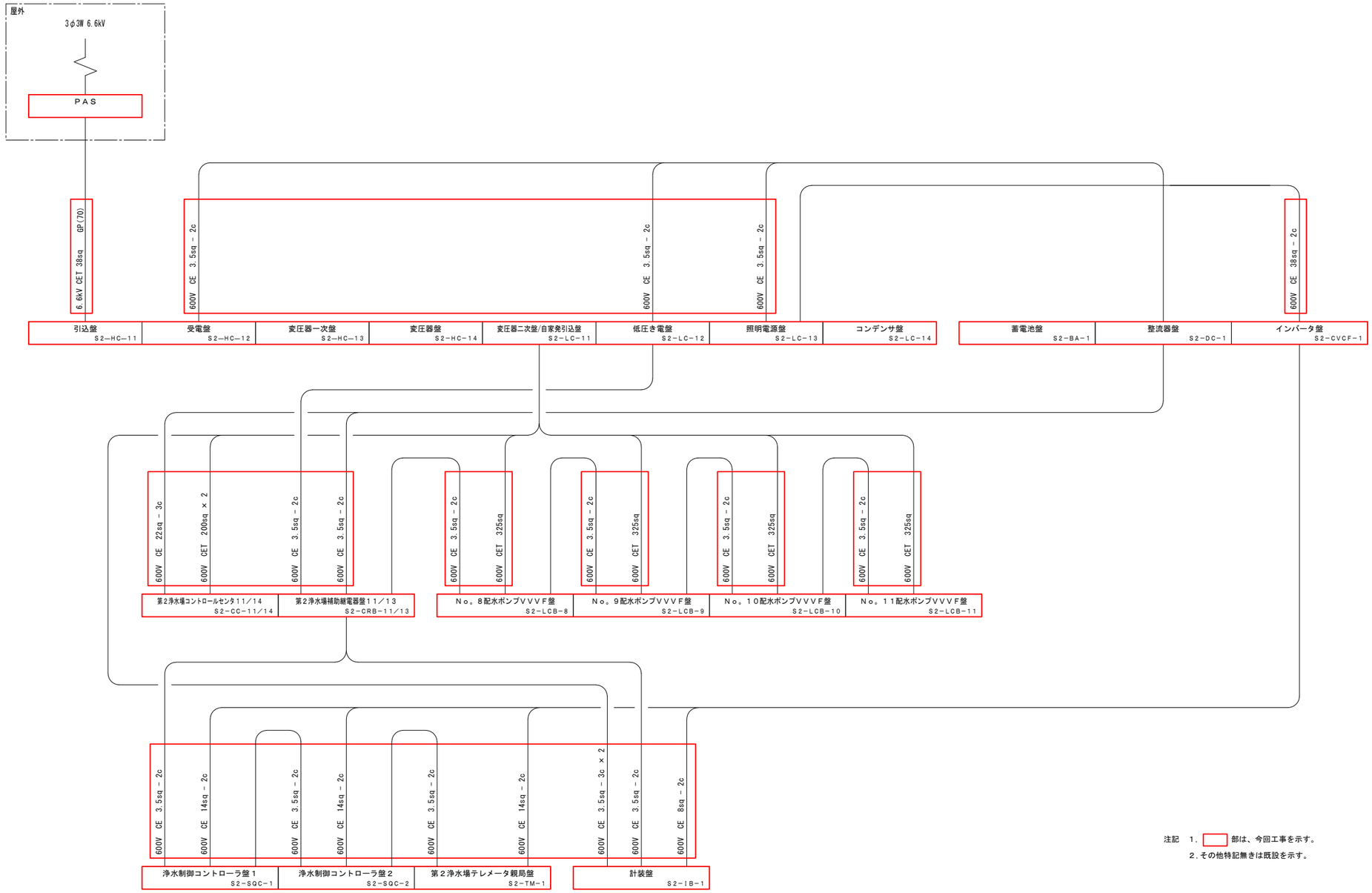
NO	品　名	規　格	数量	備　考
1	コンクリート柱	12m-19cm-350kg	1本	
2	コンクリート根かせ	1200 x 240 x170	1ヶ	
3	根かせ用バンド	320φ	1ヶ	
4	中線引留金具	CP用	1ヶ	
5	高圧ピン碍子	普通型	3ヶ	
6	腕金	1.8 (ヒ) 引留用	1本	
7	耐張ストラップ		6枚	
8	腕金	1.2 (ト) トンボ用	2本	
9	硬質強化ビニル管	VE	1式	立上がり防護管
10	電線管	厚鋼 (GP)	1式	
11	ケーブルバンド	390φ 30 x 1.6t	4本	
12	高圧耐張碍子	普通型	6ヶ	2連式
13	高圧端末処理材	差込型	1組	屋外用
14	強力バンド	19cm	1本	
15	支線バンド	140φ~230φ	1本	
16	足場ボルト	CP用	14ヶ	
17	アレスタ	8.4kVA	3ヶ	
18	ケーブル		1本	
19	電線管	厚鋼 (GP)	1式	
20	接地材		1式	
21	支線	45 □(7/2.9)	kg	0.365kg/m
22	玉碍子		1ヶ	
23	支線ガード	硬質ポリエチレン	1本	
24	巻付グリップ	シンブル用, 碍子用	4ヶ	
25	支線ロッド		1本	
26	ステーブロック	700 x 350	1組	ロット付き
27	ハンドホール	900□×H1100	1式	
28	接地端子箱	2P	1ヶ	合成樹脂製
29	自在バンド		10本	
30	高圧気中開閉器		1台	
31	取引用計器箱		1面	
32	SOG制御箱		1個	

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(2期工事)引込装柱図詳細図		
縮　尺	NON	図面番号	2-9-5
藍　住　町　上　下　水　道　課			



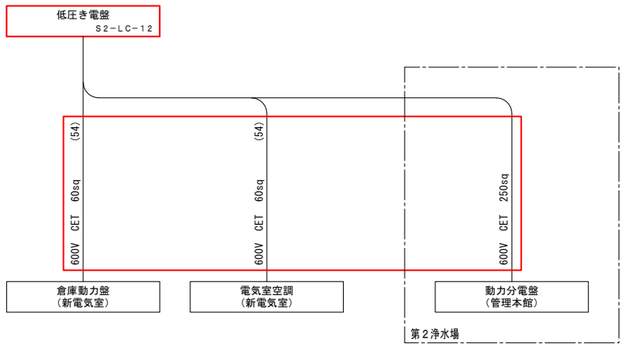
注記　１．□部は、今回工事を示す。
２．▨部は、移設工事を示す。
３．その他特記無きは既設を示す。

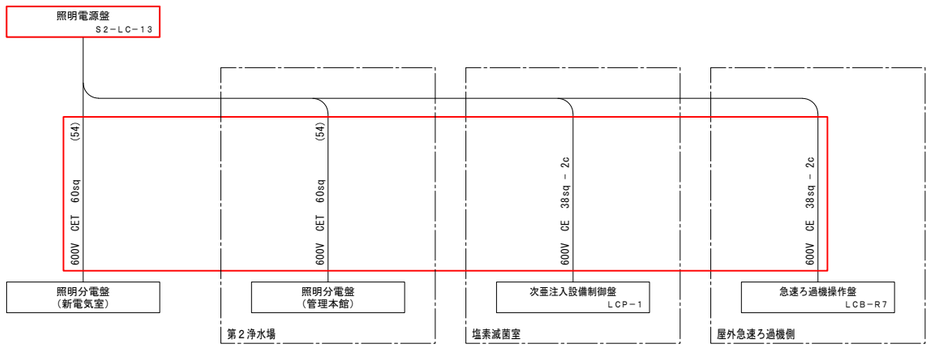
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(2期工事)接地幹線系統図		
縮　尺	NON	図面番号	2-9-6
藍　住　町　上　下　水　道　課			

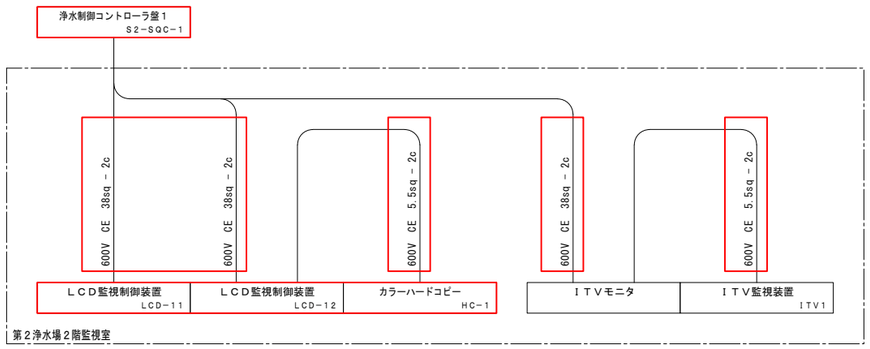


注記　1．□部は、今回工事を示す。
　　2．その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(2期工事)配線系統図1(動力1)		
縮　尺	NON	図面番号	2-9-7
藍　住　町　上　下　水　道　課			







注記　１．□部は、今回工事を示す。
２．特記なき電線管は耐衝撃性硬質ビニル電線管を示す。
３．その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(2期工事)配線系統図2(動力2)		
縮　尺	NON	図面番号	2-9-8
藍　住　町　上　下　水　道　課			

屋外

3φ3W 6.6kV

PAS

GP(28)

CEE 3.5sq - 4c

新第２浄水場２階監視室

LCD監視装置（１１）／（１２）
LCD-11/12

光ケーブル×2

光ケーブル×2

浄水制御コントローラ盤１
S2-SQC-1

浄水制御コントローラ盤２
S2-SQC-1

第１浄水場２階電気室

光ケーブル×2

浄水制御コントローラ盤３
S1-SQC-1

引込盤 S2-HC-11

受電盤 S2-HC-12

変圧器一次盤 S2-HC-13

変圧器盤 S2-HC-14

変圧器二次盤/自家発引込盤 S2-LC-11

低圧き電盤 S2-LC-12

照明電源盤 S2-LC-13

コンデンサ盤 S2-LC-14

CEE 1.25sq - 2c
CEE 1.25sq - 7c
CEE 1.25sq - 10c × 2
CEE 1.25sq - 4c
CEE 1.25sq - 3c × 4
CEE 1.25sq - 15c
CEE 1.25sq - 7c
CEE 1.25sq - 15c
CEE 1.25sq - 6c
CEE-S 1.25sq - 8c
CEE-S 1.25sq - 10c
CEE-S 1.25sq - 2c × 4

浄水制御コントローラ盤１
S2-SQC-1

浄水制御コントローラ盤２
S2-SQC-2

第２浄水場テレメータ親局盤
S2-TM-1

計装盤
S2-IB-1

CEE-S 1.25sq - 2c × 8

CEE 1.25sq - 20c × 2
CEE 1.25sq - 30c × 7

第2浄水場コントロールセンタ１１／１４
S2-CC-11/14

第２浄水場補助継電器盤１１／１３
S2-CRB-11/13

CEE 1.25sq - 10c
CEE-S 1.25sq - 2c
CEE-S 1.25sq - 3c
CEE 1.25sq - 10c
CEE-S 1.25sq - 2c
CEE-S 1.25sq - 3c
CEE 1.25sq - 10c
CEE-S 1.25sq - 2c
CEE-S 1.25sq - 3c
CEE 1.25sq - 10c
CEE-S 1.25sq - 2c
CEE-S 1.25sq - 3c

Ｎｏ．８配水ポンプＶＶＶＦ盤
S2-LCB-8

Ｎｏ．９配水ポンプＶＶＶＦ盤
S2-LCB-9

Ｎｏ．１０配水ポンプＶＶＶＦ盤
S2-LCB-10

Ｎｏ．１１配水ポンプＶＶＶＦ盤
S2-LCB-11

CEE-S 1.25sq - 2c × 12
CEE 1.25sq - 3c × 4
CEE 1.25sq - 10c × 4
CEE 1.25sq - 20c × 4

次亜注入設備制御盤
LCP-1

塩素滅菌室

CEE 1.25sq - 6c × 7
CEE 1.25sq - 20c × 2
CEE 1.25sq - 30c × 2

急速ろ過機操作盤
LCB-R7

屋外急速ろ過機側

浄水制御コントローラ盤１
S2-SQC-1

CEE 1.25sq - 3c
CEE 1.25sq - 4c

直線接続点A

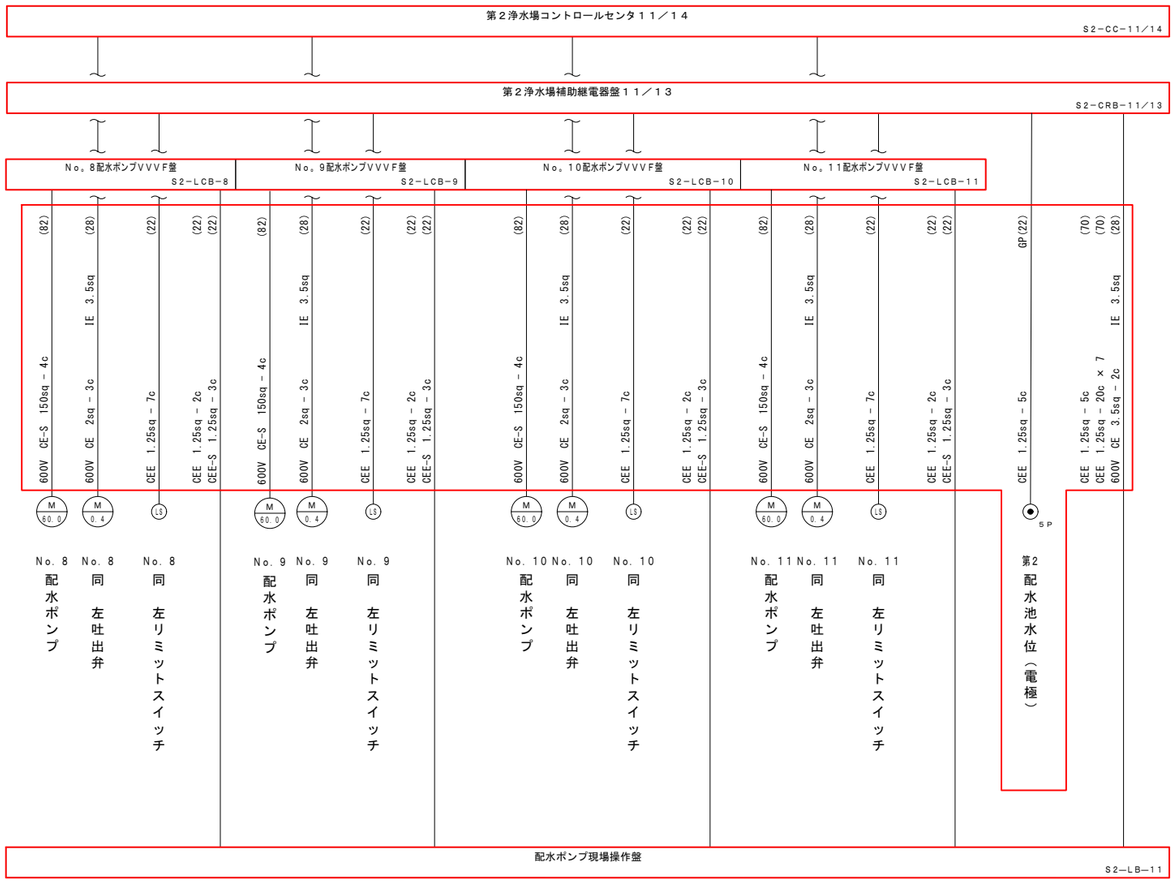
CEE 1.25sq - 3c
CEE 1.25sq - 4c

Ｎｏ．１２取水ポンプ現場盤
SP12

場外

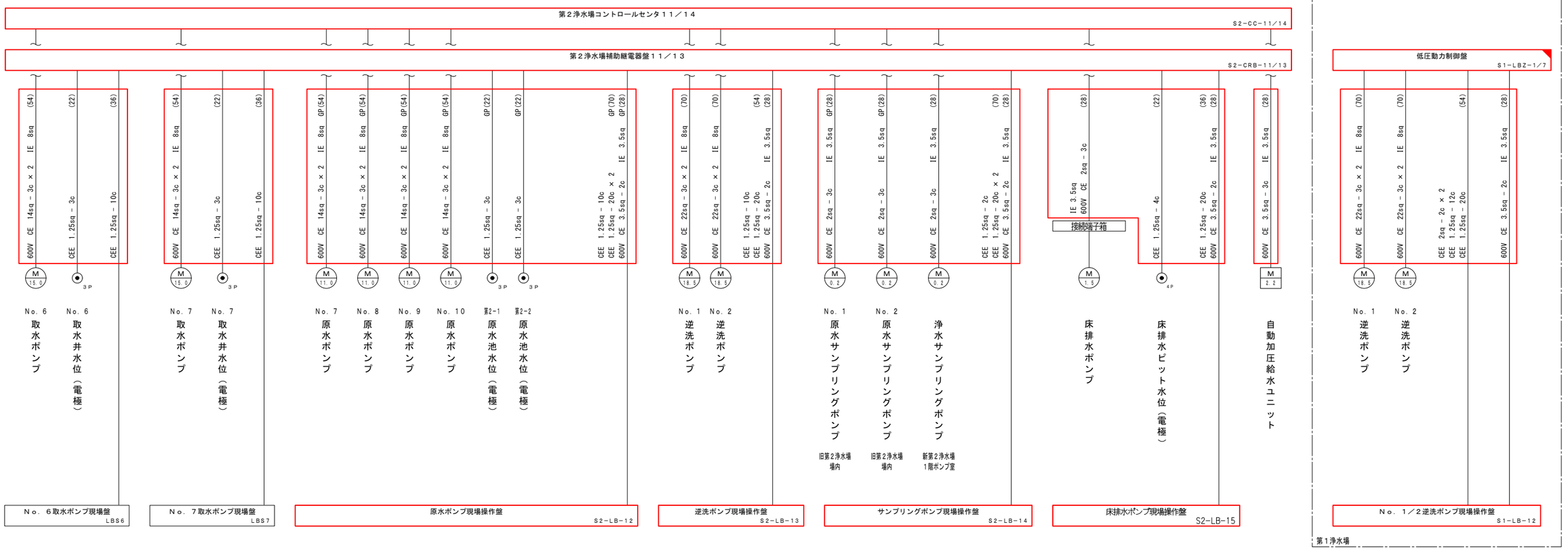
注記　１．▭部は、今回工事を示す。
２．▨部は、直線接続点を示す。
３．その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（2期工事）配線系統図3（制御）		
縮　尺	NON	図面番号	2-9-9
藍　住　町　上　下　水　道　課			



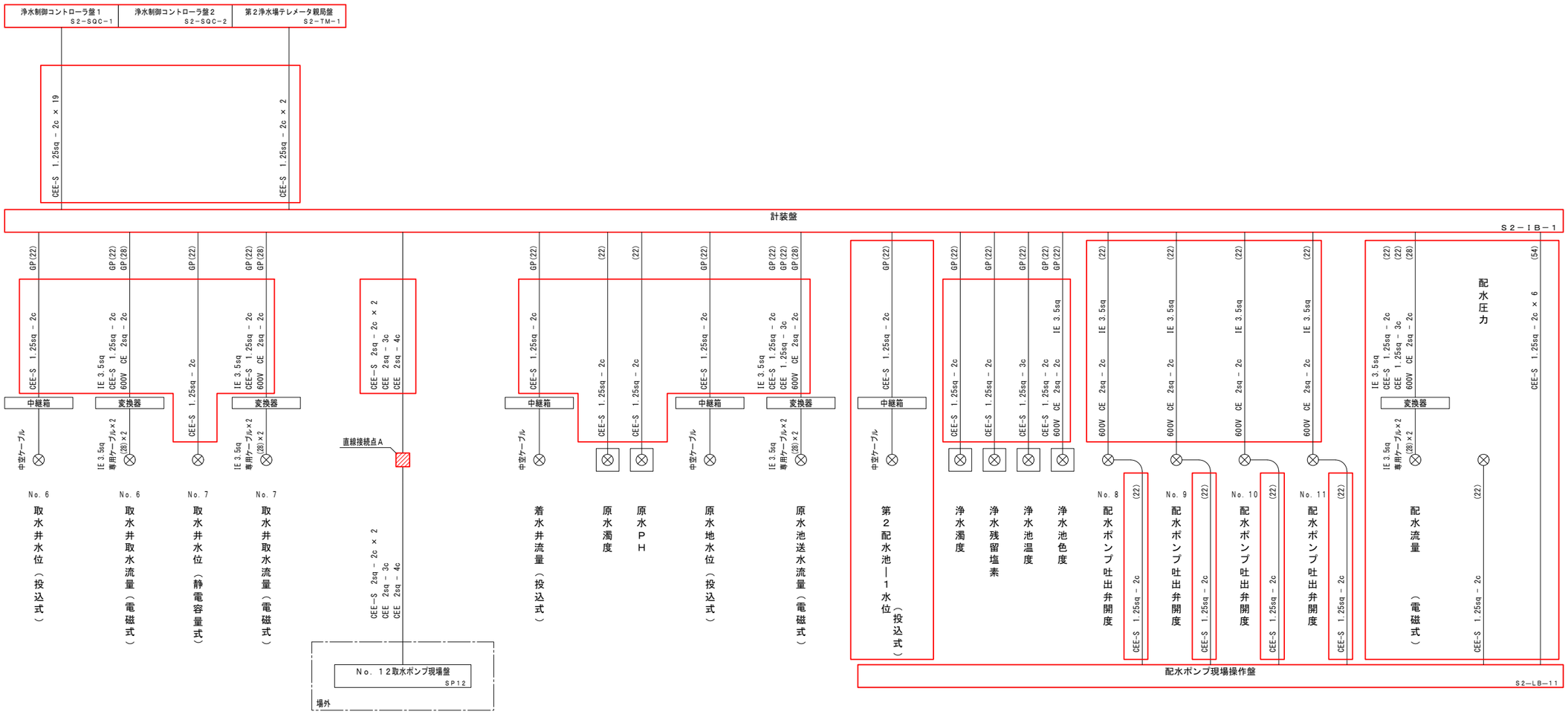
注記　1，□部は、今回工事を示す。
2，特記なき電線管は耐衝撃性硬質ビニル電線管を示す。
3，その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(2期工事)配線系統図4(運転操作1)		
縮　尺	NON	図面番号	2-9-10
藍　住　町　上　下　水　道　課			



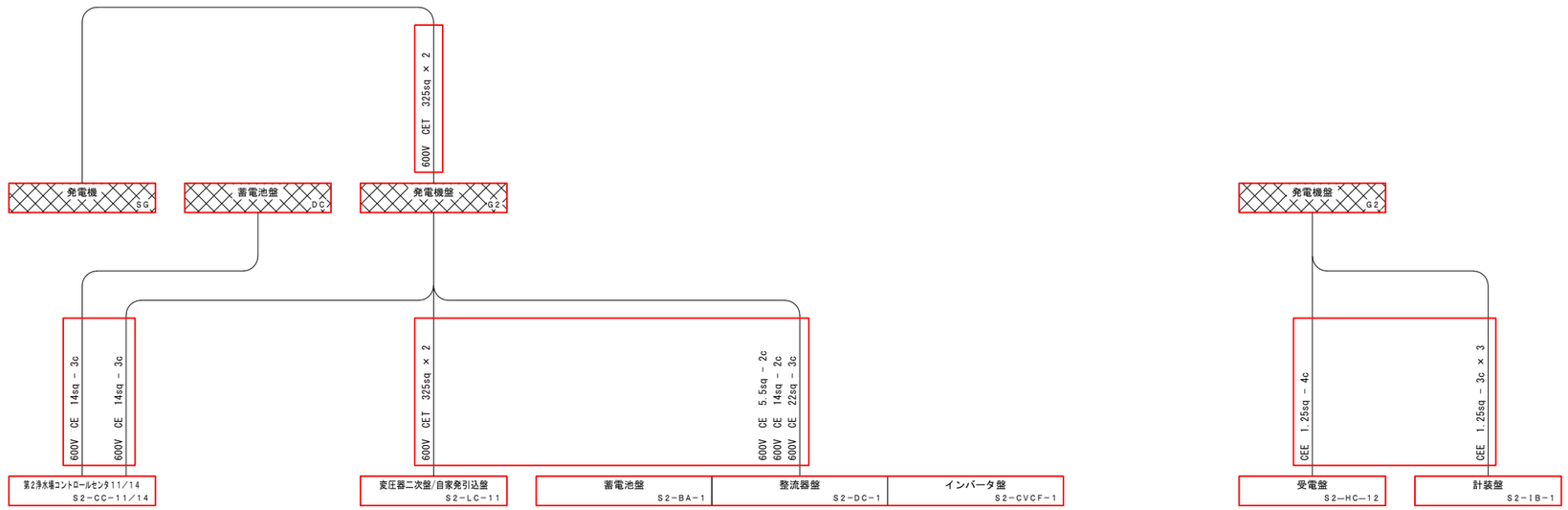
注記　1．□部は、今回工事を示す。
2．◥部は、機能増設を示す。
3．特記なき電線管は耐衝撃性硬質ビニル電線管を示す。
4．その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(2期工事)配線系統図5(運転操作2)		
縮　尺	NON	図面番号	2-9-11
藍　住　町　上　下　水　道　課			



注記　１，□部は、今回工事を示す。
２，▨部は、直線接続点を示す。
３，特記なき電線管は耐衝撃性硬質ビニル電線管を示す。
４，その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(2期工事)配線系統図6(計装)		
縮　尺	NON	図面番号	2-9-12
藍　住　町　上　下　水　道　課			



注記　1．□部は、今回工事を示す。
　　2．▨部は、移設工事を示す。
　　3．その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(2期工事)配線系統図7(自家発)		
縮　尺	NON	図面番号	2-9-13
藍　住　町　上　下　水　道　課			

場内配管全体平面図

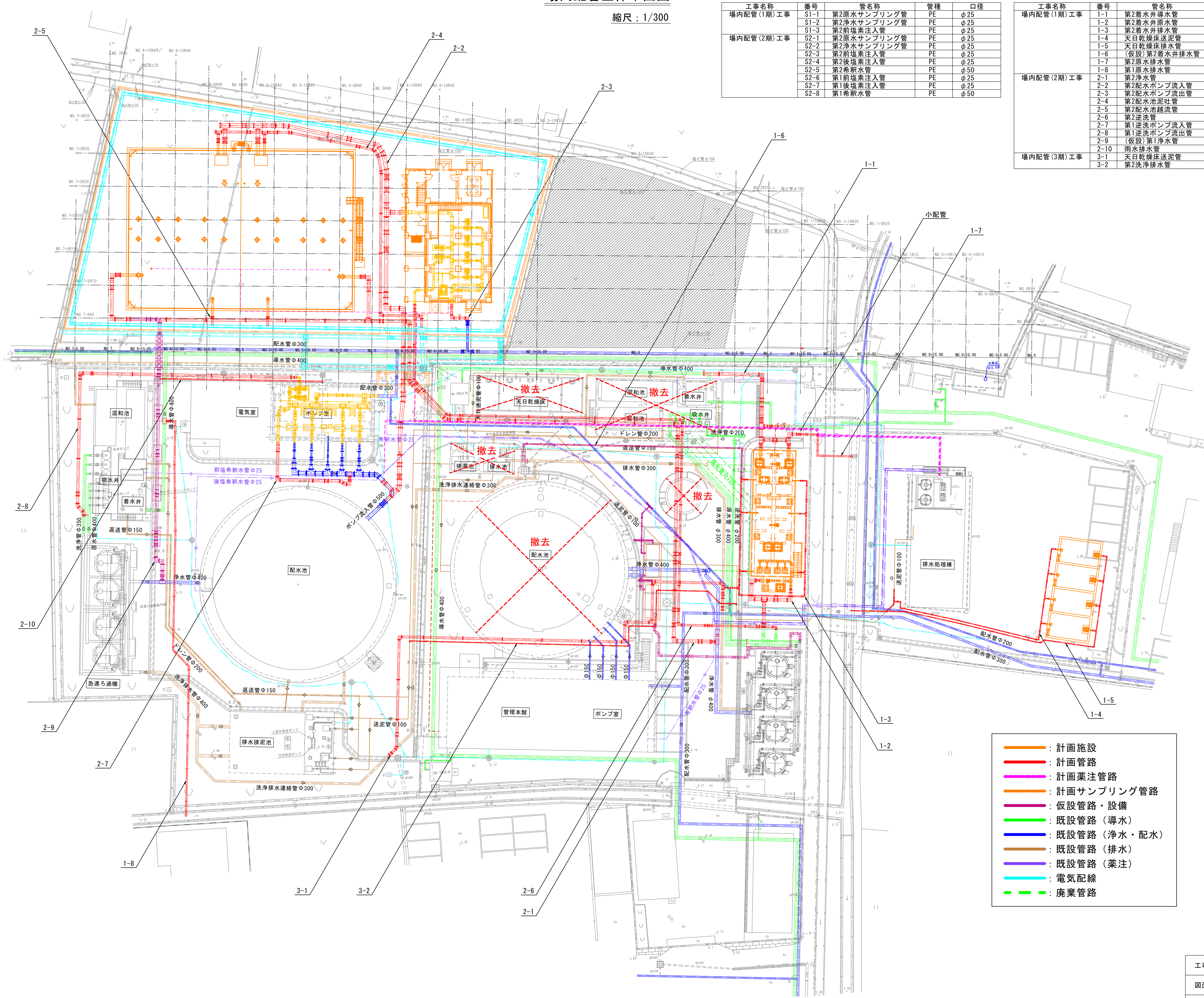
縮尺：1/300

小配管リスト

工事名称	番号	管名称	管種	口径
場内配管(1期)工事	S1-1	第2原水サンプリング管	PE	φ25
	S1-2	第2浄水サンプリング管	PE	φ25
	S1-3	第2前塩素注入管	PE	φ25
場内配管(2期)工事	S2-1	第2原水サンプリング管	PE	φ25
	S2-2	第2浄水サンプリング管	PE	φ25
	S2-3	第2前塩素注入管	PE	φ25
	S2-4	第2後塩素注入管	PE	φ25
	S2-5	第2希釈水管	PE	φ50
	S2-6	第1前塩素注入管	PE	φ25
	S2-7	第1後塩素注入管	PE	φ25
	S2-8	第1希釈水管	PE	φ50

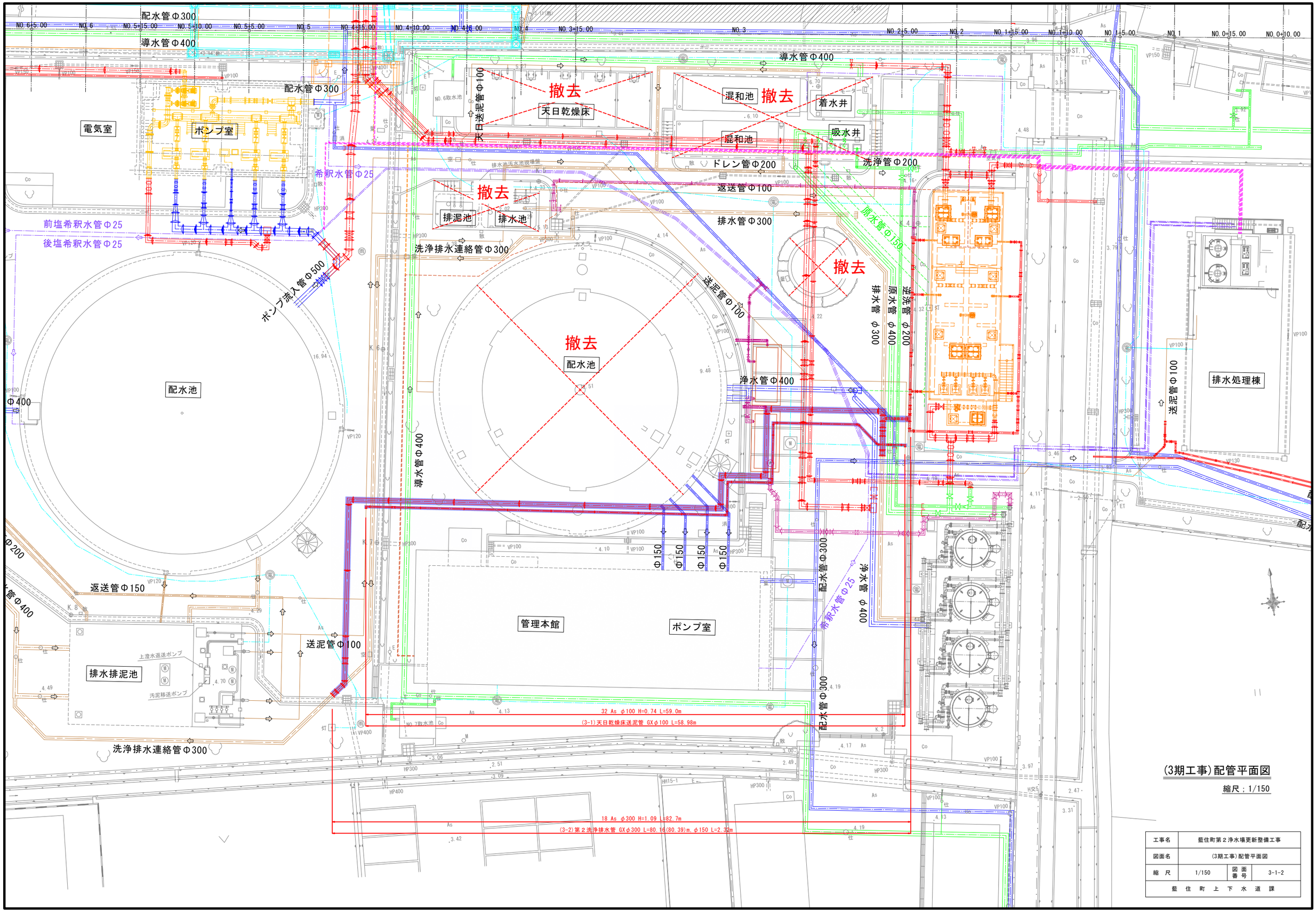
場内配管リスト

工事名称	番号	管名称	管種	口径
場内配管(1期)工事	1-1	第2着水井導水管	GX	φ400
	1-2	第2着水井原水管	GX	φ400
	1-3	第2着水井排水管	GX	φ100～150
	1-4	天日乾燥床送泥管	GX	φ100
	1-5	天日乾燥床排水管	HPPE	φ100
	1-6	(仮設)第2着水井排水管	K	φ150
	1-7	第2原水排水管	HIRR	φ200
	1-8	第1原水排水管	HIRR	φ200
場内配管(2期)工事	2-1	第2浄水管	GX	φ400
	2-2	第2配水ポンプ流入管	NS	φ500
	2-3	第2配水ポンプ流出管	GX	φ300
	2-4	第2配水池泥吐管	GX	φ300
	2-5	第2配水池越流管	GX	φ300
	2-6	第2逆洗管	GX	φ250
	2-7	第1逆洗ポンプ流入管	GX	φ350
	2-8	第1逆洗ポンプ流出管	GX	φ350
	2-9	(仮設)第1浄水管	GX	φ400
	2-10	雨水排水管	VP	φ150
場内配管(3期)工事	3-1	天日乾燥床送泥管	GX	φ100
	3-2	第2洗浄排水管	GX	φ150～300



全期共通図面

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	場内配管全体平面図		
縮　尺	1/300	図面番号	3-1-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			



(3期工事)配管平面図

縮尺；1/150

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(3期工事)配管平面図		
縮　尺	1/150	図面番号	3-1-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

（3期工事）配管詳細図1

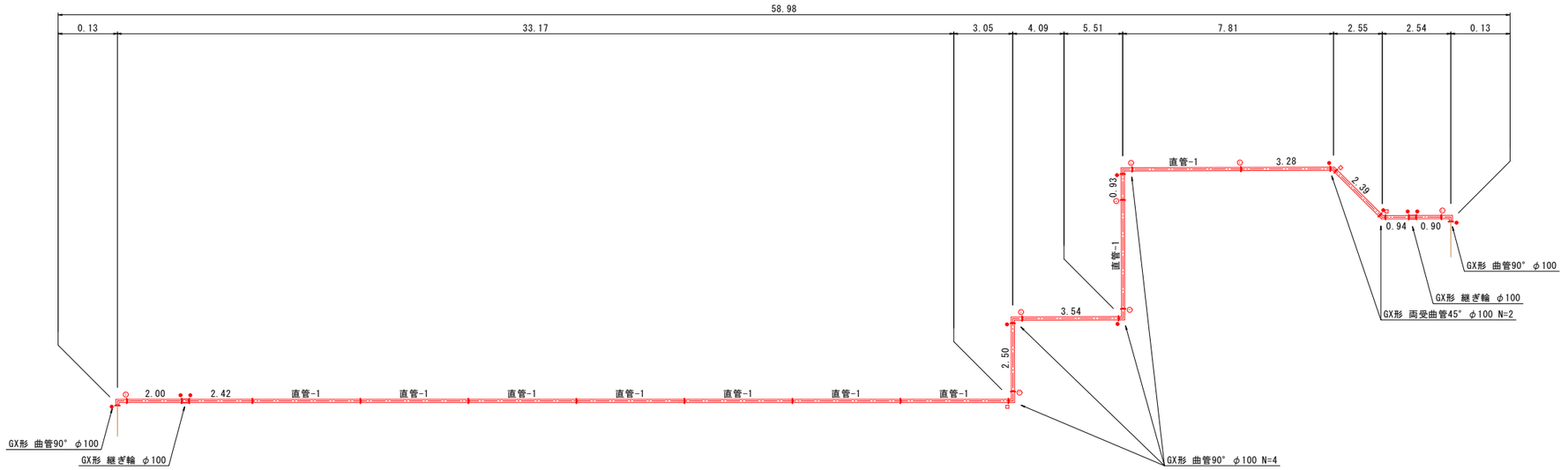
縮尺：1/100

凡例

- ： GX形用異形管用接合材
- ： GX形用G-link
- ： GX・NS形継ぎ輪用特殊押輪 NS形バタフライ弁用接合材
- ： GX・NS形用ライナー
- ： K形用特殊押輪

(3-1)天日乾燥床送泥管

GX φ100 L=58.98m



工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（3期工事）配管詳細図1		
縮　尺	1/100	図面番号	3-1-3
藍　住　町　上　下　水　道　課			

（3期工事）配管詳細図2

縮尺：1/100

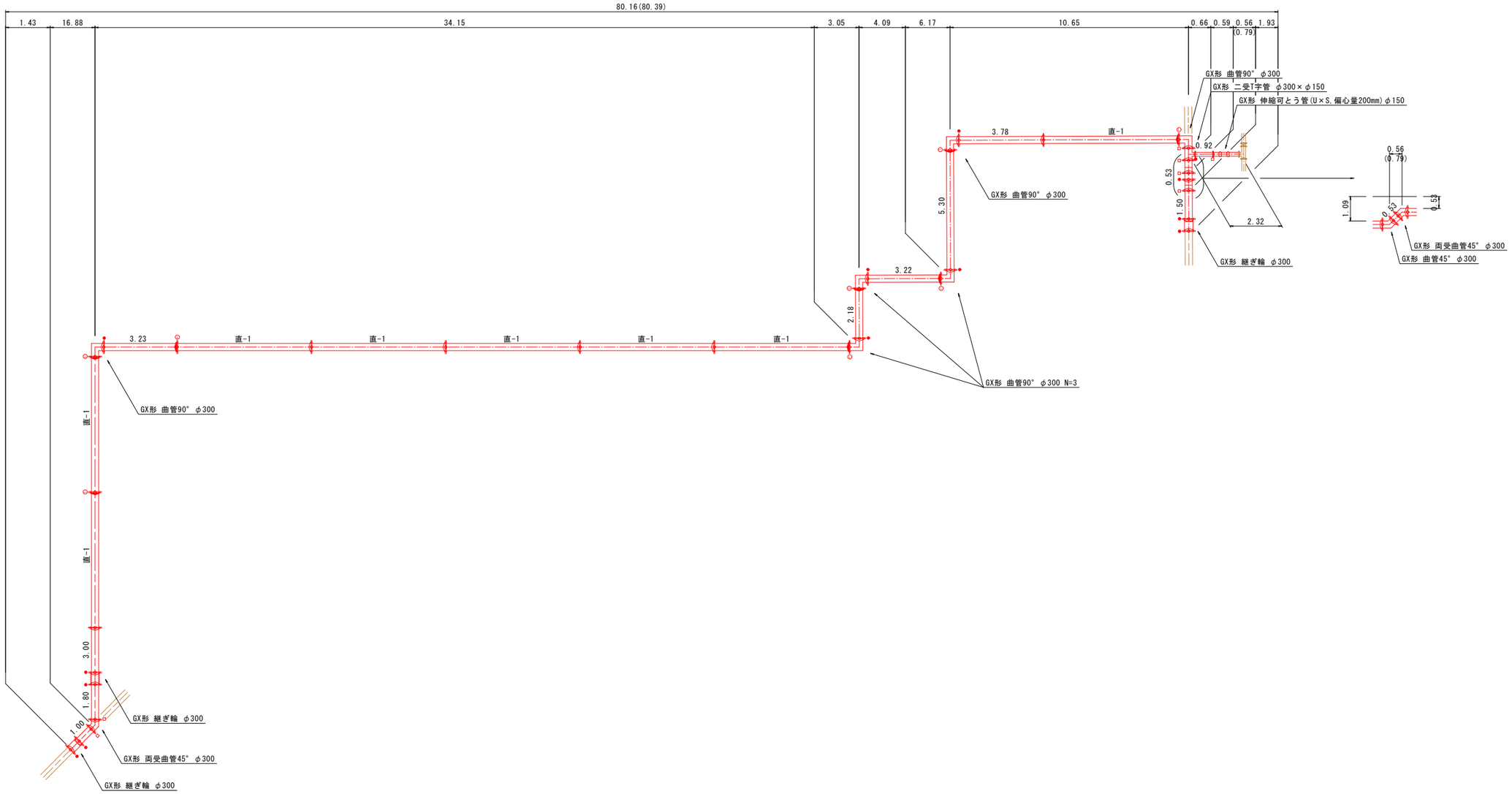
凡例

- ：GX形用異形管用接合材
- ：GX形用G-link
- ：GX・NS形継ぎ輪用特殊押輪 NS形バタフライ弁用接合材
- ：GX・NS形用ライナー
- ：K形用特殊押輪

(3-2)第2洗浄排水管

GX φ300 L=80.16(80.39)m

GX φ150 L=2.32m

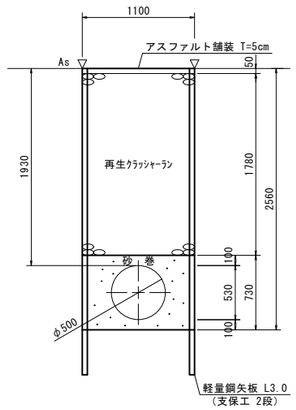


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（3期工事）配管詳細図2		
縮　尺	1/100	図面番号	3-1-4
藍　住　町　上　下　水　道　課			

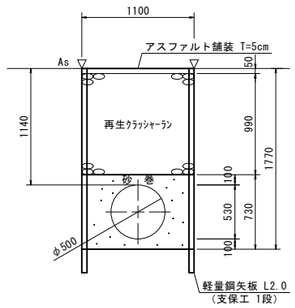
標準掘削断面図1

縮尺；1/30

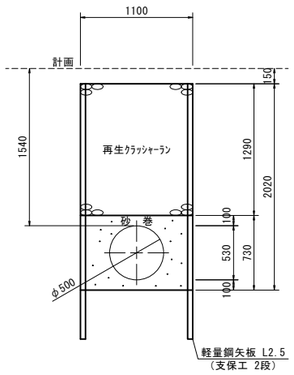
1



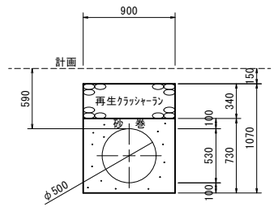
2



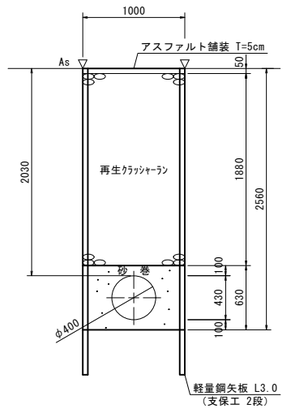
3



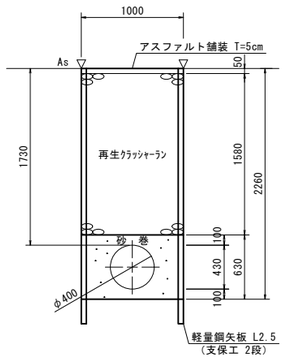
4



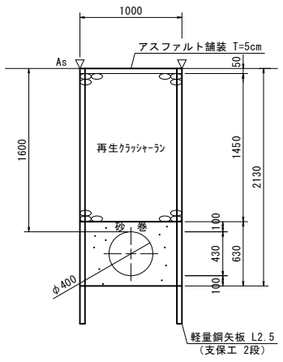
5



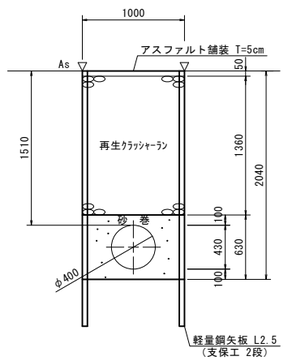
6



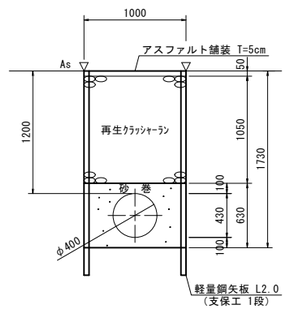
7



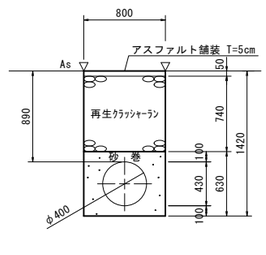
8



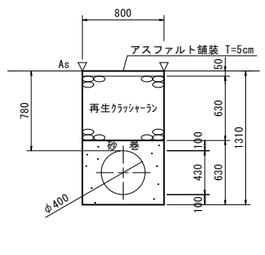
9



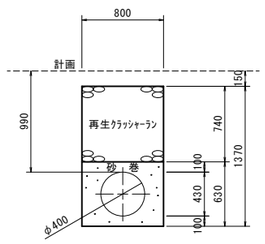
10



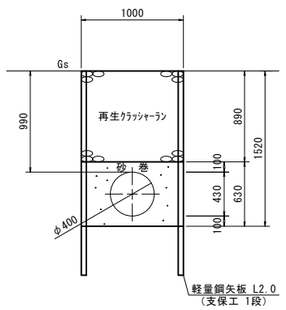
11



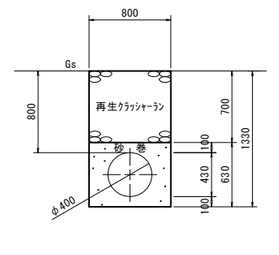
12



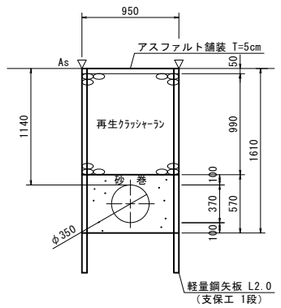
13



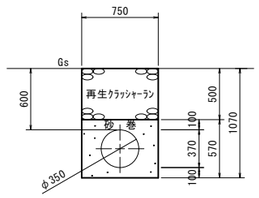
14



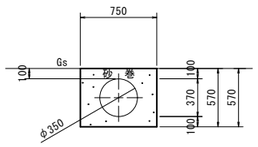
15



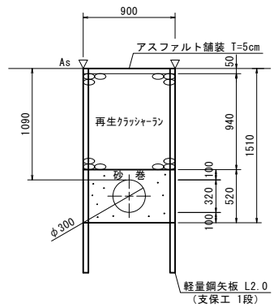
16



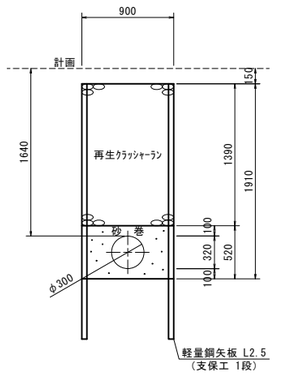
17



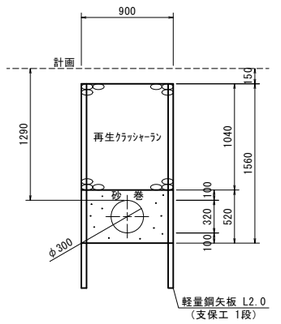
18



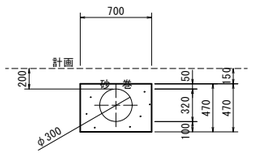
19



20



21



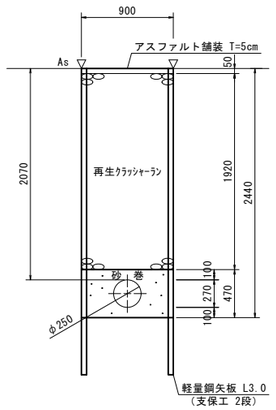
全期共通図面

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	標準掘削断面図1		
縮　尺	1/30	図 面 番 号	3-1-5
藍　住　町　上　下　水　道　課			

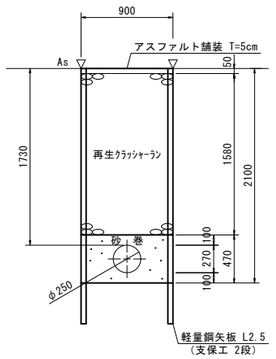
標準掘削断面図2

縮尺：1/30

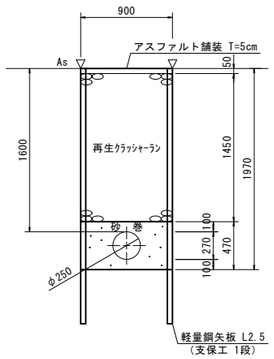
22



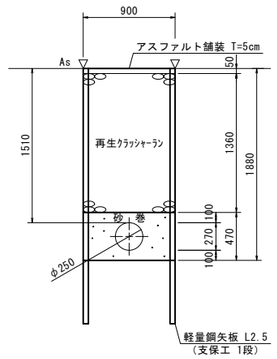
23



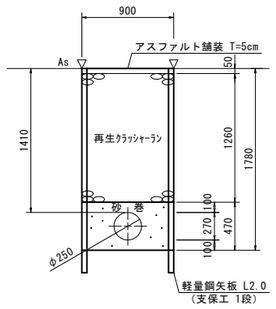
24



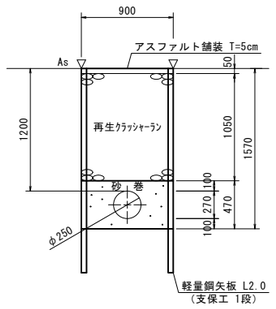
25



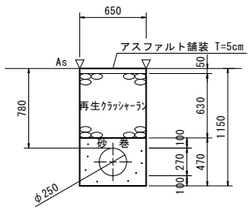
26



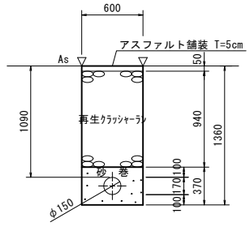
27



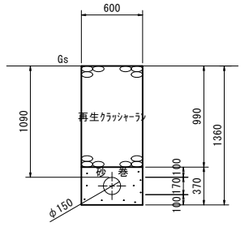
28



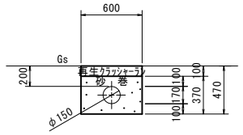
29



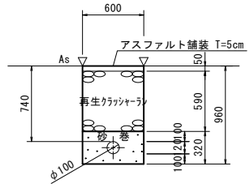
30



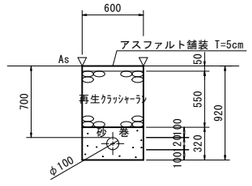
31



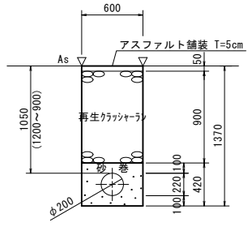
32



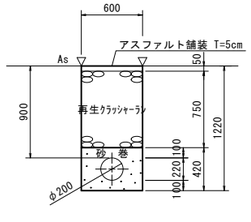
33



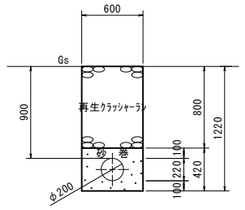
34



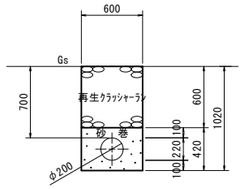
35



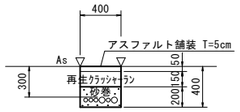
36



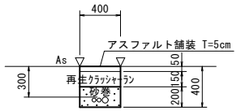
37



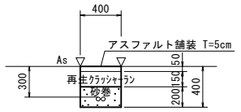
S1



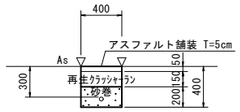
S2



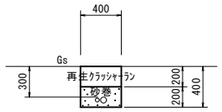
S3



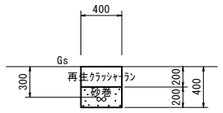
S4



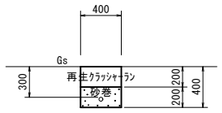
S5



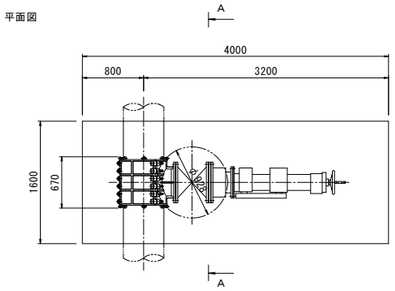
S6



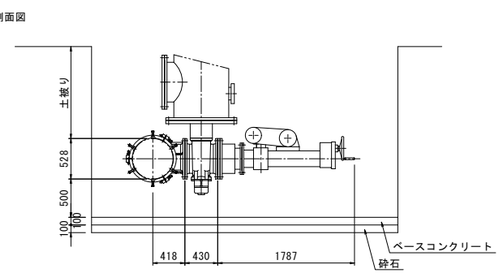
S7



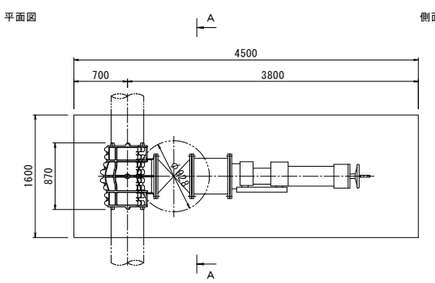
平面図



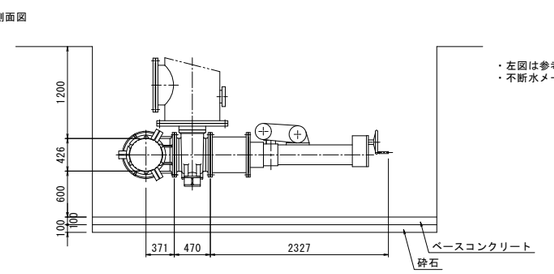
側面図



平面図



側面図



参考土工図

縮尺：1/40

・左図は参考図であり、数量計上していない。
・不断水メーカーにより異なることから、工事前に適宜変更・調整すること。

全期共通図面

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	標準掘削断面図2		
縮　尺	1/30	図面番号	3-1-6
藍　住　町　上　下　水　道　課			

造成平面図 S=1:150

【2期施工】

測量中心線　主要点座標一覧表

主要点名称		測点	追加距離	X座標	Y座標	線形要素
BP		NO.0+ 0.000	0.000	125452.819	91747.879	R=∞
EP		NO.7+11.576	151.576	125467.112	91596.979	

基準点座標一覧表

点　名	X座標	Y座標	Z座標
ST.1	125454.321	91718.164	4.349
ST.2	125490.365	91680.001	4.387
ST.3	125506.885	91614.429	4.446
ST.4	125460.130	91615.652	4.279
K3	125418.369	91700.244	4.152
K4	125439.732	91703.016	4.331
K9	125435.195	91613.069	4.281
K8	125410.698	91622.349	4.270
KBM	—	—	3.759

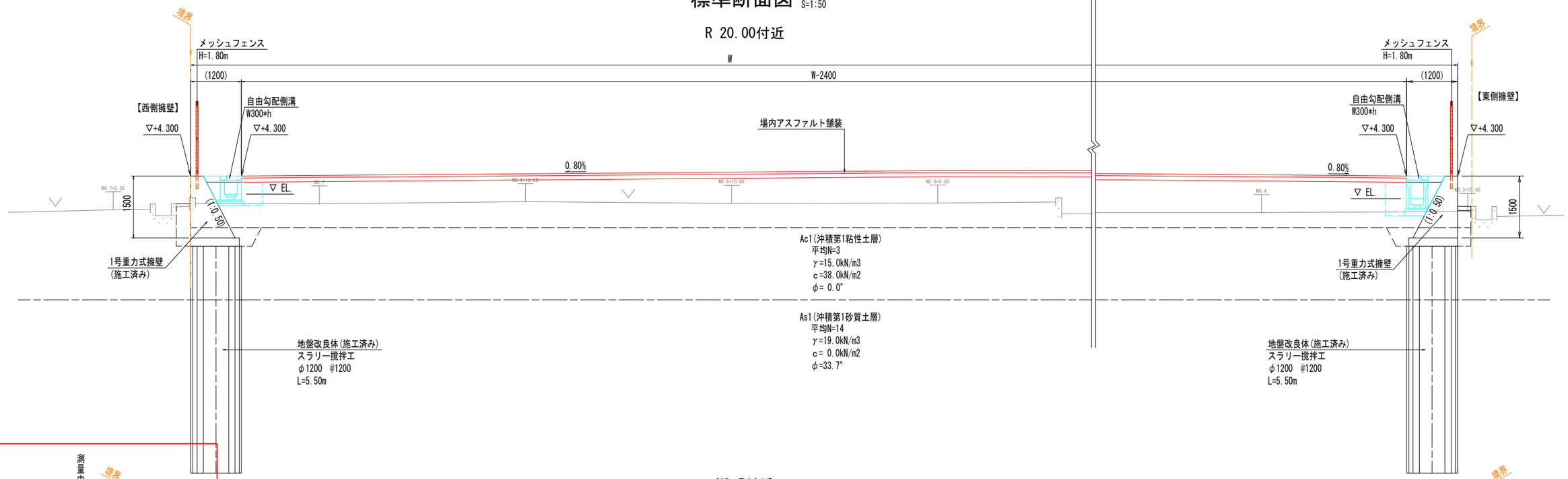
場内アスファルト舗装 A=824.0m2
メッシュフェンス(H=1.80m) L=66.5m
自由勾配側溝 L=64.8m
1号集水桝
メッシュフェンス(H=1.80m) L=37.6m
自由勾配側溝 L=35.3m
配水池基礎範囲
A=852m2
ポンプ棟基礎範囲
A=281m2
片開き門扉 H1800*W1000
(人用)
両開き門扉 H1800*W6000
(車両用)
FH=4.300
i=0.20%
i=10.0%
R35.0
R30.0
R25.0
R20.0
R15.0
R10.0
R5.0
R0.0
町道中心線
NO.7
NO.6
NO.5
NO.4
NO.3
+5.00
+10.00
+15.00
5200
2502
1500
2549
2567
2644
2692
2740
2787
2835
2883
2930
2978
3025
3073
3121
2079
2127
2175
2222
2270
2317
2365
2413
2460
2508
2556
2604
2652
2697
4097
4049
4002
3954
3906
3858
3810
3762
3714
3666
3618
3570
3522
3474
3426
3378
3330
3282
3234
3186
3138
3090
3042
2994
2946
2898
2850
2802
2754
2706
2658
2610
2562
2514
2466
2418
2370
2322
2274
2226
2178
2130
2082
2034
1986
1938
1890
1842
1794
1746
1698
1650
1602
1554
1506
1458
1410
1362
1314
1266
1218
1170
1122
1074
1026
978
930
882
834
786
738
690
642
594
546
498
450
402
354
306
258
210
162
114
66
18
集水桝
L=2.2m
2号集水桝
3号集水桝
5号集水桝
6号集水桝
7号集水桝
4号集水桝
自由勾配側溝 L=52.0m
自由勾配側溝 L=10.9m
自由勾配側溝 L=26.1m
メッシュフェンス(H=1.80m) L=47.9m
メッシュフェンス(H=1.80m) L=11.9m
メッシュフェンス(H=1.80m) L=28.2m
重圧管 φ400 L=5.0m
1号U型側溝 L=36.5m(掩蓋部L=36.5m)
町道・出入口アスファルト舗装 A=270.1m2
1号U型側溝(グレーチング部)
L=3.6m
1号U型側溝 L=28.8m(掩蓋部L=22.8m, グレーチング部L=2.0m, 床版蓋部L=4.0m)
2号U型側溝 L=17.0m
(掩蓋部L=12.0m, グレーチング部L=1.0m, 床版蓋部L=4.0m)
2号U型側溝 L=11.8m
(掩蓋部L=11.8m)
1号U型側溝(グレーチング部)
L=2.3m
坂路長　12.00m
進入口　6.00m
坂路長　10.76m
K.5
ST.1
ST.2
ST.3
ST.4
X=125525
X=125500
X=125475
X=125450
Y=91600
Y=91625
Y=91650
Y=91675
Y=91700

□：町道工事として施工済

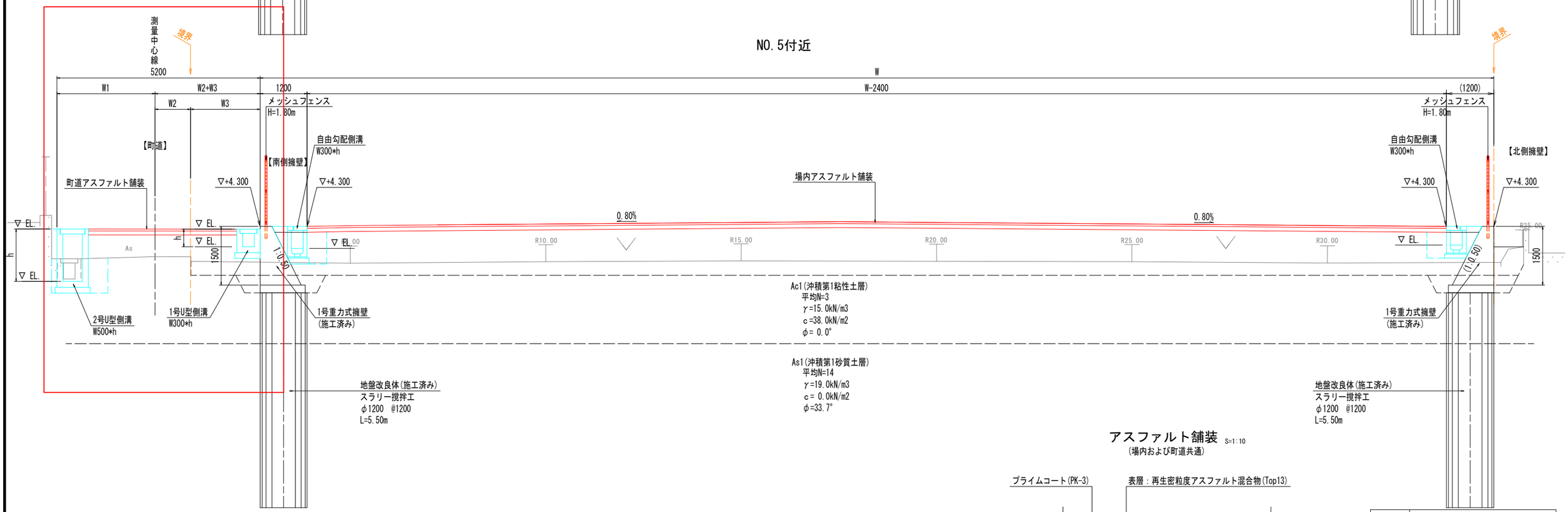
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	造成平面図		
縮　尺	1:150	図面番号	3-2-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

標準断面図 S=1:50

R 20.00付近



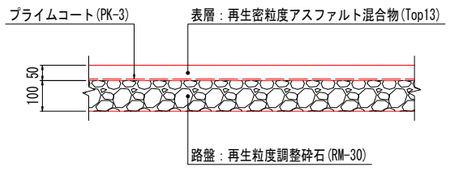
NO.5付近



□：町道工事として施工済

アスファルト舗装 S=1:10

(場内および町道共通)



工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	標準断面図		
縮　尺	1/50	図面番号	3-2-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

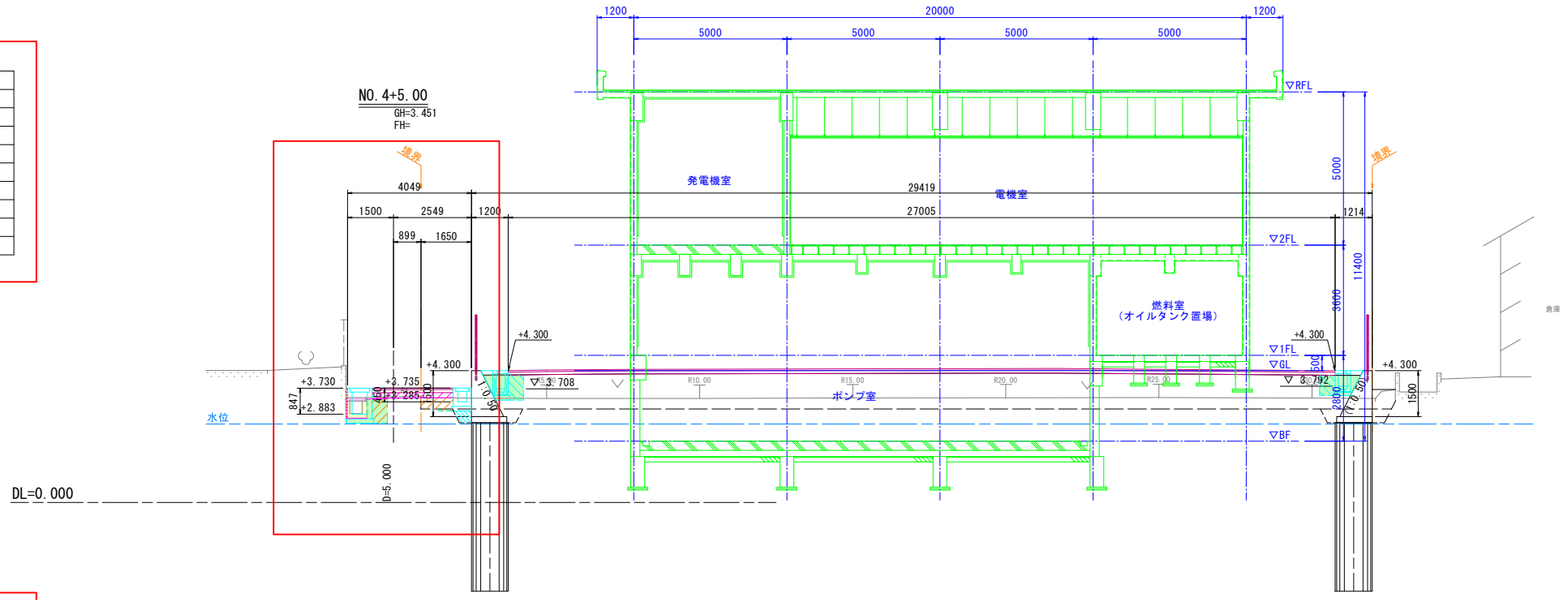
横断面図1　S=1:100

町道

	名称	規格	数量
土工	路床盛土(RC-40)	2.5≦W＜4.0	0.5
		W＜2.5	0.8
	掘削	土砂	
作業土工	床掘	土砂	0.6
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.2
取壊工	コンクリート	無筋	0.2
		鉄筋	0.1
	舗装版破砕	As t=5cm	別途計上
2号U型側溝間詰コン		18N/mm2	0.05

造成地

	名称	規格	数量	
作業土工	床掘	土砂	0.9	0.8
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.4	0.3

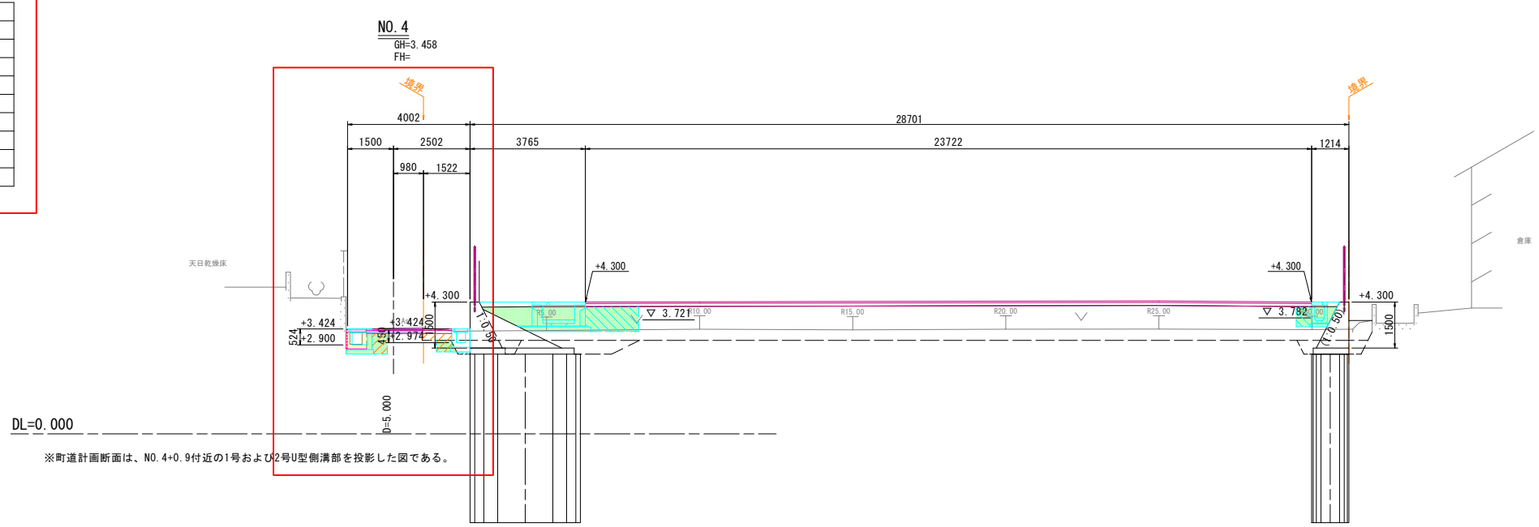


町道

	名称	規格	数量
土工	路床盛土(RC-40)	2.5≦W＜4.0	
		W＜2.5	0.7
	掘削	土砂	0.2
作業土工	床掘	土砂	0.6　0.2
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	
取壊工	コンクリート	無筋	0.2
		鉄筋	0.1
	舗装版破砕	As t=5cm	別途計上
2号U型側溝間詰コン		18N/mm2	0.04

造成地

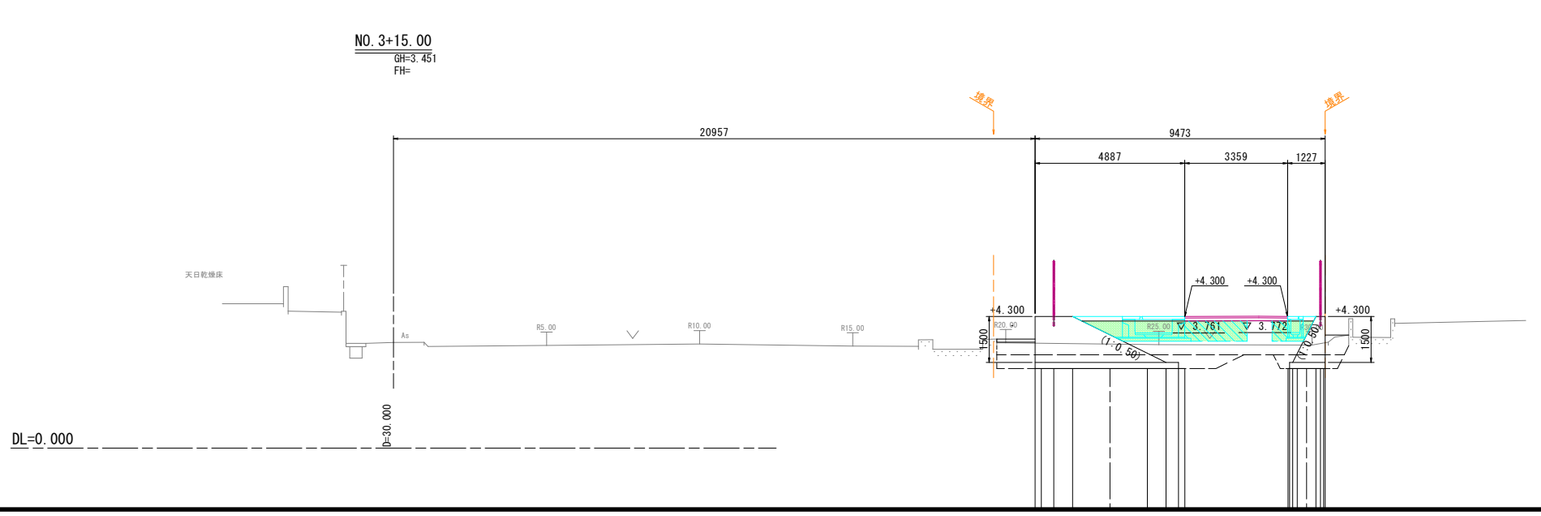
	名称	規格	数量	
作業土工	床掘	土砂	3.6	0.8
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	1.4	0.3



※町道計画断面は、NO.4+0.9付近の1号および2号U型側溝部を投影した図である。

造成地

	名称	規格	数量	
作業土工	床掘	土砂	3.1	0.8
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	1.3	0.3



口：町道工事として施工済

NO.3+15～NO.4+5

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	横断面図1		
縮　尺	1/100	図面番号	3-2-3
藍　住　町　上　下　水　道　課			

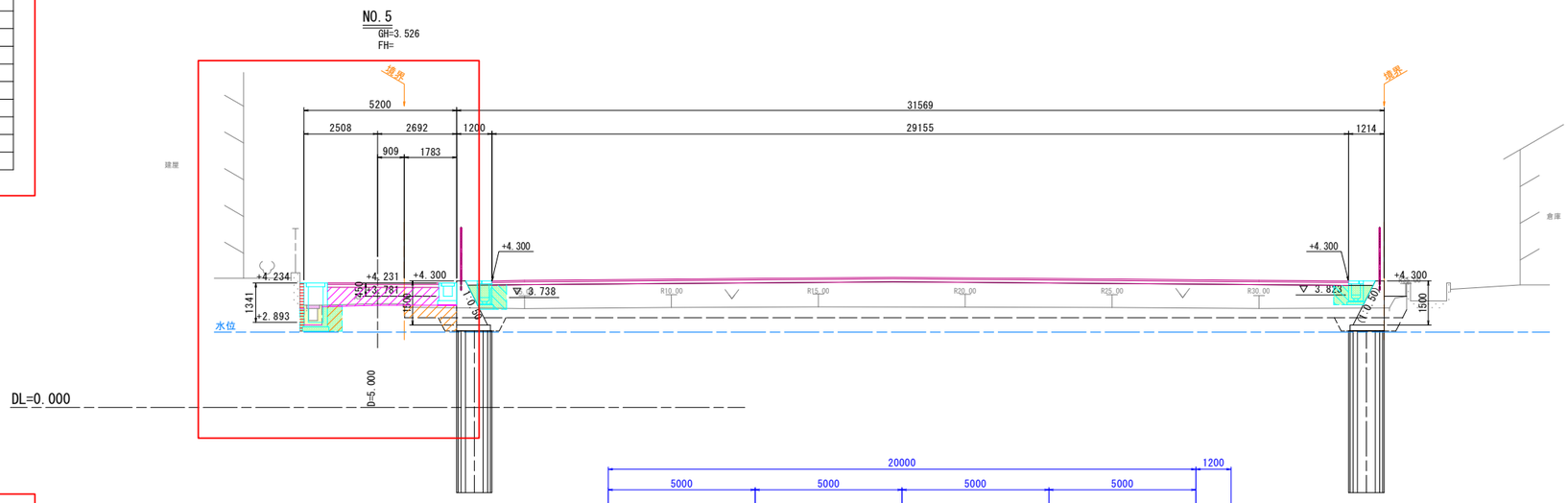
横断面図2　S=1:100

町道

	名称	規格	数量
土工	路床盛土(RC-40)	2.5≦W＜4.0	2.3
		W＜2.5	1.4
	掘削	土砂	
作業土工	床掘	土砂	0.8
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	
取壊工	コンクリート	無筋	0.2
		鉄筋	0.1
	舗装版破砕	As t=5cm	別途計上
2号U型側溝間詰コン		18N/mm2	0.22

造成地

	名称	規格	数量	
作業土工	床掘	土砂	0.9	0.8
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.4	0.3

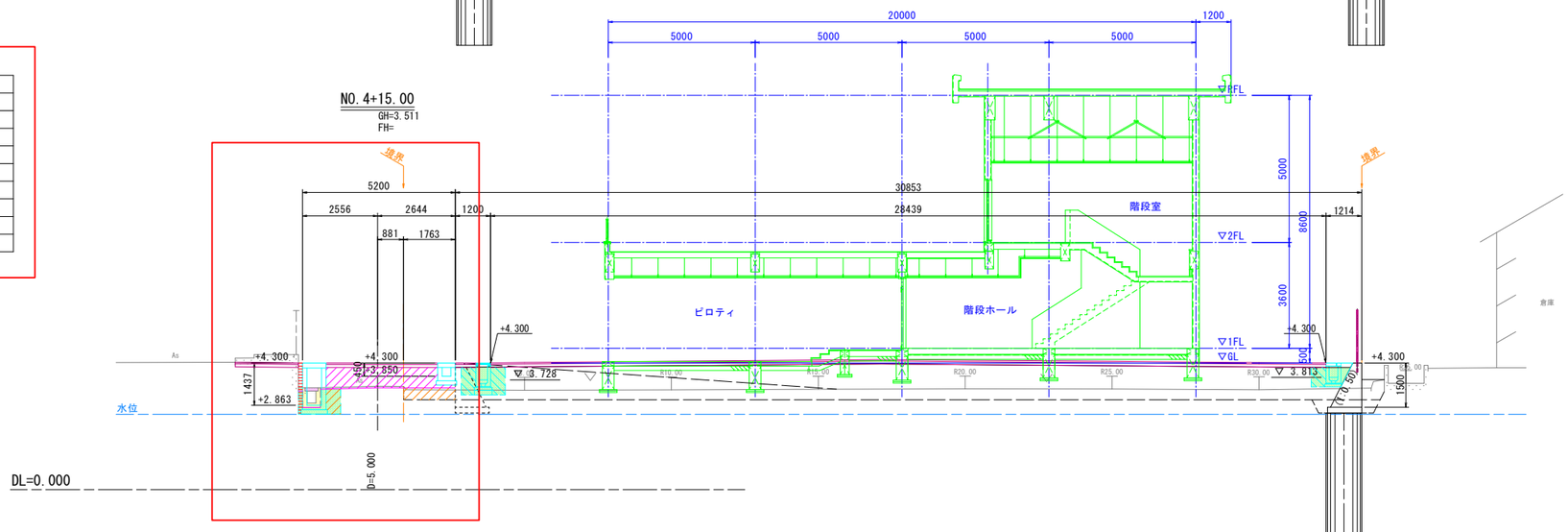


町道

	名称	規格	数量
土工	路床盛土(RC-40)	2.5≦W＜4.0	2.7
		W＜2.5	1.1
	掘削	土砂	
作業土工	床掘	土砂	0.8
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	
取壊工	コンクリート	無筋	0.2
		鉄筋	0.1
	舗装版破砕	As t=5cm	別途計上
2号U型側溝間詰コン		18N/mm2	0.23

造成地

	名称	規格	数量	
作業土工	床掘	土砂	1.4	0.8
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.9	0.3

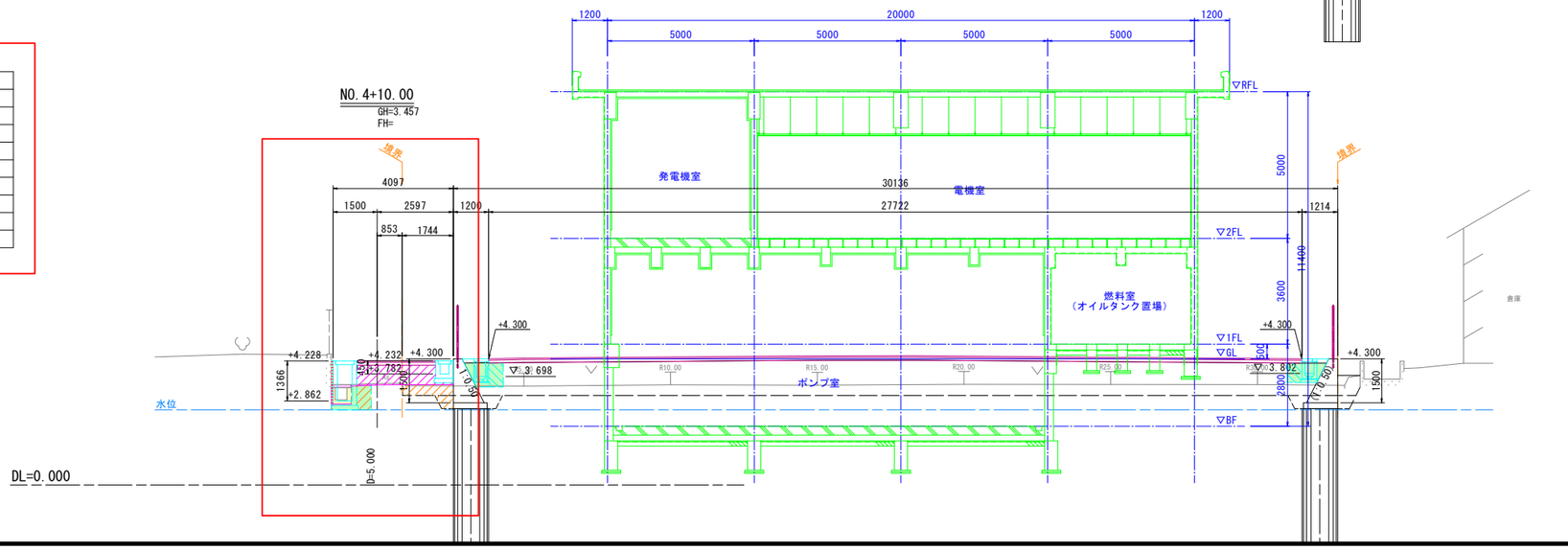


町道

	名称	規格	数量
土工	路床盛土(RC-40)	2.5≦W＜4.0	1.8
		W＜2.5	1.3
	掘削	土砂	
作業土工	床掘	土砂	0.7
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	
取壊工	コンクリート	無筋	0.2
		鉄筋	0.1
	舗装版破砕	As t=5cm	別途計上
2号U型側溝間詰コン		18N/mm2	0.09

造成地

	名称	規格	数量	
作業土工	床掘	土砂	0.9	0.8
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.4	0.3



□：町道工事として施工済

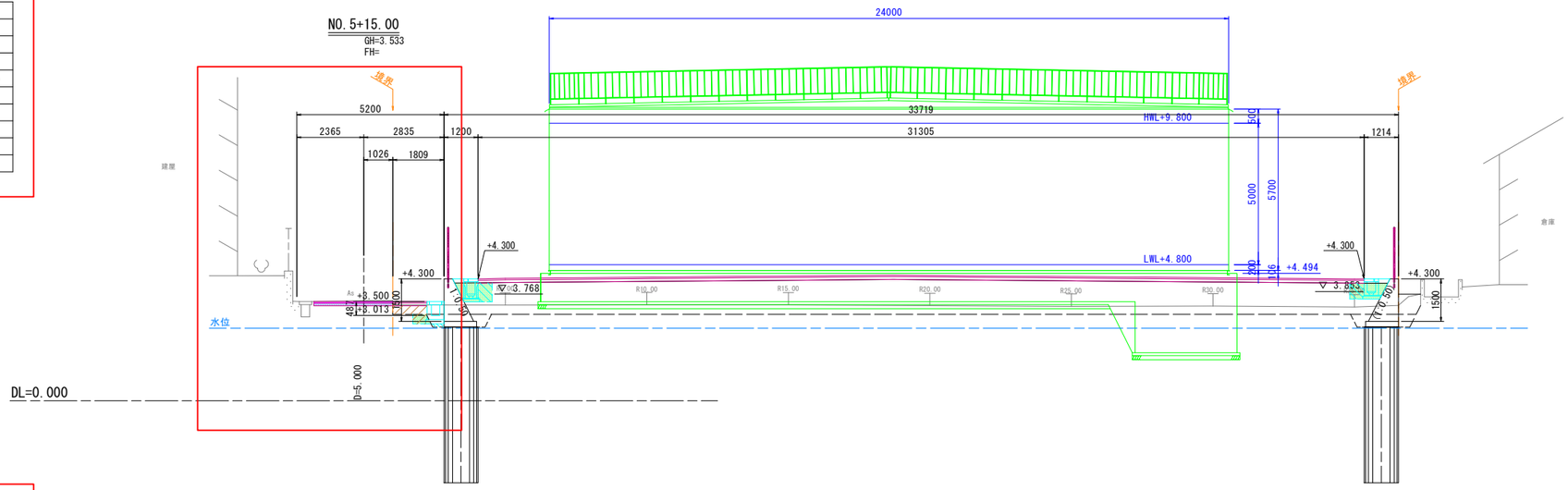
NO.4+10～NO.5

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	横断面図2		
縮　尺	1/100	図面番号	3-2-4
藍　住　町　上　下　水　道　課			

横断面図3　S=1:100

町道

	名称	規格	数量
土工	路床盛土(RC-40)	2.5≦W＜4.0	
		W＜2.5	0.5
	掘削	土砂	0.3
作業土工	床掘	土砂	0.2
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.1
取壊工	コンクリート	無筋	
		鉄筋	
	舗装版破砕	As t=5cm	別途計上
2号U型側溝間詰コン		18N/mm2	

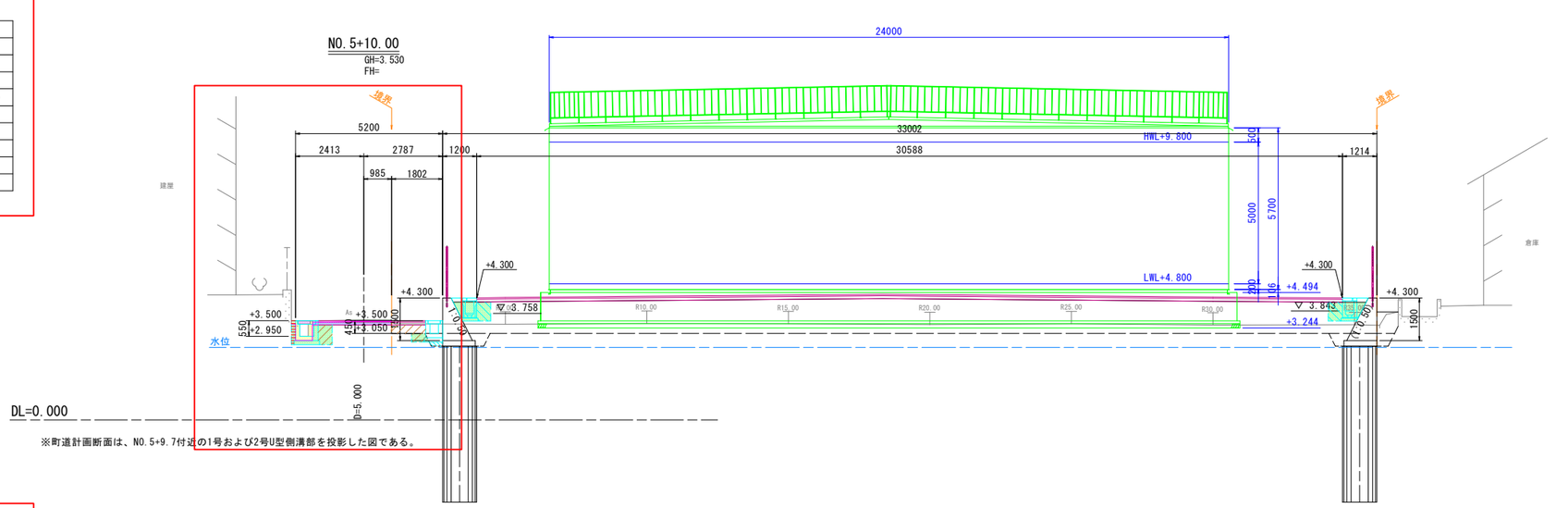


造成地

	名称	規格	数量	
作業土工	床掘	土砂	0.8	0.7
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.3	0.3

町道

	名称	規格	数量	
土工	路床盛土(RC-40)	2.5≦W＜4.0		
		W＜2.5	0.8	
	掘削	土砂	0.3	
作業土工	床掘	土砂	0.7	0.2
	埋戻(RC-40)	W＜1.0		0.1
取壊工	コンクリート	無筋	0.3	
		鉄筋	0.1	
	舗装版破砕	As t=5cm	別途計上	
2号U型側溝間詰コン		18N/mm2	0.12	



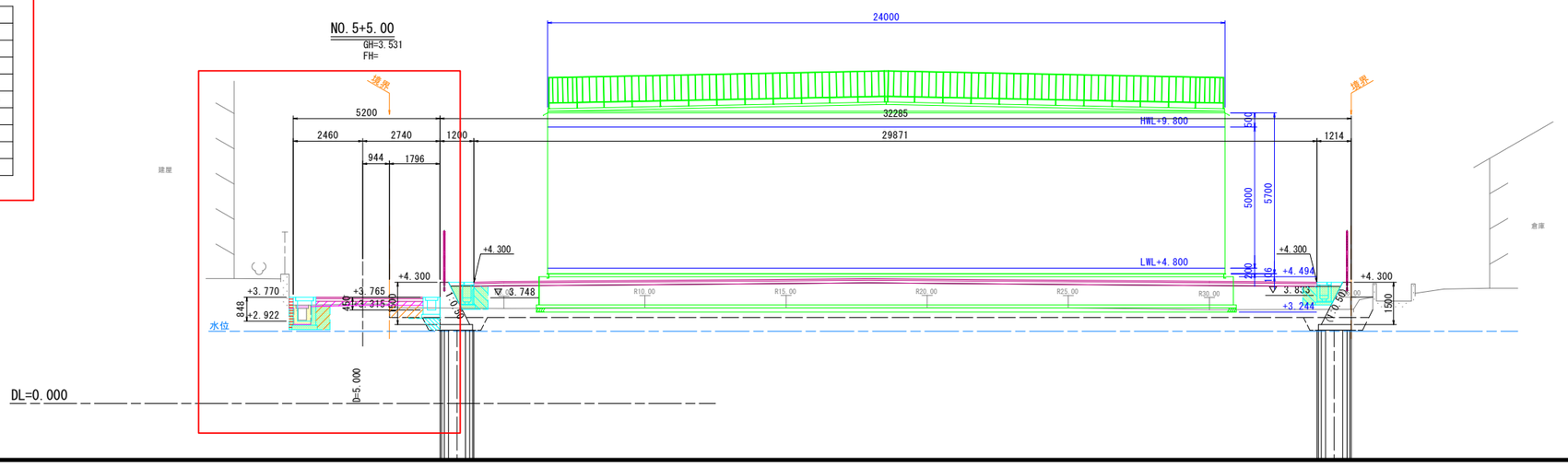
※町道計画断面は、NO.5+9.7付近の1号および2号U型側溝部を投影した図である。

造成地

	名称	規格	数量	
作業土工	床掘	土砂	0.9	0.8
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.3	0.3

町道

	名称	規格	数量	
土工	路床盛土(RC-40)	2.5≦W＜4.0	0.6	
		W＜2.5	0.9	
	掘削	土砂		
作業土工	床掘	土砂	0.8	
	埋戻(RC-40)	W＜1.0		0.2
取壊工	コンクリート	無筋	0.3	
		鉄筋	0.1	
	舗装版破砕	As t=5cm	別途計上	
2号U型側溝間詰コン		18N/mm2	0.16	



造成地

	名称	規格	数量	
作業土工	床掘	土砂	0.9	0.8
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.4	0.3

□：町道工事として施工済

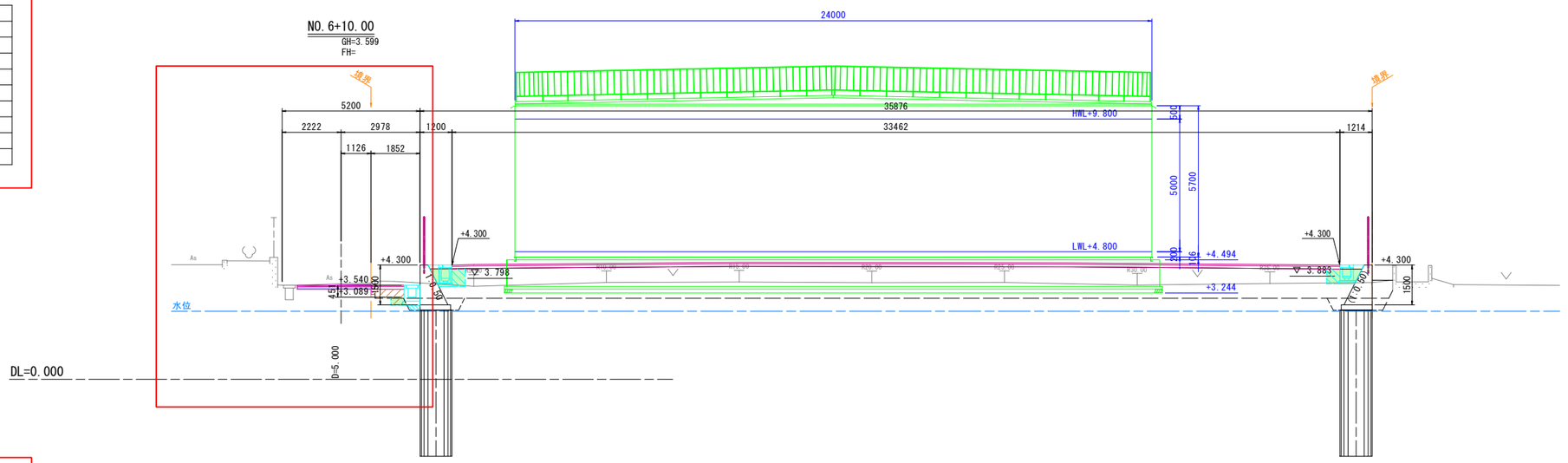
NO.5+5～NO.5+15

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	横断面図3		
縮　尺	1/100	図面番号	3-2-5
藍　住　町　上　下　水　道　課			

横断面図4　S=1:100

町道

	名称	規格	数量
土工	路床盛土(RC-40)	2.5≦W＜4.0	
		W＜2.5	0.5
	掘削	土砂	0.4
作業土工	床掘	土砂	0.1
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.1
取壊工	コンクリート	無筋	
		鉄筋	
	舗装版破砕	As t=5cm	別途計上
2号U型側溝間詰コン		18N/mm2	

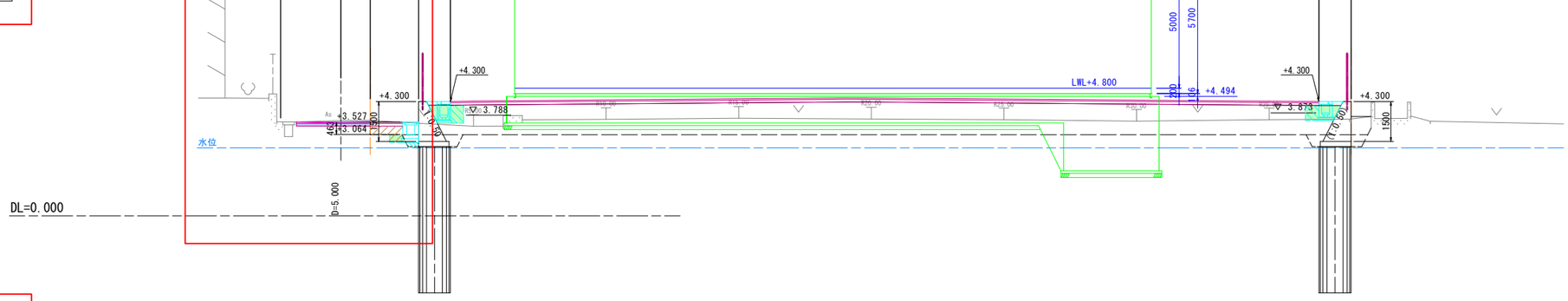


造成地

	名称	規格	数量	
作業土工	床掘	土砂	0.8	0.7
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.3	0.3

町道

	名称	規格	数量
土工	路床盛土(RC-40)	2.5≦W＜4.0	
		W＜2.5	0.5
	掘削	土砂	0.4
作業土工	床掘	土砂	0.2
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.1
取壊工	コンクリート	無筋	
		鉄筋	
	舗装版破砕	As t=5cm	別途計上
2号U型側溝間詰コン		18N/mm2	

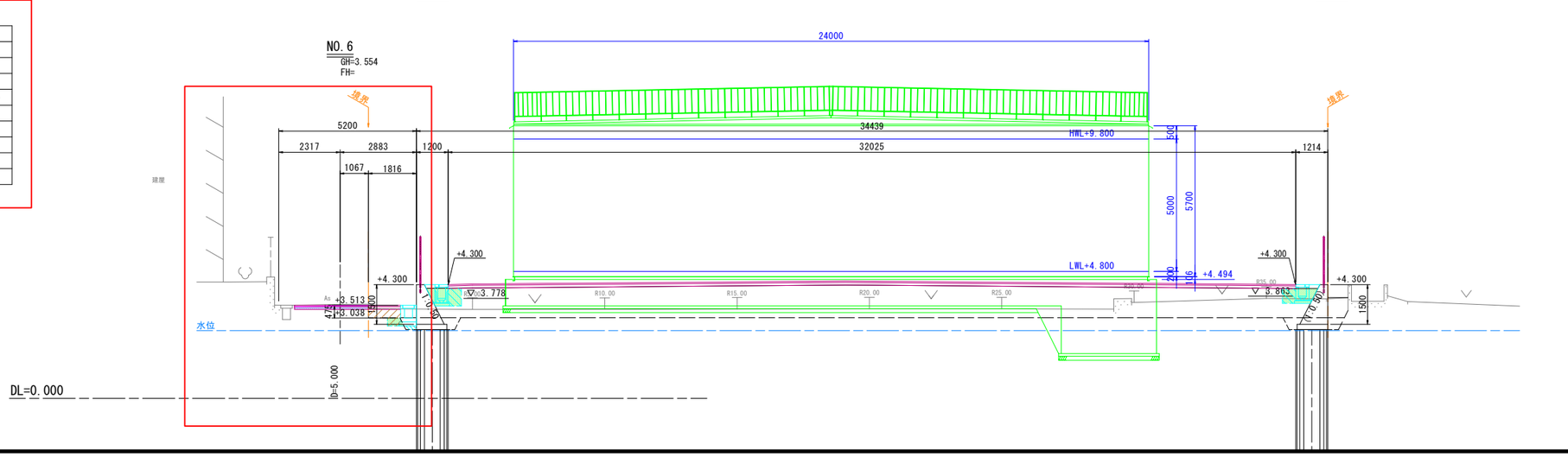


造成地

	名称	規格	数量	
作業土工	床掘	土砂	0.8	0.7
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.3	0.3

町道

	名称	規格	数量
土工	路床盛土(RC-40)	2.5≦W＜4.0	
		W＜2.5	0.5
	掘削	土砂	0.4
作業土工	床掘	土砂	0.2
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.1
取壊工	コンクリート	無筋	
		鉄筋	
	舗装版破砕	As t=5cm	別途計上
2号U型側溝間詰コン		18N/mm2	



造成地

	名称	規格	数量	
作業土工	床掘	土砂	0.8	0.7
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.3	0.3

□：町道工事として施工済

NO.6～NO.6+10

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	横断面図4		
縮尺	1/100	図面番号	3-2-6
藍住町上下水道課			

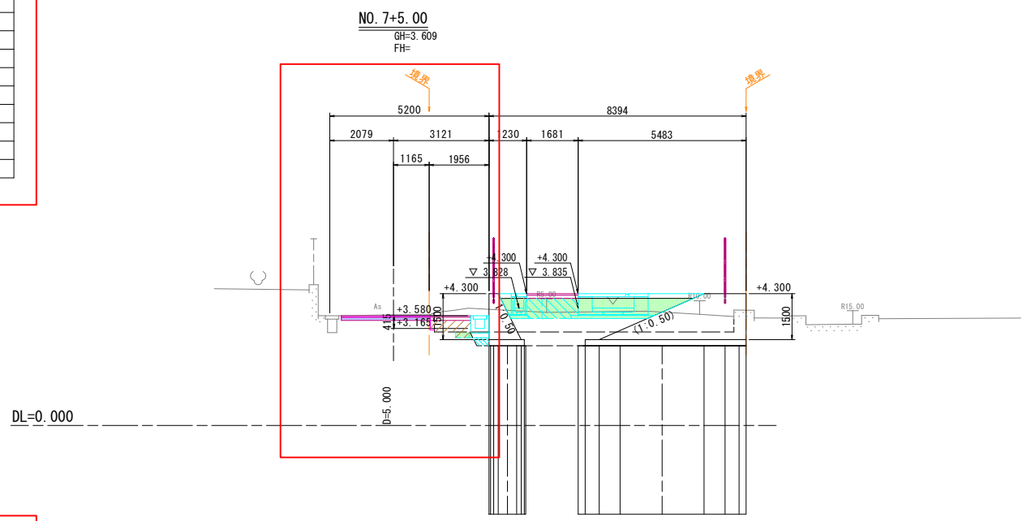
横断面図5　S=1:100

町道

	名称	規格	数量
土工	路床盛土(RC-40)	2.5≦W＜4.0	
		W＜2.5	0.6
	掘削	土砂	0.4
作業土工	床掘	土砂	0.1
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.1
取壊工	コンクリート	無筋	
		鉄筋	
	舗装版破砕	As t=5cm	別途計上
2号U型側溝間詰コン		18N/mm2	

造成地

	名称	規格	数量
作業土工	床掘	土砂	0.8　2.8
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.3　0.8

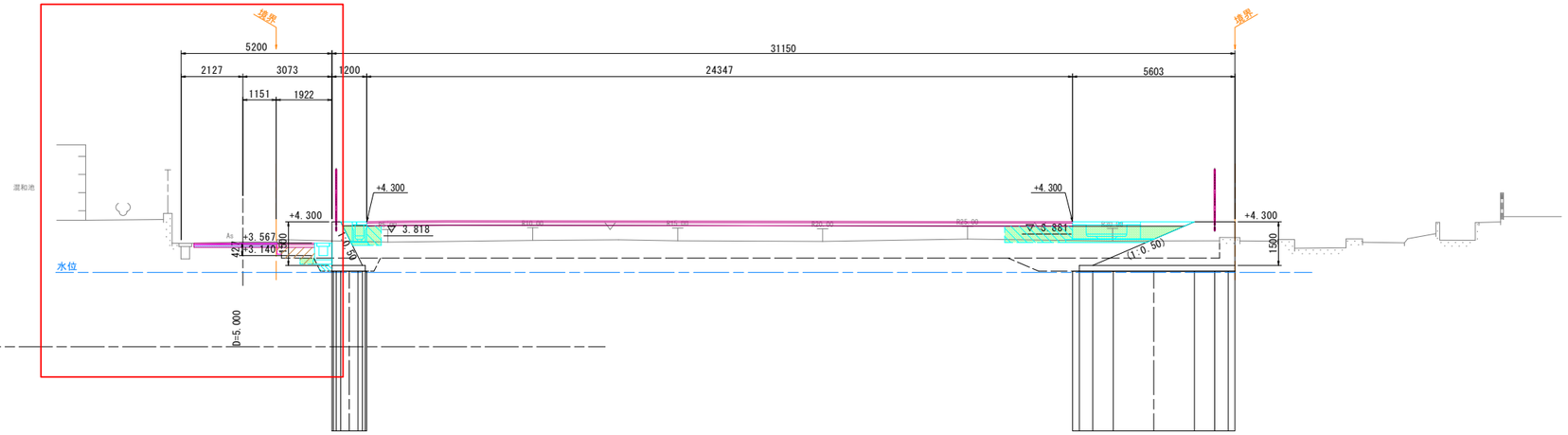


町道

	名称	規格	数量
土工	路床盛土(RC-40)	2.5≦W＜4.0	
		W＜2.5	0.6
	掘削	土砂	0.4
作業土工	床掘	土砂	0.1
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.1
取壊工	コンクリート	無筋	
		鉄筋	
	舗装版破砕	As t=5cm	別途計上
2号U型側溝間詰コン		18N/mm2	

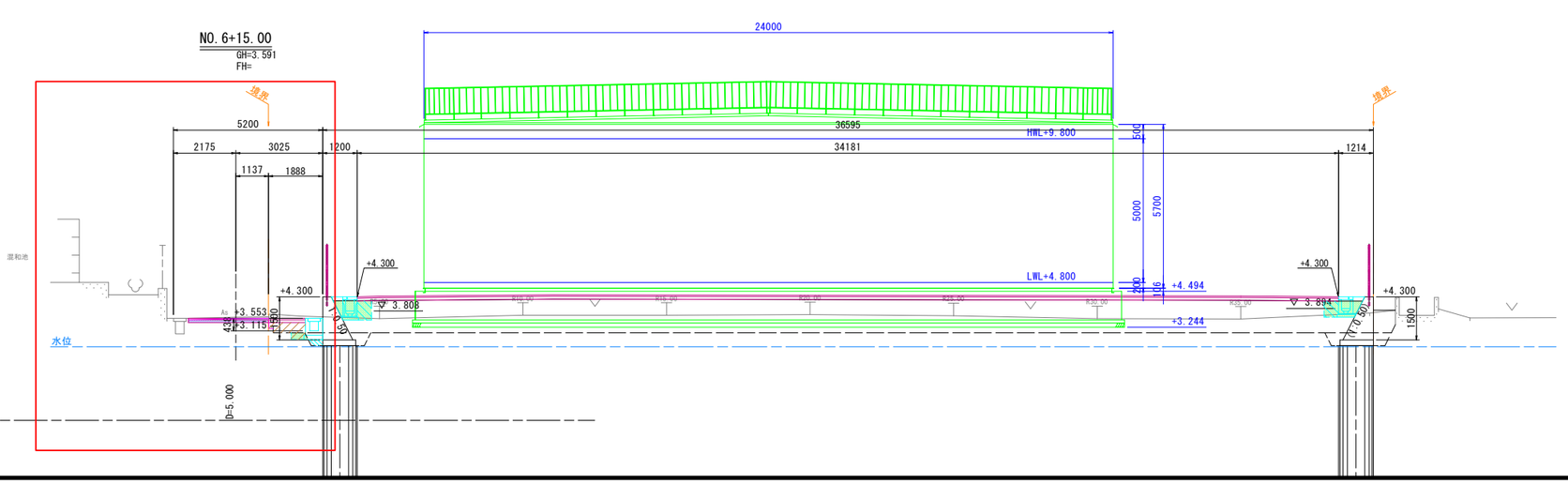
造成地

	名称	規格	数量
作業土工	床掘	土砂	0.8　3.1
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.3　1.3



町道

	名称	規格	数量
土工	路床盛土(RC-40)	2.5≦W＜4.0	
		W＜2.5	0.5
	掘削	土砂	0.4
作業土工	床掘	土砂	0.1
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.1
取壊工	コンクリート	無筋	
		鉄筋	
	舗装版破砕	As t=5cm	別途計上
2号U型側溝間詰コン		18N/mm2	



造成地

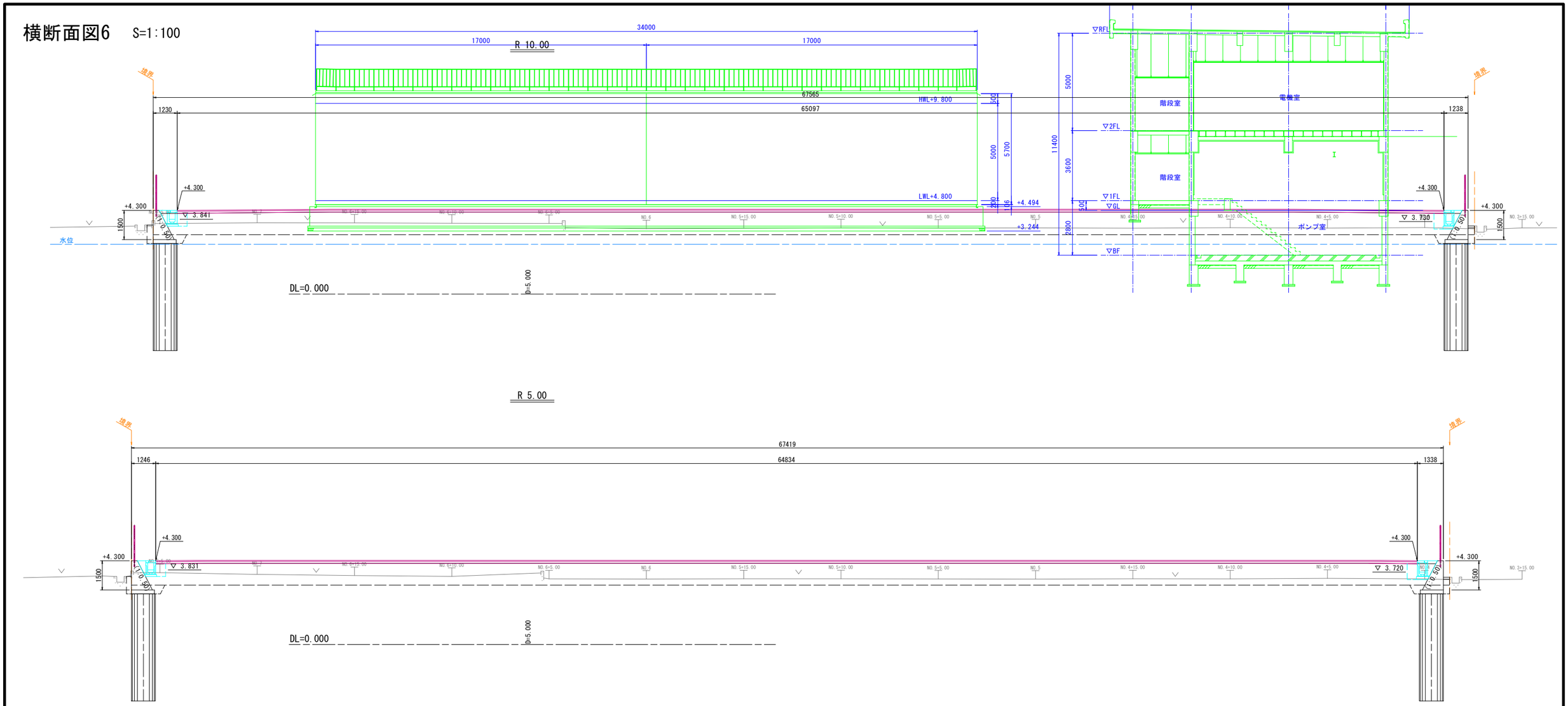
	名称	規格	数量
作業土工	床掘	土砂	0.8　0.7
	埋戻(RC-40)	W＜1.0	0.3　0.3

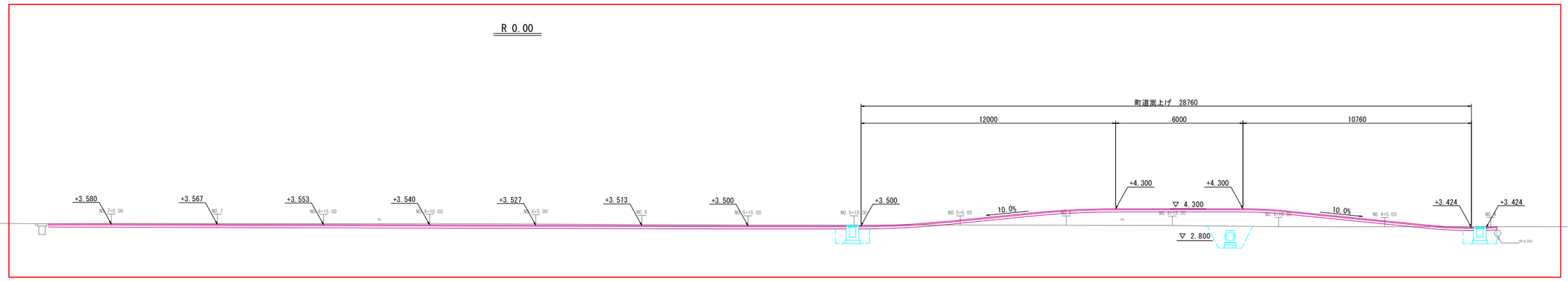
口：町道工事として施工済

NO.6+15～NO.7+5

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	横断面図5		
縮　尺	1/100	図面番号	3-2-7
藍　住　町　上　下　水　道　課			

横断面図6　S=1:100





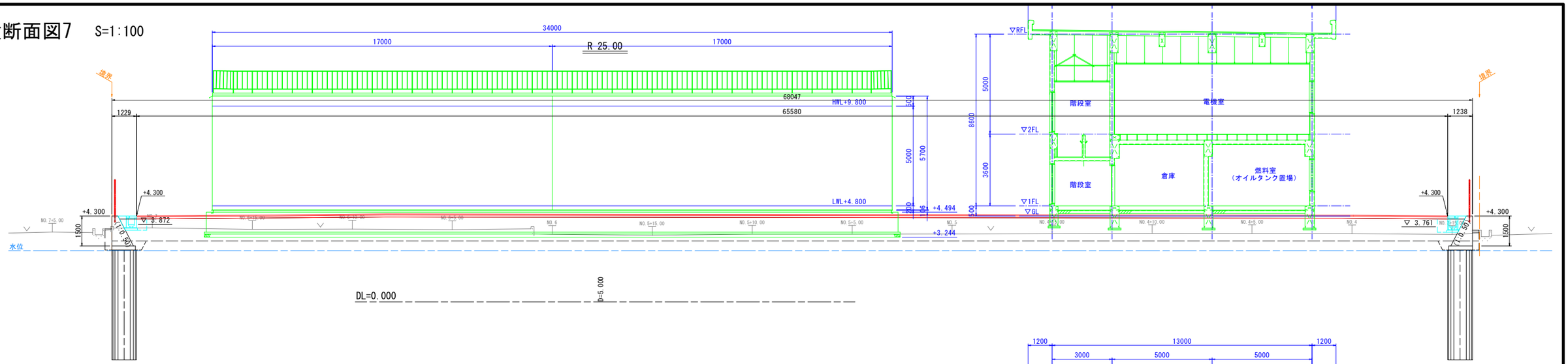
R 0.00～R 10.00

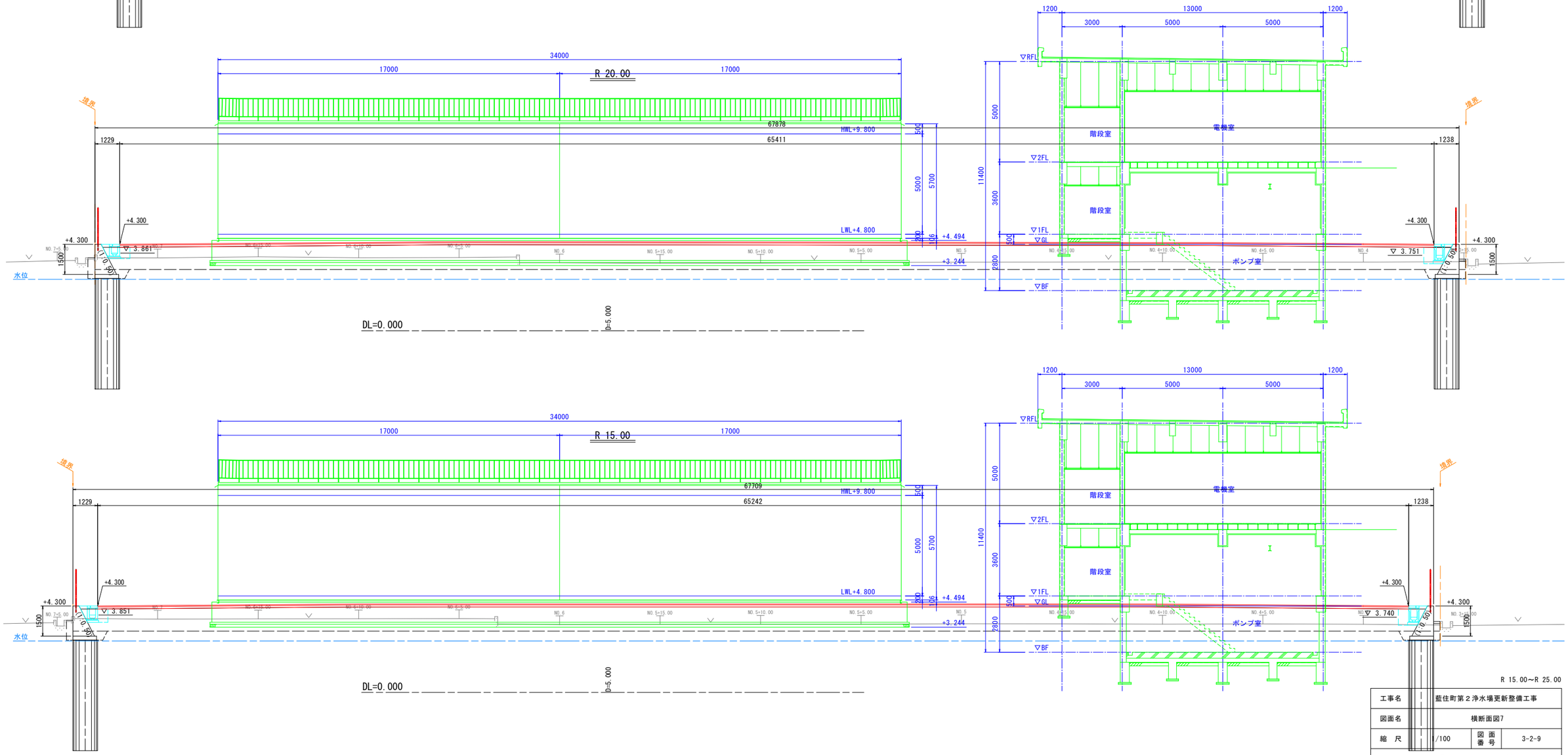
DL=0.000

口：町道工事として施工済

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	横断面図6		
縮　尺	1/100	図面番号	3-2-8
藍　住　町　上　下　水　道　課			

横断面図7　S=1:100

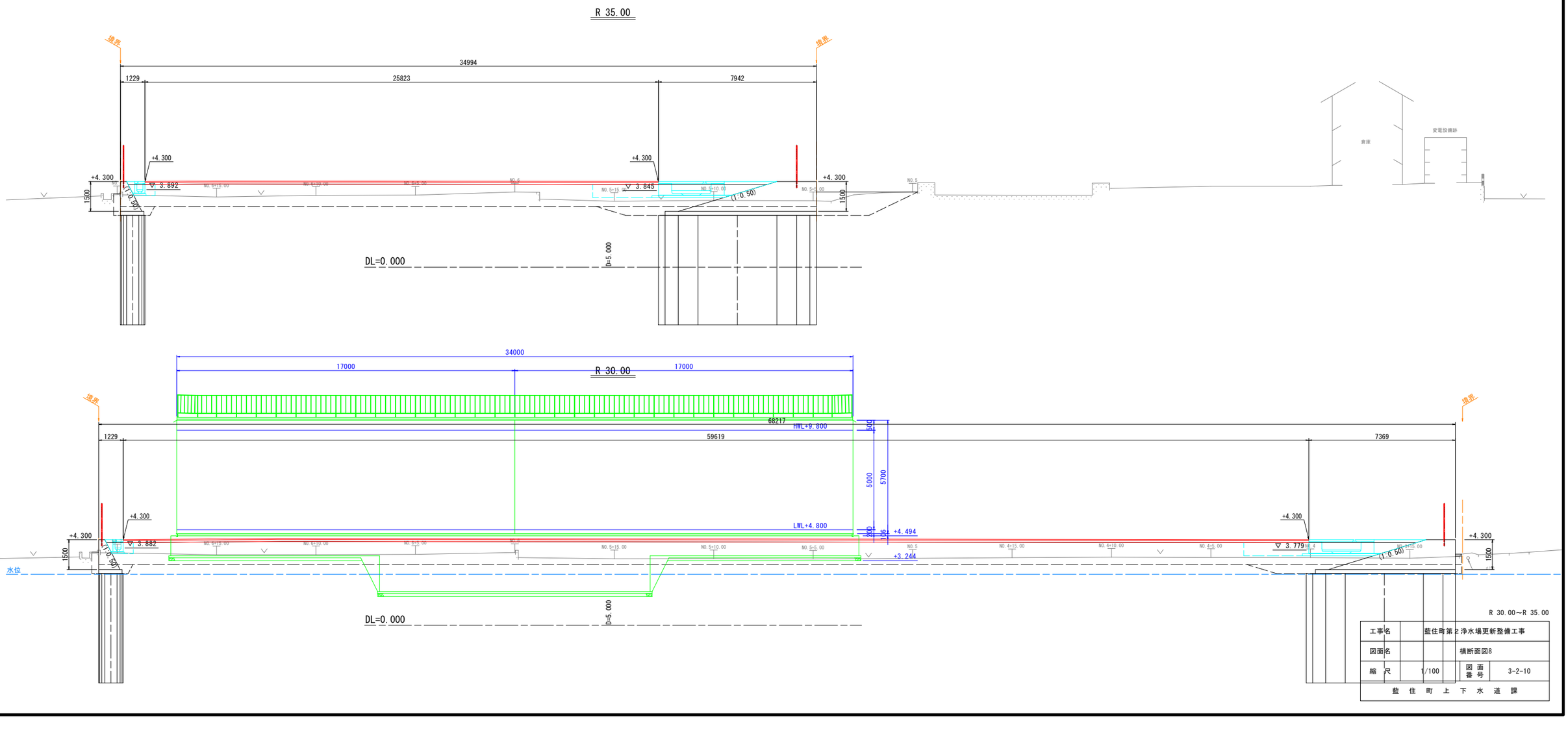




R 15.00～R 25.00

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	横断面図7		
縮　尺	1/100	図面番号	3-2-9
藍　住　町　上　下　水　道　課			

横断面図8　S=1:100



R 30.00～R 35.00

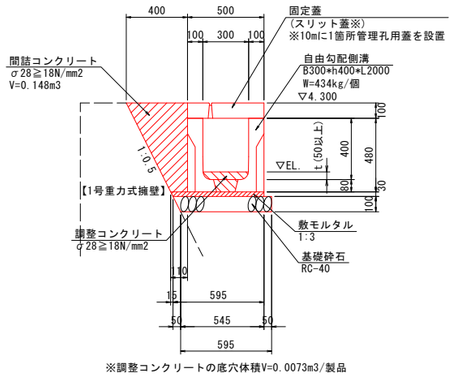
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	横断面図8		
縮　尺	1/100	図面番号	3-2-10
藍　住　町　上　下　水　道　課			

構造図1

自由勾配側溝 S=1:20

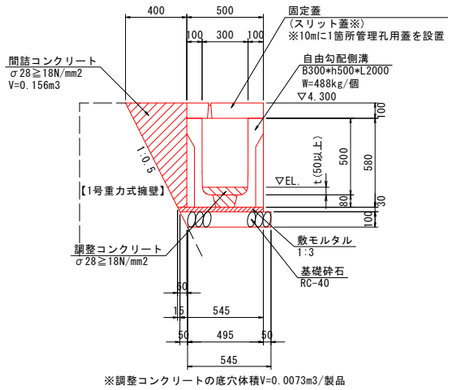
標準部

W300*h400



※調整コンクリートの底穴体積V=0.0073m3/製品

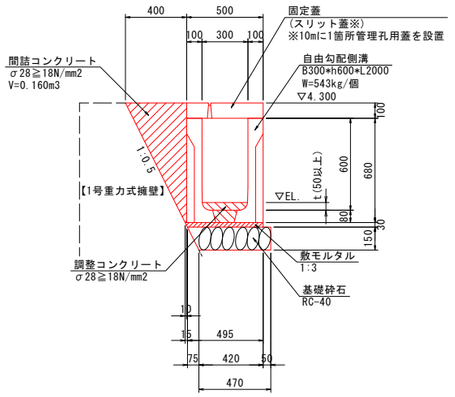
W300*h500



※調整コンクリートの底穴体積V=0.0073m3/製品

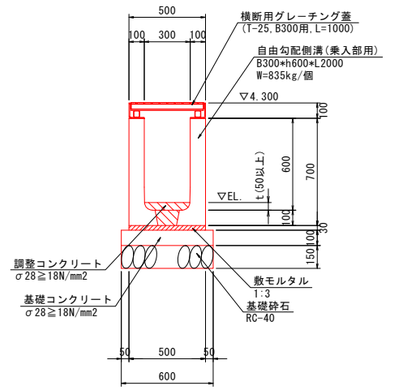
乗入部

W300*h600



※調整コンクリートの底穴体積V=0.0073m3/製品

W300*h600

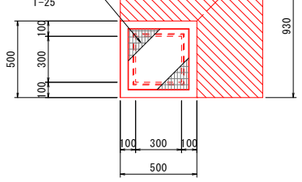


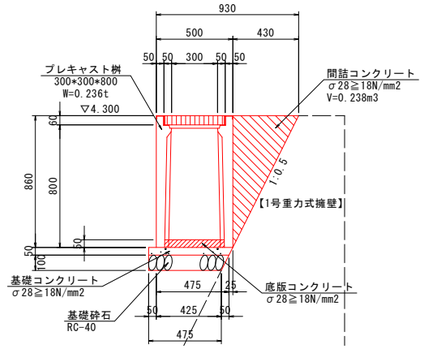
※調整コンクリートの底穴体積V=0.0091m3/製品

1.0m当り

名　称	規　格	標準部 h400	標準部 h500	標準部 h600	乗入部 h600
自由勾配側溝	W300*h*L2000	0.5　個			
調整コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.300*t+0.0073/2　m3			0.300*t+0.0091/2　m3
敷モルタル	1:3	0.018　m3	0.017　m3	0.015　m3	0.015　m3
基礎コンクリート	σ28≧18N/mm2	－	－	－	0.060　m3
同上型枠	均しコン型枠	－	－	－	0.200　m2
基礎砕石	RC-40 t=100	0.620　m2	0.570　m2	－	－
基礎砕石	RC-40 t=150	－	－	0.508　m2	0.600　m2
固定蓋	B300 スリット蓋	0.4　枚			－
固定蓋	B300 管理孔蓋	0.1　枚			－
グレーチング	横断用 T-25,B300用	－	－	－	1　枚
間詰コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.148　m3	0.156　m3	0.160　m3	－

1号集水桝 S=1:20

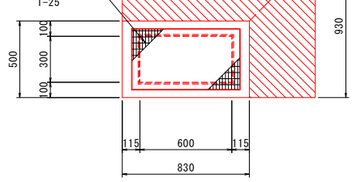


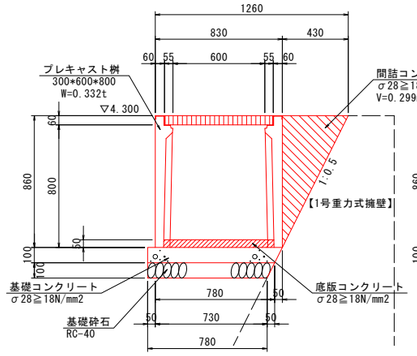


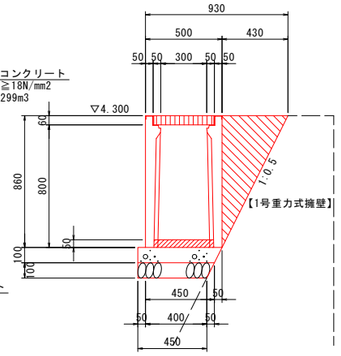
1.0基当り

名　称	規　格	数　量
プレキャスト集水桝	300*300*800	1.0　個
底版コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.008　m3
基礎コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.014　m3
同上型枠	均しコン型枠	0.054　m2
基礎砕石	RC-40 t=100	0.250　m2
グレーチング	300*300 T-25	1.0　組
間詰コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.238　m3

2号集水桝 S=1:20







1.0基当り

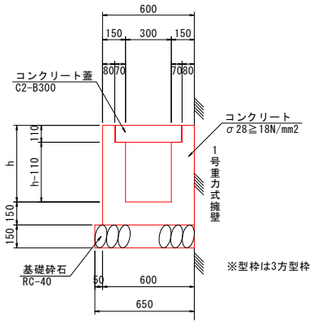
名　称	規　格	数　量
プレキャスト集水桝	300*600*800	1.0　個
底版コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.014　m3
基礎コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.045　m3
同上型枠	均しコン型枠	0.138　m2
基礎砕石	RC-40 t=100	0.382　m2
グレーチング	300*600 T-25	1.0　組
間詰コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.299　m3

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	構造図1		
縮　尺	図　示	図面番号	3-2-11
藍　住　町　上　下　水　道　課			

構造図2

1号U型側溝 S=1:20

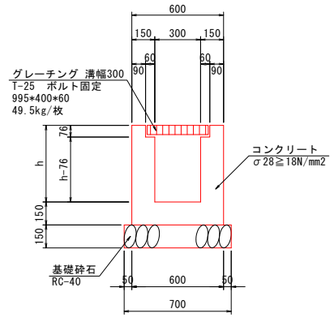
揚蓋部



1.0m当り

名　称	規　格	算　式	
コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.300*h+0.075	m3
型枠	一般小型構造物	3*h+0.450	m2
基礎砕石	RC-40 t=150	0.650	m2
目地材	瀝青質 t=10mm	コンクリート数量/10	m2
コンクリート蓋	C2-B300	2	枚

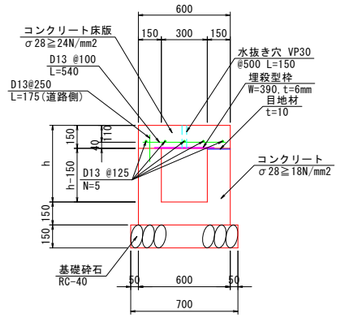
グレーチング部



1.0m当り

名　称	規　格	算　式	
コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.300*h+0.081	m3
型枠	一般小型構造物	4*h+0.448	m2
基礎砕石	RC-40 t=150	0.700	m2
グレーチング	溝幅300 T-25	1	枚

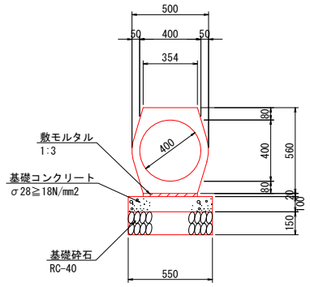
床版蓋部



1.0m当り

	名　称	規　格	算　式	
側溝本体部	コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.300*h+0.045	m3
	型枠	一般小型構造物	4*h	m2
	基礎砕石	RC-40 t=150	0.700	m2
床版蓋部	コンクリート	σ28≧24N/mm2	0.090	m3
	型枠	一般小型構造物	0.300	m2
	鉄筋	SD345 D13	11.045	kg
	水抜き穴	VP30	0.300	m
	埋殺型枠	W=390, t=6mm	1.000	m
	目地材	瀝青質 t=10mm	0.150	m2

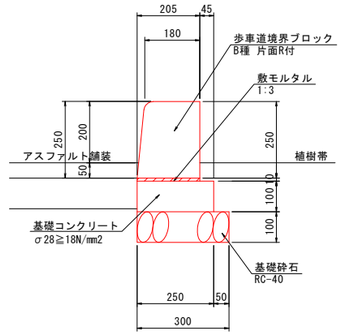
重圧管 S=1:20



10.0m当り

名　称	規　格	数　量	
重圧管	φ400	5.0	本
敷モルタル	1:3	0.071	m3
基礎コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.550	m3
同上型枠	均しコン型枠	2.000	m2
基礎砕石	RC-40 t=150	5.500	m2

縁石工 S=1:10

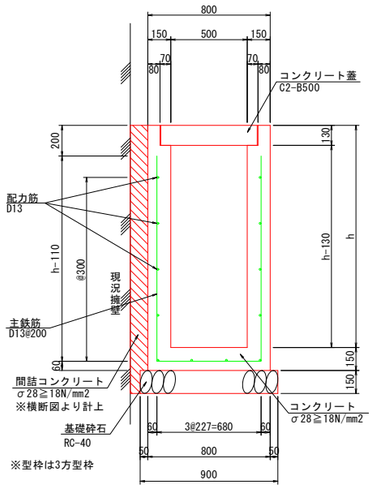


10.0m当り

名　称	規　格	数　量	
歩車道境界ブロック	B種 片面R付	16.5	個
敷モルタル	1:3	0.021	m3
基礎コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.250	m3
同上型枠	均しコン型枠	2.000	m2
基礎砕石	RC-40 t=100	3.000	m2

2号U型側溝 S=1:20

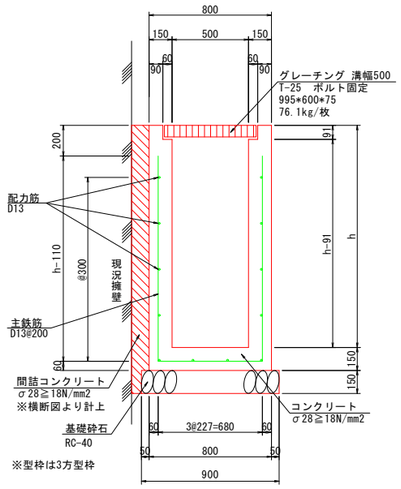
揚蓋部



1.0m当り

名　称	規　格	算　式	
コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.300*h+0.102	m3
間詰コンクリート	σ28≧18N/mm2	横断図より求積	m3
型枠	一般小型構造物	3*h+0.150	m2
鉄筋	SD345 D13	計算書参照	kg
基礎砕石	RC-40 t=150	0.900	m2
目地材	瀝青質 t=10mm	コンクリート数量/10	m2
コンクリート蓋	C2-B500	2	枚

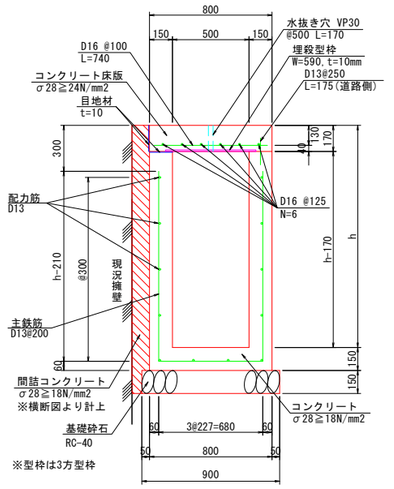
グレーチング部



1.0m当り

名　称	規　格	算　式	
コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.300*h+0.109	m3
間詰コンクリート	σ28≧18N/mm2	横断図より求積	m3
型枠	一般小型構造物	3*h-0.032	m2
鉄筋	SD345 D13	計算書参照	kg
基礎砕石	RC-40 t=150	0.900	m2
グレーチング	溝幅500 T-25	1	枚

床版蓋部

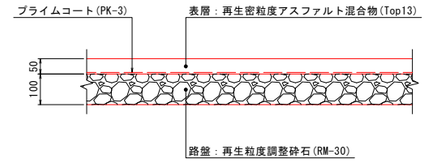


1.0m当り

	名　称	規　格	算　式	
側溝本体部	コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.300*h+0.069	m3
	間詰コンクリート	σ28≧18N/mm2	横断図より求積	m3
	型枠	一般小型構造物	3*h-0.360	m2
	鉄筋	SD345 D13	計算書参照	kg
	基礎砕石	RC-40 t=150	0.900	m2
床版蓋部	コンクリート	σ28≧24N/mm2	0.136	m3
	型枠	一般小型構造物	0.170	m2
	鉄筋	SD345 D16	20.904	kg
		SD345 D13	0.697	kg
	水抜き穴	VP30	0.340	m
	埋殺型枠	W=590, t=10mm	1.000	m
	目地材	瀝青質 t=10mm	0.320	m2

アスファルト舗装 S=1:10

※場内、町道共通



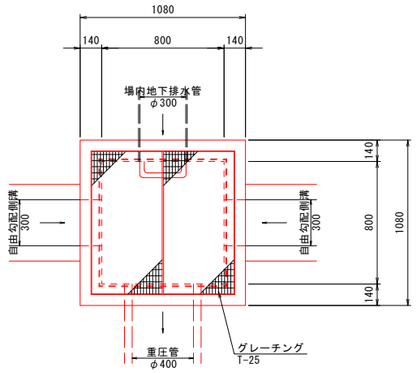
□：町道工事として施工済

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	構造図2		
縮　尺	図　示	図面番号	3-2-12
藍　住　町　上　下　水　道　課			

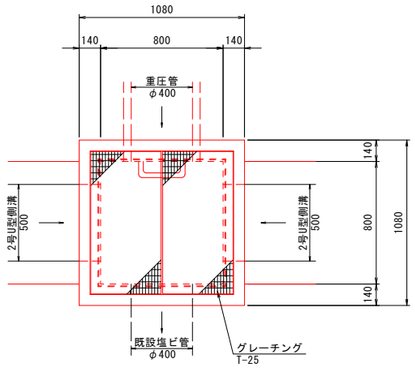
構造図3

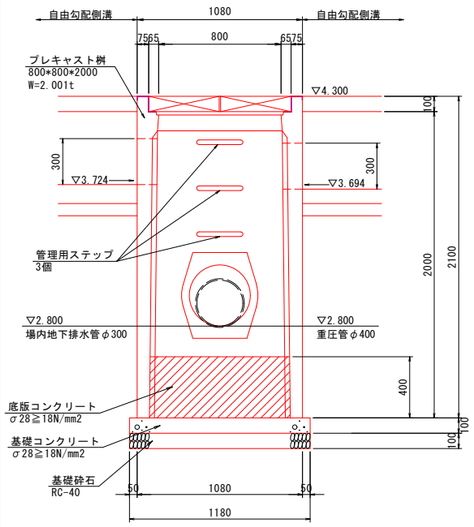
3号集水桝 S=1:20

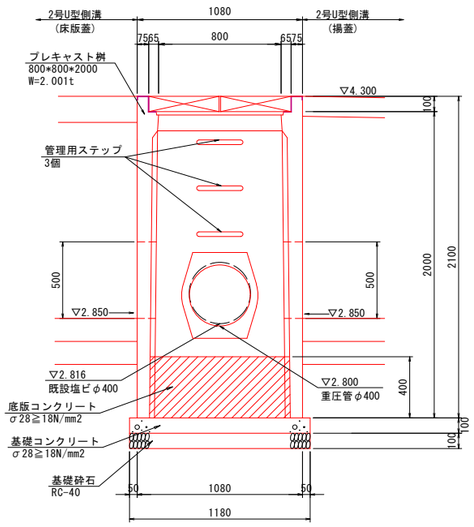
呑口側



吐口側



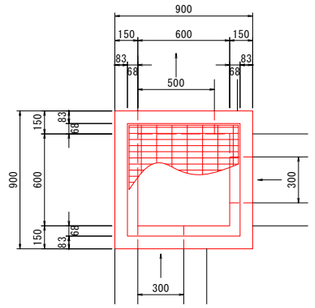




1.0基当り

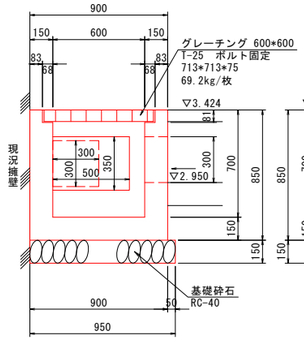
名　称	規　格	数　量
プレキャスト集水桝	800*800*2000	1.0　個
底版コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.346　m3
基礎コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.139　m3
同上型枠	均しコン型枠	0.472　m2
基礎砕石	RC-40 t=100	1.392　m2
グレーチング	800*800 T-25	1.0　組
管理用ステップ		3.0　個

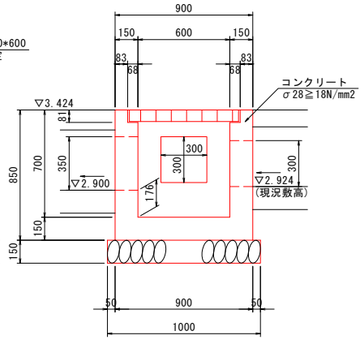
4号集水桝 S=1:20



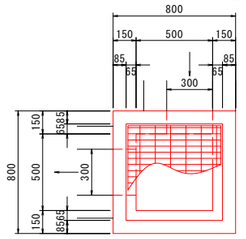
1.0基当り

名　称	規　格	数　量
コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.369　m3
型枠	一般小型構造物	3.881　m2
基礎砕石	RC-40 t=150	0.950　m2
グレーチング	600*600 T-25	1.0　枚



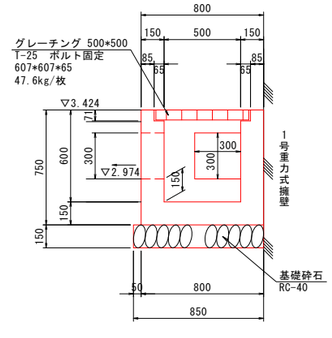


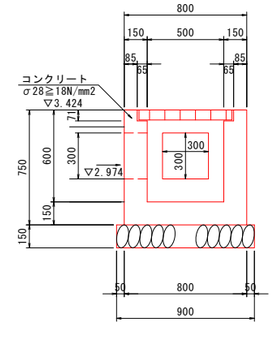
5号集水桝 S=1:20



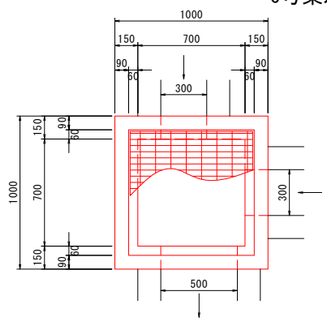
1.0基当り

名　称	規　格	数　量
コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.293　m3
型枠	一般小型構造物	3.068　m2
基礎砕石	RC-40 t=150	0.765　m2
グレーチング	500*500 T-25	1.0　枚



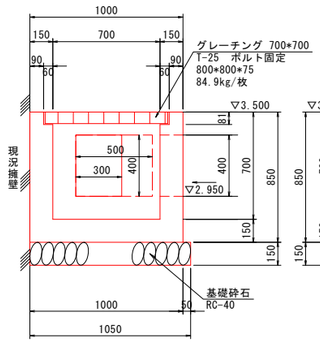


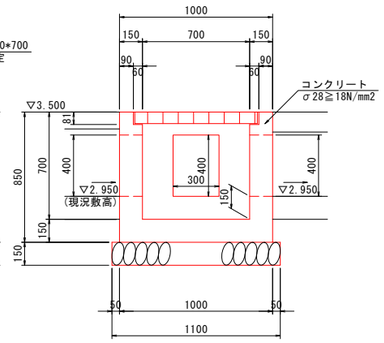
6号集水桝 S=1:20



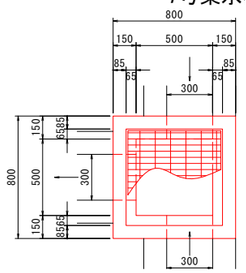
1.0基当り

名　称	規　格	数　量
コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.426　m3
型枠	一般小型構造物	4.348　m2
基礎砕石	RC-40 t=150	1.155　m2
グレーチング	700*700 T-25	1.0　枚



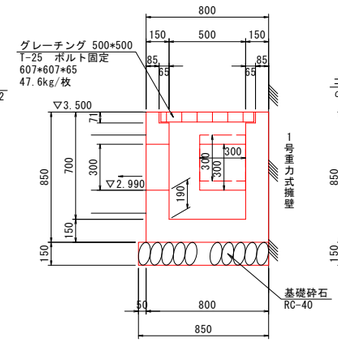


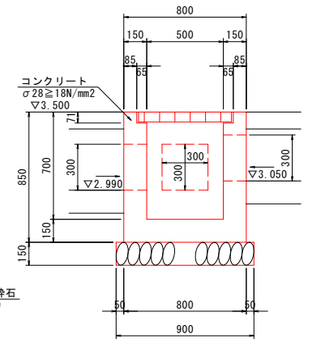
7号集水桝 S=1:20



1.0基当り

名　称	規　格	数　量
コンクリート	σ28≧18N/mm2	0.318　m3
型枠	一般小型構造物	3.463　m2
基礎砕石	RC-40 t=150	0.765　m2
グレーチング	500*500 T-25	1.0　枚

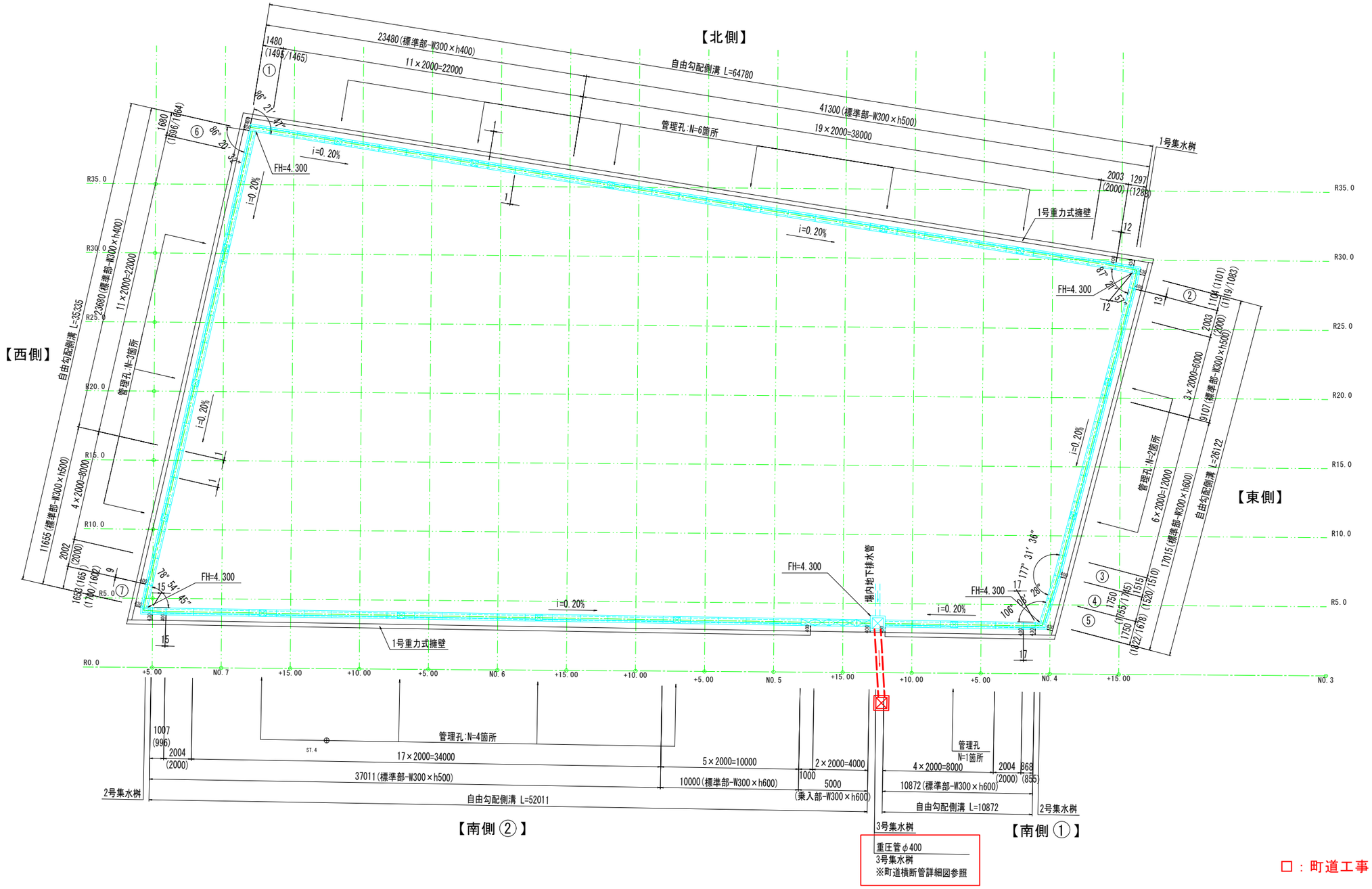




□：町道工事として施工済

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	構造図3		
縮　尺	図　示	図面番号	3-2-13
藍　住　町　上　下　水　道　課			

自由勾配側溝平面配置図　S=1:150



※重圧管は1本分長く施工している

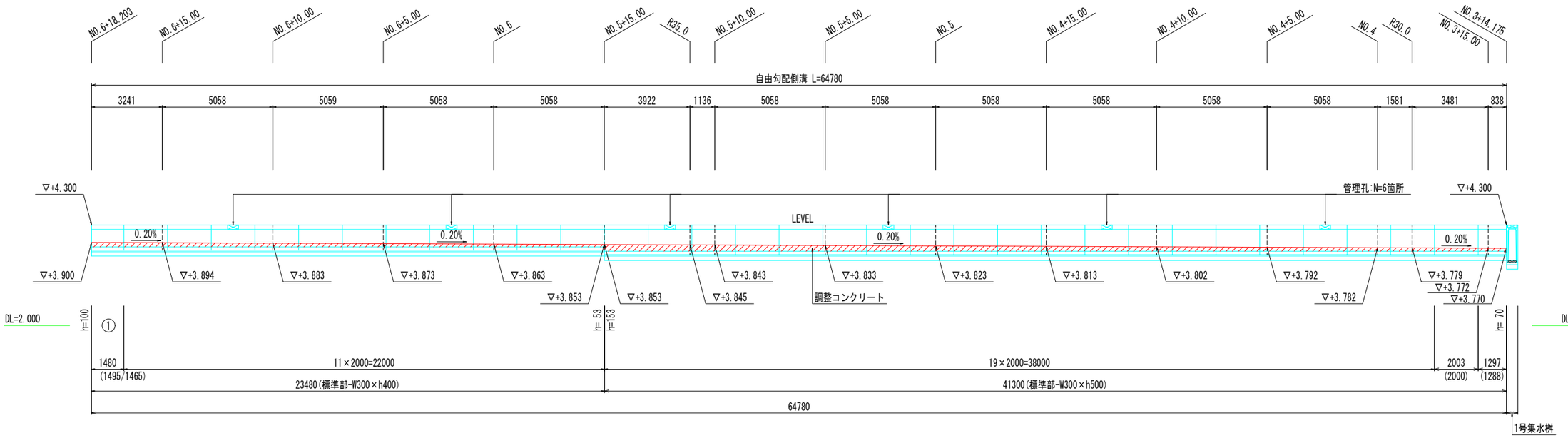
口：町道工事として施工済

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	自由勾配側溝平面配置図		
縮　尺	1/150	図面番号	3-2-14
藍　住　町　上　下　水　道　課			

自由勾配側溝割付図1

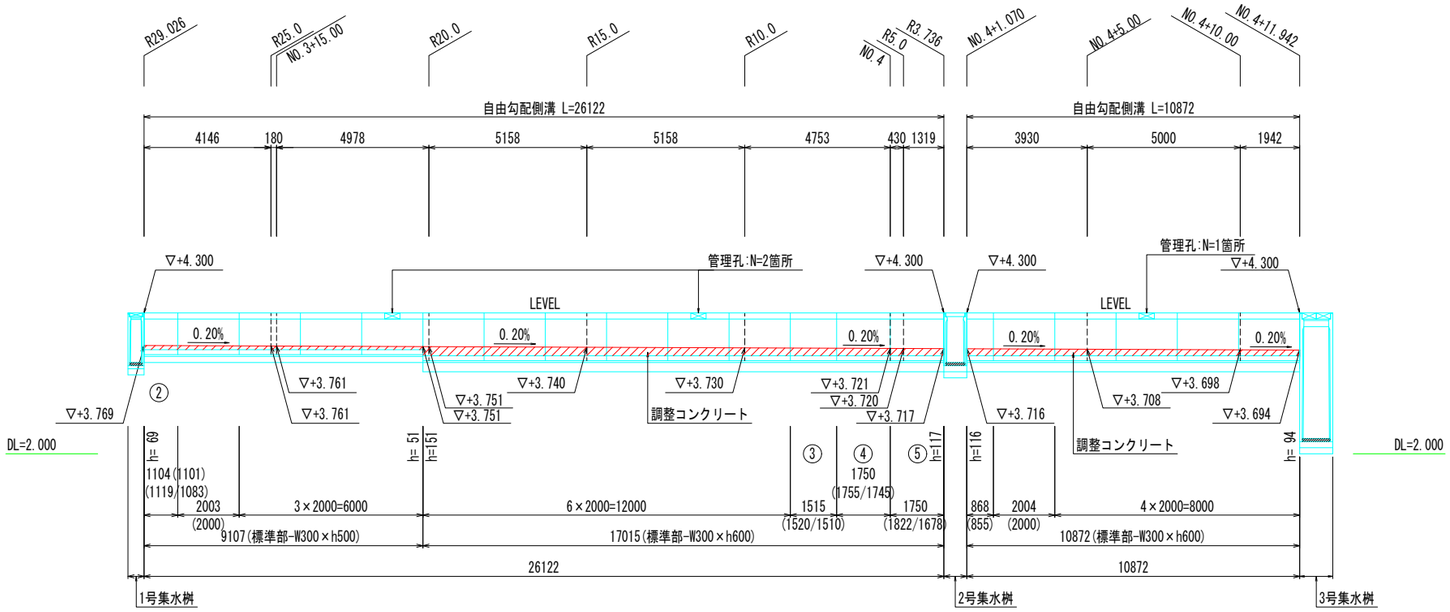
Vs=1：50
Hs=1：100

【北側】



【東側】

【南側①】

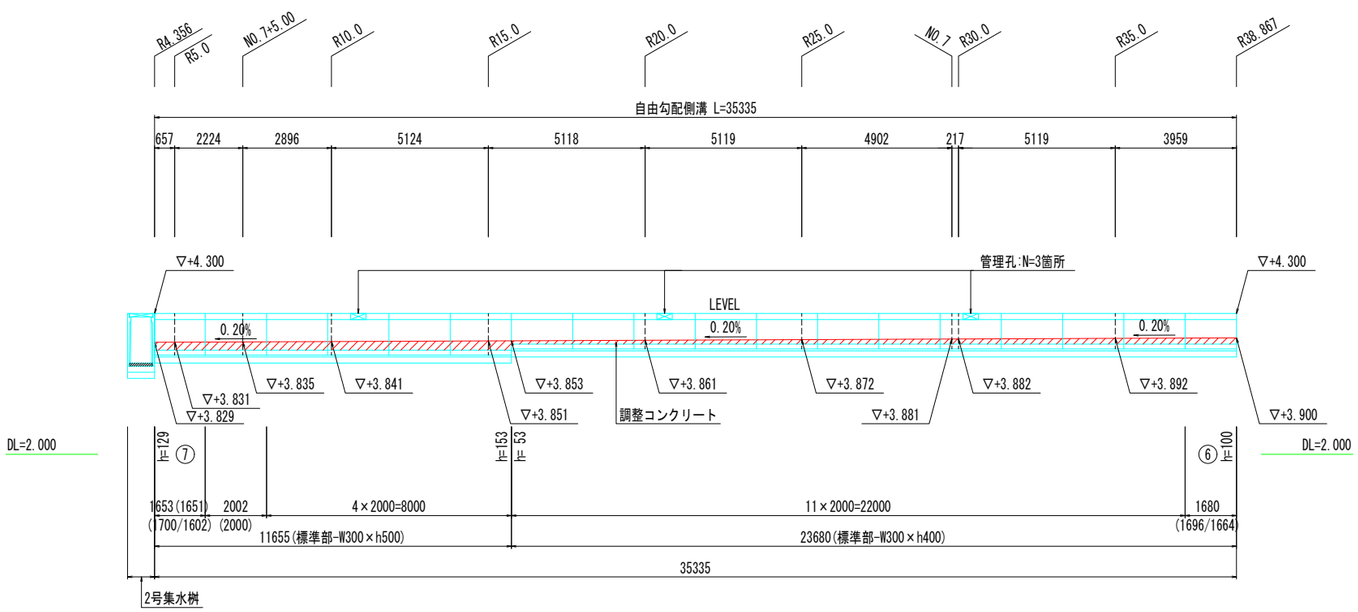


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	自由勾配側溝割付図1		
縮　尺	V=1/50 H=1/100	図 面 番 号	3-2-15
藍　住　町　上　下　水　道　課			

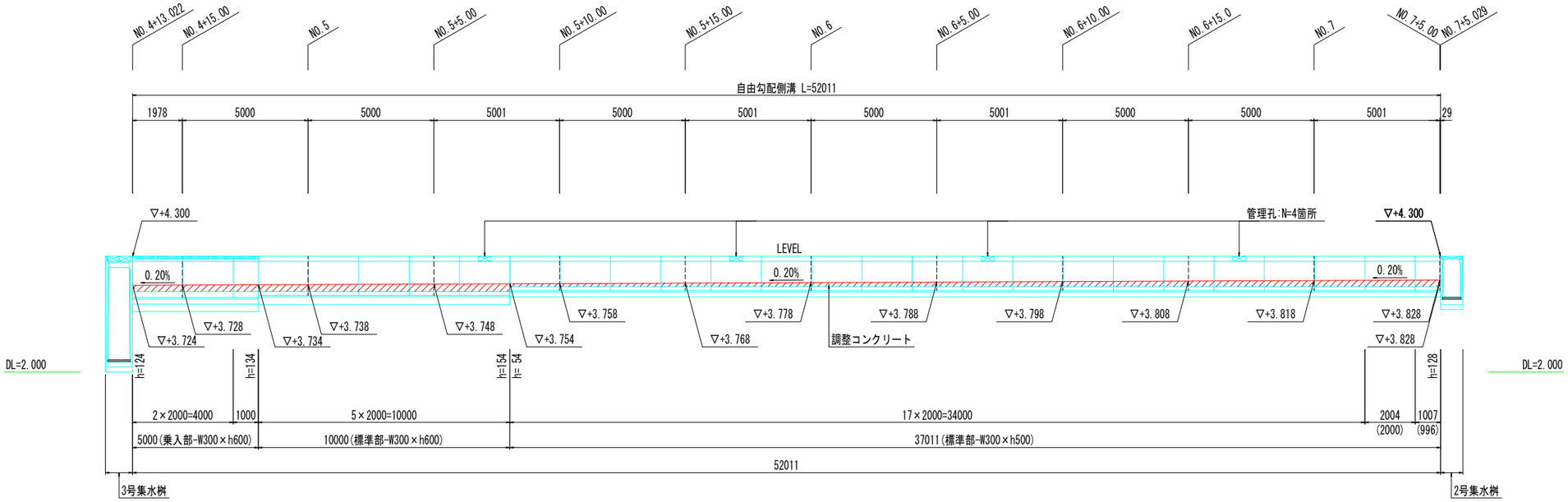
自由勾配側溝割付図2

Vs=1：50
Hs=1：100

【西側】



【南側②】



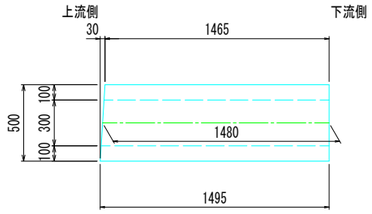
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	自由勾配側溝割付図2		
縮　尺	V=1/50 H=1/100	図 面 番 号	3-2-16
藍　住　町　上　下　水　道　課			

自由勾配側溝割付図3　S=1：20

片斜切製品平面図　S=1：20

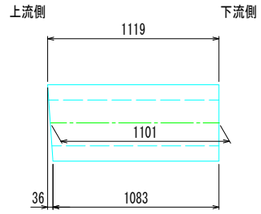
1480(1495/1465)

①



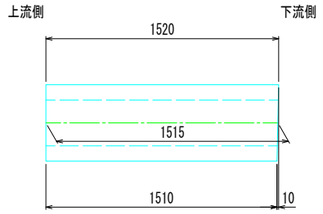
1101(1119/1083)

②



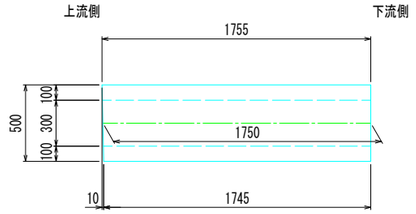
1515(1520/1510)

③



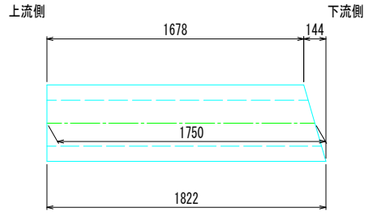
1750(1755/1745)

④



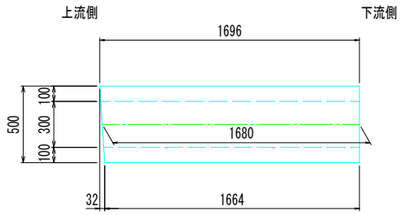
1750(1822/1678)

⑤



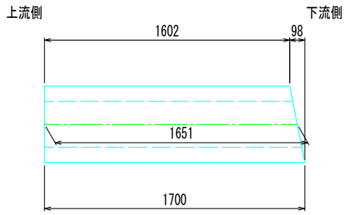
1680(1696/1664)

⑥



1651(1700/1602)

⑦



数量表

名称	サイズ	規格	数量	単位	番号	備　考	参考重量
自由勾配側溝 標準部	W300 × h400	L = 2000	22	個			434 kg/個
		L = 1480 (1495/1465)	1	個	①	片斜切	
		L = 1680 (1696/1664)	1	個	⑥	片斜切	
		計 47160	24	個			
	W300 × h500	L = 2000	47	個			488 kg/個
		L = 996	1	個		短品	
		L = 1288	1	個		短品	
		L = 1101 (1119/1083)	1	個	②	片斜切	
		L = 1651 (1700/1602)	1	個	⑦	片斜切	
		計 99036	51	個			
	W300 × h600	L = 2000	16	個			543 kg/個
		L = 855	1	個		短品	
		L = 1515 (1520/1510)	1	個	③	片斜切	
		L = 1750 (1755/1745)	1	個	④	片斜切	
		L = 1750 (1822/1678)	1	個	⑤	片斜切	
		計 37870	20	個			
自由勾配側溝 乗入部	W300 × h600	L = 2000	2	個			835 kg/個
		L = 1000	1	個			
		計 5000	3	個			
固定蓋（スリット蓋）	B300	L = 2000	69	枚			233 kg/枚
		L = 855	1	枚		短品	
		L = 996	1	枚		短品	
		L = 1288	1	枚		短品	
		L = 1480 (1495/1465)	1	枚	①	片斜切	
		L = 1101 (1119/1083)	1	枚	②	片斜切	
		L = 1515 (1520/1510)	1	枚	③	片斜切	
		L = 1750 (1755/1745)	1	枚	④	片斜切	
		L = 1750 (1822/1678)	1	枚	⑤	片斜切	
		L = 1680 (1696/1664)	1	枚	⑥	片斜切	
		L = 1651 (1700/1602)	1	枚	⑦	片斜切	
		計 152066	79	枚			
固定蓋（管理孔蓋）	B300	L = 2000	16	枚		管理孔用	192 kg/枚
		計 32000	16	枚			
横断用グレーチング蓋	B300用	L = 1000	5	枚		乗入部	
		計 5000	5	枚			
1号集水桝	300×300×800		1	個			236 kg/個
2号集水桝	300×600×800		2	個			332 kg/個
3号集水桝	800×800×2000		2	個		町道横断工部含む	2001 kg/個

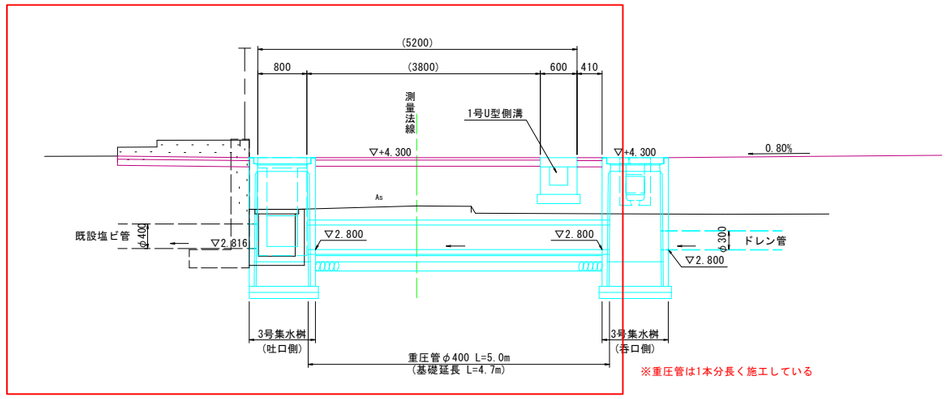
※ 斜切り製品の寸法値は、センター長を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	自由勾配側溝割付図3		
縮　尺	1/20	図面番号	3-2-17
藍　住　町　上　下　水　道　課			

町道横断管詳細図

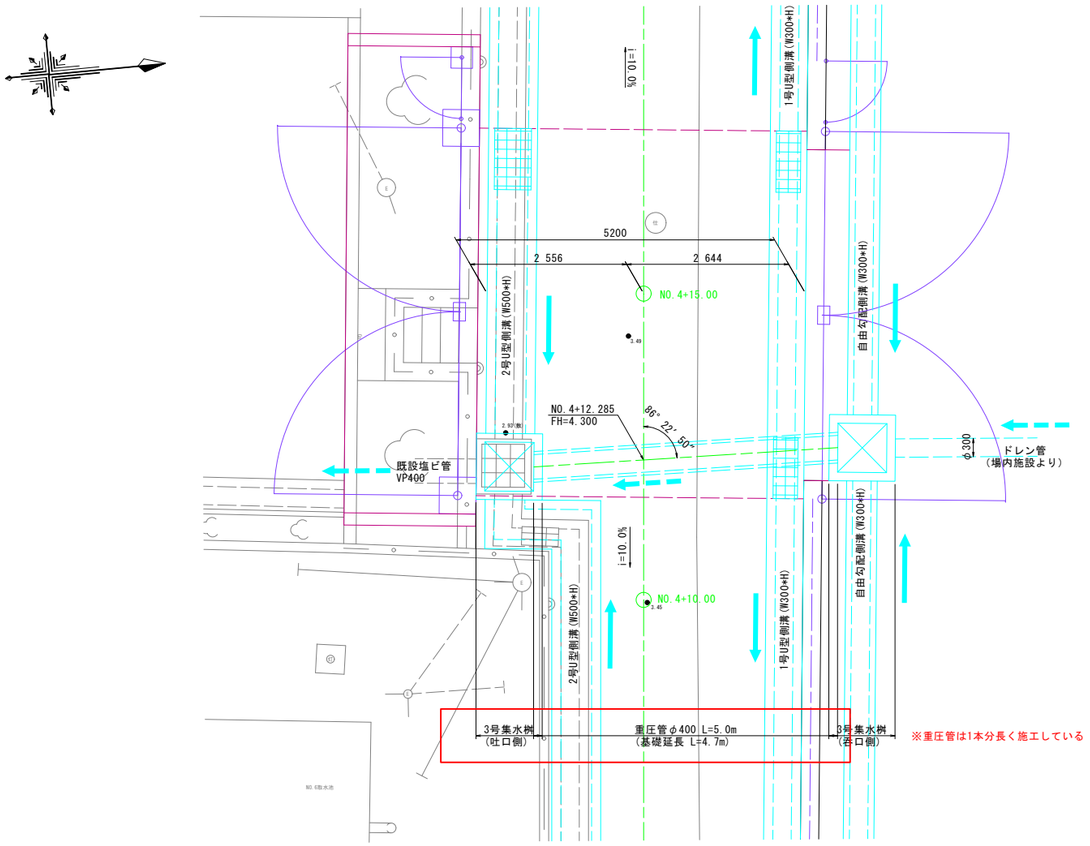
横断管縦断図　S=1:50

NO.4+12.285



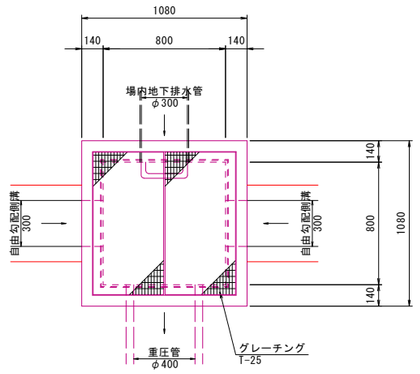
DL=0.000

横断管平面図　S=1:50

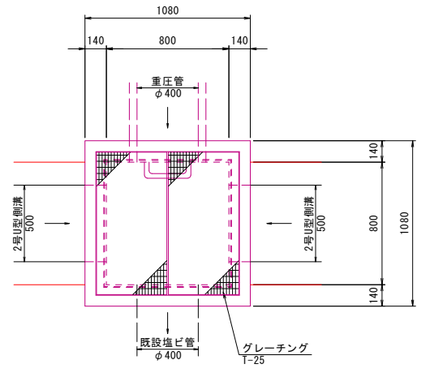


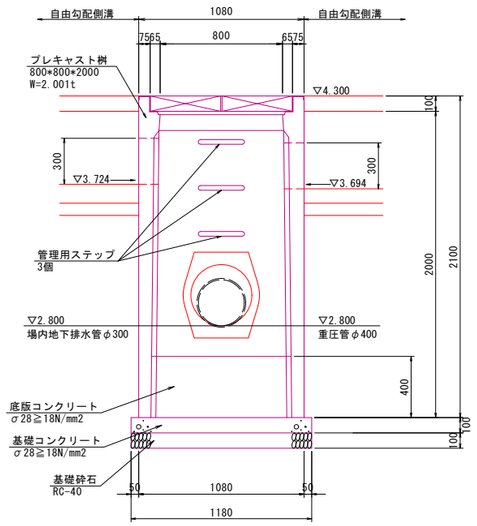
3号集水桝　S=1:20

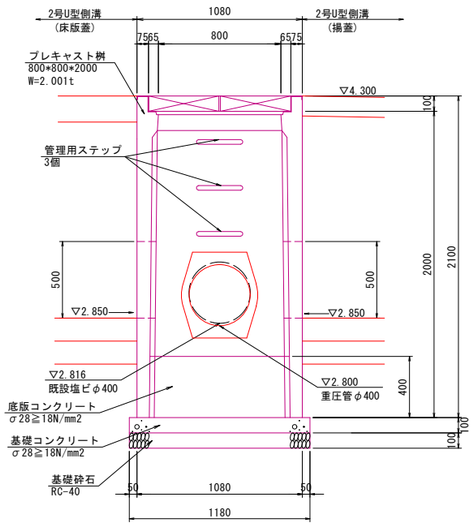
呑口側



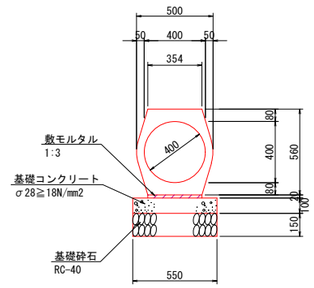
吐口側







重圧管　S=1:20

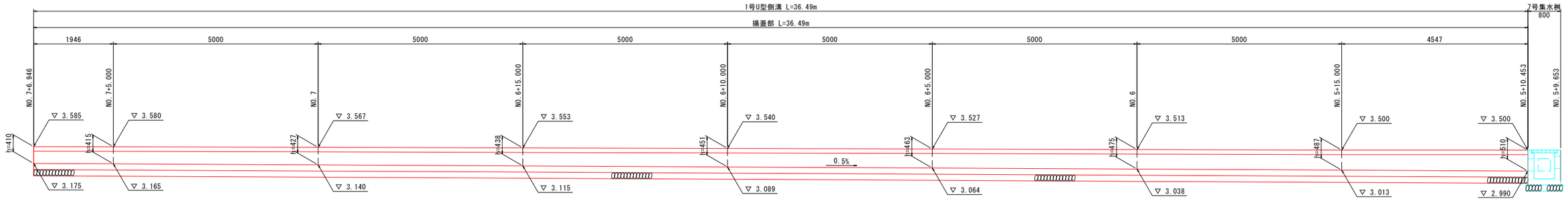


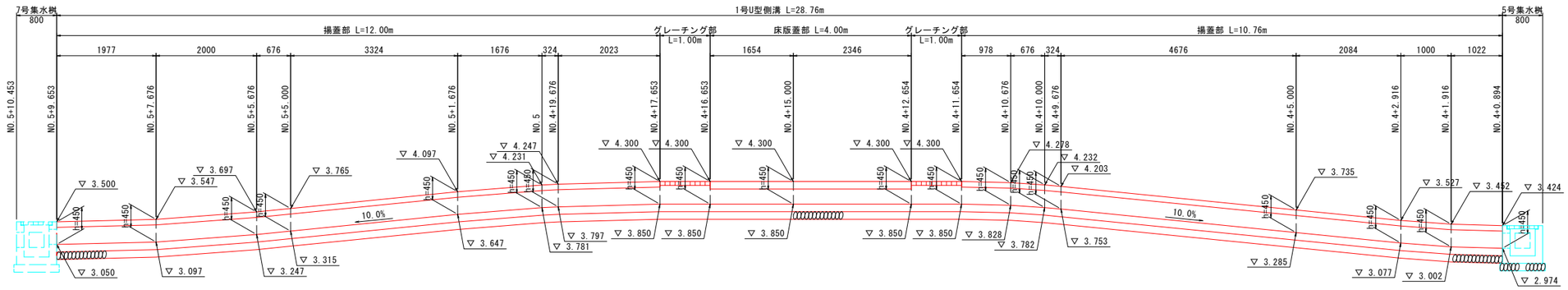
口：町道工事として施工済

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	町道横断管詳細図		
縮　尺	図　示	図面番号	3-2-18
藍　住　町　上　下　水　道　課			

町道排水工詳細図1

1号U型側溝展開図 S=1:50

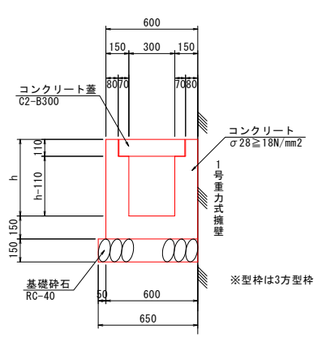




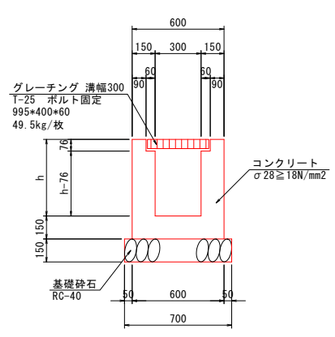
※側溝中心位置での図面である

1号U型側溝 S=1:20

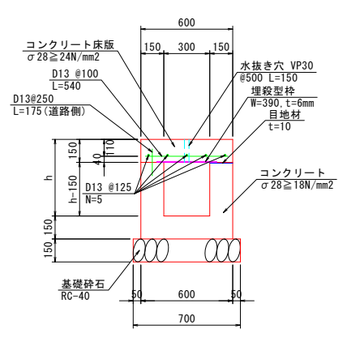
揚蓋部



グレーチング部



床版蓋部

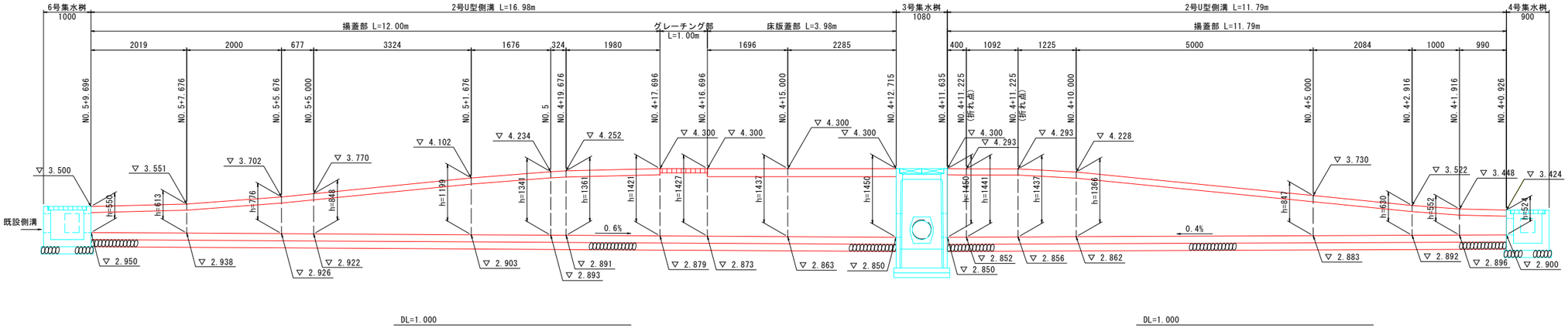


□：町道工事として施工済

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	町道排水工詳細図1		
縮　尺	図　示	図面番号	3-2-19
藍　住　町　上　下　水　道　課			

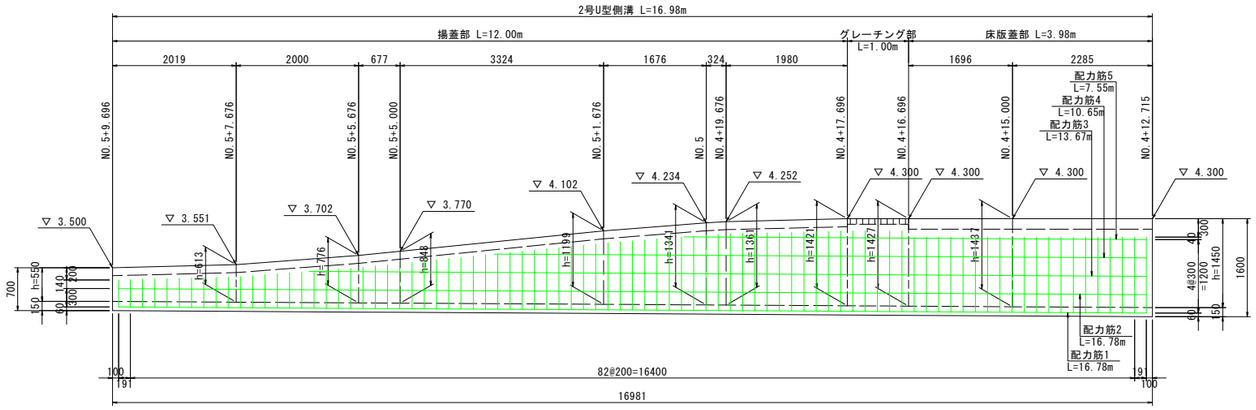
町道排水工詳細図2

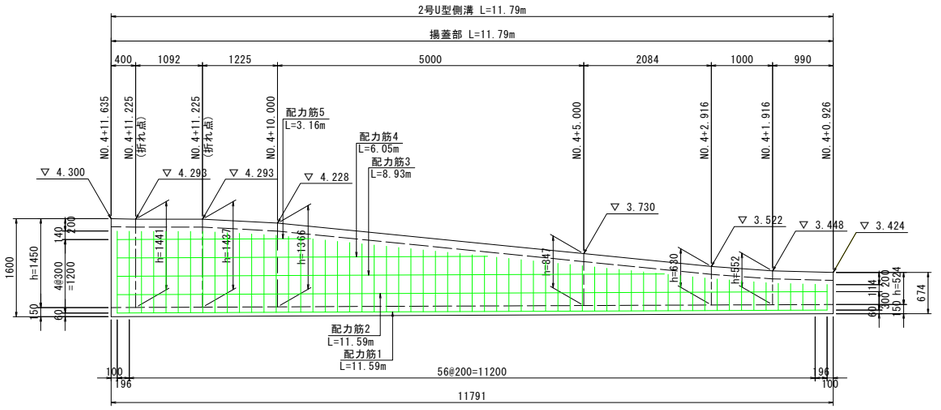
2号U型側溝展開図 S=1:50



※側溝中心位置での図面である

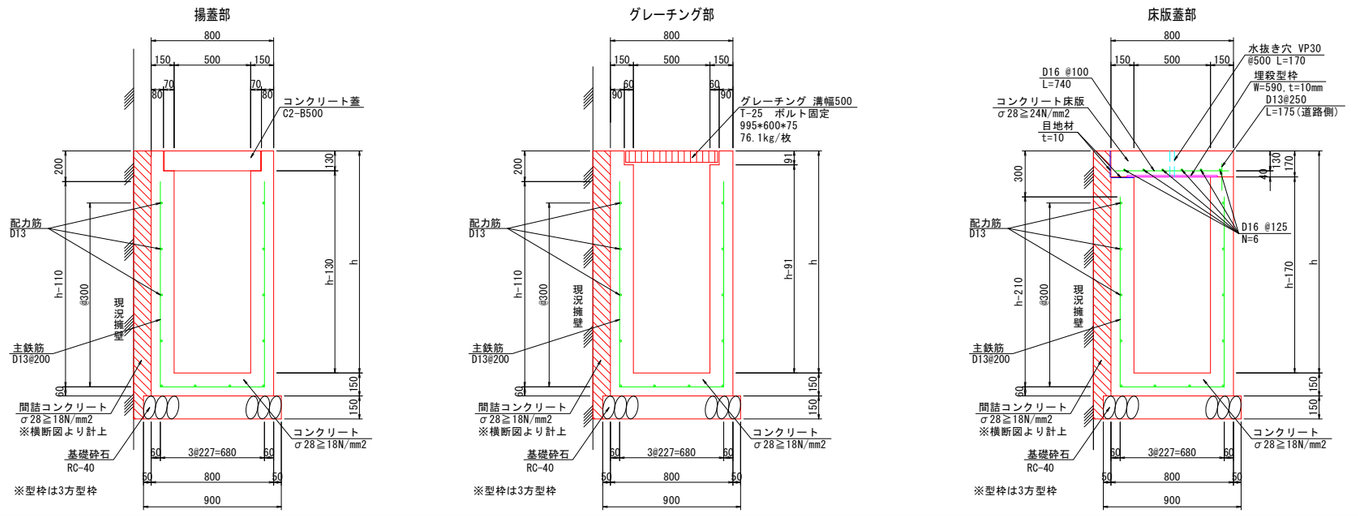
2号U型側溝配筋図 S=1:50





※側溝中心位置での図面である

2号U型側溝 S=1:20



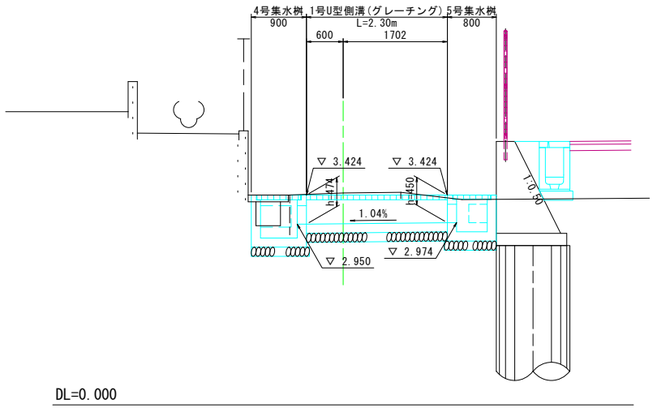
口：町道工事として施工済

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	町道排水工詳細図2		
縮　尺	図　示	図面番号	3-2-20
藍　住　町　上　下　水　道　課			

町道横断側溝詳細図

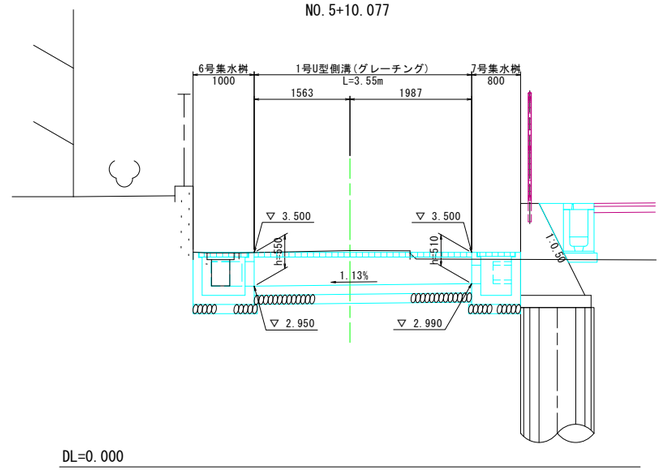
縦断図 S=1:50

NO.4+0.515

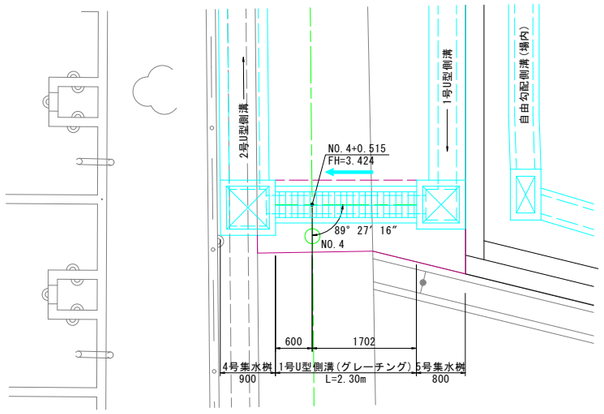


縦断図 S=1:50

NO.5+10.077

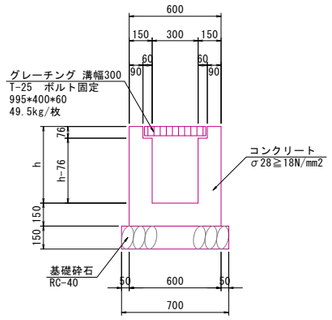


平面図 S=1:50

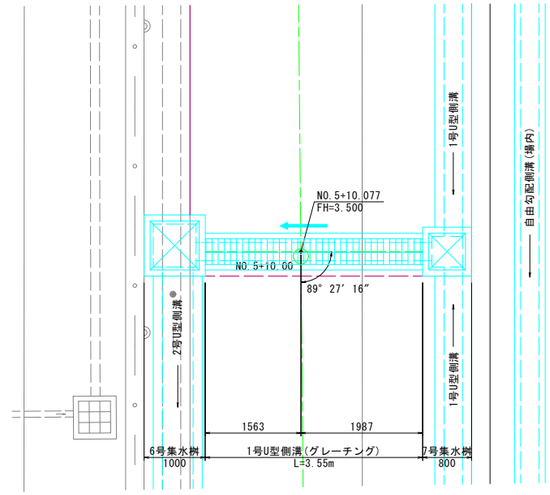


1号U型側溝 S=1:20

グレーチング部



平面図 S=1:50

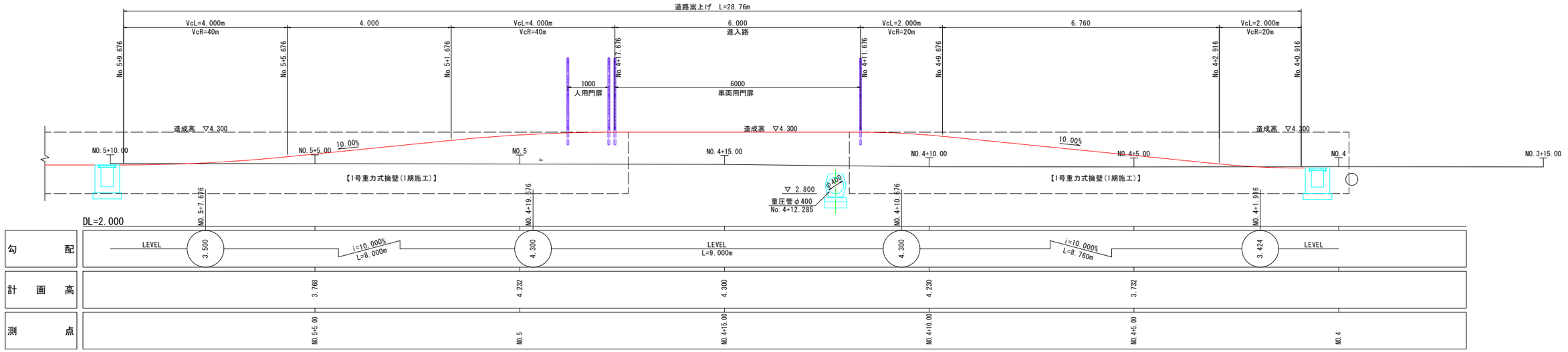


□：町道工事として施工済

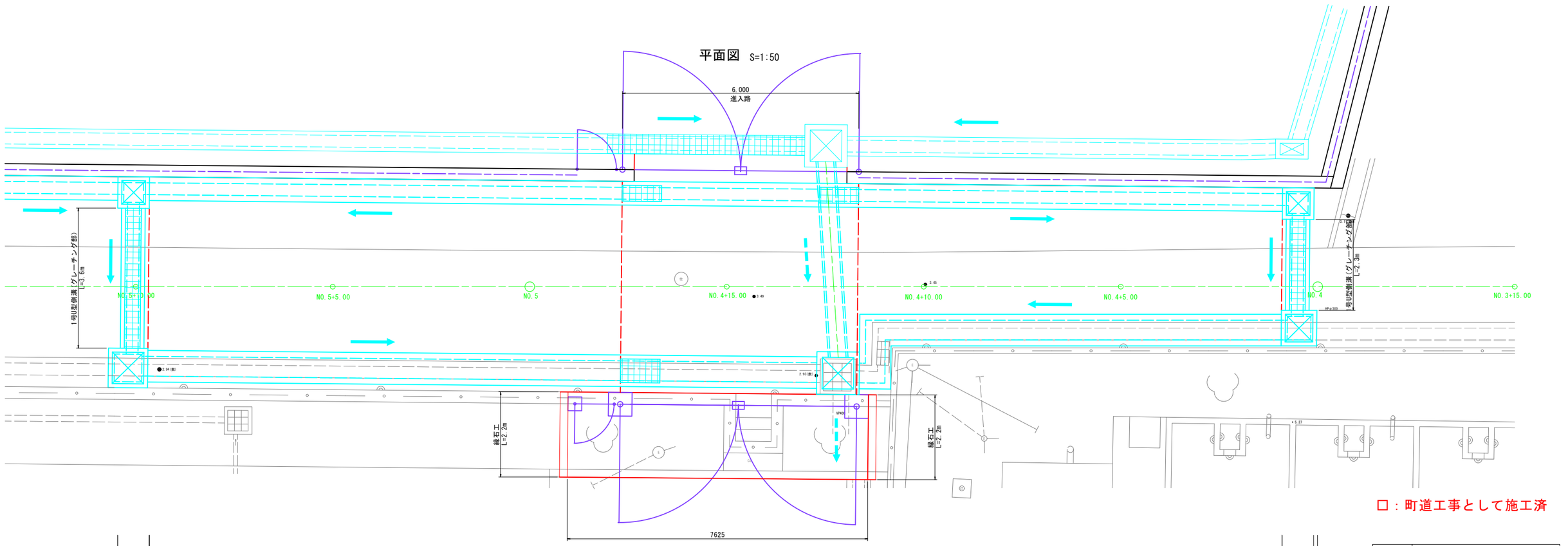
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	町道横断側溝詳細図		
縮　尺	図　示	図面番号	3-2-21
藍　住　町　上　下　水　道　課			

町道嵩上げ詳細図

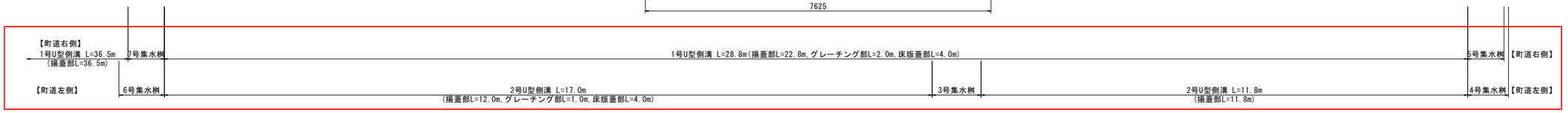
縦断図 S=1:50



平面図 S=1:50



□：町道工事として施工済

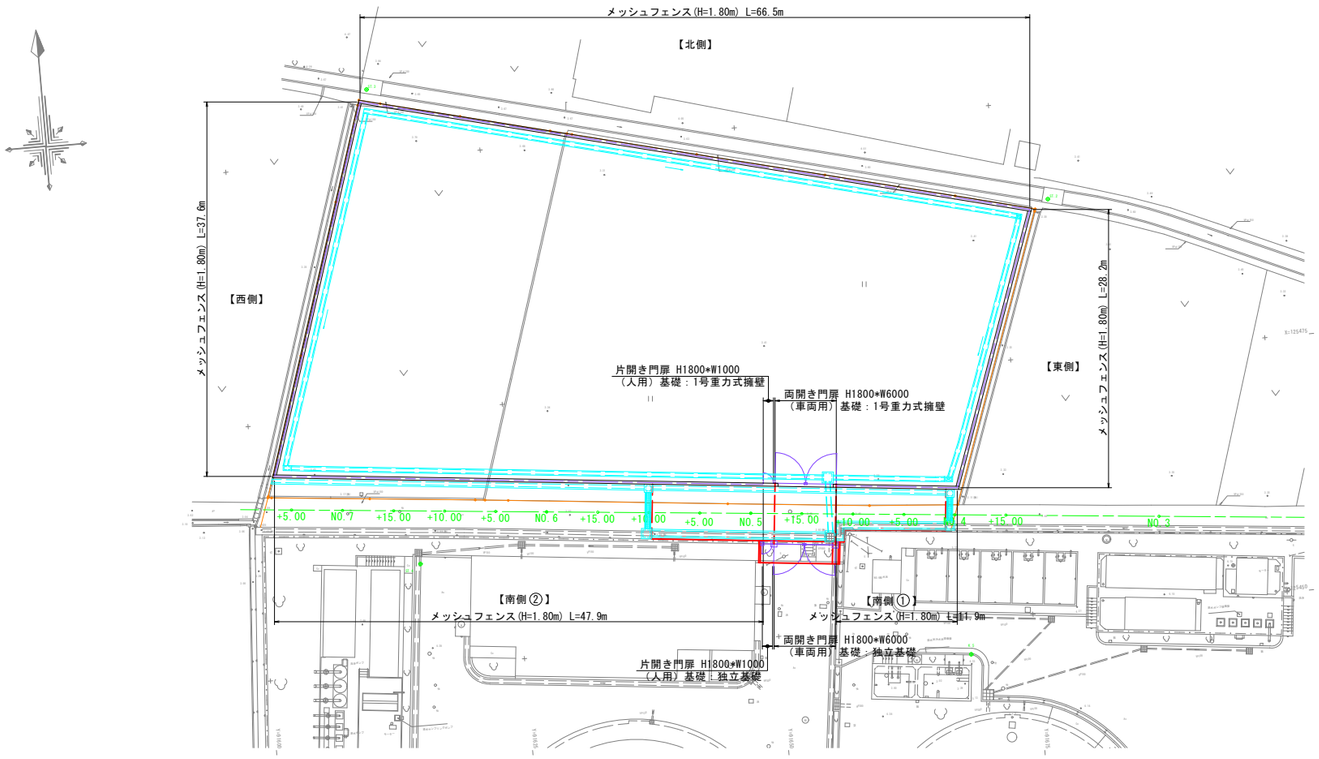


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	町道嵩上げ詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	3-2-22
藍 住 町 上 下 水 道 課			

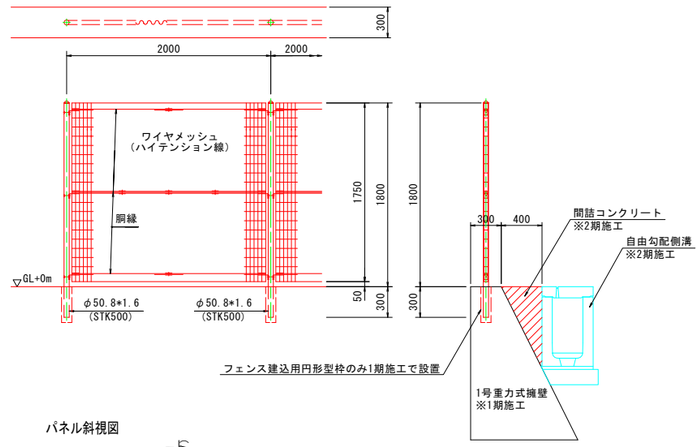
外構フェンス・門扉詳細図（参考図）

※当図をもとにフェンス建込用円形型枠を1号重力式擁壁に設置する

平面図 S=1:300

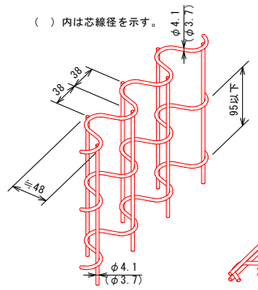


メッシュフェンス S=1:30

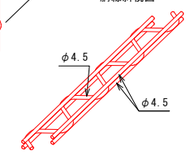


パネル斜視図

（ ）内は芯線径を示す。



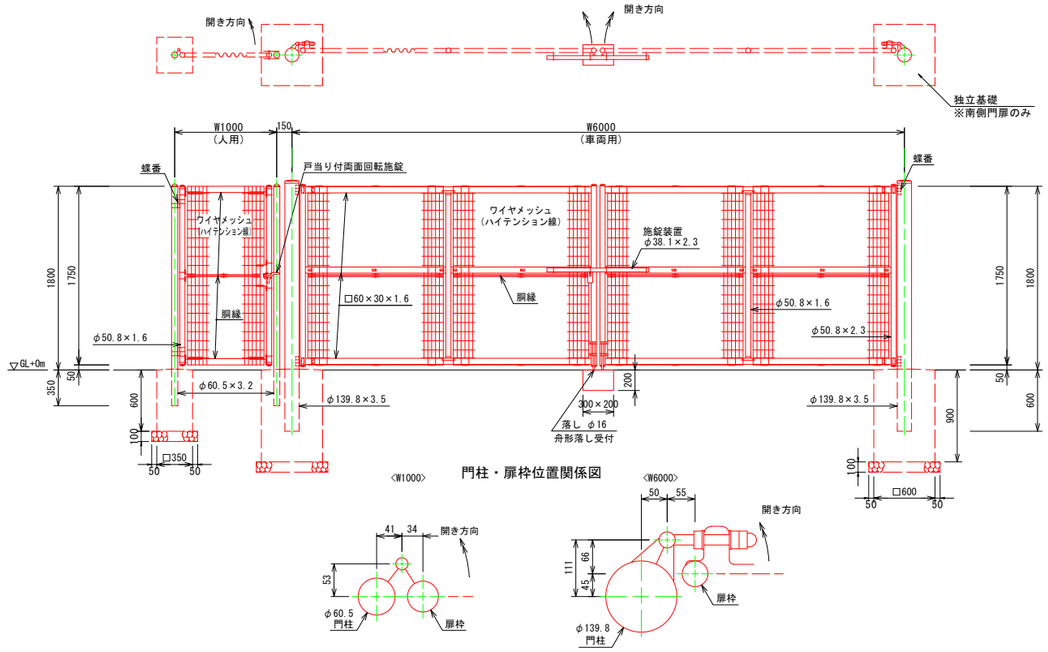
胴線斜視図



設計条件
設計荷重・・・建築基準法・同施行令（平成12年6月）に基づく風圧力に依る。
基準風速・・・36m/sec
地表面粗度区分・・・ III
基礎条件・・・長期許容地耐力 100kN/m2

備考
1．外装について
・主　柱
パネル取付金具類 ・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・ワイヤメッシュ
胴　縁 ・・・亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・ボルト、ナット ・・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

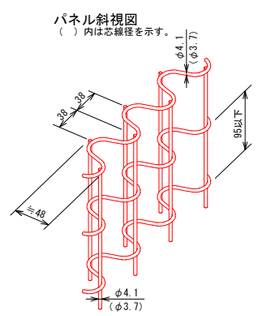
両開き門扉 H1800*W6000 ＋ 片開き門扉 H1800*W1000 S=1:30



門柱・扉枠位置関係図

パネル斜視図

（ ）内は芯線径を示す。

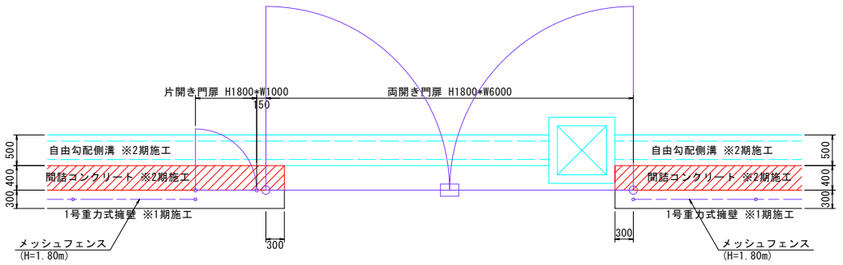


設計条件
設計荷重・・・建築基準法・同施行令（平成１２年６月）に基づく風圧力に依る。
基準風速・・・３６m/ｓｅｃ
地表面粗度区分・・・ Ⅲ
基礎条件・・・長期許容地耐力 １００ｋＮ／㎡

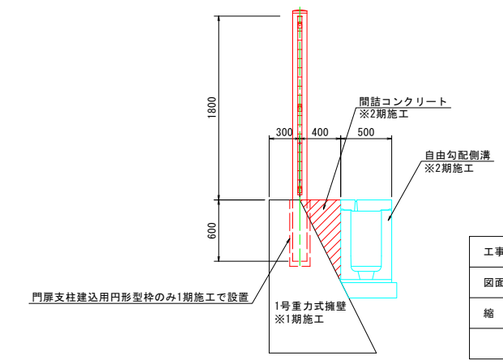
備考
1．外装について
・門柱(φ139.8) ・・・溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・門柱(φ60.5)、枠体
パネル取付金具類 ・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・ワイヤメッシュ
胴　縁 ・・・亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・ボルト、ナット ・・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理し一部のボルト・ナットは溶融亜鉛めっきのみ（ＳＵＳ品を除く）
・施錠装置、落し
ボルト式蝶番 ・・・溶融亜鉛めっきのみ
2．本図門扉開き方向は図示に依る。

⚠ 注意
・施錠門柱の扉開き側に障害物（集用フェンス、壁など）を有する場合には、両面回転施錠の戸当りが障害物と干渉するため、開き方向の変更が必要である。

北側門扉配置平面図 S=1:50

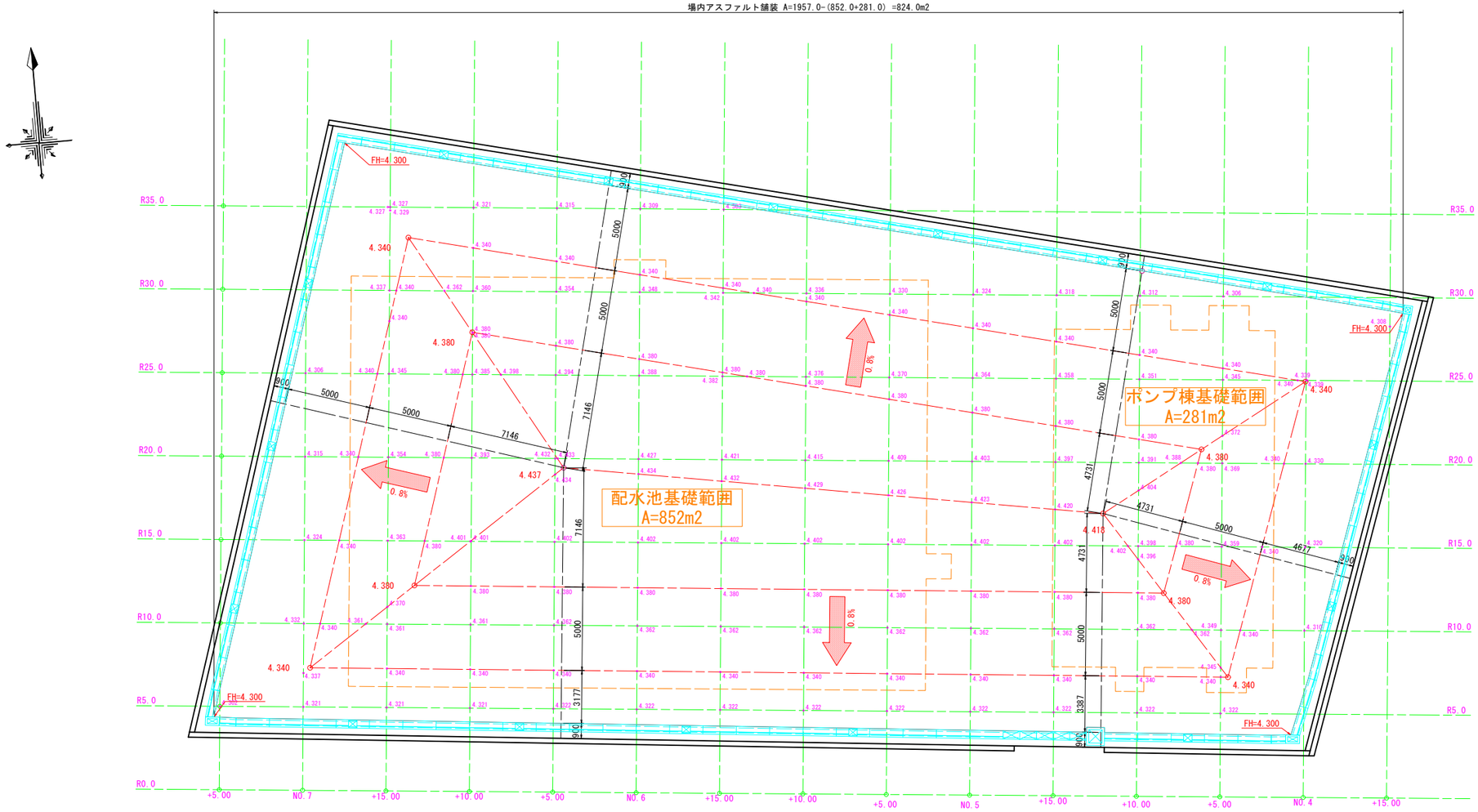


北側門扉配置横断図 S=1:30

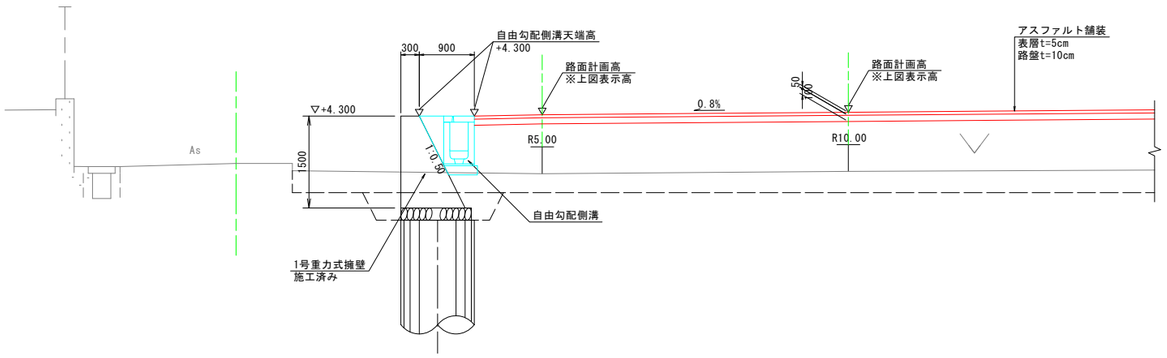


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	外構フェンス・門扉詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	3-2-23
藍　住　町　上　下　水　道　課			

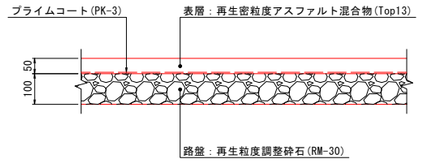
路面計画高平面図 S=1:150



断面図 S=1:50



アスファルト舗装 S=1:10

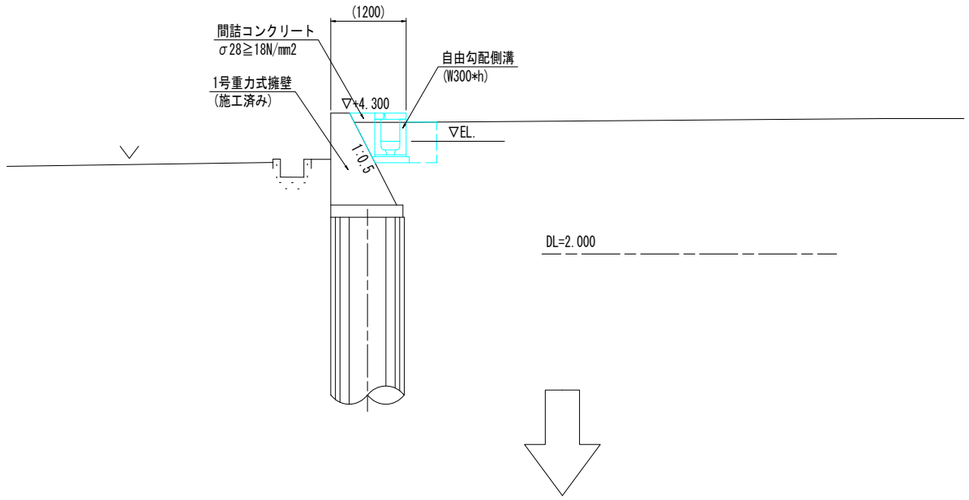


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	路面計画高平面図		
縮　尺	図示	図面番号	3-2-24
藍　住　町　上　下　水　道　課			

施工ステップ図　S=1:50

ステップ１：自由勾配側溝施工

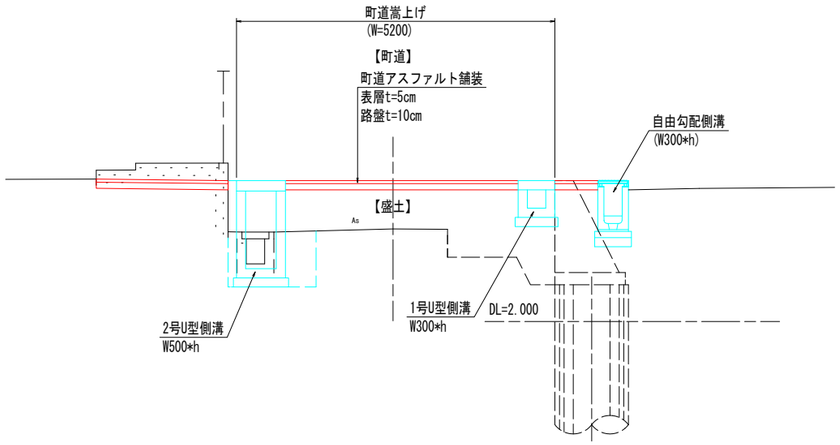
R10.00付近



ステップ２：町道周辺排水工および町道嵩上げ施工

NO.4+15.00付近

※アスファルト舗装は門扉施工後とする。

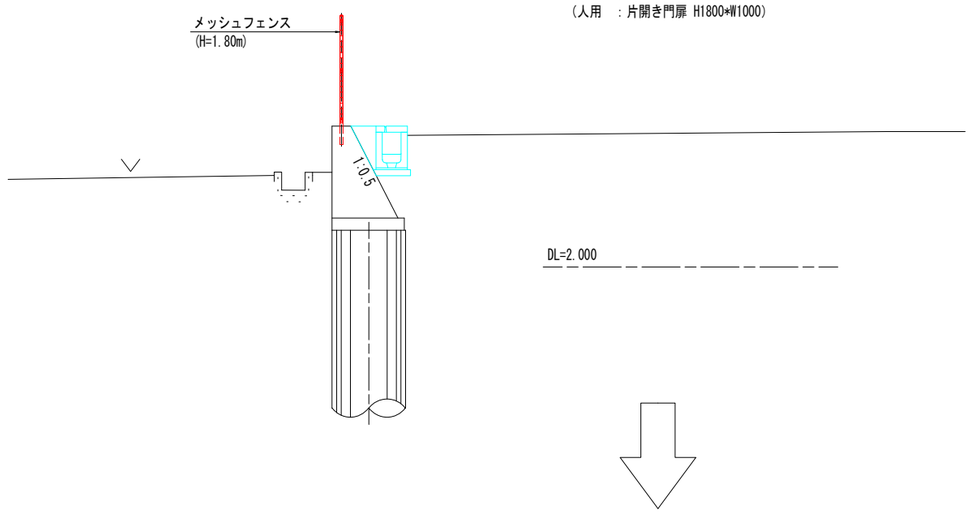


□：町道工事として施工済

ステップ３：フェンス・門扉施工

R10.00付近

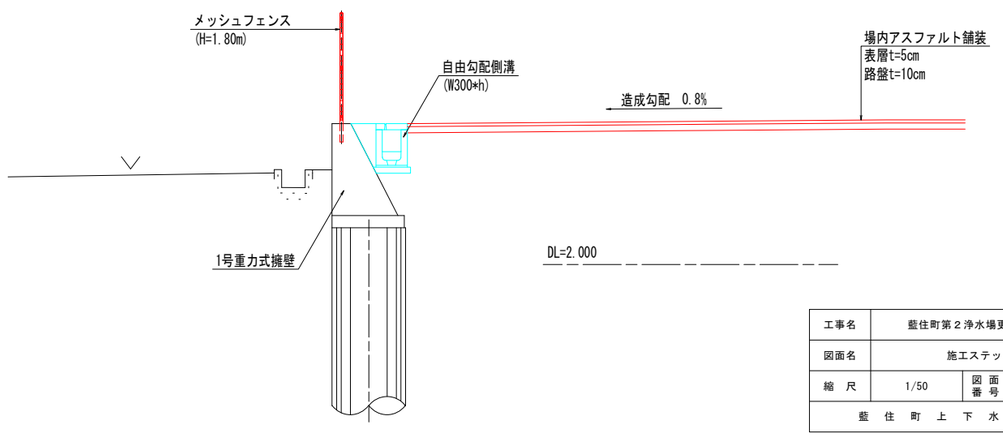
※場内入口門扉も施工
（車両用：両開き門扉 H1800*W6000）
（人用　：片開き門扉 H1800*W1000）



ステップ４：浄水場施設・場内舗装施工

R10.00付近

※場内各施設を構築後、アスファルト舗装を施工し完成

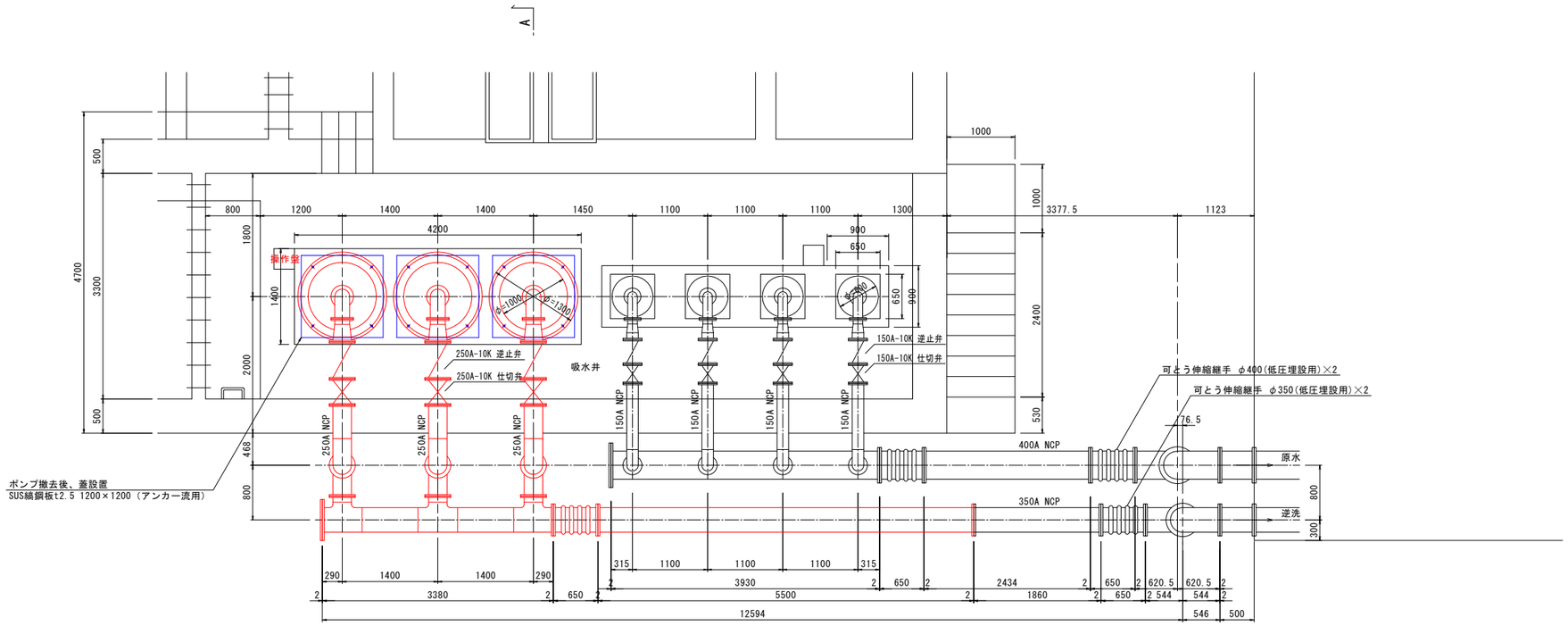


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	施工ステップ図		
縮　尺	1/50	図面番号	3-2-25
藍　住　町　上　下　水　道　課			

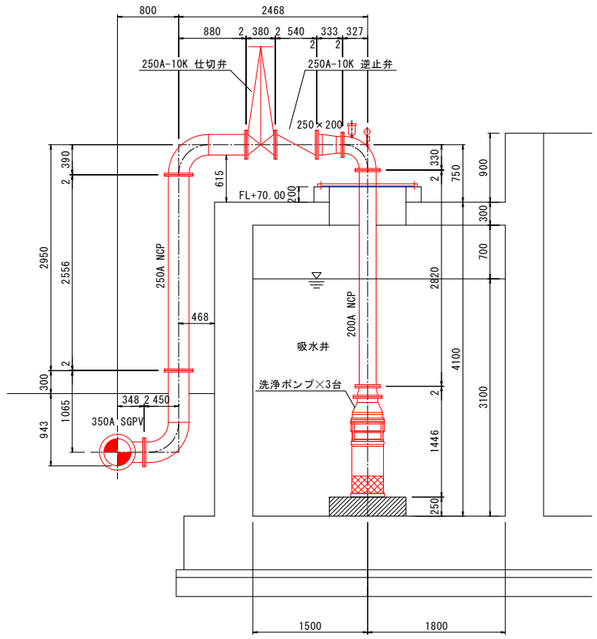
第1逆洗ポンプ撤去図

縮尺：1/40

上部平面図



A－A 断面図



逆洗ポンプ周り撤去数量

名称	摘要	数量
（設備類）		
逆洗ポンプ	300kg	3台
ポンプ制御盤	300kg	1面
仕切弁	φ250　150kg	3基
逆止弁	φ250　150kg	3基
（配管類）		
鋼管撤去工	350A	9.5m
鋼管撤去工	250A	17.1m
鋼管撤去工	200A	11.1m
フランジ継手取外し工	350A	4口
フランジ継手取外し工	250A	18口
フランジ継手取外し工	200A	9口
ステンレス縞鋼板蓋	t2.5 1.2×1.2 31kg	3枚

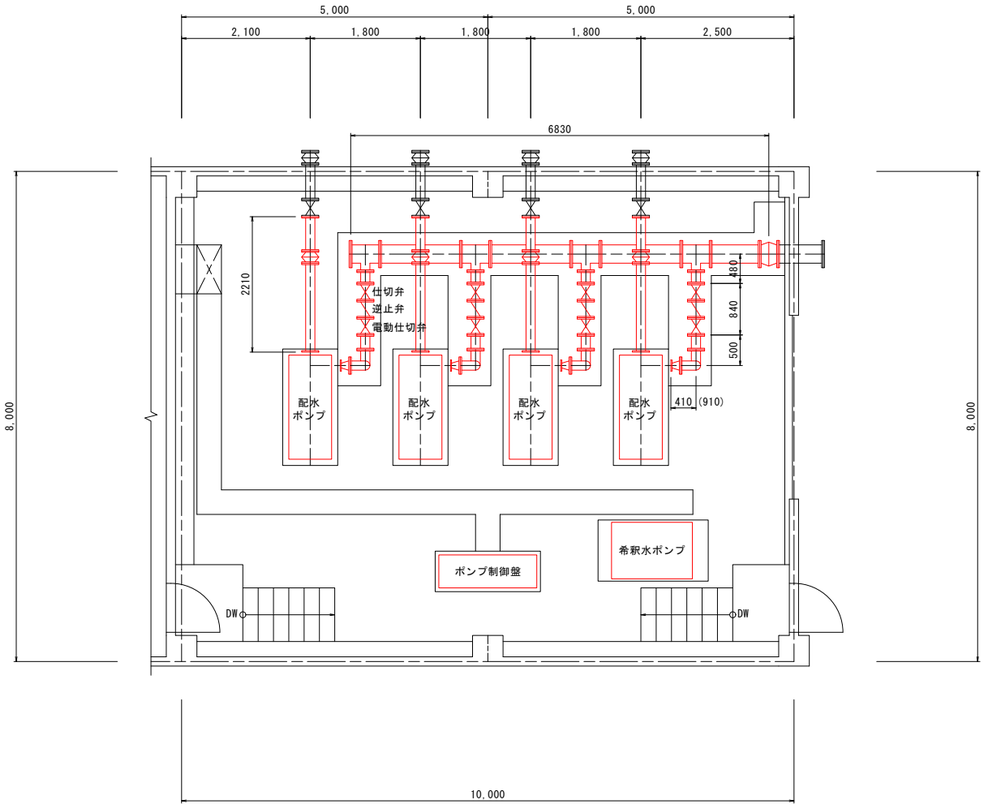
：撤去設備
：新設設備

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	第1逆洗ポンプ撤去図		
縮　尺	1/40	図面番号	3-3-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

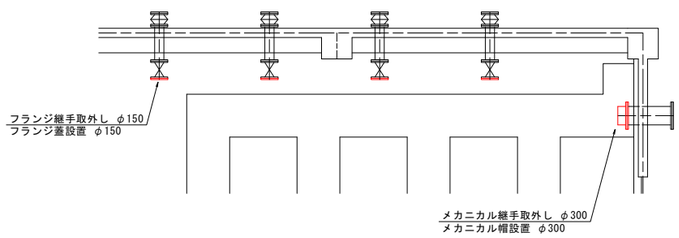
旧第2配水ポンプ撤去図

縮尺；1/50

撤 去 平 面 図　縮尺1/50



計 画 平 面 図　縮尺1/50



配水ポンプ室内撤去数量

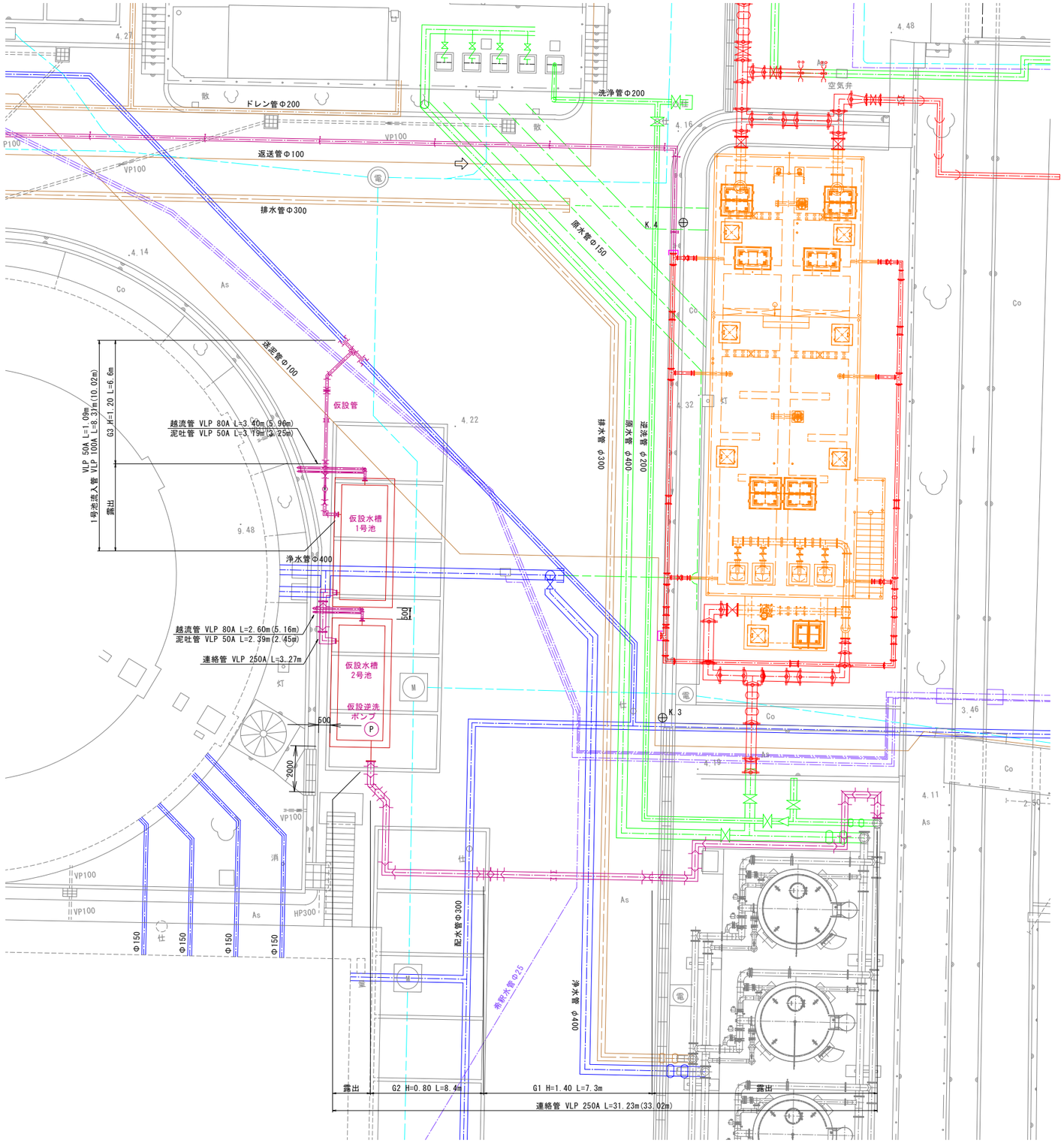
名称	摘要	数量
（設備類）		
配水ポンプ	800kg	4台
希釈水ポンプ	300kg	1台
ポンプ制御盤	500kg	1面
電動仕切弁	φ150　200kg	4基
仕切弁	φ150　60kg	4基
逆止弁	φ150　70kg	4基
（配管類）		
鋳鉄管撤去工	φ300	6.8m
鋳鉄管撤去工	φ150	18.0m
フランジ継手取外し工	φ300	8口
フランジ継手取外し工	φ150	44口
メカニカル継手取外し工	φ300	2口
メカニカル継手取外し工	φ150	8口
フランジ蓋	φ150	4枚
フランジ継手工	φ150	4口
メカニカル帽	φ300	1個
メカニカル継手工	φ300	1口

：撤去施設

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	旧第2配水ポンプ撤去図		
縮　尺	1/50	図面番号	3-4-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

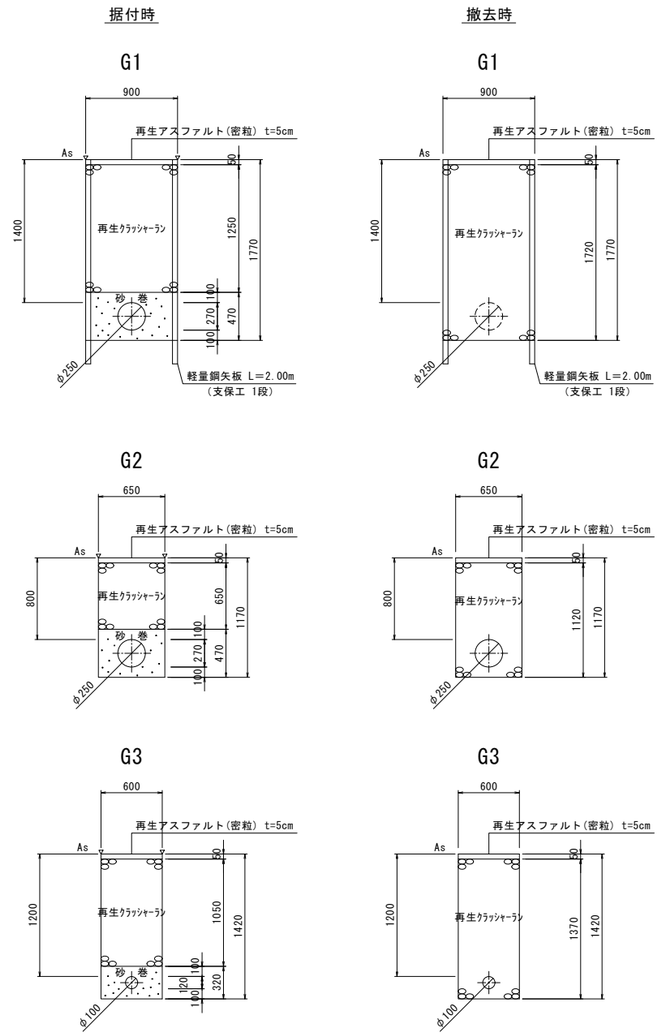
仮設逆洗水槽廻り配管撤去平面図

縮尺：1/100



標準掘削断面図

縮尺：1/30



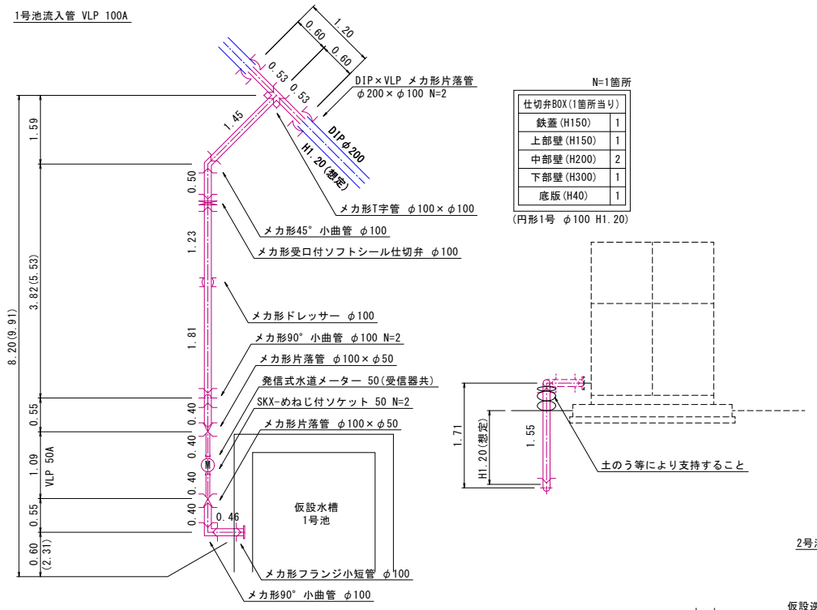
：計画施設・計画管路
：既設管路（導水）
：既設管路（浄水・配水）
：既設管路（排水）
：既設管路（薬注）
：電気配線
：仮設水槽廻り配管

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	仮設逆洗水槽廻り配管撤去平面図		
縮　尺	1/100	図面番号	3-5-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

仮設逆洗水槽廻り配管撤去詳細図

縮尺：1/50

1号池流入管 VLP 100A



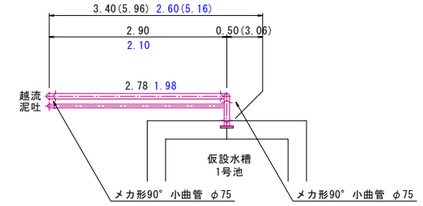
N=1箇所

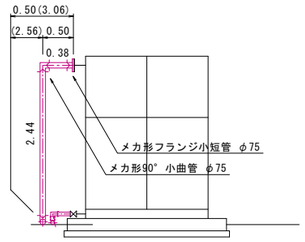
仕切弁BOX(1箇所当り)	
鉄蓋(H150)	1
上部壁(H150)	1
中部壁(H200)	2
下部壁(H300)	1
底版(H40)	1

(円形1号 φ100 H1.20)

1号池越流管 VLP 80A

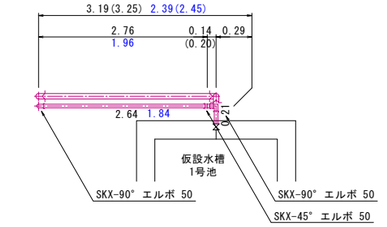
青字：2号池寸法

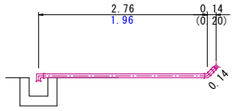




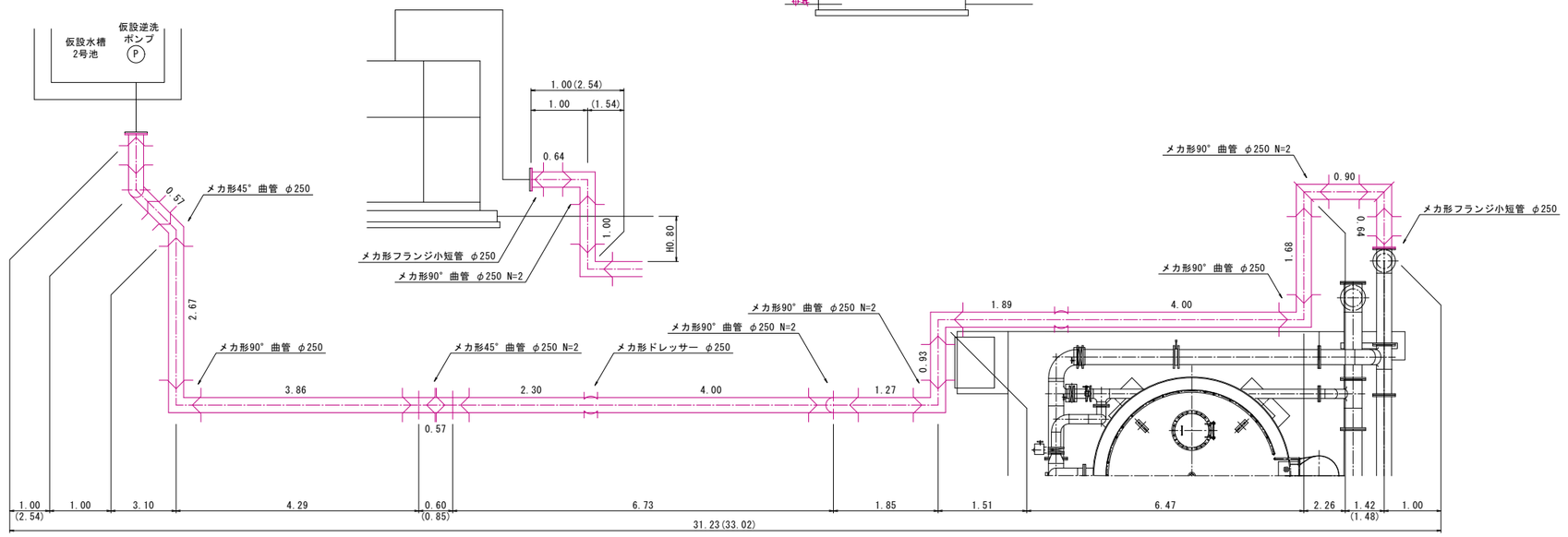
1号池泥吐管 VLP 50A

青字：2号池寸法

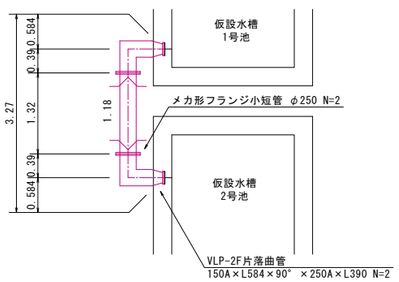


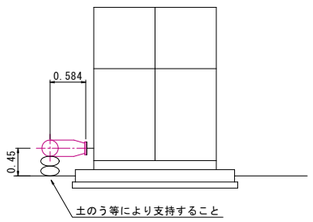


2号池流出管 VLP 250A



連絡管 VLP 150～250A





工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	仮設逆洗水槽廻り配管撤去詳細図		
縮　尺	1/50	図面番号	3-5-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

仮設配管撤去平面図1

縮尺：1/150

撤去
天日乾燥床
撤去
混和池
撤去
着水井
混和池
吸水井
撤去
排泥池
排水池
撤去
撤去
天日送泥管Φ100
導水管Φ400
ドレン管Φ200
洗浄管Φ200
返送管Φ100
排水管Φ300
原水管Φ150
送泥管Φ100
排水管 φ300
原水管 φ400
逆洗管 φ200
連絡管Φ300
配水池
浄水管Φ400
排水処理棟
送泥管Φ100
配水管Φ200
配水管Φ300
Φ150
Φ150
Φ150
Φ150
配水管Φ300
希釈水管Φ25
浄水管 φ400
管理本館
ポンプ室
29 As φ150 H=1.09 L=40.9m
(1-6)(仮設)第２着水井排水管 Kφ300 L=2.08m φ150 L=38.94m

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	仮設配管撤去平面図1		
縮　尺	1/150	図面番号	3-5-3
藍　住　町　上　下　水　道　課			

仮設配管撤去平面図2

縮尺：1/150

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	仮設配管撤去平面図2		
縮　尺	1/150	図面番号	3-5-4
藍　住　町　上　下　水　道　課			

撤去

撤去

撤去

撤去

撤去

配水管Φ300

導水管Φ400

導水管Φ400

混和池

電気室

ポンプ室

天日乾燥床

天日送泥管Φ100

混和池

着水井

吸水井

ドレン管Φ200

洗浄管Φ200

返送管Φ100

排泥池

排水池

洗浄排水連絡管Φ300

排水管Φ300

原水管Φ150

逆流管 φ200

排水管 φ300

送泥管Φ100

希釈水管Φ25

前塩希釈水管Φ25

後塩希釈水管Φ25

ポンプ流入管Φ500

導水管Φ400

洗浄管Φ350

原水管Φ400

返送管Φ150

吸水井

着水井

配水池

配水池

浄水管Φ400

浄水管Φ400

ドレン管Φ

塩ビ管φ150

NO. 7+5R30

NO. 7+5R25

NO. 7+5R20

NO. 7+5R15

NO. 7+5R10

NO. 7+5R5

NO. 7+5.00

NO. 7

NO. 6+15.00

NO. 6+10.00

NO. 6+5.00

NO. 6

NO. 5+15.00

NO. 5+10.00

NO. 5+5.00

NO. 5

NO. 4+15.00

NO. 4+10.00

NO. 4+6.00

NO. 4

NO. 3+15.00

NO. 3

NO. 2+5.00

NO. 2

NO. 1+15.00

NO. 4+5R35

NO. 4R35

NO. 3+15R35

NO. 3+15R30

NO. 2R25

NO. 2+5R25

NO. 1+15R20

ST. 2

(2-9)仮設)第1浄水場 Φ400 L=435.9m

9-As φ400 H=1.20 L=3.2m

(2-9)仮設)第1浄水場 Φ400 L=43.74/45.19m

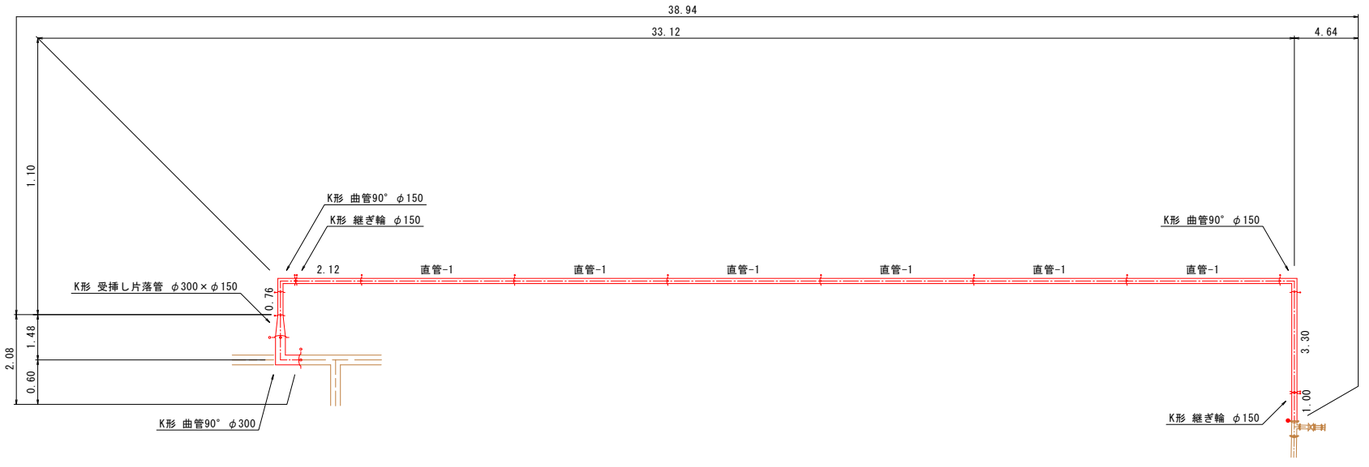
仮設配管撤去詳細図1

縮尺；1/100

凡例

：GX形用異形管用接合材
：GX形用G-link
：GX・NS形継ぎ輪用特殊押輪
NS形バタフライ弁用接合材
：GX・NS形用ライナー
：K形用特殊押輪

(1-6)(仮設)第2着水井排水管
K φ300 L=2.08m
K φ150 L=38.94m

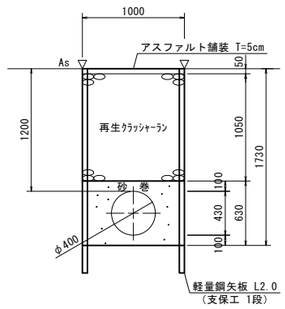


標準掘削断面図

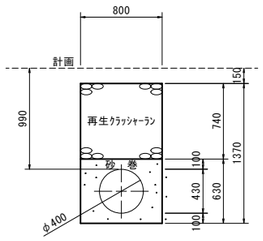
縮尺；1/30

据付時

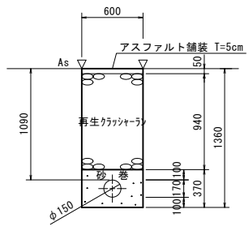
9



12

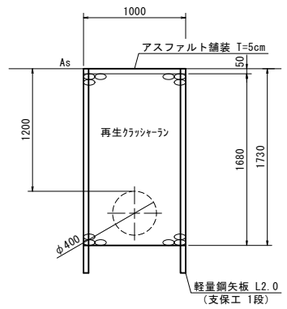


29

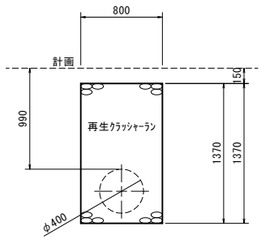


撤去時

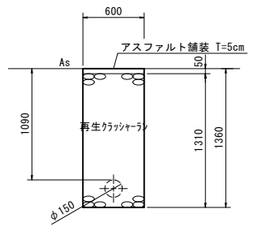
9



12



29



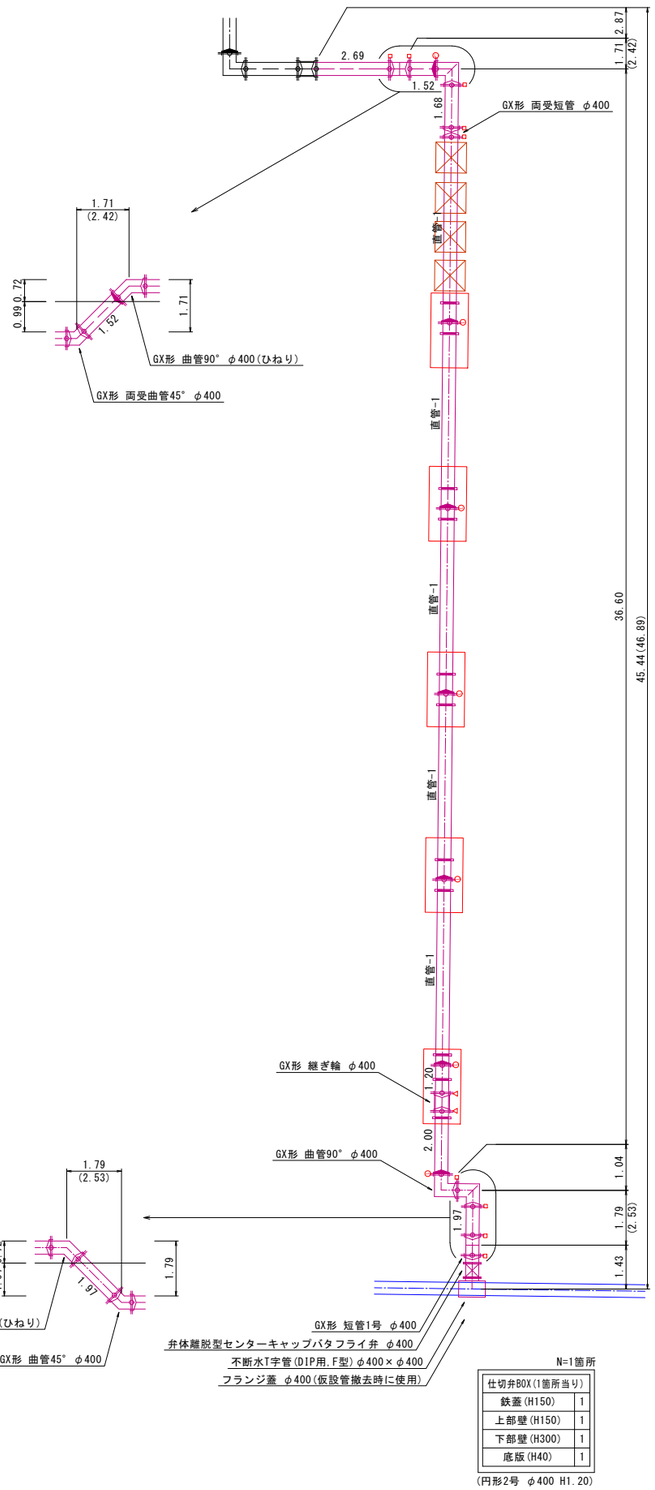
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	仮設配管撤去詳細図1		
縮　尺	1/100	図面番号	3-5-5
藍　住　町　上　下　水　道　課			

仮設配管撤去詳細図2

縮尺：1/100

(2-9)(仮設)第1浄水管

GX φ400 L=45.44(46.89)m



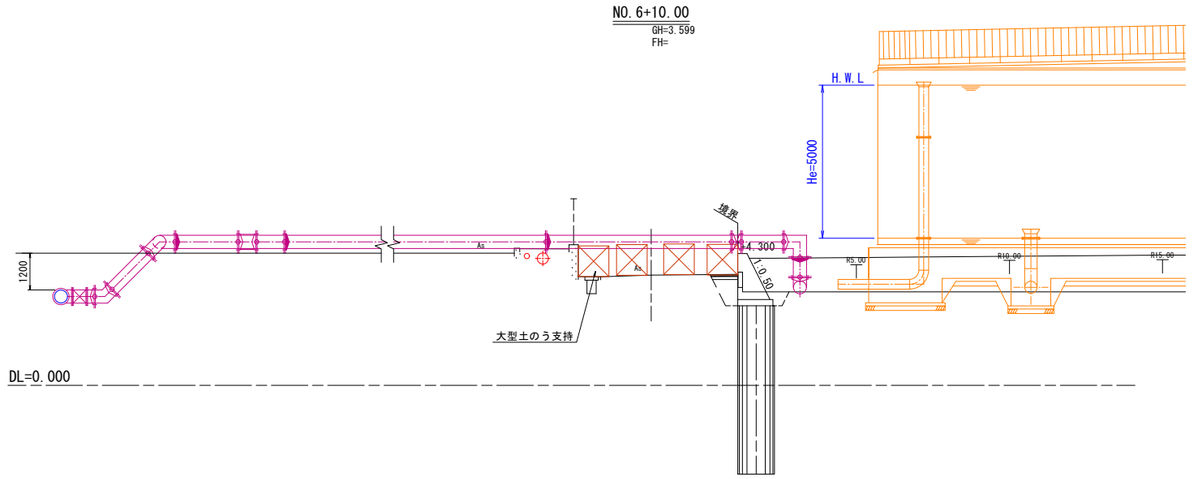
N=1箇所

仕切弁BOX(1箇所当り)	
鉄蓋(H150)	1
上部壁(H150)	1
下部壁(H300)	1
底板(H40)	1

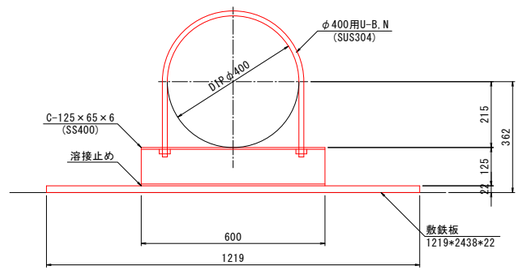
(円形2号 φ400 H1.20)

凡例

- GX形用異形管用接合材
- GX形用G-link
- GX・NS形継ぎ輪用特殊押輪 NS形バタフライ弁用接合材
- GX・NS形用ライナー
- K形用特殊押輪



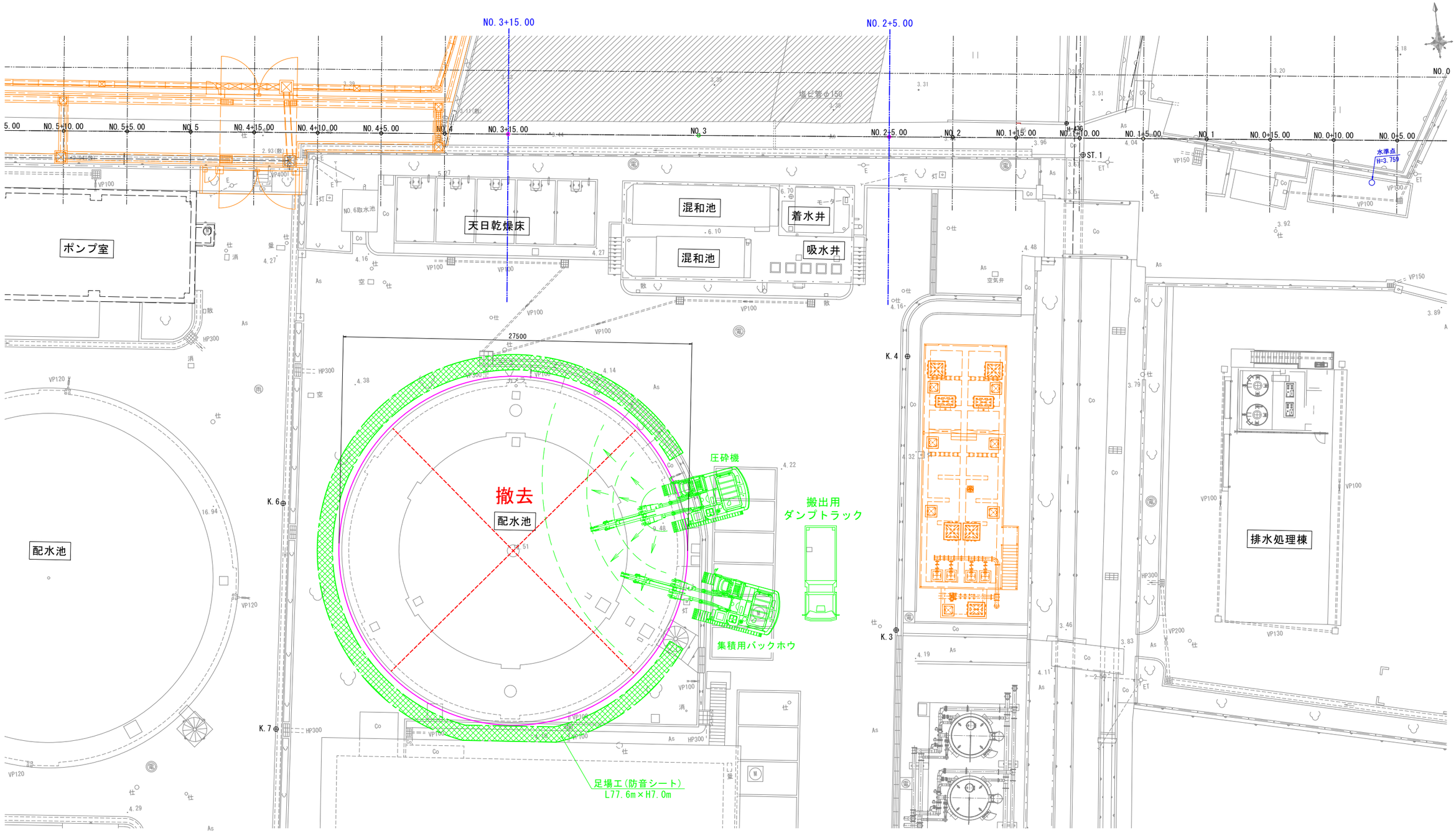
支持材 N=5



工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	仮設配管撤去詳細図2		
縮　尺	1/100	図面番号	3-5-6
藍　住　町　上　下　水　道　課			

旧第2配水池撤去平面図

縮尺：1/150



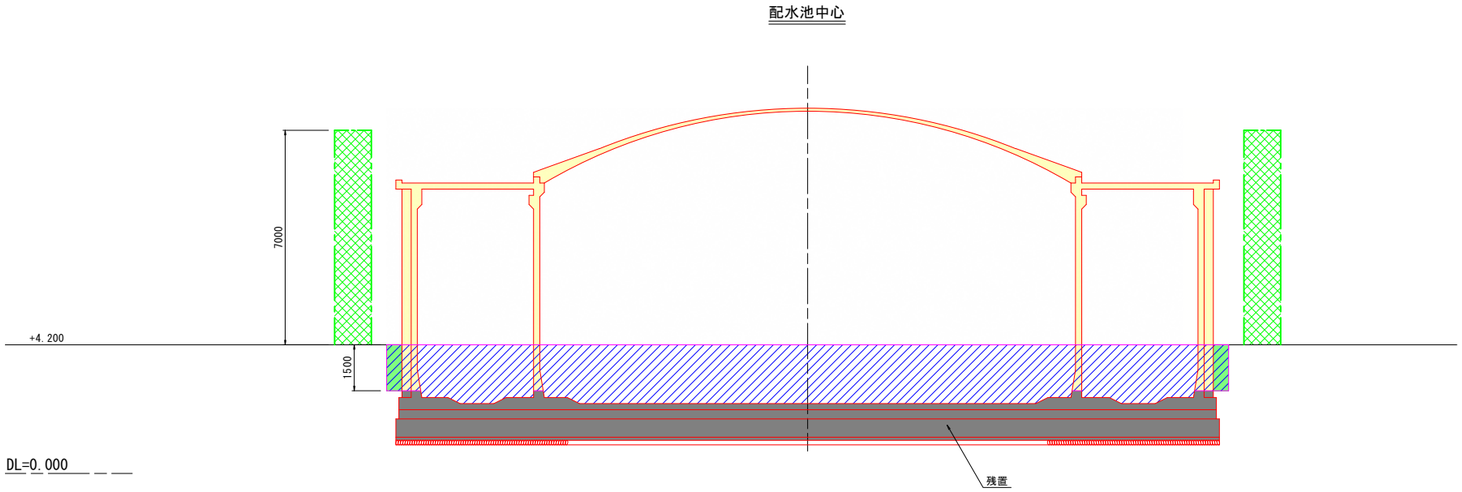
浄水池等の取壊しの際は、埋戻し材を利用して構造物内側に坂路を適宜構築しながら作業を進める

：撤去施設
：掘削範囲
：仮設工
：計画施設

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	旧第2配水池撤去平面図		
縮　尺	1/150	図面番号	3-6-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

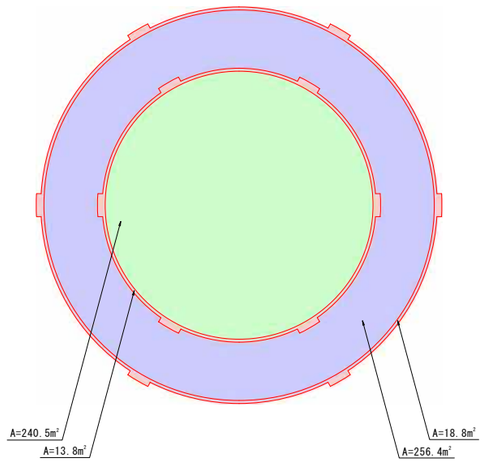
旧第2配水池撤去横断面図

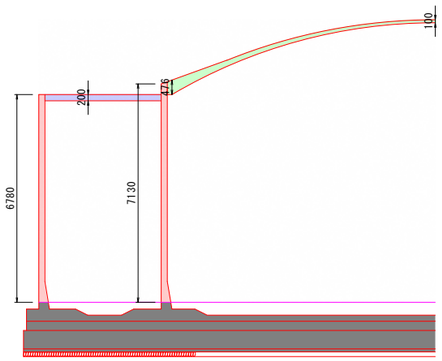
縮尺：1/100



	名称	規格	数量
土工	路体盛土	W<2.5	
		2.5≦W<4.0	
		4.0≦W	
	表土剥ぎ取り		
作業土工	床掘	土砂	1.5
	埋戻	W<1.0	
		1.0≦W<4.0	50.3
取壊工	コンクリート	鉄筋	別途
	舗装版破砕	As t=5cm	

コンクリート取壊し数量根拠図



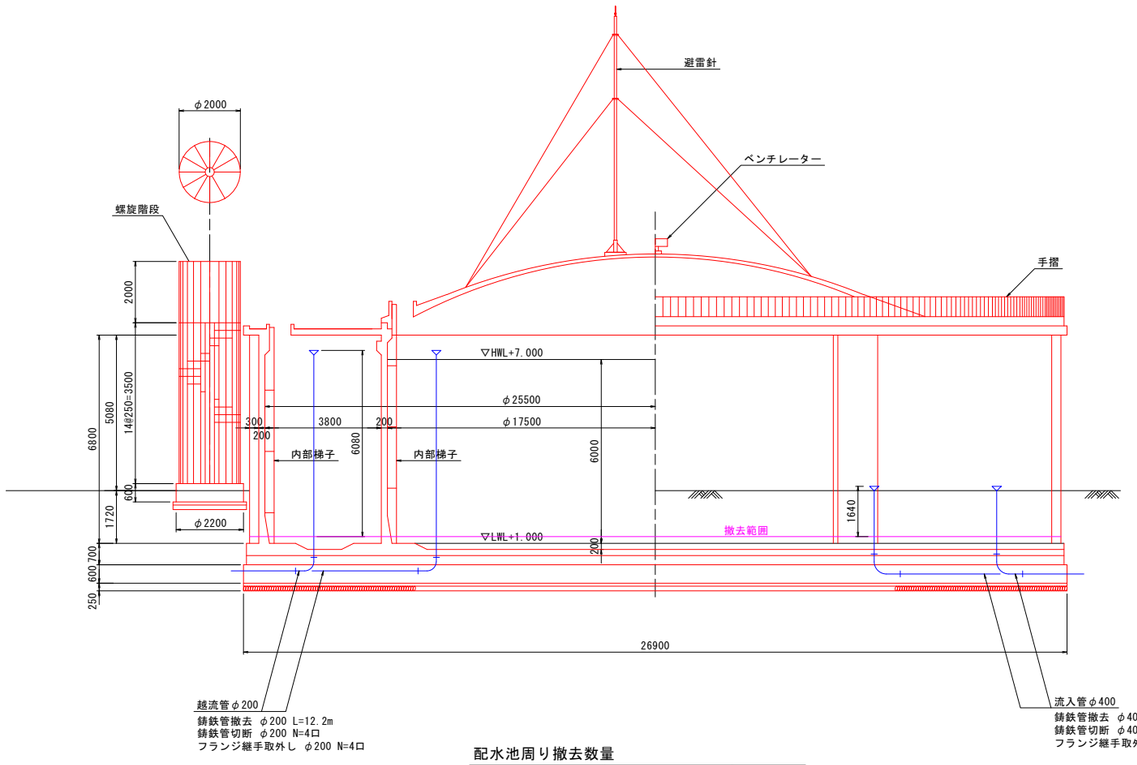


工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	旧第2配水池撤去横断面図		
縮　尺	1/100	図面番号	3-6-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

旧第2配水池撤去構造図

縮尺：1/100

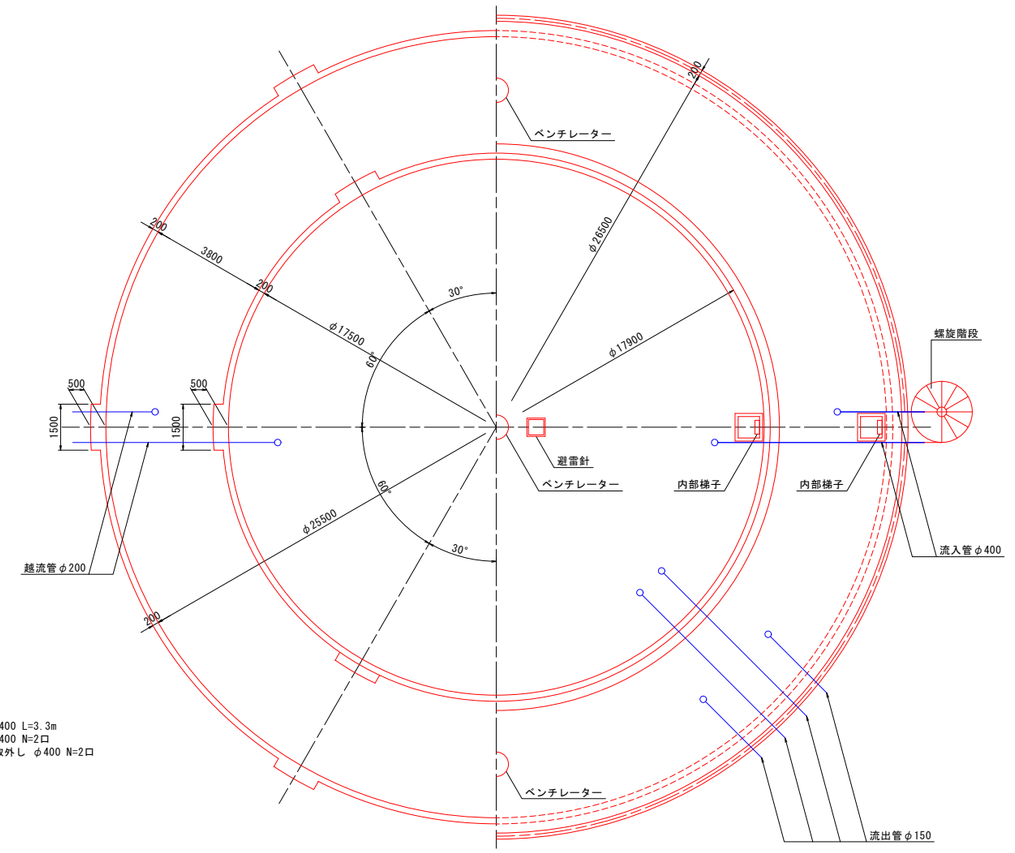
断面図

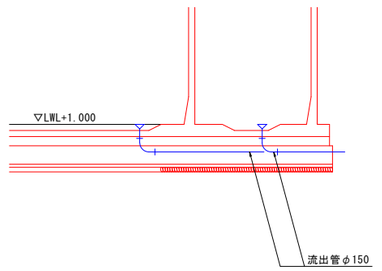


側面図

断面図

平面図





配水池周り撤去数量

名称	摘要	数量
（設備類）		
避雷針	30kg	1個
ベンチレーター	30kg	3個
人孔蓋	20kg	2個
内部梯子	150kg	2個
螺旋階段	1000kg	1個
手摺	10kg/m	83.0m
（配管類）		
鋳鉄管撤去工	φ400	3.3m
鋳鉄管撤去工	φ200	12.2m
鋳鉄管切断工	φ400	2口
鋳鉄管切断工	φ200	4口
フランジ継手取外し工	φ400	2口
フランジ継手取外し工	φ200	4口

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	旧第2配水池撤去構造図		
縮　尺	1/100	図面番号	3-6-3
藍　住　町　上　下　水　道　課			

場内撤去平面図

縮尺：1/200

撤去
天日乾燥床
撤去
混和池
撤去
着水井
混和池
吸水井
撤去
排泥池
排水池
撤去
配水池
撤去
L型水路撤去 L=38.1m
撤去
L型水路撤去 L=23.7m
境界Co撤去 L=10×2=20箇
電気室
ポンプ室
配水池
管理本館
ポンプ室
排水処理棟
排水排泥池
原水サンプリングポンプ
上澄水返送ポンプ
汚泥移送ポンプ
急速ろ過機操作盤
植込撤去 L=4.4m
門扉撤去 H1500 W5000
植込撤去 L=9.2m
金所枠改良 L=1.3m
植込撤去 L=11.5m
植込撤去 L=14.5m
金所枠改良 L=1.0m
植込撤去 L=10.7m
門扉撤去 H1500 W3000
フェンス撤去 H1500 L=5.0m
塩ビ管φ150
HPφ250
HPφ150
水準点 H=3.758

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	場内撤去平面図		
縮　尺	1/200	図面番号	3-7-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

場内整備平面図

縮尺：1/200

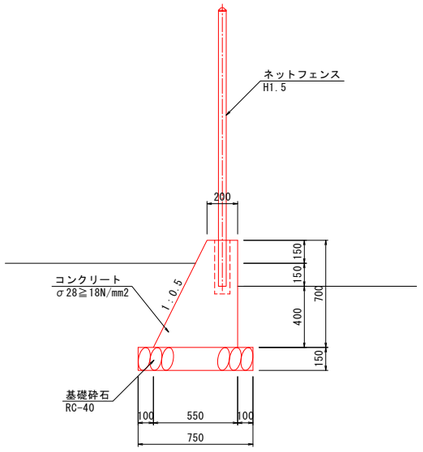
撤去
天日乾燥床
撤去
混和池
撤去
着水井
吸水井
混和池
撤去
排泥池
排水池
撤去
配水池
撤去
U型水路撤去 L=38.1m
電気室
ポンプ室
排水処理棟
管理本館
ポンプ室
排水排泥池
配水池
L型水路撤去 L=23.7m
境界Co撤去 L=10×2=20箇
植込撤去 L=4.4m
側溝撤去 H1.5 W5.0
植込撤去 L=3.2m
会所枠改良 L=1.3m
植込撤去 L=11.5m
会所枠改良 L=1.3m
植込撤去 L=14.5m
会所枠改良 L=1.0m
植込撤去 L=10.7m
側溝撤去 H1.5 W3.0
フェンス撤去 H1.5 L=5.0m
塩ビ管φ150
HPφ250
HPφ150
水準点 H=3.758

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	場内整備平面図		
縮　尺	1/200	図面番号	3-7-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			

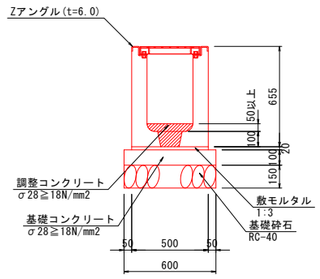
場 内 整 備 構 造 図

縮尺：1/20

重力式擁壁

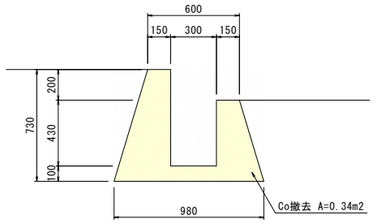


自由勾配側溝

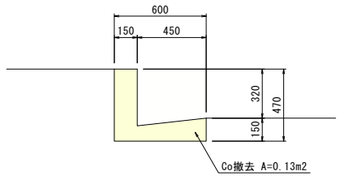


※既設水路高さに合わせて調整すること

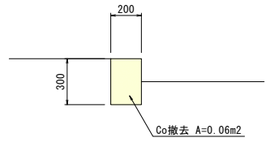
U形水路撤去



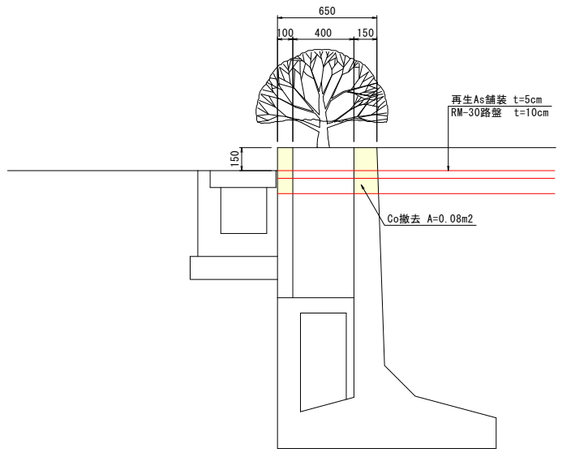
L形水路撤去



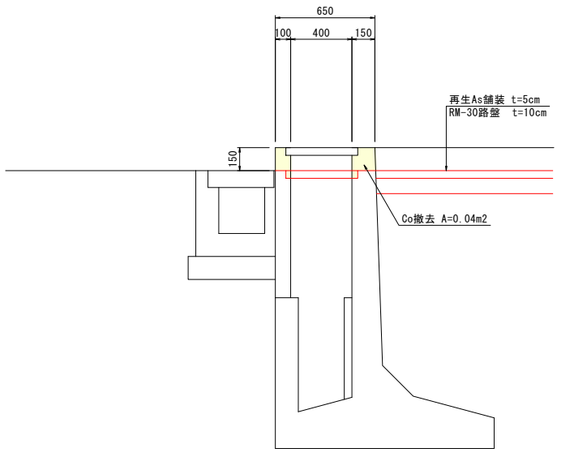
境界Co撤去



植込撤去



会所桝改良



工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	場内整備構造図		
縮 尺	1/20	図面番号	3-7-3
藍 住 町 上 下 水 道 課			

N

四国電力（株）より3φ3W 6600V 60Hz

引込柱

引込柱

FEP（GL−）
80φ（高圧）
30φ（低圧）
30φ（制御）
30φ（計装）

M 15.0 No．6取水ポンプ

No．6取水ポンプ流量変換器

No．6取水ポンプ現場盤
LBS6

No．6取水井水位（投込式）中継箱

sp 原水池（電極）

原水池水位（静電容量式）

着水流量（静電容量式）

M 19.5 No．7，8，9，10原水ポンプ

原水ポンプ現場盤
LBG

M 0.2 原水サンプリングポンプ

M 22.0 洗浄ポンプ

洗浄ポンプ現場盤
LBK

No．7／10原水ポンプ現場盤
S2−LB−12

P．BOX 400W x400
（SUS−WP）

次亜注入制御盤
LCP−1

建築付帯分電盤
P−1

排水処理棟

塩素滅菌室

天日乾燥床

混和池

吸水井

排泥池

排水池

第1浄水場

配線平面図(第1浄水場1・2階)(撤去)へ

洗浄水ポンプ現場操作盤
S1−LB−2

混和池

M 18.5 No．1洗浄水ポンプ

M 18.5 No．2洗浄水ポンプ

M 18.5 No．3洗浄水ポンプ

着水井

M 18.5 No．3洗浄水ポンプ

M 3.7 No．1，2天日送泥ポンプ

sp 汚水逃水弁（フリクト式）

M 0.75 No．1，2送泥ポンプ

sp 排水逃水弁（フリクト式）

FEP（GL−）
200φ（低圧）
150φ（制御）
100φ（計装）
100φ（予備）

sp 浄水池外池水位（電極）

sp 浄水池内池水位（電極）

M 0.2 ろ過水サンプリングポンプ

浄水逃水位（静電容量式）

第2浄水場

配線平面図(第2浄水場1・2階)(撤去)へ

P．BOX 500W x300
（SUS−VP）

FEP（GL−）
100φ（動力）
100φ（動力）
65φ（低圧）
50φ（弱電）

急速ろ過機

H．H
1200W×H900

排水排泥池

引込柱

急速ろ過機

sp 原水池（電極）

M 11.0 No．7，8，9，10原水ポンプ

M 0.4 原水サンプリングポンプ

急速ろ過機操作盤
LCB−R7

配水圧力

配水流量（電磁式）

配水流量変換器

No．7取水ポンプ流量変換器

No．7取水ポンプ現場盤
LBS7

M 15.0 No．7取水ポンプ

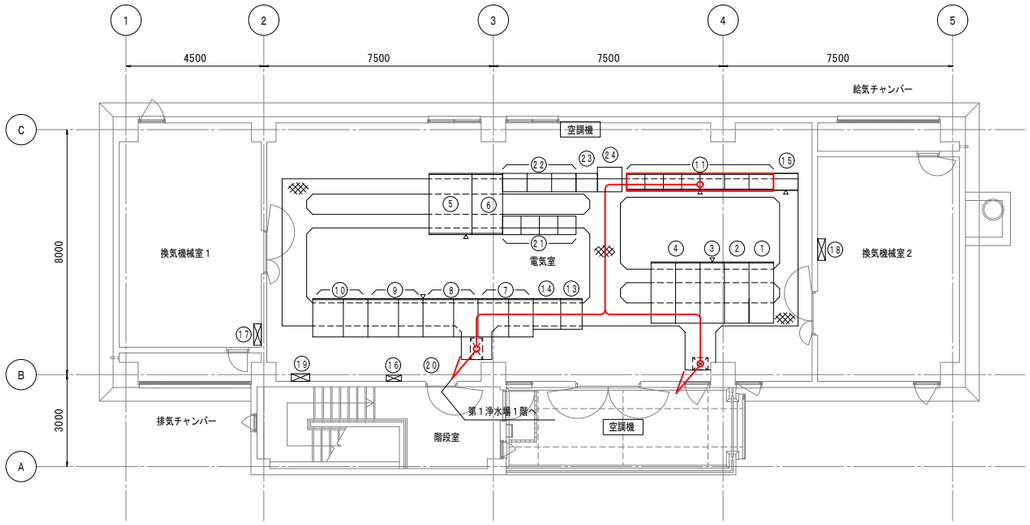
FEP（GL−）
150φ（低圧）
50φ（制御）
100φ（計装）
100φ（予備）

場内平面図　　S＝1：250

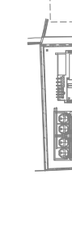
＜配線工事の凡例＞
：ピット・ダクト内配線
：ラック内配線
：露出管内配線
：埋め込み配管内配線
：地中埋設管内配線

注記　1．▨部は、撤去工事を示す。
2．その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(3期工事)配線平面図(場内)(撤去)		
縮　尺	1/250	図面番号	3-8-1
藍　住　町　上　下　水　道　課			

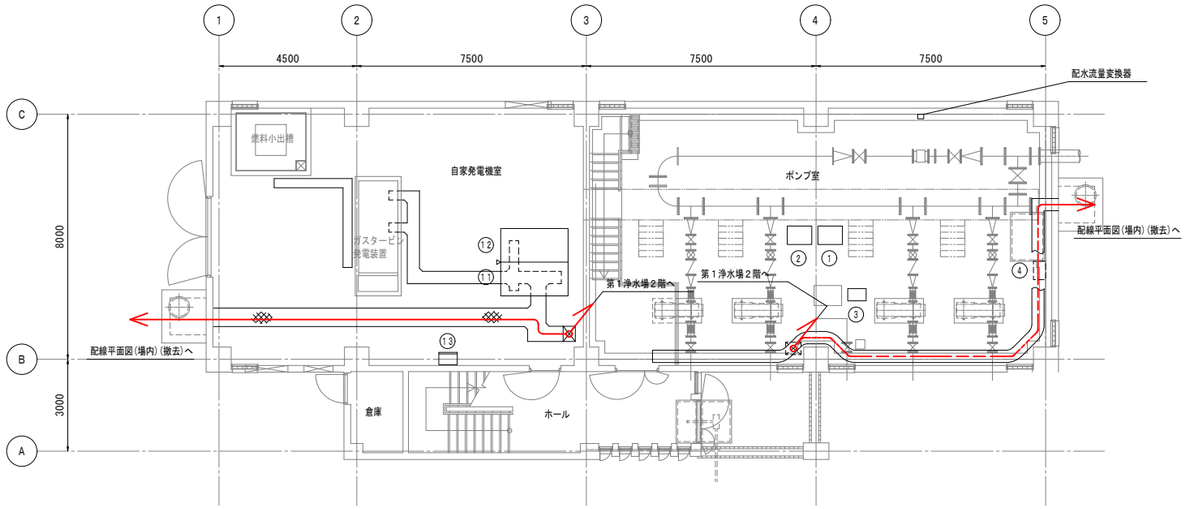


第１浄水場２階平面図　　S＝１：１００



第１浄水場２階電気室

番号	盤記号	盤　名　称	備　考
①	S1-HC-1	引込盤	既　設
②	S1-HC-2	受電盤	〃
③	S1-HC-3	自家発切換盤	〃
④	S1-HC-4	変圧器盤	〃
⑤	S1-LC-1	低圧分岐盤	〃
⑥	S1-LC-2	照明分岐盤	〃
⑦	S1-LCB-1	No．１ 配水ポンプインバータ盤	〃
⑧	S1-LCB-2	No．２ 配水ポンプインバータ盤	〃
⑨	S1-LCB-3	No．３ 配水ポンプインバータ盤	〃
⑩	S1-LCB-4	No．４ 配水ポンプインバータ盤	〃
⑪	S1-LBZ-1~7	低圧動力制御盤（１）～（７）	撤　去
⑫			
⑬	S1-DB-2	ＵＰＳ出力分電盤	既　設
⑭		直流電源盤	〃
⑮	S1-TM-1	第１浄水場テレメータ盤（親局）	〃
⑯		接地端子箱	〃
⑰	PM-1	動力操作盤（１）	〃
⑱	PM-2	動力操作盤（２）	〃
⑲	PL-1	電灯分電盤	〃
⑳		インターホン（親機）	〃
㉑	S1-CC-1~4	第１浄水場コントロールセンタ	今　回
㉒	S1-CRB-1~3	第１浄水場補助継電器盤	〃
㉓	S1-SQC-1	浄水制御コントローラ盤３	〃
㉔	S1-IB-1	第１浄水場計装盤	〃



第１浄水場１階平面図　　S＝１：１００

第１浄水場１階ポンプ室

番号	盤記号	盤　名　称	備　考
①	LB-3	Ｎｏ．１２，１３配水ポンプ現場操作盤	既　設
②	LB-4	Ｎｏ．１４，１５配水ポンプ現場操作盤	〃
③	LB-9	浄水サンプリングポンプ現場操作盤	〃
④	LB-10	床排水ポンプ現場操作盤	〃

第１浄水場１階自家発電気室

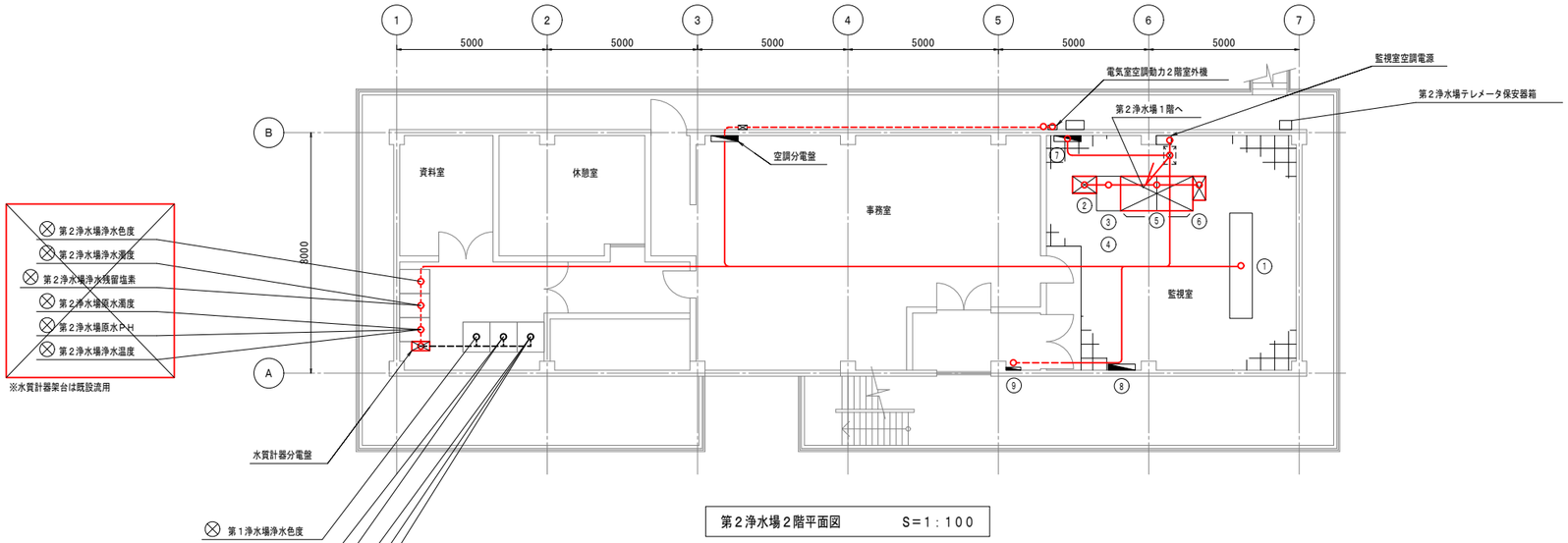
番号	盤記号	盤　名　称	備　考
⑪	S1-GC-1	自動始動発電機盤	既　設
⑫	S1-GC-2	始動用直流電源盤	〃
⑬	S1-LB-11	自家発ファン現場操作盤	〃

＜配線工事の凡例＞

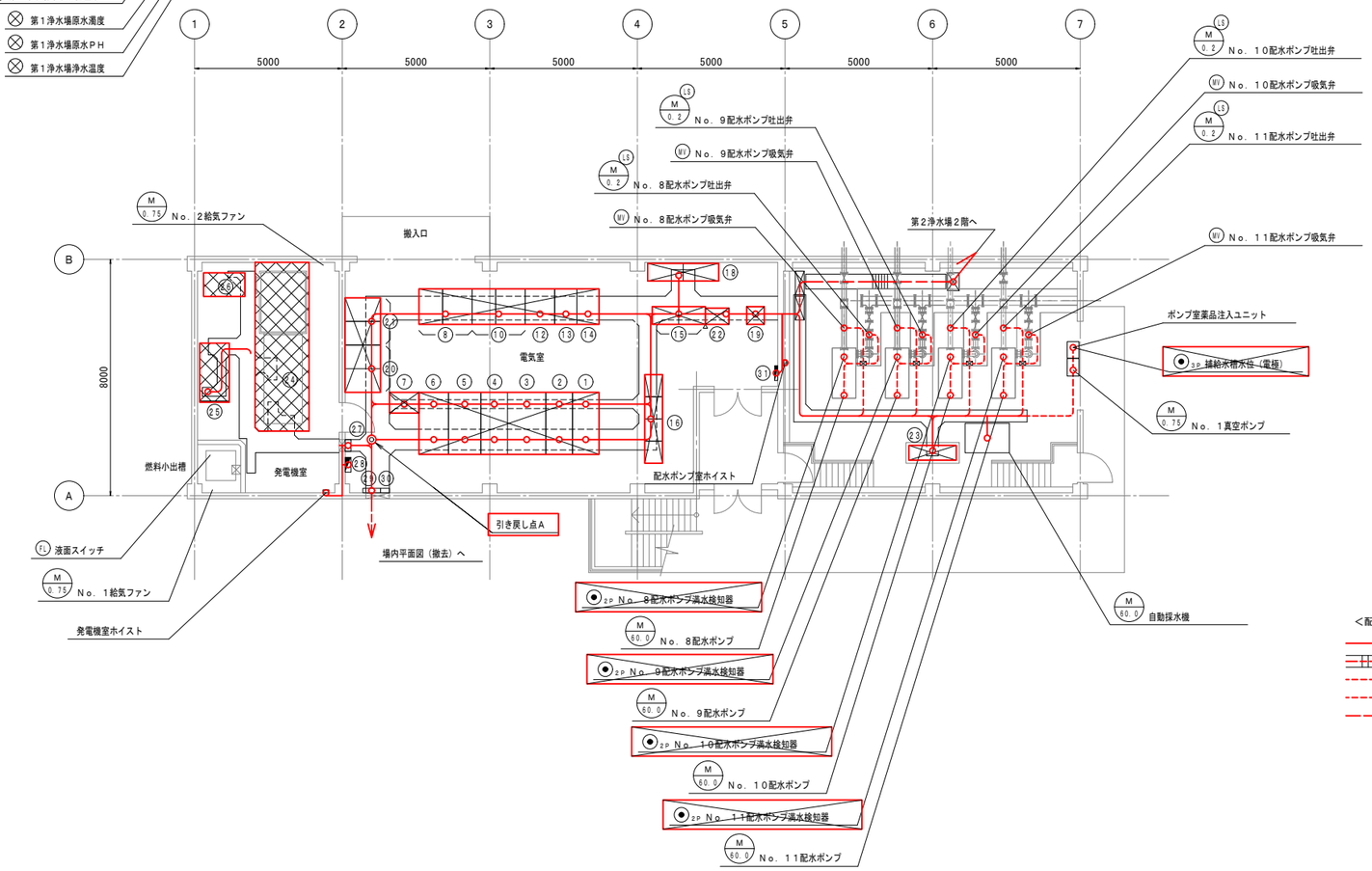
- ：ピット・ダクト内配線
- ：ラック内配線
- ：露出管内配線
- ：埋め込み配管内配線
- ：地中埋設管内配線

注記　１．⊠ 部は、撤去工事を示す。
　　２．その他特記無きは既設を示す。

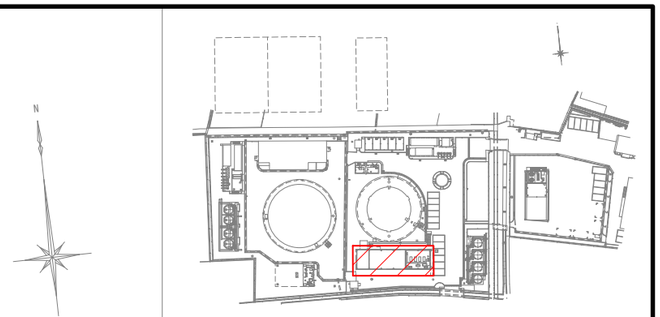
工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(3期工事)配線平面図(第1浄水場1・2階)(撤去)		
縮　尺	1/100	図面番号	3-8-2
藍　住　町　上　下　水　道　課			



第２浄水場２階平面図　　S＝1：100



第２浄水場１階平面図　　S＝1：100



第２浄水場２階監視室

番号	盤記号	盤　名　称	備　考
①		事務電算機	既　設
②	SQC−1	~~浄水制御コントローラ盤~~	~~撤　去~~
③	ITV1	ＩＴＶ監視装置	既　設
④		ＩＴＶモニタ	〃
⑤	LCD−1/2	~~ＬＣＤ監視装置（１）／（２）~~	~~撤　去~~
⑥	PRT	~~プリンタ~~	~~〃~~
⑦		事務電算機用分電盤	既　設
⑧		監視盤用分電盤	〃
⑨		２Ｆ照明分電盤	〃

第２浄水場１階発電機室・電気室・配水ポンプ室

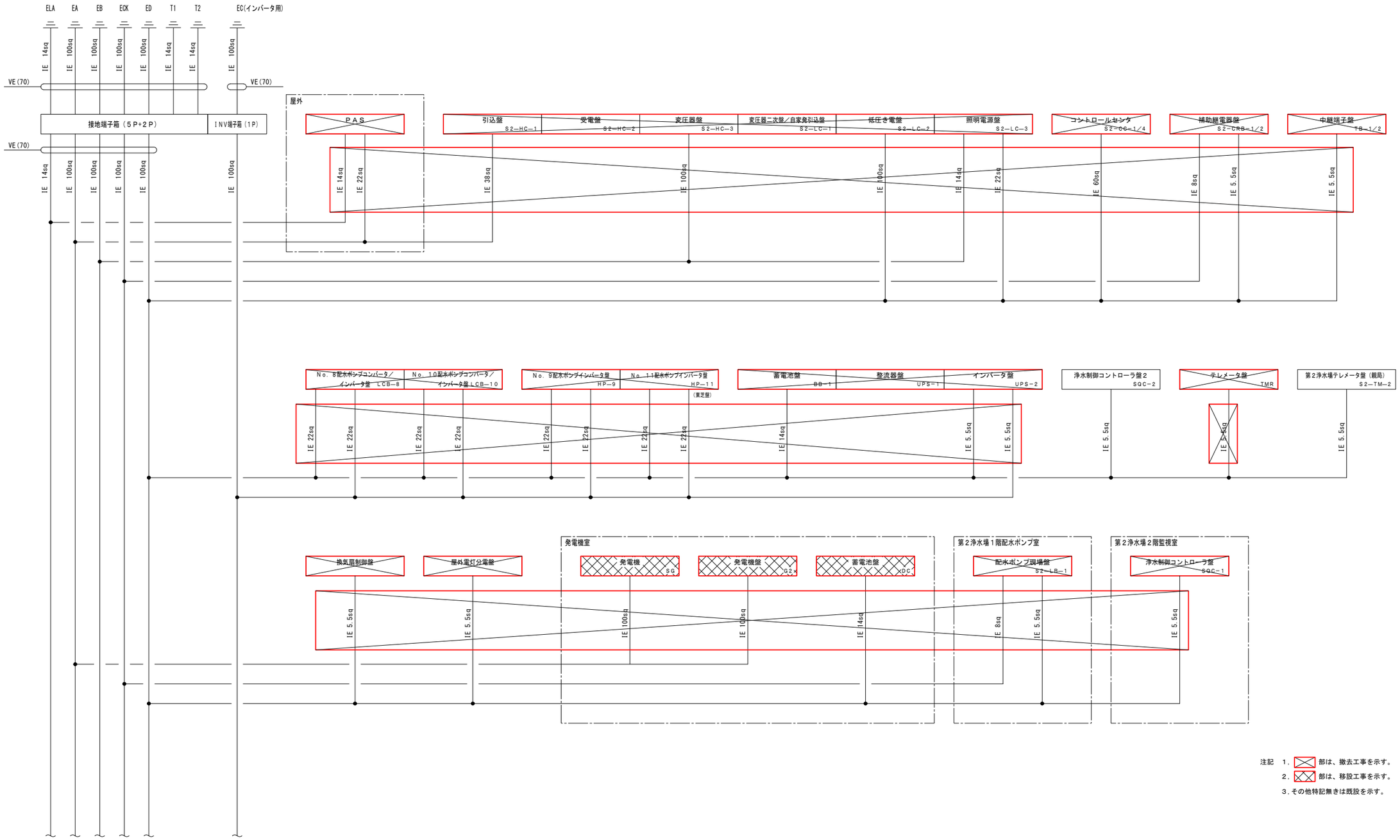
番号	盤記号	盤　名　称	備　考
①	S2−HC−1	~~引込盤~~	~~撤　去~~
②	S2−HC−2	受電盤	〃
③	S2−HC−3	変圧器盤	〃
④	S2−LC−1	変圧器二次盤／自家発引込盤	〃
⑤	S2−LC−2	低圧き電盤	〃
⑥	S2−LC−3	照明電源盤	〃
⑦	SQC−2	浄水制御コントローラ盤２	〃
⑧	LCB−10	Ｎｏ．１０配水ポンプインバータ／コンバータ盤	〃
⑨			〃
⑩	LCB−8	Ｎｏ．９配水ポンプインバータ／コンバータ盤	〃
⑪			〃
⑫	BB−1	蓄電池盤	〃
⑬	UPS−1	整流器盤	〃
⑭	UPS−2	インバータ盤	〃
⑮	S2−CRB−1/2	補助継電器盤（１）～（２）	〃
⑯	S2−CC−1/4	コントロールセンタ（１）～（４）	〃
⑰			
⑱	TB−1/2	中継端子盤（１）～（２）	撤　去
⑲	TMR	テレメータ盤	〃
⑳	HP−9	Ｎｏ．９配水ポンプインバータ制御盤	〃
㉑	HP−11	Ｎｏ．１１配水ポンプインバータ制御盤	〃
㉒	S2−TM−1	第２浄水場テレメータ盤（親局）	〃
㉓	S2−LB−1	配水ポンプ現場盤	〃
㉔	SG	~~発電機~~	~~移　設~~
㉕	G2	~~発電機盤~~	~~〃~~
㉖	DC	~~蓄電池盤~~	~~〃~~
㉗		換気扇制御盤	既　設
㉘		屋外電灯分電盤	〃
㉙		接地端子箱	〃
㉚		ＩＮＶ接地箱	〃
㉛		１Ｆ照明分電盤	〃

＜配線工事の凡例＞

- ：ピット・ダクト内配線
- ：ラック内配線
- ：露出管内配線
- ：埋め込み配管内配線
- ：地中埋設管内配線

注記　１．⊠部は、撤去工事を示す。
　　２．⊠部は、移設工事を示す。
　　３．その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(3期工事)配線平面図(第2浄水場1・2階)(撤去)		
縮　尺	1/100	図面番号	3-8-3
藍　住　町　上　下　水　道　課			



注記　1．⊠部は、撤去工事を示す。
2．⊠部は、移設工事を示す。
3．その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(3期工事) 接地幹線系統図(撤去)		
縮　尺	NON	図面番号	3-8-4
藍　住　町　上　下　水　道　課			

屋外

3φ3W 6.6kV

PAS

6kV CE 38sq－3c PE(70)

引込盤 S2－HC－1

受電盤 S2－HC－2

変圧器盤 S2－HC－3

変圧器二次盤／自家発引込盤 S2－LC－1

低圧き電盤 S2－LC－2

照明電源盤 S2－LC－3

浄水制御コントローラ盤２ SQC－2

600V CET 150sq

600V CE 5.5sq－2c

600V CET 150sq

600V CE 5.5sq－2c

600V CE 5.5sq－3c

600V CET 150sq

No．９配水ポンプインバータ盤 HP－9

No．１１配水ポンプインバータ盤 HP－11

600V CE 5.5sq－2c

600V CE 5.5sq－3c

600V CET 150sq

No．８配水ポンプインバータ／コンバータ盤 LCB－8

600V CE 5.5sq－2c × 2

600V CE 5.5sq－2c

600V CE 5.5sq－2c

600V CE 22sq－2c

600V CE 5.5sq－2c × 4

600V CE 14sq－1c × 4

600V CE 22sq－2c

600V CE 5.5sq－2c

600V CE 22sq－2c

600V CE 5.5sq－2c

No．１０配水ポンプインバータ／コンバータ盤 LCB－10

蓄電池盤 BB－1

整流器盤 UPS－1

インバータ盤 UPS－2

600V CE 8sq－2c

600V CE 14sq－2c

第２浄水場テレメータ盤（親局） SZ－TM－2

600V CE 3.5sq－2c

600V CE 8sq－2c × 2

600V CE 5.5sq－2c

補助継電器盤 S2－CRB－1／2

600V CE 5.5sq－2c

600V CE 8sq－2c

600V CE 14sq－2c

テレメータ盤 TMR

600V CV 5.5sq－2c × 2

600V CE 3.5sq－2c × 3

600V CE 5.5sq－2c × 3

600V CE 3.5sq－2c

600V CE 3.5sq－2c

中継端子盤 TB－1／2

600V CE 3.5sq－2c × 3

600V CE 22sq－8c

600V CE 200sq－1c × 6

コントロールセンタ S2－CC－1／4

換気扇制御盤

600V CE 5.5sq－3c

照明分電盤（１Ｆ）

600V CE 14sq－3c

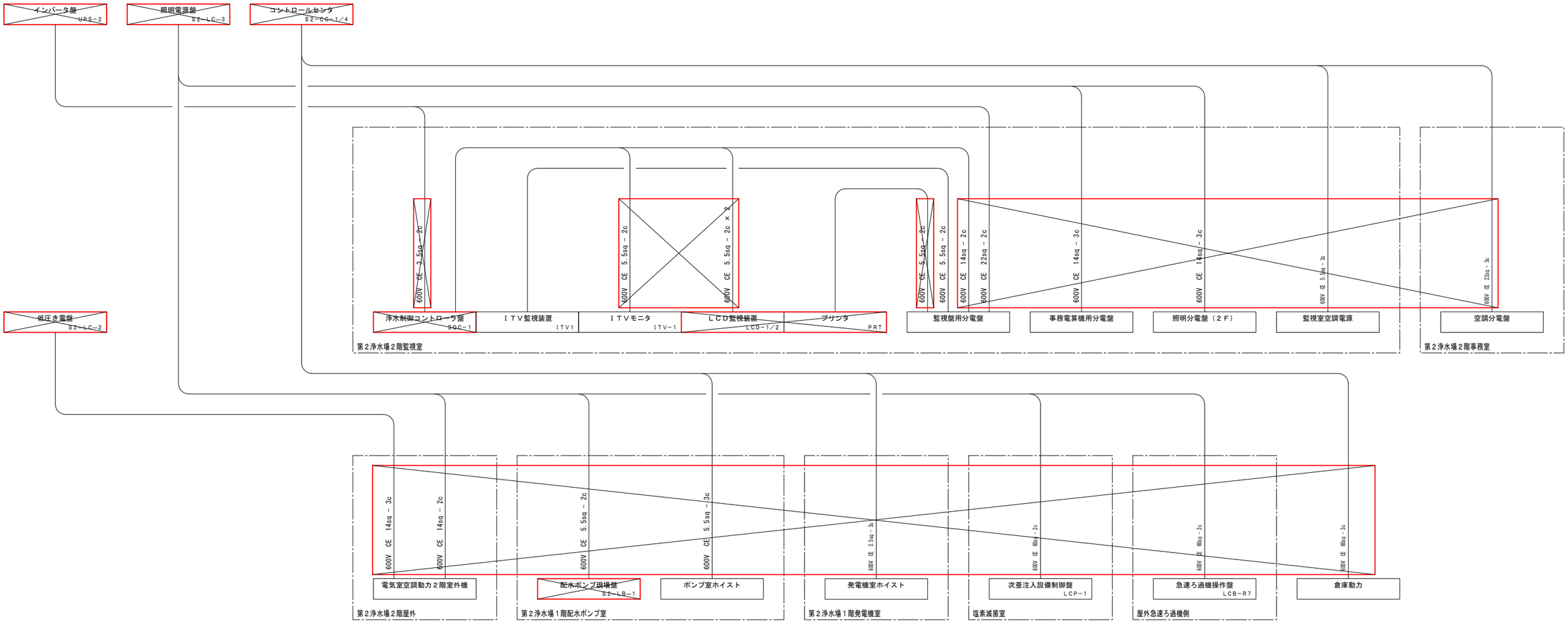
屋外電灯分電盤

600V CE 14sq－3c

注記　１．⊠部は、撤去工事を示す。

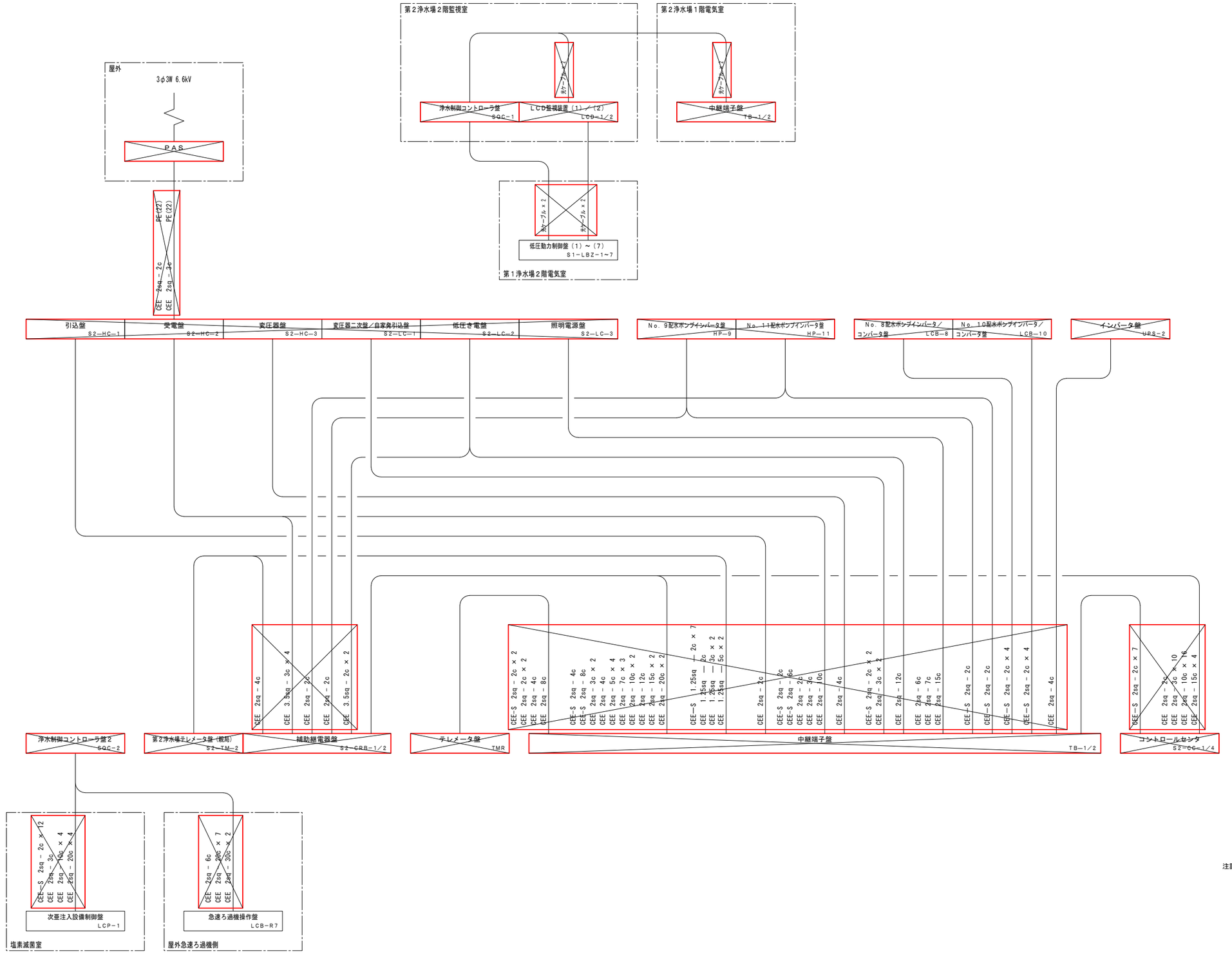
２．その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（3期工事）配線系統図1（動力1）（撤去）		
縮　尺	NON	図面番号	3-8-5
藍　住　町　上　下　水　道　課			



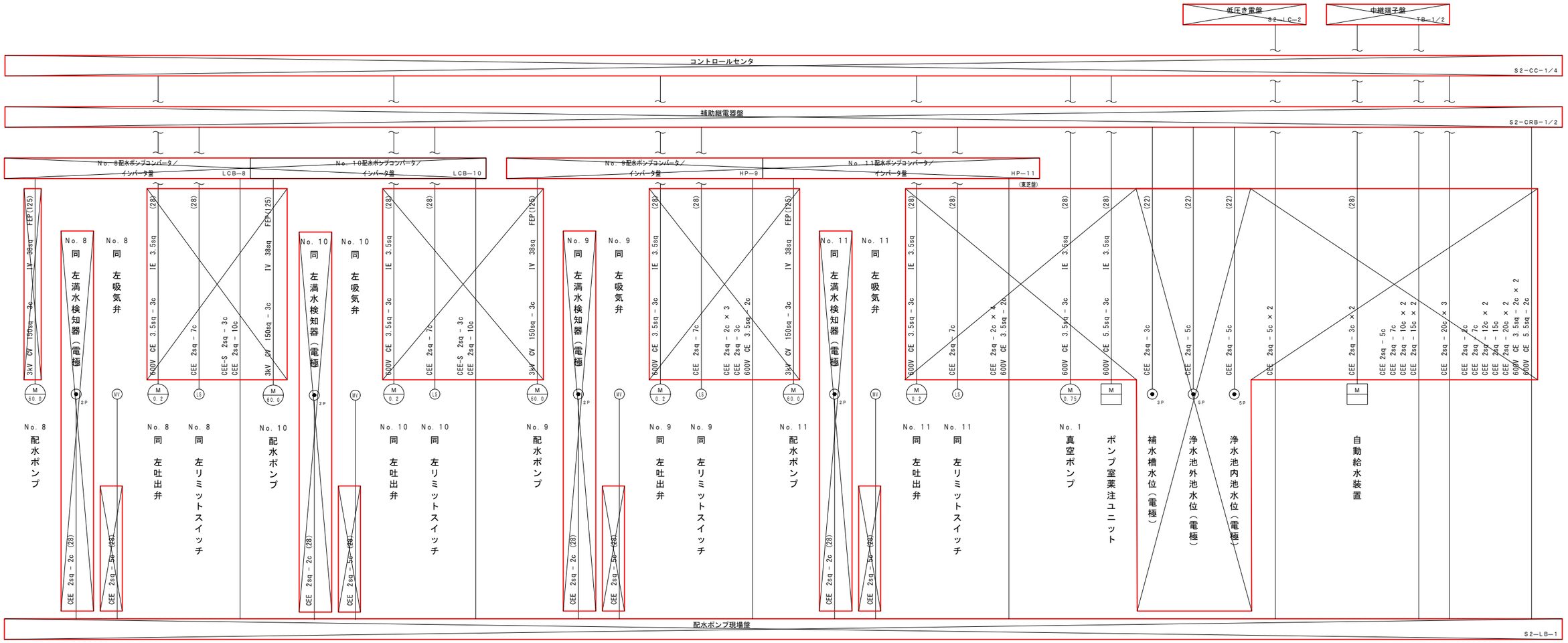
注記　1．☒部は、撤去工事を示す。
　　2．その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（3期工事）配線系統図2（動力2）（撤去）		
縮　尺	NON	図面番号	3-8-6
藍　住　町　上　下　水　道　課			



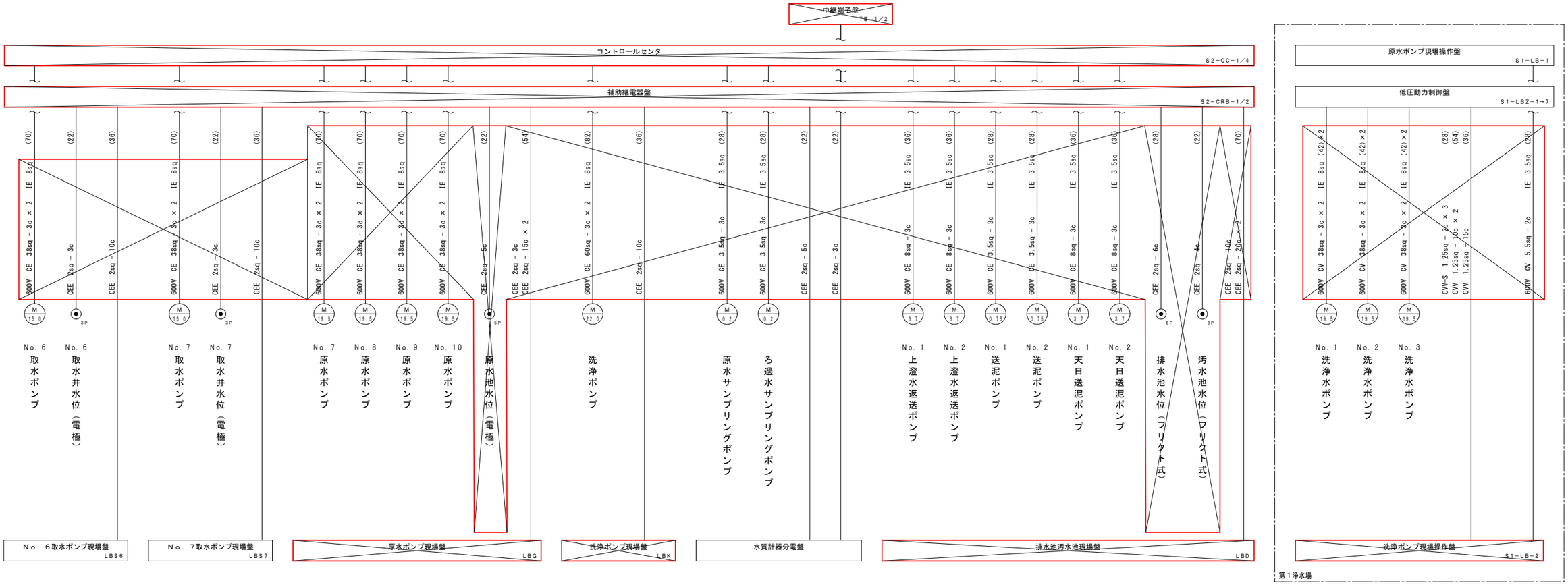
注記　1．⊠ 部は、撤去工事を示す。
　　2．その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（3期工事）配線系統図3（制御）（撤去）		
縮　尺	NON	図面番号	3-8-7
藍　住　町　上　下　水　道　課			



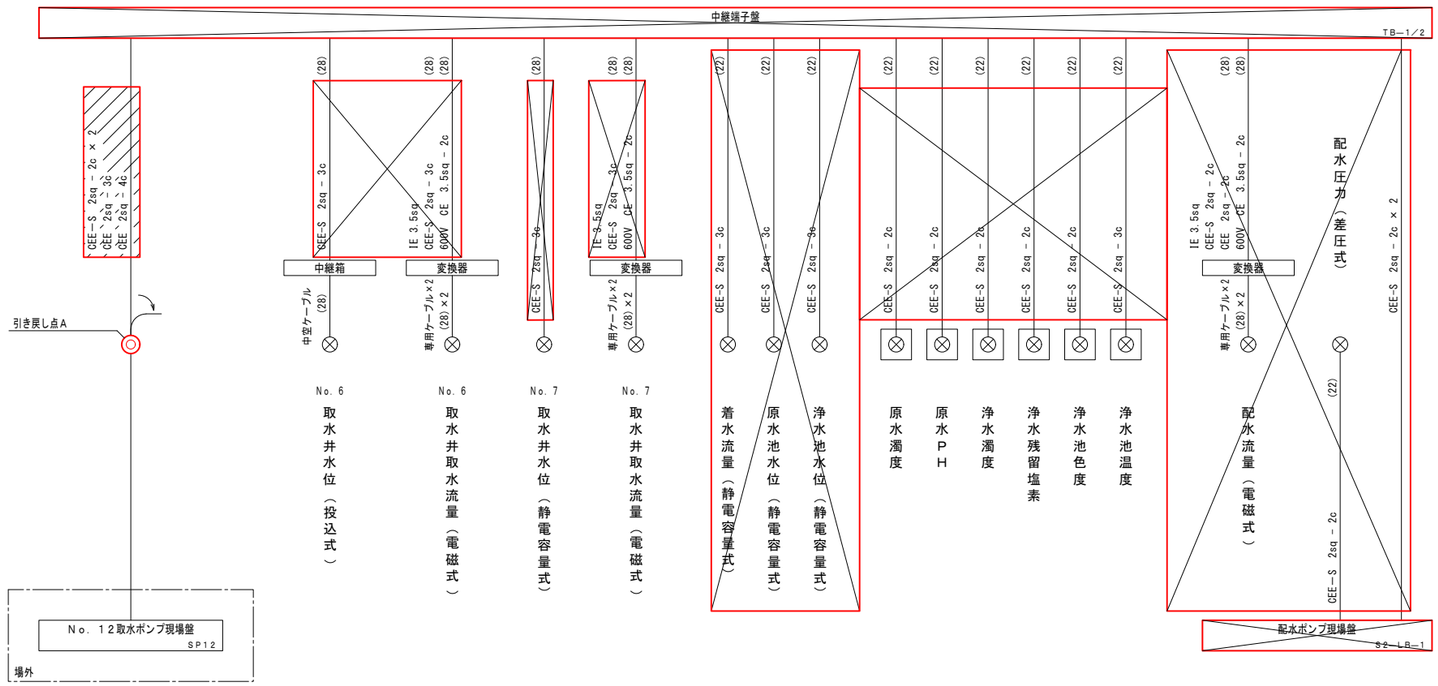
注記　1．▨部は、撤去工事を示す。
2．特記なき電線管は厚鋼電線管を示す。
3．その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(3期工事)配線系統図4(運転操作1)(撤去)		
縮　尺	NON	図面番号	3-8-8
藍　住　町　上　下　水　道　課			



注記　1．⊠ 部は、撤去工事を示す。
2．特記なき電線管は厚鋼電線管を示す。
3．その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(3期工事)配線系統図5(運転操作2)(撤去)		
縮　尺	NON	図面番号	3-8-9
藍　住　町　上　下　水　道　課			



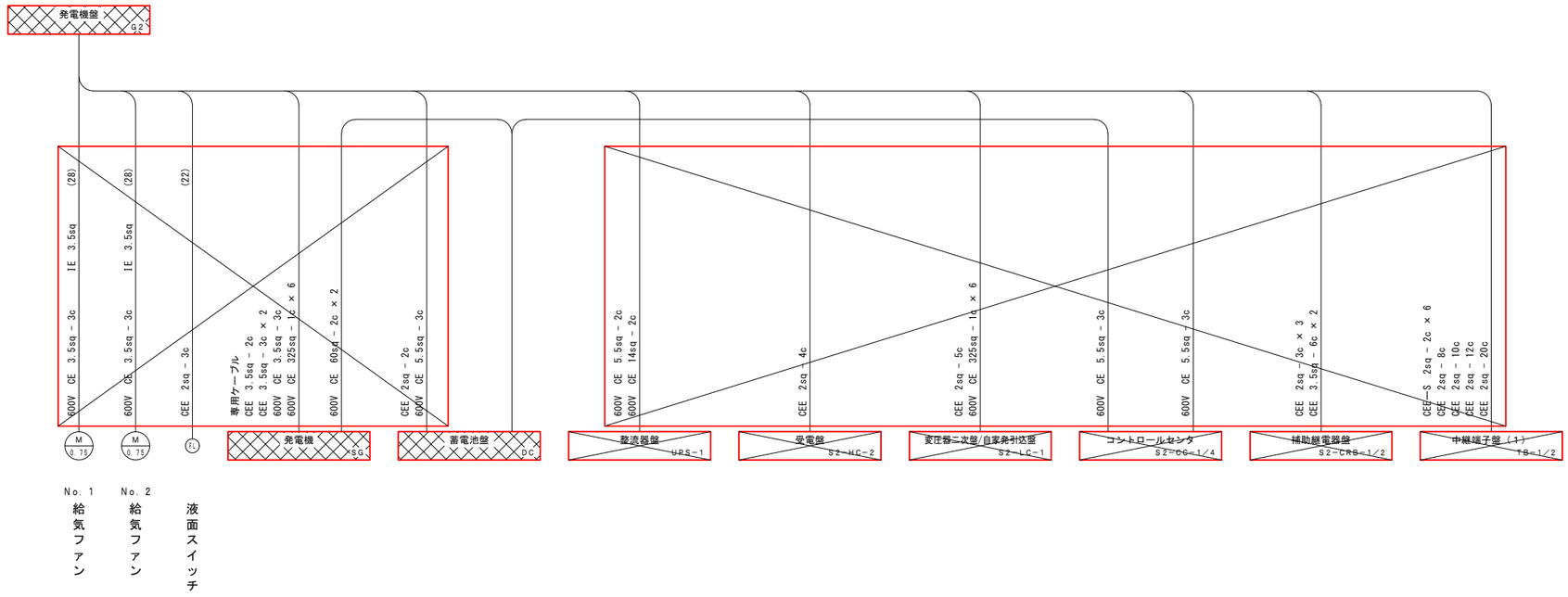
注記　1．▨ 部は、撤去工事を示す。

2．▨ 部は、撤去盤から引き戻し点◯までケーブルを引き戻す。

3．特記なき電線管は厚鋼電線管を示す。

4．その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	(3期工事)配線系統図6(計装)(撤去)		
縮　尺	NON	図面番号	3-8-10
藍　住　町　上　下　水　道　課			



注記　1．▨部は、撤去工事を示す。
2．▨部は、移設工事を示す。
3．特記なき電線管は厚鋼電線管を示す。
4．その他特記無きは既設を示す。

工事名	藍住町第２浄水場更新整備工事		
図面名	（3期工事）配線系統図7（自家発）（撤去）		
縮　尺	NON	図面番号	3-8-11
藍　住　町　上　下　水　道　課			